千葉東金道路(二期)埋蔵文化財調査報告書7

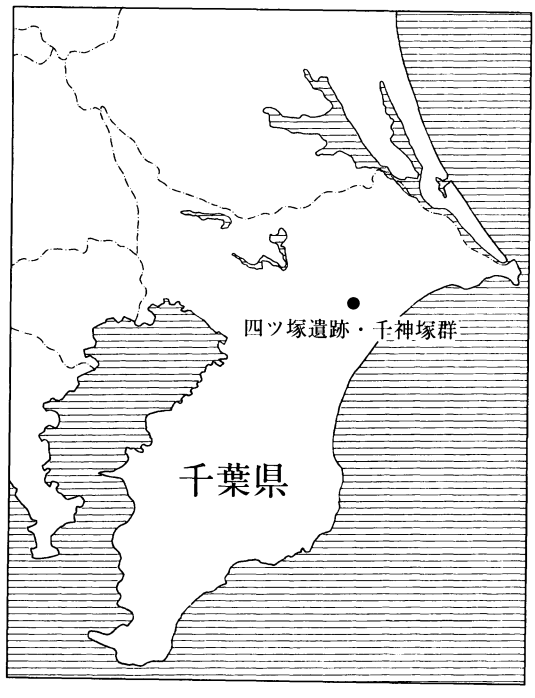
— 松尾町・横芝町四ツ塚遺跡・松尾町千神塚群 —

平成13年3月

日　本　道　路　公　団
財団法人　千葉県文化財センター

千葉東金道路(二期)埋蔵文化財調査報告書7

— 松尾町・横芝町四ツ塚遺跡・松尾町千神塚群 —



序　　文

財団法人千葉県文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究、文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立され以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび、千葉県文化財センター調査報告書第402集として、日本道路公団の千葉東金道路(二期)建設事業に伴って実施した松尾町・横芝町四ツ塚遺跡・松尾町千神塚群の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では、大規模な旧石器時代の環状ブロックの存在が明らかとなり、この地域の旧石器時代の生活の様子を知る上で貴重な成果が得られております。

刊行に当たり、この報告書が学術資料として、また埋蔵文化財の保護に対する理解を深めるための資料として広く活用されることを願っております。

終わりに、調査に際し御指導、御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関、また、発掘から整理まで御苦労をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成13年３月30日

財団法人千葉県文化財センター

理　事　長　　中　村　好　成

凡　　例

1　本書は、日本道路公団による千葉東金道路（二期）建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書の第７冊目である。

2　本書に収録した遺跡は、千葉県山武郡松尾町谷津字四ツ塚141-１他に所在する四ツ塚遺跡及び千神塚群（遺跡コード407－009）である。

3　発掘調査から報告書作成に至る業務は、日本道路公団の委託を受け、財団法人千葉県文化財センターが実施した。

4　発掘調査及び整理作業の担当者、実施期間は本文中に記載した。

5　本書の執筆は、第２章第２節を主席研究員　宮　重行が、第３章を上席研究員　鈴木弘幸が担当し、その他は室長　西口　徹が担当した。

6　発掘調査から報告書の刊行に至るまで、千葉県教育庁生涯学習部文化課、山武町教育委員会、日本道路公団の御指導、御協力を得た。

7　本書で使用した地形図は以下のとおりである。

第１図　国土地理院発行　１/50,000地形図「東金」（N-54-19-11）

国土地理院発行　１/50,000地形図「成田」（N-54-19-10）

第２図　成田都市計画図　１/2,500　36・39

8　本書で使用した図面の方位は、すべて座標北である。

9　本書で使用した遺構番号は、編集の都合上、調査時の番号と異なる。

10　旧石器時代の出土遺物記号凡例は本文中に示してある。

本文目次

第１章　はじめに……1
　第１節　調査の概要……1
　第２節　調査の方法……2
　第３節　遺跡の位置と環境……2
第２章　四ツ塚遺跡……7
　第１節　旧石器時代……7
　　（１）概要……7
　　（２）遺構・遺物……16
　第２節　縄文時代……339
　　（１）　遺構……339
　　（２）　遺物……339
第３章　千神塚群……352
　第１節　古墳時代以降……352
　　（１）　遺構……352
　　（２）　遺物……360
第４章　まとめ……363
報告書抄録

挿図目次

第１図　千葉東金道路二期路線図……3
第２図　遺跡周辺地形図……4
第３図　下層調査状況……7
第４図　上層調査状況・遺構等配置図……8
第５図　基本層序……8
第６図　旧石器時代ブロック出土状況図……9
第７図　旧石器時代ブロック間接合資料（１）‥10
第８図　旧石器時代ブロック間接合資料（２）‥11
第９図　旧石器時代石斧等出土状況図……12
第10図　１・２・３・４・５・６・７・８・９・10
　　11・12・13ブロック石材別出土状況図‥13
第11図　14・15・16・17・18・19・20・21・22・23
　　24・25・26・27・28・29・30ブロック石材
　　別出土状況図……14
第12図　31・32・35～37・38ブロック石材別出土状
　　況図……15
第13図　33・34ブロック石材別出土状況図……16
第14図　第１ブロック出土状況図……17
第15図　第１ブロック出土遺物実測図（１）‥‥18
第16図　第１ブロック出土遺物実測図（２）‥‥19
第17図　第２ブロック出土状況図……20
第18図　第３ブロック出土状況図……21
第19図　第２ブロック出土遺物実測図－上……22
　　第３ブロック出土遺物実測図（１）－下　‥‥22
第20図　第３ブロック出土遺物実測図（２）‥‥23
第21図　第３ブロック出土遺物実測図（３）‥‥24

第22図　第３ブロック出土遺物実測図（４）‥‥25
第23図　第３ブロック出土遺物実測図（５）‥‥26
第24図　第４ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥27
第25図　第４ブロック出土遺物実測図（１）‥‥29
第26図　第４ブロック出土遺物実測図（２）‥‥30
第27図　第４ブロック出土遺物実測図（３）‥‥31
第28図　第４ブロック出土遺物実測図（４）‥‥32
第29図　第４ブロック出土遺物実測図（５）‥‥33
第30図　第５ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥34
第31図　第５ブロック出土遺物実測図‥‥‥‥‥‥35
第32図　第６ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥36
第33図　第６ブロック出土遺物実測図（１）‥‥37
第34図　第６ブロック出土遺物実測図（２）‥‥39
第35図　第６ブロック出土遺物実測図（３）‥‥40
第36図　第７ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥41
第37図　第７ブロック出土遺物実測図‥‥‥‥‥‥42
第38図　第８ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥43
第39図　第８ブロック出土遺物実測図（１）‥‥44
第40図　第８ブロック出土遺物実測図（２）‥‥45
第41図　第９ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥46
第42図　第９ブロック出土遺物実測図（１）‥‥47
第43図　第９ブロック出土遺物実測図（２）‥‥49
第44図　第９ブロック出土遺物実測図（３）‥‥50
第45図　第９ブロック出土遺物実測図（４）‥‥51
第46図　第９ブロック出土遺物実測図（５）‥‥52
第47図　第９ブロック出土遺物実測図（６）‥‥53
第48図　第10ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥54
第49図　第10ブロック出土遺物実測図‥‥‥‥‥‥55
第50図　第11ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥56
第51図　第11ブロック出土遺物実測図（１）‥‥57
第52図　第11ブロック出土遺物実測図（２）‥‥58
第53図　第12ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥59
第54図　第12ブロック出土遺物実測図（１）‥‥60
第55図　第12ブロック出土遺物実測図（２）‥‥61
第56図　第13ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥62
第57図　第13ブロック出土遺物実測図（１）‥‥63
第58図　第13ブロック出土遺物実測図（２）‥‥64
第59図　第13ブロック出土遺物実測図（３）‥‥65
第60図　第14ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥66
第61図　第14ブロック出土遺物実測図（１）‥‥67
第62図　第14ブロック出土遺物実測図（２）‥‥68
第63図　第14ブロック出土遺物実測図（３）‥‥69
第64図　第15ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥70
第65図　第15ブロック出土遺物実測図（１）‥‥73
第66図　第15ブロック出土遺物実測図（２）‥‥74
第67図　第15ブロック出土遺物実測図（３）‥‥75
第68図　第15ブロック出土遺物実測図（４）‥‥76
第69図　第15ブロック出土遺物実測図（５）‥‥77
第70図　第15ブロック出土遺物実測図（６）‥‥78
第71図　第15ブロック出土遺物実測図（７）‥‥79
第72図　第15ブロック出土遺物実測図（８）‥‥80
第73図　第16ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥81
第74図　第16ブロック出土遺物実測図（１）‥‥83
第75図　第16ブロック出土遺物実測図（２）‥‥84
第76図　第16ブロック出土遺物実測図（３）‥‥85
第77図　第16ブロック出土遺物実測図（４）‥‥86
第78図　第16ブロック出土遺物実測図（５）‥‥87
第79図　第16ブロック出土遺物実測図（６）‥‥88
第80図　第16ブロック出土遺物実測図（７）‥‥89
第81図　第16ブロック出土遺物実測図（８）‥‥90
第82図　第16ブロック出土遺物実測図（９）‥‥91
第83図　第16ブロック出土遺物実測図（10）‥‥92
第84図　第17ブロック出土状況図（１）‥‥‥‥93
第85図　第17ブロック出土状況図（２）‥‥‥‥94
第86図　第17ブロック出土状況図（３）‥‥‥‥95
第87図　第17ブロック出土状況図（４）‥‥‥‥96
第88図　第17ブロック出土遺物実測図（１）‥‥99
第89図　第17ブロック出土遺物実測図（２）‥‥100
第90図　第17ブロック出土遺物実測図（３）‥‥101
第91図　第17ブロック出土遺物実測図（４）‥‥102
第92図　第17ブロック出土遺物実測図（５）‥‥103
第93図　第17ブロック出土遺物実測図（６）‥‥104
第94図　第17ブロック出土遺物実測図（７）‥‥105
第95図　第17ブロック出土遺物実測図（８）‥‥106

第96図　第17ブロック出土遺物実測図（９）‥‥107
第97図　第17ブロック出土遺物実測図（10）‥‥108
第98図　第17ブロック出土遺物実測図（11）‥‥109
第99図　第17ブロック出土遺物実測図（12）‥‥110
第100図　第17ブロック出土遺物実測図（13）‥111
第101図　第17ブロック出土遺物実測図（14）‥112
第102図　第17ブロック出土遺物実測図（15）‥113
第103図　第17ブロック出土遺物実測図（16）‥114
第104図　第17ブロック出土遺物実測図（17）‥115
第105図　第17ブロック出土遺物実測図（18）‥116
第106図　第17ブロック出土遺物実測図（19）‥117
第107図　第18ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥118
第108図　第18ブロック出土遺物実測図（１）‥120
第109図　第18ブロック出土遺物実測図（２）‥121
第110図　第18ブロック出土遺物実測図（３）‥122
第111図　第18ブロック出土遺物実測図（４）‥123
第112図　第18ブロック出土遺物実測図（５）‥124
第113図　第18ブロック出土遺物実測図（６）‥124
第114図　第19ブロック出土状況図（１）‥‥‥125
第115図　第19ブロック出土状況図（２）‥‥‥126
第116図　第19ブロック出土状況図（３）‥‥‥127
第117図　第19ブロック出土状況図（４）‥‥‥128
第118図　第19ブロック出土状況図（５）‥‥‥129
第119図　第19ブロック出土遺物実測図（１）‥130
第120図　第19ブロック出土遺物実測図（２）‥131
第121図　第19ブロック出土遺物実測図（３）‥132
第122図　第19ブロック出土遺物実測図（４）‥133
第123図　第19ブロック出土遺物実測図（５）‥134
第124図　第19ブロック出土遺物実測図（６）‥135
第125図　第19ブロック出土遺物実測図（７）‥136
第126図　第19ブロック出土遺物実測図（８）‥137
第127図　第19ブロック出土遺物実測図（９）‥138
第128図　第19ブロック出土遺物実測図（10）‥139
第129図　第19ブロック出土遺物実測図（11）‥140
第130図　第19ブロック出土遺物実測図（12）‥141
第131図　第19ブロック出土遺物実測図（13）‥142
第132図　第19ブロック出土遺物実測図（14）‥143
第133図　第19ブロック出土遺物実測図（15）‥144
第134図　第20ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥145
第135図　第20ブロック出土遺物実測図（１）‥147
第136図　第20ブロック出土遺物実測図（２）‥148
第137図　第20ブロック出土遺物実測図（３）‥149
第138図　第20ブロック出土遺物実測図（４）‥150
第139図　第20ブロック出土遺物実測図（５）‥151
第140図　第20ブロック出土遺物実測図（６）‥152
第141図　第20ブロック出土遺物実測図（７）‥153
第142図　第21ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥154
第143図　第21ブロック出土遺物実測図（１）‥155
第144図　第21ブロック出土遺物実測図（２）‥156
第145図　第21ブロック出土遺物実測図（３）‥157
第146図　第21ブロック出土遺物実測図（４）‥158
第147図　第21ブロック出土遺物実測図（５）‥159
第148図　第21ブロック出土遺物実測図（６）‥160
第149図　第21ブロック出土遺物実測図（７）‥161
第150図　第21ブロック出土遺物実測図（８）‥162
第151図　第22ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥163
第152図　第22ブロック出土遺物実測図（１）‥164
第153図　第22ブロック出土遺物実測図（２）‥165
第154図　第22ブロック出土遺物実測図（３）‥166
第155図　第22ブロック出土遺物実測図（４）‥167
第156図　第22ブロック出土遺物実測図（５）‥168
第157図　第22ブロック出土遺物実測図（６）‥169
第158図　第22ブロック出土遺物実測図（７）‥170
第159図　第22ブロック出土遺物実測図（８）‥171
第160図　第23ブロック出土状況図（１）‥‥‥172
第161図　第23ブロック出土状況図（２）‥‥‥173
第162図　第23ブロック出土状況図（３）‥‥‥174
第163図　第23ブロック出土状況図（４）‥‥‥175
第164図　第23ブロック出土遺物実測図（１）‥178
第165図　第23ブロック出土遺物実測図（２）‥179
第166図　第23ブロック出土遺物実測図（３）‥180
第167図　第23ブロック出土遺物実測図（４）‥181
第168図　第23ブロック出土遺物実測図（５）‥182
第169図　第23ブロック出土遺物実測図（６）‥183

第170図　第23ブロック出土遺物実測図（７）‥184
第171図　第23ブロック出土遺物実測図（８）‥185
第172図　第23ブロック出土遺物実測図（９）‥186
第173図　第23ブロック出土遺物実測図（10）‥187
第174図　第23ブロック出土遺物実測図（11）‥188
第175図　第23ブロック出土遺物実測図（12）‥189
第176図　第23ブロック出土遺物実測図（13）‥190
第177図　第23ブロック出土遺物実測図（14）‥191
第178図　第23ブロック出土遺物実測図（15）‥192
第179図　第23ブロック出土遺物実測図（16）‥193
第180図　第23ブロック出土遺物実測図（17）‥194
第181図　第23ブロック出土遺物実測図（18）‥195
第182図　第23ブロック出土遺物実測図（19）‥196
第183図　第24ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥197
第184図　第24ブロック出土遺物実測図（１）‥199
第185図　第24ブロック出土遺物実測図（２）‥200
第186図　第24ブロック出土遺物実測図（３）‥201
第187図　第24ブロック出土遺物実測図（４）‥202
第188図　第24ブロック出土遺物実測図（５）‥203
第189図　第24ブロック出土遺物実測図（６）‥204
第190図　第24ブロック出土遺物実測図（７）‥205
第191図　第24ブロック出土遺物実測図（８）‥206
第192図　第24ブロック出土遺物実測図（９）‥207
第193図　第24ブロック出土遺物実測図（10）‥208
第194図　第25ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥209
第195図　第25ブロック出土遺物実測図（１）‥210
第196図　第25ブロック出土遺物実測図（２）‥211
第197図　第25ブロック出土遺物実測図（３）‥212
第198図　第26ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥213
第199図　第26ブロック出土遺物実測図（１）‥214
第200図　第26ブロック出土遺物実測図（２）‥215
第201図　第26ブロック出土遺物実測図（３）‥216
第202図　第26ブロック出土遺物実測図（４）‥217
第203図　第26ブロック出土遺物実測図（５）‥218
第204図　第26ブロック出土遺物実測図（６）‥219
第205図　第26ブロック出土遺物実測図（７）‥220
第206図　第27ブロック出土状況図（１）‥‥‥222
第207図　第27ブロック出土状況図（２）‥‥‥223
第208図　第27ブロック出土遺物実測図（１）‥224
第209図　第27ブロック出土遺物実測図（２）‥225
第210図　第27ブロック出土遺物実測図（３）‥226
第211図　第27ブロック出土遺物実測図（４）‥227
第212図　第27ブロック出土遺物実測図（５）‥228
第213図　第27ブロック出土遺物実測図（６）‥229
第214図　第27ブロック出土遺物実測図（７）‥230
第215図　第27ブロック出土遺物実測図（８）‥231
第216図　第27ブロック出土遺物実測図（９）‥232
第217図　第27ブロック出土遺物実測図（10）‥233
第218図　第28ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥234
第219図　第28ブロック出土遺物実測図（１）‥236
第220図　第28ブロック出土遺物実測図（２）‥237
第221図　第28ブロック出土遺物実測図（３）‥238
第222図　第28ブロック出土遺物実測図（４）‥239
第223図　第28ブロック出土遺物実測図（５）‥240
第224図　第28ブロック出土遺物実測図（６）‥241
第225図　第28ブロック出土遺物実測図（７）‥242
第226図　第28ブロック出土遺物実測図（８）‥243
第227図　第28ブロック出土遺物実測図（９）‥244
第228図　第28ブロック出土遺物実測図（10）‥245
第229図　第29ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥246
第230図　第29ブロック出土遺物実測図（１）‥247
第231図　第29ブロック出土遺物実測図（２）‥248
第232図　第30ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥249
第233図　第30ブロック出土遺物実測図（１）‥250
第234図　第30ブロック出土遺物実測図（２）‥251
第235図　第30ブロック出土遺物実測図（３）‥252
第236図　第31ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥253
第237図　第31ブロック出土遺物実測図（１）‥254
第238図　第31ブロック出土遺物実測図（２）‥255
第239図　第32ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥256
第240図　第32ブロック出土遺物実測図‥‥‥‥‥‥‥‥257
第241図　第33ブロック出土状況図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥258
第242図　第33ブロック出土遺物実測図‥‥‥‥‥‥‥‥259
第243図　第34ブロック出土状況図（１）‥‥‥261

第244図　第34ブロック出土状況図（２）……262
第245図　第34ブロック出土状況図（３）……263
第246図　第34ブロック出土状況図（４）……264
第247図　第34ブロック出土状況図（５）……265
第248図　第34ブロック出土状況図（６）……266
第249図　第34ブロック出土状況図（７）……267
第250図　第34ブロック出土遺物実測図（１）‥269
第251図　第34ブロック出土遺物実測図（２）‥270
第252図　第34ブロック出土遺物実測図（３）‥271
第253図　第34ブロック出土遺物実測図（４）‥272
第254図　第34ブロック出土遺物実測図（５）‥273
第255図　第34ブロック出土遺物実測図（６）‥274
第256図　第34ブロック出土遺物実測図（７）‥275
第257図　第34ブロック出土遺物実測図（８）‥276
第258図　第34ブロック出土遺物実測図（９）‥277
第259図　第34ブロック出土遺物実測図（10）‥278
第260図　第34ブロック出土遺物実測図（11）‥279
第261図　第34ブロック出土遺物実測図（12）‥280
第262図　第34ブロック出土遺物実測図（13）‥281
第263図　第34ブロック出土遺物実測図（14）‥282
第264図　第34ブロック出土遺物実測図（15）‥283
第265図　第34ブロック出土遺物実測図（16）‥284
第266図　第34ブロック出土遺物実測図（17）‥285
第267図　第34ブロック出土遺物実測図（18）‥286
第268図　第34ブロック出土遺物実測図（19）‥287
第269図　第35ブロック出土状況図……288
第270図　第35ブロック出土遺物実測図（１）‥289
第271図　第35ブロック出土遺物実測図（２）‥290
第272図　第36ブロック出土状況図……291
第273図　第36ブロック出土遺物実測図（１）‥292
第274図　第36ブロック出土遺物実測図（２）‥293
第275図　第36ブロック出土遺物実測図（３）‥294
第276図　第37ブロック出土状況図……295
第277図　第37ブロック出土遺物実測図（１）‥296
第278図　第37ブロック出土遺物実測図（２）‥297
第279図　第38ブロック出土状況図……298
第280図　第38ブロック及び単独出土遺物実測図　‥299
第281図　陥穴・土坑……340
第282図　縄文土器（１）……342
第283図　縄文土器（２）……343
第284図　縄文土器（３）……344
第285図　縄文土器（４）……345
第286図　縄文土器（５）……346
第287図　縄文土器（６）……348
第288図　縄文時代石器……351
第289図　塚（１）……354
第290図　塚（２）……355
第291図　塚（３）……356
第292図　塚（４）……357
第293図　塚（５）……358
第294図　塚（６）……359
第295図　塚出土銭貨……360
第296図　遺構外出土遺物……361

表　目　次

第１表　旧石器時代　第１ブロック石器観察表‥301
第２表　旧石器時代　第２ブロック石器観察表‥301
第３表　旧石器時代　第３ブロック石器観察表‥301
第４表　旧石器時代　第４ブロック石器観察表‥302
第５表　旧石器時代　第５ブロック石器観察表‥302
第６表　旧石器時代　第６ブロック石器観察表‥303
第７表　旧石器時代　第７ブロック石器観察表‥303
第８表　旧石器時代　第８ブロック石器観察表‥303
第９表　旧石器時代　第９ブロック石器観察表‥304
第10表　旧石器時代　第10ブロック石器観察表‥304
第11表　旧石器時代　第11ブロック石器観察表‥305
第12表　旧石器時代　第12ブロック石器観察表‥305

第13表　旧石器時代　第13ブロック石器観察表 ‥306
第14表　旧石器時代　第14ブロック石器観察表 ‥306
第15表　旧石器時代　第15ブロック石器観察表 ‥307
第16表　旧石器時代　第16ブロック石器観察表 ‥308
第17表　旧石器時代　第17ブロック石器観察表 ‥309
第18表　旧石器時代　第18ブロック石器観察表 ‥311
第19表　旧石器時代　第19ブロック石器観察表 ‥312
第20表　旧石器時代　第20ブロック石器観察表 ‥314
第21表　旧石器時代　第21ブロック石器観察表 ‥315
第22表　旧石器時代　第22ブロック石器観察表 ‥316
第23表　旧石器時代　第23ブロック石器観察表 ‥317
第24表　旧石器時代　第24ブロック石器観察表 ‥319
第25表　旧石器時代　第25ブロック石器観察表 ‥320
第26表　旧石器時代　第26ブロック石器観察表 ‥320
第27表　旧石器時代　第27ブロック石器観察表 ‥321
第28表　旧石器時代　第28ブロック石器観察表 ‥322
第29表　旧石器時代　第29ブロック石表観察表 ‥323
第30表　旧石器時代　第30ブロック石器観察表 ‥323
第31表　旧石器時代　第31ブロック石器観察表 ‥323
第32表　旧石器時代　第32ブロック石器観察表 ‥324
第33表　旧石器時代　第33ブロック石器観察表 ‥324
第34表　旧石器時代　第34ブロック石器観察表 ‥325
第35表　旧石器時代　第35ブロック石器観察表 ‥327
第36表　旧石器時代　第36ブロック石器観察表 ‥328
第37表　旧石器時代　第37ブロック石器観察表 ‥328
第38表　旧石器時代　第38ブロック他石器観察表‥328
第39表　旧石器時代　第 1 ブロック石器組成表 ‥329
第40表　旧石器時代　第 2 ブロック石器組成表 ‥329
第41表　旧石器時代　第 3 ブロック石器組成表 ‥329
第42表　旧石器時代　第 4 ブロック石器組成表 ‥329
第43表　旧石器時代　第 5 ブロック石器組成表 ‥330
第44表　旧石器時代　第 6 ブロック石器組成表 ‥330
第45表　旧石器時代　第 7 ブロック石器組成表 ‥330
第46表　旧石器時代　第 8 ブロック石器組成表 ‥330
第47表　旧石器時代　第 9 ブロック石器組成表 ‥331
第48表　旧石器時代　第10ブロック石器組成表 ‥331
第49表　旧石器時代　第11ブロック石器組成表 ‥331
第50表　旧石器時代　第12ブロック石器組成表 ‥331
第51表　旧石器時代　第13ブロック石器組成表 ‥332
第52表　旧石器時代　第14ブロック石器組成表 ‥332
第53表　旧石器時代　第15ブロック石器組成表 ‥332
第54表　旧石器時代　第16ブロック石器組成表 ‥332
第55表　旧石器時代　第17ブロック石器組成表 ‥333
第56表　旧石器時代　第18ブロック石器組成表 ‥333
第57表　旧石器時代　第19ブロック石器組成表 ‥333
第58表　旧石器時代　第20ブロック石器組成表 ‥333
第59表　旧石器時代　第21ブロック石器組成表 ‥334
第60表　旧石器時代　第22ブロック石器組成表 ‥334
第61表　旧石器時代　第23ブロック石器組成表 ‥334
第62表　旧石器時代　第24ブロック石器組成表 ‥334
第63表　旧石器時代　第25ブロック石器組成表 ‥335
第64表　旧石器時代　第26ブロック石器組成表 ‥335
第65表　旧石器時代　第27ブロック石器組成表 ‥335
第66表　旧石器時代　第28ブロック石器組成表 ‥335
第67表　旧石器時代　第29ブロック石器組成表 ‥336
第68表　旧石器時代　第30ブロック石器組成表 ‥336
第69表　旧石器時代　第31ブロック石器組成表 ‥336
第70表　旧石器時代　第32ブロック石器組成表 ‥336
第71表　旧石器時代　第33ブロック石器組成表 ‥337
第72表　旧石器時代　第34ブロック石器組成表 ‥337
第73表　旧石器時代　第35ブロック石器組成表 ‥337
第74表　旧石器時代　第36ブロック石器組成表 ‥337
第75表　旧石器時代　第37ブロック石器組成表 ‥338
第76表　旧石器時代　第38ブロック石器組成表 ‥338
第77表　縄文時代石器属性表 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥350
第78表　塚一覧表 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥352

図 版 目 次

図版１　周辺航空写真
図版２　環状ブロック出土状況、９Ｅ－45・56プレ遺物出土状況、７Ｇ－00付近プレ遺物出土状況、環状ブロック全景
図版３　第１ブロック出土遺物写真、第２ブロック出土遺物写真、第３ブロック出土遺物写真（１）
図版４　第３ブロック出土遺物写真（２）
図版５　第４ブロック出土遺物写真（１）
図版６　第４ブロック出土遺物写真（２）、第５ブロック出土遺物写真、第６ブロック出土遺物写真（１）
図版７　第６ブロック出土遺物写真（２）、第７ブロック出土遺物写真、第８ブロック出土遺物写真（１）
図版８　第８ブロック出土遺物写真（２）
第９ブロック出土遺物写真（１）
図版９　第９ブロック出土遺物写真（２）
図版10　第10ブロック出土遺物写真
第11ブロック出土遺物写真
図版11　第12ブロック出土遺物写真
第13ブロック出土遺物写真
図版12　第14ブロック出土遺物写真
第15ブロック出土遺物写真（１）
図版13　第15ブロック出土遺物写真（２）
図版14　第15ブロック出土遺物写真（３）
第16ブロック出土遺物写真（１）
図版15　第16ブロック出土遺物写真（２）
図版16　第16ブロック出土遺物写真（３）
第17ブロック出土遺物写真（１）
図版17　第17ブロック出土遺物写真（２）
図版18　第17ブロック出土遺物写真（３）
図版19　第17ブロック出土遺物写真（４）
図版20　第17ブロック出土遺物写真（５）
第18ブロック出土遺物写真（１）
図版21　第18ブロック出土遺物写真（２）
図版22　第18ブロック出土遺物写真（３）
第19ブロック出土遺物写真（１）
図版23　第19ブロック出土遺物写真（２）
図版24　第19ブロック出土遺物写真（３）
図版25　第19ブロック出土遺物写真（４）
図版26　第20ブロック出土遺物写真（１）
図版27　第20ブロック出土遺物写真（２）
第21ブロック出土遺物写真（１）
図版28　第21ブロック出土遺物写真（２）
第22ブロック出土遺物写真（１）
図版29　第22ブロック出土遺物写真（２）
図版30　第23ブロック出土遺物写真（１）
図版31　第23ブロック出土遺物写真（２）
図版32　第23ブロック出土遺物写真（３）
図版33　第24ブロック出土遺物写真（１）
図版34　第24ブロック出土遺物写真（２）
第25ブロック出土遺物写真
図版35　第26ブロック出土遺物写真
図版36　第27ブロック出土遺物写真（１）
図版37　第27ブロック出土遺物写真（２）
第28ブロック出土遺物写真（１）
図版38　第28ブロック出土遺物写真（２）
第29ブロック出土遺物写真（１）
図版39　第29ブロック出土遺物写真（２）
第30ブロック出土遺物写真
第31ブロック出土遺物写真（１）
図版40　第31ブロック出土遺物写真（２）
第32ブロック出土遺物写真
第33ブロック出土遺物写真
第34ブロック出土遺物写真（１）
図版41　第34ブロック出土遺物写真（２）
図版42　第34ブロック出土遺物写真（３）

図版43　第34ブロック出土遺物写真（４）
図版44　第34ブロック出土遺物写真（５）
図版45　第34ブロック出土遺物写真（６）
　　第35ブロック出土遺物写真
　　第36ブロック出土遺物写真（１）
図版46　第36ブロック出土遺物写真（２）
　　第37ブロック出土遺物写真
　　第38ブロック及び単独出土遺物写真
図版47　縄文時代晩期包含層出土状況、土坑001・
　　002・003・004・005・006・007
図版48　縄文土器（１）
図版49　縄文土器（２）
図版50　縄文土器（３）
図版51　縄文土器（４）
図版52　縄文土器（５）
図版53　縄文土器（６）
図版54　縄文石器
図版55　千神塚群全景・塚１・塚３・塚４・塚17
図版56　塚21・塚26・塚１土層断面・塚２土層断
　　面・塚４土層断面・塚13土層断面
図版57　塚出土銭貨・遺構外出土遺物

第1章　はじめに

第1節　調査の概要

日本道路公団は、首都圏の道路交通渋滞の緩和解消、並びに東京地域への不必要な自動車の流入対策として、首都圏中央連絡自動車道（略称－圏央道）を建設することとなった。その一環として千葉東金道路の終点である東金市から北東に延伸を計画し、松尾町谷津までの約16.1㎞の千葉東金道路（二期）の建築を決定した。この道路建設に際して、日本道路公団は周辺の自然・文化環境保護に最も注意を払い、事業地内に所在する埋蔵文化財の所在の有無が千葉県教育委員会に照会された。これに対し千葉県教育委員会は、区域内には39か所の遺跡がある旨回答した。協議の結果、その取り扱いについては事業の変更が困難なため、現状保存は不可能であり、事業地内に所在する埋蔵文化財は記録保存の措置を講ずることとなった。

これにより、千葉県教育委員会の指示により、発掘調査機関は財団法人千葉県文化財センターが指名され、日本道路公団と財団法人千葉県文化財センターとの間で委託契約が締結された。ここに平成4年度から発掘調査が実施されることとなり、平成5年1月から山武郡山武町の栗焼棒遺跡の発掘調査が開始された。以後平成9年度までの計6年度にわたる発掘調査が行われた。

四ツ塚遺跡の発掘調査は、平成7年4月から開始され、平成8年2月までに調査対象面積33,570㎡の調査を終了した。調査の結果、旧石器時代の石器集中地点38か所、縄文時代の陥穴3基、土坑4基、縄文時代晩期土器の集中地点2か所、古墳時代後期土器集中地点1か所、近世の塚15基等の遺構・遺物が検出することができた。特に、旧石器時代については、2つの環状ブロックを含む38の石器集中地点が検出され、質量とも県内有数の石器群であり、貴重な資料を得ることができた。

整理作業は平成9年度から開始されて、平成12年度をもって報告書の刊行の運びとなった。

発掘調査及び整理作業に係わる各年度の組織、担当職員及び作業内容は、下記のとおりである。

平成7年度

期　　間　　平成7年4月1日～平成8年2月28日

組　　織　　調査部長　西山太郎、　成田調査事務所長　石田廣美

担当職員　研究員　平松長寿

内　　容　　発掘調査　確認調査　上層3,360㎡　　下層1,668㎡

本調査　　上層　900㎡　　下層3,284㎡

平成9年度

期　　間　　平成9年4月1日～平成10年3月31日

組　　織　　調査部長　西山太郎、　東部調査事務所長　石田廣美

担当職員　矢本節朗

内　　容　　記録整理から実測の一部まで

平成10年度

期　　間　　平成10年4月1日～平成11年3月31日

組　　織　　調査部長　沼澤　豊、　東部調査事務所長　三浦和信

担当職員　矢本節朗

内　　容　実測の一部

平成11年度

期　　間　平成11年度４月１日～３月31日

組　　織　調査部長　沼澤　豊、　東部調査事務所長　三浦和信

担当職員　西口　徹

内　　容　実測の一部から原稿の一部まで

平成12年度

期　　間　平成12年度４月１日～５月31日

組　　織　調査部長　沼澤　豊、　東部調査事務所長　折原　繁

担当職員　鈴木弘幸

内　　容　原稿の一部から刊行まで

第２節　調査の方法

発掘区は、国土地理院国家座標を基準とし、40m×40mの方眼の大グリッドを東西12区画、南北13区画設定し、西から東に向かって１・２・３…、北から南に向かってＡ・Ｂ・Ｃ…とし、１Ａ、２Ｂと呼称した。さらに、大グリッド内を４m方眼の小グリッドに分割し、西から東へ00・01・02…、北から南へ00・10・20…とした。したがって、各々の小グリッドは２Ｃ－50、３Ｇ－99となる。

上層の確認調査は、ほぼ南北に幅２mのトレンチを10%の割合で設定し、傾斜部については、高位～低位に設定した。遺構は、縄文時代の土坑１基が検出された。遺物は、縄文時代後晩期の土器の集中地点が２か所から検出された。また古墳時代後期の土器・土錘等の遺物集中地点が１か所検出された。その結果、縄文時代晩期の包含層として２か所、古墳時代の祭祀遺跡の可能性から１か所の本調査が実施された。また塚は、調査区内にある15基について調査を実施した。

下層の確認調査は、調査区域全域に２m×２mのグリッドを均等に調査対象面積の４%に設定して行った。その結果、25か所のグリッドから石器が98点出土し、さらにその周辺にグリッドを増やした結果、石器の出土総点数は224点となり、調査確認面積も調査対象面積の５%となった。

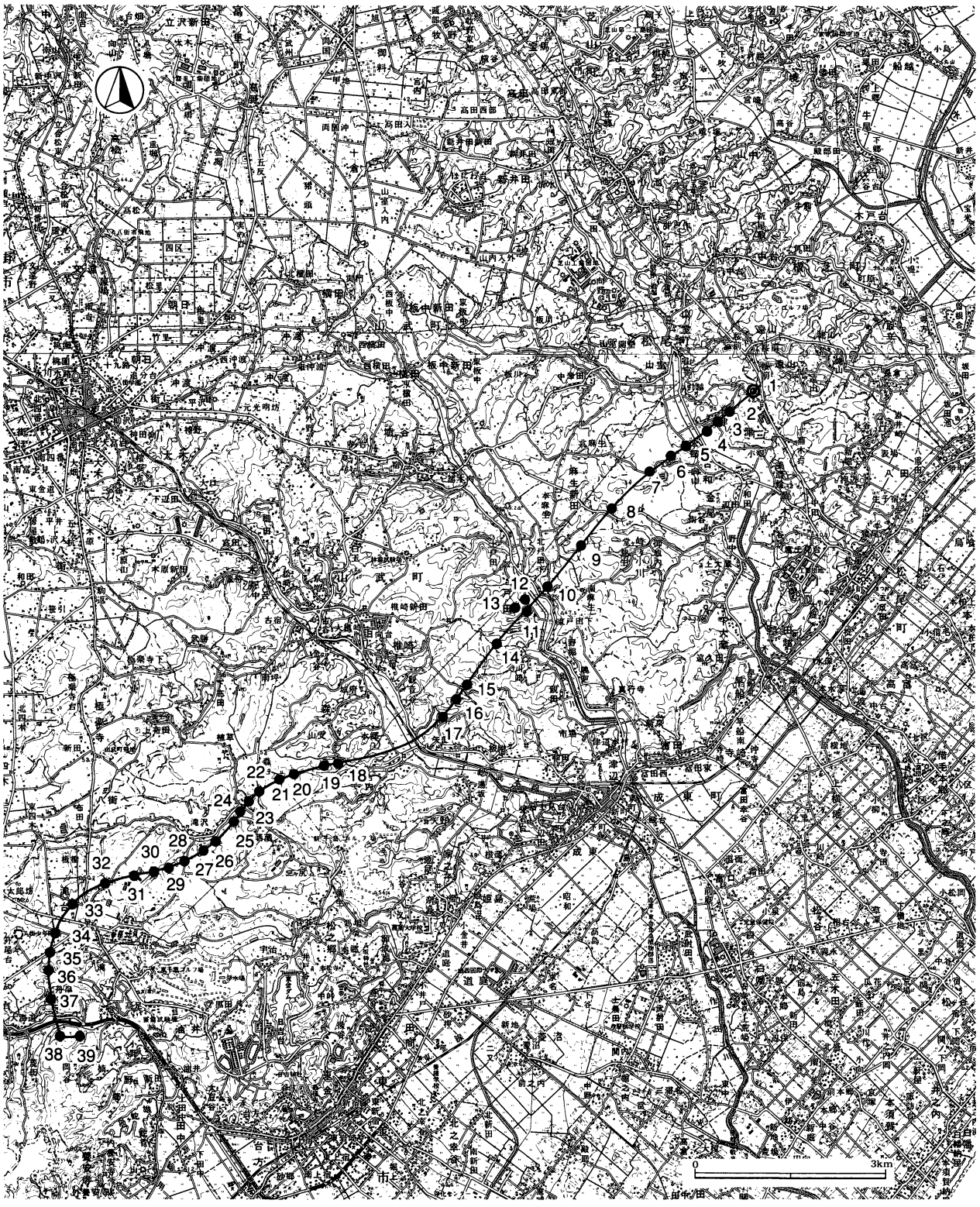
確認調査の結果をうけて、上層900㎡、下層3,284㎡の本調査を行うこととなった。

第３節　遺跡の位置と環境

四ツ塚遺跡は、千葉県山武郡松尾町谷津字四ツ塚141－１と山武郡横芝町遠山字胡麻作278－６にまたがり所在する。太平洋に流入する木戸川流域左岸の標高40～44mの台地上に位置し、同川の開析谷に突出する舌状台地の付け根部分に広がっている。

ここでは、木戸川流域で本遺跡に関する主な時期の周辺遺跡を概観しておきたい。

旧石器時代の主な遺跡としては、Ⅶ層段階の楔形石器を多量に出土した横芝町遠山天ノ作遺跡やⅣ層下層・Ⅴ層段階のブロックが多数検出された横芝町上仁羅台遺跡、西長山遺跡[1]が知られている。また千葉東金道路（二期）路線内の遺跡である栗焼棒遺跡・久保谷遺跡・一本松遺跡・赤羽根遺跡において、石器集中地点が検出されている。特に山武郡山武町栗焼棒遺跡では、Ⅶ層下部～Ⅸ層上部を中心に石器集中が



1．四ツ塚遺跡　2．千神塚遺跡　3．大谷遺跡　4．中谷遺跡　5．赤羽根遺跡　6．大山遺跡
7．榎谷遺跡　8．一本松遺跡　9．大長作遺跡　10．久保谷遺跡　11．小川崎台遺跡　12．向畑遺跡
13．里守遺跡　14．上人塚遺跡　15．東嵐山遺跡　16．駄の塚遺跡　17．栗焼棒遺跡　18．道塚遺跡
19．原山遺跡　20．小田山遺跡　21．鹿穴遺跡　22．ヲフサ野遺跡　23．岡田山遺跡　24．岡田遺跡
25．酒蔵城遺跡　26．油谷（2）遺跡　27．油谷（1）遺跡　28．市谷遺跡　29．新堀遺跡　30．万谷遺跡
31．万才楽遺跡　32．板橋遺跡　33．滝台遺跡　34．ビンダライ遺跡　35．丹尾台遺跡　36．大谷台遺跡
37．前畑遺跡　38．羽戸遺跡　39．尾亭遺跡

第1図　千葉東金道路二期路線図

第2図　遺跡周辺地形図

4地点で検出され、楔形石器、ナイフ形石器、彫刻刀形石器などが出土している。[2] また赤羽遺跡でも低位河岸段丘上の緩斜面の第2黒色帯上層から総遺物量が8,000点以上の数で検出されている。赤羽遺跡の石器群は、楔形石器の素材となる小楕円礫を主体とする石器群で構成されている。

縄文時代では、本遺跡から縄文時代晩期の時期の土器の集中地点が2か所で検出されており、貴重な資料といえよう。なお、周辺の縄文時代晩期の遺跡としては、同松尾町では本遺跡より300mの東金道路二期路線上の大谷遺跡から安行・姥山・千網式[4]が、南へ2kmの名城遺跡から荒海式に比定される土器群が出土している。[5] また横芝町山武姥山貝塚から安行・千網・荒海式などの他、標識遺跡として著名なように姥山式の土器群が見られる。[6] 同町の鯉ヶ窪遺跡では安行・姥山式の土器群が見られる。[7]

中・近世の木戸川水系の塚群としては、松尾町金尾古墳群に6基の塚群、松尾町大蔵古墳群に8基の塚群、松尾町下大蔵古墳群に5基の塚群、松尾町小川塚群に19基の塚群、松尾町馬場A遺跡に3基の塚群などが存在する。

このように四ツ塚遺跡周辺では各時代にわたり遺跡が存在する。特に今回報告する四ツ塚遺跡では旧石器時代Ⅶ～Ⅸ層にかけて2つの大規模な環状ブロックが検出されており、周辺地域での当該時期の遺跡の内容の解明だけでなく環状ブロック形成の過程の解明からも重要な遺跡になると思われる。

注

1）財団法人千葉県文化財センター　1992『上仁羅台遺跡・西長山野遺跡・東長山野遺跡－横芝工業団地埋蔵文化財調査報告書－』

2）財団法人千葉県文化財センター　1998『千葉東金道路（二期）埋蔵文化財調査報告書1－山武郡栗焼棒遺跡－』

3）財団法人千葉県文化財センター　1996『千葉県文化財センター年報　№21』

4）財団法人千葉県文化財センター　1998『千葉東金道路（二期）埋蔵文化財調査報告書2－東金市大谷台遺跡他18遺跡』

5）財団法人千葉県文化財センター　1998『主要地方道成田松尾線Ⅷ－松尾町名城遺跡－』

6）財団法人千葉県文化財センター　1990『横芝町山武姥山貝塚確認調査報告書』

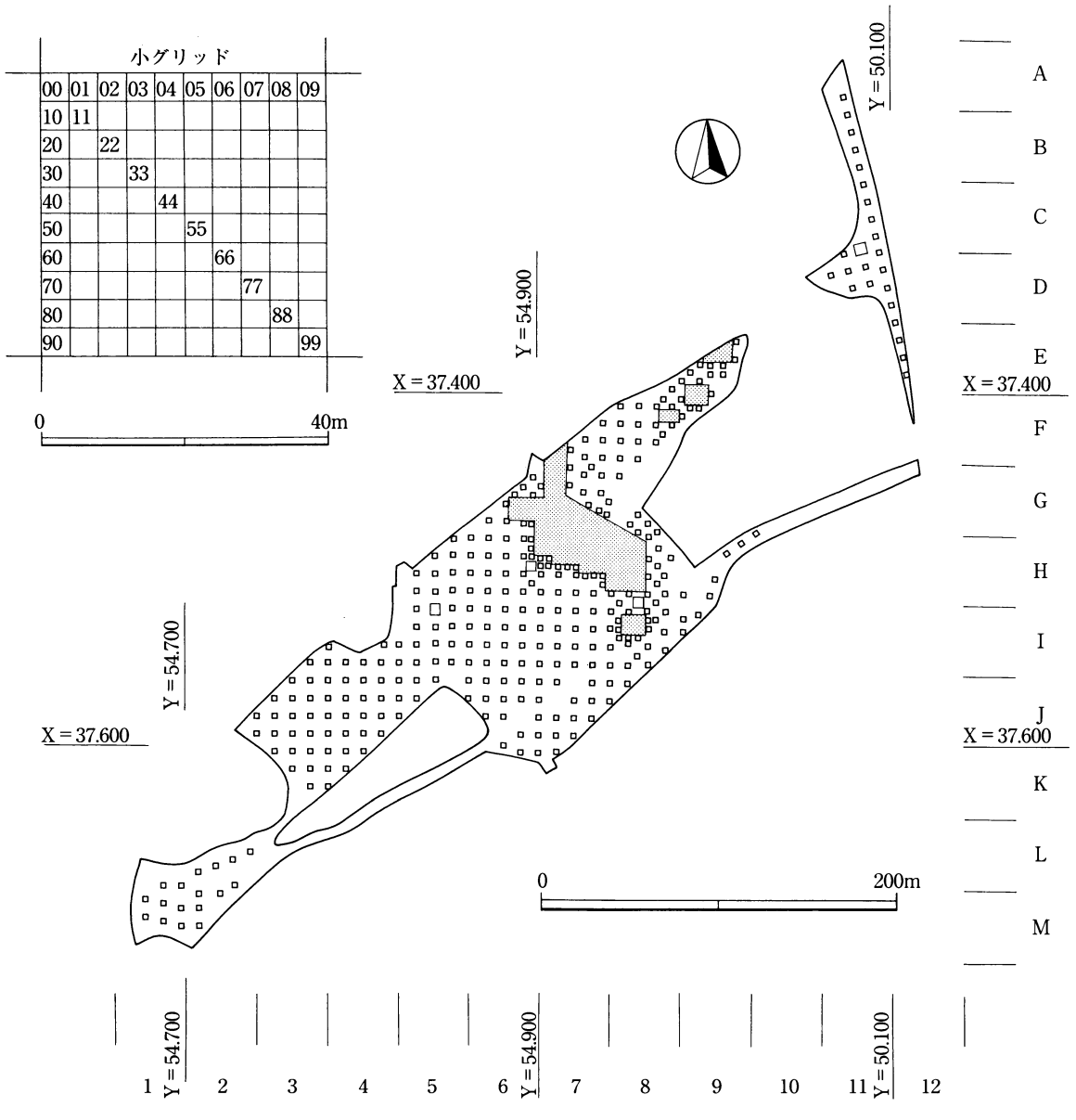
7）財団法人千葉県文化財センター　1986『主要地方道成田松尾線Ⅲ』

第２章　四ツ塚遺跡

第１節　旧石器時代

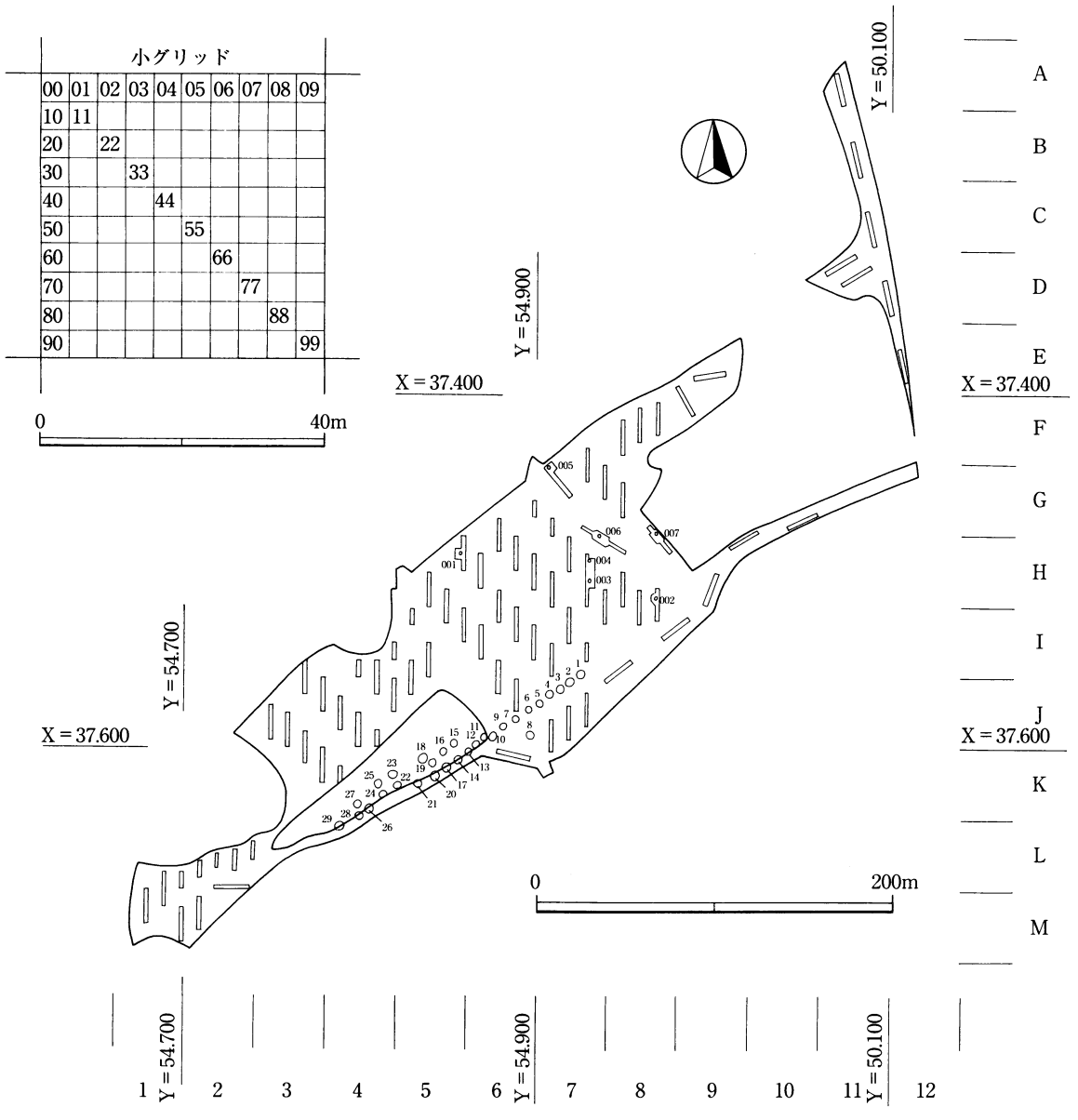
（１）概要（第３、第５～13図）

旧石器時代のブロックは38か所検出された（第６図）。また、確認調査時にはこの他に数カ所での単独出土の遺物が検出されている。これらのブロックは遺跡北側からの小支谷が西方向にノッチ状に入り込む谷頭を取り囲むように分布している。これらはⅦ層～Ⅸ層に帰属する石器を主体とする石器群によって大半をしめる。全体での出土石器の総点数は約2,200点を数える。その主要な部分は、第２黒色帯下部になる。なかでも注目に値するのは、Ⅸ層～Ⅹ層を中心に各ブロックが環状に展開する、いわゆる環状ブロックを形成することである。しかも同一台地上に規模の違いはあるものの、隣接して環状ブロックが検出された。

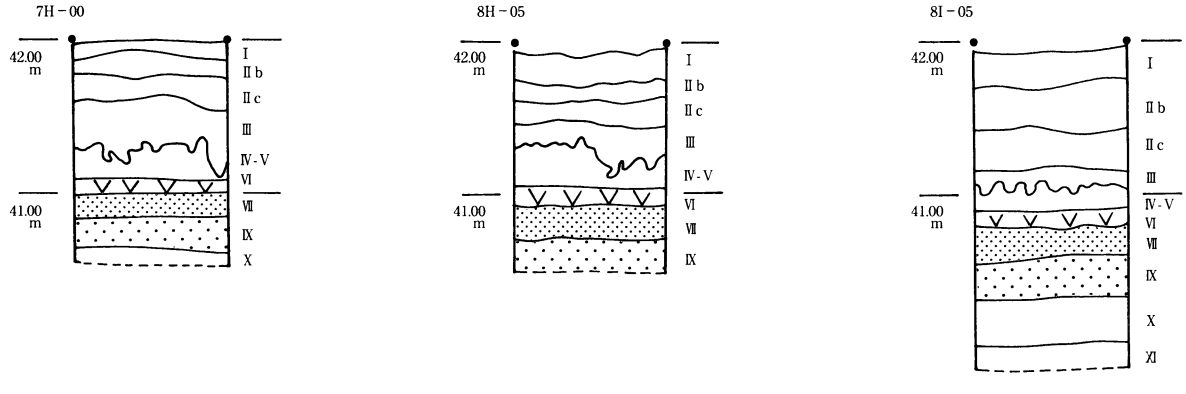


第３図　下層調査状況

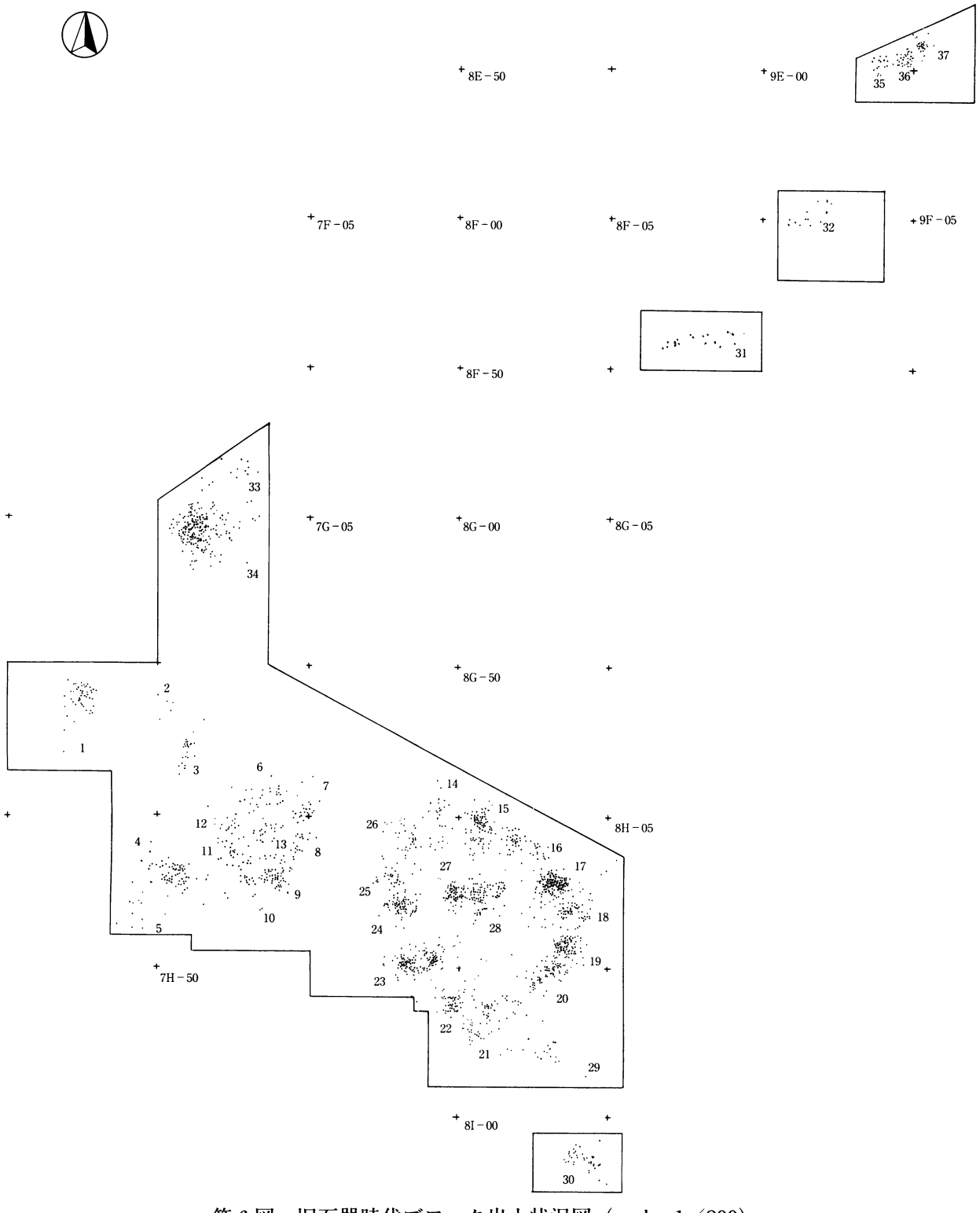
立川ロームの基本層序は北側の台地平坦部分に位置する部分を掲載した。（第５図）



第４図　上層調査状況・遺構等配置図



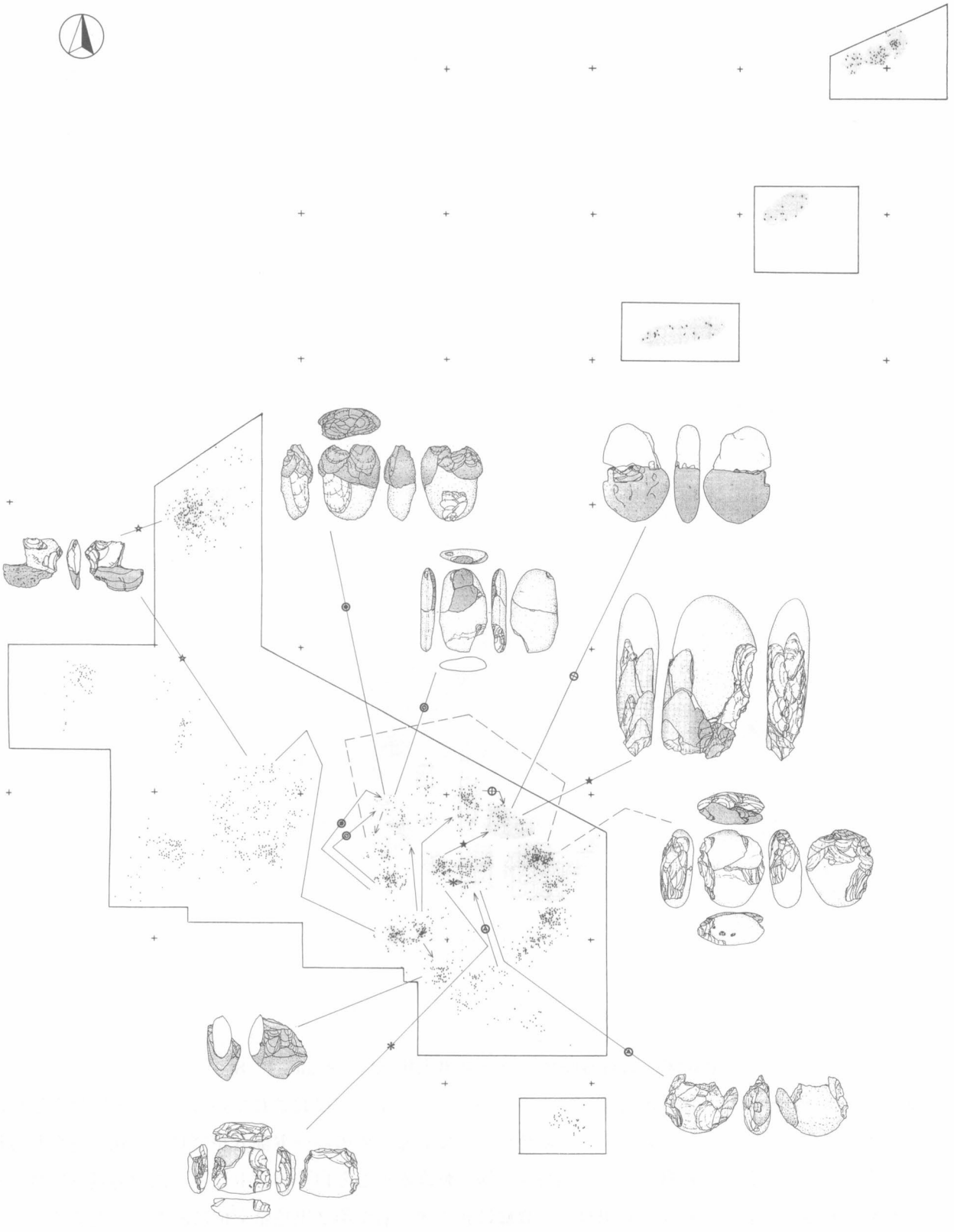
第５図　基本層序（scale　1／40）



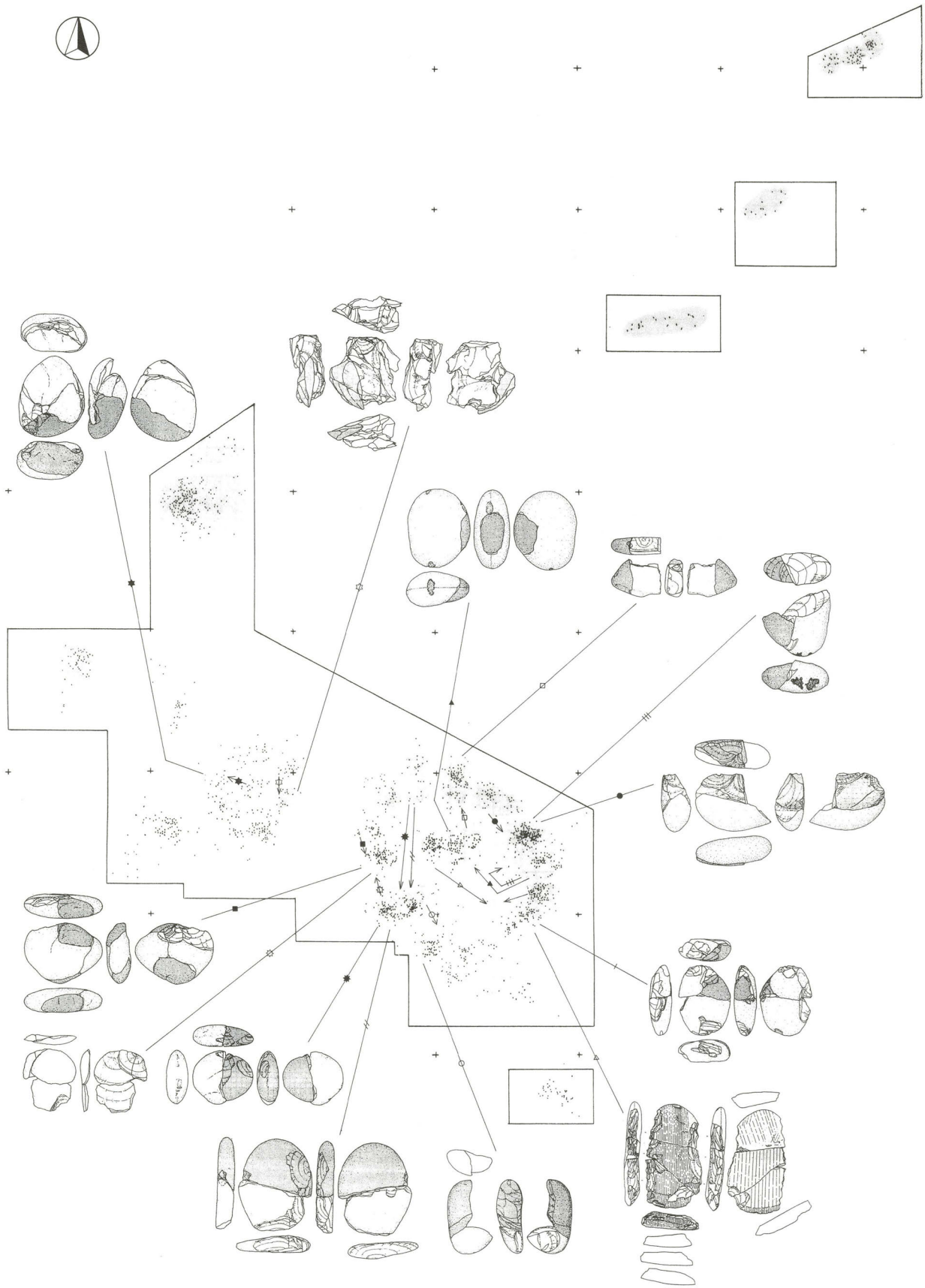
第6図　旧石器時代ブロック出土状況図（scale　1／800）

Ⅲ層（ソフトローム）は比較的薄く、表土～新期テフラによって浸食されている。Ⅳ～Ⅴ層は上半分はソフト化しており、下半分についてもやや暗色がかっているもののハード部分がブロック状に見られる程度である。Ⅵ層はいわゆる姶良テフラに相当する層で乾燥が進むと白く浮き上がる。比較的残りは良く分層も容易である。Ⅶ層はいわゆる立川ロームⅦ層に相当する層で第2黒色帯上位にあたる。当遺跡では若干暗色化してはいるものの黒色帯と呼べるほどは進んでいない。また環状ブロックの南側によった部分で

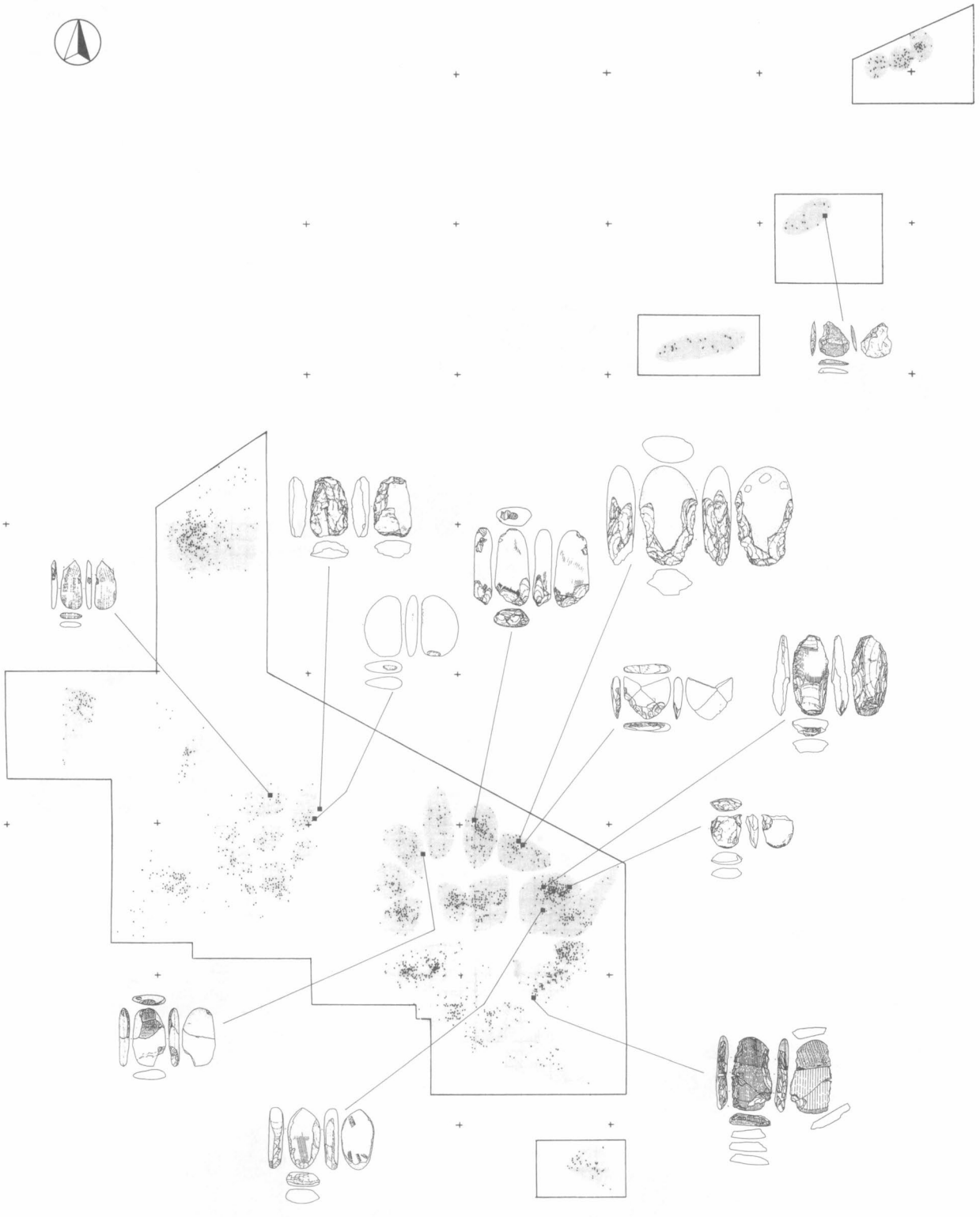
は分層が困難なほど水漬け（茶色化）ローム化が進行している。Ⅸ層～Ⅹ層は立川ローム最下部に相当し、第２黒色帯下部にあたる。北側部分では分層は比較的容易であるが、Ⅶ層同様に遺跡南側では場所によって水漬けローム化が進行して分層は不可能である。



第７図　旧石器時代ブロック間接合資料（1）（scale　1／800）

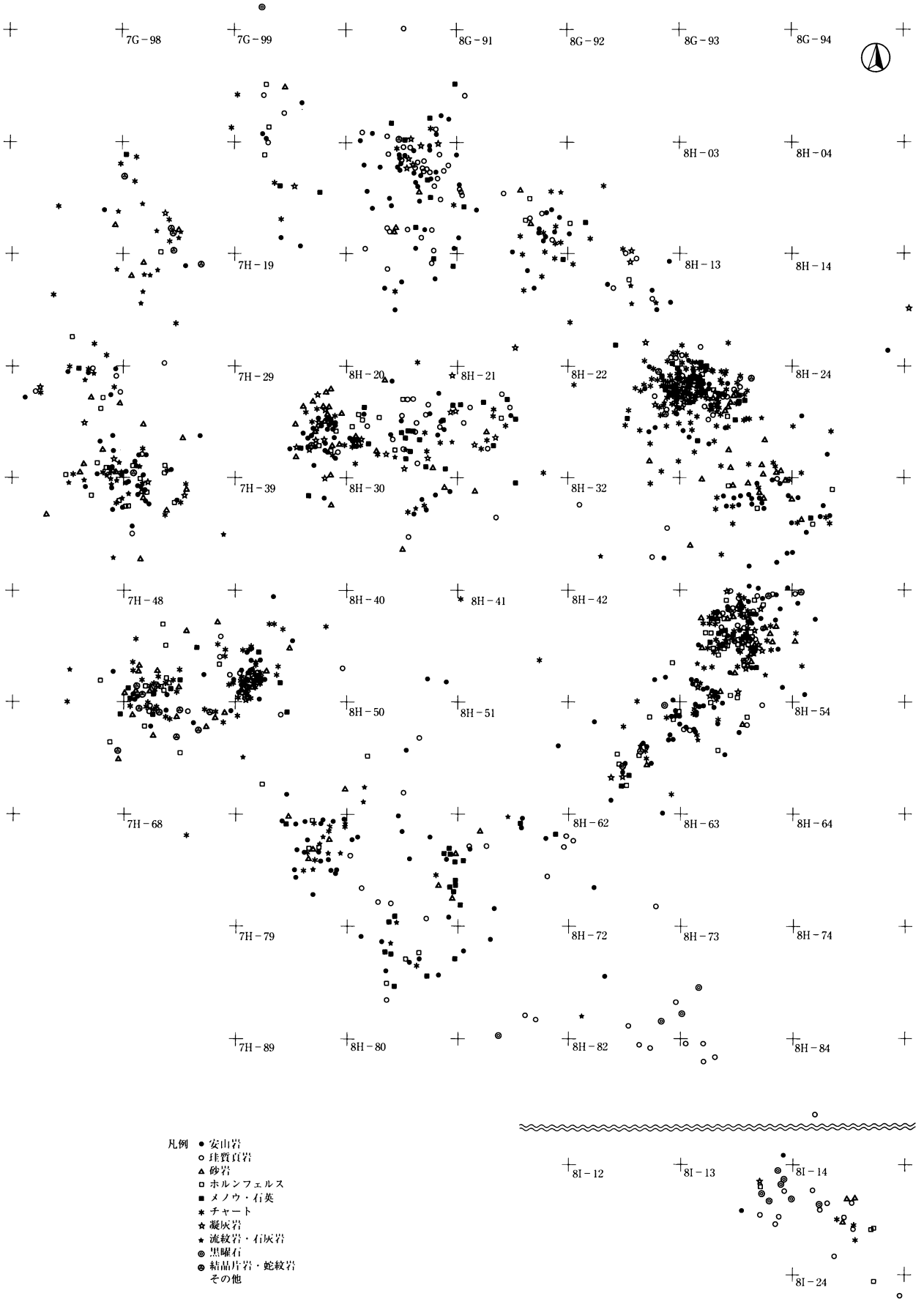


第８図　旧石器時代ブロック間接合資料（2）（scale　1／800）



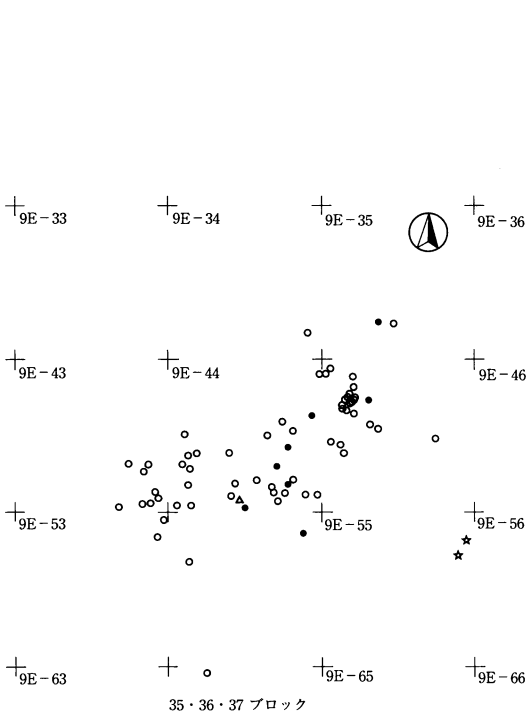
第 9 図　旧石器時代石斧等出土状況図（scale　1／800）

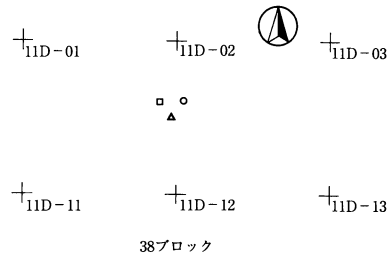
第10図　1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13 ブロック　石材別出土状況図（scale 1／200）

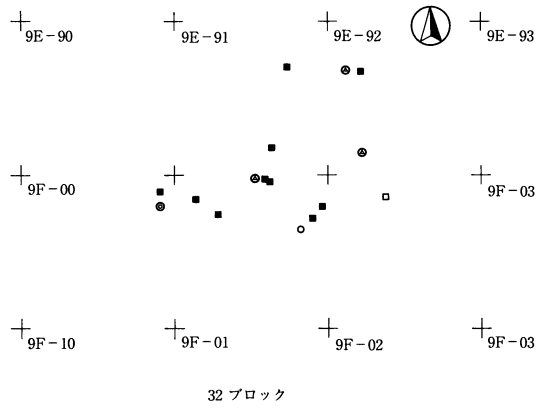


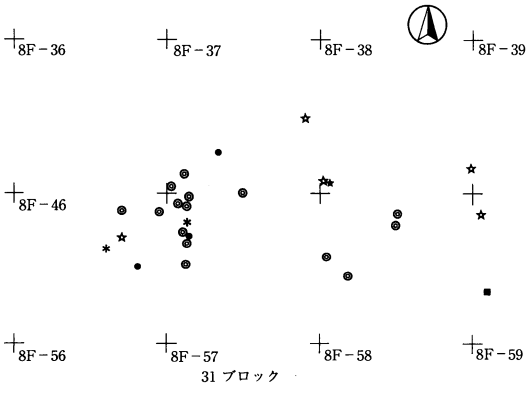
第11図　14・15・16・17・18・19・20・21・22・23・24・25・26・27・28・29・30 ブロック

石材別出土状況図（scale　1／200）



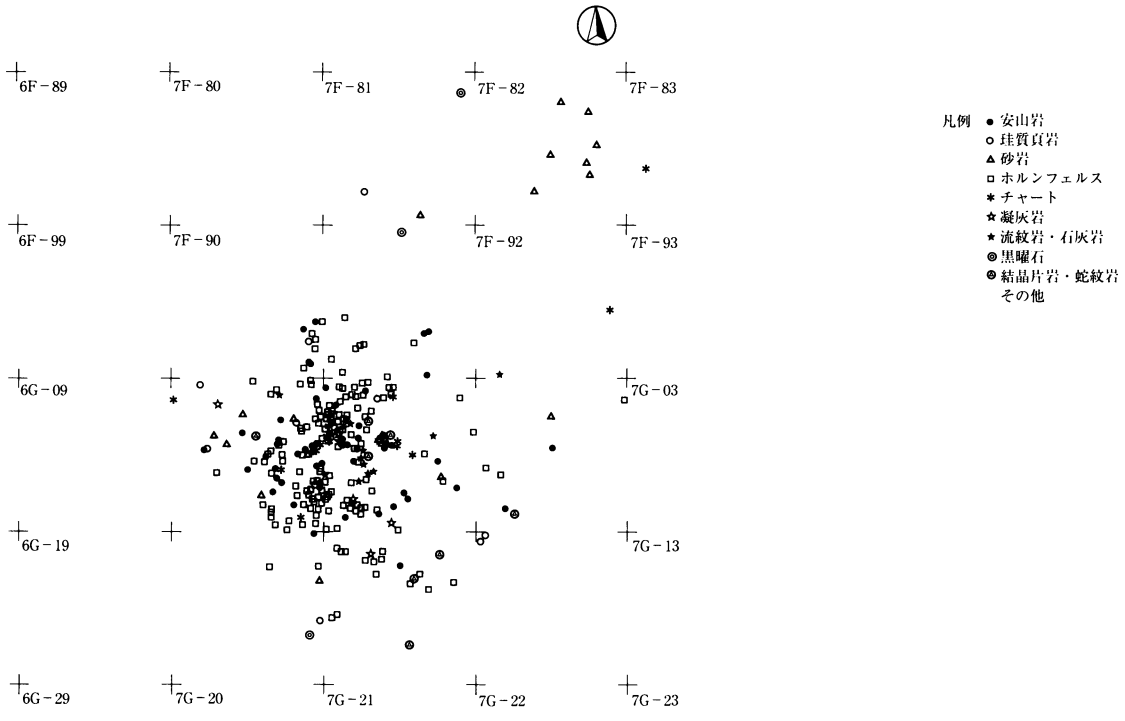






凡例
- ● 安山岩
- ○ 珪質頁岩
- △ 砂岩
- □ ホルンフェルス
- ■ メノウ・石英
- ✱ チャート
- ☆ 凝灰岩
- ★ 流紋岩・石灰岩
- ◎ 黒曜石
- ◎ 結晶片岩・蛇紋岩・その他

第12図　31･32･35～37･38 ブロック　石材別出土状況図（scale　1／200）



第13図　33･34 ブロック　石材別出土状況図（scale　1／200）

（2）遺構・遺物

第1ブロック（第14～第16図1～18、写真図版3、第1、39表）

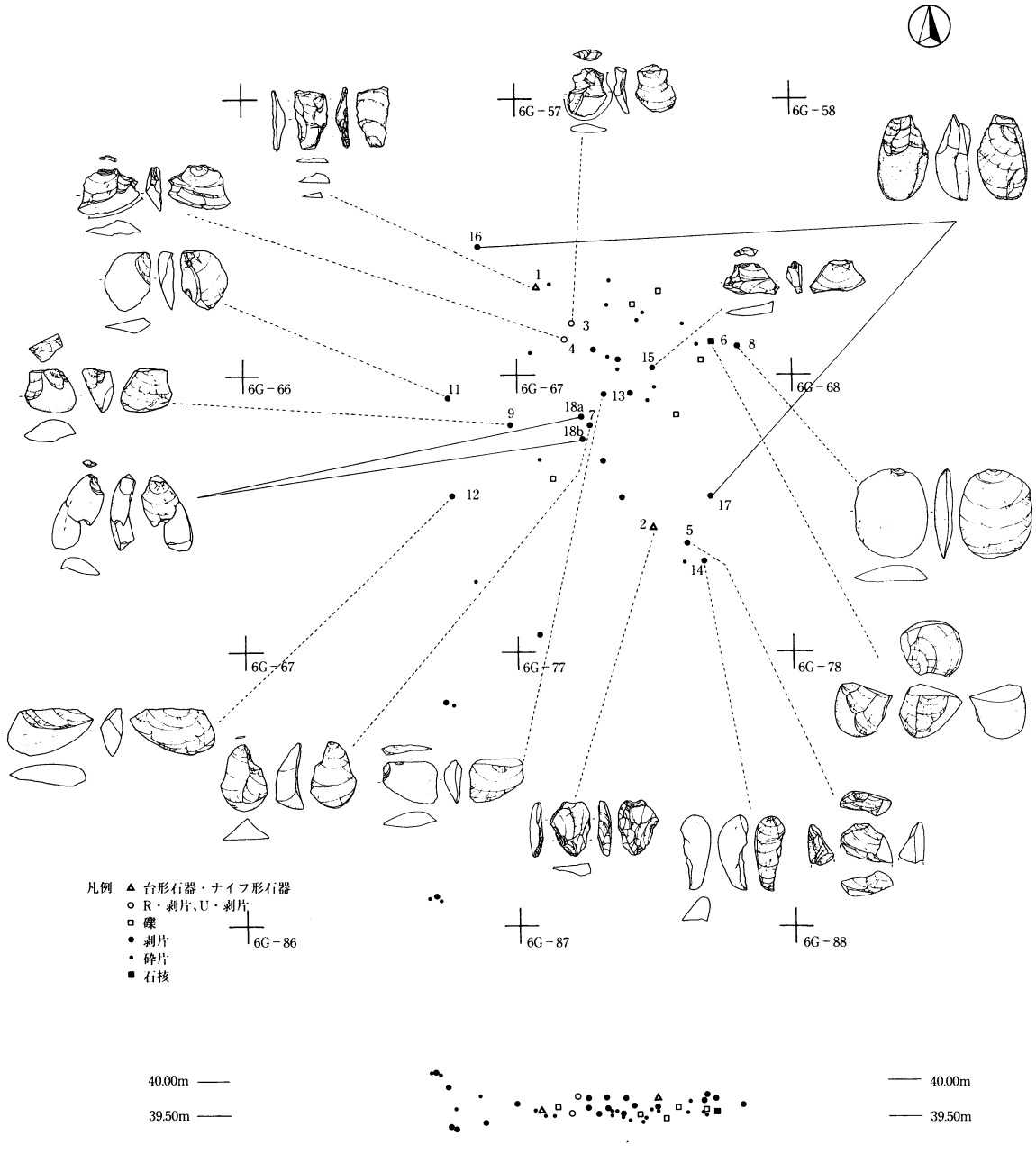
分　布　　石器は、6G－57の南側から6G－67グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、東西約4m、南北約4mの範囲に比較的まとまりよく分布している。

石　材　　チャート12点、ホルンフェルス10点、安山岩B 9点、砂岩8点、安山岩A 7点、流紋岩2点、凝灰岩2点、珪質頁岩1点で構成される。チャート及び安山岩Aに接合資料が見られる。

器　種　　台形石器2点、U・剥片2点、石核1点、剥片33点、砕片7点、礫6点の合計51点出土している。

台形石器（第15図1、2）1は安山岩A（風化面が濃緑色を呈する）の縦長剥片の両側縁部を比較的丁寧に仕上げてある。右側側縁部は一部自然面を残す。2は安山岩Aのやや不整形な剥片を横方向に使って比較的粗い調整で仕上げてある。先端部分はやや破損している。

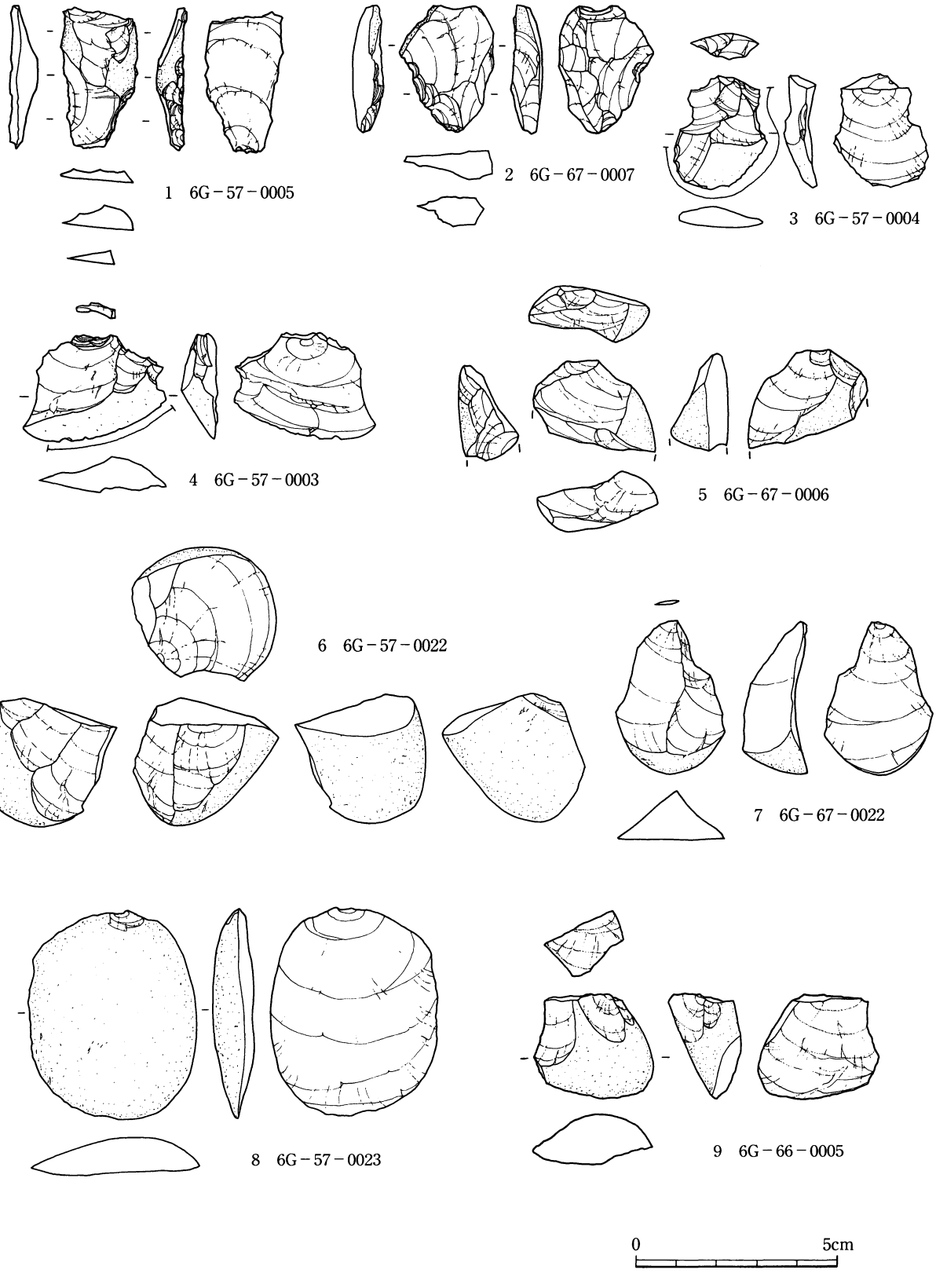
U・剥片（第15図3、4）3はチャートの縦長剥片の側縁部から先端部分にかけて細かな剥離が見られる。一部に自然面を残す。4はチャートの剥片の縁辺部分に細かな剥離が見られる。かなり自然面を残している。



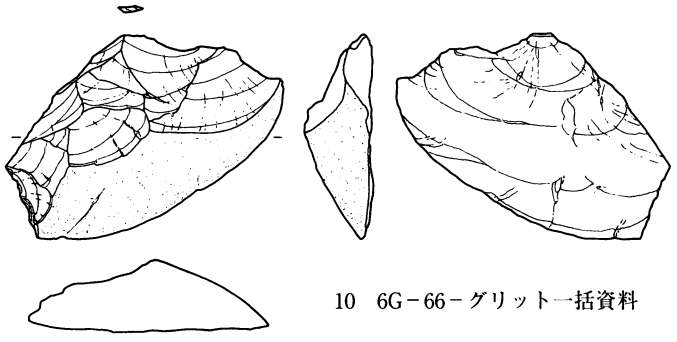
第14図　第1ブロック出土状況図（scale 1／100）

石核（第15図５） ５は安山岩Ｂ（風化面が灰色を呈し、ざらざらした感じがする）の石核である。円礫を半割した際の面を打面として２回～３回の剥片剥離を試みているようである。かなりの部分に自然面を残す。

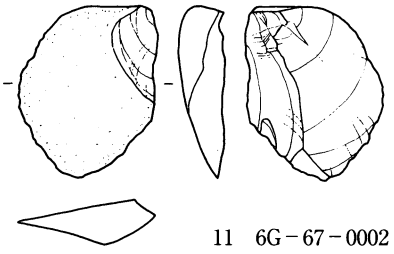
剥片（第15、16図７～18）多様な石材で構成された剥片で７、８、16、17のように比較的縦長を呈する一群と９、10、12、13に見られる横長の剥片が見られる。それらの殆どが自然面を有しており、小円礫から剥がされたものが多いことを想起させる。16と17は安山岩Ａの縦長剥片同士が接合した資料である。ブロック内の接合であるが比較的離れた位置で接合している。18は18ａと18ｂで接合した資料である。近い位置で接合しているので剥離作業中に折れたものと推測される。



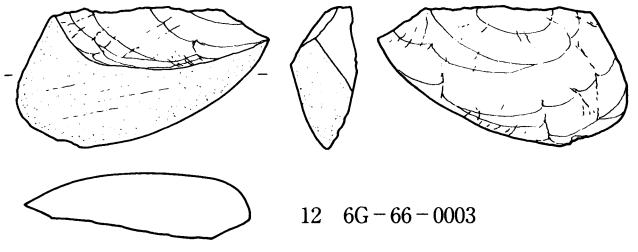
第15図　第1ブロック出土遺物実測図（1）



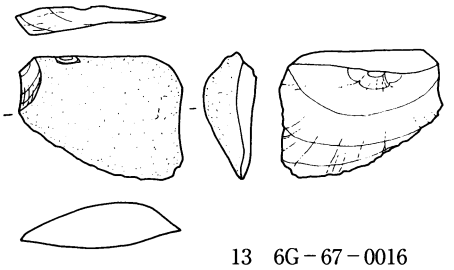
10　6G－66－グリット一括資料



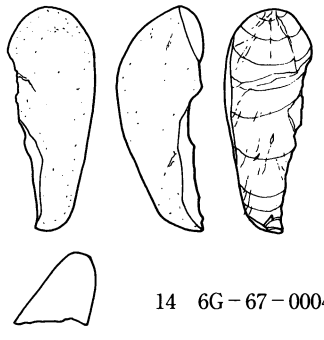
11　6G－67－0002



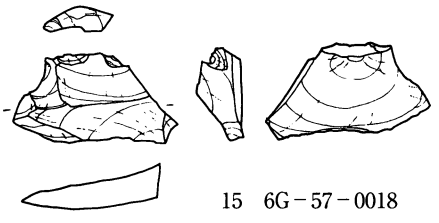
12　6G－66－0003



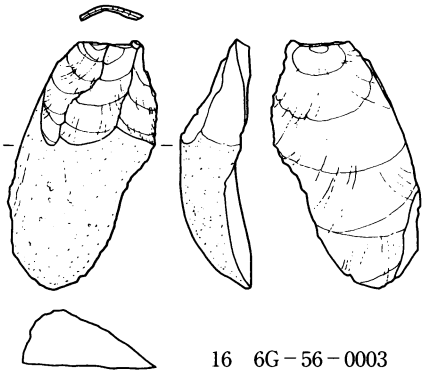
13　6G－67－0016



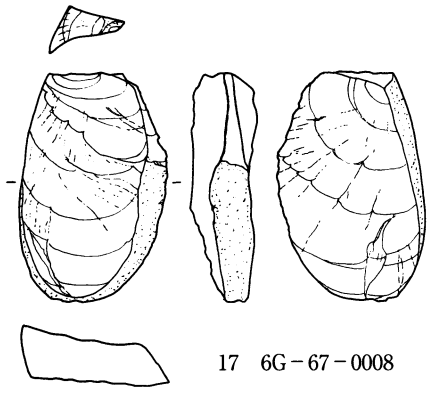
14　6G－67－0004



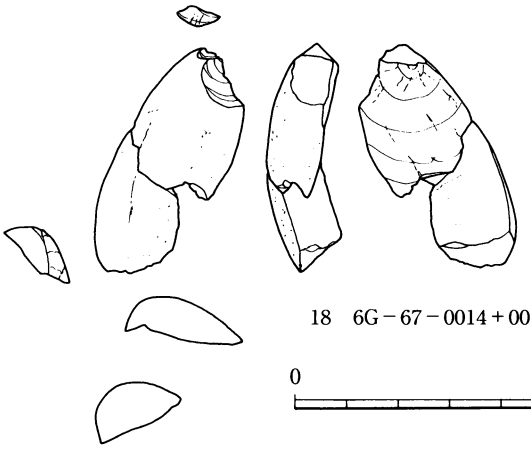
15　6G－57－0018



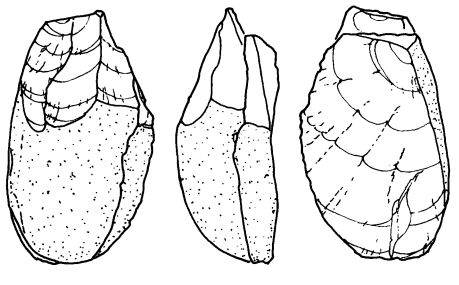
16　6G－56－0003



17　6G－67－0008



18　6G－67－0014＋0015



16＋17

第16図　第1ブロック出土遺物実測図（2）

第２ブロック（第17、19図１～４、写真図版３、第２、40表）

分　布　　石器は、６Ｇ－69～７Ｇ－70グリッドにかけて分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層にかけてまとまっている。平面は、東西２m、南北４mの範囲に希薄に分布している。

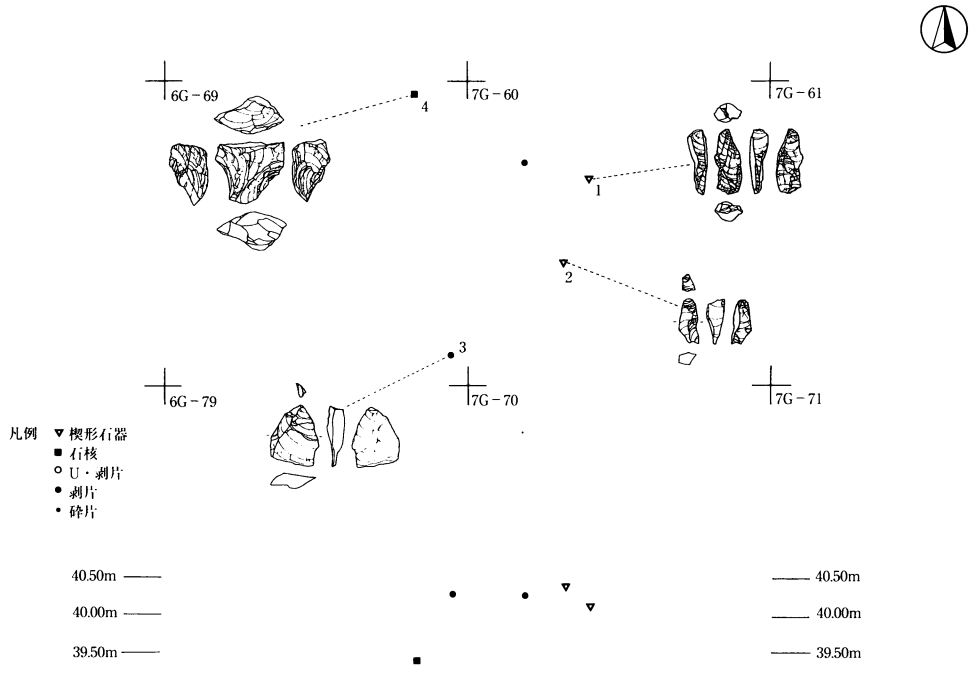
石　材　　珪質頁岩３点、ホルンフェルス１点、砂岩１点で構成される。接合資料は見られない。

器　種　　楔形石器２点、石核１点、剥片２点の合計５点で出土している。

楔形石器（第19図１、２）１は珪質頁岩の楔形石器である。上下両端から複数条の剥離が観察される。２はホルンフェルスの小剥片の上下両端に加撃による剥離痕がみられる。

石核（第19図４）４は珪質頁岩の石核である。剥離面を打撃面にした後、多方位からの剥離が行われている。

剥片（第19図３）３はホルンフェルスの剥片である。背面は複数の上方向からの剥離で構成されている。



第17図　第2ブロック出土状況図（scale　1／100）

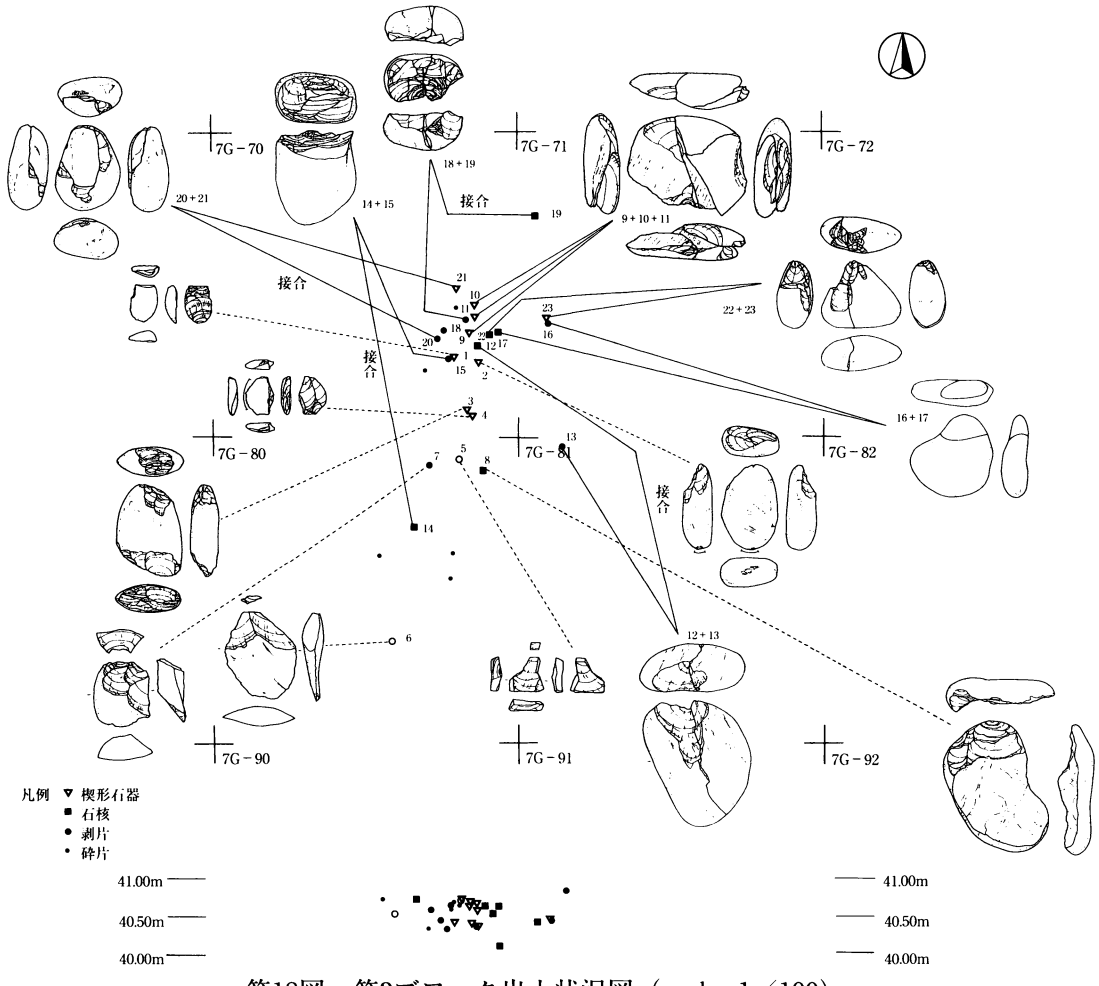
第３ブロック（第18～23図１～23、写真図版３、第３、41表）

分　布　　石器は、７Ｇ－70～７Ｇ－80グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を中心として分布している。平面は、東西２m、南北５mの範囲に中心部分は密に、周辺部分は粗く分布している。

石　材　　チャート８点、砂岩７点、安山岩Ａ５点、凝灰岩４点、珪質頁岩２点、メノウ２点、ホルンフェルス１点、安山岩Ｂ１点の多様な石材で構成される。チャート、凝灰岩、砂岩、メノウの接合資料が見られる。

器　種　　楔形石器10点、石核５点、Ｒ・剥片２点、剥片10点、砕片１点、礫２点の合計30点で構成される。

楔形石器（第19図１～４）１はチャートの楔形石器である。背面は礫面に覆われている。２はチャートの楔形石器である。下端部には打撃痕が見られあるいは、石核にした方が良いかもしれない。３は砂岩の



第18図　第3ブロック出土状況図（scale　1／100）

楔形石器である。４はチャートの楔形石器である。右側辺部分は折断されている。左側辺部分は使用痕のような細かな刃こぼれが見られる。背面は礫面で覆われている。

Ｒ・剥片（第19図５、６）５はホルンフェルスのＲ・剥片である。左側辺部分に大きな剥離が見られる。６は安山岩ＡのＲ・剥片である。背面は２面の剥離面と礫面で覆われている。先端部分と側辺部分に剥離痕が見られる。

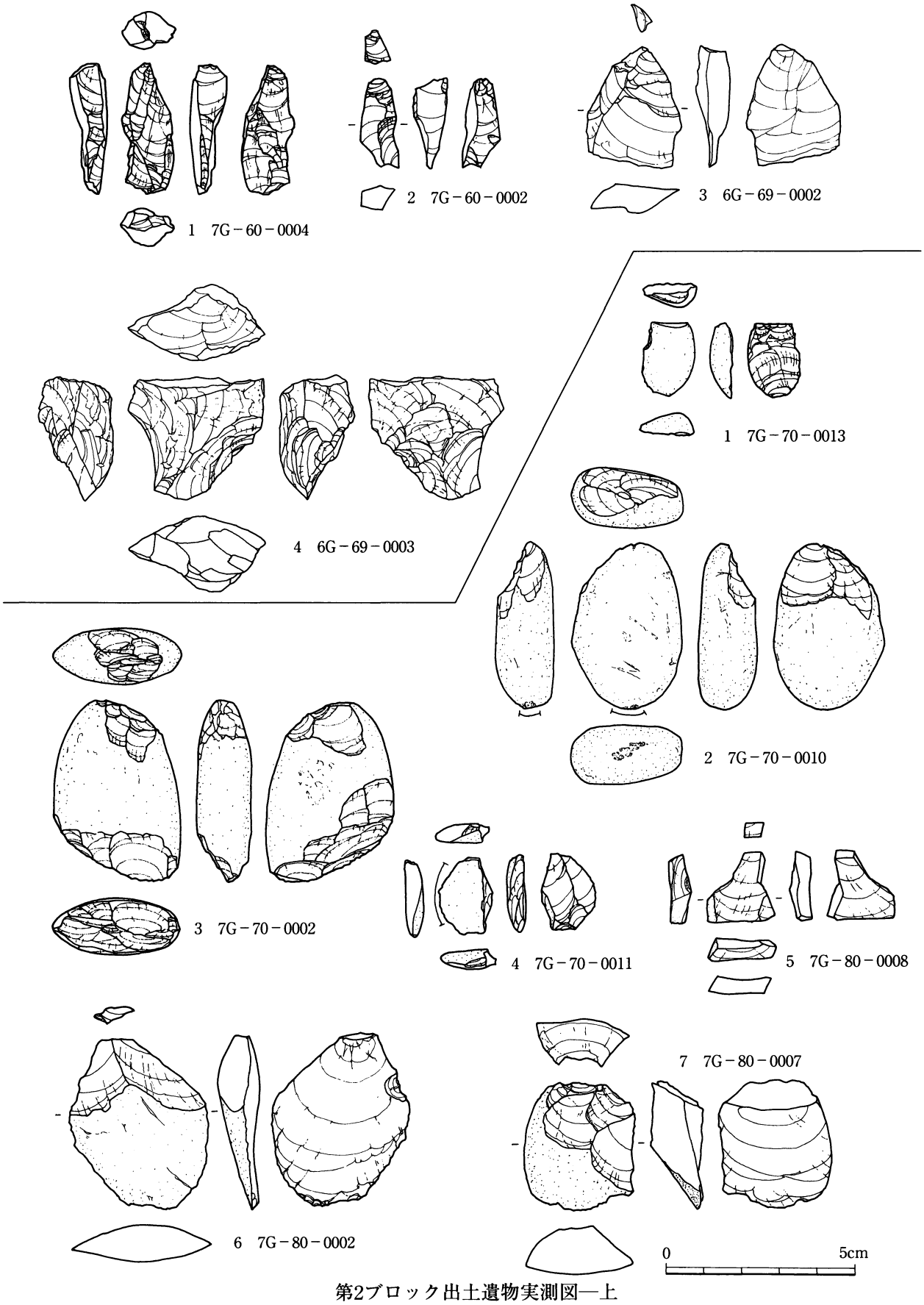
剥片（第19図７）７は凝灰岩の剥片である。背面は上方向からの剥離が三面と礫面で構成される。

石核（第20図８）８はチャートの石核である。比較的扁平の礫を使用して片側から複数回の剥離を試みている。裏は礫面で覆われている。

接合資料（第20～23図９～23）９～11は砂岩の接合資料である。扁平な礫を使用した楔形石器で、このブロックで割れたことがうかがわれる。当初は磨石斧の破損した剥片とも考えたが、上半分が見つからないためそのことに関しては不明である。

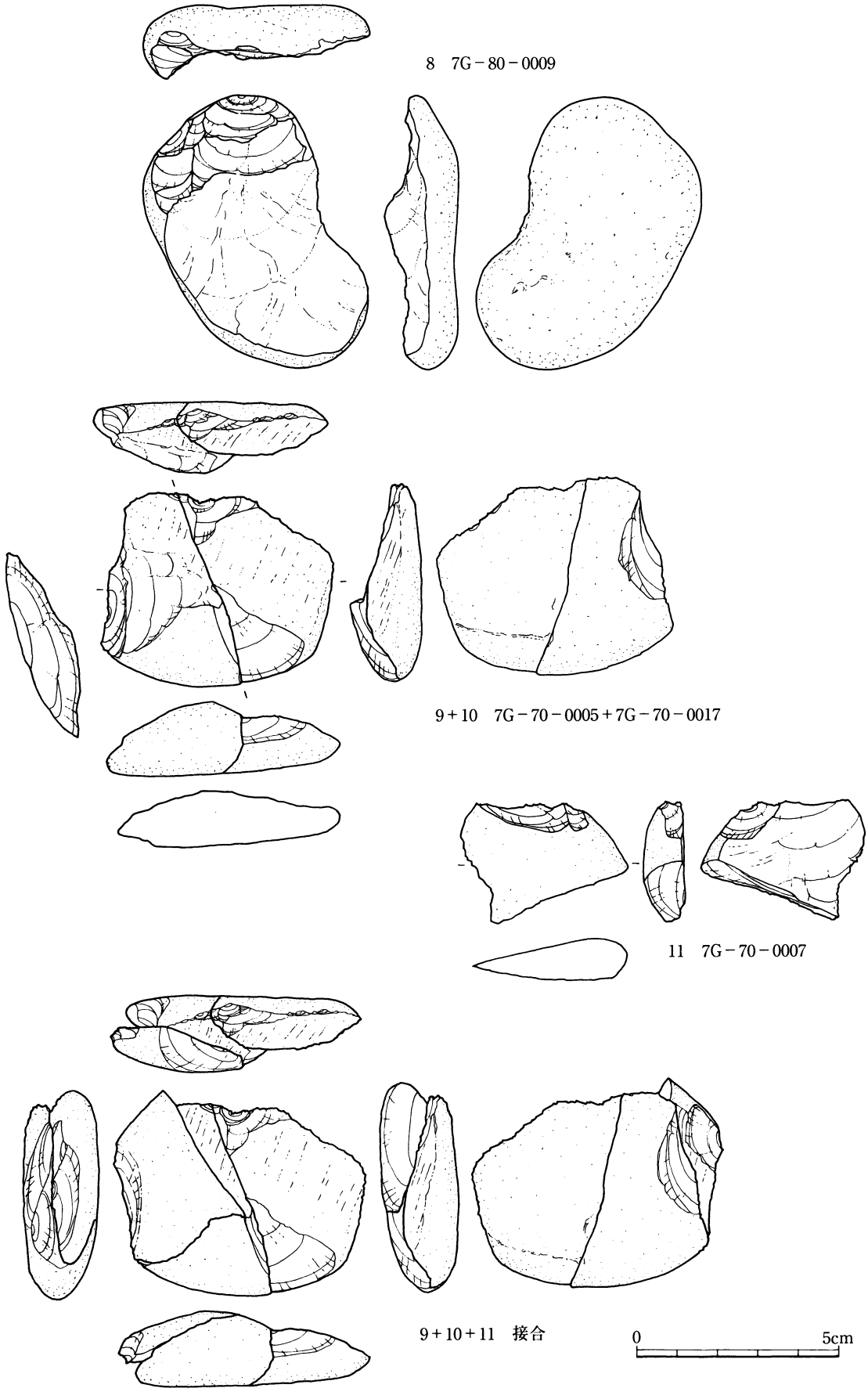
12～13は凝灰岩の接合資料である。12は13以外に小さな剥片を一枚以上剥がした面が、観察される石核である。13は12の石核から剥がされた剥片である。接合状態から剥離された状態から二次的に移動はしていないと考えられる。接合された状態から数cmの比較的厚みのある楕円礫を使用されたものである。

14～15は安山岩Ａの接合資料である。14は石核、15は剥片である。接合状態から特に打面を作ることを行わずに平らの礫面を使って数回幅広の小さい剥片を剥いだと考えられる。

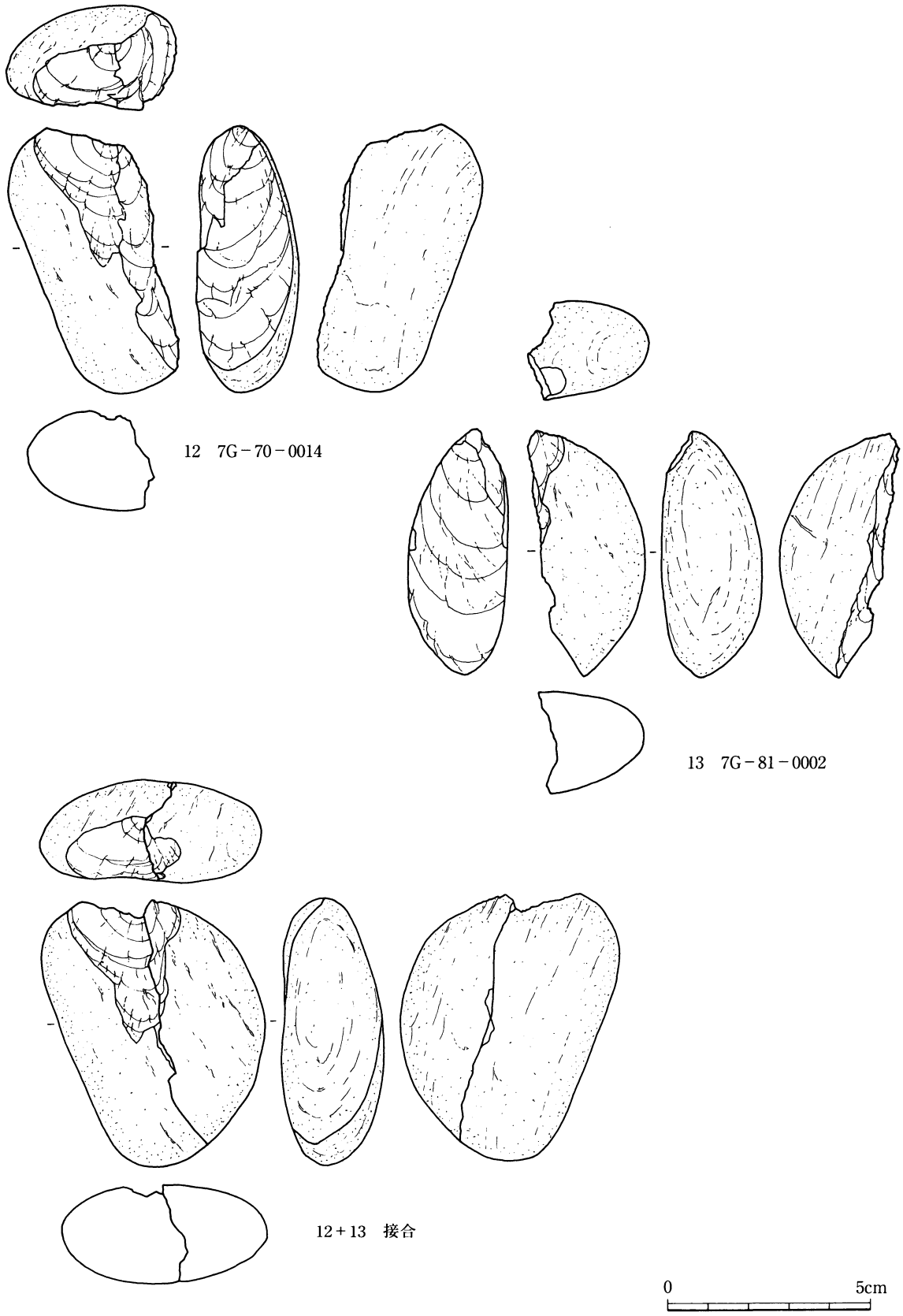


第2ブロック出土遺物実測図—上

第19図　第3ブロック出土遺物実測図（1）—下



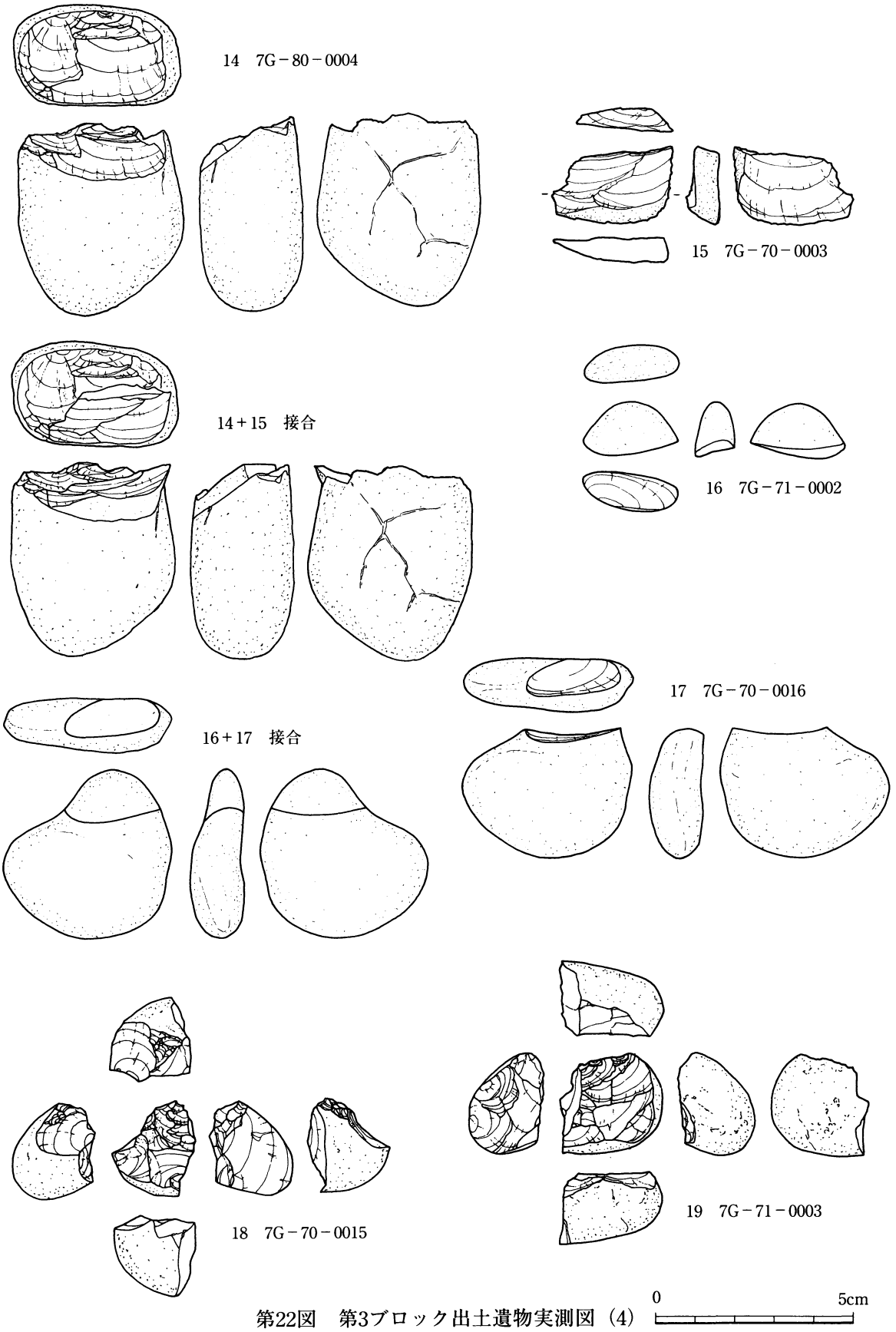
第20図　第3ブロック出土遺物実測図（2）



第21図　第3ブロック出土遺物実測図（3）

16～17は砂岩の接合資料である。非常に近い位置での接合であるため、剥がされた状態ですぐに廃棄されたものと考えられる。

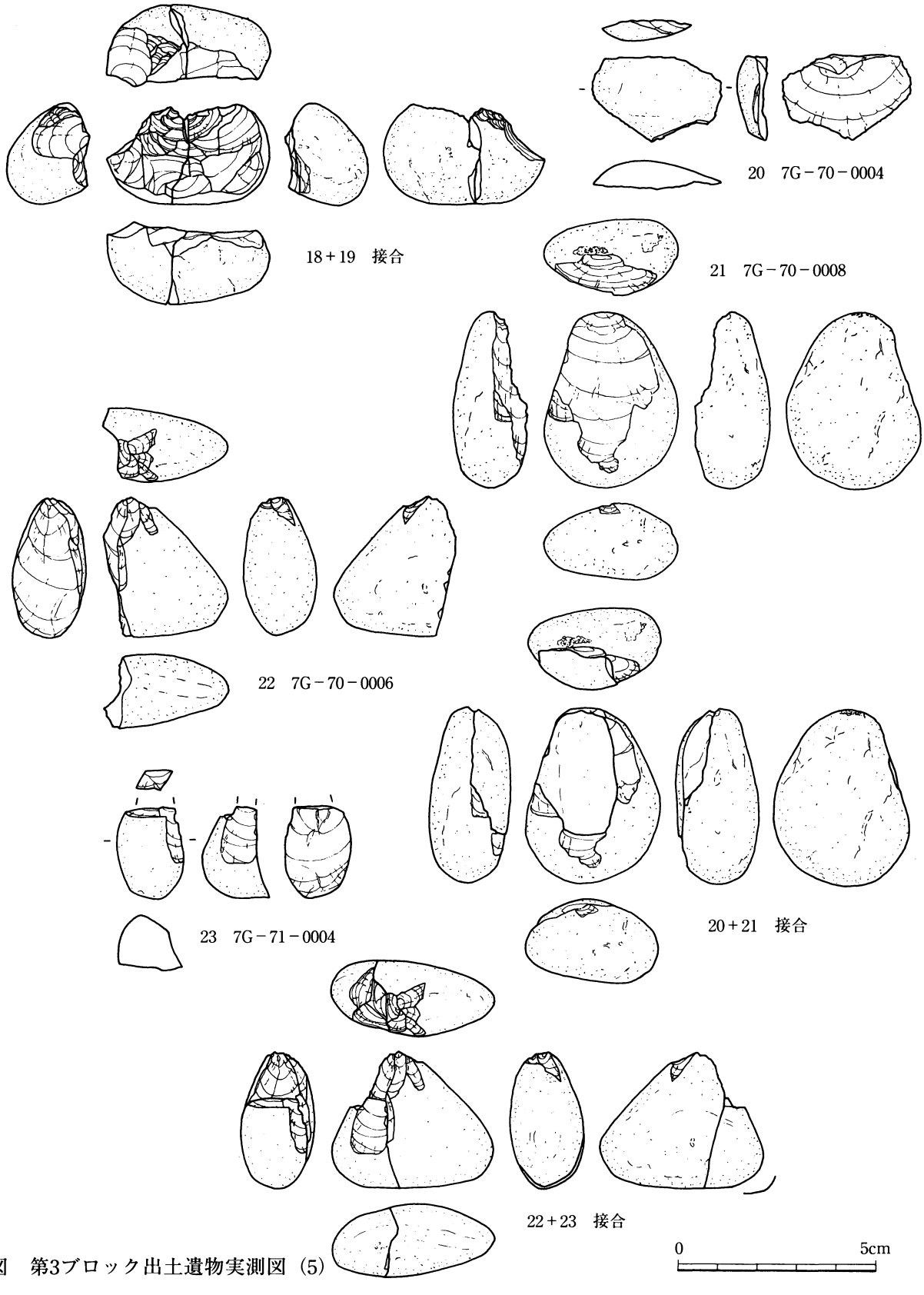
18～19はメノウの接合資料である。接合した状態で石核と考えられる。小さな円礫のため小剥片しか作出できなかったと考えられる。



第22図　第3ブロック出土遺物実測図（4）

20～21はチャートの接合資料である。20は剥片、21は楔形石器とした（あるいは石核とすべきかもしれない）。上下両端に加撃痕がある。

22～23はチャートの接合資料である。両者ともに上下両端に加撃痕が見られる。



第23図　第3ブロック出土遺物実測図（5）

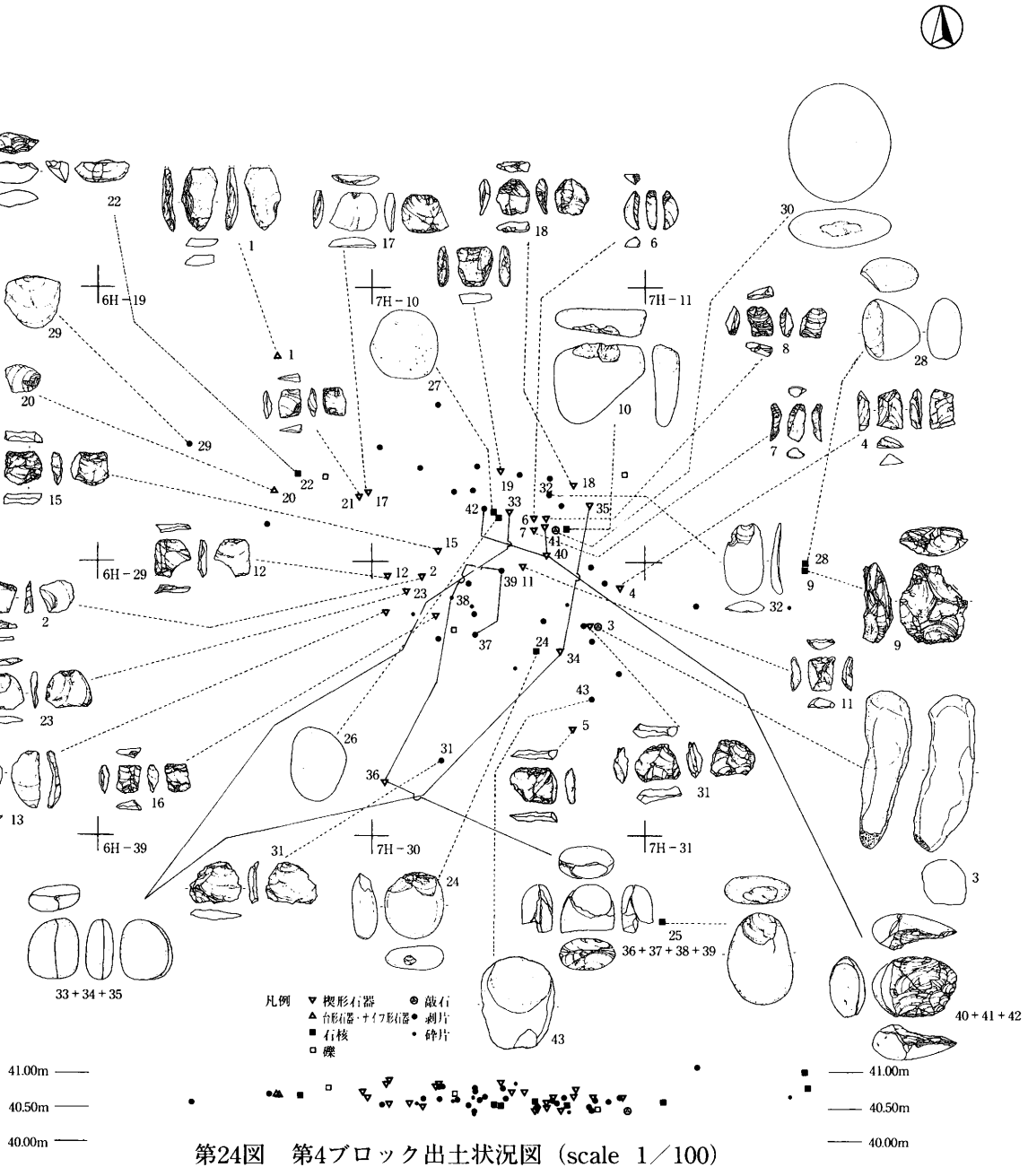
第４ブロック（第24～第29図１～43、写真図版５、６、第４、42表）

分　布　　石器は、７Ｈ－20グリッドを中心に南北４ｍ、東西６ｍの範囲に分布する。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層にかけて見られる。平面は、ブロックの中心で密な状態、周辺部分で散漫に分布している。

石　材　　チャート34点、ホルンフェルス10点、凝灰岩７点、流紋岩５点、珪質頁岩４点、安山岩Ａ４点、砂岩３点、メノウ１点、石英１点、黒曜石１点、結晶片岩１点で、チャートを主体とした多様な石材で構成される。

器　種　　ナイフ形石器１点、台形石器３点、楔形石器20点、敲石２点、石核４点、Ｕ・剥片１点、剥片30点、砕片５点、礫５点の合計71点で構成される。

ナイフ形石器（第25図１）１はホルンフェルスのナイフ形石器である。横長の剥片を使って基部から先端部にかけて左側辺は全面、右側辺は中程まで刃つぶし調整を行っている。先端部より全体の１／４程度の欠損がみられる。



第24図　第4ブロック出土状況図（scale　1／100）

台形石器（第25～26図２、19～20） ２はチャートの台形石器である。基部から片側のみ調整を加えてある。19は凝灰岩の台形石器である。剥片の両側辺から基部にかけて比較的大きめの剥離を施し仕上げてある。20はチャートの台形石器である。薄い剥片の両側辺と基部にかけて細かい剥離を施し仕上げてある。

楔形石器（第25～26、29図５～８、11～18、21～24、43） ５はチャートの楔形石器である。剥片の上下両端に細かな剥離がある。左側辺部は礫面を残す。６はチャートの楔形石器である。小剥片の上下両端に細かな剥離がある。背部は礫面で覆われる。７は石英の楔形石器である。小剥片の上下両端に剥離がある。背部はかなり礫面に覆われている。８はチャートの楔形石器である。小剥片の上下両端に剥離がある。一部礫面を有する。11は珪質頁岩の楔形石器である。小剥片の上下両端に打撃による剥離がある。左側側辺部分に礫面を有する。12はホルンフェルスの楔形石器である。小剥片の上下両端に打撃による剥離がある。13はチャートの楔形石器である。剥片の上下両端に打撃による剥離がある。14は珪質頁岩の楔形石器である。台形の剥片の上下両端に打撃による剥離がある。15はチャートの楔形石器である。上下両端に打撃による微細な剥離が見られる。16は珪質頁岩の楔形石器である。上下両端に比較的大きな打撃による剥離が見られる。17はチャートの楔形石器である。上下両端に比較的大きな打撃による剥離が見られる。背面は礫面で覆われる。18はチャートの楔形石器である。打撃により上下裏表で大きく剥離している。21はチャートの楔形石器である。小剥片の上下両端に打撃による細かな剥離が見られる。22はチャートの楔形石器である。厚手の横長剥片で上下両端に打撃による細かな剥離が見られる。23はチャートの楔形石器である。上下両端に打撃による細かな剥離が見られる。24は凝灰岩の楔形石器である。打撃による衝撃で上端が大きく剥離している。43は砂岩の楔形石器である。比較的厚みのある縦長の剥片の上下両端に大きな剥離が見られる。かなりの範囲に礫面を残す。

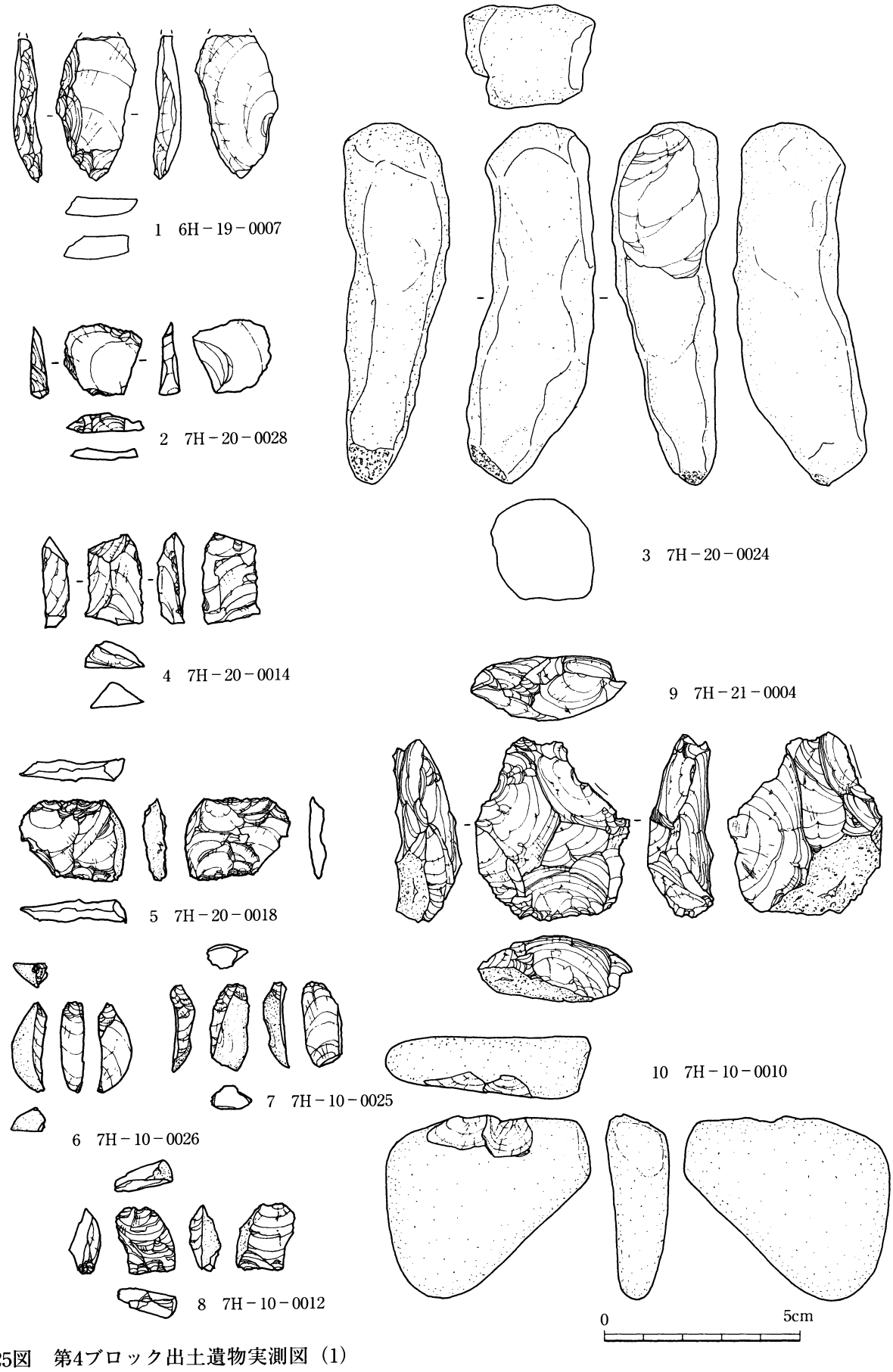
敲石（第25～27図３、30） ３は結晶片岩の敲石である。下端部に集中的に打撃痕が見られる。30は砂岩の敲石である。比較的大きな扁平の楕円礫の厚みのある下端部分に打撃痕が集中して見られる。

Ｕ・剥片（第25図４） ４はチャートのＵ・剥片である。右側辺部分に連続的な細かな剥離が見られる。

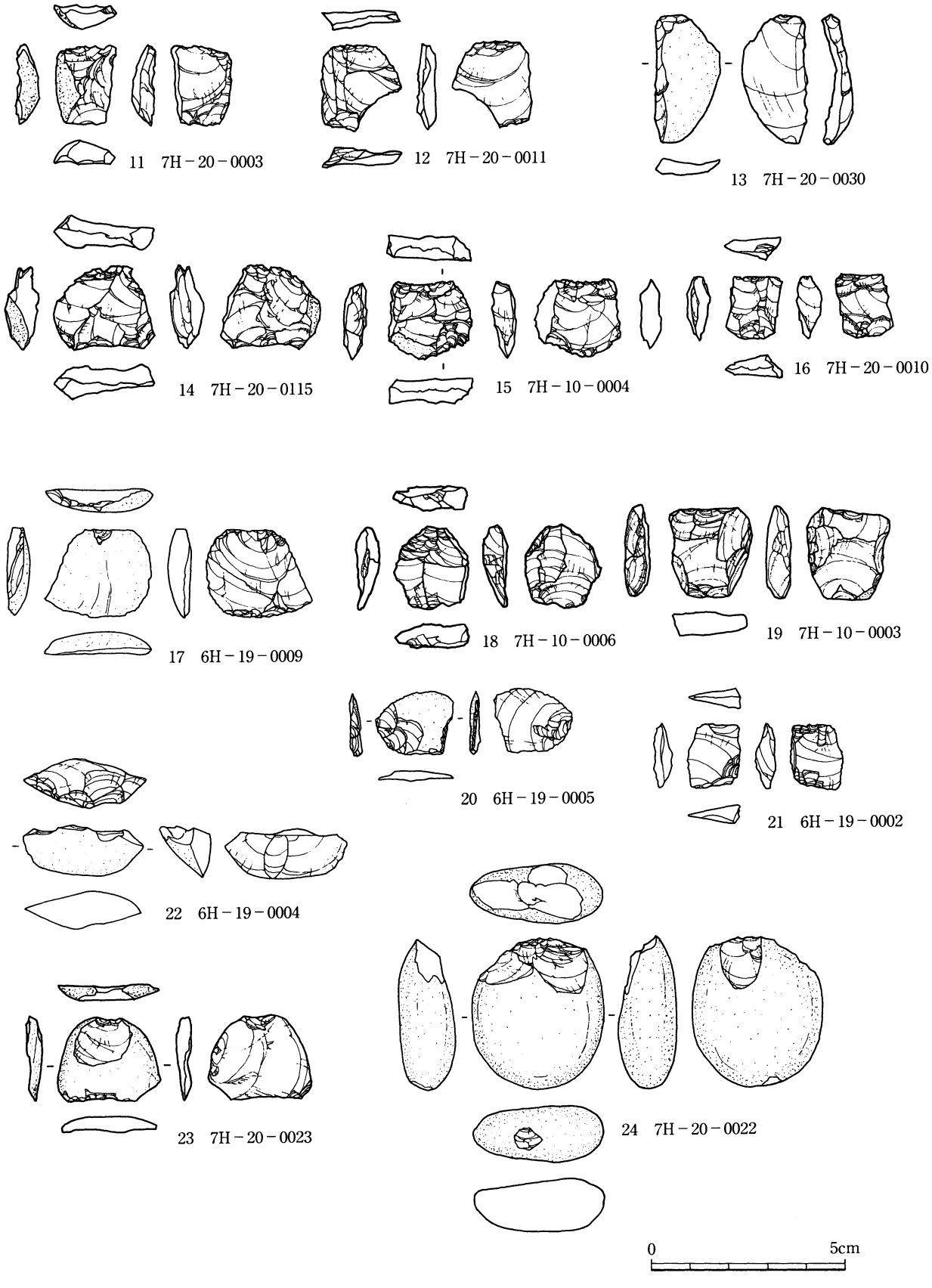
石核（第25～27図９～10、25～28） ９は黒曜石の石核である。多方位から小剥片が剥がされたもので一部に礫面が残る。10は砂岩の石核である。礫の一部を打ち欠いたばかりのもので礫面が全面を覆っている。25は安山岩Ａの石核である。比較的扁平な楕円礫の頭部を一回割っただけの状態で廃棄されたものと考えられる。殆ど原礫に近い状態の資料である。26はメノウの原礫（石核として使用される可能性がある）である。比較的厚みのある楕円礫で石核として使用されるために持ち込まれたものと考えられる。27はチャートの石核である。楕円礫の長軸方向に剥離して長めの剥片を剥いでいる。一回だけ剥離している。28は流紋岩の原礫（石核として使用される可能性がある）である。扁平ぎみの円礫である。

剥片（第27図29、31、32）29はホルンフェルスの剥片である。小さめの石核から剥がされた典型的な幅広の剥片である。31はチャートの剥片である。台形状を呈する。32は凝灰岩の縦長剥片である。背部はほぼ全面、礫面に覆われる。左側頭部に近いところに刃こぼれが見られる。

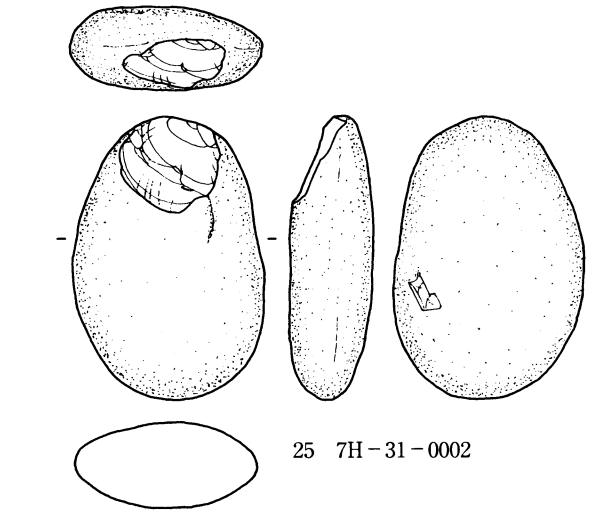
接合資料（第28、29図33～42）33～35は流紋岩の接合資料である。33～35は楔形石器である。接合した状態から見ると一度の打撃により剥離したことが考えられる。36～39はチャートの接合資料である。36は楔形石器、37は剥片、38は砕片、39は剥片である。楕円礫を半割したものが素材となっている。40～42はチャートの接合資料である。40は楔形石器で上下両端に打撃痕を持ち、背部は礫面で覆われている。41は楔形石器で打撃した際に40、42が同時に剥離した可能性がある。42は剥片である。



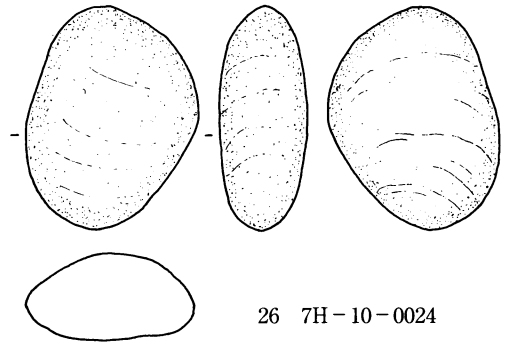
第25図　第4ブロック出土遺物実測図（1）



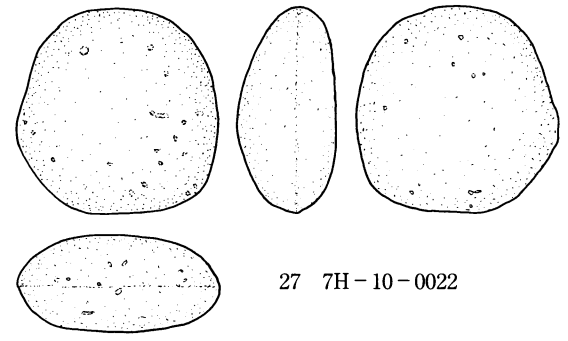
第26図　第4ブロック出土遺物実測図（2）



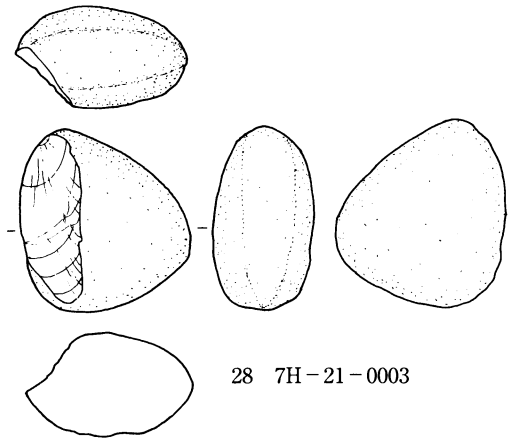
25　7H－31－0002



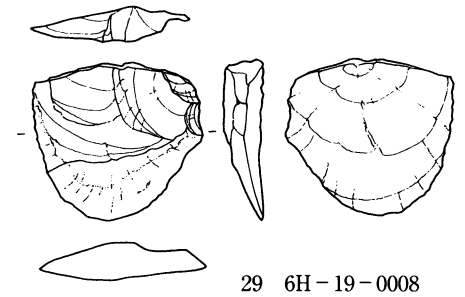
26　7H－10－0024



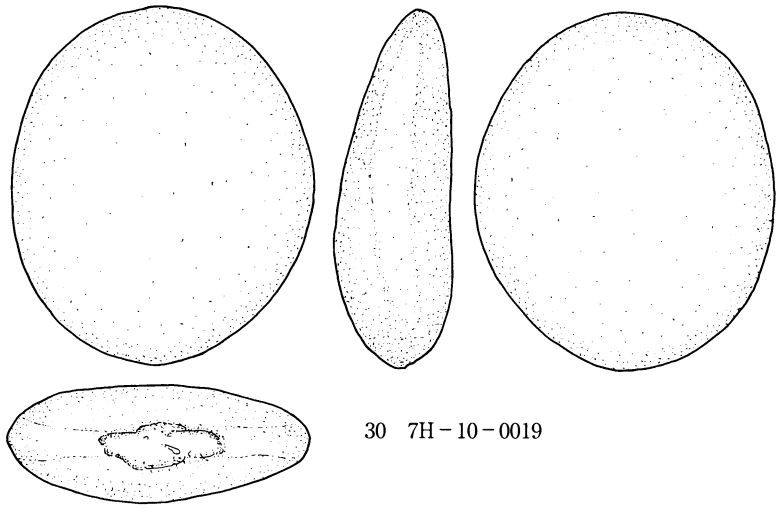
27　7H－10－0022



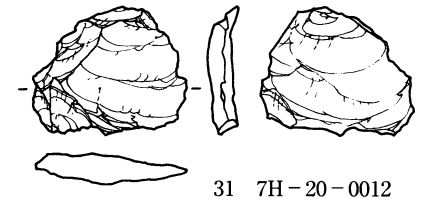
28　7H－21－0003



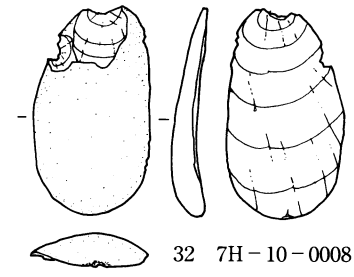
29　6H－19－0008



30　7H－10－0019



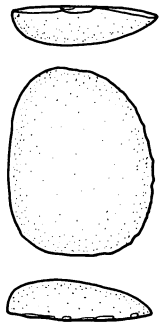
31　7H－20－0012



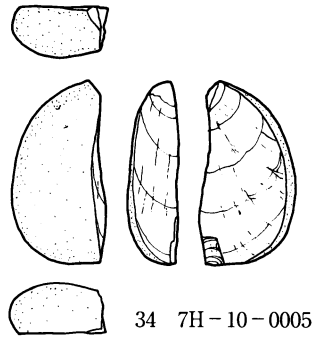
32　7H－10－0008

0　5cm

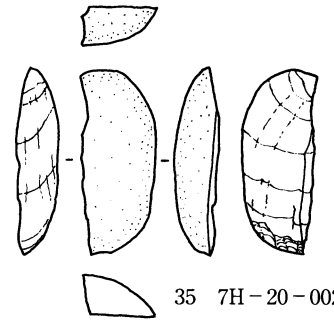
第27図　第4ブロック出土遺物実測図（3）



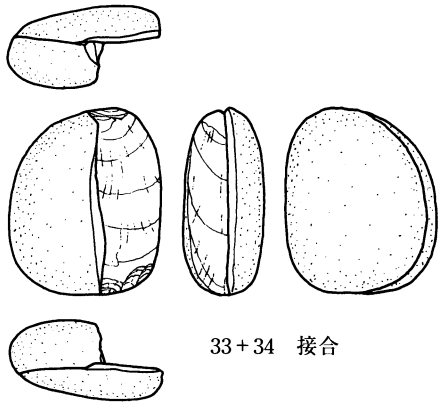
33　7H－10－0002



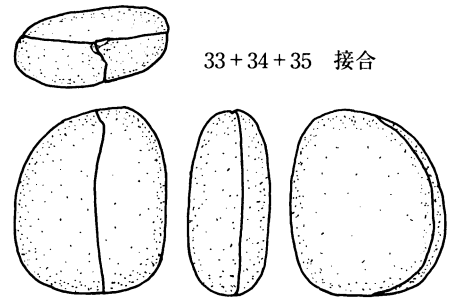
34　7H－10－0005



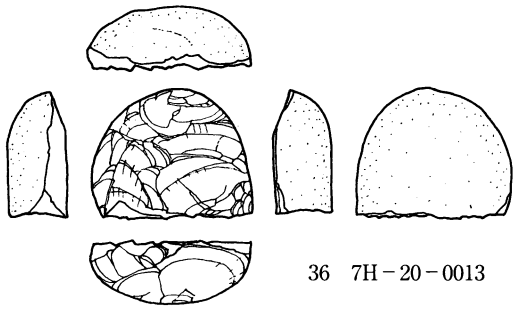
35　7H－20－0025



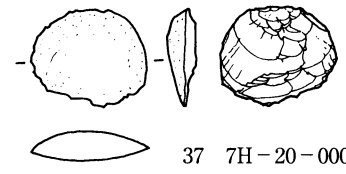
33＋34　接合



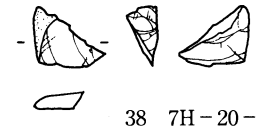
33＋34＋35　接合



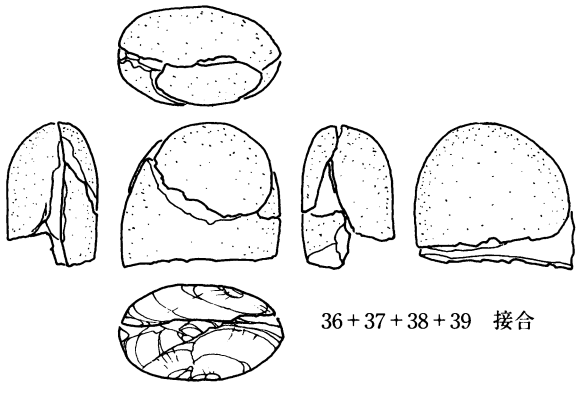
36　7H－20－0013



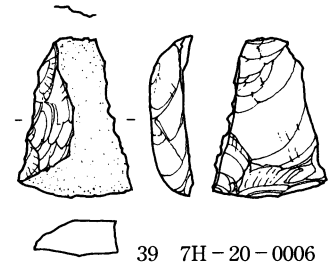
37　7H－20－0004



38　7H－20－0021

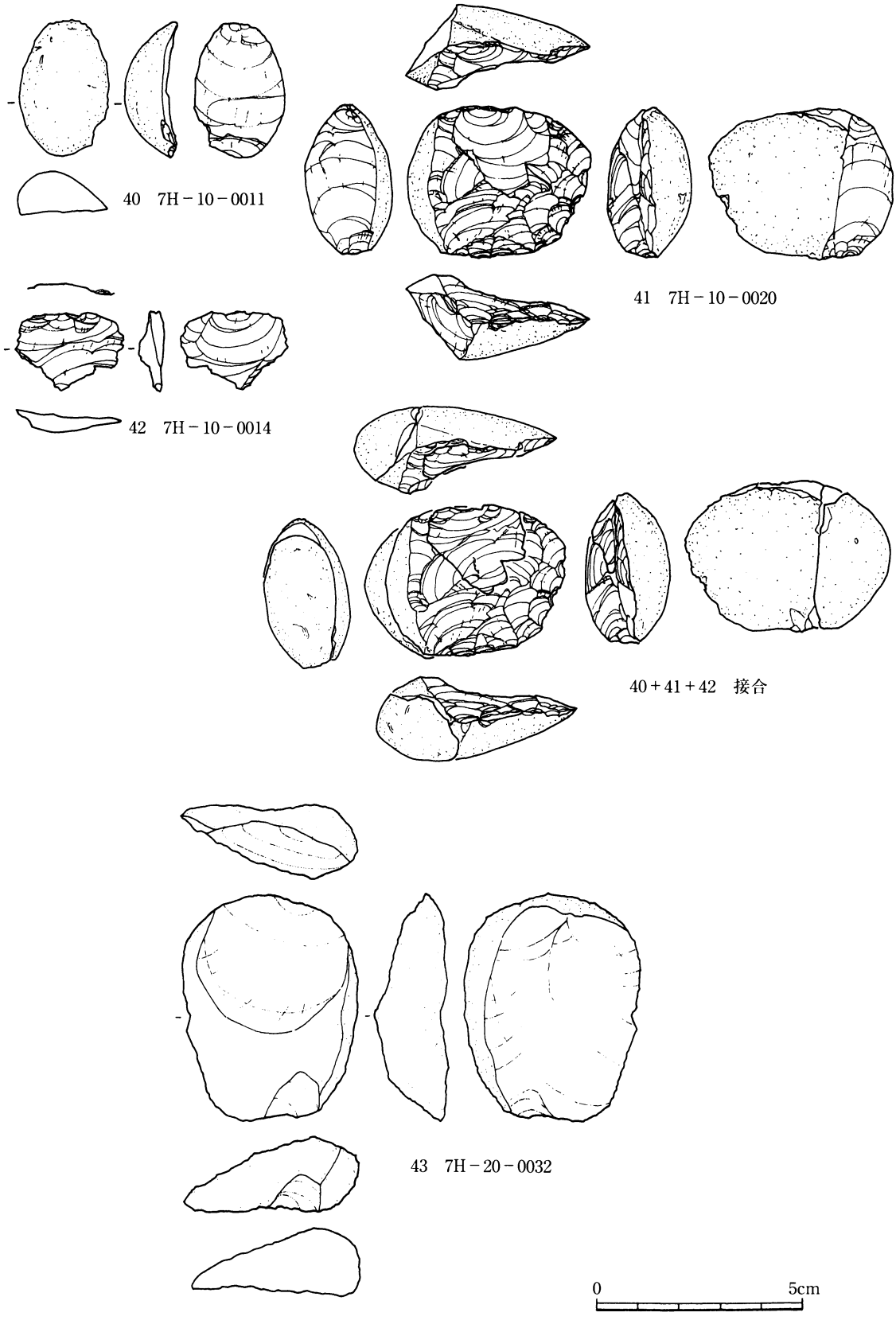


36＋37＋38＋39　接合



39　7H－20－0006

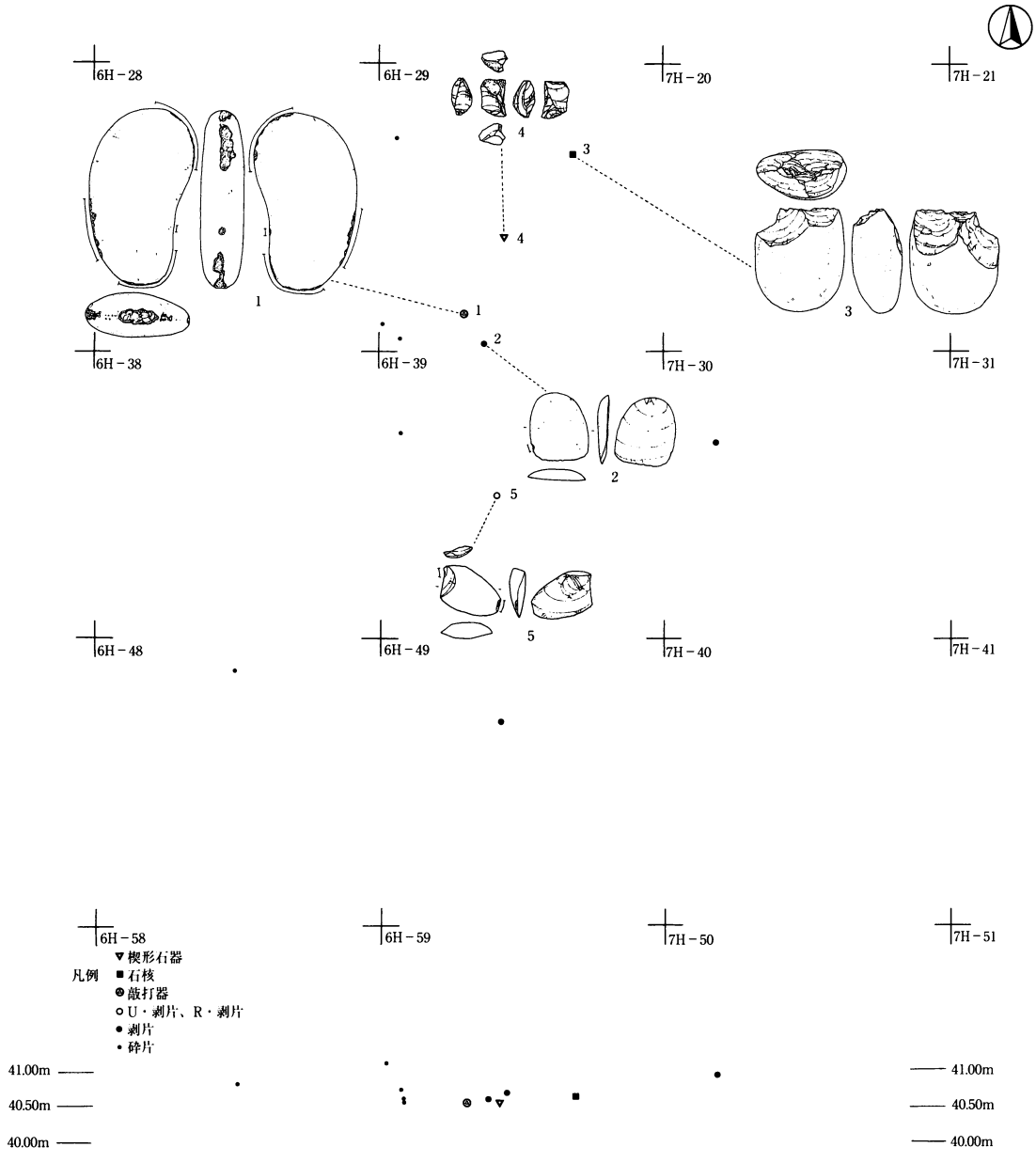
第28図　第4ブロック出土遺物実測図（4）



第29図　第4ブロック出土遺物実測図（5）

第５ブロック（第30、31図１～５、写真図版６、第５、43表）

分　布　　石器は、６Ｈ－29から６Ｈ－39グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体にして広がる。平面は、東西４m、南北８m程度に長く散漫に分布している。



第30図　第5ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　珪質頁岩４点、安山岩Ａ３点、チャート２点、凝灰岩１点、流紋岩１点で構成される。

器　種　　敲石１点、楔形石器１点、U・剥片１点、石核１点、剥片６点、砕片１点の合計11点で構成される。

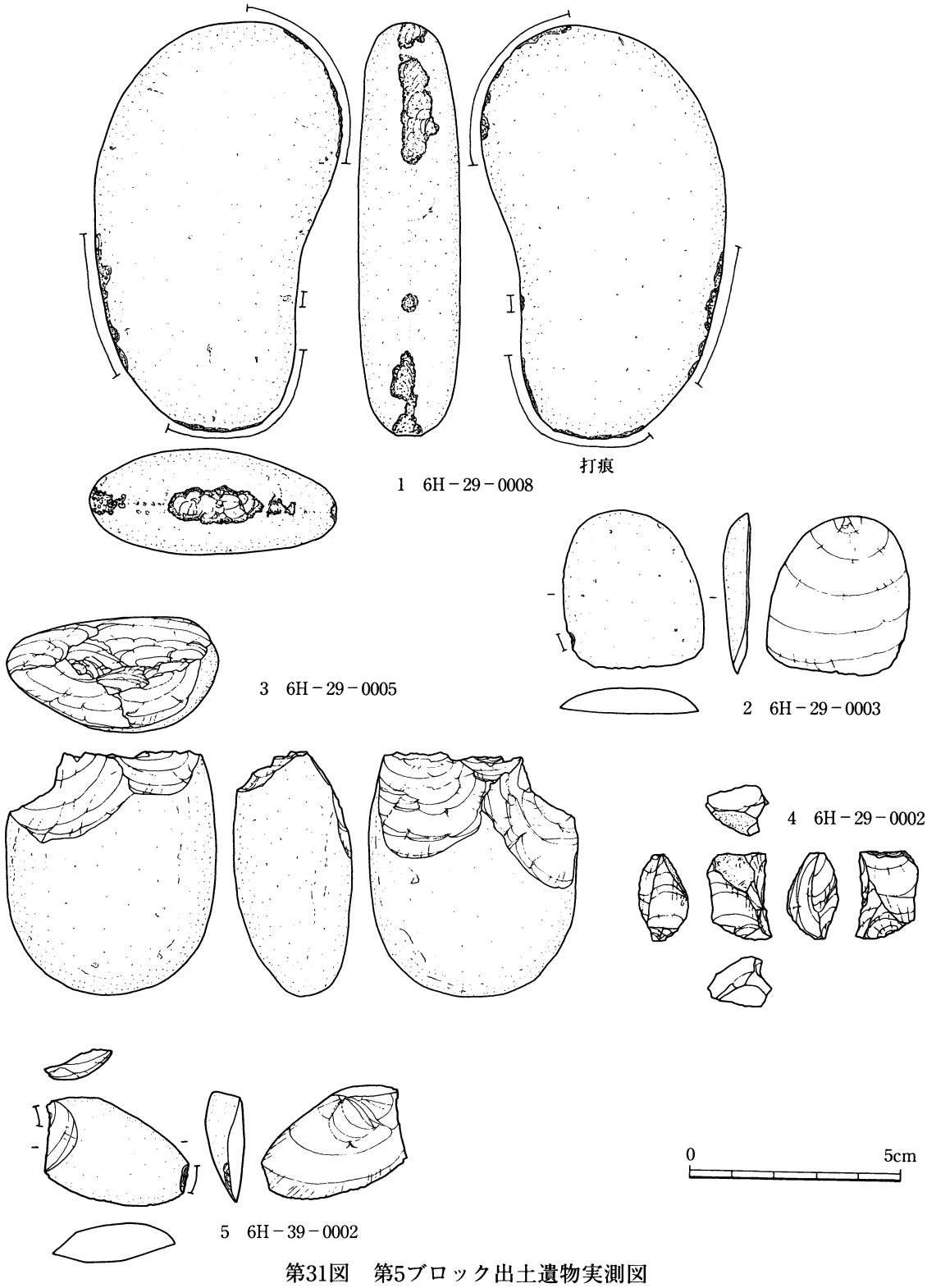
敲石（第31図１）　１は流紋岩の敲打器である。大きな楕円礫の縁辺部分を使用して、かなりの頻度で使用したことが伺われる程度に打痕が認められる。

楔形石器（第31図４）　４は安山岩Ａの楔形石器である。上下両端に逆方向からの剥離が認められる。打面背部に礫面を残す。

U・剥片（第31図５） ５は珪質頁岩のU・剥片である。横長の剥片の両側辺に使用痕とおぼしき微細な刃こぼれが見られる。背部は大部分礫面で覆われる。

石核（第31図３） ３は凝灰岩の石核である。厚みの比較的ある楕円礫を使って縁辺の一方向から剥離面を打面にして数回剥片剥離をしている。

剥片（第31図２） ２は珪質頁岩の剥片である。背部は全て礫面で覆われている。



第31図　第5ブロック出土遺物実測図

第６ブロック（第32～第35図１～16、写真図版６、７、第６、44表）

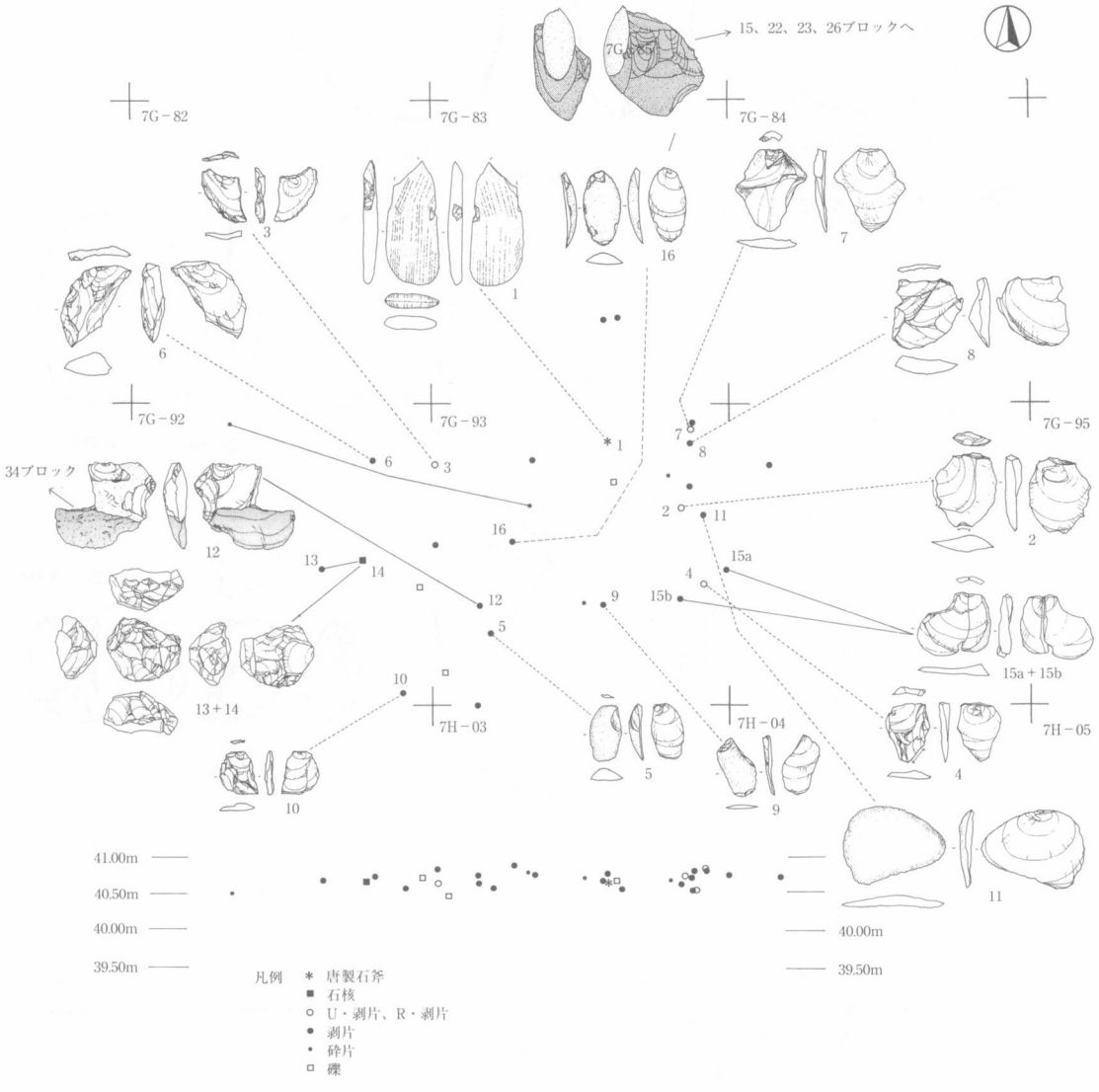
分　布　　石器は、７Ｇ－93グリッドを中心にして分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体にして広がる。平面は、東西６ｍ、南北６ｍの範囲にやや散漫に分布している。

石　材　　珪質頁岩15点、安山岩Ａ６点、安山岩Ｂ２点、ホルンフェルス２点、流紋岩２点、チャート２点、黒曜石２点、蛇紋岩１点で構成される。

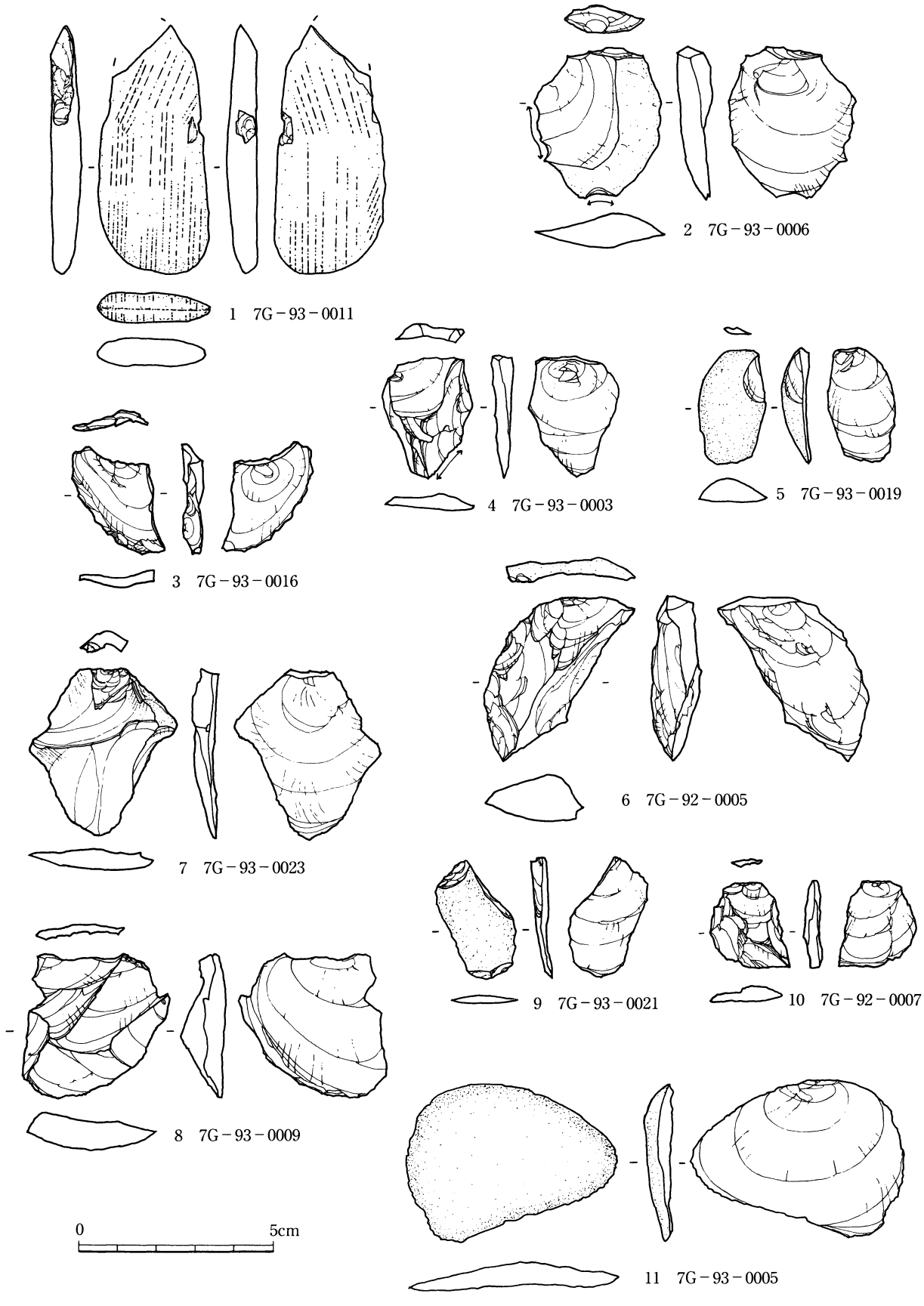
器　種　　磨製石斧１点、Ｕ・剥片５点、石核２点、剥片18点、砕片３点、礫３点の合計32点で構成される。

磨製石斧（第33図１）１は蛇紋岩の磨製石斧である。扁平な楕円礫を使用して作られている。基部をやや欠損している。

Ｕ・剥片（第33図２～４・６）２は珪質頁岩のＵ・剥片である。先端部と左側縁部分に使用痕とおぼしき小剥離が認められる。背部は半分くらい礫面が覆う。３は珪質頁岩のＵ・剥片である。縁辺部分には連続的な小剥離が認められる。４は珪質頁岩のＵ・剥片である。先端部に近い縁辺部分には微細な剥離が見



第32図　第6ブロック出土状況図（scale　1／100）



第33図　第6ブロック出土遺物実測図（1）

られる。6は珪質頁岩のU・剥片である。左側縁部分に微細な剥離が見られる。背部は主剥離面に対して右方向の剥離面が見られる。

剥片（第33図5・7～11）5は安山岩Aの剥片である。背部はほとんど礫面で覆われる。7は珪質頁岩の剥片である。背部は多方位の剥離が認められる。8は珪質頁岩の剥片である。背部は複数回の剥離が見られるが、主剥離面と同じ方向の剥離のみである。9はホルンフェルスの剥片である。背部は礫面で覆われている。10は珪質頁岩の剥片である。背部は多方位からの剥離が見られる。11は安山岩Aの大形の剥片である。石核の原礫面を背部に残している。

接合資料（第34、35図12～16）12は珪質頁岩の石核である。もとは背部に礫面を持つ大形の剥片を石核に転用したものと考えられる。124（34ブロック）は接合した状態から考えると大きな剥片の先端をなす剥片の一部であることがわかる。13、14は珪質頁岩の接合資料である。13は、先端部分に微細な刃こぼれが見られるU・剥片である。14は剥離面を打面にして小剥片を剥離している石核である。15aと15bの石材は安山岩Bである。この資料は接合した状態で1個の剥片の呈をなす。16は、流紋岩の縦長の剥片で27（22ブロック）の石核を中心として一番外側に接合する資料である。剥片自体は刃こぼれがあり、使用痕であるかもしれない。6、15、22、23、26ブロックを移動した接合資料であり注目される。

第7ブロック（第36、37図1～5、写真図版7、第7、45表）

分　布　　石器は、7G－94から7H－04グリッドにかけて分布している。垂直分布は、Ⅸ層～X層に分布の主体を占める。平面は、東西4m、南北6mに幅広く粗く分布している。

石　材　　ホルンフェルス5点、安山岩A4点、珪質頁岩4点、流紋岩3点、チャート3点、砂岩2点、蛇紋岩1点で点数22点と少ない割には多様な石材で構成される。

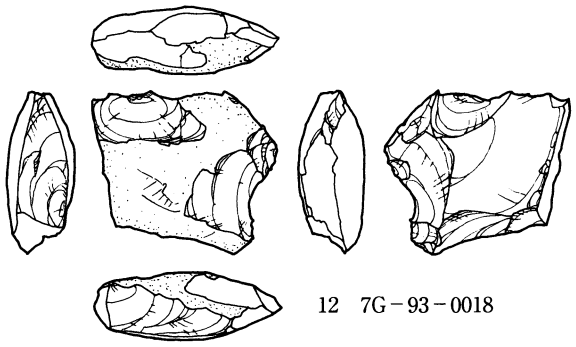
器　種　　局部磨製石斧1点、磨製礫（斧）1点、礫7点、R・剥片2点、剥片10点、砕片1点の合計22点で構成される。

局部磨製石斧（第37図1）蛇紋岩の局部磨製石斧である。全体的には周辺部分から丁寧に仕上げてある印象であるが、片側右半分は礫面を残す。刃部については細かな剥離が多く見られ、再生された可能性がある。

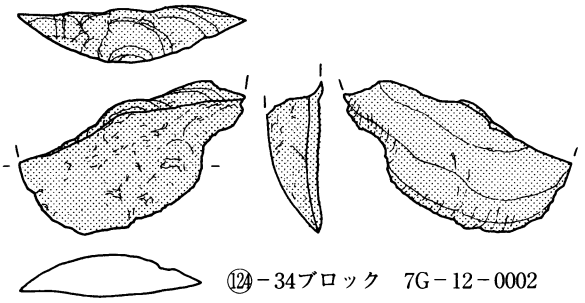
磨製礫（斧）（第37図2）安山岩Aの扁平の楕円礫である。縁辺部分は、摩滅した状態が観察できる。先端部分は打撃による剥離が見られる。石核ともなりうるが、形状から斧として利用した可能性もある。

R・剥片（第37図3～4）3は安山岩AのR・剥片である。右側辺部分に比較的大きめの剥離で調整されている。背面は礫面で覆われている。4は珪質頁岩のR・剥片である。3と同様に右側側辺部分に大きめの調整が行われている。

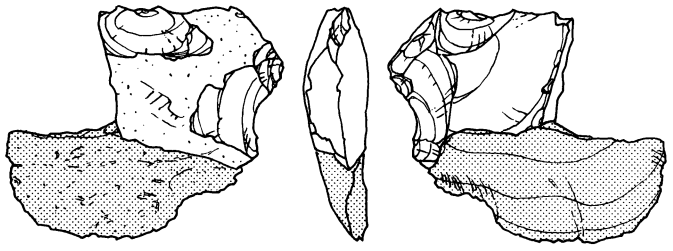
剥片（第37図5）5は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と逆方向の剥離が見られる。第8ブロックの10及び11と接合する。第7ブロックから8ブロックへの石材の移動が認められる。



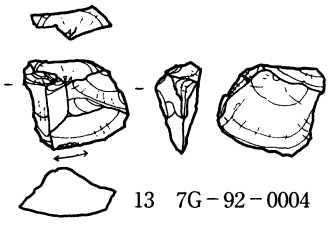
12　7G－93－0018



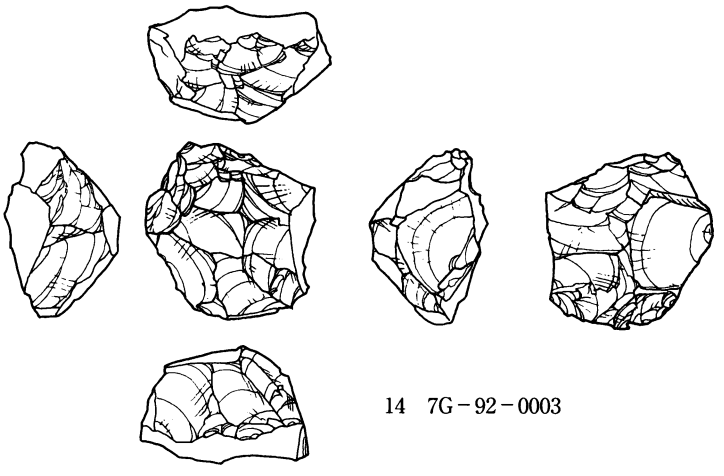
⑫④－34ブロック　7G－12－0002



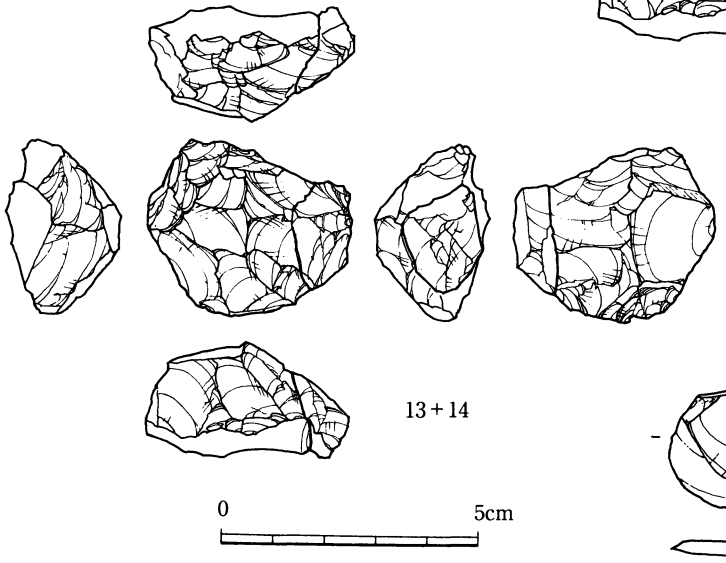
12＋⑫④－34ブロック



13　7G－92－0004

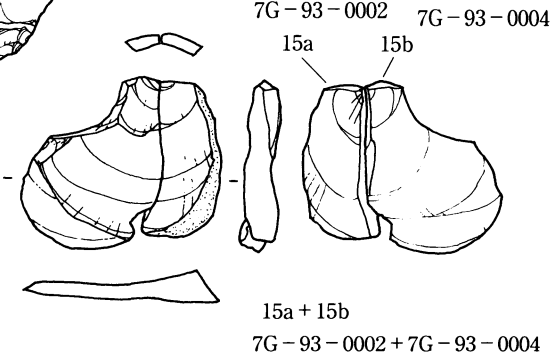


14　7G－92－0003



13＋14

0　5cm



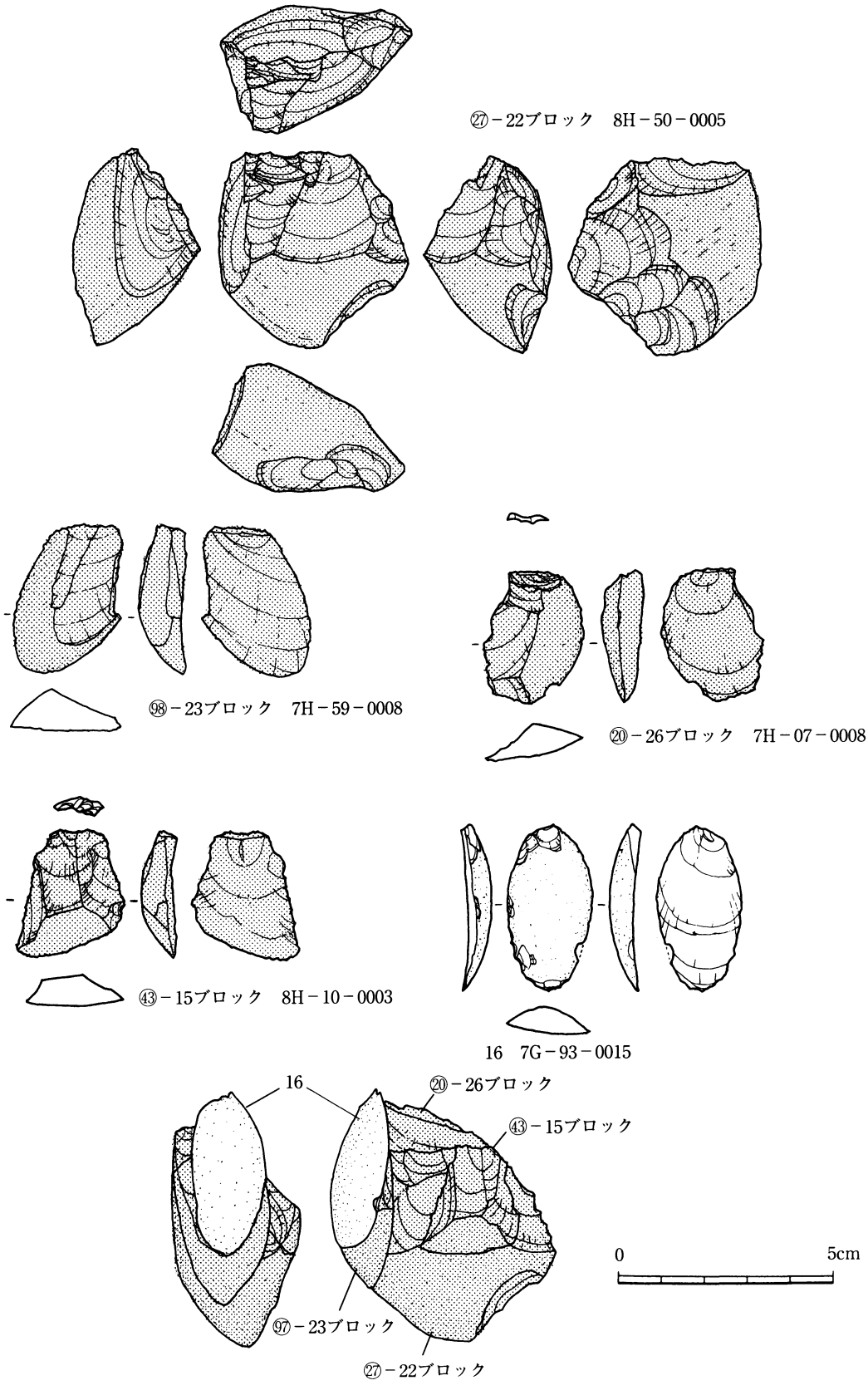
7G－93－0002　7G－93－0004

15a　15b

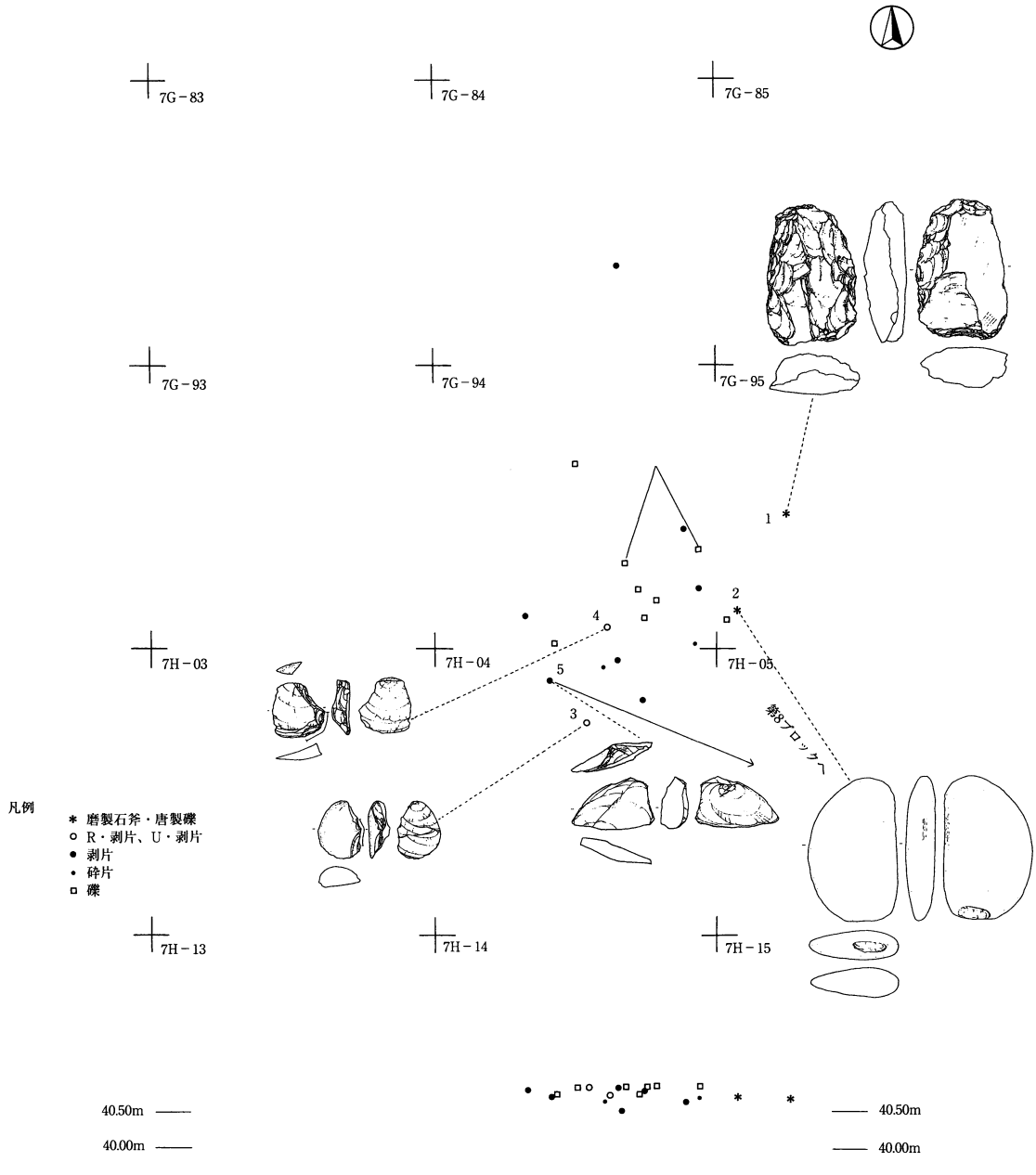
15a＋15b

7G－93－0002＋7G－93－0004

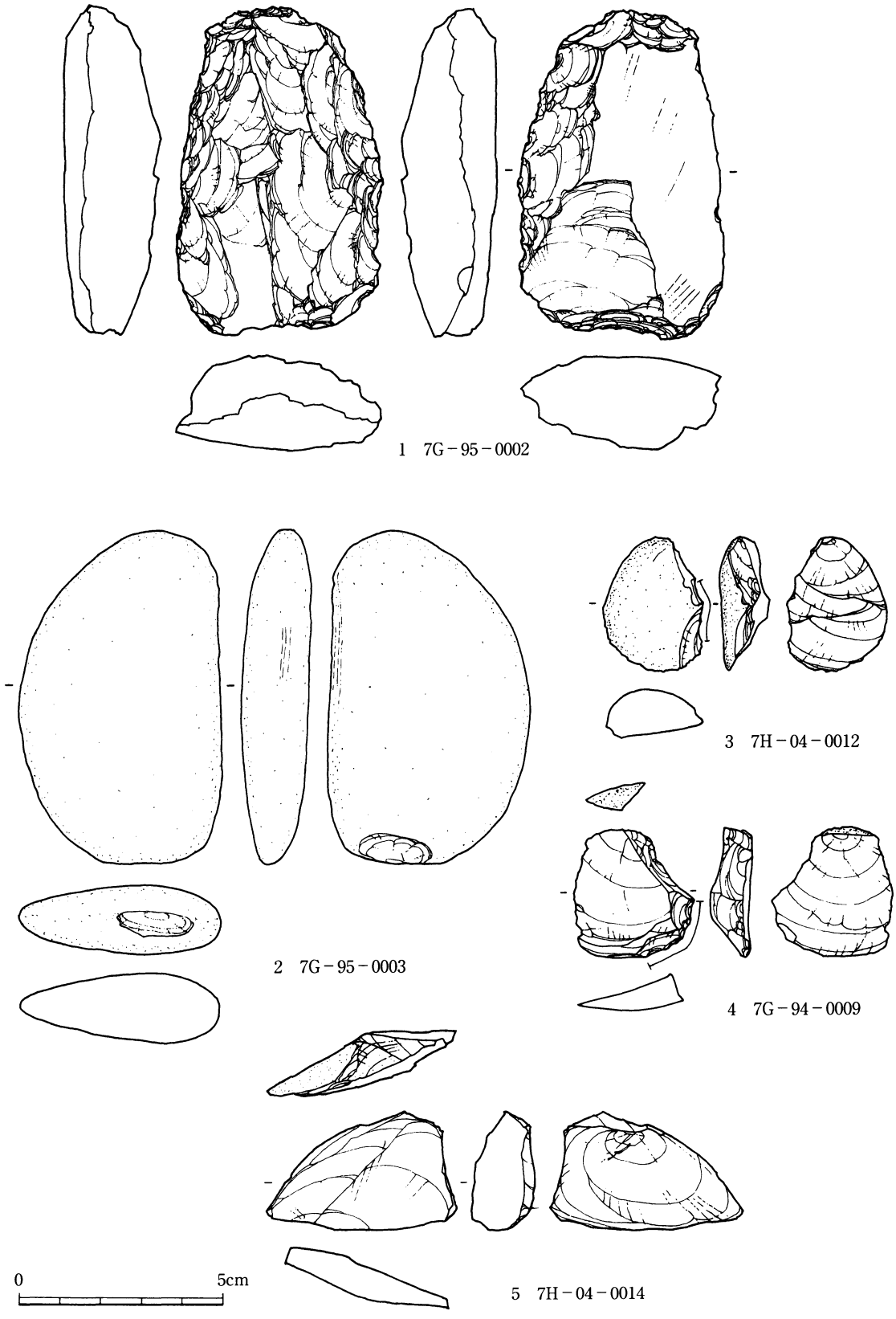
第34図　第6ブロック出土遺物実測図（2）



第35図　第6ブロック出土遺物実測図（3）



第36図　第7ブロック出土状況図（scale　1／100）



第37図　第7ブロック出土遺物実測図

第８ブロック（第38～40図１～11、写真図版７、８、第８、46表）

分　布　　石器は、７Ｈ－04の南から７Ｈ－14グリッドの北側にかけて分布している。垂直分布は、Ⅸ層～Ｘ層に分布の主体を占める。平面は、東西３ｍ、南北４ｍほどの範囲にやや粗く分布している。

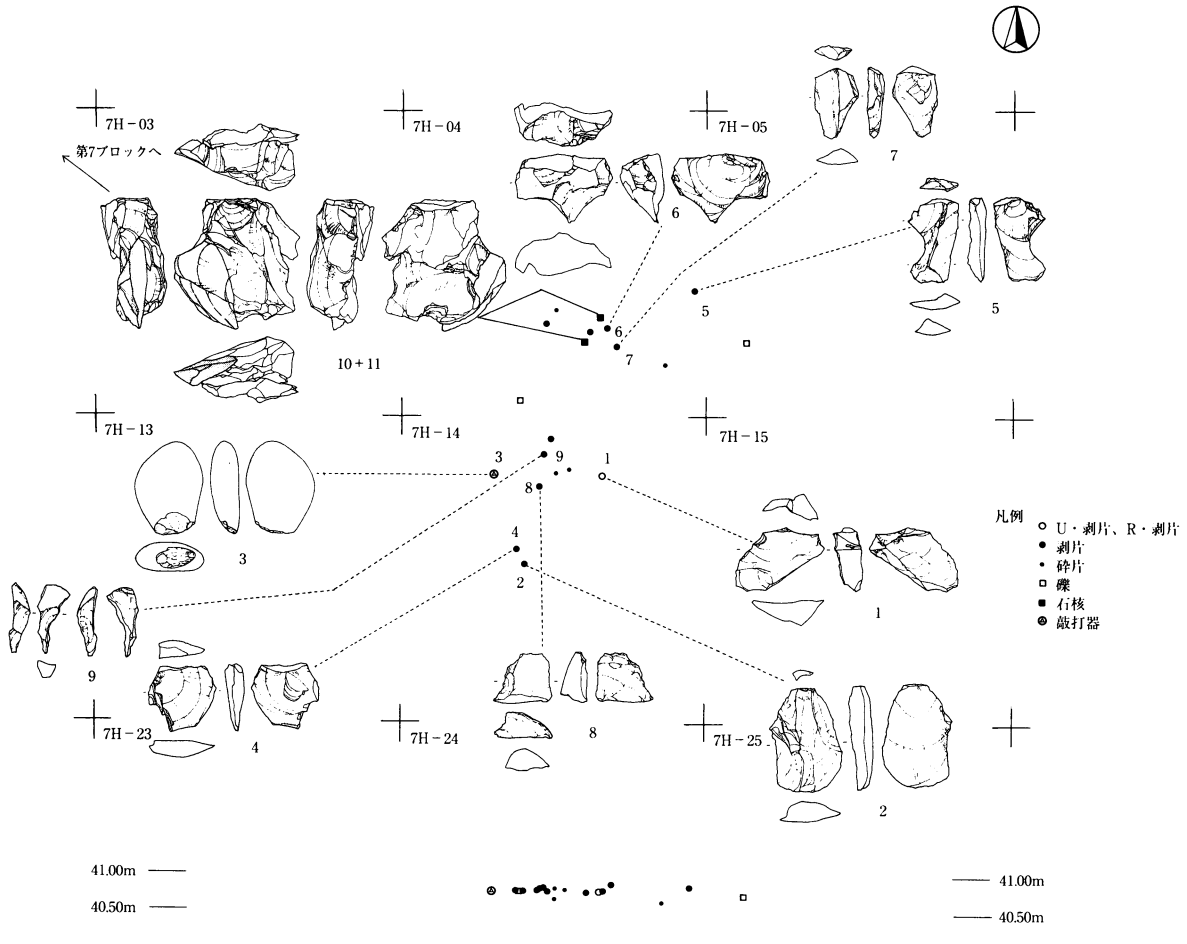
石　材　　安山岩Ａ７点、流紋岩４点、凝灰岩１点、珪質頁岩10点で構成される。

器　種　　Ｒ・剥片１点、石核２点、敲石１点、剥片13点、砕片１点、礫４点の合計22点で構成される。

Ｒ・剥片（第39図１）珪質頁岩のＲ・剥片である。左縁辺部に沿って複数の剥離痕がある。右下部分は折れた可能性がある。

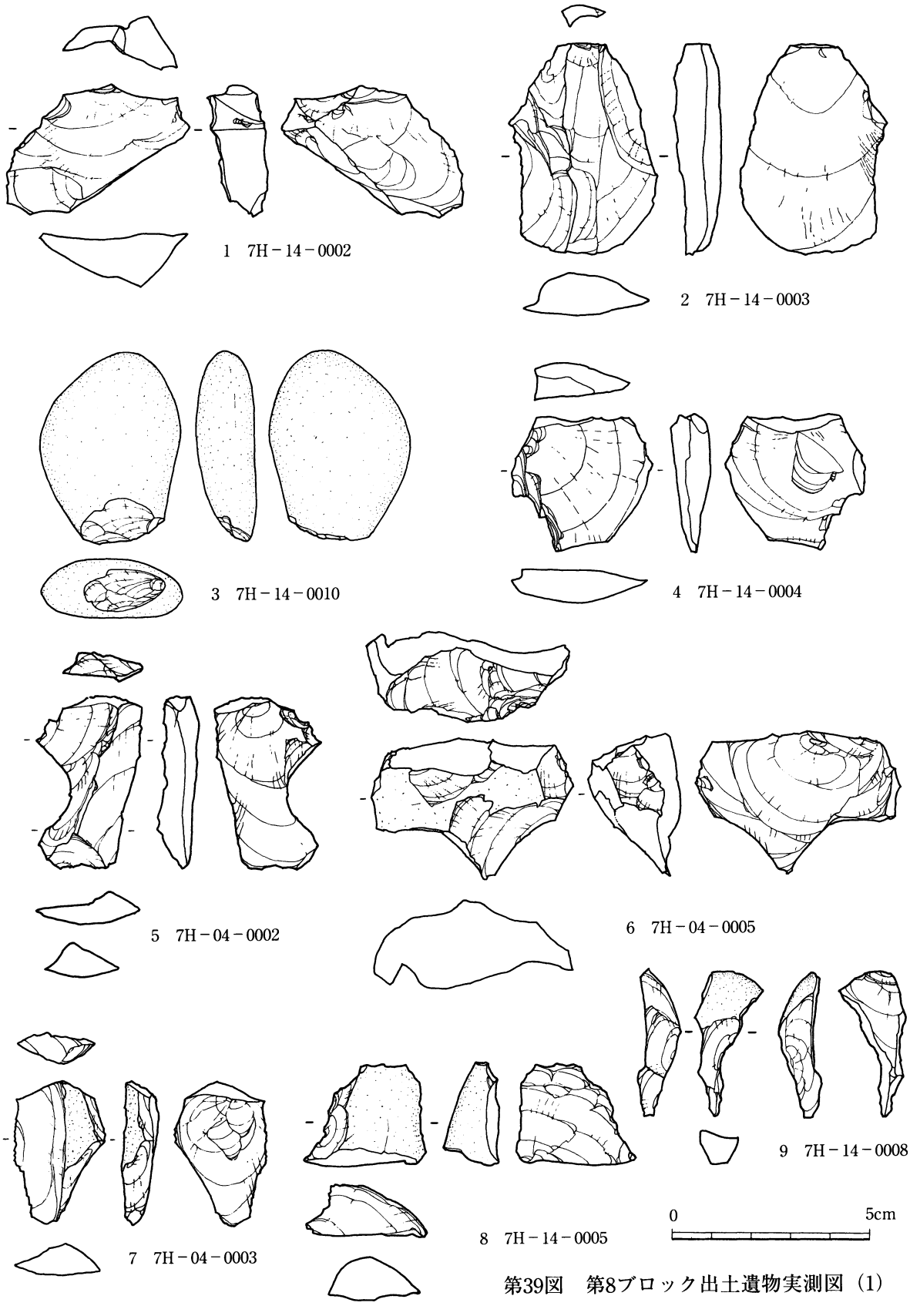
敲石（第39図３）凝灰岩の敲石である。下端部に集中的に打痕が見られる。

剥片（第39図２・４～９）２は安山岩Ａの剥片である。背面はおおむね上方向から複数回の剥離が見られる。４～７は珪質頁岩の剥片である。背面はやや左方向からの剥離が１回と打面調整の細かな調整が認められる。５は背面に上下方向から１条づつの剥離が認められる。６は剥離されたあとより小さな剥片を剥いだ可能性があり、あるいは石核転用された資料とすべきかもしれない。背面に一部原礫面を残す。７は背面に左方向からの剥離面と原礫面を残す。左側縁部分は薄いので刃こぼれが認められ、あるいはＵ・剥片とすべきかもしれない。８、９は安山岩Ａの剥片である。両者とも調整のための剥離が認められ、細かな分類では石核調整剥片とすべき資料である。両者とも原礫面を有する。

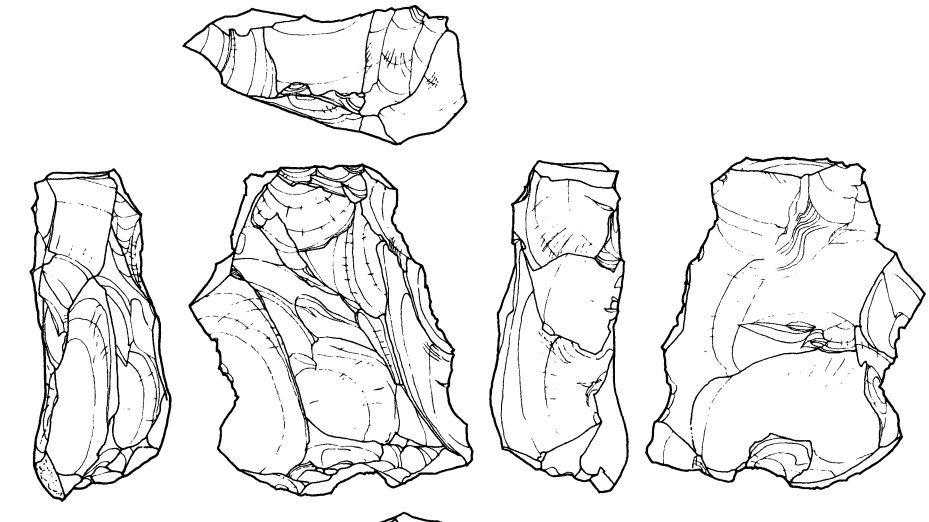


第38図　第8ブロック出土状況図（scale　1／100）

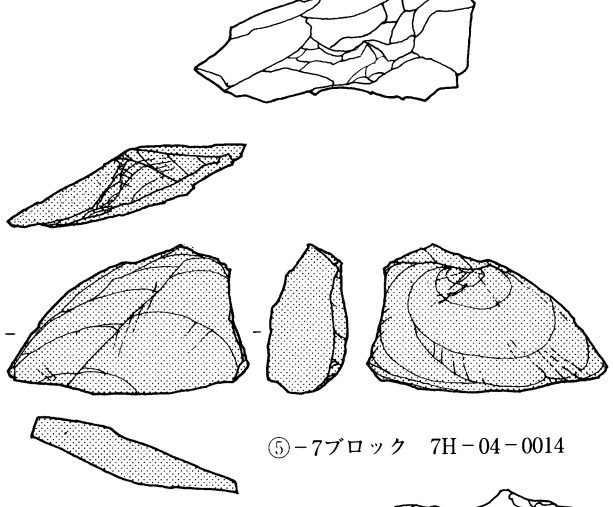
石核及び接合資料（第40図10・11）10及び11は珪質頁岩の石核である。併せて５（７ブロック）との３点で接合する。薄い青灰色の珪質頁岩で当該ブロックの主体を占める石材である。



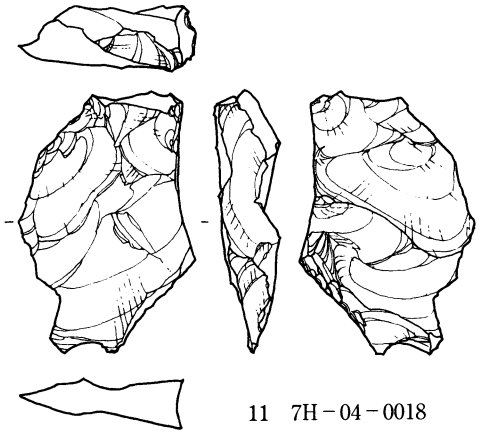
第39図　第8ブロック出土遺物実測図（1）



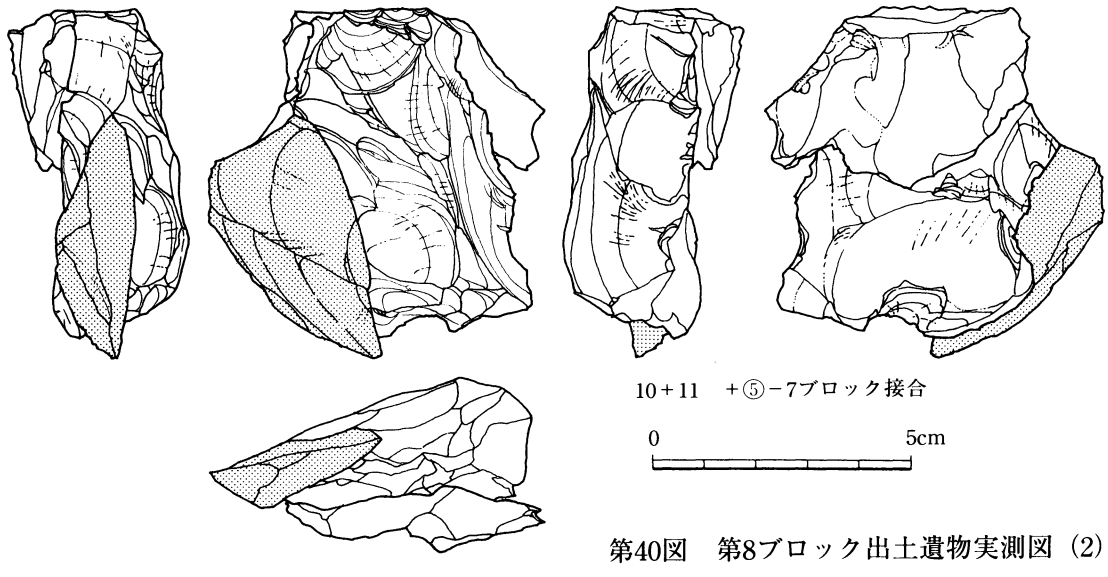
10　7H－04－0006



⑤－7ブロック　7H－04－0014



11　7H－04－0018



10＋11　＋⑤－7ブロック接合

0　5cm

第40図　第8ブロック出土遺物実測図（2）

第９ブロック　（第41～47図１～33、写真図版８、９、第９、47表）

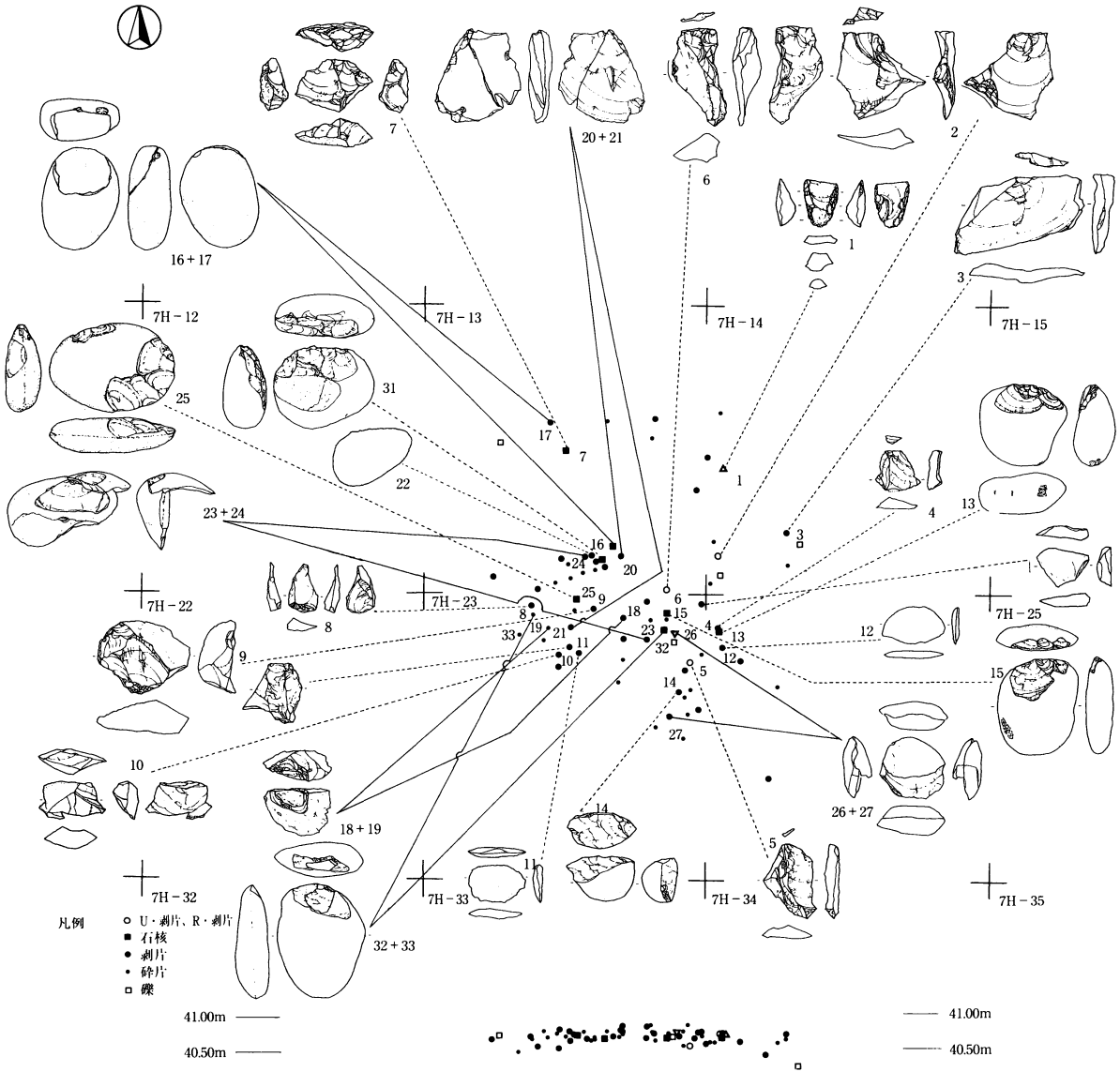
分　布　　石器は、７Ｈ－13～７Ｈ－23グリッドにかけてやや濃密に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層にかけて分布している。平面は、東西５ｍ、南北４ｍほどの範囲に広がりを見せる。

石　材　　チャート９点、安山岩23点（内安山岩Ａ22点、残り１点はトロトロ石１点）、砂岩６点、流紋岩３点、凝灰岩４点、珪質頁岩29点、メノウ３点、石英３点である。石材の種類は多いが、特定の石材が多用されているのが特徴と思われる。

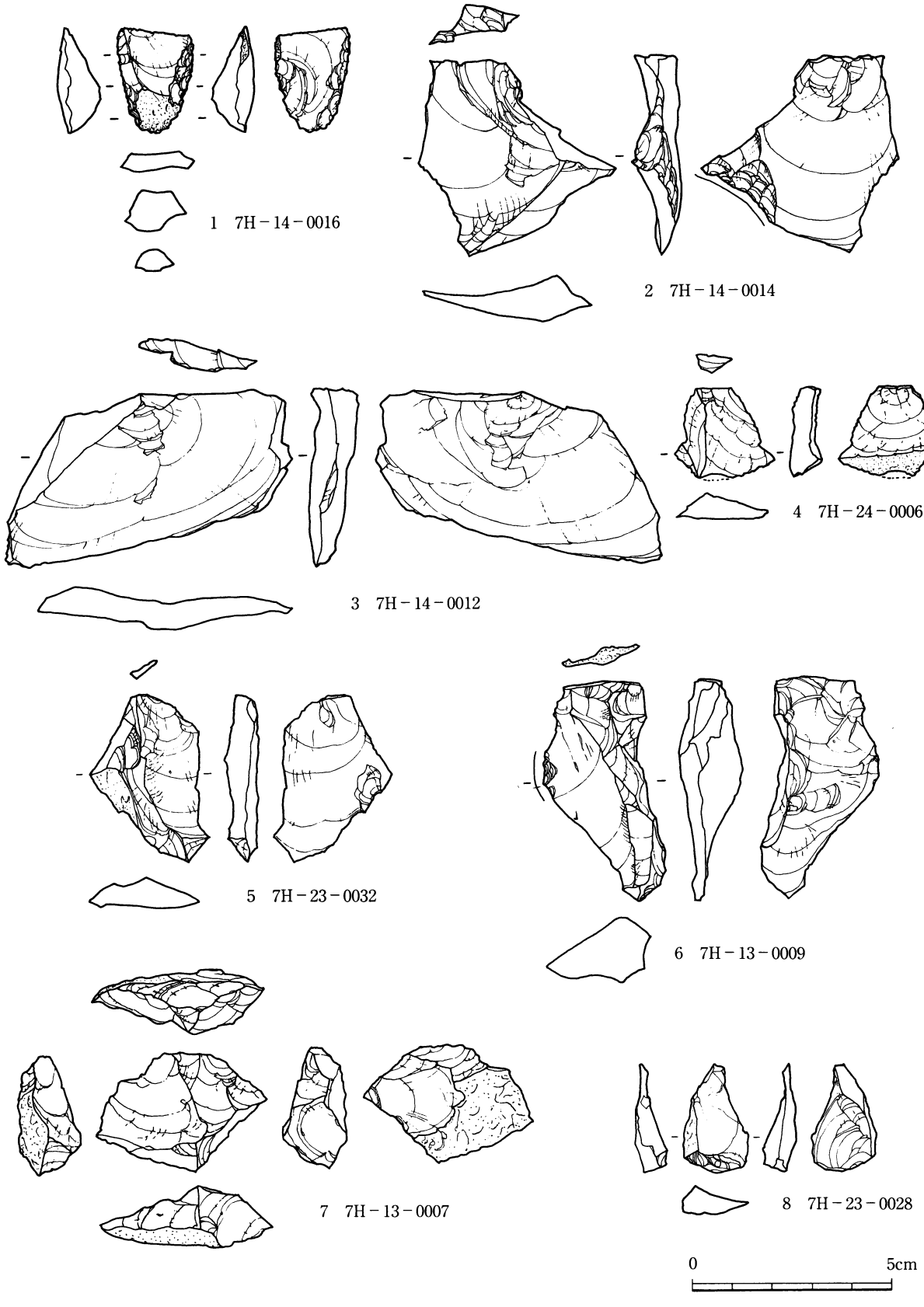
器　種　　楔形石器１点、台形石器１点、削器１点、Ｒ・剥片１点、Ｕ・剥片２点、石核７点、剥片46点、砕片16点、礫５点の合計80点で構成される。

台形石器（第42図１）安山岩Ａの台形石器である。横長の剥片を横位に使用して両側縁を丁寧に加工して仕上げてある。石器自体の下半部分はやや厚みがあり、原礫面も残す。

削器（第42図２）珪質頁岩の削器である。やや不整な縦長の剥片の右側縁部分の縁辺の出っ張った部分にやや大きな剥離が施されている。



第41図　第9ブロック出土状況図（scale　1／100）



第42図　第9ブロック出土遺物実測図（1）

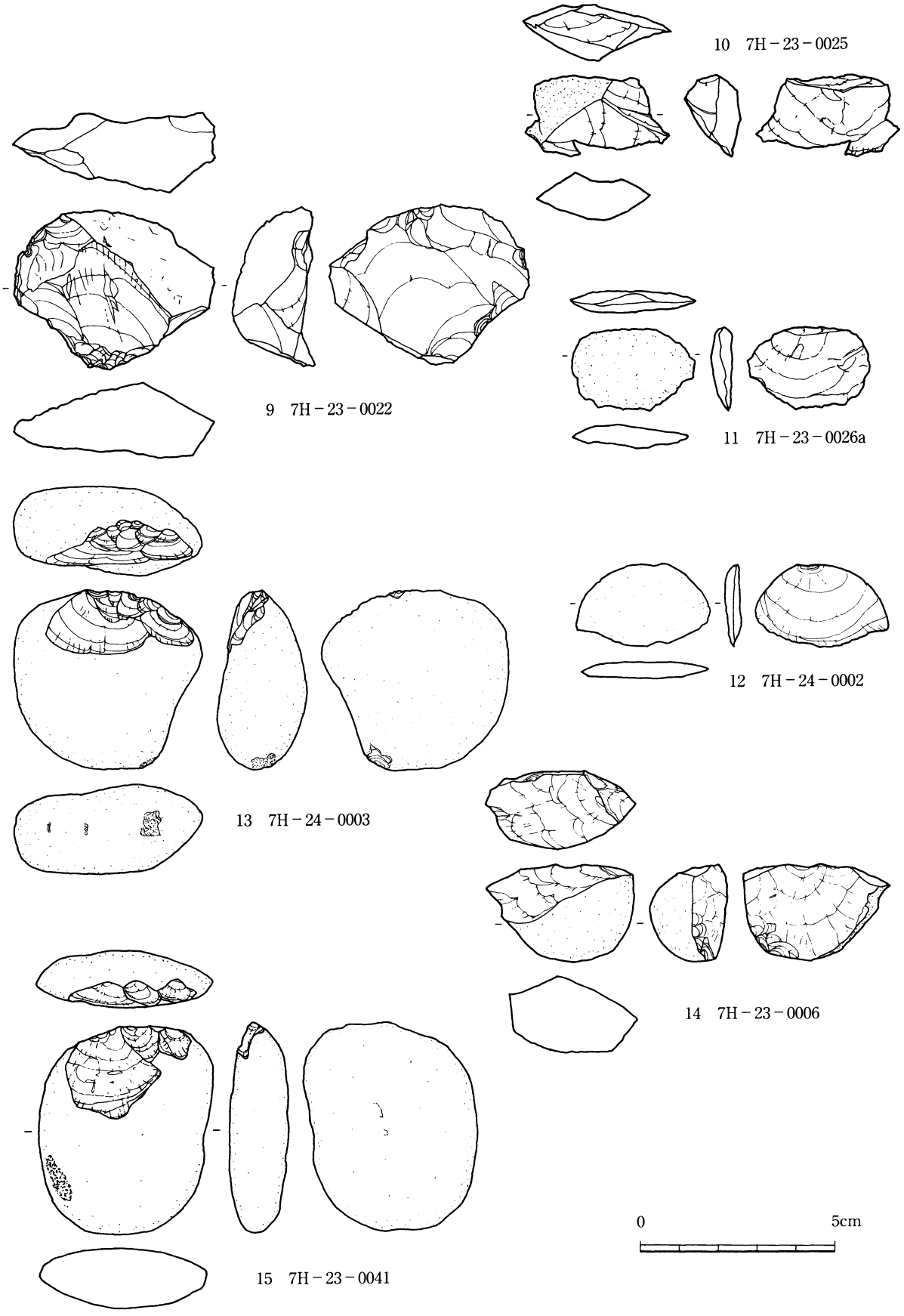
U・剥片（第42、45図５、22）５は珪質頁岩のU・剥片である。縦長の剥片の先端に近い部分に細かな剥離が見られる。背面には一部礫面を残す。22は凝灰岩の横長の剥片である。縁辺部分には細かな剥離が見られる。背面は礫面で覆われている。

R・剥片（第46図28）28は安山岩AのR・剥片である。先端部分が加工されている。背面は礫面で覆われている。

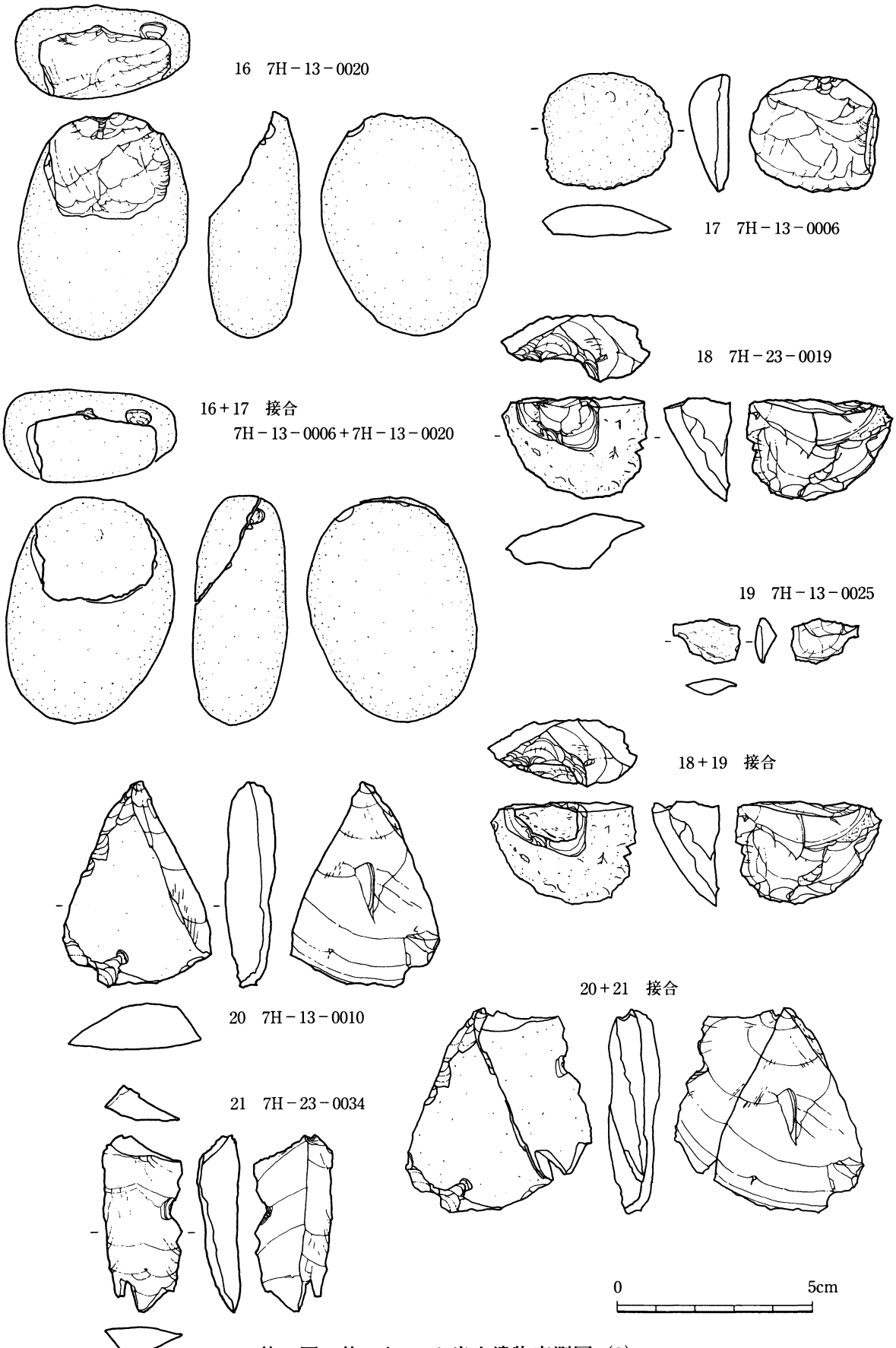
石核（第42、43、45図７、13、15、25）７は安山岩Aの石核である。比較的大きな剥片を利用して石核にしたものである。13は流紋岩の石核である。扁平の円礫の上端部分に剥片剥離を行った剥離痕が見られる。その際下端部に衝撃のための痕跡を残す。15はメノウの石核である。13と同様に扁平の円礫の上端部分に剥片剥離を行っている。25は安山岩Aの石核である。扁平な楕円礫の縁辺部分から中央に向かって剥片剥離を行っている様子の分かる資料である。

剥片（第42、43、46図３、４、６、８～12、14、29、30）３はチャートの横長の大形剥片である。比較的縁辺部分は薄く、刃器として使用した可能性が考えられる。４は安山岩Aの小型の剥片である。小円礫を使用して剥がされた剥片で、一部に礫面を残している。６は珪質頁岩の縦長の剥片である。胴部はやや厚いが、先端部は薄くなる。８は珪質頁岩の小剥片である。頭部調整された剥片である。９は珪質頁岩の大形剥片である。厚手の大形剥片で一部に原礫面を残す。10は安山岩Aの剥片である。比較的厚みのある剥片で背面に礫面を残す。11は安山岩Aの剥片である。薄い幅広の剥片で背面が礫面で覆われている。12は安山岩Bの剥片で11と同様背面が礫面で覆われている。14は安山岩Aの剥片である。石核を調整するため大きく剥がされた調整剥片であろう。背面は大部分礫面で覆われる。29は珪質頁岩のやや不整な剥片である。背面に多方位の剥離が認められる。30は凝灰岩の横広の剥片である。確認調査時の資料のため出土地点層位とも不明であるが、共通石材等が見られることから当ブロックに所属する資料であると考えられる。

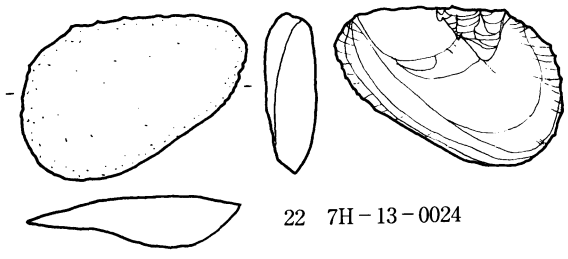
接合資料（第44～47図16～24、26、27、32、33）16はチャートの石核である。17はチャートの剥片である。扁平な楕円礫の一方向から剥片剥離を行い始めるという典型的な資料である。18と19は珪質頁岩の剥片と砕片が接合した資料である。おそらく剥離作業の段階で同時に剥離したものと思われる。20と21は珪質頁岩の接合資料である。剥片の背面は風化した節理面で覆われている。主剥離面の形態から剥片剥離時に同時に剥離して割れたものと思われる。23と24はチャートの接合資料である。楕円礫の石核部分が欠落している資料である。26と27はメノウの接合資料である。26は楔形石器である。縁辺部に細かな剥離が施されている。27は剥片で26とは表裏で接合する資料でもともとそれほど大きくない小楕円礫を使用したものである。32と33は石英の接合資料である。32は扁平な楕円礫の片側から剥離作業を行い始めた段階の資料とその際に剥離された小剥片である。このブロックで見られる楕円礫を利用した小剥片を剥離する技術は非常に共通するものがうかがわれるが、そのほとんどが初期の剥離段階で放棄していることにはやや問題が残る。



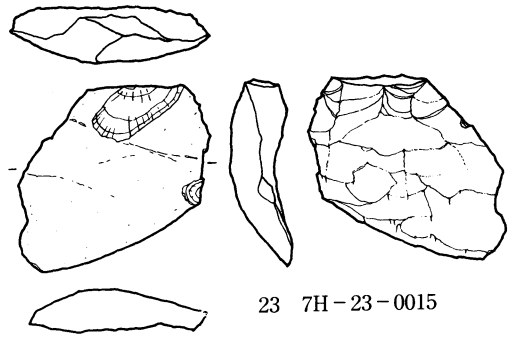
第43図　第9ブロック出土遺物実測図（2）



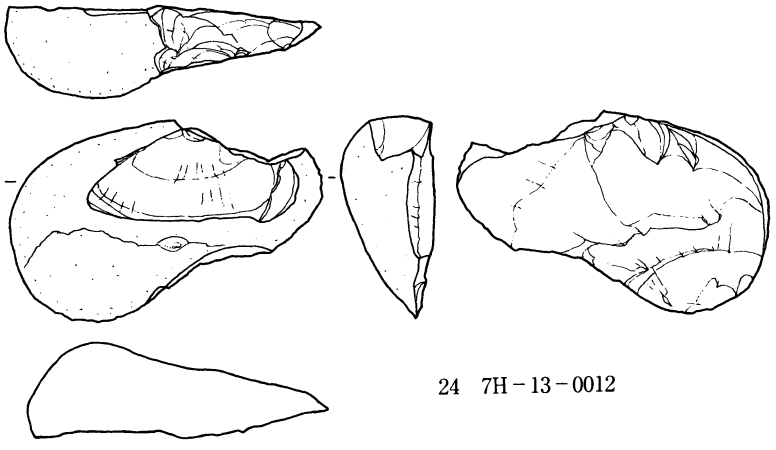
第44図　第9ブロック出土遺物実測図（3）



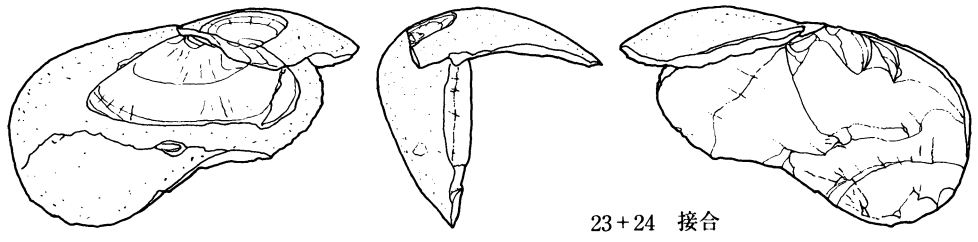
22　7H－13－0024



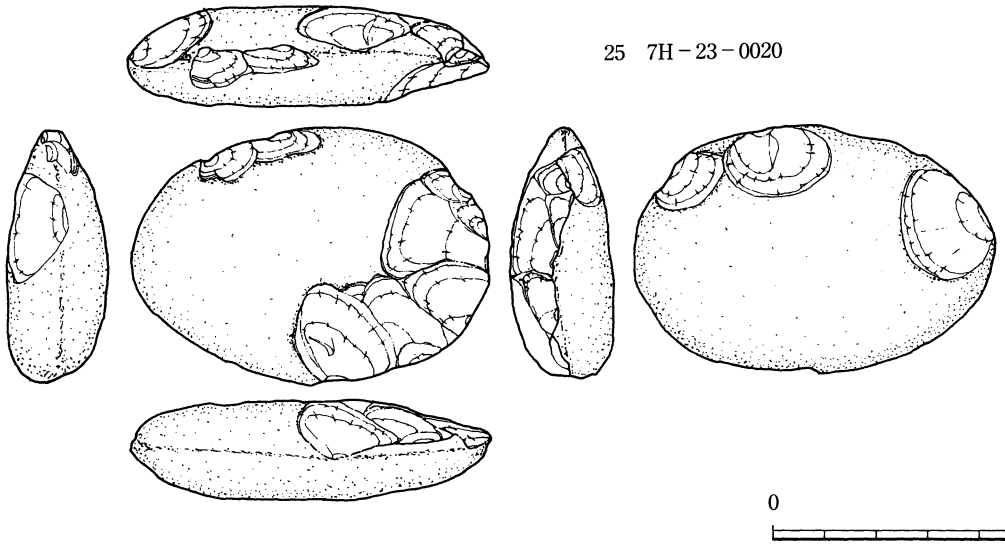
23　7H－23－0015



24　7H－13－0012



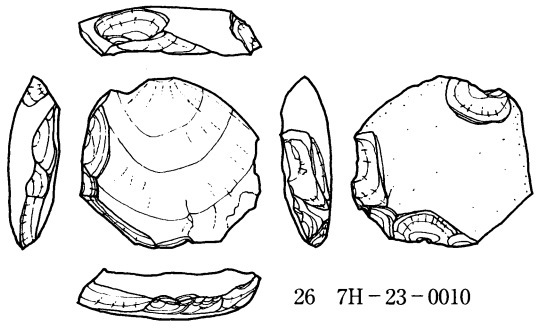
23＋24　接合



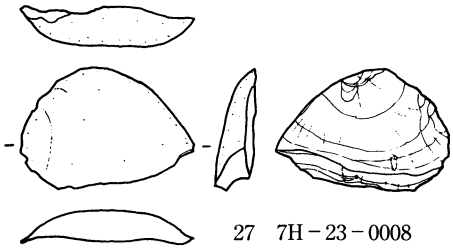
25　7H－23－0020

0　5cm

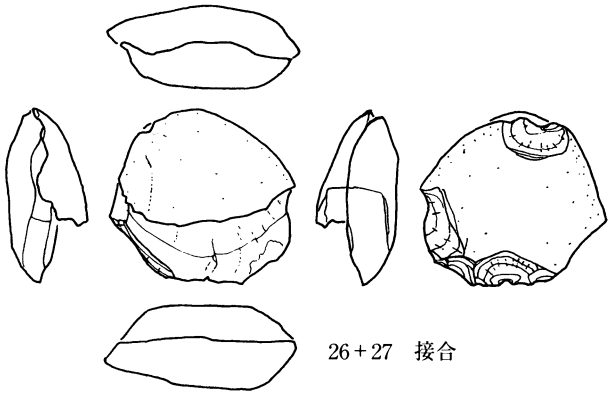
第45図　第9ブロック出土遺物実測図（4）



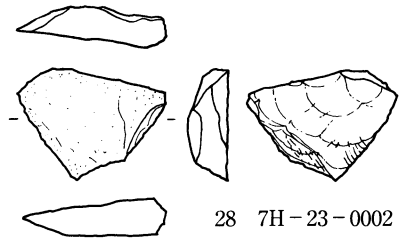
26　7H－23－0010



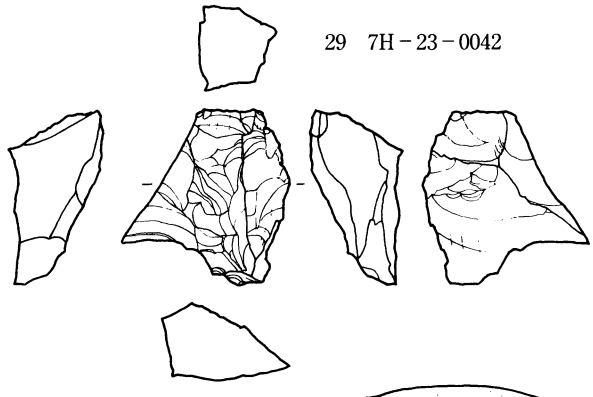
27　7H－23－0008



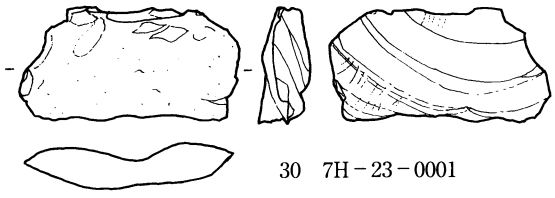
26＋27　接合



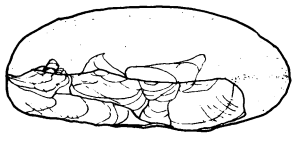
28　7H－23－0002



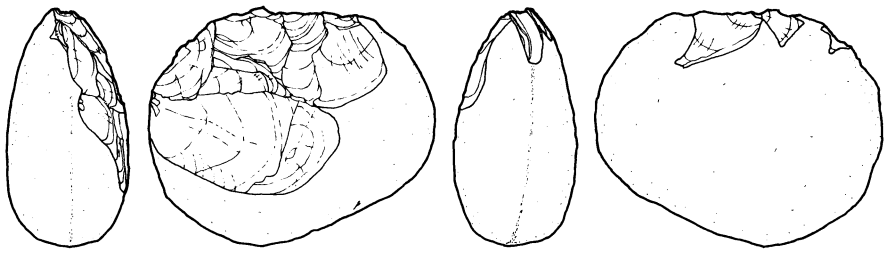
29　7H－23－0042

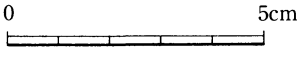


30　7H－23－0001

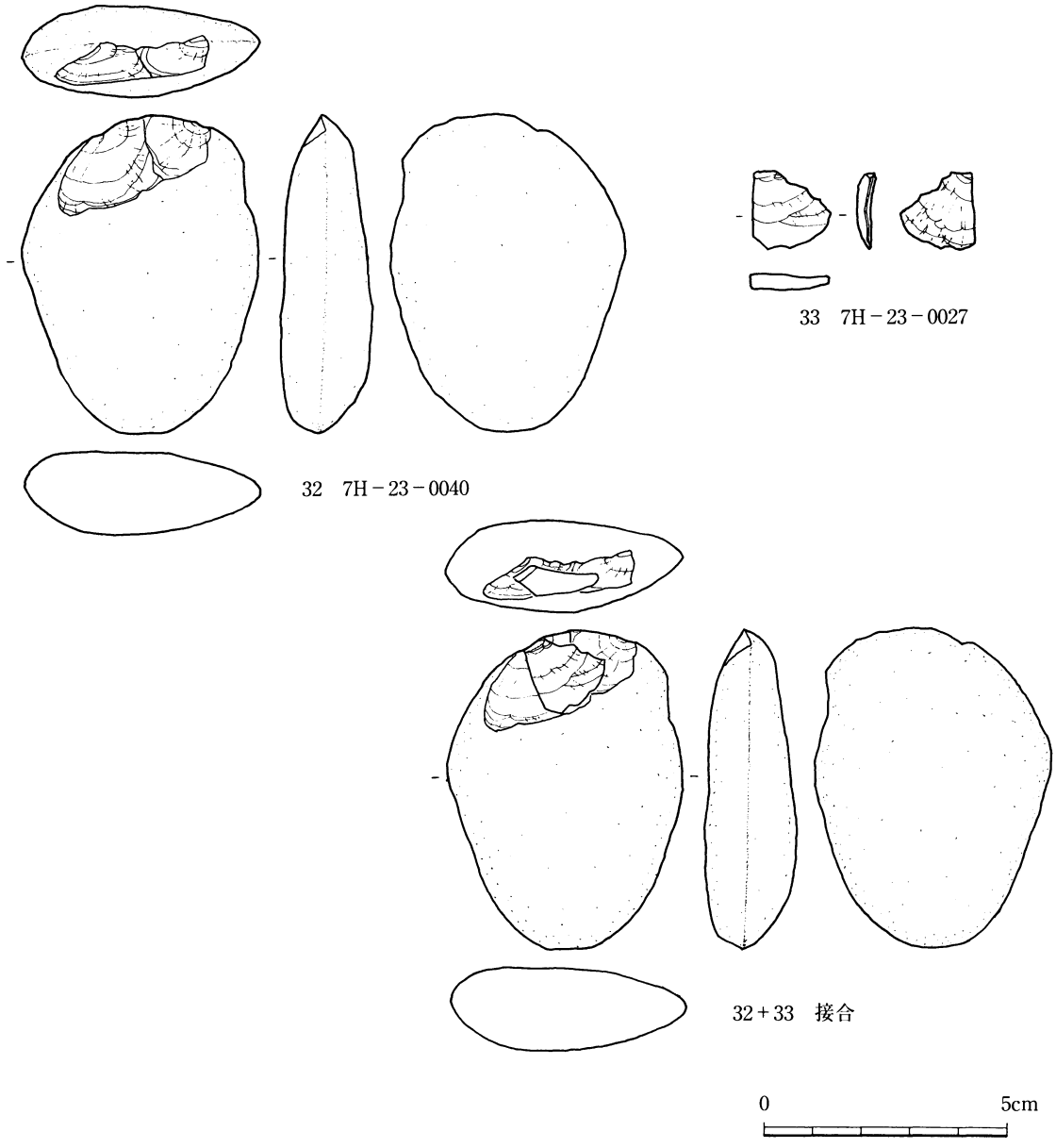


31　7H－13－0011





第46図　第9ブロック出土遺物実測図（5）



第47図　第9ブロック出土遺物実測図（6）

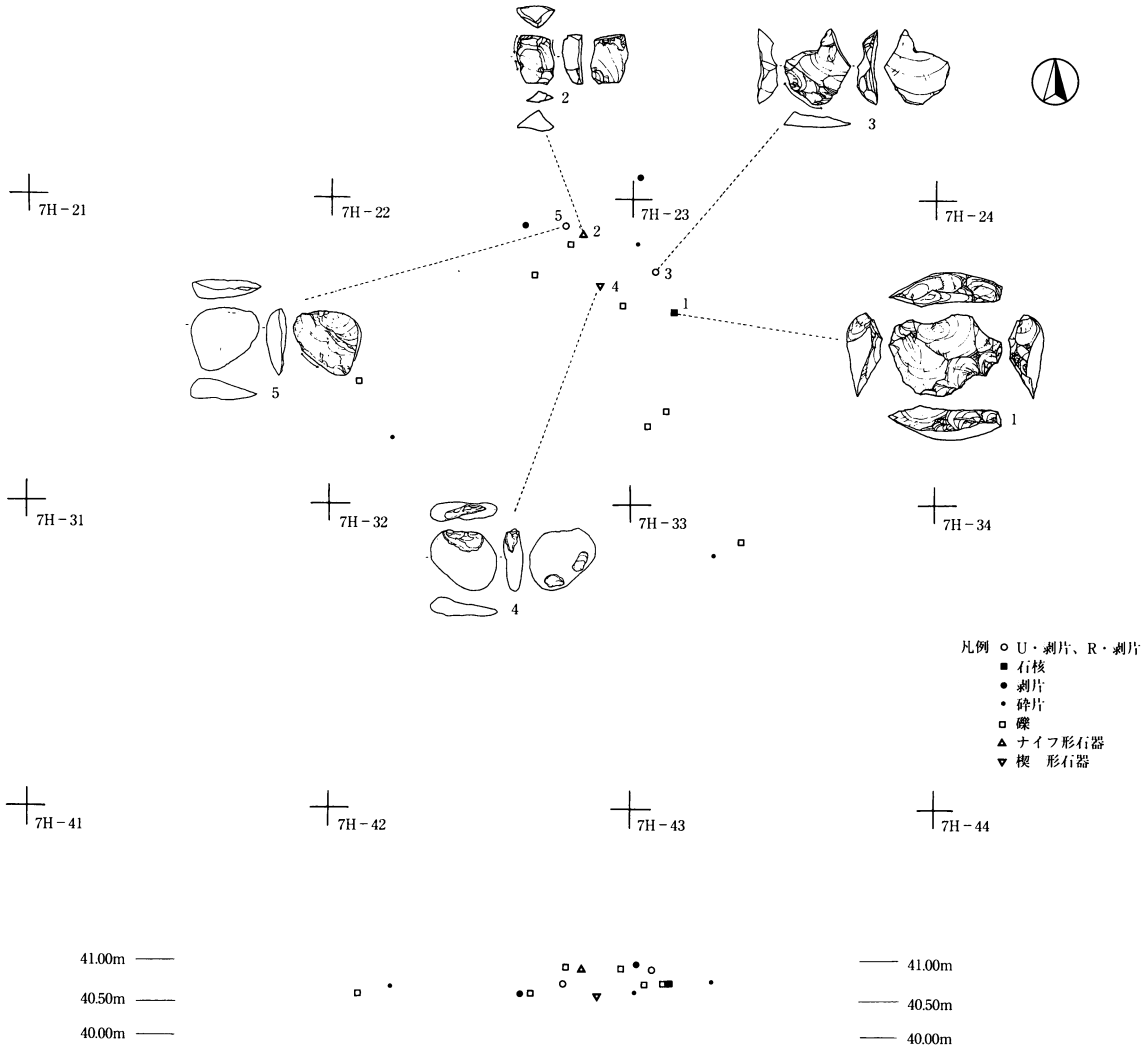
第10ブロック　（第48、49図１～５、写真図版10、第10、48表）

分　布　　石器は、７Ｈ－23～７Ｈ－33グリッドにかけて細長くやや希薄に分布している。垂直分布はⅦ層～Ⅸ層にかけて分布している。平面は、東西２m、南北５mほどの範囲に細長く広がる。

石　材　　チャート１点、安山岩Ａ１点、砂岩３点、流紋岩４点、凝灰岩３点、珪質頁岩３点、メノウ１点で構成される。

器　種　　楔形石器１点、ナイフ形石器１点、削器１点、Ｕ・剥片１点、剥片４点、砕片２点、礫６点の合計17点で構成される。点数の少ない割に器種構成並びに石材の多様性が注目されるブロックである。

楔形石器（第49図４）　４は砂岩の楔形石器である。扁平な小円礫の上端、下端に打撃による剥離痕が顕著に認められる。



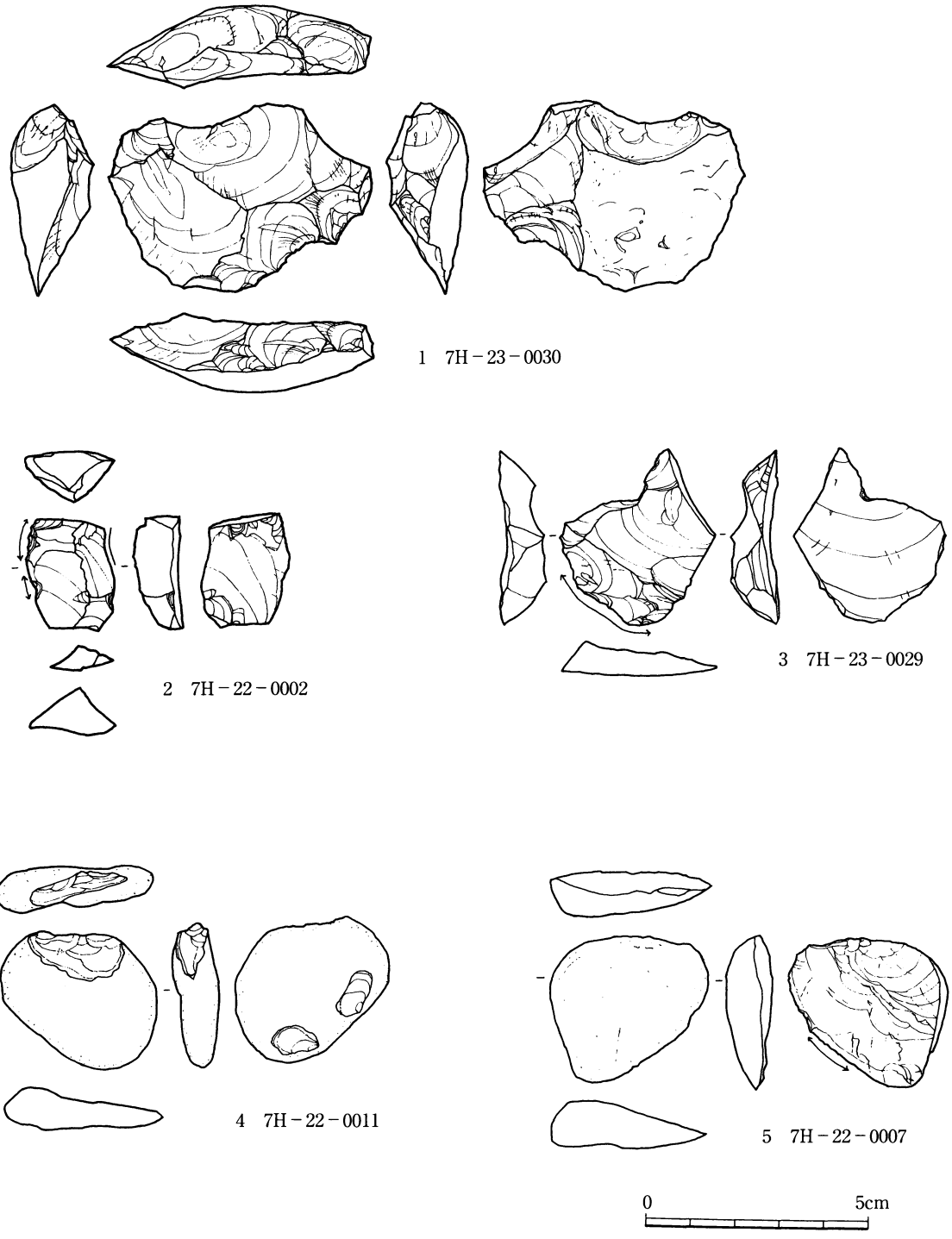
第48図　第10ブロック出土状況図（scale　1／100）

削器（第49図３）　３は珪質頁岩の削器である。剥片の先端部分に複数の小剥離による加工が見られる。

ナイフ形石器（第49図２）　２は珪質頁岩のナイフ形石器である。左側縁部分には刃つぶしの加工が施されている。また、右側縁部には細かな刃こぼれが見られる。

石核（第49図１）　１は珪質頁岩の石核である。大形の剥片を利用してより小さな剥片を多方位から剥離した石核である。片側は半分以上原礫面が覆う。

U・剥片（第49図５）　５はチャートのU・剥片である。チャートの原礫を打ち欠いて作り出した剥片で背面は原礫面で覆われる。縁辺部分に細かな刃こぼれが見られる。

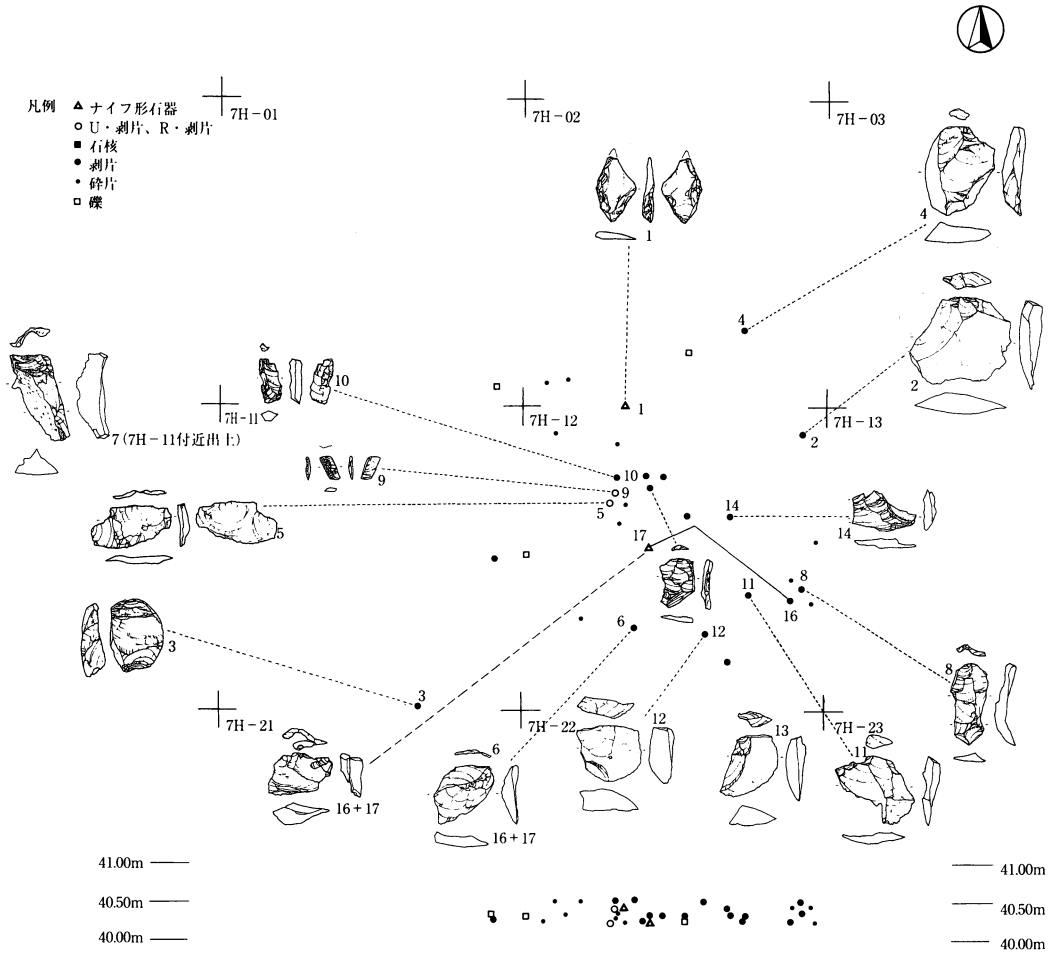


第49図　第10ブロック出土遺物実測図

第11ブロック　（第50～52図１～17、写真図版10、第11、49表）

分　布　　石器は、７Ｈ－12グリッドを中心にややまとまりながら分布している。垂直分布はⅦ層～Ⅸ層にかけて分布している。平面は、東西４ｍ、南北４ｍほどの範囲にほぼ円形に広がる。

石　材　　チャート３点、安山岩５点、砂岩１点、流紋岩１点、凝灰岩３点、珪質頁岩16点、メノウ３点、黒曜石１点、蛇紋岩１点で構成される。



第50図　第11ブロック出土状況図（scale　1／100）

器　種　　楔形石器１点、ナイフ形石器１点、台形石器１点、Ｒ・剥片１点、Ｕ・剥片１点、剥片22点、砕片５点、礫３点の合計35点で構成される。点数の割に器種構成が多様な点と、剥片の比率が高いのが特徴である。

楔形石器（第51図３）３はチャートの楔形石器である。剥片の頭部及び先端部に打痕が大きく残る。背面はほぼ礫面で構成される。

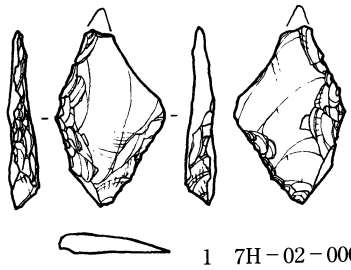
ナイフ形石器（第51図１）１は珪質頁岩のナイフ形石器である。薄い横剥ぎの剥片を利用した切り出しナイフの形をしたナイフ形石器である。刃部を除く両側縁部分、特に基部を丁寧に加工して仕上げてある。

台形石器（第52図17）17は珪質頁岩の台形石器である。薄い剥片の上下両端に細かな調整をして仕上げてある。なお、17と18の剥片は接合資料である。

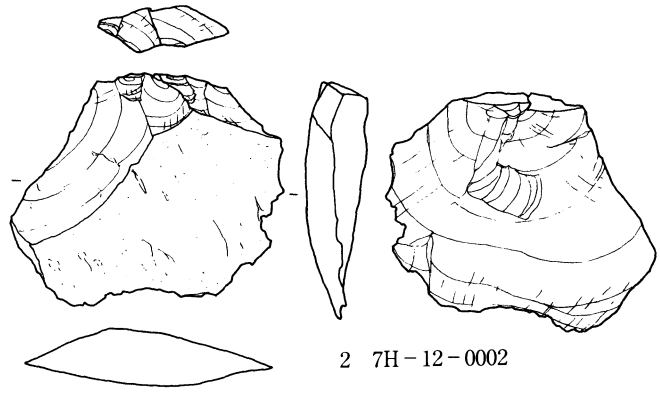
Ｒ・剥片（第51図９）９は黒曜石のＲ・剥片である。片側側縁部に加工痕が見られる。透明度の強い黒曜石を使用して作られている。

Ｕ・剥片（第51図５）５は凝灰岩のＵ・剥片である。横剥ぎの薄い剥片で先端部分に細かな不規則な刃こぼれが多く見られる。

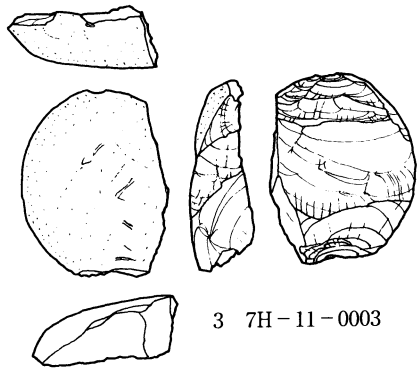
剥片（第51、52図２、４、６～８、10～15）２は珪質頁岩の剥片である。厚みのある剥片で下半分は礫面に覆われる。４は同様に珪質頁岩の剥片である。比較的厚めの縦長剥片で左側辺部分は礫面で覆われる。６は珪質頁岩の剥片である。調整打面を背面に有する剥片である。７はメノウの縦長剥片である。出土地



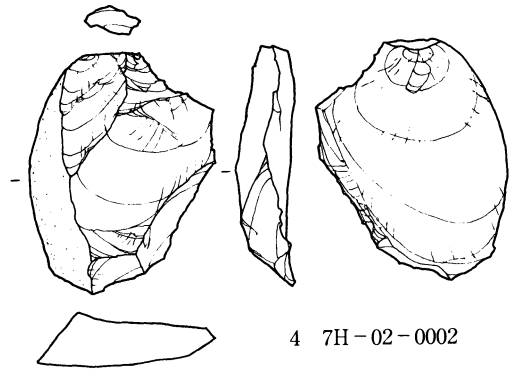
1　7H－02－0004



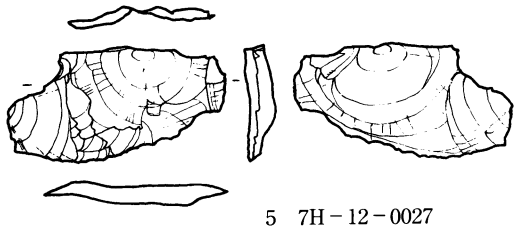
2　7H－12－0002



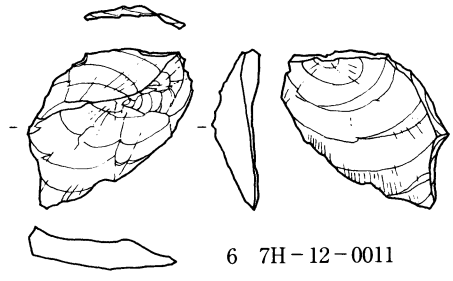
3　7H－11－0003



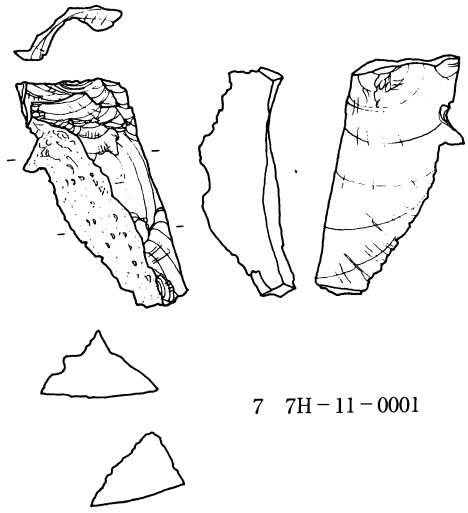
4　7H－02－0002



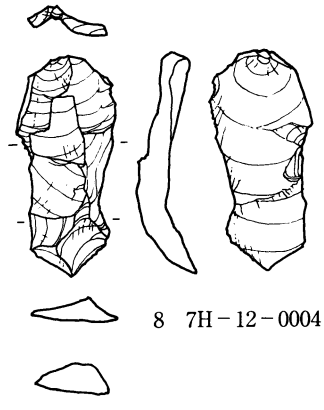
5　7H－12－0027



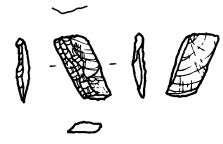
6　7H－12－0011



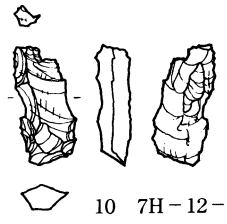
7　7H－11－0001



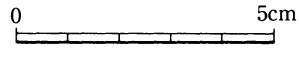
8　7H－12－0004



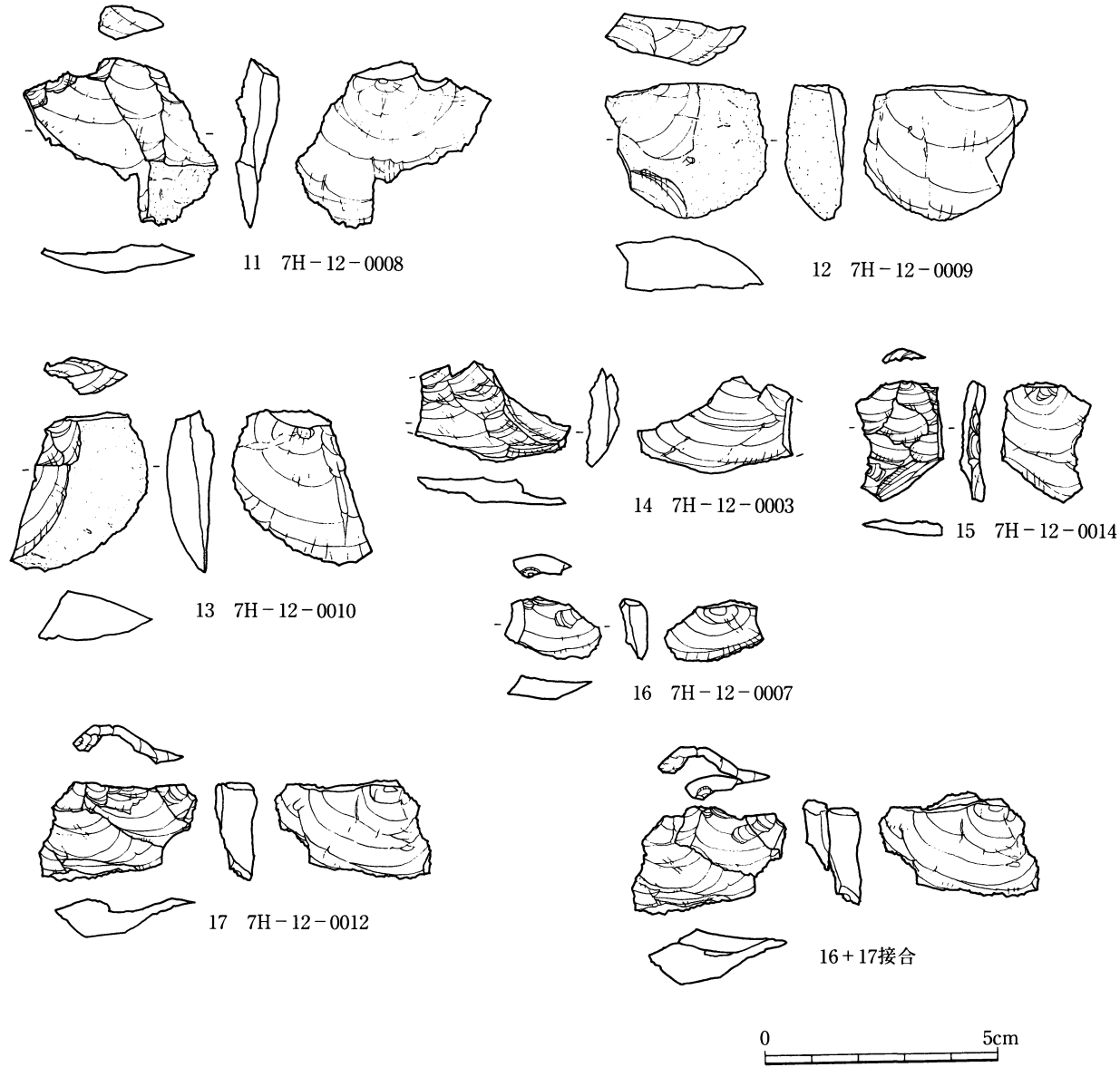
9　7H－12－0014



10　7H－12－0015



第51図　第11ブロック出土遺物実測図（1）



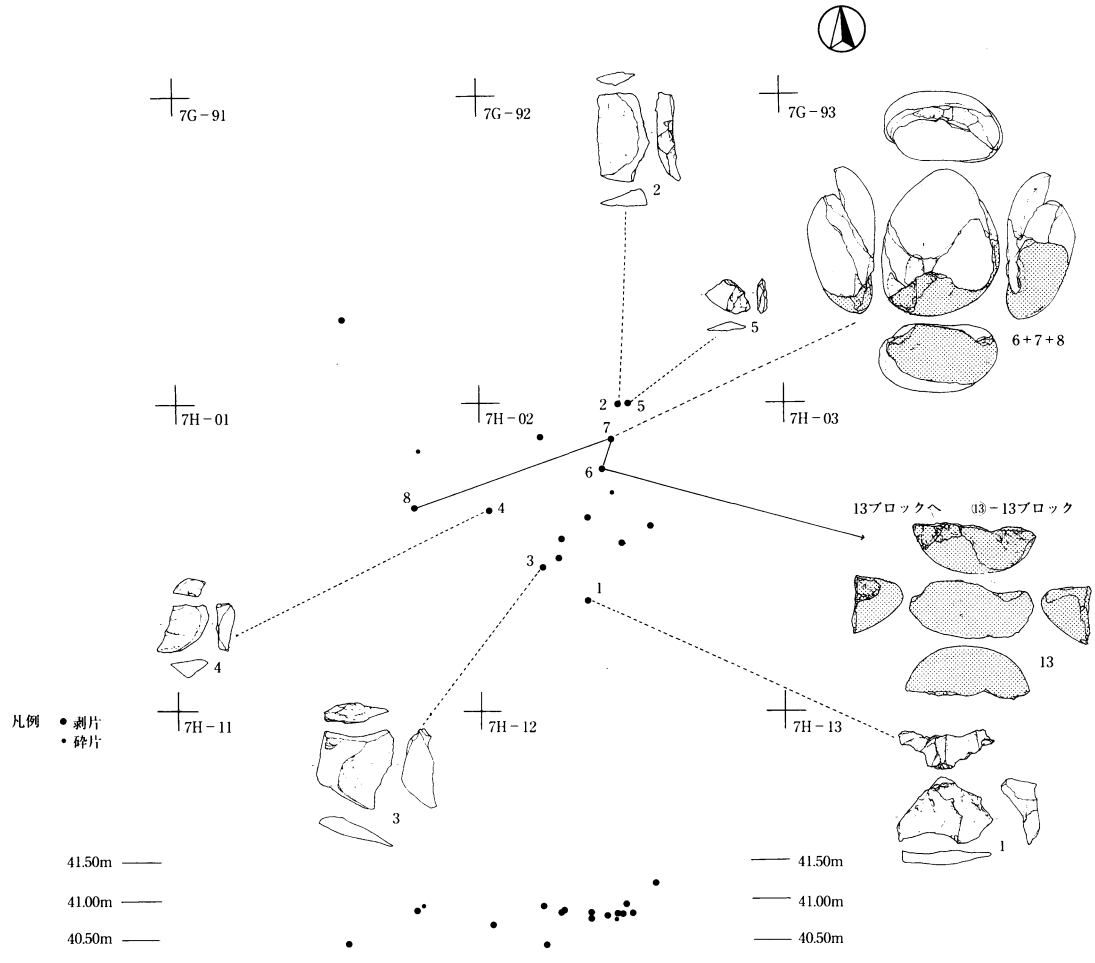
第52図　第11ブロック出土遺物実測図（2）

点は不明であるもののグリッド位置等から当該ブロックに帰属するものと考えられる。分厚いが、縁辺部分は鋭い。背部は、左半分礫面で覆われる。8は珪質頁岩の剥片である。縦長剥片で先端にかけて湾曲している。10は珪質頁岩の小剥片である。小さな割に厚みのある剥片である。11は安山岩Aの剥片である。片側が脚状になる不整形な剥片である。薄手の剥片で先端部に一部礫面を残す。12は凝灰岩の剥片で、背面に主剥離面と同方向の剥離面を1面をもつものの大部分は礫面で覆われている。13は安山岩Aの剥片で、主剥離面に直交する2面の剥離面を背面にもつ。また、礫面が背面の半分近くを覆う。縁辺部分は薄くて鋭い。14及び15は珪質頁岩の剥片である。いずれも縁辺部分は薄く鋭い。背面には幾つかの小さな剥離面が存在する。

接合資料（第52図16、17）珪質頁岩の接合資料である。16は台形石器、17は剥片である。当該ブロックのなかでは点数的にほぼ半数近くをしめる珪質頁岩という接合資料である。かなり小さな段階の剥片まで利用していたことが分かる良好な資料である。

第12ブロック　（第53～55図１～８、写真図版11、第12、50表）

分　布　　石器は、７Ｈ－02グリッドの南東１ｍを中心にほぼ径２ｍの円形の範囲にまとまりながら分布している。垂直分布はⅦ層～Ⅸ層にかけて分布している。平面は、東西２ｍ、南北２ｍほどの範囲にほぼ円形に広がる。



第53図　第12ブロック出土状況図（scale　1／100）

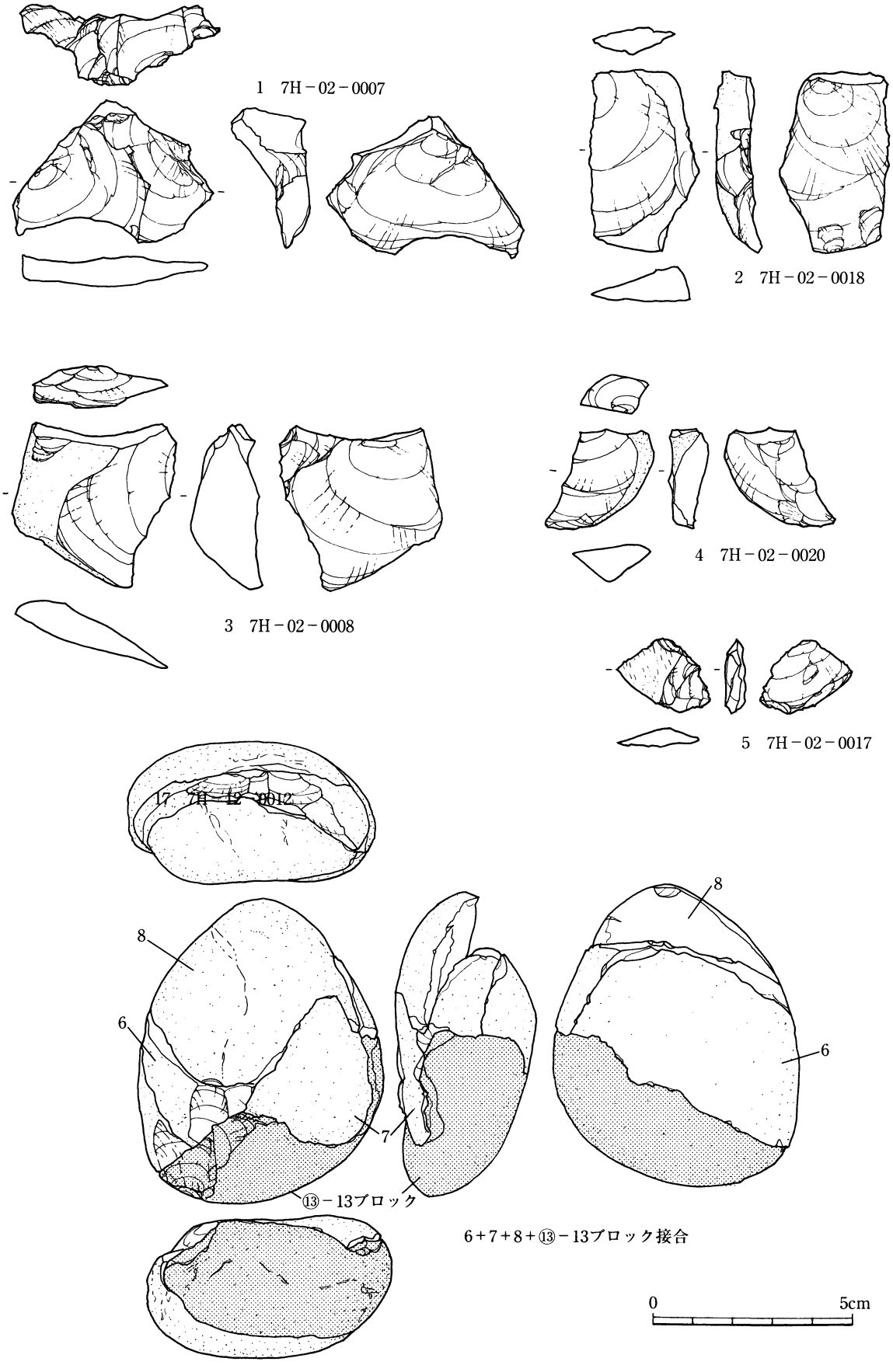
石　材　　チャート１点、安山岩５点、凝灰岩３点、珪質頁岩６点、蛇紋岩１点で構成される。

器　種　　石核１点、剥片15点の合計16点で構成される。点数も少なく剥片が大半をしめる単純な構成のブロックである。

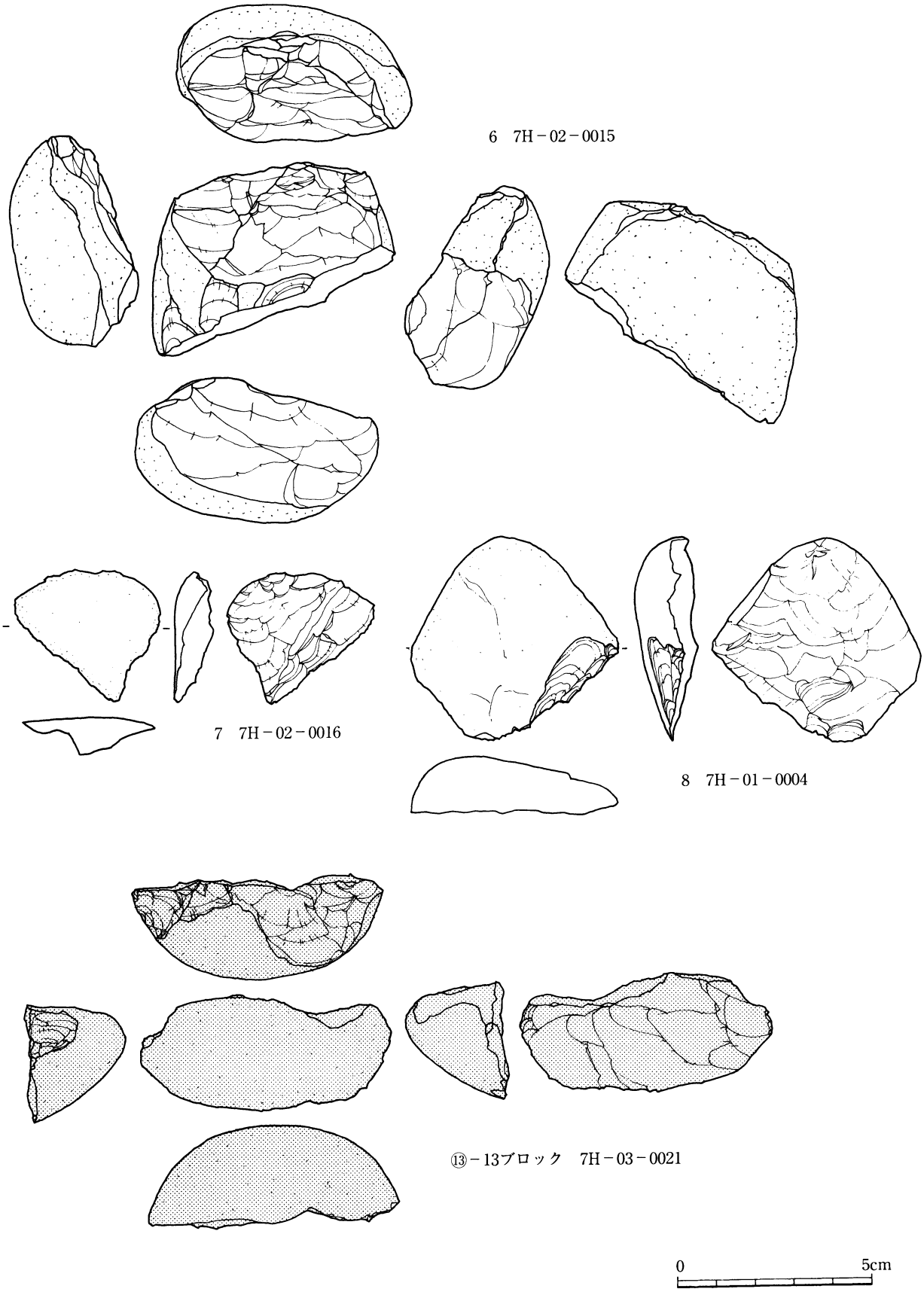
石核（第55図６）凝灰岩の石核である。接合資料でもある。⑬－13ブロックの石核とも接合し、隣接ブロック同士の関連性がうかがえる。礫全体の80％以上を復元した資料であるが、石核の剥離の規則性等は認められず、打割されて大形の剥片を剥ぎ取ったという印象しかうかがえない資料である。

Ｕ・剥片（第54図２）２は珪質頁岩のＵ・剥片である。縦長剥片で右側辺部分に不規則な剥離が複数認められる。背面は左方向の剥離で大部分を覆う。残り一部分を礫面が覆う。

剥片（第54～55図１、３～５、７、８）１は珪質頁岩の剥片である。三角形に近い形状をしめす。背面には多方向からの剥離が認められ、そうした任意の方向から剥片剥離した石核の存在をしめす資料である。断面の形状から打面側が極端に分厚く、先端部にかけて極端に薄くなる様子がうかがわれる。３は安山岩



第54図　第12ブロック出土遺物実測図（1）



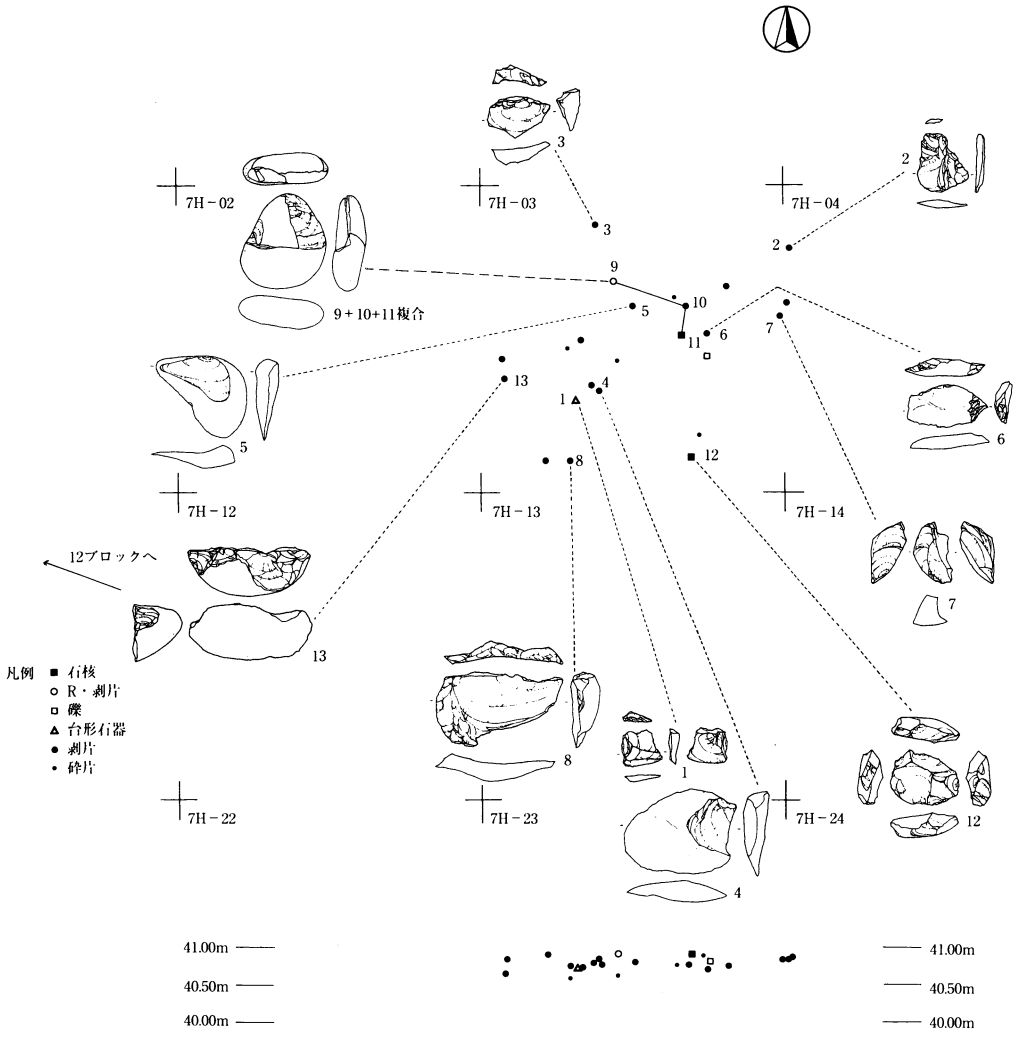
第55図　第12ブロック出土遺物実測図（2）

Aの剥片である。寸詰まりの五角形に近い形の剥片で、背面構成は右横方向からの剥離と礫面で覆われる。先端部分に近い部分が厚みをます。4は安山岩Bの小剥片である。背面に一部礫面が残る。5は蛇紋岩の小剥片である。礫面に平滑な部分が認められる。あるいは他ブロックの磨製石斧の再生剥片の一部であるかもしれない。7、8は凝灰岩の剥片である。両者とも接合資料の一部で、背面は礫面で覆われる。

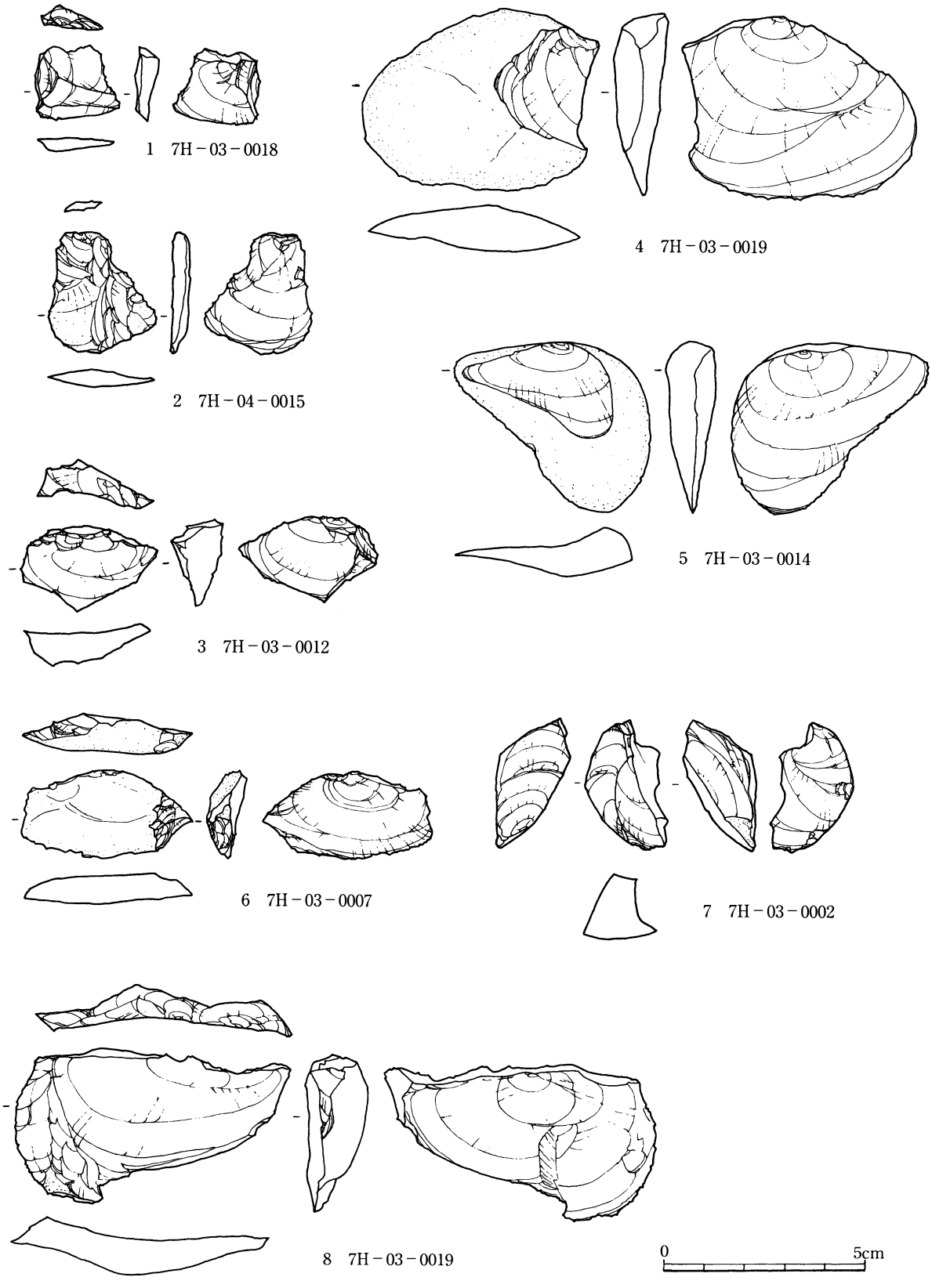
接合資料（第54～55図6～8、⑬－13ブロック）凝灰岩の接合資料で石核と大形剥片で接合し、ほぼ元礫の状態まで復元できる資料である。見つかっていない部分から遠くまで移動した可能性もあるが、現状では比較的狭い範囲（隣接するブロック）で移動したものと考えられる。また分布状態からも短期間の作業のうちに消費された可能性の高い資料と思われる。

第13ブロック　（第56～59図1～13、写真図版11、第13、51表）

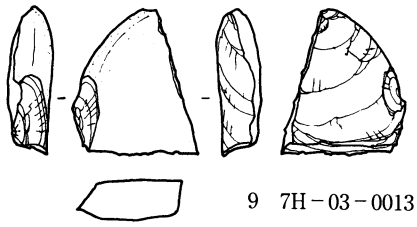
分　布　　石器は、7H－03グリッドのほぼ中心から径2mの円形の範囲に分布している。垂直分布はⅦ層～Ⅸ層にかけて分布している。平面分布は、東西2m、南北2mほどの範囲にほぼ円形に広がる。



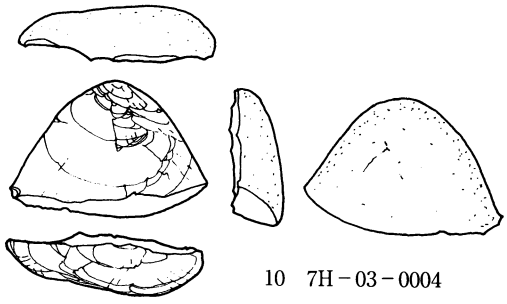
第56図　第13ブロック出土状況図（scale　1／100）



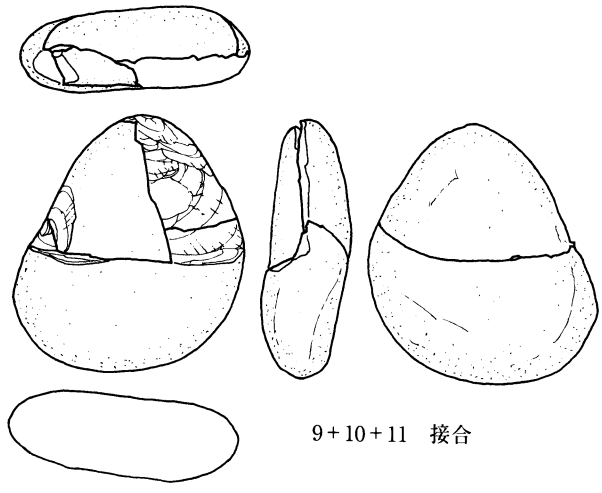
第57図　第13ブロック出土遺物実測図（1）



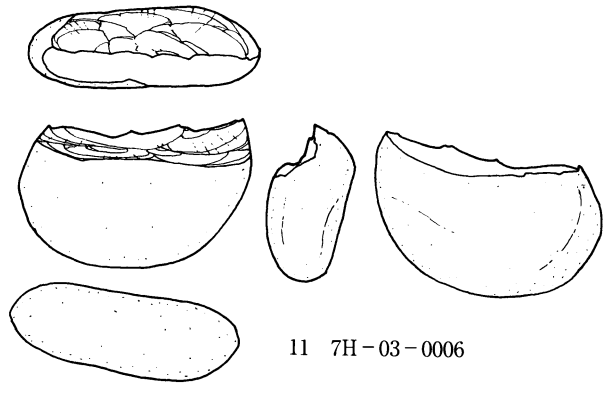
9　7H－03－0013



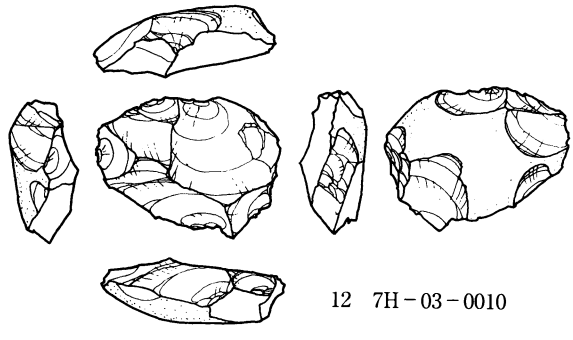
10　7H－03－0004



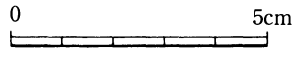
9＋10＋11　接合



11　7H－03－0006



12　7H－03－0010



第58図　第13ブロック出土遺物実測図（2）

石　材　　チャート３点、安山岩４点、砂岩２点、流紋岩１点、凝灰岩１点、珪質頁岩13点で構成される。

器　種　　台形石器１点、Ｒ・剥片１点、石核１点、剥片19点、礫１点の合計24点で構成される。点数も少なく剥片が大半をしめる比較的単純な構成のブロックである。

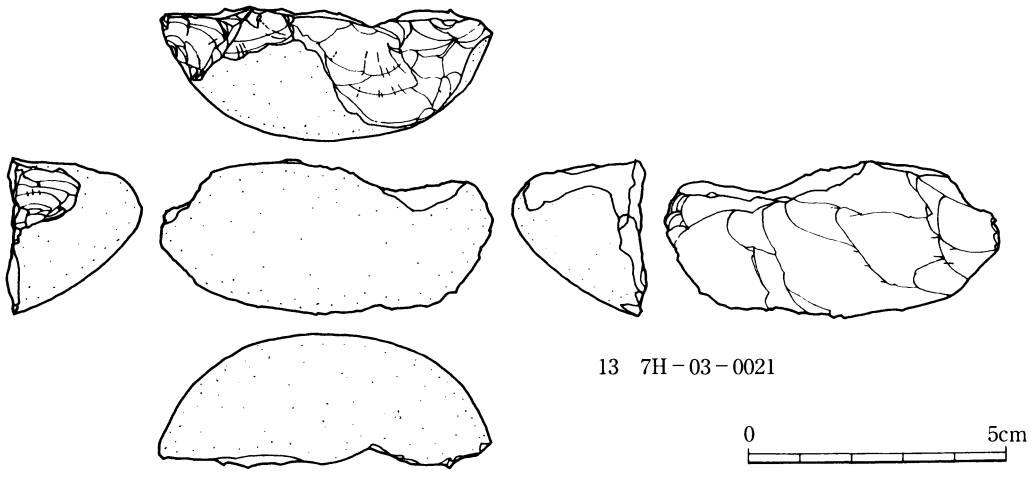
台形石器（第57図１）１は珪質頁岩の台形石器である。台形状の小剥片の両側辺部分に調整を加えてある。

Ｒ・剥片（第58図９）チャートのＲ・剥片である。10と11と接合する。片側側縁部には大きな剥離が見られる。

石核（第58図12）珪質頁岩の石核である。小楕円礫の両側多方向より小さな剥片を作出した様子がうかがえる資料である。裏側は礫面が半分ほど残る。

剥片（第57図２～８）２は珪質頁岩の剥片である。摂理面を一部背面に残す縦長の剥片である。３は珪質頁岩の剥片である。横広の剥片で打面に調整痕が見られる。４は珪質頁岩の大形剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面を１面もつものの大半は礫面に覆われる。５は流紋岩の大形剥片で４と同様に背面に剥離面を１面もち、残りを礫面で覆われている。６は珪質頁岩の剥片である。側辺部分には剥離前の調整痕が見られる。背面は殆ど礫面で覆われる。７は珪質頁岩の剥片である。不整形の剥片で多方位からの剥離痕が見られる。８は珪質頁岩の大形剥片である。横剥ぎの大形剥片で比較的薄手のもので、縁辺部分にかけても鋭い。ほんの一部分に礫面が残る。

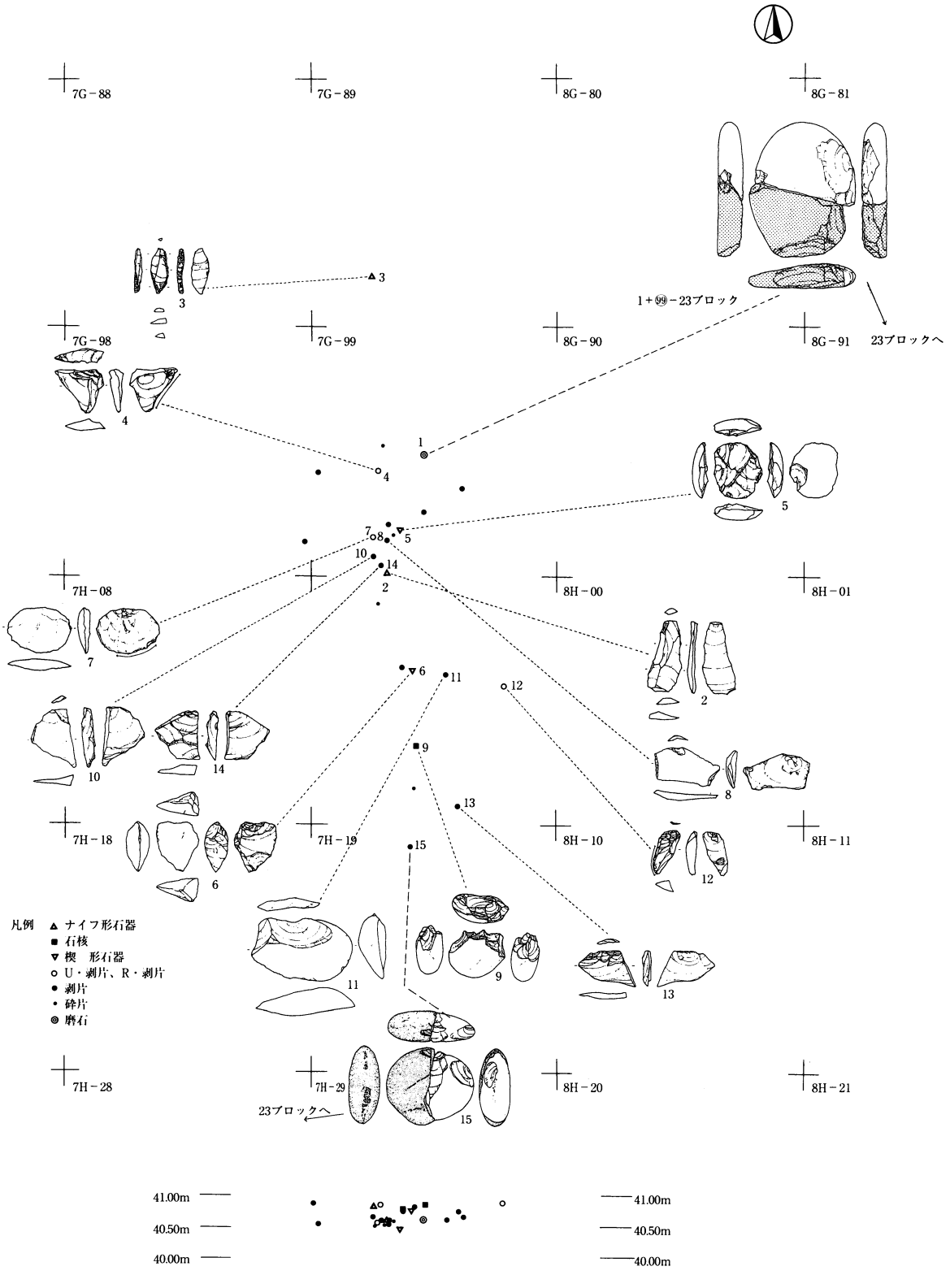
接合資料（第58～59図９～11、13）９～13はチャートの接合資料である。扁平な楕円礫の形態に接合した資料である。欠落した部分は当該ブロック群外に持ち出された可能性もある。13は第12ブロックへ移動した接合資料の一部である。礫を荒割にしたような資料で、背面は礫面が大きく覆う。12ブロックと13ブロックの関係をうかがわせる資料である。



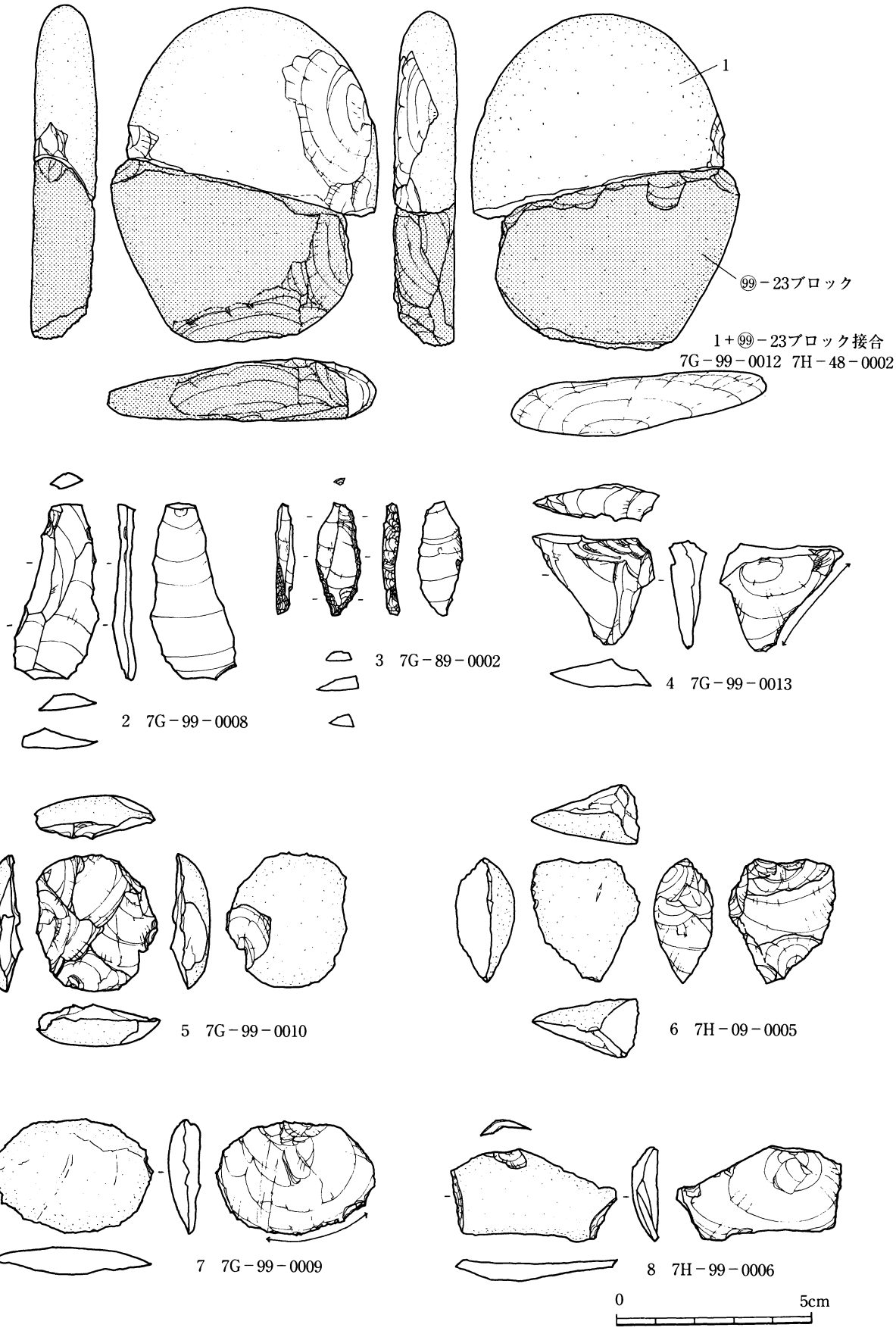
第59図　第13ブロック出土遺物実測図（3）

第14ブロック　（第60～63図１～15、写真図版12、第14、52表）

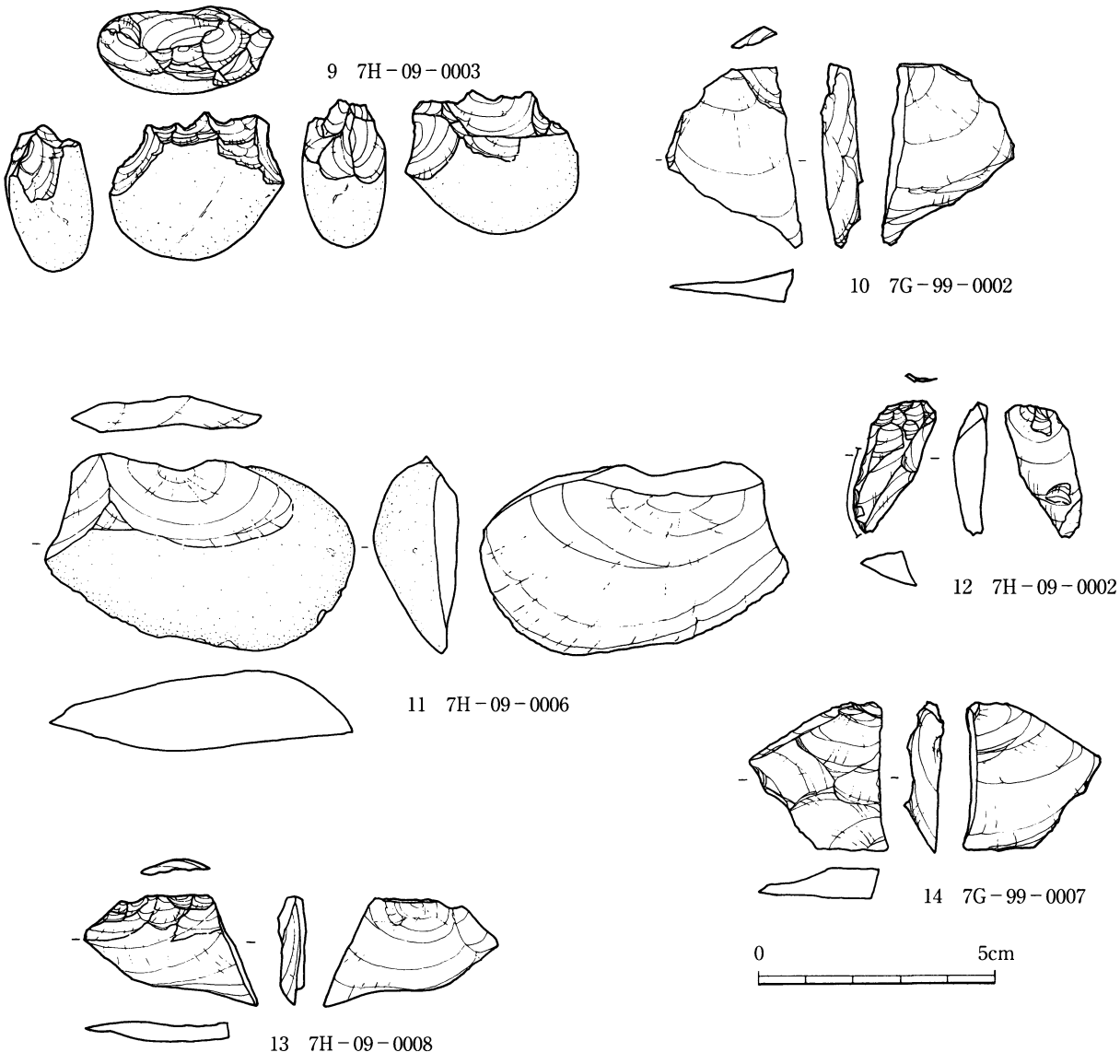
分　布　　石器は、７Ｇ－99グリッド～７Ｈ－09にかけて細長く分布している。垂直分布はⅦ層～Ⅸ層にかけて分布している。平面分布は、東西２ｍ、南北８ｍほどの範囲に細長く広がる。



第60図　第14ブロック出土状況図（scale　1／100）



第61図　第14ブロック出土遺物実測図（1）



第62図　第14ブロック出土遺物実測図（2）

石　材　　チャート６点、ホルンフェルス５点、安山岩４点、砂岩１点、凝灰岩１点、珪質頁岩２点、メノウ２点、黒曜石１点、珪質凝灰岩２点、石英１点で構成される。

器　種　　楔形石器３点、ナイフ形石器２点、U・剥片２点、石核２点、剥片15点、砕片１点の合計25点で構成される。石材、器種構成とも点数の割に多様性に富む。

楔形石器（第61図１、５、６）１は99－23ブロックと接合する。砂岩の楔形石器である。横方向からの打撃で２分割された後、99－23ブロックの資料のみ摩滅した跡がうかがわれる。この資料は磨石である。１についても磨石の可能性はある。５はチャートの楔形石器である。小さな剥片を剥ぎ取った後の石核を再利用して楔形石器としたものである。片面は礫面で覆われている。６は石英の楔形石器である。５とは逆に剥ぎ取られた剥片を使用して楔形石器とした例である。背面は礫面で覆われているところから小さな礫から作出された剥片であろう。

ナイフ形石器（第61図２、３）２は珪質凝灰岩のナイフ形石器である。縦長の剥片の基部調整のみで、素材の形状は変更されていないものである。３は黒曜石のナイフ形石器である。縦長の刃器状の剥片を使

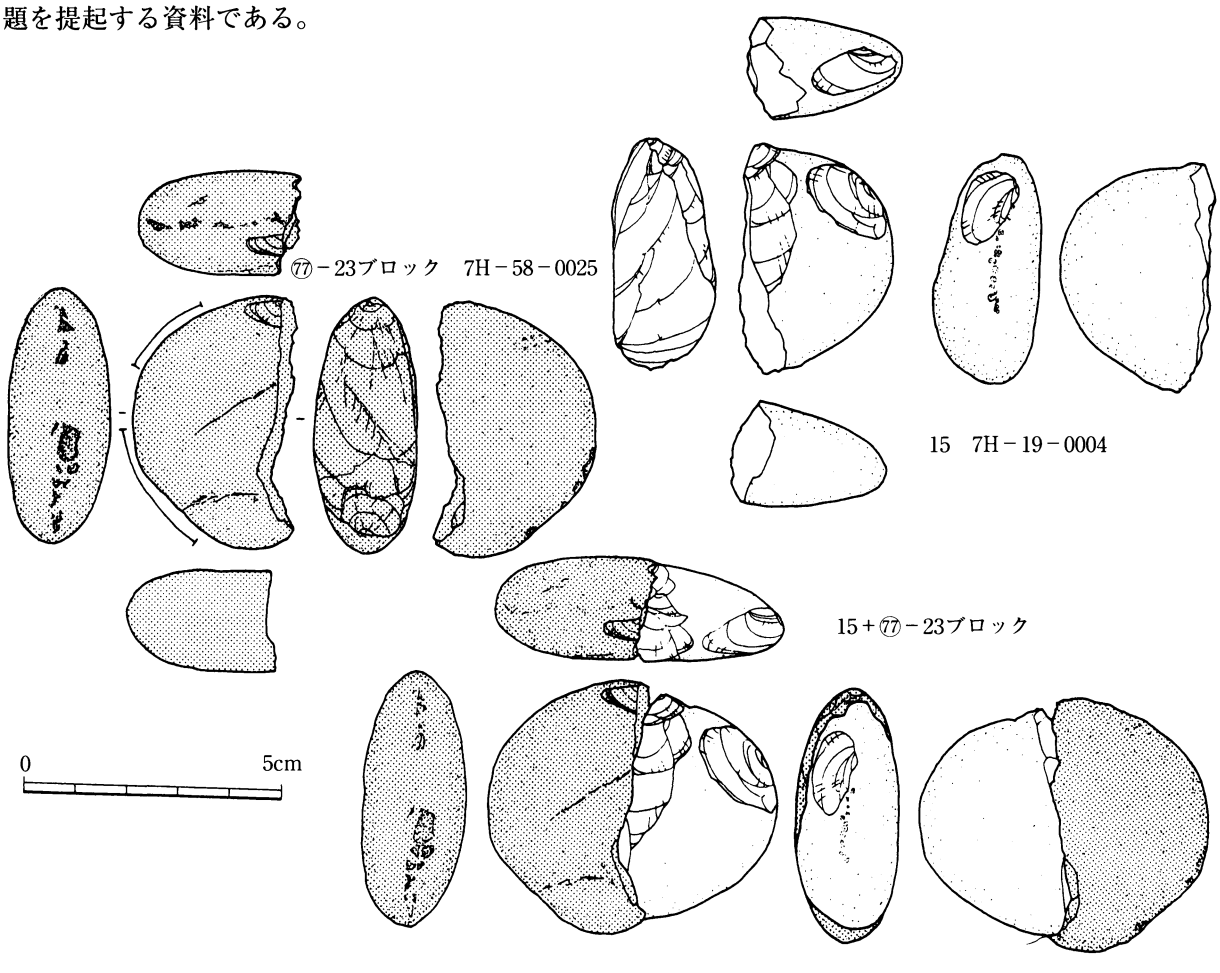
用して、刃部以外の縁辺部分に調整加工が施され、柳葉形に仕上げてあるナイフ形石器である。先端部分はやや破損している。

U・剥片（第61図4、7）4は珪質頁岩のU・剥片である。やや不整な三角の形状の剥片で打面部分は、調整されている。左側縁辺部分に細かな刃こぼれが見られる。7はチャートの楕円形の剥片である。先端部分は細かな刃こぼれが見られる。背面は礫面で覆われる。

石核（第62、63図9、15）9はチャートの石核である。チャートの小楕円礫の片側から小剥片を数枚剥ぎ取った状態の石核である。15は77－23ブロックと接合する資料である。接合した状態から一個の小楕円礫になる。縁辺部分に打撃痕もかなり見られ、敲石あるいは楔形石器の可能性も考えられる。あるいは二分割した段階で石核に転用したのかもしれない。

剥片（第61、62図8、10～14）8はホルンフェルスの剥片である。やや台形に近い横広の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われる。10はメノウの剥片である。剥離時に片側が折れた形態をしている。11は凝灰岩の剥片である。横広の大形剥片で背面は、主剥離面と同方向の2面の剥離面と礫面とで構成される。12はメノウの比較的小さな縦長の剥片で縁辺部分は、細かな刃こぼれが見られる。13はホルンフェルスの剥片である。横広の不整形な剥片で打面部分は調整が見られる。14は安山岩Aの剥片である。背面は多方位の剥離面で構成される。縁辺部分は薄く鋭い。

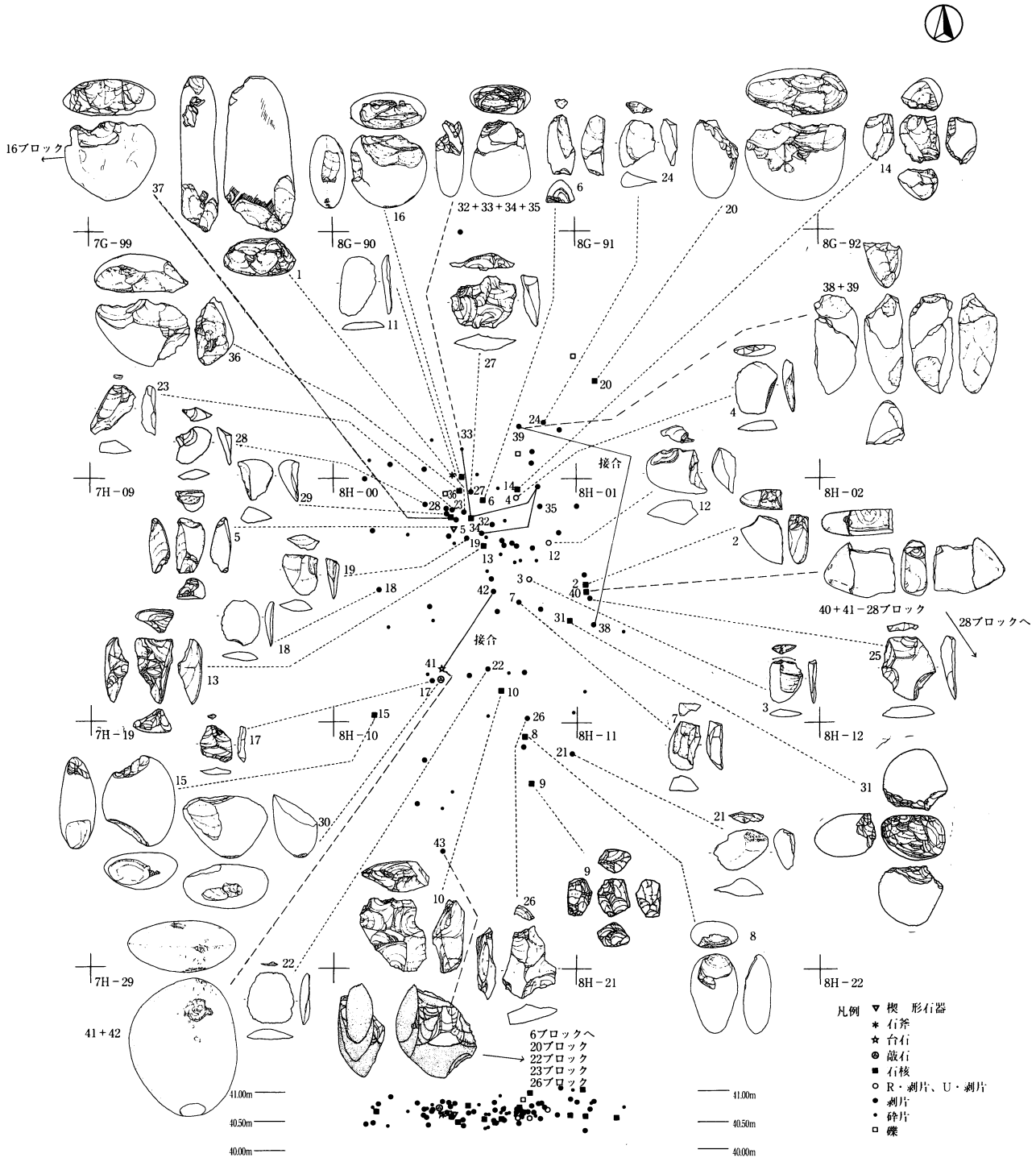
接合資料（第63図15）15はチャートの石核で、77－23ブロックの敲石と接合する。再利用の形態を含め問題を提起する資料である。



第63図　第14ブロック出土遺物実測図（3）

第15ブロック　（第64～72図１～43、写真図版12～14、第15、53表）

分　布　　石器は、８Ｈ－00グリッドを中心に比較的密度の濃い状態で分布している。垂直分布はⅦ層～Ⅸ層にかけて分布している。平面分布は、東西５ｍ、南北６ｍほどの範囲に広がる。



第64図　第15ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート８点、ホルンフェルス２点、安山岩36点、砂岩３点、流紋岩２点、凝灰岩５点、珪質頁岩31点、メノウ６点、蛇紋岩１点、石英５点で構成される。

器　種　　局部磨製石斧１点、楔形石器１点、敲石１点、台石１点、Ｒ・剥片３点、石核15点、剥片66点、砕片９点、礫２点の合計99点で構成される。器種構成の上では石核及び剥片のしめる割合が高いのが特徴である。

局部磨製石斧（第65図１）１は蛇紋岩の局部磨製石斧である。頭部に打痕があり、敲石として使われていた可能性もある。刃部は剥離により形成されているが、やや斜刃である。胴部にかけては磨痕が認められる。

楔形石器（第65図５）５は安山岩Ａの楔形石器である。頭部と先端部に著しい打痕が見られる。背面は約半分礫面で覆われる。

敲石（第68図30）30は砂岩の敲石である。先端部と側面の一部に著しい打痕が見られる。約３分の１は欠損している。

台石（第71図41）41は砂岩の台石である。42の砕片と接合する。位置関係から作業中に剥がされたものと思われる。台石の表面と裏側のほぼ同じ位置に打痕が見られるのも台石として使用されたことを証明している。

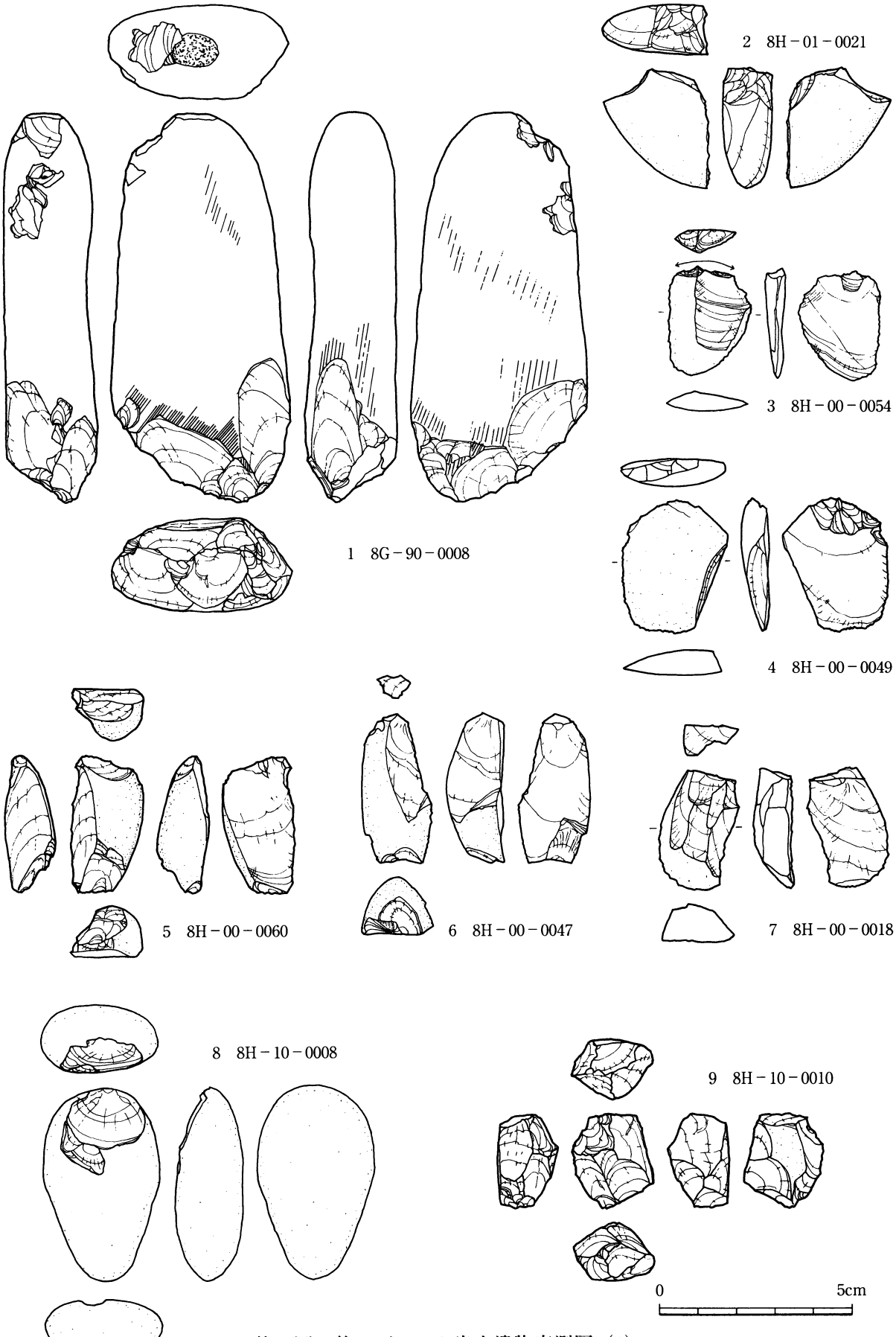
Ｒ・剥片（第65～66図３、４、12）３はチャートのＲ・剥片である。打面側に２次調整が施されている。背面は主剥離面と同方向の剥離面が、１面と礫面で覆われている。４は安山岩ＡのＲ・剥片である。打面側に２次調整が施されている。背面は礫面で覆われている。12は珪質頁岩のＲ・剥片である。小楕円礫の一部を欠いた様な形態をしている。背面はほぼ礫面で覆われている。打面部位に調整加工が見られる。

石核（第65～70図２、６、８～10、13～16、20、31、32、36、37、40）２は珪質頁岩の石核である。扁平な小円礫の片側から剥片剥離し、ほぼ４分の１残存する。６は安山岩Ａの石核である。小長楕円礫から小さな剥片を作出したことがうかがわれる。８はメノウの石核である。扁平な楕円礫の一方向から剥離して廃棄されたものである。あるいは予備的に貯蔵されたものかもしれない。９は安山岩Ａの石核である。細かな剥片を作出した後、サイコロ状の形態をしたものとなったと考えられる。一部に礫面が残る。10は珪質頁岩の石核である。元々片側に礫面を持つ大形剥片の片面を利用したと思われる石核である。主剥離面を多方向から剥離して小さな剥片を作出したものと思われる。13は安山岩Ａの石核である。片側礫面を残すものである。礫面側よりの剥離で小さな剥片を作出していたと思われる。14は安山岩Ａの石核である。小円礫の両端を剥離した後、片側より何枚か小剥片を剥離したと思われるものである。15は珪質頁岩の石核である。楕円礫の上下両端より何面か剥離し始めた後、廃棄もしくは貯蔵されていたと思われる。16は石英の石核である。打面調整なされないまま剥離面を打面として片側から任意に剥片を作出したものと考えられる。礫の縁辺部分には剥離時の打撃に伴う打痕が多く見られる。あるいは敲石として使用していたかもしれない。20は珪質頁岩の石核である。扁平な円礫の片側より任意に剥片を剥ぎ取っている。礫面を打面にしており、幅広で寸の短い剥片を作出している。31はチャートの石核である。厚みのある楕円礫の片側から剥離しており、打面は礫面を使用して調整は特に行っていない。32は凝灰岩の石核である。33～35までの剥片等と接合する。扁平な楕円礫の片側から小さな剥片を作出した石核であることがわかる。36は珪質頁岩の石核である。比較的厚みのある楕円礫の片側から横広の剥片を作出している。周辺の３分の２に及ぶ位に剥片剥離されている。37は単独の形態から小剥片を何面か剥離したものと考えていたが、

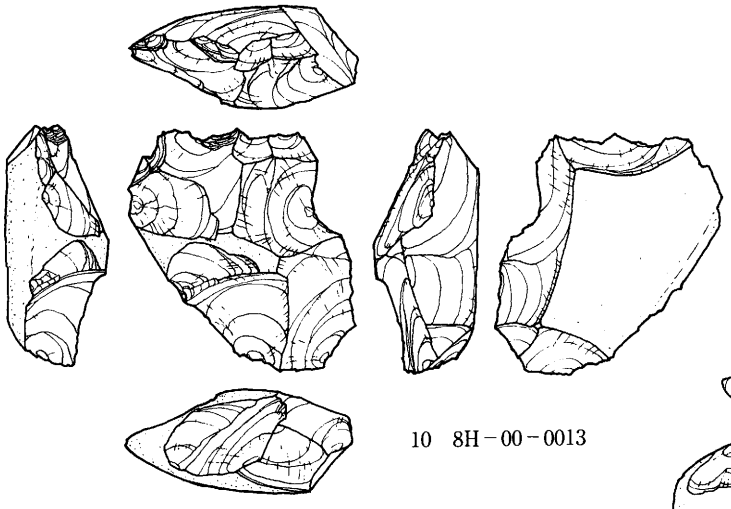
22－16ブロックと接合することから二分割された状態で廃棄されたものと思われる。40は珪質頁岩の石核である。41－28ブロックと接合する。接合された状態から推測すると剥片はそれほど剥がされたものとは考えられない。

剥片（第65～68図７、11、17、19、21、25～28）７はメノウの剥片である。主剥離面と同方向の剥離を背面に複数持つ。一部は礫面で覆われている。11は安山岩Ａの剥片である。背面は礫面で覆われる。17は珪質頁岩の剥片である。背面は同方向からの複数回の剥離面が残っており、当該ブロックから出土した石核から作出された剥片と共通する特徴を持つ。18は安山岩Ａの剥片である。背面は礫面で覆われる。19はホルンフェルスの剥片である。打面は剥離面を利用している。背面も同方向の剥離面が２面、右からの剥離面１面で構成される。21はメノウの剥片である。打面に近い背面側に多数の打痕が見られる。背面は礫面で覆われている。22はメノウの剥片である。比較的薄く剥がされた剥片である。背面は礫面で覆われている。23は安山岩Ａの剥片である。背面は左斜めに剥離した剥片で、右側縁部分は逆方向からの剥離が見られる。24は安山岩Ａの剥片である。打面は調整面がある。背面は主剥離面と同方向の剥離１面と左側辺部分に礫面が多少見られる。25は安山岩Ａの剥片である。打面は横方向の打面調整が施されている。背面は多方位の剥離面が見られるが、中央部分は礫面で覆われているところから比較的大きめの楕円礫から作出された剥片と考えられる。26は珪質頁岩の縦長で末広な剥片である。背面は多方位の剥離面と礫面が一部見られる。27は珪質頁岩の横広の剥片である。背面は不規則な多方位の剥離面で覆われている。若干の礫面も見られる。28はチャートの剥片である。打面は横方向の調整が見られる。一部剥離剥離面が見られるがかなりの部分礫面に覆われる。29は石英の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われる。縁辺部分に細かな刃こぼれも見られる。

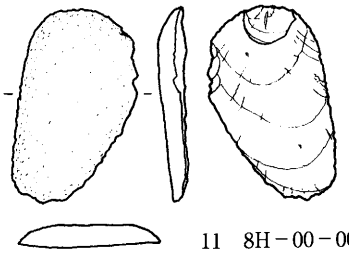
接合資料（第69～72図32～35、37、38～39、40、41～42、43）32～33は凝灰岩の接合資料である。32は石核である。33及び35は小剥片もしくは砕片である。34は剥片である。接合状態から比較的扁平な楕円礫を縦方向に使用して剥ぎ取った様子がうかがえる資料である。37はチャートの石核である。16ブロックから搬入もしくは搬出した資料の荒割された一方の資料である。38及び39は石英の接合資料である。いずれも剥片と分類したが、礫の荒割した状態を表した資料と思われる。40は珪質頁岩の石核で41－28ブロックの剥片と接合する。石核のところでも説明したが、礫を荒割した様子がうかがわれる資料と思われる。41と42は砂岩の台石とその砕片の接合資料である。43は流紋岩の縦長剥片である。22ブロックの石核及び第６ブロック、23ブロック、26ブロックの剥片等と接合する。背面下部に礫面を残す。接合した状態で剥片剥離方法が良好にわかる資料である。



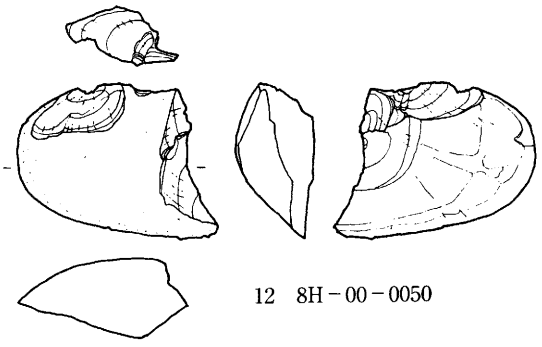
第65図　第15ブロック出土遺物実測図（1）



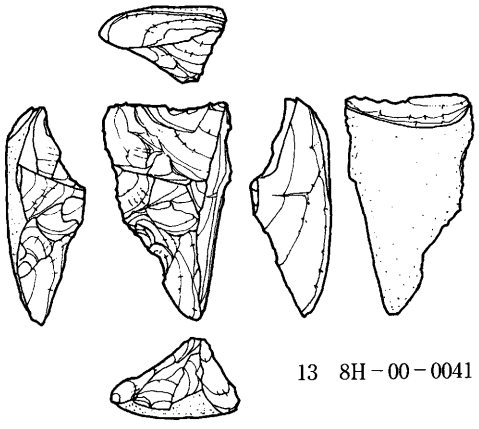
10　8H－00－0013



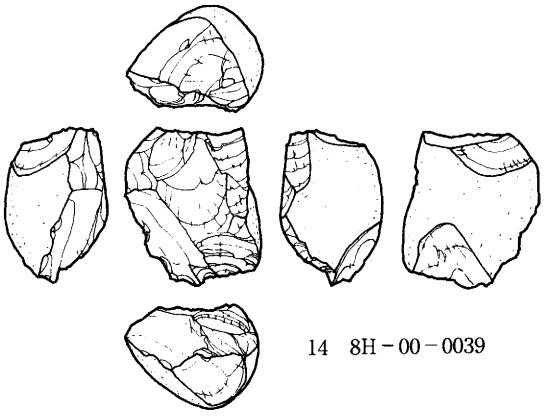
11　8H－00－0059



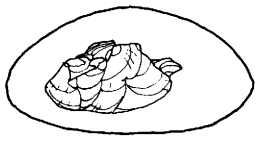
12　8H－00－0050



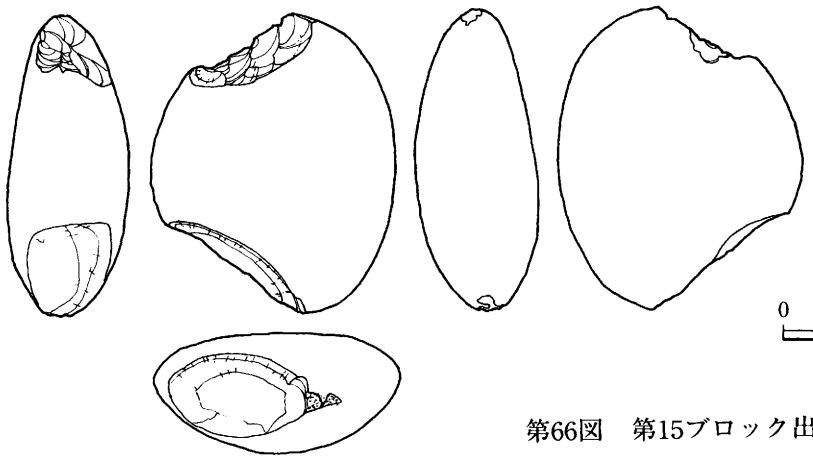
13　8H－00－0041



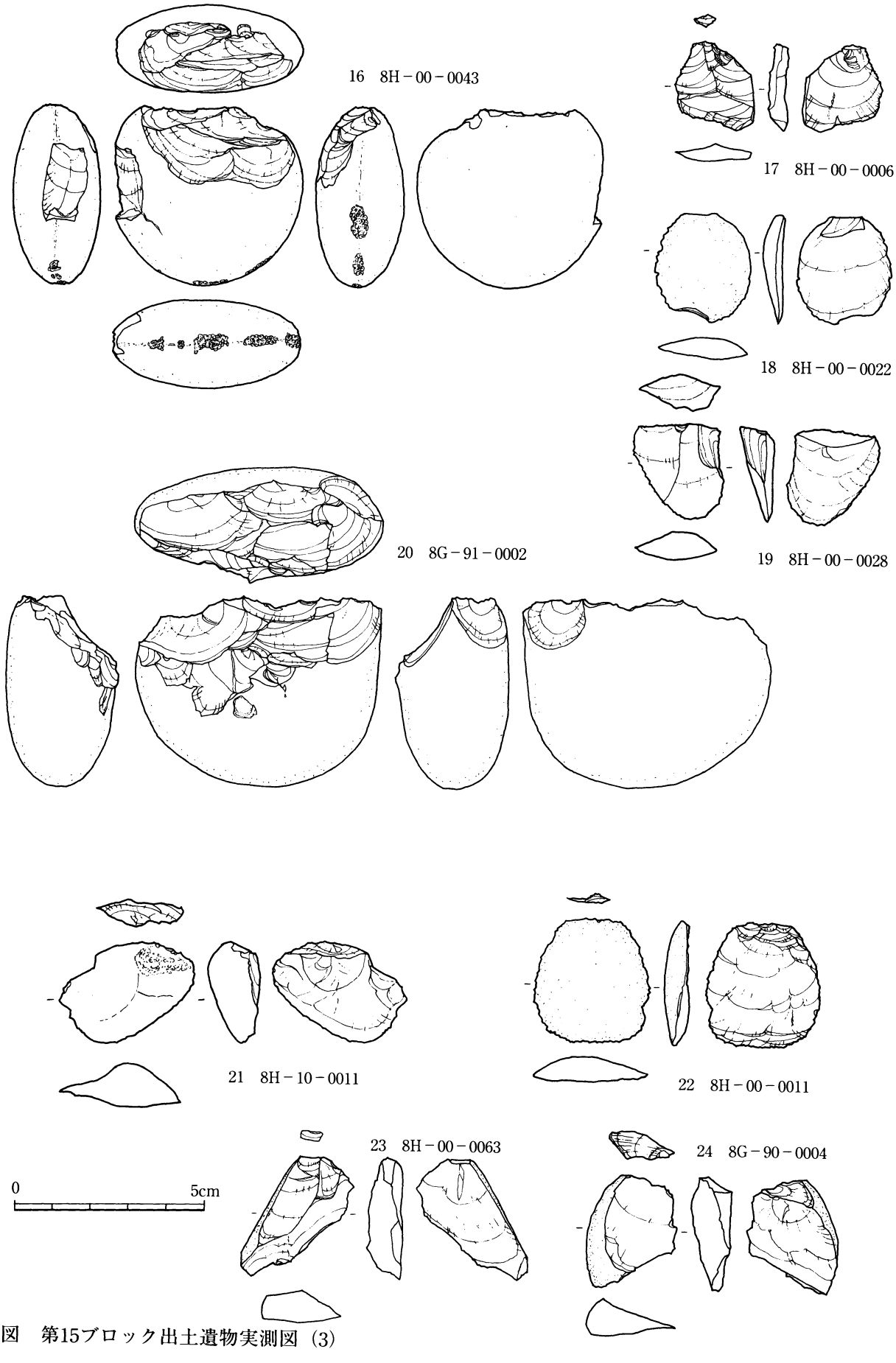
14　8H－00－0039



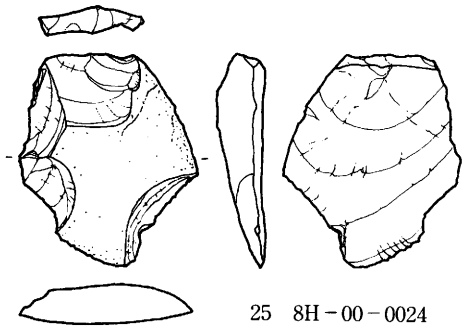
15　8H－00－0023



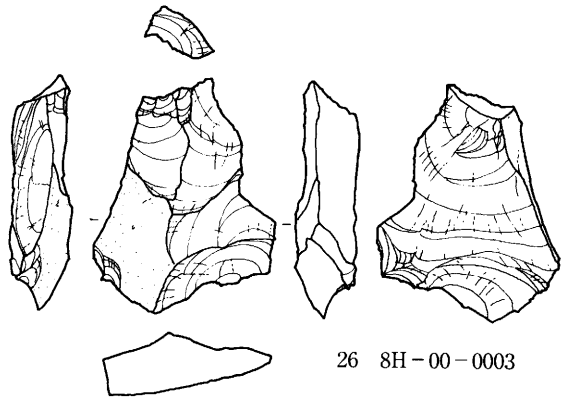
第66図　第15ブロック出土遺物実測図（2）



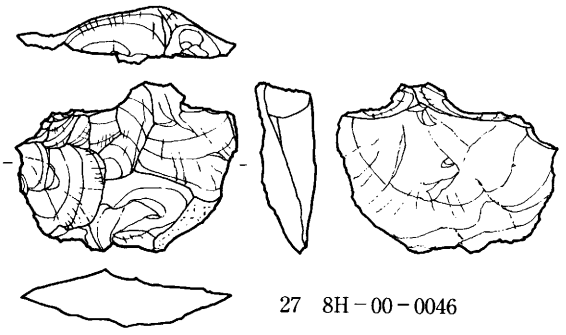
第67図　第15ブロック出土遺物実測図（3）



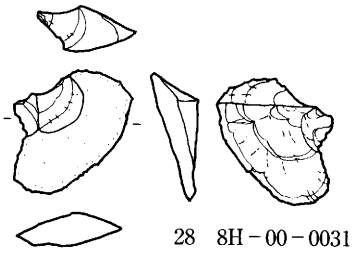
25　8H－00－0024



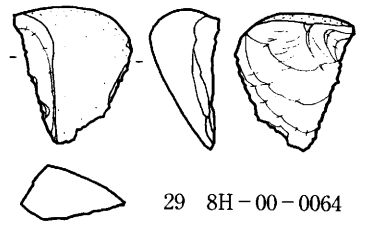
26　8H－00－0003



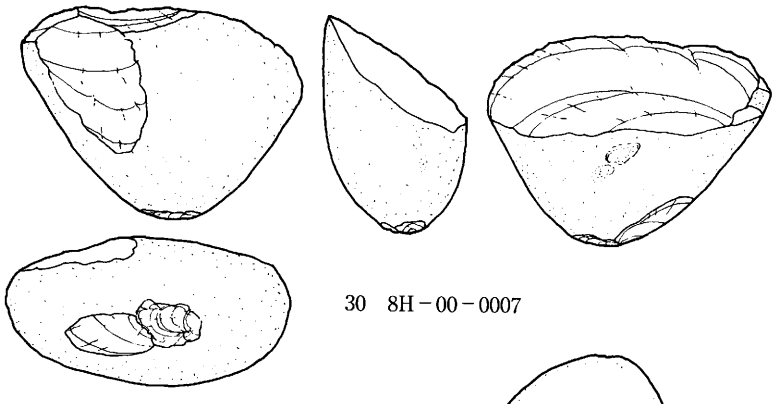
27　8H－00－0046



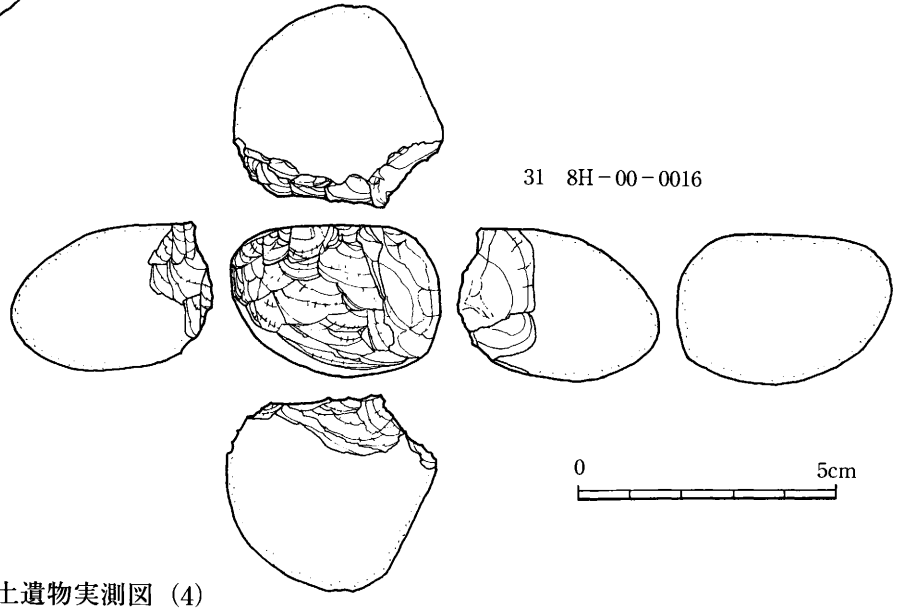
28　8H－00－0031



29　8H－00－0064



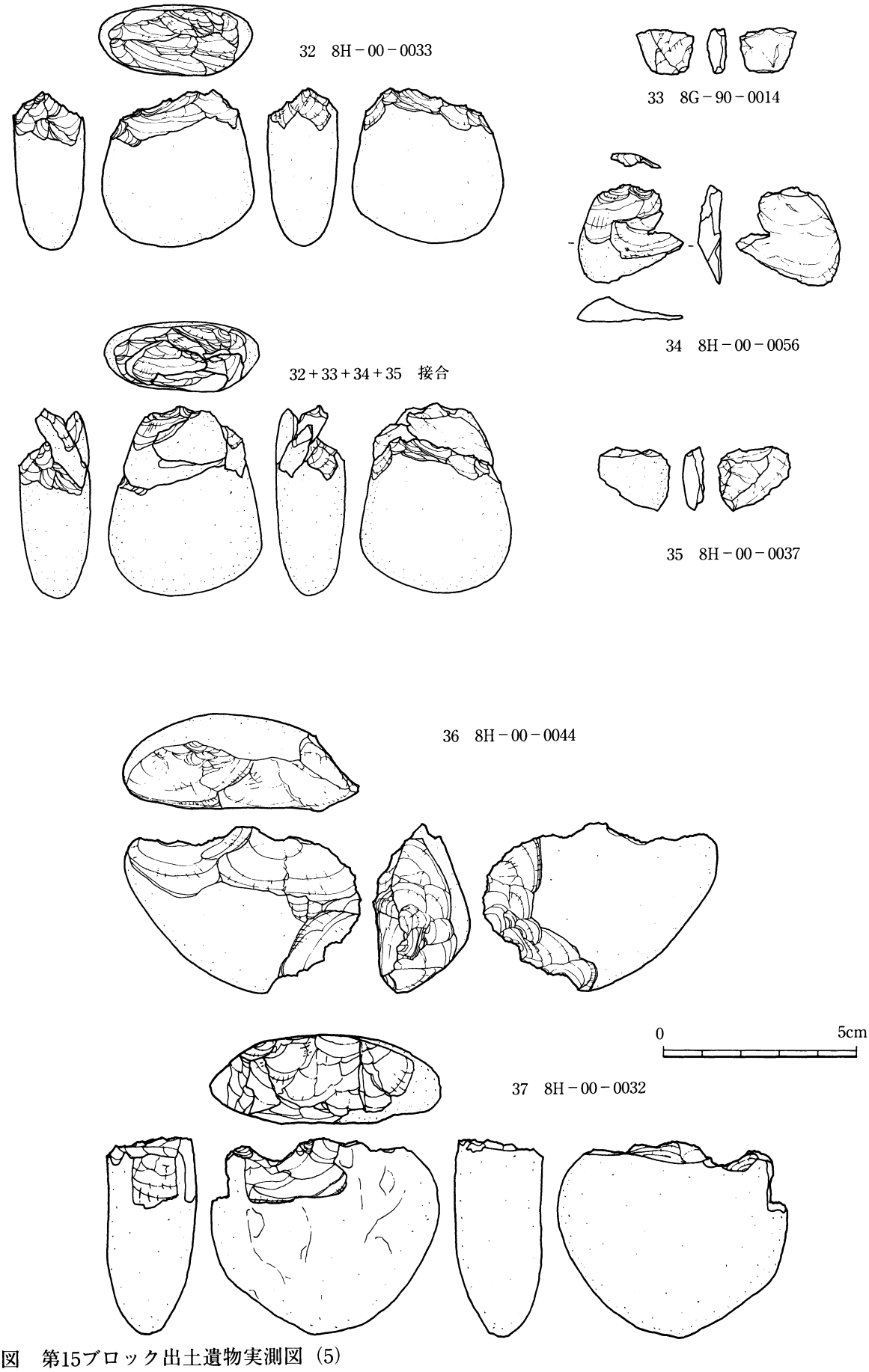
30　8H－00－0007



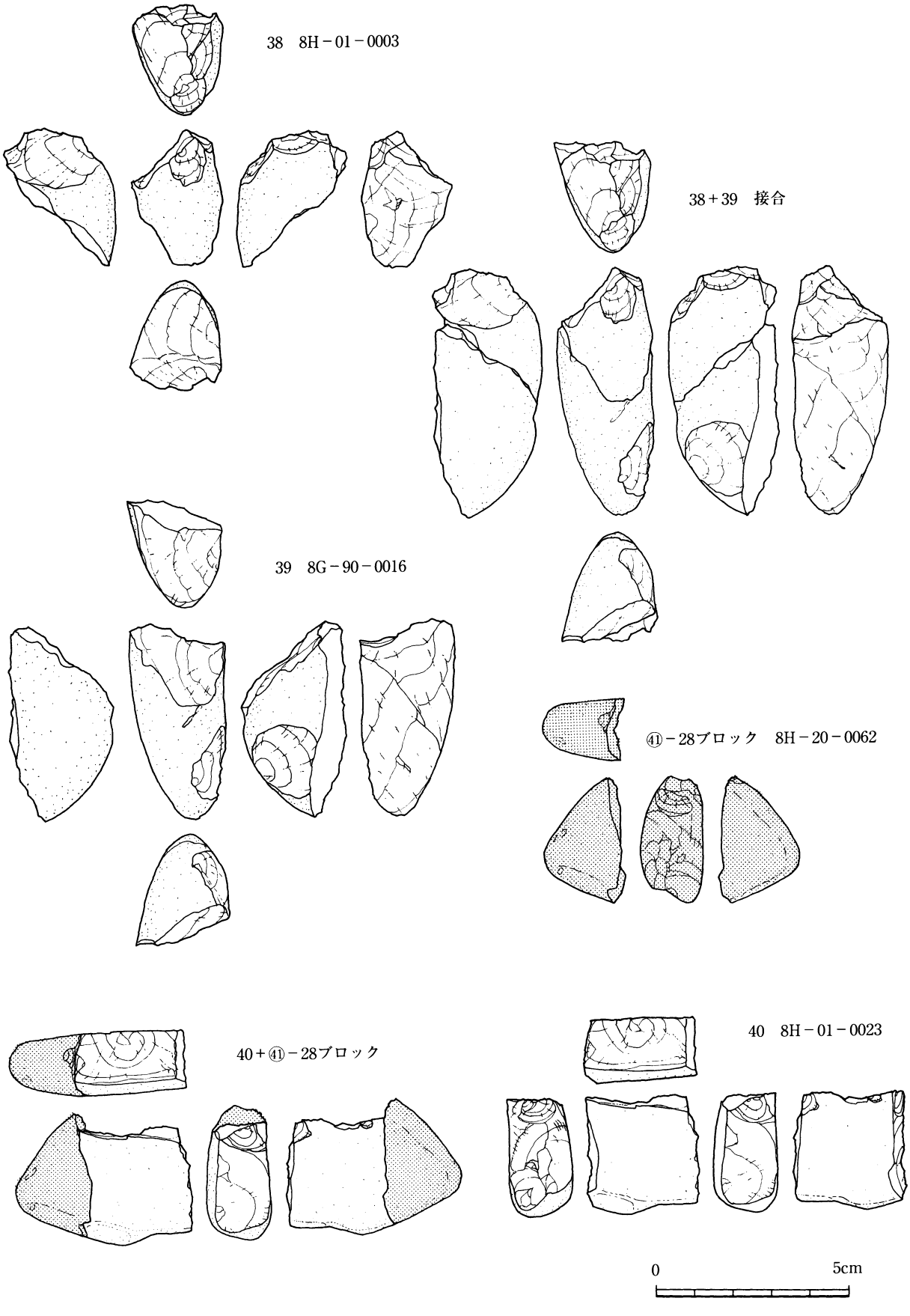
31　8H－00－0016

0　5cm

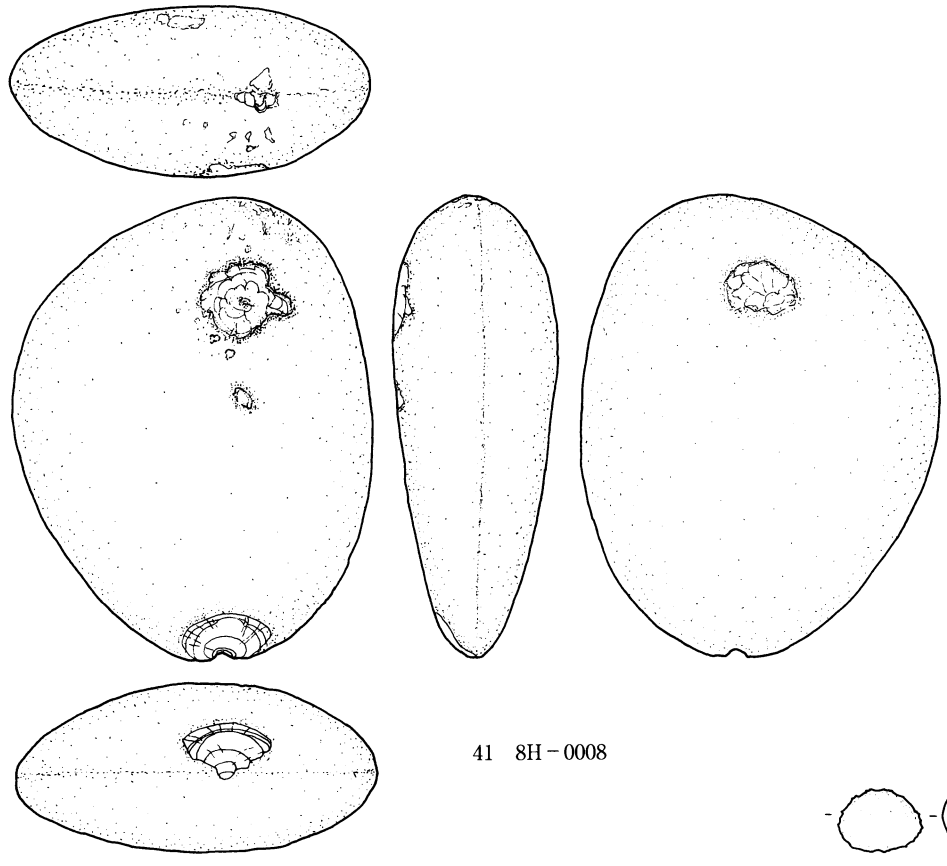
第68図　第15ブロック出土遺物実測図（4）



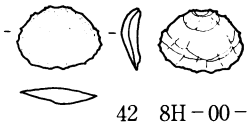
第69図　第15ブロック出土遺物実測図（5）



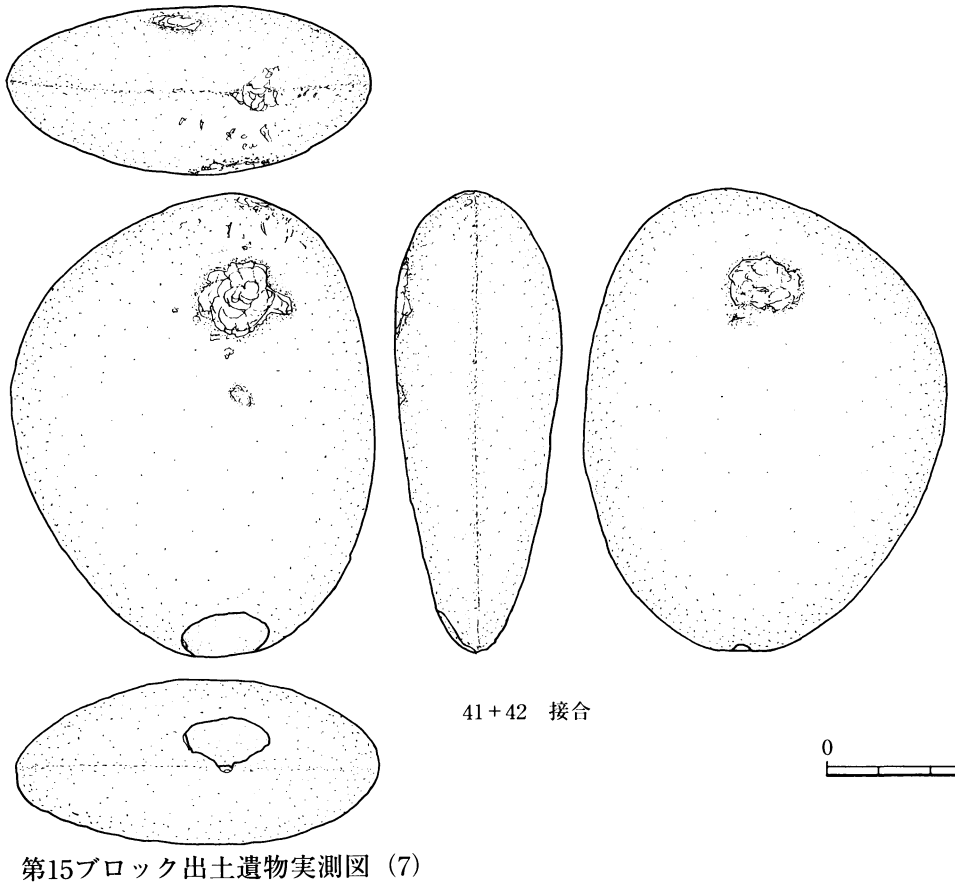
第70図　第15ブロック出土遺物実測図（6）



41　8H－0008



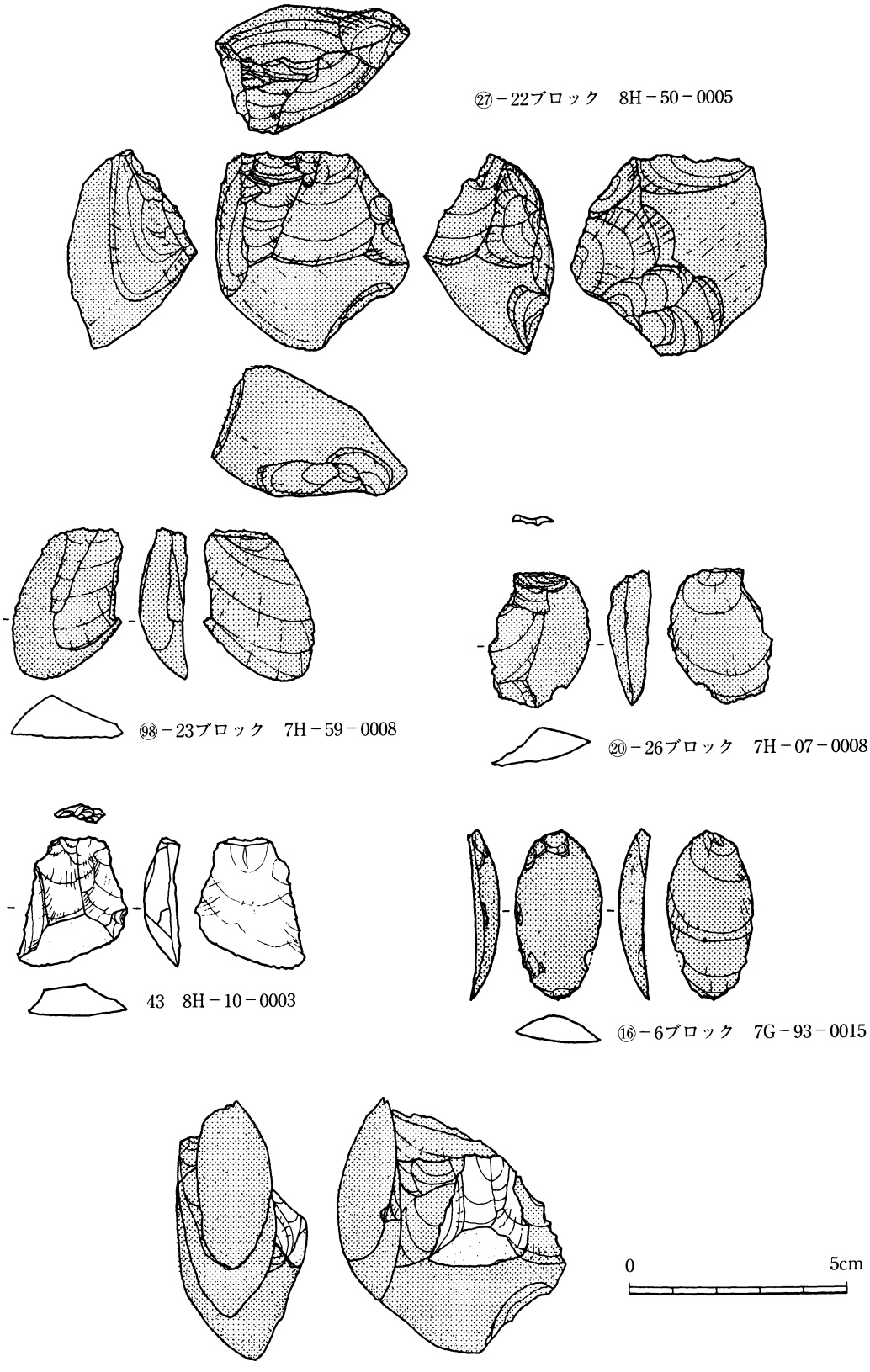
42　8H－00－0017



41＋42　接合

0　5cm

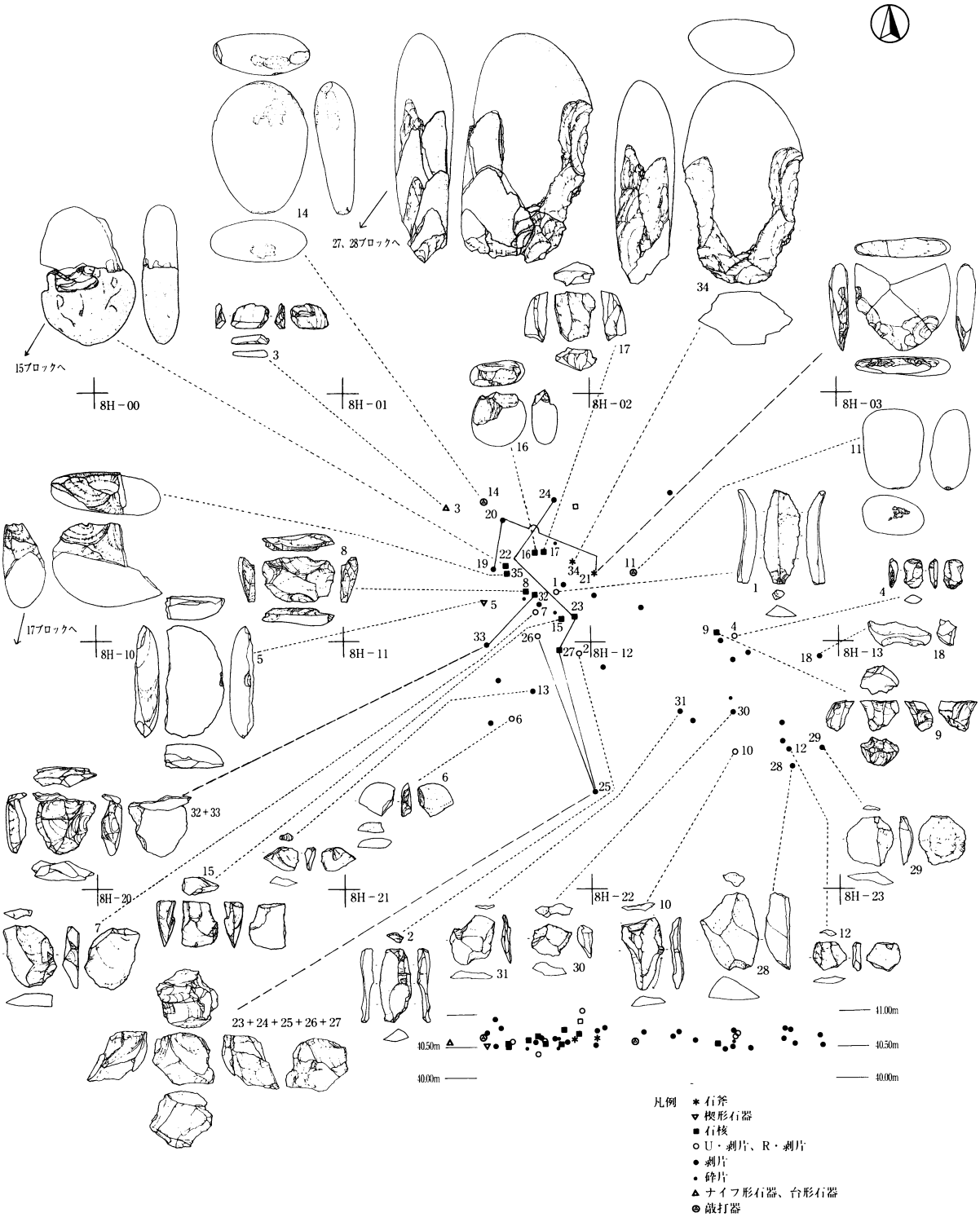
第71図　第15ブロック出土遺物実測図（7）



第72図　第15ブロック出土遺物実測図（8）

第16ブロック　（第73～83図１～35、写真図版14～16、第16、54表）

分　布　　石器は、８Ｈ－12グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、北西部分と南東部分の２カ所に比較的密度の濃い場所が認められる。全体では、約６ｍの範囲に分布している。



第73図　第16ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート16点、ホルンフェルス４点、安山岩16点、砂岩２点、流紋岩３点、凝灰岩３点、珪質頁岩８点、メノウ２点、石灰岩１点で構成される。安山岩の打製石斧が第27ブロックの剥片と接合し、石斧の製作工程を知る上で貴重な資料となるものと思われる。

器　種　　打製石斧１点、楔形石器１点、台形石器１点、石刃２点、R・剥片５点、石核10点、剥片25点、砕片５点、敲石２点、礫３点の合計55点出土している。

打製石斧（第80図34）安山岩の比較的厚みのある大形の惰円礫を使って作られた打製の石斧である。刃部から両側辺にかけて大形の剥片を剥ぐような形で調整されている。接合された状態からもそうしたことが伺われる。基部から中程にかけては両面とも礫面を残し、素材である楕円礫の形状をそのまま生かしている。

楔形石器（第74図５）チャートの大形剥片を利用した楔形石器である。楕円礫の打割された剥片で上下両端に打撃痕を有する。背面は礫面にほぼ覆われる。

台形石器（第74図３）珪質頁岩の台形石器である。小形の剥片を横位に使用して、両側縁に細かな調整を施してある。比較的厚みのある剥片である。

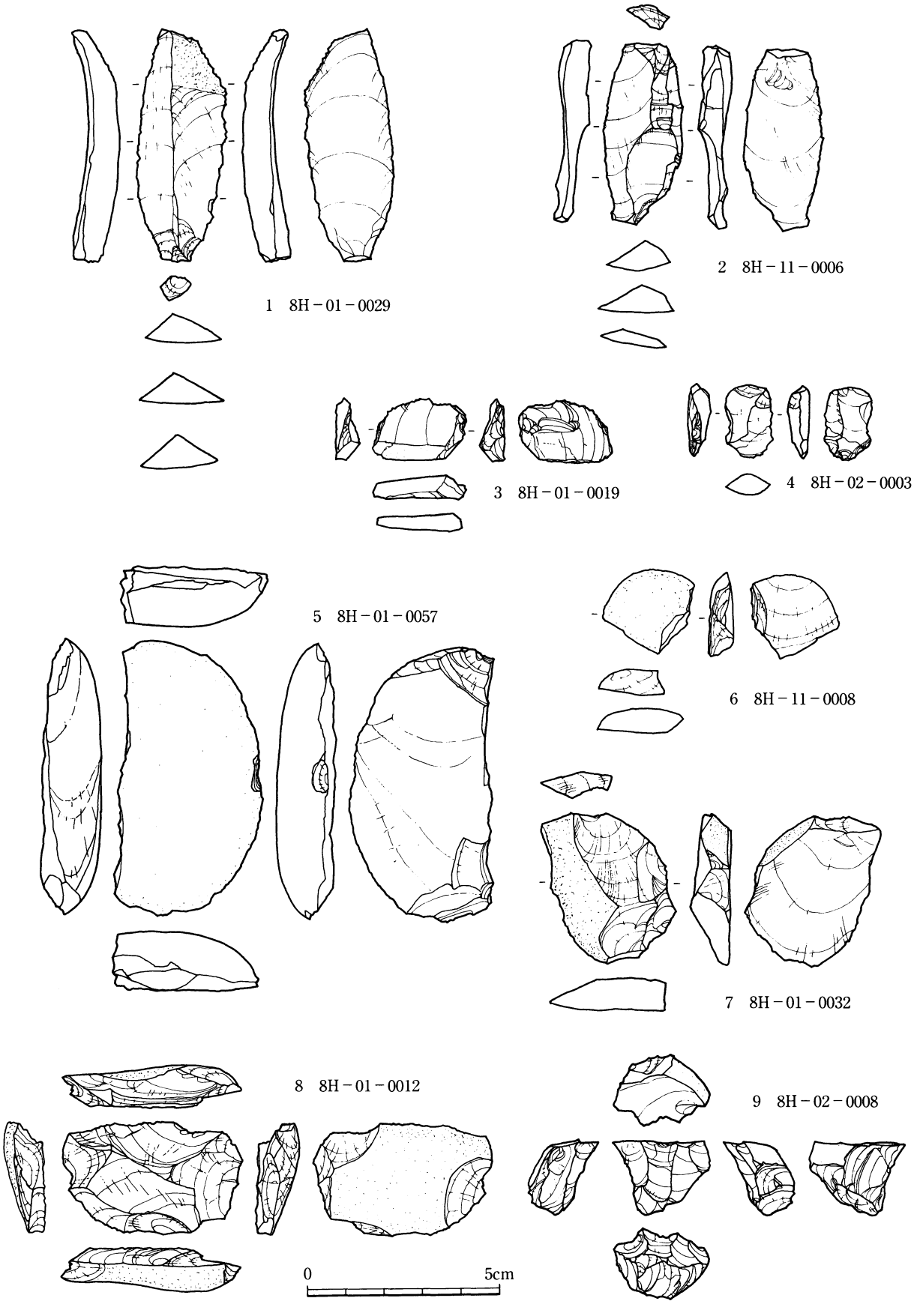
石刃（第74図１、２）１は安山岩Aの石刃である。背面に主剥離面と同方向の剥離面が２条あり、いわゆる石刃技法から作り出された可能性もあるが、石核に該当する資料は認められない。縁辺部に微細な使用痕および基部調整のような加工も認められ、ナイフ形石器として考えてもよいかもしれない。先端部分の刃部に近い部分は自然面か摂理面のようにざらついた状態が認められる。２はメノウの石刃である。背面は主剥離面と同方向の剥離面が３条以上認められる。また逆方向の剥離面も１条見られる。両側縁部分には細かな連続的な剥離が見られる。

U・剥片（第75、78図10、26）10は流紋岩の縦長剥片である。打面部は折れている。先端部から右側縁部にかけて細かな刃こぼれが見られる。26はチャートの小剥片の縁辺部分に細かな刃こぼれの見られるものである。

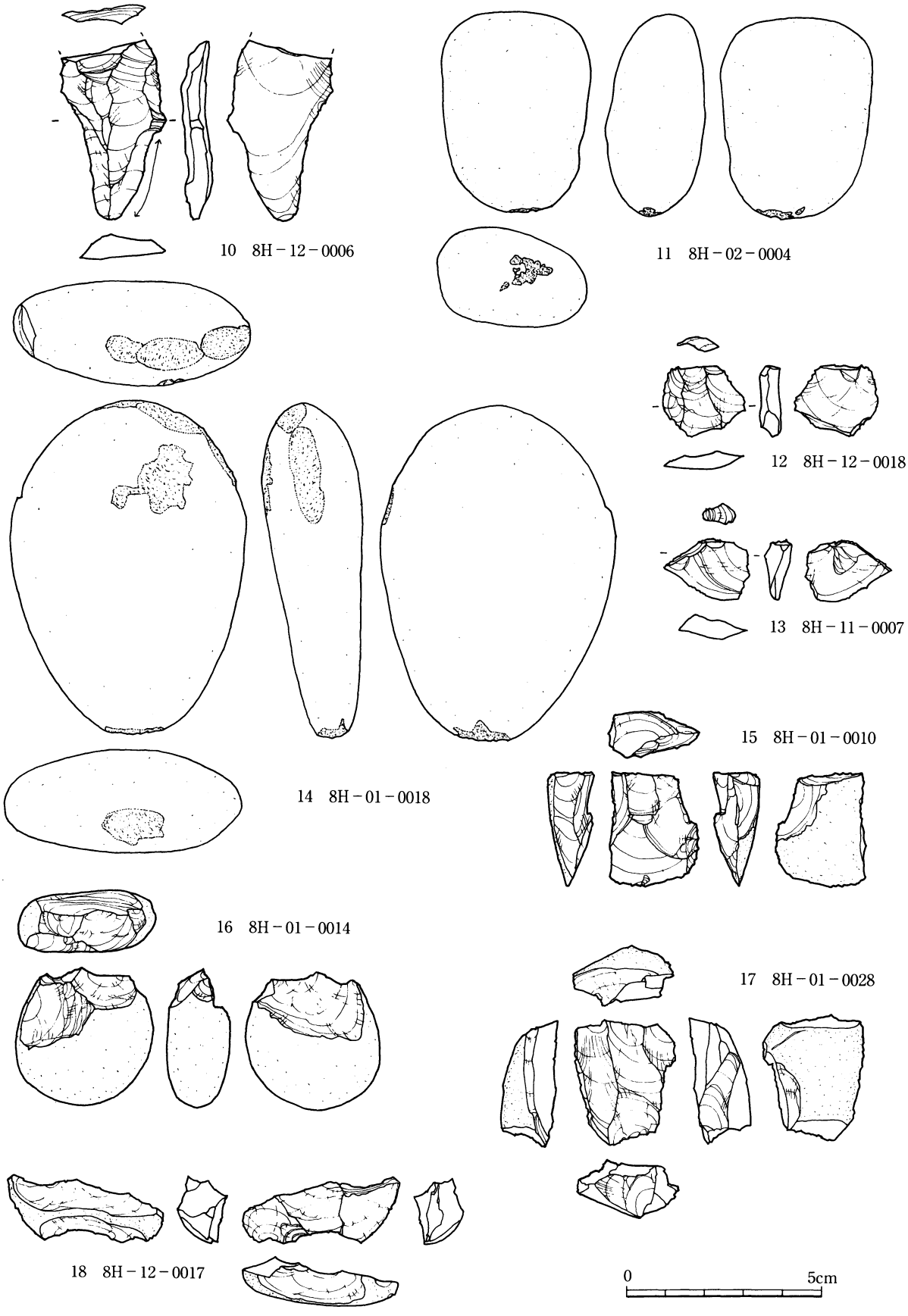
R・剥片（第74図４、６、７）４は凝灰岩の小剥片を使用したR・剥片である。先端部から側縁部分にかけて細かな調整が施されている。６は安山岩Aの小剥片を使用したR・剥片である。背面は礫面で覆われている。右側縁部分に比較的大きめの剥離で調整が施されている。７は安山岩Aの剥片を使用したR・剥片である。背面の左半分はほぼ礫面で覆われている。右側縁部に比較的大きな剥離で調整されている。

石核（第74、75図８、９、15～17）８は安山岩Aの石核である。片面はほぼ礫面で覆われる。一方の面には上下左右から多方位の剥離面が見られる。小円礫から小さめの剥片を剥ぎ取った残核というべきであろう。９はチャートの石核である。剥離面を打面として複数回小剥片を同方向へ剥ぎ取った結果残された残核というべきものであろう。15はチャートの石核である。比較的厚みのあるチャートの剥片を石核に再利用したものと考えられ、片側はほぼ礫面で覆われる。16は珪質頁岩の石核である。扁平な円礫を使って片側より縁辺部分から直接打撃して小剥片を剥ぎ取っている。17はチャートの石核である。円礫を大きく打割した剥片を素材として使用した石核と思われる。任意の方向に小剥片は剥ぎ取っている。

敲石（第75図11、14）11はメノウの敲石である。比較的厚みのある小円礫である。先端部分に著しい打撃痕が認められる。14は砂岩の敲石である。大きめの楕円礫を使用している。両端の先端部分に集中的に著しい打撃痕が見られる。胴部の平らな部分にも一部打痕が認められる。台石として使用された可能性もある。

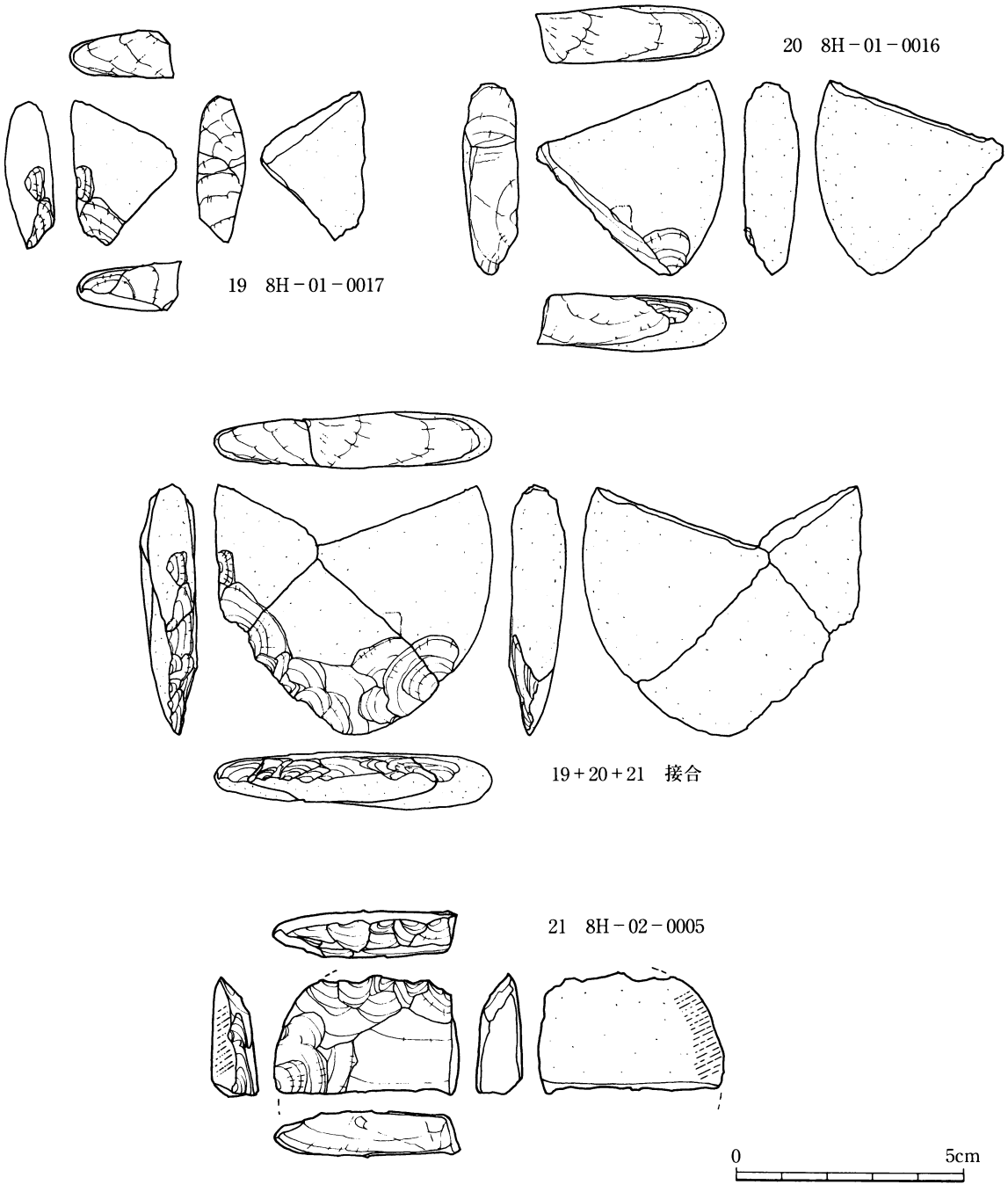


第74図　第16ブロック出土遺物実測図（1）



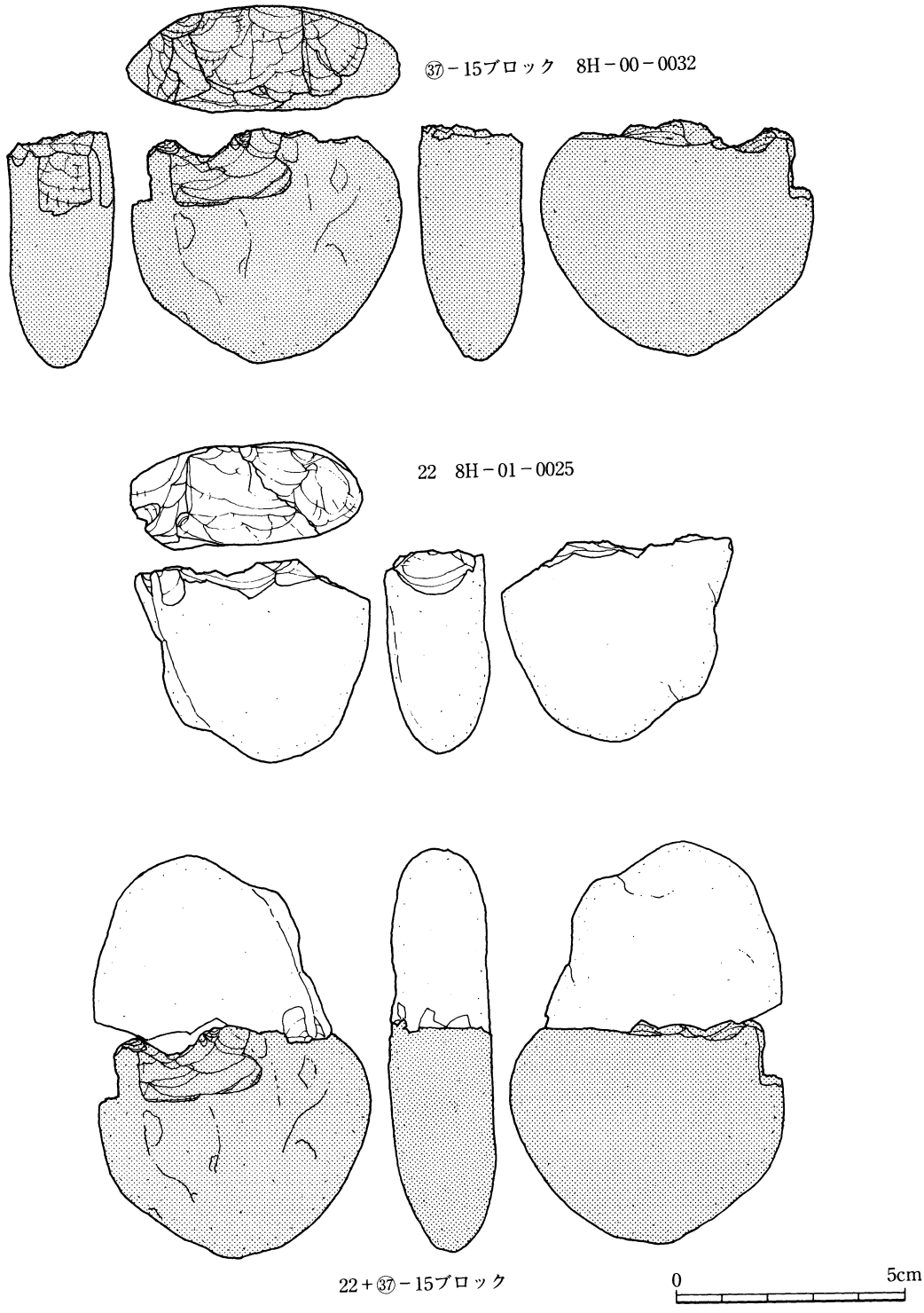
第75図　第16ブロック出土遺物実測図（2）

剥片（第75、76、77、79図12、13、18、21、22、28、29）12は流紋岩の剥片である。13はチャートの剥片である。両者とも小剥片で台形石器の素材することが可能な小剥片である。18は安山岩Aの剥片である。石核として転用したとも考えられる。一部に礫面を残す。21は石灰岩の剥片である。背面に主剥離面と同方向の剥離面が2面見られる。22は安山岩Aの剥片である。背面には主剥離面と同方向の剥離面1面と礫面が一部見られる。28は安山岩Aの剥片である。比較的大きな剥片で主剥離面と逆方向の剥離が背面に多く見られる。先端部分に2次的な剥離が見られる。29は安山岩Aの剥片である。主剥離面と同方向の剥離面2条が背面に見られる。



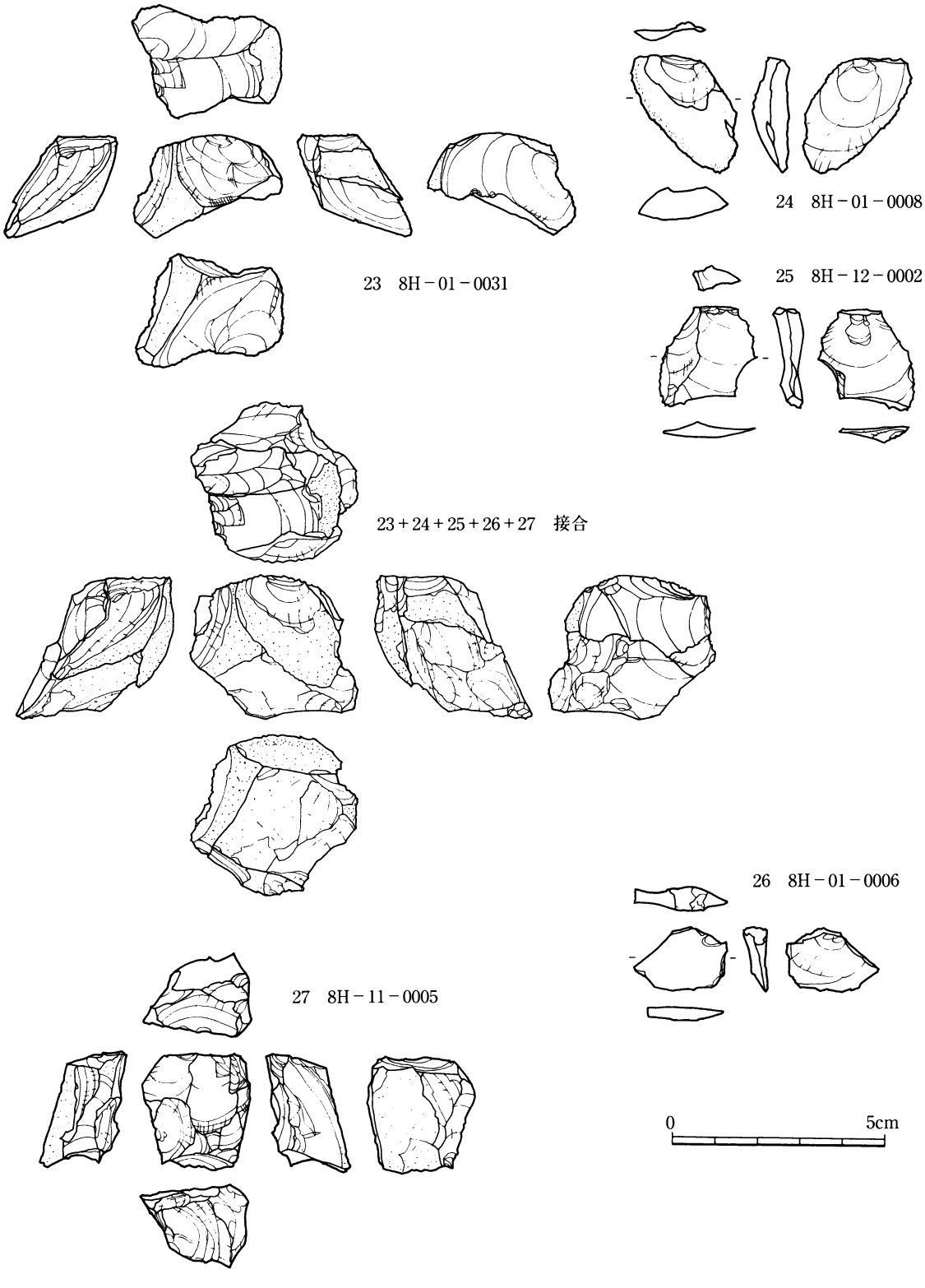
第76図　第16ブロック出土遺物実測図（3）

接合資料（第76～83図19～21、22、23～27、32～33、34、35）19～21はホルンフェルスの接合資料である。21は石核として認められていたが、19、20ともに割れ口以外礫面で覆われていたため礫、礫片として考えていた。しかしながら接合した状態で観察したところ、石斧状に加工していた未製品の可能性も考えられる。要再検討の資料であろう。22はチャートで37－15ブロックの資料と接合する。互いに石核の原型

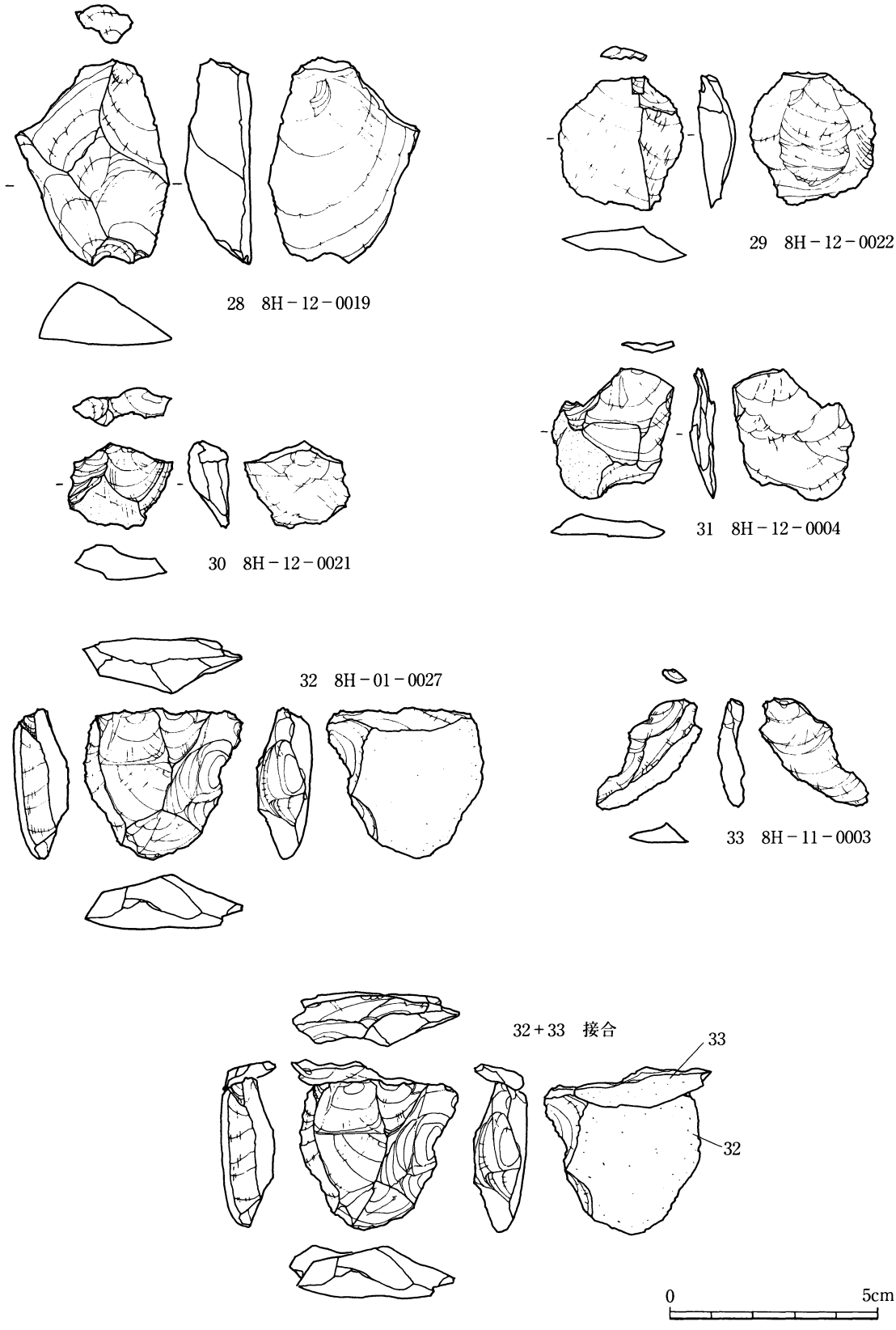


第77図　第16ブロック出土遺物実測図（4）

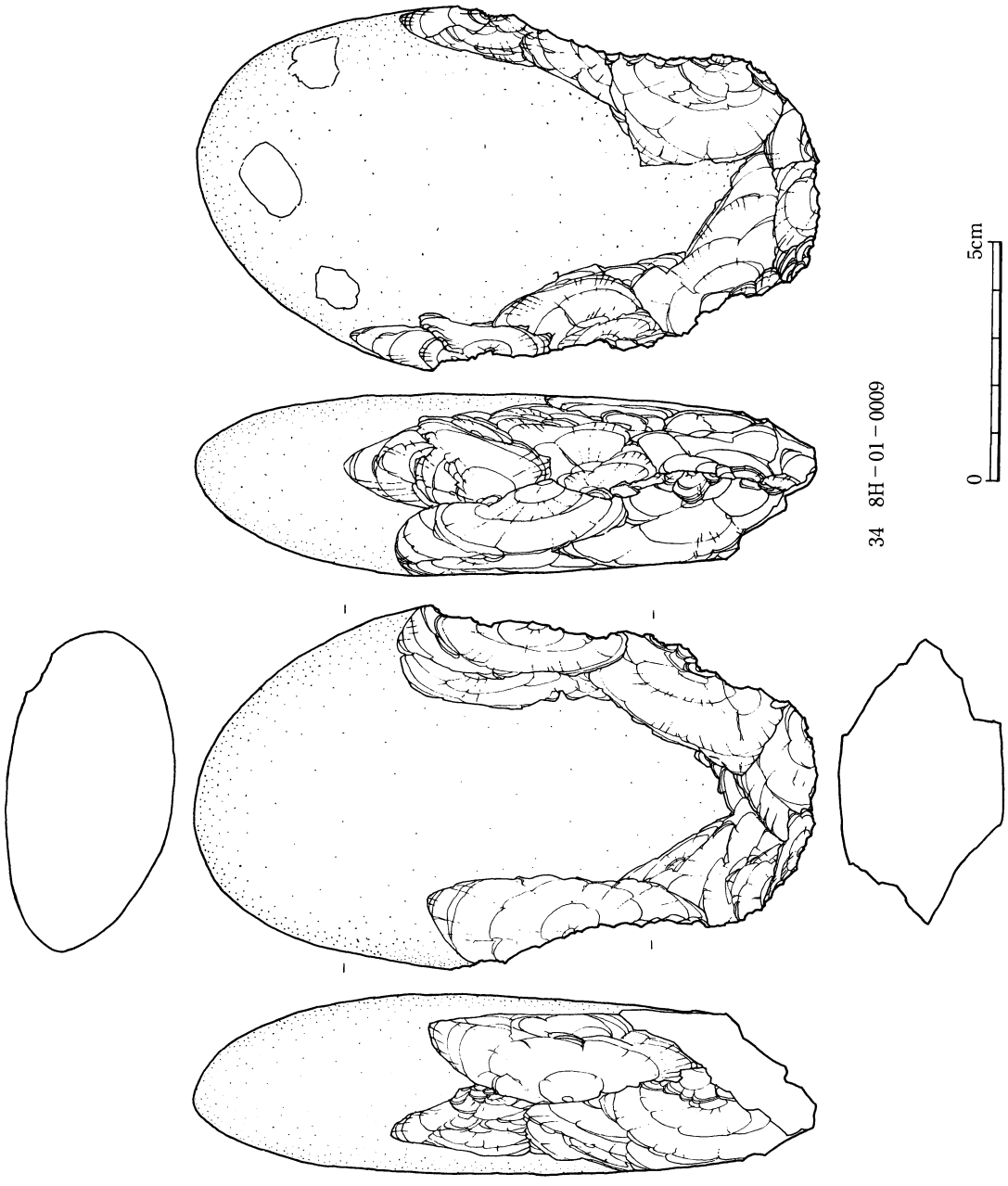
を大きく残しており、半割されたあとそれほど使用されたとは考えられない。23～27はチャートの接合である。23、27はチャートの石核である。接合した状態でみると多方位の剥離面が見られる。24～26はチャートの剥片である。24は礫面を大きく残す。25は縁辺部分の鋭い刃器にもなりうる剥片である。26は縁辺



第78図　第16ブロック出土遺物実測図（5）

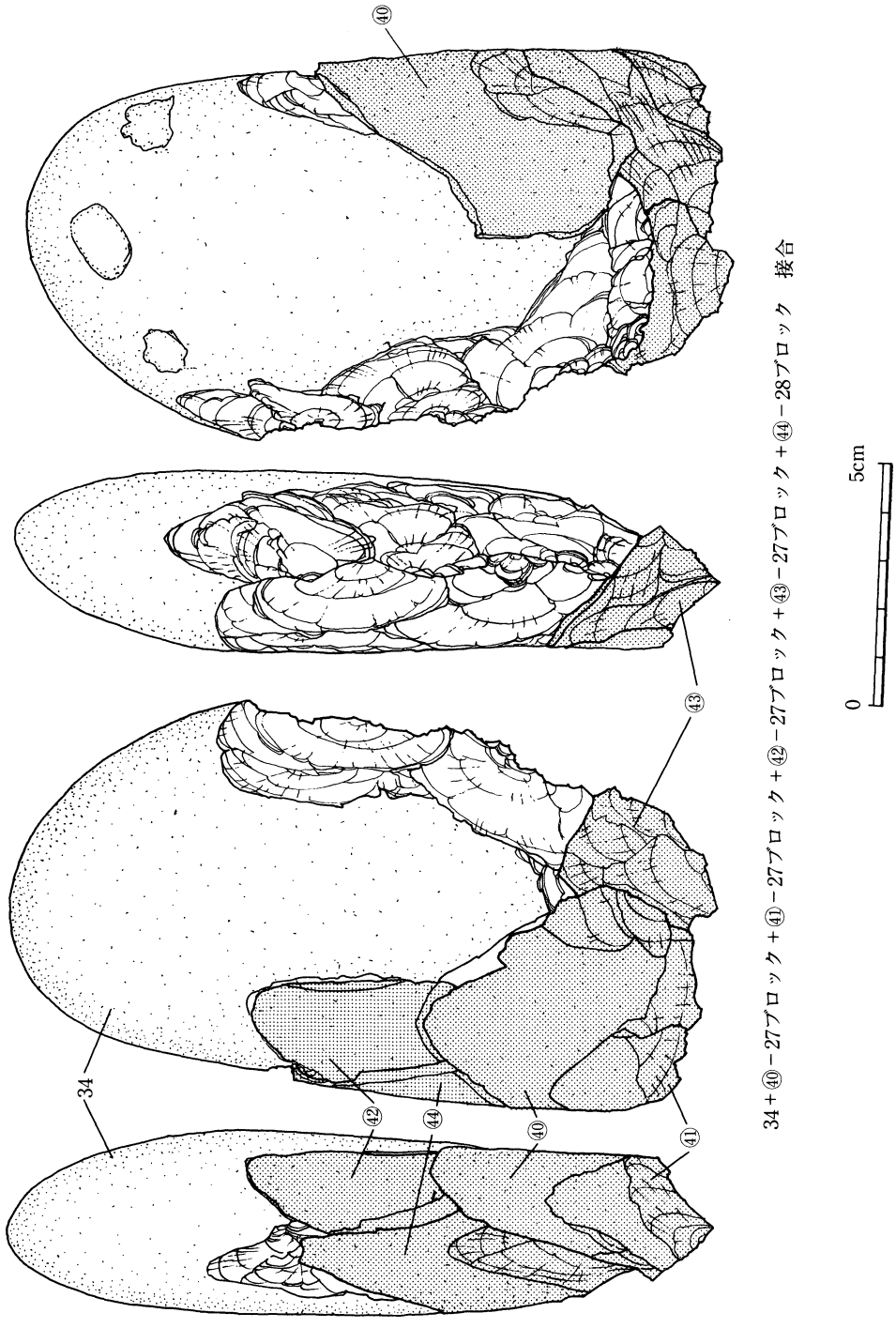


第79図　第16ブロック出土遺物実測図（6）

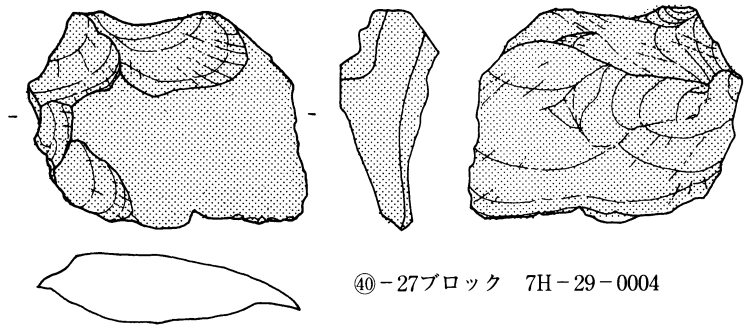


第80図　第16ブロック出土遺物実測図（7）

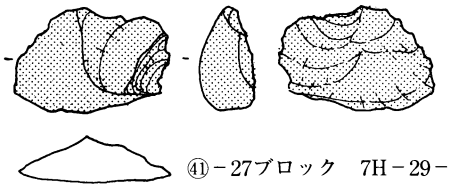
部に細かな刃こぼれが見られるU・剥片である。32～33はチャートの接合資料である。32はチャートの石核である。剥離面は周辺部分から中程に向かって剥離していた様子がうかがわれる。33はチャートの小剥片である。接合した様子から打面調整したときの剥片と思われる。どちらも礫面を多く残す。34は石斧として当該ブロックへ持ち込まれた資料で第27ブロックで製作された石器と思われる。35は67－17ブロックの資料と接合する砂岩の剥片である。接合状態から推測すると大きく打割されたと考えられる。



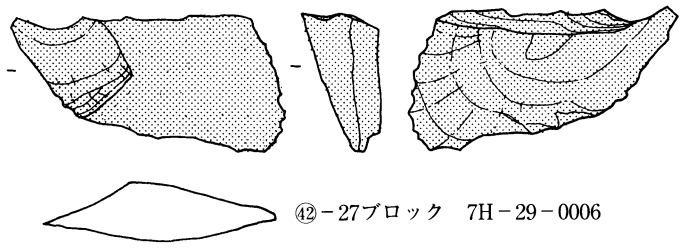
第81図　第16ブロック出土遺物実測図（8）



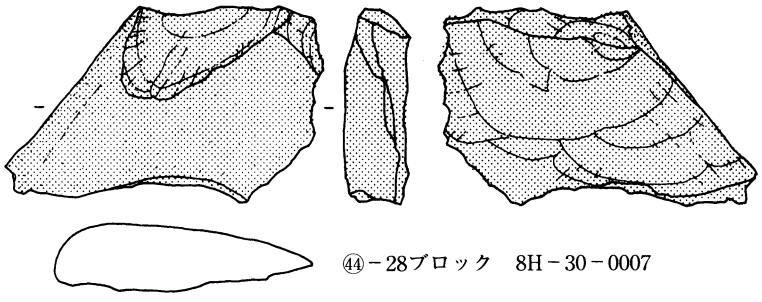
㊵－27ブロック　7H－29－0004



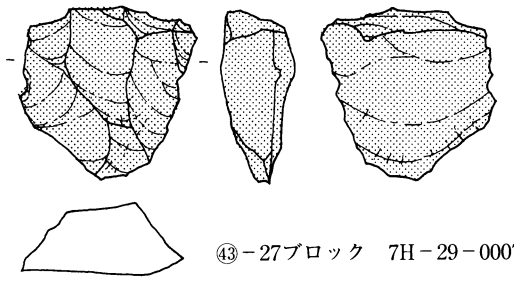
㊶－27ブロック　7H－29－0058



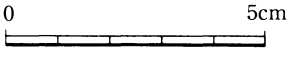
㊷－27ブロック　7H－29－0006



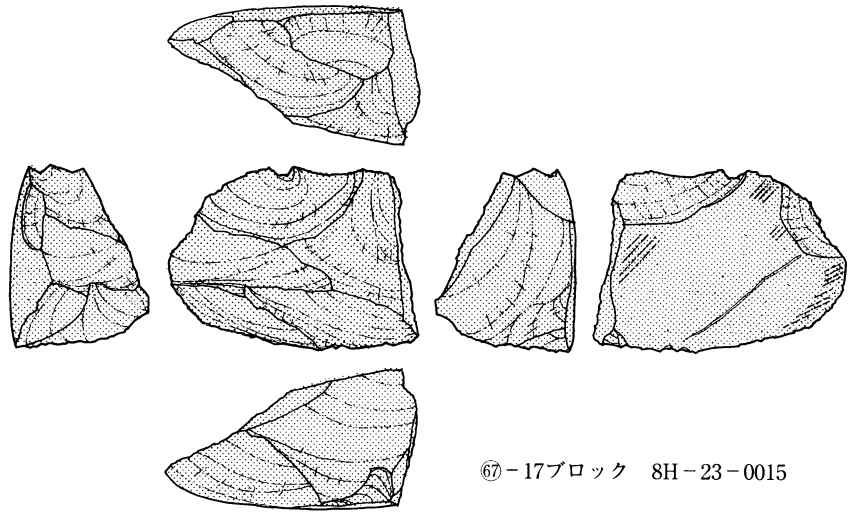
㊹－28ブロック　8H－30－0007



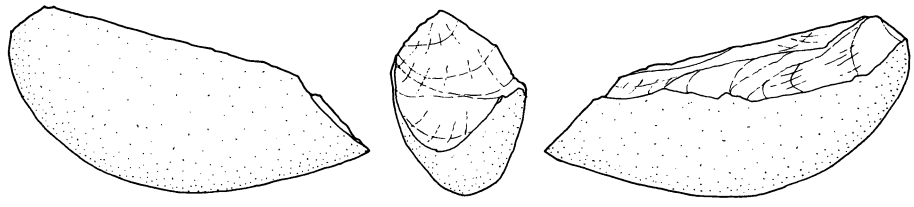
㊸－27ブロック　7H－29－0007



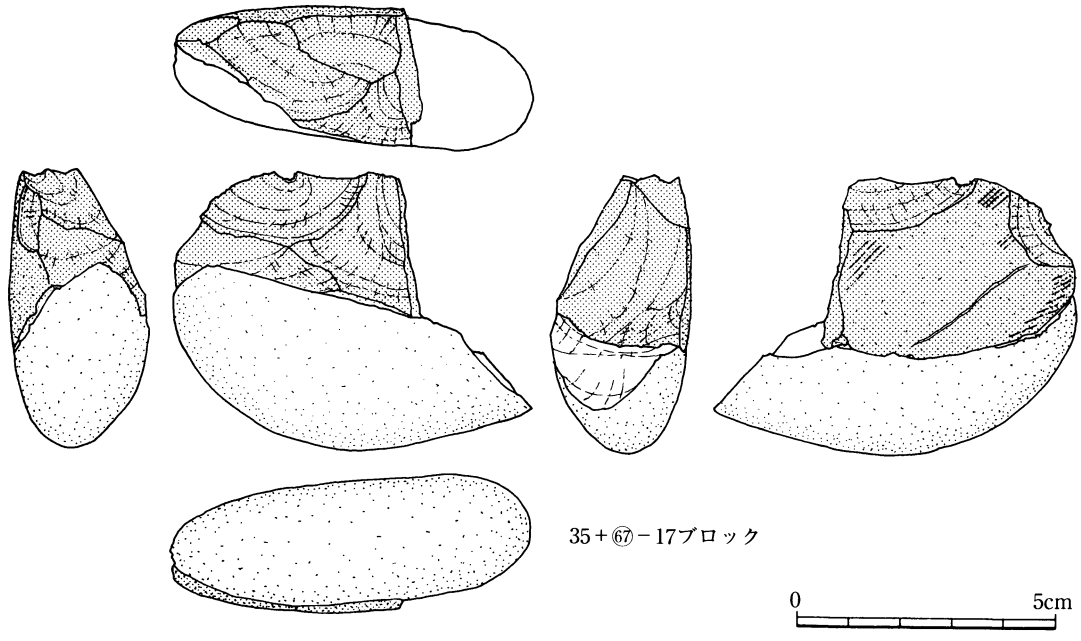
第82図　第16ブロック出土遺物実測図（9）



⑰－17ブロック　8H－23－0015



35　8H－01－0015



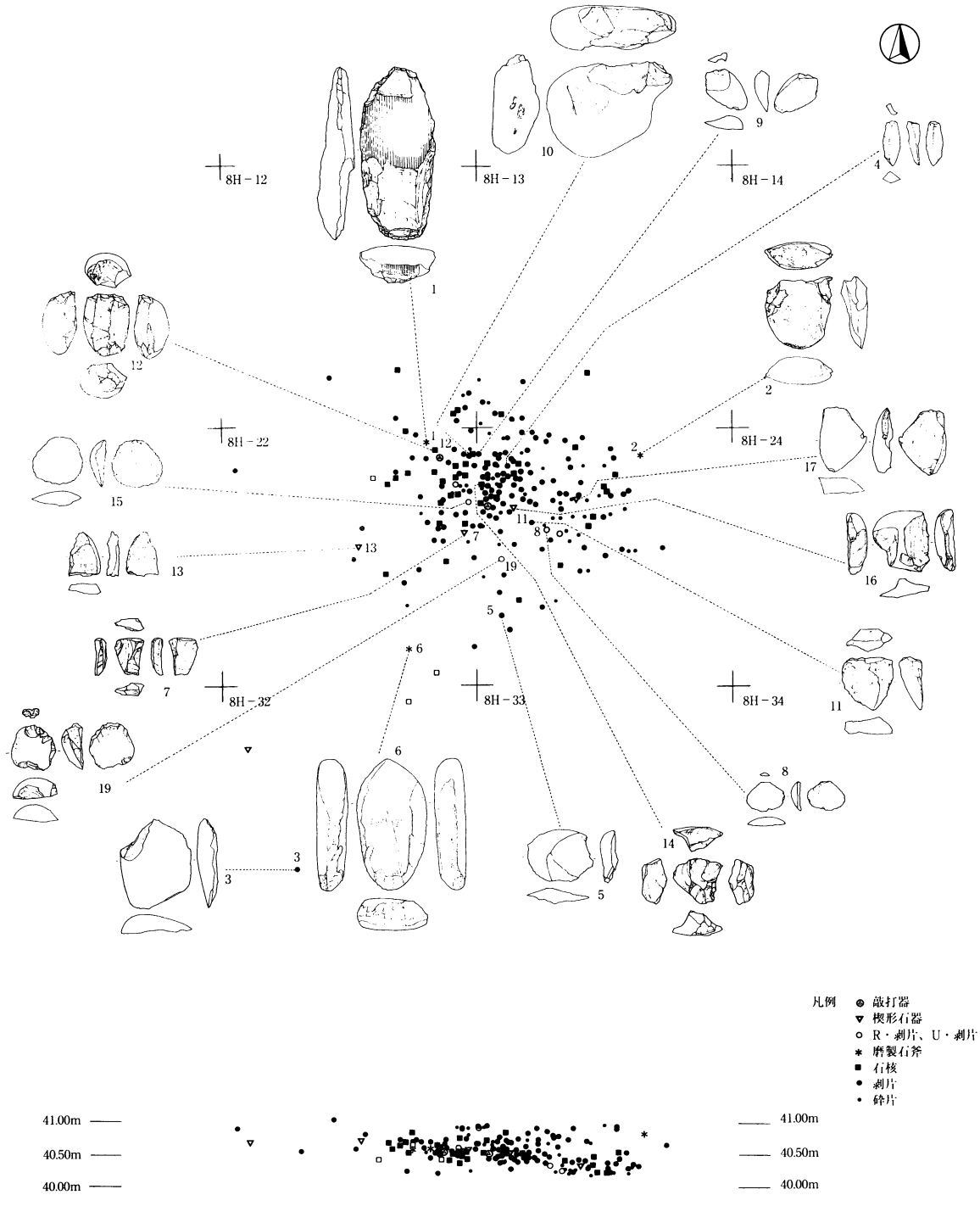
35＋⑰－17ブロック

第83図　第16ブロック出土遺物実測図（10）

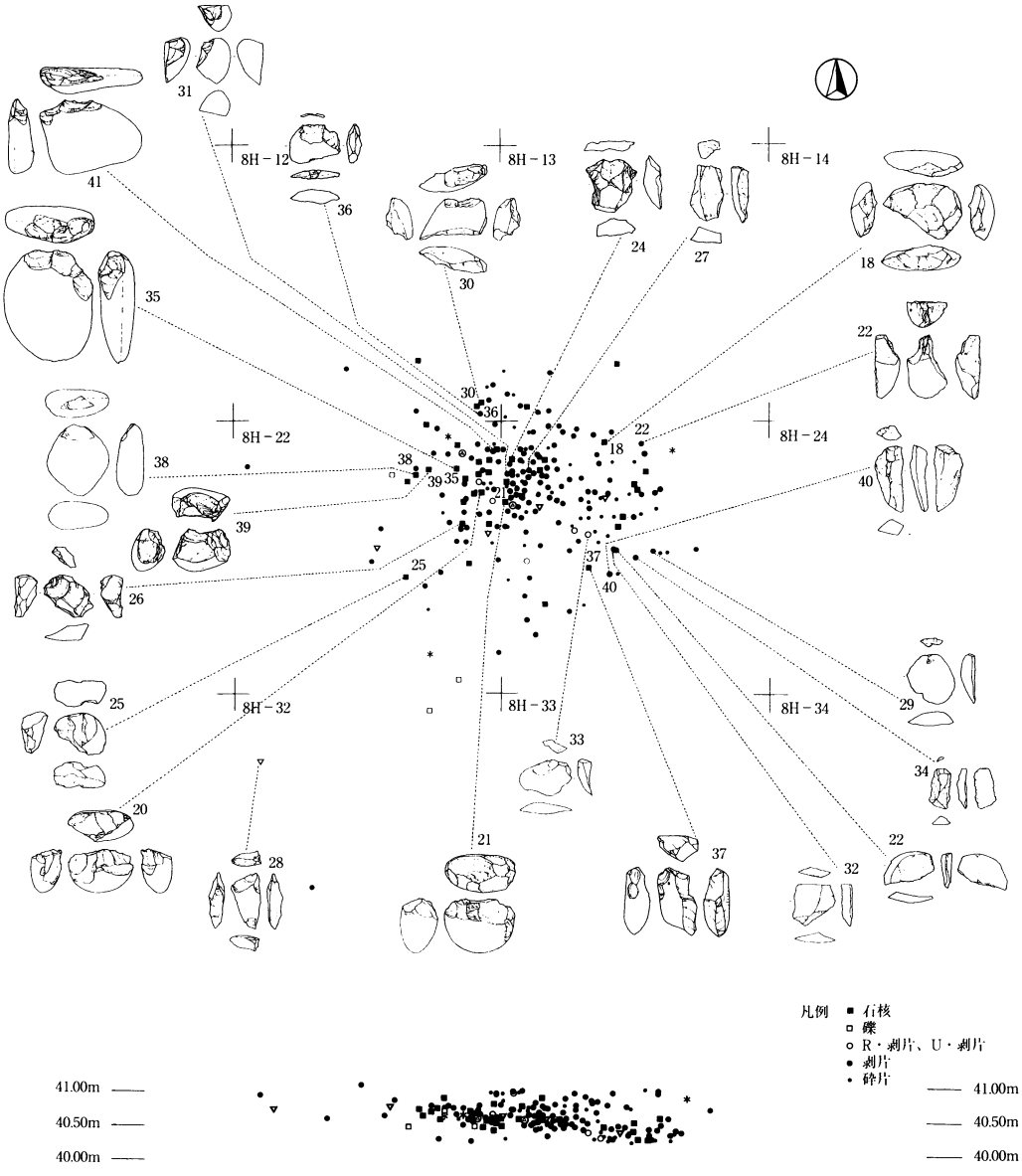
第17ブロック　（第84～106図１～99、写真図版16～20、第17、55表）

分　布　　石器は、８Ｈ－23グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、中央部分に非常に密度の濃い場所が認められる。全体では、径約５ｍの範囲に分布している。

石　材　　チャート117点、ホルンフェルス６点、安山岩30点、砂岩９点、流紋岩16点、凝灰岩６点、珪質頁岩29点、メノウ24点、珪質凝灰岩１点、蛇紋岩２点、石英１点、石灰岩１点で構成される。出土点数が多いので石材は上記の通り多様性に富む。しかしその中でもチャートの点数が半数近くを占めるとい



第84図　第17ブロック出土状況図（1）（scale　1／100）

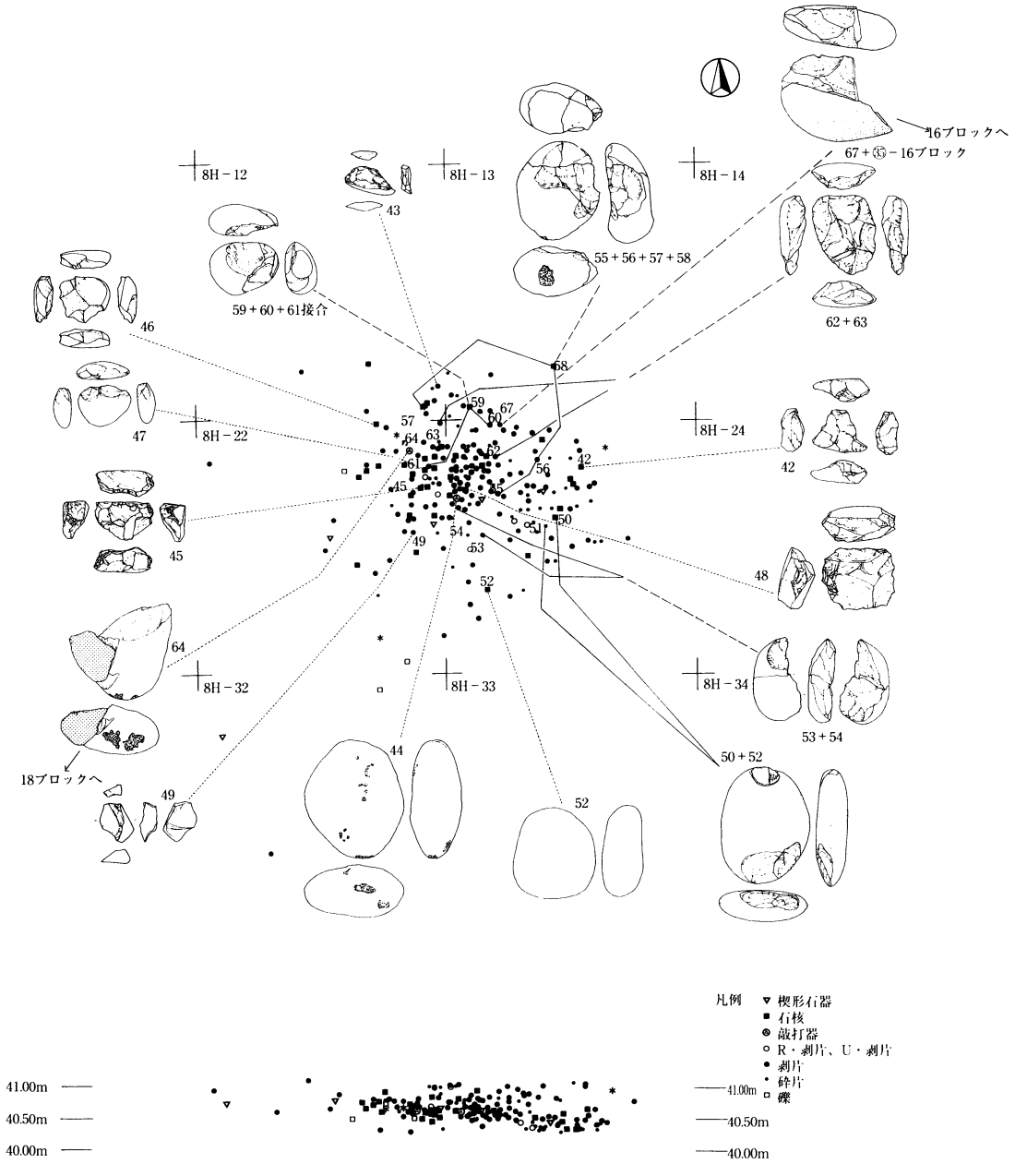


第85図　第17ブロック出土状況図（2）（scale　1／100）

う特徴が見られる。

器　種　　局部磨製石斧３点、楔形石器５点、R・剥片５点、石核44点、剥片124点、砕片53点、敲石２点、礫４点の合計240点で構成される。石核、剥片、砕片の多さからこの場で石器の素材のとなる剥片剥離作業を重点的に行ったことが考えられる。

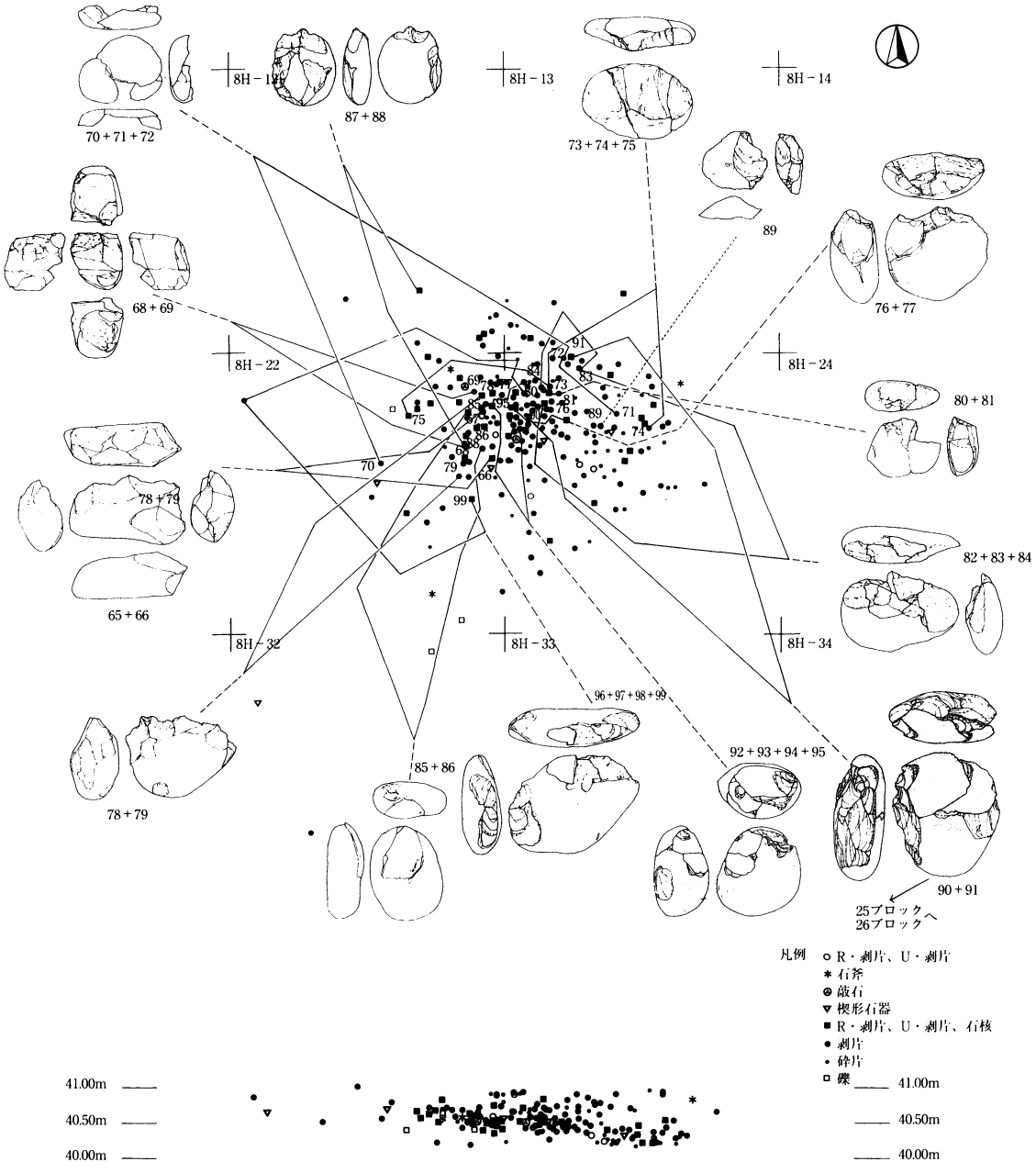
石斧類（第88、89図１、２、６）１は蛇紋岩の局部磨製石斧である。大形の薄目の長楕円礫を素材にして周辺部分を比較的細かく調整して形状を整えている。背面の胴部、裏面の刃部については磨くことで仕上げてある。２は蛇紋岩の局部磨製石斧である。胴部より上半分については破損もしくは剥離によって欠損している。剥離面の状況から判断すると石核として再利用した可能性が高い。楕円礫を素材として作られていたと思われる。また、刃部は両面ともに磨きによって鋭く仕上げられていたことが分かる。６は砂岩の局部磨製石斧あるいは未製品というべきものであろう。刃部から周辺部にかけては打撃によって形状を整えている。表面および裏面の胴部付近には磨きによる線状痕が見られる。刃部等の仕上げに明確さを



第86図　第17ブロック出土状況図（3）（scale　1／100）

欠くため未製品の可能性も考えられる。

楔形石器（第89～91図７、13、16、17、28）７はチャートの楔形石器である。剥片の上下には打撃による剥離が見られる。打面は礫面で覆われているため小円礫より剥離されたものと思われる。13はメノウの楔形石器である。剥片の上下には打撃による剥離が見られる。背面に一部礫面を残す。小円礫を素材として剥離されたものと思われる。16はチャートの楔形石器である。上下に打撃による細かな剥離が見られる。背面中央部分は礫面で覆われ素材として使用された礫の大きさが比較的小さいものだったことがうかがわれる。17は珪質頁岩の楔形石器である。剥片を横位に用いている。上下に打撃痕が見られる。背面は風化面で平滑な状態である。28は珪質頁岩の楔形石器である。もともとは調整剥片のようなものを再利用したと考えられる。上下両端に打撃による剥離が見られる。背面は礫面で覆われている。



第87図　第17ブロック出土状況図（4）（scale　1／100）

U・剥片（第89、90、97図８、15、66）８は流紋岩のU・剥片である。背面は礫面で覆われている。背面側からむかって右側周辺部分に細かな刃こぼれが見られる。15はメノウのU・剥片である。背面は礫面で覆われている。縁辺部分は鋭く細かな刃こぼれが見られる。66は流紋岩のU・剥片である。縁辺部分に刃こぼれが見られる。65の石核と接合する。背面は一面の剥離面と礫面で覆われている。

R・剥片（第90、91図19、33）19はチャートのR・剥片である。剥片の打面側周辺部と先端部分に比較的大きめの剥離で調整加工されている。背面はほぼ礫面で覆われている。33は流紋岩のR・剥片である。横広の剥片で背面はほぼ礫面で覆われている。周辺部の右側から打面部分にかけて細かな調整が施されている。

石核（第89～94図10、12、14、18、20、21、24～26、30、35、37～39、41、42、45～48、52）10はチャ

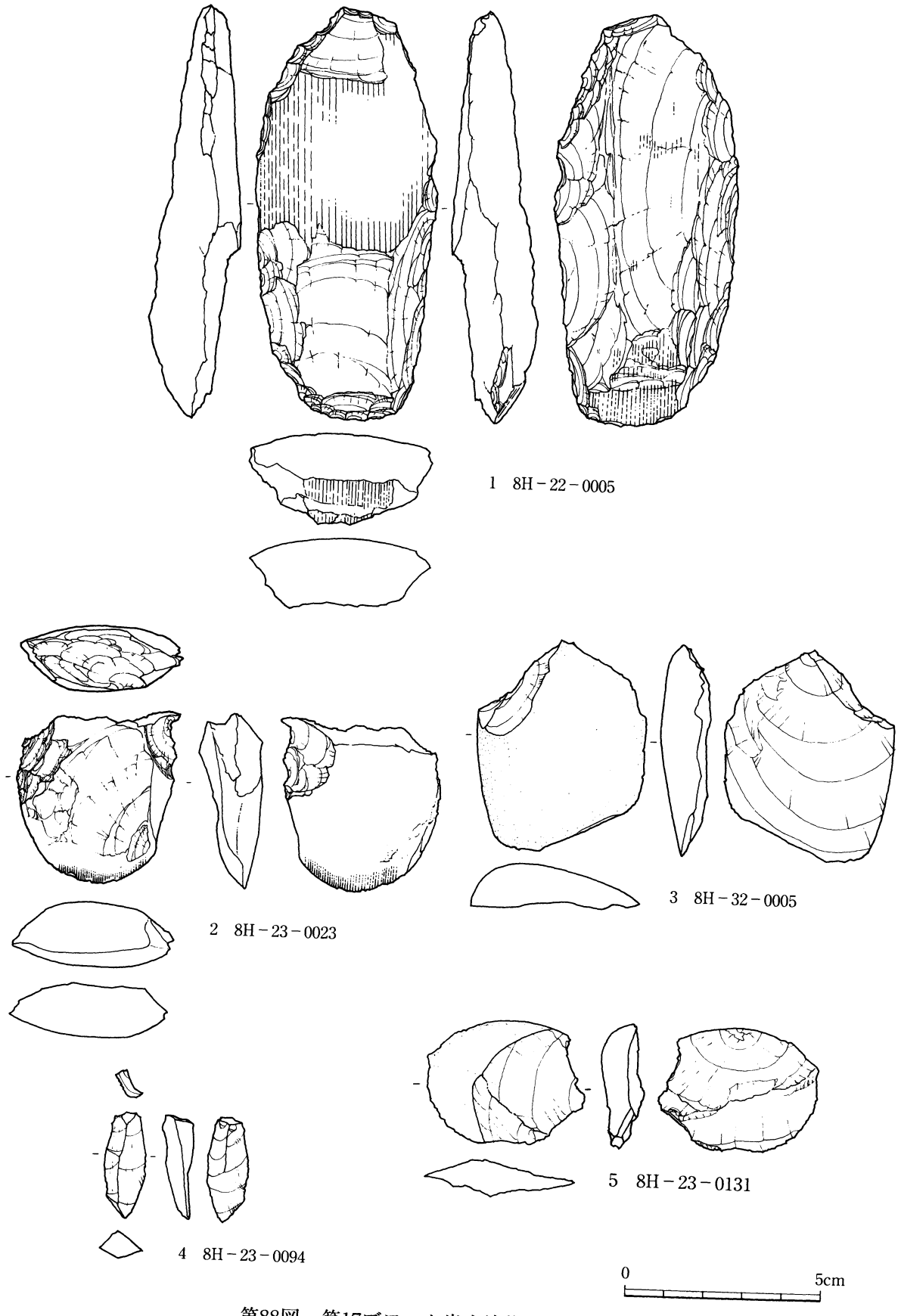
ートの石核である。楕円礫の長軸方向に近い周辺部分を打面にして、中央方向へ剥離している。剥片剥離した際の台石側の打痕が先端方向に見られる。12はメノウの石核である。円礫の上下に打面を形成して上下両方から数回剥離したものと思われる。剥離面を観察する限り比較的縦長の剥片を剥がしたものと思われる。裏面は礫面で覆われている。14は珪質頁岩の石核である。形状を見る限り小剥片を任意の方向から剥離したものと思われる。礫から剥離された大形剥片を素材とした石核と考えられる。18はチャートの石核である。楕円礫の周辺部分から多方位に剥離した後、半割されたように考えられる。20はチャートの石核である。小円礫の中央から剥離した面を打面にした後、上方向から剥離を進めている。21は砂岩の石核である。20と同様な剥片剥離をしたと思われる。どちらも小剥片の剥離を目的とした石核と思われる。24はチャートの石核である。背面側には多方位の小剥片を剥離した面が残されている。主剥離面は摂理面と思われ、打撃の際の剥がれたものと考えられる。25はチャートの石核である。礫の周辺部分を打面として剥離されたものと思われる。26はチャートの石核である。多方位から小剥片を剥離したものと思われる。30は珪質頁岩の石核である。背面が礫面で覆われている大形剥片を石核素材に使用している。35は流紋岩の石核である。扁平な楕円礫の長軸方向の縁辺部分を打撃面として中央部分に向かって剥離している。数枚小剥片を剥離した後、廃棄している。37はチャートの石核である。礫の片側から剥離面を打面にして任意の方向に剥離している。38は安山岩Aの石核である。小楕円礫の長軸方向から中央部分に向かって1面剥離した後、廃棄されている。ほとんど原石（礫状態）のままといっても過言ではない。39はチャートの石核である。打面を転移しながら比較的同じ方向から剥離を進めている。礫面をかなり残す。41はホルンフェルスの石核である。礫の周辺部分から中央部分に向かって複数回剥離した後、廃棄されている。42は珪質頁岩の石核である。大形剥片を転用して任意の方向から小剥片を剥離している。45は珪質頁岩の石核である。ある程度剥片剥離した後、分割した石核を利用して小さな剥片を周辺部より剥離している。46は安山岩Bの石核である。小円礫を使って任意な方向から剥離して、小剥片を剥離している。47は安山岩Bの石核である。小円礫の片側から剥離を進めている。かなり礫面を残している。48はチャートの石核である。礫面の周辺部分から中央部分に向かって比較的幅広の剥片を剥離している。裏はほぼ礫面を残している。

敲石（第93、97図44、64）44はチャートの敲石である。周辺部分と中央部分に所々に集中的に打痕が見られる。64はチャートの敲石である。34－18ブロックと接合する。分割されて当該ブロックで使用された可能性はある。52はメノウの原石（現礫）である。石核の素材として使われる可能性がある。

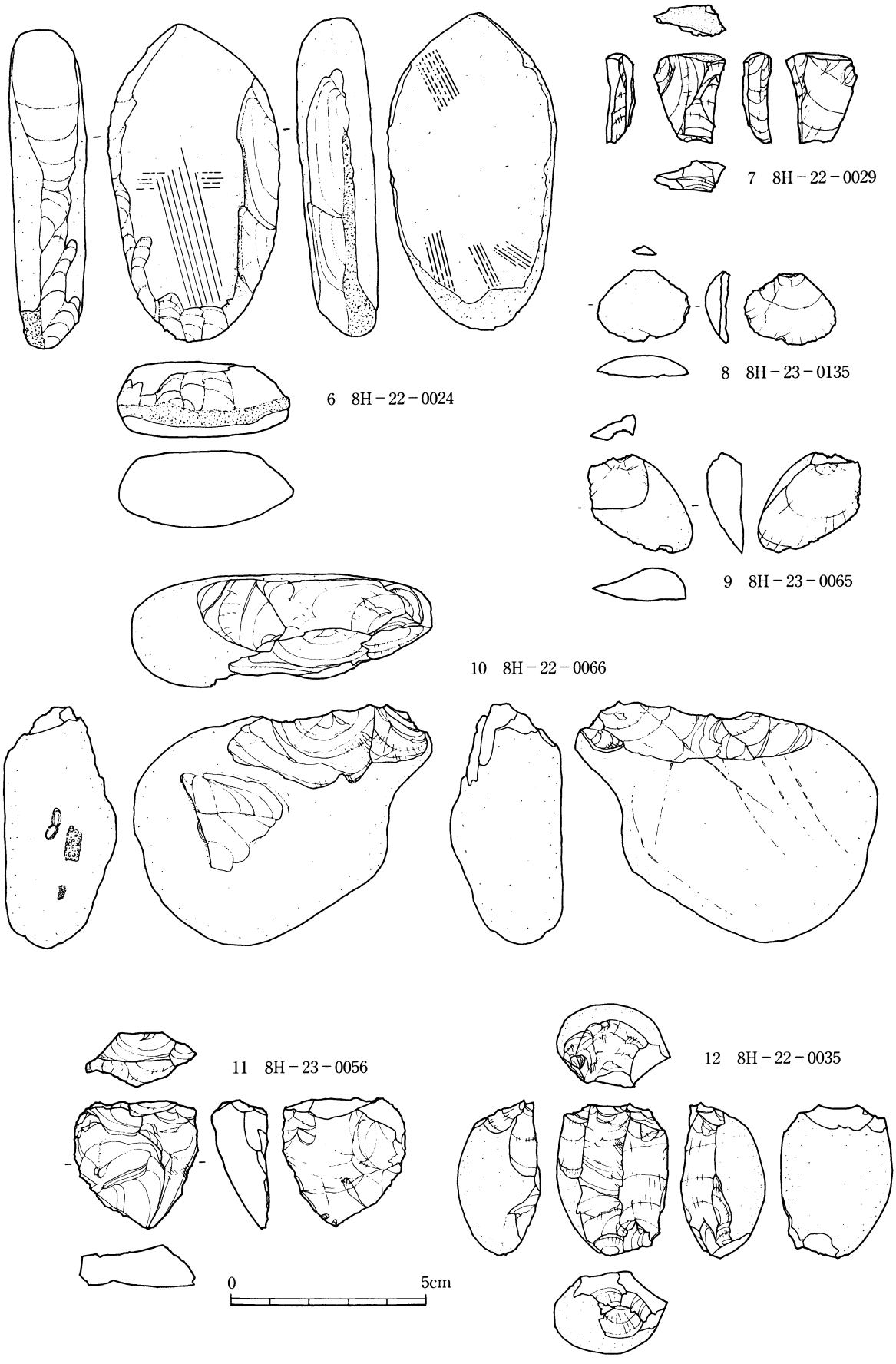
剥片（第88、89、91～93、103図3～5、9、11、23、27、29、31、32、34、36、40、43、49、88）3は流紋岩の大形剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。4は珪質頁岩の小石刃状の剥片である。背面には主剥離面と同方向の剥離面が2条ある。5は安山岩Aの剥片である。礫面を打面として剥がされたものと思われる。背面は右方向の剥離面と礫面で構成される。9は珪質頁岩の剥片である。背面は上方向の剥離面と礫面で構成される。11は珪質頁岩の剥片である。背面には主剥離面と逆方向からの剥離が見られる。23はチャートの剥片である。背面は礫面で覆われる。石核転用が行われた剥片と思われる。27はメノウの縦長剥片である。先端部は折断状態である。29はチャートの剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。31は珪質頁岩の剥片である。背面は左横方向からの剥離面を2面と礫面で構成される。32はホルンフェルスの剥片である。背面は逆方向と左方向からの剥離で構成される。34はメノウの剥片である。小形であるが、刃部は鋭い。36はメノウの剥片である。幅広の剥片で下半分は礫面によって覆われている。先端部は折れている。40は安山岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数の剥離面から構成されて

いる。43はチャートの剥片である。先端部分は礫面に覆われている。49は珪質凝灰岩の剥片である。背面は左横方向からの剥離面と礫面で構成される。88は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面と礫面で構成される。

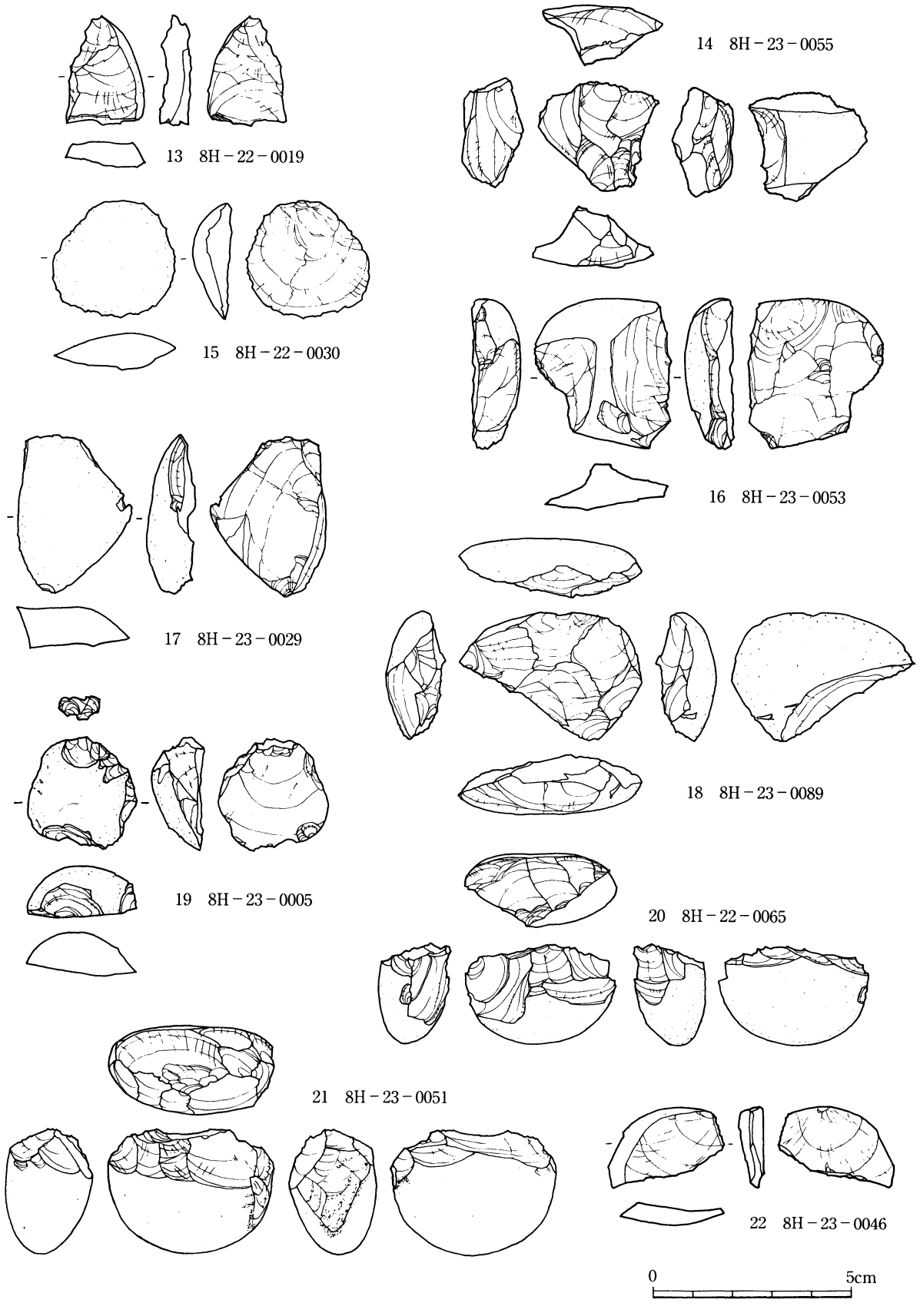
接合資料（第94～104図50～51、53～54、55～58、59～61、62～63、64、65～66、67、68～69、70～72、73～75、76～77、78～79、80～81、82～84、85～86、87～88、90～91）50～51は砂岩の接合資料である。50は石核、51は剥片剥離された際に剥がれた砕片と思われる。礫の長軸方向を縁辺部分から中央部分にむかって剥離した典型的な石核および砕片の接合資料である。53～54はチャートの剥片同士の接合資料である。原礫を荒割した段階で大きく割れたようにも思える。55～58はチャートの接合資料である。55～57は剥片、58は石核である。最初の剥離で比較的薄い剥片（推定）が剥離された後は荒割されたごとくに厚みのある剥片が剥がされているようである。59～61はチャートの接合資料である。59は石核、61、62は剥片である。61、62を連続して剥がす前に左方向からの剥離をおこなった剥離面が残っており、打面転移をしながら剥片剥離を行う様子がうかがわれる。62～63はメノウの接合資料である。62は石核、63は剥片である。接合状態で典型的に楕円礫を使用して周辺から剥離して剥片を作り出しているものである。63を剥がす段階では剥離面を打面にして裏面に向かって剥がし始めた段階なのがわかる。64はチャートの敲石である。34－18ブロックのチャートの剥片と接合する。剥がされた後、敲石として使われていた可能性が高い。65～66は流紋岩の接合資料である。65は石核、66はU・剥片である。比較的厚みがあり、細長い楕円礫の周辺に沿って両側から剥片を剥いでいる。剥片剥離の様子のよくわかる資料である。67は砂岩の石核である。35－16ブロックと接合する。周辺部というより任意の方向より剥離している様子がうかがわれる。68～69はチャートの接合資料である。68は石核、69は剥片である。69は形態から打面を形成するための剥片かもしれない。70～72はチャートの剥片同士の接合資料である。いづれも楔形石器等の素材となりうる剥片である。73～75はチャートの接合資料である。73および75は石核、74は剥片である。楕円礫からある程度剥片剥離を行った後、分割して再利用しようと考えていたのかもしれない。76～77はチャートの接合資料である。76は石核で、77は剥片である。円礫の片側から順次中央部分に向かって剥離していく様子がうかがわれる。78～79はチャートの接合資料である。78は石核で、79は剥片である。楕円礫の片側より剥離を行っていく形のもので、76や82の石核とも共通する技法と思われる。80～81は安山岩Aの接合資料である。80は剥片、81は石核である。小さな剥片を取るための石核であったと考えられる。82～84はチャートの接合資料である。82は石核、83、84は剥片である。85～86はチャートの接合資料である。85は石核、86は剥片である。接合した状態から明らかに両極打法の存在がうかがえる資料である。87～88は凝灰岩の接合資料である。87は石核、88は剥片である。比較的小さな円礫を使用した石核で、周辺部より中央部分に向かって小剥片を剥がしていった様子がうかがえる。90～91は⑨－25ブロック、21－26ブロック
の剥片と接合するメノウの資料である。他のブロックに残された剥片をみるかぎり、比較的大きめの剥片を剥ぎ取り移動先で廃棄されたことが考えられる。92～95はチャートの接合資料である。95は石核、92～94は剥片類である。接合資料の分布範囲から一時期の剥がされたことが考えられる資料である。96～99はチャートの接合資料である。99は石核、96～98は剥片類である。上方向からの剥離と左方向からの剥離が見られ周辺剥離工程の一端がうかがわれる資料であると思われる。



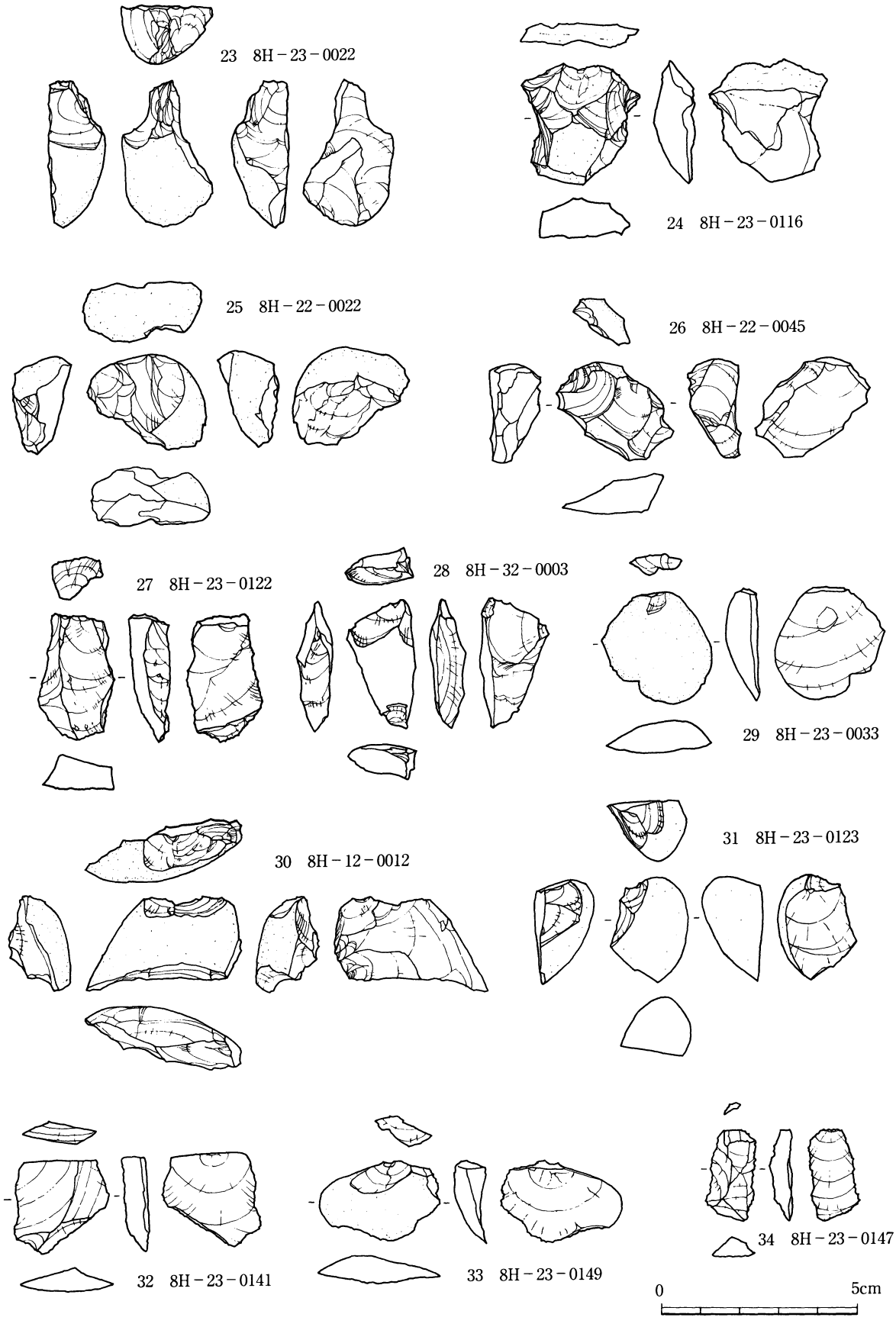
第88図　第17ブロック出土遺物実測図（1）



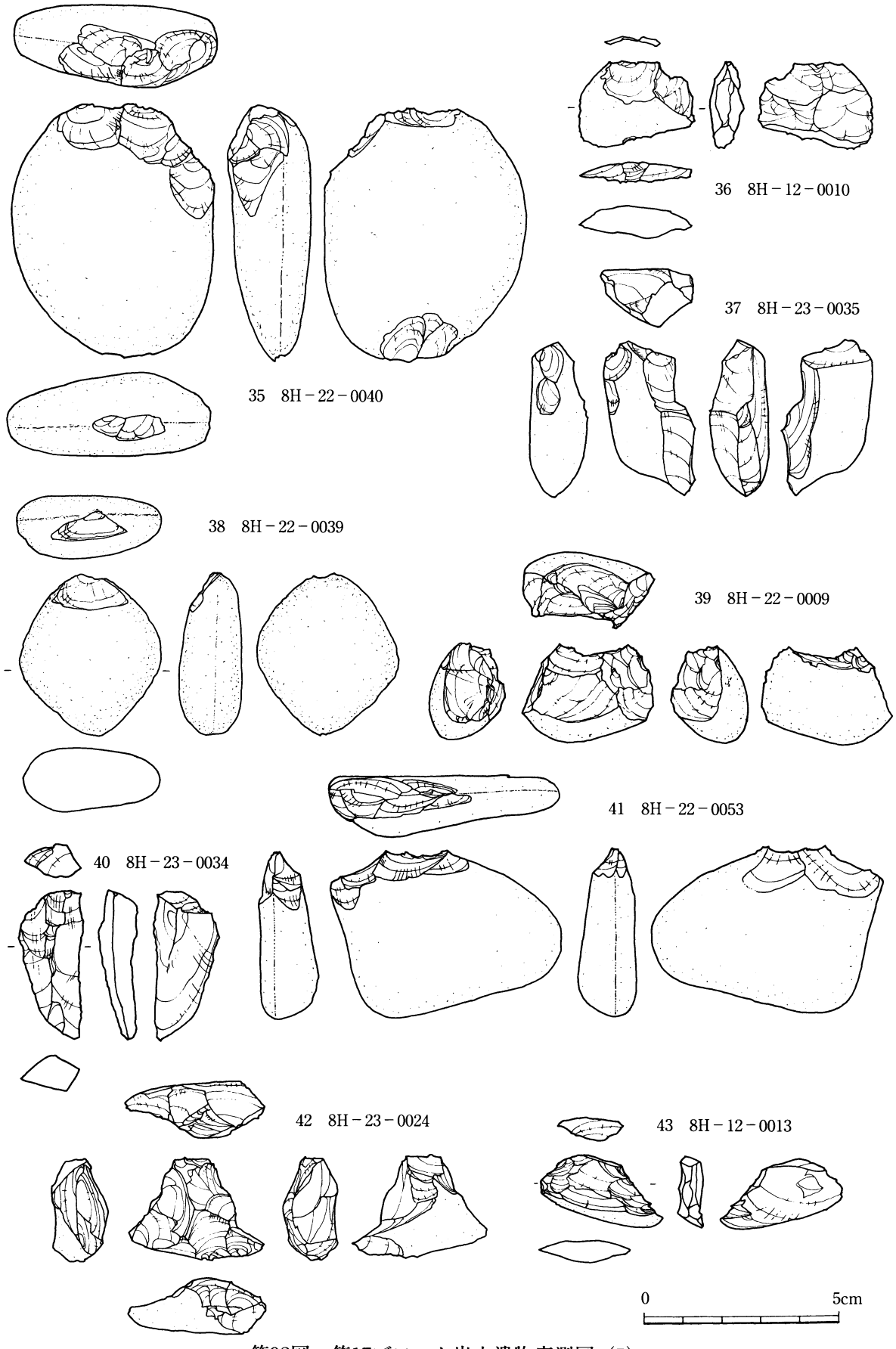
第89図　第17ブロック出土遺物実測図（2）



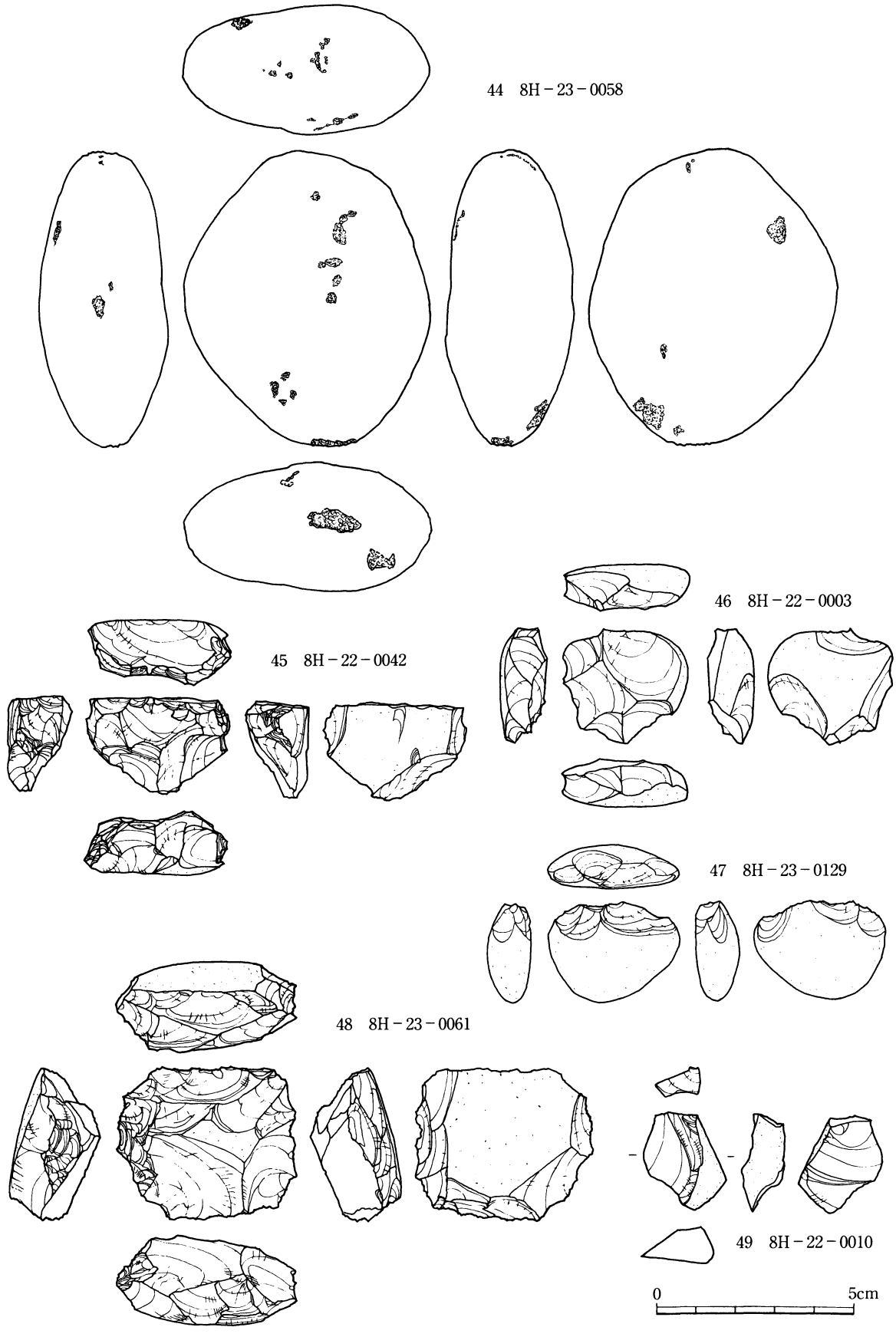
第90図　第17ブロック出土遺物実測図（3）



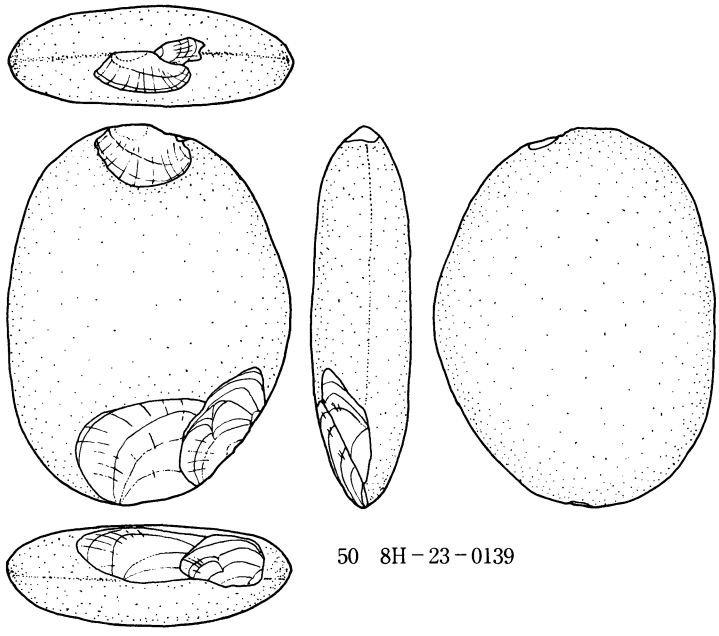
第91図　第17ブロック出土遺物実測図（4）



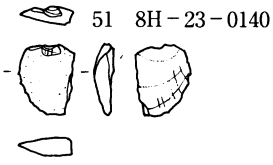
第92図　第17ブロック出土遺物実測図（5）



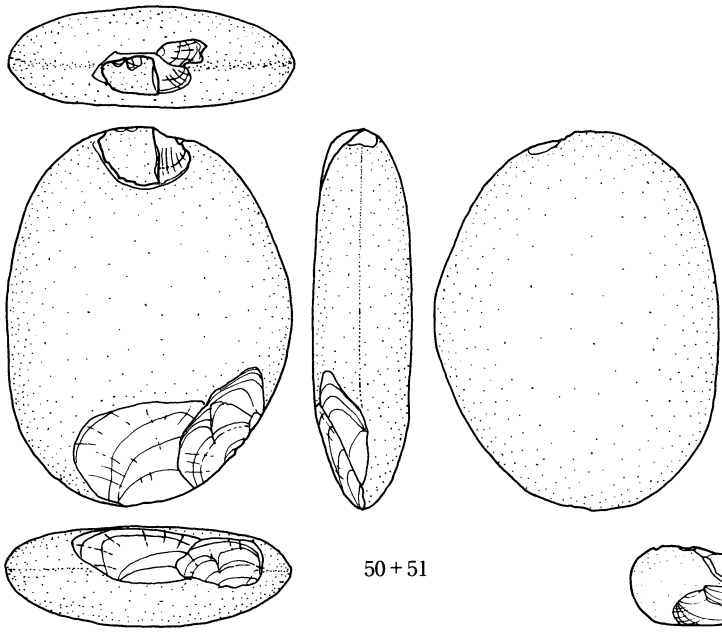
第93図　第17ブロック出土遺物実測図（6）



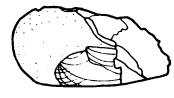
50　8H－23－0139

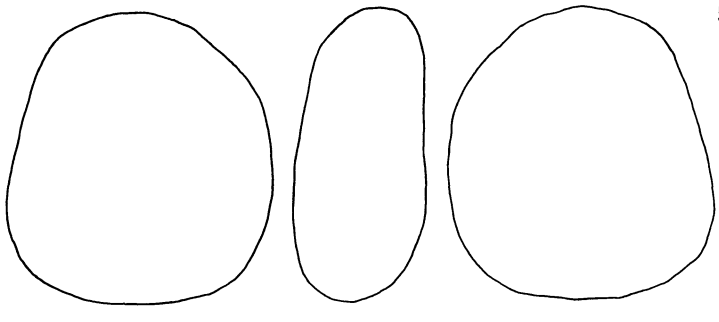


51　8H－23－0140

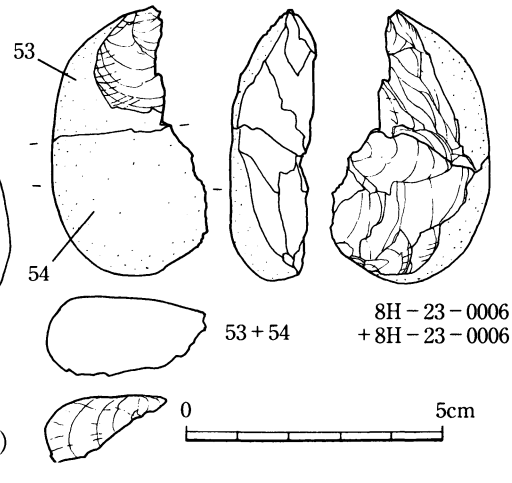


50＋51





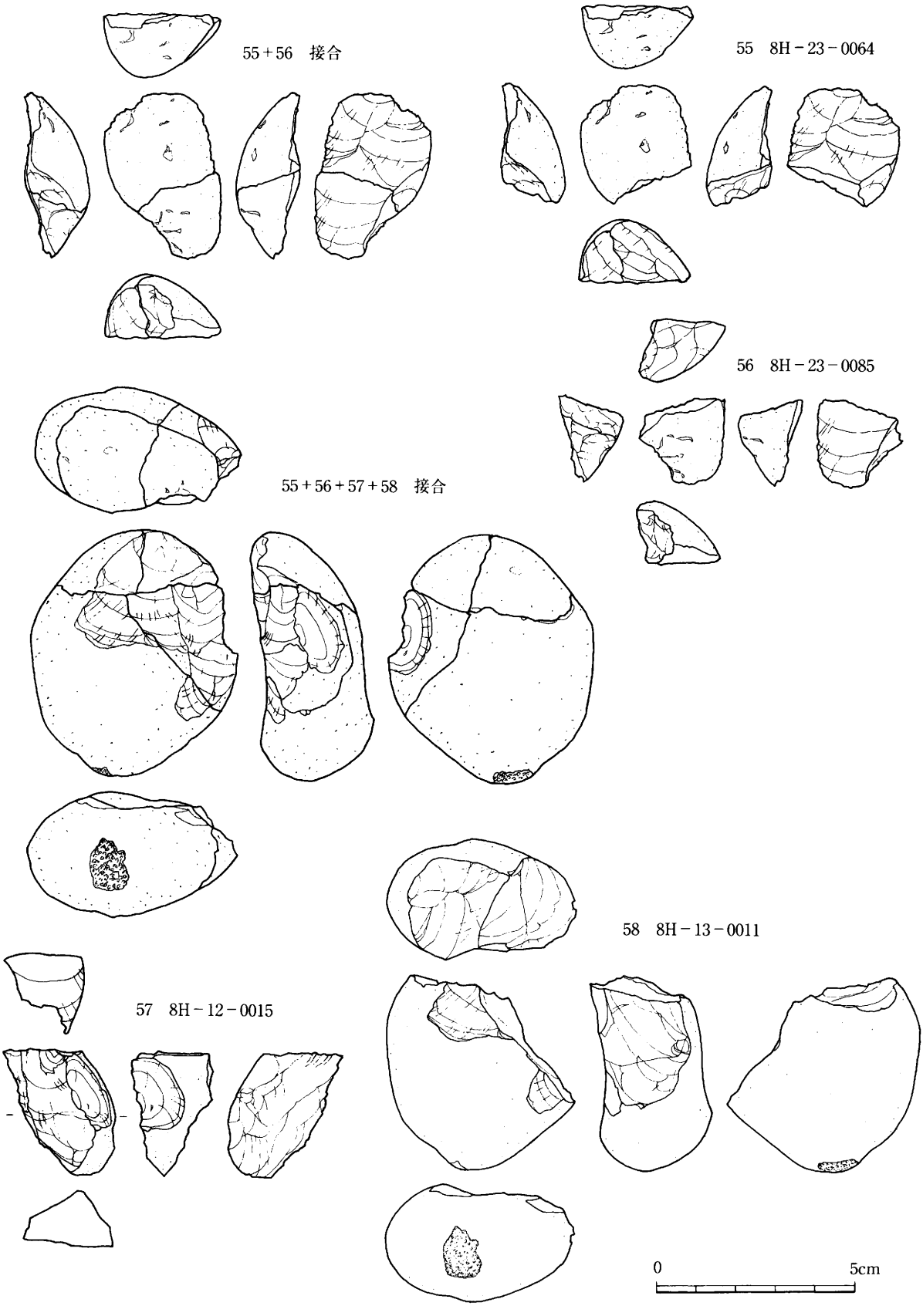
52　8H－23－0038



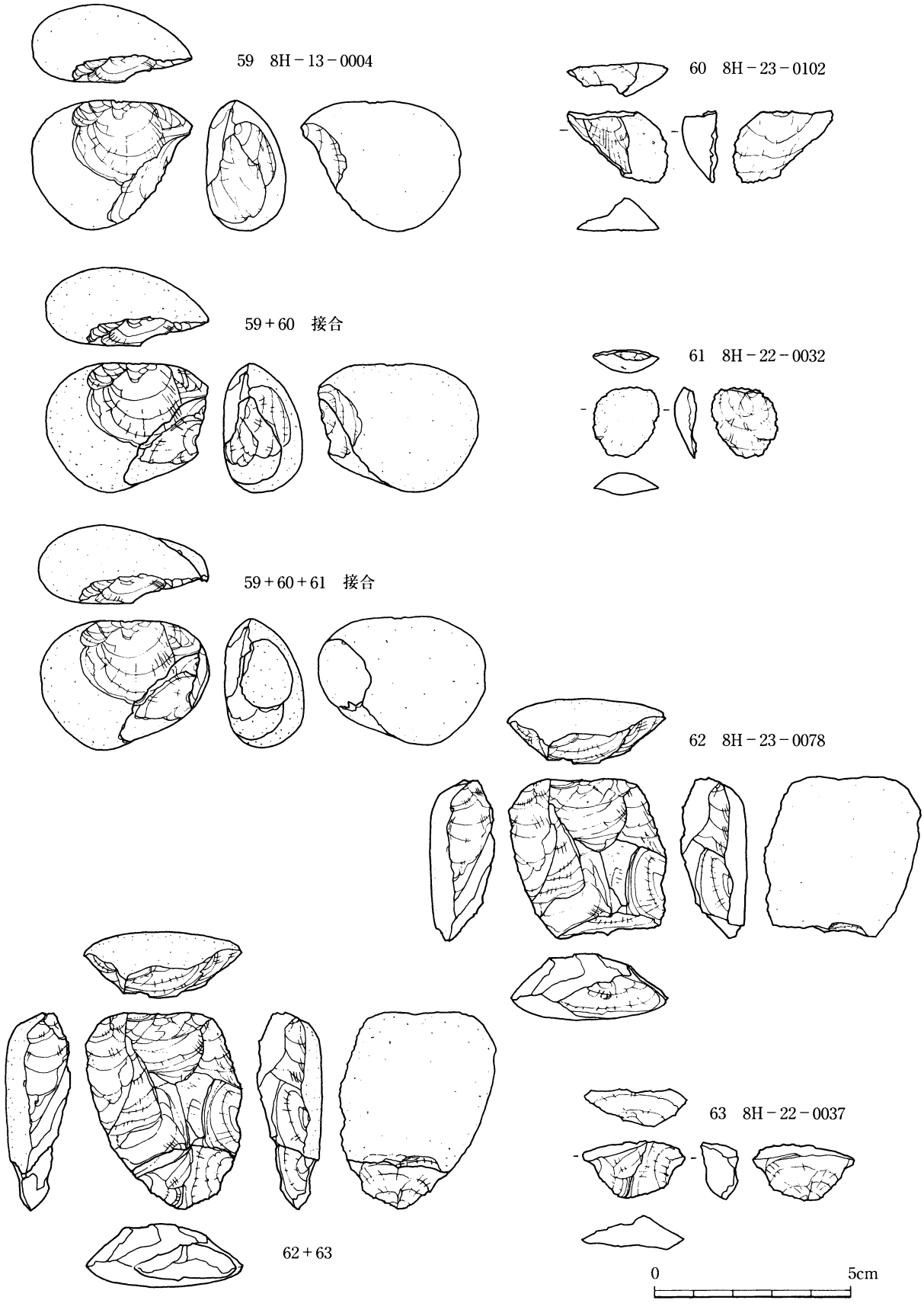
53＋54

8H－23－0006
＋8H－23－0006

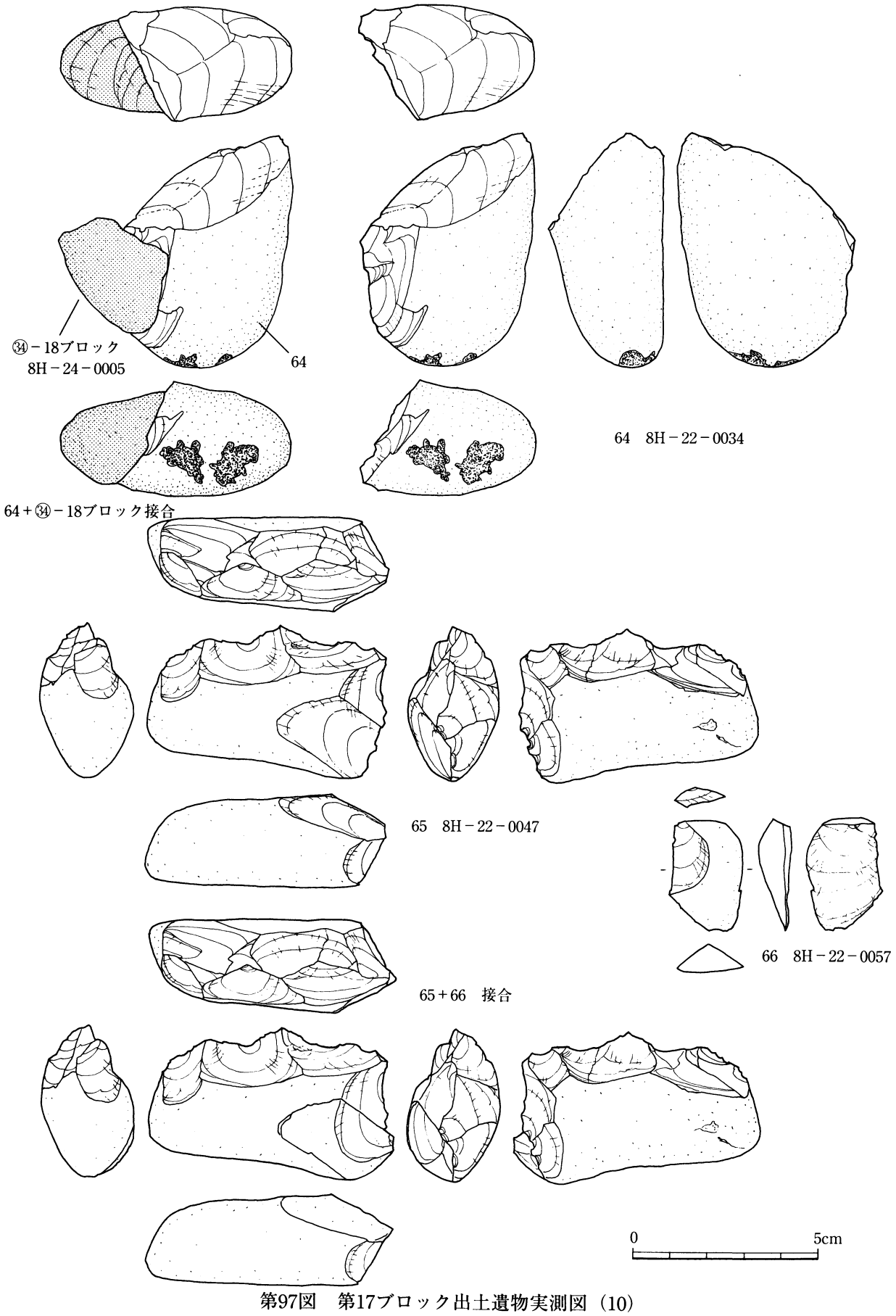
第94図　第17ブロック出土遺物実測図（7）



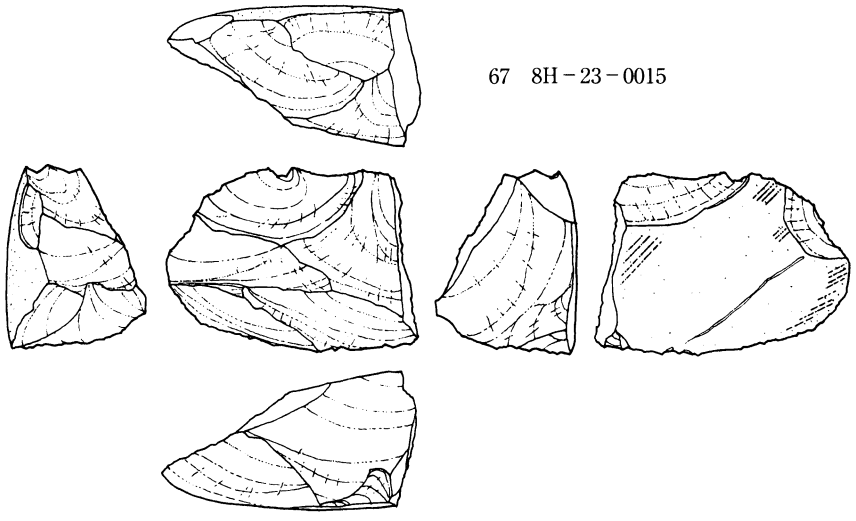
第95図　第17ブロック出土遺物実測図（8）



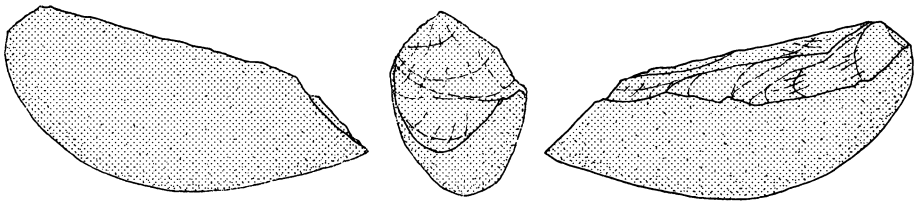
第96図　第17ブロック出土遺物実測図（9）



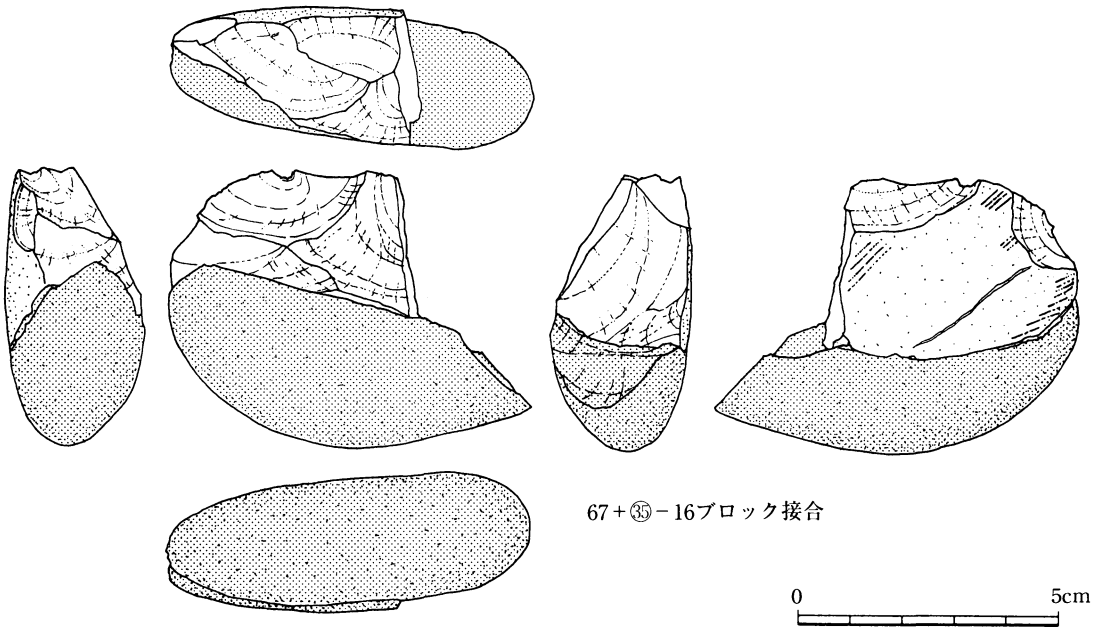
第97図　第17ブロック出土遺物実測図（10）



67　8H－23－0015



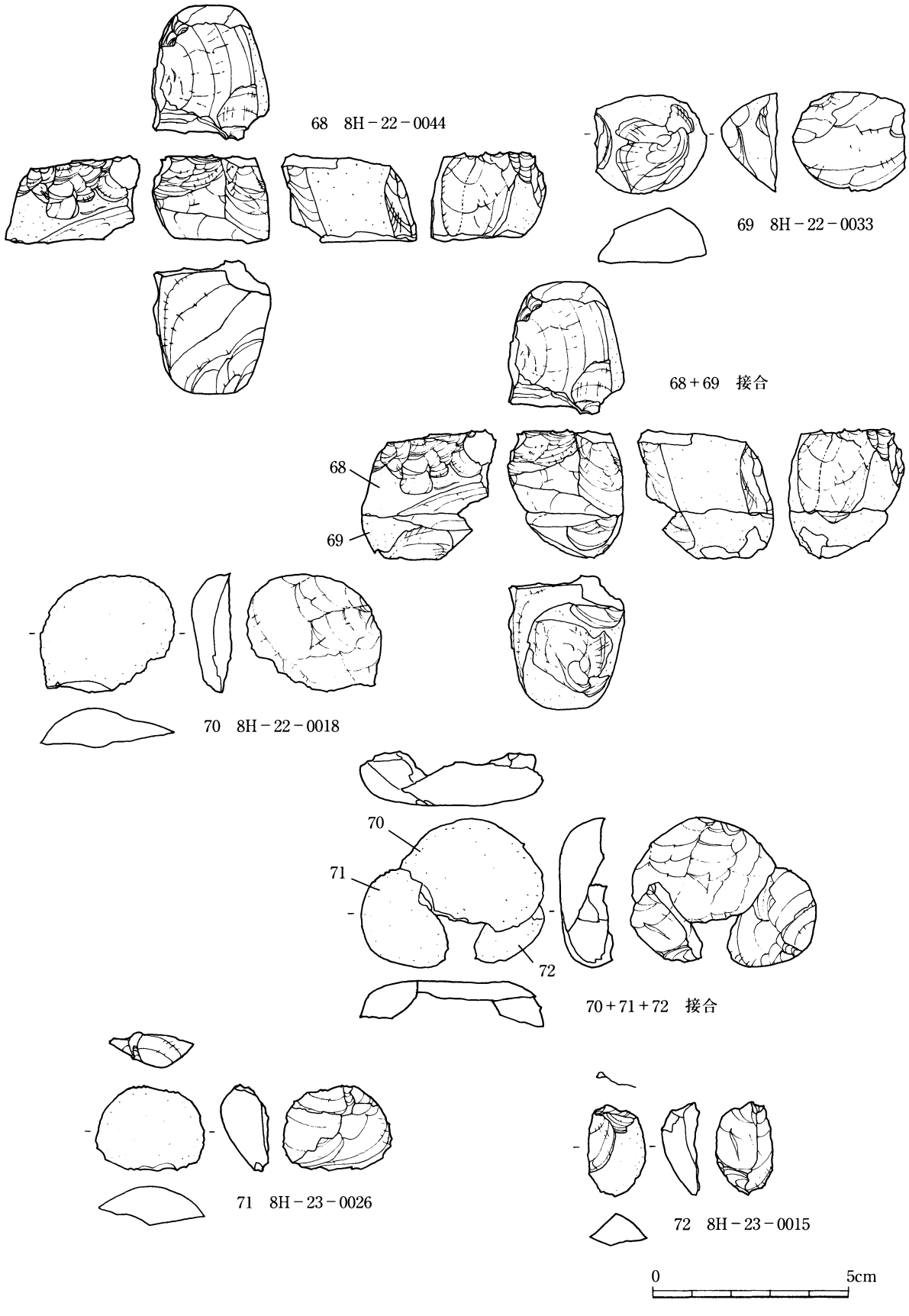
㉟－16ブロック　8H－01－0015



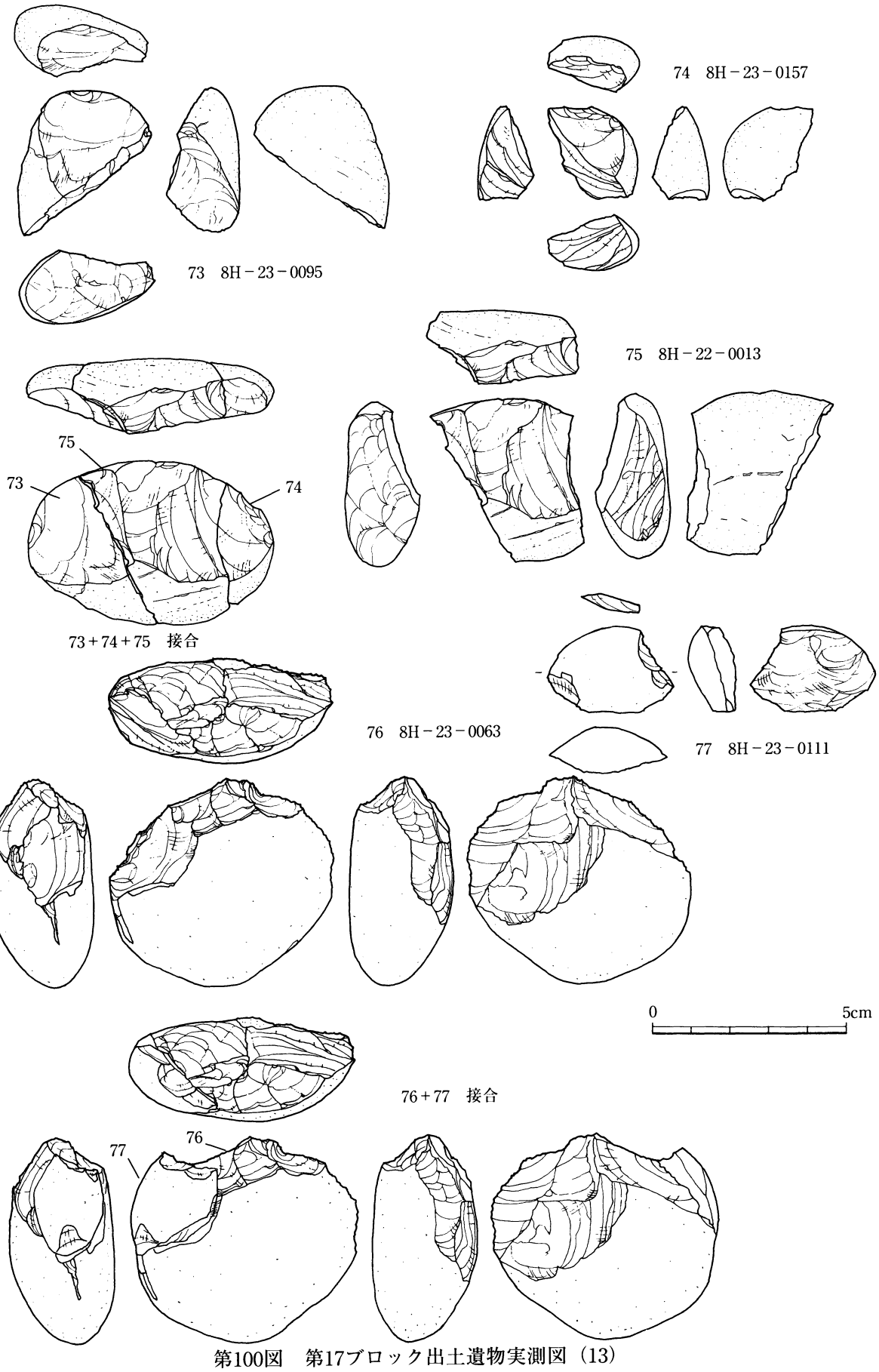
67＋㉟－16ブロック接合

0　5cm

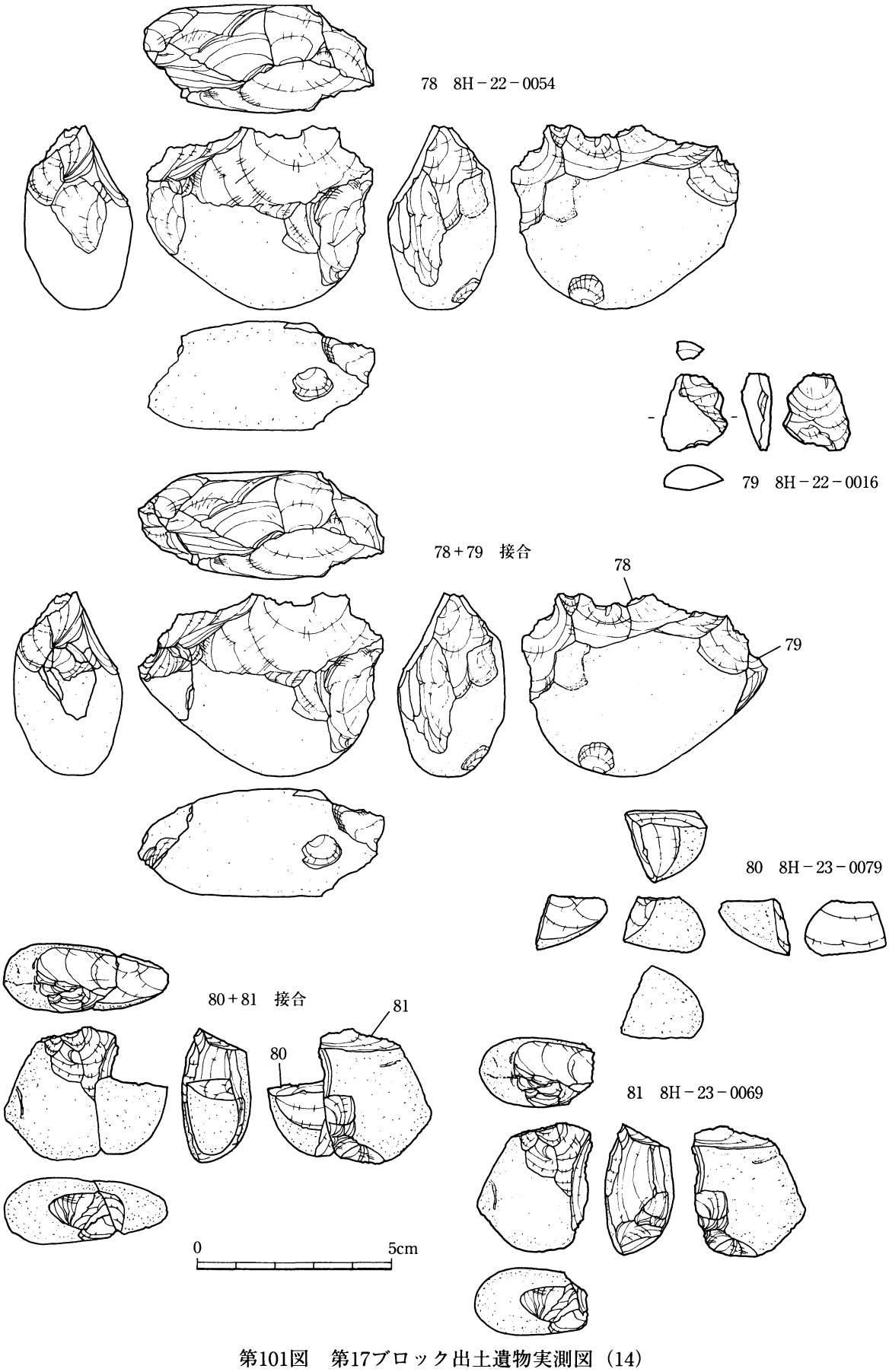
第98図　第17ブロック出土遺物実測図（11）



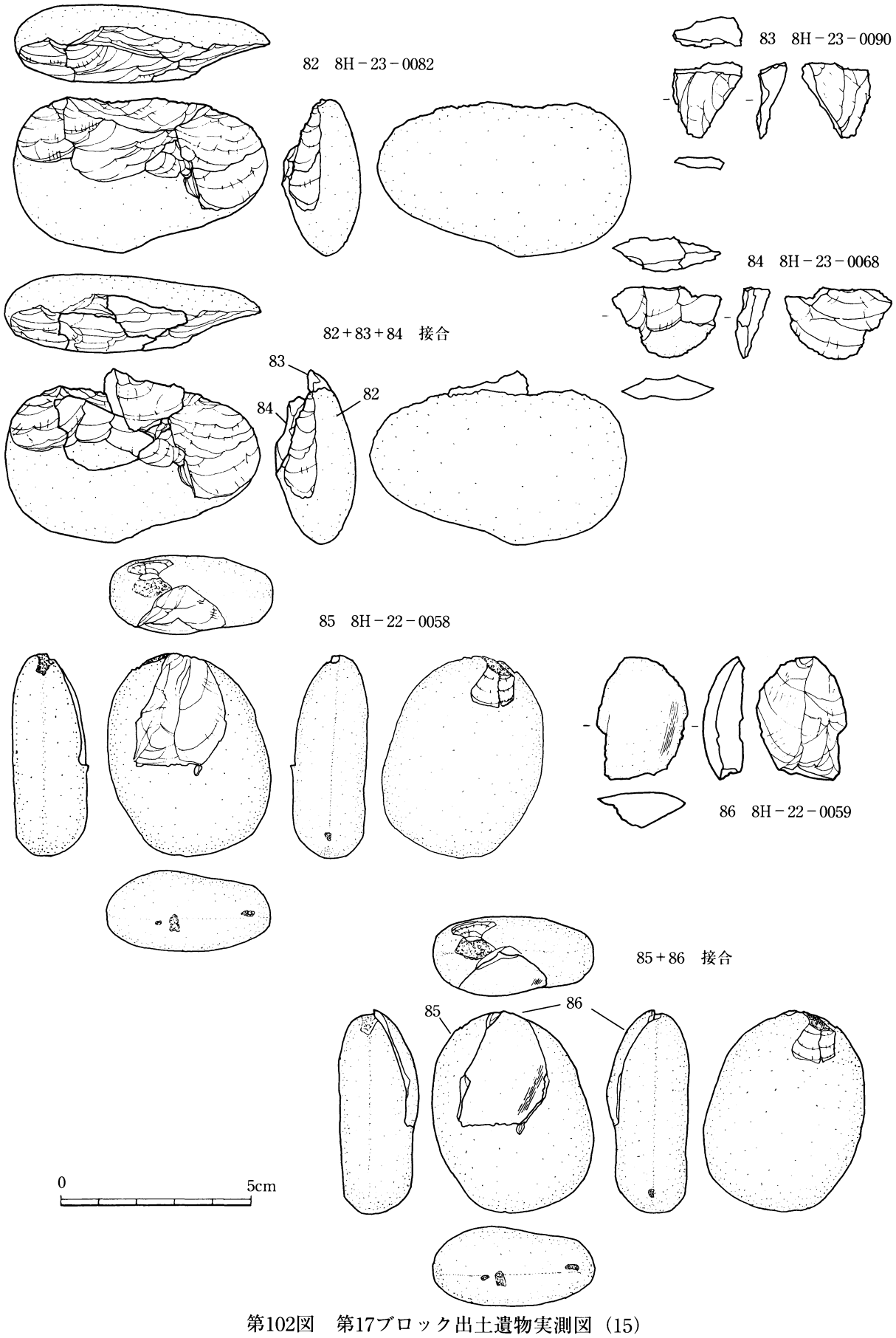
第99図　第17ブロック出土遺物実測図（12）



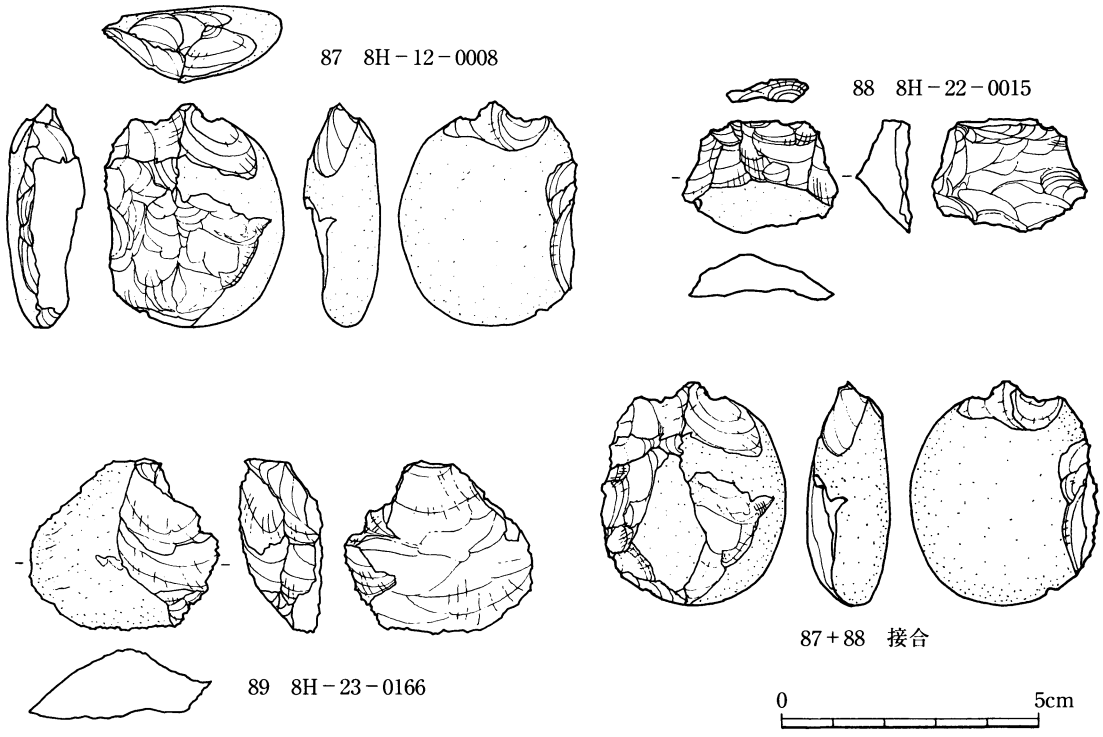
第100図　第17ブロック出土遺物実測図（13）



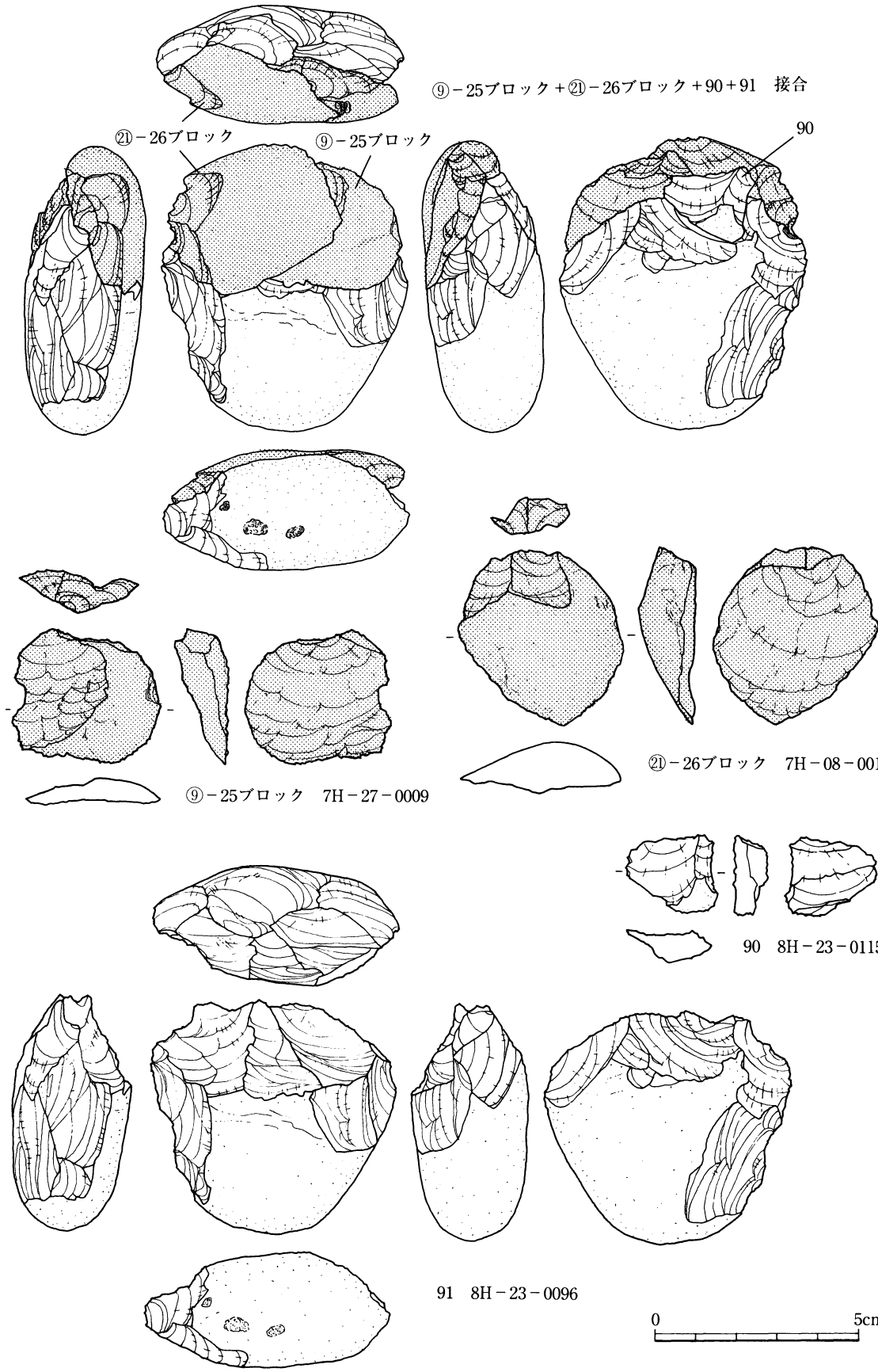
第101図　第17ブロック出土遺物実測図（14）



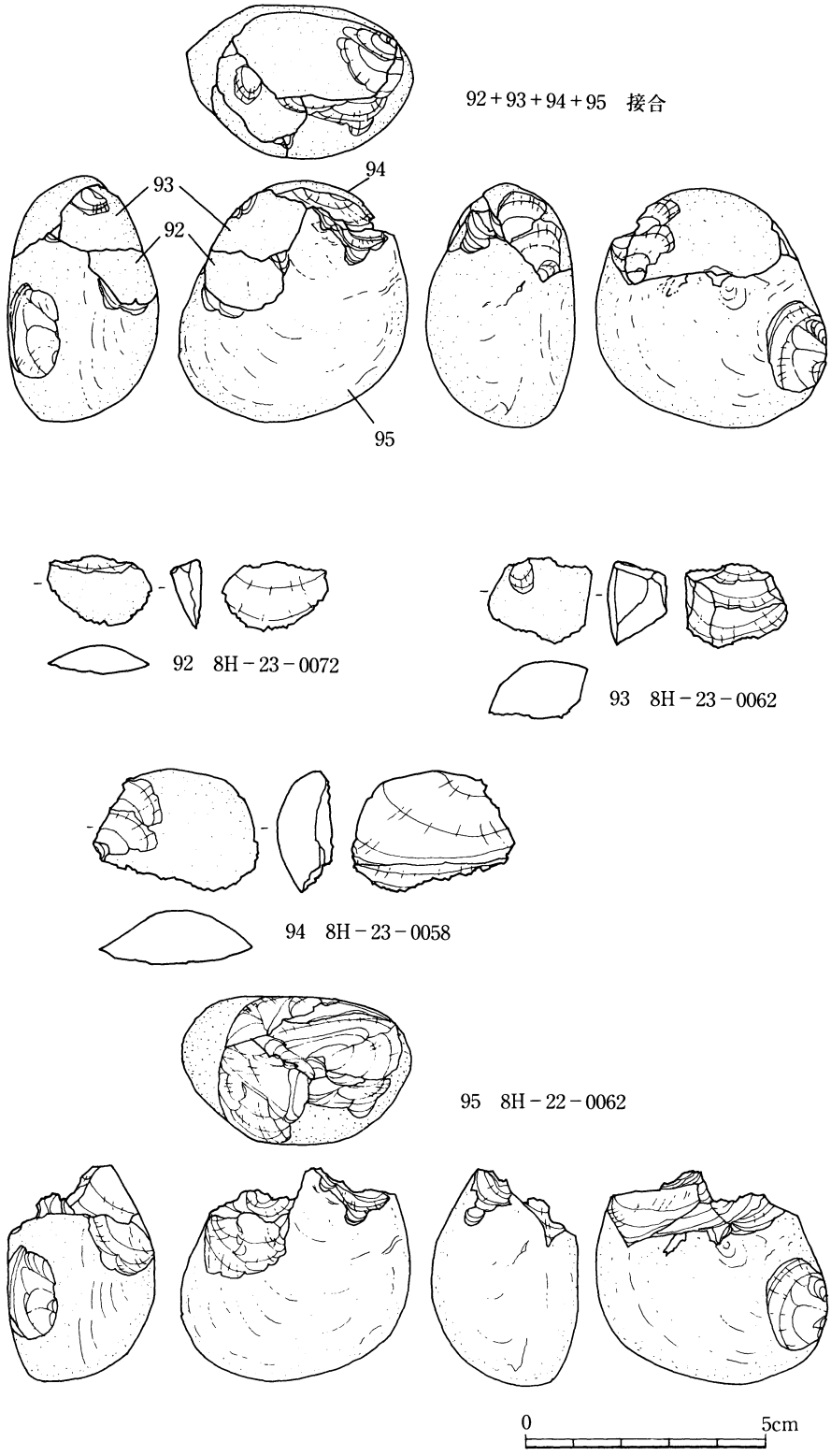
第102図　第17ブロック出土遺物実測図（15）



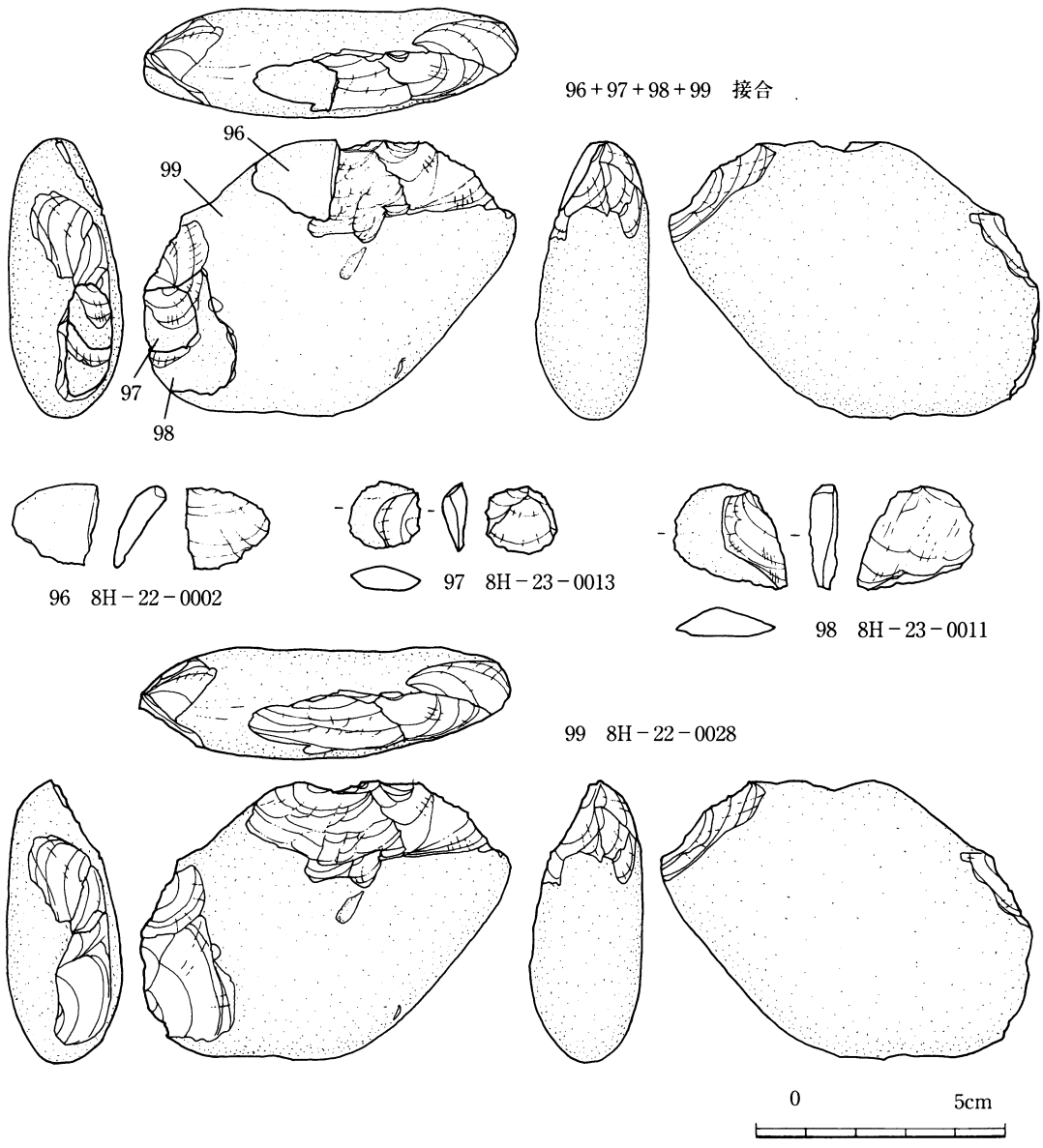
第103図　第17ブロック出土遺物実測図（16）



第104図　第17ブロック出土遺物実測図（17）



第105図　第17ブロック出土遺物実測図（18）



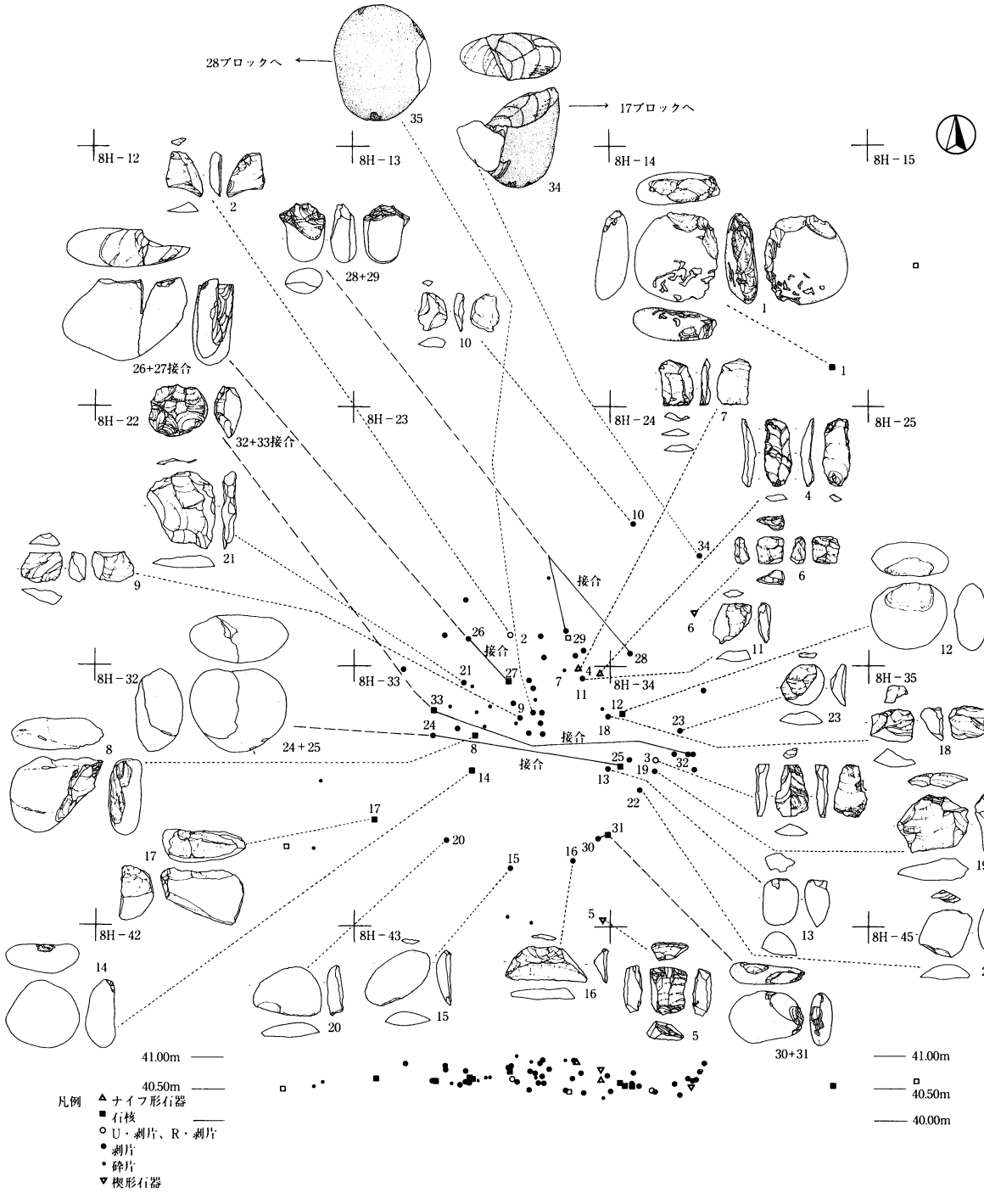
第106図　第17ブロック出土遺物実測図（19）

第18ブロック　（第107～113図１～35、写真図版20～22、第18、56表）

分　布　　石器は、８Ｈ－33グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、中央部分に密度の濃い場所が認められる。周辺にばらついて数点見られるが全体では、径約５ｍの範囲に分布している。

石　材　　チャート18点、ホルンフェルス４点、安山岩34点、砂岩16点、凝灰岩１点、珪質頁岩２点、メノウ１点で構成される。安山岩が半数近くを占めるのが特徴である。

器　種　　楔形石器２点、ナイフ形石器１点、台形石器１点、Ｒ・剥片１点、Ｕ・剥片１点、石核９点、剥片52点、砕片５点、礫４点の合計76点で構成される。比較的石核の点数は多い上、剥片の多さからこの場で石器の素材のとなる剥片剥離作業を重点的に行ったことが考えられる。



第107図　第18ブロック出土状況図（scale　1／100）

ナイフ形石器（第108図４）チャートのナイフ形石器である。縦長剥片の片側の縁辺部分に刃つぶし加工を施してある。基部については加工されていない。先端部分は礫面が一部残る。

台形石器（第108図７）珪質頁岩の台形石器である。基部の側縁部を中心に加工されている。先端部片側にも若干調整が見られる。

楔形石器（第108図５、６）５は安山岩Ａの楔形石器である。打面と先端部分に打撃痕が見られる。６は安山岩Ａの楔形石器である。打面と先端部分に打撃痕が見られる。先端部分に礫面が一部残る。

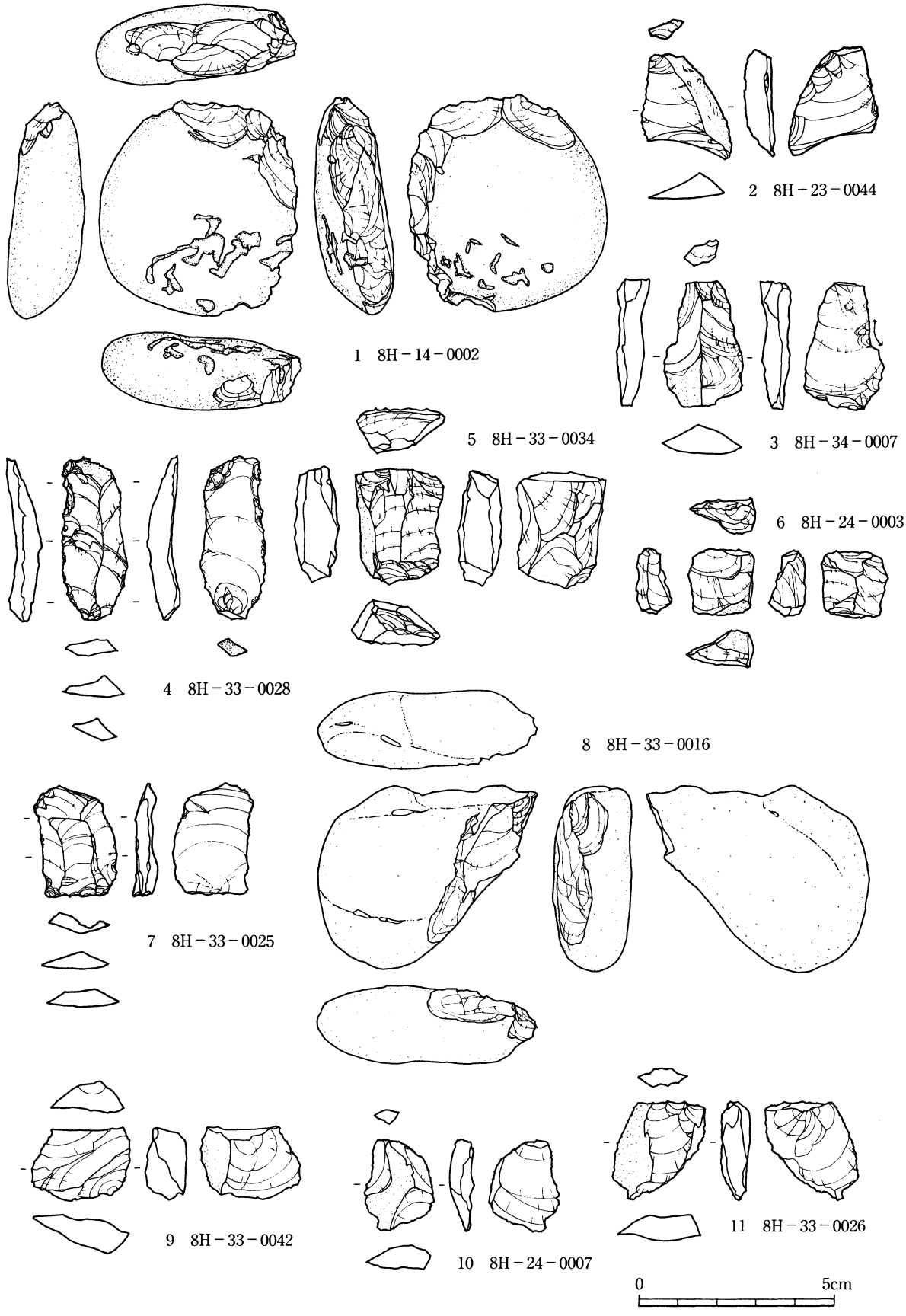
Ｒ・剥片（第108図３）メノウのＲ・剥片である。縦長剥片の片側縁辺部分と先端部分に比較的大きな調整が加えられている。

Ｕ・剥片（第108図２）チャートのＵ・剥片である。両側縁部には細かな刃こぼれが多く見られる。

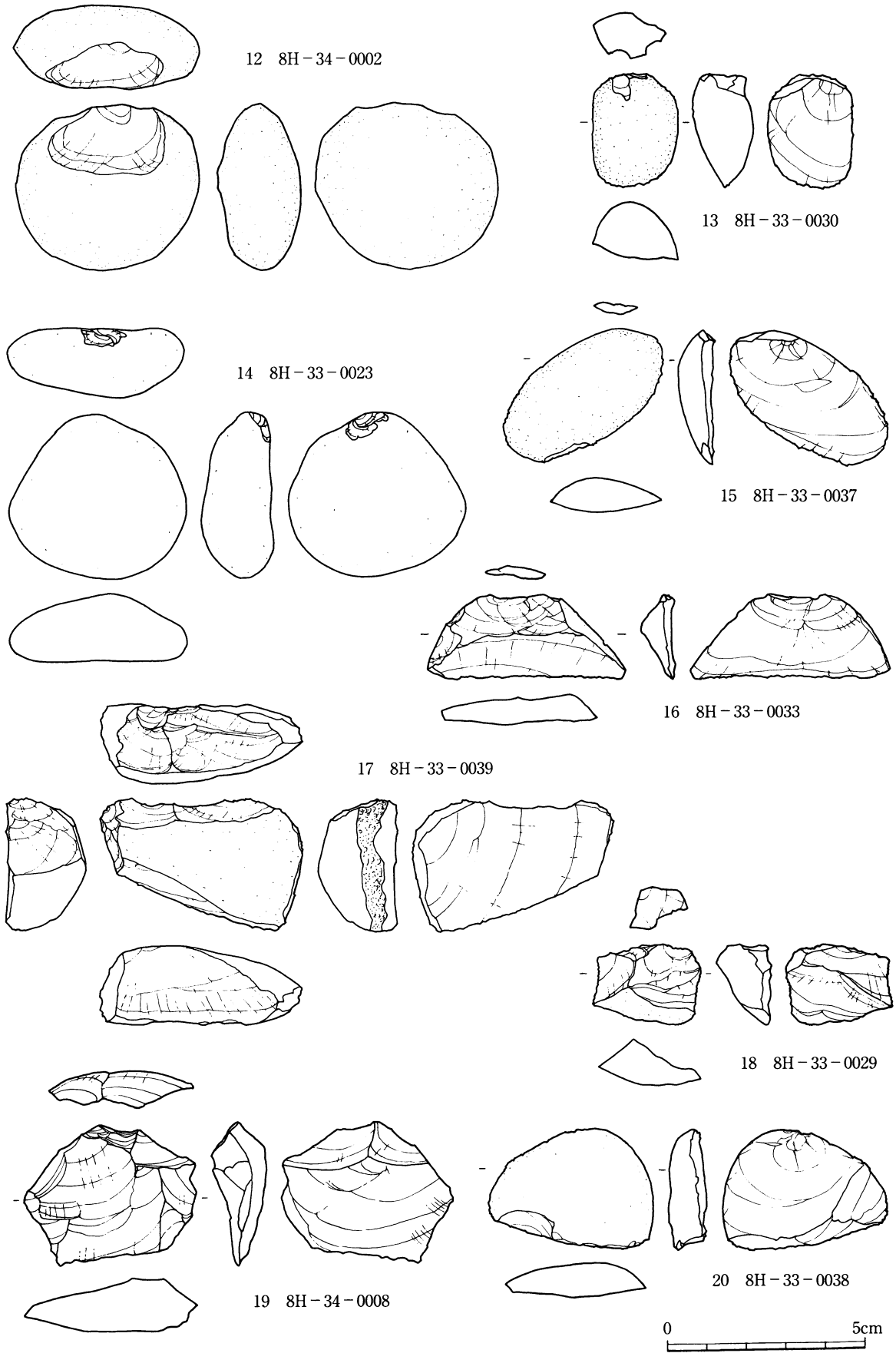
石核（第108、109図１、８、12、14、17）１は安山岩の石核である。周辺部分を約半周近く剥離している。打面調整は特にいていない模様である。８はチャートの石核である。礫の片側から数回剥離して廃棄したものと考えられる。12は安山岩の石核である。打撃によって剥片を１枚（１面の剥離面）剥いだのみで廃棄している。14はチャートの原石である。頭の部分に打撃痕が見られるので石核として使用しようとしていたと思われる。17は砂岩の石核である。大形の剥片の側縁部に小剥片を剥いだ剥離面が複数見られる。また右側縁部には敲石に転用した可能性もある打撃痕が見られる。

剥片（第108～110図９～11、13、15、16、18～22）９は安山岩Ａの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離と右方向の剥離２面を残す。主剥離面に近い方に礫面を残す。10は安山岩Ａの剥片である。背面には複数の多方位の剥離が見られる。礫面も大きく残すところから比較的小さな礫を使って剥がされたものと思われる。11は安山岩Ａの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離が複数および礫面によって構成される。13は安山岩Ａの剥片である。背面は礫面で覆われているため礫から最初の段階で剥がされた剥片である可能性が高い。15は安山岩Ａの剥片である。背面は礫面で覆われているため13と同様に最初の段階で剥がされた剥片と思われる。16は安山岩Ａの剥片である。背面には上下両方向からの剥離面が見られる。横長の剥片である。18は砂岩の剥片である。背面は、主剥離面と同方向の剥離面と左斜め方向からの２面と先端部側が礫面で構成されている。19はホルンフェルスの剥片である。周辺部からの剥離面の一部を背面に残している。20はチャートの剥片である。先端部には細かな刃こぼれのようなものが多く見られる。21はホルンフェルスの剥片である。周辺部分からの剥離の一部を背面の残している大形の剥片である。22は安山岩Ａの剥片である。背面は礫面で覆われる。23は安山岩Ａの剥片である。背面は右半分礫面で覆われているため小さな礫から剥がされたと思われる。

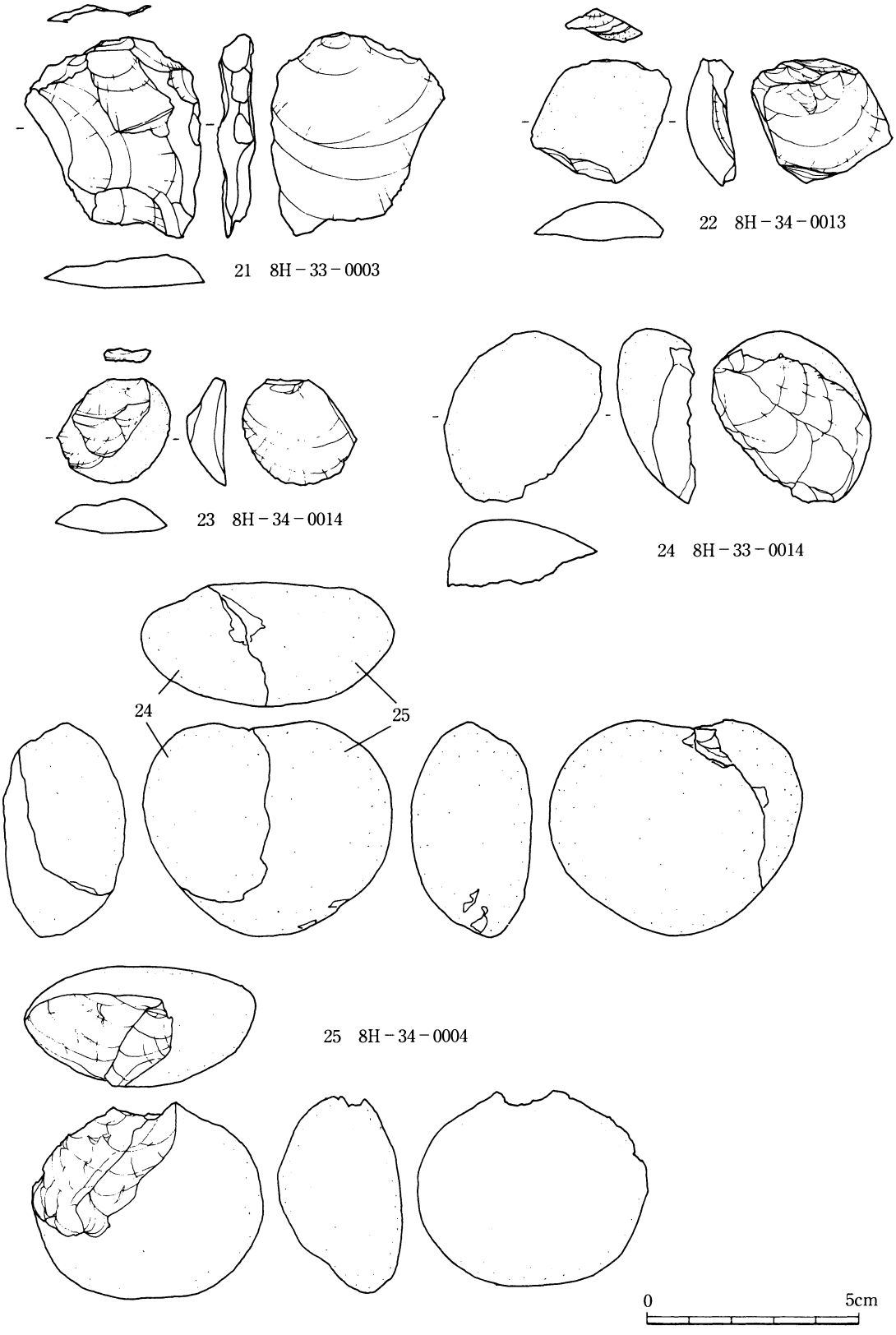
接合資料（第110～113図24～25、26～27、28～29、30～31、32～33、34、35）24～25はチャートの接合資料である。24は剥片、25は石核である。接合した状態で見ると、荒割された段階で廃棄されたものと思われる。26～27は砂岩の接合資料である。26は剥片、27は石核である。接合した状態で観察する限り任意に荒割したように思われる。28～29はチャートの接合資料である。29は当初剥片として認識していたが、28と接合する状態から見る限り石核とする方が妥当であろう。いづれにしろ小さな礫を使用していたことがわかる。30～31は安山岩Ａの接合資料である。30は剥片、31は石核である。小円礫を使用した剥片剥離の初期段階で廃棄されたものと思われる。32～33はチャートの接合資料である。32は小剥片、33は石核である。小円礫ではあるが、周辺から剥離していく工程をよく理解できる資料と思われる。34は64－17ブロックと接合するチャートの礫片である。35は40－28ブロックと接合する剥片である。



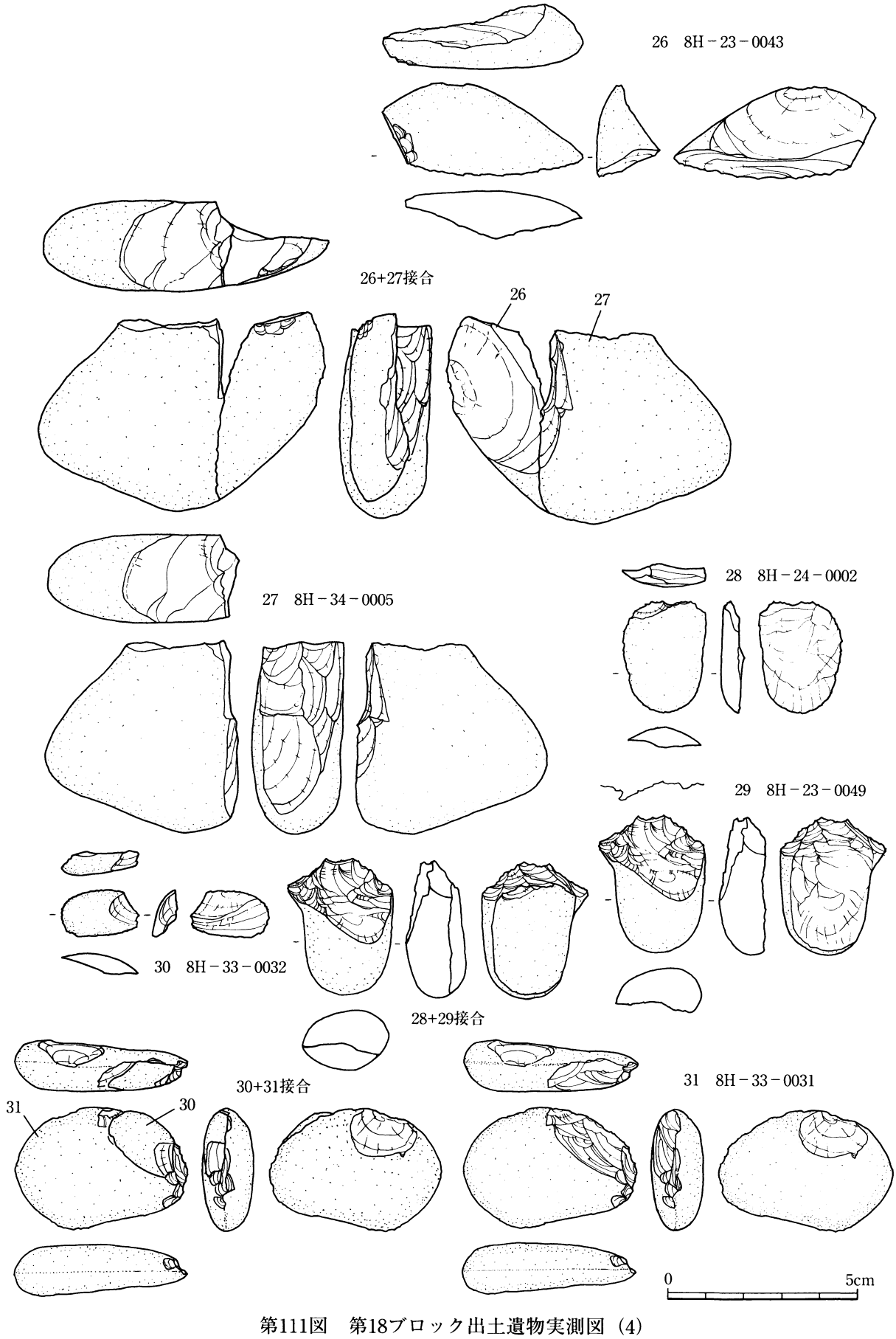
第108図　第18ブロック出土遺物実測図（1）



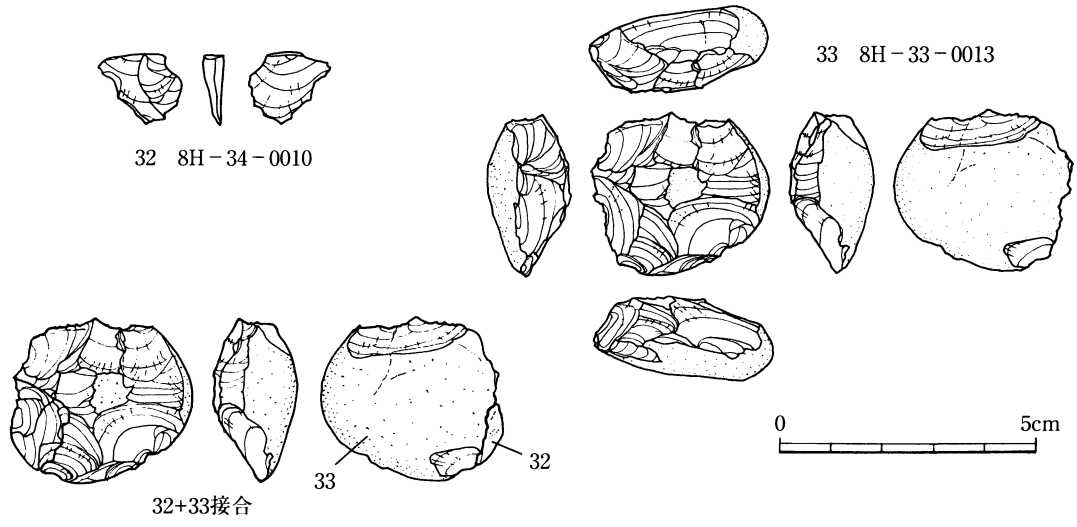
第109図　第18ブロック出土遺物実測図（2）



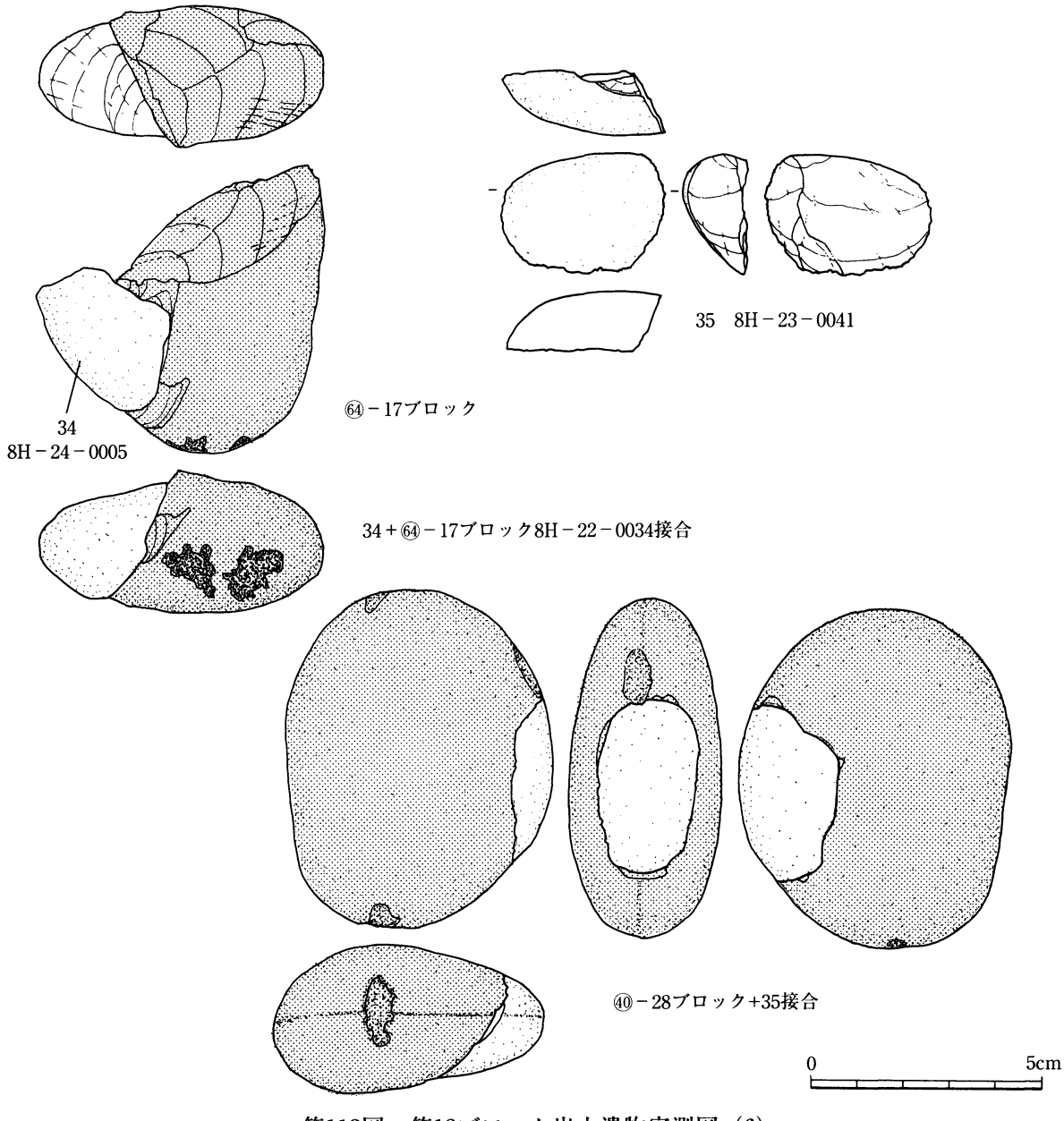
第110図　第18ブロック出土遺物実測図（3）



第111図　第18ブロック出土遺物実測図（4）



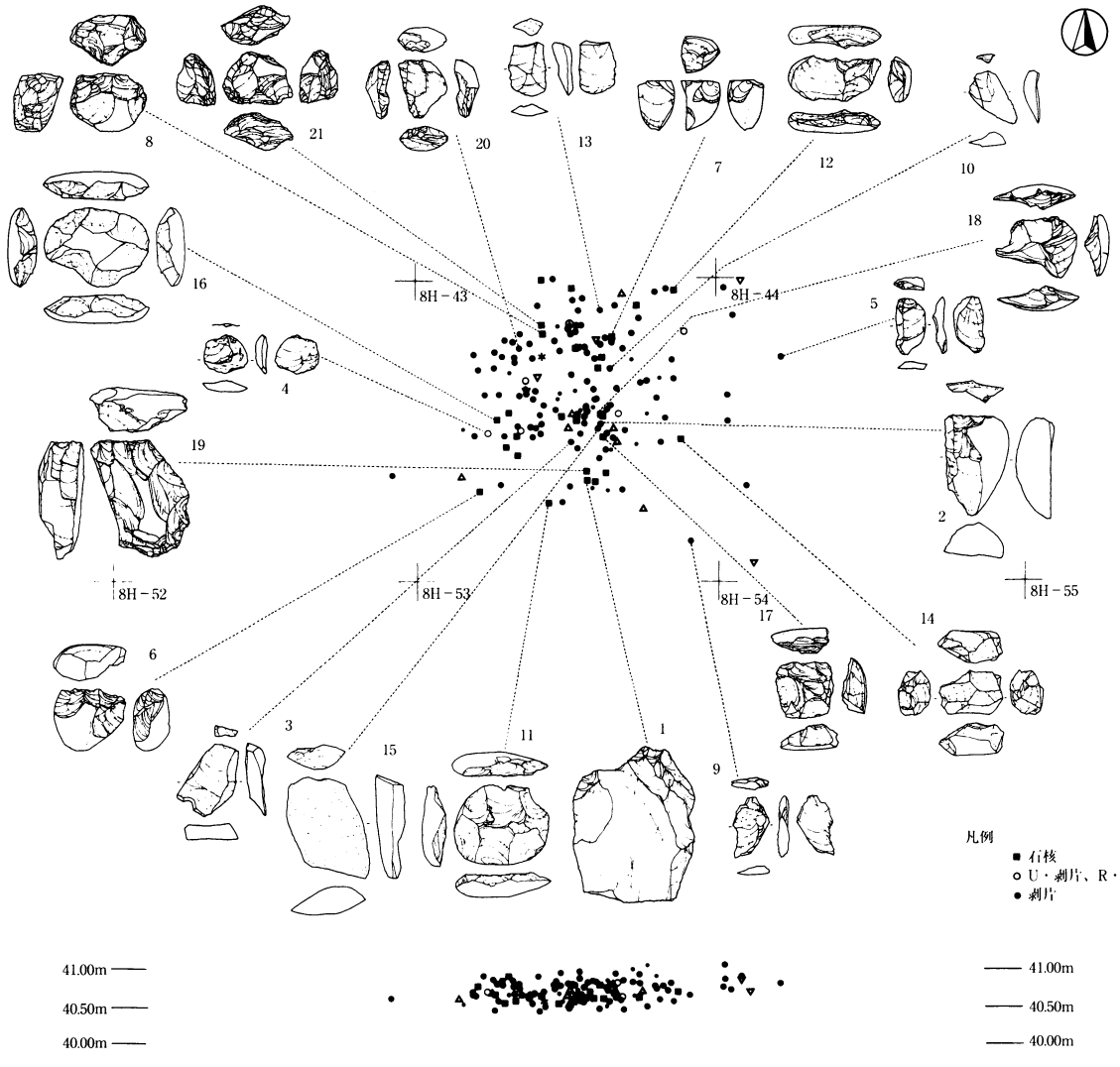
第112図　第18ブロック出土遺物実測図（5）



第113図　第18ブロック出土遺物実測図（6）

第19ブロック　（第114～133図１～95、写真図版22～25、第19、57表）

分　布　　石器は、８Ｈ－43グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、中央部分に非常に密度の濃い場所が認められる。東側にややばらついて数点見られるが全体では、径約５mの範囲に分布している。



第114図　第19ブロック出土状況図（1）（scale　1／100）

石　材　　チャート38点、ホルンフェルス31点、安山岩33点、砂岩20点、流紋岩２点、凝灰岩12点、珪質頁岩17点、メノウ４点、泥岩１点、頁岩１点、石英３点で構成される。点数的には特に突出した石材はなく、チャートとホルンフェルスと安山岩が多数を占める。

器　種　　石斧１点、楔形石器５点、ナイフ形石器３点、台形石器２点、Ｒ・剥片４点、Ｕ・剥片２点、石核29点、剥片96点、砕片19点、敲石１点の合計162点で構成される。点数が多く、製品も比較的多いのが特徴である。また石核の点数は多い上、剥片の多さからこの場で石器の素材のとなる剥片剥離作業を重点的に行ったことが考えられる。

石斧（第130図67）砂岩の石斧とした資料である。周辺部分の調整をみる限り、小形の石斧のできそこないのようにも考えられる。礫面が残る表面、裏面とも磨き痕が見られその可能性は高い。ただし接合資

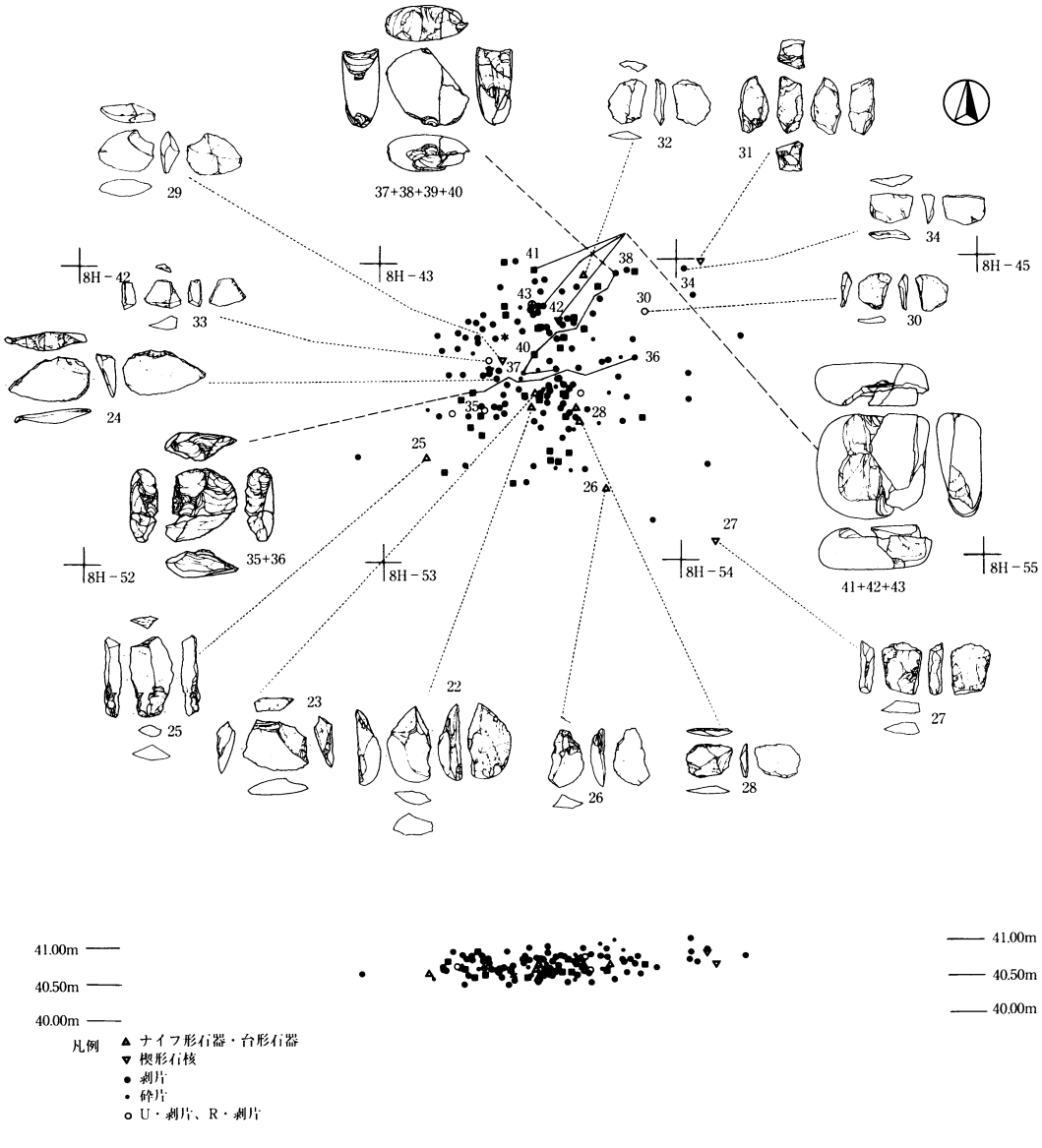
料としてみた場合、石核として考えてもよいと思われる。

ナイフ形石器（第122図22、25、26）22はホルンフェルスの横剥ぎの剥片を利用して基部調整してナイフ形石器にしている。25は流紋岩の縦長剥片を素材として基部調整を主体に加工しているナイフ形石器である。先端部分は折れたか、あらかじめ折り取ったかしている。26は流紋岩の剥片を基部調整してナイフ形石器にしている。

台形石器（第122図23、28）23はホルンフェルスの台形石器である。横剥ぎの剥片の右側縁部分の細かな調整が施されている。28は安山岩Ａの台形石器である。剥片の両側縁部分に調整が施されている。

楔形石器（第122図27、31）27は安山岩Ａの楔形石器である。小剥片を用いている。31は泥岩の楔形石器である。石核を再利用したと思われる。

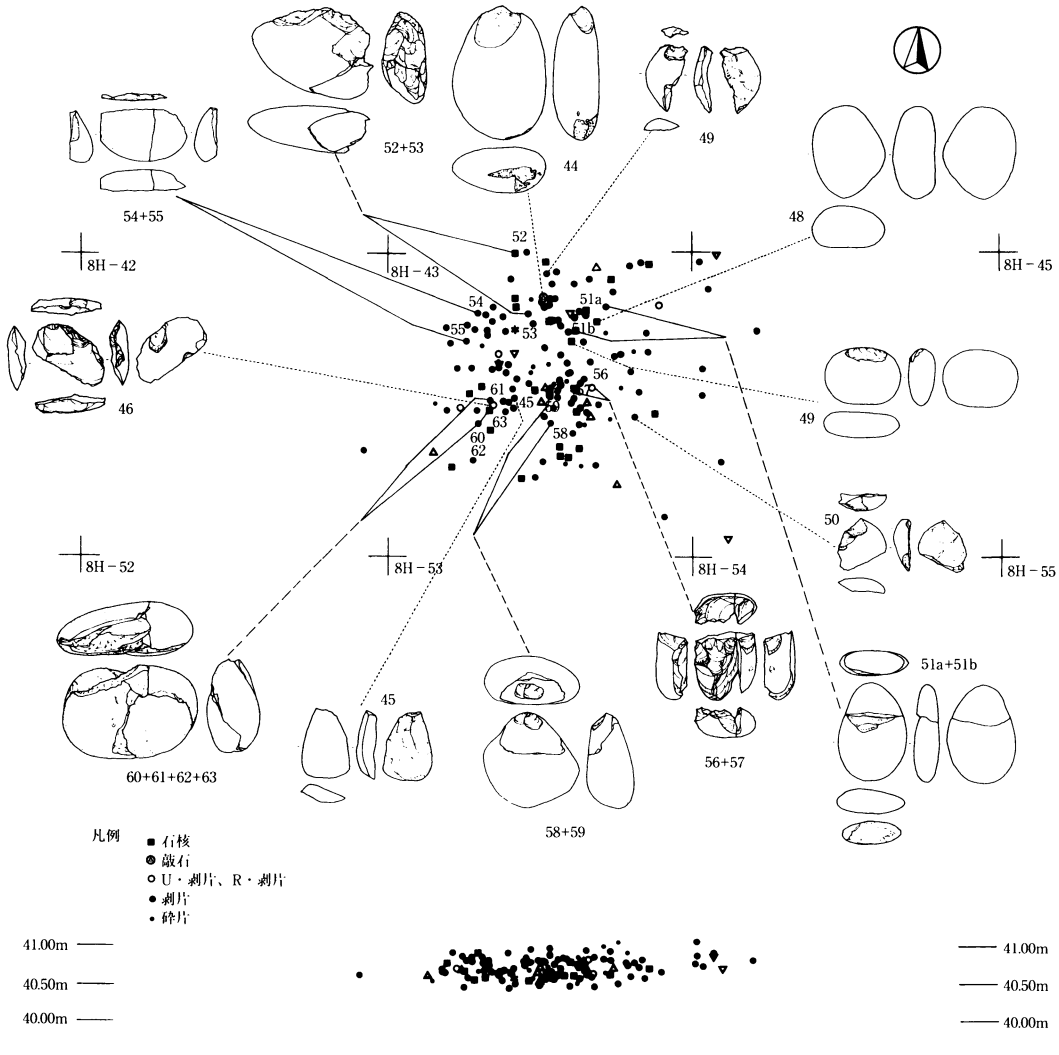
Ｒ・剥片（第119、125図４、46）４はチャートのＲ・剥片である。先端部に調整と思われる剥離が見られる。46はチャートのＲ・剥片である。打面部から右側縁部にかけて比較的丁寧な調整が施されている。また先端部分には細かな刃こぼれも見られる。



第115図　第19ブロック出土状況図（2）（scale　1／100）

U・剥片（第122図32、33）32は珪質頁岩のU・剥片である。右側縁部に細かな刃こぼれが見られる。33は珪質頁岩のU・剥片である。左側縁部に細かな刃こぼれが見られる。

石核（第119～121、125図１、６～８、11、12、14、16～19、21、47、48）１はホルンフェルスの石核である。大形の剥片の主剥離面にむかって任意に剥離して比較的大きめの剥片を剥いでいる。打面調整は意識的に行われているふしはうかがわれない。背面はほぼ礫面で覆われている。６はチャートの石核である。小さな礫の周辺を一部剥ぎ取った後、その面を打面として小さな剥片を数回剥ぎ取っている。７は珪質頁岩の石核である。打面調整した際に分割され廃棄された可能性が高い。８は安山岩Aの石核である。円礫を使って、多方位から任意に小剥片を剥ぎ取った石核で一部に礫面を残す。11は安山岩Aの石核である。周辺部から剥片を剥いでいった様子がよくわかる資料である。12は安山岩Aの石核である。上下の剥離面を打面として剥片剥離を行ったものと思われる。14は安山岩Bの石核である。左右からの剥離が主体を占めている。16は石英の石核である。楕円礫を使用して周辺部分から剥離されている。背面の中央部の一部と裏面全体が礫面で覆われている。17はチャートの石核である。礫の周辺部分から剥離を進め、さらに剥離面を打面として垂直方向へ剥離して形が正方形に近い状態になったと思われる。18は珪質頁岩の石核である。礫の周辺部の片側から剥離作業を進めたものと思われる。19は凝灰岩の石核である。礫面に磨

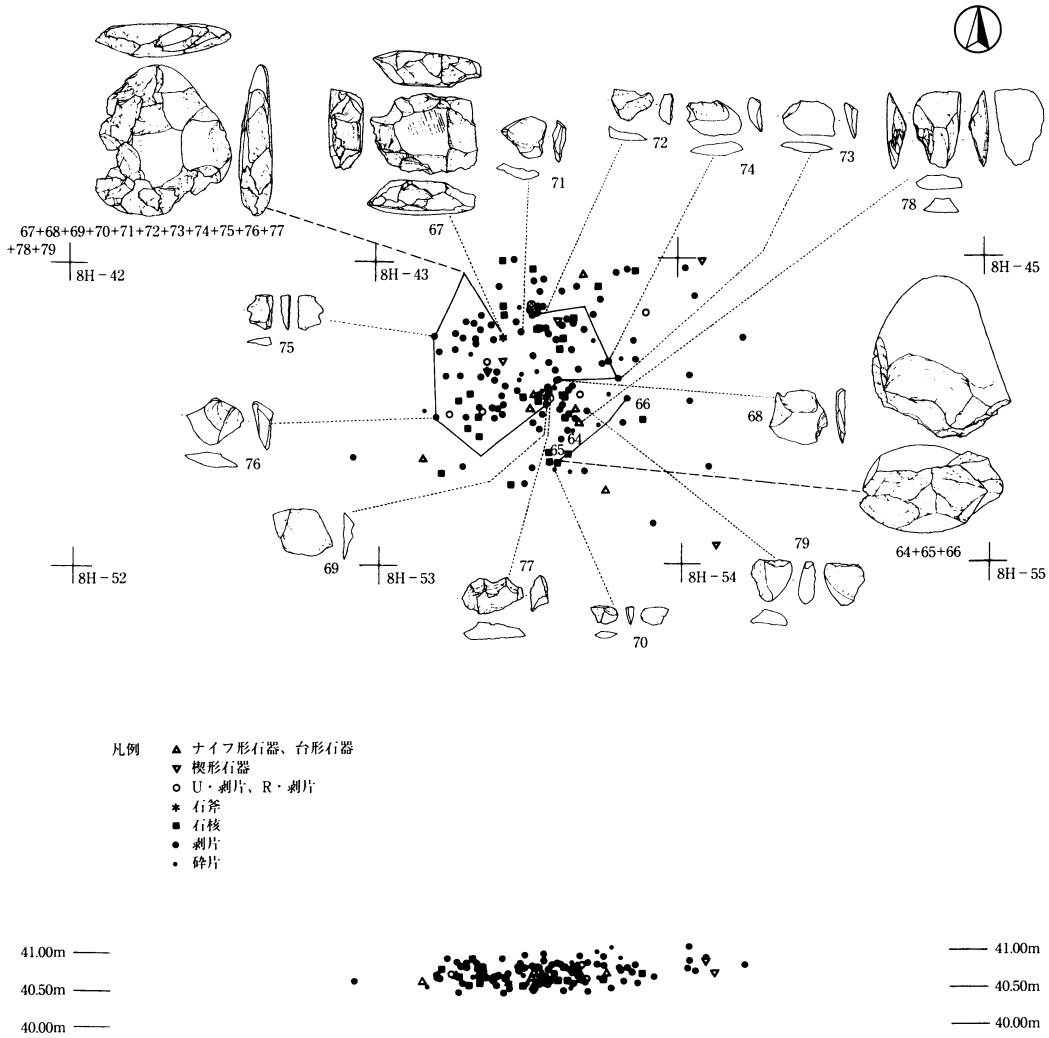


第116図　第19ブロック出土状況図（3）（scale　1／100）

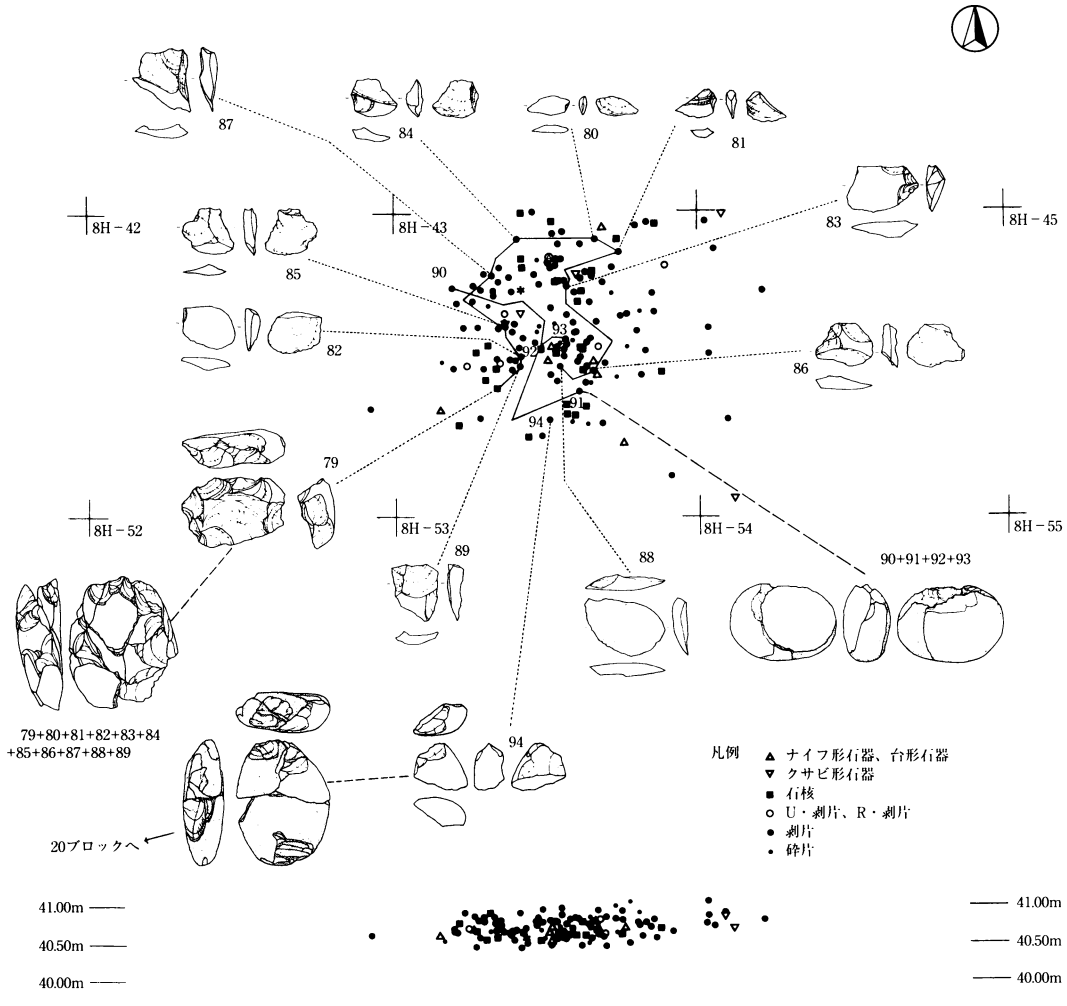
痕が見られること、あるいは縁辺部の一部が細かい調整を施しているように見えることから石斧の転用された石核である可能性が高い。21は安山岩Aの剥片である。礫を素材として多方位から任意に小剥片を剥ぎ取っている。47はチャートの石核（原石＝礫）である。小楕円礫の一部を打ち欠いただけで廃棄されている。48はチャートの石核（原石＝礫）である。この場に持ち込まれた石核素材である。

敲石（第125図44）44は砂岩の敲石である。先端部分の縁辺を中心に打撃痕が見られる。

剥片（第119～122、125図２、３、５、９、10、13、15、20、29、34、45、49、50）２はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数の剥離と右半分の礫面とで構成されている。３は安山岩Bの剥片である。背面には上下方向の剥離面が見られる。５は安山岩Bの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面２面と礫面が一部見られる。９は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離が見られる。10は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面と礫面で構成される。13は安山岩Bの剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数の剥離面から構成される。15は砂岩の大形剥片である。背面は礫面で覆われている。20はホルンフェルスの剥片である。剥がされた後、幾つか小剥片が剥がされたようでもあり、そういう意味では石核というべき資料かもしれない。29は確認調査時にこの付近で検出された珪質頁岩の剥片である。34は珪質頁岩の剥片である。先端部分に若干調整のようなものが見られるので台形石器としてもよいかもしれない。45はホルンフェルスの剥片である。背面は礫面で覆われて



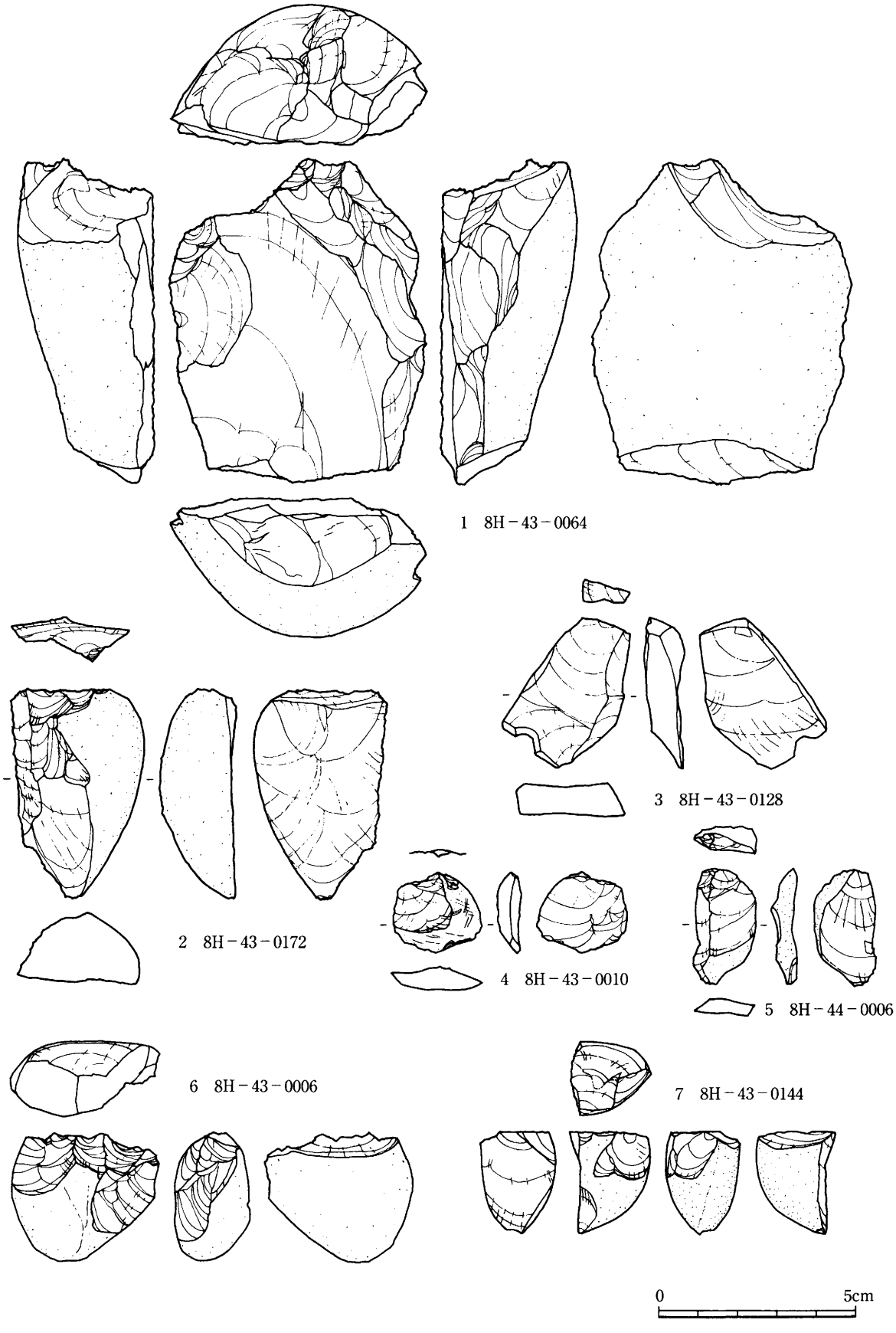
第117図　第19ブロック出土状況図（4）（scale　1／100）



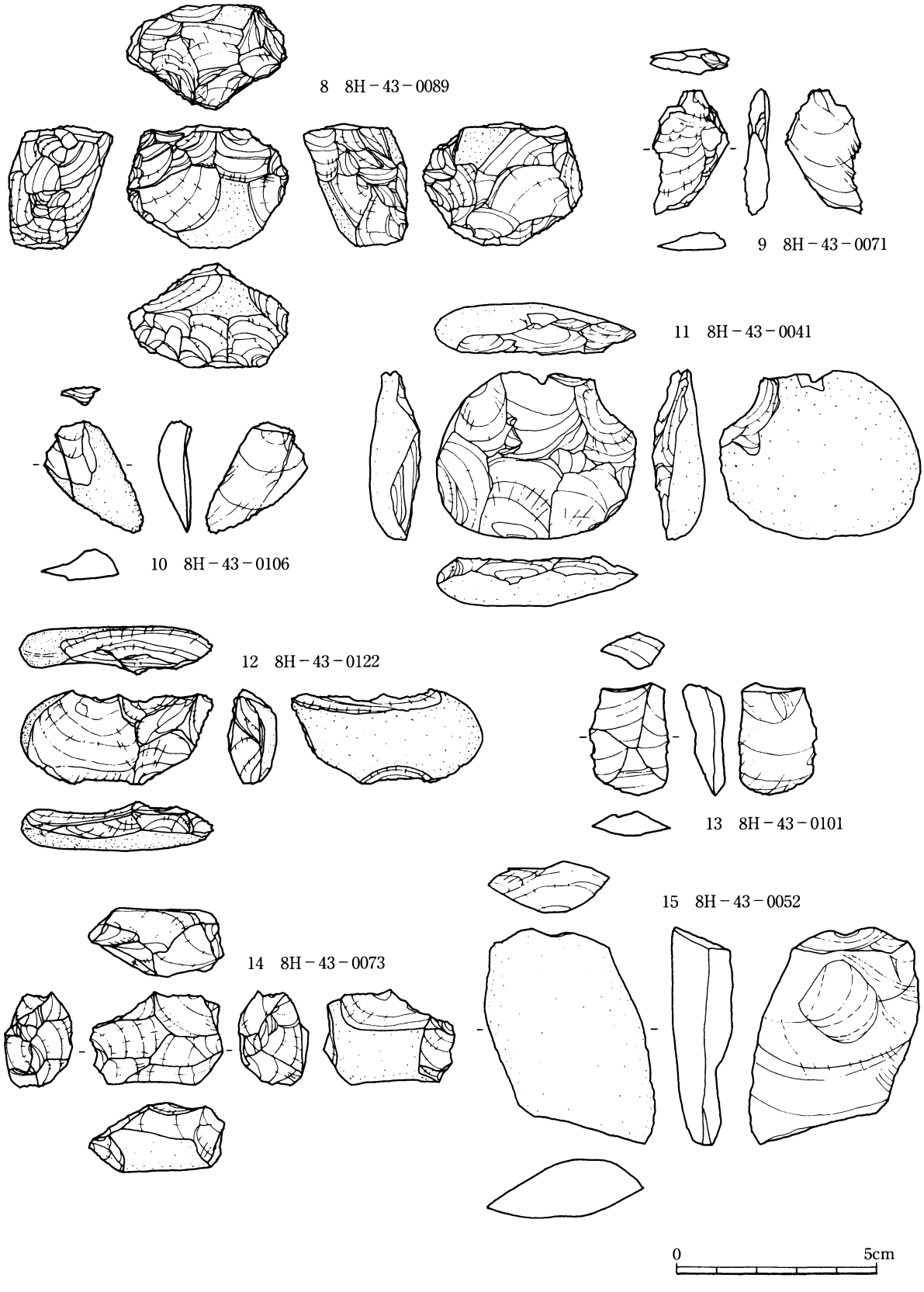
第118図　第19ブロック出土状況図（5）（scale 1／100）

いる。49は珪質頁岩の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。50はチャートの剥片である。背面には若干の剥離面はあるがほぼ礫面で覆われている。

接合資料（第123～133図35～36、37～40、41～43、51、52～53、54～55、56～57、58～59、60～63、64～66、67～79、80～90、91～94、95）35～36はチャートの接合資料である。35は石核、36は剥片である。接合した段階から剥離面を打面にして石核を分割している。37～40は珪質頁岩の接合資料である。40は石核、37～39は剥片、砕片類である。これらは縁辺部を打面として一撃で割れた剥片類である。41～43はチャートの接合資料である。41は石核、42、43は剥片である。楕円礫を荒割した段階で廃棄されたのかもしれない。51は凝灰岩の接合資料である。楕円礫を荒割した段階で廃棄されたものと思われる。52～53は凝灰岩の接合資料である。52は石核、53は剥片である。礫の周辺部より剥離していく工程の途中で廃棄された資料と考えられる。54～55はチャートの剥片同士で接合したものである。状態から判断すると剥離されたときに割れたようにも思われる。56～57は珪質頁岩の接合資料である。56はR・剥片である。右側に調整が見られる。背面はほとんど礫面で覆われている。57は石核である。打割された剥離面を打面にして片方向から複数回剥離されている。58～59はチャートの接合資料である。58は剥片、59は石核である。楕円礫から一枚剥片を剥いだ状態で廃棄されている。60～63はチャートの接合資料である。60～62は剥片、63は石核である。楕円礫を大きく剥離して比較的大きな剥片を得ることで石器の素材をとしているのではないかと思われる。64～66は砂岩の接合資料である。大形の礫を荒割して石核素材として再利用しているの

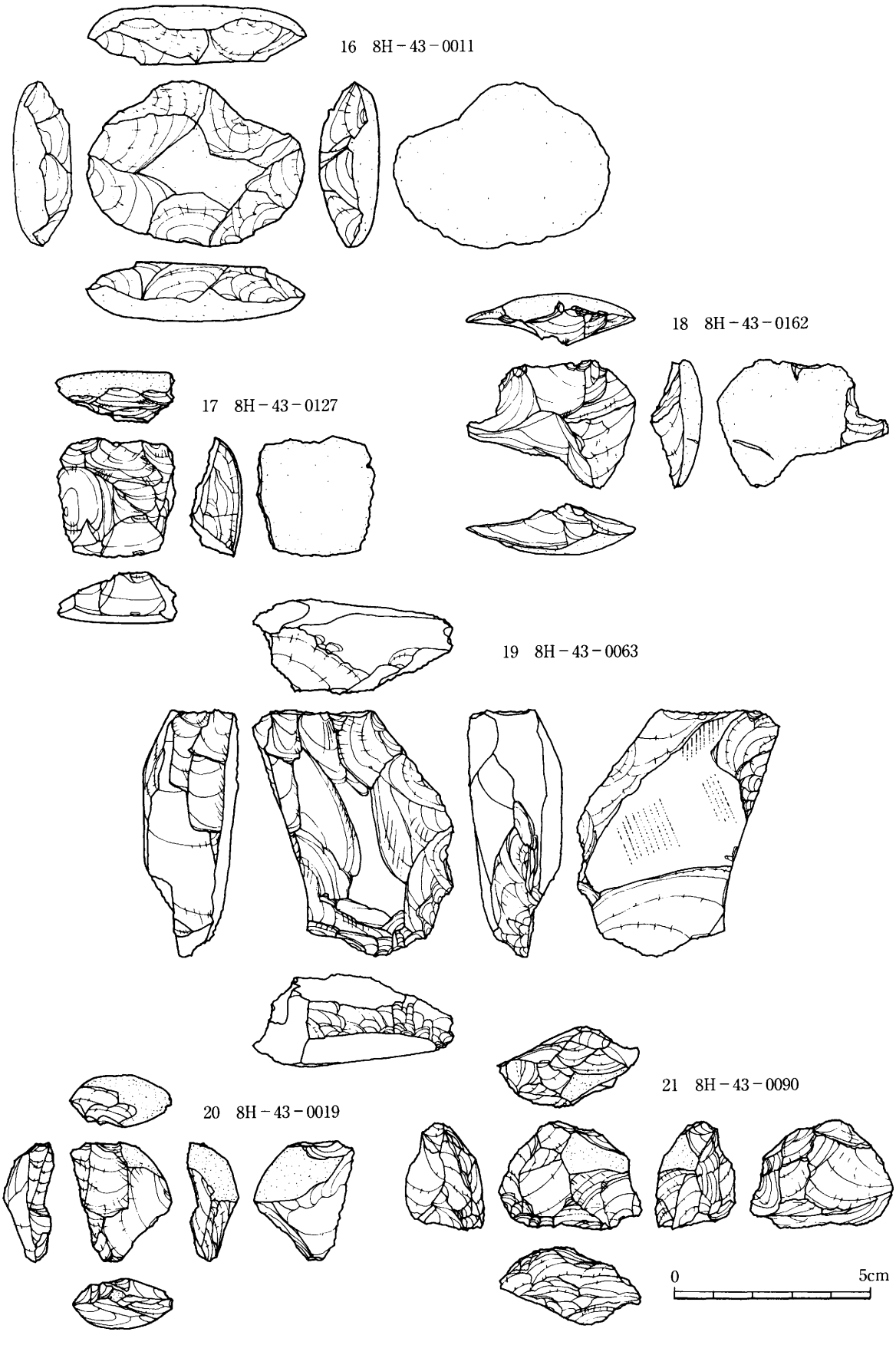


第119図　第19ブロック出土遺物実測図（1）



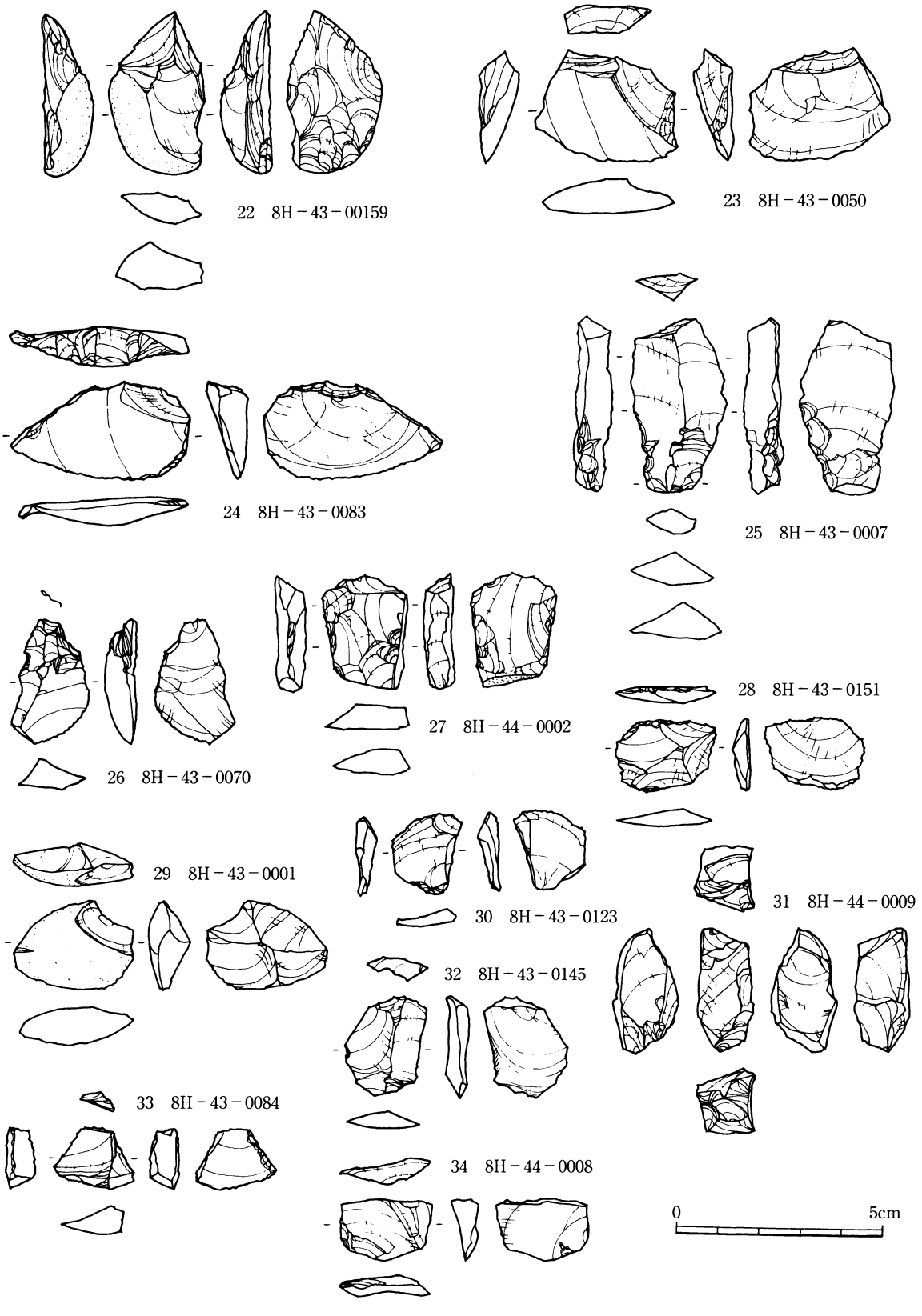
第120図　第19ブロック出土遺物実測図（2）

ではないかと思われる。67～79は砂岩の接合資料である。67は石斧（ここでは石核）である。68～77、79は剥片、砕片類である。78は台形石器である。楕円礫から剥片剥離されていく過程、もしくは石斧を製作



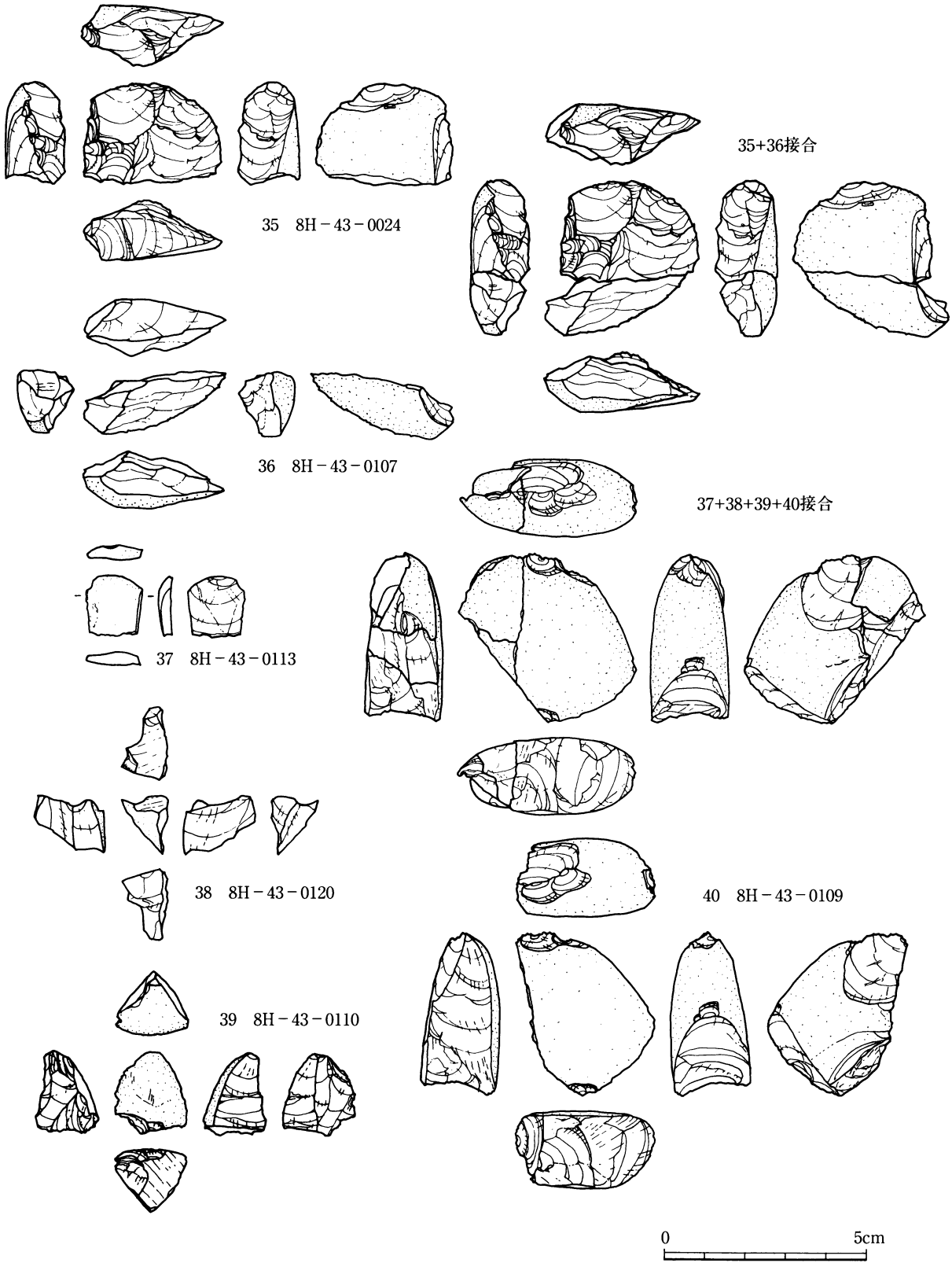
第121図　第19ブロック出土遺物実測図（3）

する工程が把握できる資料として興味深い。80～90はホルンフェルスの接合資料である。80は石核、81～90は剥片、砕片類である。前の資料と同様に礫から小形の石器の素材である小剥片を生産する工程を再現



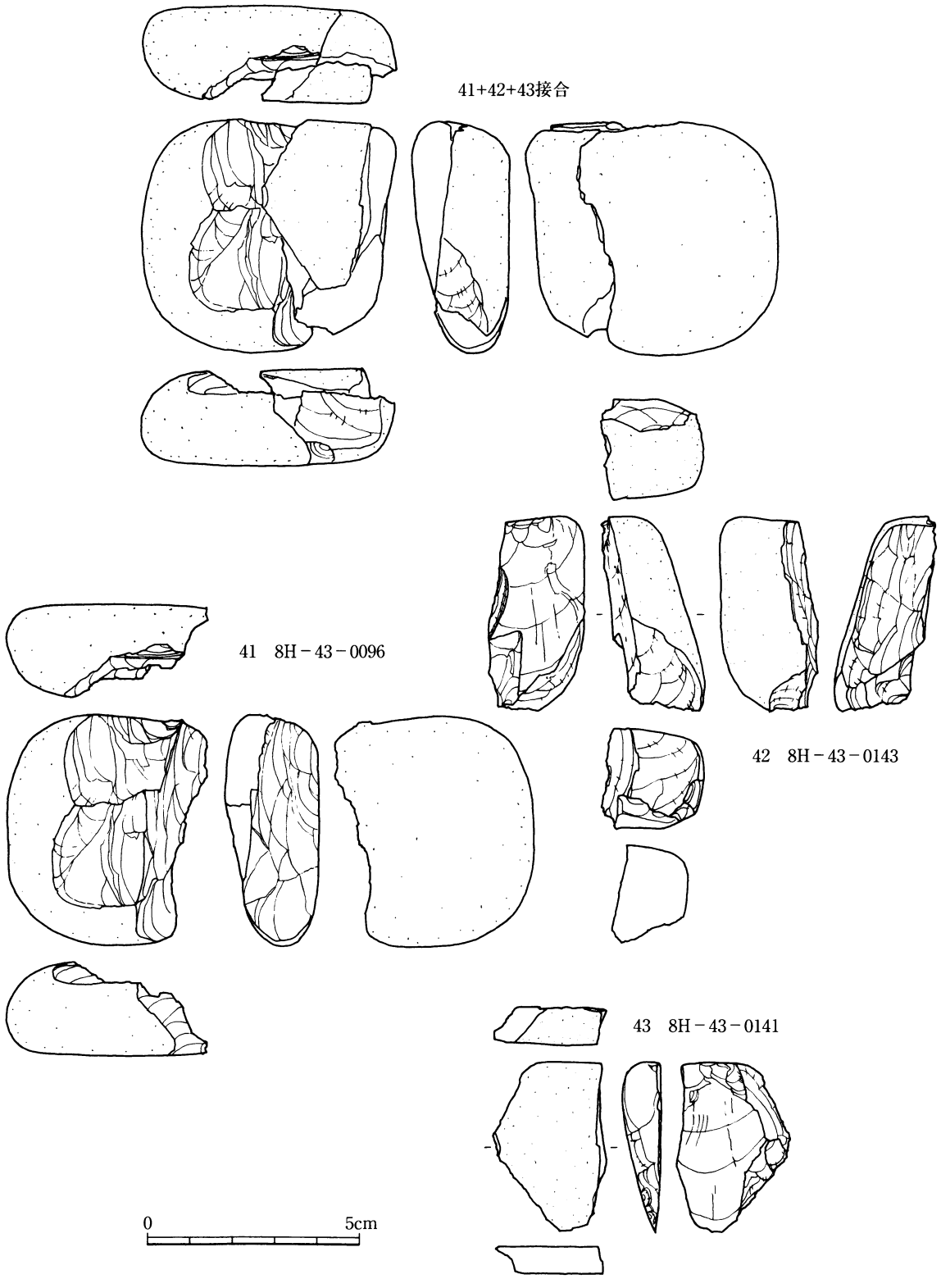
第122図　第19ブロック出土遺物実測図（4）

している資料として興味深い。91～94はチャートの接合資料である。93は石核、91、92、94は剥片である。横に大きく打割するようにして比較的大きな剥片を得ている。同様な例は何例か見られるようである。95はチャートの接合資料で27～29－20ブロックの資料と接合する。この場の持ち出された資料かもしくは廃

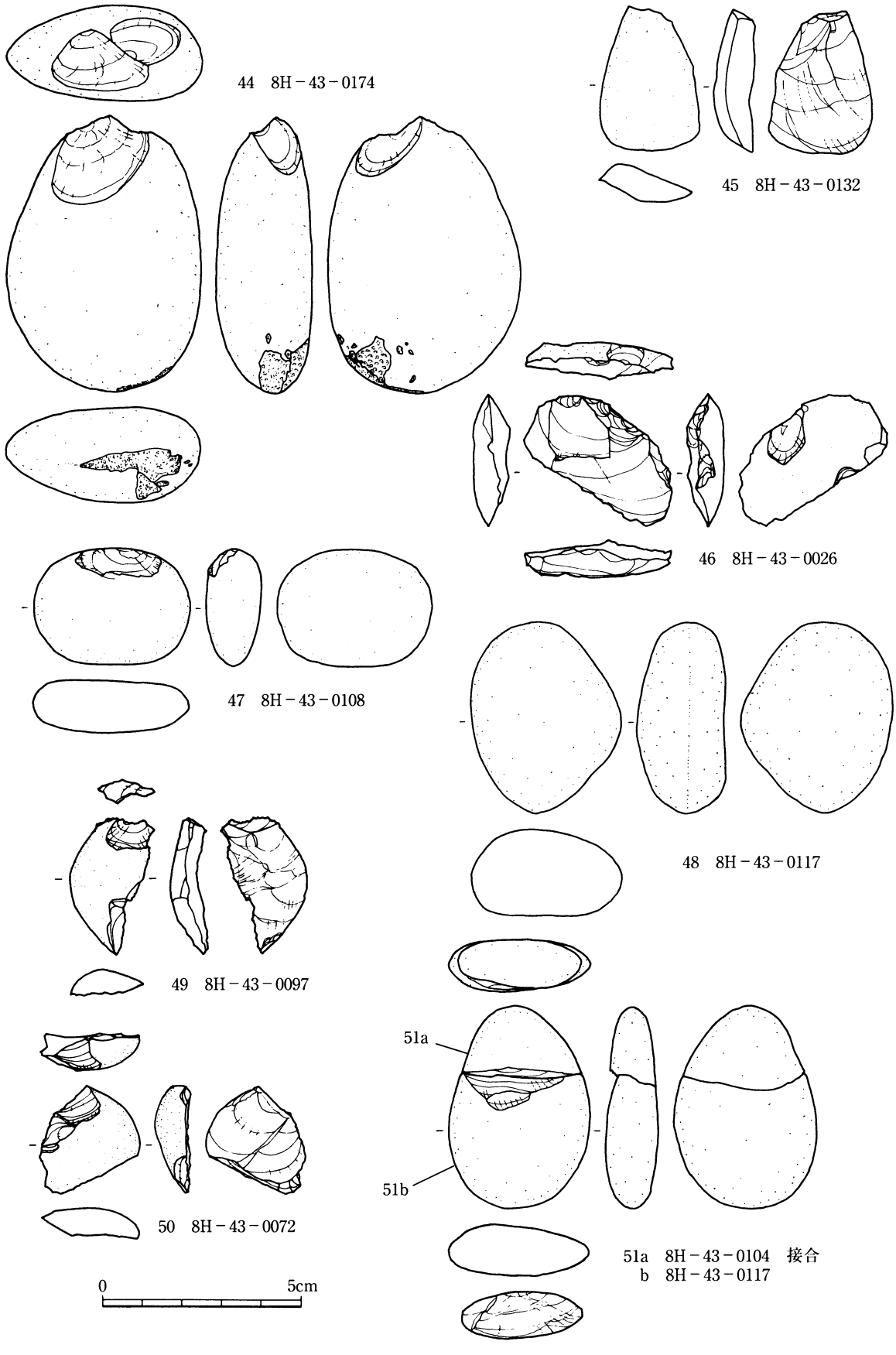


第123図　第19ブロック出土遺物実測図（5）

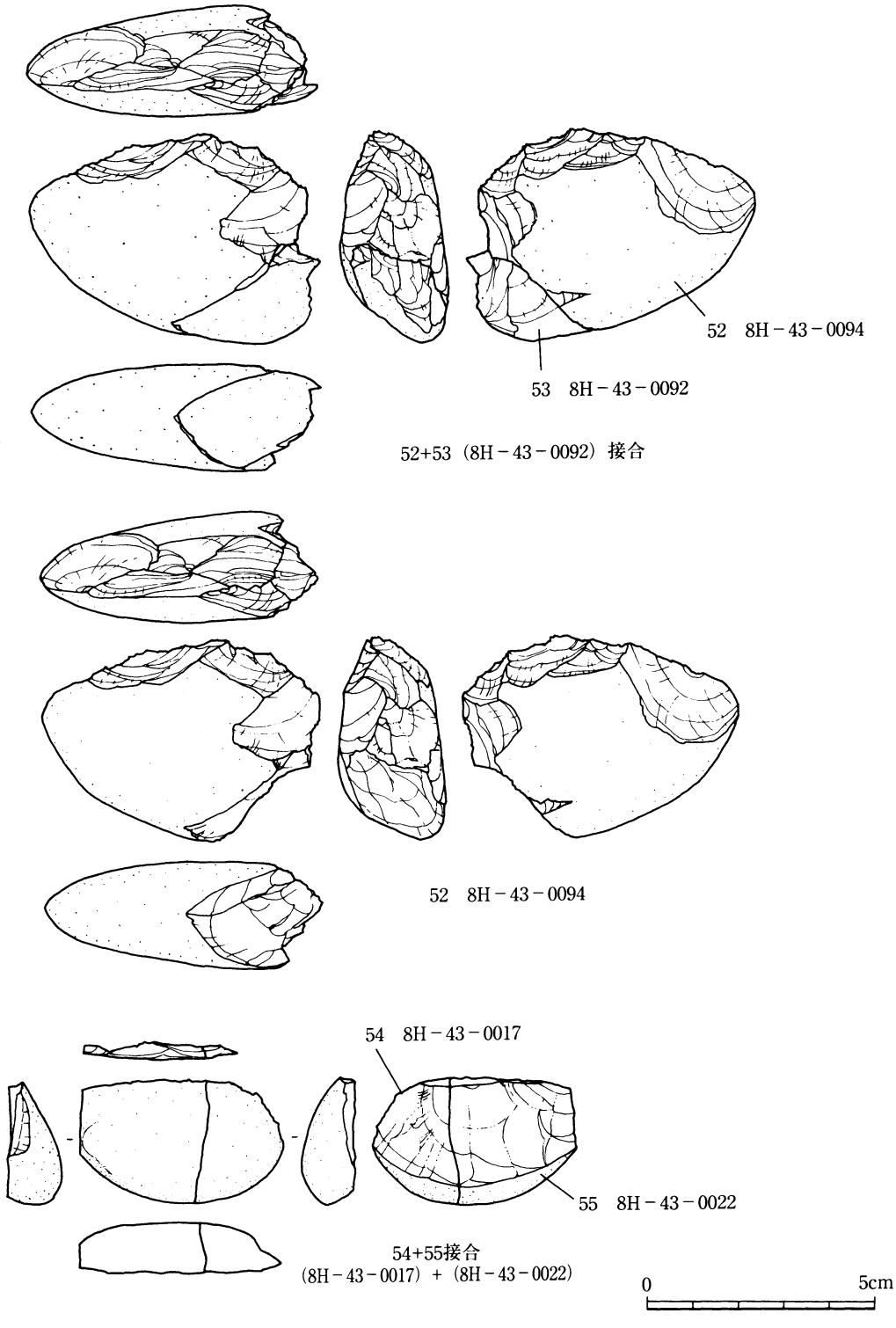
棄されたものかのどちらかである可能性が高い。



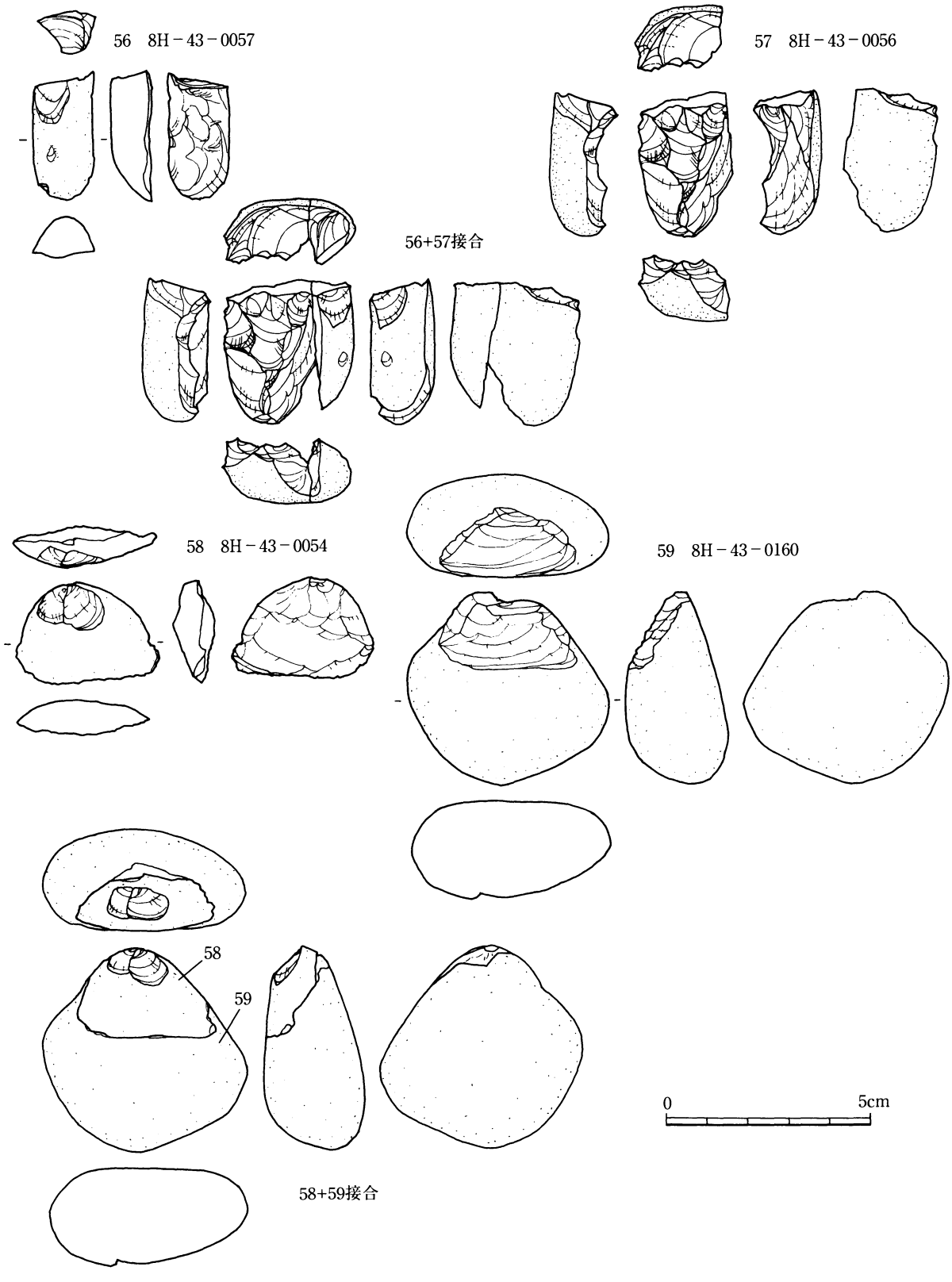
第124図　第19ブロック出土遺物実測図（6）



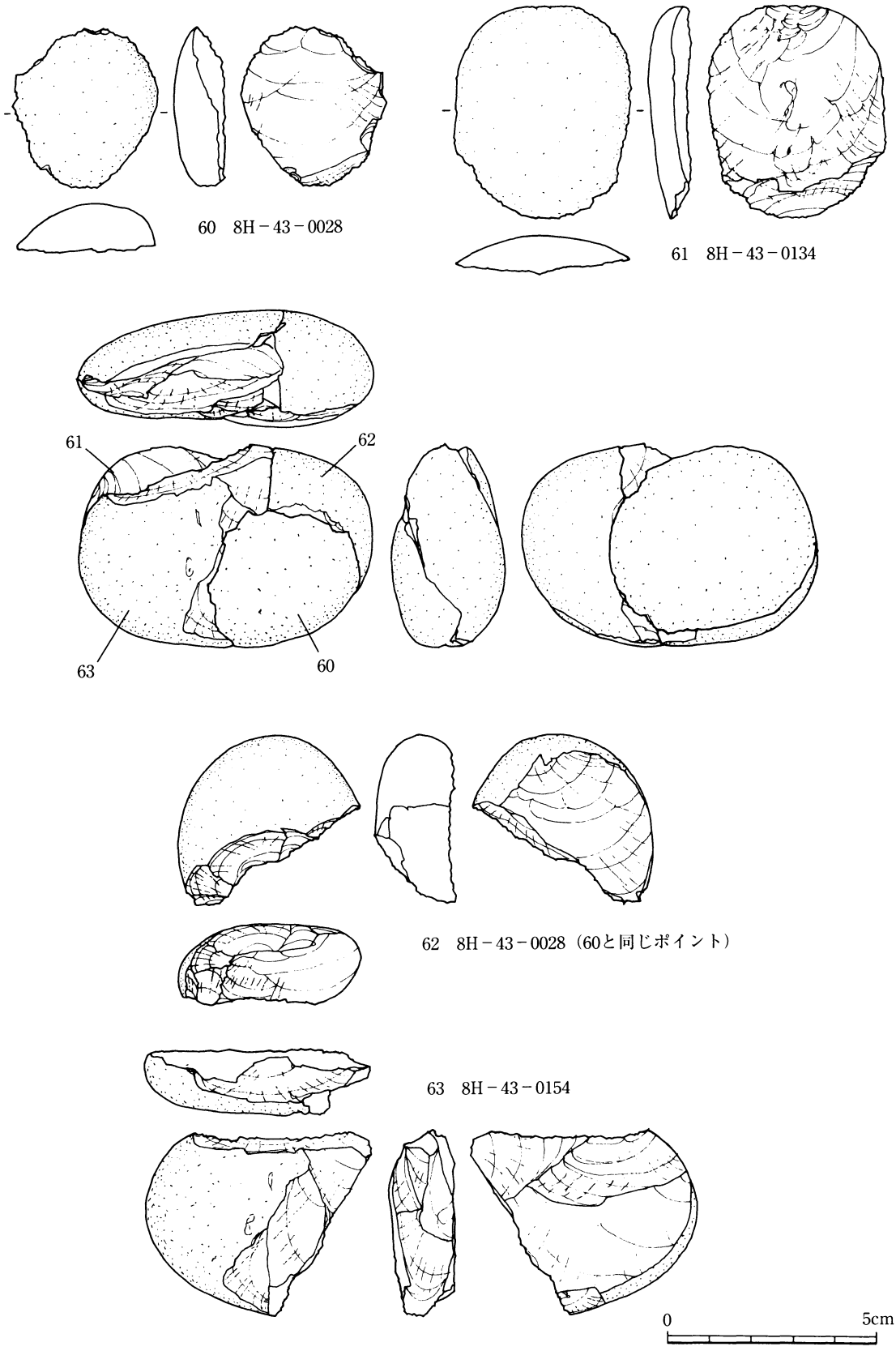
第125図　第19ブロック出土遺物実測図（7）



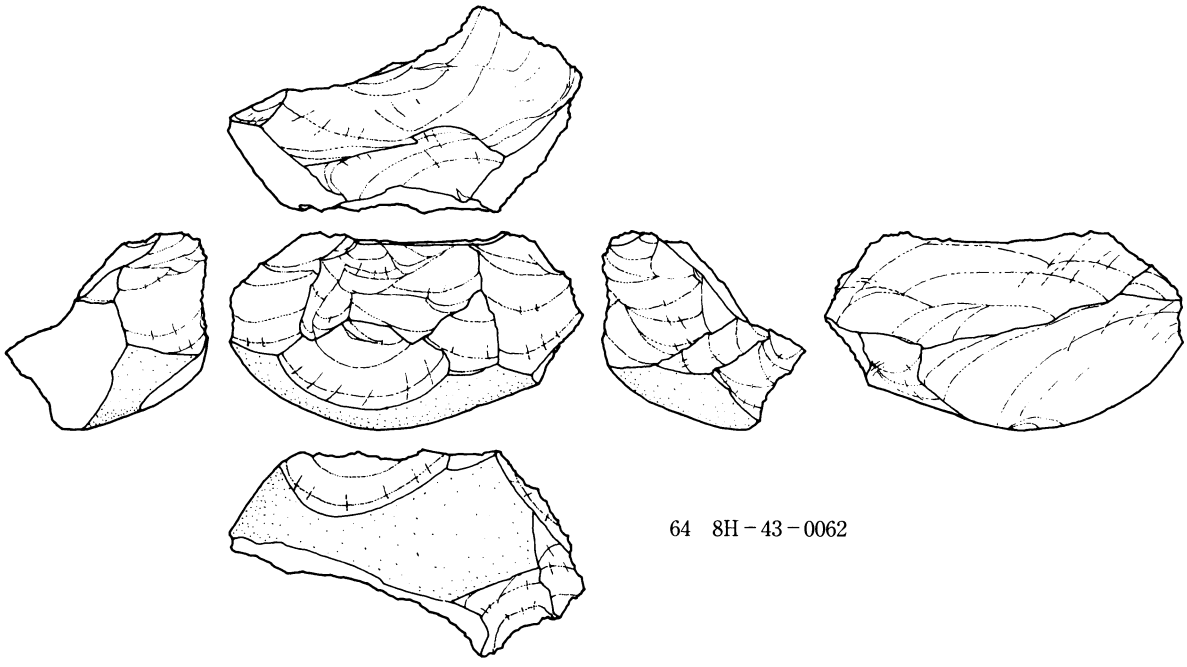
第126図　第19ブロック出土遺物実測図（8）



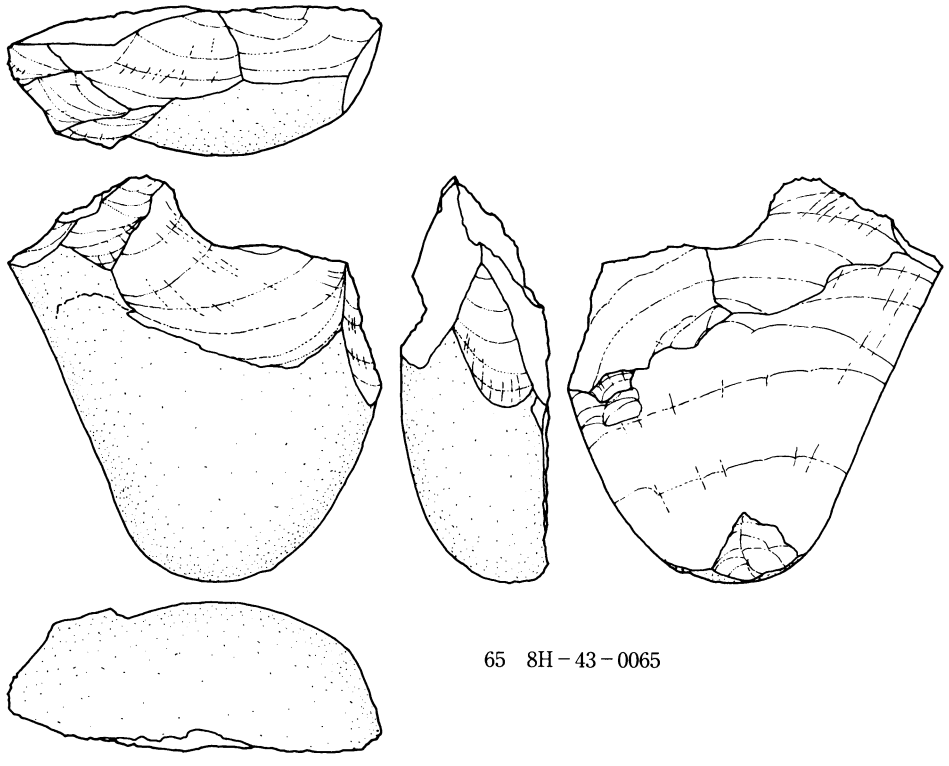
第127図　第19ブロック出土遺物実測図（9）



第128図　第19ブロック出土遺物実測図（10）



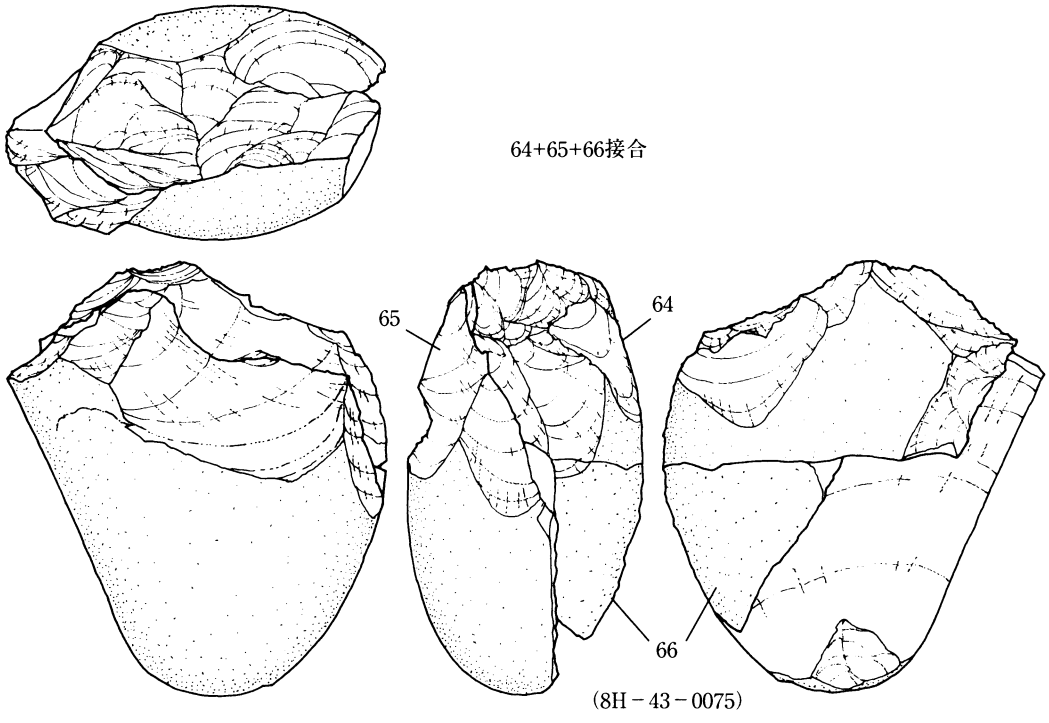
64　8H－43－0062

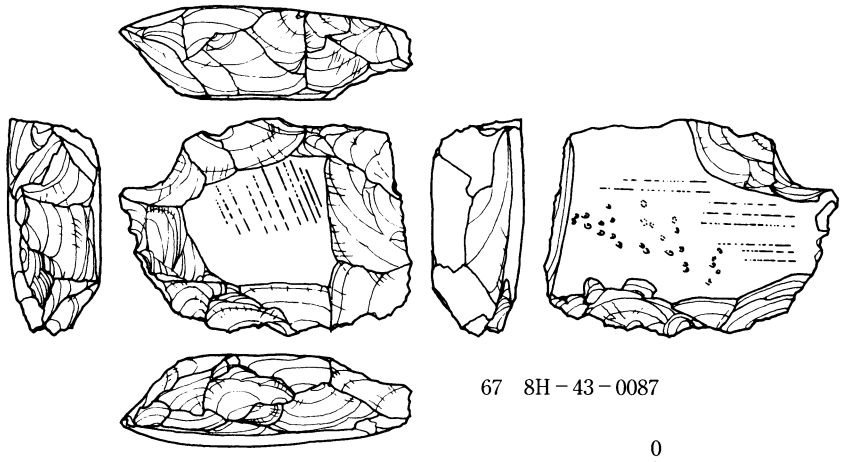


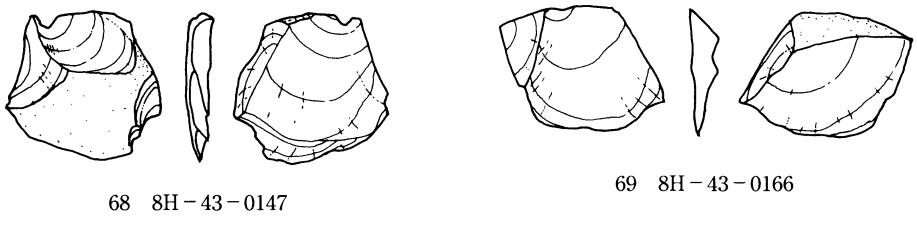
65　8H－43－0065

0　5cm

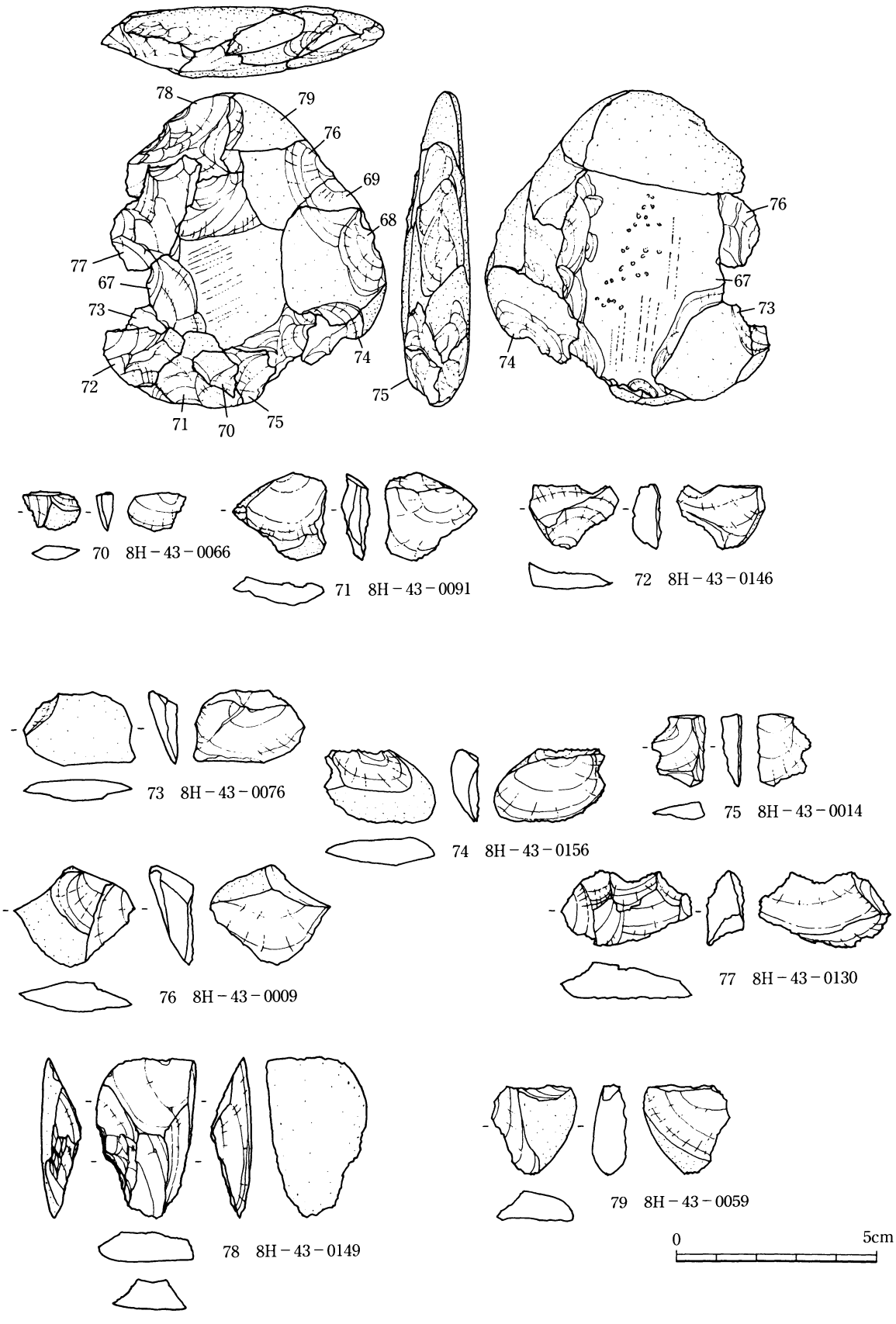
第129図　第19ブロック出土遺物実測図（11）



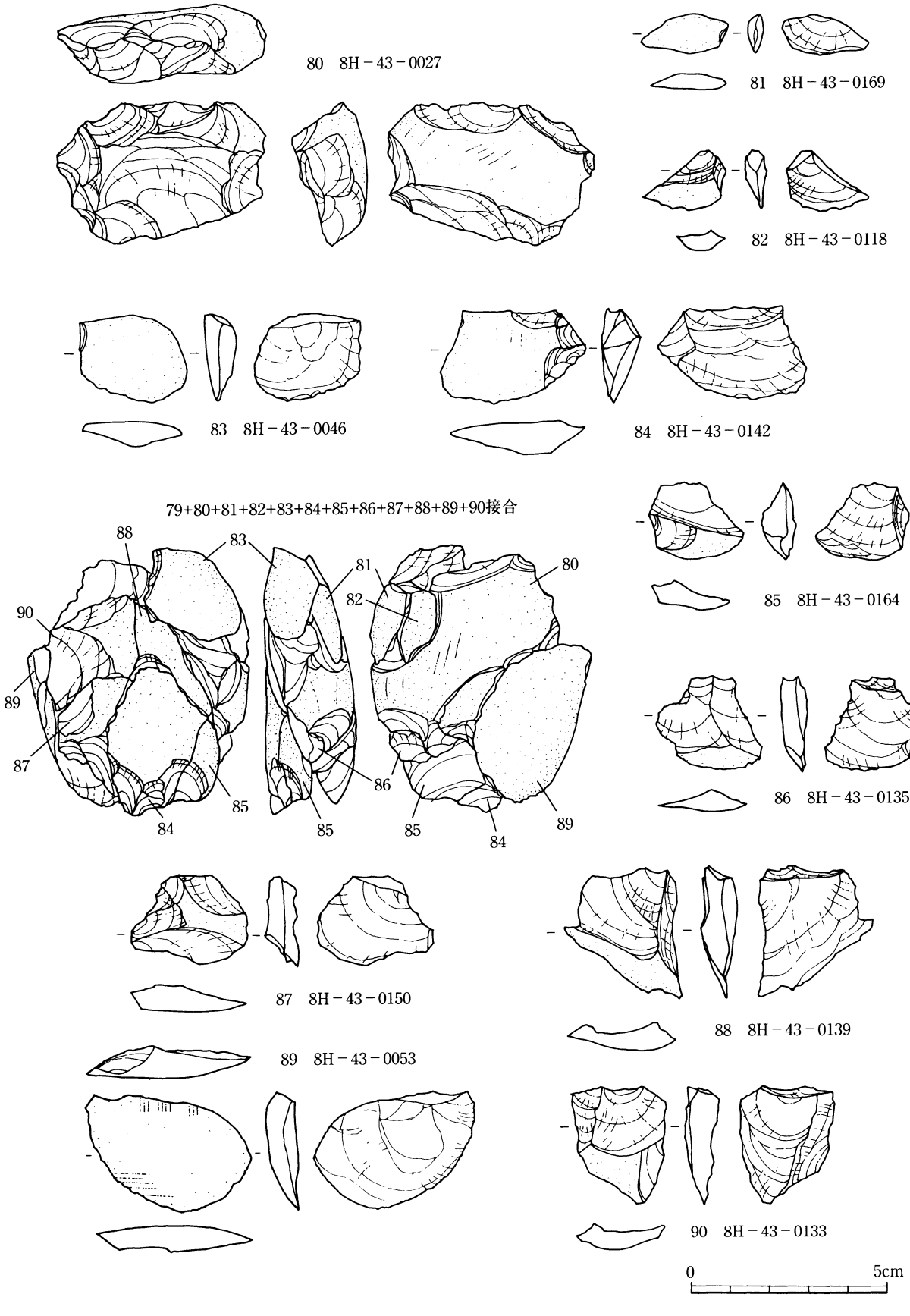




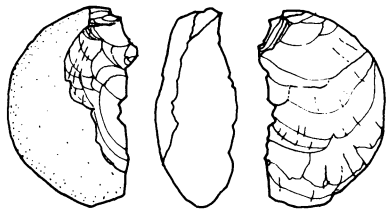
第130図　第19ブロック出土遺物実測図（12）



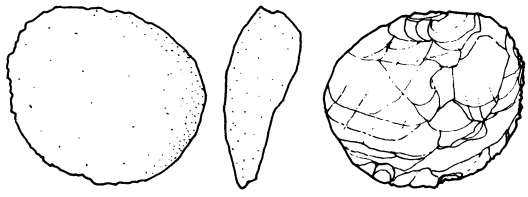
第131図　第19ブロック出土遺物実測図（13）



第132図　第19ブロック出土遺物実測図（14）

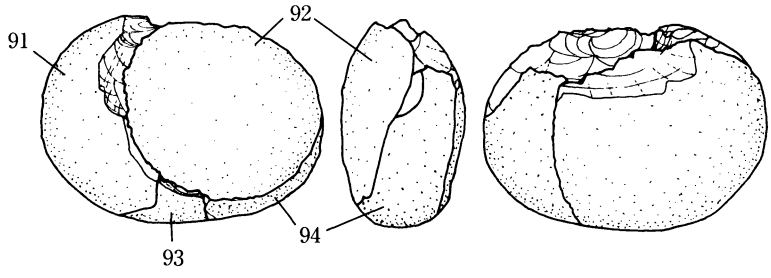


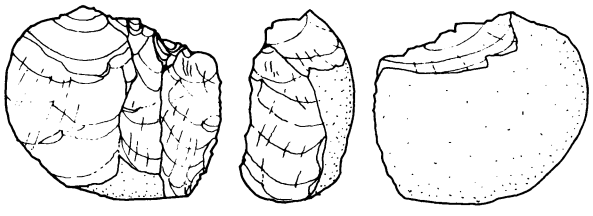
91　8H－43－0013



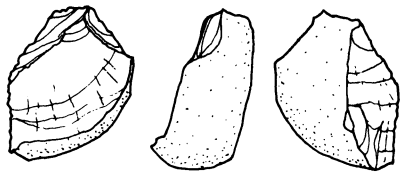
92　8H－43－0061

91+92+93+94接合

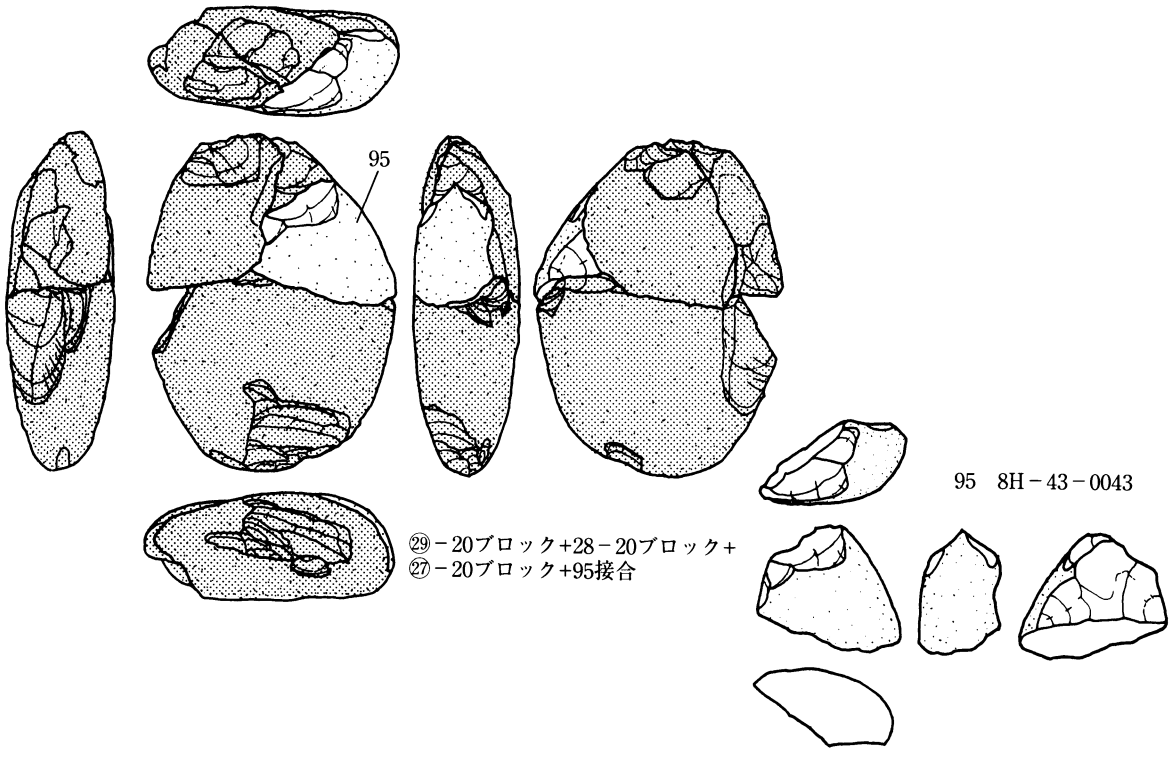




93　8H－43－0131



94　8H－43－0055



㉙－20ブロック+28－20ブロック+
㉗－20ブロック+95接合

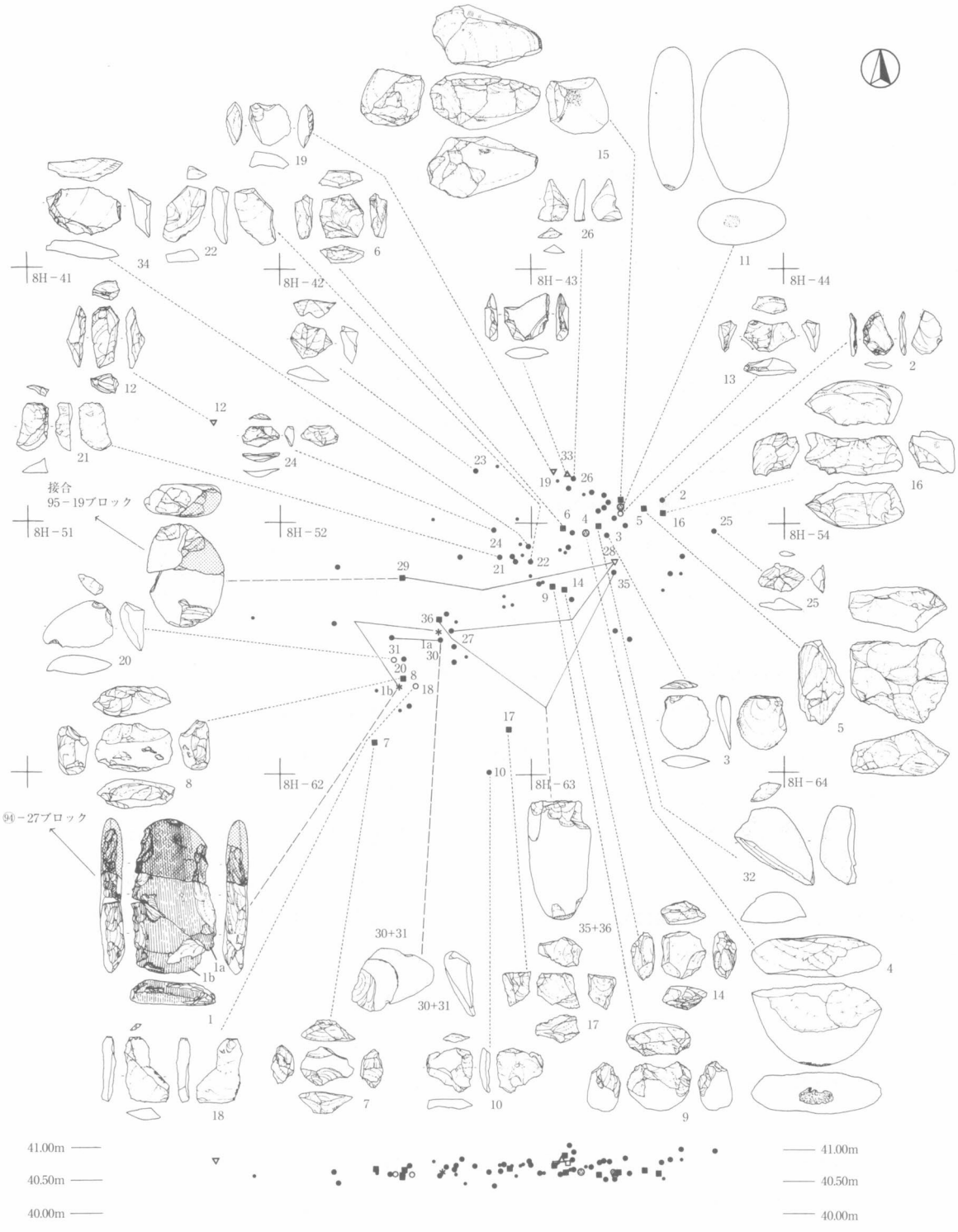
95　8H－43－0043

0　5cm

第133図　第19ブロック出土遺物実測図（15）

第20ブロック　（第134～141図１～36、写真図版26、27、第20、58表）

分　布　　石器は、８Ｈ－52～８Ｈ－53グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、南西から北東に斜めに長く径６ｍくらいの範囲に広く分布している。



第134図　第20ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート13点、ホルンフェルス12点、安山岩42点、砂岩３点、流紋岩３点、凝灰岩５点、珪質頁岩４点、メノウ２点、蛇紋岩２点、黒曜石１点、石英斑岩１点で構成される。安山岩が約半数近くを占めるのが特徴といえる。

器　種　　磨製石斧２点（１点に接合）、楔形石器３点、台形石器１点、R・剥片１点、U・剥片１点、石核12点、剥片48点、砕片16点、敲石３点の合計88点で構成される。点数の割に、製品も比較的多いのが特徴である。また石核の点数は多く、砕片の点数も多いことからこの場で石器の素材のとなる剥片剥離作業を重点的に行ったことが考えられる。

磨製石斧（第135図１）１は蛇紋岩の磨製石斧である。39－27ブロックの上部と接合して１点の磨製石斧として機能する。１aと１bと接合した段階で再生して石斧としていた形跡はうかがわれない。刃部も丁寧に磨かれており周辺の調整も比較的丁寧に仕上げている。

台形石器（第141図33）33は安山岩Aの台形石器である。背面はほぼ礫面で覆われている。両側縁は丁寧に調整されている。

楔形石器（第137、138図12、19）12はチャートの楔形石器である。剥片の上下に打撃による剥離が見られる。19は安山岩Aの楔形石器である。上下に打撃面を有する。背面はほぼ礫面で覆われている。

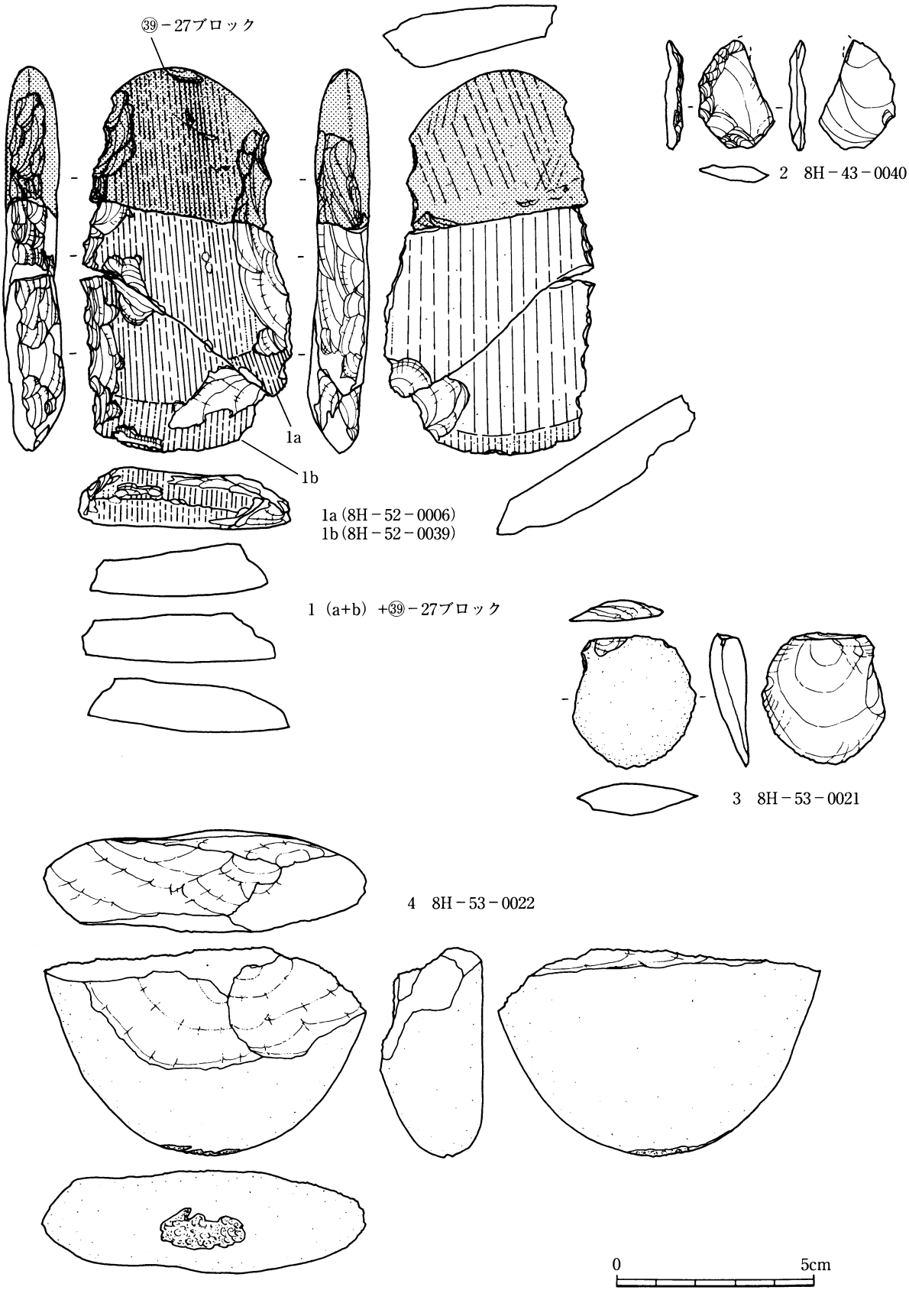
R・剥片（第138図20）20はホルンフェルスのR・剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。左側面から先端部にかけて規則的な剥離で調整されている。

U・剥片（第137、138図13、18）13は安山岩AのU・剥片である。左下縁辺部分に刃こぼれと思われる剥離が見られる。18はメノウのU・剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離と右からの剥離の２面で構成される。

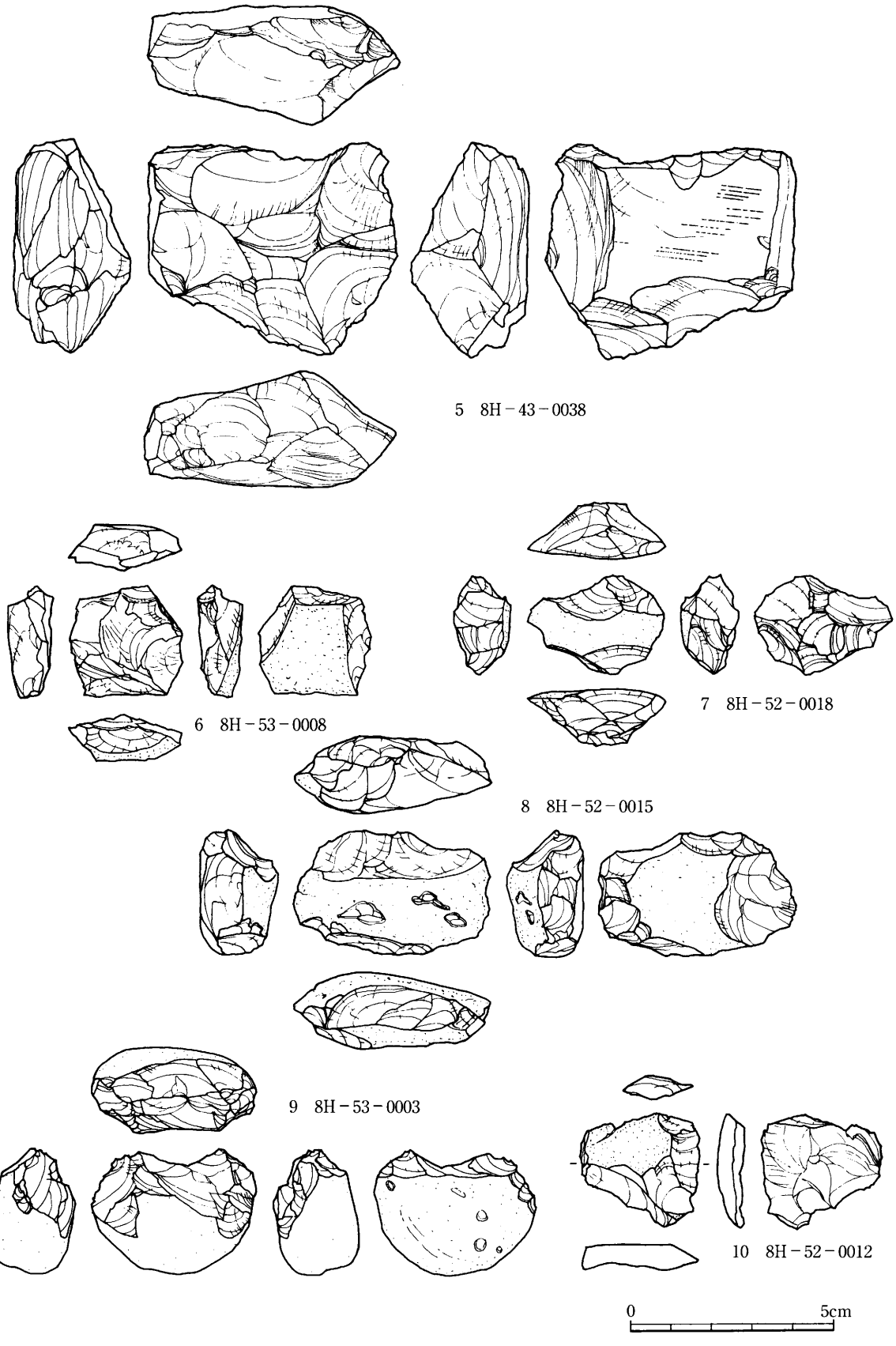
石核（第136～138、141図５～９、14～17、25、32）５はホルンフェルスの石核である。片側に磨痕がある礫面を残す。周辺を取り巻くように剥離されており、やや厚みはあるものの石斧の未製品のような形態である。６は安山岩Aの石核である。片面は礫面が残っている。小剥片を何面か剥がしている。７は安山岩Aの小円礫を利用した石核である。周辺から小剥片を剥がしているのがわかる。８は安山岩Aの石核である。長めの楕円礫の周辺部から中央部分にむかって剥離を進めている。両面にかなり礫面を残している。９は珪質頁岩の石核である。円礫の片側から剥離している。14は安山岩Aの石核である。小円礫の周辺から小剥片を剥離している。片面はかなり礫面を残す。15は砂岩の石核である。大きな剥離面を打面として上下より剥離しているのがわかる。また片側の細くなった側を敲石として利用していたと思われる。16はホルンフェルスの石核である。上下に打面形成した後、両方向から剥離している。かなり礫面を残す。17はチャートの石核である。多方位からの剥離面を残している。25はチャートの石核である。剥片を利用して多方位から小剥片を剥離している。32はホルンフェルスの石核である。大形の剥片を再利用したものでかなり礫面で覆われる。

敲石（第135、137図４、11）４は安山岩の敲石である。打割された石核を再利用したものと思われる。先端部分にかなりの打撃痕が見られる。11は石英斑岩の敲石である。楕円礫の先端部分に打撃痕が見られる。

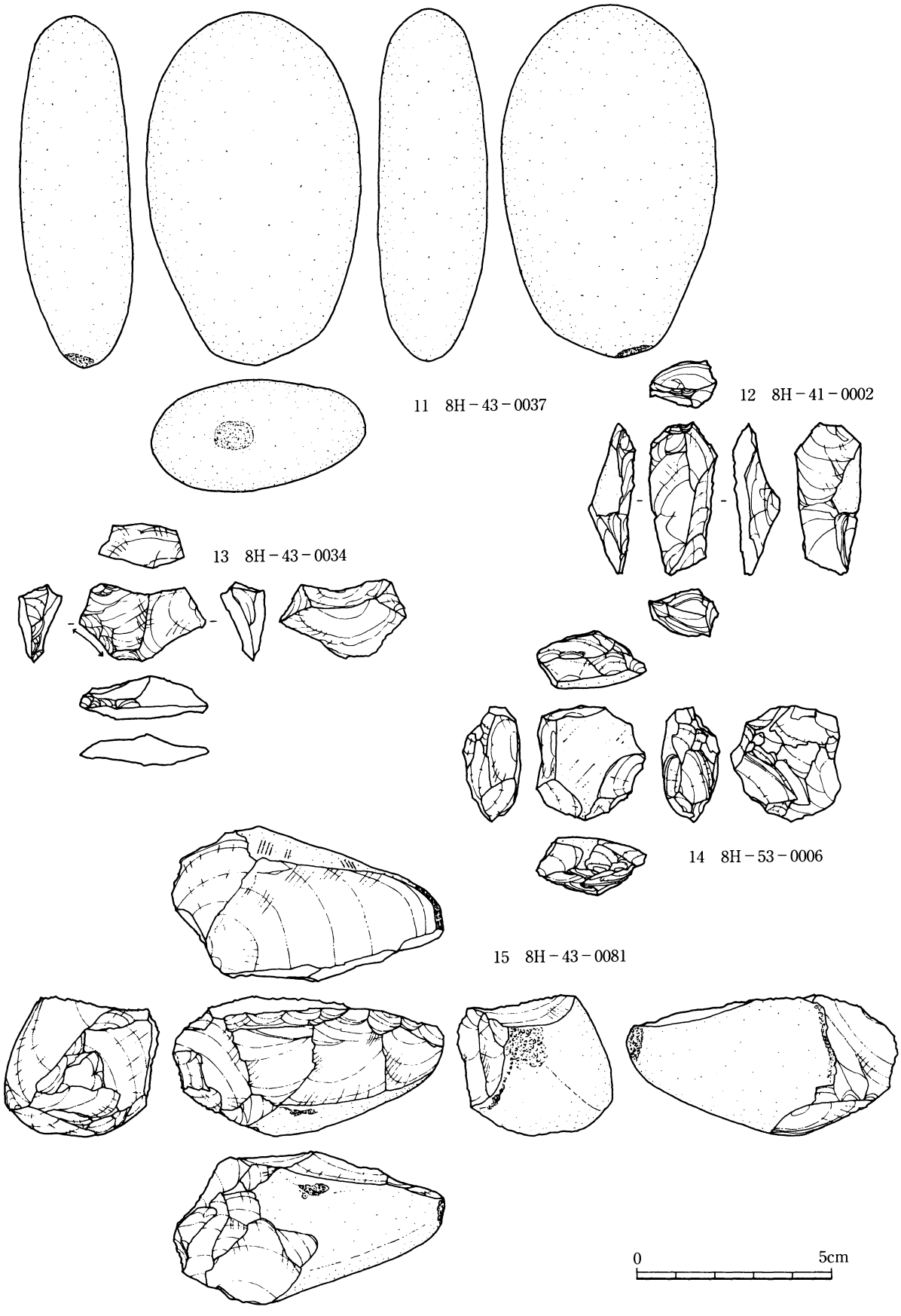
剥片（第135、136～138図２、３、10、13、21～24、26）２は凝灰岩の剥片である。背面に調整時に残された剥離面が多数残っている。３は安山岩Aの剥片である。背面はほぼ礫面で覆われる。10は安山岩Aの剥片である。背面は多方位の剥離面と礫面で構成されている。21はチャートの剥片である。背面は主剥



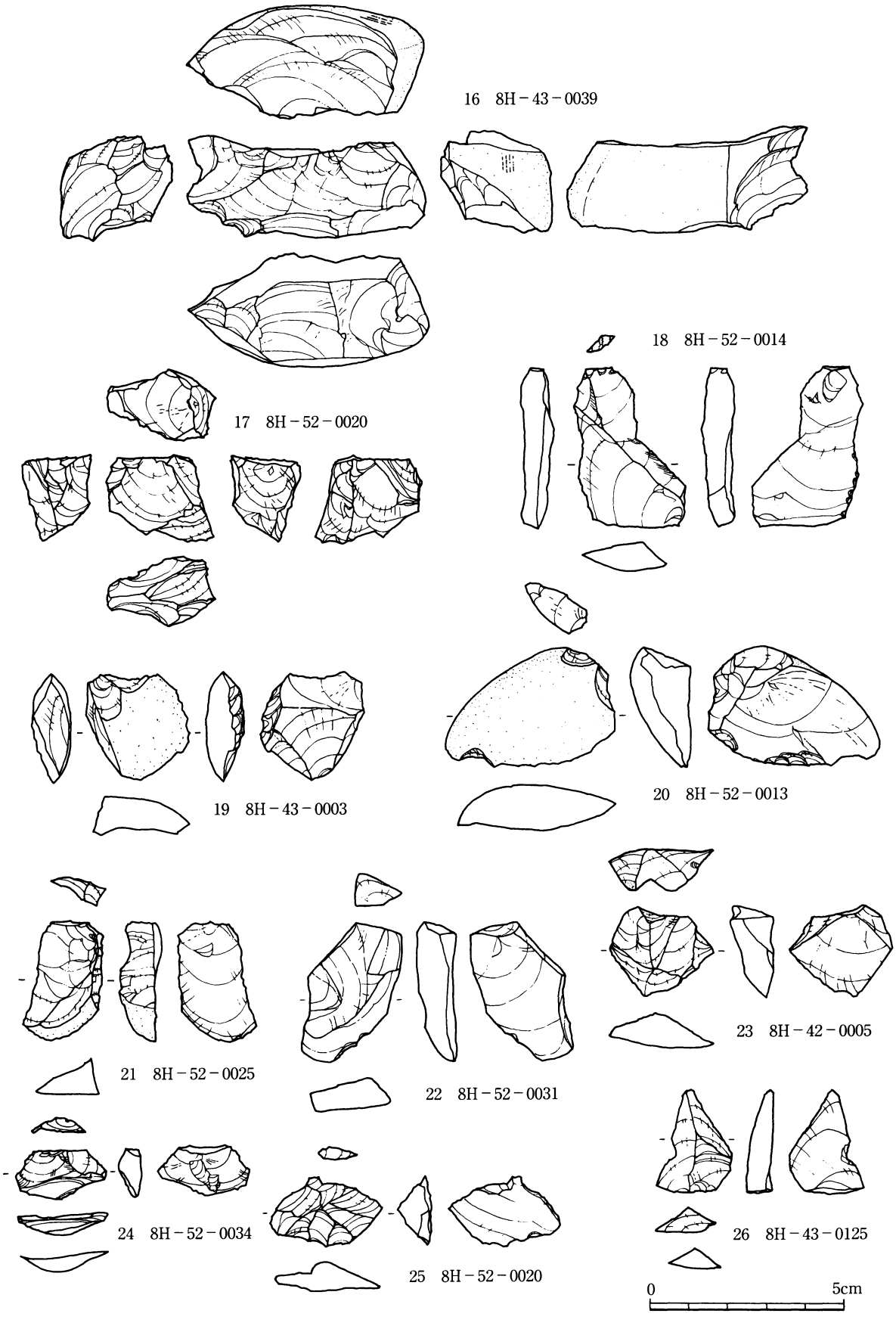
第135図　第20ブロック出土遺物実測図（1）



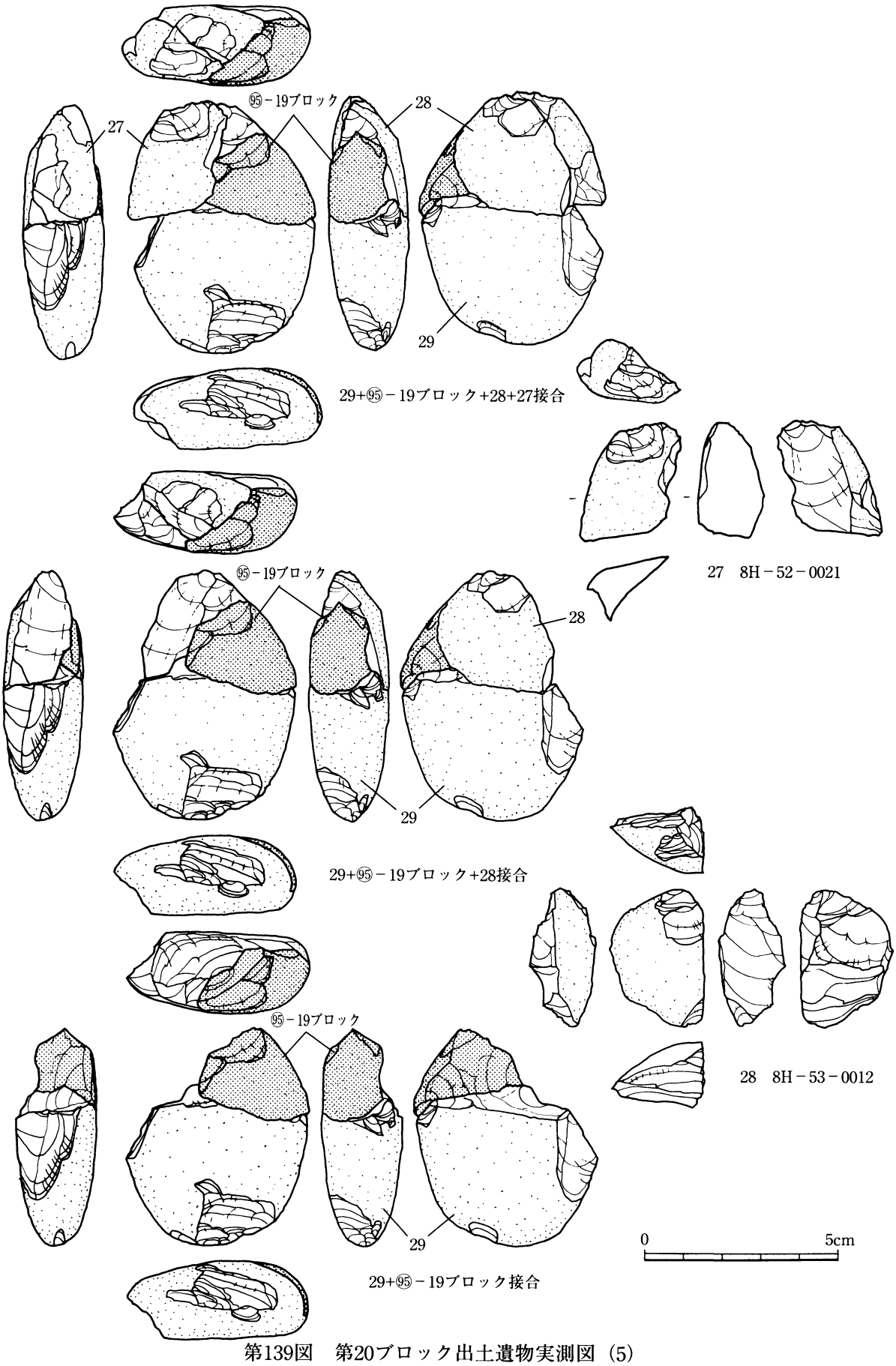
第136図　第20ブロック出土遺物実測図（2）



第137図　第20ブロック出土遺物実測図（3）



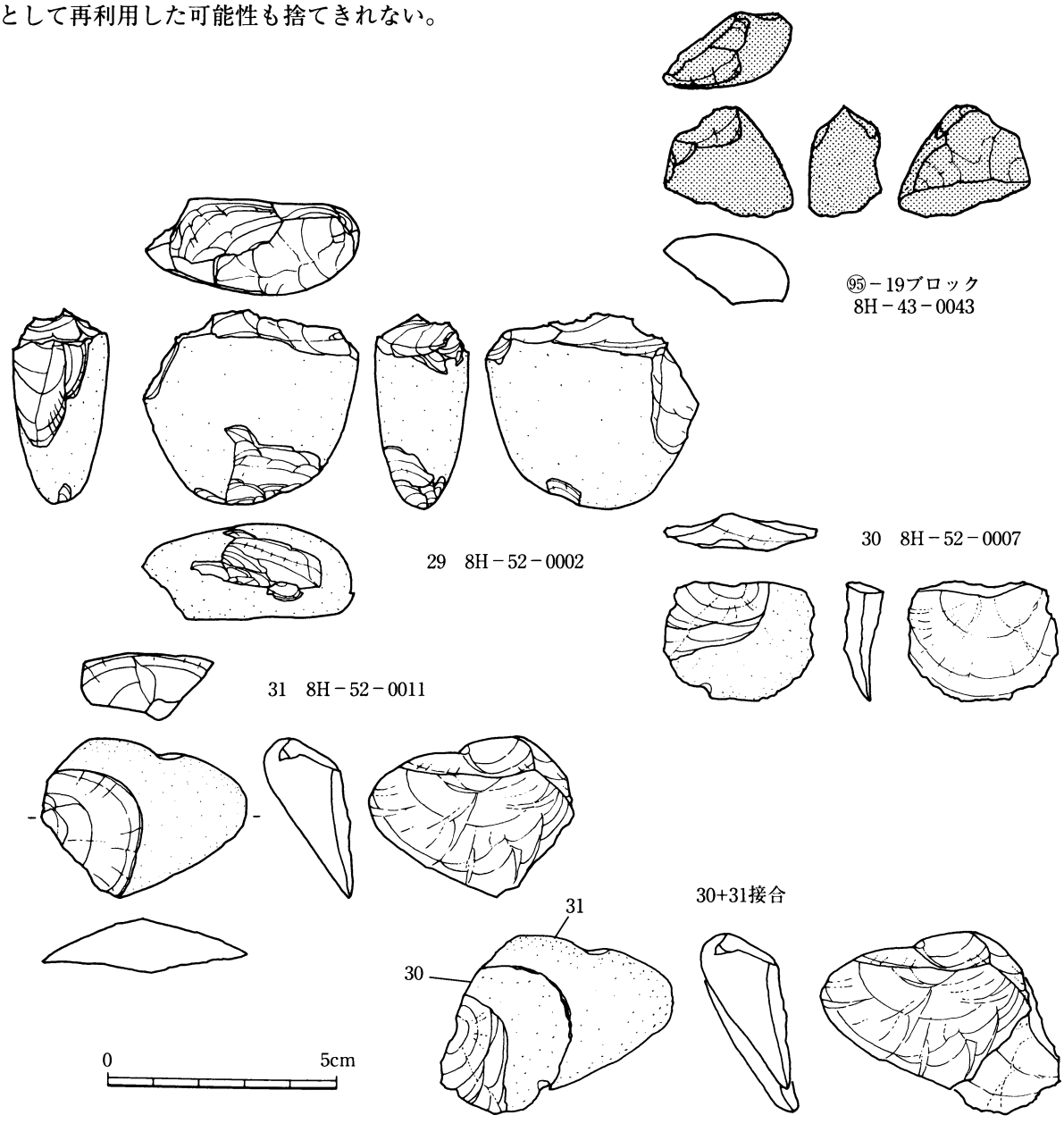
第138図　第20ブロック出土遺物実測図（4）



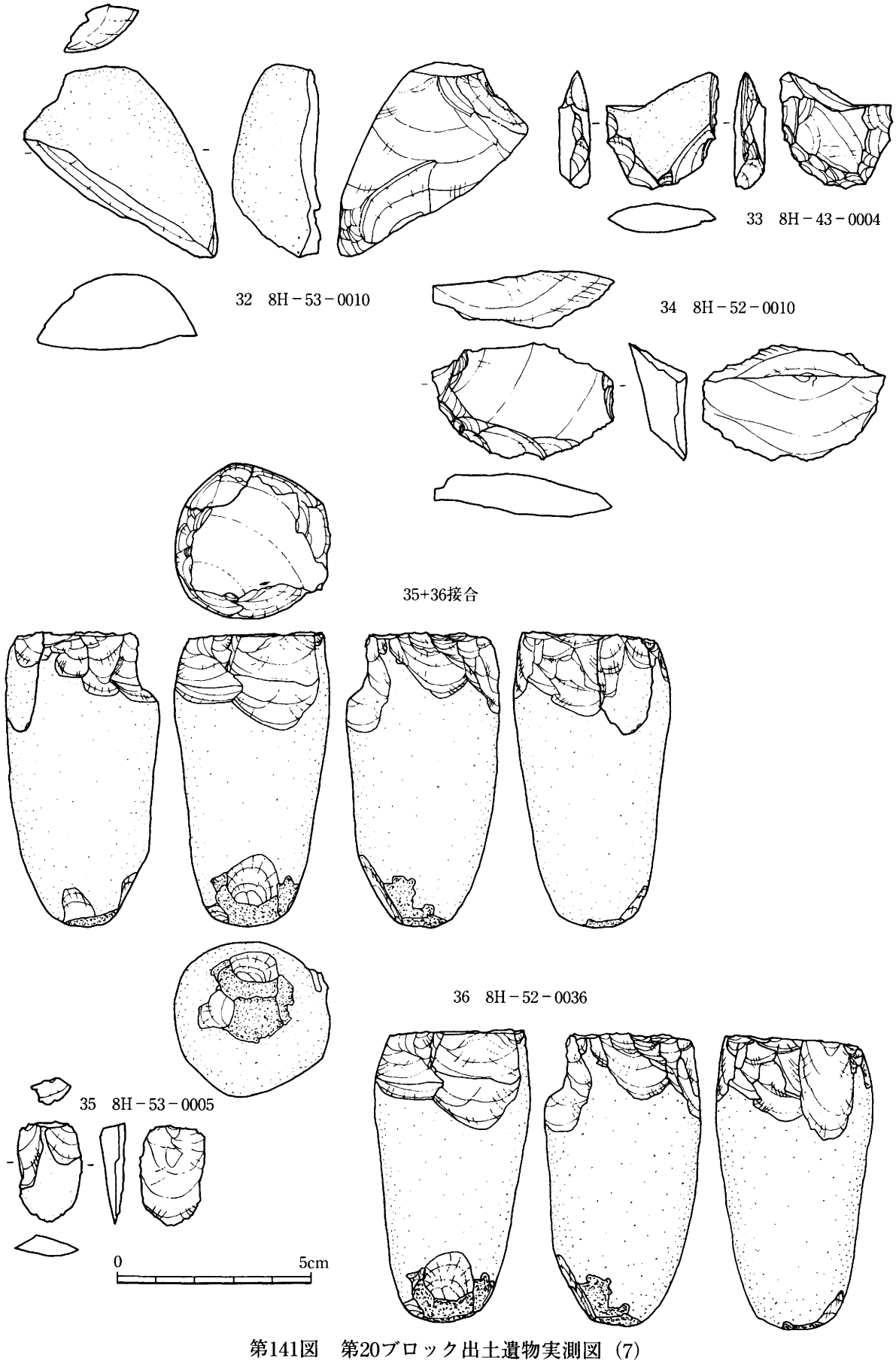
第139図　第20ブロック出土遺物実測図（5）

離面と同方向の剥離面と先端部分の若干の礫面とで構成される。22は安山岩Bの剥片である。背面は主剥離面に対して左側よりの剥離1面で構成されている。23は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面である。24は黒曜石の剥片である。薄くて縁辺部は鋭い。26は流紋岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離が2条残っている。

接合資料（第139～141図27～29、30～31、35～36）27～29はチャートの接合資料である。また94－19ブロックの剥片と接合する。27、28は剥片、29は石核である。4点が接合することによってほぼ原礫の状態まで復元できる資料である。30～31はホルンフェルスの剥片同士の接合資料である。接合した状態から判断すると打面転移したことがわかる。背面はほぼ礫面に覆われる。35～36は流紋岩の接合資料である。35は縦長の剥片である。背面はかなり礫面で覆われる。36は石核である。平坦面を形成した後、周辺に沿った形で剥離を進めたと思われる。また打撃時に下端部分に打撃痕が残ったものと思われるが、あるいは敲石として再利用した可能性も捨てきれない。



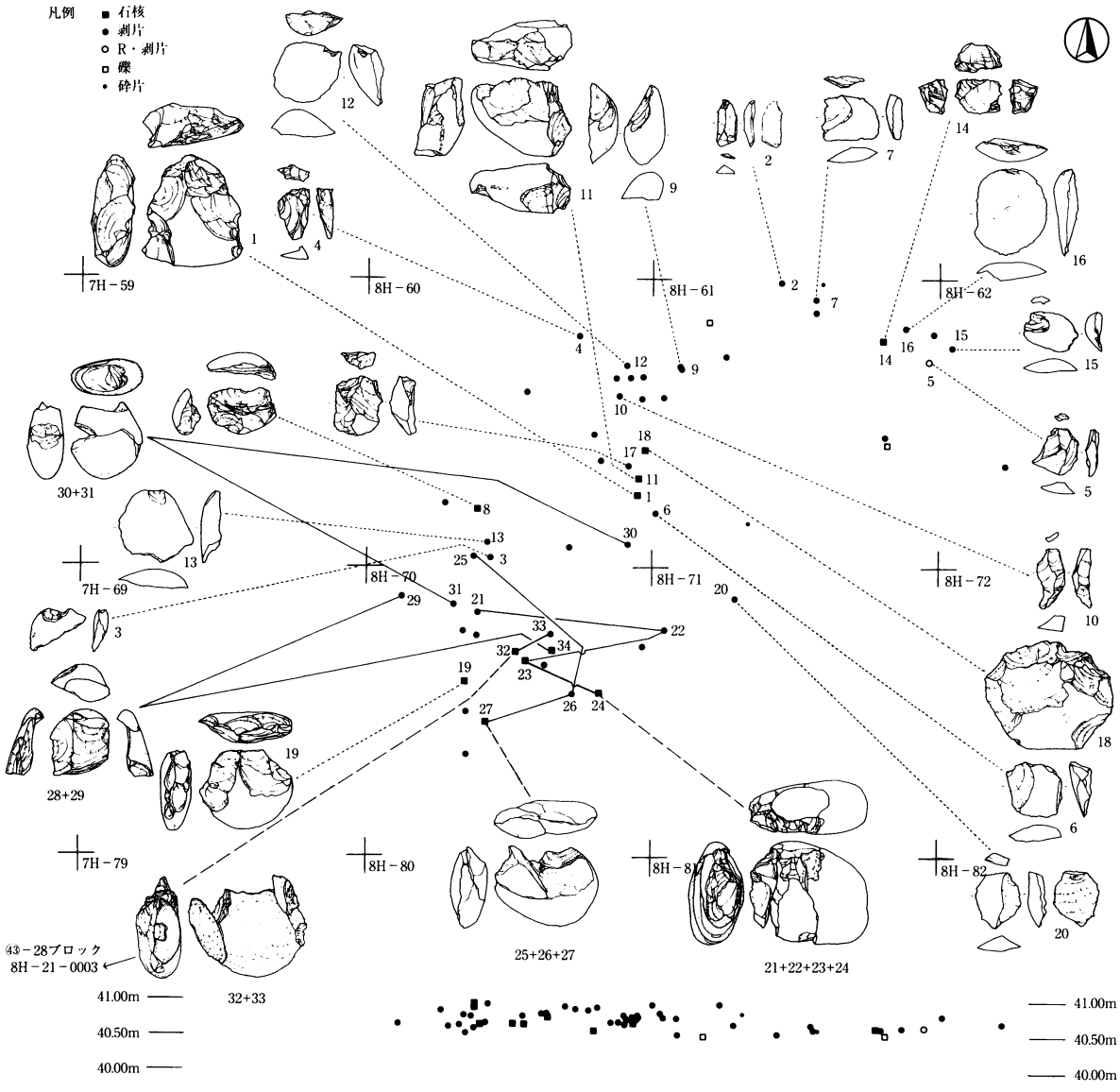
第140図　第20ブロック出土遺物実測図（6）



第141図　第20ブロック出土遺物実測図（7）

第21ブロック　（第142～150図１～33、写真図版27、28、第21、59表）

分　布　　石器は、８Ｈ－60、70～８Ｈ－61グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、南西から北東に斜めに長く径７ｍくらいの範囲に広く分布している。



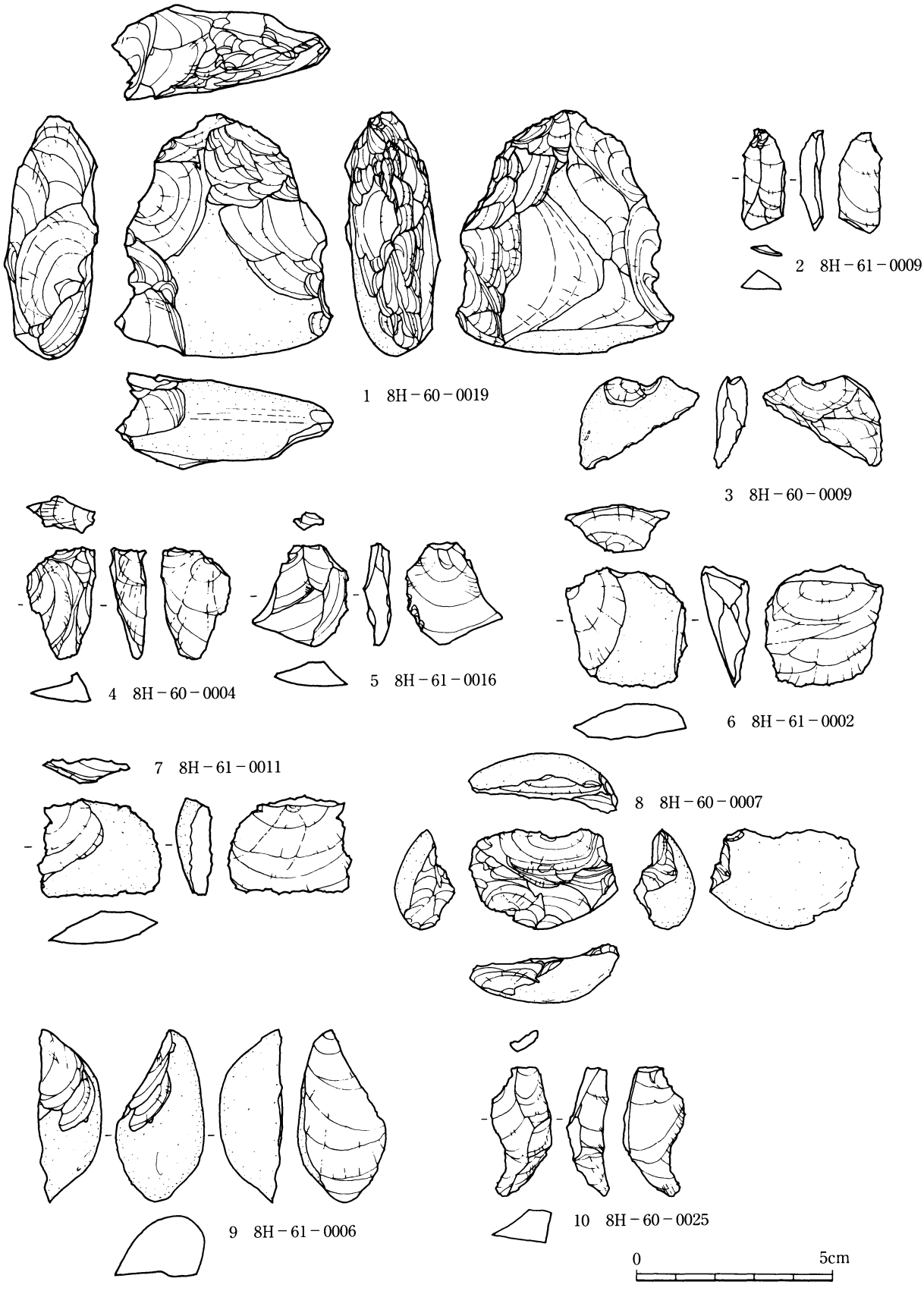
第142図　第21ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート２点、ホルンフェルス３点、安山岩18点、砂岩５点、流紋岩３点、珪質頁岩10点、メノウ11点、石英８点で構成される。安山岩18点で多いのが特徴であるが、石英も他のブロックからみると比率が高い。

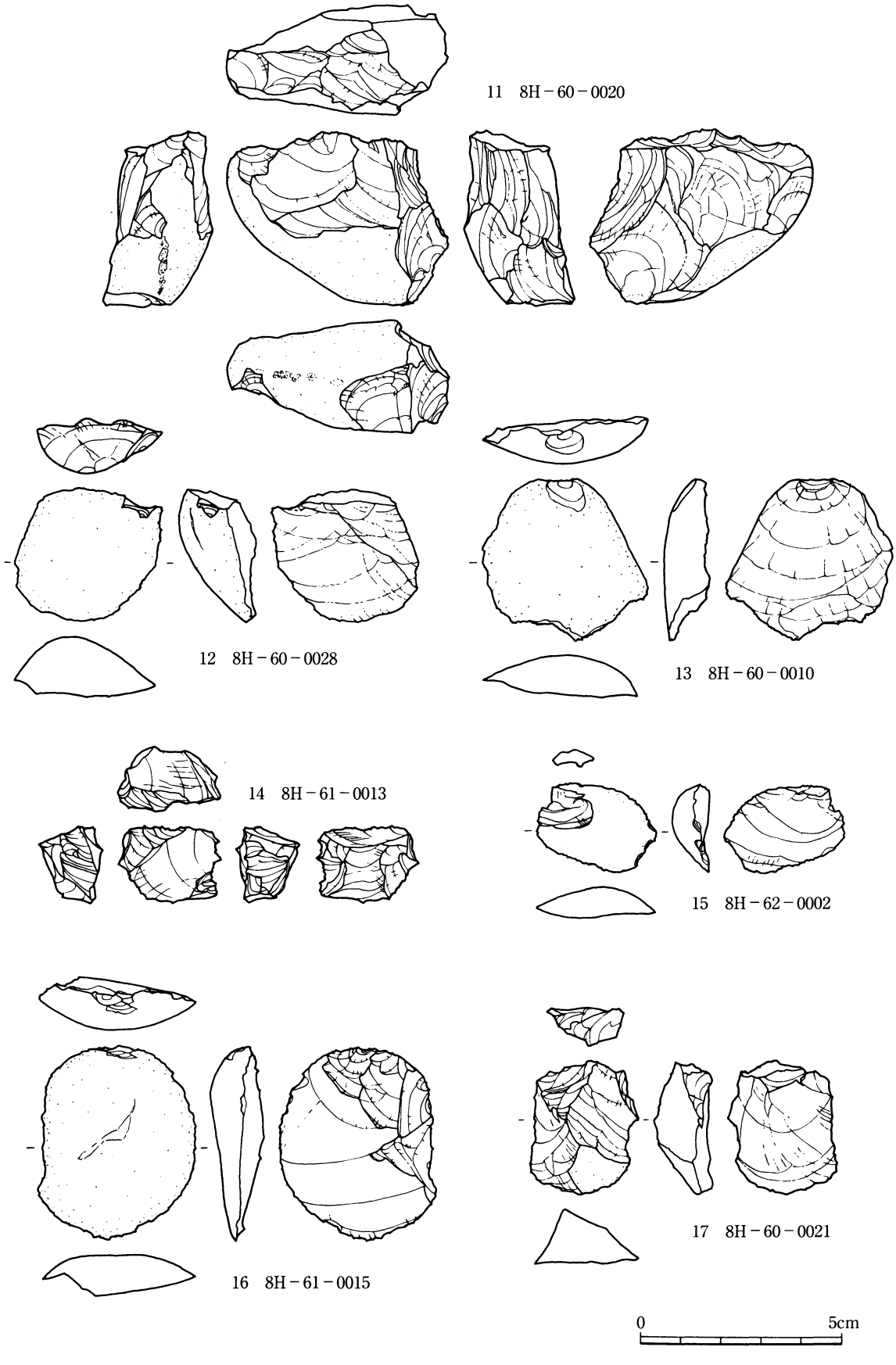
器　種　　R・剥片３点、U・剥片１点、石核13点、剥片43点、砕片１点、礫２点の合計60点で構成される。石核と剥片の比率が高く剥片剥離が行われたことが考えられる。

U・剥片（第144図15）15は珪質頁岩のU・剥片である。右側縁辺部分に不連続な刃こぼれらしきものが見られる。背面は主剥離面と同方向の剥離面が１面と礫面とで構成されている。

石核（第143～145図１、８、11、14、18、19）１は砂岩の石核である。礫の先端を除く周辺部分を両面



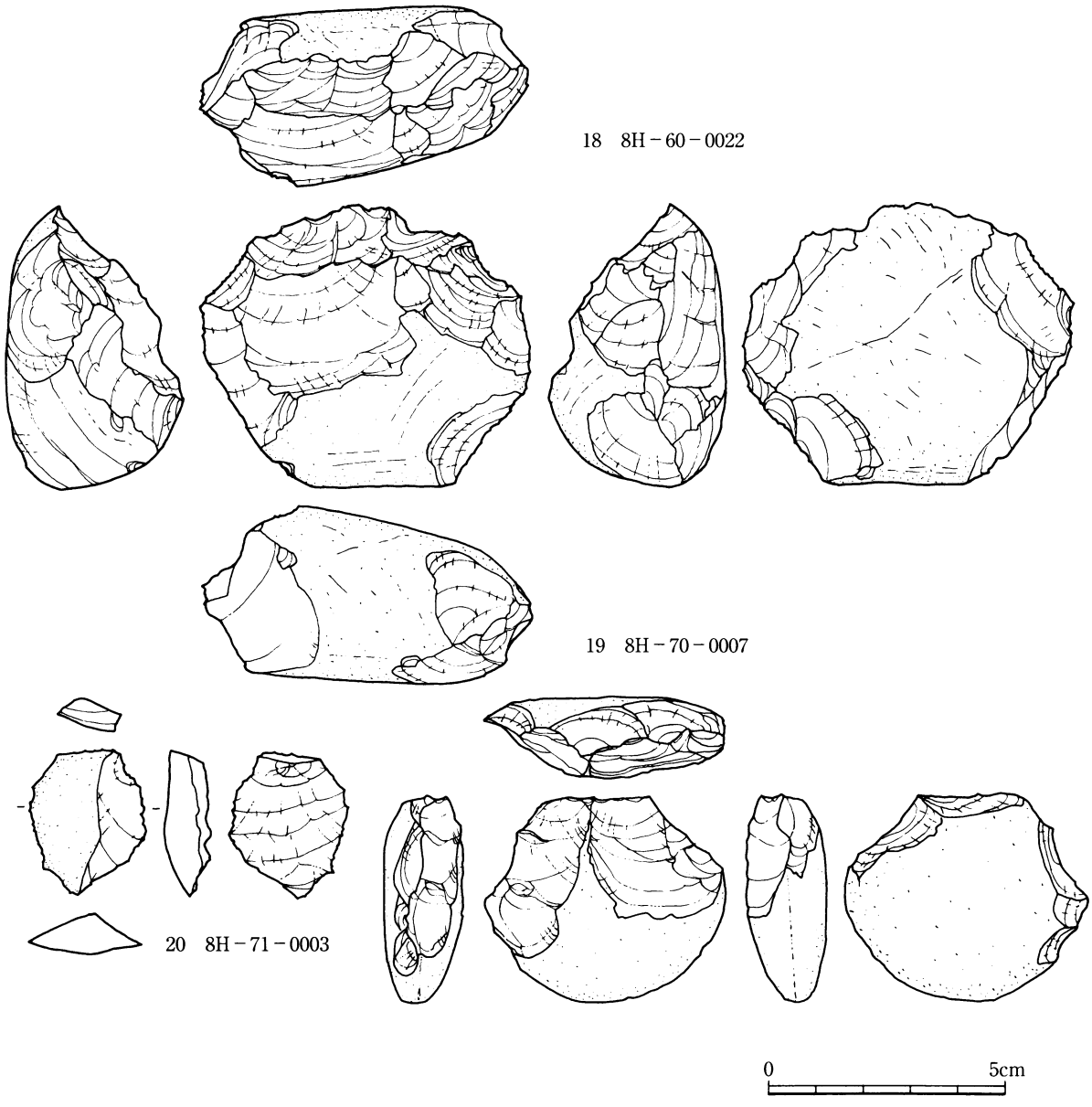
第143図　第21ブロック出土遺物実測図（1）



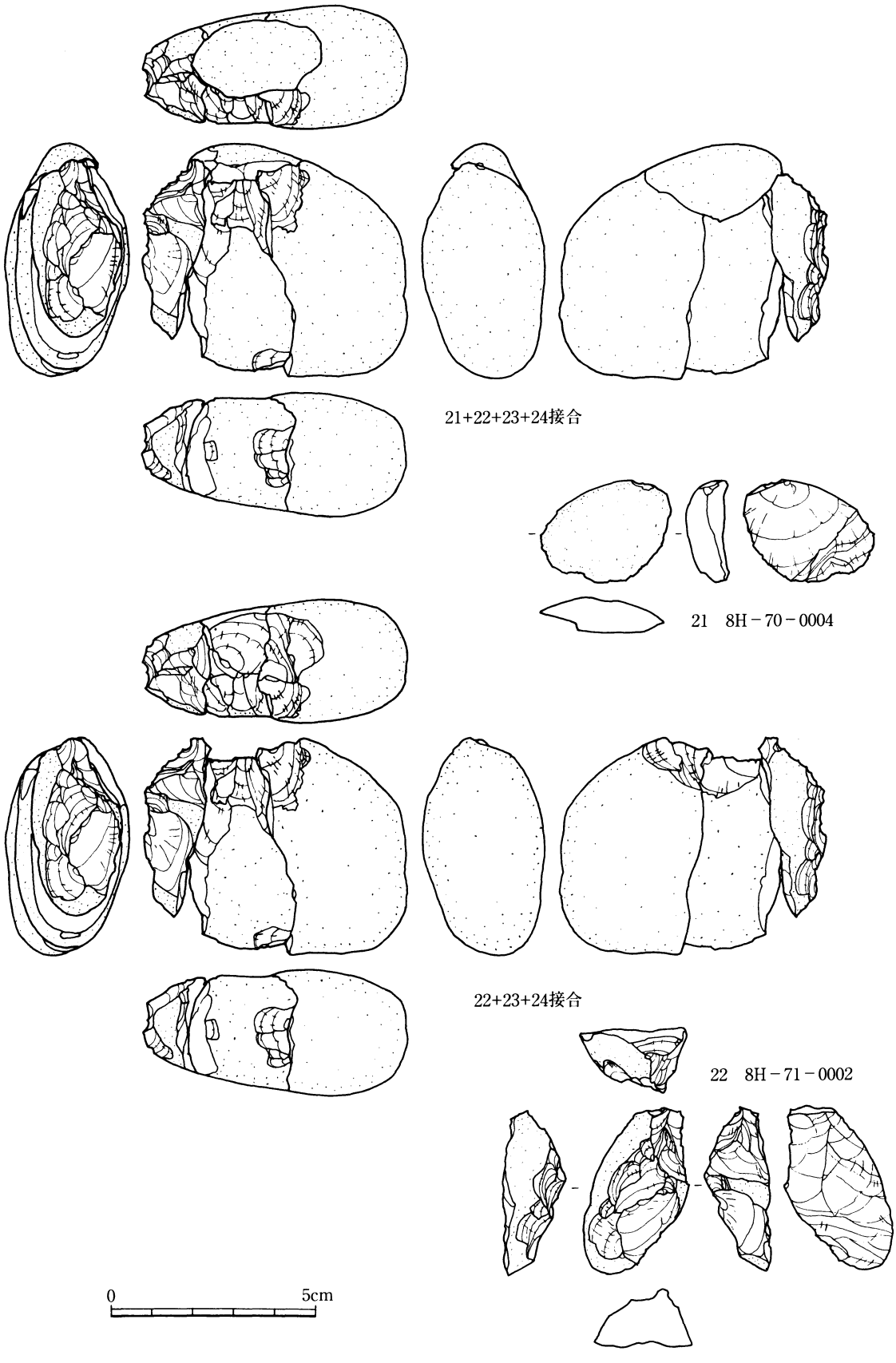
第144図　第21ブロック出土遺物実測図（2）

に向かって両側から剥離している。8は珪質頁岩の石核である。円礫の片側を使って周辺部から中程に向かって剥離している。11はメノウの石核である。礫面側に打撃痕が見られることからも何回か打面転移を行ったことのわかるものである。14は安山岩Aの石核である。小剥片を任意の方向から剥がしたものと思われる。18は石英の石核である。比較的大きな円礫を使って周辺部分から中央部に向かって剥離を進めている。片側はかなりの部分、礫面を残している。19は安山岩の石核である。片側は周辺部分からの剥離、反対側は片側から大きめの剥片を一方向から剥離している様子がうかがわれる。

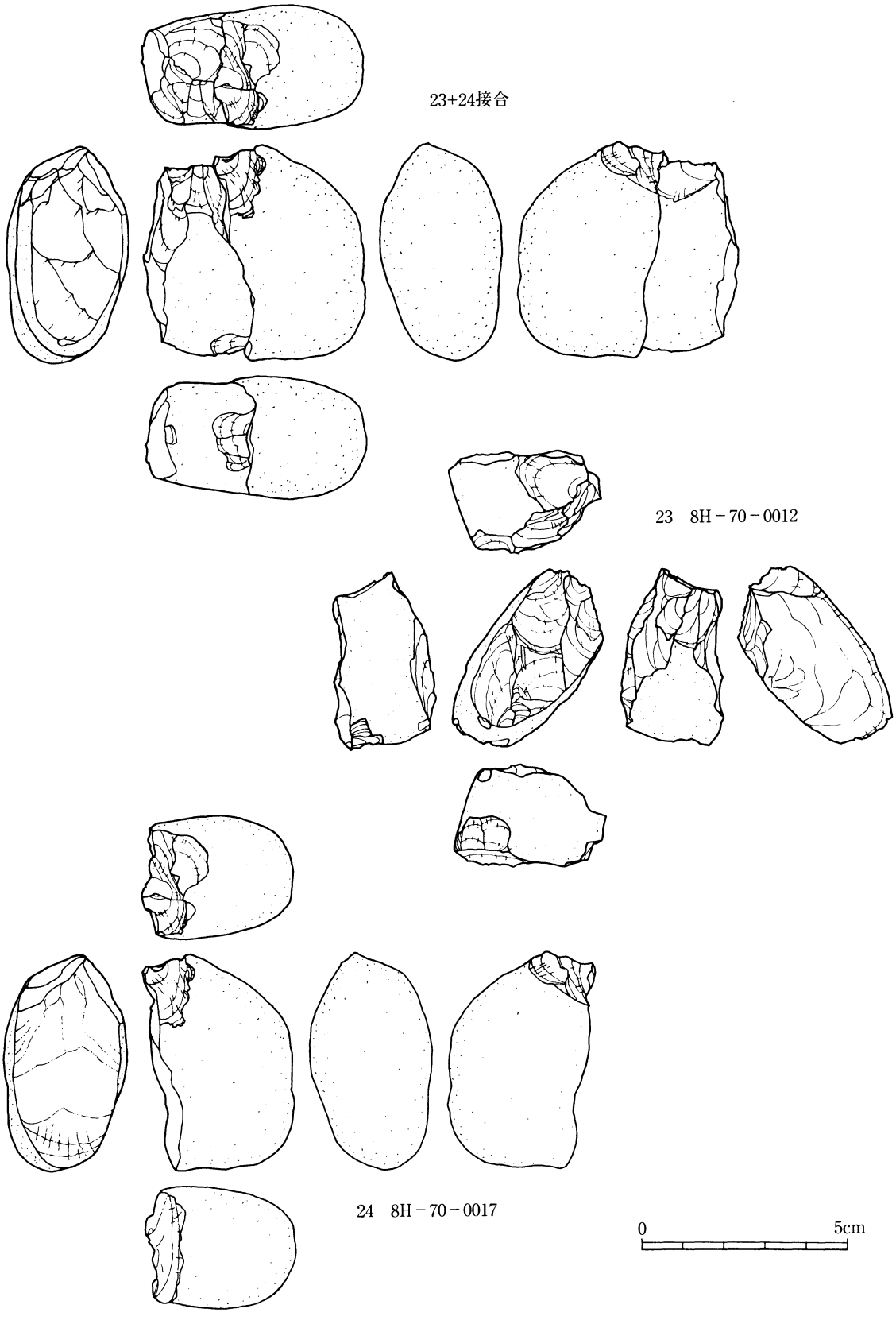
剥片（第143～145図2～7、9、10、12、13、16、17、20）2は流紋岩の剥片である。縦長で縁辺部分の鋭い剥片である。3は流紋岩の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われる。4は珪質頁岩の剥片である。主剥離面に対して左方向の剥離面によって大きく占められている。5は珪質頁岩の剥片である。背面は4面以上の主剥離面と同じ方向からの剥離で構成されている。6は石英の剥片である。背面は主剥離面に対



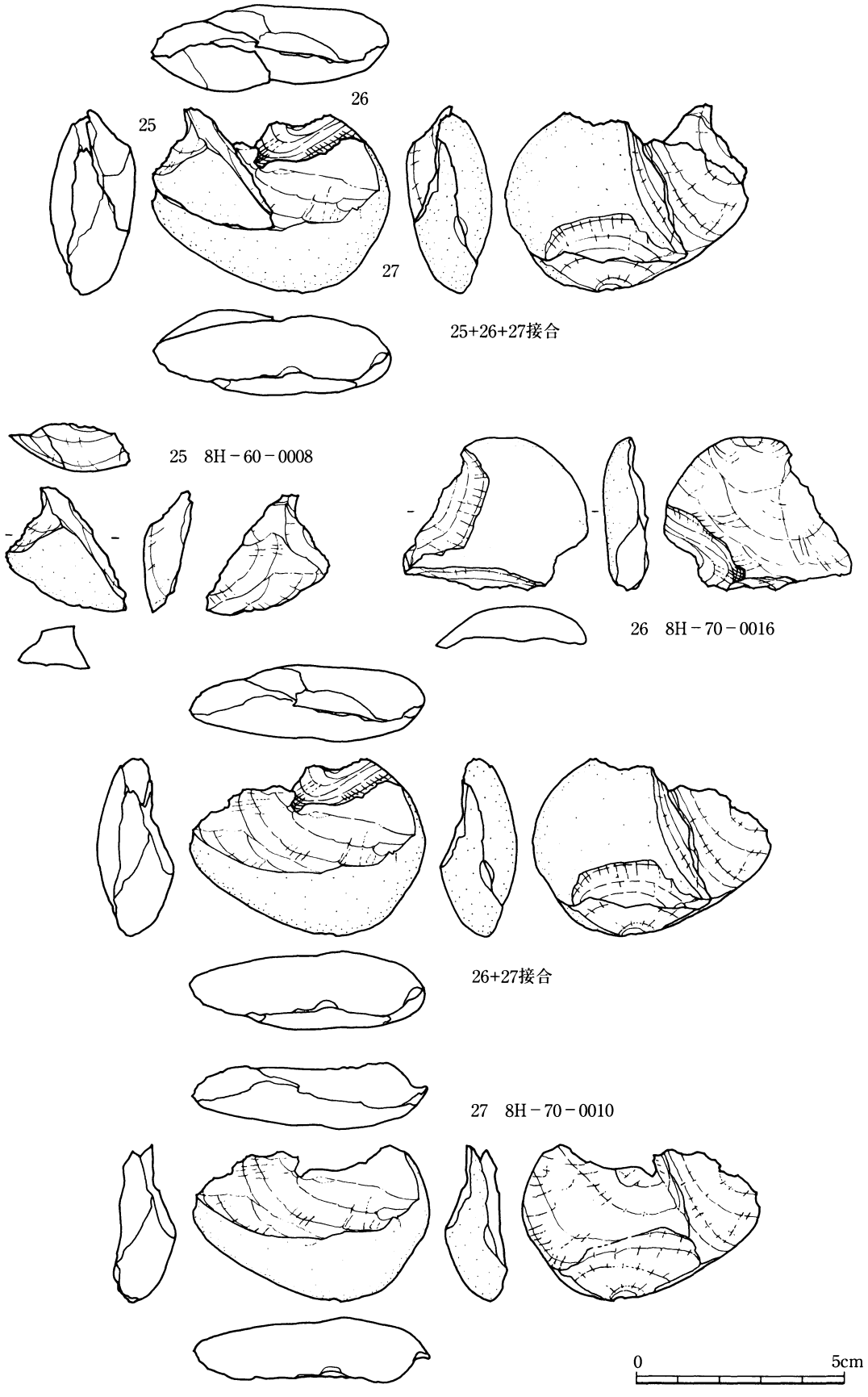
第145図　第21ブロック出土遺物実測図（3）



第146図　第21ブロック出土遺物実測図（4）



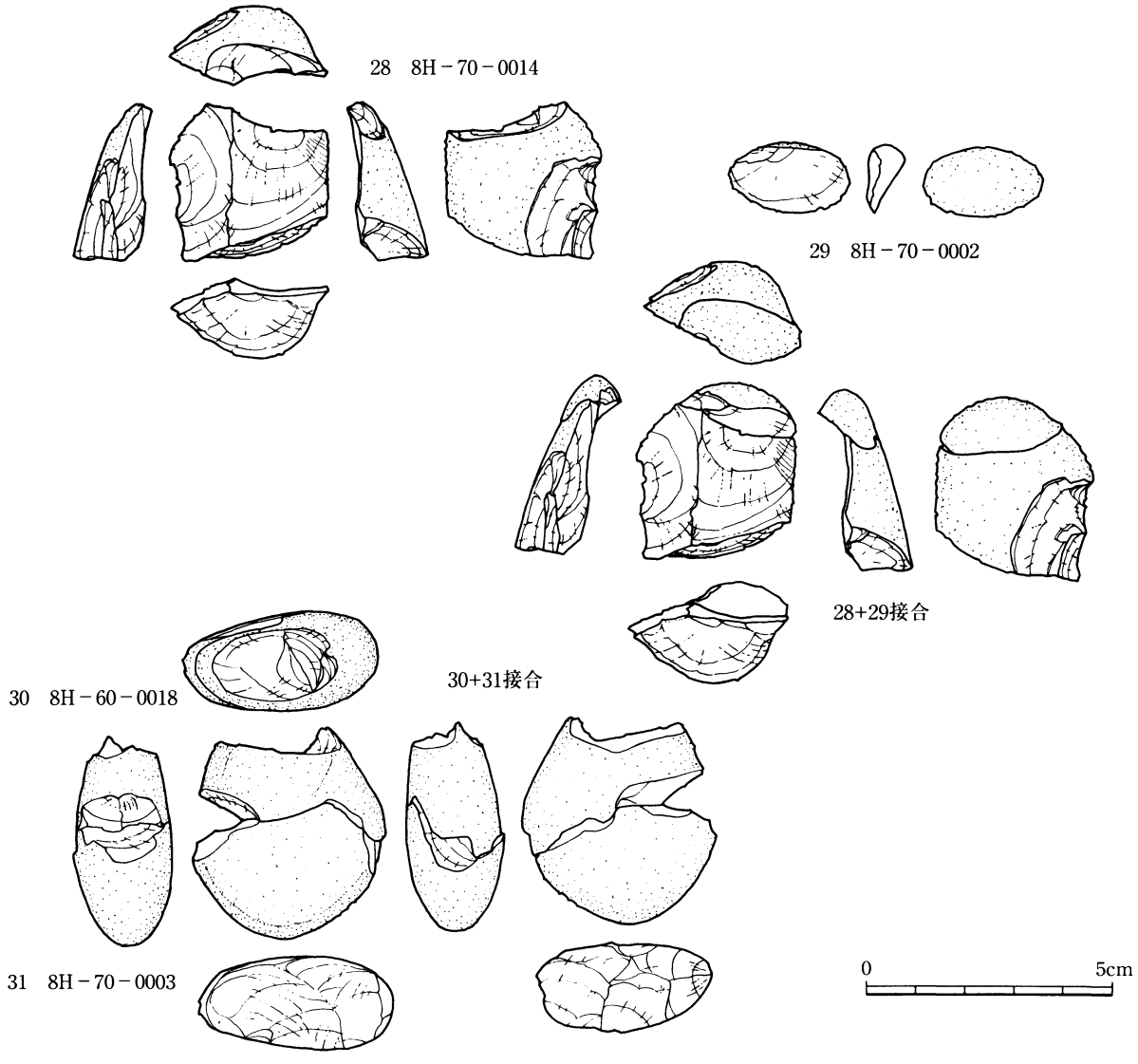
第147図　第21ブロック出土遺物実測図（5）



第148図　第21ブロック出土遺物実測図（6）

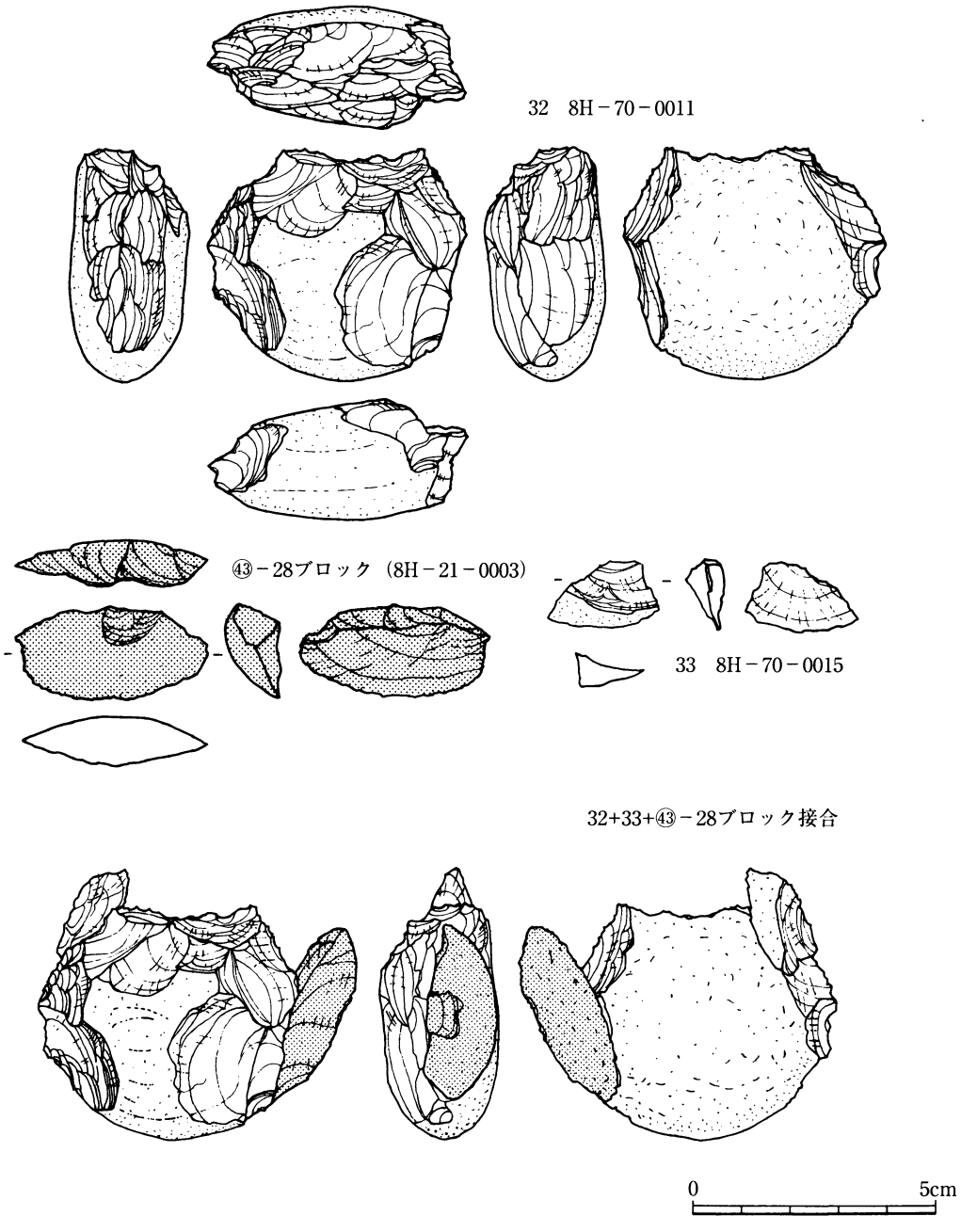
して左側よりの剥離が1面と半分以上の礫面とで構成されている。7は石英の剥片である。背面は主剥離面と同じ方向の剥離面1面と2/3を占める礫面とで構成されている。9は珪質頁岩の剥片である。背面は若干の剥離面はみられるものの、ほぼ礫面によって構成される。10は安山岩Aの剥片である。縦長の剥片で背面は主剥離面と同じ方向の剥離面3面で構成される。12はメノウの剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。13は石英の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。16は珪質頁岩の剥片である。背面は礫面で覆われている。17は石英の剥片である。背面は、主剥離面と同方向の2面の剥離と先端部の方が礫面という構成である。20は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面と礫面とで構成されている。

接合資料（第146～150図21～24、25～27、28～29、30～31、32～33）21～24は安山岩の接合資料である。21～23は剥片で、24は石核である。21を剥ぐことによって打面を形成して順次長軸方向に後退しながら剥ぎ取っていく工程の理解できるものである。25～27はメノウの接合資料である。25、26は剥片、27は石核である。片側から一度に打ち欠いたような剥片類と思われる。28～29は安山岩Aの接合資料である。28は



第149図　第21ブロック出土遺物実測図（7）

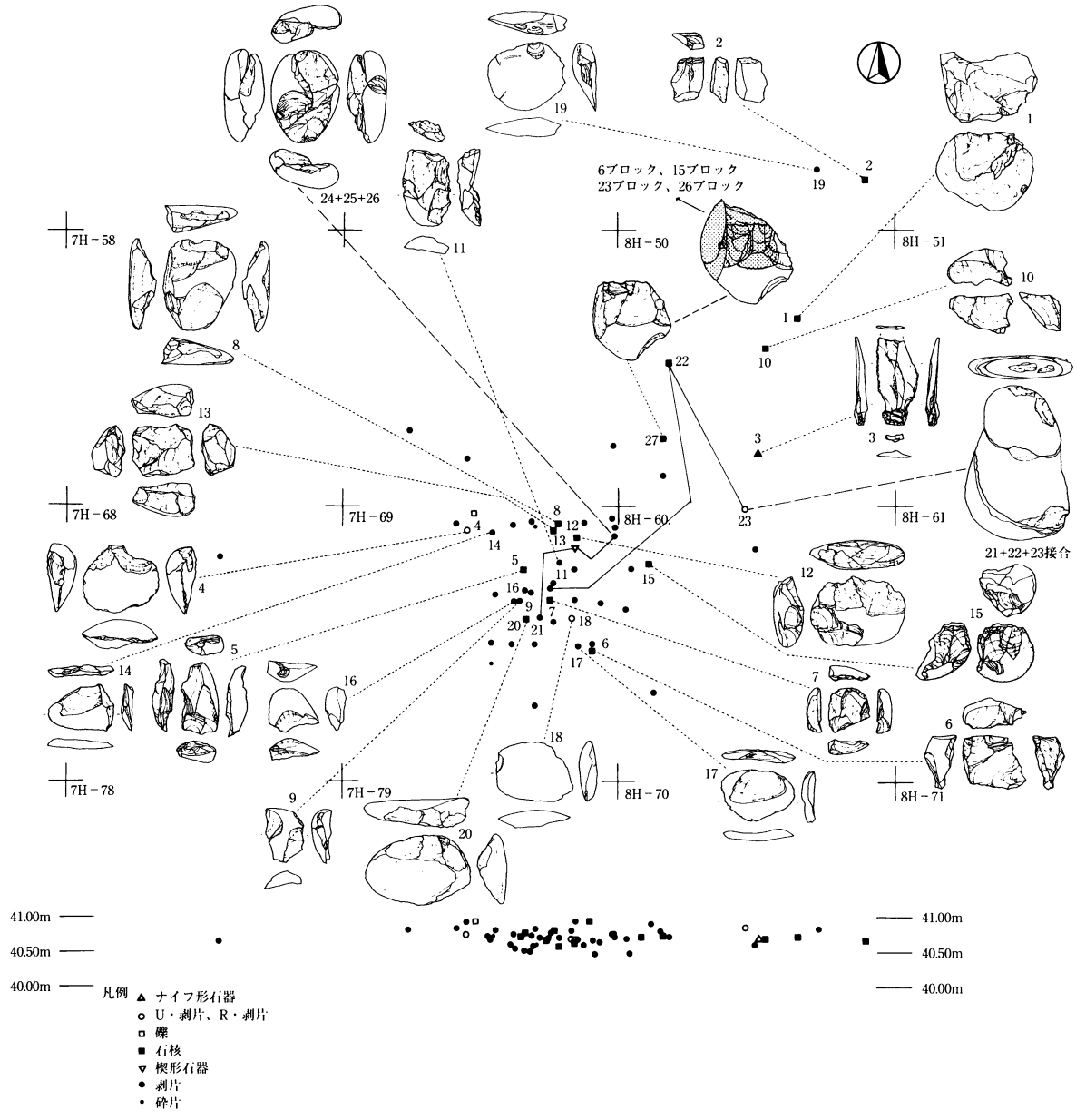
石核、29は剥片である。29の剥片を剥ぎその面を打面として剥片を剥いでる様子がわかる。多方向からの剥離面も見られる。30～31は安山岩Aの接合資料である。大きく荒割した段階で廃棄されている。32～33はホルンフェルスの接合資料である。43－28ブロックの剥片とも接合する。28ブロックで剥離された後に21ブロックに移動してきて周辺部分から剥離されている様子がうかがわれる。



第150図　第21ブロック出土遺物実測図（8）

第22ブロック　（第151～159図１～28、写真図版28、29、第22、60表）

分　布　　石器は、７Ｈ－69～８Ｈ－50グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、南西から北東に斜めに長く径７ｍくらいの範囲に広く分布している。

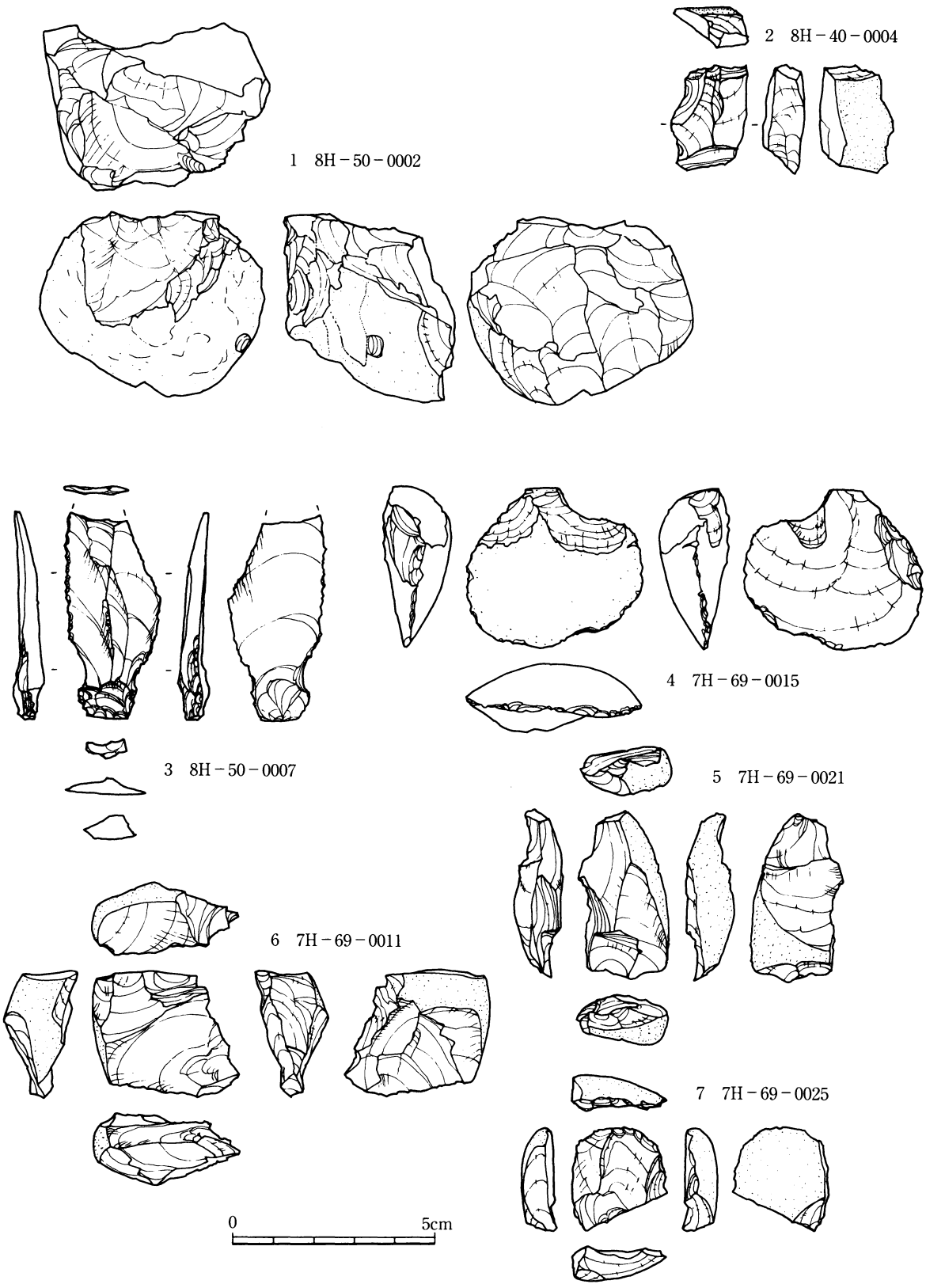


第151図　第22ブロック出土状況図（scale　1／100）

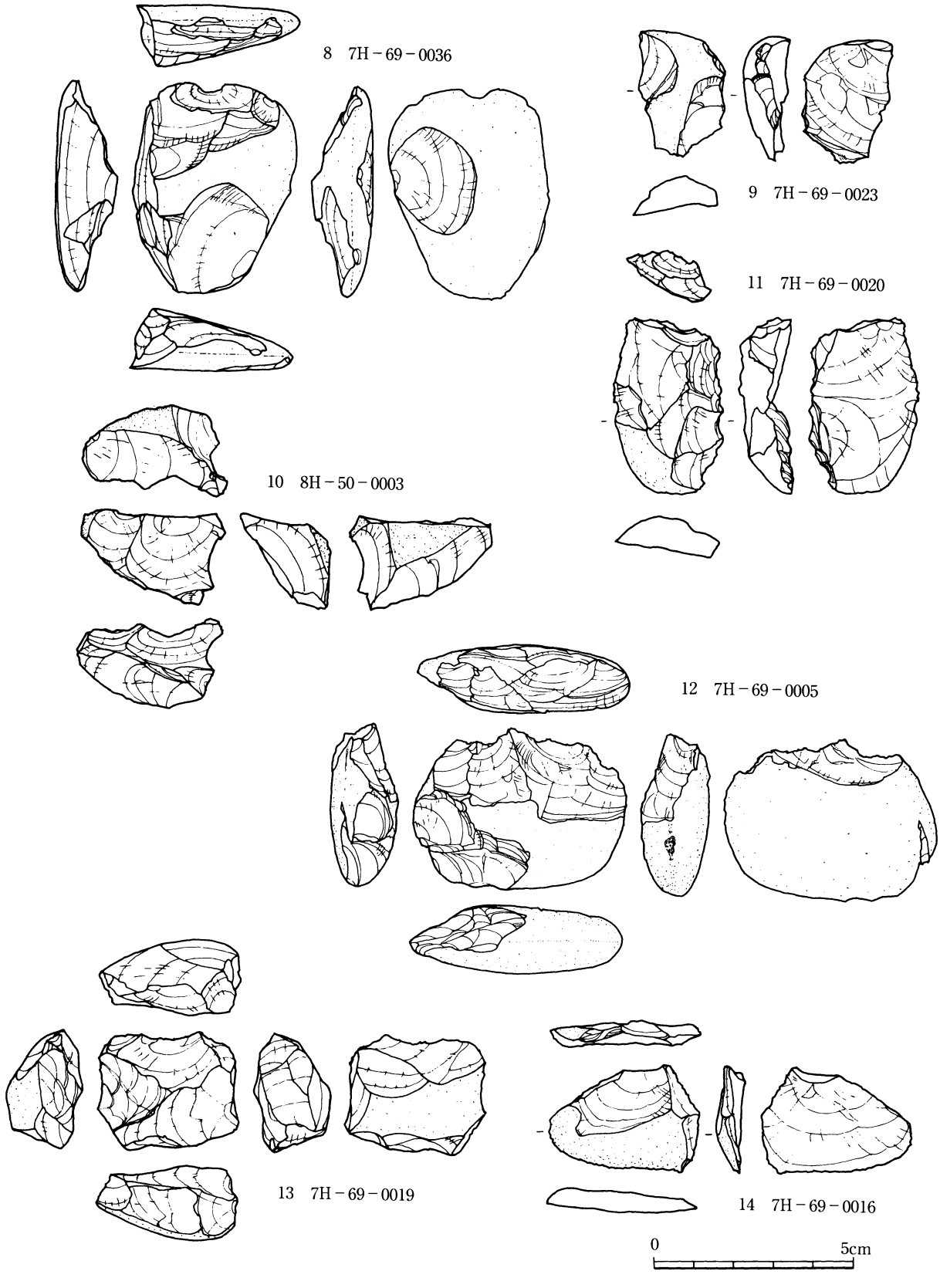
石　材　　チャート９点、ホルンフェルス６点、安山岩25点、砂岩６点、流紋岩８点、珪質頁岩３点、メノウ１点で構成される。安山岩25点で多いのが特徴である。

器　種　　楔形石器４点、ナイフ形石器１点、Ｒ・剥片３点、石核12点、剥片35点、砕片２点、礫２点の合計59点で構成される。石核と剥片の比率が高く剥片剥離が行われたことが考えられる。

ナイフ形石器（第152図３）３は珪質頁岩のナイフ形石器である。縦長剥片を素材として基部調整丁寧行っており、少し抉り気味である。左側縁辺部分にも刃つぶし気味の調整がおこなわれている。先端部分は折れているようである。



第152図　第22ブロック出土遺物実測図（1）

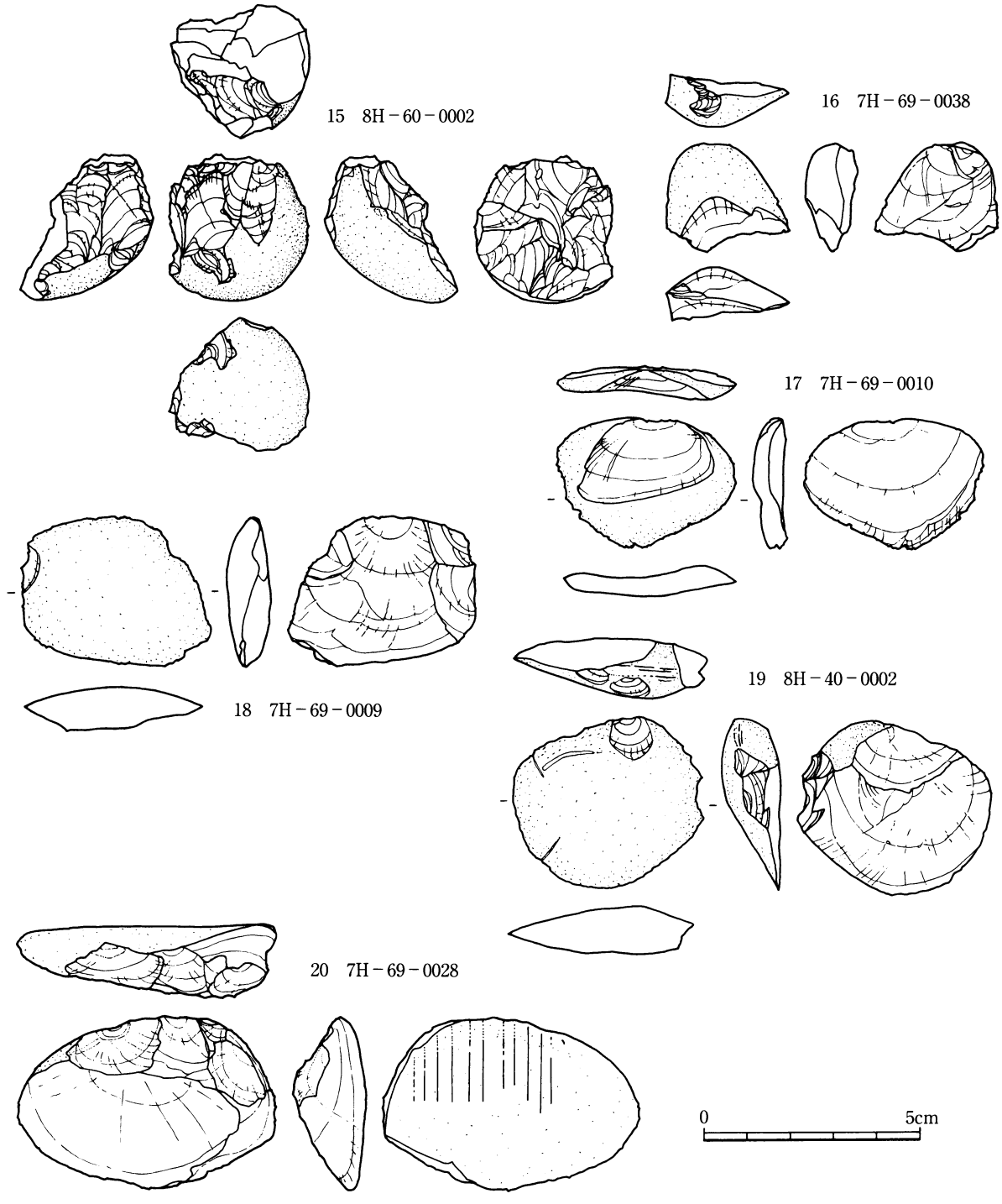


第153図　第22ブロック出土遺物実測図（2）

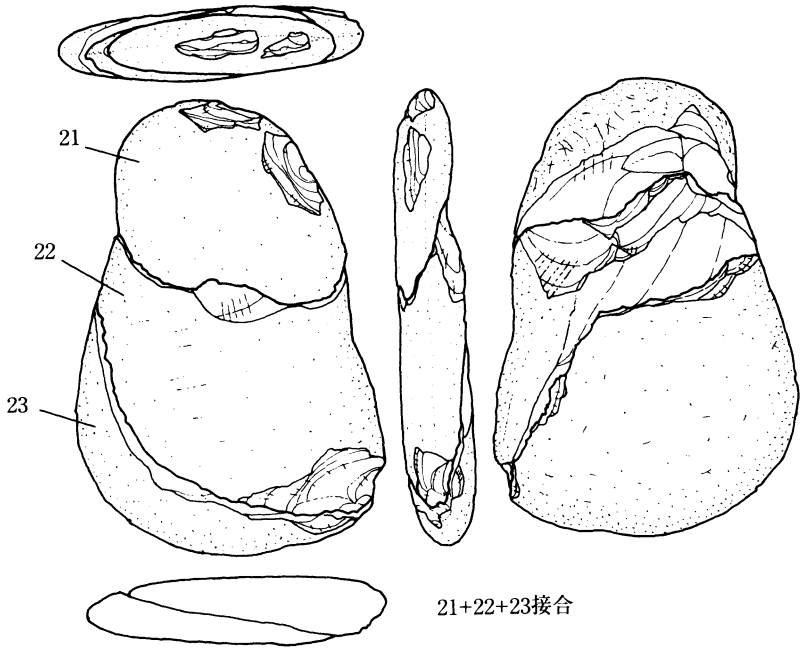
楔形石器（第152図７） ７は安山岩Ａの楔形石器である。片面に礫面を残す。

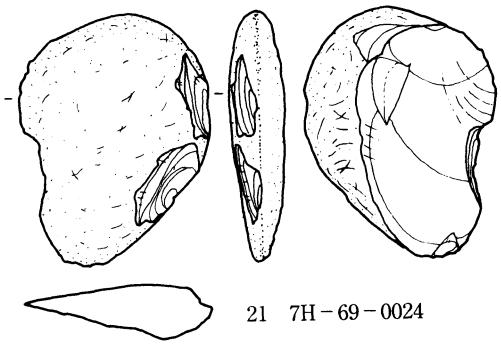
Ｒ・剥片（第152、154図４、18） ４はメノウのＲ・剥片である。打面部分を中心に大きな剥離で調整されている。また先端部に近い縁辺部分に連続的な刃こぼれがみられる。18は安山岩ＡのＲ・剥片である。背面は主剥離面で覆われている。主剥離面側の右側縁部分に大きな複数の剥離面が見られる。

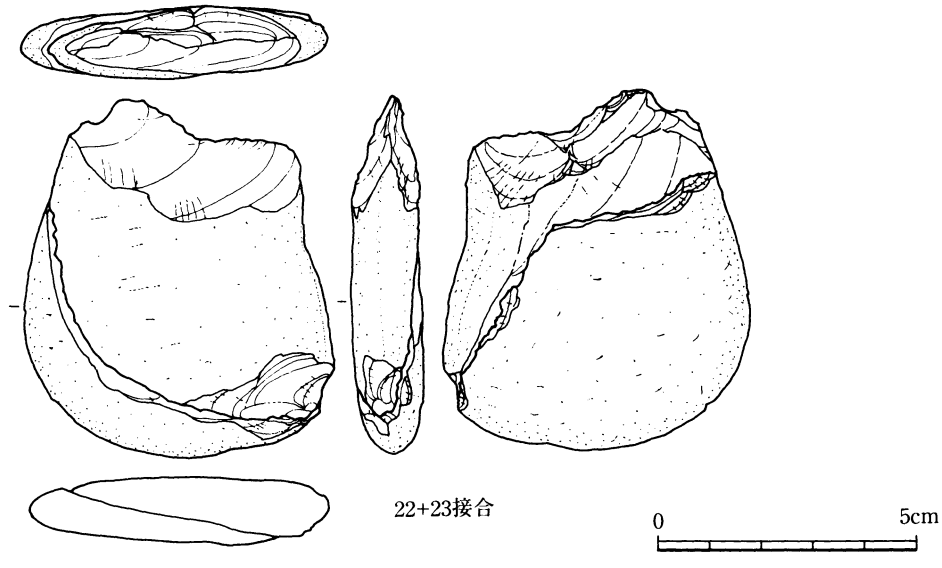
石核（第152～154図１、２、５、６、８、10、12、13、15、20） １は珪質頁岩の石核である。楕円礫を任意な方向から剥離して剥片を作り出している。かなりの部分礫面を残している。２は安山岩Ａの石核で



第154図　第22ブロック出土遺物実測図（3）



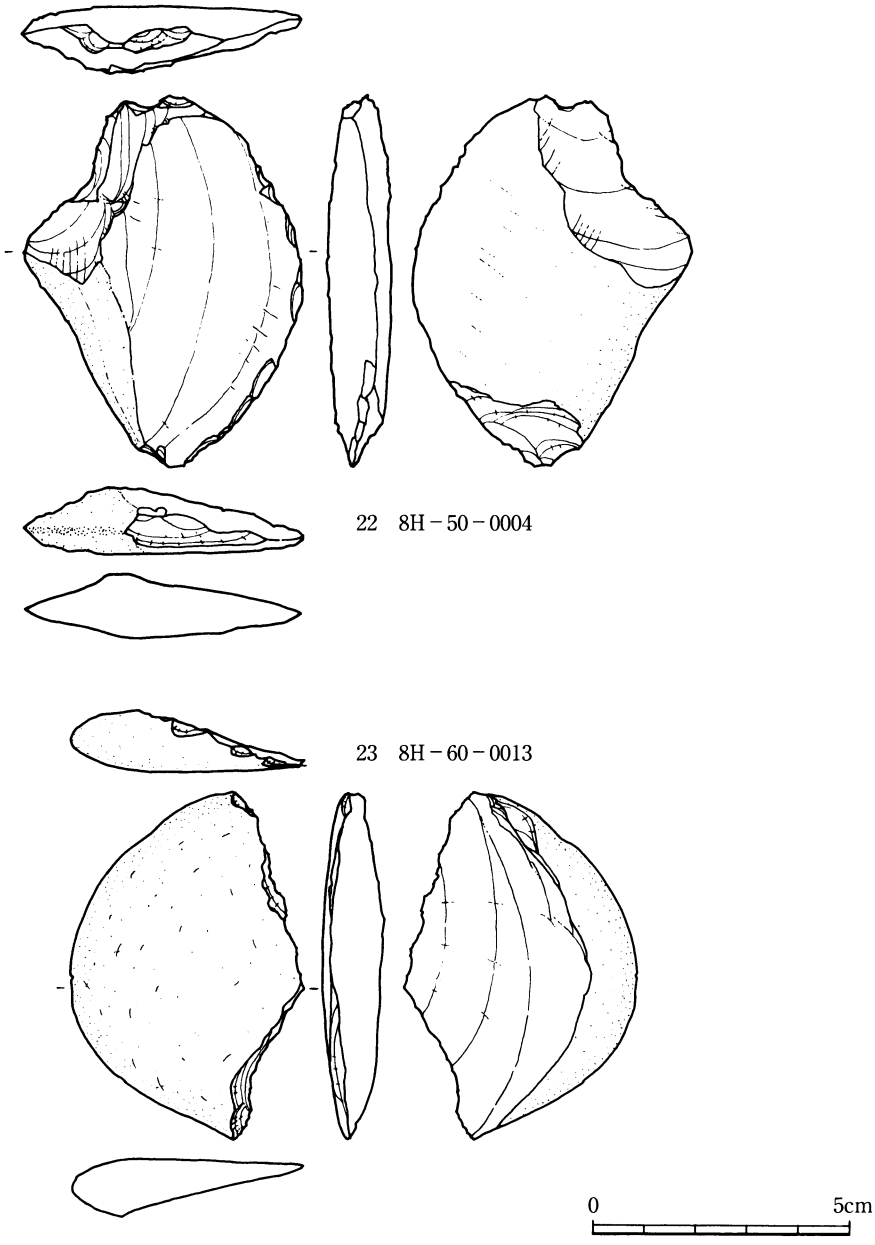




第155図　第22ブロック出土遺物実測図（4）

ある。剥片を再利用して小剥片を剥離している。5は安山岩Aの石核である。細長い礫を使用しているため、上下両方向からの剥離が主体の石核である。6は安山岩Aの石核である。任意な方向から小剥片を剥離している。礫面を一部残している。8は安山岩の石核である。比較的薄い礫を使用して任意に剥片を剥ぎ取っている。10は安山岩Aの石核である。剥離面を打面にして数枚剥離している。12はチャートの石核である。礫の周辺から剥離を行っている。かなり礫面を残している。13は安山岩の石核である。礫の周辺部分から剥離されている。15は珪質頁岩の石核である。礫を使用して任意な方向から小剥片を剥離している。礫面をかなり残している。20は砂岩の石核である。扁平の楕円礫の縁辺部分の片方向から数回剥離したものと思われる。片面側には短軸方向に摩滅痕が見られる。

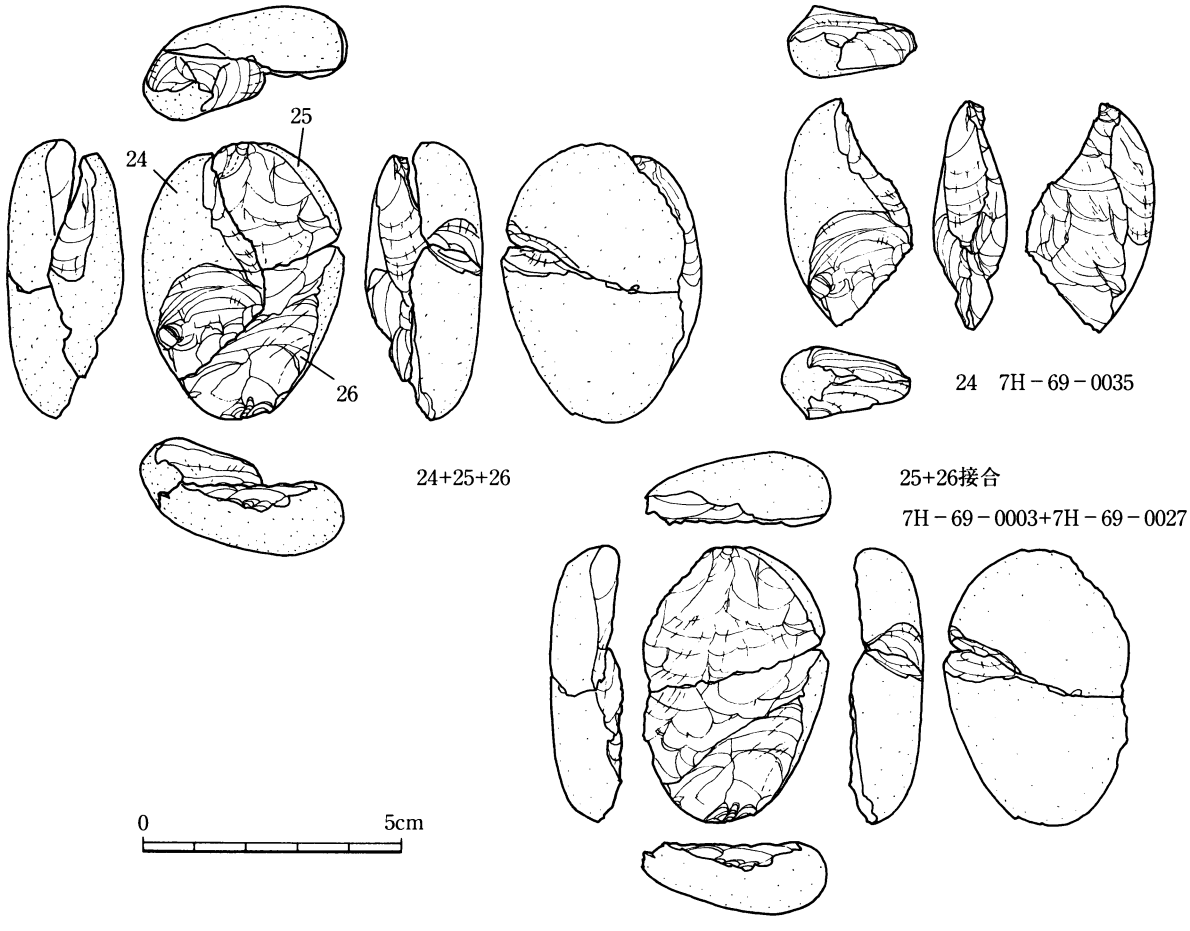
剥片（第153、154図9、14、16、17、19）9はチャートの剥片である。背面は主剥離面に対して左方向と下方向からの2面および礫面とで構成される。14は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の



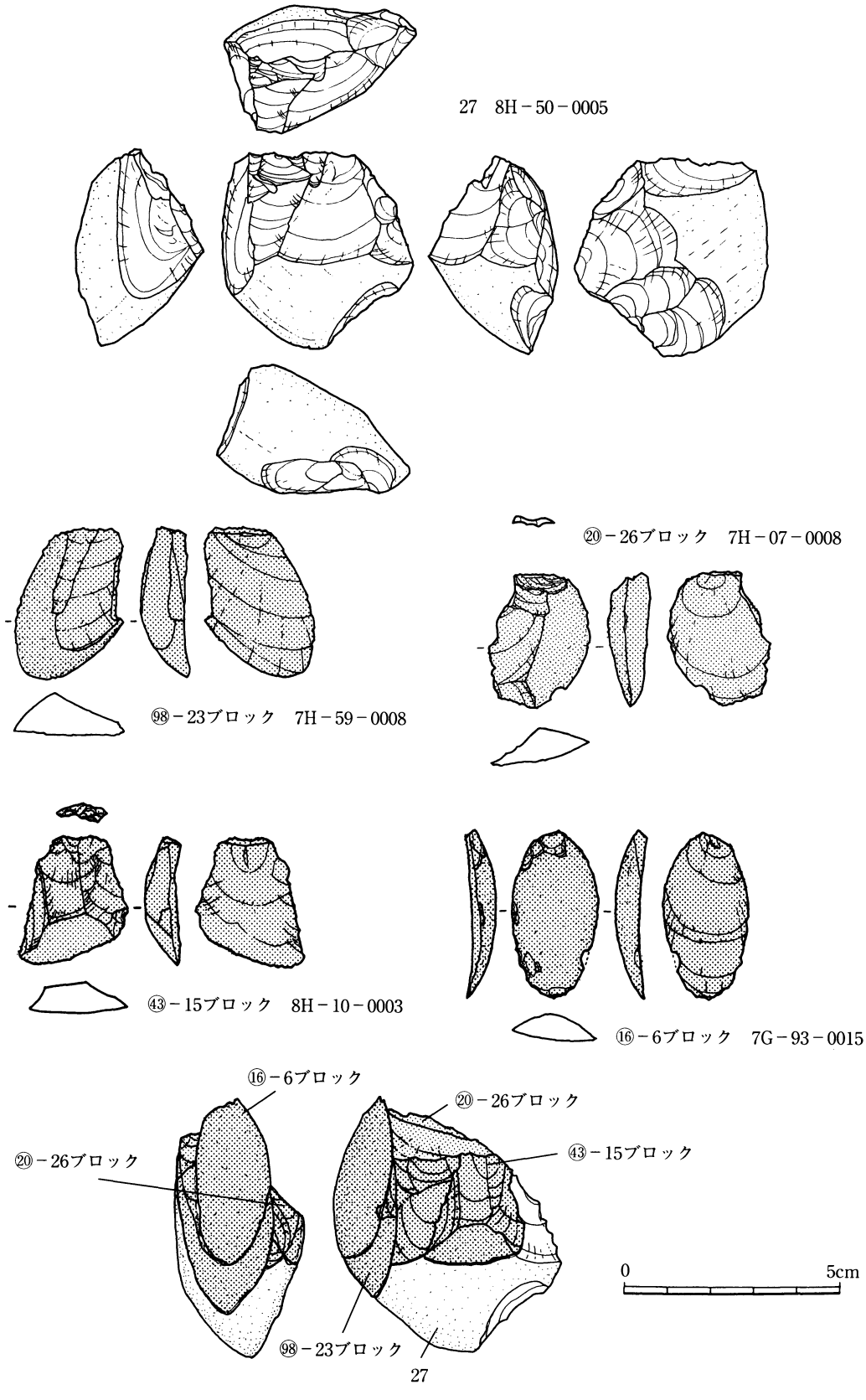
第156図　第22ブロック出土遺物実測図（5）

剥離と礫面とで構成されている。16は安山岩の剥片である。背面は主剥離面と逆方向の剥離面１面と礫面で覆われている。17は安山岩Ａの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面１面と礫面とで構成される。19は安山岩Ａの剥片である。背面は剥離時の打撃による剥離痕を除くと礫面で覆われている。右側縁部分に刃こぼれのようなものが見られる。

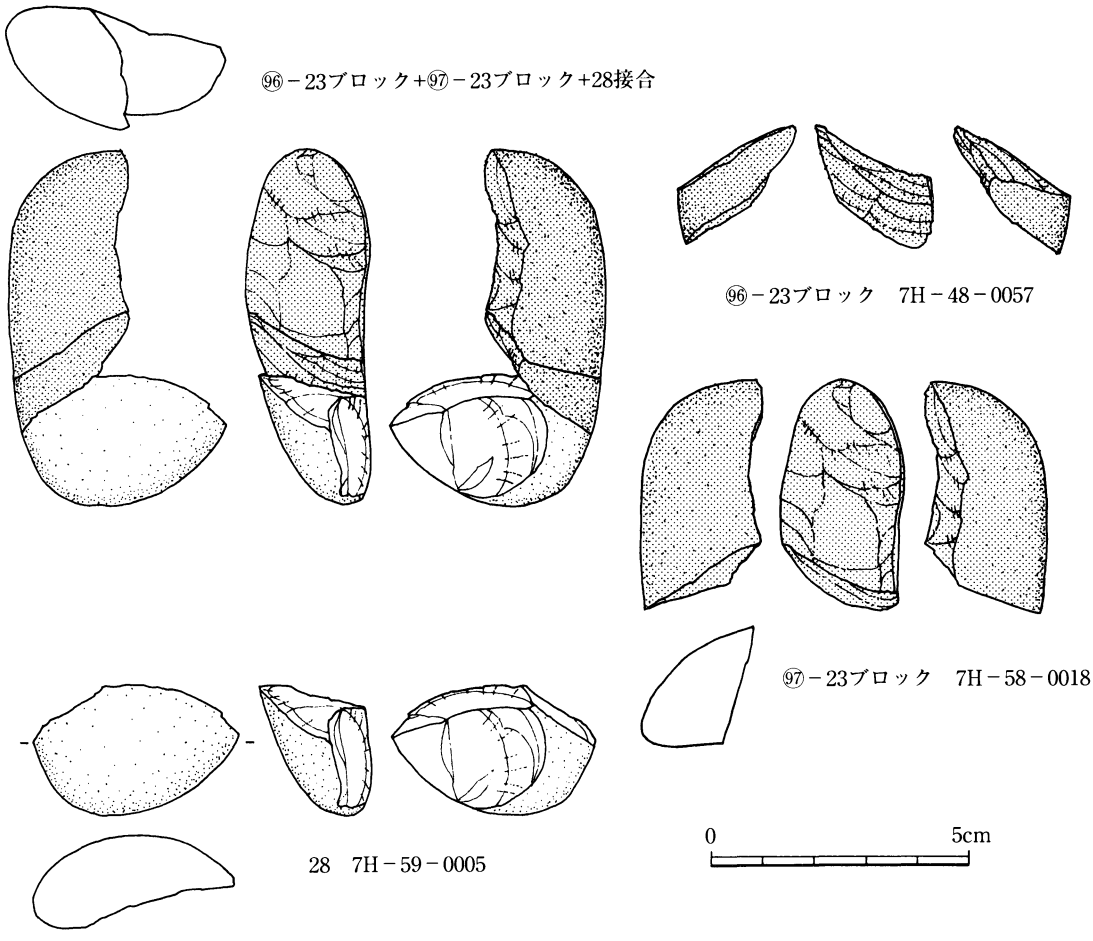
接合資料（第155～159図21～23、24～26、27、28）21～23はホルンフェルスの接合資料である。21は剥片、22は石核、23はＲ・剥片である。23は特に色調的にやや灰色が強く別の母岩ではないかと思われたが接合した。22、23とも縁辺部分が鋸歯状であるため二次的加工が行われていたと思われる。24～26はチャートの接合資料である。24～26はいずれも楔形石器である。27は流紋岩の接合資料のうちの石核である。剥片の形態も非常によく、剥片剥離の工程をよく表している資料といえる。28はホルンフェルスの接合資料の一部である。95～96－23ブロックの剥片と接合し、礫から荒割されていく剥片剥離の様子をよく表していると思われる。



第157図　第22ブロック出土遺物実測図（6）



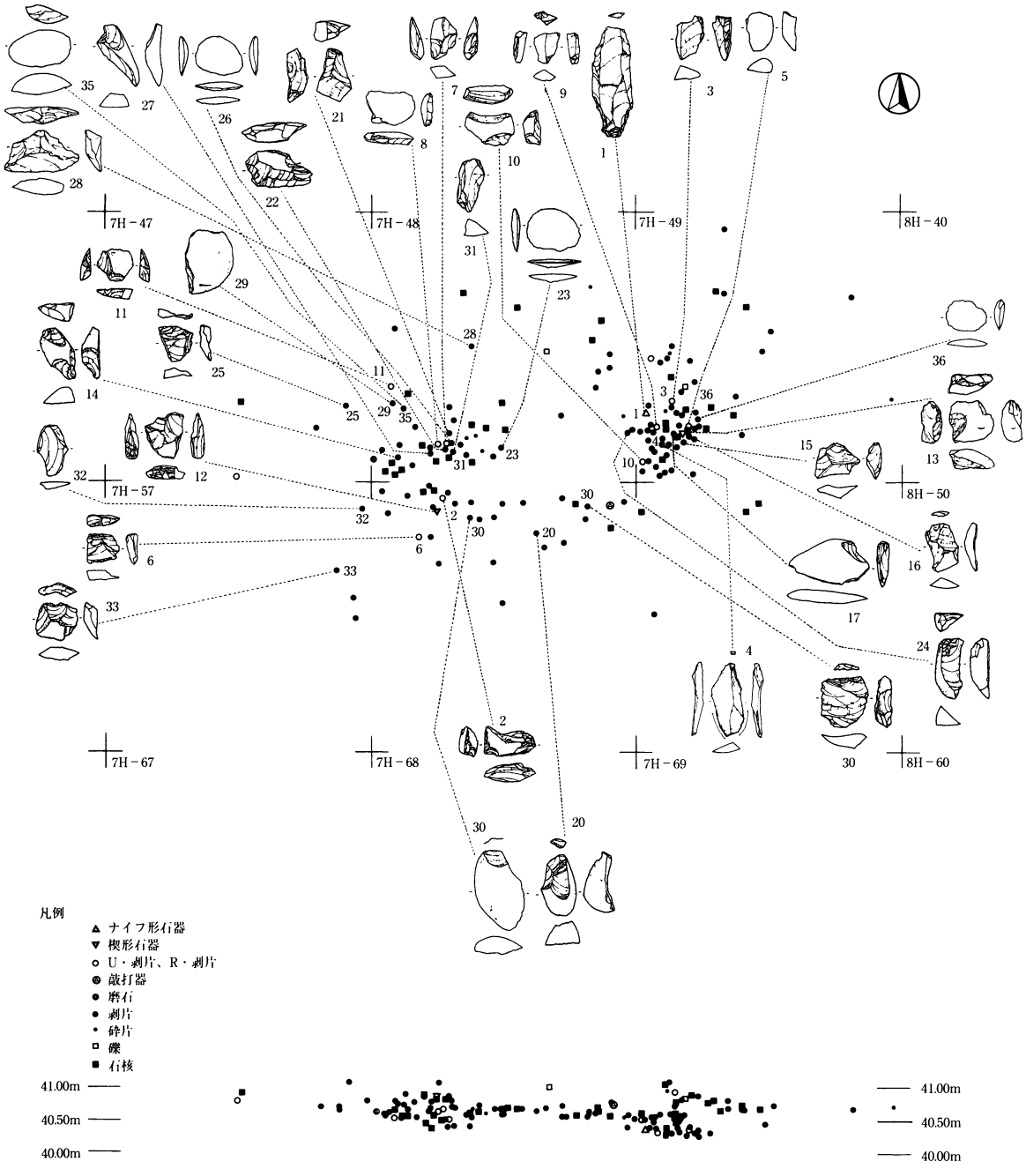
第158図　第22ブロック出土遺物実測図（7）



第159図　第22ブロック出土遺物実測図（8）

第23ブロック　（第160～182図１～100、写真図版30～32、第23、61表）

分　布　　石器は、７Ｈ－48～８Ｈ－49グリッドを中心に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、西側と東側２カ所に濃密な部分が認められる。全体的には径８ｍくらいの範囲に広く分布している。



第160図　第23ブロック出土状況図（1）（scale　1／100）

石　材　　チャート57点、ホルンフェルス17点、安山岩30点、砂岩25点、流紋岩４点、珪質頁岩13点、メノウ８点、結晶片岩８点、蛇紋岩２点、石英４点で構成される。チャートが多用されているのが特徴的なブロックである。

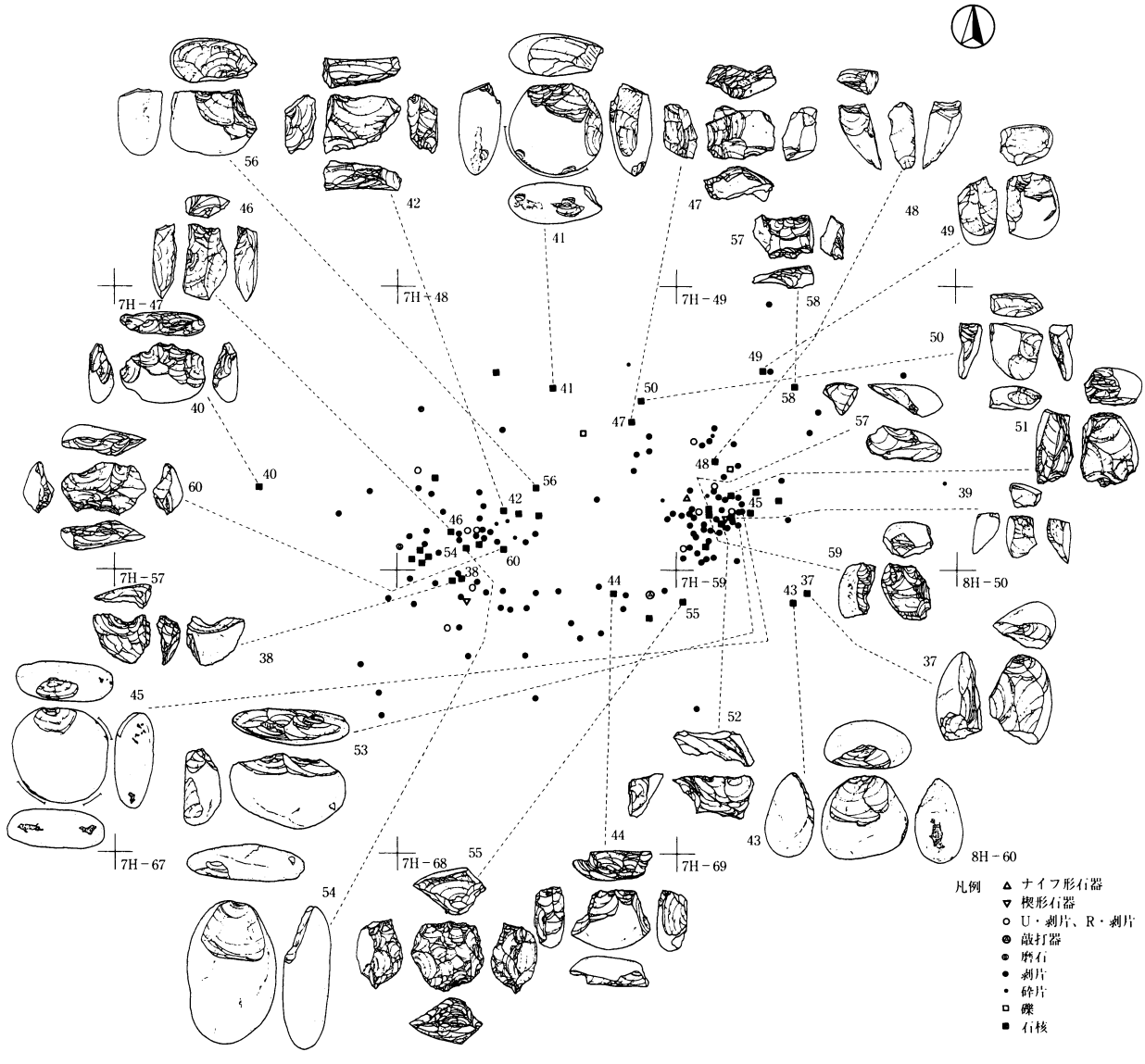
器　種　　楔形石器４点、ナイフ形石器１点、台形石器１点、Ｒ・剥片13点、石核36点、剥片105点、砕片９点、敲石１点、磨石１点、礫３点の合計174点で構成される。Ｕ・剥片、Ｒ・剥片の比率と石核の比率の高いのが特徴的なブロックである。

ナイフ形石器（第164図１）１は珪質頁岩のナイフ形石器である。縦長の刃器状剥片を素材として基部調整および先端部分の若干の調整とで仕上げてある。先端部は折れていると思われる。

台形石器（第164図12）12はメノウの台形石器である。両側縁部分から基部にかけて調整が施されている。基部は礫面で覆われている。

楔形石器（第164図13）13はチャートの楔形石器である。背面はほぼ礫面で覆われている。打面部と先端部分には打撃による剥離が見られる。

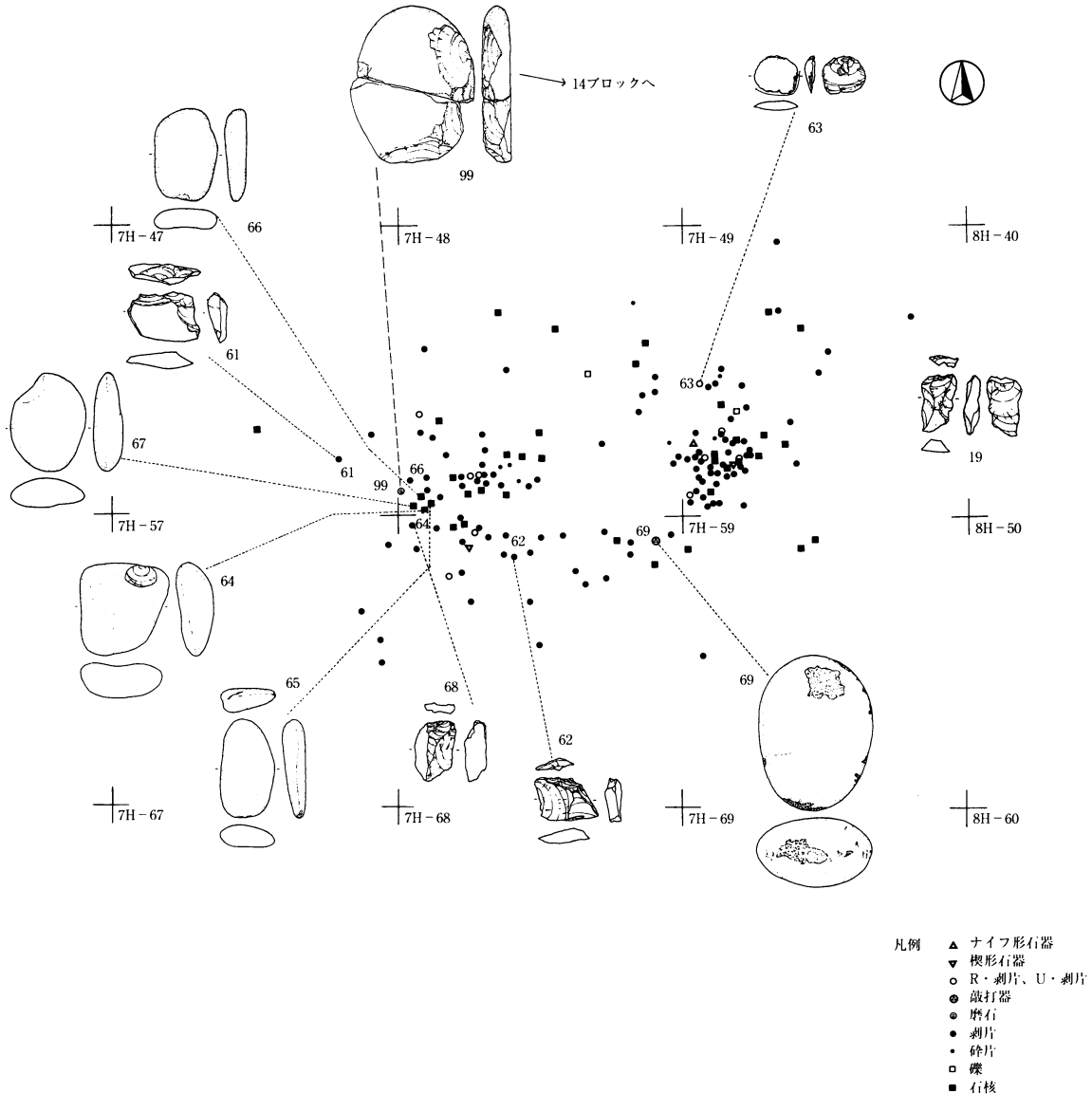
Ｒ・剥片（第164図２～７、９～11）２はホルンフェルスのＲ・剥片である。両側縁部分に細かな調整を施している。背面は礫面で覆われている。３は安山岩のＲ・剥片である。打面部および先端部分を中心に細かな調整が見られる。４は珪質頁岩のＲ・剥片である。打面部分に近い右側側縁部分に調整、および



第161図　第23ブロック出土状況図（2）（scale　1／100）

先端部分に近い両側縁部分に細かな刃こぼれ状の剥離が見られる。あるいは1と同様に基部調整のナイフ形石器としたほうがよいかもしれない。5は安山岩AのR・剥片である。背面が礫面で覆われる不正形な剥片である。主剥離面の右側側縁部分に複数の調整による剥離が見られる。6はホルンフェルスのR・剥片である。打面部を中心に複数の調整による剥離が見られる。7はホルンフェルスのR・剥片である。剥片を横位に用いて基部を中心に荒い調整を施している。形態的に切り出し形の石器と考えても良さそうなものである。9はチャートのR・剥片である。縁辺部分の片側に細かな調整が見られる。10は安山岩AのR・剥片である。先端部分に細かな調整が見られる。背面は一部礫面で覆われている。11はチャートのR・剥片である。基部の一部と縁辺の一部に調整が見られる。台形石器としてもよいかもしれない。

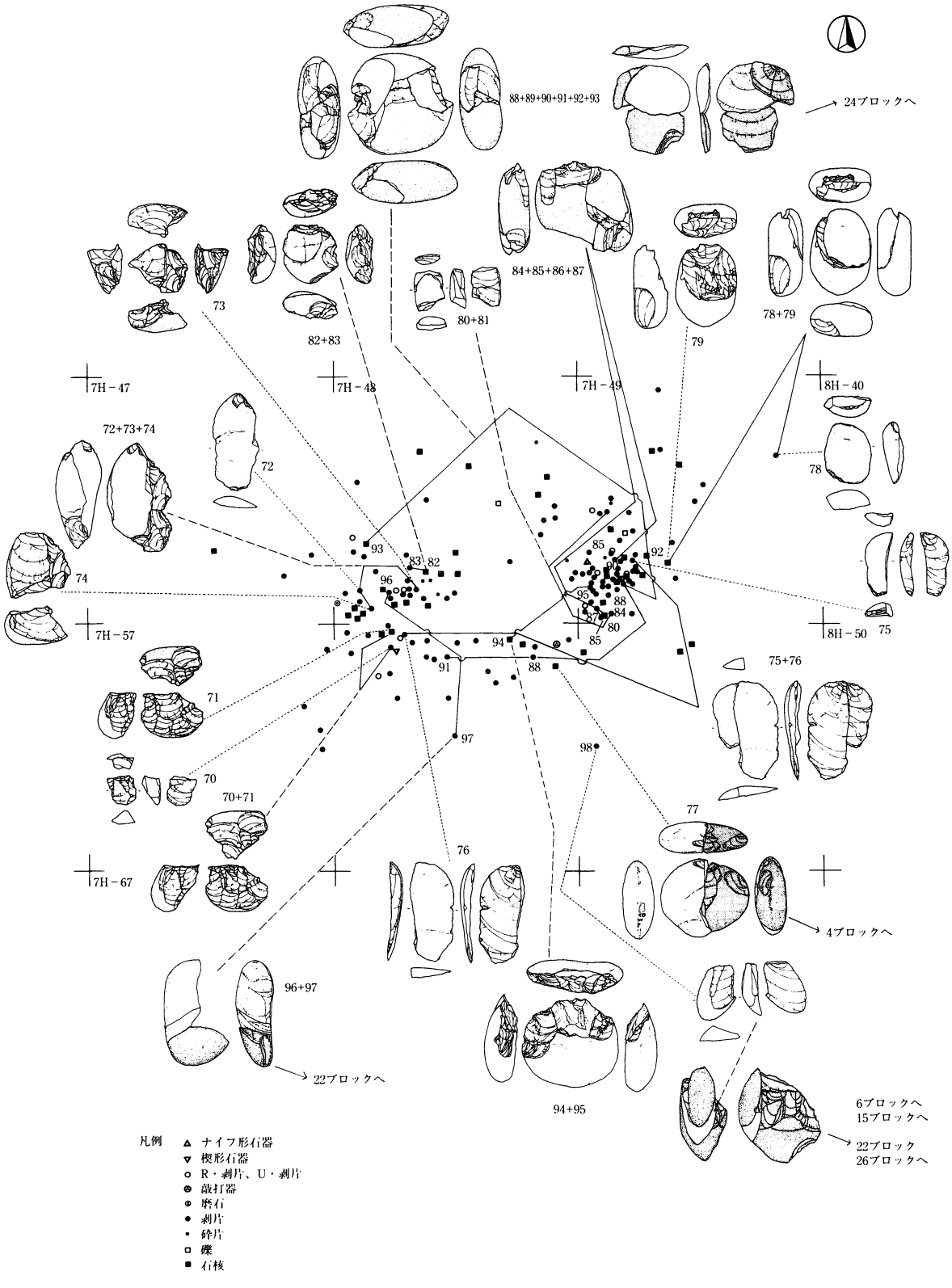
U・剥片（第172図62、63）62はチャートのU・剥片である。左側側縁部分に細かな刃こぼれが見られる。63はチャートのU・剥片である。縁辺部分から先端部分にかけて細かな刃こぼれが見られる。背面は礫面で覆われている。



第162図　第23ブロック出土状況図（3）（scale 1／100）

敲石（第173図69）69は砂岩の敲石である。周辺部分を中心に打痕が残されている。平面の片側にも打痕が多く見られる場所があり、台石として機能した可能性も考えられる。

石核（第167～172図37～60、64）37は石英の石核である。礫から剥がされた剥片を素材にして複数回剥



第163図　第23ブロック出土状況図（4）（scale　1／100）

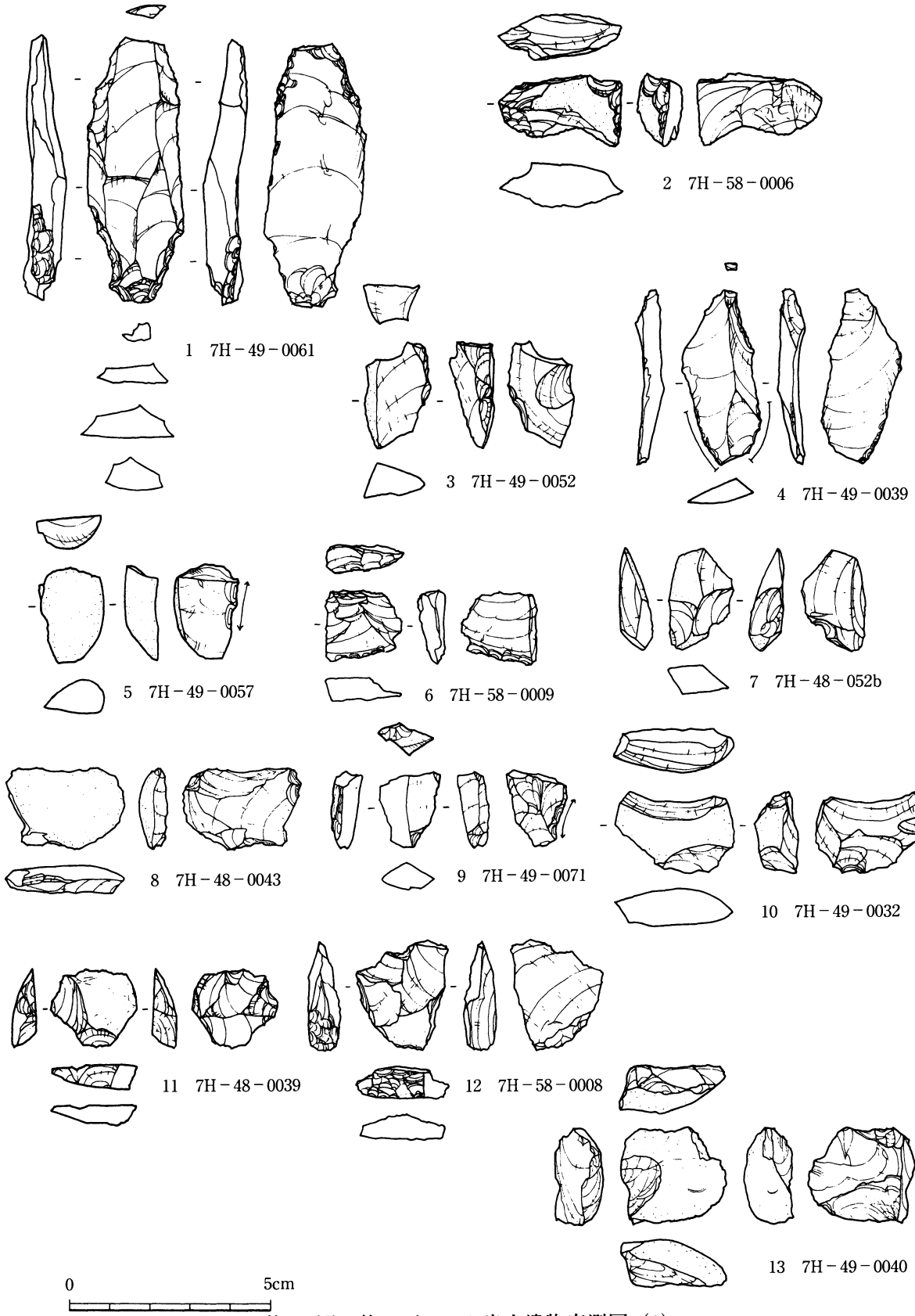
離している。38はチャートの石核である。礫から剥がされた剥片を素材にしている。39は安山岩Aの石核である。礫から剥離された剥片を素材として小剥片を剥離している。背面は礫面に覆われている。40はチャートの石核である。礫の周辺部分から約半周剥離を行っている。41は砂岩の石核である。扁平な円礫の周辺部から剥離している。石核の周辺部分には剥離時に台石に当たった打撃痕が残っている。42はホルンフェルスの石核である。礫から剥がされた大形の剥片を素材にして周辺部分に任意な方向で剥離している。礫面を一部残している。43は珪質頁岩の石核である。やや扁平な円礫の周辺を打面として2面剥離している。右横に打撃された痕があり、敲石としての可能性もある。44はメノウの石核である。礫から剥がされた剥片を素材にしてより小さな剥片を剥離していたと思われる。かなり礫面を残している。45は砂岩の石核である。円礫の周辺部より1回剥離している。周辺部分にはところどころ打痕が見られる。46はホルンフェルスの石核である。大形の剥片を素材として多方位から任意に剥片剥離を行っている。礫面をかなり残している。47はチャートの石核である。剥片を素材にして周辺より小さな剥片を任意な方向から剥離している。礫面を一部残している。48は安山岩Aの石核である。剥片を素材にして小剥片を剥離している。49はチャートの石核である。礫の片側側縁部分から剥離を行い、その剥離面を打面として回るように剥離している。礫面をかなり残している。50は珪質頁岩の石核である。剥片を素材にして主剥離面に対して左方向から複数回剥離を行っている。51は珪質頁岩の石核である。礫を素材にして任意の方向から剥離している。礫面をかなり残している。52はチャートの石核である。剥片を素材にして小剥片の剥離を行っている。一部に礫面を残している。53は安山岩Bの石核である。楕円礫の片側側縁部分から複数回の剥離が行われている。54はメノウの石核である。長楕円礫の縁辺部分から1面剥離しただけでほぼ原石の形態を残しているものである。55はチャートの石核である。礫の周辺部分から中程に向かって細かな剥離が表裏とも行われている。一部に礫面を残している。56はチャートの石核である。礫の最初の剥離面を打面として複数回剥離しているのがわかる。かなりの部分礫面を残している。57はホルンフェルスの石核である。背面が礫面で覆われている剥片を素材にして、小剥片を剥いでいる。58はチャートの石核である。剥片の上下方向から小剥片を数回剥離してる。59はチャートの石核である。小円礫を荒割した剥片を素材として、割られた面を打面にして小剥片を剥ぎ取っている。60は安山岩Aの石核である。片側を両側縁部から剥ぎ取っており、尖頭器状の形態を呈する。片面は礫面で覆われている。64は安山岩Bの原石に近い石核である。側縁部分からの打撃で1面剥離しているもののほぼ礫面に覆われている。65は安山岩Bの原石である。打撃された痕は認められるもののほぼ原礫状態といって過言ではない。66はメノウの原石である。打撃されたあとは認められない。67はメノウの原石である。側縁部分に打撃痕は認められる。64～67に見られるようにこうした大きさの楕円礫が石核素材として多用された可能性は非常に高いと思われる。

剥片（第164～166、172図8、14～35、61、68）8はチャートの剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。右側側縁部分に若干の刃こぼれが見られる。14は砂岩の剥片である。背面は主剥離面と逆方向の剥離面2面と同方向の剥離面1面、および礫面によって構成されている。15はチャートの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面2面と右方向の剥離面1面とで構成されている。16はチャートの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面3面と先端部分の礫面によって構成されている。17は珪質頁岩の剥片である。貝殻状の形をした横剥ぎの剥片で主剥離面に対して右側からの剥離が1面みられるものの、ほぼ礫面でおおわれている。18は砂岩の剥片である。横剥ぎの剥片で背面は礫面によって覆われている。19は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面2面と逆方向の剥離面1面、および先端部分

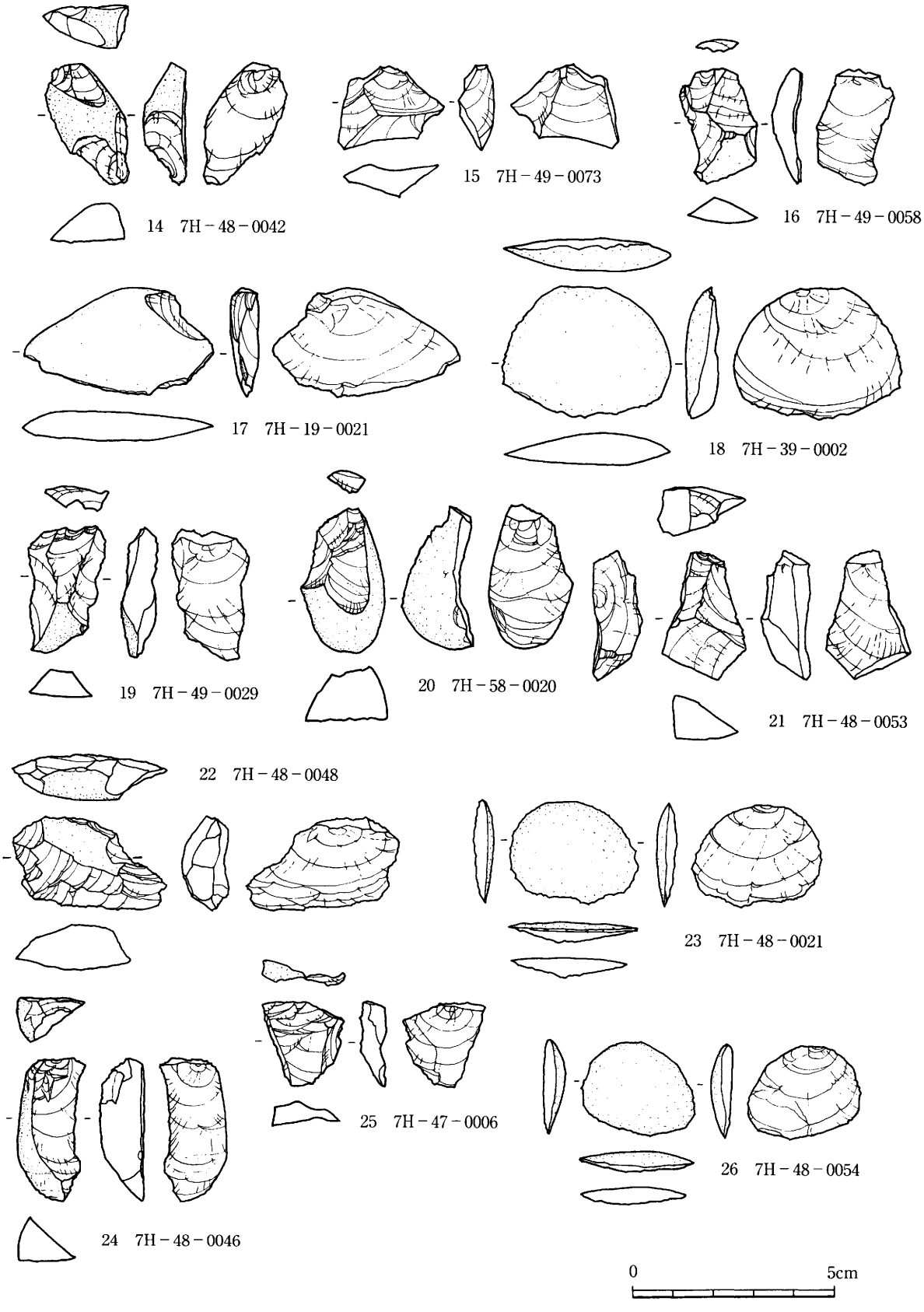
の礫面によって構成される。20は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面4面と礫面とで構成されていて、原礫の形状の一部を残しているため比較的厚みのある剥片である。21はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面2面と右方向からの剥離面1面によって構成されている。22はホルンフェルスの剥片である。横剥ぎの剥片で背面は主剥離面に対して左方向からの複数の剥離と礫面によって構成されている。23は砂岩の剥片である。比較的薄い剥片で背面は礫面で覆われている。24はチャートの剥片で断面は三角形を呈する。背面は主剥離面と同方向の剥離面1面と左側辺部分を礫面によって構成している。25は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向からの複数の剥離面と右方向からの剥離面1面とで構成されている。26は砂岩の剥片である。背面は礫面で覆われている。27はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面に対して左方向からの剥離面2面によって構成されている。28はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面3面と逆方向からの剥離面1面によって構成されている。29はチャートの剥片である。背面は礫面で覆われている。礫の周辺部分からの剥離をしたのち大きく剥がされたと思われる。30はチャートの剥片である。背面は打撃に伴って剥離した面を除いてほぼ礫面に覆われている。31はチャートの剥片である。打撃による上下方向の小剥離がみられる。楔形石器としてもよいものかもしれない。32はチャートの剥片である。背面は主剥離面に対して右方向からの剥離で構成されている。33は石英の剥片である。背面は主剥離面に対して左方向からの剥離で構成されている。34はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面3面と右方向の剥離面1面、および先端部分の礫面によって構成されている。35は砂岩の剥片である。背面は礫面で覆われている。36はチャートの剥片である。背面は礫面で覆われている。61はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数回の剥離と礫面によって構成される。68はチャートの剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数の剥離面と左側に沿った礫面とで構成されている。

接合資料（第173～179図70～71、72～74、75～76、77、78～79、80～81、82～83、84～87、88～93、94～95）70～71は珪質頁岩の接合資料である。70は剥片、71は石核である。剥離面を打面にした後、片側より比較的整った剥片を剥ぎ取っている様子がわかる資料である。72～74はチャートの接合資料である。72は背面がほぼ礫面に覆われている縦長の剥片である。73および74はいずれも石核としたものである。任意な方向から剥離しておりその剥離面を見る限り、73の縦長剥片の剥離は意図されて剥がされたものとは言い難い。75～76はチャートの接合資料である。75は楔形石器、76はU・剥片である。75は先端部分に細かな剥離が見られる。76は右側側縁部分に細かな刃こぼれが見られる。接合した状態から見る限り一度の剥離で剥がされたものと思われる。背面は礫面で覆われている。77は15－14ブロックと接合するチャートの接合資料である。77は楔形石器で上下両端に打撃痕が見られる。他の縁辺部分にも多くの打痕が見られる。78～79はチャートの接合資料である。78は楔形石器である。上下両端および左右にも打撃による剥離痕が見られる。背面はほぼ礫面で覆われている。79はチャートの石核である。礫の周辺部分から剥ぎ始めた石核と思われる。80～81はチャートの接合資料である。80、81ともに礫面を一部残す剥片である。82～83はチャートの接合資料である。82は石核で片面は周囲から剥片を剥ぎ取っている。もう片面は周辺から何面か剥ぎ取っているものの礫面がかなり残っている。接合した83の剥片は剥ぎ取られた剥片のなかでは大きい方の剥片と思われ、背面はかなり礫面で覆われている。84～87は珪質頁岩の接合資料である。84は石核である。85～87は剥片である。接合状況から判断すると楕円礫の上下両端に打面を形成した後、上方向から剥離作業をおこなっていることがわかる。88～93は砂岩の接合資料である。接合した状況からは主に左

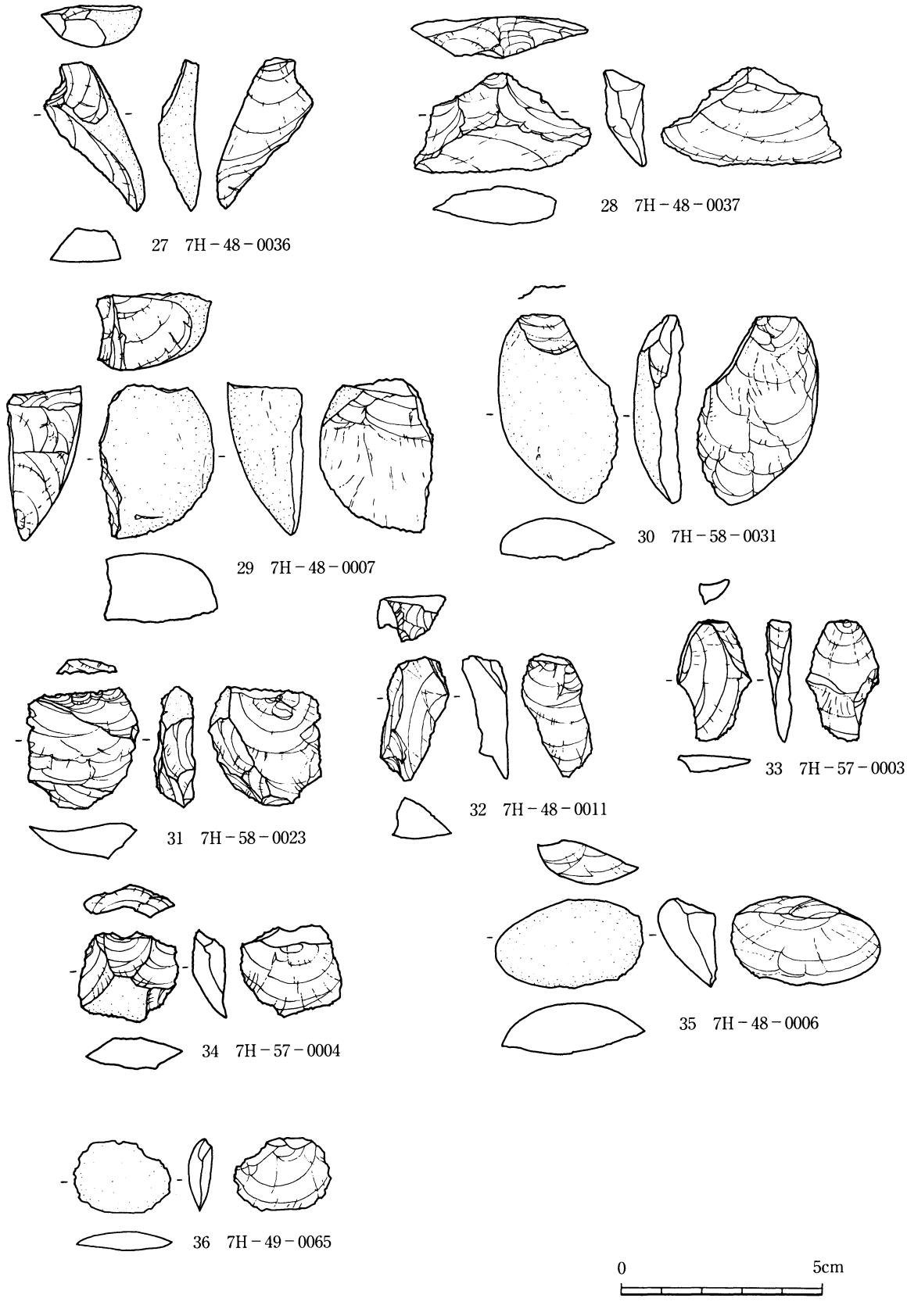
右両方向からの剥離が行われていたことがわかる。94～95はチャートの接合資料である。94は石核、95は剥片である。楕円礫の周辺部分からの剥離が行われていたことがわかる資料である。96～97は28－22ブロ



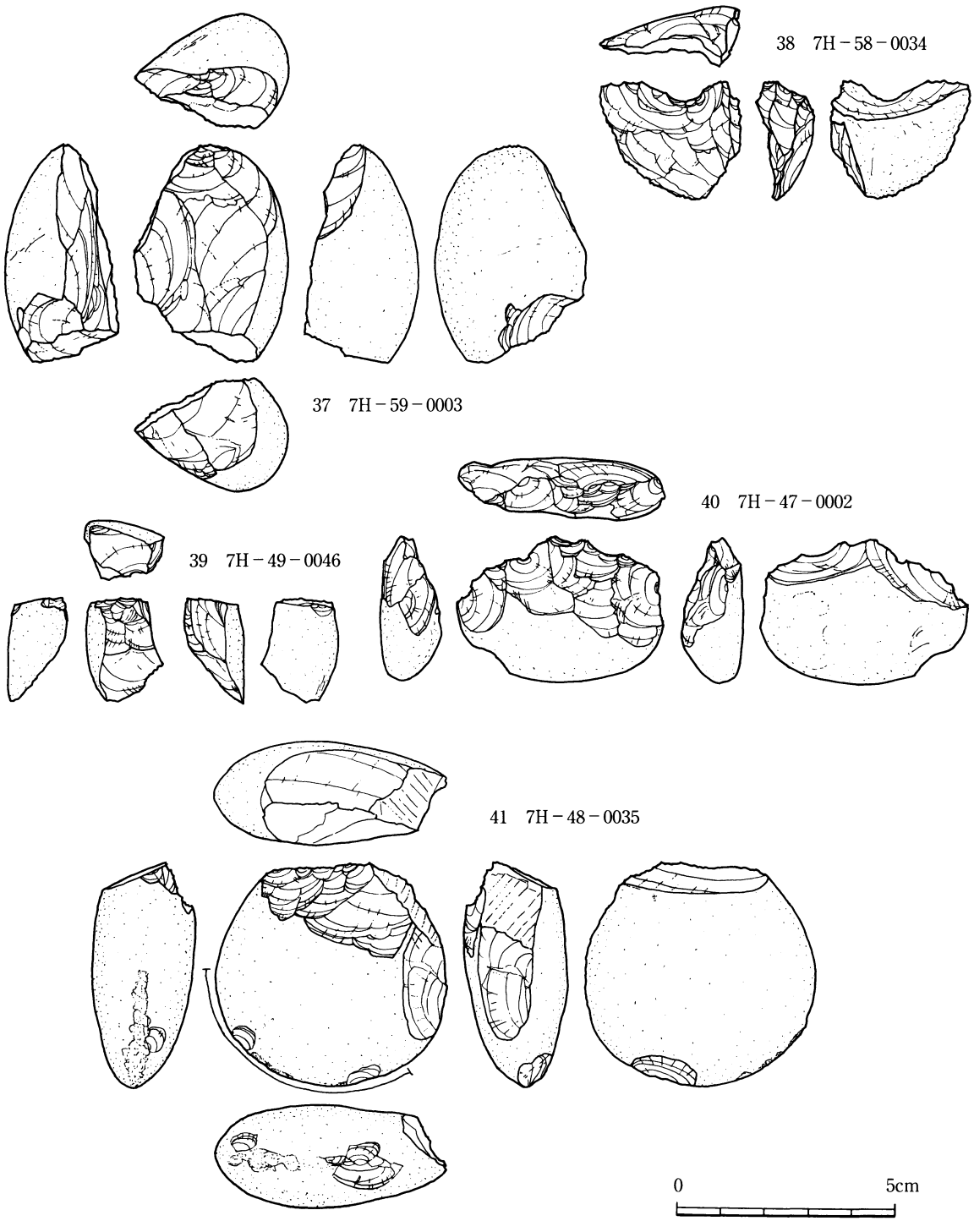
第164図　第23ブロック出土遺物実測図（1）



第165図　第23ブロック出土遺物実測図（2）



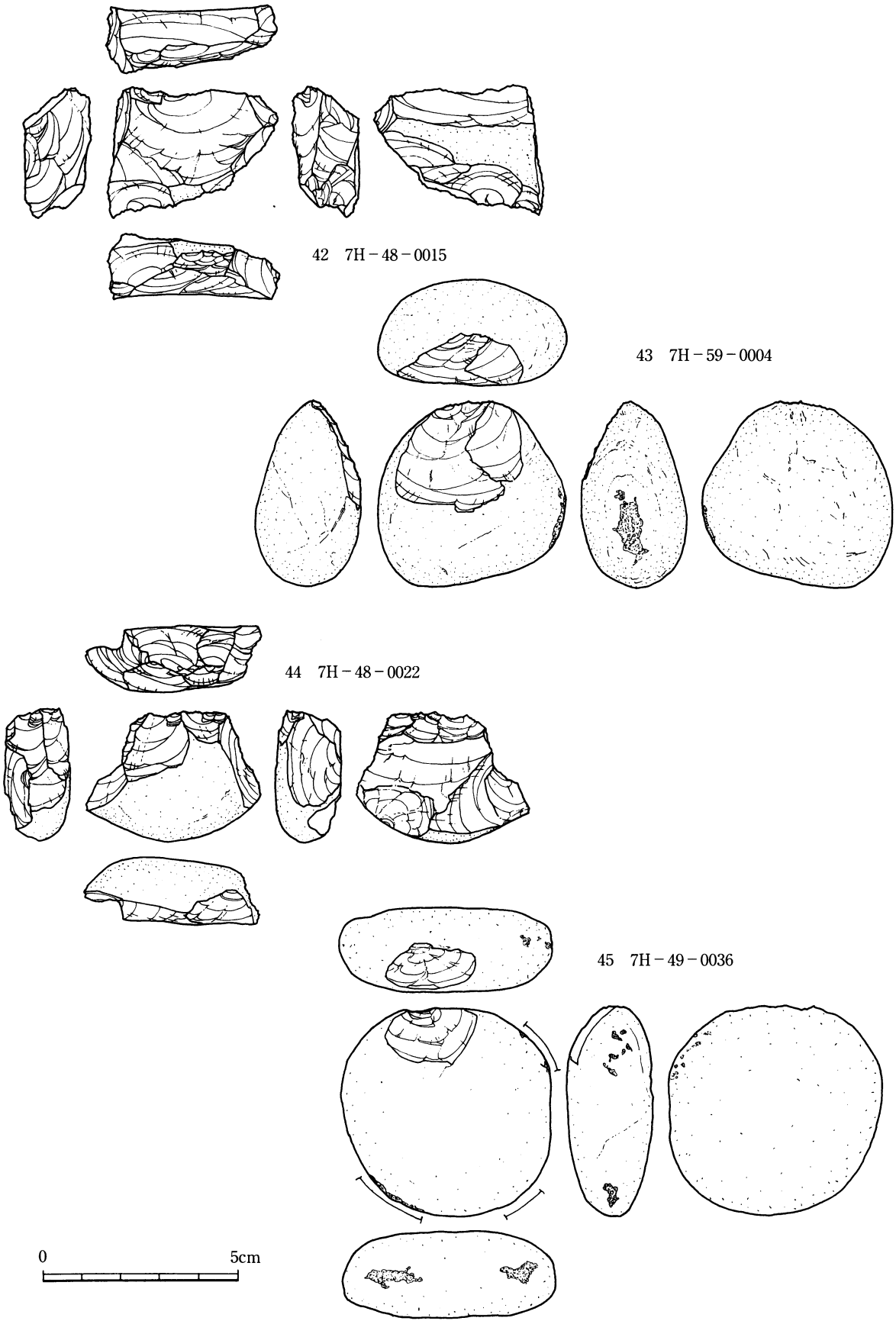
第166図　第23ブロック出土遺物実測図（3）



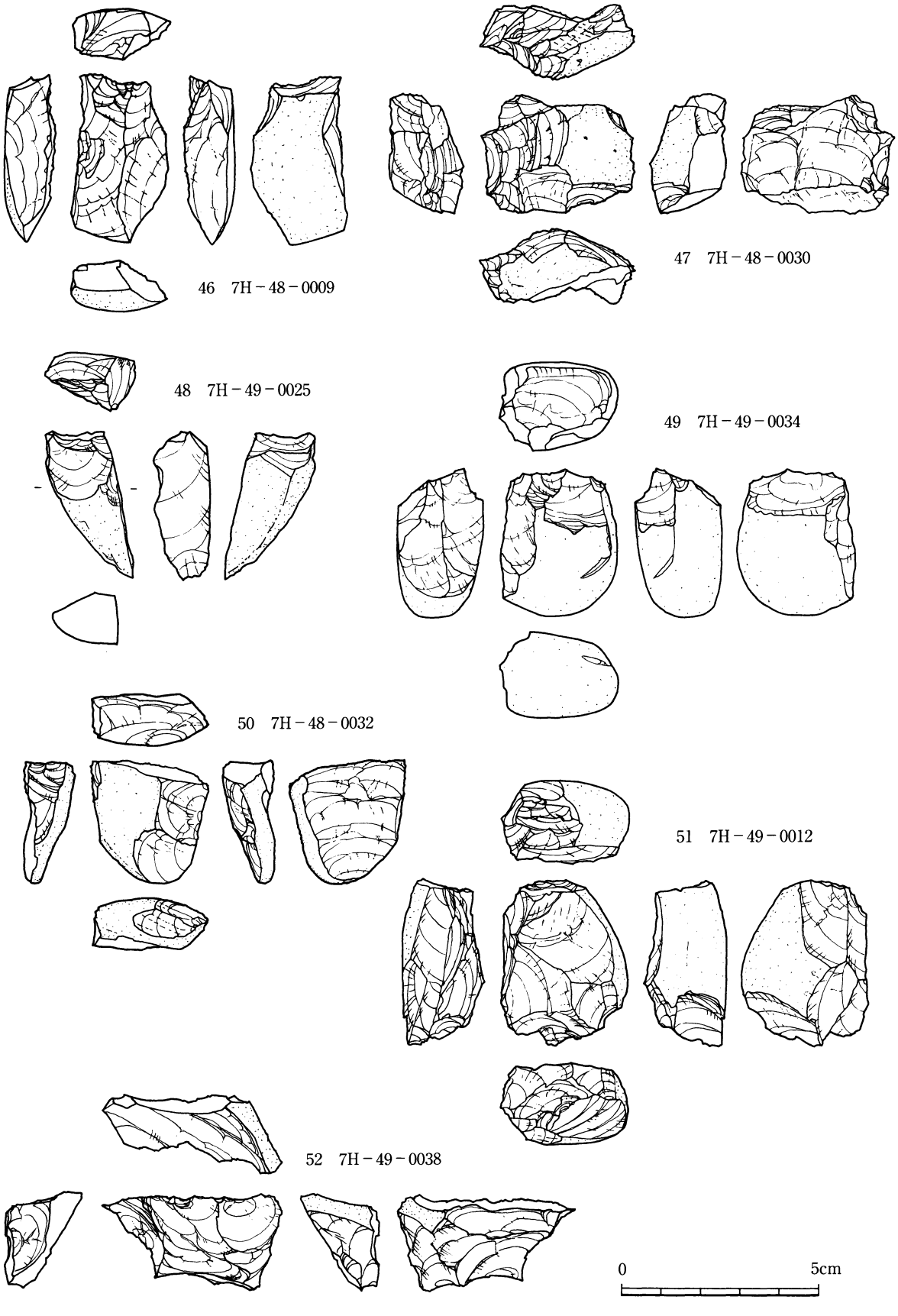
第167図　第23ブロック出土遺物実測図（4）

ックの剥片と接合する資料である。礫を荒割して石核の素材することを表している資料かもしれない。

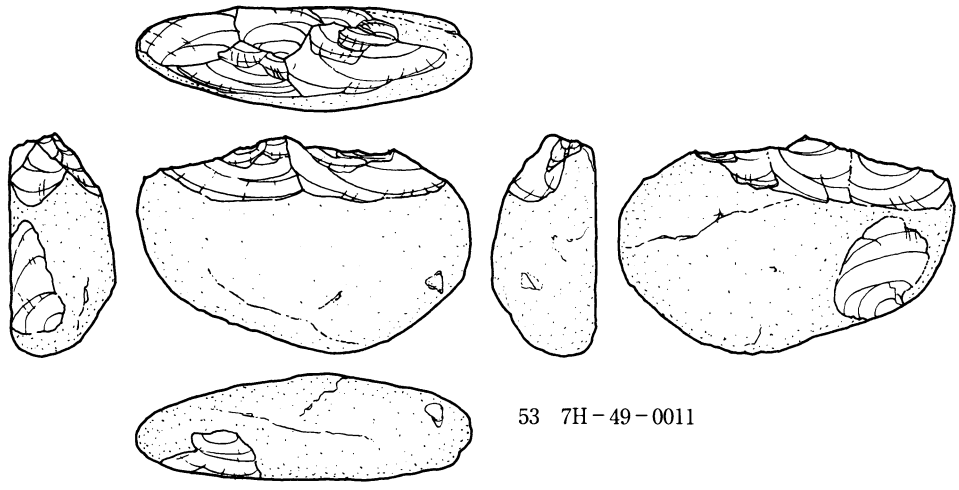
98は24－24ブロックと25－24ブロックの剥片と接合する砂岩の資料である。接合した状況から比較的大きな礫から剥がされた剥片と思われる。99は流紋岩の剥片で27－22ブロックの石核、16－6ブロックの剥片、43－16ブロックの剥片、20－26ブロックの剥片と接合する資料である。一部礫面を有するものの刃器状の剥片としてもよい資料である。100は砂岩の磨石で1－14ブロックと接合する資料である。分割された後も磨石として使用されていたと考えられる。



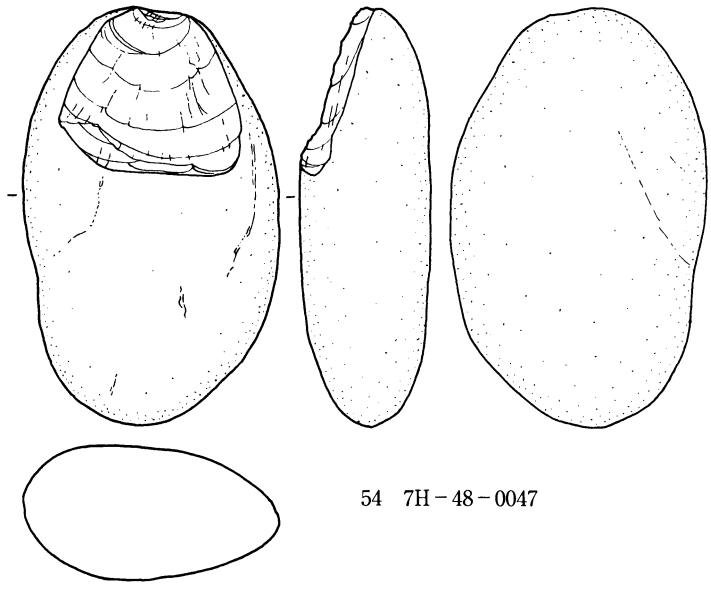
第168図　第23ブロック出土遺物実測図（5）



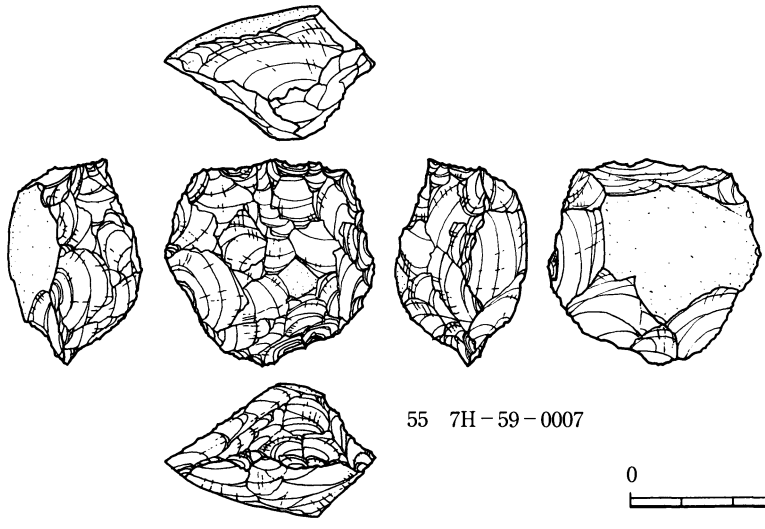
第169図　第23ブロック出土遺物実測図（6）



53　7H－49－0011



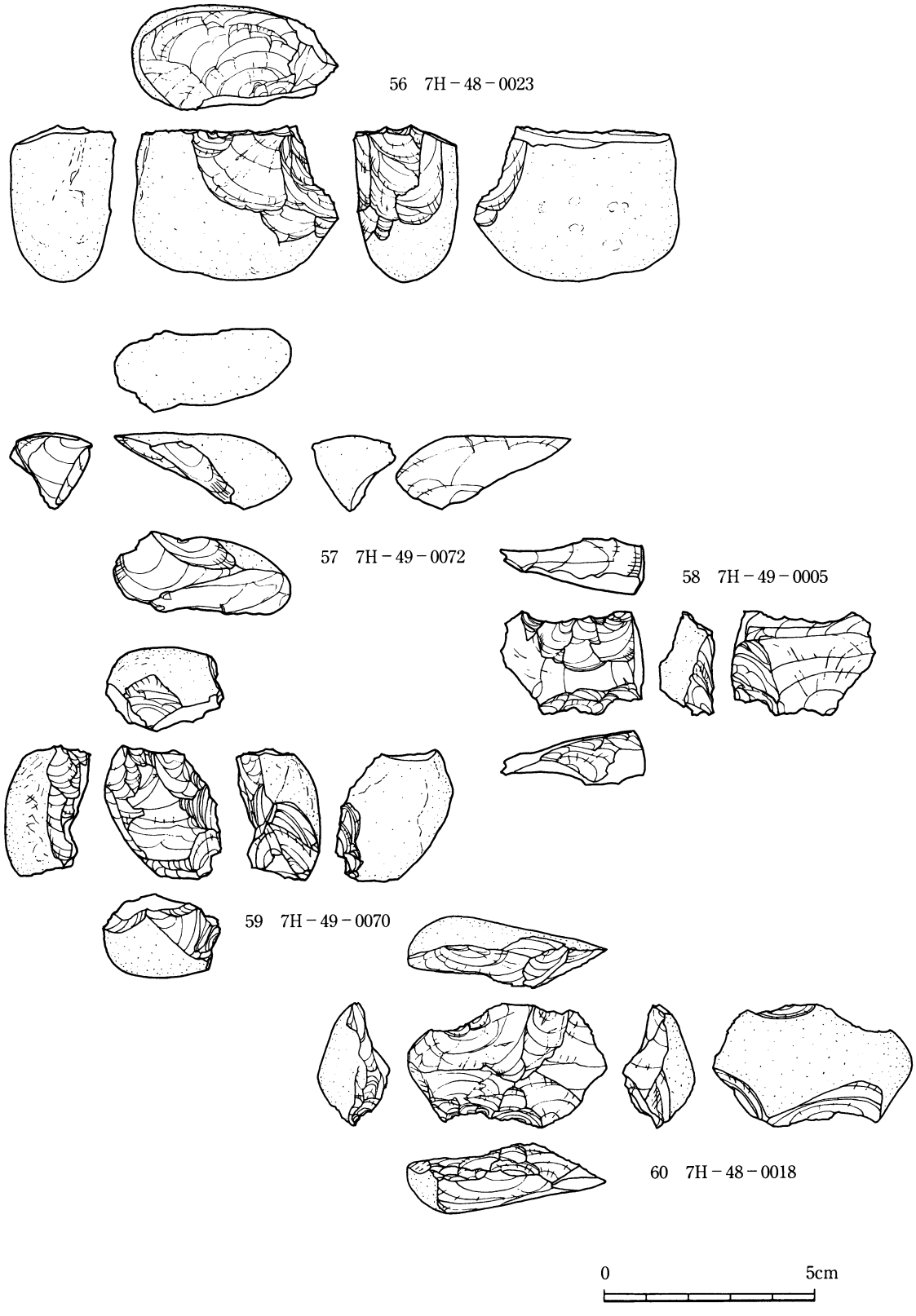
54　7H－48－0047



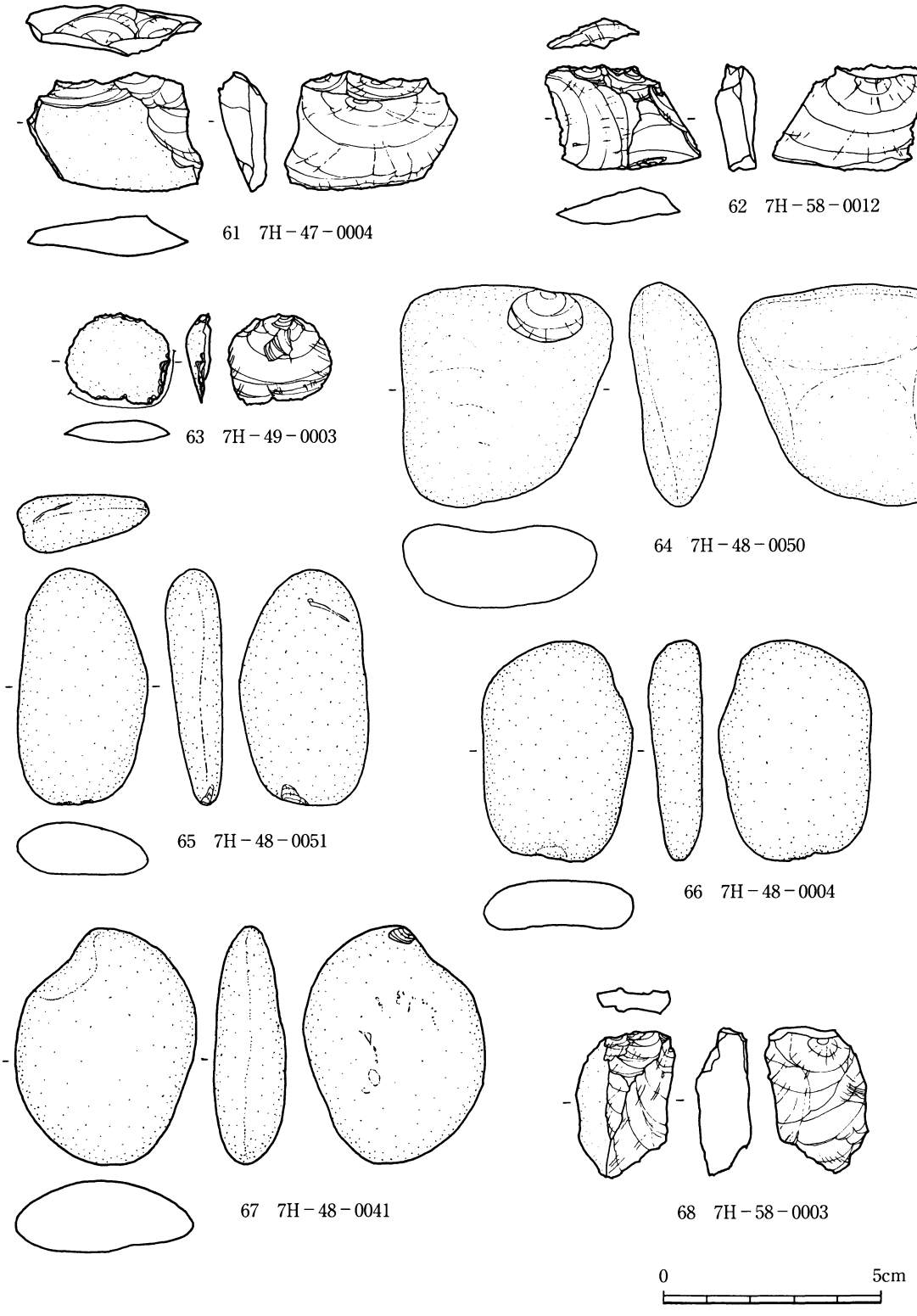
55　7H－59－0007

0　5cm

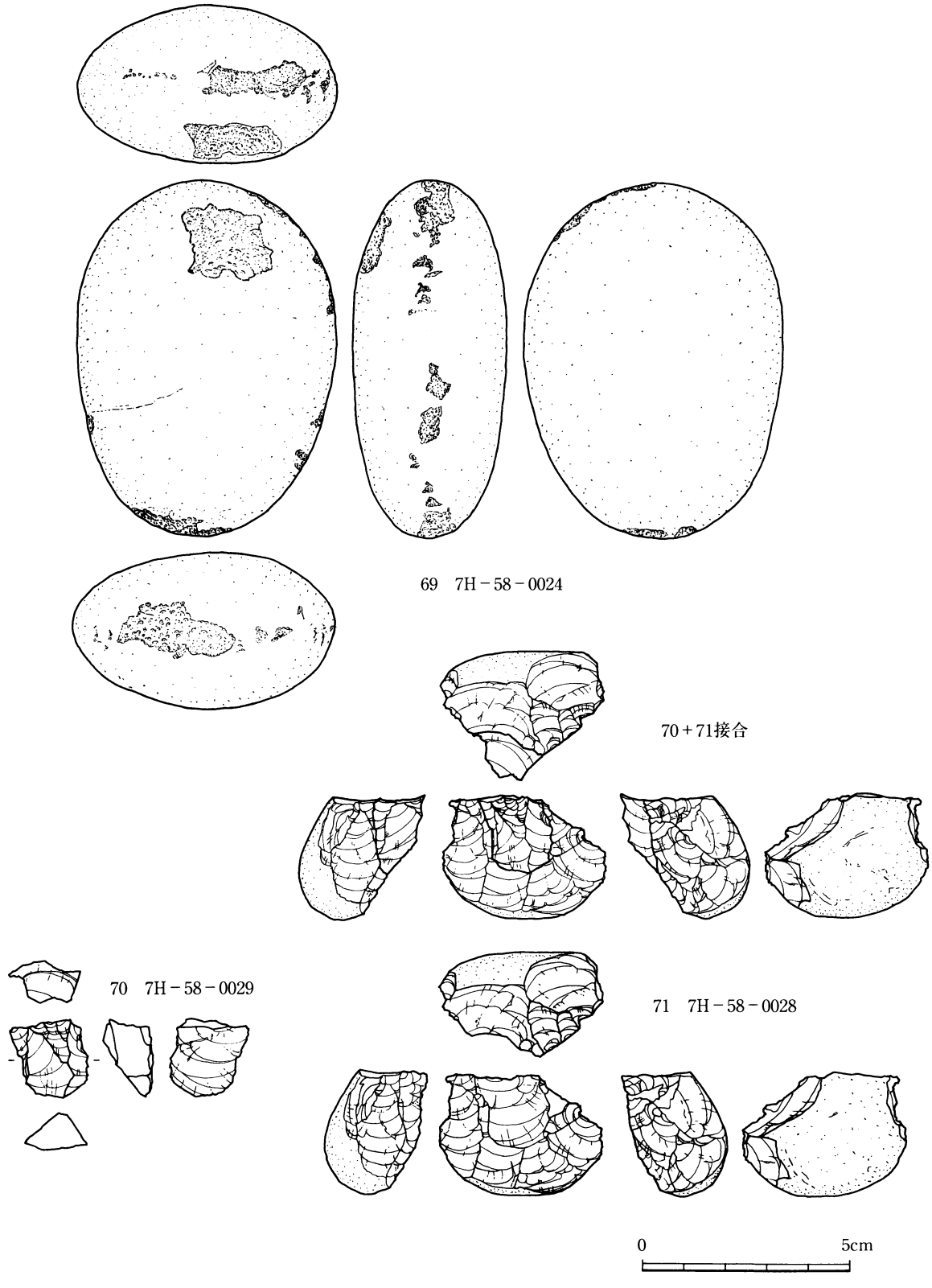
第170図　第23ブロック出土遺物実測図（7）



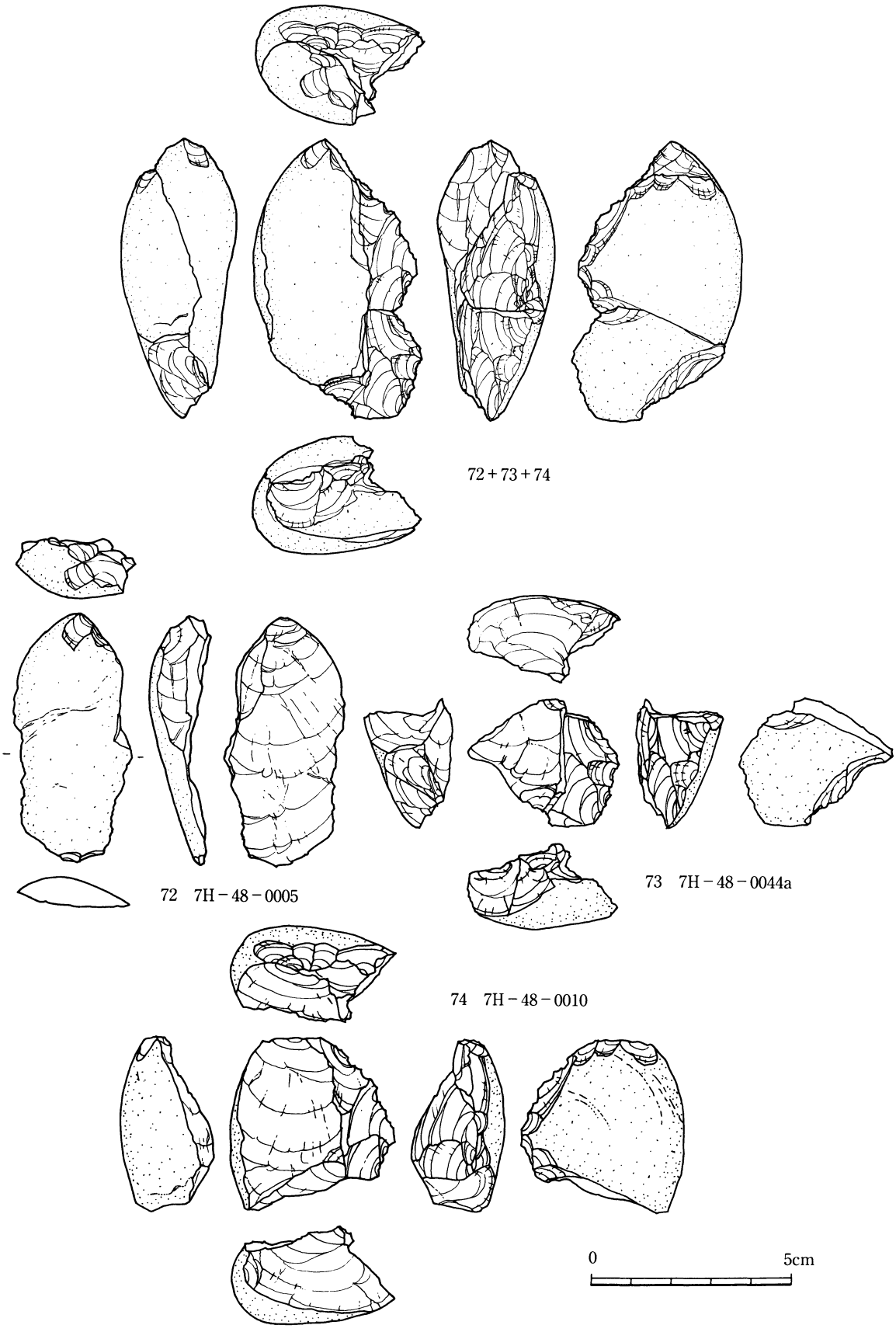
第171図　第23ブロック出土遺物実測図（8）



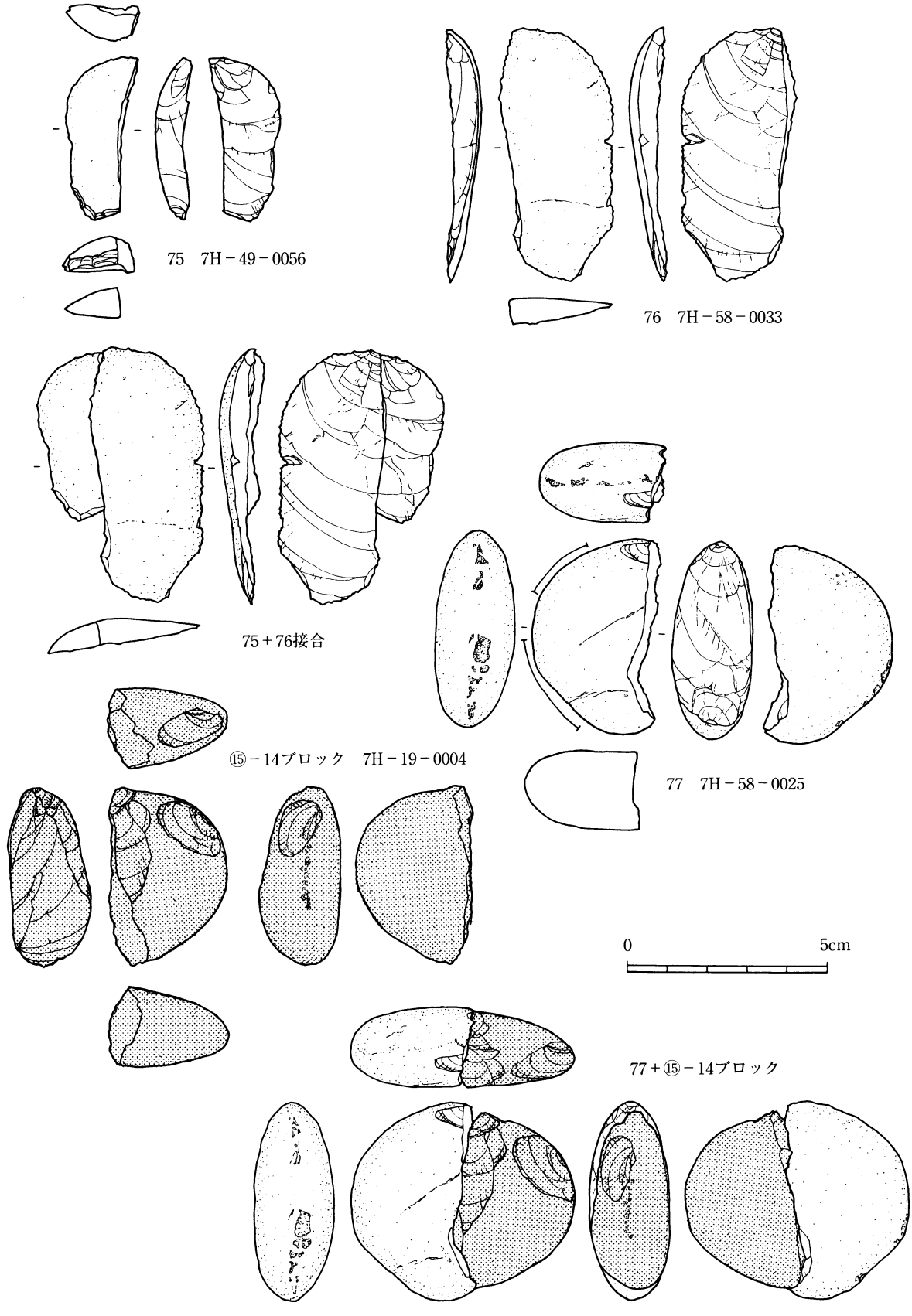
第172図　第23ブロック出土遺物実測図（9）



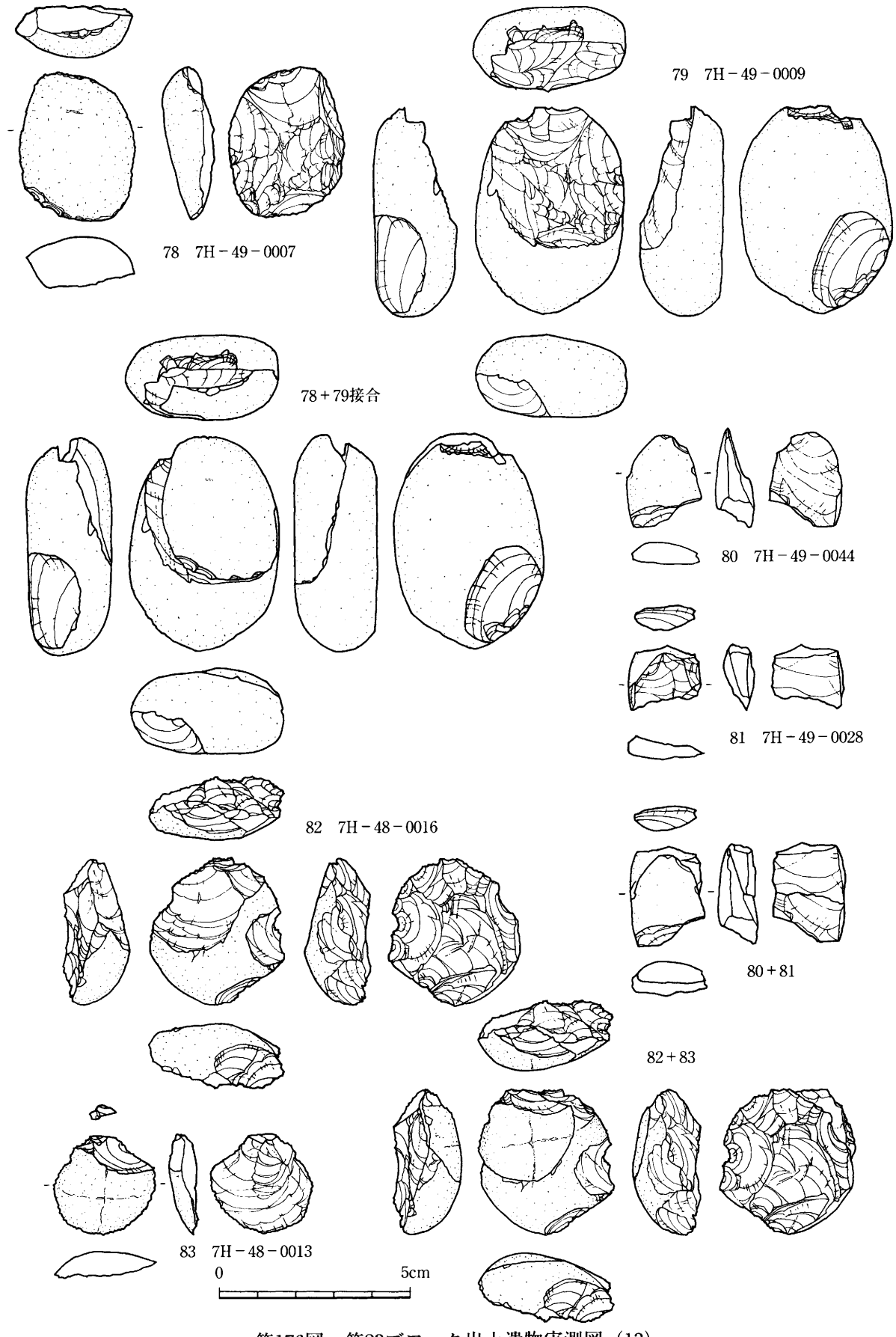
第173図　第23ブロック出土遺物実測図（10）



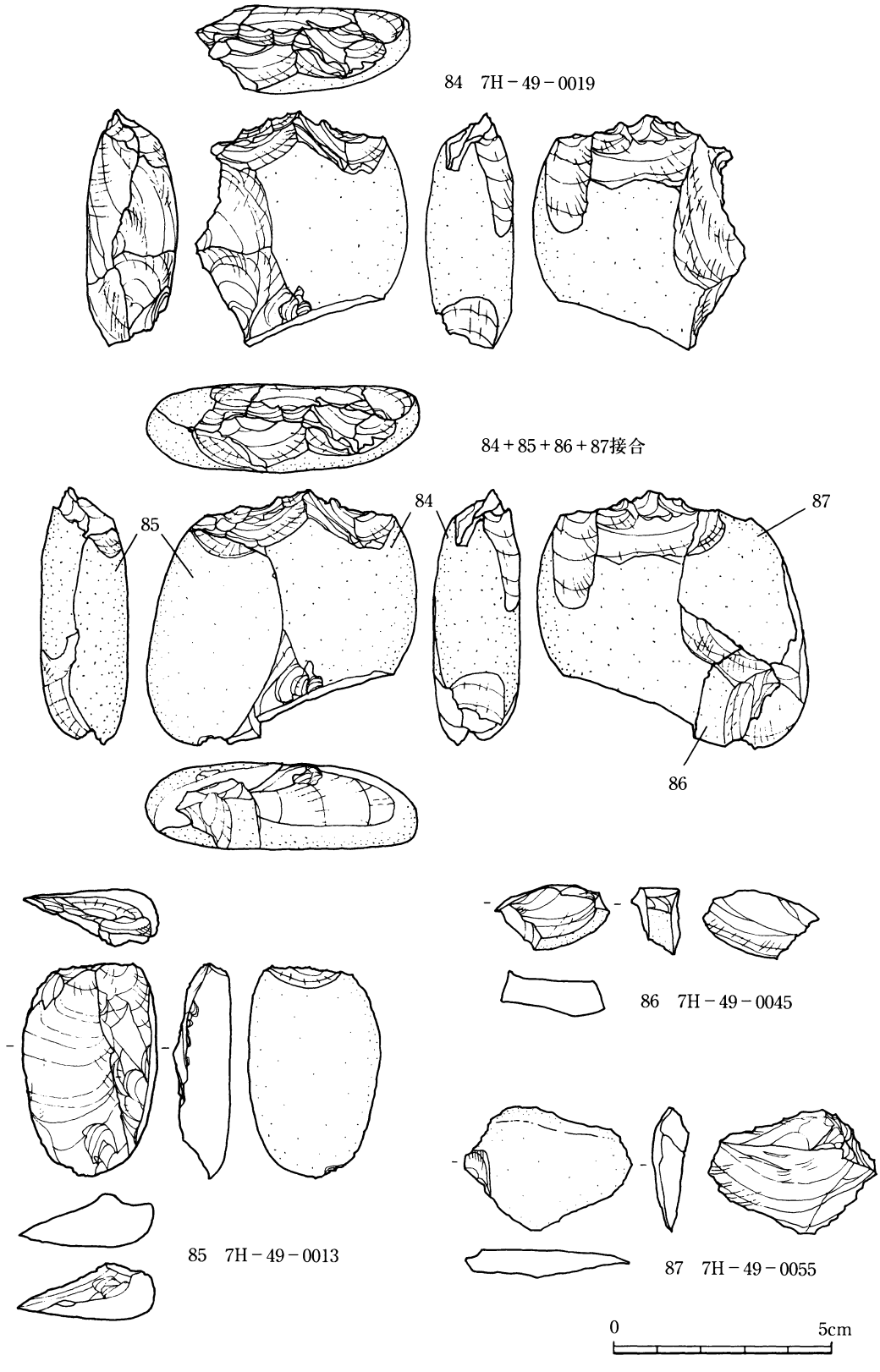
第174図　第23ブロック出土遺物実測図（11）



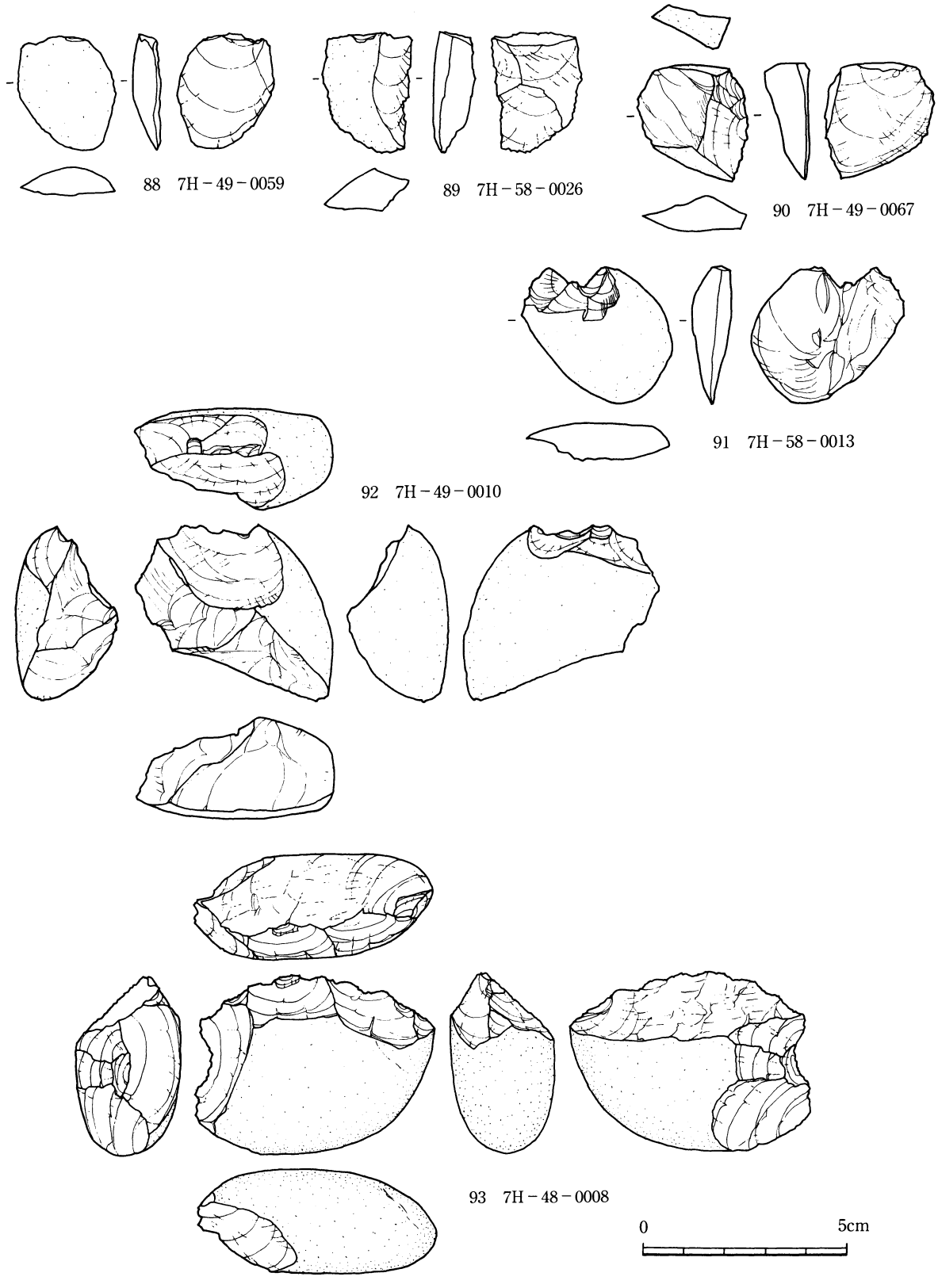
第175図　第23ブロック出土遺物実測図（12）



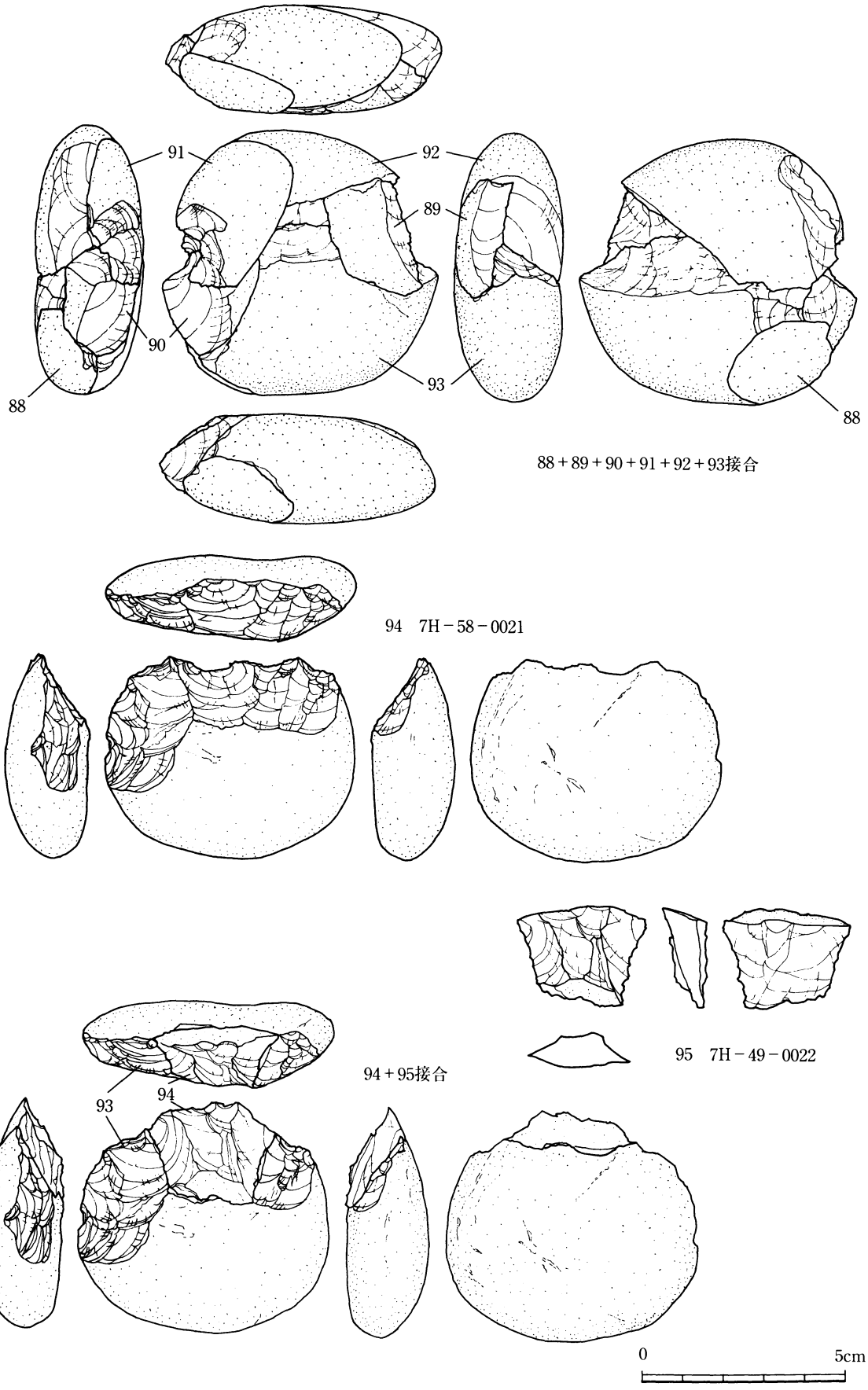
第176図　第23ブロック出土遺物実測図（13）



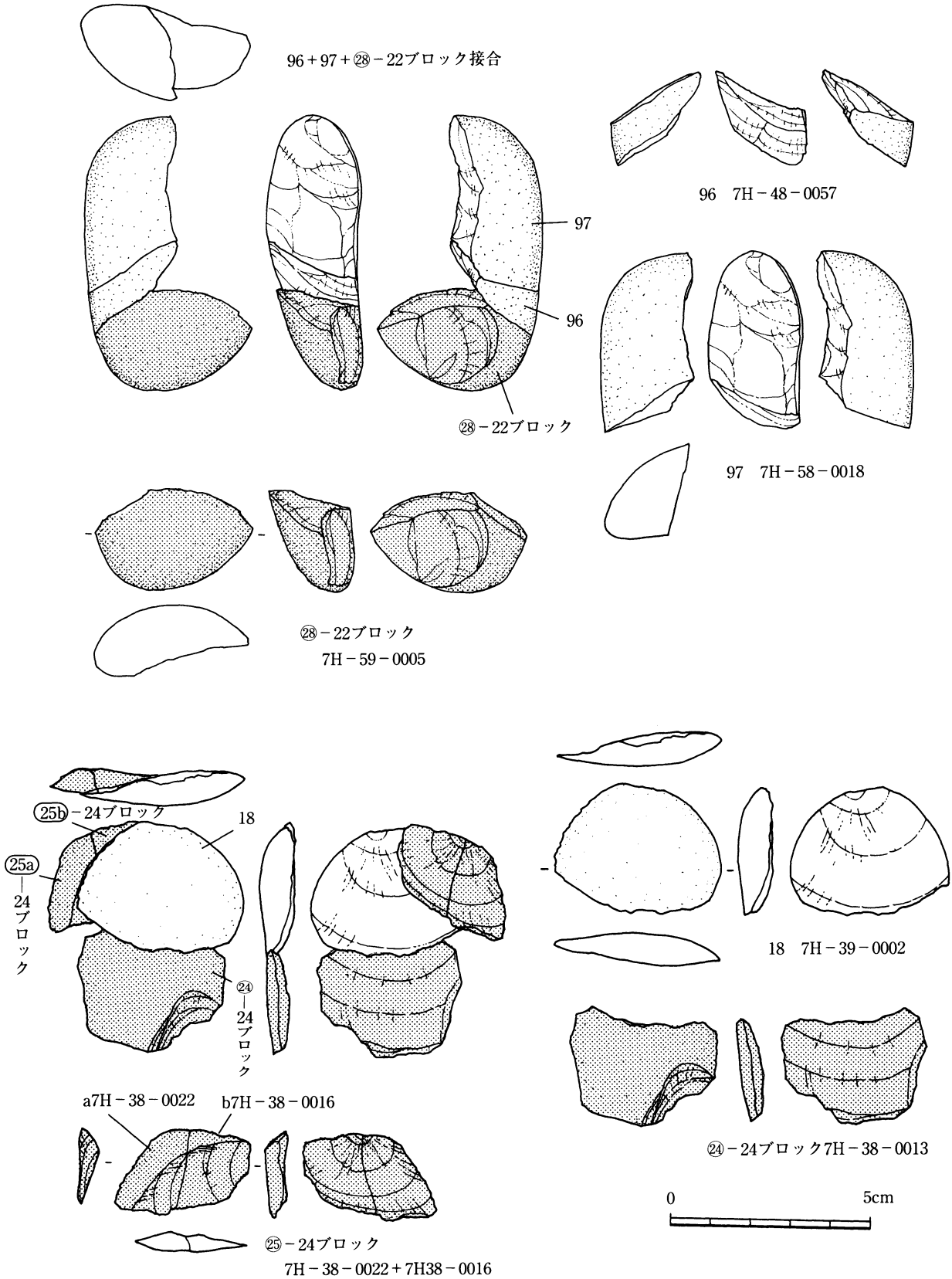
第177図　第23ブロック出土遺物実測図（14）



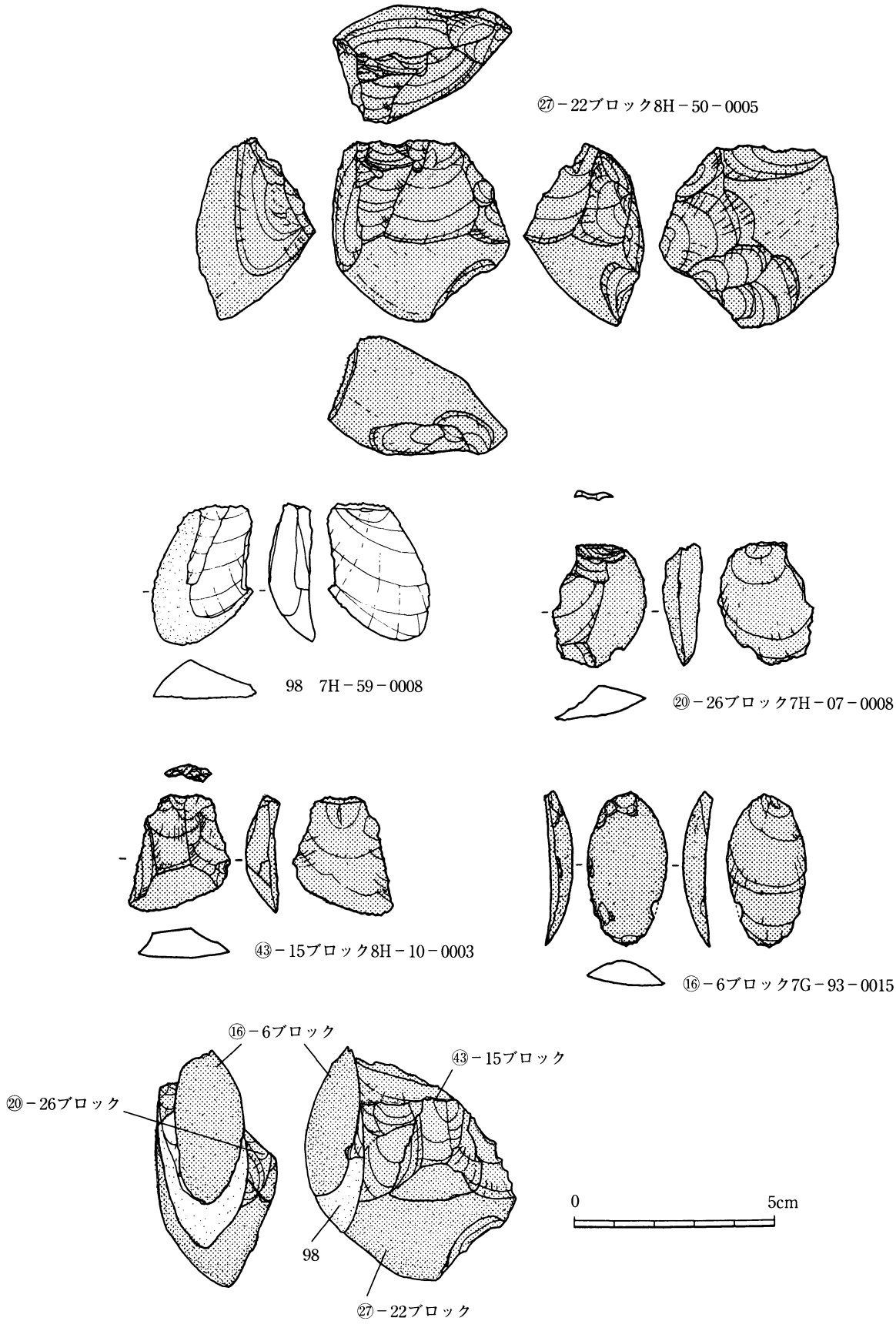
第178図　第23ブロック出土遺物実測図（15）



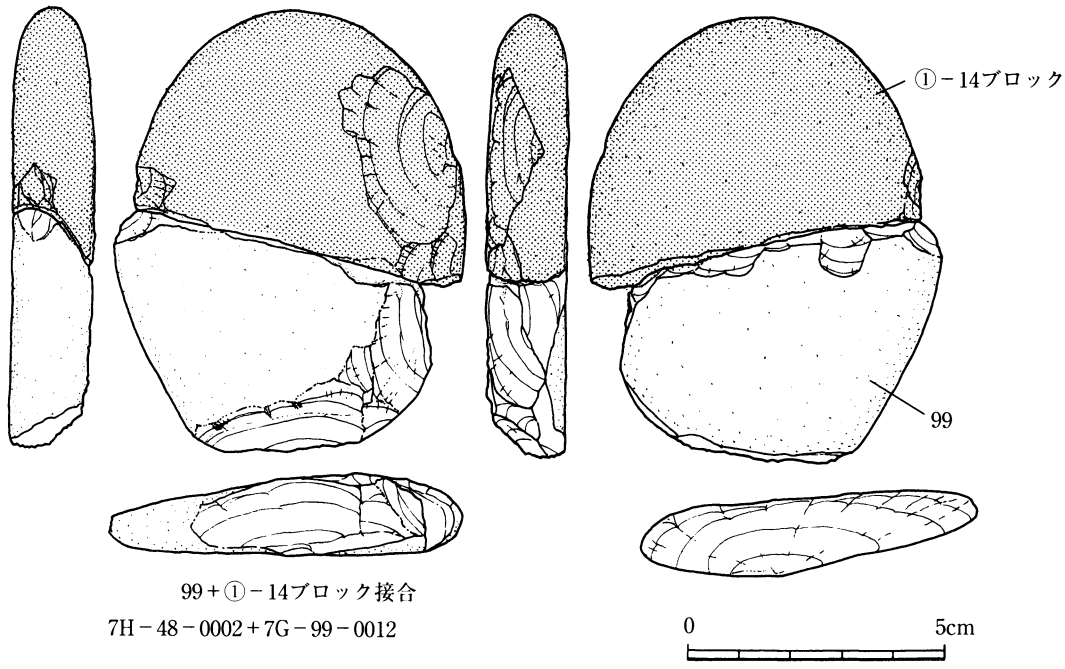
第179図　第23ブロック出土遺物実測図（16）



第180図　第23ブロック出土遺物実測図（17）



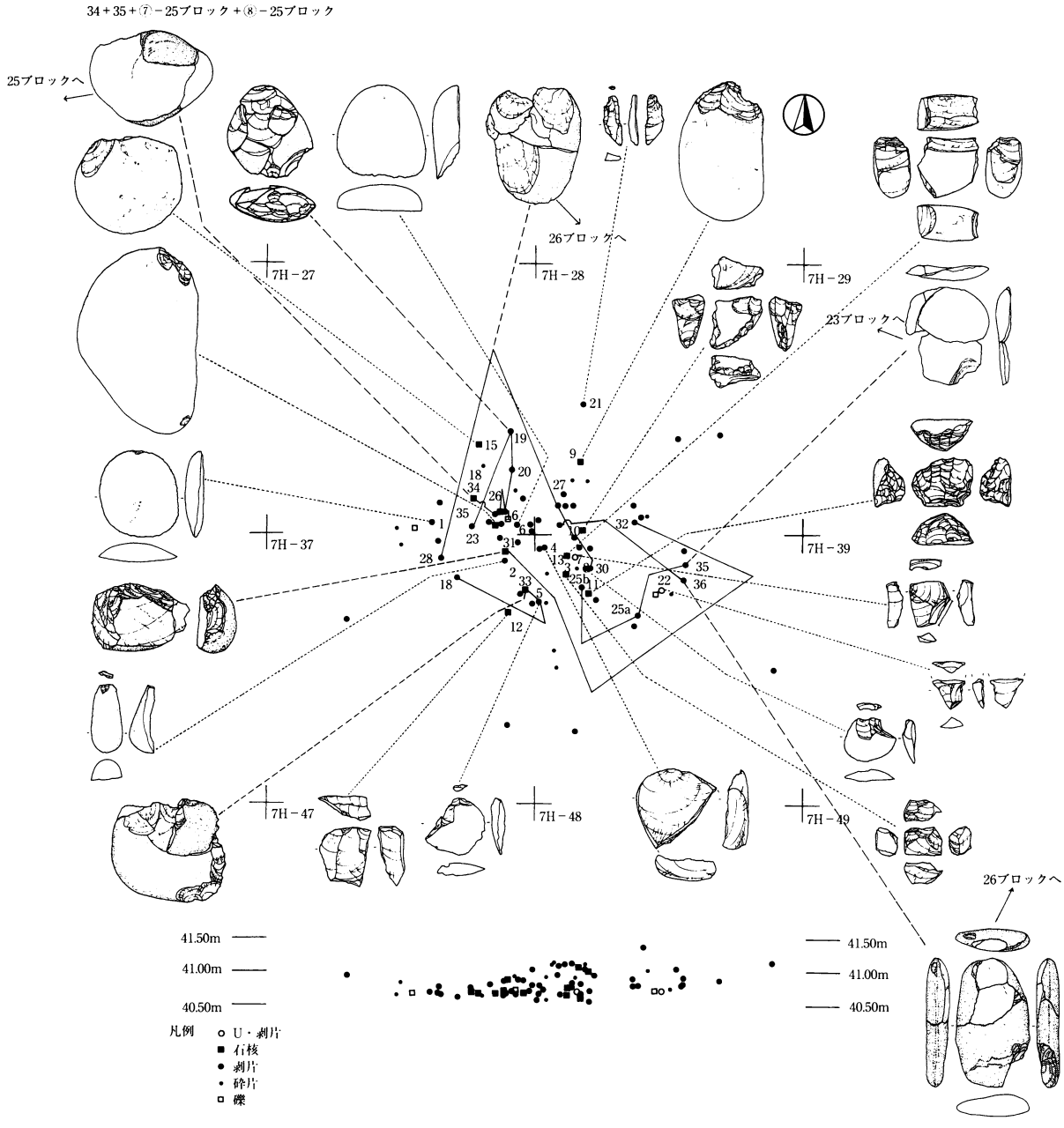
第181図　第23ブロック出土遺物実測図（18）



第182図　第23ブロック出土遺物実測図（19）

第24ブロック　（第183～193図１～37、写真図版33、34、第24、62表）

分　布　　石器は、７Ｈ－38グリッドを中心に集中して分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、径４mほどの範囲にまとまって分布している。



第183図　第24ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート８点、ホルンフェルス13点、安山岩28点、砂岩12点、流紋岩18点、凝灰岩１点、珪質頁岩２点、蛇紋岩２点で構成される。比較的安山岩が多用されているのが特徴的なブロックである。

器　種　　楔形石器１点、U・剥片２点、石核14点、剥片51点、砕片14点、礫２点の合計84点で構成される。石核と剥片の比率が高いのが特徴的なブロックである。

楔形石器（第185図12）12は安山岩Ｂの楔形石器である。石核状の剥片で上下両端に打撃痕が見られる。

U・剥片（第184、187図７、22）７はチャートのU・剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面１

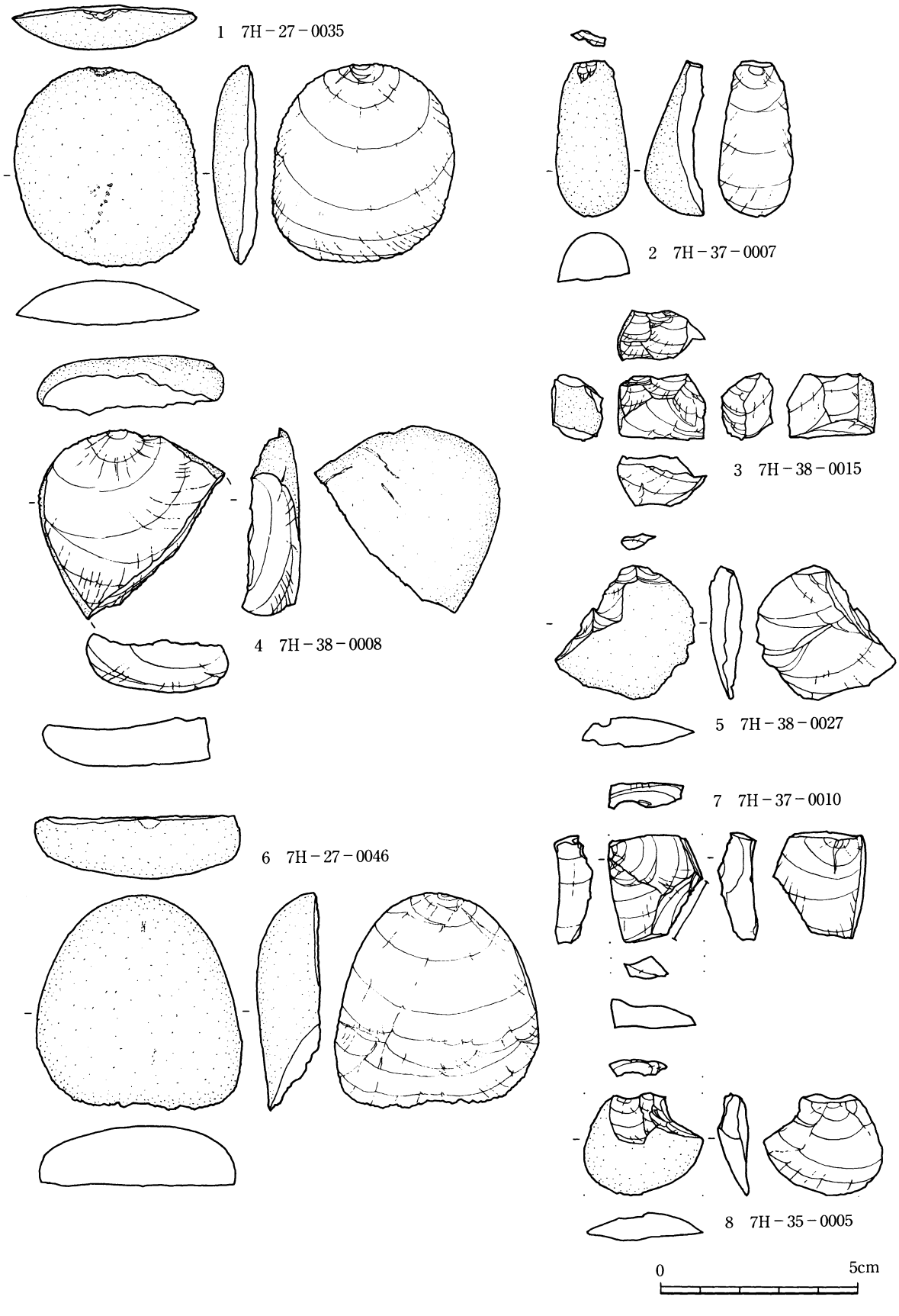
面で構成されている。右側縁辺部分に細かな刃こぼれが見られる。22は安山岩AのU・剥片である。片側側縁部分に細かな刃こぼれが見られる。

石核（第184～186図3、9～11、13～15）3は安山岩Aの石核である。小剥片を任意の方向から剥離している。礫面を一部残している。9はチャートの石核である。比較的厚みのある大形の楕円礫の一方の先端部から両面剥離している。10は安山岩Bの石核である。大形の剥片を素材として小剥片を剥いでいる。一部に礫面を残している。11は安山岩Bの石核である。小礫の片面を使って上下両端から小剥片を剥ぎ取っているのがわかる。片面は礫面で覆われている。13は安山岩Aの石核である。楕円礫の縁辺に沿った形で剥離されている。表裏ともかなり礫面を残している。14は流紋岩の石核である。大形の楕円礫で下端部分と上端部分の一部に剥離しようとした痕が見られる。原石に近い状態の石核である。15は安山岩の石核である。円礫の平坦面を打面にして縁辺部分から反対側に向かって剥離している。打撃面と無関係の縁辺部分の打撃痕の存在は敲石として使用していたためかもしれない。

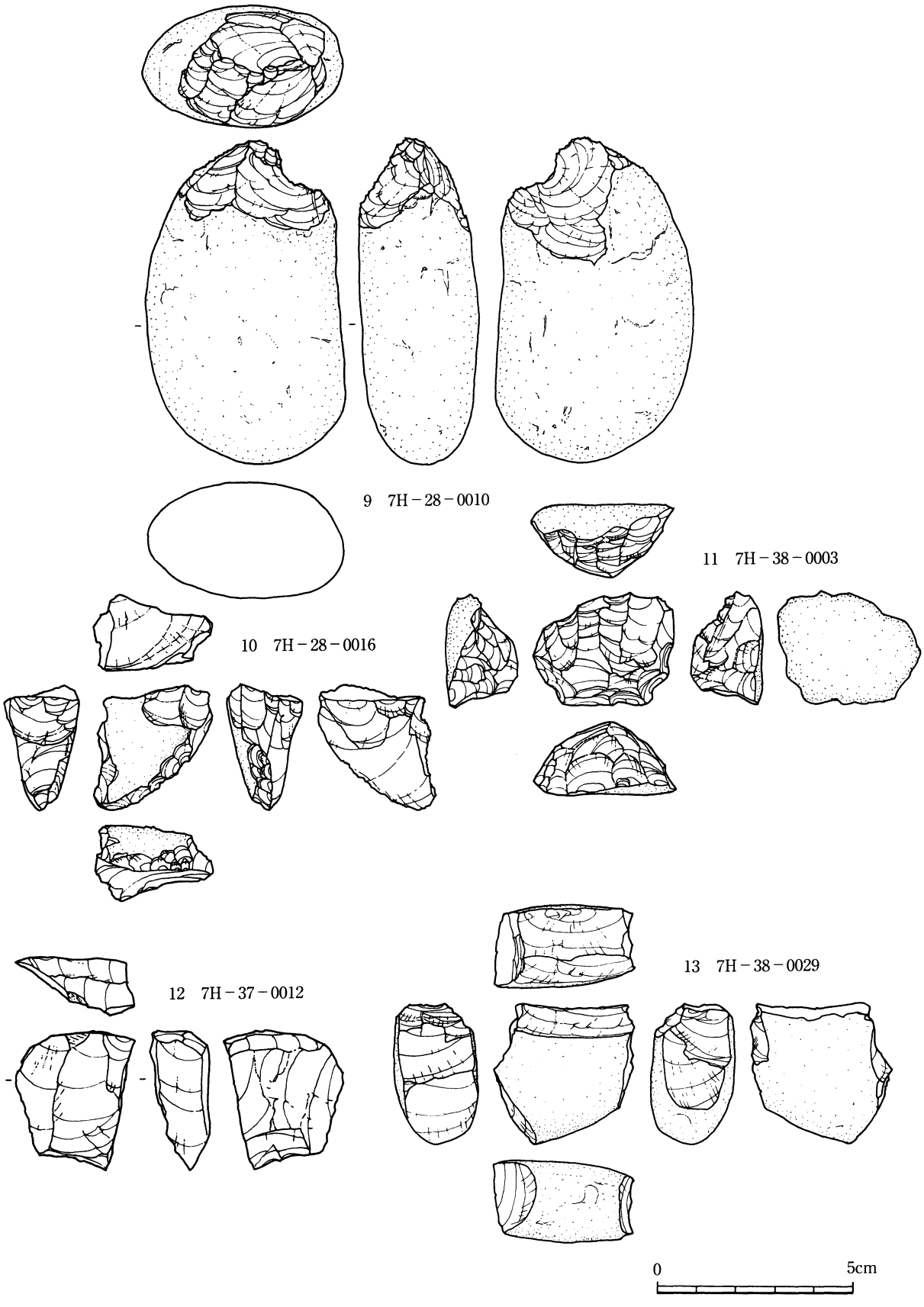
剥片（第184、187図1、2、4～6、8、16～21、23）1は砂岩の大形の剥片である。背面は礫面で覆われている。2は安山岩Aの縦長の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われており、先端部分が厚みのある剥片である。4は安山岩Aの剥片である。剥離された面しか残っておらずどちらかといえば石核とすべきかもしれない。反対の面は礫面で覆われている。5はホルンフェルスの剥片である。背面は打面部分に一部剥離面が見えるもののほぼ礫面で構成される。接合資料の一部である。6は砂岩の大形剥片である。背面は礫面で覆われている。8は安山岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数の剥離面と比較的大きめの礫面とで構成されている。16～20および23は26の石核と接合するかもしくは同一母岩の凝灰岩の剥片類である。いずれも背面に一部礫面を残している。21は砂岩の剥片である。縦長の細長い剥片で縁辺部分は鋭い。

接合資料（第187～193図24～25、26、20、19、23、16、8、27～30、31～32、33、5、18、34～35、37～38）24～25は98－23ブロックの剥片と接合する砂岩の資料である。上方向から剥離された様子がわかる。25についてはaとbに分かれるものの剥離された段階で割れた可能性がある。26、20、19、23、16は凝灰岩の接合資料である。8の剥片はこれらの資料と同一母岩の剥片である。26は石核である。接合状態からすると楕円礫の上下両方向から中心に向かって小剥片を剥ぎ取っていく工程が理解できる。27～30はホルンフェルスの接合資料である。19－26ブロックの石核と接合関係にある。礫の上方向からの剥離が行われていることがわかる資料である。31～32は流紋岩の接合資料である。31は石核、32は剥片である。礫を荒割した剥片を素材にして周辺部分から剥離しているのがわかる資料である。33、5、18はホルンフェルスの接合資料である。33は石核、5、18は剥片である。楕円礫の周辺から剥離していく様子がわかる資料である。34～35はホルンフェルスの接合資料で7－25ブロック、8－25ブロックの剥片と接合する。接合状況から礫の周辺から剥離していったことがわかる。

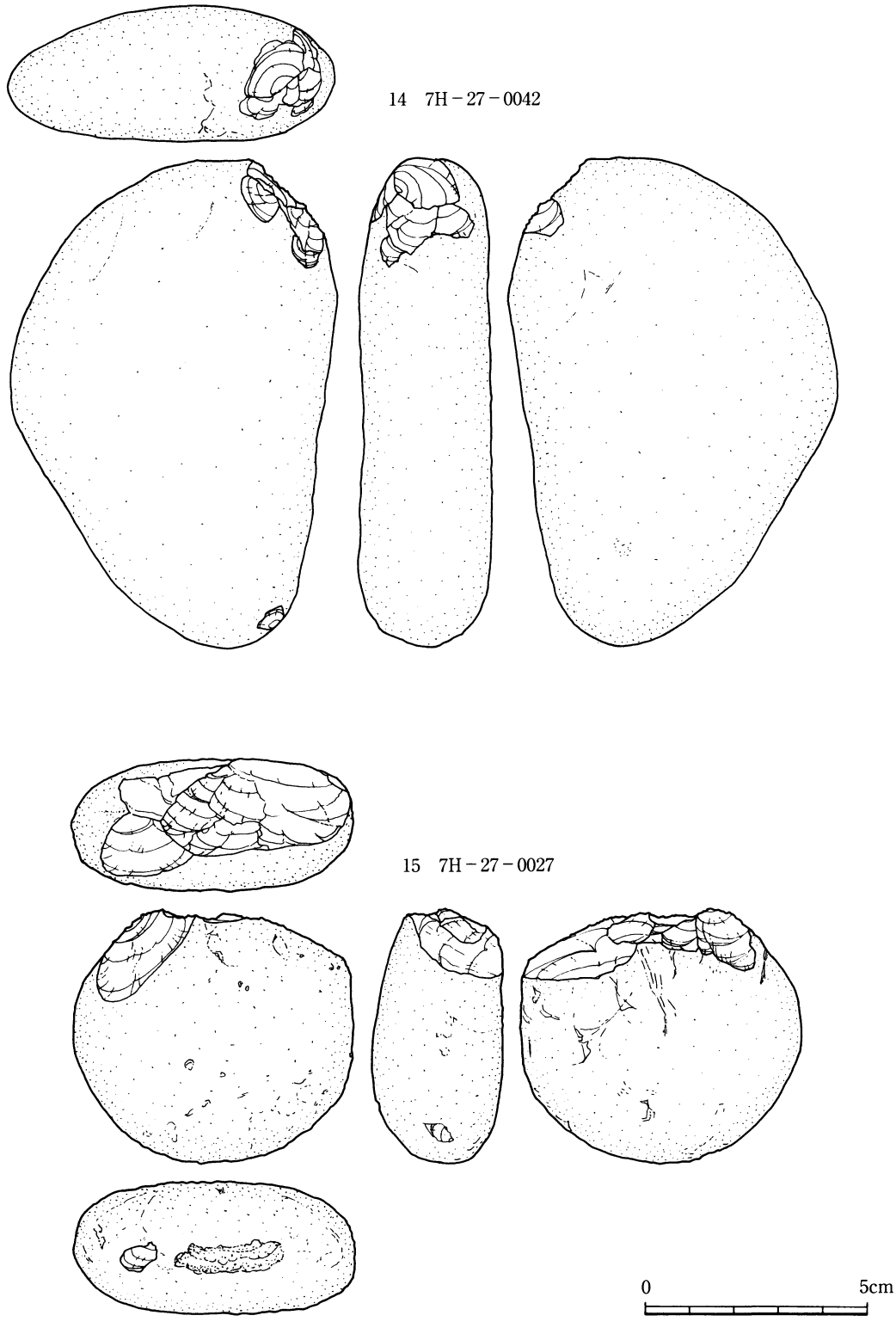
36～37は緑色凝灰岩の接合資料で12－26ブロック、13－26ブロックの石斧片と接合し4点でほぼ1点の石斧となる。



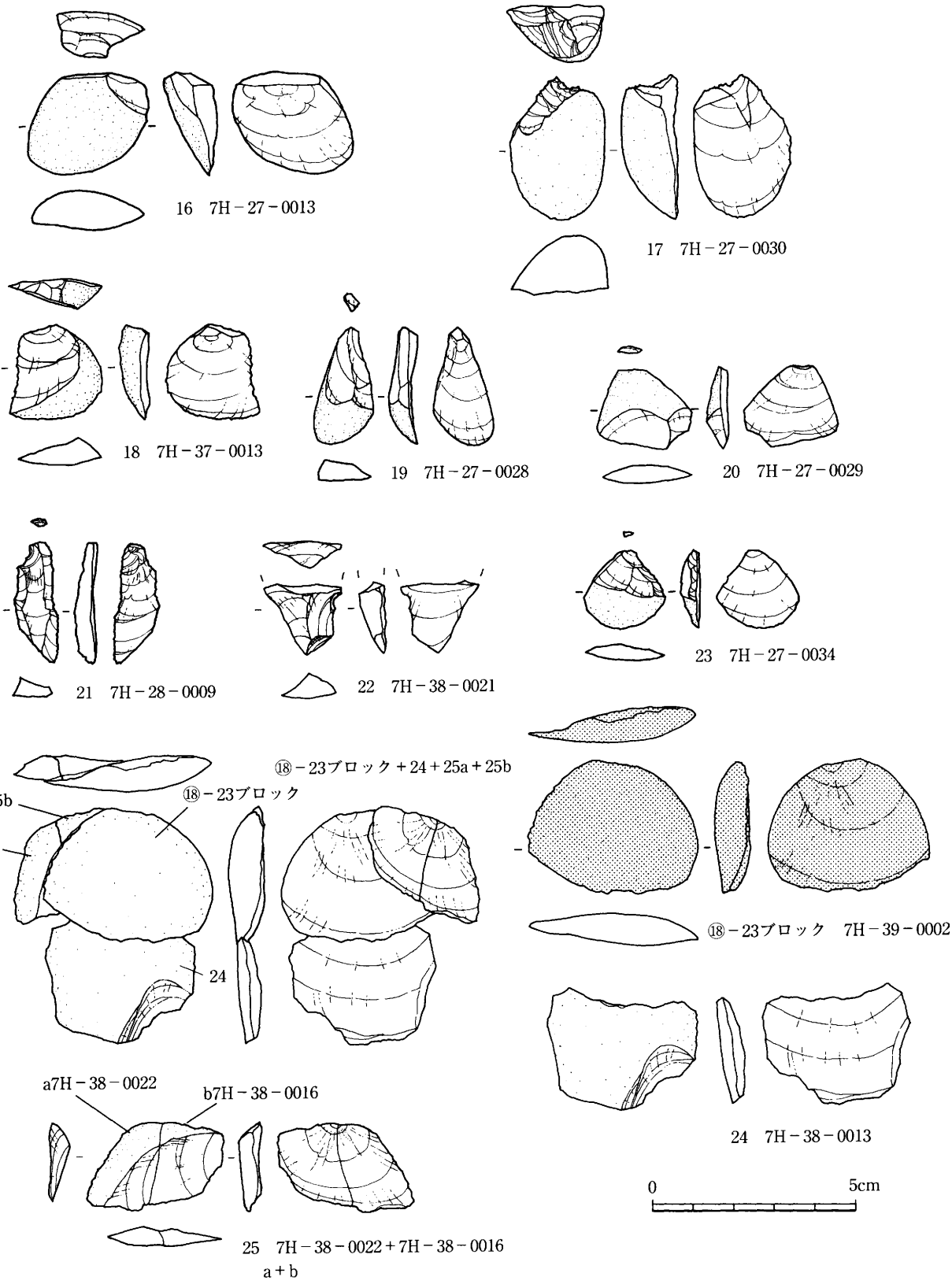
第184図　第24ブロック出土遺物実測図（1）



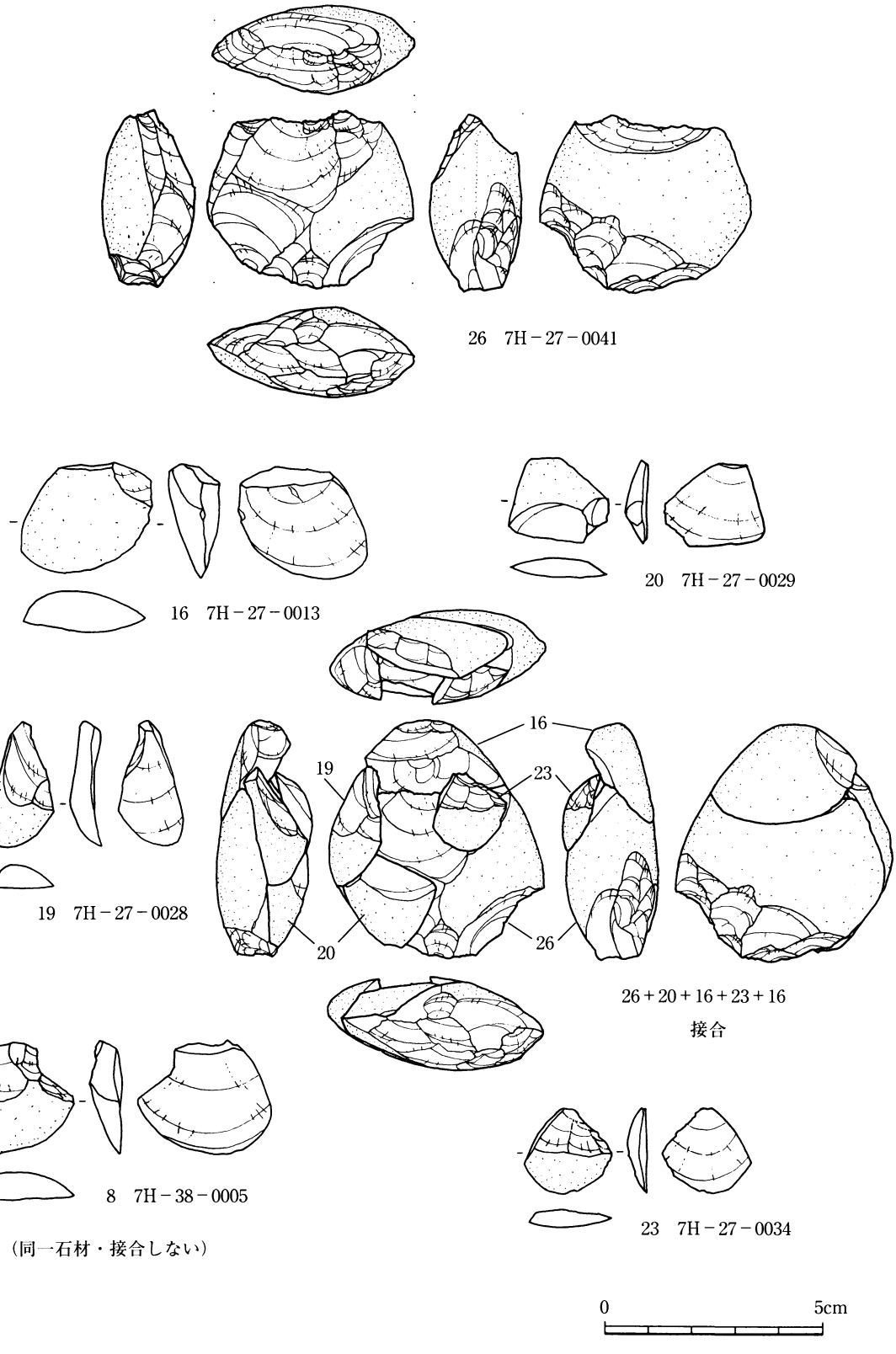
第185図　第24ブロック出土遺物実測図（2）



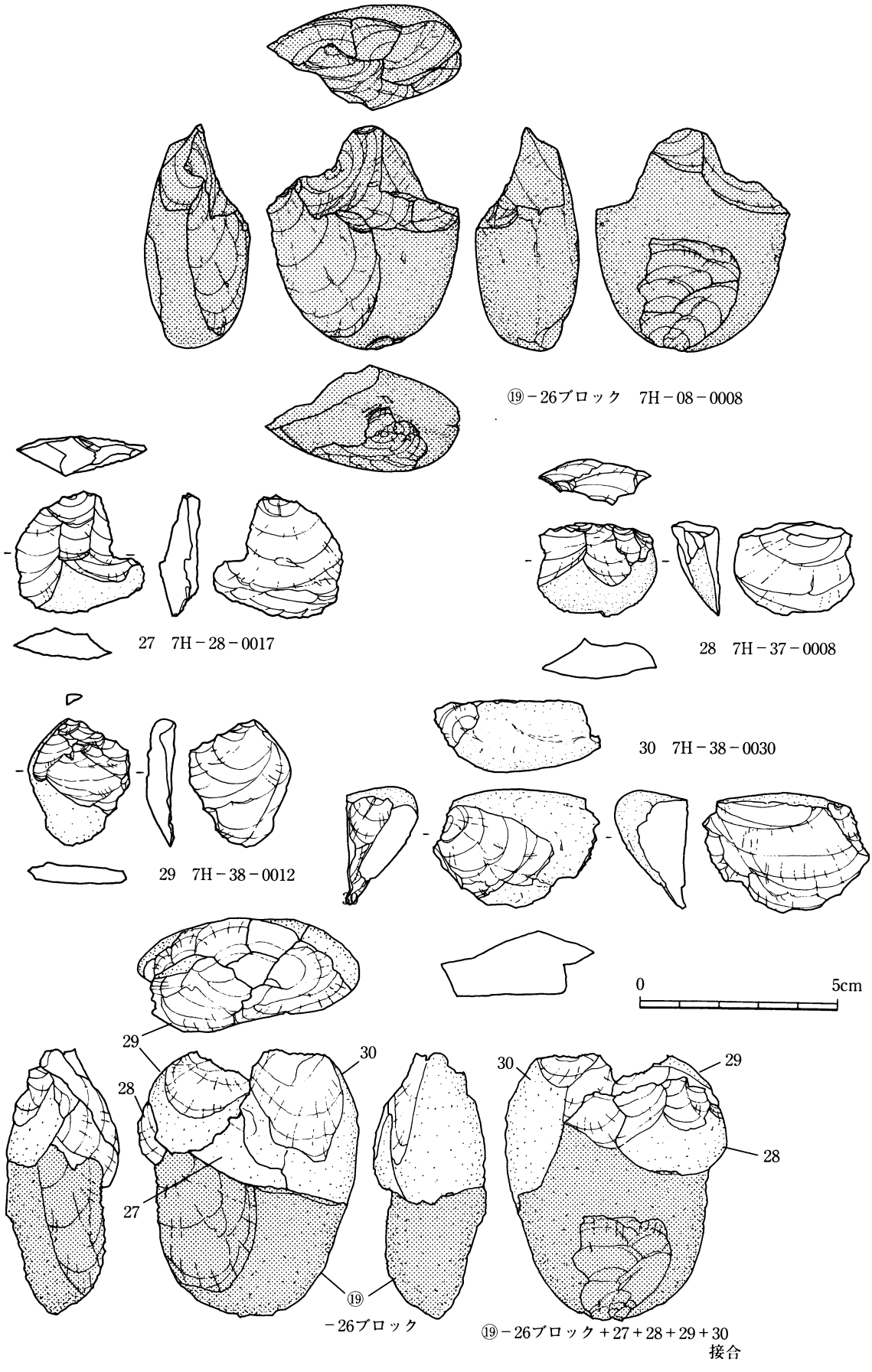
第186図　第24ブロック出土遺物実測図（3）



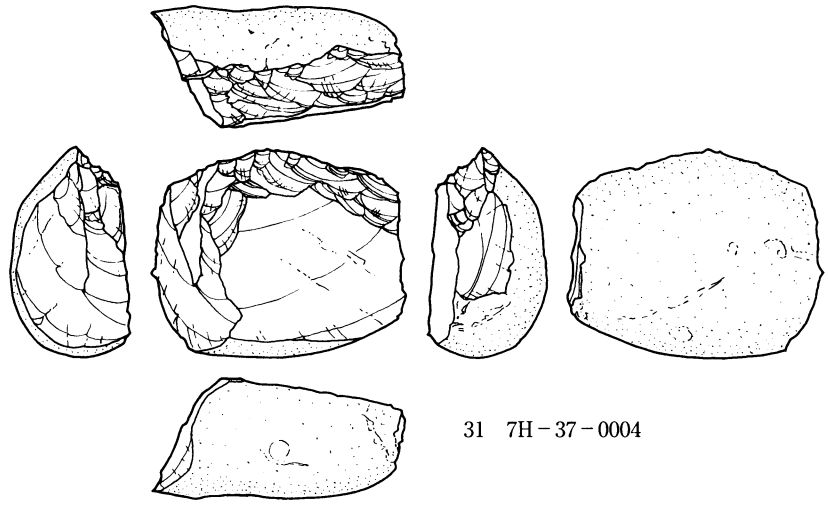
第187図　第24ブロック出土遺物実測図（4）



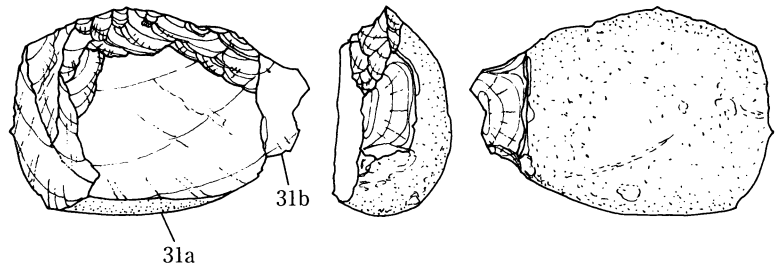
第188図　第24ブロック出土遺物実測図（5）

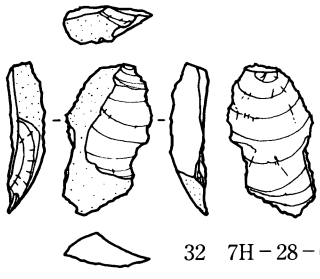


第189図　第24ブロック出土遺物実測図（6）

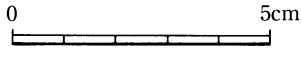


31　7H－37－0004

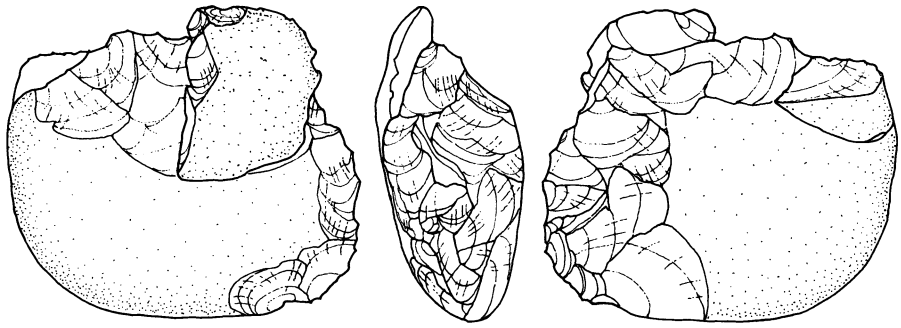




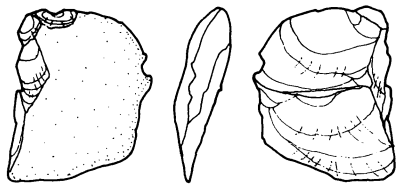
32　7H－28－0020



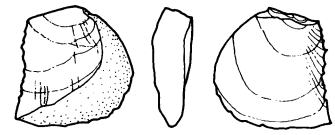
第190図　第24ブロック出土遺物実測図（7）



33＋5＋18

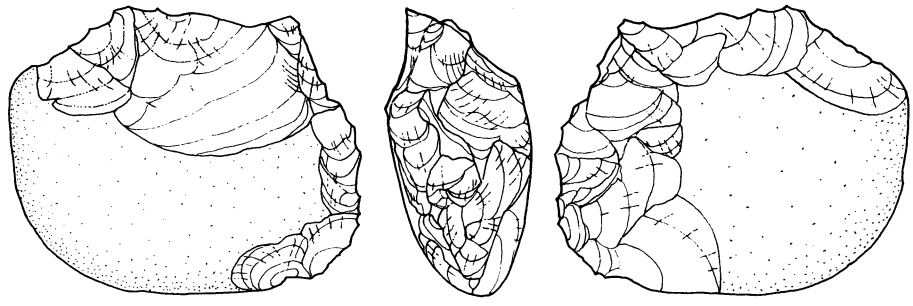


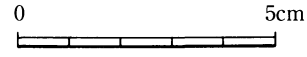
5　7H－38－0027



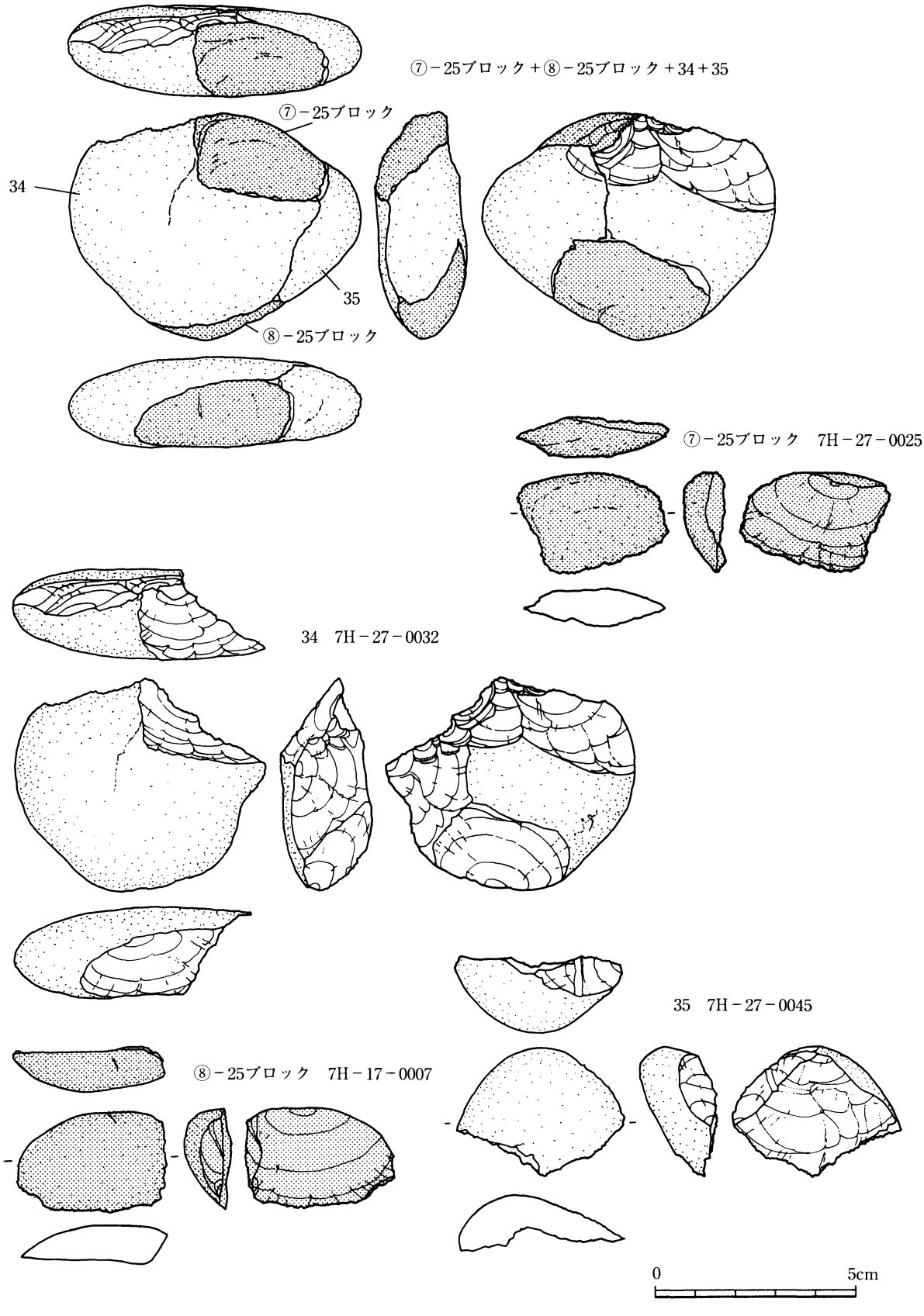
18　7H－37－0013

33　7H－37－0016

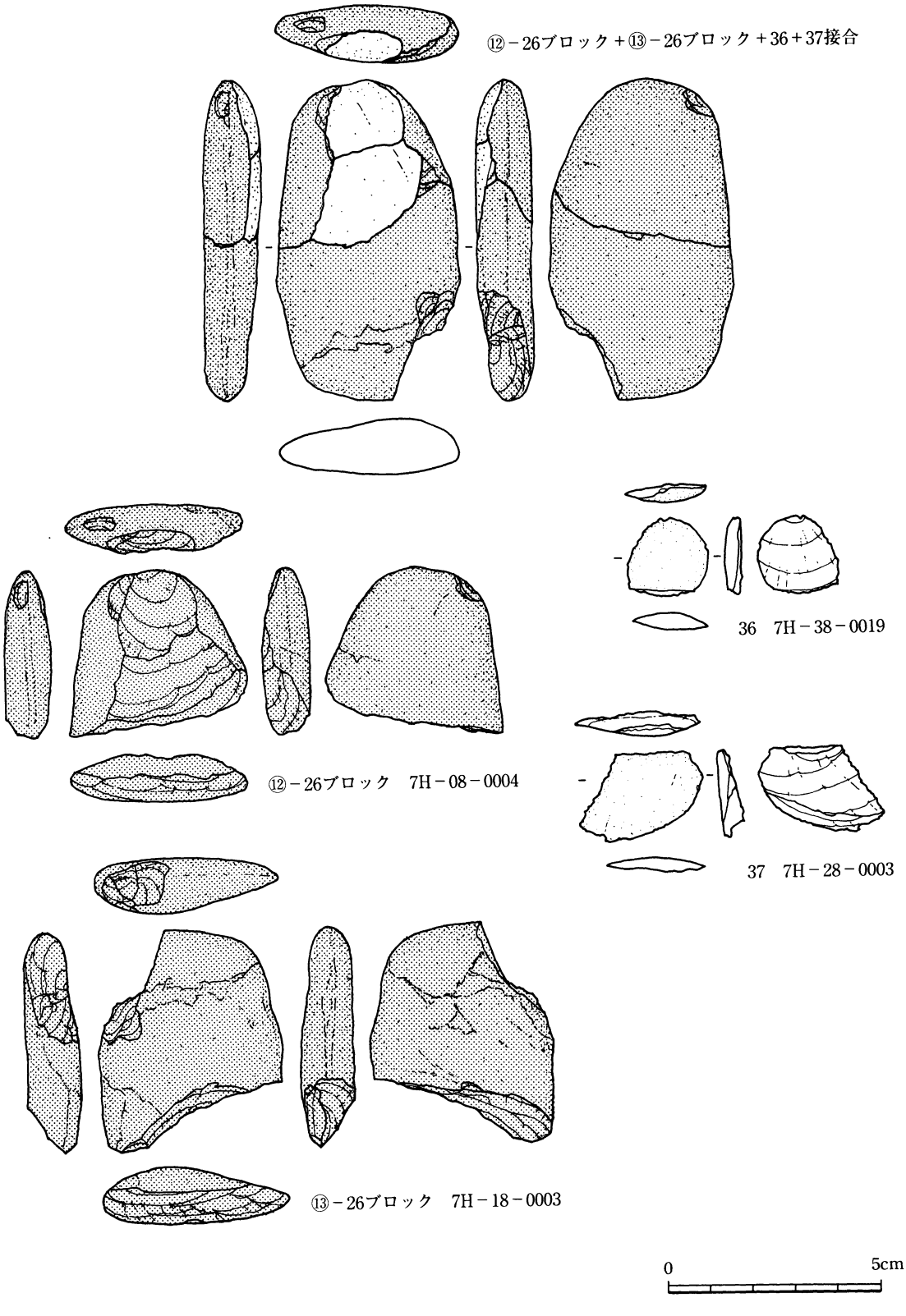




第191図　第24ブロック出土遺物実測図（8）



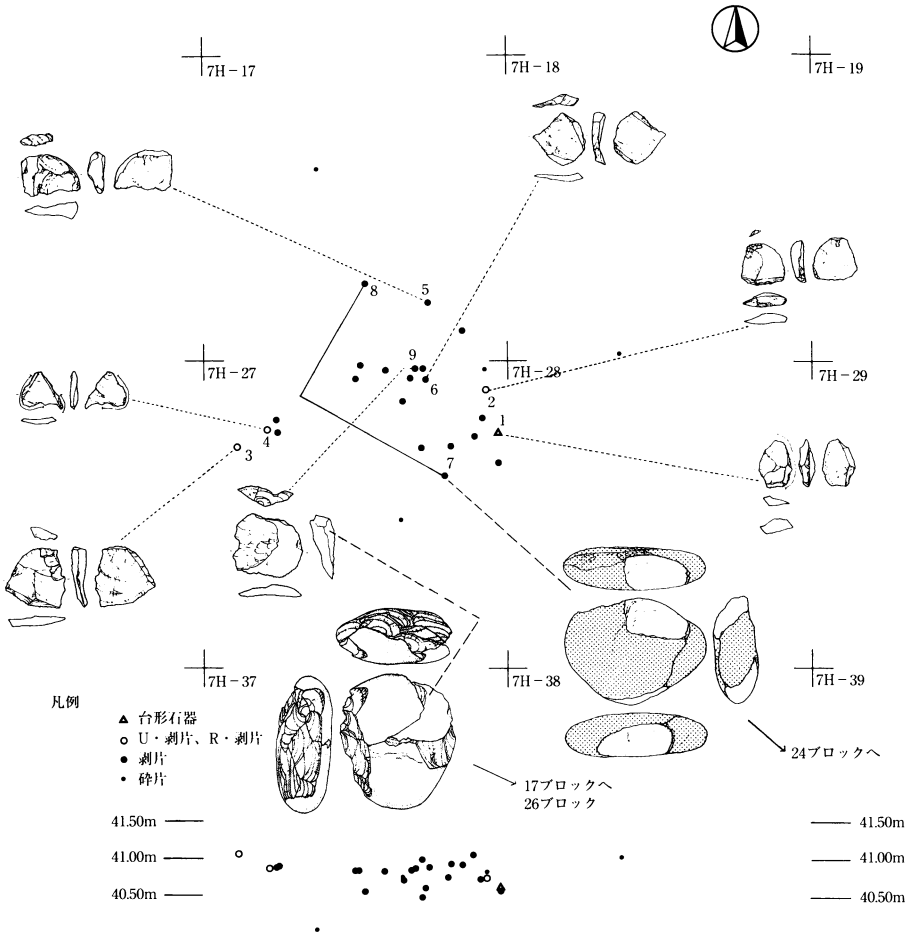
第192図　第24ブロック出土遺物実測図（9）



第193図　第24ブロック出土遺物実測図（10）

第25ブロック　（第194～197図１～９、写真図版34、第25、63表）

分　布　　石器は、７Ｈ－27グリッドを中心に集中して分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、径３mほどの範囲にまとまって分布している。



第194図　第25ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート７点、ホルンフェルス３点、安山岩５点、砂岩２点、流紋岩２点、凝灰岩２点、珪質頁岩５点、メノウ１点で構成される。点数が少ない割に石材は多様性に富むのが特徴的なブロックである。

器　種　　台形石器１点、Ｒ・剥片１点、Ｕ・剥片２点、剥片19点、砕片４点の合計27点で構成される。石核が全く見られないことと剥片の比率が高いのが特徴的なブロックである。

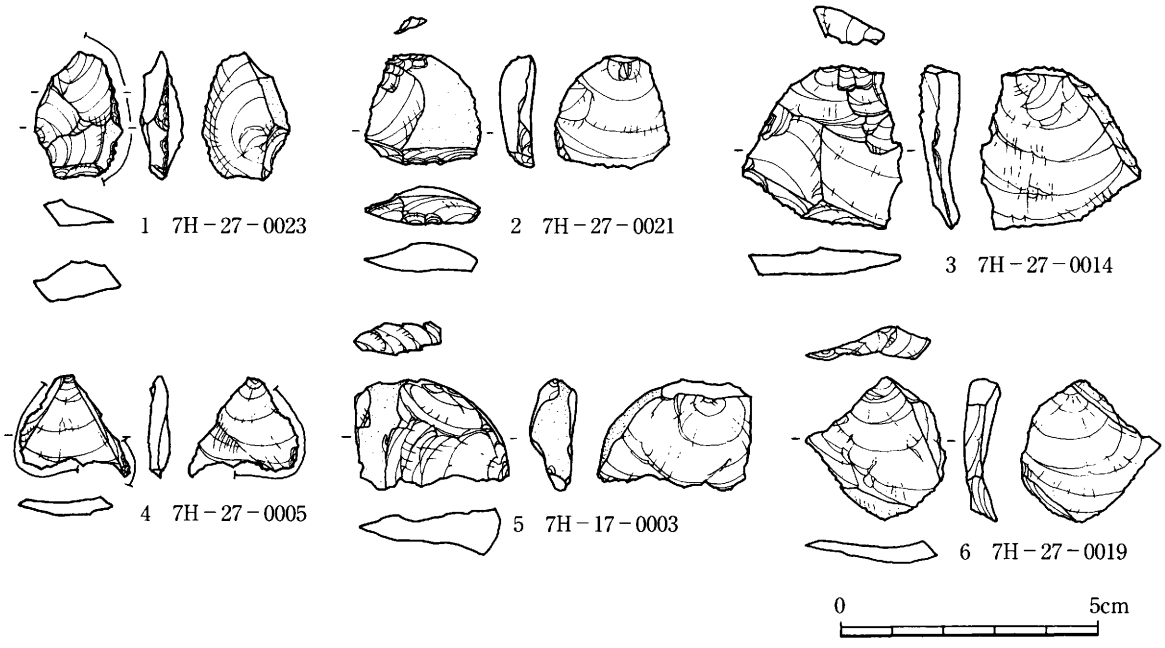
台形石器（第195図１）珪質頁岩の台形石器である。片側側縁部分と基部に細かな調整を施している。

Ｒ・剥片（第195図２）２は珪質頁岩のＲ・剥片である。上端部分と下端部分に細かな調整を施している。背面は左方向からの剥離１面と礫面によって構成されている。

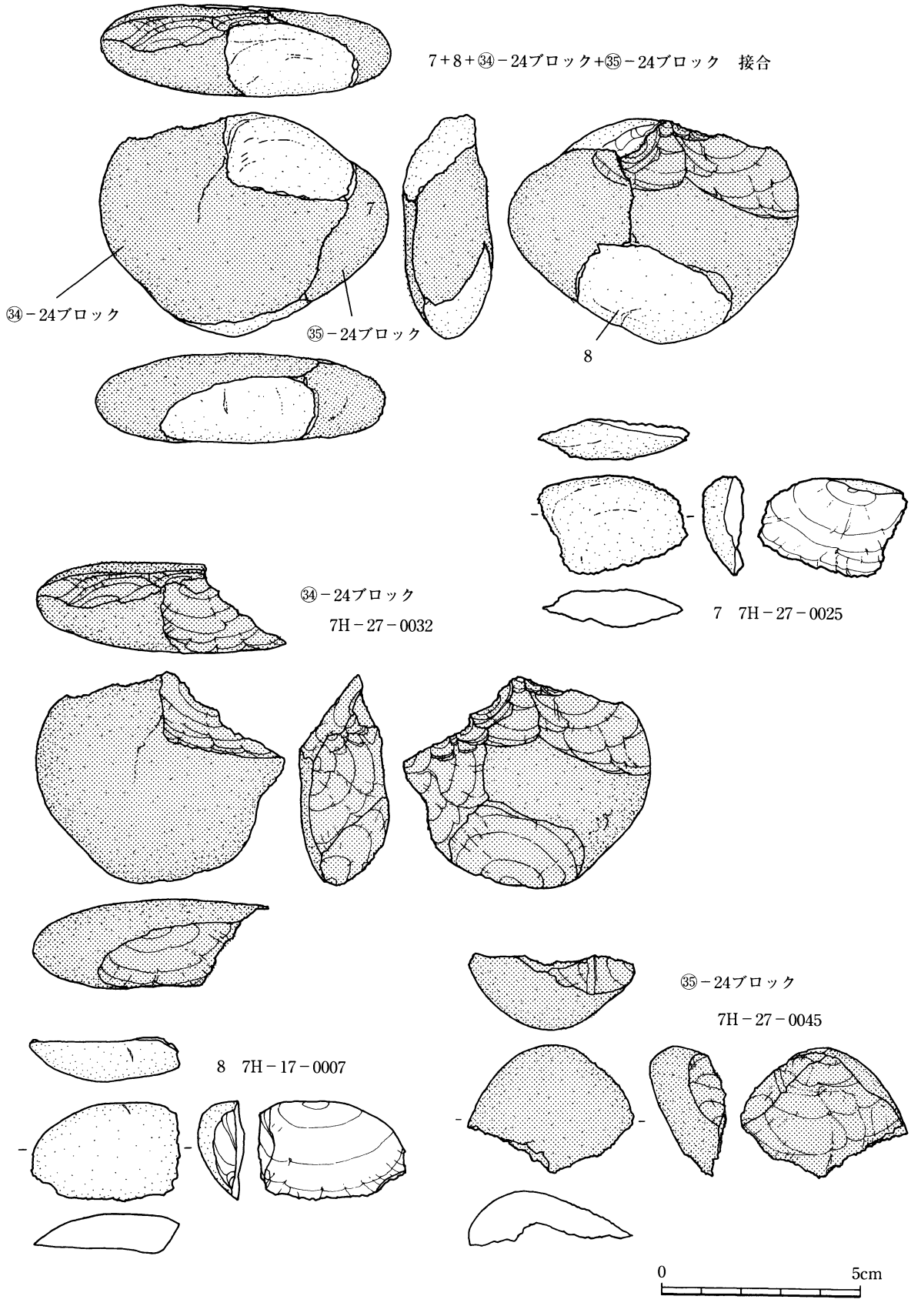
Ｕ・剥片（第195図３、４）３は安山岩ＡのＵ・剥片である。剥片の左側縁部分に細かな刃こぼれが見られる。４は珪質頁岩のＵ・剥片である。右側側縁部分を中心に細かな刃こぼれが見られる。

剥片（第195図５、６）５はチャートの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離１面と右方向の剥離１面および礫面によって構成されている。６は流紋岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離１面と先端部の若干の礫面とで構成されている。

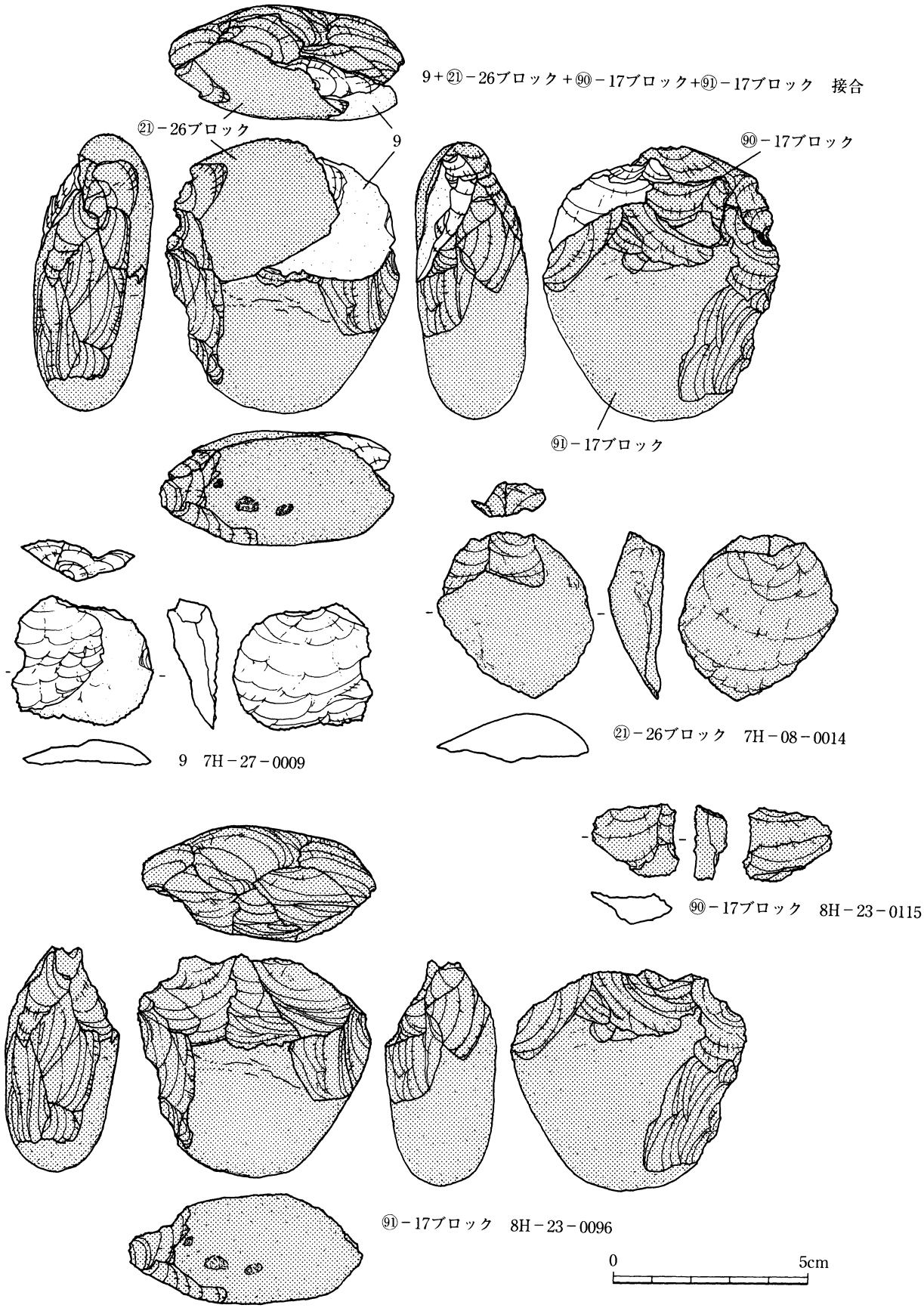
接合資料（第196、197図７～８、９）ホルンフェルスの接合資料で34－24ブロックの石核、35－24ブロックの剥片と接合する。９はチャートの剥片で背面に礫面と主剥離面と同方向の剥離１面をもつ。21－26ブロック、90－17ブロック、91－17ブロックの石核や剥片類と接合する。礫を石核として剥片剥離をする工程を復元できる資料である。またブロック間の接合関係からある程度同時期に形成されたブロックを抽出する事も可能となるように思われる。



第195図　第25ブロック出土遺物実測図（1）



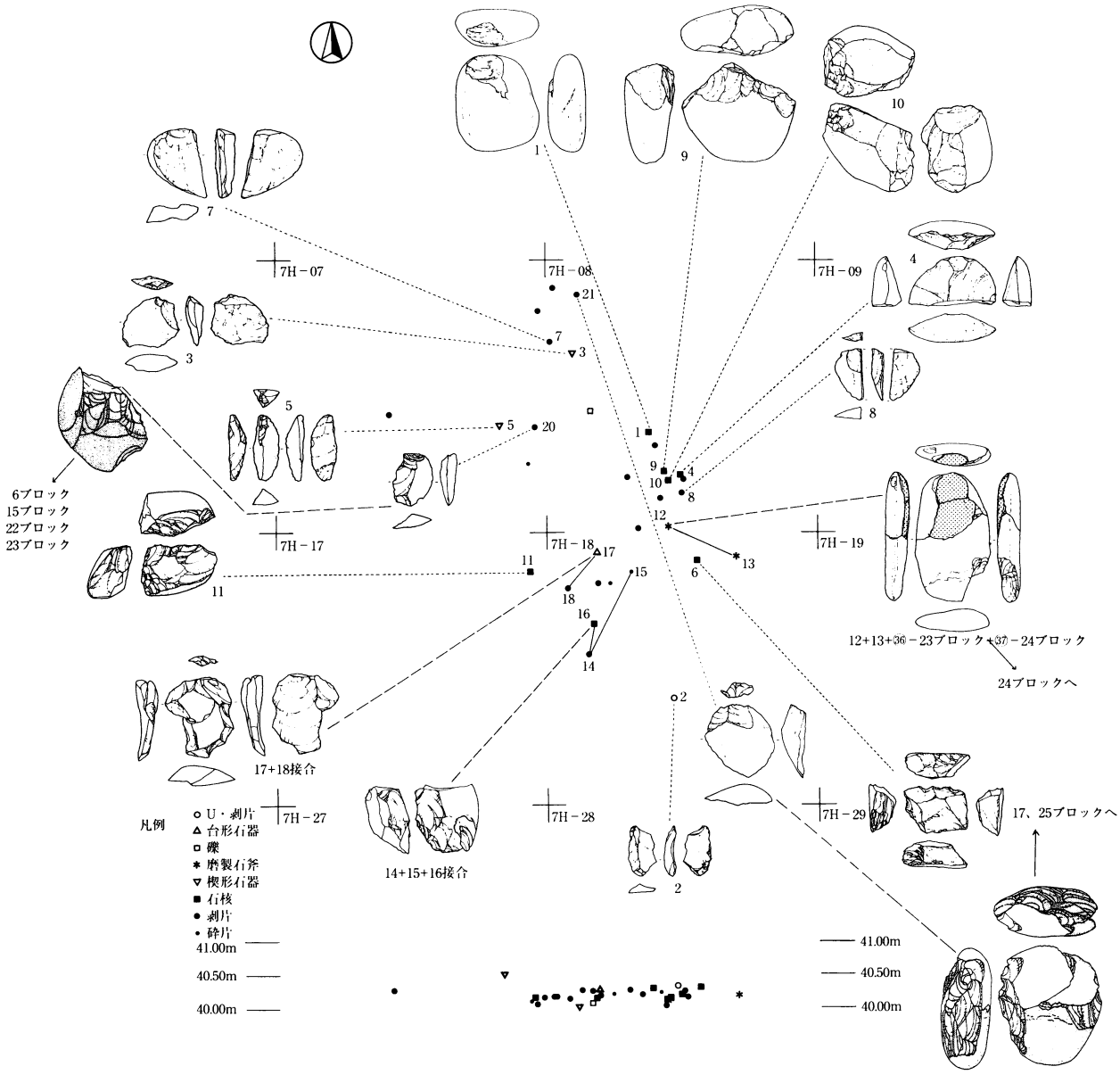
第196図　第25ブロック出土遺物実測図（2）



第197図　第25ブロック出土遺物実測図（3）

第26ブロック　（第198～205図１～21、写真図版35、第26、64表）

分　布　　石器は、７Ｈ－08～18グリッドを中心に南北に細長く分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、南北６ｍ、東西４ｍほどの範囲に緩やかに分布している。

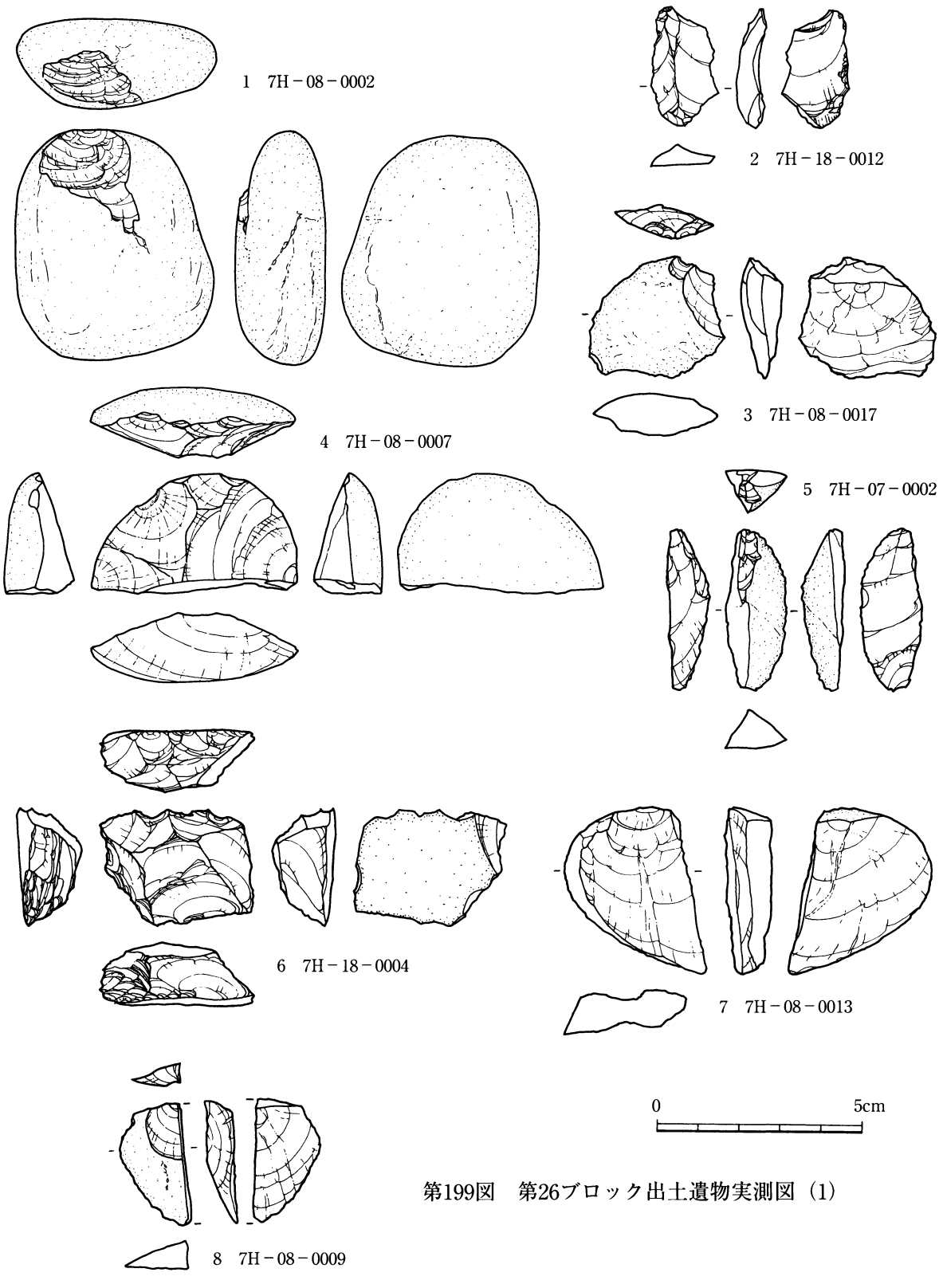


第198図　第26ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート８点、安山岩３点、砂岩５点、流紋岩11点、凝灰岩１点、メノウ１点、蛇紋岩２点、石英斑岩３点で構成される。点数が少ない割に石材は多様性に富むのが特徴的なブロックである。

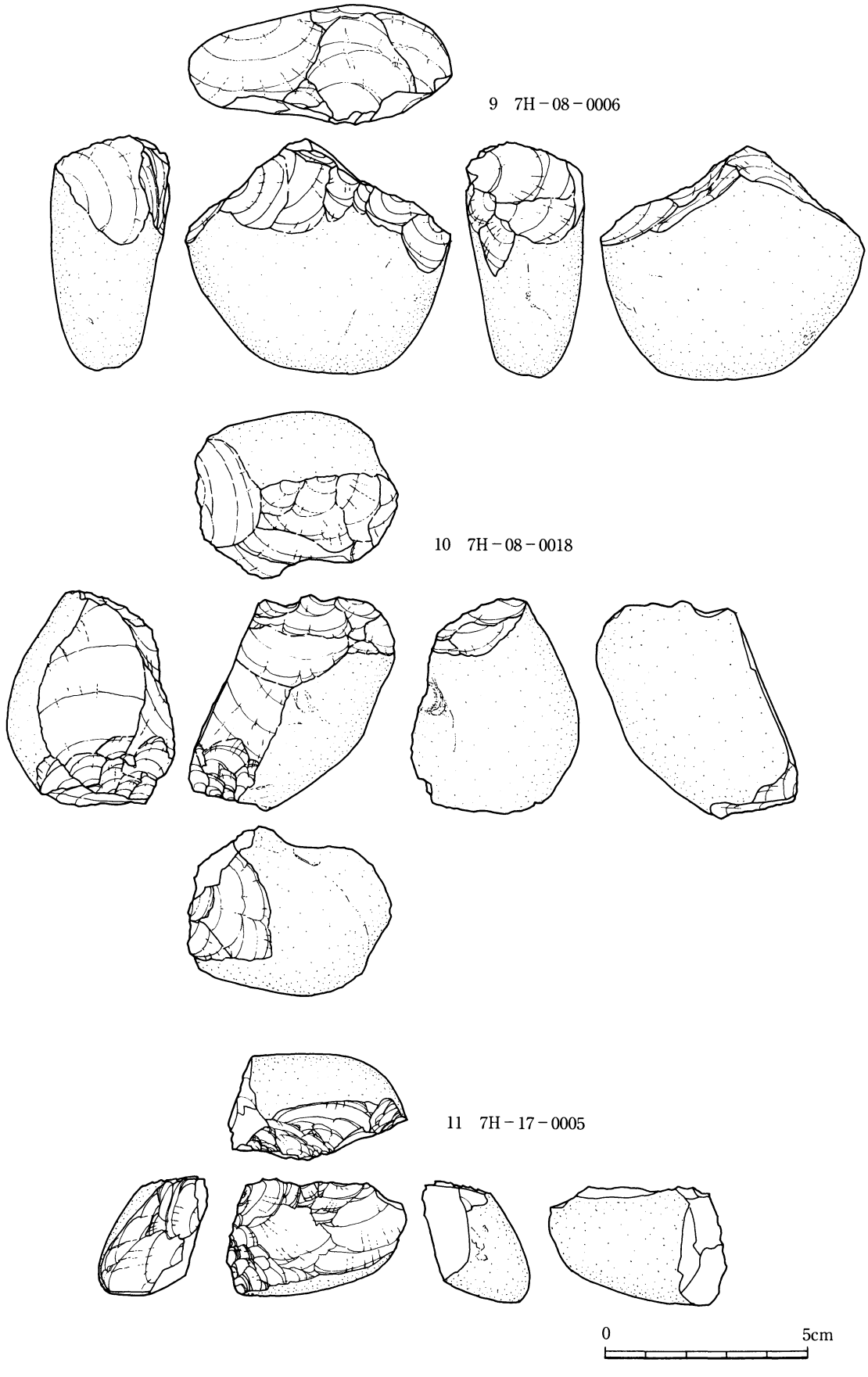
器　種　　石斧１点（２点が接合）、楔形石器２点、台形石器１点、U・剥片１点、石核９点、剥片14点、砕片４点、礫１点の合計34点で構成される。点数の割に石核の比率の高いのが特徴的なブロックである。

石斧（接合資料）（第201図12～13）12～13は蛇紋岩の石斧である。先端刃部側は折れている。また36－24ブロックおよび37－24ブロックの剥片２点とも接合する。刃部側に磨痕等の傷は肉眼で観察できないが、光沢等が他の部分より著しいため石斧であると考えている。



第199図　第26ブロック出土遺物実測図（1）

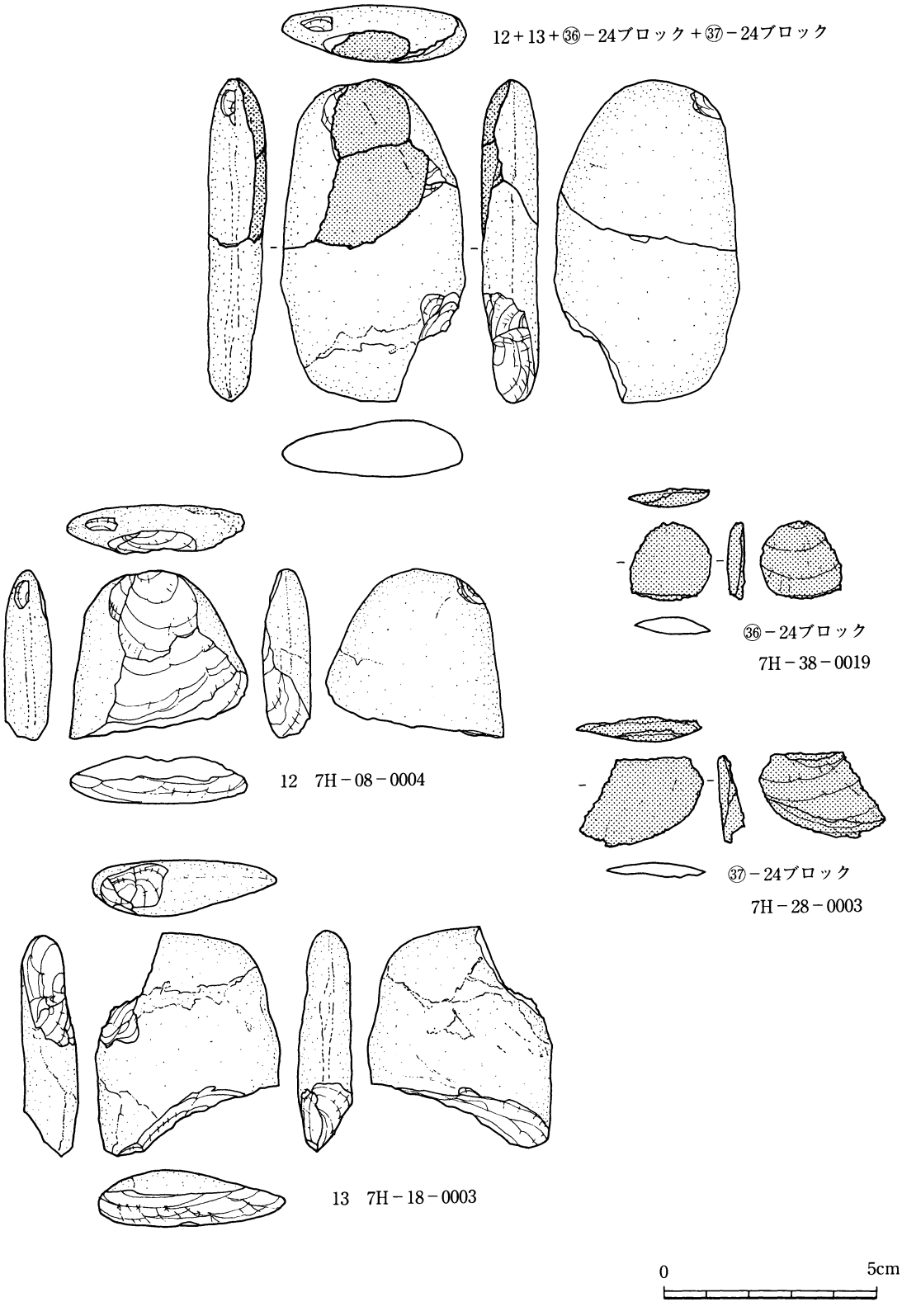
楔形石器（第199図３、５）３はチャートの楔形石器である。上下両端に打撃痕が見られる。背面はほぼ礫面で覆われている。５は安山岩Ａの楔形石器である。縦長の剥片を素材として、上下に打撃痕が見ら



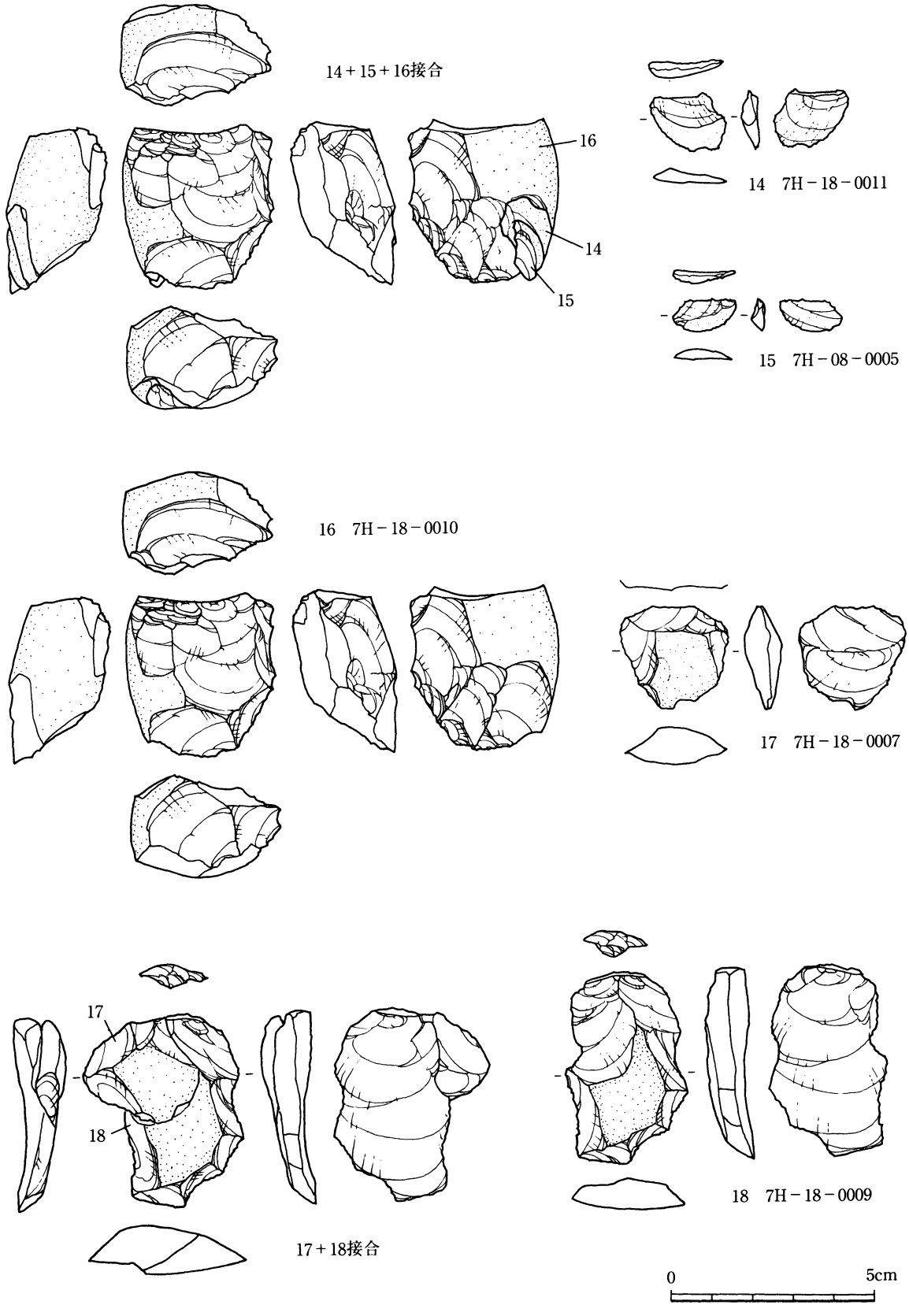
第200図　第26ブロック出土遺物実測図（2）

れる。背面はほぼ礫面で覆われている。

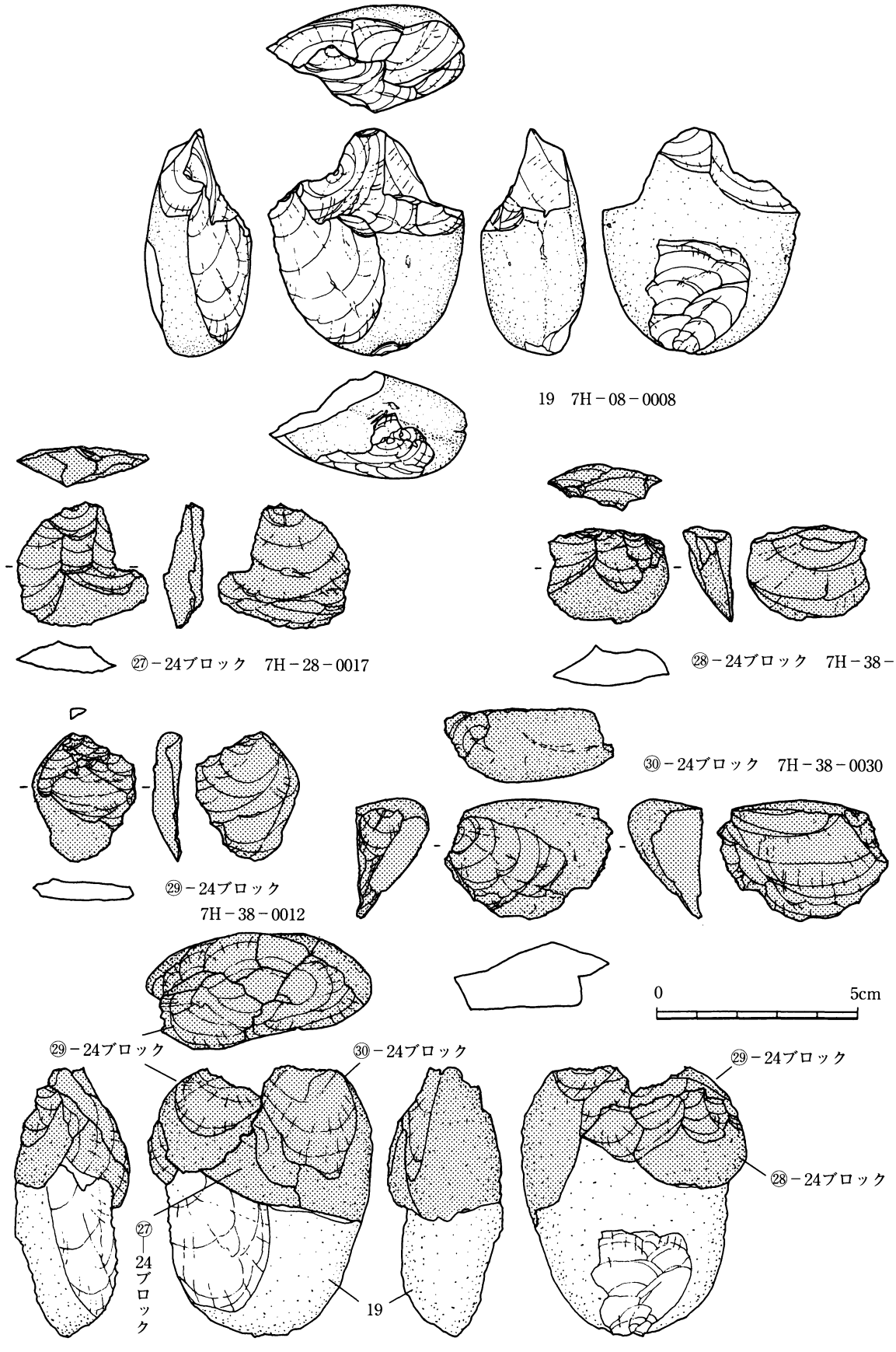
U・剥片（第199図２） ２はチャートのU・剥片である。縦長剥片で側縁部分に細かな刃こぼれが見られる。



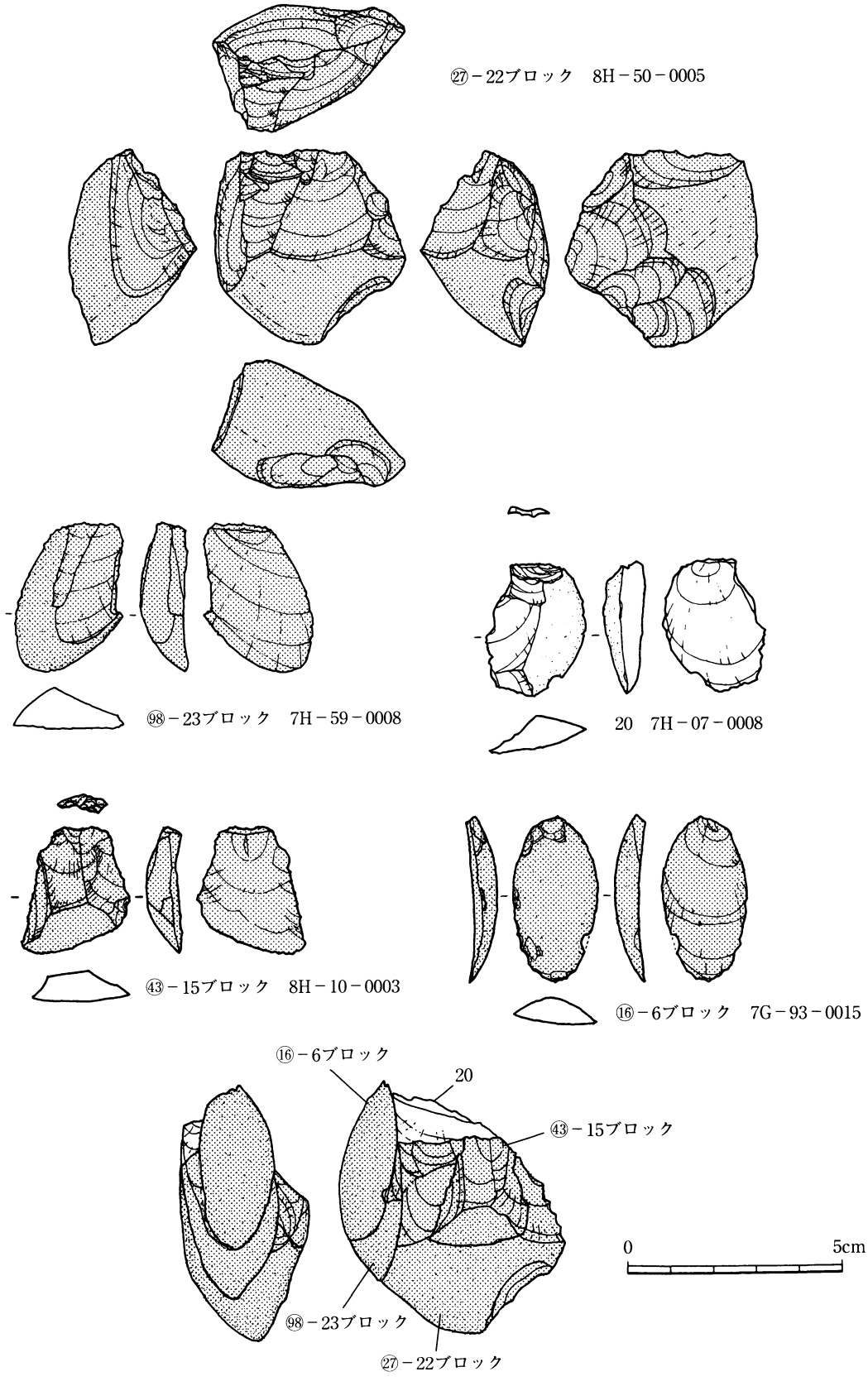
第201図　第26ブロック出土遺物実測図（3）



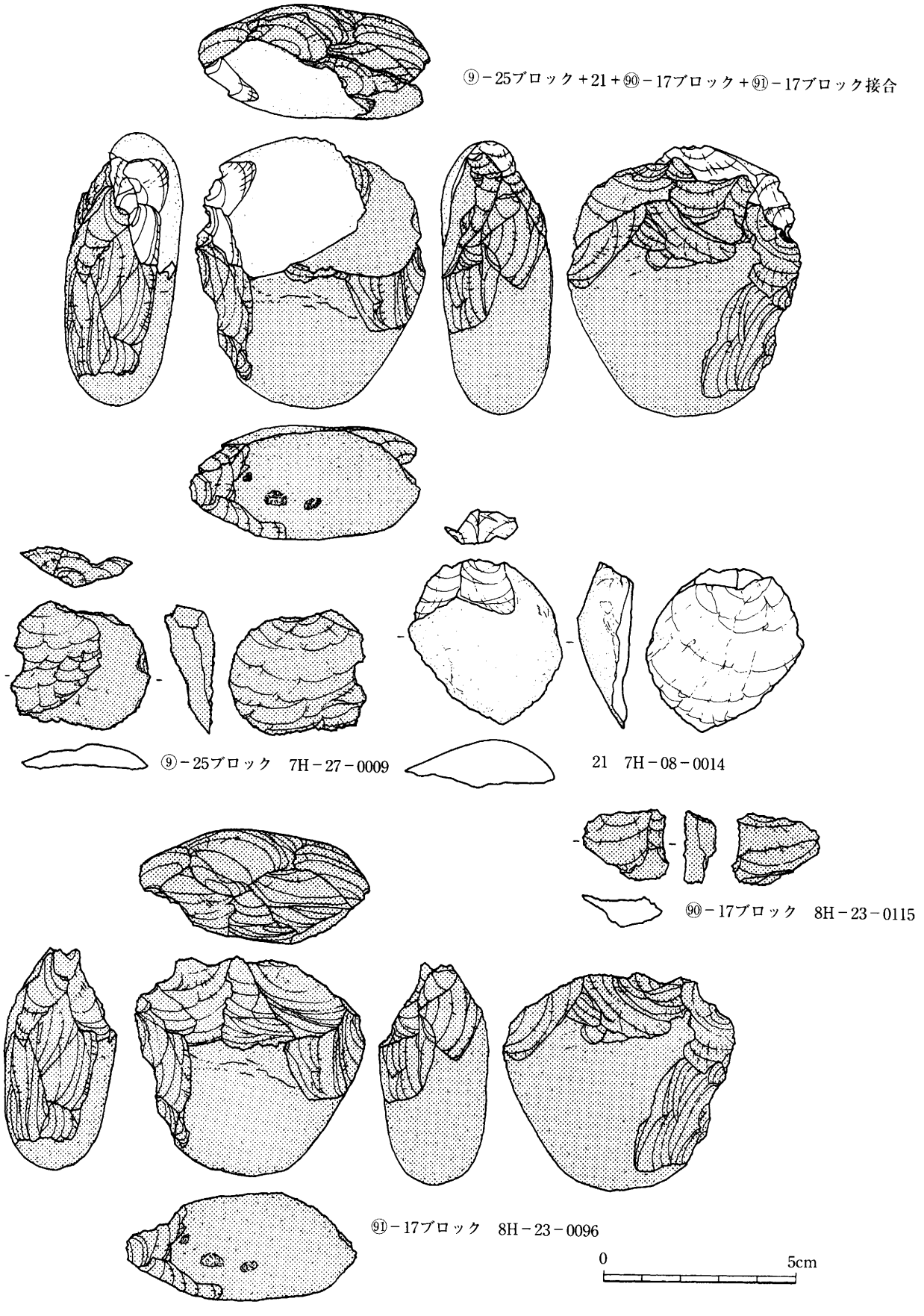
第202図　第26ブロック出土遺物実測図（4）



第203図　第26ブロック出土遺物実測図（5）



第204図　第26ブロック出土遺物実測図（6）



第205図　第26ブロック出土遺物実測図（7）

石核（第199、200図１、４、６、９～11）１は凝灰岩の石核である。厚みのある楕円礫を素材として縁辺部分より１面剥離している。4は砂岩の石核である。円礫の周辺から片側を剥離したのち半割している。片側は礫面に覆われている。６は安山岩Ａの石核である。片側が礫面で覆われている剥片を素材として周辺部分から剥離している。９は石英斑岩の石核である。礫の片側から平らの面を交互に使って剥離している。10は石英斑岩の石核である。礫の周辺部から縦方向に使って片側から剥離している。11は流紋岩の石核である。礫の周辺部の片側から剥離し、同じ方向からの剥離で比較的大きめの剥片を剥ぎ取っているようである。

剥片（第199図７、８）７はメノウの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面のみで構成されており、縁辺部分に薄く礫面を残す。８は流紋岩の剥片である。片側は剥片剥離時に破損したものと思われる。背面構成は主剥離面と同方向の剥離１面と礫面とで構成される。

接合資料（第202～205図14～16、17～18、19、20、21）14～16は流紋岩の接合資料である。14、15は砕片、16は石核である。接合関係から剥離面を打面にして任意な方向から剥離作業を行っている。17～18は砂岩の接合資料である。18の剥片の背面の剥離面を見ると任意の方向からの剥離をされていることがわかる。19はホルンフェルスの石核である。27～30－24ブロックの４点の剥片と接合する。礫から剥片剥離を行った様子を復元できる資料である。20は流紋岩の剥片である。６ブロック、15ブロック、23ブロックから出土した剥片および22ブロックから出土した石核と接合関係にあり、26ブロックとこれらのブロックがほぼ同時期に形成されていった過程が追跡できる。21はチャートの剥片である。17ブロック、19ブロック、25ブロックの剥片と17ブロックの石核と接合関係にある。礫から剥片剥離を行った様子を復元できる資料である。

第27ブロック　（第206～217図１～43、写真図版36、37、第27、65表）

分　布　　石器は、７Ｈ－29～８Ｈ－20グリッドを中心に密度の高い状態で南北に分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、南北５m、東西３mほどの範囲に濃密に分布している。

石　材　　チャート９点、ホルンフェルス６点、安山岩28点、砂岩20点、流紋岩１点、凝灰岩11点、珪質頁岩３点、メノウ１点、蛇紋岩１点、石英５点で構成される。安山岩および砂岩を主体とし、石材は多様性に富むのが特徴的なブロックである。

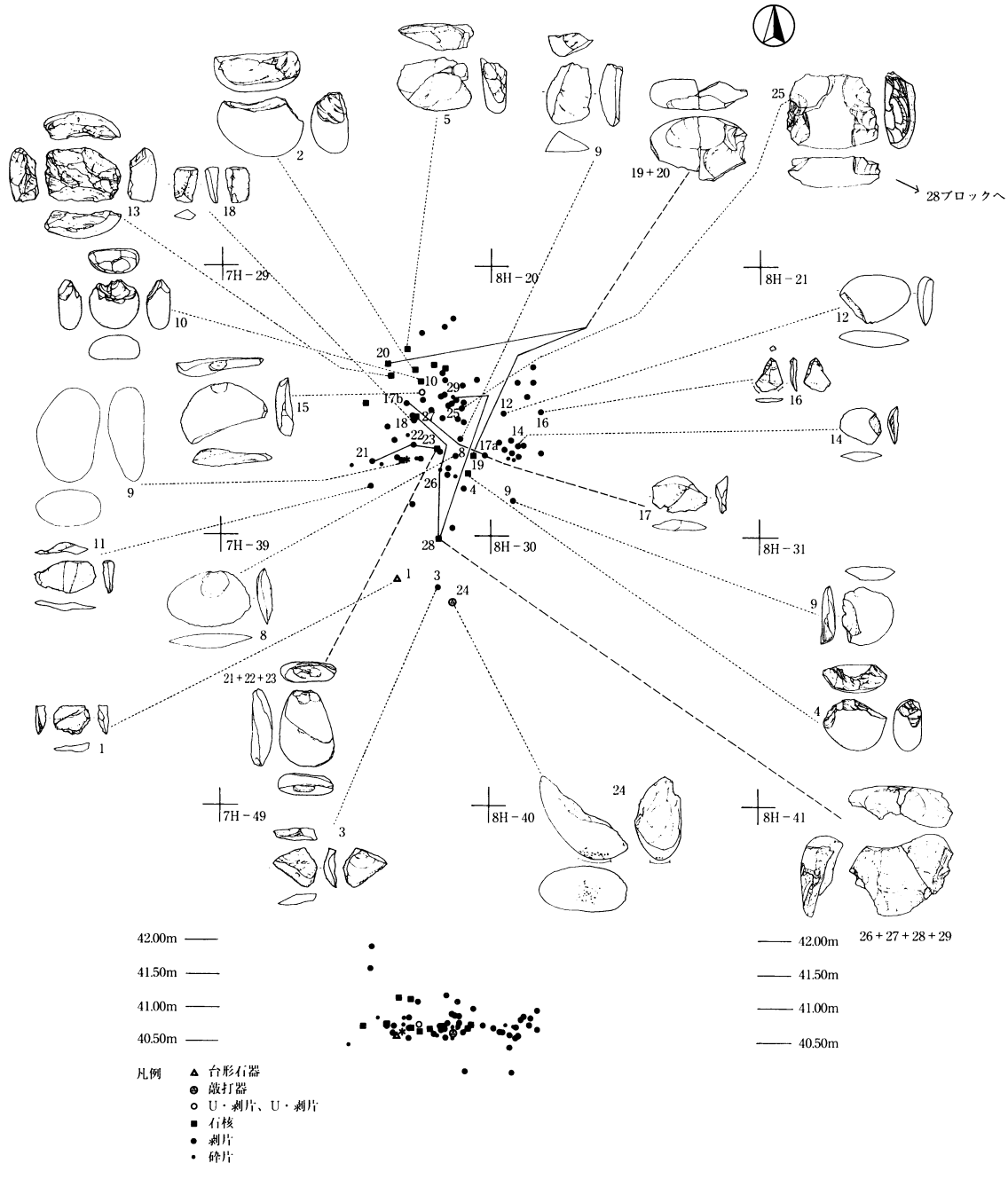
器　種　　磨製石斧１点、台形石器１点、Ｒ・剥片１点、石核15点、剥片56点、砕片10点、敲石１点の合計85点で構成される。剥片および石核の点数の比率の高いのが特徴的なブロックである。

磨製石斧（接合資料）（第216図39）39は蛇紋岩の磨製石斧である。①ａ－20ブロック、①ｂ－20ブロックの石斧片と接合し、１点の磨製石斧となる。接合した状態からみると側辺部分の調整加工と刃部の磨痕は丁寧に行われていると思われる。

台形石器（第208図１）１はメノウの台形石器である。小剥片を横位に用いて基部を中心に細かな調整を施している。

Ｒ・剥片（第209図15）15は安山岩ＡのＲ・剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。主剥離面側の左縁辺部分に数回調整が行われている。

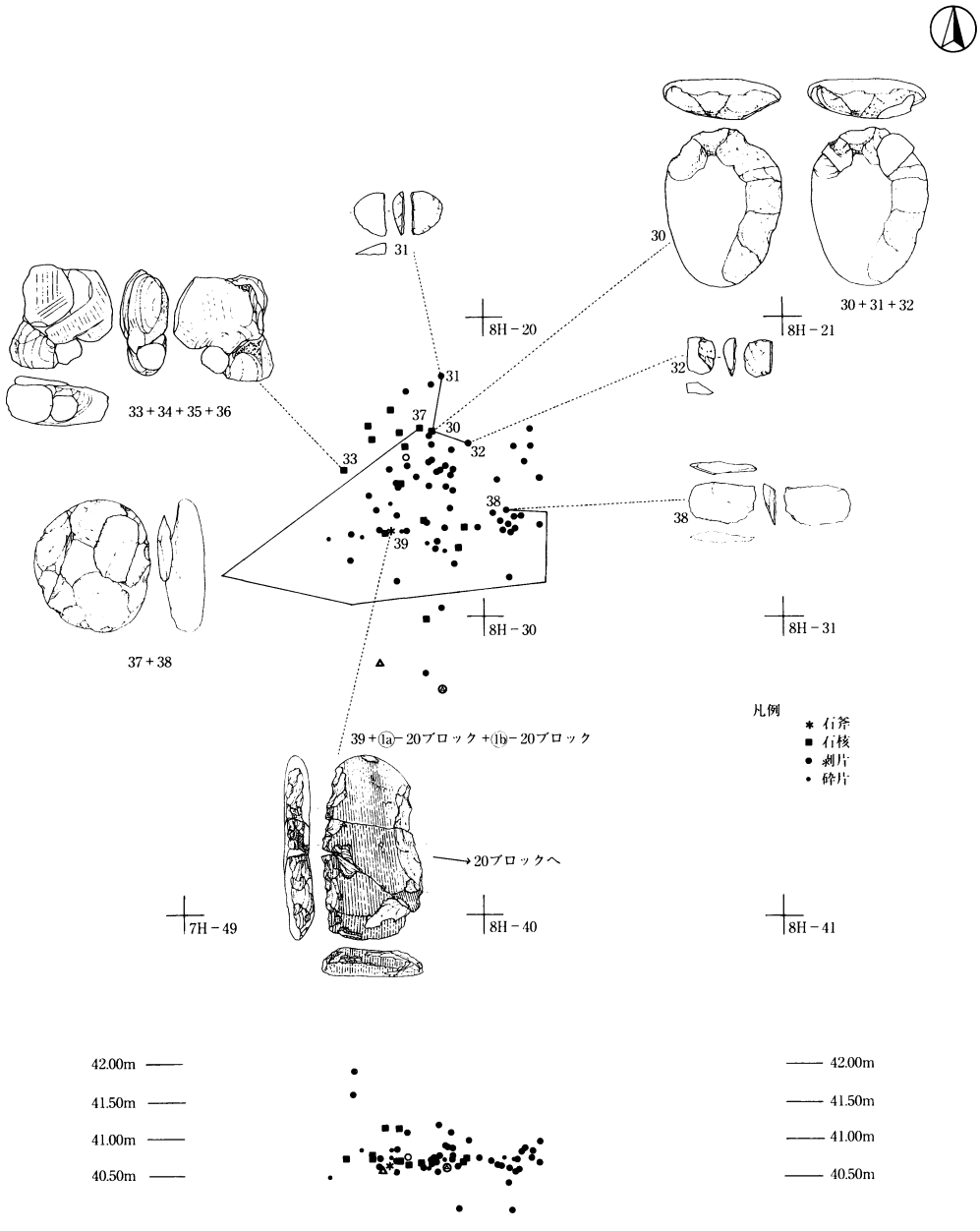
石核（第208、209図２、４、５、７、10、13）２はチャートの石核である。楕円礫の周辺部分から数回



第206図　第27ブロック出土状況図（1）（scale　1／100）

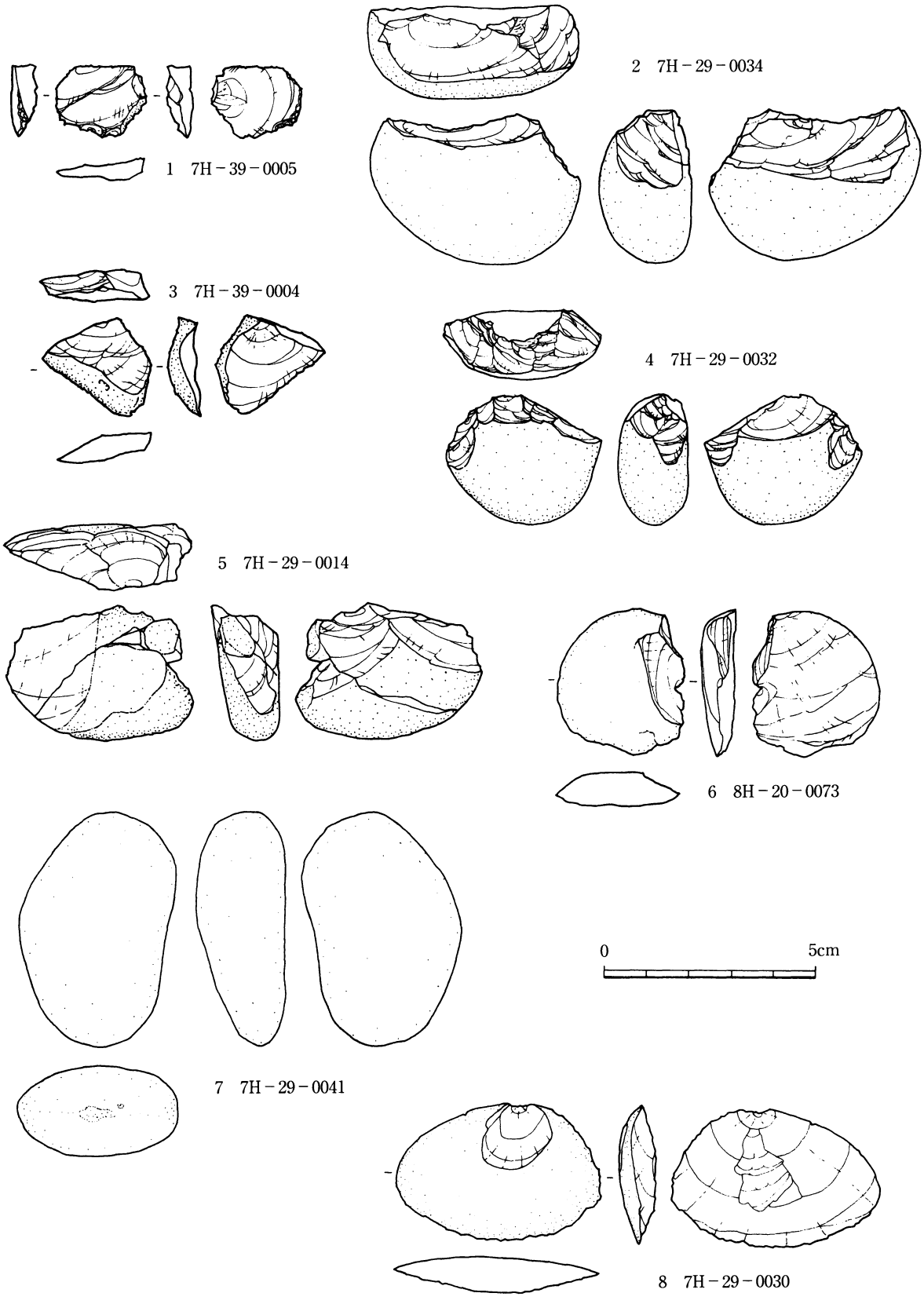
剥離を行っている。4は珪質頁岩の石核である。小円礫の片側縁辺部分から反対の縁辺部に向かって剥離されている。5は砂岩の石核である。扁平な楕円礫の片側から剥離されている。7は凝灰岩の原石である。楕円礫で石核にするためこの場に持ち込まれたものと思われる。10は珪質頁岩の石核である。小円礫の片側より小剥片を数回剥離しているのがわかる。13はチャートの石核である。背面に礫面を残す大形の剥片を素材として、主剥離面側を周囲から剥ぎ取っていくようすがうかがわれる。

敲石（第211図24）24は砂岩の敲石である。上半分は打割れた状態で先端部分に多数の打撃痕が見られる。石核を再利用したのかもしれない。

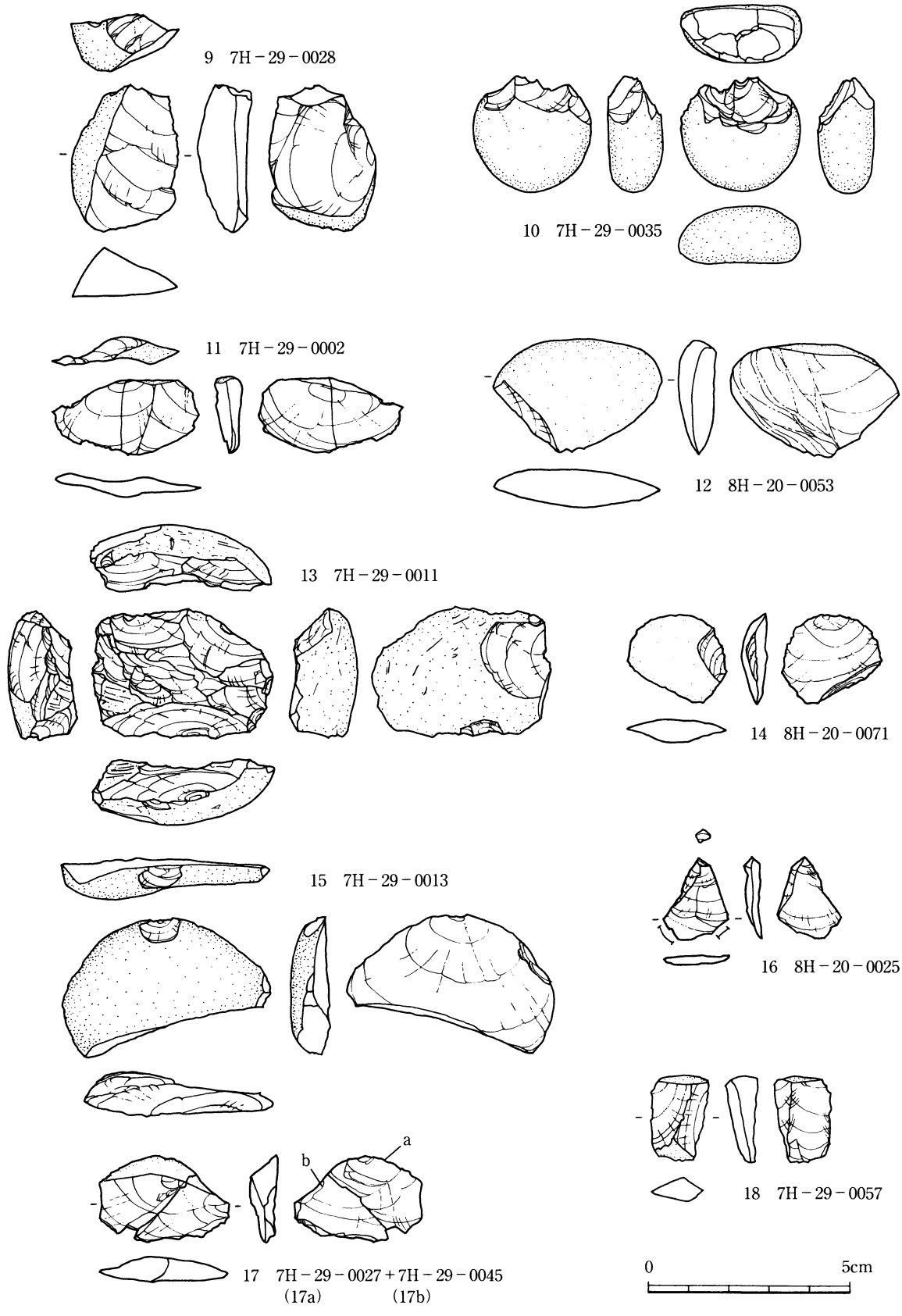


第207図　第27ブロック出土状況図（2）（scale 1／100）

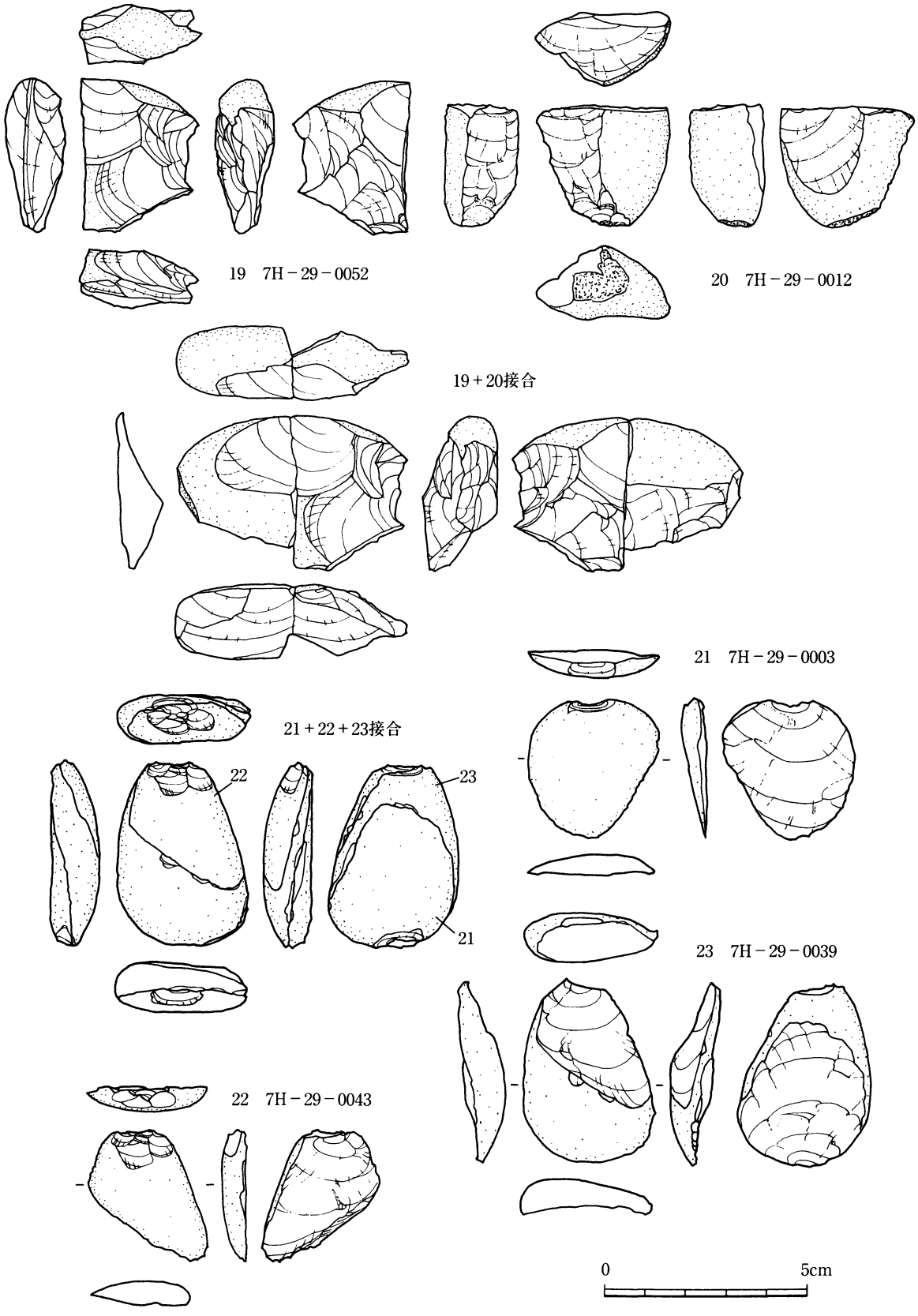
剥片（第208、209図３、６、８、９、11、12、14、16、17、18）３は砂岩の剥片である。剥離面を打面にして剥離されている。背面は主剥離面と同方向の剥離１面と左側側縁部分に若干残っている礫面とで構成されている。６はチャートの剥片である。背面は主剥離面に対して右方向からの剥離１面と礫面とで構成されている。８は砂岩の剥片である。貝殻状の形をした剥片で、背面は打撃された時に剥離した面以外は礫面で覆われている。９は安山岩Ａの剥片である。背面は主剥離面に対して左方向の剥離１面と下半部分の礫面とで構成されている。11は砂岩の剥片である。打面部に一部礫面を残している。12はホルンフェルスの剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。14は石英の剥片である。背面は主剥離面に対して右方向からの剥離１面と礫面とで覆われている。また先端部分は一部折れている。16は珪質頁岩の小剥片である。縁辺部分に細かな剥離が見られる。17はチャートの剥片である。打面部分は礫面で覆われている。ａとｂは剥離した時に折れたものである。18は砂岩の剥片である。打面部分と先端部分に礫面を残している。



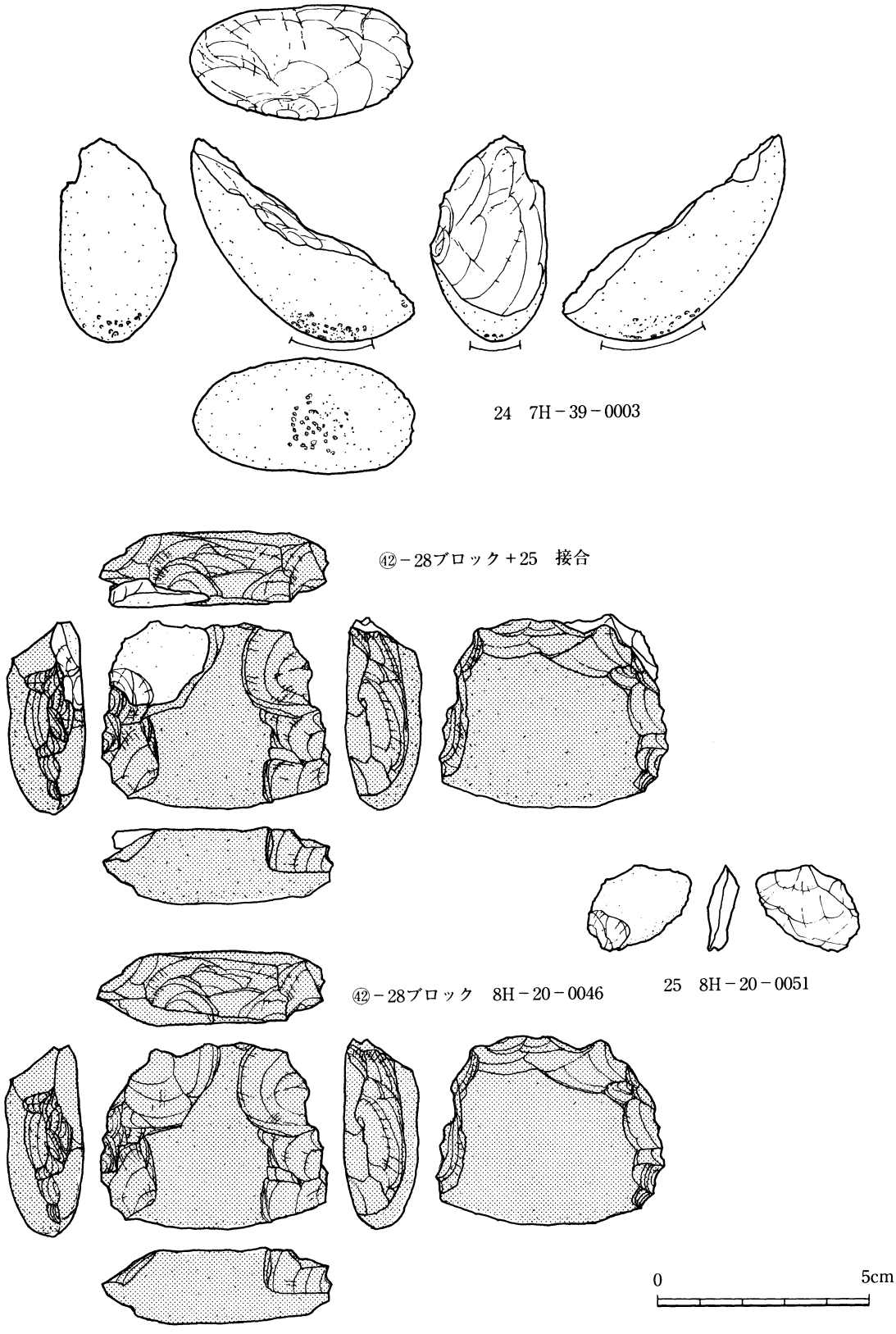
第208図　第27ブロック出土遺物実測図（1）



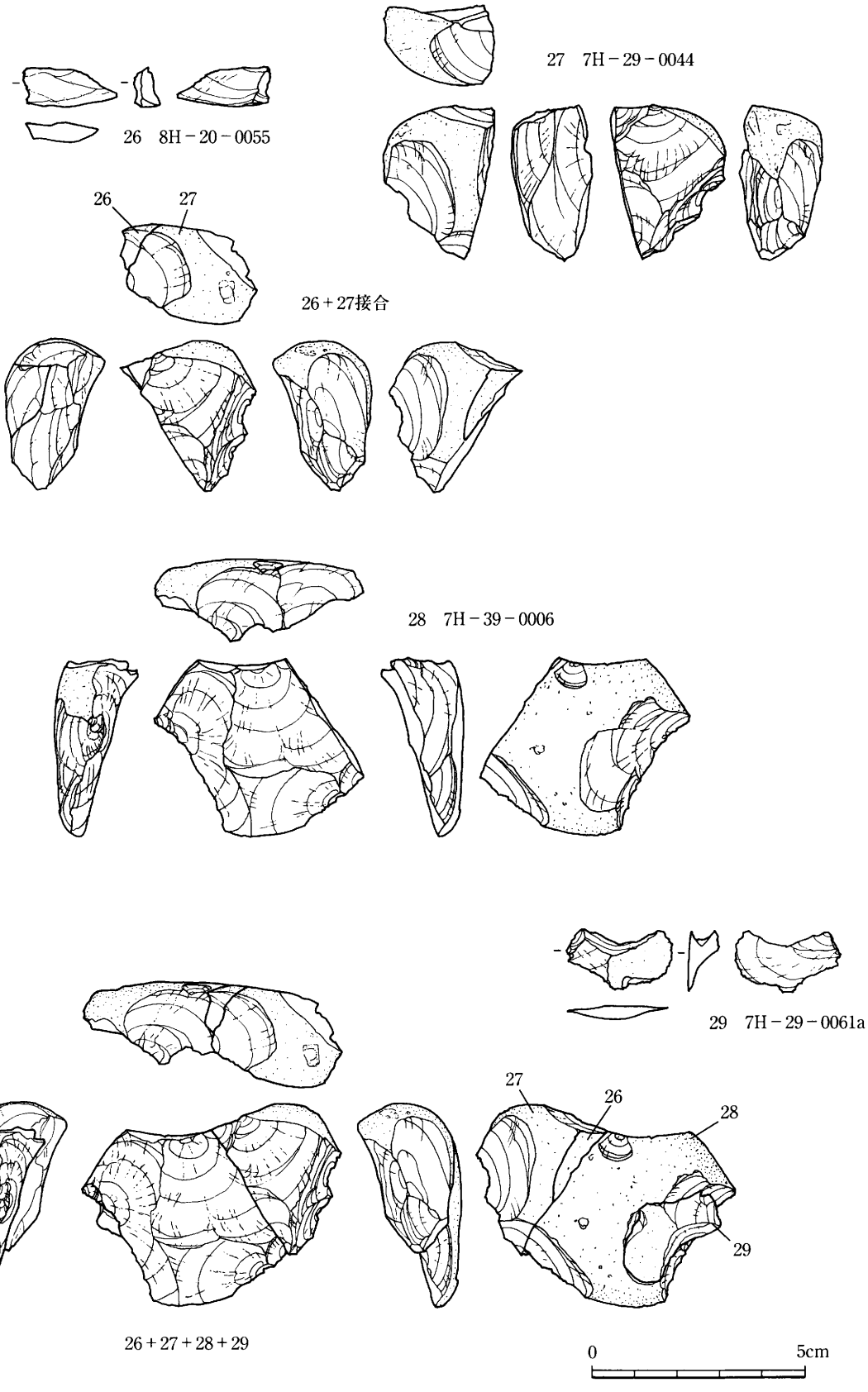
第209図　第27ブロック出土遺物実測図（2）



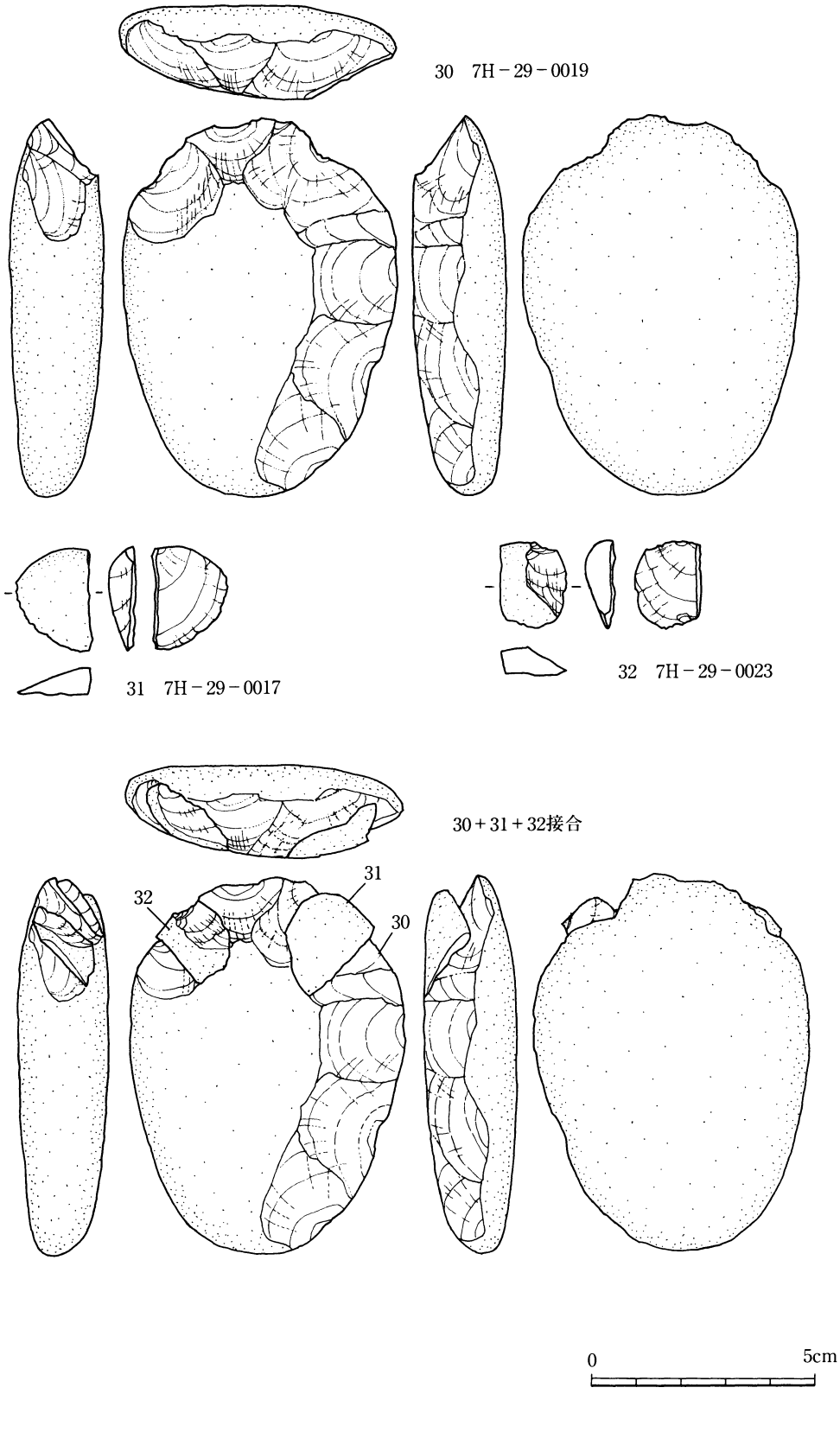
第210図　第27ブロック出土遺物実測図（3）



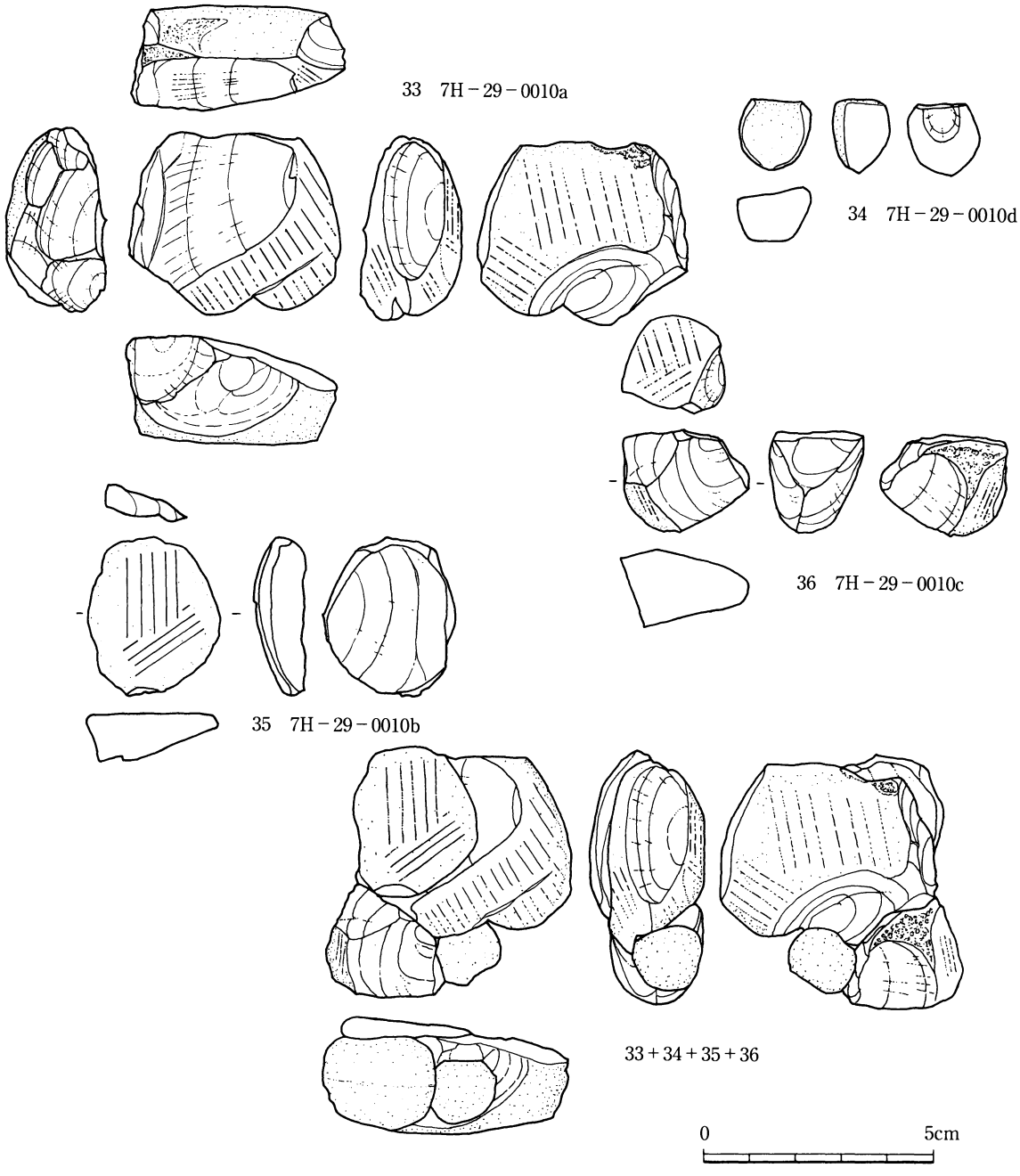
第211図　第27ブロック出土遺物実測図（4）



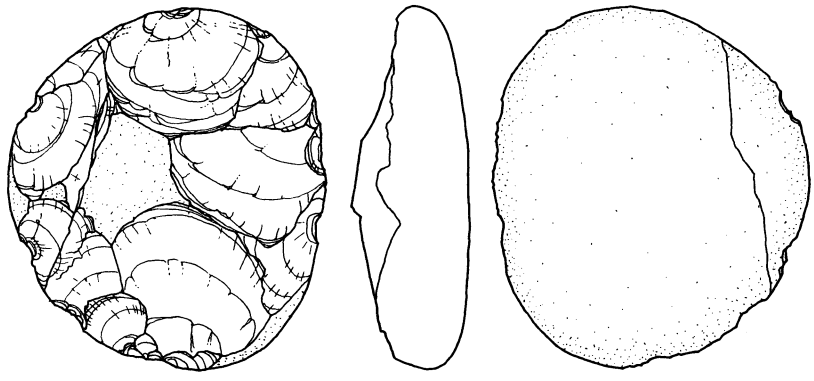
第212図　第27ブロック出土遺物実測図（5）



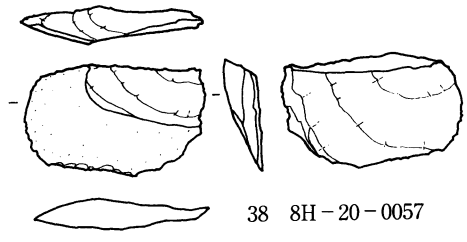
第213図　第27ブロック出土遺物実測図（6）



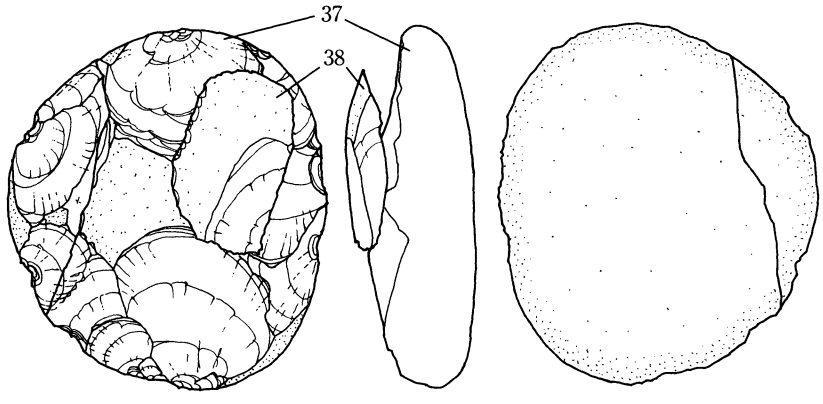
第214図　第27ブロック出土遺物実測図（7）



37　7H－29－0018



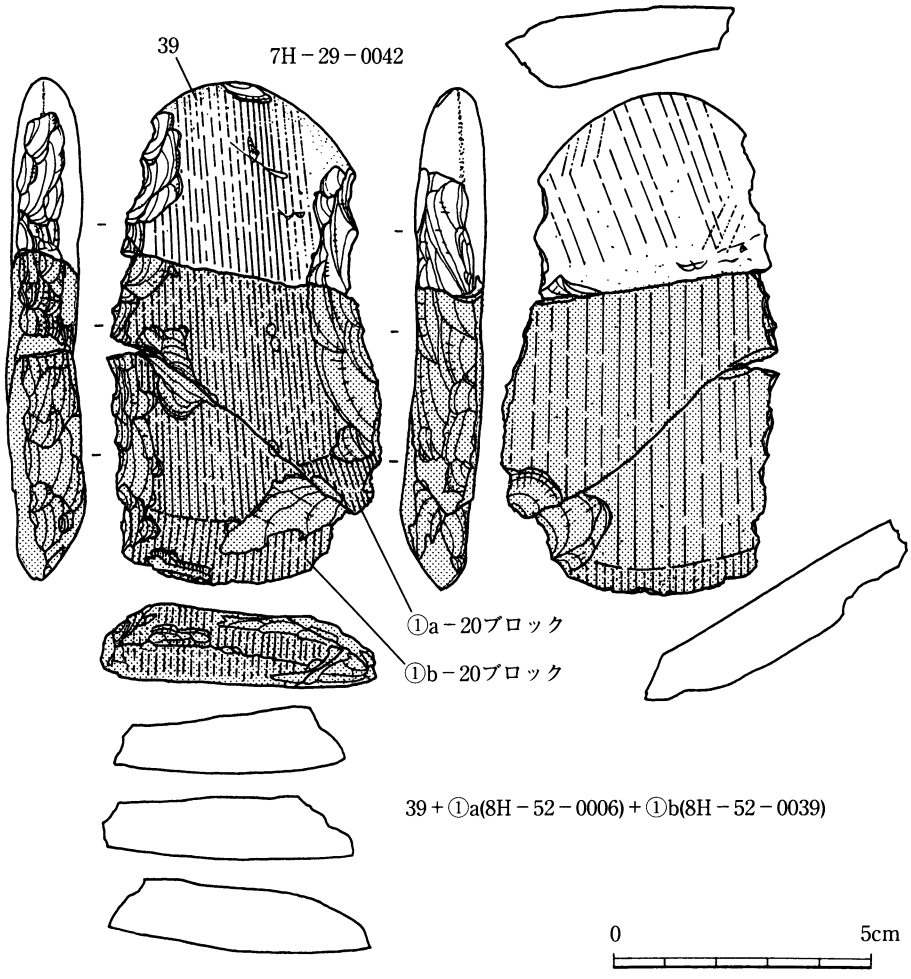
38　8H－20－0057



37+38　接合

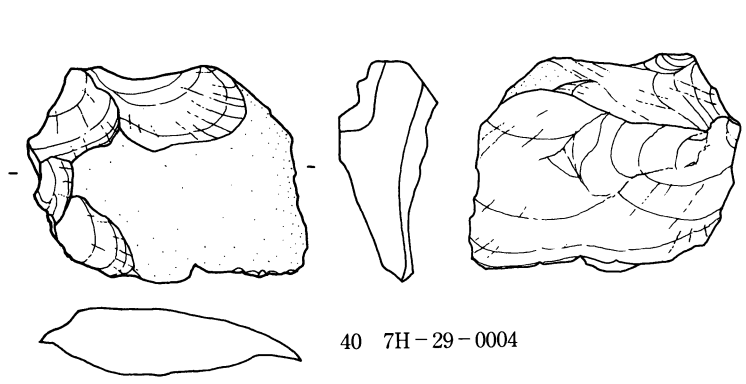
0　5cm

第215図　第27ブロック出土遺物実測図（8）

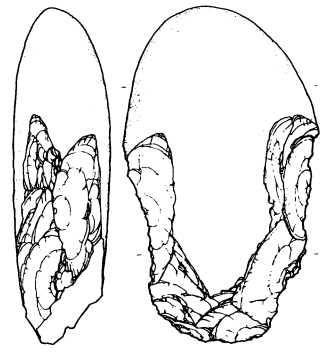


第216図　第27ブロック出土遺物実測図（9）

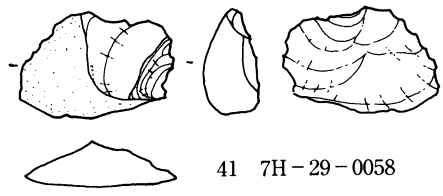
接合資料（第210～214図19～20、21～23、25、26～29、30～32、33～36）19～20は砂岩の接合資料で、石核である。接合した状況から見ると楕円礫の周辺部分から両面ともに多方位から剥離しているのがわかる。中程の剥片を剥離した際に分割されたものと考えられる。21～23は凝灰岩の接合資料である。上下両端に打撃痕が見られることから、両接打撃の際に3点の剥片に剥離したものと考えられる。25はチャートの砕片である。42－28ブロックの石核と接合する。楕円礫の周辺から剥片を剥ぎ取っていたことがわかる。26～29は凝灰岩の接合資料である。26と29は砕片、27と28は石核である。接合した状態では礫の片側、片面を主に使用して剥片を剥ぎ取っているのがわかる。より小さな剥片を剥ぐためにさらに分割したのかもしれない。30～32は砂岩の接合資料である。接合状態から判断すると礫の周辺部分から片面側に剥離を行っているのがわかる。33～36は砂岩の接合資料である。33は石核、34～35は剥片である。礫の割れる方向が一定していないため厚みのある不整形な剥片しかとれていない。



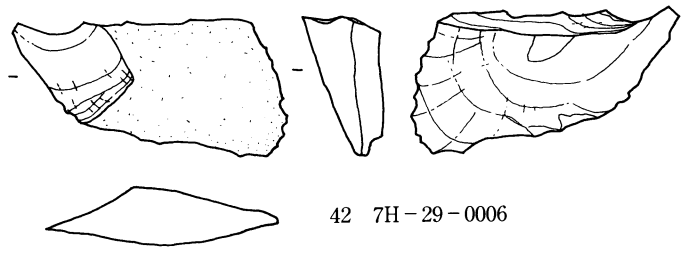
40　7H－29－0004



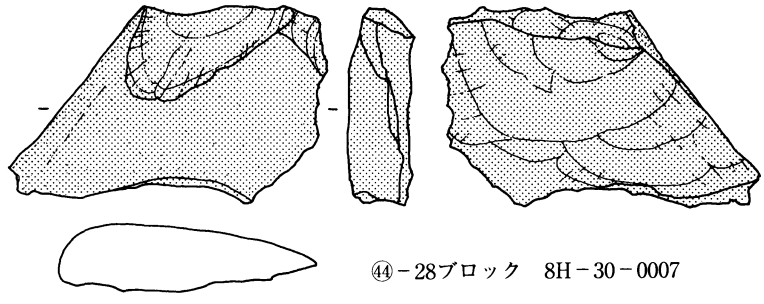
㉞－16ブロック(scale　1／3)



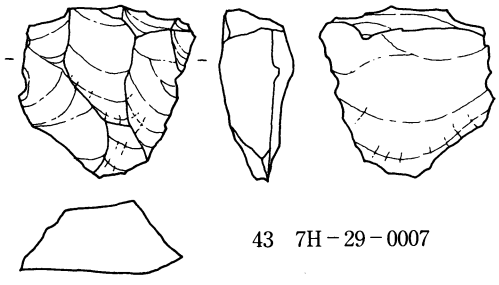
41　7H－29－0058



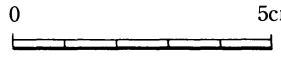
42　7H－29－0006



㊹－28ブロック　8H－30－0007



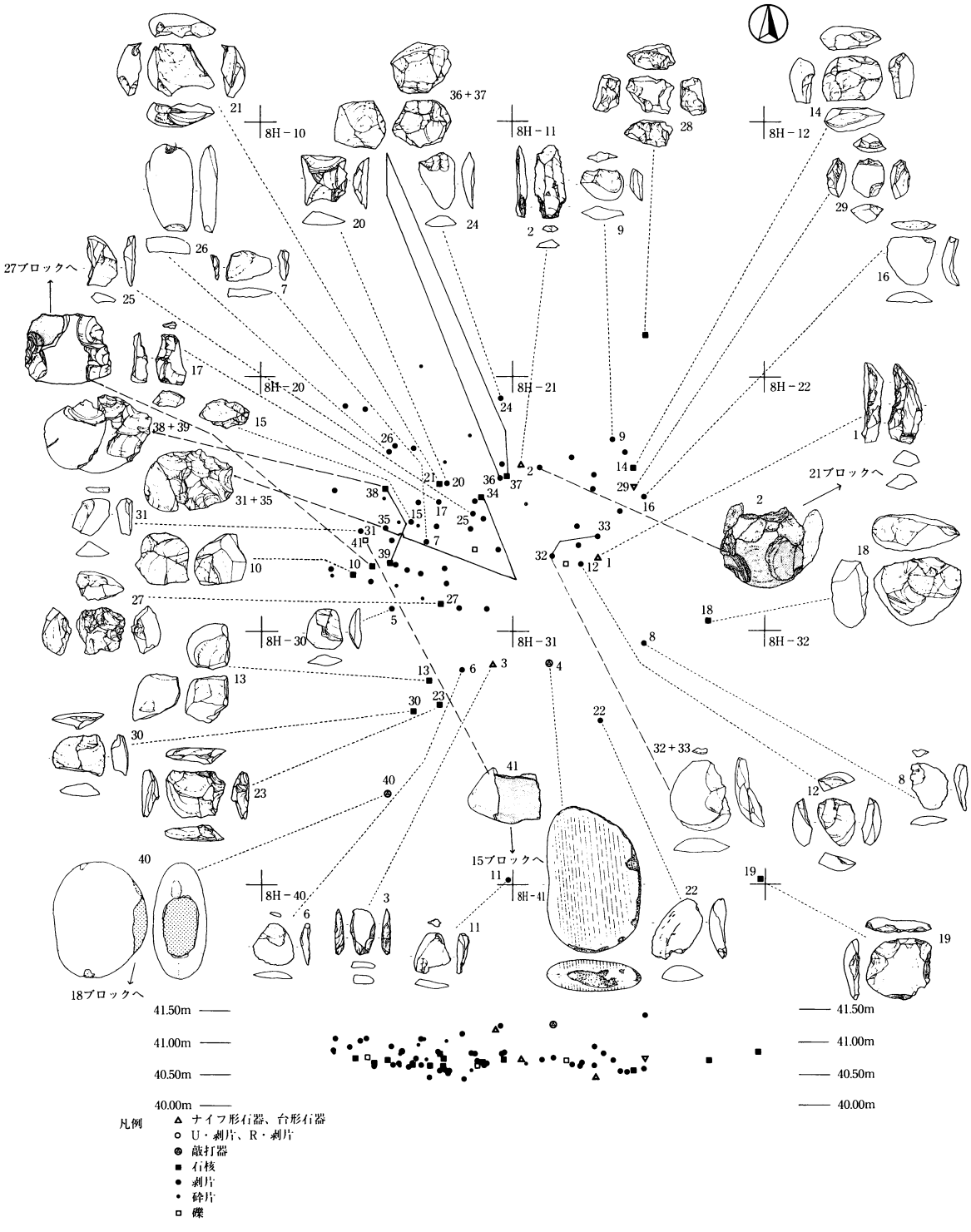
43　7H－29－0007



第217図　第27ブロック出土遺物実測図（10）

第28ブロック　（第218～228図１～44、写真図版37、第28、66表）

分　布　　石器は、８Ｈ－20～８Ｈ－21グリッドを中心に比較的密度の高い状態で東西に長く分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、南北６ｍ、東西５ｍほどの範囲に広く分布している。



第218図　第28ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート４点、ホルンフェルス５点、安山岩13点、砂岩６点、流紋岩４点、凝灰岩10点、珪質頁岩18点、メノウ11点、石英12点で構成される。多様な石材を比較的まんべんなく使っているのが、特徴的なブロックである。

器　種　　磨石１点、ナイフ形石器２点、台形石器１点、楔形石器１点、Ｒ・剥片１点、石核16点、剥片52点、砕片13点、敲石１点、礫６点の合計94点で構成される。様々な種類の石器をまんべんなく含んでいる。

磨石（第219図４）４は砂岩の磨石である。楕円礫を素材に両面とも磨滅している。周辺部分は敲潰される様に調整している。磨製石斧の未製品である可能性も考えられる。

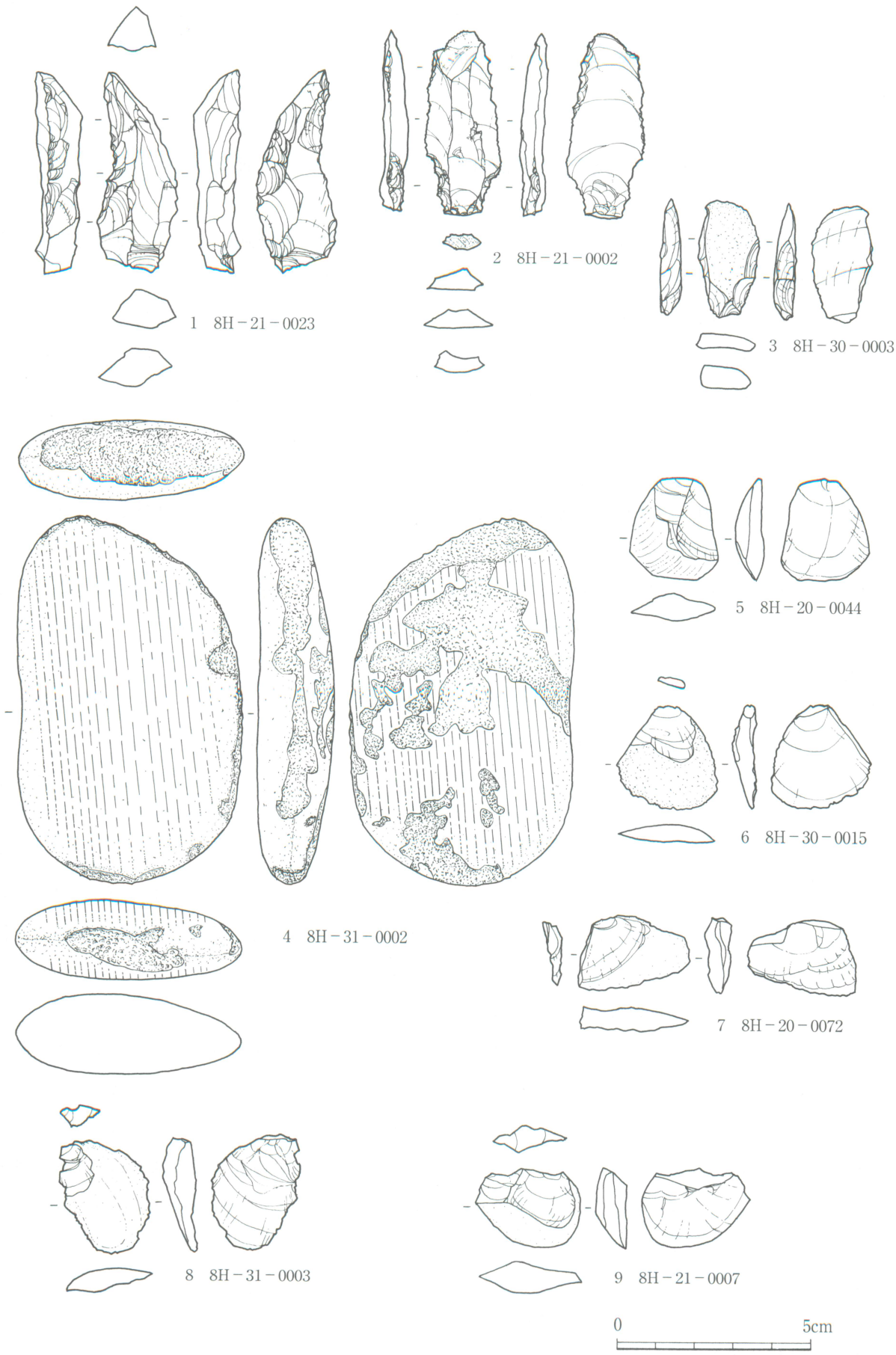
ナイフ形石器（第219図１、２）１はメノウのナイフ形石器である。先端部分の片側を除いて周辺調整が施されている。断面が比較的厚みのある縦長の剥片を素材にしている。２はメノウのナイフ形石器である。縦長剥片を素材として、基部調整と側縁部分の片側の先端部分に近いところに調整を加えてある。

台形石器（第219図３）３は安山岩Ａの台形石器である。周辺部分から基部まで細かな調整が施されている。

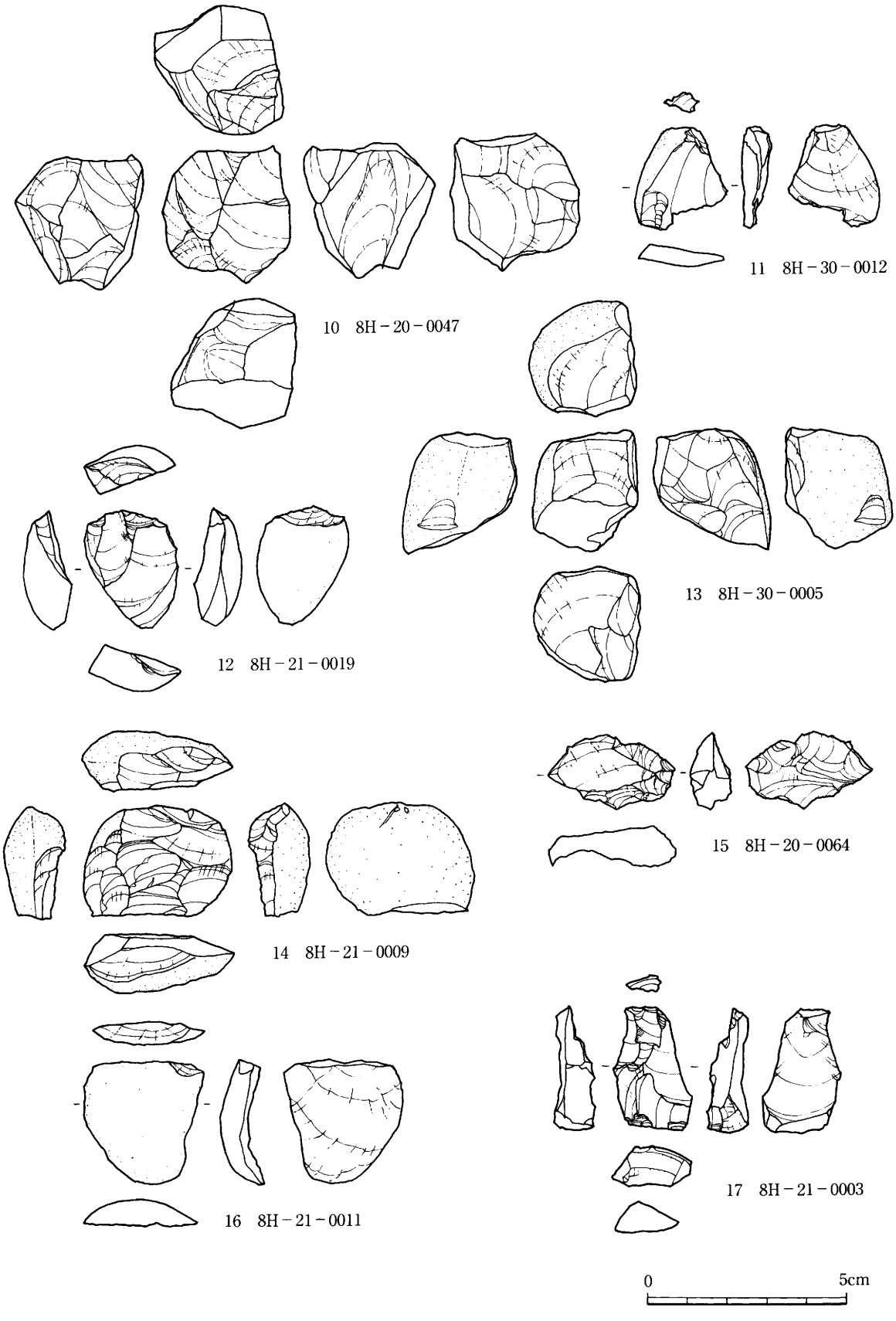
楔形石器（第222図29）29は安山岩Ａの楔形石器である。上下両端に打撃による剥離が見られる。片面はほぼ礫面で覆われている。

石核（第220～222図10、12～14、18、19、21、23、27、28、30）10は凝灰岩の石核である。礫の多方位からの剥離で剥片を作出している。礫面は残していない。12は珪質頁岩の石核である。背面が礫面の剥片を再利用して小剥片を剥離している。13は安山岩Ｂの石核である。上下両方から小剥片を剥離している。礫面はかなり残っている。14は珪質頁岩の石核である。楕円礫の片面の周辺部から中央部分に剥離されている。片面は礫面に覆われている。18はチャートの石核である。小楕円礫の片側から剥離を進めている。この面の下側ともう一面のほぼ全体が礫面で覆われている。19はチャートの石核である。礫から剥離された剥片を素材としてその周辺部分から剥離している様子がうかがわれる。21は珪質頁岩の石核である。楕円礫を大きく割る様な剥離で剥がされた後、小さな不規則な剥離が行われている。23は安山岩Ａの石核である。比較的薄い楕円礫を使って主に右側上部から剥離を進めていると思われる。27は石英の石核である。小円礫の片面側から小さな剥片を剥がしている。もう一方の面は礫面を残している。28は凝灰岩の石核である。厚みのある剥片を素材にして小さな剥片を任意な方向から剥離している。30は安山岩Ａの石核である。剥片を素材にして剥片を剥離している。片側は礫面で覆われている。

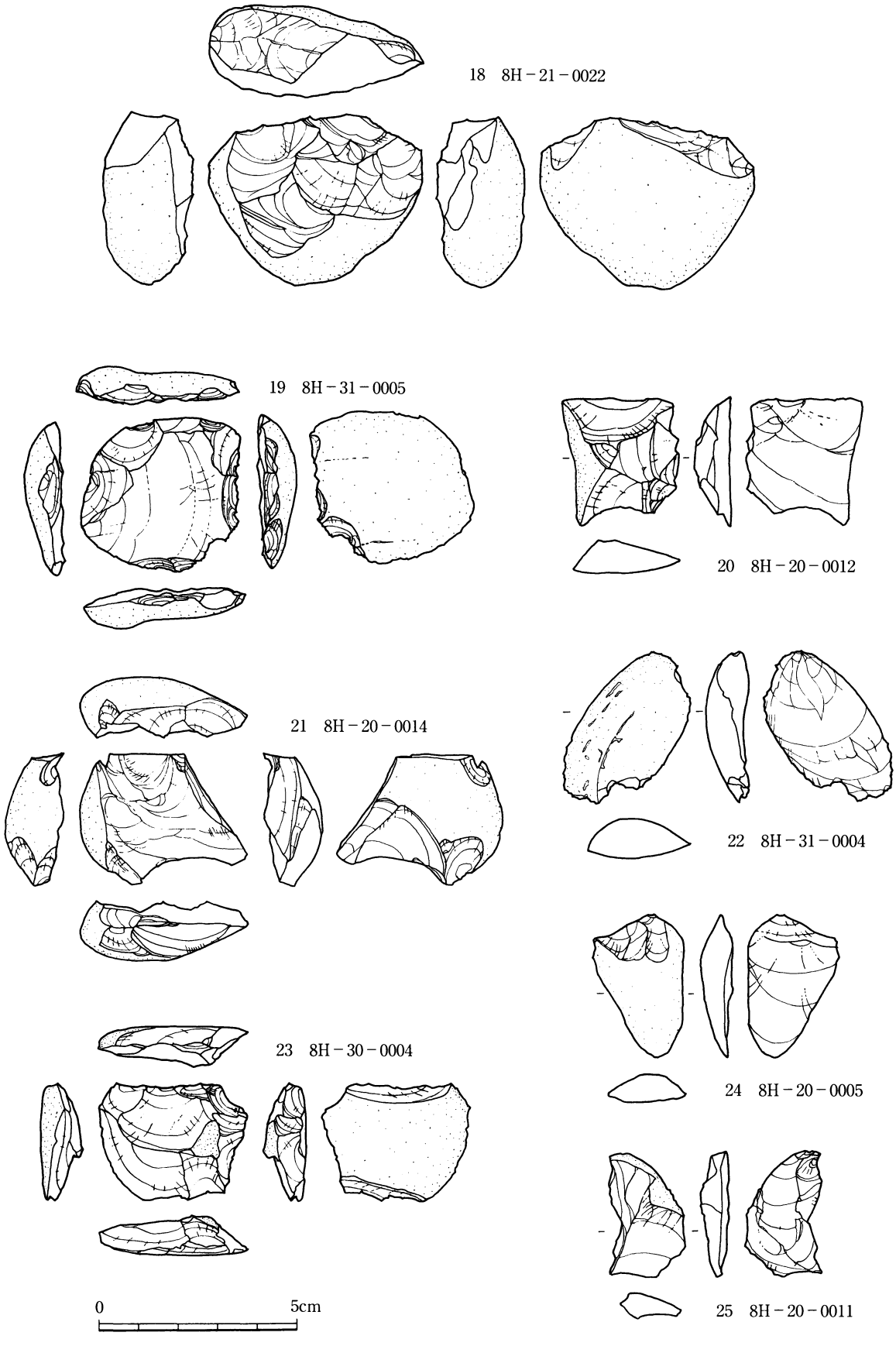
剥片（第219～222図５～９、11、15～17、20、22、24～26、31）５は凝灰岩の剥片である。主剥離面と同方向の剥離面２面および風化面とで構成されている。６は安山岩Ａの剥片である。背面は、主剥離面と同方向の剥離１面と礫面とで構成されている。７はメノウの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離１面と礫面とで構成されている。８はメノウの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離１面と礫面とで構成されている。９は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離２面と礫面とで構成されている。11は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面に対して右からの剥離面と礫面とで構成されている。15は石英の剥片である。横剥ぎの剥片で背面を見る限り、任意の方向で剥離の進められたものと思われる。16はメノウの剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。17は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面の同方向の剥離３面および右方向からの剥離１面とで構成されている。20は安山岩Ａの剥片である。背面は主剥離面と同じ方向の剥離１面と右方向からの複数の剥離面および礫面とで構成されている。22は珪質



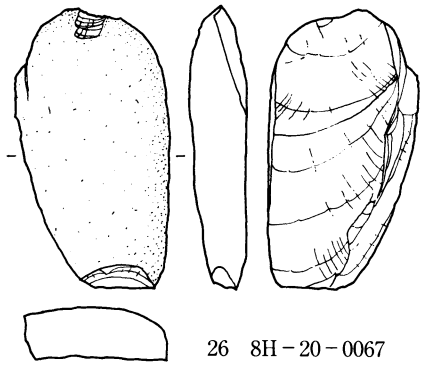
第219図　第28ブロック出土遺物実測図（1）



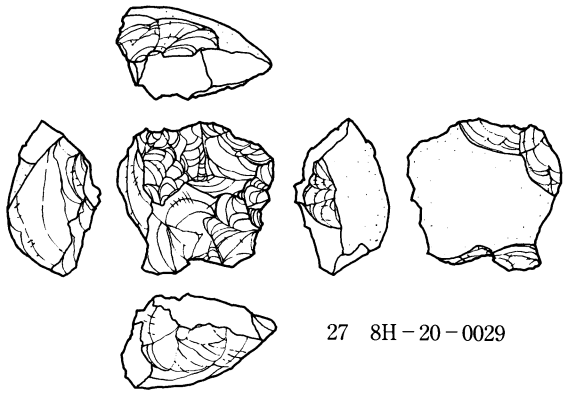
第220図　第28ブロック出土遺物実測図（2）



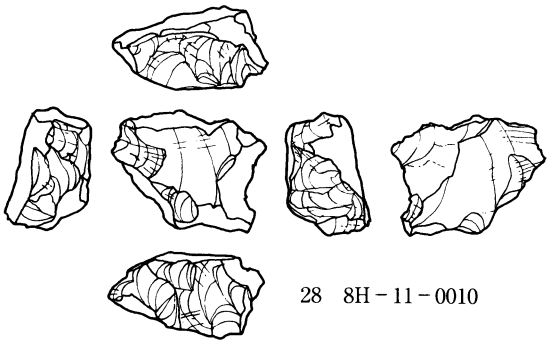
第221図　第28ブロック出土遺物実測図（3）



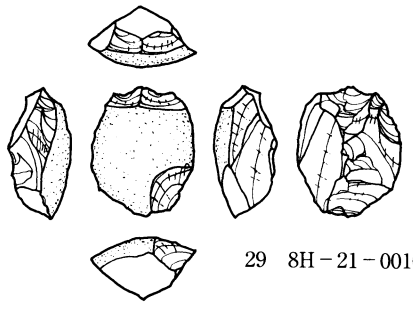
26　8H－20－0067



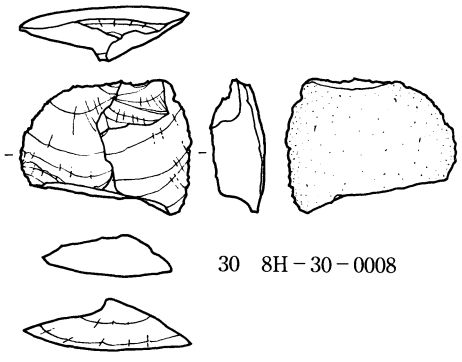
27　8H－20－0029



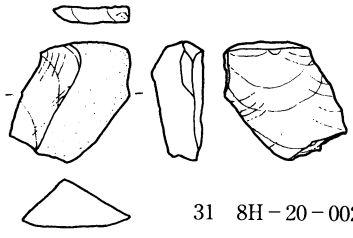
28　8H－11－0010



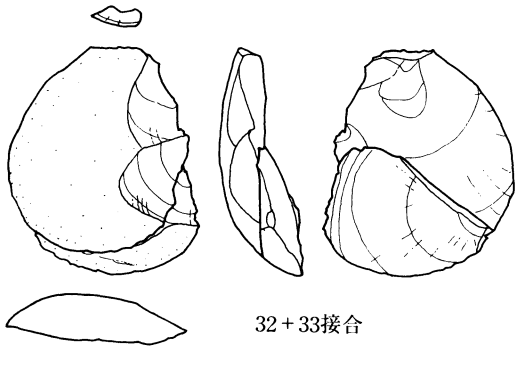
29　8H－21－0010



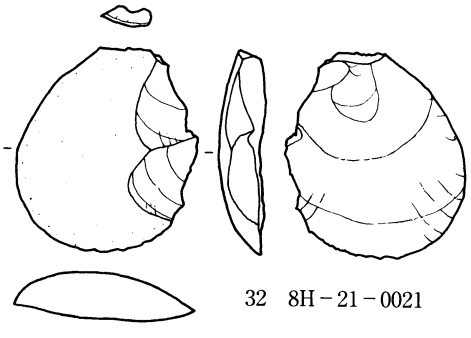
30　8H－30－0008



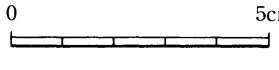
31　8H－20－0024

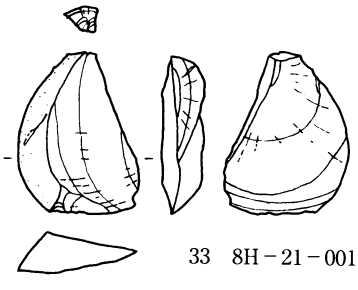


32＋33接合



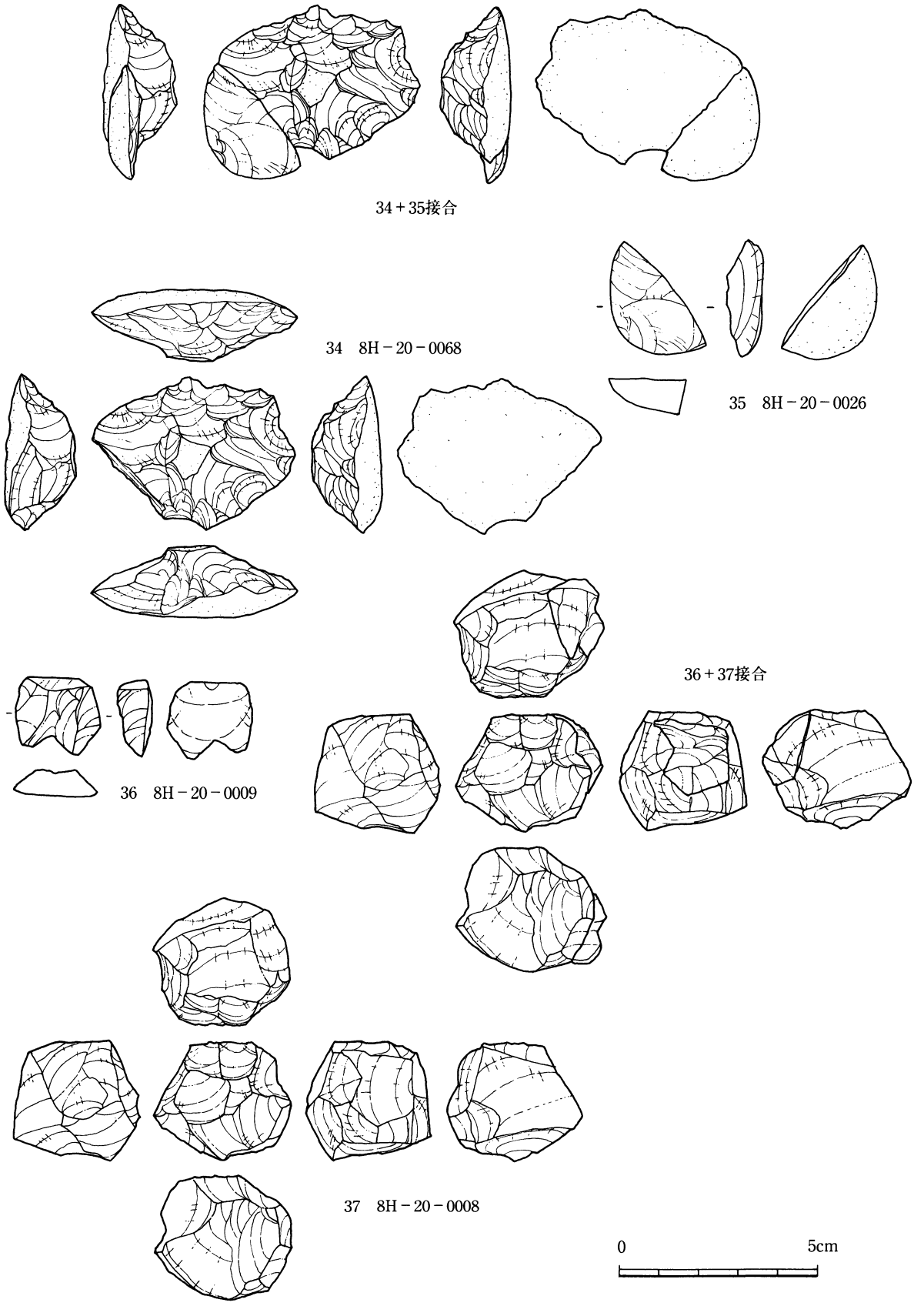
32　8H－21－0021





33　8H－21－0017

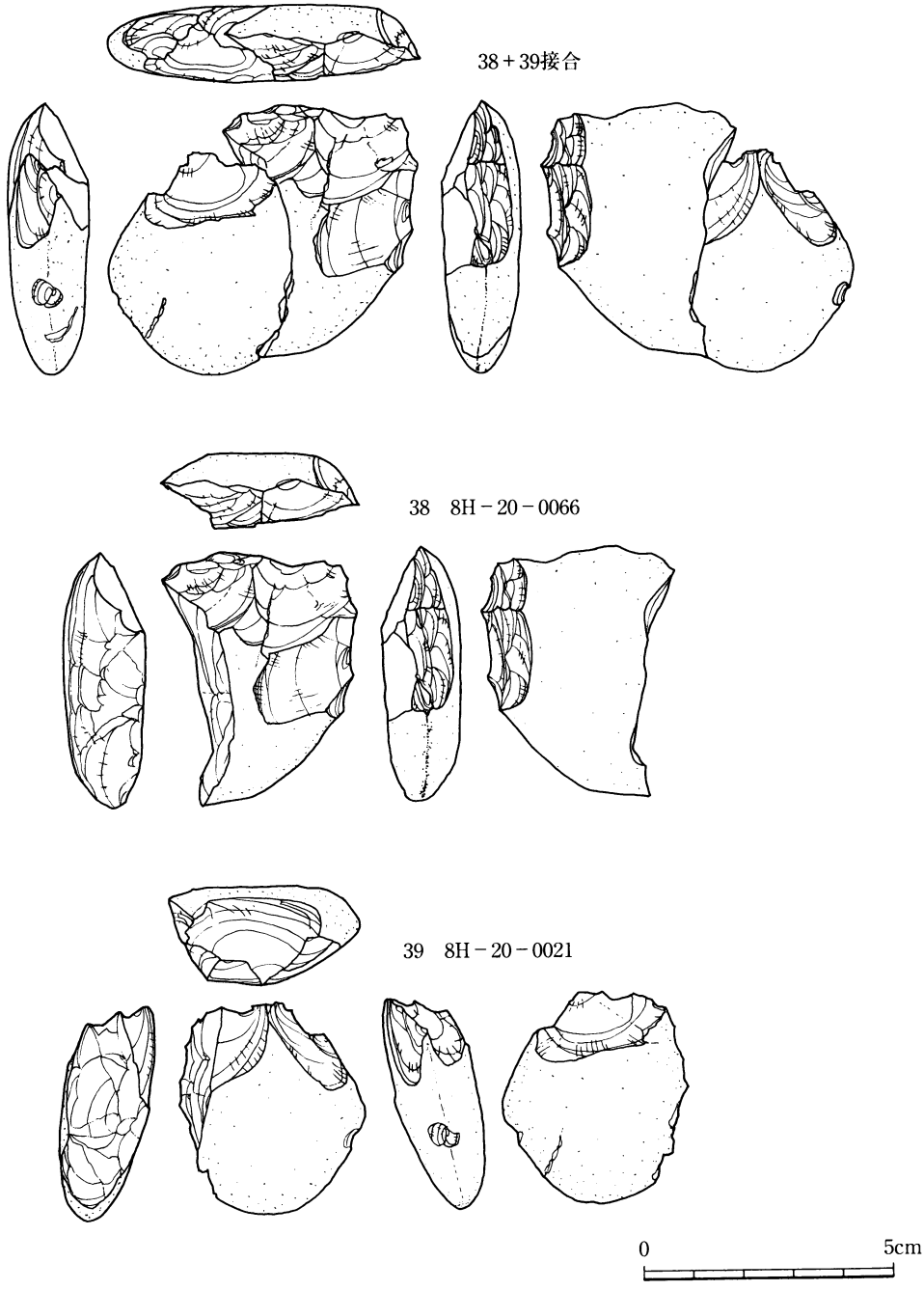
第222図　第28ブロック出土遺物実測図（4）



第223図　第28ブロック出土遺物実測図（5）

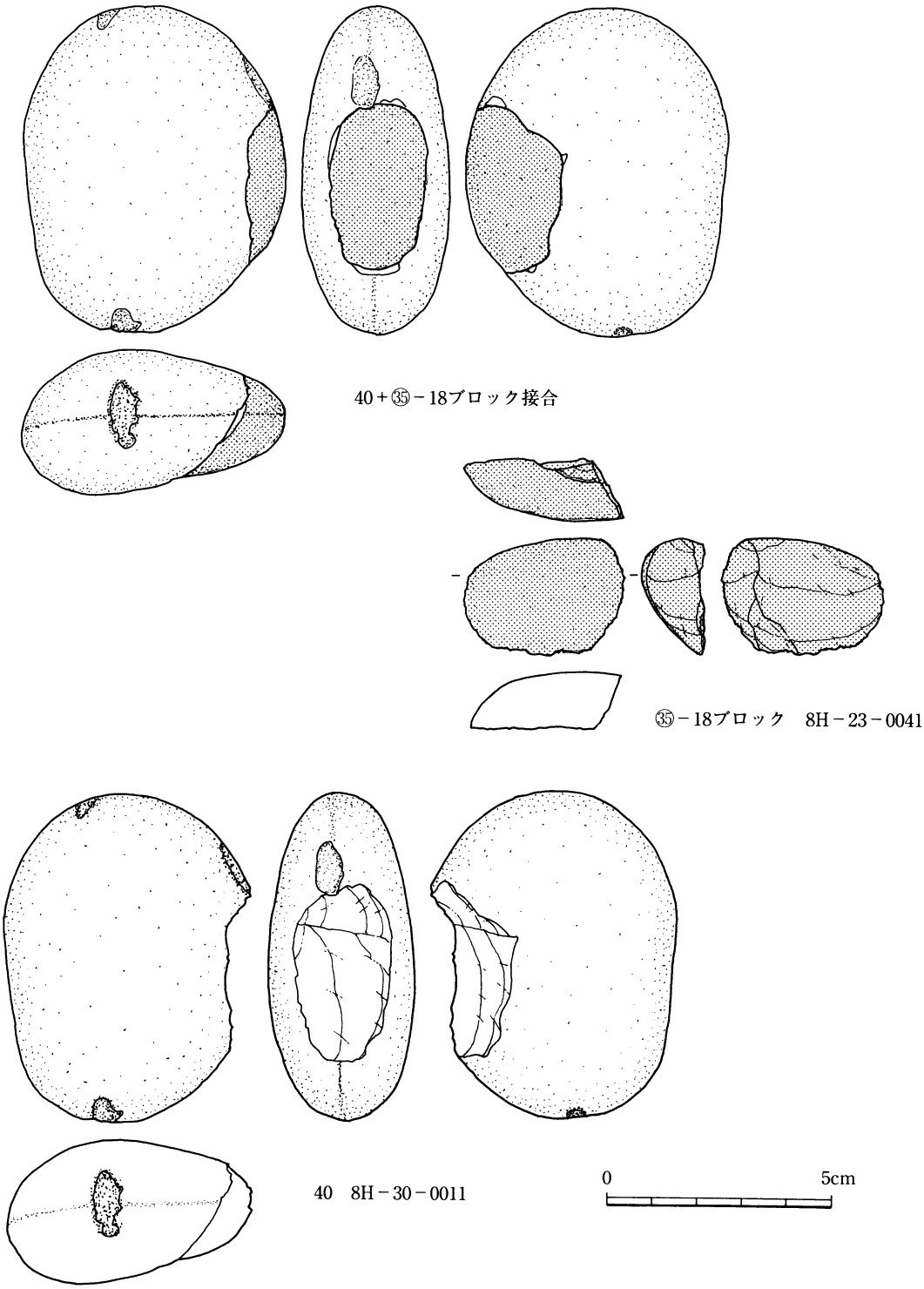
頁岩の剥片である。背面は礫面で覆われている。24は凝灰岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面と礫面とで構成されている。25は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と逆方向の剥離1面と礫面とで構成されている。26は安山岩Aの剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。比較的大きな礫から剥がされたものと思われる。31は安山岩Bの剥片である。背面は主剥離面と逆方向の剥離面と礫面で構成されている。

接合資料（第222～227図32～33、34～35、36～37、38～39、40、41、42、43）32～33は凝灰岩の接合資料である。いずれも剥片である。接合関係から上方向からの剥離の後、右方向からの剥離が行われたこと

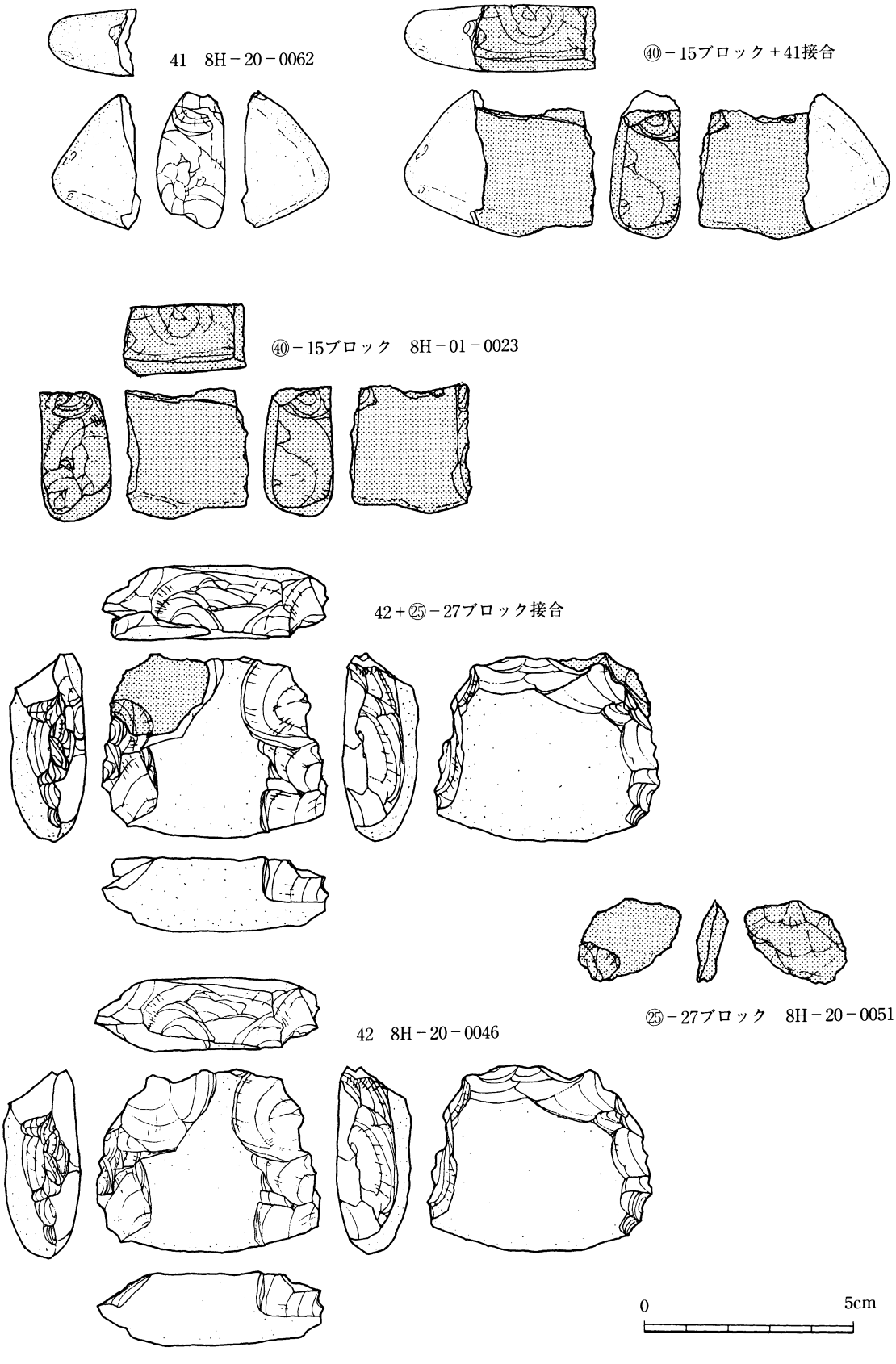


第224図　第28ブロック出土遺物実測図（6）

がわかる。34～35は石英の接合資料である。34は石核で35は剥片である。接合状態から剥片剥離が片側周辺部分から中央部分にかけて行われていたことがわかる。その後礫を分割して新たな石核素材として活用している可能性が考えられる。36～37は凝灰岩の接合資料である。36は剥片、37は石核である。任意に小さな剥離を行い、小さな剥片を剥ぎ取っていたことがよくわかる資料である。10の資料とよく似た形態の

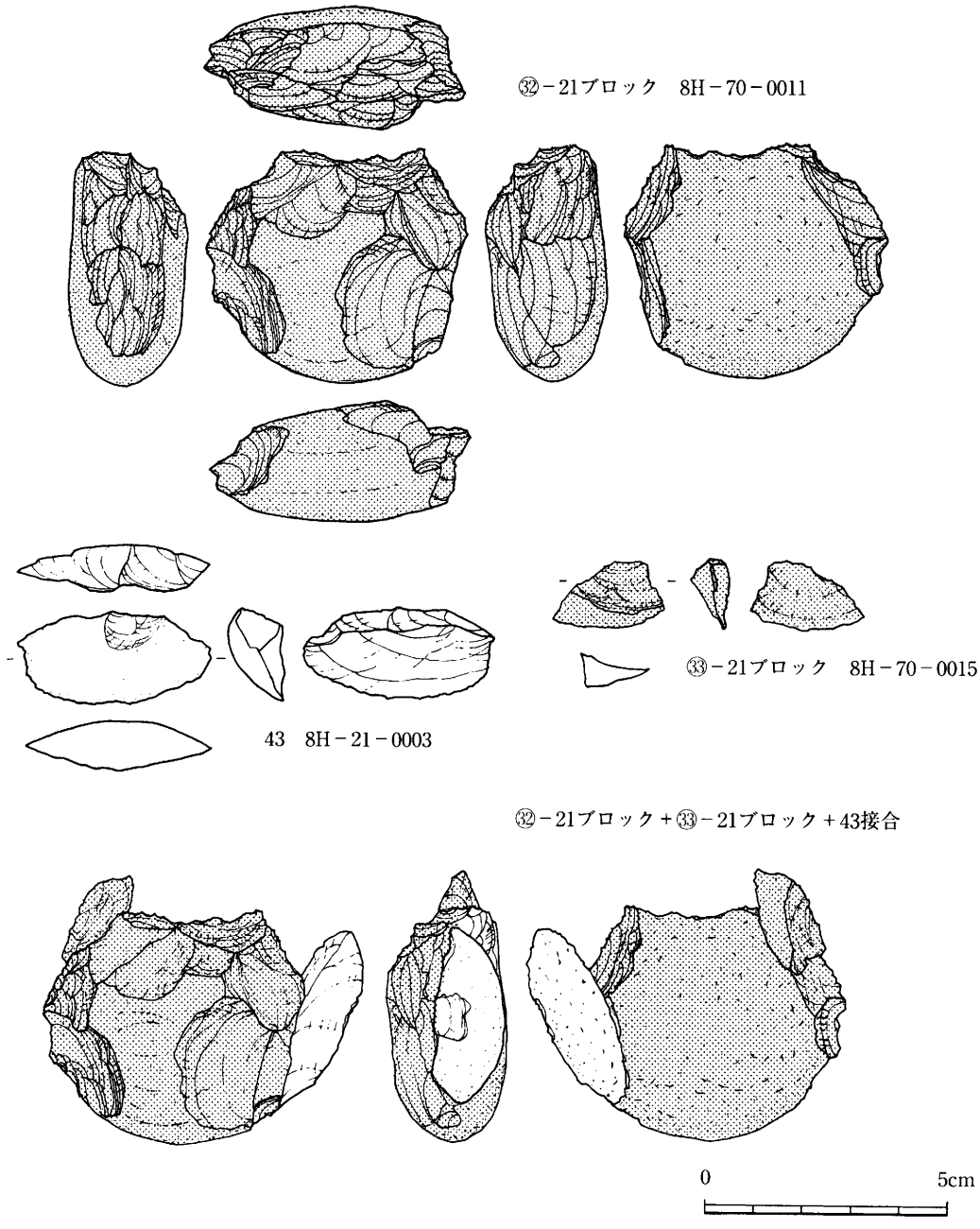


第225図　第28ブロック出土遺物実測図（7）

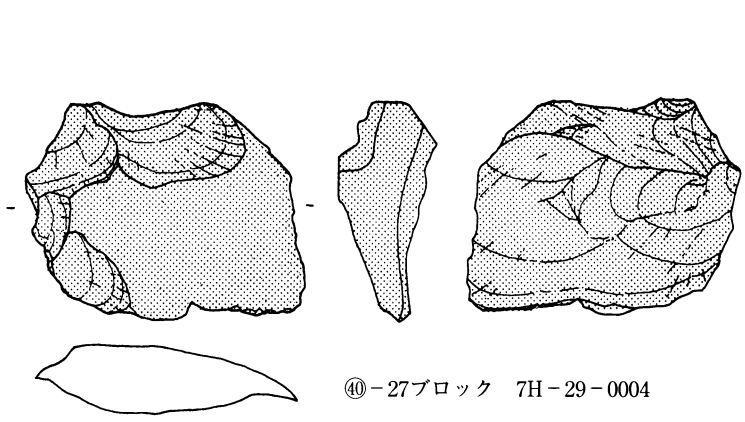


第226図　第28ブロック出土遺物実測図（8）

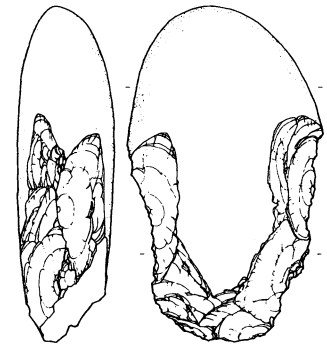
石核である。38～39は珪質頁岩の接合資料である。楕円礫の片側から剥離を始めて、途中で大きく割れた段階で廃棄されたものとも考えられる。40は砂岩の敲石で、35－18ブロックの剥片と接合する。敲石として使用されていたのは割れてから後かどうかは不明である。41は珪質頁岩の剥片（礫片）で40－15ブロックの礫（石核）と接合する。42はホルンフェルスの石核で25－27ブロックの剥片と接合する。礫周辺部分から剥離する様子のわかる資料である。43は珪質頁岩の剥片である。32－21ブロックの石核、33－21ブロックの砕片と接合する。礫の片側から剥離する様子がうかがえる資料である。



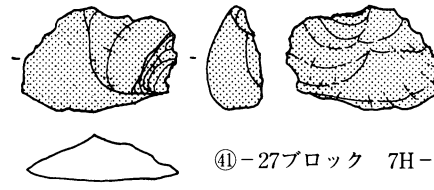
第227図　第28ブロック出土遺物実測図（9）



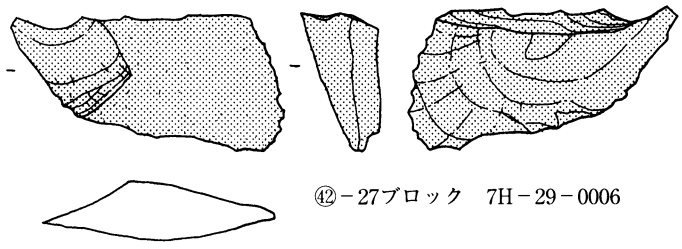
㊵－27ブロック　7H－29－0004



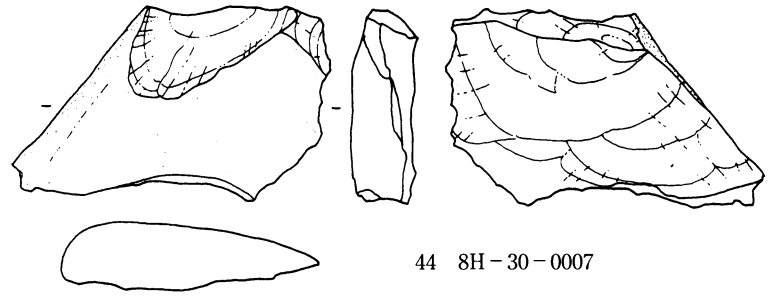
㉞－16ブロック(scale　1／3)



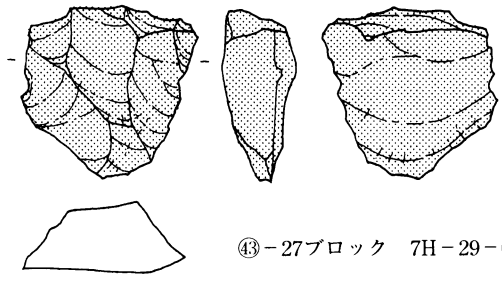
㊶－27ブロック　7H－29－0058



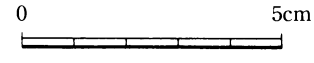
㊷－27ブロック　7H－29－0006



44　8H－30－0007



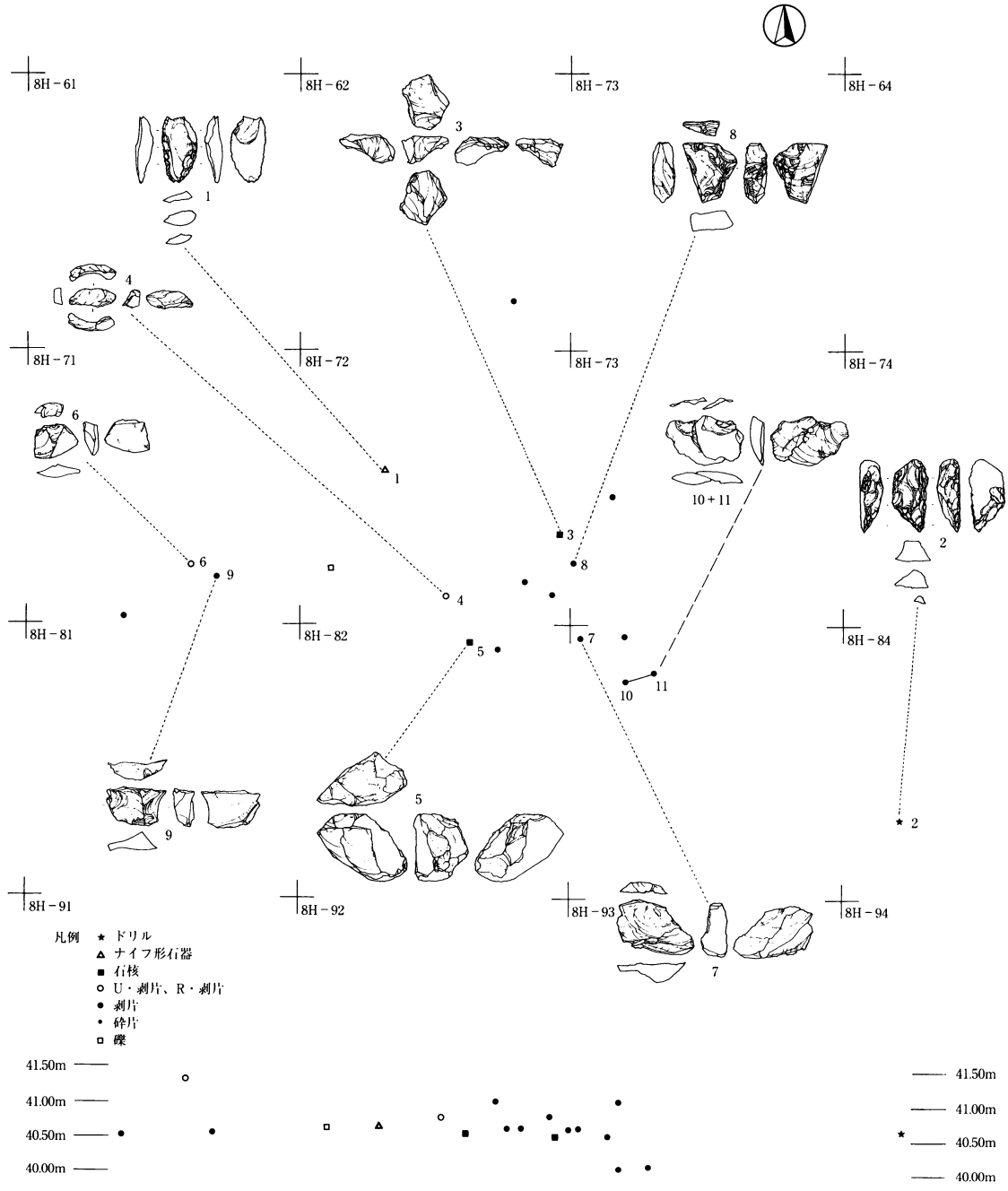
㊸－27ブロック　7H－29－0007



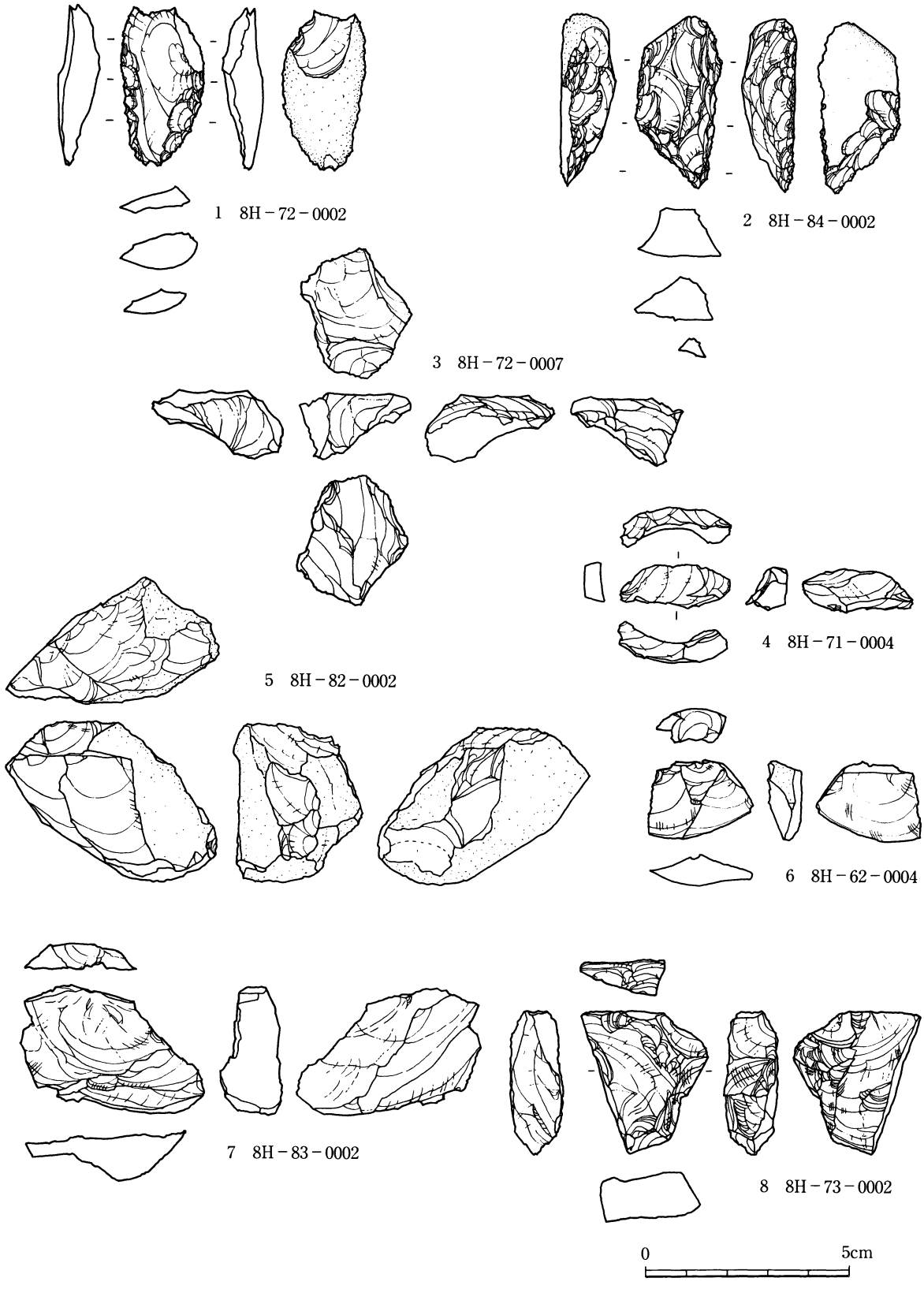
第228図　第28ブロック出土遺物実測図（10）

第29ブロック　（第229～231図１～11、写真図版38、39、第29、67表）

分　布　　石器は、８Ｈ－71～８Ｈ－73グリッドを中心に粗い状態で東西に長く分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、南北６ｍ、東西10mほどの範囲に広く分布している。



第229図　第29ブロック出土状況図（scale　1／100）



第230図　第29ブロック出土遺物実測図（1）

石　材　　チャート３点、安山岩１点、流紋岩１点、珪質頁岩10点、黒曜石４点で構成される。珪質頁岩が主体のブロックである。

器　種　　台形石器１点、尖頭器１点、U・剥片２点、石核３点、剥片11点、礫１点の合計19点で構成される。剥片が主体のブロックである。

台形石器（第230図１）１は安山岩Aの台形石器である。基部調整を両側縁部分に丁寧に施してある。剥片の形態はほとんど変形させていない。

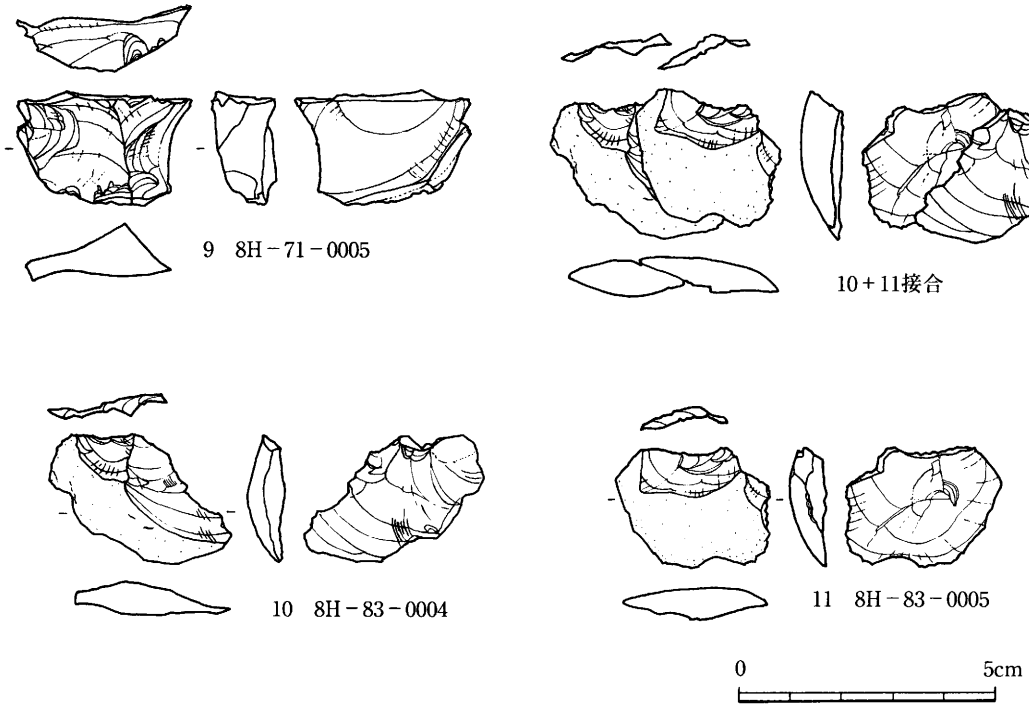
尖頭器（第230図２）２は珪質頁岩の尖頭器である。片側は比較的丁寧な調整が施されている。片側は全く礫面のままである。先端部分は両面ともに調整が施されていてむしろこの部分に石器の調整の意図があるのではないかと思われる。石錐としてもよいのではとも考えられる。ブロックの中心から離れており、文化層的にも異なる時期の石器である可能性が高い。

U・剥片（第230図４）４は珪質頁岩のU・剥片である。小さな剥片の両側縁に細かな刃こぼれが見られる。

石核（第230図３、５）３は珪質頁岩の石核である。小剥片を任意の方向から剥離したものと思われる。５は珪質頁岩の石核である。礫を使って任意な方向に剥離している。礫面をかなり残している。

剥片（第230～231図６～９）６は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離３面で構成されている。７は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面によって構成されている。やや分厚い形態をしている。８は黒曜石の剥片である。比較的大きな剥片で石核素材となりうるものである。９は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と逆方向の剥離２面によって構成されている。

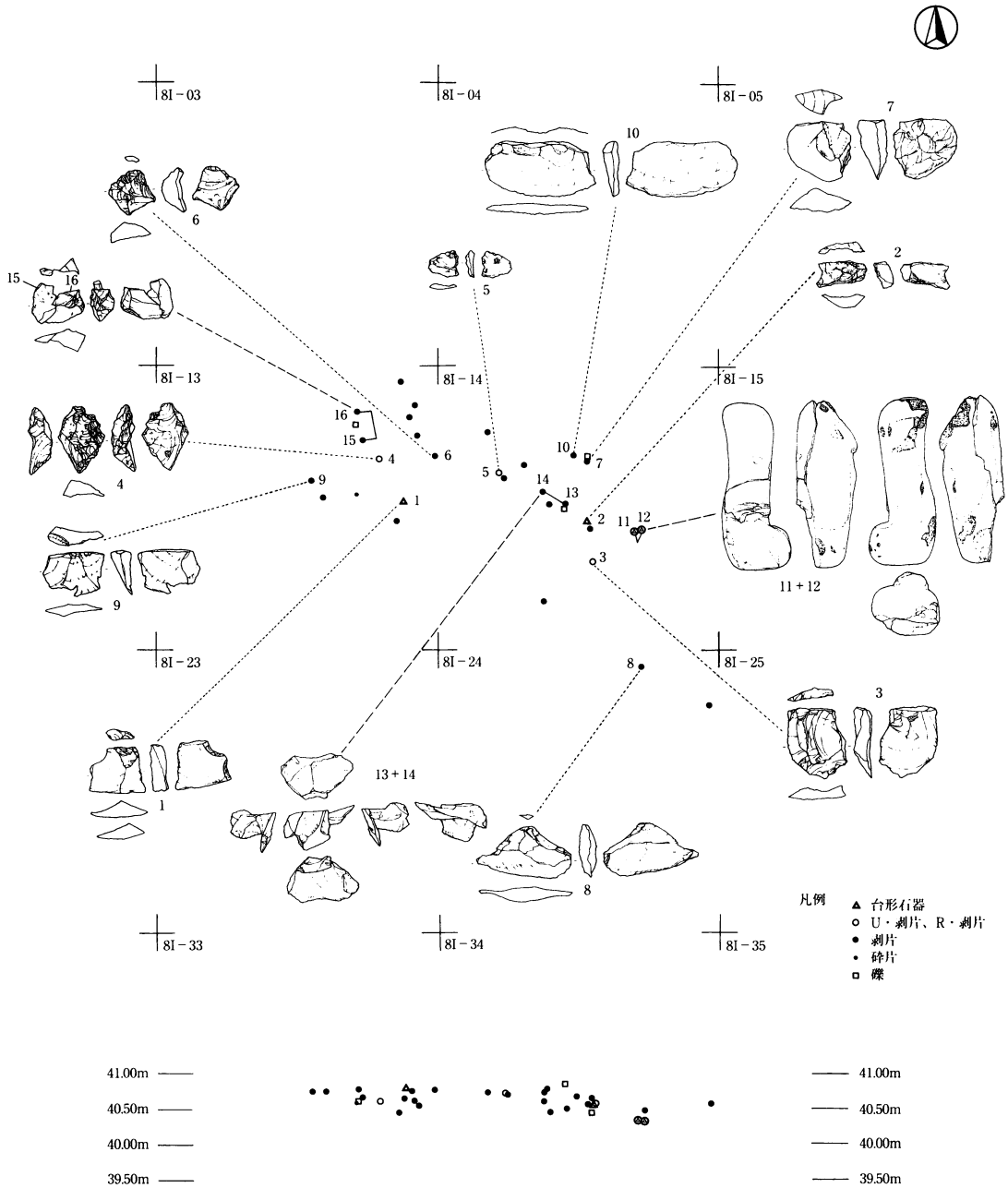
接合資料（第231図10～11）10～11は珪質頁岩の接合資料である。10は剥片、11はU・剥片である。11は剥片の縁辺部分に細かな刃こぼれが見られる。礫面をかなり背面に有しているところから礫から連続してこの場で剥離されたものと思われる。



第231図　第29ブロック出土遺物実測図（2）

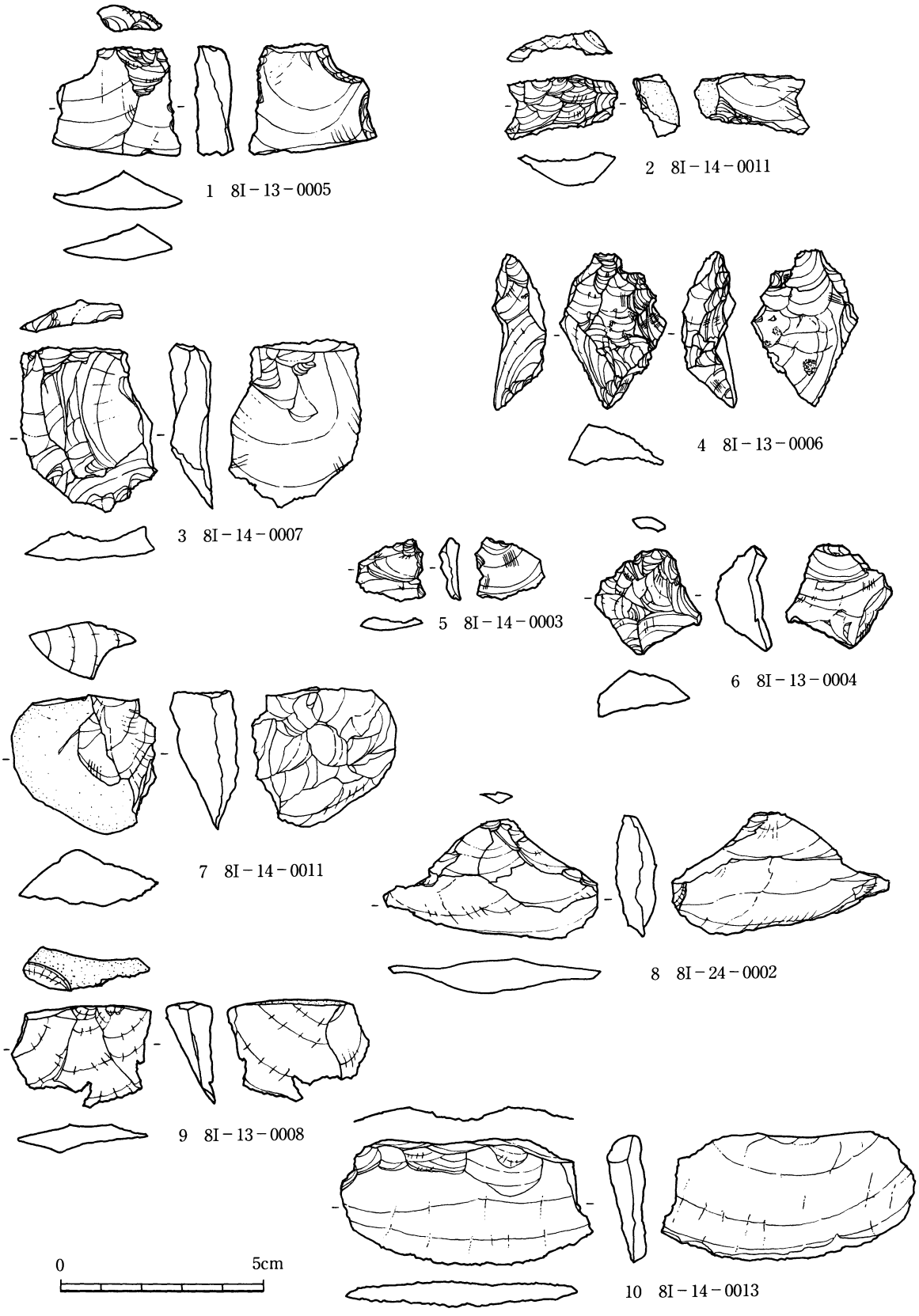
第30ブロック　（第232～235図１～16、写真図版39、第30、68表）

分　布　　石器は、８Ｉ－13～８Ｉ－14グリッドを中心にややまとまりながら東西に長く分布している。垂直分布は、Ⅶ層～Ⅸ層を主体としてまとまっている。平面は、南北５m、東西６mほどの範囲にやや広く分布している。



第232図　第30ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート３点、ホルンフェルス３点、安山岩３点、砂岩３点、珪質頁岩12点、黒曜石６点珪質凝灰岩２点で構成される。珪質頁岩が主体のブロックである。



第233図　第30ブロック出土遺物実測図（1）

第234図　第30ブロック出土遺物実測図（2）

器　種　　台形石器２点、U・剥片５点、剥片19点、砕片２点、敲石１（接合２）点、礫２点の合計32点で構成される。剥片が主体のブロックである。また、石核が１点も見られないのも当該ブロックの特徴である。

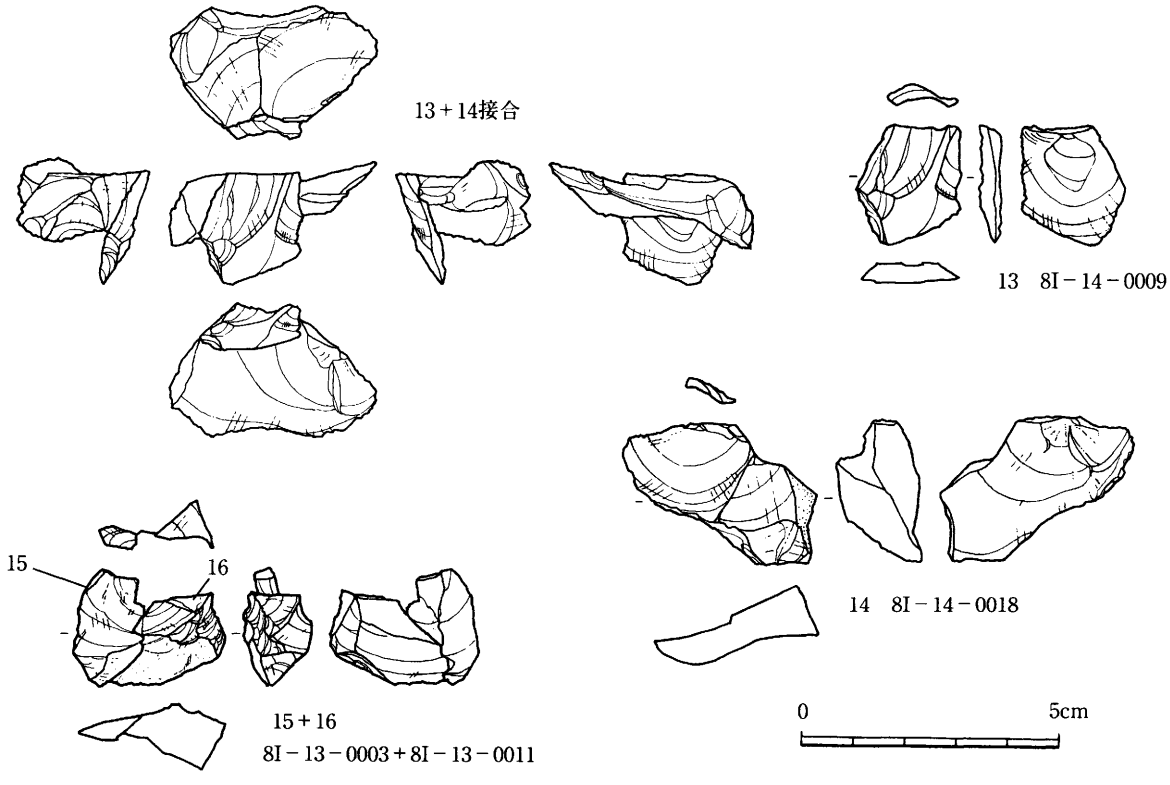
台形石器（第233図１）１は珪質頁岩の台形石器である。剥片の両側縁に細かな調整を施している。

U・剥片（第233図３～５）３はチャートのU・剥片である。先端部に近い側縁部分に細かな刃こぼれが見られる。４は黒曜石のU・剥片である。剥片の右側側縁部分に細かな刃こぼれが多く見られる。夾雑物の含まれる黒曜石である。５は黒曜石のU・剥片である。小剥片の右側側縁部分に細かな刃こぼれが多く見られる。

敲石・接合資料（第234図11～12）11～12はホルンフェルスの敲石で接合資料である。礫の先端部分を中心に打撃痕が多く見られる。接合していた状態で使用していたと思われる。

剥片（第233図２、６～10）２は珪質頁岩の剥片である。背面には細かな剥離面が多く見られる。一部礫面も残る。６は黒曜石の剥片である。背面は上下両方向からの剥離が多く見られる。７は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同じ方向の剥離１面と礫面とで構成される。８はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数回の剥離面によって構成されている。９は安山岩Aの剥片である。打面は礫面からである。背面は主剥離面と同方向の剥離３面で構成されている。10は砂岩の剥片である。打面調整されている剥片である。背面は主剥離面と同じ方向の剥離面で構成されている。

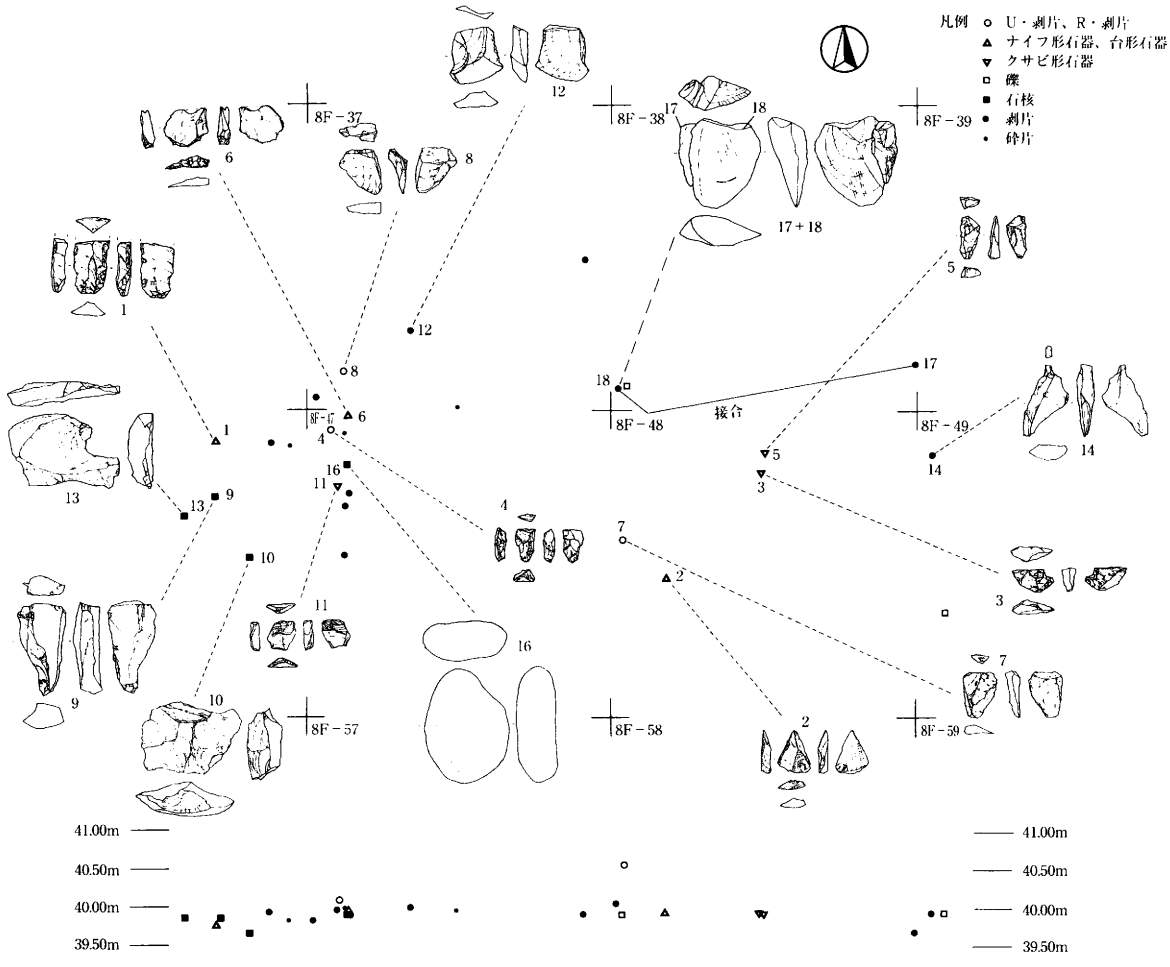
接合資料（第235図13～14、15～16）13～14は珪質頁岩の接合資料である。13、14ともに剥片である。接合した状況は直交するように接合しており、打面を移動していくのがわかる。15～16は珪質凝灰岩の接合資料である。剥離された状態で割れたものと思われる。



第235図　第30ブロック出土遺物実測図（3）

第31ブロック　（第236～238図１～18、写真図版39、40、第31、69表）

分　布　　石器は、８Ｆ－47～８Ｆ－48グリッドを中心にややまとまりながら東西に長く分布している。垂直分布は、Ⅳ層～Ⅶ層を主体としてまとまっている。平面は、南北５m、東西12mほどの範囲にやや広く分布している。



第236図　第31ブロック出土状況図（scale　1／100）

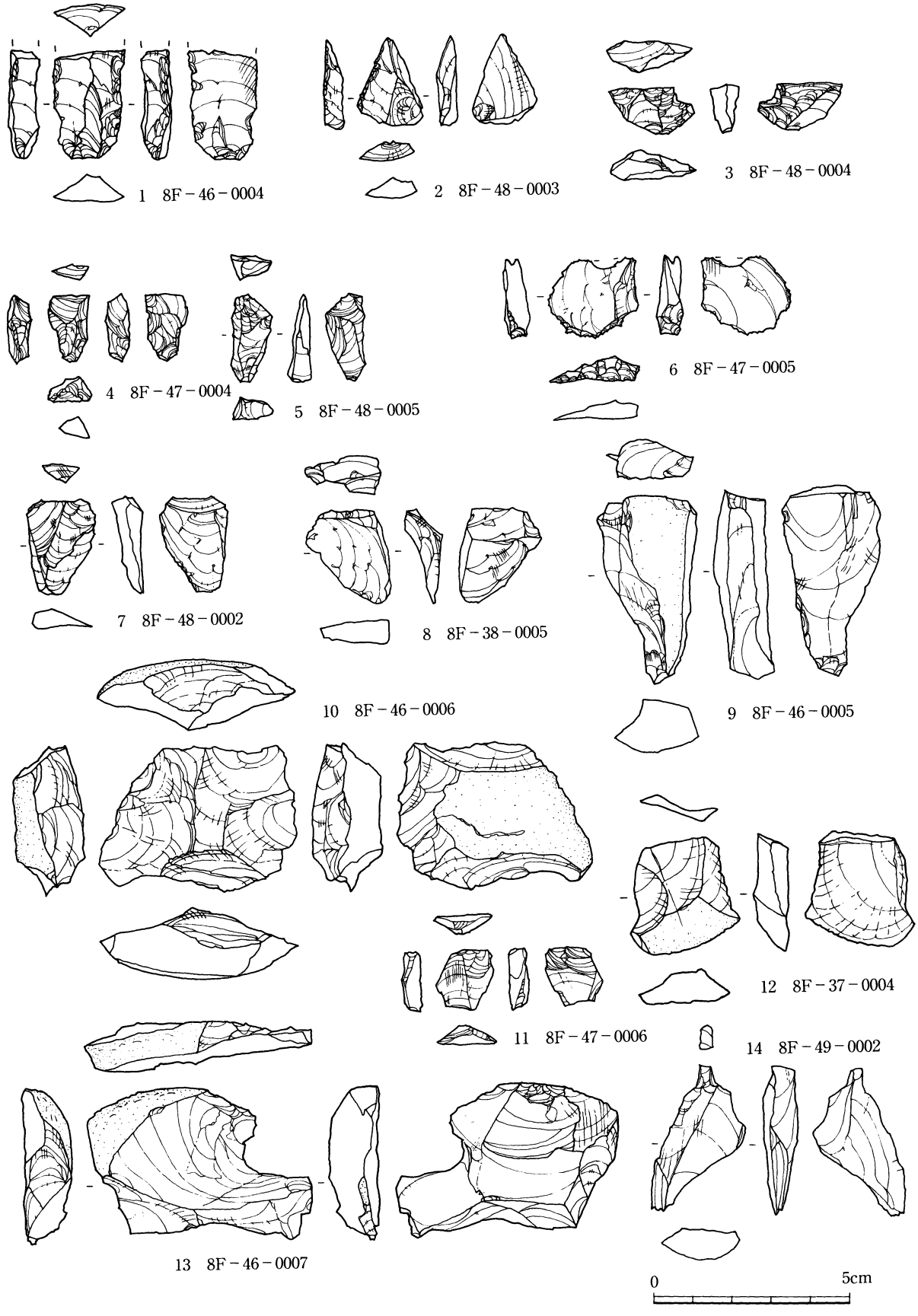
石　材　　チャート２点、安山岩４点、砂岩１点、流紋岩１点、凝灰岩５点、メノウ１点、黒曜石15点で構成される。黒曜石が主体のブロックである。

器　種　　楔形石器３点、ナイフ形石器２点、台形石器１点、R・剥片１点、U・剥片２点、石核５点、剥片10点、砕片３点、礫２点の合計29点で構成される。小形の剥片石器が点数の割りに多く見られるブロックである。

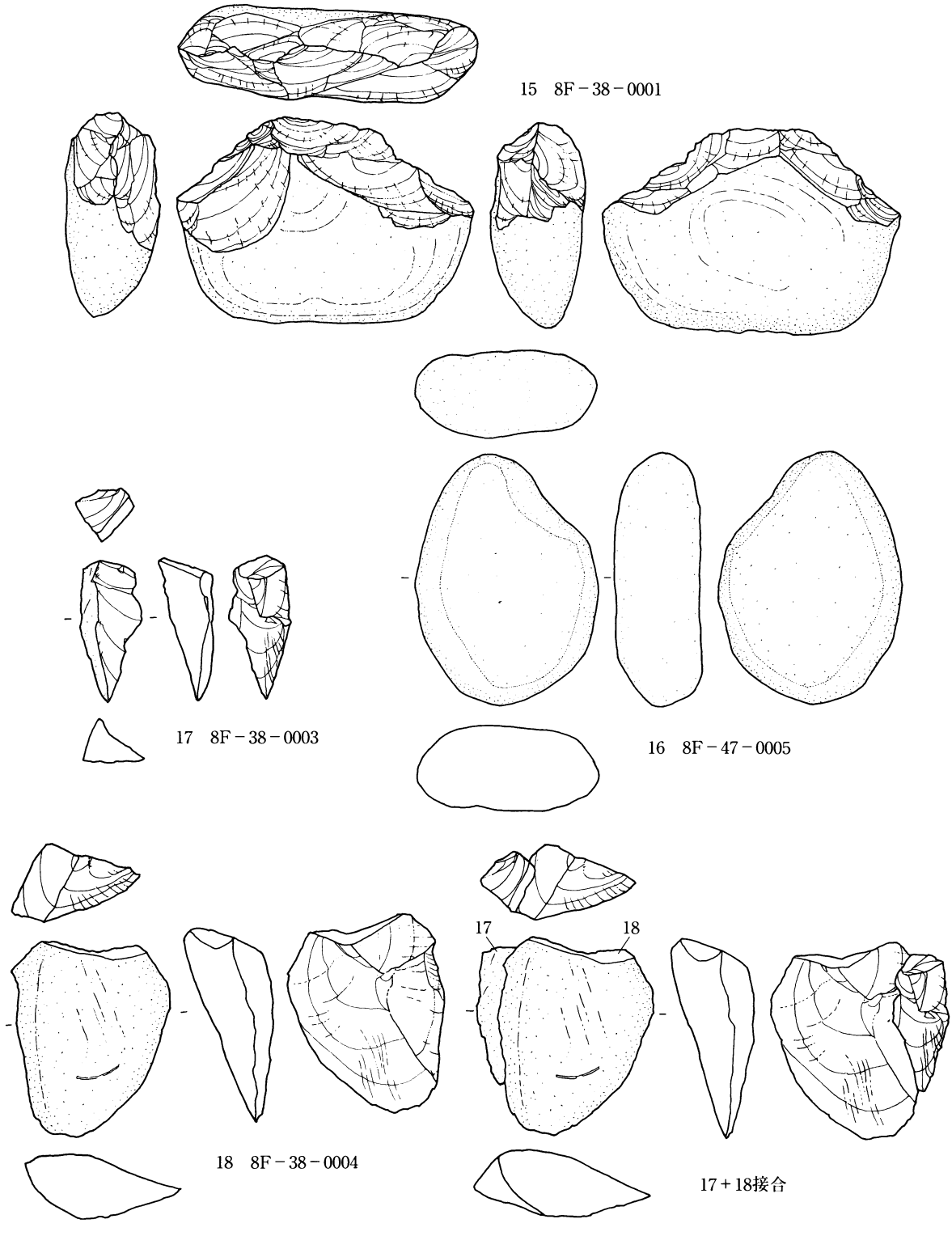
ナイフ形石器（第237図１、２）１は黒曜石のナイフ形石器である。左側側縁部分から基部にかけて調整が施されている。先端方向にかけては欠損しているのでわからない。２は黒曜石のナイフ形石器である。左側側縁部分から基部にかけて調整が施されている。

台形石器（第237図６）６は黒曜石の台形石器である。基部を中心に調整が施されている。

楔形石器（第237図３、５、11）３は黒曜石の楔形石器である。上下両端に打撃による剥離が見られる。５は黒曜石の楔形石器である。細長い剥片の上下両端に打撃による剥離が見られる。11は黒曜石の楔形石



第237図　第31ブロック出土遺物実測図（1）



第238図　第31ブロック出土遺物実測図（2）

器である。上下両端に打撃による小剥離が見られる。

R・剥片（第237図４）４は黒曜石のR・剥片である。剥片の片側に調整が施されている。

U・剥片（第237図７、８）７は黒曜石のU・剥片である。右側側縁部分に細かな刃こぼれが見られる。８は黒曜石のU・剥片である。左側側縁部分に細かな刃こぼれが見られる。

石核（第237、238図９、10、13、15、16）９は凝灰岩の石核である。厚みのある大形剥片を素材として

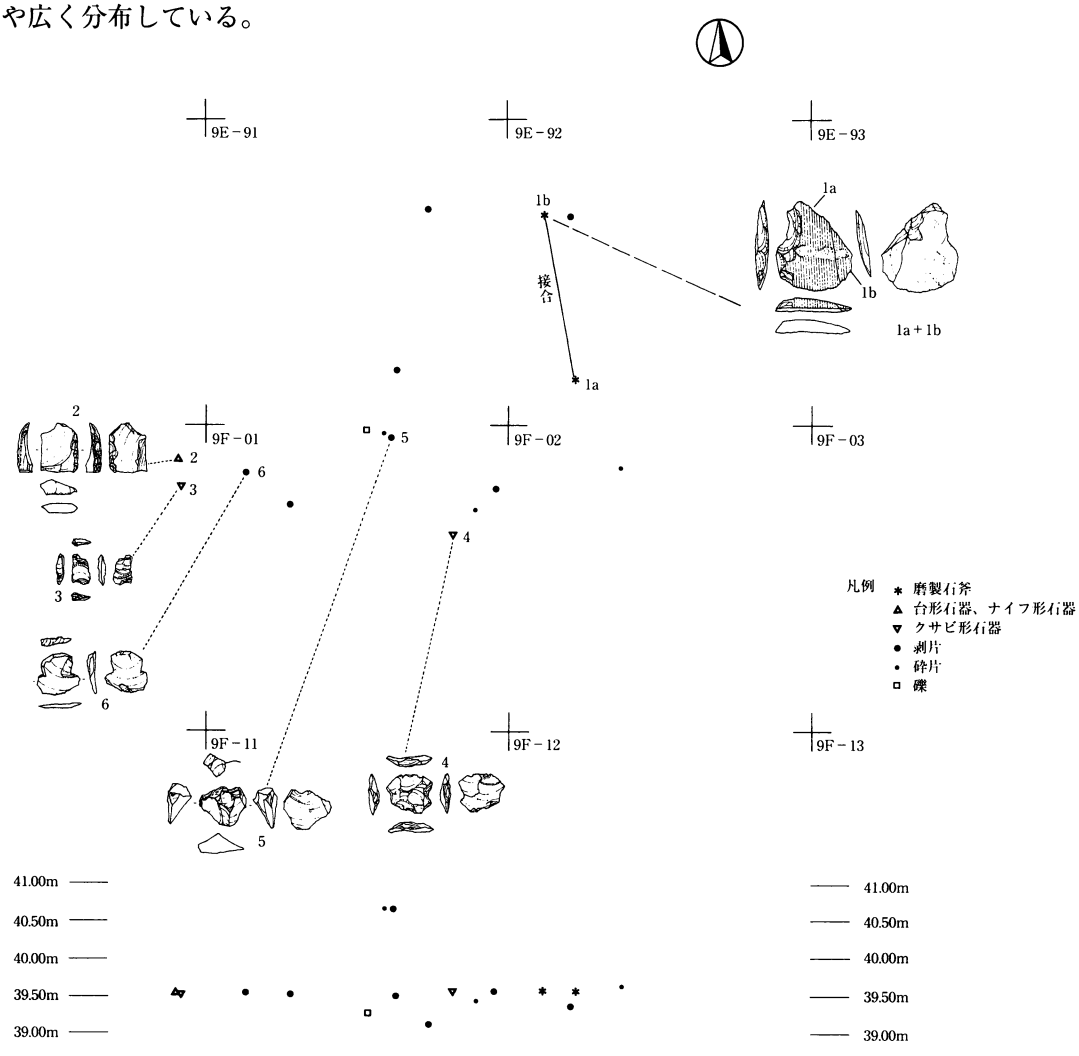
先端部側から剥離している。10は安山岩Aの石核である。礫の主に片面の両側よりの剥離で剥片を剥いでいる。もう一面は周辺部分から数回剥離を行っているが、中程は礫面が残っている。13はチャートの石核である。上方向からの大きな剥離と下方向からの小さな剥離で構成されている。15は安山岩の石核である。確認調査時に当該ブロック付近で出土した資料である。正確な出土地点及びレベル等は不明である。礫の片側周辺部分から剥離している石核である。16はチャートの原石（石核）である。石核素材とするためこのブロックに持ち込まれたものと思われるが、使用された形跡はうかがわれない。

剥片（第237図12、14）12は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面と礫面とで構成されている。14は凝灰岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面で構成されている。

接合資料（第238図17～18）17～18は凝灰岩の接合資料である。両者とも背面に礫面があるもので、同時に剥離された可能性のある剥片である。

第32ブロック　（第239～240図１～７、写真図版40、第32、70表）

分　布　　石器は、９Ｅ－92～９Ｆ－01グリッドを中心にややまとまりながら北東から南西に長く分布している。垂直分布は、Ⅳ層～Ⅶ層を主体としてまとまっている。平面は、南北５m、東西６mほどの範囲にやや広く分布している。

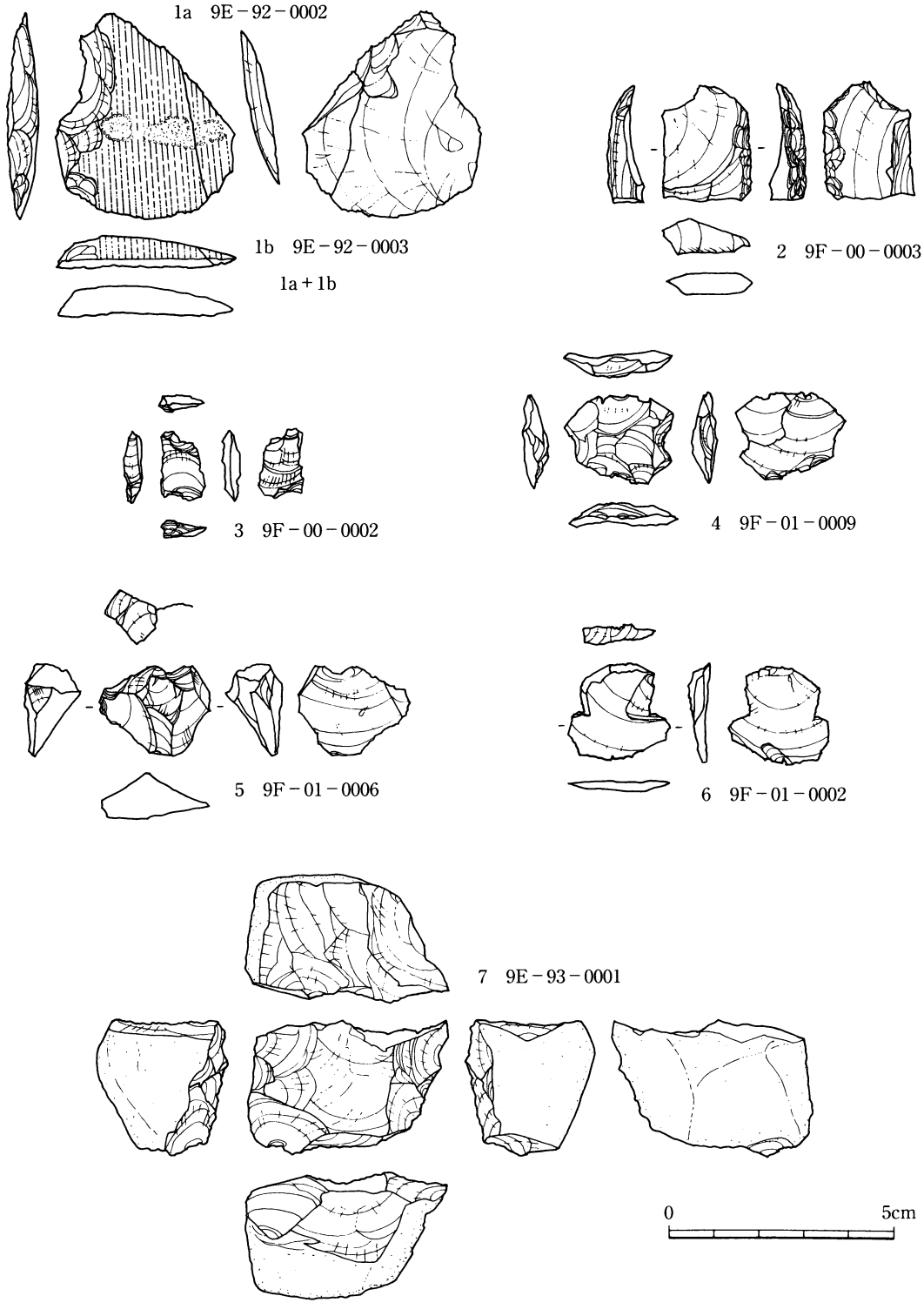


第239図　第32ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　ホルンフェルス１点、流紋岩１点、珪質頁岩２点、メノウ11点、黒曜石１点、蛇紋岩２点、で構成される。メノウが主体のブロックである。

器　種　　磨製石斧１点（２点接合)、楔形石器２点、台形石器１点、石核１点、剥片７点、砕片３点、礫１点の合計17点で構成される。

磨製石斧（第240図１）１は２点接合した。片面が剥がされた状態で検出された磨製石斧の一部である。



第240図　第32ブロック出土遺物実測図

片側周辺部分に打撃による調整が見られる。

台形石器（第240図２） ２はメノウの台形石器である。剥片の両側縁部分に細かな調整が施されている。

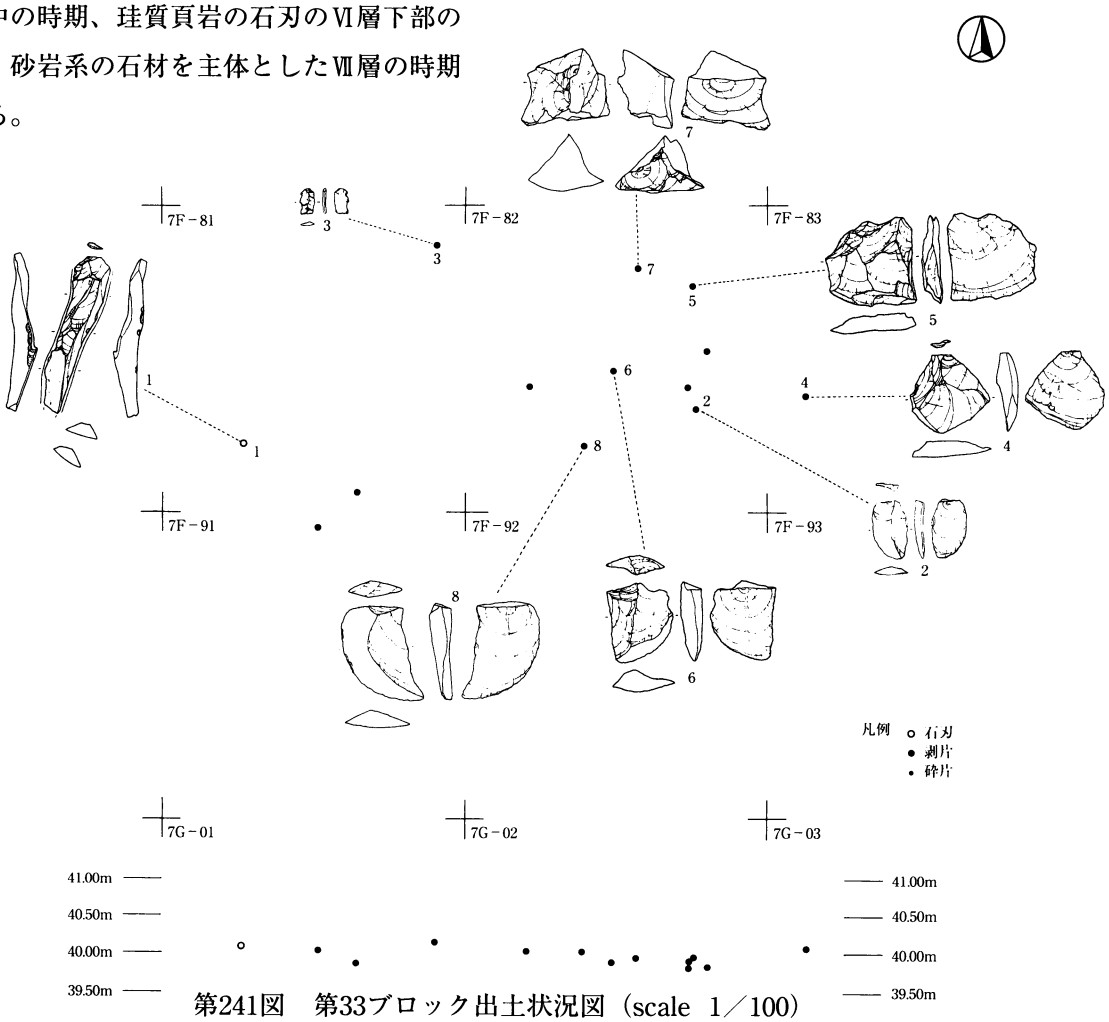
楔形石器（第240図３、４） ３は黒曜石の楔形石器である。上下両端に打撃による剥離が見られる。４は珪質頁岩の楔形石器である。上下両端に打撃による剥離が見られる。

石核（第240図７） ７はメノウの石核である。礫の上下両面を剥離した後、多方位からの剥離を行っている。かなり礫面を残している。確認調査の段階でこのブロック付近から出土したもので正確な出土地点は不明である。

剥片（第240図５、６） ５はメノウの剥片である。背面には多方位からの剥離面が見られる。６はメノウの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面によって構成されている。

第33ブロック　（第241～242図１～８、写真図版40、第33、71表）

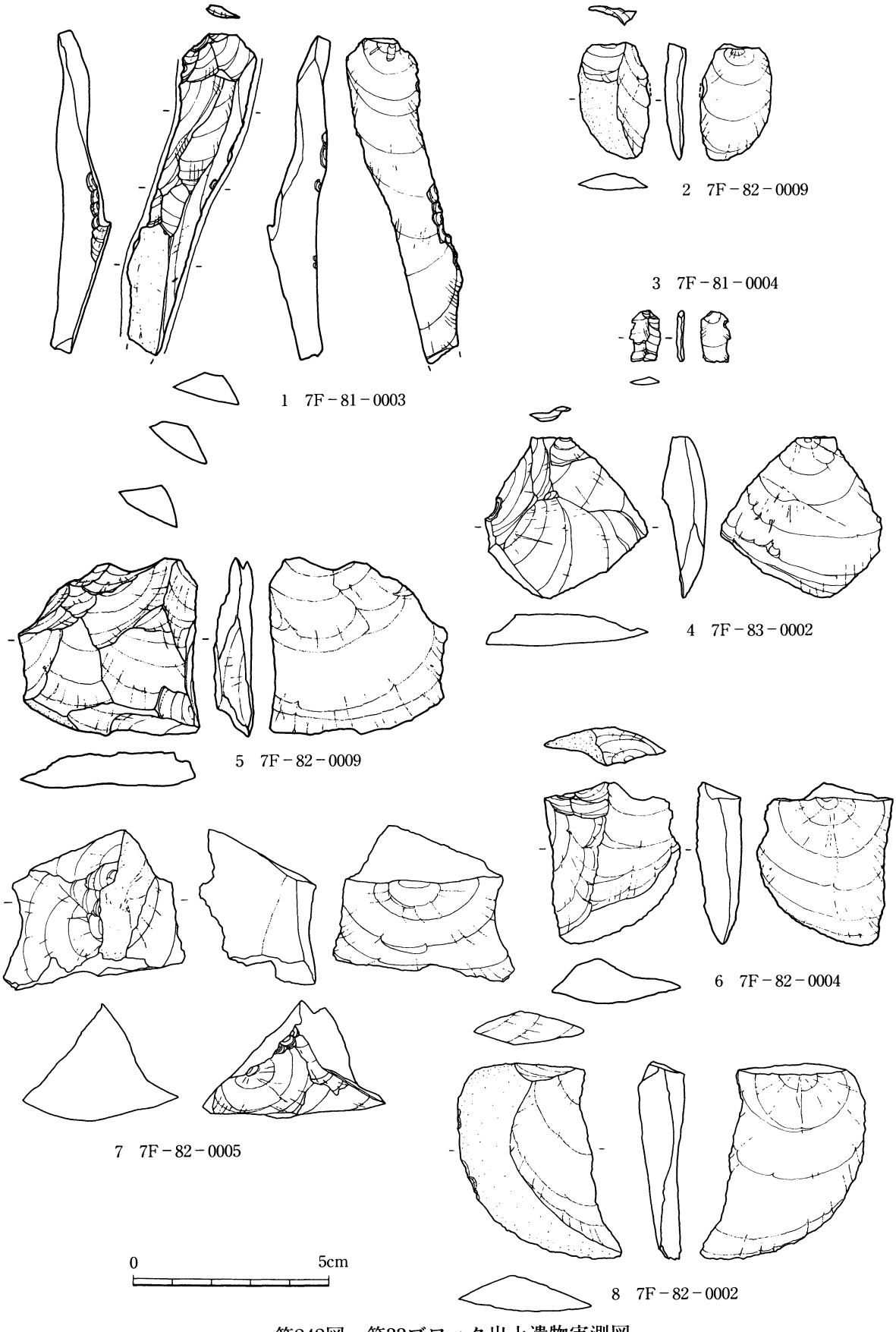
分　布　　石器は、９Ｆ－82グリッドを中心にややまとまりながら東西に長く分布している。垂直分布は、Ⅳ層～Ⅶ層を主体としてまとまっている。平面は、南北４ｍ、東西６ｍほどの範囲にやや広く分布している。ただ、内容的に見ると以下のように３時期に分かれる可能性がある。細石刃と黒曜石の砕片のⅢ層中の時期、珪質頁岩の石刃のⅥ層下部の時期、砂岩系の石材を主体としたⅦ層の時期である。



第241図　第33ブロック出土状況図（scale　1／100）

石　材　　チャート１点、砂岩８点、珪質頁岩１点、黒曜石２点で構成される。砂岩が主体のブロックである。

器　種　　細石刃１点、石刃１点、剥片10点の合計12点で構成される。剥片主体のブロックである。



第242図　第33ブロック出土遺物実測図

細石刃（第242図３） ３は黒曜石の細石刃である。ただしこのブロック全体の時期から考えると当然新しい時期に比定されるべき資料ではあるが、レベル等から考えて明確に分けられない。この資料そのものが偶然の所産である可能性も高い。

石刃（第242図１） １は珪質頁岩の石刃である。両側縁辺部分には細かな刃こぼれが見られる。ブロックの中心からやや離れた位置から見つかっている。

剥片（第242図２、４～８） ２は砂岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離２面と礫面によって構成される。４は砂岩の剥片である。背面は主剥離面に対して左方向からの剥離で構成されている。５は砂岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数の剥離面で構成されている。６は砂岩の剥片である。背面には複数回中程から周辺部分に剥離した跡が見られる。７は砂岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向からの剥離２面と左方向からの剥離１面及び礫面とで構成されている。８は砂岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離１面と礫とで構成されている。

このブロックでは時期的に明らかに異なると思われる細石刃の資料が見られる。Ⅲ層中の遺物の可能性が高く、ブロック全体の一連のものとは思われない。

第34ブロック（第243～268図１～124、写真図版40～45、第34、72表）

分　布　　石器は、７Ｇ－00～７Ｇ－01グリッドを中心に密度の濃い状態で東西に長く分布している。垂直分布は、Ⅲ層～Ⅵ層を主体としてまとまっている。平面は、南北８m、東西12mほどの範囲に広く分布している。

石　材　　チャート16点、ホルンフェルス151点、安山岩60点、砂岩16点、流紋岩11点、凝灰岩５点、珪質頁岩６点、黒曜石１点、珪化木２点、石灰岩１点、石英斑岩８点で構成される。ホルンフェルスが主体のブロックである。

器　種　　ナイフ形石器７点、台形石器５点、楔形石器２点、掻器４点、削器４点、Ｒ・剥片13点、石核19点、剥片139点、砕片19点、台石１点、磨石10点、礫８点で構成される。ナイフ形石器、削器、掻器などの小形の石器の多いのが特徴のブロックである。

ナイフ形石器（第250図１～７） １はホルンフェルスのナイフ形石器である。刃部を除いた縁辺部分を丁寧に調整している。２はホルンフェルスのナイフ形石器である。基部から片側側縁部分にわたって調整が施されている。３はホルンフェルスのナイフ形石器である。基部調整のみが施されている。４はホルンフェルスのナイフ形石器である。刃部を除いた縁辺部分を丁寧に調整している。５はホルンフェルスのナイフ形石器である。先端部分は欠損しているものの両側縁部分に調整を行っている。６は珪質頁岩のナイフ形石器である。先端部分は欠損しているものの両側縁部分に調整を行っている。７はホルンフェルスのナイフ形石器である。先端部分は半分近く欠損している。片側側縁部分に丁寧な調整が施されている。

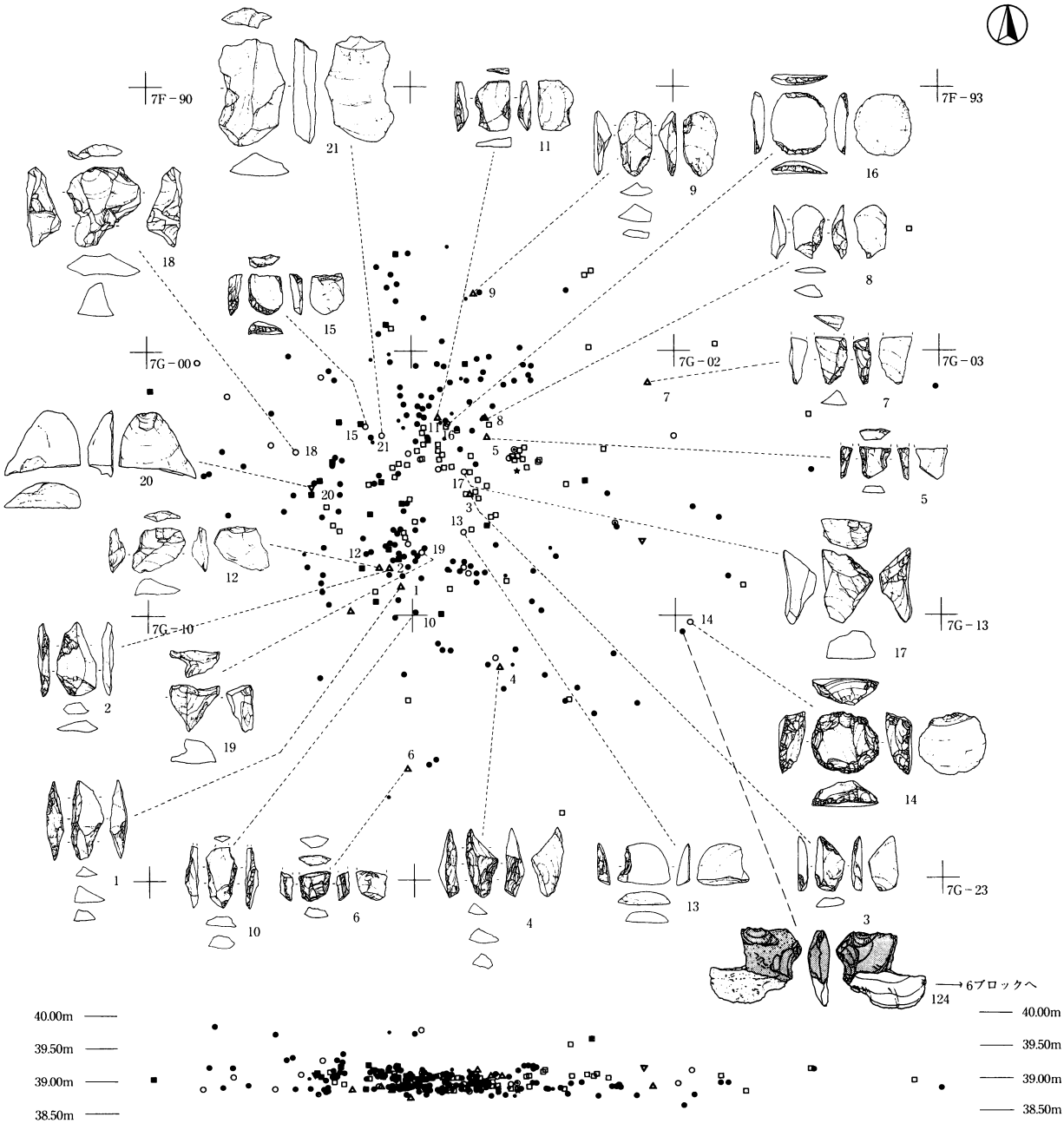
台形石器（第250図８～12） ８は安山岩Ｂの台形石器である。背面はほぼ礫面で覆われている。基部から片側側縁部分に調整が施されている。９はホルンフェルスの台形石器である。基部を中心に調整が施されている。10はホルンフェルスの台形石器である。両側縁部分に調整が施されている。11はホルンフェルスの台形石器である。両側縁を中心に調整が施されている。12はホルンフェルスの台形石器である。片側縁辺部分に調整が施されている。

楔形石器（第251、263図20、103） 20は安山岩Ｂの楔形石器である。120の資料と接合する。背面はほぼ

礫面である。103は安山岩Aの楔形石器である。円礫を使用している。

掻器（第250、251図13～16）13はホルンフェルスの掻器である。背面はほぼ礫面で覆われている。片側側縁部分に丁寧な調整が施されている。14は珪質頁岩の掻器である。いわゆる円形掻器と呼ばれるものである。周辺部分は丁寧に仕上げられている。15は珪質頁岩の掻器である。剥片の先端部分を中心に調整を施している。16は安山岩Aの掻器である。背面が礫面で覆われている剥片の両側縁部分を中心に丁寧に調整されている。

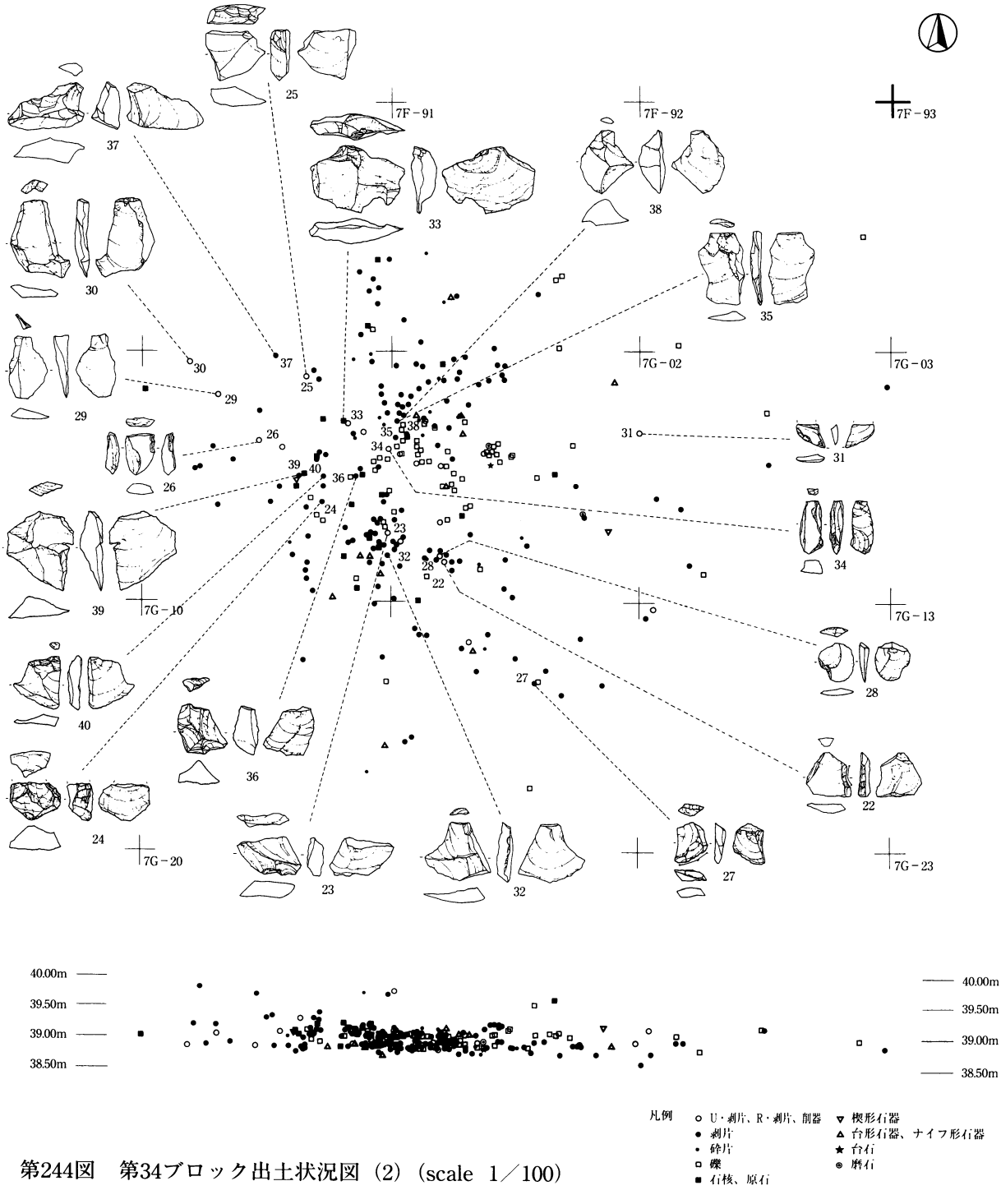
削器（第251、257図17、18、21、57）17はホルンフェルスの削器である。先端部分に調整を施してある。18は珪化木の削器である。左側側縁部分に調整が施されている。21はホルンフェルスの削器である。左側



第243図　第34ブロック出土状況図（1）（scale　1／100）

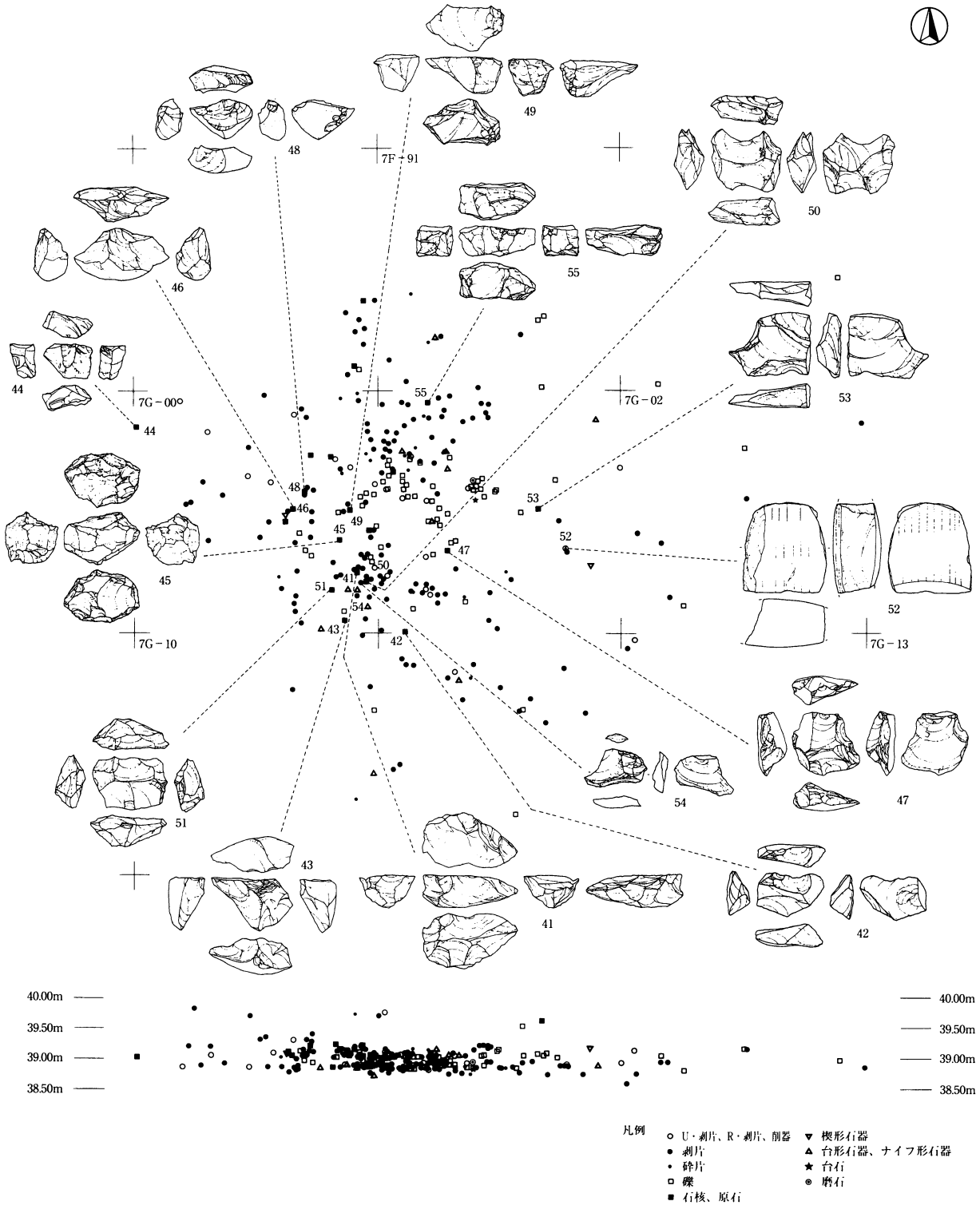
側縁部分に調整が施されている。57は凝灰岩の削器である。厚みのある縦長の剥片の片側縁辺部分に大きな剥離で調整されている。

R・剥片（第251～253、257、260、262図19、22～26、28、34、59、80、98）19はホルンフェルスのR・剥片である。先端部から右側縁部分に調整が見られる。22はホルンフェルスのR・剥片である。右側縁部分に調整が施されている。23はホルンフェルスのR・剥片である。先端部分に調整が施されている。24はチャートのR・剥片である。右側縁部分に調整が施されている。25はホルンフェルスのR・剥片である。右側縁部分に調整が施されている。26は安山岩のR・剥片である。右側側縁部分に調整が施されてい



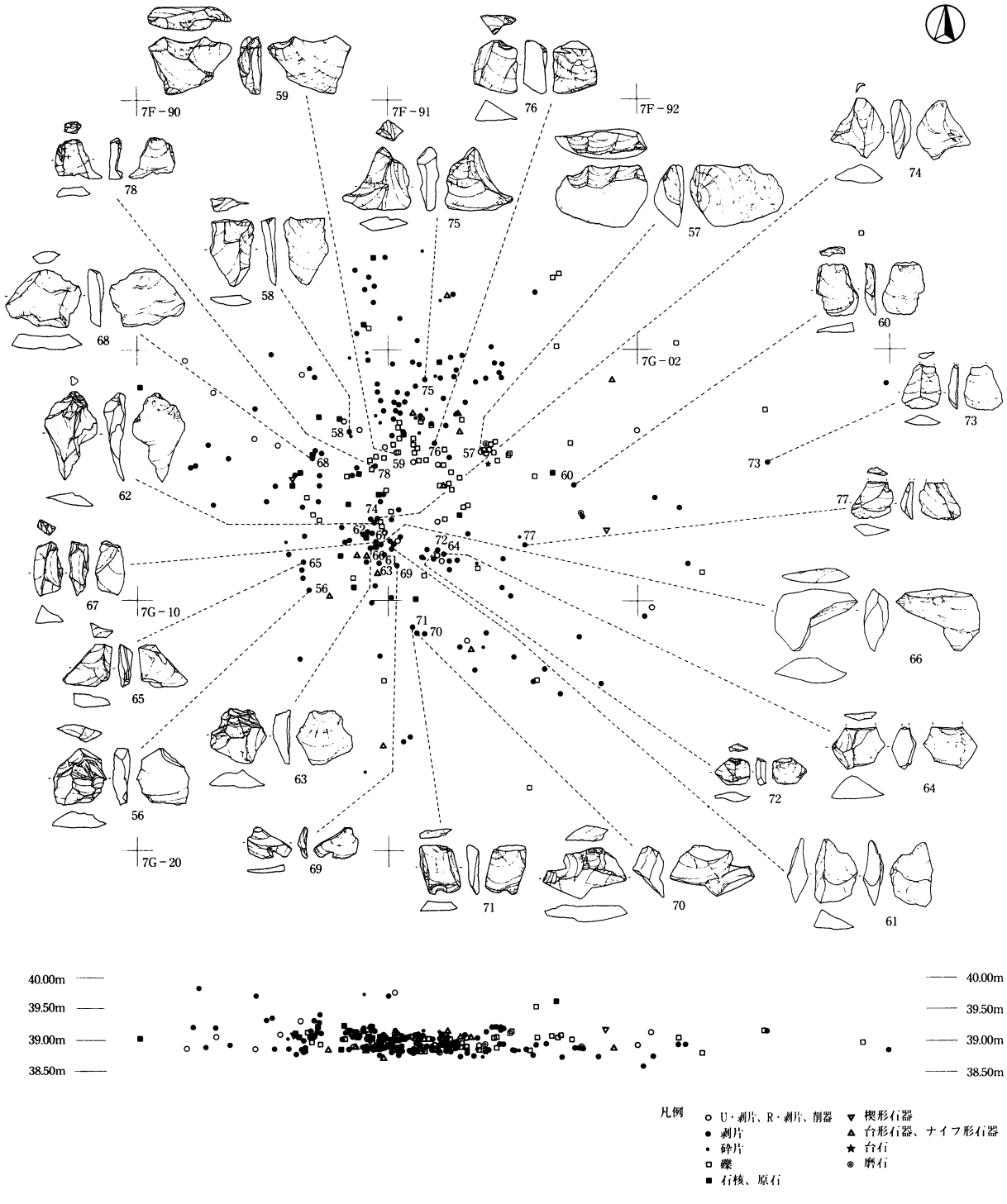
第244図　第34ブロック出土状況図（2）（scale　1／100）

る。28は安山岩AのR・剥片である。先端部分の左側に調整が見られる。34はホルンフェルスのR・剥片である。右側側縁部分に調整が施されている。59はホルンフェルスのR・剥片である。先端部分に近い縁辺部分に調整が施されている。80はホルンフェルスのR・剥片である。左側側縁部分に調整が施されている。98は凝灰岩のR・剥片である。縁辺部分に大きな剥離で調整されている。



第245図　第34ブロック出土状況図（3）（scale 1／100）

U・剥片（第252図27、29～31）27はホルンフェルスのU・剥片である。先端部分に細かな刃こぼれが見られる。29は凝灰岩のU・剥片である。先端部分から右側側縁部分にかけて刃こぼれが見られる。30は珪質頁岩のU・剥片である。両側縁部分には細かな刃こぼれが見られる。31はホルンフェルスのU・剥片である。先端部分から左側縁部分に細かな刃こぼれが見られる。



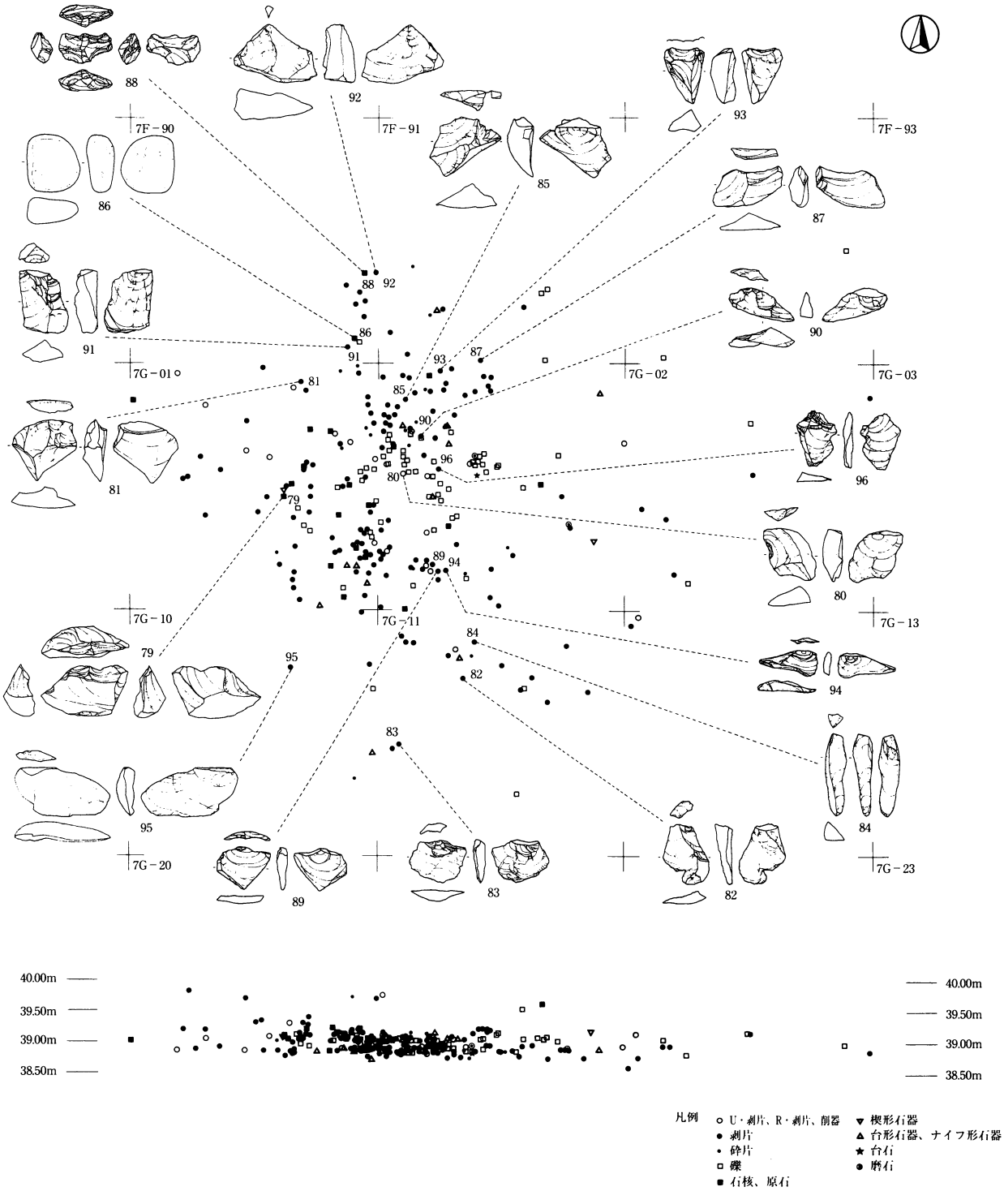
第246図　第34ブロック出土状況図（4）（scale　1／100）

磨石（第256、266図52、122）52は砂岩の磨石である。礫の中程が残っている。表裏とも磨痕が見られる。122は安山岩の磨石である。丸みのある礫全面に磨痕が見られる。

敲石（第265図117）117は砂岩の敲石である。縁辺部分の一角に打撃痕が見られる。

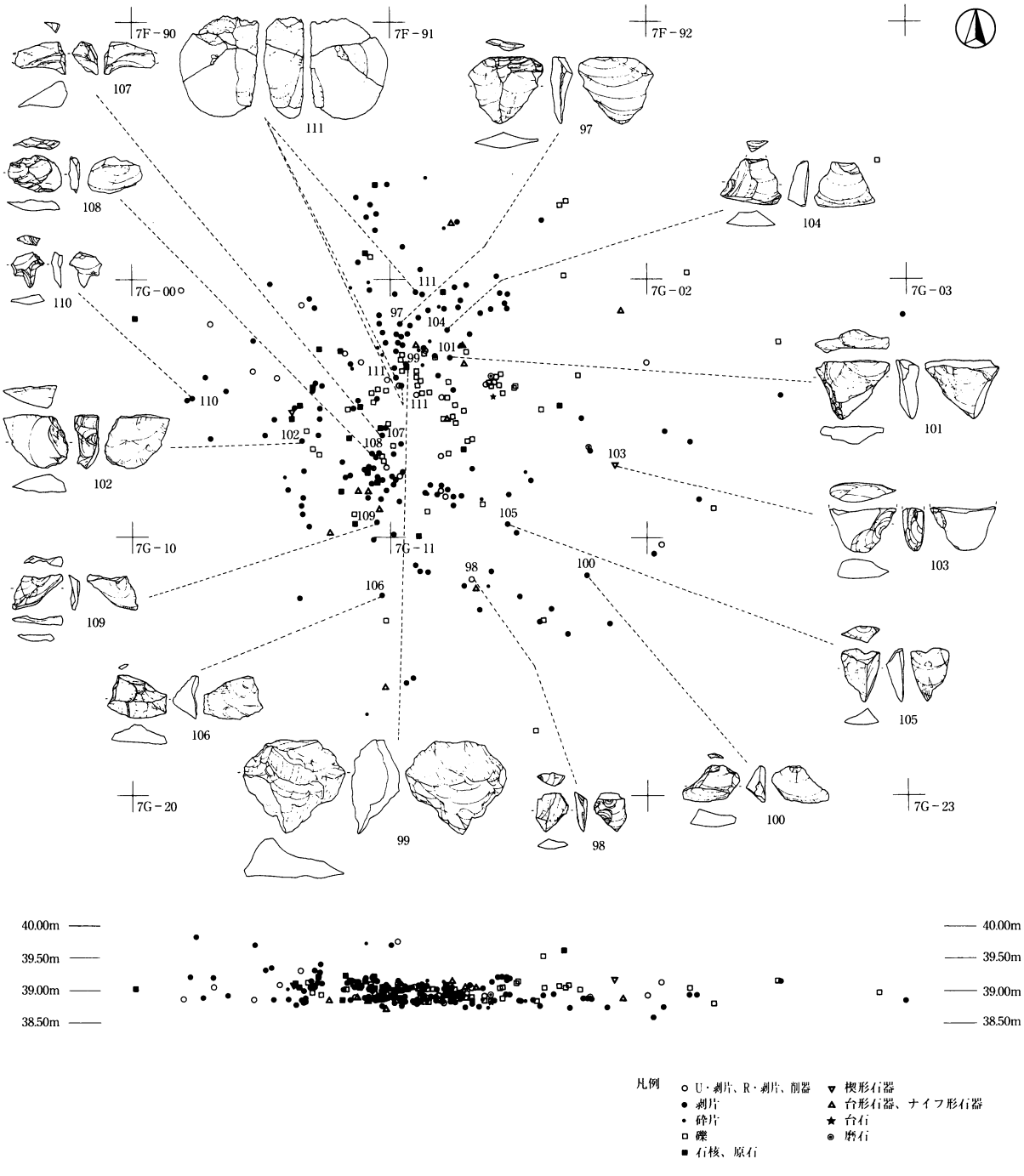
台石（第267図123）123は安山岩の台石である。礫にの中央部に打撃による窪みが認められる。

石核（第253～257、260～261図33、41～51、53、55、79、86、88）33は砂岩の石核である。大形剥片を



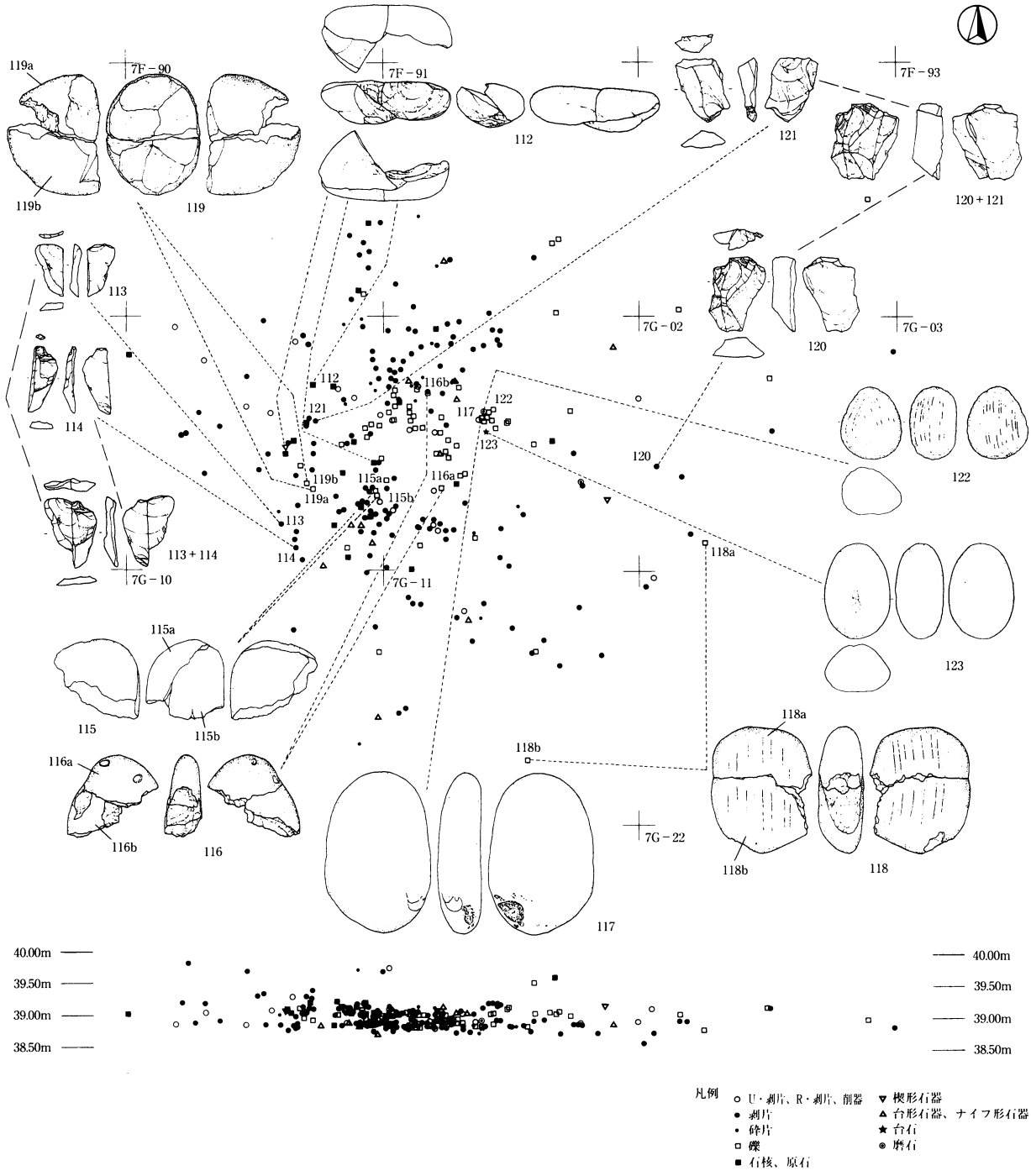
第247図　第34ブロック出土状況図（5）（scale 1／100）

再利用している。41はホルンフェルスの石核である。主剥離面を打面として剥離を行っている。42はホルンフェルスの石核である。大形の剥片を素材として周辺部分から剥離している。一部礫面を残している。43はホルンフェルスの石核である。当初の剥離面を打面として剥離を行っている。片面はほぼ礫面を残している。44はチャートの石核である。より小さな剥片を剥ぎ取っていたものと思われる。45はホルンフェルスの石核である。多方位から小さな剥片を剥ぎ取っていたものと思われる。46はホルンフェルスの石核である。大形の剥片を再利用し、任意の方向から剥離していたと思われる。47はホルンフェルスの石核である。大形剥片を素材にして縁辺部分から剥片剥離をしている。一部に礫面を残している。48は安山岩A



第248図　第34ブロック出土状況図（6）（scale　1／100）

の石核である。小円礫を素材にして小さな剥片を剥ぎ取ったものと思われる。49はホルンフェルスの石核である。大形剥片を素材とした石核で、主剥離面を打面として剥片剥離を行っている。50はホルンフェルスの石核である。周辺部分から比較的大きな剥片を剥離したことがわかる。51は安山岩の石核である。表裏とも周辺部分から剥離している。53はホルンフェルスの石核である。大形な剥片を素材として周辺部分より数回剥離している。55はホルンフェルスの石核である。比較的小さな剥片を同じ方向から何枚かづつ剥離している。79はホルンフェルスの石核である。大形剥片を素材として打面側を中心に剥離している。

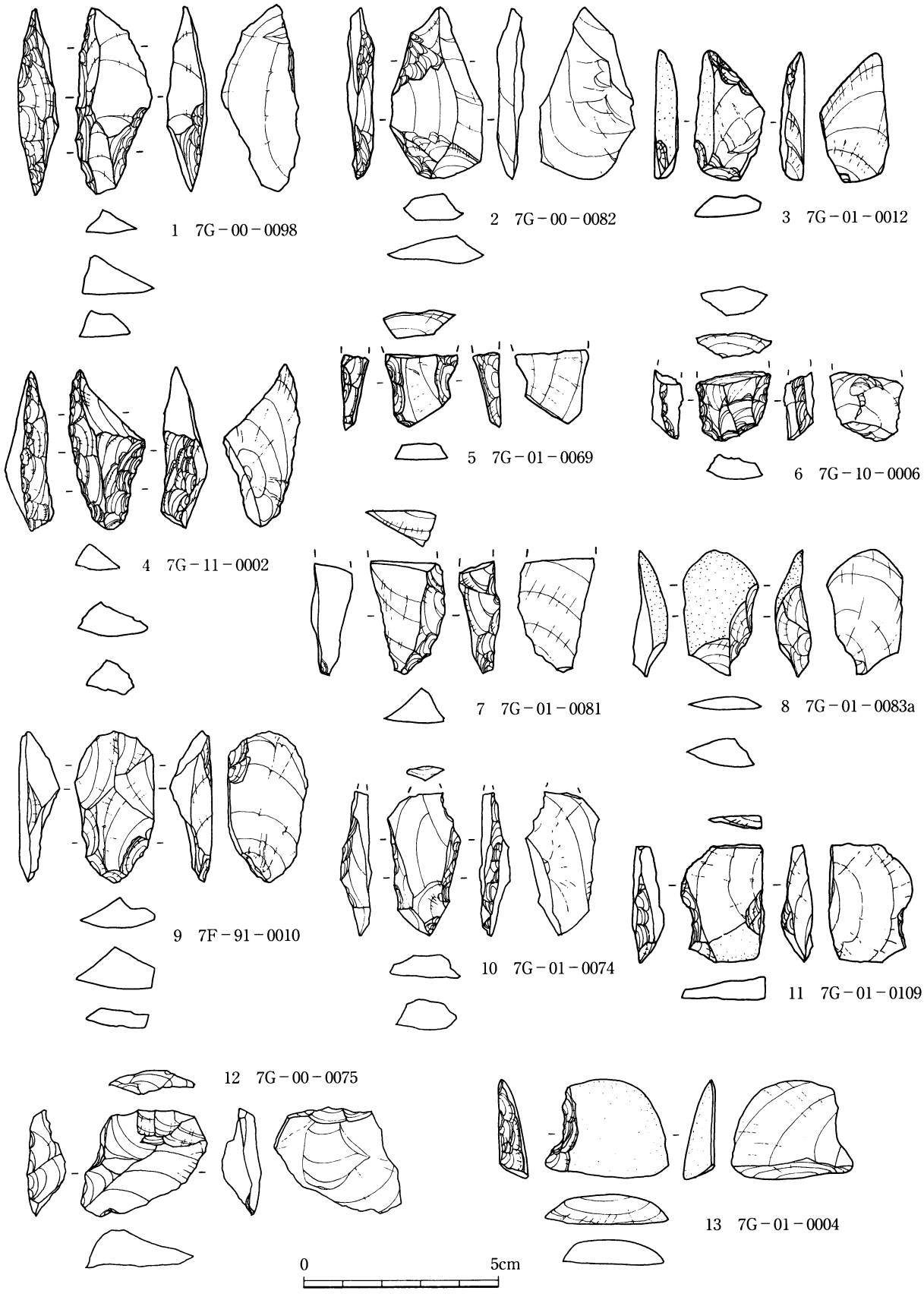


第249図　第34ブロック出土状況図（7）（scale　1／100）

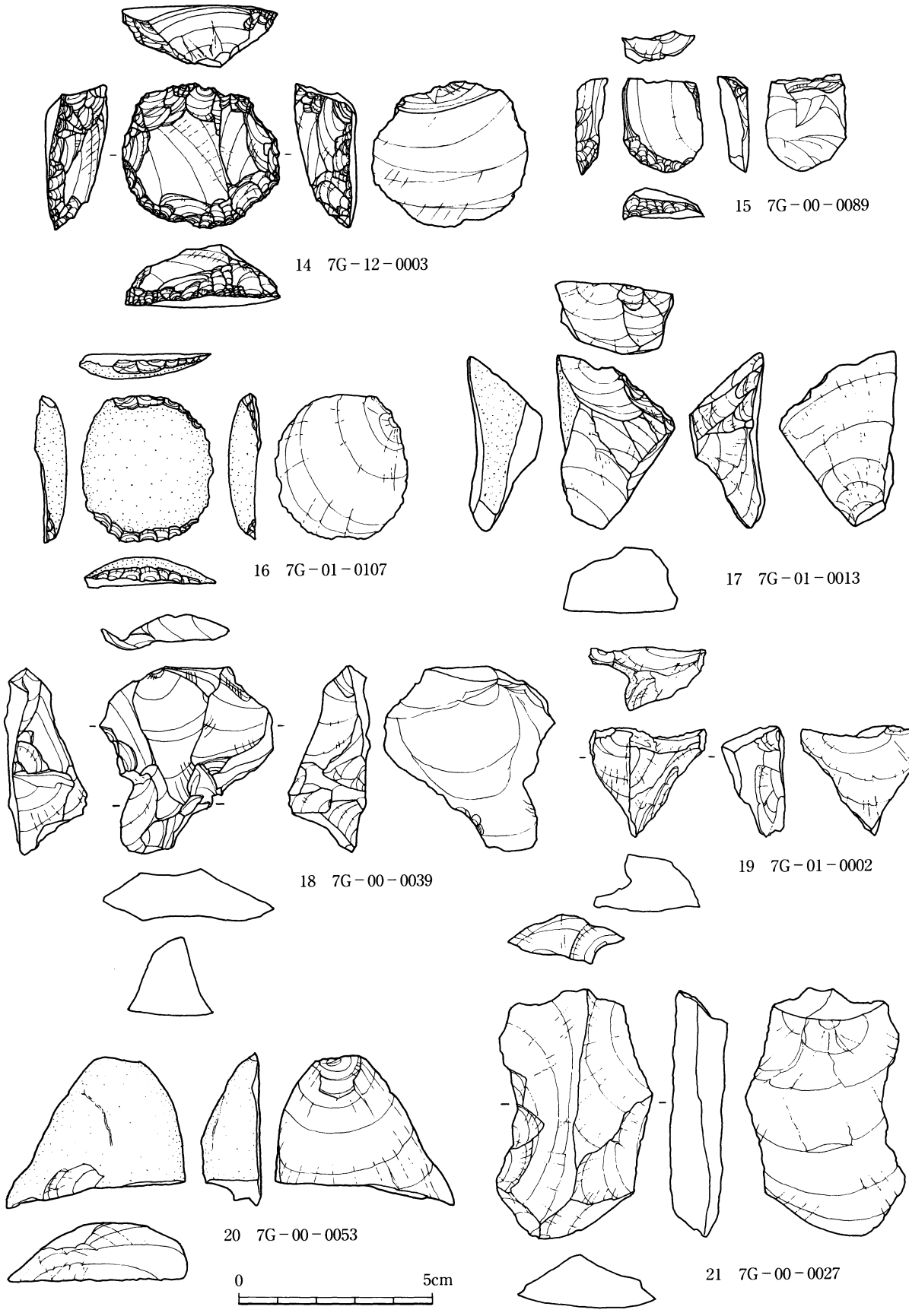
86は安山岩Aの原石である。石核素材としてこのブロックに持ち込まれたものと思われる。88は安山岩Aの石核である。比較的小さな礫の両面の周辺から小さな剥片を剥いでいる。

剥片（第252～253、257～263図32、35～40、54、56、58、60～78、81～85、87、89～97、99～102、104～108）

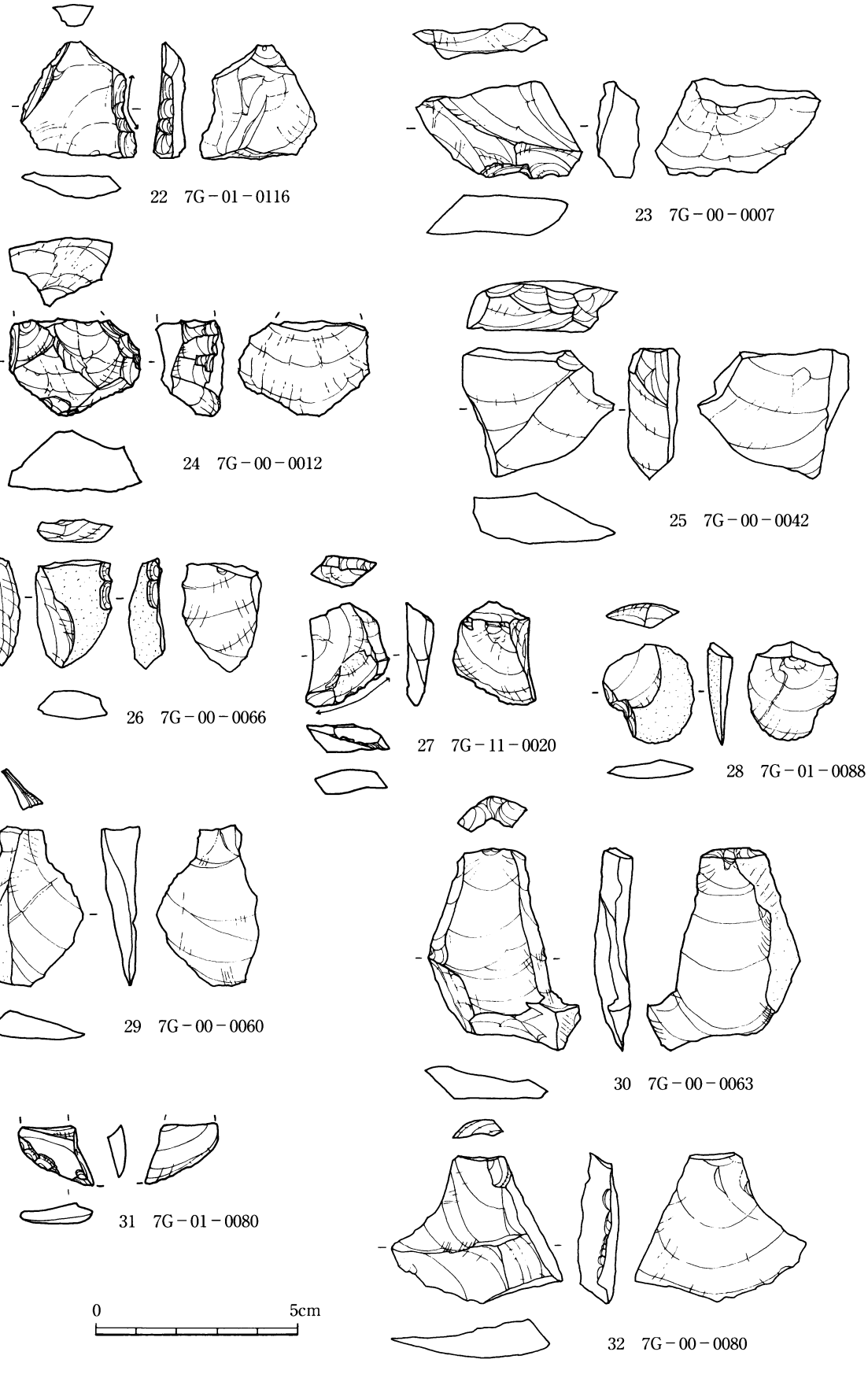
32はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と左方向の剥離2面で構成される。35はホルンフェルスの縦長の剥片である。任意の方向から剥離された剥片とは思えない程、整った形態をしている。36はホルンフェルスの剥片である。背面には多方位からの剥離面が見られる。37はホルンフェルスの剥片である。背面は横方向からの剥離面もみられる。38は砂岩の剥片である。背面は主剥離面と逆方向の剥離1面と右方向からの剥離1面、及び礫面で構成される。39はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面と逆方向の剥離2面で構成されている。40はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数の剥離面で構成されている。54はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面で構成されている。56はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離5～6面で構成されている。58はホルンフェルスの縦長の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面で構成されている。60は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と礫面とで構成されている。61はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面に対して右方向の剥離で構成されている。62はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面に対して左右両方向からの剥離面で構成されている。63はホルンフェルスの剥片である。背面は多方位からの剥離面が見られる。64はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面に対して左右からの剥離面で構成されている。65はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離2面で構成されている。66はホルンフェルスの剥片である。背面は礫面で覆われている。67はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と右方向の剥離1面で構成されている。68はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面で構成されている。69はホルンフェルスの剥片である。比較的小さな剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面である。70はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と左からの剥離1面、右側からの剥離2面で構成されている。71はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面で構成されている。72は凝灰岩の剥片である。背面は、主剥離面と同方向の剥離3面と礫面とで構成されている。73は安山岩Aの剥片である。背面は、主剥離面と同方向の剥離2面と礫面で構成されている。74はホルンフェルスの剥片である。背面は、主剥離面と同方向の剥離2面で構成されている。75はホルンフェルスの剥片である。背面は、主剥離面と同方向の剥離1面と左右の方向から各1面とで構成されている。76はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と右からの剥離1面とで構成されている。77は安山岩Aの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面と礫面で構成されている。78はチャートの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面で構成されている。81はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と右方向の剥離1面、逆方向からの剥離3面から構成されている。82はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離2面と礫面とで構成されている。83はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と逆方向の剥離面1面である。84はホルンフェルスの縦長の剥片である。背面は主剥離面に対して逆方向からの剥離1面と礫面とで構成されている。85はホルンフェルスの剥片である。87はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面で構成されている。89はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面である。90はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離4面で構成される。91



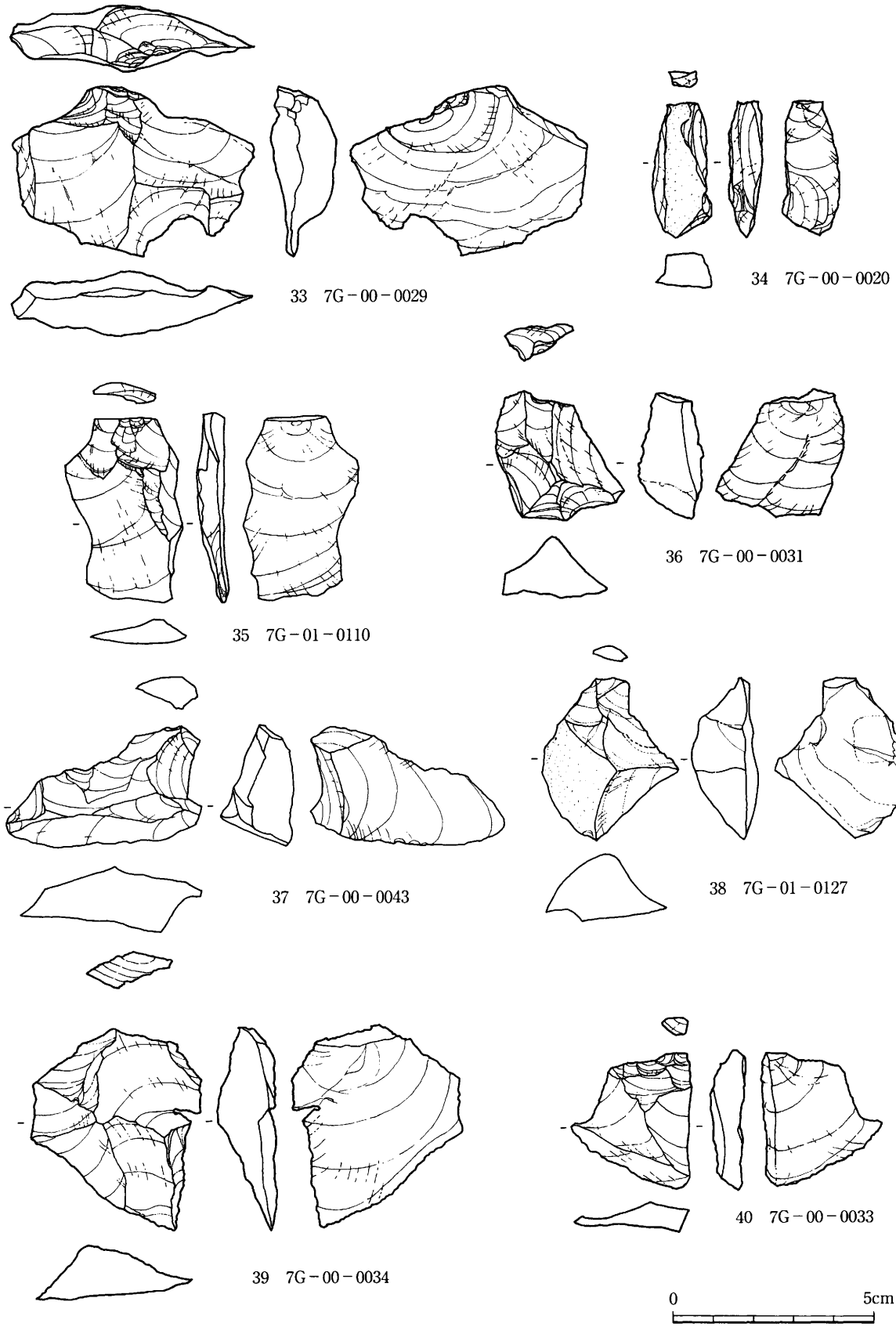
第250図　第34ブロック出土遺物実測図（1）



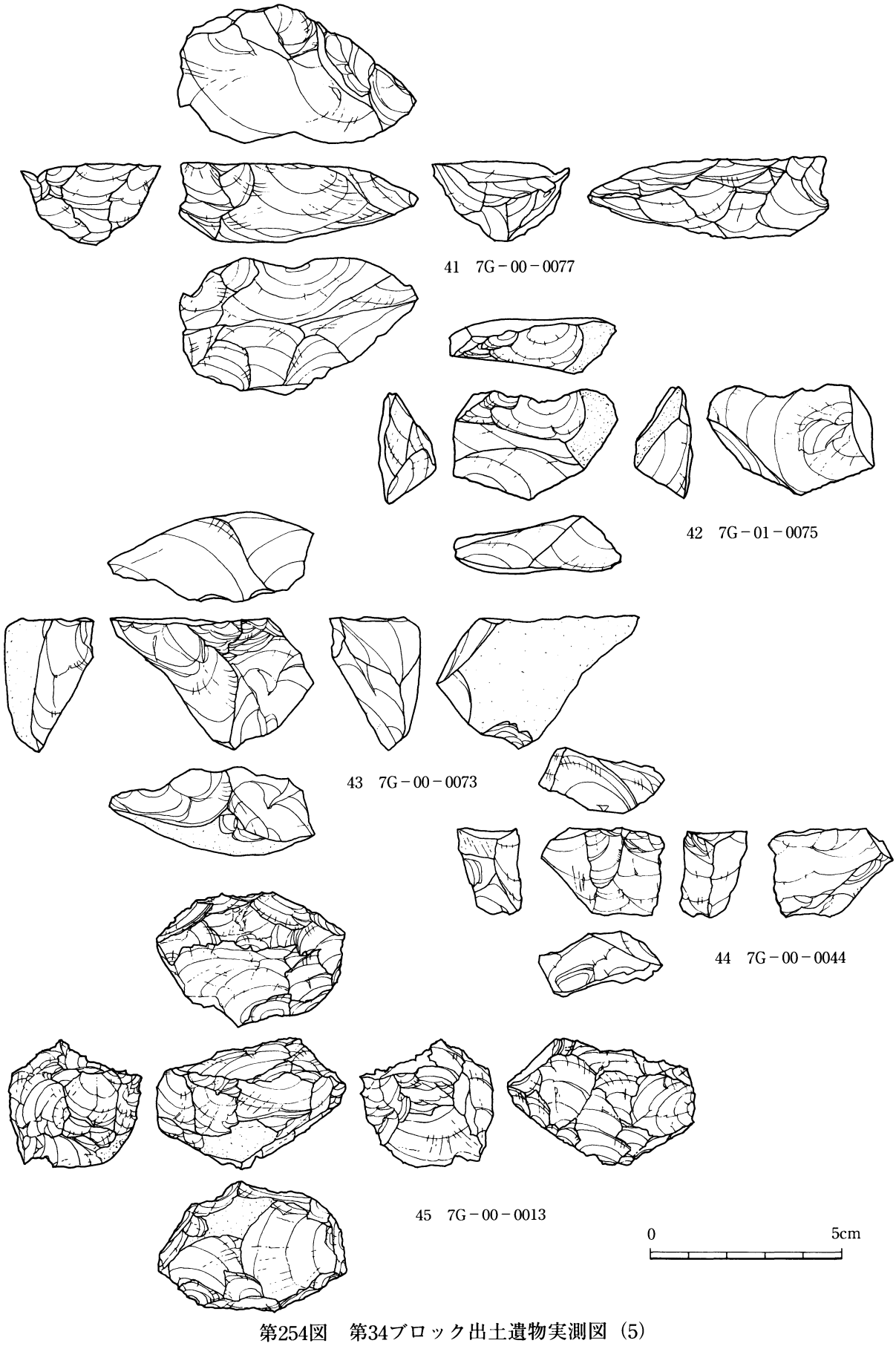
第251図　第34ブロック出土遺物実測図（2）



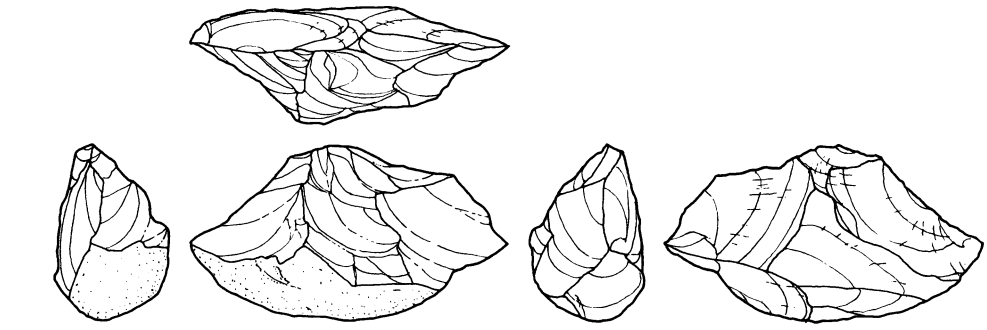
第252図　第34ブロック出土遺物実測図（3）



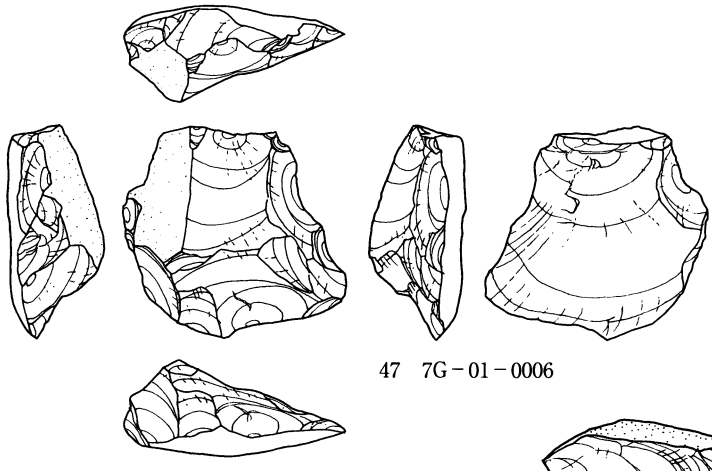
第253図　第34ブロック出土遺物実測図（4）



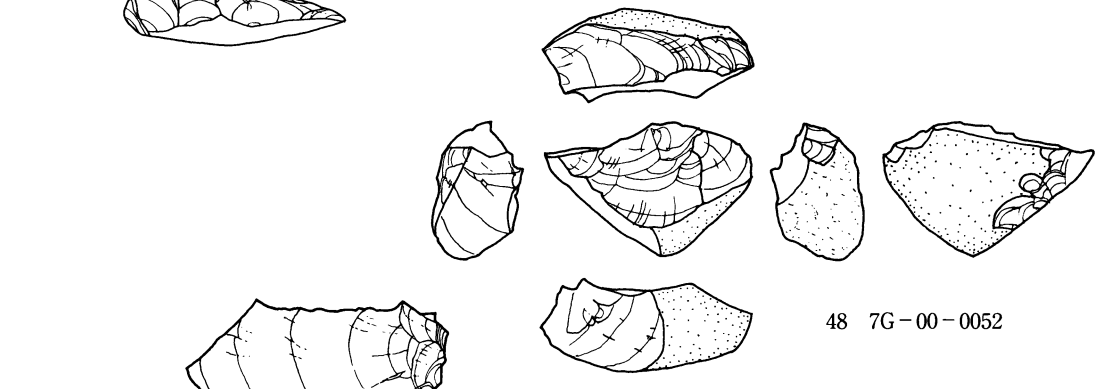
第254図　第34ブロック出土遺物実測図（5）



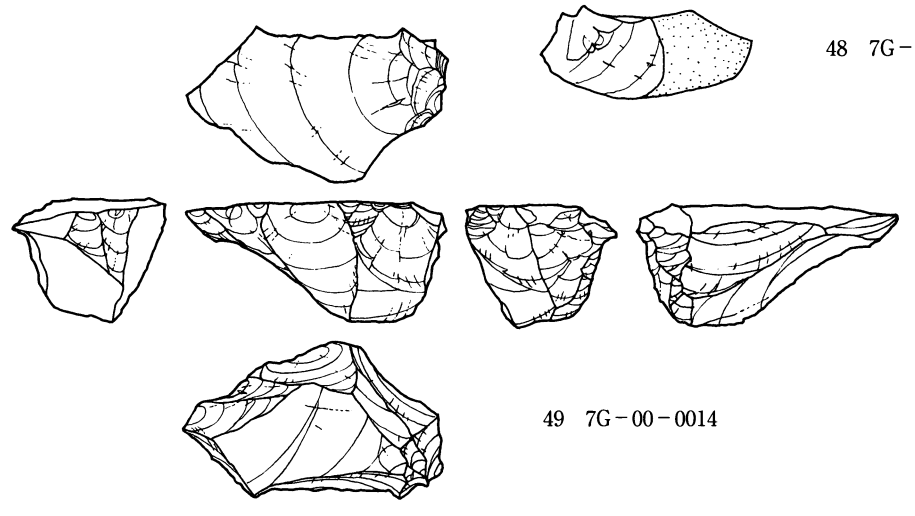
46　7G－00－0035



47　7G－01－0006



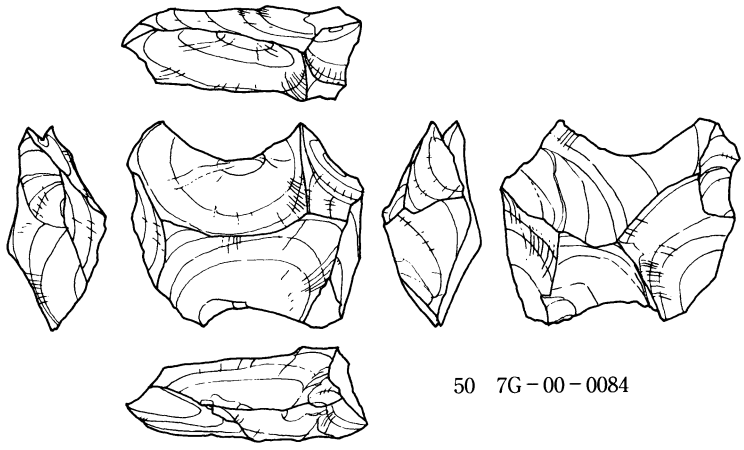
48　7G－00－0052



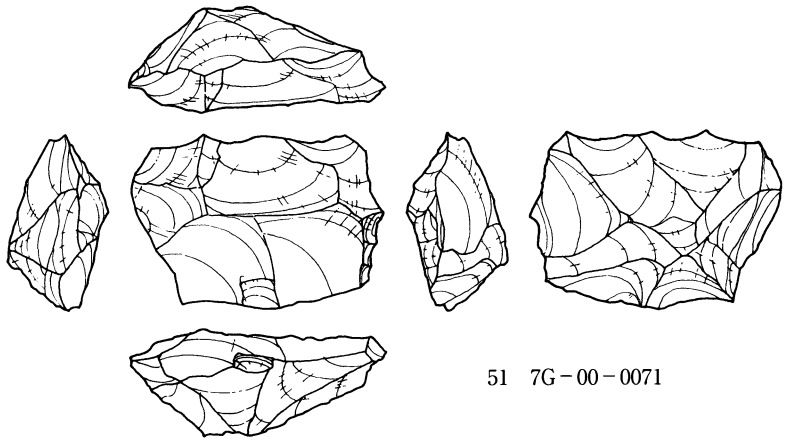
49　7G－00－0014

0　5cm

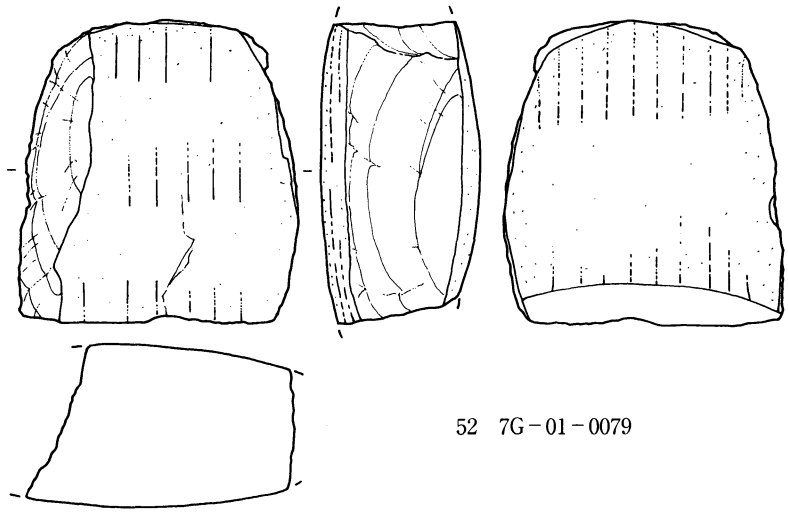
第255図　第34ブロック出土遺物実測図（6）



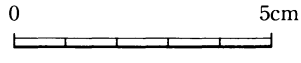
50　7G－00－0084



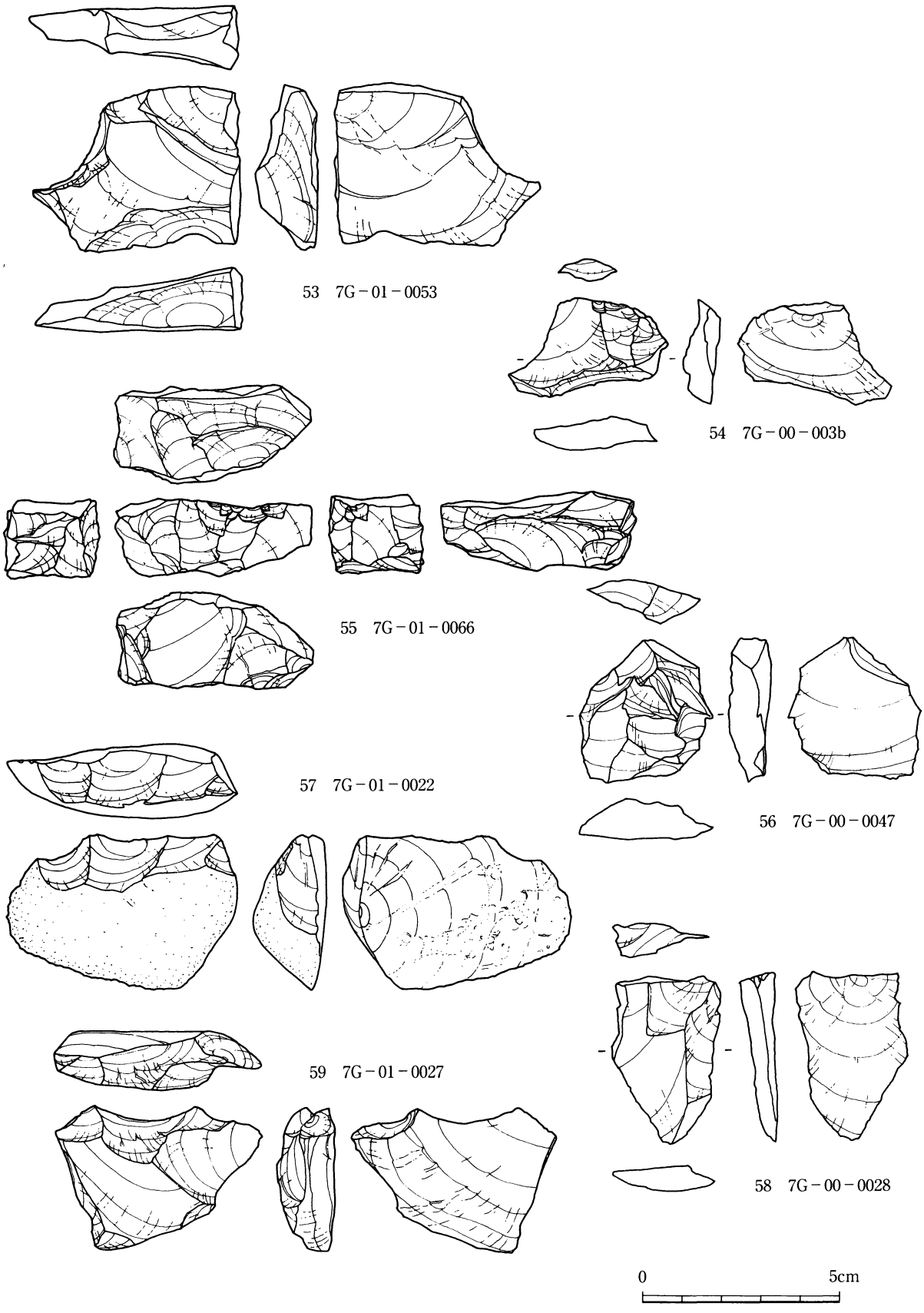
51　7G－00－0071



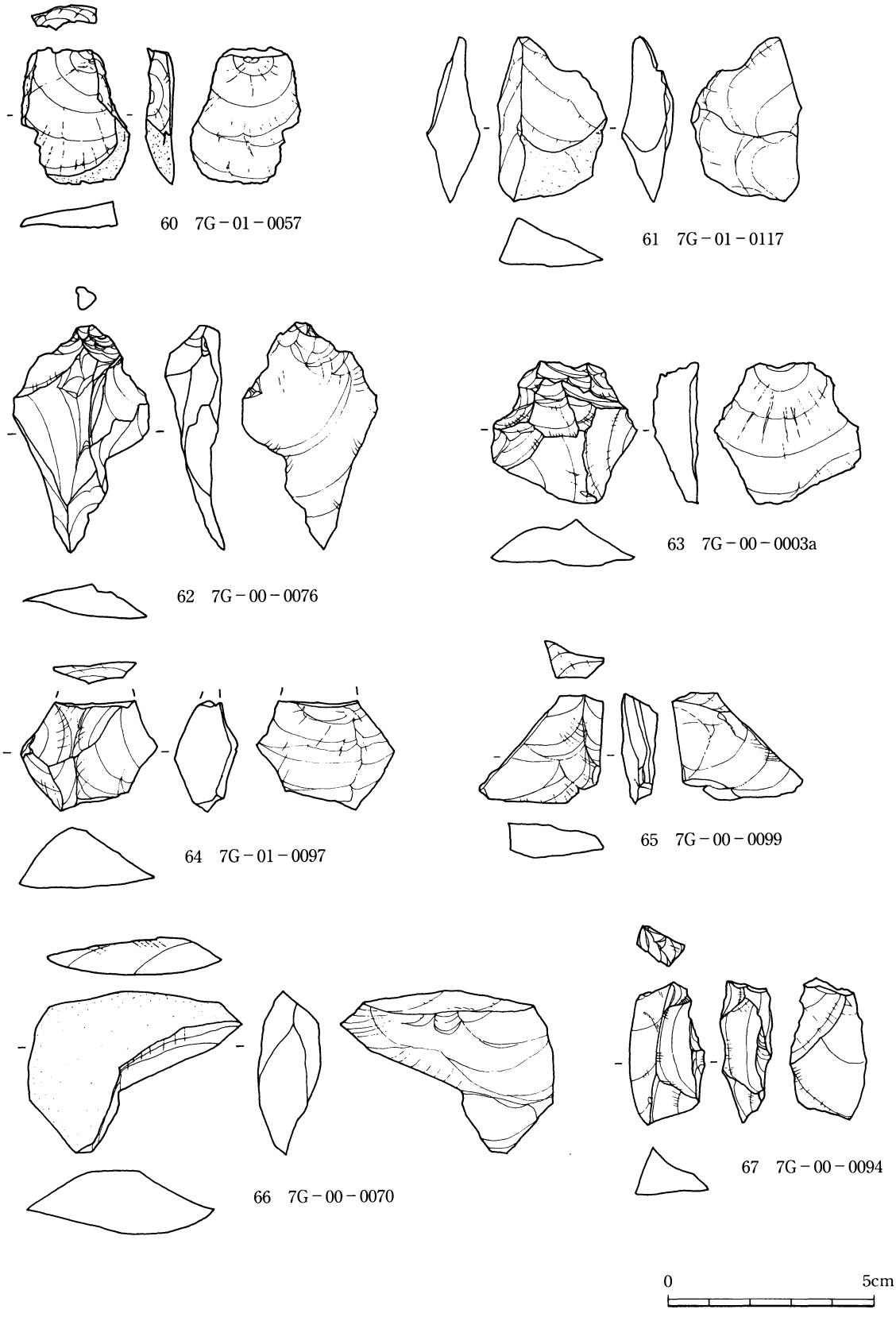
52　7G－01－0079



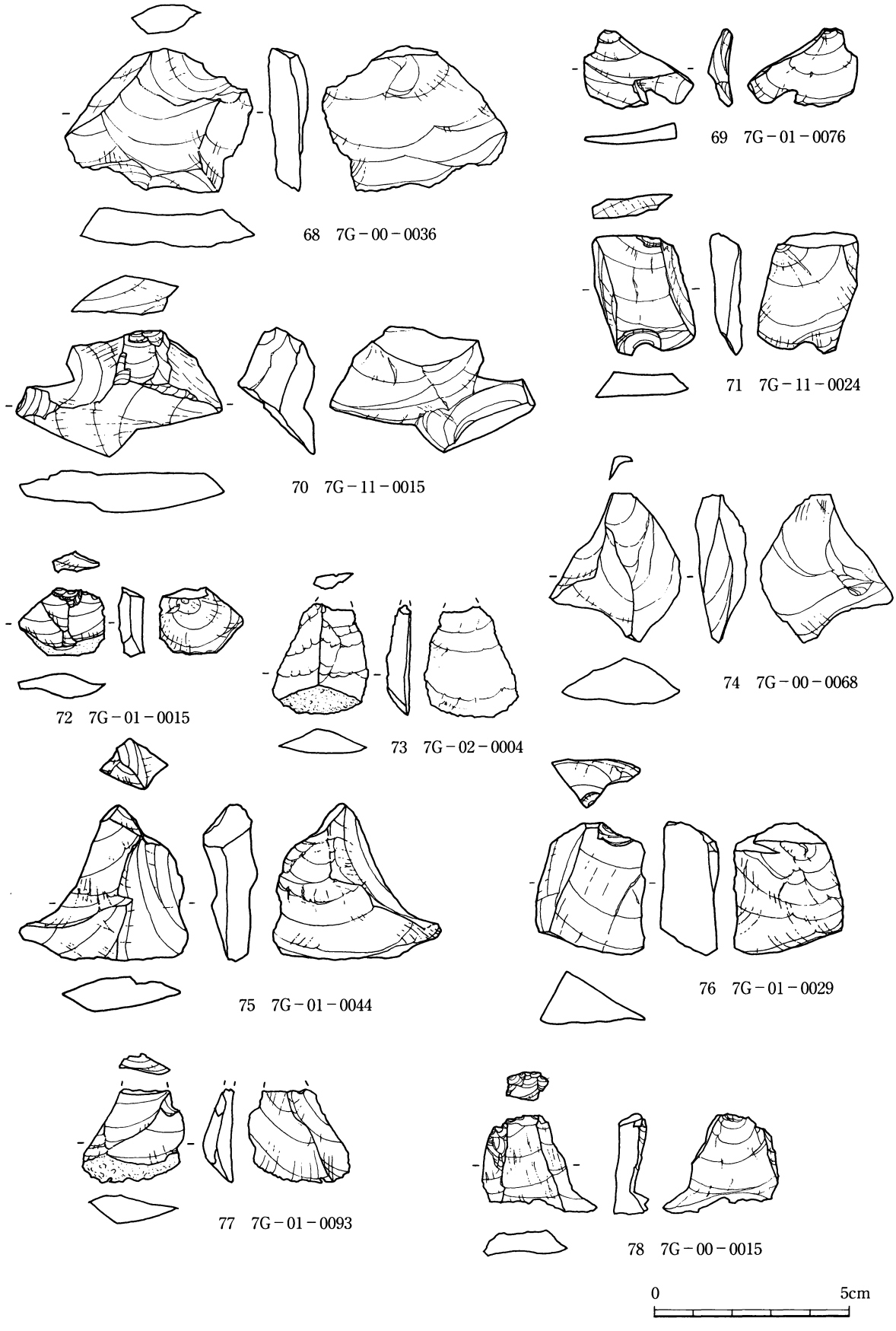
第256図　第34ブロック出土遺物実測図（7）



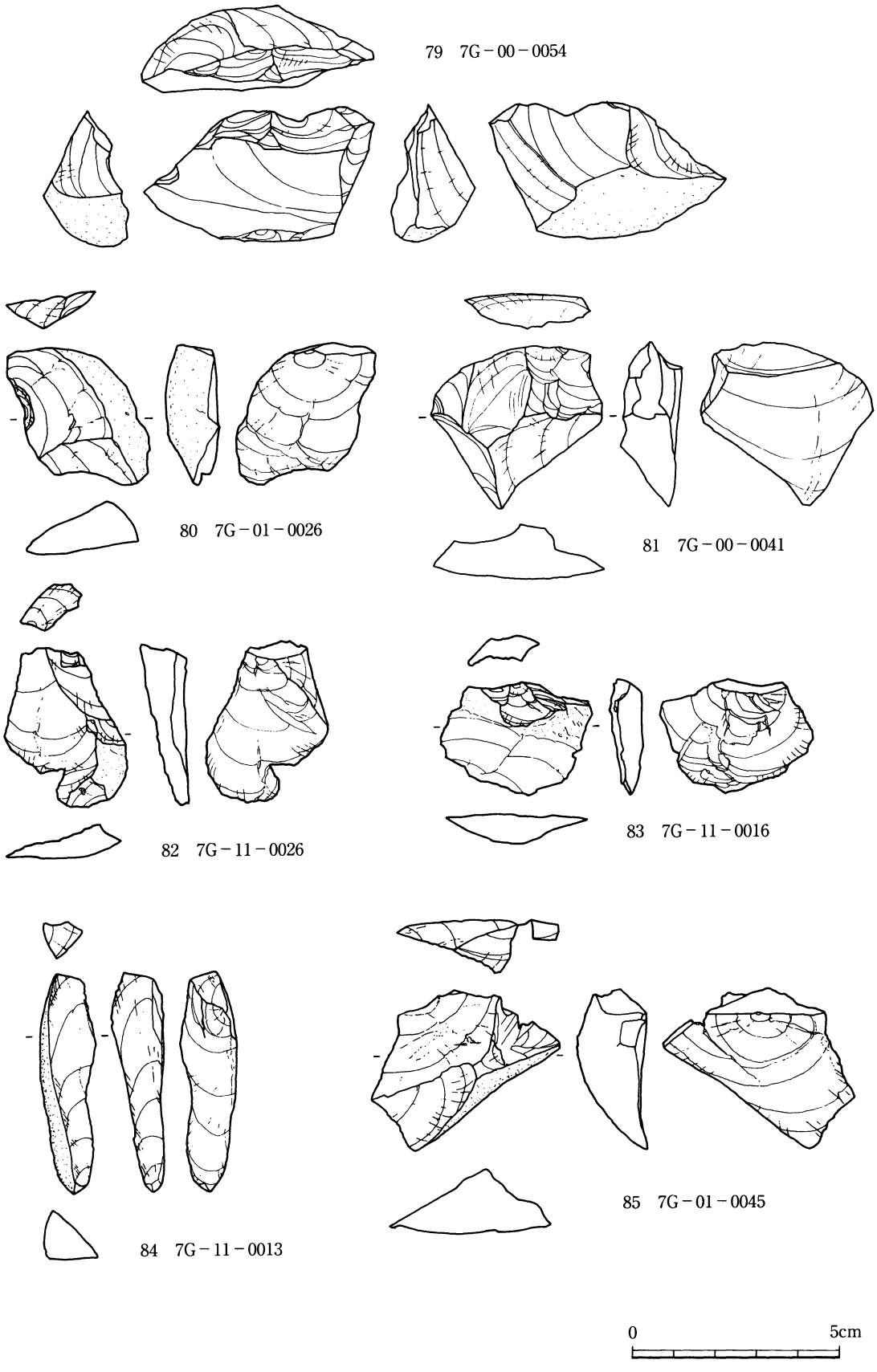
第257図　第34ブロック出土遺物実測図（8）



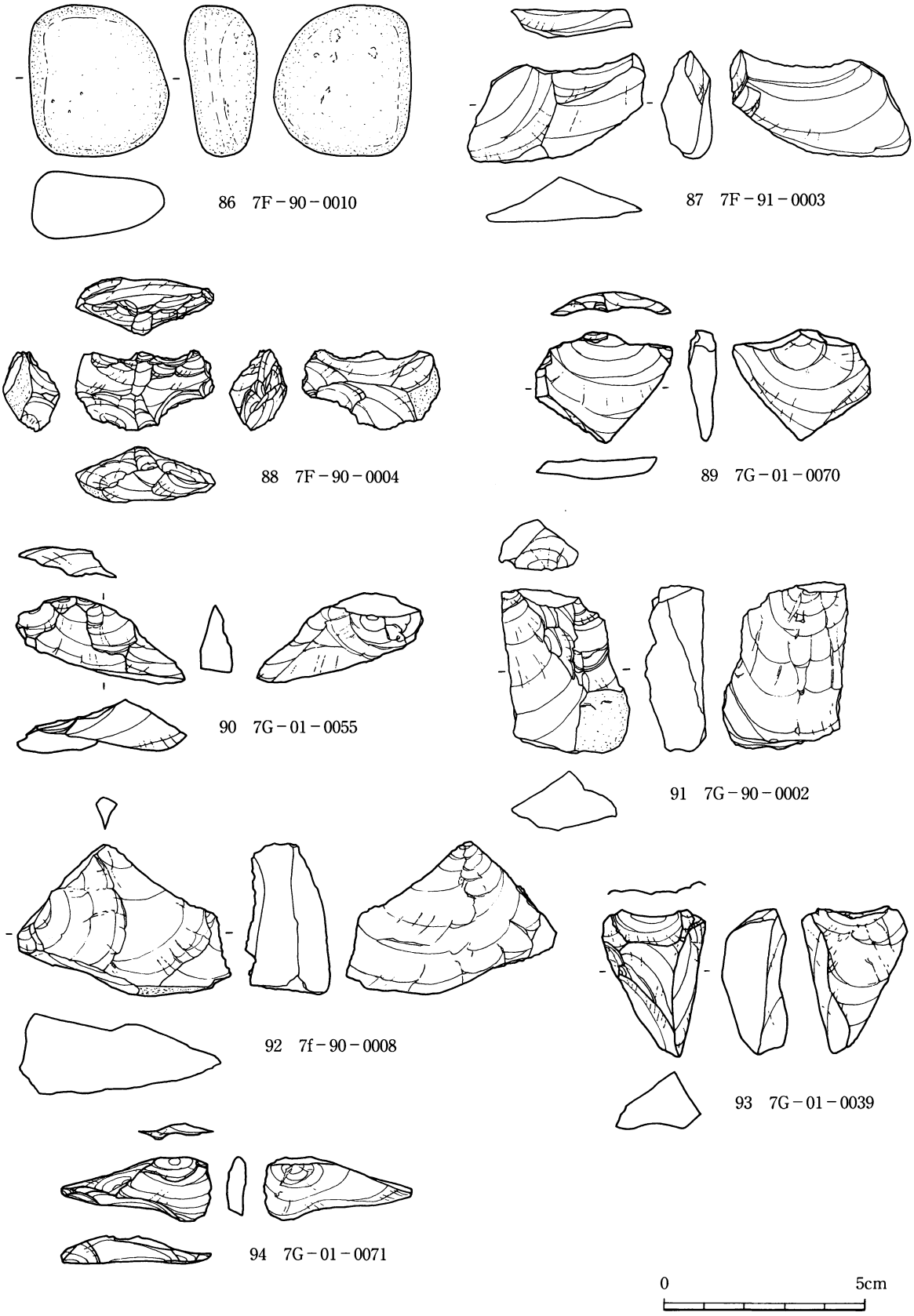
第258図　第34ブロック出土遺物実測図（9）



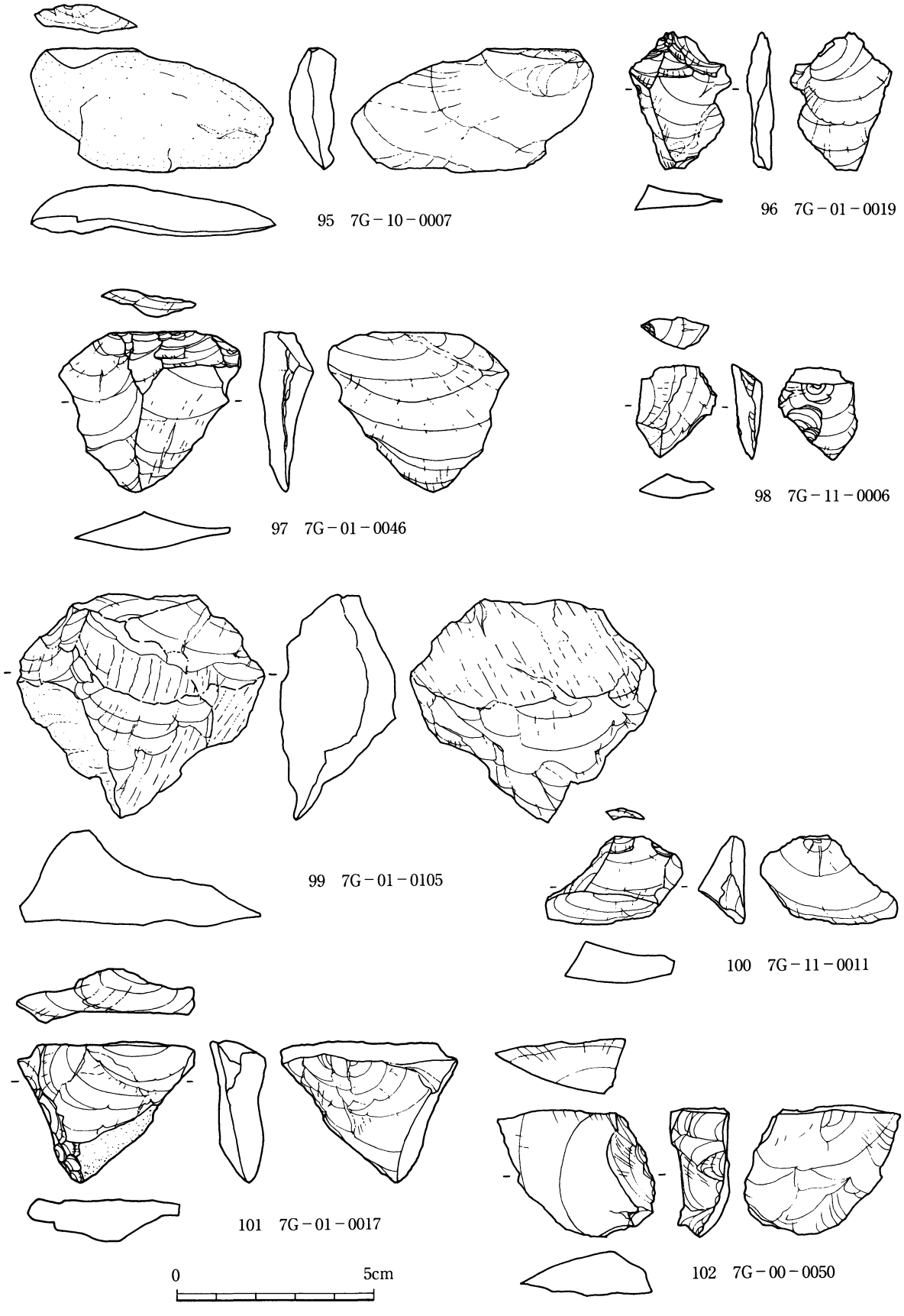
第259図　第34ブロック出土遺物実測図（10）



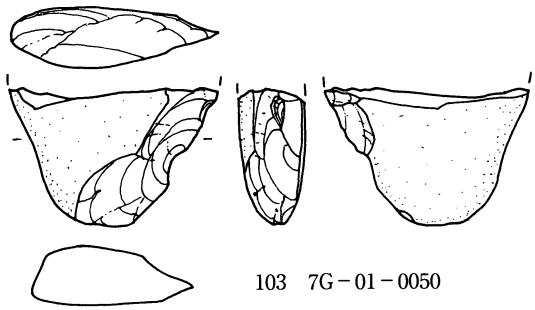
第260図　第34ブロック出土遺物実測図（11）



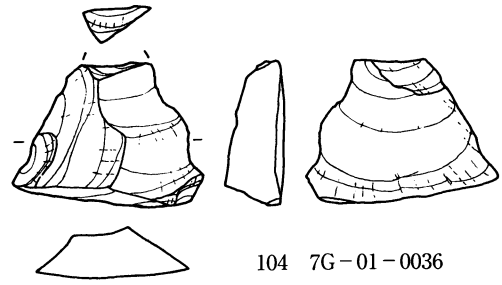
第261図　第34ブロック出土遺物実測図（12）



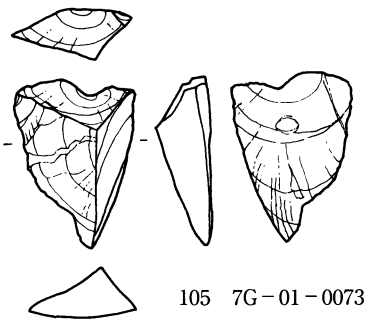
第262図　第34ブロック出土遺物実測図（13）



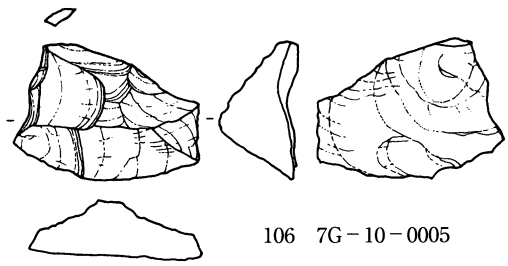
103　7G－01－0050



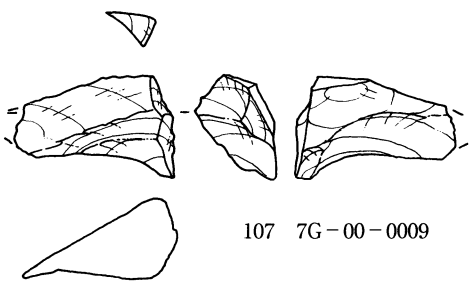
104　7G－01－0036



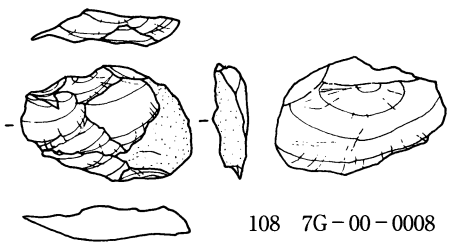
105　7G－01－0073



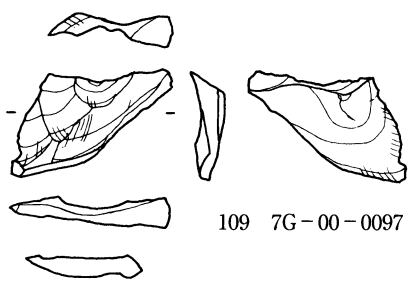
106　7G－10－0005



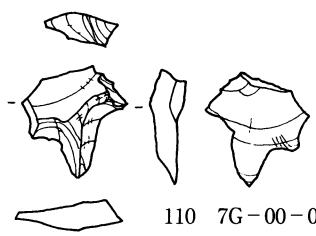
107　7G－00－0009



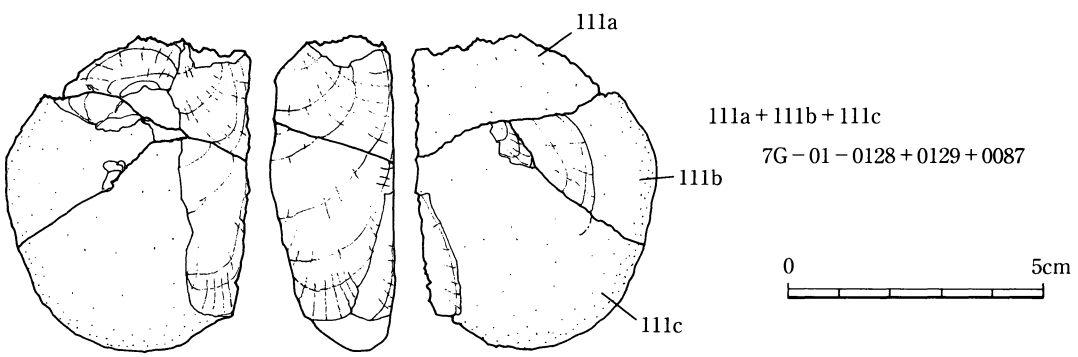
108　7G－00－0008



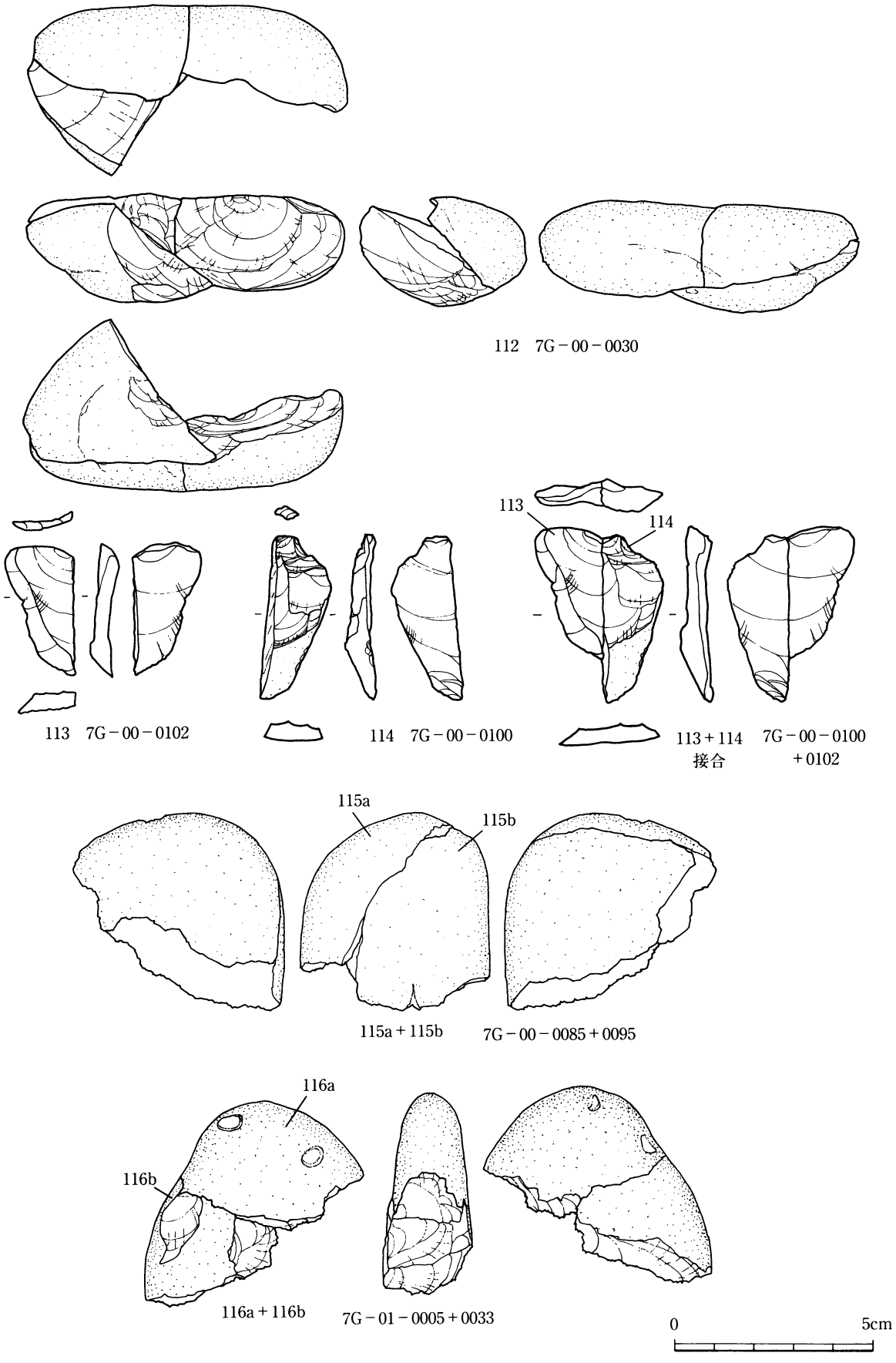
109　7G－00－0097



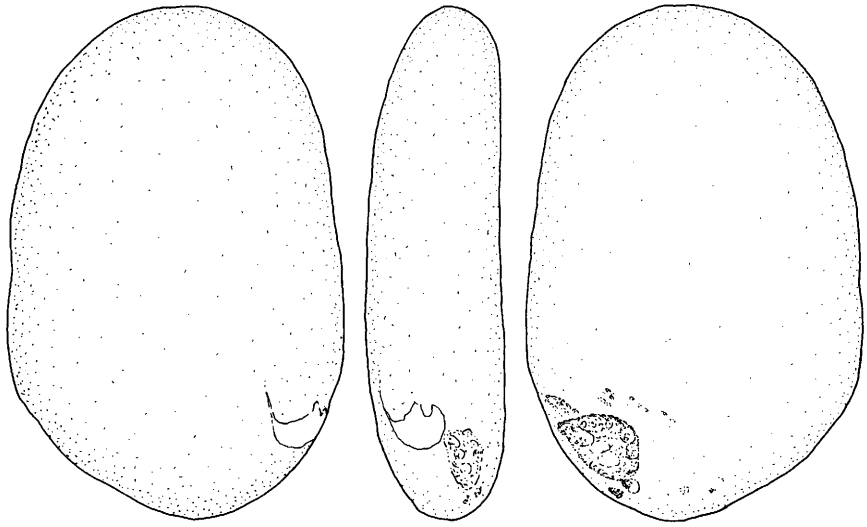
110　7G－00－0045



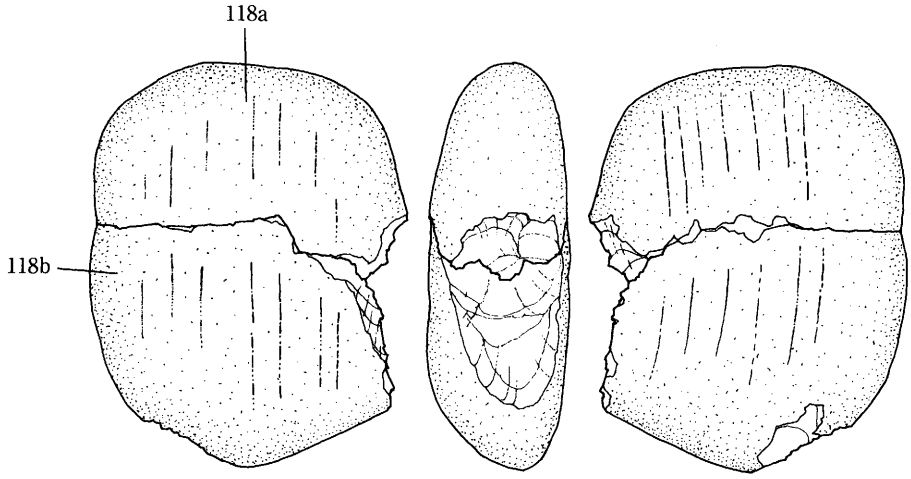
第263図　第34ブロック出土遺物実測図（14）



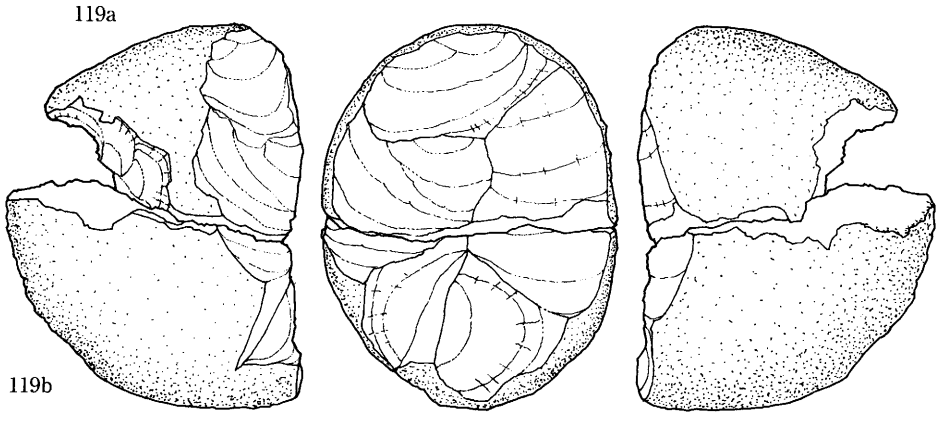
第264図　第34ブロック出土遺物実測図（15）



117　7G－01－0062

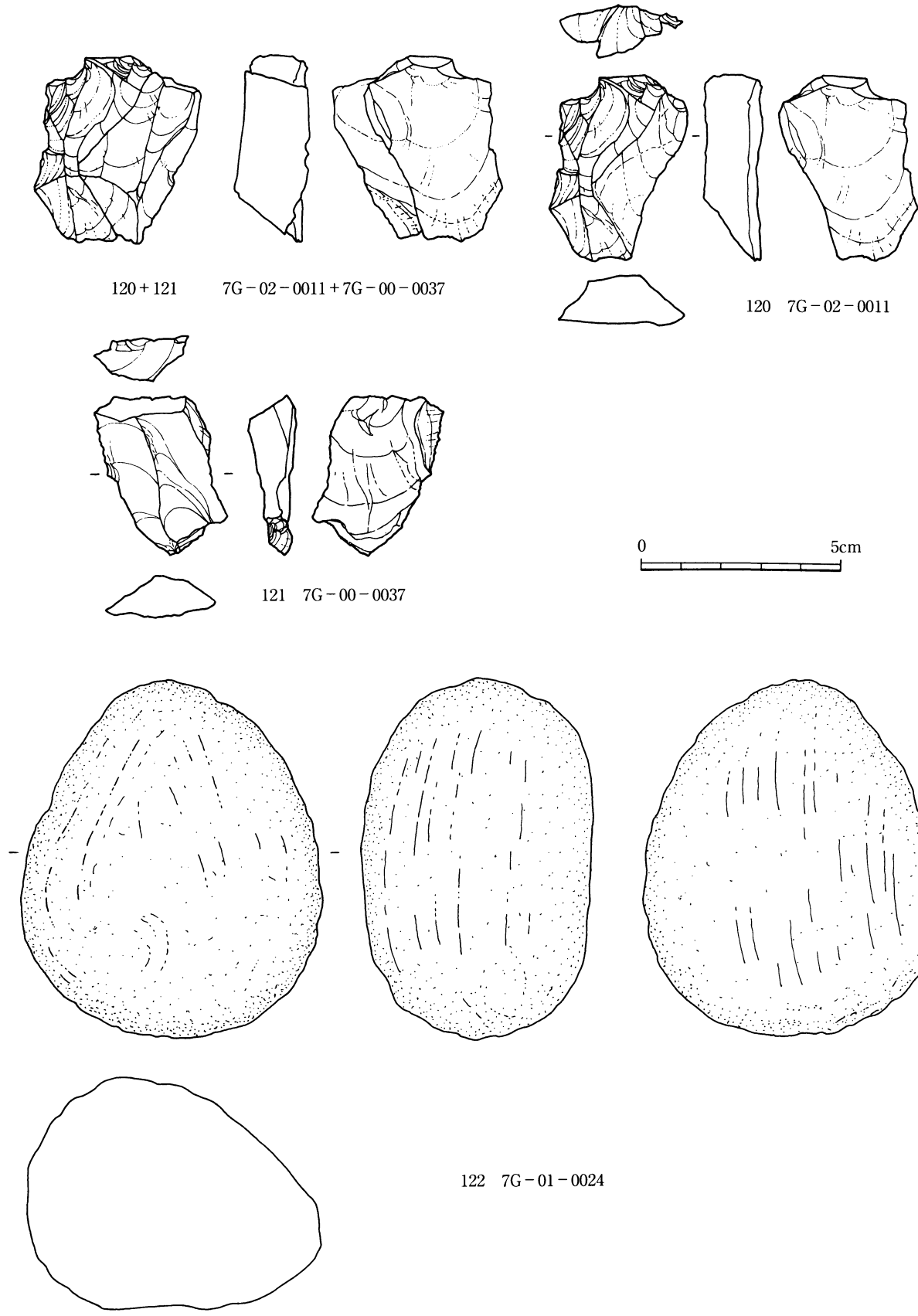


118a＋118b　　7G－02－0010＋7G－11－0009



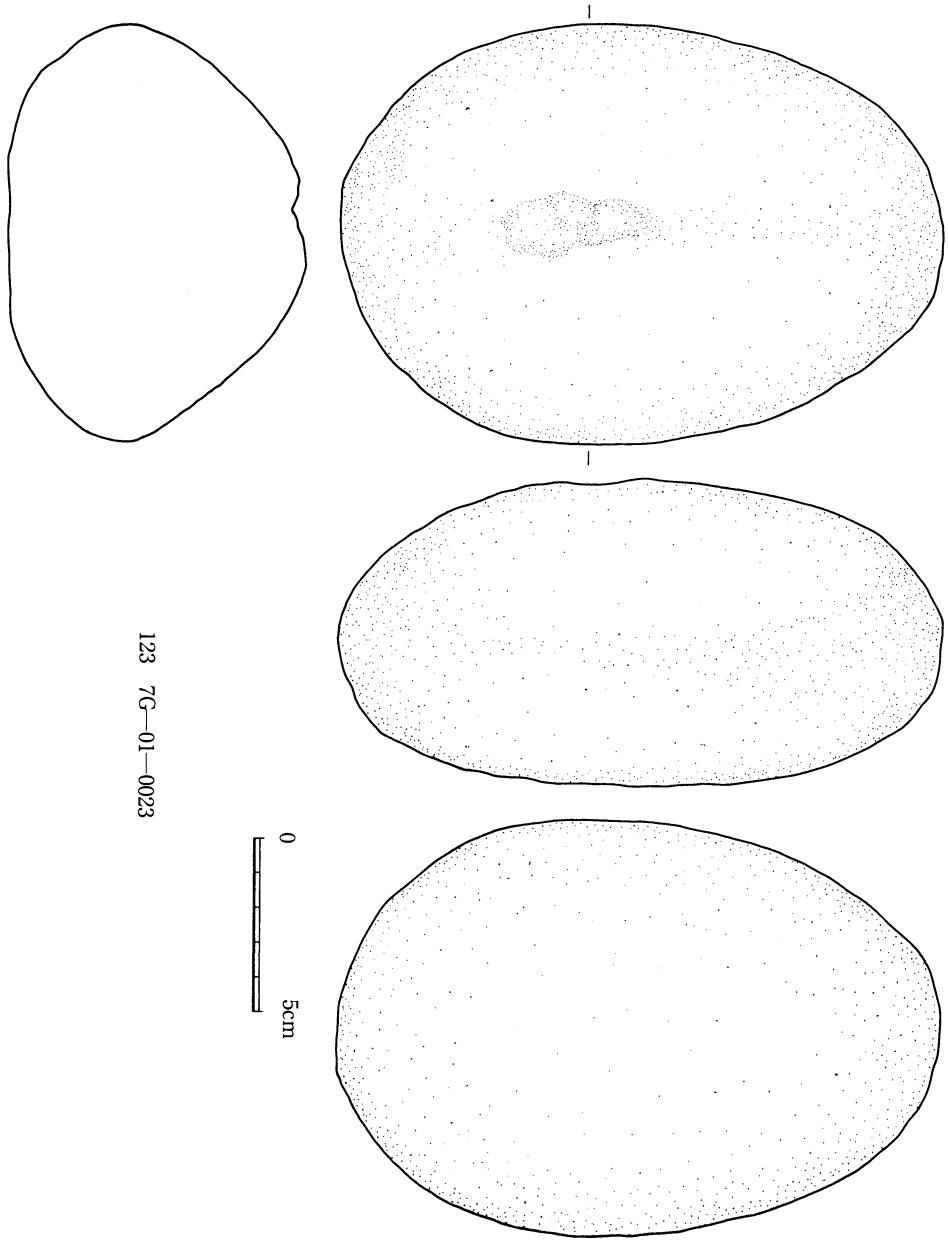
119a＋119b　　7G－00－0048＋0049

第265図　第34ブロック出土遺物実測図（16）



第266図　第34ブロック出土遺物実測図（17）

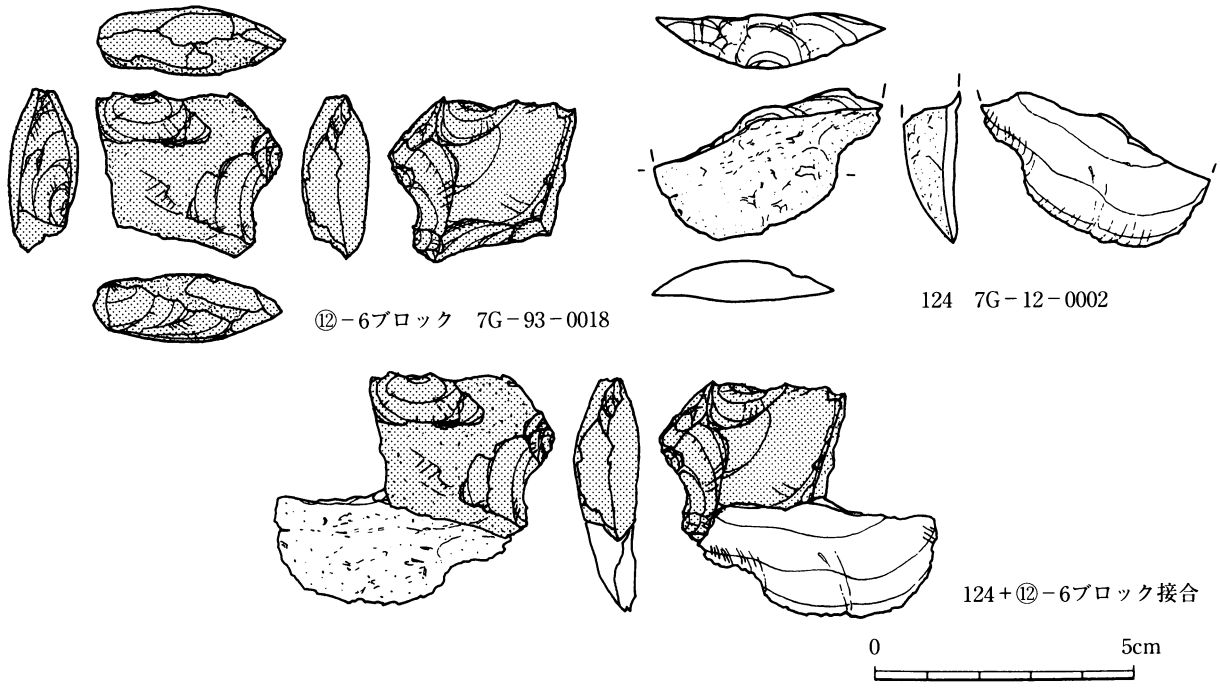
はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離2面、左方向の剥離1面及び礫面とで構成されている。92はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と左方向の剥離1面とで構成されている。93はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と左からの剥離3面とで構成されている。94はホルンフェルスの剥片である。横長の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離2面と右方向からの剥離1面で構成されている。95はホルンフェルスの剥片である。背面は礫面で覆われている。96はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面で構成されている。97はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離4～5面で構成されている。99はホルンフェルスの大形の剥片である。石の摂理面が大きく剥離に関与している剥片である。100は珪化木の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面である。101は安山岩の剥片である。背面は主剥



第267図　第34ブロック出土遺物実測図（18）

離面と同方向の剥離1面と礫面とで構成されている。102はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面に対して右側からの剥離1面である。104はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と左からの剥離1面で構成されている。105は凝灰岩の剥片である。背面は主剥離面に対して右側からの剥離2面で構成されている。106はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と左側からの剥離3面で構成されている。107はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面に対して逆方向からの剥離2面で構成されている。108はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離3面と礫面とで構成されている。109はホルンフェルスの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面である。110は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離1面と左右からの剥離1面づつで構成されている。

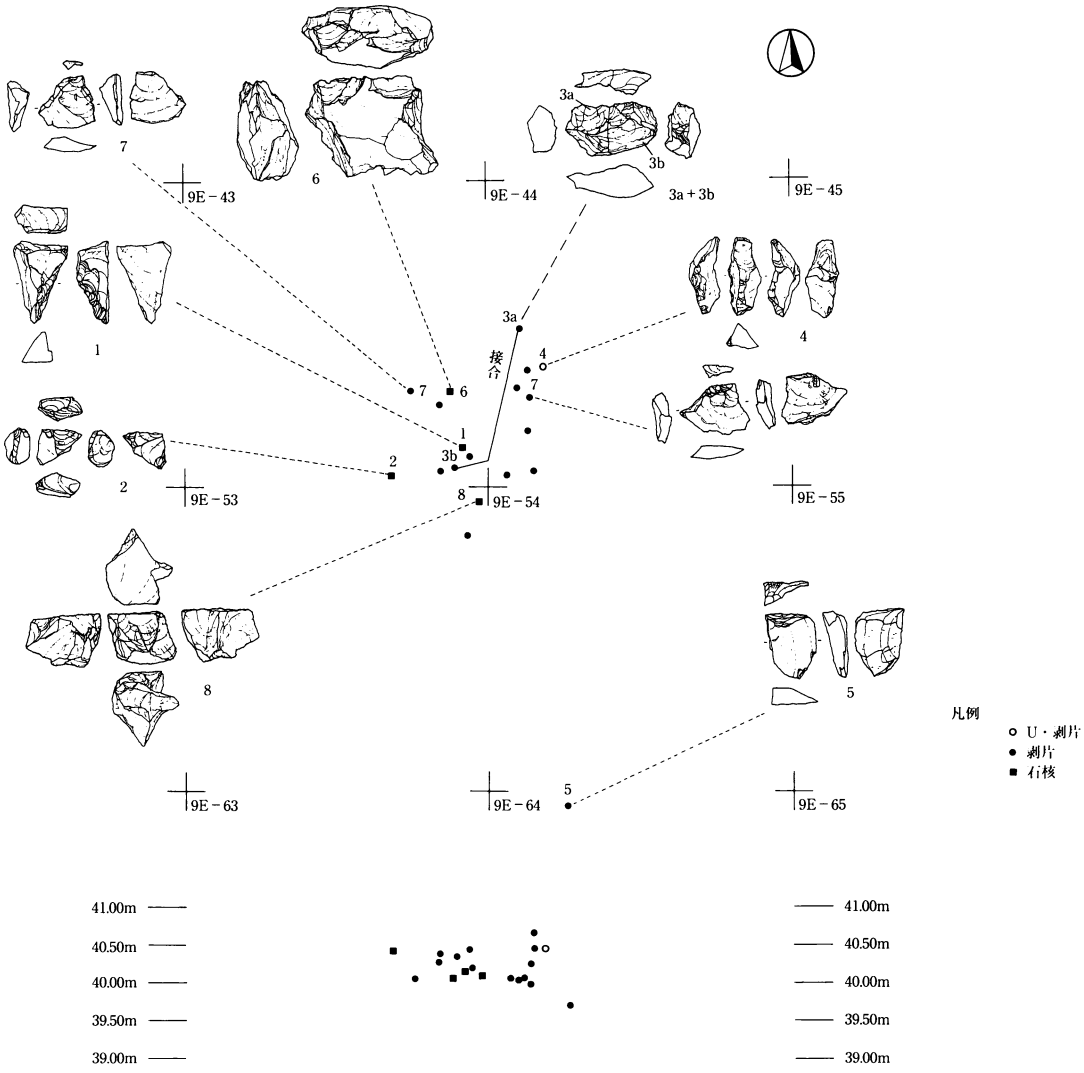
接合資料（第263～266、268図111、112、113～114、115、116、118、119、120～121、124）111はチャートの礫の接合資料である。剥片剥離して分割されたとは考えられない。112は安山岩Bの接合資料である。礫を荒割して石核素材として活用していったのかもしれない。113～114はホルンフェルスの接合資料である。接合状況から剥片剥離時に割れたものと思われる。115は安山岩の礫の接合資料である。116は流紋岩の礫の接合資料である。118は石英斑岩の礫の接合資料である。やや赤化しているかもしれない。119は安山岩の礫の接合資料である。120～121はホルンフェルスの接合資料である。ともに縦長の剥片であるが、接合状況から反対方向からの剥離で作出されたものと思われる。124は珪質頁岩の剥片で、⑫－6ブロックの剥片と接合する。第34ブロックの石器群のなかで南側の2つの環状ブロック群と時期的に同じ時期のものがあることは、微妙な問題を投げかけている。



第268図　第34ブロック出土遺物実測図（19）

第35ブロック　（第269～271図１～９、写真図版45、第35、73表）

分　布　　石器は、９Ｅ－43～９Ｅ－44グリッドを中心にややまとまりながら分布している。垂直分布は、Ⅳ層～Ⅶ層を主体としてまとまっている。平面は、南北３m、東西２mほどの範囲に分布している。



第269図　第35ブロック出土状況図　（scale　1／100）

石　材　　珪質頁岩20点で構成される。乳灰白色の珪質頁岩のみの単独の石材で構成されるブロックである。

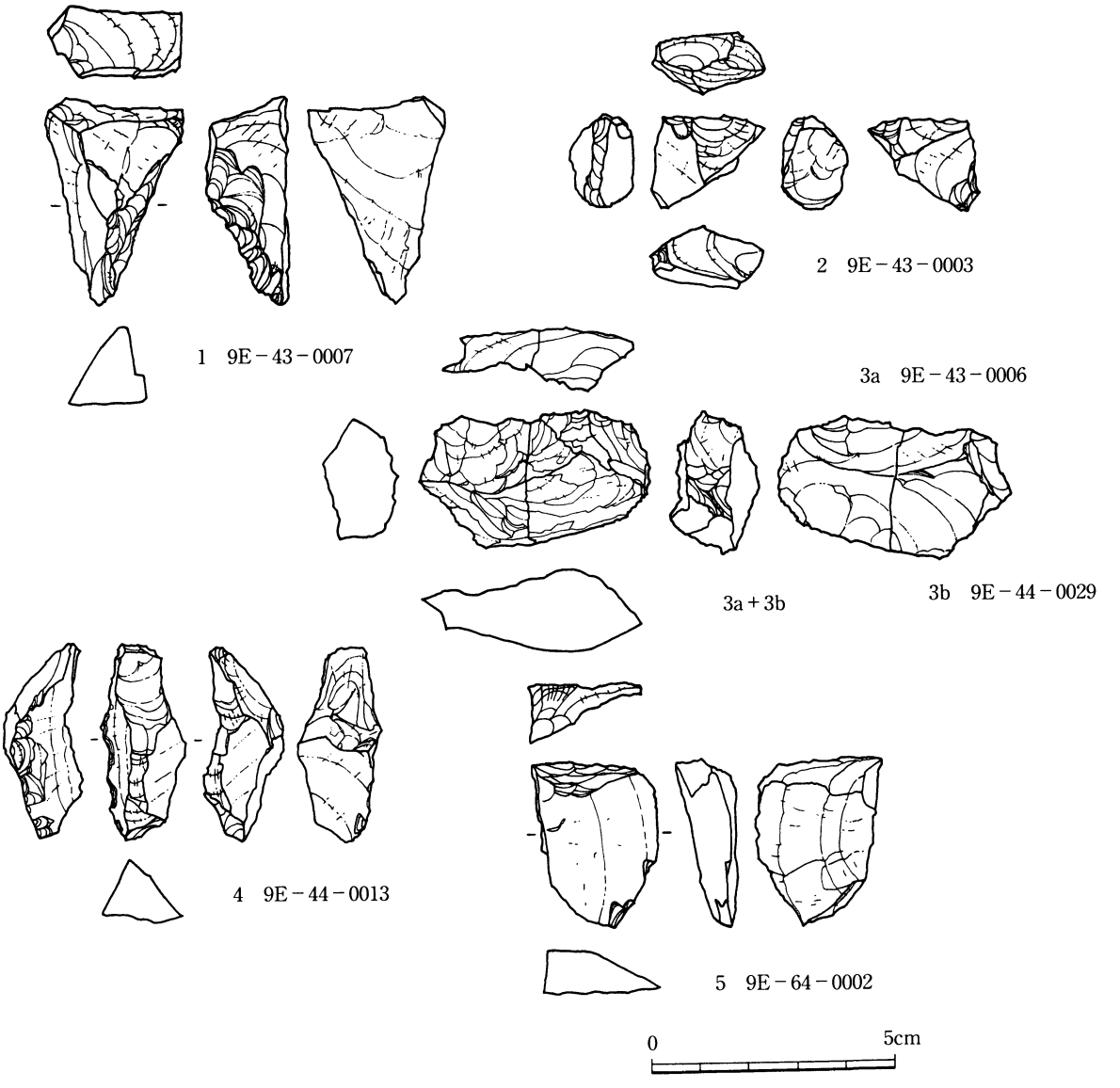
器　種　　R・剥片１点、石核６点、剥片12点、砕片１点の合計20点で構成される。単独の石材で剥片剥離が行われたことを示しているブロックである。

R・剥片（第270図４）４は珪質頁岩のR・剥片である。片側縁辺部分に比較的丁寧な調整が行われている。

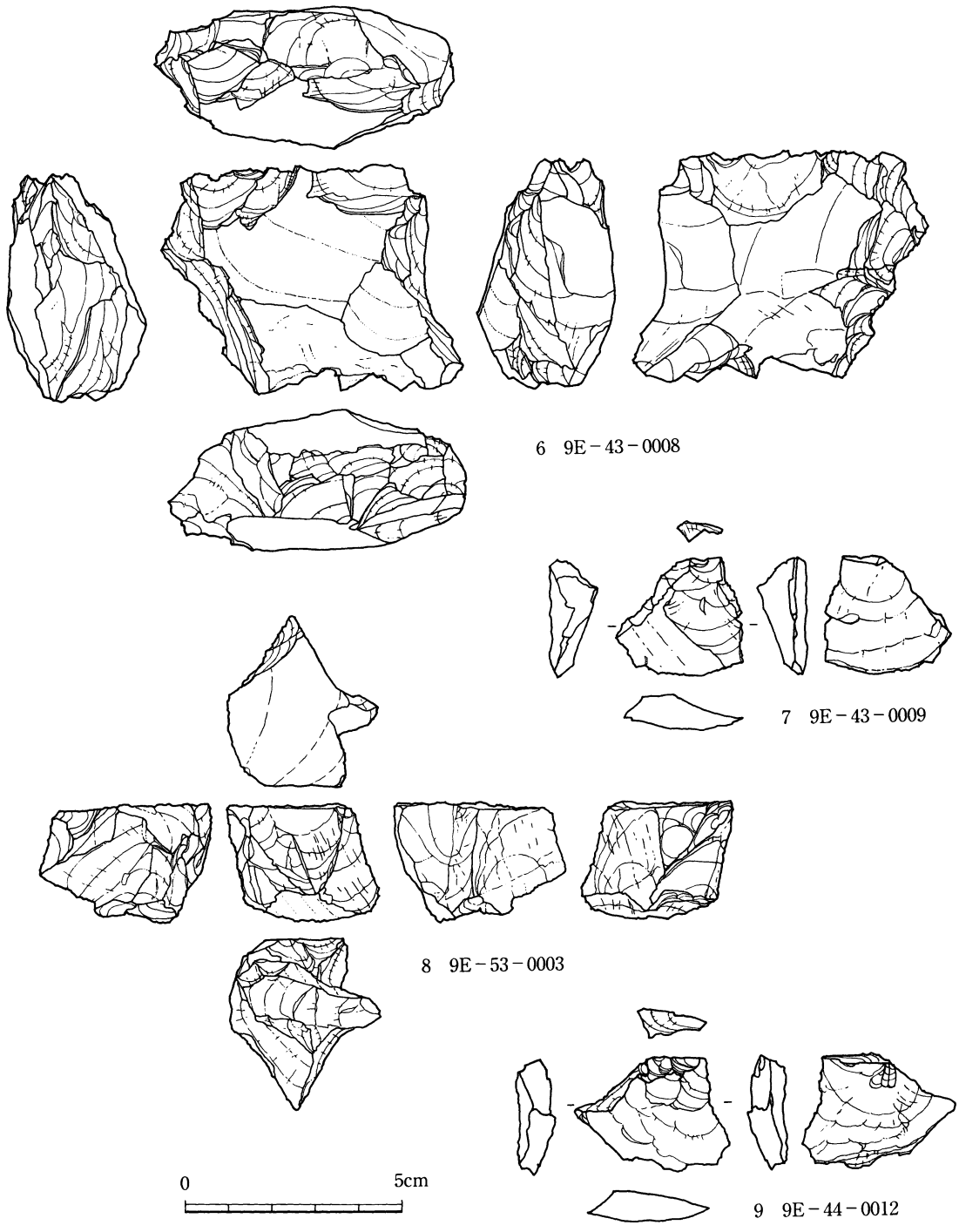
石核（第270、271図１～３、６、８）１は珪質頁岩の石核である。任意の方向から剥離したことがわかる資料である。２は珪質頁岩の石核である。小さな剥片を任意の方向から剥離したことがわかる資料である。３は珪質頁岩の石核である。a及びbは剥片剥離している段階で打割されたものと思われる。６は珪質頁岩の石核である。比較的厚みのある礫の周辺部分から剥離している。８は珪質頁岩の石核である。一

応剥離面を打面としてしようしているものの大部分は任意の方向から剥離作業を行っている。

剥片（第270、271図５、７、９）５は珪質頁岩の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。７は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離１面と摂理面とで構成される。９は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の複数の剥離面で構成されている。



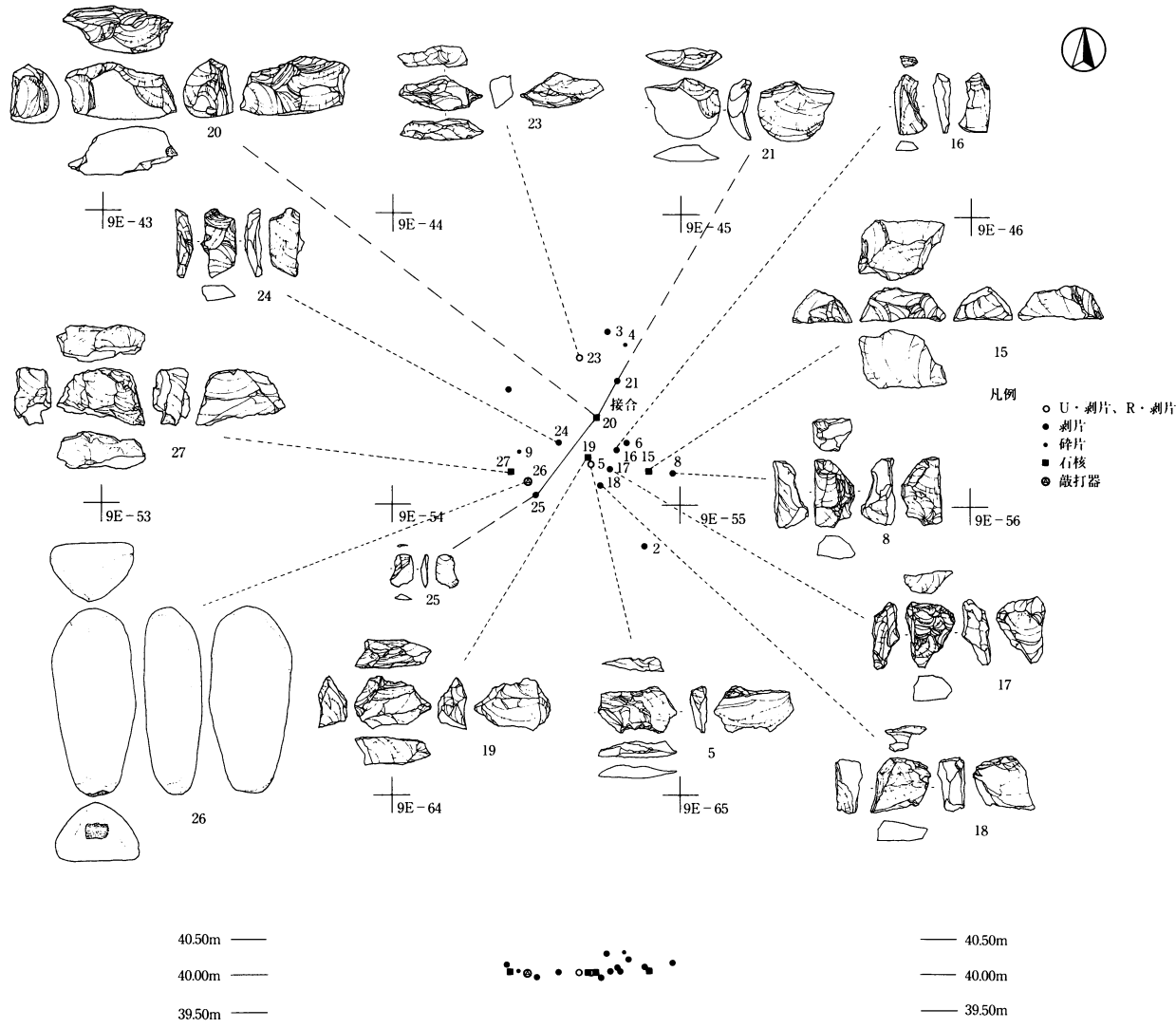
第270図　第35ブロック出土遺物実測図（1）



第271図　第35ブロック出土遺物実測図（2）

第36ブロック　（第272～275図１～15、写真図版45、第36、74表）

分　布　　石器は、９Ｅ－44グリッドの南を中心にまとまりながら分布している。垂直分布は、Ⅳ層～Ⅶ層を主体としてまとまっている。平面は、南北３m、東西３mほどの範囲に分布している。



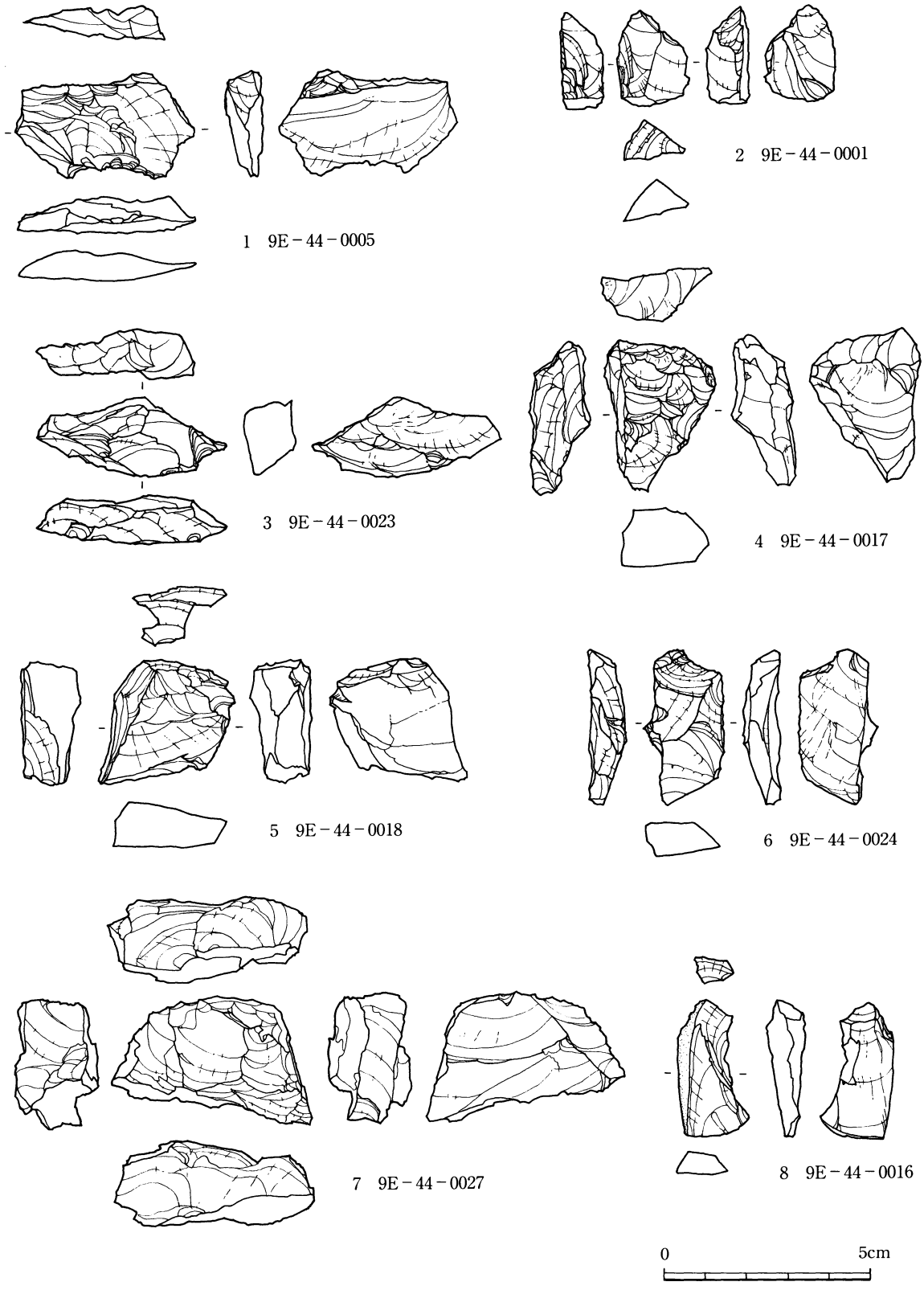
第272図　第36ブロック出土状況図　（scale　1／100）

石　材　　安山岩５点、砂岩１点、珪質頁岩15点で構成される。珪質頁岩が主体のブロックである。

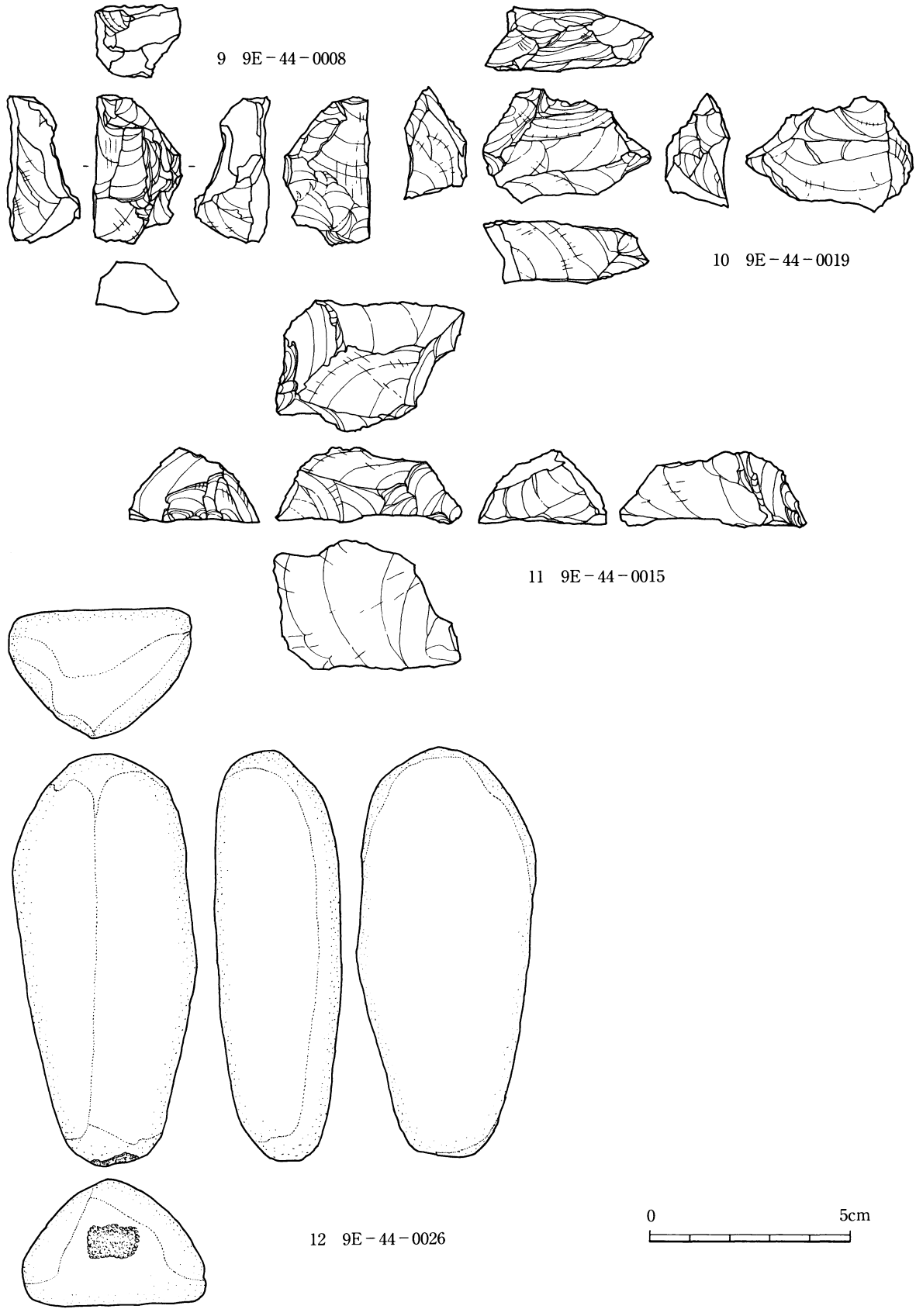
器　種　　R・剥片２点、U・剥片１点、石核４点、剥片11点、砕片２点、敲石１点の合計21点で構成される。35ブロック同様に珪質頁岩の剥片剥離が主体的に行われていたことを示しているブロックである。

R・剥片（第273図２、３）２は珪質頁岩のR・剥片である。左側縁部分に調整が見られる。確認調査時に検出された資料で、正確な出土地点については不明である。３は珪質頁岩のR・剥片である。横長の剥片で、先端部分の右側部分に調整が見られる。

U・剥片（第273図１）１は珪質頁岩のU・剥片である。横広の剥片の先端部分に細かな刃こぼれが見られる。



第273図　第36ブロック出土遺物実測図（1）



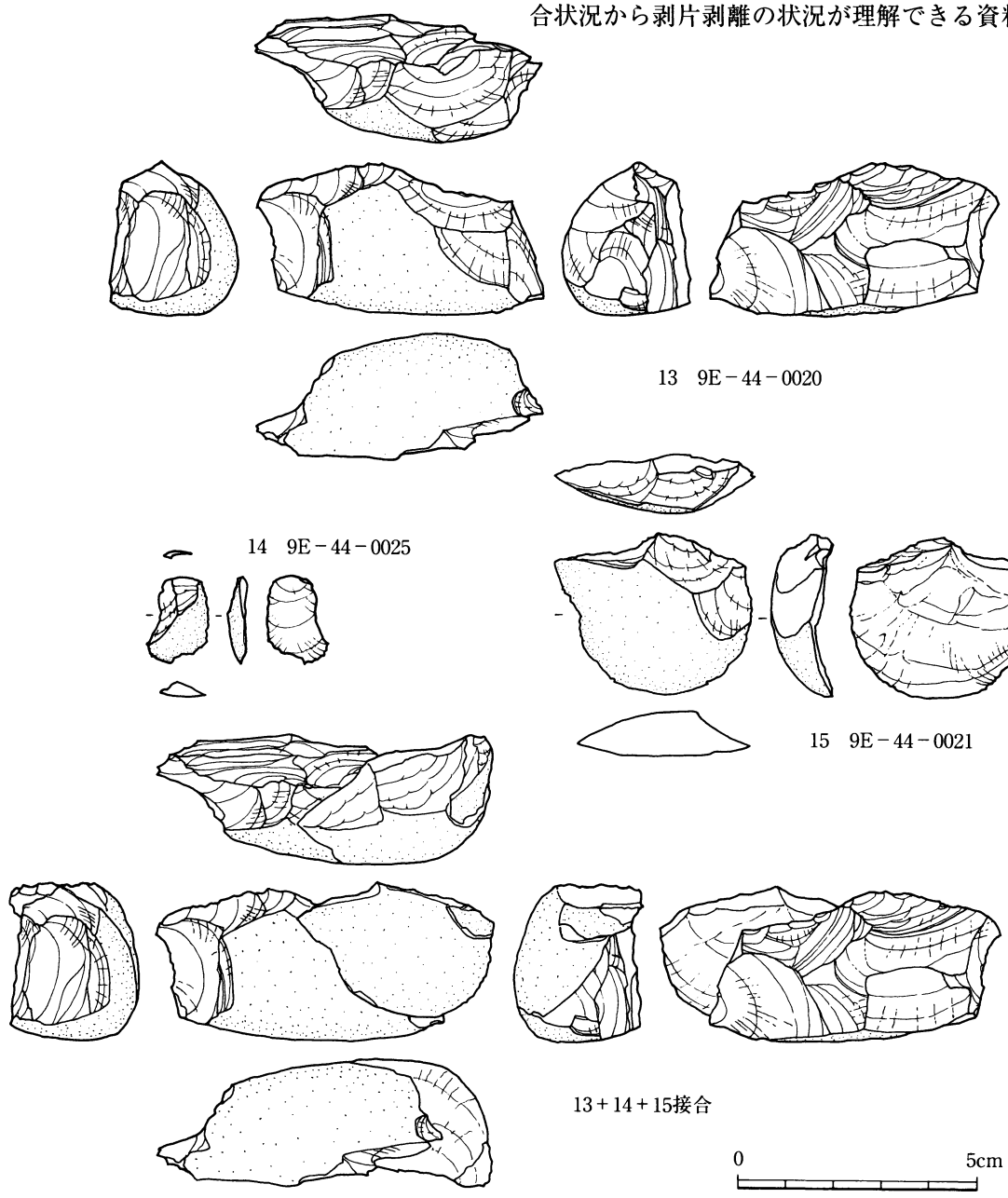
第274図　第36ブロック出土遺物実測図（2）

石核（第273、274図７、10、11） ７は珪質頁岩の石核である。剥離面を打面にして上方向からの剥離を主体にして剥片剥離を進めている。10は珪質頁岩の石核である。多方位からの剥離痕が見られる。11は珪質頁岩の石核である。主剥離面を打面にして小さな剥片を剥離している。

敲石（第274図12） 12は砂岩の敲石である。先端部分に打撃痕が集中して見られる。

剥片（第273、274図４～６、８、９） ４は珪質頁岩の剥片である。背面は多方位からの剥離面によって構成されている。５は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離１面で構成されている。６は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離３面と逆方向の剥離１面とで構成されている。８は安山岩Ａの剥片である。主剥離面に対して右側からの剥離面で構成されている。９は珪質頁岩の剥片である。やや分厚い剥片で剥離した後、石核にしようとした形跡がうかがわれる。

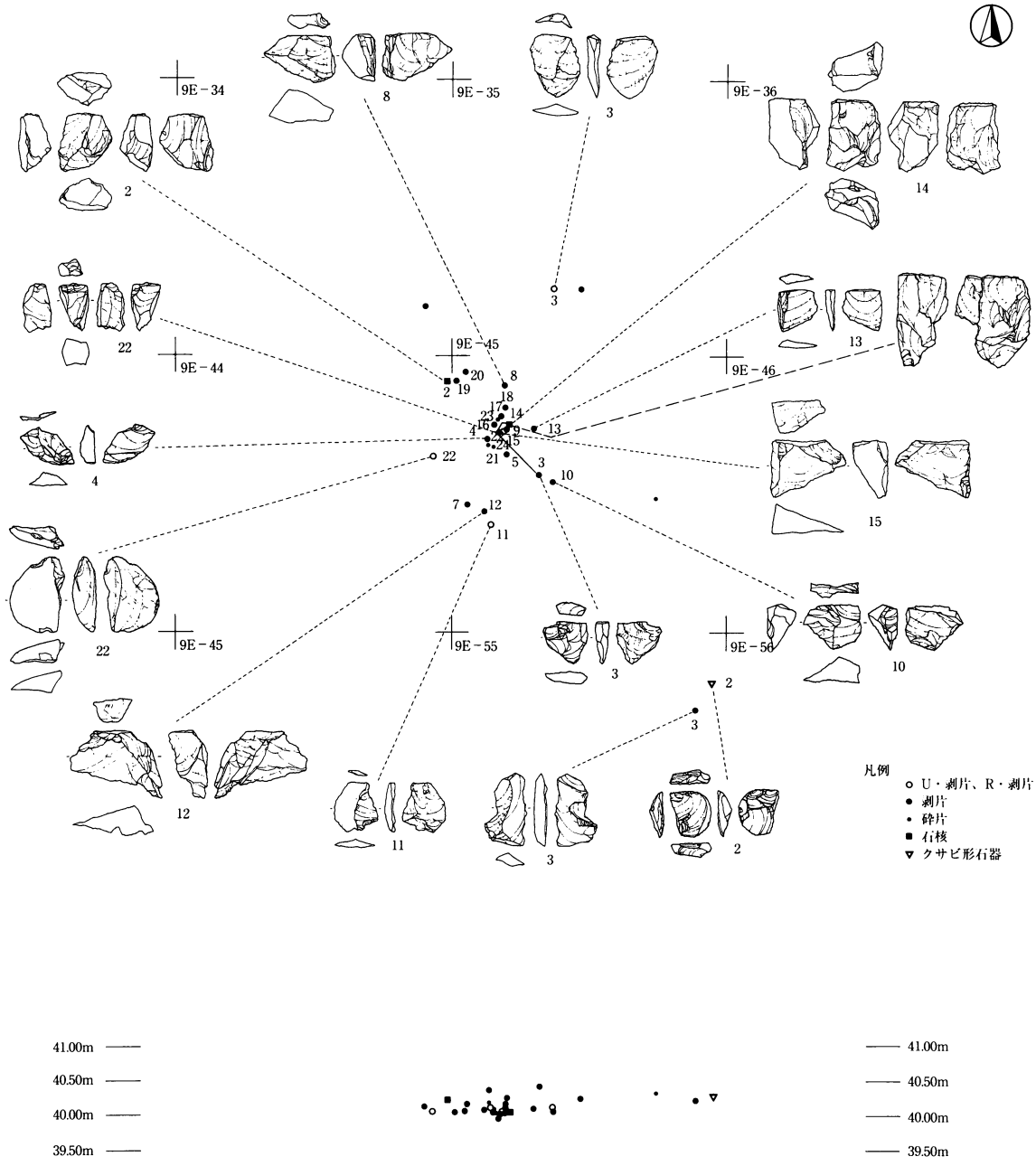
接合資料（第275図13～15） 13～15は安山岩Ａの接合資料である。13は石核、14、15は剥片である。接合状況から剥片剥離の状況が理解できる資料である。



第275図　第36ブロック出土遺物実測図（3）

第37ブロック　（第276～278図１～15、写真図版46、第37、75表）

分　布　　石器は、９Ｅ－45グリッド付近に非常にまとまって分布している。垂直分布は、Ⅳ層～Ⅶ層を主体としてまとまっている。平面は、南北２m、東西２mほどの範囲に集中して分布している。



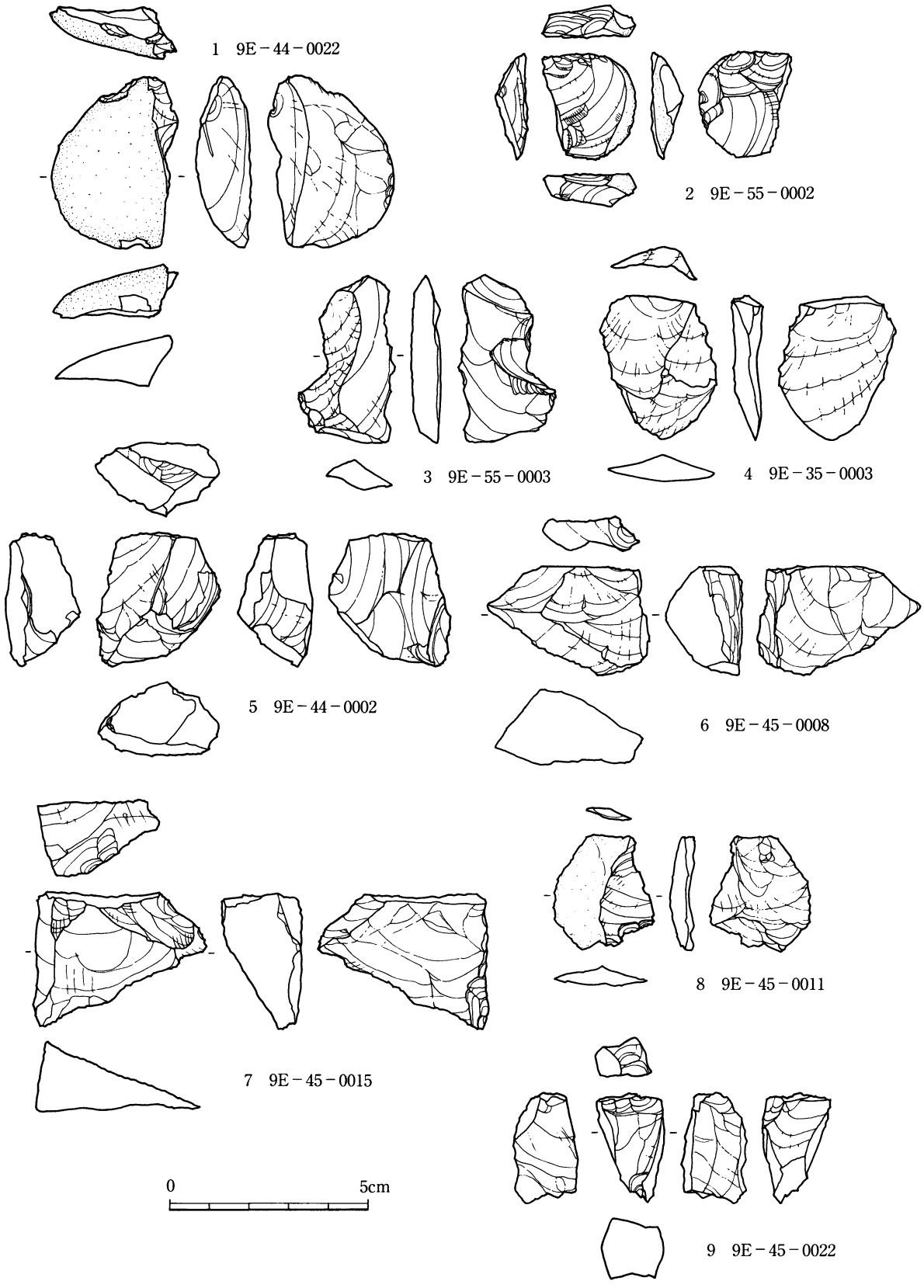
第276図　第37ブロック出土状況図　（scale　1／100）

石　材　　安山岩３点、凝灰岩２点、珪質頁岩24点で構成される。珪質頁岩が主体のブロックである。

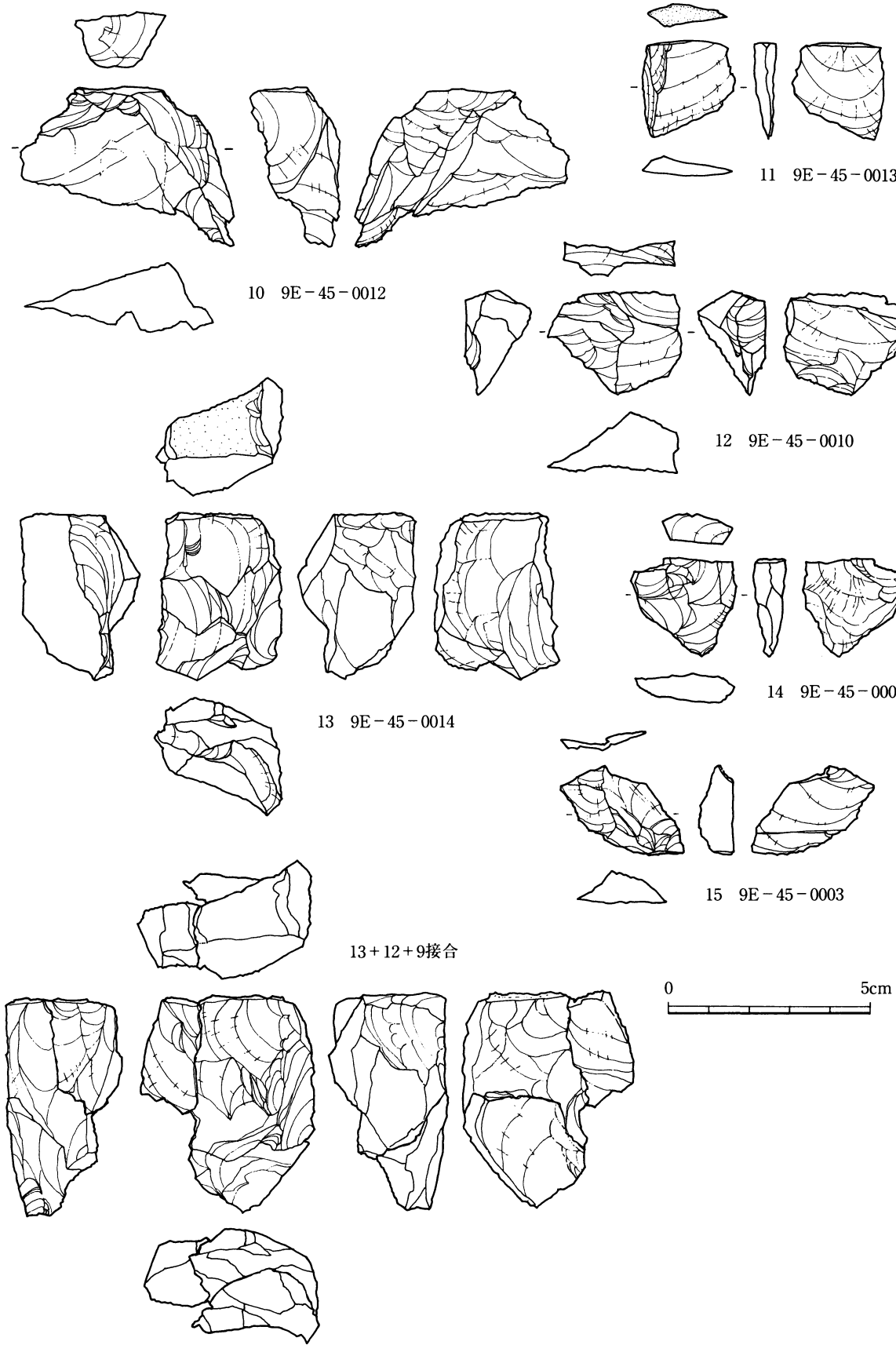
器　種　　楔形石器１点、Ｒ・剥片３点、石核２点、剥片19点、砕片４点の合計29点で構成される。35、36ブロック同様に珪質頁岩の剥片剥離が主体的に行われていたことを示しているブロックである。

Ｒ・剥片（第277図７、８）７は珪質頁岩のＲ・剥片である。右側側縁部分に調整による剥離が見られる。８は珪質頁岩のＲ・剥片である。右側先端部分に近い縁辺部分に細かな調整が施されている。

楔形石器（第277図２）２は凝灰岩の楔形石器である。上下に打撃による剥離面が見られる。



第277図　第37ブロック出土遺物実測図（1）



第278図　第37ブロック出土遺物実測図（2）

石核（第277図５） ５は珪質頁岩の石核である。多方位からの剥離面が残されている。

剥片（第277、278図１、３、４、６、９～11、14） １は珪質頁岩の剥片である。背面はほぼ礫面で覆われている。３は凝灰岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離１面と左方向の剥離１面とで構成されている。４は安山岩Ａの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離２面で構成されている。６は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離面２面と左方向の剥離１面とで構成されている。９は珪質頁岩の剥片である。多方位からの剥離が認められる。10は珪質頁岩の剥片である。背面は多方位の剥離面が認められる。11は安山岩Ａの剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離１面で構成されている。14は珪質頁岩の剥片である。背面は主剥離面と同方向の剥離２面と左側からの剥離１面で構成されている。15は珪質頁岩の剥片である。背面は多方位の剥離面で構成されている。

接合資料（第277、278図９、12、13）珪質頁岩の接合資料である。13は石核である。９及び12は剥片である。打面転移しながら剥離をしていたことがわかる資料である。

第34～36ブロックでは珪質頁岩を主体とした共通な剥片剥離の存在が認められる。

第38ブロック　（第279、280図２、写真図版46、第38、76表）

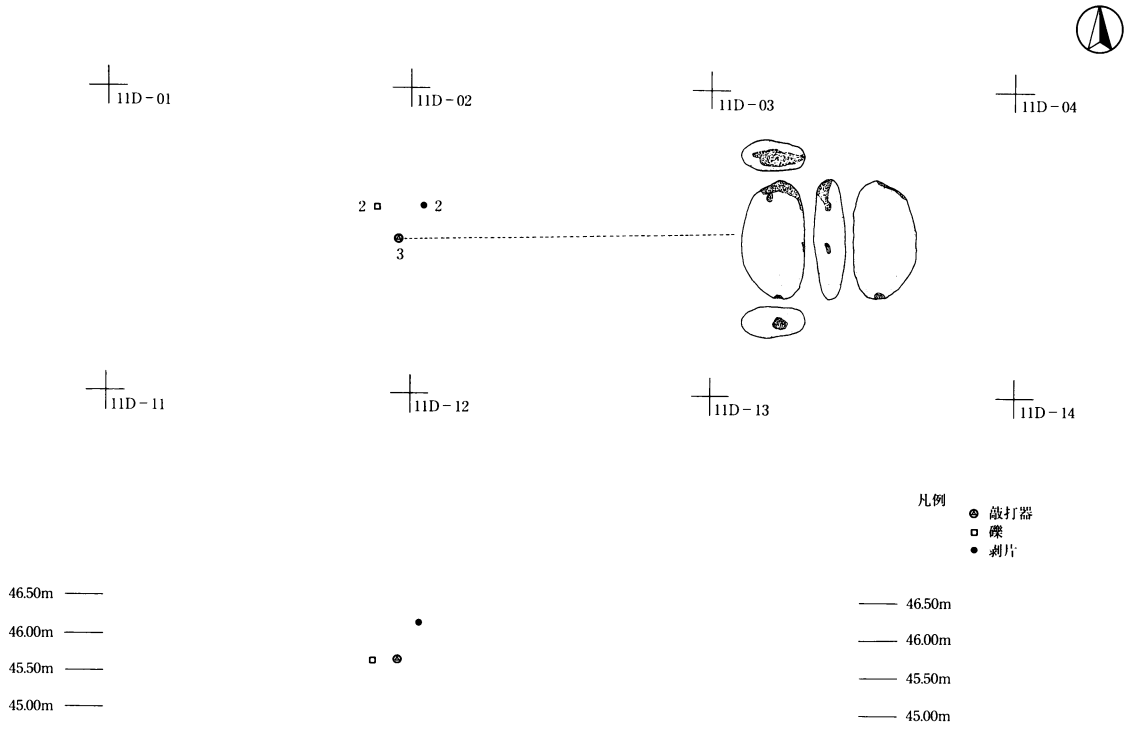
分　布　　石器は、11Ｄ－01～11Ｄ－02グリッド付近に３点まとまって分布している。垂直分布は、Ⅳ層～Ⅶ層を主体としてまとまっている。

石　材　　ホルンフェルス１点、砂岩１点、珪質頁岩１点で構成される。

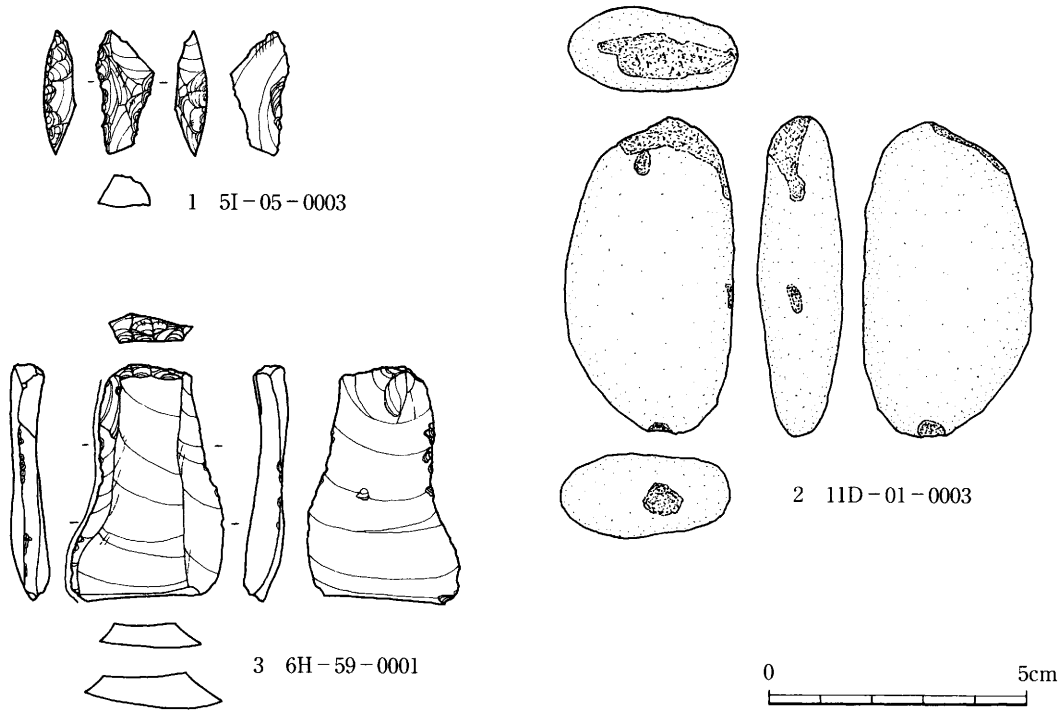
器　種　　敲石１点、剥片１点、礫１点の合計３点で構成される。

敲石（第280図２） ２は砂岩の敲石である。両端及び若干の縁辺部分に打撃痕が見られる。

点数が少ないため、具体的なブロックの構造は不明である。



第279図　第38ブロック出土状況図　（scale　1／100）



第280図　第38ブロック及び単独出土遺物実測図

ブロック外の石器について（第280図１、３、写真図版46、第38表）

１は珪質頁岩のナイフ形石器である。両側縁を丁寧に調整してある小形のナイフ形石器である。

３は珪質頁岩に石刃である。側縁部分には細かな刃こぼれが見られる。

観察表について

１．挿図番号　実測図として掲載した遺物の通し番号。この番号は遺物の出土平面図と写真図版の番号に一致する。実測図として報告できなかったものについては、取り上げ番号順に、以下に掲載した。

２．グリッド・遺物番号　出土したグリッドと遺物の取り上げ番号（注記番号）。

３．打面形状　　Ｃは自然面、Ｓは節理面、Ｐは点状打面、Ｌは線状打面、１は平坦打面、２以上は複剥離打面、空欄は欠損等による打面なし・計測不可を示す。

４．背面構成　　主要剥離面の剥離方向を基準として、背面を構成する剥離面の種類と数を示した。素材を大きく変形したものは書かないが、素材の背面構成が窺われるものに関しては、観察される範囲で書く。Ｃは自然面、Ｓは節理面、Ｈは頭部側、Ｔは尾部側、Ｒは背面を正面にして右方、Ｌは左方、Ｄは背面側、Ｖは腹面側（両者は作業面調整剥片、角柱状の剥片など90°に近い剥離角をもつ剥離面の場合）からの剥離面数を示す。

５．調整部位・折面部位　　主要剥離面の剥離方向を基準として、調整部位と折断部位の位置を示した。Ｈは頭部側、Ｔは尾部側、Ｒは背面を正面にしてＲは右側、Ｌは左側を示す。

6．末端形状　　Fは通常の末端（フェザーエンド）、Hはちょうつがい状（ヒンジフラクチャー）、Oはアーチ状（ウートラパッセ）を示す。

7．母岩番号　石材の種類と、母岩別資料の分類を示す。石材の中で安山岩A（風化面が濃緑色で黒く光沢のある破断面が認められるもの）と安山岩B（表面が淡灰色、いわゆるトロトロ石と呼ばれるもの）についてはおおまかに分類した。それ以外のものは接合資料に番号に付加し、肉眼による観察を行い、可能な限り進め、そうした事例を観察表に列挙するにとどめた。

第１表　旧石器時代　第１ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第１図16	6G-56	3	剥片	49.2	24.4	13.0	14.8	H		○		3								F	安山岩A			XⅠ層	39.388
	6G-57	2	剥片	19.0	28.7	7.9	3.1	H		○		1			1					F	砂岩２			XⅠ層	39.537
第１図４	6G-57	3	U・剥片	25.7	37.1	8.6	6.4	H	○	○		2						B		F	チャート１			XⅠ層	39.506
第１図３	6G-57	4	U・剥片	27.6	22.2	6.1	3.2	H		○		3			1			R・B		F	チャート１			XⅠ層	39.728
第１図１	6G-57	5	台形石器	33.4	18.0	5.9	3.8														安山岩A			XⅠ層	39.544
	6G-57	6	剥片	12.3	23.2	5.0	1.7	3		○		2		1	2					F	砂岩２			XⅠ層	39.491
	6G-57	7	砕片	12.4	10.7	3.1	0.5														砂岩３			XⅠ層	39.541
	6G-57	8	剥片	21.9	26.1	5.0	2.8	H	○	○				1						H	砂岩３			XⅠ層	39.427
	6G-57	9	剥片	15.4	25.7	8.2	3.0	C		○					1					F	砂岩３			XⅠ層	39.500
	6G-57	10	礫	12.0	7.7	5.0	0.6														流紋岩			XⅠ層	39.495
	6G-57	11	剥片	21.7	14.5	4.7	0.8	H		○		1								F	砂岩１			XⅠ層	39.465
	6G-57	12	礫	26.6	20.8	8.8	7.6														チャート			XⅠ層	39.458
	6G-57	13	砕片	9.6	3.2	1.9	0.1														チャート１			XⅠ層下	39.378
	6G-57	14	剥片	28.0	26.8	4.9	3.1	H		○		1		1		1				F	安山岩A			XⅠ層	39.501
	6G-57	15	砕片	6.1	9.4	2.9	0.1														ホルンフェルス１			X層	39.530
	6G-57	16	剥片	18.2	25.1	6.0	2.7	C		○										F	チャート			XⅠ層	39.498
	6G-57	17	剥片	20.3	15.1	4.2	1.2	H		○		1								F	安山岩A			XⅠ層	39.478
第１図15	6G-57	18	剥片	18.5	31.8	5.2	3.4	H				2	2		1	1				F	砂岩２			X層	39.595
	6G-57	19	砕片	12.6	13.4	3.3	0.5														安山岩A			X層	39.532
	6G-57	20	剥片	15.1	10.3	5.4	0.6	H		○		1								F	安山岩B			X層	39.520
	6G-57	21	礫	32.0	25.7	11.0	14.1														チャート			X層	39.526
第１図６	6G-57	22	石核	31.2	32.9	31.2	39.6														安山岩B			X層	39.541
第１図８	6G-57	23	剥片	51.7	41.8	10.1	25.1	C		○										F	安山岩B			Ⅸ層	39.620
	6G-66	1a	剥片	34.2	56.0	13.2	22.1	H												F	ホルンフェルス１				
	6G-66	1b	剥片	20.7	14.1	8.7	2.8													F	ホルンフェルス１				
	6G-66	2	剥片	27.1	15.1	10.1	3.7					3	1	2			1			S	安山岩B			X層	39.334
第１図12	6G-66	3	剥片	27.3	48.9	12.1	16.4	H		○					1					H	ホルンフェルス１			X層	39.568
	6G-66	4	剥片	20.2	17.6	5.4	2.1	H		○										F	ホルンフェルス１			X層	39.762
第１図９	6G-66	5	剥片	31.9	28.2	14.8	11.2	H		○		2			1					S	砂岩１			X層	39.620
第１図11	6G-67	2	剥片	33.6	26.4	8.9	6.8	C		○		1								F	ホルンフェルス１			X層	39.827
第１図14	6G-67	4	剥片	43.6	15.0	19.0	11.3	C		○					1					F	チャート１			XⅠ層	39.790
	6G-67	5	砕片	12.8	12.9	5.3	0.7														珪質頁岩			Ⅸ層	39.679
第１図５	6G-67	6	剥片	23.6	31.8	10.8	6.7	P		○		3								○	安山岩B			Ⅸ層	39.688
第１図２	6G-67	7	台形石器	32.8	23.6	8.1	5.7														安山岩A			Ⅸ層	39.835
第１図17	6G-67	8	剥片	44.2	23.2	10.3	15.4	C		○										F	安山岩A			X層	39.702
	6G-67	9	剥片	26.7	25.0	4.8	3.0	C		○											安山岩B			X層	39.710
	6G-67	11	剥片	33.3	10.1	13.2	3.6	2				1		1	1		1			F	ホルンフェルス２			X層	39.720
	6G-67	12	礫	35.2	21.8	10.2	9.8														流紋岩			X層	39.595
	6G-67	13	砕片	13.5	13.8	3.4	0.5														チャート１			XⅠ層	39.520
第１図18	6G-67	14	剥片	29.4	20.6	9.6	6.4	H		○		2									チャート１	6G-67-15と接合		X層	39.607
第１図18	6G-67	15	剥片	28.4	17.2	9.4	5.4			○											チャート１	6G-67-14と接合		X層	39.618
第１図13	6G-67	16	剥片	24.2	31.2	9.8	7.7	H		○					1					F	ホルンフェルス２			X層	39.566
	6G-67	17	剥片	23.9	27.4	10.4	5.1	2				2			1					S	安山岩B			X層	39.613
	6G-67	18	砕片	11.3	8.5	2.4	0.2														安山岩B			X層	39.580
	6G-67	19	砕片	10.6	10.4	3.8	0.2														流紋岩			X層	39.563
	6G-67	20	礫	12.2	6.4	6.4	0.4														チャート			X層上	39.587
第１図７	6G-67	22	剥片	37.8	26.8	14.8	10.8	L													安山岩B			X層	39.590
	6G-76	2	剥片	22.8	16.2	3.7	1.1	P		○		1			1					F	ホルンフェルス１			X層	39.905
	6G-76	3	剥片	12.2	15.9	3.3	0.6	C				2								F	ホルンフェルス１			X層	39.304
	6G-76	4	剥片	21.1	28.5	5.0	2.6	C		○										F	凝灰岩			X層	40.105
	6G-76	5	砕片	10.0	14.9	9.8	0.6														凝灰岩			X層	40.102
	6G-76	6	剥片	19.1	11.0	4.8	1.3	C												F	チャート			X層	40.082

第２表　旧石器時代　第２ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第19図３	6G-69	2	楔形石器	30.6	24.8	9.1	5.3	H	○			2		1	1					H	ホルンフェルス			X層	40.268
第19図４	6G-69	3	石核	33.4	41.2	17.8	18.3														珪質頁岩２－１			Ⅸ層	39.434
第19図２	7G-60	2	剥片	24	4.5	8.6	1.7	H	○	○		1	1							F	珪質頁岩２－１			X層	40.360
	7G-60	3	剥片	26.1	17.8	4.9	3.1														砂岩			X層	40.240
第19図１	7G-60	4	楔形石器	34.1	13.2	12.8	3.4														珪質頁岩２－１			X層	40.113

第３表　旧石器時代　第３ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7G-61	2	礫	36.0	21.5	5.5	5.5														珪質頁岩			X層	40.466
第19図３	7G-70	2	楔形石器	48.8	34.2	14.2	31.4														砂岩			X層	40.648
第22図15	7G-70	3	剥片	17.2	32.2	6.3	4.3			○		3								F	安山岩A１	14との接合		X層	40.633
第23図20	7G-70	4	剥片	20.8	32.2	7.2	5.4	C		○											チャート２	21との接合		X層	40.688
第20図９	7G-70	5	楔形石器	51.8	31.2	17.8	25.9														砂岩４	10＋11との接合		Ⅸ層	40.715
第21図22	7G-70	6	楔形石器	35.8	18.0	27.2	22.1														チャート３	23との接合		X層	40.650
第20図11	7G-70	7	楔形石器	29.7	38.8	9.7	10.8														砂岩４	９＋10との接合		Ⅸ層	40.671
第21図21	7G-70	8	楔形石器	44.2	34.0	19.3	34.0														チャート２	20との接合		Ⅸ層	40.717
	7G-70	9	礫	13.0	10.0	8.8	1.3														珪質頁岩			Ⅸ層	40.677
第19図２	7G-70	10a	楔形石器	43.8	29.3	15.9	27.7														チャート			X層	40.339
	7G-70	10b	剥片	31.5	18.0	10.5	5.3	H				1		1							ホルンフェルス			X層	40.339
第19図４	7G-70	11	楔形石器	19.4	14.3	4.4	1.6														チャート			X層	40.358
	7G-70	12	剥片	19.0	19.7	2.9	1.2					1		2	1					F	安山岩A			X層	40.373
第19図１	7G-70	13	楔形石器	19.4	13.7	6.0	1.8														チャート			X層	40.425
第21図12	7G-70	14	石核	68.4	26.3	27.8	66.5														凝灰岩１	13との接合		X層	40.552
第22図18	7G-70	15	石核	20.1	22.8	20.7	9.1														メノウ１	19との接合		X層	40.615
第22図17	7G-70	16	石核	36.4	41.8	13.2	26.1														凝灰岩２	16との接合		X層	40.600
第20図10	7G-70	17	楔形石器	49.6	33.3	13.2	21.7														砂岩４	９＋11との接合		X層	40.588
第22図16	7G-71	2	剥片	15.1	24.8	9.2	10.5	C		○										F	凝灰岩２	17との接合		X層	40.468
第22図19	7G-71	3	石核	20.8	28.8	18.7	25.6														メノウ１	18との接合		Ⅸ層	40.424
第23図23	7G-71	4	楔形石器	23.2	17.3	14.2	8.5														チャート３	22との接合		X層	40.457
第19図６	7G-80	2	R・剥片	48.5	35.8	11.2	15.4	H		○	2							B		F	安山岩A			X層	40.525
	7G-80	3	剥片	18.1	22.3	5.5	2.3	H		○	2				1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.740
第22図14	7G-80	4	石核	25.4	41.3	46.3	80.2														安山岩A１	15との接合		Ⅸ層	40.738
	7G-80	5	砕片	7.8	12.0	3.6	0.3														安山岩B			X層	40.611
	7G-80	6	剥片	18.7	17.8	6.7	1.9	H		○					1					H	砂岩			Ⅸ層	40.720
第19図７	7G-80	7	剥片	35.1	30.4	13.2	13.8	H		○	2				1					S	凝灰岩			X層	40.577
第19図５	7G-80	8	R・剥片	18.2	17.2	4.2	1.7				1				1					O	砂岩			Ⅸ層	40.715
第20図８	7G-80	9	石核	68.2	44.3	13.8	49.5														チャート			Ⅸ層	40.647
第21図13	7G-81	2	剥片	61.7	25.2	22.2	39.7	C												F	凝灰岩１	12との接合		Ⅶ層	40.836

第4表　旧石器時代　第4ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第26図21	6H-19	2	楔形石器	13.2	12.5	3.8	1.0														チャート			X層	40.734
	6H-19	3	礫	8.8	13.9	3.1	0.5														チャート			IX層	40.818
第26図22	6H-19	4	剥片	11.4	31.3	12.6	4.1	H		○										F	ホルンフェルス			X層	40.703
第26図20	6H-19	5	台形石器	13.5	15.5	3.1	0.9														チャート			IX層	40.771
	6H-19	6	剥片	15.3	13.7	4.1	0.8	H	○	○		2		1						F	ホルンフェルス			X層	40.713
第25図 1	6H-19	7	ナイフ形石器	36.1	19.4	5.7	5.3														ホルンフェルス			X層	40.700
第27図29	6H-19	8	剥片	30.7	32.6	7.6	7.8	2		○		2		2						F	ホルンフェルス			X層	40.554
第26図17	6H-19	9	楔形石器	22.6	26.4	5.9	4.4														チャート			X層	40.612
第28図33	7H-10	2	楔形石器	36.2	28.2	7.8	10.7														流紋岩 1	34＋35との接合		X層	40.723
第26図19	7H-10	3	台形石器	22.3	20.9	5.8	3.5														凝灰岩			IX層	40.851
第26図15	7H-10	4	楔形石器	19.8	21.9	5.7	3.5														チャート			IX層	40.851
第28図34	7H-10	5	楔形石器	35.8	17.8	9.3	9.4														流紋岩 1	33＋35との接合		X層	40.698
第26図18	7H-10	6	楔形石器	21.1	19.1	5.9	2.4														チャート			X層	40.670
	7H-10	7	剥片	21.1	24.4	4.1	1.9	L	○	○		1		1						F	ホルンフェルス			X層	40.695
第27図32	7H-10	8	剥片	40.9	22.8	5.5	5.1	L		○		1								F	凝灰岩			X層	40.625
	7H-10	9	剥片	20.0	19.2	5.8	2.2					3		2	2					F	チャート			X層	40.650
第25図10	7H-10	10	石核	47.6	51.8	15.1	51.5														砂岩			X層	40.570
第29図40	7H-10	11	楔形石器	33.3	22.1	11.1	8.7														チャート 4	41＋42との接合		X層	40.575
第25図 8	7H-10	12	楔形石器	18.1	12.8	5.9	1.5														チャート			X層	40.582
	7H-10	13	剥片	17.0	16.9	3.1	0.9	L				3								F	チャート			X層	40.621
第29図42	7H-10	14	剥片	19.0	26.2	4.2	1.7	L	○			2	1							H	チャート 4	40＋41との接合		X層	40.674
	7H-10	15	剥片	17.5	8.9	5.4	0.7	P		○		1	1			1				F	ホルンフェルス			X層	40.588
	7H-10	16	剥片	17.4	19.1	4.9	1.8	H	○	○										H	チャート			X層	40.580
	7H-10	17	剥片	21.3	13.0	11.5	0.5	L	○	○										F	凝灰岩			X層	40.643
	7H-10	18	剥片	19.2	26.1	5.4	3.0	C		○		1								F	チャート			X層	40.616
第27図30	7H-10	19	敲石	69.1	57.7	20.2	126.0														凝灰岩			X層	40.535
第29図41	7H-10	20	楔形石器	36.4	45.8	19.9	27.8														チャート 4	40＋42との接合		X層	40.517
第27図26	7H-10	21	原石（石核）	43.0	32.0	17.6	30.8														凝灰岩			X層	40.529
第27図27	7H-10	22	礫	39.9	38.9	18.5	36.9														流紋岩			X層	40.526
	7H-10	23	剥片	19.3	17.3	3.8	1.0	C		○					2					F	ホルンフェルス			X層	40.512
第25図71	7H-10	24	原石（石核）	19.0	13.7	6.9	2.7														メノウ			X層	40.478
第25図 7	7H-10	25	楔形石器	22.0	9.6	6.4	1.2														石英			X層	40.490
第25図 6	7H-10	26	楔形石器	22.8	8.4	5.5	1.0														チャート			X層	40.487
	7H-10	27	剥片	19.4	16.6	4.4	1.3	L				1			3					F	ホルンフェルス			X層	40.467
	7H-20	2	剥片	14.7	22.0	1.4	0.6	P		○		1						F			安山岩A			IX層	40.834
第26図11	7H-20	3	楔形石器	20.3	15.4	5.8	1.9														珪質頁岩			X層	40.733
第28図37	7H-20	4	剥片	20.7	22.9	5.4	2.5	C		○										F	チャート 5	36＋38＋39との接合		IX層	40.780
	7H-20	5	砕片	11.5	14.4	3.8	0.6														珪質頁岩			IX層	40.874
第28図39	7H-20	6	剥片	31.2	21.9	7.6	6.1	C		○						3	1			F	チャート 5	36＋37＋38との接合		IX層	40.786
	7H-20	7	剥片	14.8	7.2	6.1	0.9						2		1	2	3			F	チャート			X層	40.721
	7H-20	8	礫	20.6	12.0	7.7	1.8														流紋岩			X層	40.721
	7H-20	9	剥片	20.0	6.0	5.5	0.6	H		○										H	チャート			IX層	40.822
第26図16	7H-20	10	楔形石器	15.8	12.9	5.3	1.1														珪質頁岩			IX層	40.807
第26図12	7H-20	11	楔形石器	22.4	20.8	4.0	1.9														ホルンフェルス			IX層	40.927
第27図31	7H-20	12	剥片	23.3	30.5	5.3	4.0	P				3	1		1					H	チャート			IX層	40.766
第28図36	7H-20	13	楔形石器	24.5	31.6	12.0	13.7														チャート 5	37＋38＋39との接合		IX層	40.881
第25図 4	7H-20	14	U・剥片	23.4	14.6	6.8	2.4					1		2					R	M	F	チャート			X層	40.636
第26図14	7H-20	15	楔形石器	21.1	26.3	5.2	3.5														珪質頁岩			X層	40.652
	7H-20	17	剥片	15.0	19.3	3.3	0.9	C		○										F	流紋岩			X層	40.638
第25図 5	7H-20	18	楔形石器	19.5	27.6	5.1	3.3														チャート			X層	40.684
	7H-20	19	剥片	18.8	25.0	4.1	1.7	C		○										F	チャート			X層	40.570
	7H-20	20	剥片	15.5	18.0	3.9	1.1	C		○											砂岩			X層	40.577
第28図38	7H-20	21	砕片	16.3	10.4	6.2	0.5			○			1			2	1			F	チャート 5	36＋37＋39との接合		X層	40.588
第26図24	7H-20	22	楔形石器	39.1	35.2	15.2	26.9														凝灰岩			X層	40.566
第26図23	7H-20	23	楔形石器	21.8	26.8	3.2	2.7														チャート			X層	40.583
第25図 3	7H-20	24	敲石	92.5	29.6	25.8	95.2														結晶片岩			X層	40.490
第30図35	7H-20	25	楔形石器	36.2	14.8	7.4	4.9														流紋岩 1	33＋34との接合		X層	40.475
	7H-20	26	剥片	21.5	20.2	7.9	1.4	H		○		1								F	チャート			X層	40.512
	7H-20	27	砕片	12.7	13.8	2.2	0.5														チャート			X層	40.641
第25図 2	7H-20	28	台形石器	17.8	18.6	4.4	1.6														チャート			X層	40.507
	7H-20	29	砕片	14.4	10.8	1.9	0.3														凝灰岩			X層	40.544
第26図13	7H-20	30	楔形石器	32.8	17.5	7.8	3.0														チャート			X層	40.540
	7H-20	31	剥片	21.2	24.2	8.9	5.6	L		○										F	安山岩A			X層	40.495
第29図43	7H-20	32	楔形石器	50.5	38.5	15.4	40.8														砂岩			X層	40.455
	7H-20	33	剥片	24.2	15.9	9.8	3.4	H				1				2				H	チャート			X層	40.459
	7H-20	34	砕片	10.5	14.5	1.6	0.2														安山岩A			X層	40.447
	7H-21	2	剥片	18.9	11.2	3.7	0.6	P		○		2								H	チャート			IV～V層	41.090
第27図28	7H-21	3	石核	36.3	32.7	29.2	28.8														チャート			VII層	40.765
第25図 9	7H-21	4	石核	46.6	40.5	17.9	23.6														黒曜石			IX層	41.013
	7H-21	5	砕片	6.9	8.3	2.5	0.1														チャート			X層	40.677
第27図25	7H-31	2	石核	55.3	37.2	15.8	42.1														安山岩A			X層	40.621

第5表　旧石器時代　第5ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第31図 4	6H-29	2	楔形石器	21.7	13.8	11.7	3.2														安山岩A			X層	40.734
第31図 3	6H-29	3	剥片	37.4	32.8	6.3	11.0	C		○										F	珪質頁岩			X層	40.602
第31図 2	6H-29	5	石核	57.4	50.3	28.2	104.0														凝灰岩			X層	40.612
	6H-29	6	剥片	15.7	17.8	4.3	1.5	L	○		3										安山岩A			VIII層	41.086
	6H-29	7	剥片	12.0	19.5	3.9	0.5	L			1									F	安山岩A			X層	40.594
第31図 1	6H-29	8	敲石	98.2	55.1	24.9	200.0														流紋岩			X層	40.58
第31図 5	6H-39	2	U・剥片	24.9	34.5	9.5	7.7	H		○				1						F	珪質頁岩			X層	40.573
	6H-39	3	砕片	13.4	10.1	5.5	0.7														珪質頁岩			X層	40.582
	6H-48	2	剥片	21.4	11.3	4.3	1.0	L			3	1									チャート			IX層	40.836
	6H-49	2	剥片	19.2	24.2	3.3	1.6	C			3		2							F	珪質頁岩			XI層	39.657
	7H-30	2	剥片	24.2	14.1	5.8	1.7	H			3			1							チャート			IX層	40.964

第6表　旧石器時代　第6ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7G-83	3	剥片	25.5	18.0	4.9	1.9	2				1								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.788
	7G-83	4	礫	42.1	35.1	9.4	19.3														流紋岩			Ⅸ層	40.545
	7G-92	2	礫	16.5	15.0	14.6	3.0														チャート			Ⅸ層	40.736
第34図14	7G-92	3	石核	32.1	34.5	21.4	22.2														珪質頁岩2	13との接合		Ⅹ層	40.661
第34図13	7G-92	4	剥片	30.7	13.3	5.5	2.6	H				1								F	珪質頁岩2			Ⅹ層	40.640
第33図6	7G-92	5	剥片	49.4	34.9	11.8	14.9	C		○		1	1	1							珪質頁岩			Ⅸ層	40.740
	7G-92	6	剥片	15.5	11.5	2.1	0.4	C		○										F	安山岩A			Ⅹ層	40.495
	7G-92	7	剥片	21.4	19.6	4.0	1.6	2	○			2		2	1					H	珪質頁岩			Ⅹ層	40.525
第34図15a	7G-93	2	剥片	35.1	19.6	4.0	3.9	H		○		3		1						F	安山岩B1	15bとの接合		Ⅸ層	40.766
第33図4	7G-93	3	U・剥片	30.2	25.4	4.5	2.5	S				1		5						F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.848
第34図15b	7G-93	4	U・剥片	17.3	19.8	8.6	2.5	H		○		3		1						F	安山岩B1	15aとの接合		Ⅹ層	40.683
第33図11	7G-93	5	剥片	42.7	54.8	6.8	15.6	C		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.807
第33図2	7G-93	6	U・剥片	39.5	32.8	8.3	9.0	2		○					1				L B	F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.745
	7G-93	7	剥片	26.5	13.5	9.5	4.5	H						1	2						珪質頁岩			Ⅸ層	40.729
	7G-93	8	砕片	8.2	19.2	6.0	0.5	P				2		2	3					F	黒曜石			Ⅹ層	40.695
第33図8	7G-93	9	剥片	35.6	36.1	8.3	10.8	H				3		1						H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.795
	7G-93	10	剥片	13.8	25.1	15.8	5.6	H			○	1	1			1				F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.528
第33図1	7G-93	11	砕片	63.8	28.4	7.2	23.7														蛇紋岩			Ⅹ層	40.660
	7G-93	12	剥片	13.0	10.5	4.5	0.5														珪質頁岩			Ⅹ層	40.703
	7G-93	13	剥片	21.3	27.5	7.7	4.1	C		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.782
	7G-93	14	剥片	19.5	18.0	5.8	1.6	H		○		1								F	安山岩A			Ⅸ層	40.800
第35図16	7G-93	15	剥片	36.5	21.5	6.2	4.6	C		○										F	流紋岩2	27(22)ブロック他3点との接合		Ⅷ層	40.905
第33図3	7G-93	16	U・剥片	22.2	28.2	3.2	2.2	H				2							L	H	珪質頁岩			Ⅹ層	40.675
	7G-93	17	剥片	27.0	22.7	5.8	2.2	H	○	○					1					O	珪質頁岩			Ⅸ層	40.849
第34図12	7G-93	18	石核	30.0	35.3	13.2	15.9														珪質頁岩3	3+123(34)ブロックとの接合		Ⅸ層	40.744
第33図5	7G-93	19	剥片	29.4	16.8	7.0	3.7	H		○		1								S	安山岩A			Ⅹ層	40.591
	7G-93	20	砕片	10.0	9.5	2.5	0.2														黒曜石			Ⅸ層	40.726
第33図9	7G-93	21	剥片	29.8	16.4	3.5	1.9	P		○		2		2						F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.732
	7G-93	22	礫	6.8	10.8	5.4	0.4														チャート			Ⅹ層	40.455
第33図7	7G-93	23	U・剥片	38.2	33.6	6.2	6.6	H	○	○		2			2				B	F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.506
	7G-94	12	剥片	13.8	19.1	4.3	1.1	H				2				1					ホルンフェルス			Ⅹ層	40.655
	7H-03	11	剥片	22.6	23.4	5.0	2.4	H		○					1					F	安山岩A			Ⅹ層	40.629

第7表　旧石器時代　第7ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7G-84	2	剥片	11.0	20.3	2.8	0.5	P				2		1						F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.549
	7G-84	3	剥片	29.0	25.4	9.1	6.8	H	○			1		3	2					O	ホルンフェルス			Ⅹ層	40.495
	7G-94	2	礫	43.2	38.8	3.5	33.5														砂岩			Ⅸ層	40.826
	7G-94	3	礫	23.2	18.1	8.2	5.7														チャート			Ⅸ層	40.863
	7G-94	4	礫	24.7	21.6	8.5	7.3														砂岩			Ⅸ層	40.728
	7G-94	5	礫	37.8	29.0	5.9	20.5														流紋岩3	礫6との接合		Ⅸ層	40.808
	7G-94	6	礫	20.1	27.7	4.3	7.9														流紋岩3	礫5との接合		Ⅸ層	40.797
	7G-94	7	剥片	14.7	20.7	4.5	1.5	C		○										S	ホルンフェルス			Ⅹ層	40.638
	7G-94	8	礫	19.8	9.6	6.1	1.7														チャート			Ⅸ層	40.826
第37図4	7G-94	9	R・剥片	32.1	28.3	8.1	6.5	C				2	1	1	1				B	H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.732
	7G-94	10	剥片	30.5	23.2	6.0	6.6			○											チャート			Ⅸ層	40.745
	7G-94	11	剥片	17.0	1.4	4.2	0.4	P													ホルンフェルス			Ⅸ層	40.804
	7G-94	13	剥片	22.7	28.6	6.7	4.7	H		○					1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.822
	7G-94	14	剥片	15.8	6.1	3.0	1.9	H				1			1					F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.698
第37図1	7G-95	2	局部磨製石斧	79.3	50.8	22.9	123.0														蛇紋岩			Ⅹ層	40.678
第37図2	7G-95	3	磨製礫（斧）	81.7	49.9	16.3	98.8														安山岩A			Ⅹ層	40.683
	7G-95	4	礫	41.6	38.3	10.7	26.0														流紋岩			Ⅹ層	40.685
	7H-04	10	剥片	20.1	20.3	6.7	2.4	H		○		1								F	安山岩A			Ⅸ層	40.782
	7H-04	11	剥片	26.5	15.0	3.2	1.2	H				2		1	1					F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.826
第37図3	7H-04	12	R・剥片	32.8	24.2	10.8	9.2	C		○		1							R M	F	安山岩A			Ⅸ層	40.759
	7H-04	13	砕片	14.6	10.9	2.0	0.1														ホルンフェルス			Ⅹ層	40.612
第37図5	7H-04	14	剥片	13.1	17.2	11.9	13.3	S							1					H	珪質頁岩4	10(8)+11(8)ブロックとの接合		Ⅹ層	40.688

第8表　旧石器時代　第8ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第39図5	7H-04	2	剥片	43.9	27.1	8.3	8.5	2					2		1					S	珪質頁岩			Ⅷ層	40.900
第39図7	7H-04	3	剥片	36.4	23.1	8.6	6.7	H		○		1			1					H	珪質頁岩			Ⅵ層	40.882
	7H-04	4	剥片	19.5	31.3	7.1	3.0	H				1	2	2						S	珪質頁岩			Ⅸ層	40.768
第39図6	7H-04	5	剥片	34.4	51.2	22.8	32.8	H		○		1		1	4	1	1			F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.752
第40図10	7H-04	6	石核	70.1	48.2	28.2	79.3														珪質頁岩4	11+5(7)ブロックとの接合		Ⅸ層	40.749
	7H-04	7	剥片	22.7	29.2	6.9	4.8	H		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.820
	7H-04	8	砕片	11.7	12.9	3.3	0.3														珪質頁岩			Ⅹ層	40.658
	7H-04	9	剥片	11.8	16.3	4.5	0.7	H				2								F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.622
	7H-04	17	礫	56.3	30.6	14.7	25.5														流紋岩			Ⅸ層	40.748
第40図11	7H-04	18	石核	57.2	33.5	15.2	17.9														珪質頁岩4	10+5(7)ブロックとの接合		Ⅹ層	40.566
	7H-05	2	礫	26.9	16.7	5.8	3.0														流紋岩			Ⅸ層	40.699
	7H-14	1	剥片	23.5	25.6	8.3	4.2	C		○					1					S	珪質頁岩		クラム		
第39図1	7H-14	2	R・剥片	34.9	47.9	12.3	14.6	2	○			1			1				B	O	珪質頁岩			Ⅸ層	40.781
第39図2	7H-14	3	剥片	53.8	36.2	10.8	22.3	H				3		1	1				S		安山岩A			Ⅸ層	40.783
第39図4	7H-14	4	剥片	34.2	35.9	8.3	10.9	2							3				F		珪質頁岩			Ⅸ層	40.797
第39図8	7H-14	5	剥片	28.3	30.3	13.2	9.7	−	−	○				1					H	M	安山岩A			Ⅸ層	40.790
	7H-14	6	剥片	13.0	18.2	3.3	0.8	C											F	R	安山岩A			Ⅸ層	40.791
	7H-14	7	剥片	12.1	18.3	4.7	1.1	H		○									F		安山岩A			Ⅸ層	40.800
第40図9	7H-14	8	剥片	36.2	13.1	9.1	3.7	C		○				1		4			−	L	安山岩A			Ⅸ層	40.815
	7H-14	9	剥片	21.4	30.8	3.4	2.7	C		○									H		安山岩A			Ⅸ層	40.764
第39図3	7H-14	10a	敲石	48.3	35.2	14.6	34.2														凝灰岩			Ⅸ層	40.803
	7H-14	10b	礫	53.3	39.6	10.2	33.1														流紋岩			Ⅸ層	40.803
	7H-14	10c	礫	37.2	30.9	12.6	22.3														流紋岩			Ⅸ層	40.803

第９表　旧石器時代　第９ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第46図30	7H-13	1	剥片	21.1	42.2	7.1	9.5	－	－	○										H	凝灰岩		クラム		
	7H-13	2	剥片	36.4	7.8	9.5	2.3	－	－	○	○	1		1						F	凝灰岩			Ⅸ層	40.735
	7H-13	3	剥片	10.4	20.9	4.5	0.5	－	－			1		1					H	F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.853
	7H-13	4	剥片	18.0	24.7	4.0	1.6	C				2							B	－	珪質頁岩			Ⅸ層	40.849
	7H-13	5	剥片	13.4	15.8	6.3	0.9	C				2			2					F	チャート			Ⅸ層	40.872
第44図17	7H-13	6	剥片	29.7	32.9	8.9	10.4	C		○										F	チャート6	16との接合		Ⅸ層	40.802
第42図７	7H-13	7	石核	29.8	36.9	14.3	13.6														安山岩A			Ⅸ層	40.779
	7H-13	8	礫	38.2	21.9	6.2	8.4														流紋岩			Ⅸ層	40.776
第42図８	7H-13	9	剥片	56.3	27.5	16.3	16.9	H			○	3	1		3					F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.837
第44図20	7H-13	10	剥片	48.8	37.2	11.1	20.8	P		○		2		1						H	珪質頁岩6	21との接合		Ⅸ層	40.852
第46図31	7H-13	11	石核	46.3	56.6	23.7	76.3														石英			Ⅸ層	40.861
第45図24	7H-13	12	剥片	38.4	60.5	16.2	36.8	H												F	チャート7	23との接合		Ⅸ層	40.792
	7H-13	13	剥片	16.4	9.5	6.3	0.5	－				2								F	チャート			Ⅸ層	40.830
	7H-13	14	剥片	9.2	16.4	5.3	0.6	P				2		1						F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.803
	7H-13	15	砕片	8.8	10.1	3.2	0.3														珪質頁岩			Ⅸ層	40.832
	7H-13	16	剥片	20.4	23.8	11.1	6.1	L		○		2								F	砂岩			Ⅸ層	40.758
	7H-13	17	礫	42.4	33.9	13.1	27.5														砂岩			Ⅸ層	40.737
第44図16	7H-13	20	石核	57.9	42.4	23.1	78.3														チャート6	17との接合		Ⅸ層	40.779
	7H-13	21	剥片	25.3	14.9	4.5	1.4	－	－						2				M	F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.541
	7H-13	22	剥片	9.8	19.1	5.8	1.2	P		○			1	1					M	－	安山岩A			Ⅸ層	40.760
	7H-13	23	剥片	24.1	21.6	5.5	2.5	－		○		2							L	F	安山岩A			Ⅸ層	40.751
第45図22	7H-13	24	U・剥片	31.8	45.4	9.8	13.5	C		○								L、R		H	凝灰岩			Ⅸ層	40.710
第44図19	7H-13	25	砕片	10.9	17.4	4.8	0.7														珪質頁岩			Ⅸ層	40595
	7H-14	11	砕片	14.5	13.5	3.3	0.7														砂岩			Ⅸ層	40.769
第42図３	7H-14	12	剥片	38.3	74.5	7.6	26.9	H				4	1	1	1					S	珪質頁岩			Ⅸ層	40.789
	7H-14	13	礫	31.2	12.8	9.3	9.7														チャート			Ⅸ層	40.782
第42図２	7H-14	14	削器	49.7	43.3	9.3	14.1											B			珪質頁岩			Ⅸ層	40.806
	7H-14	15	剥片	19.9	12.8	5.2	1.0	－	－			1	1						H、B	－	珪質頁岩			Ⅹ層	40.691
第42図１	7H-14	16	台形石器	25.6	18.9	9.8	4.6														安山岩A			Ⅹ層	40.761
	7H-14	17	剥片	22.0	7.7	4.6	0.7	P		○		2			1				R	F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.808
	7H-14	18	剥片	24.1	22.6	5.9	2.4	－	－	○		2		1						F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.701
	7H-14	19	砕片	11.8	14.8	4.4	0.5														安山岩A			Ⅸ層	40.695
	7H-14	20	礫	35.0	28.9	12.0	18.4														チャート			Ⅸ層	40.420
第46図28	7H-23	2	R・剥片	20.6	27.4	6.3	4.0	P		○								R		H	安山岩A			Ⅸ層	40.847
	7H-23	3	砕片	7.8	11.3	1.9	0.2														安山岩A			Ⅸ層	40.830
	7H-23	4	砕片	11.4	12.5	6.4	0.9														安山岩A			Ⅸ層	40.799
	7H-23	5	剥片	12.8	17.7	4.3	0.7	H					1							F	安山岩A			Ⅸ層	40.811
第43図14	7H-23	6	剥片	38.0	24.5	19.6	20.3	C		○		1								O	安山岩A			Ⅸ層	40.795
	7H-23	7	砕片	14.2	9.3	2.1	0.3														砂岩			Ⅶ層	40.970
第46図27	7H-23	8	剥片	25.9	31.3	6.0	5.3	C		○									M	－	メノウ2	26との接合		Ⅸ層	40.815
	7H-23	9	礫	55.6	44.6	16.0	57.8														砂岩			Ⅸ層	40.865
第46図26	7H-23	10	楔形石器	32.6	36.2	8.8	13.5														メノウ2	27との接合		Ⅸ層	40.818
	7H-23	11	剥片	21.6	20.8	7.5	2.5	H		○		1			1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.815
	7H-23	12a	剥片	13.6	18.9	5.2	1.1	H				1									珪質頁岩			Ⅸ層	40.830
	7H-23	12b	剥片	12.9	8.3	7.3	1.0														安山岩A			Ⅸ層	40.830
	7H-23	13	剥片	12.6	23.5	3.2	0.8	L	○	2										H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.749
	7H-23	14	砕片	7.0	14.1	4.2	0.5														安山岩A			Ⅸ層	40.920
第45図23	7H-23	15	剥片	35.3	37.4	10.2	12.1	H		○		1								F	チャート7	24との接合		Ⅸ層	40.931
	7H-23	16	砕片	9.5	11.9	4.8	0.5														安山岩A			Ⅸ層	40.761
	7H-23	17	剥片	17.8	13.2	3.4	0.6	H				1		1						H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.795
	7H-23	18	剥片	20.0	20.1	9.0	3.0	L	○	○		2								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.895
第44図18	7H-23	19	剥片	26.9	36.8	15.3	11.5	H		○		1								S	珪質頁岩5	19との接合		Ⅸ層	40.860
第45図25	7H-23	20	石核	69.8	49.3	19.8	88.3														安山岩A			Ⅸ層	40.759
	7H-23	21	剥片	15.0	27.4	7.3	3.2	H		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.780
第43図９	7H-23	22	剥片	39.9	51.2	20.1	34.6	L	○	○		4			2					F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.765
第43図10	7H-23	23	剥片	23.4	37.4	12.1	7.8	H		○		1		1						S	安山岩A			Ⅸ層	40.860
	7H-23	24	剥片	13.1	20.6	4.6	1.0	C		○				1						F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.853
第44図19	7H-23	25	砕片	8.0	7.8	2.7	0.1														珪質頁岩5	18との接合		Ⅸ層	40.759
第43図11	7H-23	26a	剥片	20.7	31.5	5.3	3.8	H		○											安山岩A			Ⅸ層	40.763
	7H-23	26b	砕片	8.4	12.3	4.8	0.5														珪質頁岩			Ⅸ層	40.763
第47図33	7H-23	27	剥片	15.5	15.5	2.5	0.6	C		○		1							L	F	石英1	32との接合		Ⅸ層	40.750
第42図８	7H-23	28	剥片	26.3	15.3	7.2	2.1	H		○				1						F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.759
第42図５	7H-23	32	U・剥片	42.2	32.7	7.9	6.4	H		○		3		3	1			R		S	珪質頁岩			Ⅸ層	40.655
	7H-23	33	砕片	13.5	12.3	7.1	1.4														安山岩A			Ⅸ層	40.707
第44図21	7H-23	34	剥片	46.1	20.1	8.8	7.1	H		○										F	珪質頁岩6	20との接合		Ⅸ層	40.706
	7H-23	35	剥片	12.3	16.5	6.0	0.8	H		○										S	珪質頁岩			Ⅸ層	40.610
	7H-23	36	砕片	6.2	13.0	2.5	0.2														砂岩			Ⅸ層	40.560
	7H-23	38	剥片	14.4	24.3	3.8	1.2	H		○		1								F	安山岩A			Ⅸ層	40.658
	7H-23	39	剥片	16.8	18.9	3.3	0.9	C		○					1				B	－	凝灰岩			Ⅸ層	40.816
第47図32	7H-23	40	石核	65.7	48.3	18.1	77.2														石英1	33との接合		Ⅸ層	40.787
第43図15	7H-23	41	石核	54.7	44.3	15.2	52.7														メノウ			Ⅸ層	40.765
第46図29	7H-23	42	剥片	35.9	32.3	15.3	13.1	P			○	2								H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.827
	7H-23	43	剥片	28.1	14.8	7.0	2.1	P		○	○		1								珪質頁岩			Ⅸ層	40.675
第43図12	7H-24	2	剥片	20.8	34.0	3.8	2.8	C		○										S	安山岩B			Ⅸ層	40.854
第43図13	7H-24	3	石核	46.2	48.2	21.3	61.1														流紋岩			Ⅸ層	40.809
	7H-24	4	剥片	14.4	30.0	4.5	1.7	L				2								H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.685
	7H-24	5	砕片	9.7	10.3	1.8	0.2														安山岩A			Ⅸ層	40.686
第42図４	7H-24	6	剥片	22.3	24.9	6.8	3.2	H				3								O	安山岩A			Ⅸ層	40.806
	7H-24	7	剥片	21.4	14.2	9.0	2.8	H												F	流紋岩			Ⅸ層	40.517

第10表　旧石器時代　第10ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7H-13	18	剥片	28.2	26.6	3.6	2.7	C		○									L、B	F	安山岩A			Ⅶ層	40.960
第49図２	7H-22	2	ナイフ形石器	24.8	18.8	9.0	5.0												M		珪質頁岩			Ⅸ層	40.932
	7H-22	3	礫	49.1	25.4	11.0	20.4														流紋岩			Ⅸ層	40.955
	7H-22	5	礫	25.9	13.5	12.5	5.9														流紋岩			Ⅸ層	40.815
	7H-22	6	剥片	22.8	17.7	4.0	1.1	C		○											凝灰岩			Ⅸ層	40.863
第49図５	7H-22	7	U・剥片	32.4	36.1	10.2	12.5	C		○											チャート			Ⅸ層	40.738
	7H-22	8	剥片	14.2	15.3	2.1	0.5	H		○					1						砂岩			Ⅸ層	40.680
	7H-22	9	剥片	22.5	23.1	5.0	2.7	H		○		2		1	1						凝灰岩			Ⅸ層	40.585
	7H-22	10	礫	20.4	13.8	11.1	3.8														流紋岩			Ⅸ層	40.587
第49図４	7H-22	11	楔形石器	30.4	35.9	10.2	9.8														砂岩			Ⅸ層	40.573
	7H-22	12	礫	17.6	11.5	7.8	1.5														凝灰岩			Ⅸ層	40.577
第49図３	7H-23	29	削器	39.3	30.9	9.8	8.0														珪質頁岩			Ⅸ層	40.924
第49図１	7H-23	30	石核	43.1	58.5	16.8	35.2														珪質頁岩			Ⅸ層	40.755
	7H-23	31	礫	62.3	51.4	11.7	57.3														流紋岩			Ⅸ層	40.747
	7H-23	37	砕片	9.5	11.6	3.9	0.3														珪質頁岩			Ⅸ層	40.599
	7H-23	44	礫	42.1	32.7	12.4	24.0														流紋岩			Ⅸ層	40.720
	7H-33	2	礫	56.6	36.9	10.6	34.4														砂岩			Ⅸ層	40.808
	7H-33	3	砕片	7.7	10.0	1.8	0.2														メノウ			Ⅸ層	40.763

第11表　旧石器時代　第11ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7H-01	2	礫	26.5	13.0	5.7	2.7														砂岩			Ⅸ層	40.798
第51図4	7H-02	2	剥片	46.2	36.0	10.1	17.6	H	○	○		4		2						F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.788
	7H-02	3	礫	23.2	17.4	10.5	6.3														メノウ			Ⅸ層	40.759
第51図1	7H-02	4	ナイフ形石器	33.7	21.1	5.4	2.5														珪質頁岩			Ⅵ層	40.913
	7H-02	5	砕片	11.2	13.2	4.3	0.5													B	－	珪質頁岩		Ⅸ層	40.780
	7H-02	6	剥片	12.4	16.5	3.2	0.5	H				1		1								珪質頁岩		Ⅶ層	40.866
第51図7	7H-11	1	剥片	47.8	23.9	17.3	11.9	H	○	○		2		1						B	－	メノウ	クラム		
	7H-11	2	剥片	27.6	20.6	3.2	2.3	C		○		1									H	安山岩B		Ⅸ層	40.808
第51図3	7H-11	3	楔形石器	37.2	29.1	12.2	13.4															チャート		Ⅶ層	41.015
	7H-12	1	剥片	15.5	16.2	7.0	1.7	－	－	○		1		1							F	メノウ	クラム		
第51図2	7H-12	2	剥片	43.8	54.3	11.9	24.4	H	○	○		2			1						F	珪質頁岩		Ⅸ層	40.852
第52図14	7H-12	3	剥片	20.5	33.2	6.5	2.8	－	－			3		1	2					H	F	珪質頁岩		Ⅸ層	40.825
第51図8	7H-12	4	剥片	42.5	19.8	10.2	4.3	3	○			3	1	2	2						F	珪質頁岩		Ⅶ層	41.030
	7H-12	5	剥片	10.5	16.2	3.5	0.6	－	－	○				2						H、B	－	蛇紋岩		Ⅸ層	40.934
	7H-12	6	砕片	13.3	4.5	3.5	0.6														F	ホルンフェルス		Ⅸ層	40.942
第52図16	7H-12	7	剥片	13.1	21.1	5.3	1.1	H													F	珪質頁岩7	17との接合	Ⅸ層	40.785
第52図11	7H-12	8	剥片	32.5	44.5	6.8	5.5	H		○		3	1								F	安山岩A		Ⅸ層	40.810
第52図12	7H-12	9	剥片	30.3	32.4	11.8	12.3	H		○		1			1		1				S	凝灰岩		Ⅶ層	41.010
第52図13	7H-12	10	剥片	32.1	28.2	9.5	8.0	2	○	○		1			1						F	安山岩A		Ⅸ層	40.925
第51図6	7H-12	11	剥片	29.7	31.9	7.8	5.5	C				1	1			2					S	珪質頁岩		Ⅶ層	41.015
第52図17	7H-12	12	台形石器	25.5	32.5	8.5	4.3															珪質頁岩7	16との接合	Ⅸ層	40.770
	7H-12	13	砕片	11.0	10.6	3.6	0.3															チャート		Ⅸ層	40.925
第51図9	7H-12	14	R・剥片	13.5	6.4	2.1	0.2	L				4							L	R	S	黒曜石		Ⅸ層	40.948
第51図10	7H-12	15	剥片	22.9	10.8	6.2	1.4	H				3	1		1						F	珪質頁岩		Ⅶ層	41.018
	7H-12	16	剥片	13.9	17.7	6.3	0.8	－	－			2		1	1					H	F	チャート		Ⅸ層	40.804
第52図15	7H-12	17	剥片	25.7	18.6	4.5	1.6	H	○			5			1						F	珪質頁岩		Ⅸ層	40.828
	7H-12	18	剥片	13.9	20.1	3.1	0.8	L	○			3		1							F	珪質頁岩		Ⅸ層	40.832
	7H-12	19	剥片	14.8	38.0	14.3	8.0	C				2			1						F	珪質頁岩		Ⅸ層	40.805
	7H-12	20	剥片	15.4	14.0	6.7	1.0	－	－			2		1		2				M	F	珪質頁岩		Ⅶ層	41.095
	7H-12	21	礫	50.1	44.9	14.3	49.3															流紋岩		Ⅸ層	40.837
	7H-12	22	剥片	15.5	11.0	3.2	0.5	H				1		1							F	珪質頁岩		Ⅶ層	41.020
	7H-12	24	砕片	11.5	10.5	6.3	0.6															安山岩A		Ⅸ層	40.727
	7H-12	25	剥片	29.9	15.0	10.1	4.5	H				2										珪質頁岩		Ⅸ層	40.778
	7H-12	26	砕片	10.2	14.7	7.0	0.8															凝灰岩		Ⅸ層	40.763
第51図5	7H-12	27	U・剥片	22.7	42.7	5.2	4.2	2				1		1	1				B		S	凝灰岩		Ⅸ層	40.737

第12表　旧石器時代　第12ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7G-91	2	剥片	17.1	17.4	5.6	2.6	－	－											F	チャート			Ⅹ層	40.451
第55図8	7H-01	4	剥片	48.5	48.3	12.5	39.6	C		○				1						F	凝灰岩3	6＋7＋13(13)ブロックとの接合		Ⅸ層	40.857
	7H-01	5	剥片	10.6	20.6	4.3	1.2	C						1					B	－	安山岩A			Ⅶ層	40.938
第54図1	7H-02	7	剥片	36.0	50.4	16.8	17.1	3				1		1		2				F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.832
第54図3	7H-02	8	剥片	41.0	42.9	10.5	17.2	－	－	○		1							H	F	安山岩A			Ⅸ層	40.861
	7H-02	9	剥片	26.5	17.0	10.4	4.3	－	－					2		1	1		H	O	珪質頁岩			Ⅸ層	40.781
	7H-02	10	剥片	18.0	29.1	8.3	3.6	C	○			4								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.793
	7H-02	11	剥片	18.1	10.0	3.1	0.4	H				2							L	S	珪質頁岩			Ⅸ層	40.765
	7H-02	12	剥片	25.8	23.3	7.2	3.6	L	○			2		1						S	安山岩B			Ⅶ層	40.957
	7H-02	13	剥片	21.2	9.2	6.7	1.0	－	－			1		1	1				M	F	珪質頁岩			Ⅴ層	41.207
	7H-02	14	剥片	16.4	9.8	3.2	0.5	C				1			2					F	安山岩A			Ⅸ層	40.740
第55図6	7H-02	15	石核	56.7	45.5	32.5	97.5														凝灰岩3	7＋8＋13(13)ブロックとの接合		Ⅸ層	40.783
第55図7	7H-02	16	剥片	32.5	35.2	8.5	7.9	C		○										H	凝灰岩3	6＋8＋13(13)ブロックとの接合		Ⅸ層	40.819
第54図5	7H-02	17	剥片	19.0	23.6	4.7	1.7	L		○		1								H	蛇紋岩			Ⅸ層	40.832
第54図2	7H-02	18	U・剥片	46.2	26.3	9.6	12.3	H		○				1	1				L	F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.868
	7H-02	19	剥片	25.4	13.2	4.5	1.7	C				2								L	F	珪質頁岩			Ⅶ層	40.906
第54図4	7H-02	20	剥片	23.5	25.6	10.6	4.3	H		○		2									F	安山岩B			Ⅹ層	40.682

第13表　旧石器時代　第13ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第57図 7	7H-03	2	剥片	34.2	19.4	16.8	8.7	－	－			1			1	2				S	珪質頁岩			Ⅸ層	40.845
	7H-03	3	剥片	26.8	19.6	4.2	2.6	P			○	2		1						H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.763
第58図10	7H-03	4	剥片	25.5	38.5	10.1	9.3	C		○									M	－	チャート8	9＋11との接合		Ⅸ層	40.788
	7H-03	5	剥片	6.8	10.2	1.6	0.1														珪質頁岩			Ⅸ層	40.788
第58図11	7H-03	6	剥片	26.2	47.2	16.2	25.9	－	－	○									M	O	チャート8	9＋10との接合		Ⅸ層	40.780
第57図 6	7H-03	7	剥片	21.8	42.2	6.8	6.1	P		○				1						F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.721
	7H-03	8	礫	41.9	35.6	15.1	32.6														砂岩			Ⅸ層	40.830
	7H-03	9	剥片	19.1	20.9	3.3	1.1	L	○			2			1					F	珪質頁岩			Ⅷ層	40.911
第58図12	7H-03	10	石核	27.6	35.2	9.8	11.1														珪質頁岩			Ⅷ層	40.925
第57図 3	7H-03	12	剥片	20.6	33.9	7.2	4.8	○	○			1		1					L	S	珪質頁岩			Ⅷ層	40.838
第58図 9	7H-03	13	R・剥片	28.0	23.5	8.1	6.4	C		○					1			L		H	チャート8	10＋11との接合		Ⅷ層	40.907
第57図 5	7H-03	14	剥片	42.8	49.2	9.2	17.4	C		○		1								F	流紋岩			Ⅷ層	40.845
第57図 2	7H-03	15	剥片	34.5	17.1	8.3	4.0	H		○		1		2						S	安山岩B			Ⅸ層	40.740
	7H-03	16	剥片	19.2	19.0	10.2	3.7	H		○		1	1		1						安山岩A			Ⅸ層	40.796
第57図 4	7H-03	17	剥片	46.5	57.2	11.8	29.3	C		○				1						F	砂岩			Ⅸ層	40.790
第57図 1	7H-03	18	台形石器	17.8	20.5	5.2	1.6														珪質頁岩			Ⅸ層	40.711
第57図 8	7H-03	19	剥片	38.1	69.3	11.4	27.2	6				2			1		1			H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.767
	7H-03	20	剥片	21.1	25.9	5.5	2.4	C				2		1						S	珪質頁岩			Ⅷ層	40.926
第59図13	7H-03	21	剥片	28.0	67.5	25.5	50.1	C		○										F	凝灰岩3	(6)～(8)12ブロックとの接合		Ⅷ層	40.828
	7H-03	22	剥片	20.5	28.9	5.5	2.7	H		○		2		1	1					S	珪質頁岩			Ⅸ層	40.655
	7H-03	23	剥片	23.9	8.0	4.3	0.9	H		○		1								F	安山岩A			Ⅹ層	40.589
	7H-03	24	剥片	11.5	15.1	3.6	0.6	H	○											F	安山岩A			Ⅹ層	40.641
	7H-04	15	剥片	30.2	26.1	4.1	2.8	H				3		2						S	珪質頁岩			Ⅷ層	40.875
	7H-04	16	剥片	23.0	29.3	4.1	3.5	－	－	○		2								H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.855

第14表　旧石器時代　第14ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第61図 3	7G-89	2	ナイフ形石器	27.8	11.2	3.8	1.2														黒曜石			Ⅸ層	40.687
	7G-98	2	剥片	16.3	16.8	7.1	1.7	C		○		1		1	1					H	メノウ			Ⅸ層	40.658
第62図10	7G-99	2	剥片	39.1	25.3	7.5	5.1	H							1				R	H	安山岩A			Ⅸ層	40.806
	7G-99	3	剥片	17.5	28.3	6.3	2.5	C				2		1	1					F	珪質頁岩			Ⅷ層	40.975
	7G-99	4	剥片	23.3	20.2	6.6	3.0	H		○				1						H	チャート			Ⅹ層	40.535
	7G-99	5	剥片	16.2	17.9	2.7	0.8	H		○		1								F	ホルンフェルス			Ⅹ層	40.557
第61図 8	7G-99	6	剥片	22.8	42.3	5.2	5.0	H		○		1		1	1					F	ホルンフェルス			Ⅹ層	40.553
第62図14	7G-99	7	剥片	31.2	27.6	5.9	5.3	C	○			3		1	1				R	F	安山岩A			Ⅹ層	40.575
第61図 2	7G-99	8	ナイフ形石器	44.6	20.3	5.1	3.6														珪質凝灰岩			Ⅹ層	40.567
第61図 7	7G-99	9	U・剥片	28.6	40.5	7.2	8.6	C		○								B		F	チャート			Ⅹ層	40.494
第61図 5	7G-99	10	楔形石器	35.7	30.8	9.1	10.1														チャート			Ⅹ層	40.471
	7G-99	11	剥片	21.7	22.1	4.5	2.2	H	○	○		2			1					F	安山岩A			Ⅹ層	40.652
第61図 1	7G-99	12	楔形石器	52.8	64.9	15.5	70.6														砂岩4	(99)23ブロックとの接合		Ⅹ層	40.590
第61図 4	7G-99	13	U・剥片	27.8	32.2	7.8	4.3	H	○			2		1	1					F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.550
	7G-99	14	砕片	14.2	5.9	3.0	0.2														ホルンフェルス			Ⅹ層	40.510
	7G-99	15	剥片	17.6	23.7	3.5	1.5	H				3								H	珪質凝灰岩			Ⅹ層	40.542
第62図12	7H-09	2	剥片	26.9	16.7	7.2	2.1	H	○			5		2	1					F	メノウ			Ⅸ層	40.885
第62図 9	7H-09	3	石核	30.6	36.2	16.6	23.0														チャート			Ⅸ層	40.833
	7H-09	4	剥片	23.0	20.8	3.0	1.2	－	－	○		1		2						F	チャート			Ⅸ層	40.733
第61図 6	7H-09	5	楔形石器	31.6	27.6	15.1	11.1														石英			Ⅸ層	40.757
第62図11	7H-09	6	剥片	39.4	65.1	14.8	41.5	H		○		1			1					S	凝灰岩			Ⅸ層	40.626
	7H-09	7	剥片	20.6	16.6	6.3	2.0	C		○				3						F	安山岩A			Ⅸ層	40.776
第62図13	7H-09	8	剥片	24.5	35.6	5.1	3.5	H	p 1			3								F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.783
	7H-09	9	剥片	16.4	11.7	5.8	0.9	－	－	○		1				1			M	F	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.886
第63図15	7H-19	4	石核	43.5	28.5	19.5	32.3														チャート9	(77)23ブロックとの接合		Ⅸ層	40.718

第15表　旧石器時代　第15ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	8G-90	2	剥片	20.5	15.9	3.8	1.4	C		○									L		安山岩A			Ⅸ層	40.745
	8G-90	3	剥片	25.2	15.3	3.6	1.7	C		○		1		1						F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.734
第67図4	8G-90	4	剥片	24.1	24.9	1.2	6.0	H		○		1								F	安山岩A			Ⅸ層	40.721
	8G-90	5	剥片	20.7	23.1	7.3	3.6	H		○		1		2						F	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	41.055
	8G-90	6	礫	19.8	12.3	4.0	1.3														メノウ			Ⅸ層	40.734
	8G-90	7	剥片	9.5	15.2	5.9	0.5	P				2								F	凝灰岩			Ⅸ層	40.775
第65図1	8G-90	8	局部磨製石斧	102.3	46.1	23.8	181.0														蛇紋岩			Ⅹ層	40.529
	8G-90	9	剥片	28.1	15.3	6.0	2.7	H		○		1		1					R	F	安山岩A			Ⅹ層	40.506
	8G-90	10	剥片	15.3	18.1	4.6	1.2	H				1								H	石英			Ⅹ層	40.641
	8G-90	11	剥片	15.2	8.8	3.0	1.0	C		○					1					F	安山岩A			Ⅷ層	40.918
	8G-90	12	砕片	14.8	14.9	4.2	0.6														珪質頁岩			Ⅸ層	40.743
第69図33	8G-90	14	砕片	11.3	14.4	4.7	0.7														凝灰岩4	32＋34＋35との接合		Ⅹ層	40.517
	8G-90	15	礫	33.7	32.4	12.0	19.2														チャート			Ⅹ層	40.470
第70図39	8G-90	16	剥片	24.9	49.8	23.7	32.5	C		○		1	1							F	石英2	38との接合		Ⅹ層	40.547
	8G-90	17	剥片	19.2	18.0	5.2	1.6	C		○		1							R		珪質頁岩			Ⅹ層	40.438
第67図20	8G-91	2	石核	47.3	65.2	28.3	112.0														珪質頁岩			Ⅹ層	40.604
	8H-00	2	砕片	6.5	9.4	6.4	0.3													H	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	41.000
第68図26	8H-00	3	剥片	41.2	35.8	11.4	14.9	H	○	○		2	1	1		1					珪質頁岩			Ⅹ層	40.678
	8H-00	4	砕片	11.3	8.7	1.9	0.2													F	安山岩A			Ⅹ層	40.679
	8H-00	5	剥片	11.4	20.3	4.4	0.9	H		○										F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.676
第67図17	8H-00	6	剥片	23.4	20.5	4.3	2.1	H		○		4		1							珪質頁岩			Ⅹ層	40.669
第68図30	8H-00	7	敲石	42.3	55.6	28.7	66.5														砂岩			Ⅹ層	40.652
第71図41	8H-00	8	台石	88.9	69.5	33.1	26.3														砂岩5	42との接合		Ⅹ層	40.598
	8H-00	9	砕片	13.5	8.5	3.2	0.3														安山岩A			Ⅸ層	40.774
	8H-00	10	剥片	28.8	26.9	5.4	3.5	H	○	○		2			1					F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.623
第67図22	8H-00	11	剥片	32.5	29.9	6.2	7.3														メノウ			Ⅹ層	40.595
	8H-00	12	剥片	19.5	13.5	7.1	1.7	H		○		1								F	安山岩A			Ⅹ層	40.618
第66図10	8H-00	13	石核	47.3	37.2	19.5	31.7														珪質頁岩			Ⅹ層	40.497
第71図42	8H-00	14	剥片	12.0	16.2	3.5	0.6	C		○										F	砂岩5	41との接合		Ⅷ層	40.881
	8H-00	15	剥片	23.8	22.6	3.7	1.4	H	○			2		1						F	安山岩A			Ⅷ層	40.891
第68図31	8H-00	16	石核	27.1	40.2	39.4	58.7														チャート			Ⅹ層	40.578
	8H-00	17	剥片	20.5	19.7	9.0	2.7	H				1			1				M	−	珪質頁岩			Ⅷ層	40.817
第65図7	8H-00	18	剥片	29.7	17.8	9.8	6.3	H	○	○		1		1						H	メノウ			Ⅹ層	40.658
	8H-00	19	剥片	28.7	14.5	9.1	3.8	H		○		1		1						F	安山岩A			Ⅹ層	40.474
	8H-00	20	剥片	22.0	27.5	5.4	3.9	C		○		1								F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.435
	8H-00	21	剥片	21.2	21.3	3.8	1.6	C		○		1								F	安山岩A			Ⅹ層	40.666
第67図18	8H-00	22	剥片	18.7	25.2	4.5	3.6	C		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.770
第66図15	8H-00	23	石核	58.4	47.4	23.5	77.7														珪質頁岩			Ⅹ層	40.665
第68図25	8H-00	24	剥片	43.1	33.6	8.3	11.9	H		○		2		1	2					F	安山岩A			Ⅹ層	40.469
	8H-00	25	剥片	14.4	16.8	2.3	0.6	L		○		2							R	H	珪質頁岩			Ⅹ層	40.622
	8H-00	26	剥片	19.0	13.1	6.8	1.3	C		○		1								F	メノウ			Ⅹ層	40.600
	8H-00	27	剥片	10.9	19.3	1.5	0.5	L		○		2								H	安山岩A			Ⅹ層	40.655
第67図19	8H-00	28	剥片	25.6	24.0	8.2	4.1	H		○		1		1						F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.749
	8H-00	29	剥片	18.3	14.5	3.8	0.9	H		○		1		1						F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.714
	8H-00	30	剥片	15.1	9.5	3.3	0.6	C		○		1								F	安山岩A			Ⅹ層	40.635
第68図28	8H-00	31	剥片	22.2	25.3	7.8	2.7	H		○					1					F	チャート			Ⅸ層	40.709
第69図37	8H-00	32	石核	54.5	61.5	22.4	93.9														チャート9	(22)16ブロックとの接合		Ⅷ層	40.784
第69図32	8H-00	33	石核	42.2	39.2	17.8	37.8														凝灰岩4	33＋34＋35との接合		Ⅹ層	40.684
	8H-00	34	剥片	15.5	15.6	3.8	0.8	C				3							R	O	珪質頁岩			Ⅹ層	40.641
	8H-00	35	剥片	17.2	20.6	5.7	2.3	H		○									B	−	珪質頁岩			Ⅸ層	40.706
	8H-00	36	剥片	25.8	15.4	4.1	1.4	H	○	○		2		1						F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.698
第69図35	8H-00	37	剥片	15.5	18.3	4.4	1.3	H		○										H	凝灰岩4	32＋33＋34との接合		Ⅸ層	40.788
	8H-00	38	剥片	27.4	18.2	7.7	4.4	H		○		4								F	チャート			Ⅹ層	40.592
第66図14	8H-00	39	石核	30.2	24.8	19.5	17.2														安山岩A			Ⅸ層	40.743
	8H-00	40	剥片	18.0	8.2	4.0	0.5					1		1						F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.945
第66図13	8H-00	41	石核	42.2	23.8	14.3	11.5														安山岩A			Ⅹ層	40.621
	8H-00	42	剥片	20.9	25.9	7.2	3.4	C	○	○				1	3						流紋岩			Ⅹ層	40.514
第67図16	8H-00	43	石核	46.8	49.4	23.2	71.3														石英			Ⅹ層	40.492
第69図36	8H-00	44	石核	41.6	62.5	24.2	62.7														珪質頁岩			Ⅹ層	40.485
	8H-00	45	剥片	15.7	6.3	4.4	1.0	H		○			1		1					F	安山岩A			Ⅹ層	40.542
第68図27	8H-00	46	剥片	33.4	42.8	10.3	12.3	2		○		2			4					S	珪質頁岩			Ⅹ層	40.687
第65図6	8H-00	47	石核	38.6	18.2	14.8	11.0														安山岩A			Ⅹ層	40.681
	8H-00	48	剥片	11.2	15.2	12.9	2.5	C		○		1	1								珪質頁岩			Ⅹ層	40.478
第65図4	8H-00	49	R・剥片	34.6	25.6	6.2	7.0	C		○								H		F	安山岩A			Ⅹ層	40.594
第66図12	8H-00	50	R・剥片	32.2	37.8	14.5	14.2														珪質頁岩			Ⅹ層	40.673
	8H-00	51	剥片	21.4	27.0	5.0	3.0	C		○		1								F	安山岩A			Ⅹ層	40.651
	8H-00	52	剥片	11.8	14.2	4.8	0.7	P	○			1								F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.573
	8H-00	53	剥片	16.3	11.0	3.9	0.5	C		○		1							L	F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.574
第65図3	8H-00	54	R・剥片	28.1	21.3	5.1	2.8	−	−	○		1				1		H		S	チャート			Ⅹ層	40.507
	8H-00	55	剥片	23.4	22.1	5.1	2.4	H		○					1					S	安山岩A			Ⅹ層	40.648
第69図34	8H-00	56	剥片	22.3	26.7	5.8	2.8	2	○	○		3								F	凝灰岩4	32＋33＋35との接合		Ⅹ層	40.601
	8H-00	57	剥片	18.2	20.7	5.7	1.9	C						1	1				B	−	珪質頁岩			Ⅹ層	40.526
	8H-00	58	剥片	15.4	22.0	6.1	2.9	C		○		1		1		1					珪質頁岩			Ⅹ層	40.602
第66図11	8H-00	59	剥片	37.4	25.9	5.4	5.3	C		○										H	安山岩A			Ⅹ層	40.642
第65図5	8H-00	60	楔形石器	35.1	18.4	12.2	8.6														安山岩A			Ⅹ層	40.523
	8H-00	61	剥片	21.1	26.1	4.8	1.9	C	○	○		1								F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.613
	8H-00	62	剥片	20.4	14.0	3.0	1.2	H		○		1							L	F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.604
第67図23	8H-00	63	剥片	30.9	28.2	8.1	5.9	2		○		3	1	2						F	安山岩A			Ⅹ層	40.644
第68図29	8H-00	64	剥片	26.8	20.5	11.4	3.1	C		○					1					F	石英			Ⅹ層	40.508
	8H-00	65	剥片	17.9	29.1	5.5	3.0	H		○										F	安山岩A			Ⅹ層	40.459
	8H-00	66	剥片	20.0	19.4	4.3	1.1	H				1							R	F	安山岩A			Ⅺ層	40.385
	8H-00	67	砕片	9.0	5.9	3.2	0.1														安山岩A			Ⅺ層	40.398
	8H-01	2	剥片	18.5	4.9	3.0	0.6	C		○				2						H	安山岩A			Ⅷ層	40.783
第70図38	8H-01	3	剥片	36.6	23.4	19.2	18.6	3		○		2								F	石英2	39との接合		Ⅷ層	40.858
	8H-01	4	剥片	15.3	10.2	5.8	1.0	C		○										F	安山岩A			Ⅷ層	40.747
第65図2	8H-01	21	石核	32.8	24.2	11.9	12.7														珪質頁岩			Ⅵ層	41.005
	8H-01	22	剥片	17.8	19.4	3.4	1.1	C		○										F	安山岩A			Ⅷ層	40.782
第70図40	8H-01	23	石核	30.8	28.1	15.9	26.3														珪質頁岩8	(41)28ブロックとの接合		Ⅹ層	40.570
	8H-01	24	剥片	22.8	17.6	6.6	3.0	H		○				1						F	安山岩A			Ⅸ層	40.685
	8H-01	33	剥片	23.8	9.5	4.0	0.9	C											H	F	安山岩A			Ⅹ下層	40.348
第72図43	8H-10	3	剥片	30.1	22.4	7.5	8.0	H													流紋岩2	(16)6ブロック他3点との接合		Ⅷ層	40.823
	8H-10	4	剥片	24.0	15.2	6.2	2.2	C				1	1	1	2					S	安山岩A			Ⅷ層	40.806
	8H-10	5	砕片	6.7	9.0	2.5	0.2														チャート			Ⅹ層	40.636
	8H-10	6	砕片	12.2	7.5	3.3	0.3														安山岩A			Ⅹ層	40.610
	8H-10	7	剥片	18.6	28.3	2.9	1.7	C		○			1							F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.594
第65図8	8H-10	8	石核	51.1	30.4	16.5	37.7														メノウ			Ⅹ層	40.600
	8H-10	9	砕片	12.1	13.0	2.4	0.5														チャート			Ⅹ層	40.615
第65図9	8H-10	10	石核	23.4	21.2	16.1	8.3														安山岩A			Ⅵ層	40.984
第67図21	8H-10	11	剥片	28.1	35.3	12.6	9.7	H		○										F	メノウ			Ⅷ層	40.881

第16表　旧石器時代　第16ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第74図5	8H-01	5	楔形石器	70.9	36.3	15.2	54.8														チャート			Ⅸ層	40.560
第78図26	8H-01	6	U・剥片	14.7	21.3	4.2	1.2	H				1						R		S	チャート10	23＋24＋25＋27との接合		Ⅷ層	40.735
	8H-01	7	礫	72.8	52.1	21.8	118.9														流紋岩			Ⅸ層	40.598
第78図24	8H-01	8	剥片	25.1	25.0	8.3	4.1	H	○	○		3								F	チャート10	23＋25＋26＋27との接合		Ⅸ層	40.659
第80図34	8H-01	9	打製石斧	130.6	77.2	37.2	447.0														安山岩1	(40)27ブロック他5点との接合	〃	Ⅸ層	40.619
第75図15	8H-01	10	石核	29.1	22.7	11.2	7.6														チャート			Ⅷ層	40.809
	8H-01	11	剥片	24.4	15.2	4.2	1.4	H		○		1				1				F	安山岩A			Ⅸ層	40.680
第74図8	8H-01	12	石核	29.6	45.8	8.2	13.4														安山岩A			Ⅸ層	40.655
	8H-01	13	剥片	26.2	28.9	9.4	7.6	H				3								S	チャート			Ⅸ層	40.584
第75図16	8H-01	14	石核	34.6	35.2	15.1	25.3														珪質頁岩			Ⅸ層	40.690
第83図35	8H-01	15	剥片	73.7	24.8	25.1	57.3														砂岩6	(67)17ブロックとの接合		Ⅸ層	40.545
第76図20	8H-01	16	礫	40.5	37.1	11.6	24.7														ホルンフェルス2	19＋21との接合		Ⅸ層	40.529
第76図19	8H-01	17	礫	27.2	26.2	9.4	6.7														ホルンフェルス2	20＋21との接合		Ⅸ層	40.582
第75図14	8H-01	18	敲石	86.1	60.5	25.2	174.0														砂岩			Ⅸ層	40.634
第74図3	8H-01	19	台形石器	15.9	22.1	5.3	7.0														珪質頁岩			Ⅸ層	40.565
	8H-01	20	砕片	9.6	8.3	1.8	0.1														安山岩A			Ⅸ層	40.662
第77図22	8H-01	25	石核	44.8	50.8	21.3	67.5														チャート9	(37)15ブロックとの接合		Ⅸ層	40.515
	8H-01	26	砕片	12.8	14.1	5.8	0.8														安山岩A			Ⅸ層	40.563
第79図32	8H-01	27	石核	35.2	38.2	11.5	16.5														チャート11	33との接合		Ⅸ層	40.583
第75図17	8H-01	28	石核	31.9	25.2	10.4	10.6														安山岩A			Ⅸ層	40.574
第74図1	8H-01	29	石刃	59.3	22.3	9.5	10.9	H	○	○		3						L		F	安山岩A			Ⅸ層	40.596
	8H-01	30	砕片	10.7	13.0	3.3	0.4														珪質頁岩			Ⅸ層	40.505
第78図23	8H-01	31	石核	24.7	32.7	26.7	13.6														チャート10	24＋25＋26＋27との接合		Ⅷ層	40.725
第74図7	8H-01	32	R・剥片	38.5	30.5	8.8	12.7	H		○		1		3		1		L、B		F	安山岩A			Ⅹ層	40.407
	8H-02	2	剥片	19.0	25.9	9.0	4.4	H		○		1							B	−	チャート			Ⅷ層	40.783
第74図4	8H-02	3	R・剥片	18.5	11.8	6.1	1.2	2				1	1					R		F	凝灰岩			Ⅸ層	40.679
第75図11	8H-02	4	敲石	51.9	39.2	25.6	75.7														メノウ			Ⅸ層	40.591
第76図21	8H-02	5	石核	40.2	25.5	10.3	14.7														ホルンフェルス2	19＋20との接合		Ⅸ層	40.597
	8H-02	6a	剥片	20.6	13.7	4.9	1.2	H		○		1								F	チャート			Ⅸ層	40.689
	8H-02	6b	砕片	7.3	7.0	4.3	0.2														凝灰岩			Ⅸ層	40.689
	8H-02	7	剥片	20.8	29.7	5.3	2.3	H		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.535
第74図9	8H-02	8	石核	22.8	24.3	11.7	6.3														チャート			Ⅸ層	40.565
	8H-02	9	剥片	24.3	17.3	5.7	2.3	L	○	○		2		2	1					S	珪質頁岩			Ⅹ層	40.487
第79図33	8H-11	3	剥片	28.5	23.2	6.2	1.9	H		○		2		1						F	チャート11	32との接合		Ⅷ層	40.736
	8H-11	4	剥片	18.4	18.0	5.0	1.5	H		○									L	F	安山岩A			Ⅷ層	40.808
第78図27	8H-11	5	石核	29.3	24.8	15.0	12.6														チャート10	23＋24＋25＋26との接合		Ⅸ層	40.561
第74図2	8H-11	6	石刃	46.9	19.8	8.2	6.7	2	○			4		3					L	F	メノウ			Ⅳ～Ⅴ層	41.058
第75図13	8H-11	7	剥片	14.5	20.8	4.8	1.4	H				2		1						F	チャート			Ⅸ層	40.631
第74図6	8H-11	8	R・剥片	20.2	21.2	7.2	4.1	C										R、H	B	−	安山岩A			Ⅸ層	40.605
	8H-11	9	剥片	23.1	24.1	4.1	2.7	C												F	チャート			Ⅵ層	40.962
第78図25	8H-12	2	剥片	23.4	22.3	5.4	2.3	H	○			3	1								チャート10	23＋24＋26＋27との接合		Ⅷ層	40.795
	8H-12	3	剥片	13.4	16.2	3.0	0.6	−	−	○		1									珪質頁岩			Ⅷ層	40.803
第79図31	8H-12	4	剥片	33.3	26.7	4.2	3.7	C		○		2		2	1						安山岩A			Ⅷ層	40.772
	8H-12	5	剥片	19.2	8.8	4.7	0.7	H	p l			3			1						珪質頁岩			Ⅸ層	40.628
第75図10	8H-12	6	U・剥片	43.1	24.6	6.9	5.9	−	−			5			1						流紋岩			Ⅷ層	40.751
	8H-12	16	剥片	14.3	23.3	4.2	1.2	C		○										F	凝灰岩			Ⅷ層	40.767
第75図18	8H-12	17	剥片	12.0	41.5	11.5	5.1	P				1	1	1		1				O	安山岩A			Ⅷ層	40.706
第75図12	8H-12	18	剥片	16.9	20.8	4.2	1.6	H				5			1					H	流紋岩		焼成	Ⅷ層	40.785
第79図28	8H-12	19	剥片	48.2	38.1	14.6	24.8	H				2		1	4					F	安山岩A			Ⅸ層	40.577
	8H-12	20	剥片	15.4	27.1	5.9	2.5	H		○					1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.641
第79図30	8H-12	21	剥片	21.1	26.7	8.3	3.7	2		○		2								F	石灰岩			Ⅸ層	40.600
第79図29	8H-12	22	剥片	32.2	30.1	7.1	6.6	H	○			3								H	安山岩A			Ⅸ層	40.552
	8H-12	23	砕片	12.7	9.3	7	0.6														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.508
	8H-12	24	剥片	14.2	21.3	4.3	1.3	H	○	○		2								F	チャート			Ⅸ層	40.502
	8H-12	25	剥片	25.9	16.8	6.5	2.6	H	○			3	2	1							珪質頁岩			Ⅷ層	40.795

第17表　旧石器時代　第17ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	8H-12	7	剥片	18.0	13.9	3.4	1.4	2		○		1								F	メノウ			Ⅳ～Ⅴ層	41.053
第103図87	8H-12	8	石核	43.2	35.2	14.6	23.6														凝灰岩5	88との接合		Ⅶ層	40.680
	8H-12	9	剥片	28.6	11.6	9.6	3.4	C		○	○					1				F	チャート			Ⅶ層	40.635
第92図36	8H-12	10	剥片	22.9	29.4	8.4	5.7	L	○	○		2		1						H	メノウ			Ⅵ層	40.896
	8H-12	11	砕片	10.7	10.3	3.5	0.4														チャート			Ⅵ層	40.832
第91図30	8H-12	12	石核	22.4	39.8	11.7	12.1														珪質頁岩			Ⅵ層	40.889
第92図43	8H-12	13	剥片	15.3	32.2	6.2	3.3	S		○		4								F	チャート			Ⅸ層	40.625
	8H-12	14	剥片	20.7	16.6	6.3	1.9	H	○	○		2							R B	F	珪質頁岩			Ⅶ層	40.760
第95図57	8H-12	15	石核	36.5	23.8	20.7	14.4														チャート12	55＋56＋58との接合		Ⅶ層	40.786
	8H-13	2	砕片	11.5	12.7	4.6	0.8														チャート			Ⅵ層	40.970
	8H-13	3	剥片	18.0	21.0	4.2	1.2	H				1		1	1					F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.963
第96図59	8H-13	4	石核	32.7	40.9	19.9	30.2														チャート14	60＋61との接合		Ⅵ層	40.865
	8H-13	5	剥片	22.7	21.7	9.0	4.1	C		○										F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.880
	8H-13	6a	砕片	12.1	12.6	3.7	0.7														チャート			Ⅶ層	40.694
	8H-13	6b	砕片	13.0	7.7	3.0	0.3														チャート			Ⅶ層	40.694
	8H-13	6c	砕片	11.2	5.5	3.4	0.2														メノウ			Ⅶ層	40.694
	8H-13	7	砕片	13.5	9.3	2.8	0.4														チャート			Ⅶ層	40.691
	8H-13	8	剥片	23.8	20.1	4.9	2.6	H	○	○		1								F	メノウ			Ⅸ層	40.659
	8H-13	9	剥片	24.8	16.5	6.5	2.6	H		○		1								F	安山岩A			Ⅸ層	40.505
	8H-13	10	剥片	13.0	22.2	9.9	1.3	H			○	1								F	流紋岩			Ⅸ層	40.519
第95図58	8H-13	11	石核	49.7	48.8	26.7	83.5														チャート12	55＋56＋57との接合		Ⅸ層	40.513
第106図96	8H-22	2	剥片	18.2	16.5	5.7	1.5	C		○									R	H	チャート13	97＋98＋99との接合		Ⅵ層	40.868
第93図46	8H-22	3	石核	28.9	30.6	11.1	10.2														安山岩B			Ⅸ層	40.552
	8H-22	4a	剥片	15.4	14.5	4.6	1.0	L		○		2		1						H	チャート			Ⅸ層	40.558
	8H-22	4b	砕片	11.7	10.8	5.6	0.6														チャート			Ⅸ層	40.558
第88図 1	8H-22	5	局部磨製石斧	105.9	46.2	16.9	123.5														蛇紋岩			Ⅸ層	40.608
	8H-22	6	剥片	20.0	23.3	6.8	2.6	H		○				1						H	チャート			Ⅶ層	40.738
	8H-22	7	剥片	18.5	26.1	7.7	3.4	H		○		1								F	チャート			Ⅶ層	40.731
	8H-22	8	剥片	13.0	18.0	4.9	1.3	H		○		2								F	チャート			Ⅶ層	40.744
第92図39	8H-22	9	石核	24.8	33.4	17.2	18.0														チャート			Ⅵ層	40.871
第93図49	8H-22	10	剥片	23.4	21.5	7.9	4.0	H		○		1			1					H	珪質凝灰岩			Ⅵ層	40.926
	8H-22	11	砕片	14.6	12.7	4.7	0.7														石英			Ⅵ層	40.956
	8H-22	12	礫	27.4	19.6	11.9	7.3														チャート			Ⅹ層	40.426
第100図75	8H-22	13	石核	42.3	35.4	18.0	30.1														チャート15	73＋74との接合		Ⅸ層	40.594
	8H-22	14	剥片	24.3	16.1	9.5	2.6	H		○		3								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.614
第103図88	8H-22	15	剥片	29.0	21.4	8.8	4.3	H	○	○		6									凝灰岩5	87との接合		Ⅶ層	40.766
第101図79	8H-22	16	剥片	19.1	16.4	7.5	2.1	H		○		2		1						H	チャート16	78との接合		Ⅶ層	40.751
	8H-22	17	砕片	12.1	6.4	3.1	0.2														凝灰岩			Ⅸ層	40.548
第99図70	8H-22	18	剥片	27.8	37.8	8.9	9.8	H		○					1					F	チャート17	71＋72との接合		Ⅵ層	40.847
第90図13	8H-22	19	楔形石器	26.9	19.5	7.4	3.6														メノウ			Ⅶ層	40.732
	8H-22	20	剥片	25.2	20.4	8.7	4.9	H	○	○			1							F	チャート			Ⅸ層	40.581
	8H-22	21	剥片	13.3	25.7	9.1	2.6	2				1		1						F	安山岩A			Ⅶ層	40.704
第91図25	8H-22	22	石核	28.5	23.2	18.3	10.3														チャート			Ⅸ層	40.691
	8H-22	23	砕片	9.8	14.2	1.4	0.3														チャート			Ⅶ層	40.720
第89図 6	8H-22	24	磨製石斧	80.0	43.3	18.7	90.8														砂岩			Ⅸ層	40.574
	8H-22	25	剥片	13.8	19.6	4.0	1.1	C		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.634
	8H-22	26	礫	23.5	19.0	11.3	7.1														チャート			Ⅹ層	40.461
第106図99	8H-22	28	石核	56.0	73.2	22.2	111.7														チャート13	96＋97＋98との接合		Ⅹ層	40.451
第89図 7	8H-22	29	楔形石器	18.0	22.6	6.3	2.9	L		○		3				2			L B	○	チャート			Ⅸ層	40.578
第90図15	8H-22	30	U剥片	29.1	30.2	9.2	8.0	C		○	○								B	F	メノウ			Ⅸ層	40.626
	8H-22	31	剥片	24.1	25.4	5.3	3.2	H		○		1		1						H	流紋岩			Ⅸ層	40.677
第96図61	8H-22	32	剥片	17.4	17.1	5.1	1.5	H		○		1								F	チャート14	59＋60との接合		Ⅸ層	40.626
第99図69	8H-22	33	剥片	29.1	25.2	13.8	11.0	H		○		1	1	1						F	チャート18	68との接合		Ⅸ層	40.561
第97図64	8H-22	34	敲石	57.4	47.8	31.1	96.4														チャート19	(34)18ブロックとの接合		Ⅸ層	40.545
第89図12	8H-22	35	石核	38.6	26.5	20.5	27.6														メノウ			Ⅸ層	40.514
	8H-22	36	剥片	10.1	18.7	10.5	1.7	H		○		1		1	1					F	チャート			Ⅸ層	40.520
第96図63	8H-22	37	剥片	21.0	18.4	9.1	2.8	L						1	1					F	メノウ3	62との接合		Ⅶ層	40.727
	8H-22	38	剥片	14.8	10.5	6.0	0.8	L		○		1		1						F	チャート			Ⅵ層	40.971
第92図38	8H-22	39	石核	40.5	36.2	14.2	29.2														安山岩A			Ⅸ層	40.661
第92図35	8H-22	40	石核	66.2	52.4	20.3	96.1														流紋岩			Ⅸ層	40.551
	8H-22	41	剥片	17.8	10.7	3.2	0.7	L		○				1	1					F	メノウ			Ⅸ層	40.651
第93図45	8H-22	42	石核	26.2	36.2	14.2	15.0														珪質頁岩			Ⅸ層	40.556
	8H-22	43	剥片	20.4	15.8	5.9	1.7	H		○				1						F	チャート			Ⅸ層	40.606
第99図68	8H-22	44	石核	19.5	28.5	33.3	30.4														チャート18	69との接合		Ⅸ層	40.612
第91図26	8H-22	45	石核	26.7	30.4	9.2	6.2														チャート			Ⅸ層	40.635
	8H-22	46	剥片	17.8	21.7	7.8	1.7	H		○		1								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.511
第97図65	8H-22	47	石核	36.9	64.1	24.1	65.3														流紋岩3	66との接合		Ⅹ層	40.444
	8H-22	48	砕片	8.5	10.3	2.9	0.2														安山岩A			Ⅹ層下	40.244
	8H-22	49	剥片	15.7	12.2	5.2	0.7	H				2								F	安山岩C			Ⅹ層下	40.242
	8H-22	50	剥片	26.6	16.0	5.0	1.8	P		○				1						F	チャート			Ⅹ層	40.470
	8H-22	51	砕片	11.1	10.4	2.0	0.4														メノウ			Ⅸ層	40.560
	8H-22	52	剥片	18.0	8.4	3.9	0.6	P		○		1								F	チャート			Ⅸ層	40.584
第92図41	8H-22	53	石核	42.3	55.2	14.4	44.4														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.576
第101図78	8H-22	54	石核	46.4	58.4	28.0	82.3														チャート16	79との接合		Ⅸ層	40.545
	8H-22	55	剥片	19.3	12.8	5.0	1.3	C		○										F	チャート			Ⅸ層	40.585
	8H-22	56	砕片	12.5	12.0	2.6	0.6														チャート			Ⅸ層	40.625
第97図66	8H-22	57	U剥片	29.0	18.8	8.2	4.2	H		○					1				B	F	流紋岩3	65との接合		Ⅸ層	40.609
第102図85	8H-22	58	石核	52.3	40.7	18.6	57.2														チャート20	86との接合		Ⅸ層	40.550
第102図86	8H-22	59	剥片	31.6	22.8	8.9	6.9	P		○										H	チャート20	85との接合		Ⅸ層	40.512
	8H-22	60	剥片	19.2	11.0	5.5	1.1	P		○		2								F	チャート			Ⅸ層	40.512
	8H-22	61	砕片	12.7	13.5	3.9	0.6														チャート			Ⅸ層	40.523
第106図95	8H-22	62	石核	43.9	49.2	31.8	80.1														チャート21	92＋93＋94との接合		Ⅸ層	40.538
	8H-22	63	剥片	16.4	14.7	5.7	1.4	C				2	1							F	チャート			Ⅸ層	40.541
	8H-22	64	剥片	20.5	10.3	4.5	0.8	P				2			1					F	チャート			Ⅸ層	40.553
第90図20	8H-22	65	石核	24.6	37.5	17.8	19.0														チャート			Ⅸ層	40.496
第89図10	8H-22	66	石核	58.6	80.4	28.9	157.5														チャート			Ⅸ層	40.510
	8H-22	67	砕片	7.0	6.7	1.7	0.1														チャート			Ⅹ層下	40.216
	8H-23	2	剥片	18.1	23.7	5.3	2.0	H		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.676
	8H-23	3	砕片	11.5	9.0	2.9	0.3														安山岩			Ⅶ層	40.758
	8H-23	4	剥片	16.1	16.5	8.1	2.5	C		○		1							R	F	チャート			Ⅶ層	40.754
第90図19	8H-23	5	R剥片	29.2	27.6	11.5	10.4	H		○		1		1				B		F	チャート			Ⅶ層	40.736
第94図53	8H-23	6	剥片	27.7	22.8	13.5	7.9	−	−	○			1						M	H	チャート22	54との接合		Ⅶ層	40.783
	8H-23	7	剥片	29.2	33.0	13.6	15.7	C		○									M	−	チャート			Ⅹ層	40.551
第94図54	8H-23	8	剥片	15.2	10.5	3.2	0.6	C		○		1			1					F	チャート22	53との接合		Ⅶ層	40.718
	8H-23	9	剥片	15.3	15.1	6.0	0.7	H		○										F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.816
	8H-23	10	剥片	20.4	25.0	7.5	3.7	H		○		1		1						F	ホルンフェルス			Ⅶ層	40.719
第106図98	8H-23	11	剥片	21.3	23.2	5.3	2.5	C		○		1			1					H	チャート13	96＋97＋99との接合		Ⅸ層	40.691
	8H-23	12	剥片	41.3	25.6	14.1	11.9	C		○				1							流紋岩			Ⅸ層	40.699
第106図97	8H-23	13	砕片	13.7	14.1	3.7	0.8	H													チャート13	96＋98＋99との接合		Ⅶ層	40.735
	8H-23	14	剥片	18.9	18.4	11.0	3.9	H		○		1			1					H	安山岩A			Ⅶ層	40.710
第99図72	8H-23	15	剥片	22.8	14.7	7.8	2.7	H		○		1								F	チャート17	70＋71との接合		Ⅵ層	40.949
	8H-23	16	剥片	24.9	18.9	8.7	6.1	H				1		1						H	チャート			Ⅵ層	40.822
	8H-23	17	砕片	10.3	14.7	3.0	0.5														チャート			Ⅶ層	40.773
	8H-23	18	砕片	13.2	10.7	4.3	0.7														安山岩B			Ⅶ層	40.704
	8H-23	19	剥片	20.4	22.8	6.9	3.4	C		○										S	メノウ			Ⅶ層	40.772
	8H-23	20	剥片	17.7	8.7	8.6	1.7	P		○					2					H	チャート			Ⅵ層	40.953
	8H-23	21	剥片	21.6	20.3	10.3	4.8	H		○		2	2							F	チャート			Ⅶ層	40.771
第91図23	8H-23	22	剥片	36.4	24.8	13.8	11.0	H	○	○		3								F	チャート			Ⅵ層	40.992
第88図 2	8H-23	23	磨製石斧	43.8	40.2	15.6	34.7														蛇紋岩			Ⅵ層	40.886
第92図42	8H-23	24	石核	26.1	34.7	12.9	8.9														珪質頁岩			Ⅸ層	40.570
	8H-23	25	砕片	10.7	10.5	2.3	0.3														安山岩A			Ⅶ層	40.711
第99図71	8H-23	26	楔形石器	22.0	27.5	11.4	6.3	C		○										S	チャート17	70＋72との接合		Ⅹ層	40.447
	8H-23	27	剥片	13.8	25.7	7.0	3.1	H		○					1					F	メノウ			Ⅵ層	40.916
	8H-23	28	砕片	10.2	10.8	2.1	0.2														砂岩			Ⅵ層	41.000
第99図17	8H-23	29	楔形石器	39.7	30.5	10.2	12.9														珪質頁岩			Ⅹ層下	40.362

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	8H-23	30	剥片	15.1	17.8	4.1	1.1	H		○		2								F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.670
	8H-23	31	剥片	20.6	25.5	5.6	3.2	C		○										F	砂岩			Ⅵ層	40.814
	8H-23	32	砕片	8.7	14.3	3.5	0.4														チャート			Ⅸ層	40.673
第91図29	8H-23	33	剥片	28.1	27.8	8.6	6.6	H	○	○		2								F	チャート			Ⅸ層	40.581
第92図40	8H-23	34	剥片	38.3	17.2	10.3	5.6	H				2		1	1					F	安山岩			Ⅷ層	40.785
第92図37	8H-23	35	石核	41.4	21.1	13.0	12.4														チャート			Ⅹ層	40.419
	8H-23	36	剥片	18.3	12.6	4.9	0.8	−	−	○									R	F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.826
	8H-23	37	剥片	14.8	19.6	4.6	1.1	H		○		1								F	チャート			Ⅵ層	40.897
第94図52	8H-23	38	原石	56.6	51.6	26.4	103.5														メノウ			Ⅸ層	40.558
	8H-23	39	剥片	15.5	22.4	4.4	1.5	−	−	○										S	安山岩B			Ⅸ層	40.526
	8H-23	40	剥片	14.2	15.4	6.5	1.1	C		○		2	1	1						F	チャート			Ⅸ層	40.511
第90図22	8H-23	46	剥片	16.5	28.5	5.4	1.8	C	C			1								F	砂岩			Ⅸ層	40.525
	8H-23	50	剥片	22.0	50.6	11.9	16.8	H		○		1								F	流紋岩			Ⅶ層	40.727
第90図21	8H-23	51	石核	31.3	41.7	22.4	38.6														砂岩			Ⅸ層	40.555
第90図16	8H-23	53	楔形石器	38.3	33.4	9.9	16.6														チャート			Ⅸ層	40.548
第105図94	8H-23	54	剥片	33.7	23.9	10.9	8.8														チャート21	92＋93＋95との接合		Ⅸ層	40.601
第90図14	8H-23	55	石核	28.2	31.2	13.5	9.9														珪質頁岩			Ⅸ層	40.612
第89図11	8H-23	56	剥片	33.4	31.6	13.2	10.2														珪質頁岩			Ⅹ層	40.458
	8H-23	57	剥片	17.9	23.5	6.5	2.8														チャート			Ⅶ層	40.764
第93図44	8H-23	58	敲石	74.9	62.3	30.9	191.4														チャート			Ⅸ層	40.529
	8H-23	59	剥片	18.0	9.4	10.6	1.7														チャート			Ⅸ層	40.584
	8H-23	60	剥片	19.2	10.4	3.2	0.6														凝灰岩			Ⅸ層	40.525
第93図48	8H-23	61	石核	38.2	46.2	19.8	39.7														流紋岩			Ⅸ層	40.545
第105図93	8H-23	62	剥片	22.7	16.2	11.7	5.0													F	チャート21	92＋94＋95との接合		Ⅹ層	40.499
第100図76	8H-23	63	石核	49.5	59.1	26.3	96.3														チャート23	77との接合		Ⅸ層	40.535
第95図55	8H-23	64	剥片	28.3	26.3	16.6	12.1													F	チャート12	56＋57＋58との接合		Ⅹ層	40.472
第89図 9	8H-23	65	剥片	28.8	21.8	9.1	4.6													F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.574
	8H-23	66	剥片	21.5	14.0	7.0	1.5	P				2		3	1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.580
	8H-23	67	砕片	12.8	10.6	1.6	0.2														珪質頁岩			Ⅸ層	40.618
第102図84	8H-23	68	剥片	19.3	28.4	5.8	2.7	H		○		2		1						F	チャート24	82＋83との接合		Ⅸ層	40.614
第101図81	8H-23	69	石核	31.8	27.5	17.2	21.9														安山岩A 2	80との接合		Ⅸ層	40.654
	8H-23	70	砕片	12.7	12.9	4.1	0.8														チャート			Ⅹ層下	40.388
	8H-23	71	砕片	9.8	11.9	2.8	0.3														チャート			Ⅸ層	40.578
第105図92	8H-23	72	剥片	14.2	21.5	5.9	1.7	−	−	○										F	チャート21	93＋94＋95との接合		Ⅸ層	40.561
	8H-23	73	剥片	27.5	16.0	6.5	3.3	C		○										F	チャート			Ⅸ層	40.591
	8H-23	74	砕片	9.5	11.2	3.7	0.3														安山岩A			Ⅹ層	40.461
	8H-23	75	剥片	16.0	18.4	4.3	1.3	−	−			2								F	チャート			Ⅹ層	40.455
	8H-23	76	剥片	13.2	24.0	5.2	1.3	H		○		1								F	安山岩A			Ⅷ層	40.694
	8H-23	77	剥片	20.5	15.2	6.1	1.7	H		○		2		1					L	F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.592
第96図62	8H-23	78	石核	41.8	38.9	16.8	29.5														メノウ3	63との接合		Ⅸ層	40.591
第101図80	8H-23	79	剥片	20.0	19.1	12.3	5.1	H		○									L	F	安山岩A 2	81との接合		Ⅹ層	40.481
	8H-23	81	剥片	13.0	18.8	5.4	1.4	H				2								H	メノウ			Ⅹ層	40.466
第102図82	8H-23	82	石核	39.2	67.8	21.2	62.6														チャート24	83＋84との接合		Ⅸ層	40.535
	8H-23	83	剥片	29.2	24.8	11.9	5.7	H	○	○		2		1						F	チャート			Ⅸ層	40.571
	8H-23	84	剥片	24.2	23.3	6.1	4.2	C		○										H	安山岩A			Ⅹ層	40.403
第95図56	8H-23	85	剥片	24.0	22.7	15.6	5.4	C		○										F	チャート12	55＋57＋58との接合		Ⅹ層下	40.398
	8H-23	86	砕片	14.7	12.0	5.0	0.9														チャート			Ⅹ層下	40.395
	8H-23	87	剥片	41.2	24.8	5.2	4.8	−	−	○		1		2					L	F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.400
	8H-23	88	剥片	17.2	20.0	8.4	2.6	L		○		2								F	チャート			Ⅸ層	40.605
第99図18	8H-23	89	石核	31.9	46.7	13.1	18.9														チャート			Ⅹ層	40.448
第102図83	8H-23	90	剥片	14.1	22.9	4.7	1.8	C				2								F	チャート24	82＋83との接合		Ⅹ層	40.492
	8H-23	91	剥片	10.1	24.7	9.0	1.7	2												S	珪質頁岩			Ⅹ層	40.449
	8H-23	92	砕片	12.9	8.1	3.7	0.4														チャート			Ⅹ層	40.455
	8H-23	93	砕片	10.7	13.7	2.4	0.4														チャート			Ⅹ層	40.439
第88図 4	8H-23	94	剥片	27.6	10.3	7.2	1.5	H	○	○		3								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.602
第100図73	8H-23	95	石核	35.8	36.2	17.4	19.1														チャート15	74＋75との接合		Ⅸ層	40.564
第104図91	8H-23	96	石核	56.4	60.5	27.2	106.6														チャート41	90＋(9)25ブロック＋(2)26ブロックとの接合		Ⅸ層	40.595
	8H-23	97	剥片	13.6	19.6	6.4	1.5	−		○			1							F	流紋岩			Ⅹ層	40.426
	8H-23	98	剥片	20.4	23.6	6.1	3.0	H		○		2			1					F	凝灰岩			Ⅹ層	40.469
	8H-23	99	剥片	22.8	20.4	6.2	2.1	P		○		3			2					H	安山岩A			Ⅹ層	40.435
	8H-23	100	剥片	19.3	18.6	4.2	1.4	C												F	安山岩B			Ⅹ層	40.478
第96図60	8H-23	102	剥片	27.5	18.0	8.6	2.9	C		○										F	チャート14	59＋61との接合		Ⅸ層	40.518
	8H-23	103	砕片	4.6	10.0	4.8	0.2														チャート			Ⅸ層	40.550
	8H-23	104	剥片	22.7	16.5	6.0	2.3	H		○					2	1					チャート			Ⅹ層	40.472
	8H-23	105	砕片	9.6	10.4	4.1	0.5														凝灰岩			Ⅹ層	40.412
	8H-23	106	剥片	15.7	12.0	3.3	0.6	H		○		2			1					F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.488
	8H-23	107a	剥片	22.6	26.6	13.1	5.7	H		○		1			1					F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.448
	8H-23	107b	剥片	18.4	10.8	5.8	0.9	L		○		2								F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.448
	8H-23	108	剥片	20.6	10.2	4.0	0.8														砂岩			Ⅹ層	40.459
	8H-23	109	剥片	24.2	15.3	3.4	1.0	C		○									L	F	チャート			Ⅹ層	40.539
	8H-23	110	剥片	15.4	11.5	3.3	0.7	C				1								F	メノウ			Ⅹ層	40.475
第100図77	8H-23	111	剥片	24.6	26.3	10.8	8.2	H		○				1				1		F	チャート23	76との接合		Ⅹ層	40.479
	8H-23	112	砕片	10.5	7.0	7.2	0.4														安山岩B			Ⅹ層	40.574
	8H-23	113	剥片	15.6	18.5	4.9	1.3	C		○										F	メノウ			Ⅷ層	40.770
	8H-23	114	剥片	19.1	18.6	4.3	1.3	H		○										F	凝灰岩			Ⅹ層	40.496
第104図90	8H-23	115	剥片	18.5	23.2	7.0	2.7	H		○		1		1							チャート41	91＋(9)25ブロック＋(2)26ブロックとの接合		Ⅹ層	40.462
第91図24	8H-23	116	石核	30.4	29.8	9.4	7.8														チャート			Ⅹ層	40.489
	8H-23	117	剥片	12.4	17.8	3.0	0.6	−	−											F	チャート			Ⅹ層	40.413
	8H-23	118	砕片	12.7	6.9	4.7	0.2														砂岩			Ⅹ層	40.408
	8H-23	119	砕片	6.1	10.1	1.5	0.1														メノウ			Ⅹ層	40.458
	8H-23	120	剥片	22.5	17.5	5.5	2.2	H	○	○		1								H	チャート			Ⅹ層	40.469
	8H-23	121	剥片	16.1	12.1	6.5	1.2	C	○			2			1					H	チャート			Ⅹ層	40.404
第91図27	8H-23	122	剥片	32.7	18.7	8.6	6.4	H		○		2		1		2				H	メノウ			Ⅹ層	40.444
第91図31	8H-23	123	剥片	27.5	19.8	15.8	7.7	H		○		1			1					F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.465
	8H-23	124	砕片	12.4	12.6	6.9	0.7														ホルンフェルス			Ⅹ層	40.475
	8H-23	125	砕片	14.4	14.0	3.3	0.8														チャート			Ⅹ層	40.424
	8H-23	126	砕片	11.1	14.6	5.2	0.8														チャート			Ⅹ層	40.445
	8H-23	127	砕片	8.9	12.0	2.5	0.3														チャート			Ⅹ層	40.408
	8H-23	128	剥片	15.7	10.9	3.8	0.6	H		○					1						安山岩A			Ⅹ層	40.404
第93図47	8H-23	129	石核	24.3	33.4	10.8	10.2														安山岩B			Ⅹ層下	40.390
第88図 5	8H-23	131	剥片	32.2	39.2	8.5	5.8	H		○		1									砂岩			Ⅹ層下	40.350
	8H-23	132	剥片	18.7	14.3	5.1	1.1	P		○									L	F	チャート			Ⅹ層下	40.303
	8H-23	133	剥片	15.5	10.9	7.0	0.8	H				1		1						F	チャート			Ⅹ層下	40.327
第89図 8	8H-23	135	U・剥片	17.9	23.4	5.8	2.0	H		○								B		F	流紋岩			Ⅹ層下	40.352
	8H-23	136	砕片	11.8	8.0	2.5	0.2														安山岩A			Ⅹ層下	40.348
	8H-23	137	剥片	12.6	16.2	6.5	1.0	H		○										F	流紋岩			Ⅹ層下	40.346
	8H-23	138	砕片	7.5	9.2	3.2	0.2														珪質頁岩			Ⅹ層下	40.351
第94図50	8H-23	139	石核	73.0	55.1	19.4	110.7														砂岩7	51と接合		Ⅹ層下	40.335
第94図51	8H-23	140	砕片	13.2	10.7	2.8	0.5														砂岩7	50と接合		Ⅹ層下	40.356
第91図32	8H-23	141	剥片	24.1	23.7	5.5	3.5	H				1	2		1					H	ホルンフェルス			Ⅹ層下	40.322
	8H-23	142	剥片	19.6	14.5	2.1	0.6	P		○										F	チャート			Ⅹ層下	40.339
	8H-23	143	剥片	19.4	21.5	4.1	1.7	C		○										F	チャート			Ⅹ層下	40.323
	8H-23	144	砕片	9.7	8.6	4.3	0.5														チャート			Ⅹ層下	40.361
	8H-23	145	砕片	11.9	7.6	6.0	0.7														チャート			Ⅹ層下	40.363
	8H-23	146	剥片	16.9	20.9	4.6	1.7	C		○		1	1							F	チャート			Ⅹ層下	40.380
第91図34	8H-23	147	剥片	23.2	11.8	4.9	1.2	C	○	○		3								F	メノウ			Ⅹ層下	40.328
	8H-23	148	剥片	17.7	8.0	6.9	0.9	P		○		2								F	安山岩A			Ⅹ層下	40.335
第91図33	8H-23	149	R・剥片	20.8	31.0	7.2	3.9	H	○	○		1		2						F	流紋岩			Ⅹ層下	40.284
	8H-23	150	砕片	8.7	5.1	1.6	0.1														チャート			Ⅹ層下	40.261
	8H-23	151	砕片	7.8	7.7	3.2	0.2														チャート			Ⅹ層下	40.287
	8H-23	152	砕片	8.2	7.7	1.9	0.2														メノウ			Ⅹ層下	40.288
	8H-23	153	砕片	11.8	9.5	2.4	0.3														メノウ			Ⅹ層下	40.321
	8H-23	154	砕片	12.5	14.6	3.2	0.6														チャート			Ⅹ層下	40.291
	8H-23	155	砕片	13.8	14.5	6.7	1.0														チャート			Ⅹ層下	40.216
	8H-23	156	剥片	20.0	30.2	12.6	8.5	H		○										F	チャート			Ⅹ層下	40.261
第100図74	8H-23	157	石核	23.8	22.4	13.2	6.4														チャート15	73＋75との接合		Ⅹ層下	40.266
	8H-23	158	砕片	8.7	11.1	1.8	0.2														チャート			Ⅹ層下	40.257
第98図67	8H-23	159	石核	32.2	46.7	27.8	45.3														砂岩6	(35)16ブロックとの接合		Ⅹ層下	40.235

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	8H-23	160	砕片	13.5	7.3	2.3	0.3														安山岩A				X層下	40.240
	8H-23	161	砕片	9.5	6.6	1.9	0.1														メノウ				X層下	40.252
	8H-23	162	砕片	13.3	6.6	4.7	0.2														チャート				X層下	40.239
	8H-23	163	砕片	17.3	10.2	5.9	0.9	H		○											流紋岩				X層下	40.253
	8H-23	164	砕片	10.4	8.2	3.2	0.3														流紋岩				X層下	40.245
	8H-23	165	石核	27.9	21.5	16.2	7.9														珪質頁岩				X層下	40.235
第103図89	8H-23	166	剥片	33.8	37.2	14.9	15.6	−	−	○	2		1							F	安山岩A				X層下	40.232
	8H-23	2a	礫	19.4	15.9	6.7	3.2														チャート					40.684
	8H-23	2b	礫	21.5	15.8	5.3	2.8														チャート					40.684
第91図28	8H-23	3	楔形石器	32.5	17.0	7.2	4.0														珪質頁岩					40.665
第88図3	8H-23	5	剥片	54.3	45.8	12.1	30.4	C		○					1					F	流紋岩					40.550

第18表　旧石器時代　第18ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第113図35	8H-23	41	剥片	37.8	25.8	12.8	14.4	H		○										F	砂岩8	(40)28ブロックとの接合		Ⅶ層	40.739
	8H-23	42	剥片	16.6	17.6	6.2	1.8	H		○									R	F	チャート			Ⅶ層	40.784
第111図26	8H-23	43	剥片	25.0	52.7	12.0	16.8	C		○										H	砂岩9	27との接合		Ⅸ層	40.598
第108図2	8H-23	44	U・剥片	28.8	22.8	6.9	3.4	H	○	○		1			1					F	チャート			Ⅸ層	40.654
	8H-23	45	剥片	16.1	21.9	4.5	1.4	C		○					1				L	F	砂岩			Ⅵ層	40.932
	8H-23	46	剥片				2.9	C		○		1							R	H	砂岩			Ⅸ層	40.545
	8H-23	47	剥片	15.8	12.0	4.5	0.7	C		○		1							L	F	砂岩			Ⅵ層	40952
	8H-23	48	剥片	11.7	20.3	4.3	1.1	C				1							L、R	F	砂岩			Ⅶ層	40.792
第111図29	8H-23	49	剥片	35.7	26.8	11.5	13.0	2	○	○		2			1					F	チャート25	28との接合		Ⅹ層	40.467
	8H-23	130	礫	10.8	8.7	6.0	6.6														チャート			Ⅹ層	40.428
	8H-23	131	剥片				11.2	C		○				2						S	砂岩			Ⅹ層	40.429
第111図28	8H-24	2	剥片	21.3	29.3	5.0	4.5	C		○											チャート25	29との接合		Ⅸ層	40.573
第113図6	8H-24	3	楔形石器	16.2	16.7	8.6	2.7														安山岩A			Ⅸ層	40.512
第113図34	8H-24	5	礫	27.0	28.1	23.3	15.7														チャート19	(64)17ブロックとの接合		Ⅶ層	40.739
	8H-24	6	剥片	22.7	8.2	4.8	0.9	H		○											チャート			Ⅶ層	40.734
第108図10	8H-24	7	剥片	22.7	18.0	5.9	2.6	H		○		1	1	2							安山岩A			Ⅶ層	40.735
	8H-32	6	礫	14.2	14.1	6.0	1.6														珪質頁岩			Ⅹ層	40.485
	8H-32	7	剥片	10.1	16.9	4.5	0.6	−	−	○		1							M		安山岩B			Ⅸ層	40.518
	8H-32	8	砕片	10.9	13.8	4.1	0.5														珪質頁岩			Ⅸ層	40.579
	8H-33	2	剥片	21.3	26.3	6.2	3.3	C		○									L	F	砂岩			Ⅵ層	40.866
第110図21	8H-33	3	剥片	50.0	39.2	7.7	17.5	L	P L	○		3	1	1	2					S	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.591
	8H-33	4a	砕片	29.6	16.3	5.2	2.8	C		○					1					F	砂岩			Ⅸ層	40.585
	8H-33	4b	砕片	7.5	8.8	3.5	0.2														安山岩B			Ⅸ層	40.585
	8H-33	5	剥片	20.2	25.9	4.6	1.7	L		○		2								F	砂岩			Ⅶ層	40.791
	8H-33	6	剥片	23.5	23.0	4.9	2.2	H		○		1								F	安山岩A			Ⅶ層	40.769
	8H-33	7	剥片	15.8	15.3	4.7	1.3	C		○									L	F	チャート			Ⅶ層	40.736
	8H-33	8	剥片	23.1	9.0	4.0	0.5	C		○				1					L	H	砂岩			Ⅸ層	40.664
	8H-33	9	剥片	21.7	29.4	5.0	2.3	H		○		2								F	安山岩A			Ⅵ層	40.822
	8H-33	10	剥片	17.6	15.7	3.9	1.0	H						2						H	安山岩B			Ⅸ層	40.658
	8H-33	11	剥片	23.3	21.8	7.4	1.5	H				2		1	2					F	安山岩B			Ⅸ層	40.613
	8H-33	12	砕片	12.6	14.5	2.1	0.4														安山岩A			Ⅸ層	40.581
第112図33	8H-33	13	石核	31.8	34.6	15.3	19.1														チャート26	32との接合		Ⅸ層	40.585
第110図24	8H-33	14	剥片	44.0	32.0	15.5	27.0	C		○										F	チャート27	25との接合		Ⅸ層	40.599
	8H-33	15	剥片	24.0	14.7	5.7	1.7	H		○									L	F	安山岩A			Ⅸ層	40.553
第108図8	8H-33	16	石核	48.5	72.5	20.5	65.6														チャート			Ⅸ層	40.619
	8H-33	17	砕片	9.2	14.5	5.1	0.4														安山岩A			Ⅸ層	40.665
	8H-33	18	砕片	9.9	12.4	3.4	0.4														安山岩A			Ⅵ層	41.004
	8H-33	19	剥片	20.9	11.4	6.9	1.5	H		○				2	1				B	−	砂岩			Ⅸ層	40.681
	8H-33	20	剥片	17.0	11.1	5.3	1.1	H	○			1		1	1				B	−	安山岩A			Ⅵ層	40.887
	8H-33	21	剥片	25.5	28.7	6.1	3.4	H		○		1		2						F	安山岩A			Ⅸ層	40.558
	8H-33	22	剥片	23.3	19.1	6.0	2.0	−	−			2		1	2					F	ホルンフェルス			Ⅹ層	40.485
第109図14	8H-33	23	原石	41.2	44.7	17.4	44.9														チャート			Ⅸ層	40.669
	8H-33	24	剥片	19.1	18.7	7.5	1.7	H		○					1					F	安山岩B			Ⅵ層	40.930
第108図7	8H-33	25	台形石器	29.4	20.0	4.9	3.4														珪質頁岩			Ⅵ層	40.923
第108図11	8H-33	26	剥片	29.1	21.5	7.2	4.6	H	○	○		3								H	安山岩A			Ⅶ層	40.708
	8H-33	27	剥片	14.0	17.9	2.5	0.6	C		○										F	砂岩			Ⅸ層	40.609
第108図4	8H-33	28	ナイフ形石器	40.6	16.7	7.4	4.1														チャート			Ⅸ層	40.596
第109図18	8H-33	29	剥片	21.2	27.2	11.6	5.9	3		○		2								S	砂岩			Ⅶ層	40.719
第109図13	8H-33	30	剥片	29.2	22.0	14.2	11.6	2	○	○										F	安山岩A			Ⅹ層	40.470
第111図31	8H-33	31	石核	31.4	45.7	13.0	24.9														安山岩A 3	30との接合		Ⅶ層	40.757
第111図30	8H-33	32	剥片	15.3	20.2	5.1	1.3	H		○				1						F	安山岩A 3	31との接合		Ⅶ層	40.755
第109図16	8H-33	33	剥片	20.3	50.3	7.4	7.7	L				4			2					F	安山岩A			Ⅸ層	40.658
第108図5	8H-33	34	楔形石器	27.9	22.4	10.3	8.7														安山岩A			Ⅸ層	40.531
	8H-33	35	剥片	17.0	11.0	6.4	0.8	H		○		2		1						F	安山岩B			Ⅶ層	40.716
	8H-33	36	剥片	18.7	6.3	5.5	1.5	H		○										S	安山岩B			Ⅵ層	40.814
第109図15	8H-33	37	剥片	34.4	40.6	8.8	11.1	2		○										F	安山岩A			Ⅵ層	40.842
第109図20	8H-33	38	剥片	29.7	41.4	9.1	16.0	C		○			1							H	チャート			Ⅵ層	40.818
第109図17	8H-33	39	石核	32.4	51.7	19.1	41.6														砂岩			Ⅸ層	40.651
	8H-33	40	砕片	14.8	14.7	2.7	0.6														安山岩A			Ⅹ層下	40.347
	8H-33	41	剥片	17.8	32.3	6.5	3.9	C		○										F	安山岩B			Ⅸ層	40.581
第108図9	8H-33	42	剥片	20.6	26.0	10.7	4.5	C						3						F	安山岩A			Ⅸ層	40.591
	8H-34	1	剥片	14.4	24.2	8.2	2.7	2											B	−	チャート		クラム		
第109図12	8H-34	2	石核	42.2	47.4	20.3	54.2														安山岩			Ⅸ層	40.504
	8H-34	3	剥片	19.9	9.8	2.4	0.5	−	−										H		ホルンフェルス			Ⅵ層	40.872
第110図25	8H-34	4	石核	47.2	54.2	27.4	86.3														チャート27	24との接合		Ⅸ層	40.584
第111図27	8H-34	5	石核	51.5	50.7	23.5	91.9														砂岩9	26との接合		Ⅸ層	40.511
第108図3	8H-34	7	R・剥片	31.7	20.0	7.2	4.4	H		○		2							B	−	メノウ			Ⅹ層	40.470
第109図19	8H-34	8	剥片	33.8	44.2	12.9	16.9	2	○			4		2	2						ホルンフェルス			Ⅹ層	40.455
	8H-34	9	剥片	18.4	23.5	6.6	3.9	H		○		1		1						H	安山岩A			Ⅸ層	40.555
第112図32	8H-34	10	剥片	13.3	15.1	4.1	0.6	C		○		2	1		1					F	チャート26	33との接合		Ⅸ層	40.625
	8H-34	11	剥片	32.6	20.8	9.1	4.8	−	−	○		3								F	安山岩A			Ⅸ層	40.620
	8H-34	12	剥片	14.6	19.1	4.3	1.5	C		○				1						F	チャート			Ⅸ層	40.633
第110図22	8H-34	13	剥片	29.1	29.7	11.5	11.0	2					2							F	安山岩A			Ⅸ層	40.672
第110図23	8H-34	14	剥片	22.1	27.0	7.2	5.1	H				3		1			1			F	安山岩A			Ⅹ層	40.399
第108図1	8H-14	2	石核	50.9	54.9	18.3	78.0														安山岩			Ⅸ層	40.516
	8H-15	2	礫	22.1	8.8	5.6	1.0														凝灰岩			Ⅸ層	40.606

第19表　旧石器時代　第19ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	8H-42	6	剥片	15.5	20.1	2.7	0.9	C		○										F	ホルンフェルス			Ⅶ層	40.615
																					珪質頁岩		クラム		
第122図29	8H-43	1	石核	22.5	28.5	10.2	7.5														チャート			Ⅶ層	40.799
第119図 6	8H-43	6	石核	32.9	36.7	18.3	26.3														流紋岩			Ⅷ層	40.609
第122図25	8H-43	7	ナイフ形石器	40.9	22.3	9.2	6.7														安山岩A			Ⅸ層	40.531
	8H-43	8	砕片	4.8	10.5	1.6	0.1														砂岩10	67～75＋77～79との接合		Ⅷ層	40.695
第131図76	8H-43	9	剥片	21.4	25.4	9.0	5.1	H		○			1	1						F	チャート			Ⅷ層	40.721
第119図 4	8H-43	10	R・剥片	10.3	23.1	6.6	2.8	L	○	○		2						B		F	石英			Ⅷ層	40.683
第121図16	8H-43	11	石核	40.9	55.6	14.3	36.3														ホルンフェルス			Ⅵ層	40.940
	8H-43	12	剥片	15.3	21.7	4.0	1.3	H				1			1					H	チャート33	92～94との接合		Ⅷ層	40.662
第133図91	8H-43	13	剥片	38.2	29.5	12.6	12.4	H												F	砂岩10	67～74＋76～79との接合		Ⅷ層	40.665
第131図75	8H-43	14	剥片	17.8	13.7	4.7	1.1	C													チャート30	55との接合		Ⅵ層	40.852
第126図54	8H-43	17	剥片	27.0	18.2	11.5	7.0	H											R	F	安山岩B			Ⅷ層	40.747
	8H-43	18	剥片	21.2	15.3	3.1	0.9													F	ホルンフェルス			Ⅵ層	40.813
第121図20	8H-43	19	剥片	18.1	24.6	4.9	2.6	H				2		2						F	メノウ			Ⅵ層	40.858
	8H-43	20	剥片	12.3	18.1	6.5	0.8	H												F	ホルンフェルス			Ⅵ層	40.858
	8H-43	21	剥片	18.4	24.5	3.8	1.5	L		○		1		2						F	チャート30	54との接合		Ⅵ層	40.875
	8H-43	22	剥片	28.0	27.7	11.8	14.1	H		○									L	F	ホルンフェルス			Ⅵ層	40.821
	8H-43	23	剥片	19.0	18.1	4.2	1.2	P		○		2								F	チャート28	36との接合		Ⅵ層	40.929
第123図35	8H-43	24	石核	26.2	34.5	15.3	14.8														ホルンフェルス			Ⅵ層	40.799
	8H-43	25	剥片	14.8	18.7	2.5	0.8	L		○		1									チャート			Ⅵ層	40.806
第125図46	8H-43	26	R・剥片	32.1	38.0	8.4	9.2	H	○	○		1						B		H	ホルンフェルス3	81～90との接合		Ⅸ層	40.551
第132図80	8H-43	27	石核	56.2	34.1	17.2	39.5														チャート32	60＋61＋63との接合		Ⅸ層	40.561
第128図62	8H-43	28	石核	37.0	33.3	12.1	52.9														チャート32	61＋62＋63との接合		Ⅸ層	40.561
第128図60	8H-43	28	剥片	36.5	34.5	12.5	27.6														チャート			Ⅸ層	40.565
	8H-43	29	剥片	17.4	19.6	5.0	1.3	C			○		1		1					F	安山岩A			Ⅷ層	40.637
第120図11	8H-43	41	石核	42.2	50.7	12.1	30.9														砂岩			Ⅷ層	40.874
	8H-43	42	剥片	22.0	24.0	4.6	2.6	P	○	○		3			1					F	チャート34	95＋(27～29)19ブロックとの接合		Ⅷ層	40.811
第133図95	8H-43	43	剥片	29.7	29.4	17.3	9.9	C				3									砂岩			Ⅷ層	40.657
	8H-43	44	砕片	12.5	9.7	3.3	0.5													S	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.675
	8H-43	45	剥片	19.0	16.5	4.3	1.5	H				1			1					F	ホルンフェルス3	80～82＋84～90との接合		Ⅷ層	40.681
第132図83	8H-43	46	剥片	21.2	28.0	7.0	4.5	H		○					1					F	凝灰岩			Ⅵ層	40.921
	8H-43	47	剥片	14.6	26.1	3.8	1.4	C		○										S	チャート			Ⅷ層	40.759
	8H-43	48	剥片	6.9	15.5	5.0	0.5	−	−			1			1				B		珪質頁岩			Ⅷ層	40.772
	8H-43	49	剥片	11.5	22.3	4.2	1.0	P				3	1	1							ホルンフェルス			Ⅷ層	40.719
第122図23	8H-43	50	台形石器	25.0	34.9	8.8	7.7														チャート			Ⅷ層	40.718
	8H-43	51	砕片	13.2	7.4	3.5	0.4														砂岩			Ⅸ層	40.574
第120図15	8H-43	52	剥片	59.3	36.8	13.3	31.5	H		○									B	−	ホルンフェルス3	80～88＋90との接合		Ⅸ層	40.570
第132図89	8H-43	53	剥片	27.2	23.8	7.3	9.3	H		○										F	チャート31	59との接合		Ⅷ層	40.788
第127図58	8H-43	54	剥片	24.3	34.9	9.3	7.5	C		○		2								S	チャート33	91～93との接合		Ⅵ層	40.862
第133図94	8H-43	55	剥片	34.8	21.2	14.7	11.9	C		○		1								F	珪質頁岩9	56との接合		Ⅷ層	40.795
第127図57	8H-43	56	石核	33.4	23.9	16.1	12.1			○										F	珪質頁岩9	57との接合		Ⅷ層	40.825
第127図56	8H-43	57	R・剥片	30.5	14.6	10.0	5.3	−	−	○		1						B		F	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.811
	8H-43	58	剥片	16.3	12.8	3.0	0.4	H		○		1								O	砂岩10	67～78との接合		Ⅵ層	40.851
第131図79	8H-43	59	剥片	20.0	23.8	7.0	3.3	L		○		1									凝灰岩			Ⅵ層	40.860
	8H-43	60	砕片	6.5	9.2	1.3	0.1							1						F	チャート33	91＋93＋94との接合		Ⅵ層	40.852
第133図92	8H-43	61	剥片	35.8	41.6	8.9	13.4	C		○											砂岩11	65＋66との接合		Ⅸ層	40.611
第129図64	8H-43	62	石核	30.7	70.7	43.9	89.0														凝灰岩			Ⅸ層	40.605
第129図19	8H-43	63	石核	63.9	49.4	22.0	84.2														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.639
第119図 1	8H-43	64	石核	86.3	64.2	34.8	202.0														砂岩11	64＋66との接合		Ⅸ層	40.639
第129図65	8H-43	65	石核	78.7	60.4	29.1	161.0														砂岩10	67～69＋71～79との接合		Ⅸ層	40.670
第131図70	8H-43	66	砕片	9.4	13.7	3.9	0.5														安山岩A			Ⅸ層	40.502
	8H-43	67	砕片	7.6	11.8	2.5	0.2													F	メノウ			Ⅸ層	40.576
	8H-43	68	剥片	15.9	12.7	5.1	0.8	H		○				1							凝灰岩			Ⅸ層	40.649
	8H-43	69	砕片	12.3	10.8	3.2	0.4														流紋岩			Ⅷ層	40.711
第122図26	8H-43	70	ナイフ形石器	30.2	17.4	7.4	2.9														安山岩A			Ⅸ層	40.649
第120図 9	8H-43	71	剥片	31.4	18.1	5.1	2.8	H				1								F	チャート			Ⅸ層	40.601
第125図50	8H-43	72	剥片	26.9	25.8	8.5	5.2	P		○		2								H	安山岩B			Ⅷ層	40.732
第120図14	8H-43	73	石核	21.5	33.8	18.8	13.2														チャート			Ⅳ～Ⅴ層	41.081
	8H-43	74	砕片	14.8	9.8	3.4	0.5														砂岩11	64＋65との接合		Ⅶ層	40.793
第130図66	8H-43	75	剥片	34.0	40.5	22.0	24.8	H		○		1									砂岩10	67～72＋74～79との接合		Ⅷ層	40.786
第131図73	8H-43	76	剥片	18.7	27.2	6.6	2.8	H		○					1						珪質頁岩			Ⅵ層	40.949
	8H-43	77	剥片	17.8	16.4	5.7	1.6	H		○		1			1					F	チャート			Ⅵ層	40.907
	8H-43	78	砕片	4.6	11.1	2.7	1.2													H	砂岩			Ⅸ層	40.577
	8H-43	79	剥片	22.3	26.2	4.0	2.2	C		○											安山岩B			Ⅵ層	40.838
	8H-43	80	剥片	19.5	6.2	5.8	2.4	H		○		2				1			L M、R	F	石英			Ⅸ層	40.679
	8H-43	82	剥片	17.1	11.2	4.3	0.9	C		○		2							B	−	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.681
第122図24	8H-43	83	剥片	23.8	44.1	8.6	6.9	7				2								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.667
第122図33	8H-43	84	U・剥片	14.3	19.4	6.9	1.6	−	−					1	1			L		F	チャート			Ⅸ層	40.669
	8H-43	85	砕片	12.1	8.1	2.9	0.3														ホルンフェルス			Ⅷ層	40.736
	8H-43	86	剥片	27.4	26.3	6.2	4.1	H		○		2	1		1					F	砂岩10	68～79との接合		Ⅸ層	40.602
第130図67	8H-43	87	石斧	52.2	42.8	17.7	55.2														珪質頁岩			Ⅸ層	40.622
	8H-43	88	剥片	17.2	25.4	7.7	3.2	H		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.609
第120図 8	8H-43	89	石核	31.4	38.2	22.1	36.1														安山岩A			Ⅸ層	40.594
第121図21	8H-43	90	石核	27.7	36.2	16.7	18.2														砂岩10	67～70＋72～79との接合		Ⅸ層	40.557
第131図71	8H-43	91	剥片	22.1	23.7	5.7	2.6	H		○		2		1						F	凝灰岩7	52との接合		Ⅵ層	40.845
第126図53	8H-43	92	剥片	30.3	26.0	4.7	8.1	−	−	○										F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.825
	8H-43	93	砕片	11.7	12.9	4.2	0.6														凝灰岩7	53との接合		Ⅸ層	40.579
第126図52	8H-43	94	石核	45.6	61.4	23.3	65.5													F	珪質頁岩			Ⅷ層	40.795
	8H-43	95	剥片	16.8	14.7	6.2	1.5	C		○					1						チャート29	42＋43との接合		Ⅸ層	40.593
第124図41	8H-43	96	石核	54.7	46.0	21.1	70.8														珪質頁岩			Ⅷ層	40.763
第125図49	8H-43	97	剥片	33.9	20.1	8.2	4.2	H		○		1	2							F	チャート			Ⅵ層	40.850
	8H-43	98	剥片	10.6	16.7	2.1	0.5	H	○	○		3								F	安山岩B			Ⅵ層	40.899
	8H-43	99	剥片	31.7	15.9	8.0	2.7	H		○		1								F	安山岩B			Ⅵ層	40.990
	8H-43	100	剥片	18.2	23.5	5.0	2.1	2		○		2								F	安山岩B			Ⅸ層	40.534
第120図13	8H-43	101	剥片	27.6	19.4	9.1	3.7	H		○		2			1					F	安山岩B			Ⅸ層	40.740
	8H-43	102	砕片	14.2	9.7	4.6	0.6														ホルンフェルス			Ⅷ層	40.750
	8H-43	103	剥片	16.0	8.3	4.8	0.7	H		○		1			2					F	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.569
第125図51	8H-43	104	石核	36.7	35.7	12.4	22.7														凝灰岩6	51bとの接合		Ⅸ層	40.573
	8H-43	105	剥片	21.9	23.5	5.8	1.7	H				1		1	1					F	凝灰岩			Ⅸ層	40.584
第120図10	8H-43	106	剥片	31.3	17.3	7.8	3.3	H		○		2								F	安山岩A			Ⅸ層	40.585
第123図36	8H-43	107	剥片	20.1	26.9	5.2	2.3	2		○		2								S	チャート28	35との接合		Ⅸ層	40.585
第125図47	8H-43	108	原石（石核）	29.3	39.4	13.3	23.5														チャート			Ⅸ層	40.532
第123図40	8H-43	109	石核	39.2	32.7	18.7	30.2														珪質頁岩10	37＋38＋39との接合		Ⅸ層	40.675
第123図39	8H-43	110	剥片	21.9	18.4	15.1	4.7	C		○						2	1			F	珪質頁岩10	37＋38＋40との接合		Ⅸ層	40.758
	8H-43	111	剥片	17.6	14.1	6.4	0.9	C			○	2		1							チャート			Ⅷ層	40.659
	8H-43	112	砕片	14.9	4.0	1.9	0.1														安山岩A			Ⅸ層	40.575
第123図37	8H-43	113	砕片	14.6	14.1	3.3	1.0														珪質頁岩10	38＋39＋40との接合		Ⅸ層	40.678
	8H-43	114	砕片	9.8	7.9	2.4	0.2														メノウ			Ⅸ層	40.960
	8H-43	115	剥片	19.0	13.3	2.7	0.8	H		○		2								F	凝灰岩			Ⅵ層	41.004
	8H-43	116	砕片	14.4	14.7	3.3	0.7														安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層	40.840
第125図51	8H-43	117	剥片	21.3	30.6	11.3	8.3	C		○										F	凝灰岩6	51aとの接合		Ⅵ層	40.825
第132図82	8H-43	118	剥片	17.5	18.4	5.0	1.2	H		○		2								S	ホルンフェルス3	80＋81＋83～90との接合		Ⅵ層	40.650
	8H-43	119	石核	29.8	27.6	10.9	7.4														安山岩A			Ⅸ層	40.750
第123図38	8H-43	120	剥片	18.0	16.6	8.7	1.5	H			1	1								O	珪質頁岩10	37＋39＋40との接合		Ⅷ層	40.742
	8H-43	121	剥片	23.3	12.4	4.7	1.1	H	○	○		2									珪質頁岩			Ⅷ層	40.687
第120図12	8H-43	122	石核	22.2	48.8	10.8	14.5														安山岩A			Ⅸ層	40.700
第122図30	8H-43	123	U・剥片	19.5	16.8	3.8	1.2	P	○	○		2			1					F	安山岩A			Ⅷ層	40.536
	8H-43	126	砕片	8.8	9.5	1.6	0.1														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.698
第121図17	8H-43	127	石核	31.2	30.0	12.4	12.2														チャート			Ⅸ層	40.516
第119図 3	8H-43	128	剥片	39.5	29.1	9.5	9.2	H	○			3	2	1						F	安山岩B			Ⅸ層	40.825
	8H-43	129	剥片	19.5	10.2	4.6	1.0	H				2			1					F	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.658
第131図77	8H-43	130	剥片	19.2	32.7	8.7	5.4	H				3	1	1	1					H	砂岩10	67～76＋78＋79との接合		Ⅸ層	40.550
第133図93	8H-43	131	石核	36.0	42.1	20.6	35.2														チャート33	91＋92＋94との接合		Ⅸ層	40.684
第125図45	8H-43	132	剥片	35.4	24.8	9.0	9.1	H		○		1								F	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.712
第132図90	8H-43	133	剥片	29.5	23.6	7.1	5.2	3		○		3								H	ホルンフェルス3	80～89との接合		Ⅸ層	40.652
第128図61	8H-43	134	剥片	50.5	43.2	10.1	24.5	C		○				1						S	チャート32	60＋62＋63との接合		Ⅸ層	40.589
第132図86	8H-43	135	剥片	24.3	28.3	6.5	3.3	H		○		3								F	ホルンフェルス3	80～85＋87～90との接合		Ⅸ層	

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	8H-43	136	楔形石器	24.4	27.9	9.9	4.1														安山岩B			Ⅸ層	40.677
	8H-43	137	砕片	14.3	9.4	3.5	0.6														チャート			Ⅸ層	40.677
	8H-43	138	剥片	16.9	18.0	3.3	1.0	H				2								H	砂岩			Ⅸ層	40.698
第132図88	8H-43	139	剥片	29.0	33.8	9.2	7.2	2		○		3								H	ホルンフェルス3	80～87＋89＋90との接合		Ⅶ層	40.792
	8H-43	140	剥片	22.1	15.8	5.1	1.9	H		○				1	1					F	砂岩			Ⅶ層	40.772
第124図43	8H-43	141	剥片	40.1	25.3	8.6	11.1	C		○									R	F	チャート29	41＋42との接合		Ⅷ層	40.808
第132図84	8H-43	142	剥片	37.9	25.4	9.7	8.1	H	○	○		3								F	ホルンフェルス3	80～83＋85～90との接合		Ⅷ層	40.727
第124図42	8H-43	143	楔形石器	49.5	21.8	16.3	26.1														チャート29	41＋43との接合		Ⅷ層	40.752
第119図 7	8H-43	144	石核	26.1	20.3	18.4	10.8														珪質頁岩			Ⅷ層	40.724
第122図32	8H-43	145	U・剥片	24.7	18.3	5.2	2.0	H	○			1	1	1	1			L、R		H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.649
第131図72	8H-43	146	剥片	15.3	11.0	3.4	0.7	C		○		1								H	砂岩10	67～71＋73～79との接合		Ⅶ層	40.740
第130図68	8H-43	147	剥片	29.0	30.7	4.9	4.2	H		○		1			2					F	砂岩10	67＋69～79との接合		Ⅷ層	40.726
	8H-43	148	剥片	10.3	16.1	4.7	0.7	H		○										H	安山岩A			Ⅷ層	40.739
第131図78	8H-43	149	台形石器	40.0	24.1	10.1	9.1														砂岩10	67～77＋79との接合		Ⅸ層	40.617
第132図87	8H-43	150	剥片	28.8	22.9	7.9	5.1	H				3		1						F	ホルンフェルス3	80～86＋88～90との接合		Ⅸ層	40.605
第122図28	8H-43	151	台形石器	16.8	24.7	4.0	1.6														安山岩A			Ⅸ層	40.614
	8H-43	152	剥片	19.9	20.6	8.7	3.1	N		○			1						L	F	チャート			Ⅸ層	40.574
	8H-43	153	剥片	20.8	16.1	2.9	1.0	P		○		1								F	メノウ			Ⅸ層	40.546
第128図63	8H-43	154	石核	44.1	55.9	13.5	42.1														チャート32	60＋61＋62との接合		Ⅸ層	40.616
	8H-43	155	剥片	11.0	16.0	4.5	0.5	C				1		1						F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.500
第131図74	8H-43	156	剥片	18.7	20.0	5.0	3.6	H	○	○		1								S	砂岩10	67～73＋75～79との接合		Ⅸ層	40.520
	8H-43	157	剥片	17.7	22.1	8.9	3.5	C		○		1							M	−	チャート			Ⅹ層	40.484
	8H-43	158	剥片	13.4	18.8	3.5	1.1	−	−	○		2		2						H	安山岩A			Ⅸ層	40.560
第122図22	8H-43	159	ナイフ形石器	39.2	23.4	11.7	9.9														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.501
第127図59	8H-43	160	石核	46.4	50.0	24.2	66.0														チャート31	58との接合		Ⅸ層	40.526
	8H-43	161	剥片	11.2	8.9	2.9	0.6	H		○										H	安山岩A			Ⅸ層	40.500
第121図18	8H-43	162	石核	31.9	43.4	13.7	11.3														珪質頁岩			Ⅸ層	40.661
	8H-43	163	剥片	23.9	19.5	7.7	2.9	H		○		1								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.687
第132図85	8H-43	164	剥片	24.5	19.9	6.7	3.0	H	○	○		1			1					F	ホルンフェルス3	80～84＋86～90との接合		Ⅹ層	40.473
	8H-43	165	剥片	16.4	14.5	4.7	1.2	H				2		1	1				M	−	安山岩A			Ⅸ層	40.507
第130図69	8H-43	166	剥片	25.5	32.9	5.9	4.5	H					1		1					S	砂岩10	67＋68＋70～79との接合		Ⅸ層	40.538
第125図48	8H-43	167	原石（石核）	47.1	38.5	21.7	55.1														チャート			Ⅸ層	40.646
	8H-43	168	剥片	17.0	22.1	6.3	2.2	H		○		1								F	安山岩A			Ⅹ層	40.474
第132図81	8H-43	169	剥片	10.1	21.8	3.9	0.9	C		○										H	ホルンフェルス3	80＋82～90との接合		Ⅹ層	40.471
	8H-43	170	剥片	16.7	23.1	3.7	1.1	L		○		2								F	ホルンフェルス			Ⅹ層	40.475
	8H-43	171	剥片	17.7	24.3	10.2	3.6	H		○		2								F	安山岩B			Ⅹ層	40.461
第119図 2	8H-43	172	剥片	52.3	33.4	18.2	36.5	H	○	○		5								F	ホルンフェルス			Ⅹ層	40.472
	8H-43	173	剥片	29.3	17.7	11.6	4.7	−	−	○		1							L	O	チャート			Ⅹ層	40.487
第125図44	8H-43	174	敲石	68.8	49.1	24.2	111.0														砂岩			Ⅸ層	40.604
第122図27	8H-44	2	楔形石器	27.6	20.5	6.8	5.1			○											安山岩A			Ⅶ層	40.740
	8H-44	3	剥片	23.3	8.5	6.8	1.8	C		○		4							R、B	−	チャート			Ⅵ層	40.922
	8H-44	4	剥片	16.8	26.3	4.1	1.8	H		○		1								F	砂岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.075
	8H-44	5	剥片	20.0	17.5	5.8	1.5	−	−	○		3							H	F	チャート			Ⅶ層	40.795
第119図 5	8H-44	6	剥片	28.8	15.1	5.3	2.3	P		○					1					F	安山岩B			Ⅵ層	40.830
	8H-44	7	剥片	21.0	17.0	3.5	1.1	C				2	1	2						F	安山岩B			Ⅶ層	40.745
第122図34	8H-44	8	剥片	23.0	20.9	5.2	1.9	H											R	F	珪質頁岩			Ⅶ層	40.780
第122図31	8H-44	9	楔形石器	30.4	12.9	14.7	6.1														泥岩			Ⅶ層	40.800

第20表　旧石器時代　第20ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第135図12	8H-41	2	楔形石器	39.2	17.9	10.6	6.7														チャート			Ⅵ層	40.832
	8H-41	3	原石（石核）	59.9	43.5	22.2	73.0														チャート			Ⅵ層	40.898
	8H-42	2	砕片	11.6	7.1	5.3	0.4														チャート			Ⅵ層	40.810
	8H-42	3	砕片	9.5	5.8	1.9	0.1														安山岩A			Ⅸ層	40.595
	8H-42	4	砕片	13.7	13.8	4.3	0.6														安山岩A			Ⅶ層	40.724
	8H-42	5	剥片	23.2	26.9	11.6	5.1	3	○			2		3						F	安山岩A			Ⅶ層	40.727
	8H-43	2	砕片	12.2	10.7	1.7	0.3														安山岩A			Ⅵ層	40.852
第138図19	8H-43	3	楔形石器	28.2	24.0	11.3	7.2														安山岩A			Ⅶ層	40.757
第141図33	8H-43	4	台形石器	28.9	30.7	8.2	7.4														安山岩A			Ⅶ層	40.752
	8H-43	5	剥片	17.5	19.7	8.0	1.9	H		○		1								F	凝灰岩			Ⅵ層	40.829
	8H-43	30	剥片	15.4	10.9	3.4	0.6	H				1	1	1	1					O	安山岩A			Ⅶ層	40.716
	8H-43	31	剥片	14.8	17.4	6.1	1.2	H						3	1					H	安山岩A			Ⅶ層	40.705
	8H-43	32	剥片	15.2	14.2	3.4	0.8	H		○										F	凝灰岩			Ⅶ層	40.769
	8H-43	33	剥片	15.2	18.5	3.5	1.1	C		○										F	安山岩A			Ⅶ層	40.780
第137図13	8H-43	34	剥片	20.4	30.4	8.4	4.7	2				2		1	2					F	安山岩A			Ⅶ層	40.775
	8H-43	35	剥片	21.0	11.5	4.2	0.8	P		○		3								O	安山岩A			Ⅵ層	40.816
	8H-43	36	剥片	16.1	13.9	4.6	1.1	H		○										F	安山岩A			Ⅵ層	40.826
第137図11	8H-43	37	敲石	89.6	55.0	27.8	196.0														石英斑岩			Ⅸ層	40.610
第136図 5	8H-43	38	石核	52.8	61.4	26.6	99.7														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.627
第137図16	8H-43	39	石核	23.0	61.9	26.2	52.7														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.601
第135図 2	8H-43	40	剥片	26.1	16.8	4.2	2.1	L	P L			3		1						F	凝灰岩			Ⅵ層	40.835
第137図15	8H-43	81	石核	34.5	70.5	33.2	109.0														砂岩			Ⅸ層	40.611
	8H-43	124	剥片	17.6	12.5	5.5	1.5	H		○										H	チャート			Ⅸ層	40.582
第138図26	8H-43	125	剥片	26.5	18.8	6.9	1.7	−	−			2								F	流紋岩			Ⅸ層	40.689
	8H-51	2	砕片	6.9	7.1	1.2	0.1														安山岩A			Ⅸ層	40.560
第139図29	8H-52	2	石核	42.2	45.2	22.0	49.3	H													チャート34	27＋28＋(95)19ブロックとの接合		Ⅸ層	40.638
	8H-52	3	剥片	22.6	19.2	4.8	2.1					3	1	1	1					F	安山岩A			Ⅹ層	40.484
第138図23	8H-52	5	剥片	23.0	13.5	4.7	1.5	C		○									L	F	安山岩A			Ⅶ層	40.707
第135図1a	8H-52	6	磨製石斧	45.8	44.9	12.1	33.2	H		○		2			1					F	蛇紋岩1	1b＋(39)27ブロックとの接合		Ⅸ層	40.650
第140図30	8H-52	7	剥片	25.8	32.8	6.6	5.5	H		○		2			1					F	ホルンフェルス4	31との接合		Ⅸ層	40.515
	8H-52	8	剥片	19.1	23.0	2.8	5.6	H		○			1	1					B	−	チャート			Ⅸ層	40.679
	8H-52	9	剥片	9.7	9.8	1.7	0.1														安山岩A			Ⅹ層	40.450
第141図34	8H-52	10	剥片	20.6	25.7	4.9	3.1	C		○										F	砂岩			Ⅶ層	40.735
第140図31	8H-52	11	剥片	36.9	44.8	16.1	21.3	H		○					1					F	ホルンフェルス4	30との接合		Ⅸ層	40.581
第136図10	8H-52	12	剥片	28.3	29.2	6.6	5.0	H		○			1	2						F	安山岩A			Ⅸ層	40.595
第138図20	8H-52	13	R・剥片	35.3	43.9	16.3	19.4	H		○				1				B、R		F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.605
第138図18	8H-52	14	U・剥片	42.4	28.5	5.7	5.8	H				1		1	2					O	メノウ			Ⅸ層	40.599
第136図 8	8H-52	15	石核	30.1	48.2	18.8	33.0														安山岩A			Ⅸ層	40.621
	8H-52	16	剥片	22.2	21.0	4.8	2.4	L		○		2								H	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.739
	8H-52	17	砕片	12.3	10.8	4.5	0.7														メノウ			Ⅸ層	40.650
第136図 7	8H-52	18	石核	22.5	33.8	14.9	9.6														安山岩A			Ⅸ層	40.679
	8H-52	19	剥片	24.5	30.9	7.9	4.9	H				1		3						F	安山岩A			Ⅸ層	40.662
第138図17	8H-52	20	石核	24.6	25.8	15.2	9.3														チャート			Ⅷ層	40.705
第139図27	8H-52	21	剥片	23.7	36.6	12.5	9.4	C		○		1								F	チャート34	28＋29＋(95)19ブロックとの接合		Ⅸ層	40.689
	8H-52	22	砕片	10.1	7.8	1.6	0.1														安山岩A			Ⅷ層	40.790
	8H-52	23	剥片	10.7	15.8	2.3	0.4	2				2			1					F	安山岩A			Ⅷ層	40.785
	8H-52	24	砕片	9.0	4.5	1.0	0.03														安山岩A			Ⅷ層	40.772
第138図21	8H-52	25	剥片	29.7	22.3	6.4	4.9	3		○				4						F	チャート			Ⅸ層	40.658
	8H-52	26	剥片	20.8	25.4	7.8	3.5	H		○		3								F	安山岩A			Ⅶ層	40.729
	8H-52	27	剥片	13.6	20.7	4.3	1.4	H	○			3								F	ホルンフェルス			Ⅶ層	40.728
	8H-52	28	剥片	15.9	8.9	2.3	0.3	P		○		1									安山岩A			Ⅶ層	40.756
	8H-52	29	剥片	12.4	19.9	9.5	2.1	C		○		1									安山岩A			Ⅶ層	40.752
	8H-52	30	剥片	36.5	22.5	9.0	15.3	L	○	○		3			1						ホルンフェルス			Ⅶ層	40.759
第138図22	8H-52	31	剥片	36.3	22.6	9.6	7.8	H		○		2			2						安山岩B			Ⅶ層	40.769
	8H-52	32	砕片	8.6	14.0	2.3	0.3														安山岩A			Ⅵ層	40.826
	8H-52	33	剥片	15.7	16.7	4.7	1.1	C				1		1							ホルンフェルス			Ⅵ層	40.852
第138図24	8H-52	34	剥片	12.7	23.3	4.1	1.0	H	○			2		2							黒曜石			Ⅹ層	40.457
	8H-52	35	砕片	9.1	9.6	3.9	0.3														安山岩A			Ⅸ層	40.599
第141図36	8H-52	36	石核	75.4	39.9	40.1	168.0														流紋岩4	35との接合		Ⅶ層	40.632
第135図1b	8H-52	37	磨製石斧	37.3	45.2	11.9	38.1														蛇紋岩1	1a＋(39)27ブロックとの接合		Ⅸ層	40.595
	8H-52	38	砕片	9.6	12.7	1.9	0.3														凝灰岩			Ⅸ層	40.587
	8H-52	39	原石（石核）	41.9	36.8	10.7	26.3														凝灰岩			Ⅸ層	40.618
	8H-53	2	砕片	9.7	4.9	2.3	0.1														安山岩A			Ⅸ層	40.609
第136図 9	8H-53	3	石核	30.7	40.8	19.3	29.3														珪質頁岩			Ⅸ層	40.609
	8H-53	4	礫	13.2	7.1	6.4	0.8														チャート			Ⅵ層	40.812
第141図35	8H-53	5	剥片	25.6	16.5	5.7	2.2	H	○	○		2									流紋岩4	36との接合		Ⅶ層	40.650
第137図14	8H-53	6	石核	28.6	28.7	14.6	11.5														安山岩A			Ⅶ層	40.625
	8H-53	7	剥片	11.6	23.7	4.8	1.2	−	−	○		1	1								安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	41.044
第136図 8	8H-53	8	石核	27.1	27.7	10.5	9.5														安山岩A			Ⅵ層	40.940
	8H-53	9	剥片	21.6	22.8	9.6	4.3	H		○					1						安山岩A			Ⅵ層	40.932
第141図32	8H-53	10	石核	51.3	50.5	20.0	45.6														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.598
	8H-53	11	剥片	28.6	12.5	5.3	1.7	H				3	1								安山岩A			Ⅵ層	40.855
第139図28	8H-53	12	楔形石器	35.1	25.6	17.1	14.0														チャート34	27＋29＋(39)27ブロックとの接合		Ⅵ層	40.900
	8H-53	13	剥片	15.7	20.6	10.3	2.6	C				4	1	2							安山岩A			Ⅷ層	40.624
	8H-53	14	剥片	10.5	19.8	5.0	1.2	H	○			3								F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.570
	8H-53	15	剥片	15.8	33.8	7.4	3.4	H		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.644
	8H-53	16	砕片	8.7	8.7	2.4	0.2														安山岩A			Ⅸ層	40.524
	8H-53	17	剥片	15.9	23.7	3.4	1.2	H		○		3								F	砂岩			Ⅵ層	40.822
	8H-53	18	砕片	7.7	5.3	2.3	1.0														珪質頁岩			Ⅵ層	40.837
	8H-53	19	剥片	23.9	10.9	4.5	1.1	H		○		1		1						F	ホルンフェルス			Ⅵ層	40.950
第138図25	8H-53	20	剥片	18.0	29.1	8.4	2.9	L				3		3	1					H	珪質頁岩			Ⅵ層	40.978
第135図 3	8H-53	21	剥片	34.0	30.9	9.1	9.4	H		○		1								F	安山岩A			Ⅹ層	40.489
第135図 4	8H-53	22	敲石	52.0	81.4	25.3	133.0														安山岩			Ⅸ層	40.606
	8H-53	23	砕片	11.3	11.7	2.0	0.3														安山岩A			Ⅸ層	40.652
	8H-53	24	砕片	12.1	9.9	7.0	0.7														チャート			Ⅸ層	40.587
	8H-53	25	剥片	30.5	41.6	26.0	21.7	S		○									R	F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.607
	8H-53	26	剥片	15.2	21.0	6.7	1.9	2		○										H	安山岩A			Ⅹ層	40.490
	8H-53	27	剥片	15.9	22.1	5.5	1.6	2	○	○		2								H	チャート			Ⅸ層	40.626

第21表　旧石器時代　第21ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第143図4	8H-60	4	剥片	29.4	17.5	8.2	3.8	2													珪質頁岩			Ⅸ層	40.682
	8H-60	6	剥片	28.6	19.3	5.2	3.1	C		○										F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.860
第143図8	8H-60	7	石核	25.1	37.1	11.3	12.0													H	珪質頁岩			Ⅵ層	40.960
第148図25	8H-60	8	剥片	24.5	30.8	9.9	5.2	C		○				1	1						メノウ4	26＋27との接合		Ⅷ層	40.780
第143図3	8H-60	9	剥片	18.0	34.8	8.2	4.4	C		○		2								F	流紋岩			Ⅵ層	40.968
第144図13	8H-60	10	剥片	40.6	41.8	10.5	19.2	C		○		1								H	石英			Ⅸ層	40.680
	8H-60	11	剥片	14.6	9.2	5.6	1.4	－	－			2	1	1						H	安山岩A			Ⅷ層	40.768
	8H-60	14	剥片	28.6	31.3	9.5	5.7													H	安山岩			Ⅵ層	40.875
	8H-60	15	剥片	17.0	10.4	5.9	1.2													F	チャート			Ⅵ層	40.853
	8H-60	16	剥片	20.0	32.3	11.9	11.8													F	砂岩			Ⅵ層	40.905
	8H-60	17	剥片	29.1	27.3	18.9	13.2													F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.930
第149図30	8H-60	18	石核	39.0	24.1	17.8	15.2														安山岩A5	32との接合		Ⅵ層	40.800
第143図1	8H-60	19	石核	62.6	55.2	22.4	84.4														砂岩			Ⅷ層	40.739
第144図11	8H-60	20	石核	49.8	58.2	24.9	66.4														メノウ			Ⅷ層	40.698
第144図17	8H-60	21	剥片	33.5	25.9	15.1	11.1														石英			Ⅷ層	40.690
第145図18	8H-60	22	石核	61.3	71.2	33.3	17.6														石英			Ⅸ層	40.655
	8H-60	23	剥片	18.8	21.9	7.1	2.3	C		○		1			1					F	メノウ			Ⅸ層	40.680
	8H-60	24	剥片	19.3	22.0	9.3	3.8	H		○		3		1	1					F	砂岩			Ⅷ層	40.780
第143図10	8H-60	25	剥片	31.8	14.6	10.1	4.0	H				3	1			1				F	安山岩A			Ⅸ層	40.682
	8H-60	26	剥片	29.6	22.1	7.5	4.3	C												F	メノウ			Ⅷ層	40.712
	8H-60	27	剥片	12.0	18.5	5.9	1.5	－	－			2	1	1	1					F	メノウ			Ⅸ層	40.690
第144図12	8H-60	28	剥片	36.5	36.3	18.2	21.8	H		○											メノウ			Ⅸ層	40.567
	8H-60	29	砕片	13.0	9.9	4.5	0.6														石英			Ⅸ層	40.632
第143図6	8H-61	2	剥片	33.8	30.7	12.4	9.0	H		○				1	1					F	石英			Ⅵ層	40.940
	8H-61	3	剥片	17.5	20.3	4.0	1.3	H				3			1					F	安山岩A			Ⅵ層	40.808
	8H-61	5	剥片	19.7	26.2	6.7	3.3	C		○		2		1	1					F	メノウ			Ⅵ層	40.823
第143図9	8H-61	6	剥片	43.9	23.7	20.7	15.8	－	－	○		2							H	F	珪質頁岩			Ⅷ層	40.770
	8H-61	7	剥片	25.2	11.4	7.9	2.0	－	－					1		1			M	F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.942
	8H-61	8	礫	49.2	17.0	10.5	11.8														砂岩			Ⅸ層	40.520
第143図2	8H-61	9	剥片	25.2	10.3	5.6	1.0	P				3			1				B		流紋岩			Ⅸ層	40.544
	8H-61	10	剥片	14.7	19.3	6.7	1.3	3		○		3			1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.580
第143図7	8H-61	11	剥片	23.9	31.2	8.3	6.3	H		○		1								F	石英			Ⅸ層	40.645
	8H-61	12	剥片	16.0	19.8	9.2	2.9	－		○		1	2		1				L		安山岩A			Ⅸ層	40.665
第144図14	8H-61	13	石核	19.7	25.7	13.0	6.8														安山岩A			Ⅸ層	40.620
	8H-61	14	剥片	18.4	13.5	8.6	2.3	C		○		2								F	石英			Ⅸ層	40.630
第144図16	8H-61	15	剥片	48.2	38.9	11.4	23.7	C		○										F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.675
第143図5	8H-61	16	剥片	25.6	24.3	6.9	3.5	H				5			1					H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.625
	8H-61	17	剥片	35.1	27.5	9.9	11.3	C		○									B	－	珪質頁岩			Ⅸ層	40.613
	8H-61	19	剥片	23.5	18.1	10.2	3.7	C		○					2					S	安山岩A			Ⅸ層	40.510
	8H-61	20	礫	76.3	43.0	21.0	92.6														砂岩			Ⅸ層	40.506
第144図15	8H-62	2	U剥片	20.0	29.9	8.3	5.2	H		○		1						B、R B		F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.590
	8H-62	3	剥片	21.0	24.9	3.1	2.1	C				1		2	1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.685
第149図29	8H-70	2	剥片	14.4	24.5	6.6	2.6	C		○										F	安山岩A4	28との接合		Ⅸ層	40.680
第149図31	8H-70	3	石核	25.2	36.6	20.9	26.6														安山岩A5	30との接合		Ⅸ層	40.660
第146図21	8H-70	4	剥片	24.9	29.8	10.0	7.4	H		○										H	安山岩2	22＋23＋24との接合		Ⅵ層	40.890
	8H-70	5	剥片	13.8	18.3	4.2	1.0	H												F	メノウ			Ⅸ層	40.650
	8H-70	6	剥片	12.6	21.5	4.6	1.0	H		○		3								F	メノウ			Ⅸ層	40.603
第145図19	8H-70	7	石核	43.9	51.8	17.4	46.5														安山岩C			Ⅸ層	40.620
	8H-70	8	剥片	17.5	20.6	4.2	1.6												B	－	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.785
	8H-70	9	剥片	15.5	25.7	5.5	2.2													F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.540
第148図27	8H-70	10	石核	36.5	56.6	11.9	24.8														メノウ4	25＋26との接合		Ⅸ層	40.670
第150図32	8H-70	11	石核	49.6	54.9	24.4	79.4														ホルンフェルス5	33＋(43)28ブロックとの接合		Ⅸ層	40.668
第147図23	8H-70	12	石核	46.3	34.6	24.1	43.2														安山岩2	21＋22＋24との接合		Ⅸ層	40.694
	8H-70	13	剥片	17.6	15.2	5.6	1.7	P		○		1								F	チャート			Ⅵ層	40.808
第149図28	8H-70	14	石核	32.7	32.3	12.0	13.6														安山岩A4	29との接合		Ⅵ層	40.800
第150図33	8H-70	15	剥片	14.3	21.9	6.2	1.4	3		○		2									ホルンフェルス5	34＋(43)28ブロックとの接合		Ⅷ層	40.788
第148図26	8H-70	16	剥片	36.5	45.7	9.2	15.4	C					1	1						F	メノウ4	25＋27との接合		Ⅷ層	40.790
第147図24	8H-70	17	石核	53.9	31.7	27.7	76.7														安山岩2	21＋22＋23との接合		Ⅸ層	40.595
	8H-70	18	剥片	27.8	20.4	13.0	7.2	L											R	F	石英			Ⅷ層	40.770
第146図22	8H-71	2	剥片	37.4	27.1	14.7	12.9	H	○	○		2		2	1					F	安山岩2	21＋23＋24との接合		Ⅶ層	40.770
第145図20	8H-71	3	剥片	31.3	24.6	10.2	6.5	H		○		1								S	安山岩A			Ⅸ層	40.668

第22表　旧石器時代　第22ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7H-59	2	剥片	34.6	30.5	5.9	7.7	P		○				1	2					F	砂岩			Ⅶ層	40.700
第139図28	7H-59	5	剥片	29.2	39	3.1	18.9	2		○										S	ホルンフェルス7	(95)23ブロック+(96)23ブロックとの接合		Ⅵ層	40.850
	7H-59	6	剥片	28.9	10.1	9.4	5.8	L		○		1								F	安山岩A			Ⅵ層	40.978
	7H-68	2	剥片	11.6	27.8	7.8	2.2	C				1		1					H	−	チャート			Ⅸ層	40.658
	7H-69	2	剥片	19.9	23.1	5.4	2.6	H		H		○			2	1	1		B	−	安山岩			Ⅶ層	40.770
第157図25	7H-69	3	楔形石器	32.8	37	13.8	17														チャート35	24+26との接合		Ⅶ層	40.715
	7H-69	4	剥片	26.9	19.6	7.7	3.3	H		H							2			F	安山岩A			Ⅸ層	40.610
第153図12	7H-69	5	石核	40.8	54.5	17.3	42.8														チャート			Ⅸ層	40.630
	7H-69	6	剥片	24.9	30.5	6	4.5	C		○										F	砂岩			Ⅵ層	40.810
	7H-69	7	剥片	16.8	15.5	4.7	1.3	H		○				1						F	流紋岩			Ⅵ層	40.953
	7H-69	8	剥片	20.5	16.7	6.3	1.9	H	○	○		3			1					F	流紋岩			Ⅸ層	40.650
第154図18	7H-69	9	R・剥片	33.9	43.6	9.4	16.8	C		○					1			L、R H		F	安山岩A			Ⅶ層	40.710
第154図17	7H-69	10	剥片	29.6	31.6	5.4	8.8	C		○		1								S	安山岩A			Ⅶ層	40.705
第152図 6	7H-69	11	石核	31.5	35.1	14.9	17														安山岩A			Ⅵ層	40.983
	7H-69	13	剥片	31.4	27	10	7.9	H											○		安山岩A			Ⅵ層	40.873
	7H-69	14a	礫	17.8	9.7	4.5	1.1														砂岩			Ⅵ層	40.955
	7H-69	14b	礫	13	8.1	8	1														砂岩			Ⅵ層	40.955
第152図 4	7H-69	15	R剥片	38.9	45	17.3	27.2	C	○	○		2						B		F	メノウ			Ⅶ層	40.753
第153図14	7H-69	16	剥片	27.1	38.5	5.1	5.8	H		○		1		2						F	安山岩A			Ⅸ層	40.682
	7H-69	17	剥片	24.7	21	6.9	2.9	H	○	○		3								F	安山岩A			Ⅶ層	40.765
	7H-69	18	剥片	15.3	18.1	5.5	1.6	H				2								F	ホルンフェルス			Ⅶ層	40.759
第153図13	7H-69	19	石核	29	34.6	18.6	23.7														安山岩			Ⅵ層	40.815
第153図11	7H-69	20	剥片	43.5	27.4	1	13.2	2		○				5						F	流紋岩			Ⅶ層	40.716
第152図 5	7H-69	21	石核	41.4	20.8	9.8	10.1														安山岩A			Ⅶ層	40.761
	7H-69	22	剥片	35.4	34.3	6	8.8	C		○		1								F	安山岩A			Ⅵ層	40.819
第153図 9	7H-69	23	剥片	31.7	22.7	10.2	7.5	C		○				1	1		1			H	チャート			Ⅵ層	40.980
第155図21	7H-69	24	剥片	44.2	41.2	10.5	17.5	C		○			1	1							ホルンフェルス6	22+23との接合		Ⅶ層	40.705
第152図 7	7H-69	25	楔形石器	24.4	23.3	7.7	6														安山岩A			Ⅶ層	40.699
	7H-69	26	剥片	25.8	17.5	7.6	2.7	H				1		1	1					F	安山岩A			Ⅶ層	40.789
第157図26	7H-69	27	楔形石器	27.9	36.4	11.5	13.3														チャート35	24+25との接合		Ⅶ層	40.727
第154図20	7H-69	28	石核	40.3	60.1	16.9	41.1														砂岩			Ⅶ層	40.799
	7H-69	29	剥片	17.7	10	5.7	0.8	H		○									L	F	流紋岩			Ⅸ層	40.585
	7H-69	30	剥片	24.5	18.6	3.8	1.9	C		○		1								H	チャート			Ⅸ層	40.615
	7H-69	31	剥片	29.9	18.5	8.9	4.3	H		○		1								F	安山岩A			Ⅶ層	40.730
	7H-69	32	砕片	11.6	8.3	3.3	0.3														安山岩A			Ⅸ層	40.689
	7H-69	33	剥片	32.2	24.7	10	9	H		○											安山岩A			Ⅵ層	40.860
	7H-69	34	剥片	13.2	18.7	2.7	0.8	H				1			1				B	−	流紋岩			Ⅶ層	40.755
第157図24	7H-69	35	楔形石器	41.8	24	14.2	13.3														チャート35	25+26との接合		Ⅸ層	40.681
第153図 8	7H-69	36	石核	52.1	40.2	13.9	36.5														安山岩			Ⅸ層	40.561
	7H-69	37	砕片	11.8	14.9	3.8	0.8														チャート			Ⅸ層	40.600
第154図16	7H-69	38	剥片	23.6	28.4	10.4	7.5	C		○			2							H	安山岩			Ⅸ層	40.548
	7H-69	39	剥片	30	15.5	3.8	1.4	H				1		3	1					F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.537
	7H-69	40	剥片	32.3	52.6	13	28.4	L		○		3								F	砂岩			Ⅸ層	40.510
	7H-69	41	剥片	17	28.5	5	2.7	L		○										F	流紋岩			Ⅹ層	40.479
	7H-69	42	剥片	30.7	25.3	9.3	8	H		○										S	安山岩A			Ⅸ層	40.686
第154図19	8H-40	2	剥片	37.7	44.6	14	22.5	C		○		1			1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.653
第152図 2	8H-40	4	石核	23.9	18.8	9.4	5.4														安山岩A			Ⅸ層	40.670
第152図 1	8H-50	2	石核	55.9	52.6	36.7	117.0														珪質頁岩			Ⅶ層	40.735
第153図10	8H-50	3	石核	29.0	36.6	12.9	11.8														安山岩A			Ⅸ層	40.675
第155図22	8H-50	4	石核	70.1	54.0	12.3	42.9														ホルンフェルス6	21+23との接合		Ⅶ層	40.740
第158図27	8H-50	5	石核	46.3	43.9	24.3	55.1														流紋岩2	(20) 6ブロック他3点と接合		Ⅶ層	40.782
	8H-50	6	剥片	24.5	29.8	8.3	5.6	H		○					2					F	流紋岩			Ⅶ層	40.798
第152図 3	8H-50	7	ナイフ形石器	50.0	23.7	6.4	6.2														珪質頁岩			Ⅶ層	40.720
第154図15	8H-60	2	石核	31.9	38.7	31.8	28.5														安山岩A			Ⅶ層	40.742
	8H-60	3	剥片	25.6	12.7	7.2	2.1	H													安山岩			Ⅹ層	40.490
	8H-60	4	剥片	29.4	17.5	8.2	3.8	2													珪質頁岩			Ⅸ層	40.682
	8H-60	5	剥片	21.1	21.2	6.3	2.5	H													珪質頁岩			Ⅵ層	40.932
	8H-60	12	剥片	32.0	25.4	5.8	4.2	−	−					2						O	安山岩A			Ⅸ層	40.610
第156図23	8H-60	13	R・剥片	68.1	45.8	7.7	32.5													F	ホルンフェルス6	21+22との接合		Ⅵ層	40.861

第23表　旧石器時代　第23ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第167図40	7H-47	2	石核				24.8														流紋岩			Ⅵ層	40.985
	7H-47	3	U・剥片				2.9	C		○										F	チャート			Ⅵ層	40.854
第172図61	7H-47	4	剥片	28.1	40.6	10.4	9.8	2		○		3								S	ホルンフェルス			Ⅶ層	40.705
第165図25	7H-47	6	剥片	21.4	19.7	5.9	2.2	H				3		2					L	H	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	41.074
第182図99	7H-48	2	磨石	51.2	53.5	14.5	57.8														砂岩4	(1)14ブロックとの接合		Ⅸ層	40.693
	7H-48	3	剥片	25.7	9.2	6.3	1.5	C		○									R	H	メノウ			Ⅸ層	40.548
第172図66	7H-48	4	原石	50.4	33.8	11.9	32.8														安山岩A			Ⅷ層	40.726
第174図72	7H-48	5	剥片	62.7	27.6	13.1	22.6	2		○		1								S	ホルンフェルス8	73＋74との接合		Ⅷ層	40.747
第166図35	7H-48	6	剥片	23.4	37.7	13.2	11.0	H		○											砂岩			Ⅵ層	40.974
第166図29	7H-48	7	剥片	40.0	30.8	18.6	24.4	H		○										F	チャート			Ⅷ層	40.737
第178図93	7H-48	8	石核	43.8	57.0	26.4	78.9														砂岩12	88～92との接合		Ⅸ層	40.698
第169図46	7H-48	9	石核	41.9	23.8	12.8	15.4														ホルンフェルス			Ⅵ層	40.867
第174図74	7H-48	10	石核	40.9	41.8	22.5	44.4														ホルンフェルス8	72＋73との接合		Ⅷ層	40.765
第166図32	7H-48	11	剥片	31.5	14.5	9.1	3.7	3						2		1				F	チャート			Ⅵ層	40.819
	7H-48	12	剥片	24.2	16.9	6.3	1.6	P		○		1		1						F	チャート			Ⅵ層	40.915
第176図83	7H-48	13	剥片	25.6	26.6	6.8	4.6	H		○		1								S	チャート36	82との接合		Ⅷ層	40.719
	7H-48	14	剥片				0.5	L		○		1							B	−	砂岩			Ⅵ層	40.841
第168図42	7H-48	15	石核	36.9	42.6	15.9	22.1														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.613
第176図82	7H-48	16	石核	38.1	35.8	15.0	20.7														チャート36	83との接合		Ⅵ層	40.845
	7H-48	17	砕片	13.3	13.2	3.0	0.5														チャート			Ⅸ層	40.657
第171図60	7H-48	18	石核	30.5	47.6	13.6	19.4														安山岩A			Ⅸ層	40.627
	7H-48	19	砕片	14.5	14.7	4.1	1.1														メノウ			Ⅸ層	40.665
	7H-48	20	剥片	18.6	34.7	6.2	3.7	C		○										H	チャート			Ⅸ層	40.666
第165図23	7H-48	21	剥片	25.1	32.2	4.6	3.4														砂岩			Ⅸ層	40.631
第168図44	7H-48	22	石核	31.7	44.8	16.8	27.4														メノウ			Ⅸ層	40.639
第171図56	7H-48	23	石核	35.7	49.0	24.1	63.4														チャート			Ⅸ層	40.676
	7H-48	24	剥片	17.7	19.3	4.5	1.3	H		○		2			1					F	安山岩B			Ⅷ層	40.745
	7H-48	25	剥片	37.5	15.3	8.8	4.0	H												F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.633
	7H-48	26	剥片	20.0	24.4	5.6	2.5	H		○		2								F	チャート			Ⅸ層	40.593
	7H-48	27	砕片	7.2	9.3	2.8	0.2						1								珪質頁岩			Ⅸ層	40.557
	7H-48	28	剥片	18.3	21.9	4.9	2.2			○		1								F	チャート			Ⅸ層	40.693
	7H-48	29	剥片	13.3	24.2	5.6	2.0	−	−			1	3	1	1					O	チャート			Ⅸ層	40.687
第169図47	7H-48	30	石核	30.1	38.8	17.7	20.0														チャート			Ⅷ層	40.708
第169図50	7H-48	32	石核	29.7	28.6	12.4	11.0														珪質頁岩			Ⅸ層	40.600
	7H-48	33	砕片	8.9	10.8	7.2	0.6														砂岩			Ⅸ層	40.601
	7H-48	34	礫	36.7	26.8	11.3	16.3														メノウ			Ⅵ層	40.967
第167図41	7H-48	35	石核	50.2	52.5	22.8	85.5														砂岩			Ⅸ層	40.633
第166図27	7H-48	36	剥片	36.9	29.0	9.7	5.6	H		○		3								F	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.831
第166図28	7H-48	37	剥片	27.5	42.9	10.2	8.4	2				2		1	1					F	ホルンフェルス			Ⅷ層	40.700
	7H-48	38	剥片	18.1	20.0	7.2	2.9	H		○									L、B	−	チャート			Ⅵ層	40.854
第164図11	7H-48	39	R・剥片	20.2	20.4	5.6	2.2	H	○			5						R、B	B	−	チャート			Ⅸ層	40.535
	7H-48	40	剥片	33.0	36.3	15.1	21.4	H		○										F	チャート			Ⅸ層	40.531
第172図67	7H-48	41	原石	54.3	40.4	16.4	47.6														メノウ			Ⅸ層	40.656
第165図14	7H-48	42	剥片	32.3	17.8	12.7	5.2	H		○		2		1		1				F	砂岩			Ⅸ層	40.588
第164図 8	7H-48	43	剥片	19.9	29.5	7.3	5.0	C		○										F	チャート			Ⅸ層	40.651
第174図73	7H-48	44a	石核	20.4	25.8	31.1	17.4														ホルンフェルス8	72＋74との接合		Ⅸ層	40.612
	7H-48	44b	剥片	15.4	14.7	4.1	1.1	2	○	○		2								F	チャート			Ⅸ層	40.612
	7H-48	45	剥片	21.1	26.5	7.5	5.4	C		○											珪質頁岩				40.686
第165図24	7H-48	46	剥片	35.6	17.5	11.8	5.8	H	○	○		1	1							F	チャート				40.523
第170図54	7H-48	47	石核	80.6	49.8	25.8	140.0														メノウ				40.584
第165図22	7H-48	48	剥片	22.4	39.1	10.5	9.2	H		○		3			1	3				H	ホルンフェルス				40.478
	7H-48	49	砕片	12.3	11.2	2.9	0.4														ホルンフェルス				40.474
第172図64	7H-48	50	原石	50.5	49.2	19.5	61.6														安山岩B				40.636
第172図65	7H-48	51	原石	53.9	29.3	11.8	27.0														安山A				40.571
	7H-48	52a	剥片	27.3	15.7	7.7	3.4	C		○		3							R	F	凝灰岩				40.505
第164図 7	7H-48	52b	R・剥片	25.7	15.6	7.2	2.7	−	−	○		1	2					R B	M	−	ホルンフェルス				40.505
第165図21	7H-48	53	剥片	32.6	22.0	10.9	5.9	H	○			3		1					B	−	ホルンフェルス				40.420
第165図26	7H-48	54	剥片	22.8	28.0	4.2	2.9	C		○										F	砂岩				40.418
	7H-48	55	剥片	20.4	29.8	11.2	7.0	C		○											安山岩A				40.434
	7H-48	56	剥片	23.1	13.7	4.3	1.6	C		○					1				L	F	砂岩				40.428
第180図96	7H-48	57	剥片	16.6	36.6	8.6	5.4	P		○		2								F	ホルンフェルス7	97＋(28)22ブロックとの接合			40.388
	7H-49	2	剥片	30.0	36.7	9.5	9.5	H		○		2								S	チャート				41.065
第172図63	7H-49	3	剥片	15.7	17.0	1.2	0.4	−	−	○										F	チャート				41.043
	7H-49	4	剥片	30.0	12.9	12.5	5.1	H		○		1								F	チャート				40.995
第171図58	7H-49	5	石核	27.1	33.4	12.8	9.7														チャート				41.116
	7H-49	6	剥片	18.0	24.9	9.5	3.4	C		○		1								F	安山岩A				40.730
第176図78	7H-49	7	楔形石器	38.0	30.5	11.7	16.7														チャート37	79との接合			40.658
	7H-49	8	剥片	23.9	20.6	6.2	2.7	H		○		1			1					F	チャート				40.735
第176図79	7H-49	9	石核	53.4	38.8	21.0	49.4														チャート37	78との接合			40.750
第178図92	7H-49	10	石核	47.0	47.6	24.2	44.8														砂岩12	88～91＋93との接合			40.842
第170図53	7H-49	11	石核	39.8	65.6	20.0	59.1														安山岩B				40.818
第168図51	7H-49	12	石核	41.3	32.5	19.7	31.1														珪質頁岩				40.825
第177図85	7H-49	13	剥片	48.6	30.6	12.6	19.7	L		○		1								F	珪質頁岩11	84＋86＋87との接合			40.855
	7H-49	14	剥片	32.7	19.3	9.0	4.8	H	○	○		3	1							F	安山岩A				40.927
	7H-49	15	剥片	16.8	24.2	5.7	2.2	H		○		1	1							F	メノウ				40.906
	7H-49	16	剥片	20.5	16.8	6.8	1.7	P	○			2			1					F	安山岩A				40.800
	7H-49	17	剥片	10.8	11.5	2.2	0.3														珪質頁岩				40.775
	7H-49	18	剥片	15.7	15.0	4.3	0.9	P		○				2						F	石英				40.669
第177図84	7H-49	19	石核	46.9	51.5	18.7	57.4														珪質頁岩11	85～87との接合			40.725
	7H-49	20	剥片	15.9	19.4	5.8	1.7	C		○		1								F	安山岩B				40.797
第165図17	7H-49	21	剥片	26.6	47.0	7.8	9.3	C		○					1					H	珪質頁岩				40.777
第179図95	7H-49	22	剥片	26.3	31.6	9.8	1.0	C	○			2	1	1						F	チャート38	94との接合			40.691
	7H-49	23	剥片	15.3	6.5	4.8	0.3	P				1							L	F	チャート				40.690
	7H-49	24	剥片	15.1	12.7	4.0	0.6	H		○		1		1	1					F	安山岩C				40.652
第169図48	7H-49	25	石核	42.4	17.7	12.9	10.9														安山岩A				40.768
	7H-49	26	剥片	17.2	11.2	4.4	1.0	C				1	1						R	F	安山岩A				40.601
	7H-49	27	砕片	12.0	9.5	2.1	0.3														安山岩A				40.578
第176図81	7H-49	28	剥片	14.2	18.5	5.4	2.1	L		○					1				B	−	チャート39	80との接合			40.577
第165図19	7H-49	29	剥片	33.0	19.0	8.9	7.1	C		○		2			1					S	安山岩A				40.628
	7H-49	30	剥片	12.0	22.5	6.5	1.5	−	−			2			2				H、B	−	チャート				40.498
	7H-49	31	剥片	15.8	12.2	4.5	1.1	C		○										F	砂岩				40.468
第164図10	7H-49	32	R・剥片	23.4	29.8	10.2	7.0	−	−	○			1				1	B	H	F	安山岩A				40.510
	7H-49	33	剥片	18.0	12.3	4.4	0.7	P		○		1								H	チャート				40.481
第169図49	7H-49	34	石核	38.7	30.2	22.0	33.0														チャート				40.671
	7H-49	35	礫	28.1	20.7	6.0	5.3														流紋岩				40.832
第168図45	7H-49	36	石核	53.5	52.5	22.3	95.6														チャート				40.448
	7H-49	37	剥片	19.6	30.6	4.1	6.3	H		○		2								F	砂岩				40.552
第169図52	7H-49	38	石核	27.6	47.1	13.0	13.3														チャート				40.528
第164図 4	7H-49	39	R・剥片	43.3	17.9	6.3	3.3	H	○			2	1					L、R B		−	珪質頁岩				40.597
第164図13	7H-49	40	楔形石器	24.0	26.4	12.8	7.8														チャート				40.581
	7H-49	41	剥片	16.8	8.0	3.0	0.5	H	○	○		1							R	F	安山岩A				40.577
	7H-49	42	礫	51.0	40.7	19.9	36.9														砂岩				40.550
	7H-49	43	剥片	12.0	18.5	3.5	0.6	H				1								F	チャート				40.555
第176図80	7H-49	44	剥片	18.4	25.0	9.7	3.7	H		○									B	−	チャート39	81との接合			40.550
第177図86	7H-49	45	剥片	14.9	26.5	8.5	3.8	2		○		1		1						F	珪質頁岩11	84＋85＋87との接合			40.631
第167図39	7H-49	46	石核	25.5	17.5	13.3	5.9								1						安山岩A				40.526
	7H-49	47	剥片	25.1	22.8	9.2	4.4	C		○		1							R	F	安山岩A				40.558
	7H-49	48	剥片	22.5	27.0	9.1	4.0	H	○	○		2								F	安山岩B				40.550
	7H-49	49	剥片	28.7	37.6	6.4	6.2	C		○									L B	F	チャート				40.607
	7H-49	50	剥片	18.5	12.4	5.0	1.0	H				3									安山岩A				40.427
	7H-49	51	剥片	24.2	24.8	5.3	3.5	H		○										F	チャート				40.475
第164図 3	7H-49	52	R・剥片	26.1	14.6	9.2	4.0	−	−	○		1		1				LB、RB	M	F	安山岩C				40.444
	7H-49	53	砕片	10.2	8.8	2.9	0.2														砂岩				40.425
	7H-49	54	砕片	11.3	15.1	5.4	0.8														珪質頁岩				40.410
第177図87	7H-49	55	剥片	33.1	30.6	7.1	5.6	H		○					1					F	珪質頁岩11	84～86との接合			40.700
第175図75	7H-49	56	楔形石器	41.5	15.8	7.6	5.6														チャート40	76との接合			40.349

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第164図5	7H-49	57	R・剥片	23.7	15.2	8.5	3.4	−	−	○				1	1			L M	M	F	安山岩A				40.360
第165図16	7H-49	58	剥片	25.9	18.2	6.4	2.6	H		○		2		1	1					S	チャート				40.341
第178図88	7H-49	59	剥片	28.6	23.3	6.8	4.8	H		○										F	砂岩12	89～93との接合			40.395
	7H-49	60	剥片	16.5	25.9	3.7	1.8	H		○										H	ホルンフェルス				40.395
第164図1	7H-49	61	ナイフ形石器	65.4	22.3	8.6	14.4														珪質頁岩				40.355
	7H-49	62	剥片	10.3	18.5	5.5	0.8	H		○		1								H	安山岩A				40.354
	7H-49	63	砕片	7.8	7.8	1.5	0.1														安山岩A				40.982
	7H-49	64	剥片	15.0	18.4	3.3	0.8	H	○	○		1			1					F	チャート				40.305
第166図36	7H-49	65	剥片	18.8	25.0	5.9	3.0	C		○										F	チャート				40.288
	7H-49	66	剥片	29.1	28.0	7.8	5.4	C		○									L	F	安山岩A				40.347
第178図90	7H-49	67	剥片	28.5	25.6	7.1	6.6	C		○		3								F	砂岩12	88＋89＋91～93との接合			40.370
	7H-49	68a	剥片	21.1	12.1	5.0	0.8	−	−	○		1							M	F	石英				40.355
	7H-49	68b	剥片	17.6	6.4	3.7	0.4	C		○									L	F	チャート				40.355
	7H-49	69	剥片	13.1	22.7	6.1	1.5	C		○				1						H	ホルンフェルス				40.284
第171図59	7H-49	70	石核	30.9	27.6	25.4	18.4														チャート				40.378
第164図9	7H-49	71	R・剥片	18.3	14.5	6.5	1.6	−	−										M	F	チャート				40.336
第171図57	7H-49	72	石核	17.6	41.3	17.5	10.7														ホルンフェルス				40.315
第165図15	7H-49	73	剥片	21.7	26.6	9.0	3.0	P	○			1	1	1					R	F	チャート				40.285
第166図33	7H-57	3	剥片	29.9	18.0	5.8	2.8	H	○					2	1					F	石英				40.759
第166図34	7H-57	4	剥片	22.8	23.5	7.9	4.1	2	○	○		2		1	1					F	ホルンフェルス				40.696
	7H-57	5	剥片				40.7	C		○										S	結晶片岩				40.747
	7H-57	6	剥片	28.8	37.1	4.8	6.6	−	−	○				1					H	H	砂岩				40.743
	7H-58	2	剥片	20.5	25.0	4.2	2.2	C		○										F	砂岩				40.653
第171図68	7H-58	3	剥片	33.0	22.4	11.4	8.0	H	○	○		3								S	チャート				40.084
	7H-58	4	剥片	25.1	26.9	3.7	2.7														結晶片岩				40.675
	7H-58	5	剥片	27.6	19.0	11.0	3.2	L	○	○		1		1				F			チャート				40.658
第164図2	7H-58	6	R・剥片	15.6	30.4	9.9	5.6	−	−	○		1		1				−		H、B	チャート				40.701
	7H-58	7	剥片	39.4	18.6	8.7	5.5	P		○				1				F			結晶片岩				40.720
第164図12	7H-58	8	台形石器	25.9	24.8	8.0	4.7														メノウ				40.893
第164図6	7H-58	9	R・剥片	16.5	19.4	7.1	2.5														ホルンフェルス				40.548
	7H-58	10	剥片	26.5	16.6	7.1	2.5	H				2		1	1			F			安山岩A				40.720
	7H-58	11	剥片	14.7	24.9	3.3	1.4	C		○								F			砂岩				41.068
第172図62	7H-58	12	U・剥片	24.7	33.9	8.4	6.6	H	○			1	1	1	1			−		B	チャート				40.738
第178図91	7H-58	13	剥片	32.3	37.4	9.4	9.9	H		○		1						F			砂岩12	88～90＋92＋93との接合			40.722
	7H-58	14	剥片	69.4	43.0	33.5	97.2	C		○											結晶片岩				40.640
	7H-58	15	剥片	18.0	20.0	6.0	2.0	2				1	3	2				F			珪質頁岩				40.724
	7H-58	17a	剥片	67.1	44.3	29.8	84.7	C		○		1								F	結晶片岩				40.702
	7H-58	17b	剥片	26.4	20.0	5.5	3.2	P		○		1			2					F	流紋岩				40.702
第180図97	7H-58	18	剥片	34.4	43.3	17.6	26.7	−	−										L	F	ホルンフェルス7	96＋(28)ブロックとの接合			40.707
	7H-58	19	剥片	16.1	33.5	6.3	3.9	H		○										F	結晶片岩				40.716
第165図20	7H-58	20	剥片	36.0	21.2	17.7	12.2	H		○		3								F	安山岩A				40.673
第179図94	7H-58	21	石核	49.3	61.6	19.8	82.2														チャート38	95との接合			40.595
	7H-58	22	剥片	72.0	57.3	25.1	115.2	C		○										F	結晶片岩				40.605
第166図31	7H-58	23	剥片	29.4	27.9	9.0	7.2	H	○			3			1						チャート				40.632
第173図69	7H-58	24	敲石	85.5	63.7	37.5	296.0														砂岩				40.739
第175図77	7H-58	25	楔形石器	48.8	30.6	20.2	42.0														チャート9	(15)14ブロックとの接合			40.570
第178図89	7H-58	26	剥片	28.9	22.4	9.8	5.5	H	○	○		1								S	砂岩12	88＋90～93との接合			40.593
	7H-58	27	剥片	23.1	27.9	5.0	3.4	C		○										F	砂岩				40.574
第173図71	7H-58	28	石核	28.9	39.5	22.0	29.9														珪質頁岩12	70との接合			40.697
第172図70	7H-58	29	U・剥片	20.4	17.4	10.6	3.2	H	○			3	1								珪質頁岩12	71との接合			40.644
	7H-58	30	剥片	16.8	21.2	9.3	2.5	H		○		1		1	2					F	安山岩A				40.617
第166図30	7H-58	31	剥片	48.0	28.0	11.9	17.0	L	p 1			1	1							F	チャート				40.573
	7H-58	32	剥片	24.7	12.9	5.1	1.7	L		○		4		1	1					F	安山岩A				40.421
第175図76	7H-58	33	U・剥片	64.5	28.0	7.6	13.6	C		○										F	チャート40	75との接合			40.467
第167図38	7H-58	34	石核	29.5	31.0	12.2	7.4														チャート				40.485
第167図37	7H-59	3	石核	49.3	34.2	26.5	47.3														石英				40.659
第168図43	7H-59	4	石核				80.7														珪質頁岩				40.428
第170図55	7H-59	7	石核	40.4	40.8	25.0	38.2														チャート				40.620
第181図98	7H-59	8	剥片	33.2	26.8	10.0	9.2	H		○		3								F	流紋岩2	(16)6ブロック他3点との接合			40.425
第165図18	7H-39	2	剥片	32.4	42.5	9.2	13.4	C		○										H	砂岩13	(24)＋(25)24ブロックとの接合			40.610

第24表　旧石器時代　第24ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7H-27	3	剥片	26.2	25.8	4.5	2.8	C		○		3			1				B	−	流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層	40.010
	7H-27	4	剥片	26.5	18.0	11.8	3.6	H		○										F	流紋岩			Ⅶ層	40.760
	7H-27	12	剥片	17.4	18.6	6.6	1.8	C				2							M	−	流紋岩			Ⅵ層	40.870
第187図16	7H-27	13	剥片	27.0	29.4	12.0	8.4	2		○		1								F	安山岩3	26+20+19+23との接合		Ⅵ層	40.880
第186図15	7H-27	27	石核	52.4	63.3	30.3	157.0														安山岩			Ⅶ層	40.700
第187図19	7H-27	28	剥片	29.5	14.3	7.2	2.2	H		○		2		1						F	安山岩3	26+20+23+16との接合		Ⅶ層	40.770
第187図20	7H-27	29	剥片	18.9	23.2	4.8	1.9	H		○			1	1						F	安山岩3	26+19+23+16との接合		Ⅶ層	40.750
第187図17	7H-27	30	剥片	33.9	24.1	13.4	13.1	H	○	○		3								F	凝灰岩			Ⅳ～Ⅴ層	40.920
	7H-27	31	砕片	13.6	6.0	3.3	0.2														砂岩			Ⅸ層	40.660
第192図34	7H-27	32	石核	51.6	61.2	21.6	74.8														ホルンフェルス9	(7)25ブロック+(8)25ブロック+35との接合		Ⅶ層	40.740
	7H-27	33	剥片	15.8	16.0	13.4	2.1	C				2			2					F	チャート			Ⅶ層	40.760
第187図23	7H-27	34	剥片	19.2	20.1	4.3	1.4	P		○		1					1			F	安山岩3	26+20+19+16との接合		Ⅶ層	40.780
第184図1	7H-27	35	剥片	53.1	46.2	10.8	30.8	C		○										F	砂岩			Ⅶ層	40.710
	7H-27	36	剥片	16.1	12.9	3.1	0.5	H				2		1	1					F	砂岩			Ⅶ層	40.790
	7H-27	37	礫	14.6	13.7	15.7	1.4														チャート			Ⅶ層	40.710
	7H-27	38	砕片	14.7	13.9	4.1	0.9														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.670
	7H-27	39	剥片	16.5	18.0	4.9	1.5	H		○		1							M	−	流紋岩			Ⅶ層	40.710
	7H-27	40	礫	67.0	55.6	25.1	125.0														砂岩			Ⅸ層	40.690
第188図26	7H-27	41	石核	40.9	48.5	20.0	41.8														安山岩3	20+19+23+16との接合		Ⅸ層	40.690
第186図14	7H-27	42	石核	109.7	71.1	28.9	350.0														流紋岩			Ⅸ層	40.690
第192図35	7H-27	45	剥片	33.6	40.9	16.7	20.2	H		○										O	ホルンフェルス9	(7)25ブロック+(8)25ブロック+34との接合		Ⅸ層	40.690
第184図6	7H-27	46	剥片	56.1	51.6	15.4	56.9	C		○					1					S	砂岩			Ⅶ層	40.700
	7H-28	2	剥片	26.1	14.3	9.7	2.8	H	○	○		2			2					F	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	41.030
第193図37	7H-28	3	剥片	70.2	29.3	5.2	2.8	−	−	○									M	H	凝灰岩6	(12)26ブロック+(13)26ブロック+36との接合		Ⅳ～Ⅴ層	41.020
	7H-28	4	剥片	16.3	11.6	7.4	1.0	H				3	1							F	流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.030
	7H-28	5	剥片	15.7	12.4	8.6	1.6	H				4			2					F	チャート			Ⅳ～Ⅴ層	41.080
	7H-28	6	剥片	13.7	15.9	2.6	0.5	C				1								F	砂岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.020
第187図21	7H-28	9	剥片	29.1	10.3	4.0	1.1	H		○		2			4						砂岩			Ⅵ層	40.810
第185図9	7H-28	10	石核	81.2	49.8	30.0	176.0														チャート			Ⅶ層	40.710
	7H-28	11	砕片	11.1	8.0	3.5	0.4														珪質頁岩			Ⅸ層	40.670
	7H-28	12	砕片	13.6	9.9	6.4	0.8														安山岩B			Ⅵ層	40.860
	7H-28	13	剥片	16.7	7.3	2.8	0.3	C													ホルンフェルス			Ⅵ層	40.890
	7H-28	14	砕片	13.9	19.3	4.0	0.5														安山岩A			Ⅵ層	40.970
	7H-28	15	剥片	16.4	6.4	5.4	1.1	H				1		1						F	安山岩			Ⅶ層	40.880
第185図10	7H-28	16	石核	29.3	29.4	18.6	13.3														安山岩B			Ⅸ層	40.620
第189図27	7H-28	17	剥片				7.0	H		○		3								S	ホルンフェルス10	(19)26ブロック+28+29+30との接合		Ⅶ層	40.980
	7H-28	18	剥片	29.1	16.1	5.7	3.7	H	○	○		1									安山岩A			Ⅸ層	40.670
	7H-28	19	砕片	13.6	13.7	2.9	0.4														安山岩A			Ⅸ層	40.620
第190図32	7H-28	20	剥片	31.5	16.3	6.8	2.9	H		○		2								S	ホルンフェルス			Ⅶ層	40.750
	7H-28	21	剥片				8.0	P		○		2							M	−	安山岩A			Ⅸ層	40.600
	7H-37	2	砕片	10.1	7.9	2.5	0.2														流紋岩			Ⅵ層	40.840
	7H-37	3	剥片	20.0	11.4	2.8	0.6	P		○		1			2					F	流紋岩			Ⅶ層	40.700
第190図31	7H-37	4	石核	48.1	41.0	23.5	62.7														流紋岩5			Ⅶ層	40.750
	7H-37	5	剥片	18.1	23.1	3.6	1.1	H				1								O	流紋岩			Ⅸ層	40.620
	7H-37	6a	礫	54.1	37.5	31.1	45.6														流紋岩			Ⅶ層	40.740
	7H-37	6b					15.5																	Ⅶ層	40.740
	7H-37	6c					19.8																	Ⅶ層	40.740
	7H-37	6d					4.9																	Ⅶ層	40.740
	7H-37	6e					3.6																	Ⅶ層	40.740
	7H-37	6f					1.8																	Ⅶ層	40.740
	7H-37	6g					0.9																	Ⅶ層	40.740
	7H-37	6h					0.5																	Ⅶ層	40.740
	7H-37	6i					0.3																	Ⅶ層	40.740
第184図2	7H-37	7	剥片	39.3	18.2	14.2	10.9	H		○		1								F	安山岩A			Ⅸ層	40.670
第189図28	7H-37	8	剥片	22.1	32.1	12.1	7.9	2	○	○		4									安山岩3	26＋19＋20＋23＋16との接合		Ⅸ層	40.670
	7H-37	9	剥片	20.2	17.1	8.5	3.6	H				2				1				F	流紋岩			Ⅵ層	40.900
第184図7	7H-37	10	U剥片	25.7	22.8	8.6	6.5	−	−			2	1	1	1				R B	F	チャート			Ⅵ層	40.890
	7H-37	11	剥片	16.5	25.5	4.5	1.4	C				2		2	1					F	安山岩A			Ⅵ層	40.840
第185図12	7H-37	12	楔形石器	34.5	28.6	13.6	13.1														安山岩B			Ⅵ層	40.890
第187図18	7H-37	13	剥片	23.1	23.3	5.9	3.7	H		○		1									ホルンフェルス11	33＋5 との接合		Ⅸ層	40.620
	7H-37	14	剥片	22.8	21.2	4.9	2.3	H		○		1								F	砂岩			Ⅵ層	40.970
	7H-37	15	砕片	11.7	13.7	3.7	0.6														流紋岩			Ⅸ層	40.670
第191図33	7H-37	16	石核	56.7	70.3	25.8	123.0													F	ホルンフェルス11	5＋18との接合		Ⅶ層	40.700
	7H-38	2	剥片	13.2	16.7	3.8	1.0	H				2									安山岩A			Ⅵ層	40.980
第185図11	7H-38	3	石核	29.5	36.9	19.4	18.3														安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層	41.000
	7H-38	4	砕片	11.8	12.5	4.5	0.5														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.070
第184図8	7H-38	5	剥片	25.8	30.7	6.6	4.8	H		○		2								F	安山岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.060
	7H-38	6	砕片	7.8	7.4	2.9	0.1														安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層	41.100
	7H-38	7	剥片	22.4	14.2	5.6	1.0	H				2							L	F	安山岩			Ⅵ層	40.820
第184図4	7H-38	8	剥片	47.8	37.6	13.2	31.0	C		○									M	−	安山岩A			Ⅶ層	40.770
	7H-38	9	砕片	11.7	11.2	4.2	0.4														流紋岩			Ⅵ層	40.930
	7H-38	10	剥片	9.5	16.2	4.7	0.8	H				1								F	流紋岩			Ⅵ層	40.850
	7H-38	11	剥片	15.2	13.0	2.1	0.5	L		○		1									流紋岩			Ⅵ層	40.850
第189図29	7H-38	12	剥片				5.1	H	○	○		3								S	ホルンフェルス10	(19)26ブロック+27+28+30との接合		Ⅳ～Ⅴ層	41.170
第187図24	7H-38	13	剥片	24.3	34.1	3.5	3.4	C		○			1	1						S	砂岩13	25a+25b+(98)23ブロックとの接合		Ⅵ層	40.800
	7H-38	14	剥片	18.7	12.2	4.4	1.0	H				2								F	凝灰岩			Ⅸ層	40.690
第184図3	7H-38	15	石核	18.2	22.7	12.3	6.0														安山岩A			Ⅶ層	40.780
第187図25b	7H-38	16	剥片	20.7	16.3	5.5	1.8	C		○					1					L	S	砂岩13	24+25a+(98)23ブロックとの接合		Ⅵ層	40.820
	7H-38	17	剥片	20.9	10.1	7.5	1.6	C				2	1		3					F	チャート			Ⅵ層	40.800
	7H-38	18	原石	61.7	41.5	4.5	53.6														ホルンフェルス			Ⅶ層	40.710
第193図36	7H-38	19	剥片	18.1	19.5	3.7	1.7	C		○										B	−	凝灰岩6	(12)26ブロック+(13)26ブロック+37との接合		Ⅵ層	40.940
	7H-38	20	砕片	13.4	7.7	3.1	0.4	L												F	チャート			Ⅶ層	40.720
第187図22	7H-38	21	U剥片	16.8	19.2	6.5	1.4	−	−			1		2					R M		安山岩A			X層	40.420
第187図25a	7H-38	22	剥片	21.7	18.3	5.2	1.8	C		○				1						R	S	砂岩13	24+25b+(98)23ブロックとの接合		Ⅶ層	40.780
	7H-38	23	剥片	19.6	17.5	4.6	1.2	H	○	○		1								F	チャート			Ⅶ層	40.780
	7H-38	24	砕片	14.6	7.8	6.3	0.8														珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.130
	7H-38	25	剥片	13.5	18.6	3.2	0.8	C		○										F	砂岩			Ⅵ層	40.800
	7H-38	26	剥片	12.5	20.9	9.6	2.3	H		○		2		1						F	流紋岩5			Ⅳ～Ⅴ層	41.140
第184図5	7H-38	27	剥片	34.0	35.7	8.1	8.3	H	○	○					2					H L	F	ホルンフェルス11	33+18との接合		Ⅸ層	40.660
	7H-38	28	砕片	14.3	12.0	6.3	0.8	H		○										R	F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.600
第185図13	7H-38	29	石核	35.2	35.2	21.7	42.2														安山岩A			Ⅸ層	40.670
第189図30	7H-38	30	石核	30.1	39.5	18.0	21.4														ホルンフェルス10	(19)26ブロック+27+28+29との接合		Ⅶ層	40.730

第25表　旧石器時代　第25ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7H-27	2	剥片	18.1	22.2	5.9	2.9	H		○		3								F	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	41.060
第195図 4	7H-27	5	U剥片	18.6	21.9	2.8	0.9	P				2			1			R、B		H	珪質頁岩			Ⅵ層	40.880
	7H-27	6	剥片	19.2	14.1	3.7	0.8	L											L、B	F	凝灰岩			Ⅵ層	40.870
	7H-27	7	剥片	32.3	28.2	6.5	5.7	C		○										F	チャート			Ⅵ層	40.880
	7H-27	8	剥片	22.3	31.4	7.2	3.6	2		○		1			1					F	メノウ			Ⅵ層	40.850
第197図 9	7H-27	9	剥片	31.6	36.3	10.5	11.1	2		○		1								S	チャート41	(21)26ブロック+(90+91)17ブロックとの接合		Ⅵ層	40.870
	7H-27	10	剥片	22.9	35.3	9.2	5.3	H		○										F	砂岩			Ⅵ層	40.990
	7H-27	11	剥片	15.9	20.9	3.8	1.5	H				2				1			B	−	ホルンフェルス			Ⅵ層	40.921
第195図 3	7H-27	14	U剥片	32.1	30.2	6.9	6.2	H	○			3	3	1						F	安山岩A			Ⅶ層	40.745
	7H-27	15	剥片	26.8	19.6	4.5	2.5	H				3								F	安山岩A			Ⅶ層	40.835
	7H-27	16	剥片	26.6	33.4	3.6	4.2	C		○										F	チャート			Ⅶ層	40.836
	7H-27	17	剥片	22.3	28.5	3.2	3.8	H		○		2		1						F	流紋岩			Ⅶ層	40.777
	7H-27	18	剥片	13.1	16.6	5.1	1.1	H	○			2							M	−	安山岩A			Ⅵ層	40.886
第195図 6	7H-27	19	剥片	27.7	26.9	5.9	2.8	2		○		3								F	流紋岩			Ⅸ層	40.600
	7H-27	20	砕片	14.2	2.7	1.0	0.7														安山岩A			Ⅶ層	40.821
第195図 2	7H-27	21	R剥片	21.8	22.0	6.3	3.2	2		○		2									珪質頁岩			Ⅶ層	40.719
第195図 1	7H-27	23	台形石器	24.7	16.9	6.0	2.6														珪質頁岩			Ⅸ層	40.615
	7H-27	24	剥片	17.4	15.0	9.1	2.4	L		○		2		1						F	砂岩			Ⅸ層	40.592
第196図 7	7H-27	25	剥片	22.2	37.2	10.0	8.7	H		○										S	ホルンフェルス10	8+(34+35)24ブロックとの接合		Ⅶ層	40.763
	7H-27	26	砕片	10.3	6.1	2.0	1.0														凝灰岩			Ⅶ層	40.782
	7H-27	43	剥片	29.5	20.4	10.5	3.6	H		○										F	チャート			Ⅶ層	40.711
	7H-27	44	剥片	7.8	16.2	3.4	0.4	2				3								F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.499
第195図 5	7H-17	3	剥片	21.1	29.6	6.6	5.2	H		○		1		1	1					F	チャート			Ⅵ層	40.880
	7H-17	4	剥片	16.5	23.5	7.7	3.3	H		○										F	チャート			Ⅵ層	40.963
	7H-17	6	砕片	11.3	14.5	3.0	0.6														チャート			Ⅹ層	40.520
第196図 8	7H-17	7	剥片	23.2	35.5	12.2	11.9	2		○										F	ホルンフェルス10	7+(34)24ブロック+(35)24ブロックとの接合		Ⅹ層	40.530
	7H-18	2	砕片	11.4	13.8	4.0	0.7														珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.012

第26表　旧石器時代　第26ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第199図 5	7H-07	2	楔形石器	38.8	14.7	10.7	5.2														安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	41.005
	7H-07	3	剥片	15.7	15.4	5.0	1.3	−	−	○				1						F	チャート			Ⅶ層	40.780
	7H-07	5	剥片	30.8	13.3	8.9	5.5	C		○					1				L	H	チャート			Ⅸ層	40.670
	7H-07	6	砕片	13.8	8.9	3.9	0.5	C		○										F	砂岩			Ⅸ層	40.600
	7H-07	7	剥片	24.8	15.2	3.1	0.9	P				4			1					F	チャート			Ⅸ層	40.660
第204図20	7H-07	8	剥片	31.1	22.5	12.2	5.0	L	○	○		2	1							F	流紋岩2	(27)22ブロック他3点と接合		Ⅸ層	40.540
第199図 1	7H-08	2	石核	56.0	47.5	22.4	84.1														凝灰岩			Ⅶ層	40.800
	7H-08	3	剥片	23.6	13.0	5.7	1.4	H		○		2							R	F	流紋岩			Ⅶ層	40.760
第201図12	7H-08	4	磨製石斧	37.5	42.9	10.9	24.9														凝灰岩6	13+(36)24ブロック+(37)24ブロックとの接合		Ⅸ層	40.680
第202図15	7H-08	5	剥片	15.6	8.2	2.8	0.3	P		○		1								F	チャート42	14+16との接合		Ⅶ層	40.720
第200図 9	7H-08	6	石核	59.0	65.4	27.7	133.0														石英斑岩			Ⅸ層	40.680
第199図 4	7H-08	7	石核	28.6	50.6	15.8	23.9														砂岩			Ⅸ層	40.690
第203図19	7H-08	8	石核	56.1	49.3	24.9	68.0														ホルンフェルス10	(27,28,29,30)24ブロックとの接合		Ⅸ層	40.670
第199図 8	7H-08	9	剥片	30.4	15.6	7.1	2.8	H		○		1							R	F	流紋岩			Ⅶ層	40.740
	7H-08	11	剥片	19.7	28.1	6.9	3.9	H		○			1							F	メノウ			Ⅸ層	40.610
第199図 7	7H-08	13	剥片	43.3	30.1	9.4	13.9	C		○		2							R	O	石英斑岩			Ⅸ層	40.680
第205図21	7H-08	14	剥片	33.3	44.1	13.1	20.1	H		○		2								F	チャート21	19(25ブロック+21+(90,91)17ブロックとの接合		Ⅶ層	40.730
	7H-08	15	礫	28.4	22.8	7.2	5.3														流紋岩			Ⅹ層	40.560
	7H-08	16a	剥片	7.2	23.7	2.8	0.4	−	−										B	F	砂岩			Ⅹ層	40.530
	7H-08	16b	砕片	7.5	6.8	3.1	0.1														チャート			Ⅹ層	40.530
第199図 3	7H-08	17	楔形石器	28.0	35.5	10.1	8.7														チャート			Ⅹ層	40.550
第200図10	7H-08	18	石核	53.1	42.2	35.0	118.8														石英斑岩			Ⅸ層	40.670
	7H-08	19	剥片	22.3	12.6	5.9	1.3	H		○		3		1	1				R	F	流紋岩			Ⅸ層	40.640
第201図13	7H-18	3	磨製石斧	53.9	43.7	12.5	37.9														凝灰岩6	12+(36)24ブロック+(37)24ブロックとの接合		Ⅸ層	40.690
第199図 6	7H-18	4	石核	27.4	36.6	16.0	16.4														安山岩A			Ⅶ層	40.830
	7H-18	5	砕片	14.5	8.9	2.2	0.3														流紋岩			Ⅶ層	40.830
	7H-18	6	砕片	11.5	13.7	3.5	0.5														流紋岩			Ⅶ層	40.730
第202図17	7H-18	7	台形石器	25.5	26.1	8.7	5.7														砂岩13	18との接合		Ⅶ層	40.760
	7H-18	8	剥片	20.2	17.6	3.4	1.2	C				2	1							F	流紋岩			Ⅸ層	40.660
第202図18	7H-18	9	石核	47.1	28.9	9.8	14.2														砂岩13	17との接合		Ⅸ層	40.640
第202図16	7H-18	10	石核	44.8	35.8	22.5	39.6														チャート42	14+15との接合		Ⅸ層	40.660
第202図14	7H-18	11	剥片	19.5	14.2	3.2	0.8	P		○		1								F	チャート42	15+16との接合		Ⅶ層	40.700
第199図 2	7H-18	12	U剥片	28.9	15.0	6.2	2.1	−	−			3			1			L、R	H	O	チャート			Ⅵ層	40.850
第200図11	7H-17	5	石核	38.6	45.8	21.2	40.4														流紋岩			Ⅸ層	40.670

第27表　旧石器時代　第27ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第209図11	7H-29	2	剥片	18.4	35.8	6.2	2.8	H		○		3								S	砂岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.060
第210図21	7H-29	3	剥片	34.2	32.5	5.9	6.0	C		○										F	凝灰岩7	22+23との接合		Ⅲ層	41.880
第217図40	7H-29	4	剥片	43.2	51.5	18.2	27.9	H	○	○		2			1					S	安山岩1	41~43~44(28ブロック~(34)16ブロックとの接合		Ⅸ層	40.660
	7H-29	5	剥片	18.2	23.1	6.3	2.8	－	－	○									M	F	ホルンフェルス			Ⅳ～Ⅴ層	41.090
第217図42	7H-29	6	剥片	26.5	49.2	14.5	14.5	2		○		1								H	安山岩1	40~41+43+44(28ブロック+(34)16ブロック		Ⅷ層	40.710
第217図43	7H-29	7	剥片	32.5	31.5	14.5	13.9	－	－			2	1	3					R	F	安山岩1	40~42+44(28ブロック+(34)16ブロックとの接合		Ⅷ層	40.730
	7H-29	8	砕片	12.4	5.6	4.0	0.2														安山岩A			Ⅵ層	40.820
	7H-29	9	剥片	28.2	33.5	7.7	6.6	H		○					1					F	安山岩			Ⅵ層	40.850
第214図33	7H-29	10a	石核	47.4	40.0	20.5	49.0														砂岩15	34+35+36との接合		Ⅷ層	40.720
第214図35	7H-29	10b	剥片	28.5	33.5	9.8	11.6	H		○										F	砂岩15	33+34+36との接合		Ⅷ層	40.720
第214図36	7H-29	10c	剥片	20.0	27.0	22.5	14.3	C		○										F	砂岩15	33+34+35との接合		Ⅷ層	40.720
第214図34	7H-29	10d	剥片	15.2	15.2	11.3	3.5	C		○										F	砂岩15	33+35+36との接合		Ⅷ層	40.720
第209図13	7H-29	11	石核	31.6	45.6	14.5	24.8														チャート			Ⅷ層	40.760
第210図20	7H-29	12	石核	39.5	32.4	17.6	20.2														砂岩14	19との接合		Ⅷ層	40.750
第209図15	7H-29	13	R剥片	33.1	51.5	7.8	17.7	C		○		1						L H	M	－	安山岩A			Ⅷ層	40.750
第208図 5	7H-29	14	石核	32.4	44.4	13.2	21.7														砂岩			Ⅷ層	40.730
	7H-29	15	剥片	26.7	13.8	7.3	1.9	L		○		2							R	F	凝灰岩			Ⅸ層	40.680
	7H-29	16	剥片	19.2	16.9	7.0	2.2	C		○			1							F	砂岩			Ⅷ層	40.770
第213図31	7H-29	17	剥片	23.0	16.6	5.6	2.0	C		○									R	F	砂岩16	30+32との接合		Ⅷ層	40.760
第215図37	7H-29	18	石核	70.0	60.8	21.1	100.4														砂岩17	38との接合		Ⅷ層	40.700
第213図30	7H-29	19	石核	84.3	62.4	20.6	137.0														砂岩16	31+32との接合		Ⅷ層	40.700
	7H-29	20	剥片	23.7	16.5	5.8	2.4	C		○					1					F	砂岩			Ⅷ層	40.720
	7H-29	21	剥片	16.4	26.1	3.6	1.6	C		○										F	石英			Ⅷ層	40.720
	7H-29	22	剥片	15.7	15.8	3.2	1.0	C		○									R	F	チャート			Ⅵ層	40.880
第213図32	7H-29	23	剥片	19.6	14.9	5.1	1.6	C		○				1						F	砂岩16	30+31との接合		Ⅹ層	40.000
	7H-29	24	剥片	22.3	28.6	4.1	1.9	H				2		1	1					H	安山岩A			Ⅷ層	40.790
	7H-29	25	剥片	19.6	30.8	3.5	2.7	H	○	○		2								F	安山岩A			Ⅵ層	40.900
	7H-29	26	剥片	15.2	21.0	5.6	1.8	H		○		1		1						F	ホルンフェルス			Ⅵ層	40.900
第209図17a	7H-29	27	剥片	15.3	24.4	6.3	1.8	－	－						1				R	F	チャート			Ⅷ層	40.750
第209図 9	7H-29	28	剥片	27.7	37.7	13.9	12.7	C		○		1			2					F	安山岩A			Ⅹ層	40.100
	7H-29	29	剥片	17.5	18.6	5.0	1.2	C	○					1					R	F	安山岩A			Ⅸ層	40.670
第208図 8	7H-29	30	剥片	32.7	49.3	8.1	13.1	C		○		1								S	砂岩			Ⅵ層	40.810
	7H-29	31	剥片	17.3	25.5	7.0	2.7	H		○		3			1					F	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.670
第208図 4	7H-29	32	石核	29.3	36.3	16.0	23.4														珪質頁岩			Ⅸ層	40.690
	7H-29	33	剥片	31.5	26.7	4.1	4.3	C		○										F	安山岩A			Ⅷ層	40.750
第208図 2	7H-29	34	石核	36.3	50.5	20.2	51.8														チャート			Ⅸ層	40.600
第209図10	7H-29	35	石核	28.0	29.4	13.5	15.4														珪質頁岩			Ⅵ層	40.810
	7H-29	37	剥片	23.0	19.0	5.0	1.1	H		○		1								F	安山岩A			Ⅸ層	40.660
	7H-29	38	剥片	19.1	20.5	4.6	1.6	－	－			2	1						M	F	安山岩A			Ⅸ層	40.680
第210図23	7H-29	39	石核	44.9	31.1	8.8	11.1														凝灰岩7	21+22との接合		Ⅷ層	40.760
	7H-29	40	砕片	13.5	11.4	6.2	0.8														石英			Ⅵ層	40.850
第208図 7	7H-29	41	原石	56.0	35.4	22.0	56.1														凝灰岩			Ⅸ層	40.660
第216図39	7H-29	42	石斧	39.4	33.7	13.5	47.0														蛇紋岩1	(1a)20ブロック+(1b)20ブロックとの接合		Ⅸ層	40.680
第210図22	7H-29	43	剥片	32.8	28.0	6.0	5.4	H	○	○		2								S	凝灰岩7	21+23との接合		Ⅸ層	40.680
第211図27	7H-29	44	石核	35.2	28.6	18.1	18.9														凝灰岩8	26+28+29との接合		Ⅸ層	40.670
第209図17b	7H-29	45	剥片	17.4	27.3	7.1	2.9	C													チャート			Ⅸ層	40.630
	7H-29	46	剥片	35.5	26.7	6.9	11.3	C		○									L	F	凝灰岩			Ⅸ層	40.690
	7H-29	47	剥片	21.6	17.3	4.1	1.2	C		○		1							L	F	安山岩			Ⅸ層	40.670
	7H-29	48	剥片	11.0	24.6	3.9	1.0	－				1			1				H	S	砂岩			Ⅸ層	40.690
	7H-29	49	剥片	8.1	17.2	1.2	0.2	L				1								F	凝灰岩			Ⅸ層	40.640
	7H-29	50	砕片	11.3	7.4	4.9	0.4														安山岩A			Ⅷ層	40.720
	7H-29	51	剥片	22.1	17.8	4.6	1.4	C		○					1				L	F	安山岩			Ⅷ層	40.770
第210図19	7H-29	52	石核	37.5	27.3	14.0	14.1														砂岩14	20との接合		Ⅷ層	40.750
	7H-29	53	砕片	10.7	10.0	3.7	0.2														チャート			Ⅸ層	40.550
	7H-29	54	剥片	17.3	20.6	3.1	1.2	C		○										F	安山岩A			Ⅸ層	40.560
	7H-29	55	砕片	4.1	9.9	1.4	0.1														安山岩A			Ⅸ層	40.560
	7H-29	56	剥片	11.2	21.2	2.1	0.5	－	－			1							B	F	安山岩			Ⅸ層	40.540
第209図18	7H-29	57	剥片	20.7	12.9	8.0	2.1	C		○		2								F	砂岩			Ⅸ層	40.670
第217図41	7H-29	58	剥片	19.8	29.2	9.8	5.0	H	○	○		2			1					F	安山岩1	40+42+43+44(28ブロック+(34)16ブロック		Ⅷ層	40.710
	7H-29	59	砕片	13.2	11.7	6.0	0.7														安山岩A			Ⅸ層	40.510
	7H-29	60	砕片	14.3	7.2	2.1	0.2														安山岩A			Ⅹ層	40.460
第212図29	7H-29	61a	剥片	23.5	17.7	4.9	1.0	2		○		2								F	凝灰岩8	26+27+28との接合		Ⅹ層	40.490
	7H-29	61b	砕片	9.7	11.8	1.3	0.1														流紋岩			Ⅹ層	40.490
	7H-29	61c	剥片	5.0	9.1	1.1	0.04														安山岩A			Ⅹ層	40.490
	7H-29	62	剥片	17.6	27.2	5.2	2.2	C		○					1					H	砂岩			Ⅹ層	40.450
第211図24	7H-39	3	敲石	55.5	27.5	23.5	49.8														砂岩			Ⅸ層	40.630
第208図 3	7H-39	4	剥片	23.4	24.7	6.0	3.1	H		○		2								F	安山岩A			Ⅸ層	40.600
第208図 1	7H-39	5	台形石器	17.8	21.3	3.6	1.7														メノウ			Ⅸ層	40.600
第212図28	7H-39	6	石核	46.1	34.6	18.5	30.2														凝灰岩8	26+27+29との接合		Ⅸ層	40.670
第209図16	8H-20	25	剥片	19.0	15.6	2.7	0.7	－	－			1		1						F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.947
	8H-20	49	剥片	43.8	14.1	5.5	1.5	C		○					1					H	石英			Ⅸ層	40.697
	8H-20	50	剥片	20.0	17.9	4.8	1.9	L		○		1			2					S	石英			Ⅵ層	40.855
第211図25	8H-20	51	剥片	18.1	26.4	4.8	2.2	2				1			1					S	ホルンフェルス12	(42)28ブロックとの接合		Ⅵ層	40.890
	8H-20	52	剥片	21.9	41.6	4.5	4.1	C		○				1						S	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.587
第209図12	8H-20	53	剥片	27.7	41.4	8.2	11.2	C		○			2							S	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.615
	8H-20	54	剥片	16.1	10.5	3.0	0.7	H				2	2		1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.690
第212図26	8H-20	55	剥片	22.5	9.5	4.2	1.1	H						1	1					F	凝灰岩8	27+28+29との接合		Ⅵ層	40.846
	8H-20	56	砕片	13.7	10.2	2.9	0.5														チャート			Ⅷ層	40.790
第215図38	8H-20	57	剥片	22.7	35.8	6.5	5.3	H		○		1								F	砂岩17	37との接合		Ⅸ層	40.655
	8H-20	58	砕片	11.6	12.7	3.7	0.4														安山岩			Ⅷ層	40.735
	8H-20	59	剥片	17.8	1.8	4.3	1.0			○		2								F	チャート			Ⅷ層	40.705
	8H-20	61	剥片	13.7	20.0	2.2	0.6	C		○									M	－	安山岩A			Ⅷ層	40.768
	8H-20	69	剥片	16.5	11.0	2.8	0.5	H				2			1					F	安山岩A			Ⅸ層	40.629
	8H-20	70	剥片	14.7	12.6	4.2	0.8	H		○										F	砂岩			Ⅸ層	40.600
第209図14	8H-20	71	剥片	22.1	24.1	5.9	3.0	C		○					1					H	石英			Ⅸ層	40.595
第208図 6	8H-20	73	剥片	34.3	30.1	7.8	9.8	H		○					1		1			H	チャート			Ⅹ層	40.491

第28表　旧石器時代　第28ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	8H-10	2	砕片	14.2	14.4	4.0	0.6														チャート			Ⅳ～Ⅴ層	41.035
第222図28	8H-11	10	石核	25.0	29.9	13.4	9.2														凝灰岩			Ⅶ層	40.782
	8H-20	2	剥片	18.2	16.1	5.4	1.4	C				3		1	1					H	珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.315
	8H-20	3	砕片	13.2	7.8	4.2	0.4														珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.040
	8H-20	4	剥片	16.5	28.7	3.4	1.6	L		○		1	1		1					H	流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.261
第221図24	8H-20	5	剥片	34.1	22.4	8.0	3.9	L		○		3								F	凝灰岩			Ⅵ層	40.801
	8H-20	6	砕片	13.2	13.1	3.4	0.7														安山岩A			Ⅸ層	40.599
	8H-20	7	剥片	23.3	11.0	8.1	2.0	H		○		2	1	1						O	メノウ			Ⅵ層	40.899
第223図37	8H-20	8	石核	31.9	28.3	31.9	29.7														凝灰岩9	36との接合		Ⅸ層	40.675
第223図36	8H-20	9	剥片	18.8	21.4	8.2	2.8	H				1		2	1					F	凝灰岩9	37との接合		Ⅸ層	40.660
	8H-20	10	剥片	28.8	16.4	4.1	1.8	－	－	○					1				L	F	安山岩A			Ⅷ層	40.721
第221図25	8H-20	11	剥片	24.2	32.7	6.5	3.6	C		○		1	1							S	珪質頁岩			Ⅵ層	40.846
第221図20	8H-20	12	剥片	31.4	28.1	9.2	8.3	－	－	○		1		4						F	安山岩A			Ⅸ層	40.573
第221図21	8H-20	14	石核	33.3	41.2	12.3	17.6														珪質頁岩			Ⅸ層	40.675
	8H-20	15	剥片	28.1	15.6	7.0	3.4	2		○		1									珪質頁岩			Ⅷ層	40.751
	8H-20	16	U剥片	14.9	16.5	3.6	0.9	C		○		1								F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.860
	8H-20	17	砕片	14.2	9.2	2.6	0.4														ホルンフェルス			Ⅳ～Ⅴ層	40.938
	8H-20	18	剥片	18.6	22.3	5.2	2.1	H				2	2	1						F	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	41.041
	8H-20	19	剥片	14.0	27.3	7.1	1.7	C		○							1		L	F	砂岩			Ⅵ層	40.906
	8H-20	20	剥片	10.2	20.6	3.6	0.7	C	○			3								F	ホルンフェルス			Ⅳ～Ⅴ層	41.059
第224図39	8H-20	21	石核	44.4	36.0	16.1	34														珪質頁岩14	38との接合		Ⅷ層	40.707
	8H-20	22	砕片	13.9	7.3	2.0	0.2														安山岩B			Ⅷ層	40.785
第222図31	8H-20	24	剥片	24.5	19.2	9.4	4.3	H											M	－	安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層	41.040
第223図35	8H-20	26	剥片	32.0	16.9	9.5	5.0	C		○									L	F	石英2	34との接合		Ⅷ層	40.788
	8H-20	27	砕片	14.1	13.2	4.8	0.7														メノウ			Ⅷ層	40.783
	8H-20	28	剥片	26.1	23.9	8.8	5.4	H	○	○		1								H	石英			Ⅷ層	40.778
第222図27	8H-20	29	砕片	11.5	7.8	1.5	0.2														珪質頁岩			Ⅵ層	40.919
	8H-20	30	剥片	15.6	9.8	3.2	0.4	－	－			2								F	チャート			Ⅵ層	40.868
	8H-20	31	剥片	21.1	14.6	5.1	1.7	H		○		1				1	1			H	安山岩A			Ⅵ層	40.895
	8H-20	32	礫	22.7	14.2	4.5	2.2														チャート			Ⅸ層	40.665
	8H-20	34	剥片	23.8	18.7	7.3	3.1	C		○		2								F	メノウ			Ⅸ層	40.695
	8H-20	35	剥片	20.8	25.3	4.0	2.2	C		○										H	砂岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.122
	8H-20	37	剥片	13.9	19.4	7.2	1.4	C				2				1				F	チャート			Ⅸ層	40.581
	8H-20	38	剥片	17.4	6.0	6.3	1.0	H				1		1		1				F	凝灰岩			Ⅸ層	40.573
	8H-20	39	石核	27.7	31.1	15.8	12.7														石英			Ⅷ層	40.760
	8H-20	40	砕片	5.1	14.6	2.2	0.2														珪質頁岩			Ⅷ層	40.748
	8H-20	42	剥片	19.6	16.4	3.5	1.2	C		○		1							B	－	流紋岩			Ⅷ層	40.713
	8H-20	43	砕片	11.9	7.3	3.2	0.3														石英			Ⅸ層	40.648
第219図 5	8H-20	44	剥片	25.1	23.7	7.0	2.6	H		○		2								F	凝灰岩			Ⅸ層	40.646
	8H-20	45a	剥片	21.6	14.9	3.8	1.3	H		○									R	F	流紋岩			Ⅸ層	40.611
	8H-20	45b	砕片	11.5	13.1	4.5	0.4														凝灰岩			Ⅸ層	40.611
第226図42	8H-20	46	石核	44.8	53.8	16.4	57.9														ホルンフェルス12	(25)27ブロックとの接合		Ⅸ層	40.668
第220図10	8H-20	47	石核	32.8	32.7	32.1	23.9														凝灰岩			Ⅷ層	40.761
	8H-20	48	剥片	20.4	15.7	5.4	1.7	C		○									L	F	砂岩			Ⅷ層	40.828
	8H-20	60	砕片	12.7	8.0	3.2	0.4														チャート			Ⅷ層	40.799
第226図41	8H-20	62	礫	28.8	20.0	16.0	11.3														珪質頁岩8	(40)15ブロックとの接合		Ⅷ層	40.729
	8H-20	63	剥片	25.7	19.5	20.0	3.7	H				1		1			1			F	石英			Ⅷ層	40.755
第220図15	8H-20	64	剥片	16.7	9.6	4.2	0.6	H		○										F	メノウ			Ⅸ層	40.665
	8H-20	65	剥片	21.9	19.2	13.1	4.9	C		○		2			1					F	石英			Ⅸ層	40.618
第224図38	8H-20	66	石核	51.0	39.1	15.0	33.5														珪質頁岩14	39との接合		Ⅸ層	40.666
第222図26	8H-20	67	剥片	56.6	30.1	10.4	23.4	C	○	○		1	1							F	安山岩A			Ⅸ層	40.682
第223図34	8H-20	68	石核	38.1	51.7	16.5	29.9														石英2	35との接合		Ⅸ層	40.696
第219図 7	8H-20	72	剥片	17.9	29.4	5.4	2.9													F	メノウ			Ⅹ層	40488
第219図 2	8H-21	2	ナイフ形石器	46.0	19.3	5.0	5.6														メノウ			Ⅶ層	40.782
第220図17	8H-21	3	剥片	30.7	19.9	9.5	4.4	H	○			4		2	1		2			O	珪質頁岩			Ⅷ層	40.720
	8H-21	4	砕片	14.7	12.0	3.5	0.6														珪質頁岩			Ⅸ層	40.650
	8H-21	5	剥片	16.8	13.5	6.4	1.0	H		○					1					H	石英			Ⅸ層	40.698
第219図 9	8H-21	7	剥片	20.0	27.3	6.6	4.0	H	○	○		3								F	珪質頁岩			Ⅷ層	40.761
	8H-21	8	剥片	26.7	18.0	8.5	3.6	L		○		1		1	1					F	メノウ			Ⅸ層	40.562
第220図14	8H-21	9	石核	27.5	37.3	15.4	18.0														珪質頁岩			Ⅸ層	40.600
第222図29	8H-21	10	楔形石器	24.1	20.3	12.0	5.9														安山岩A			Ⅵ層	40.900
第220図16	8H-21	11	剥片	30.5	31.1	7.4	8.7	－	－	○		1								F	メノウ			Ⅸ層	40.597
	8H-21	12	剥片	33.6	15.1	8.5	4.4	C		○					1					F	チャート			Ⅸ層	40.558
	8H-21	13	剥片	30.5	24.2	7.5	7.7	H	○	○		1								S	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.640
	8H-21	14	剥片	20.7	7.0	5.6	1.9	H		○										F	チャート			Ⅵ層	40.936
	8H-21	15	剥片	18.3	24.5	4.5	2.4	C		○										H	チャート			Ⅸ層	40.689
	8H-21	16	原石	65.8	51.1	14.1	70.7														砂岩			Ⅷ層	40.735
第222図33	8H-21	17	剥片	31.9	25.1	7.1	5.8	H		○				2						S	凝灰岩10	32との接合		Ⅵ層	40.897
	8H-21	18	剥片	22.0	15.9	5.8	1.9	H		○										F	チャート			Ⅸ層	40.625
第220図12	8H-21	19	石核	30.7	21.3	9.1	6.6														珪質頁岩			Ⅸ層	40.650
	8H-21	20	礫	27.8	20.6	3.7	9.3														チャート			Ⅷ層	40.742
第222図32	8H-21	21	剥片	41.3	33.7	8.3	12.5	H		○		1		2						H	凝灰岩10	33との接合		Ⅷ層	40.726
第221図18	8H-21	22	石核	40.7	54.8	21.7	56.8														チャート			Ⅷ層	40.705
	8H-21	23a	ナイフ形石器	51.4	18.8	10.7	9.4														メノウ			Ⅹ層	40.487
	8H-21	23b	砕片	12.1	10.1	5.5	0.6														チャート			Ⅹ層	40.487
第219図 3	8H-30	3	台形様石器	28.8	15.4	5.7	3.0														安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層	41.215
第221図23	8H-30	4	石核	28.8	37.8	10.4	12.5														安山岩A			Ⅵ層	40.865
第220図13	8H-30	5	石核	34.4	30.9	26.9	22.0														安山岩B			Ⅸ層	40.666
	8H-30	6	礫	17.2	9.0	6.2	1.4														チャート			Ⅵ層	40.855
第228図44	8H-30	7	剥片	37.2	58.3	11.8	29.5	H		○		1		1						H	安山岩1	(40)～(43)ブロック・(34)(36)ブロックとの接合		Ⅵ層	40.808
第222図30	8H-30	8	石核	26.6	33.1	10.0	8.2														安山岩A			Ⅸ層	40.681
	8H-30	9	礫	12.7	8.6	3.6	0.6														チャート			Ⅵ層	40.855
	8H-30	10	剥片	14.6	23.0	4.3	1.1	－	－	○				1						F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.913
第225図40	8H-30	11	敲石	73.1	54.7	32.4	174.0														砂岩8	(35)18ブロックとの接合		Ⅷ層	40.772
第220図11	8H-30	12	剥片	25.1	22.3	6.4	2.6	H	○	○				1						H	珪質頁岩			Ⅷ層	40.785
	8H-30	13	剥片	25.0	21.0	6.4	89.6	H	○	○		2	1		1					F	ホルンフェルス			Ⅳ～Ⅴ層	41.037
	8H-30	14	礫	81.5	36.0	9.4	3.8														砂岩			Ⅹ層	40.438
第219図 6	8H-30	15	剥片	25.8	26.6	5.5	4.5	H	○										L H	F	安山岩A			Ⅹ層	40.488
第219図 4	8H-31	2	磨製礫	93.7	58.0	10.0	166.0														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.291
第219図 8	8H-31	3	剥片	31.0	22.7	7.8	4.6	H		○		1								F	メノウ			Ⅳ～Ⅴ層	41.446
第121図22	8H-31	4	剥片	32.2	34.8	10.2	11.6	C		○										H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.616
第221図19	8H-31	5	石核	38.2	45.7	8.2	17.1														チャート			Ⅸ層	40.616

第29表　旧石器時代　第29ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第230図 6	8H-62	4	剥片	18.4	26.0	6.6	3.7	H	○	○		4								H	珪質頁岩			Ⅸ層	40.657
第230図 4	8H-71	4	U剥片	10.7	26.6	4.7	1.9	S				1		2							珪質頁岩			Ⅵ層	40.890
第231図 9	8H-71	5	剥片	21.3	33.6	9.9	7.3	−	−			1	3	1	3			O		M	珪質頁岩			Ⅸ層	40.554
	8H-71	6	剥片	12.5	17.7	7.2	1.5	−	−			1	2					F		M	黒曜石			Ⅸ層	40.502
第230図 1	8H-72	2	台形石器	38.9	20.6	8.9	7.2														安山岩A			Ⅸ層	40.660
	8H-72	3	礫	56.1	32.9	15.7	45.7														流紋岩			Ⅸ層	40.630
	8H-72	4	剥片	11.6	26.5	3.3	0.8	C		○		2								F	珪質頁岩			Ⅶ層	40.803
	8H-72	5	剥片	18.7	12.9	7.6	1.4	4				3	1							F	黒曜石			Ⅸ層	40.660
	8H-72	6	剥片	13.2	27.1	15.0	4.2	H		○		1								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.658
第230図 3	8H-72	7	石核	15.5	22.3	30.6	9.5														珪質頁岩			Ⅸ層	40.508
第230図 8	8H-73	2	剥片	35.3	27.1	11.9	13.6	H				1	1			2	1		L	O	黒曜石			Ⅸ層	40.645
	8H-73	3	剥片	9.1	16.7	4.2	0.7	H		○		3								H	黒曜石			Ⅸ層	40.512
第230図 5	8H-82	2	石核	50.7	41.6	31.0	53.4														珪質頁岩			Ⅸ層	40.600
	8H-82	3	剥片	18.0	16.6	4.0	1.1	P	○	○		2								F	珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.031
第230図 7	8H-83	2	剥片	33.8	48.4	12.5	15.1	C			○	3								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.639
	8H-83	3	剥片	15.1	10.1	7.6	1.5	H		○		1	1							H	珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層	41.030
第231図10	8H-83	4	剥片	25.8	33.7	6.5	4.1	H	○	○		1								F	珪質頁岩15	11との接合		Ⅶ層	40.789
第231図11	8H-83	5	U剥片	23.6	29.7	6.8	4.0	H	○	○		2						R		F	珪質頁岩15	10との接合		Ⅵ層	40.874
第230図 2	8H-84	2	尖頭器	42.0	19.6	12.2	11.1														珪質頁岩			Ⅳ層	41.908

第30表　旧石器時代　第30ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	8 I-03	2	砕片	6.5	12.9	4.3	0.2														安山岩A			Ⅶ層	40.540
	8 I-13	2	剥片	15.3	13.9	3.2	0.6	L					3								黒曜石			Ⅵ層	40.820
第235図15	8 I-13	3	剥片	14.9	24.4	12.0	3.8	−	−	○		4									珪質凝灰岩1	16との接合		Ⅵ層	40.890
第233図 6	8 I-13	4	剥片	25.9	26.2	11.5	4.8	H				4	2	2	2						黒曜石			Ⅶ層	40.790
第233図 1	8 I-13	5	台形石器	26.6	31.8	8.4	6.9														珪質頁岩			Ⅶ層	40.800
第233図 4	8 I-13	6	U剥片	38.1	25.6	12.8	6.9	L	○			4	1	4							黒曜石			Ⅶ層	40.760
	8 I-13	7	砕片	13.5	11.5	1.8	0.3														珪質頁岩			Ⅸ層	40.600
第233図 9	8 I-13	8	剥片	25.6	33.8	9.4	5.8	C				2			1						安山岩A			Ⅶ層	40.740
	8 I-13	9	剥片	15.2	18.6	5.2	1.3	2	○												黒曜石			Ⅶ層	40.750
	8 I-13	10	剥片	15.2	16.5	6.8	1.1	P				1	1	1	1		1				黒曜石			Ⅸ層	40.640
第235図16	8 I-13	11	剥片	21.7	13.5	4.9	1.2	−	−	○		1	1	1							珪質凝灰岩1	15との接合		Ⅸ層	40.600
	8 I-13	12	剥片	16.5	17.1	3.7	1.0	L				2		1							ホルンフェルス			Ⅵ層	40.750
	8 I-13	13	剥片	20.9	22.2	8.5	2.7	2				3	2		1						黒曜石			Ⅵ層	40.690
	8 I-13	14	剥片	13.8	28.5	9.0	2.3	H				2								F	珪質頁岩			Ⅹ層	40.460
	8 I-13	15	剥片	17.6	4.5	2.4	0.7												H B	−	珪質頁岩			Ⅸ層	40.560
第233図 2	8 I-14	2	剥片	15.0	28.2	6.6	1.9	L										B		F	珪質頁岩			Ⅶ層	40.710
第233図 5	8 I-14	3	U・剥片	14.3	15.8	2.7	0.7	L	○			3	1						B	F	黒曜石			Ⅶ層	40.730
	8 I-14	5	剥片	23.8	9.7	10.1	2.0	H				2		3	2					F	珪質頁岩			Ⅶ層	40.760
	8 I-14	6	剥片	13.7	26.3	8.3	2.5	H		○		1	1	1							珪質頁岩			Ⅸ層	40.610
第233図 3	8 I-14	7	U・剥片	42.2	30.8	6.7	11.3	H					2	4				L		F	チャート			Ⅸ層	40.550
第234図11	8 I-14	8	敲石	51.6	26.8	13.0	24.9														ホルンフェルス13	12との接合		Ⅵ層	40.820
第235図13	8 I-14	9	剥片	23.9	20.1	33.6	1.9	H		○		2	1		1					F	珪質頁岩16	14との接合		Ⅸ層	40.500
	8 I-14	10	剥片	16.6	4.8	2.1	0.1	P											B	−	チャート			Ⅸ層	40.480
第233図 7	8 I-14	11	剥片	34.4	35.7	15.1	17.1	H		○		1								S	珪質頁岩			Ⅸ層	40.540
	8 I-14	12	礫	27.5	23.8	7.7	7.6														砂岩			Ⅸ層	40.560
第233図10	8 I-14	13	剥片	31.2	63.1	7.0	18.0	C												H	砂岩			Ⅵ層	40.690
	8 I-14	14	剥片	17.1	11.0	4.9	0.6	−	−	○		2								F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.417
	8 I-14	15	剥片	13.0	17.6	8.4	1.5	P				1		1	1					F	珪質頁岩			Ⅵ層	40.740
第234図12	8 I-14	16	敲石	94.1	36.8	25.6	110.8														ホルンフェルス13	11との接合		Ⅵ層	40.830
	8 I-14	17	礫	43.5	43.1	12.6	36.0														砂岩			Ⅵ層	40.840
第235図14	8 I-14	18	U・剥片	29.2	37.9	10.8	7.9	H		○		3								F	珪質頁岩16	13との接合	クラム		
	8 I-14	19	台形石器	15.8	27.8	6.7	3.3														チャート			Ⅹ層	40.440
第233図 8	8 I-24	2	剥片	27.8	52.8	9.0	12.0	H			○	2								H	ホルンフェルス			Ⅸ層	40.520
	8 I-24	3	剥片	11.0	22.4	9.0	1.2	C				2			1					F	珪質頁岩			Ⅸ層	40.540

第31表　旧石器時代　第31ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	8F-37	2	砕片	7.5	10.4	5.2	0.4														黒曜石			Ⅸ層	39.900
	8F-37	3	剥片	33.1	19.3	6.7	3.6	H				2			1					F	凝灰岩			Ⅸ層	39.940
第237図12	8F-37	4	剥片	27.5	26.2	7.7	6.2	H		○		2			1					F	安山岩A			Ⅷ～Ⅸ層	40.020
第237図 8	8F-37	5	U・剥片	25.8	19.7	7.6	2.8	3				1			3			B	R		黒曜石			Ⅷ～Ⅸ層	40.070
	8F-37	6	剥片	20.2	14.6	4.4	1.1	L	○			1			1					F	黒曜石			Ⅸ層	39.830
第238図15	8F-38	1	石核	48.0	71.3	21.6	102.3														安山岩		クラム		
	8F-38	2	礫	37.1	31.3	21.5	21.2														流紋岩			Ⅷ～Ⅸ層	40.060
第238図15	8F-38	3	剥片	30.1	18.5	10.8	4.0	H		○					1					F	凝灰岩11	18との接合		Ⅸ層	39.640
第238図18	8F-38	4	剥片	47.5	37.7	16.5	27.5	2		○										F	凝灰岩11	17との接合		Ⅷ～Ⅸ層	40.060
	8F-46	2	砕片	12.8	5.2	1.7	0.2														黒曜石			Ⅸ層	39.860
	8F-46	3a	剥片	9.7	20.2	2.6	0.5	P				1								S	砂岩			Ⅸ層	39.720
第237図 1	8F-46	4	ナイフ形石器	27.5	18.1	7.6	3.6														黒曜石			Ⅸ層	39.750
第237図 9	8F-46	5	石核	48.0	24.3	12.1	16.2														凝灰岩			Ⅸ層	39.860
第237図10	8F-46	6	石核	37.5	50.1	18.1	32.8														安山岩A			Ⅸ層	39.640
第237図13	8F-46	7	石核	42.1	55.7	10.9	23.5														チャート			Ⅸ層	39.880
	8F-47	3	砕片	6.5	7.6	2.2	0.1														黒曜石			Ⅸ層	39.960
第237図 4	8F-47	4	R・剥片	16.7	10.0	5.9	0.9	L	○			2	1		1				M	−	黒曜石			Ⅷ～Ⅸ層	40.000
第238図16	8F-47	5	原石	59.2	44.0	19.7	81.0														チャート			Ⅸ層	39.910
第237図11	8F-47	6	楔形石器	15.0	14.7	5.3	0.9	L	○												黒曜石			Ⅸ層	39.900
	8F-47	7	剥片	20.8	14.5	3.1	0.6	−	−			3								F	黒曜石			Ⅸ層	39.850
	8F-47	8	剥片	13.1	17.2	5.3	1.1	−	−			1	4						M	F	黒曜石			Ⅸ層	39.740
第237図 6	8F-47	11	台形石器	19.7	22.2	6.0	2.0														黒曜石			Ⅸ層	39.720
	8F-47	12	剥片	22.3	24.3	6.8	3.0	H		○		1								F	安山岩B			Ⅸ層	39.840
第237図 7	8F-48	2	U・剥片	23.9	17.2	6.6	2.3	2				4	1					B、R B		F	黒曜石			Ⅸ層	39.540
第237図 2	8F-48	3	ナイフ形石器	21.7	16.4	4.8	1.4														黒曜石			Ⅸ層	39.630
第237図 3	8F-48	4	楔形石器	11.8	21.0	7.2	1.3														黒曜石			Ⅸ層	39.660
第237図 5	8F-48	5	楔形石器	21.8	9.6	3.6	0.9														黒曜石			Ⅸ層	39.590
第237図14	8F-49	2	剥片	36.2	24.1	7.9	5.4	H				5									凝灰岩			Ⅸ層	39.520
	8F-49	3	礫	17.7	14.6	5.4	2.2														メノウ			Ⅸ層	39.560

第32表　旧石器時代　第32ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	9E-91	2	剥片	22.9	9.2	4.5	0.7	P				1	2							F	メノウ			Ⅸ層	40.060
	9E-91	3	剥片	19.1	18.0	2.8	0.9	H				3								H	メノウ			Ⅹ層	39.620
第240図1a	9E-92	2	局部磨製石斧	44.2	33.6	5.6	11.1														蛇紋岩2	1bとの接合		Ⅷ層	40.070
第240図1b	9E-92	3	局部磨製石斧	27.2	12.1	3.9	1.2														蛇紋岩2	1aとの接合		Ⅷ層	40.070
	9E-92	4	剥片	16.9	13.2	2.8	0.5													H	メノウ			Ⅸ層	39.850
第240図7	9E-93	1	石核	22.5	42.6	26.3	45.3														メノウ		クラム	Ⅶ～Ⅷ層	
第240図3	9F-00	2	楔形石器	15.1	9.4	3.3	0.5	L	○			2									黒曜石			Ⅷ層	40.120
第240図2	9F-00	3	台形石器	25.8	19.4	7.5	3.9														メノウ			Ⅷ層	40.170
第240図6	9F-01	2	剥片	20.9	22.1	3.2	1.4	C				1			1					F	メノウ			Ⅷ層	40.060
	9F-01	3	剥片	14.8	16.7	4.4	1.0	H				3								F	メノウ			Ⅷ層	40.200
	9F-01	4	礫	45.0	34.8	15.7	24.9														流紋岩			Ⅸ層	39.760
	9F-01	5	砕片	9.7	6.0	2.6	0.1														メノウ			Ⅷ層	40.170
第240図5	9F-01	6	剥片	20.8	24.6	10.8	3.2	−	−			3								F	メノウ			Ⅷ層	40.160
	9F-01	7	剥片	16.0	16.0	4.0	0.8	L				3	1							F	メノウ			Ⅸ層	40.090
	9F-01	8	砕片	9.6	12.9	2.3	0.3														メノウ			Ⅷ層	39.940
第240図4	9F-01	9	楔形石器	19.2	23.5	4.2	1.8														珪質頁岩			Ⅸ層	39.930
	9F-02	2	砕片	7.0	8.4	1.9	0.1														ホルンフェルス			Ⅸ層	40.130

第33表　旧石器時代　第33ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7F-81	2	剥片	27.7	16.8	8.0	2.5	H			○	1			1					F	砂岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.990
第242図1	7F-81	3	石刃	84.3	17.8	7.4	12.3														珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.070
第242図3	7F-81	4	細石刃	12.8	7.5	1.9	0.1														黒曜石			Ⅳ層	39.160
第242図8	7F-82	2	剥片	51.1	33.4	11.3	18.8	H		○		1		1							砂岩			Ⅶ～Ⅸ層	39.010
第242図6	7F-82	4	剥片	40.2	32.6	11.1	15.0	S		○		3			1					F	砂岩			Ⅶ～Ⅸ層	38.910
第242図7	7F-82	5	剥片	27.8	46.4	43.7	33.8	S			○			2	1					F	砂岩			Ⅶ～Ⅸ層	38.960
	7F-82	6	剥片	18.2	18.3	8.4	1.8	H			○					1				F	砂岩			Ⅶ～Ⅸ層	38.930
第242図2	7F-82	7	剥片	30.2	18.0	4.6	2.7	H	○	○					1					F	砂岩			Ⅶ～Ⅸ層	38.970
	7F-82	8	剥片	16.8	17.8	2.8	1.2	H				2								H	砂岩			Ⅶ～Ⅸ層	38.930
第242図5	7F-82	9	剥片	45.0	45.3	9.2	24.4	L	○			4	2	4	1					F	砂岩			Ⅶ～Ⅸ層	38.950
第242図4	7F-83	2	剥片	40.9	41.2	10.6	14.9	H				1			3					H	チャート			Ⅳ～Ⅸ層	39.030
	7F-91	12	剥片	10.2	15.3	3.5	0.6	H					2	2						F	黒曜石			Ⅳ～Ⅴ層上	39.036

第34表　旧石器時代　第34ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第261図91	7F-90	2	剥片	42.0	29.7	15.0	17.9	C		○		2			1					H	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.113
	7F-90	3	礫	61.6	48.8	36.5	104.5														安山岩6			Ⅳ～Ⅴ層上	39.160
第261図88	7F-90	4	石核	19.2	34.4	13.7	7.2														安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層上	39.156
	7F-90	5	剥片	25.0	25.5	8.0	4.2	2				1		1						H	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.010
	7F-90	6	剥片	20.6	24.7	5.3	3.3	L	○			1			1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.192
	7F-90	7	剥片	21.3	21.8	10.6	3.3	H		○			2	1		1				F	珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.205
第261図92	7F-90	8	剥片	39.9	51.5	20.1	36.9	H		○		2								F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.220
	7F-90	9	剥片	22.4	19.9	13.1	4.6	H		○				1						F	安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層上	39.200
第261図86	7F-90	10	原石	37.7	34.1	17.4	34.8														安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層上	39.173
	7F-90	11	剥片	42.0	30.3	18.0	21.2	H		○		2			1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.019
	7F-91	2	砕片	11.5	10.3	4.9	0.6														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.164
第261図87	7F-91	3	剥片	24.0	47.7	12.2	12.2	－	－			2		1					H	H	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.225
	7F-91	4	礫	42.8	38.6	20.8	30.1														安山岩6			Ⅲ層	39.089
	7F-91	5	礫	67.3	48.9	49.0	90.6														安山岩			Ⅲ層	39.087
	7F-91	7a	礫	68.0	47.0	46.0	71.2														安山岩			Ⅲ層	39.094
	7F-91	7b	礫	50.9	37.8	36.0	70.4														安山岩6			Ⅲ層	39.094
	7F-91	7c	礫	17.4	9.6	2.8	0.6														チャート			Ⅲ層	39.094
	7F-91	8	剥片	18.1	21.4	3.9	2.0	H				1			1					F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	38.975
	7F-91	9	剥片	34.5	12.8	7.9	2.2	－	－						2				H	F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	38.998
第250図9	7F-91	10	台形石器	38.1	20.2	10.8	7.4														ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.148
	7F-91	11	砕片	11.7	19.3	4.8	1.0														ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.146
	7F-91	13	剥片	25.9	14.1	6.4	2.6	H				1	1	1	1					F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	38.924
	7F-91	14	剥片	12.5	21.0	5.5	1.2	H				2		1	1					F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	38.988
	7F-92	2	礫	61.0	34.1	30.4	71.4														流紋岩			Ⅲ層	38.999
	7F-92	4	礫	10.4	7.2	3.1	0.3														チャート			Ⅲ層	38.986
	7G-00	2	剥片	24.5	32.0	11.8	7.7	2				1			1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	39.118
第258図63	7G-00	3a	剥片	35.5	36.2	10.4	11.0	L	○			3			2	2				F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	39.163
	7G-00	3b	剥片	22.7	34.9	7.8	6.9	H	○				1	1	1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	39.163
	7G-00	4	剥片	20.2	21.6	4.6	1.6	H				2	1							F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	39.120
	7G-00	5	剥片	13.2	37.8	19.2	4.7	P				1		2						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	39.008
	7G-00	6	剥片	19.2	17.2	8.1	1.9	H		○				1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	39.015
第252図23	7G-00	7	R・剥片	24.8	36.2	8.9	9.0	H				2		1				B		F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	38.968
第263図108	7G-00	8	剥片	26.2	31.2	6.3	4.8	H	○	○		3			1					F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.225
第263図107	7G-00	9	剥片	19.4	31.2	12.9	6.2	H				1		2					M	－	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	38.932
第264図112a	7G-00	10	石核	27.8	37.2	16.3	19.2														安山岩B1	112b＋20との接合		Ⅳ～Ⅴ層	39.054
	7G-00	11	礫	37.4	21.3	15.6	8.4														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層	39.035
第252図24	7G-00	12	剥片	23.4	33.0	14.8	12.3	H		○		2	1	1						F	チャート			Ⅳ～Ⅴ層	39.120
第254図45	7G-00	13	石核	33.3	50.1	27.8	54.8														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	38.975
第255図49	7G-00	14	石核	22.7	50.2	27.2	31.3	P				3	1	2	4					F	砂岩			Ⅳ～Ⅴ層	39.198
第259図78	7G-00	15	剥片	24.9	28.7	7.2	4.4	2				3	1							F	チャート			Ⅳ～Ⅴ層	39.115
	7G-00	16	礫	61.7	47.6	50.5	109.2														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層	39.000
	7G-00	17	剥片	27.4	15.8	8.5	3.2	L				2		1						F	安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層	39.072
	7G-00	18	礫	50.3	34.8	20.1	21.0														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層	38.974
	7G-00	19	礫	74.0	59.8	37.8	129.5														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層	38.970
第253図34	7G-00	20	R・剥片	33.2	14.3	8.4	4.7	H		○		1			1			MR	B	－	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	38.970
	7G-00	21	砕片	10.3	11.2	8.2	1.1														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	38.950
	7G-00	22	砕片	12.1	12.8	5.7	0.8														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	38.948
	7G-00	23	剥片	12.1	12.6	4.0	2.8													F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層	38.938
	7G-00	24	剥片	23.4	11.2	6.1	1.3	H				2								F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.110
	7G-00	25	剥片	15.2	21.4	7.9	2.4	L				1	1	1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.000
	7G-00	26	剥片	30.1	28.5	17.8	11.1	H		○		1		1						F	安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層下	39.088
第251図21	7G-00	27	削器	65.3	36.1	12.9	34.9														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.077
第257図58	7G-00	28	剥片	42.6	26.0	8.5	9.1	H				2		2						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.165
第253図33	7G-00	29	石核	42.6	60.3	14.5	33.1														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.225
第264図112b	7G-00	30	石核	24.9	44.5	17.2	26.4														安山岩B1	112a＋20との接合		Ⅳ～Ⅴ層上	39.205
第253図36	7G-00	31	剥片	33.4	29.7	15.1	12.4	S		○		1	2	3							ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.025
	7G-00	32	剥片	14.0	24.2	4.3	2.2	L		○									L	H	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.425
第253図40	7G-00	33	剥片	33.2	28.9	8.2	6.2	H	○	○		3		1						F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.288
第253図39	7G-00	34	剥片	50.5	41.4	13.1	18.7	H				3	2	1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.155
第255図46	7G-00	35	石核	33.7	60.9	20.2	37.9														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.130
第259図68	7G-00	36	剥片	36.3	41.3	7.9	15.8	H			○	2	1	2						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.098
第266図121	7G-00	37	剥片	41.3	27.5	11.5	11.1	L				2		2	1					H	ホルンフェルス14	120との接合		Ⅳ～Ⅴ層下	39.082
	7G-00	38	剥片	15.0	25.3	10.2	3.6	H		○		1								F	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層下	39.095
第251図18	7G-00	39	削器	46.4	44.2	20.5	18.7														珪化木			Ⅳ～Ⅴ層下	39.100
	7G-00	40	剥片	26.5	19.6	11.2	5.4	L				2								H	石灰岩			Ⅳ～Ⅴ層下	39.310
第260図81	7G-00	41	剥片	36.6	42.0	17.5	18.2	H				3			4					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.152
第252図25	7G-00	42	R・剥片	31.9	38.9	13.3	17.5	H				1		1					L	F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.320
第253図37	7G-00	43	剥片	25.8	49.7	15.8	18.7	S				4	1	2					R	F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.337
第254図44	7G-00	44	石核	22.9	30.5	14.3	12.2														チャート			Ⅵ層	39.020
第263図110	7G-00	45	剥片	23.6	20.5	6.7	1.9	2				2	1		1					F	珪質頁岩			Ⅵ層	39.804
	7G-00	46	剥片	20.7	23.3	15.3	11.1	H				1		2	1				M	－	砂岩			Ⅶ層	39.703
第257図56	7G-00	47	剥片	37.7	31.3	10.3	13.7	H				2		5						H	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.055
	7G-00	48	礫	68.5	57.0	36.3	－														安山岩5			Ⅵ層	38.965
	7G-00	49	礫	－	－	－	112.9														安山岩5			Ⅵ層	38.996
第262図102	7G-00	50	剥片	34.8	38.4	13.5	18.8	4							1			1		F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.994
	7G-00	51	剥片	26.4	31.7	10.5	9.0	H		○					1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.041
第255図48	7G-00	52	石核	27.0	41.1	17.5	19.8														安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層下	39.088
第251図20	7G-00	53	楔形石器	38.4	45.9	13.9	23.9														安山岩B1	112a＋112bとの接合		Ⅳ～Ⅴ層下	39.095
第260図79	7G-00	54	石核	37.5	56.3	18.3	33.7														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.115
	7G-00	55	剥片	35.4	18.4	11.3	6.5	S				2								F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.999
	7G-00	56	剥片	22.6	15.3	4.2	1.2	2		○		2			1					F	安山岩A			Ⅲ層	39.315
	7G-00	57	剥片	29.5	28.0	7.9	5.0	L	○	○		2		1	1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.275
	7G-00	58	剥片	30.1	15.4	6.6	3.1	H				2								F	安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層	39.201
第252図29	7G-00	60	U・剥片	38.7	23.9	7.0	5.2											R		F	凝灰岩			Ⅵ層	39.034
	7G-00	61a	砕片	8.3	5.7	4.6	0.3														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層	39.002
	7G-00	61b	砕片	9.3	6.7	2.4	0.2														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層	39.002
	7G-00	62	剥片	22.1	14.8	6.0	1.6	2		○		1			1					F	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層下	38.964
第252図30	7G-00	63	U・剥片	46.4	40.8	8.3	12.0	C				4		1	1			RL		F	珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.928
	7G-00	64	剥片	23.0	24.0	0.9	4.3	H					1	1						F	砂岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.950
	7G-00	65	剥片	28.2	25.0	11.8	4.4	2				2			1					F	砂岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.930
第252図26	7G-00	66	R・剥片	26.0	19.0	8.8	5.0	H		○				1				LM	M	－	安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.945
	7G-00	67	剥片	20.2	21.7	6.4	2.5	2			○	1								F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.916
第259図74	7G-00	68	剥片	38.7	34.0	11.3	10.5	C				2			1	1				S	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.898
	7G-00	69	剥片	22.2	31.5	11.7	8.1	－				2							M	H	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.901
第258図66	7G-00	70	剥片	38.7	54.0	14.6	23.6	H		○											ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.859
第256図51	7G-00	71	石核	35.1	48.5	19.0	32.5														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.875
	7G-00	72	剥片	22.2	9.2	4.9	0.6	P			○	1									ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.834
第254図43	7G-00	73	石核	37.5	56.6	22.6	31.1														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.901
	7G-00	74	台形石器	34.1	18.9	7.0	5.3														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.860
第250図12	7G-00	75	台形石器	25.7	31.4	9.0	7.0														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.923
第258図62	7G-00	76	剥片	55.9	33.6	12.6	12.4	H	○			2		2						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.800
第254図41	7G-00	77	石核	62.4	36.4	19.9	41.9														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.805
	7G-00	78	剥片	26.4	20.1	8.4	5.6	－	－					1	1	1				O	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.809
第252図32	7G-00	80	剥片	36.4	42.4	9.3	11.4	H				2	1	1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.839
第250図2	7G-00	82	ナイフ形石器	44.1	24.0	6.7	7.0														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.839
第250図8	7G-00	83	礫	12.9	5.0	4.2	0.3														チャート			Ⅳ～Ⅴ層下	38.892
第256図50	7G-00	84	石核	42.4	46.7	19.1	29.0														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.835
第264図115a	7G-00	85	礫	60.1	43.3	24.7	68.1														安山岩4	115bとの接合		Ⅵ層	38.791
	7G-00	86	剥片	35.5	31.6	5.3	20.8	S		○		1		1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.991
	7G-00	87	礫	37.3	23.3	20.6	15.5														チャート42			Ⅳ～Ⅴ層下	38.973
	7G-00	88	砕片	8.3	7.2	2.0	0.1														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.058
第251図15	7G-00	89	掻器	24.9	19.9	6.9	4.1														珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層下	39.021
	7G-00	90	砕片	11.5	12.2	4.5	0.6														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.858
	7G-00	91	砕片	11.4	11.4	5.5	0.7														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.853
	7G-00	92	礫	49.2	27.5	25.0	27.9														安山岩			Ⅲ層	39.159

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第258図67	7G-00	94	剥片	35.2	17.3	11.3	6.9	2				2		2						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.815
第264図115b	7G-00	95	礫	62.7	42.9	32.0	64.2														安山岩4	115aとの接合		Ⅵ層	38.775
	7G-00	96	礫	35.1	90.8	19.6	14.8														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.905
第263図109	7G-00	97	剥片	21.2	30.8	3.3	1.9	H				5								O	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.875
第250図 1	7G-00	98	ナイフ形石器	47.6	18.8	9.5	6.9														ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.780
第258図65	7G-00	99	剥片	27.5	29.2	8.3	7.0	H						2		1				H	ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.775
第264図114	7G-00	100	剥片	41.4	15.8	6.5	4.0	H	○	○	○	3								F	ホルンフェルス14	113との接合		Ⅵ層	38.792
	7G-00	101	剥片	24.4	16.7	6.5	2.0	H		○		2								F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.802
第264図113	7G-00	102	剥片	32.0	15.8	3.8	2.6	H			○	2			1					F	ホルンフェルス14	114との接合		Ⅳ～Ⅴ層下	38.800
第251図19	7G-01	2	R・剥片	26.8	29.5	15.7	8.5														ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.306
	7G-01	3	剥片	14.7	21.5	11.5	2.4														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.968
第250図13	7G-01	4	掻器	24.5	31.0	7.8	6.9														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.973
第264図116a	7G-01	5	礫	38.0	31.2	20.5	22.0														流紋岩6	116bとの接合		Ⅳ～Ⅴ層下	38.965
第255図147	7G-01	6	石核	40.2	44.7	17.8	27.7														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.973
	7G-01	7	礫	86.0	64.7	36.9	224.5														流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.905
	7G-01	8	礫	60.7	51.9	34.3	144.6														流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.920
	7G-01	9	礫	36.3	34.0	18.5	67.2														流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.967
	7G-01	10	礫	66.6	41.0	34.4	92.4														石英斑岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.938
	7G-01	11	礫	68.0	64.0	45.7	186.5														流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.928
第250図 3	7G-01	12	ナイフ形石器	32.6	17.2	5.9	4.0														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.967
第251図17	7G-01	13	削器	43.1	32.5	19.7	19.8														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.956
	7G-01	14	礫	65.9	55.0	41.0	160.5														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.928
	7G-01	15	礫	46.5	40.5	36.7	41.6														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.952
	7G-01	16	礫	49.1	39.1	31.3	38.1														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.968
第262図101	7G-01	17	剥片	35.7	45.5	12.6	16.7														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.961
	7G-01	18	礫	28.2	20.8	19.6	7.4														流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.030
第262図96	7G-01	19	剥片	35.3	25.2	6.0	4.0	L	○			4		1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.062
	7G-01	20	礫	25.8	22.8	19.5	10.6														チャート			Ⅲ層	39.170
	7G-01	21	礫	80.5	70.1	59.2	462.5														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.060
第257図57	7G-01	22	削器	40.2	58.5	19.3	48.6														凝灰岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.963
第267図123	7G-01	23	台石	169.5	122.1	93.5	2886.0														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.892
第266図122	7G-01	24	磨石	89.1	74.5	58.9	455.0														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.964
	7G-01	25	礫	46.2	44.6	30.0	35.4														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.024
第260図80	7G-01	26	R・剥片	36.5	29.7	12.4	14.0	2		○					2					H	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.074
	7G-01	27	R・剥片	38.9	51.1	13.3	24.6	−	−			2		2	2				F B	F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.090
	7G-01	28	剥片	17.0	15.0	10.2	1.9	H	○	○		1								F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.067
第259図76	7G-01	29	剥片	31.5	28.3	14.1	10.9	H				1		1						H	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.098
	7G-01	30	礫	45.2	28.7	20.8	20.7														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.072
第264図116b	7G-01	33	礫	48.4	31.8	18.9	30.3														流紋岩6	116aとの接合		Ⅳ～Ⅴ層上	39.015
	7G-01	34	剥片	7.6	19.1	3.3	0.5	P				2		1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.002
	7G-01	35	砕片	11.5	9.9	3.8	0.5														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.941
第263図104	7G-01	36	剥片	27.7	36.7	11.5	10.8	H				2			1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.945
	7G-01	37	剥片	24.1	15.3	4.0	1.2	H		○											安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層下	38.965
	7G-01	38	剥片	23.1	22.8	3.4	1.8	H				1		2						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	39.020
第261図93	7G-01	39	剥片	36.1	24.8	15.9	11.2	L				2		1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.102
	7G-01	40	剥片	24.6	14.6	7.0	1.9	H				2		1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.108
	7G-01	41	剥片	29.6	13.7	3.0	1.0	H		○		1									チャート			Ⅲ層	39.205
	7G-01	42	剥片	30.3	17.8	7.0	3.8	H				1		2	1					F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.204
	7G-01	43	剥片	11.0	13.0	2.8	0.5														ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.140
第259図75	7G-01	44	剥片	39.6	42.5	13.2	14.0	P				1		2						H	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.090
第260図85	7G-01	45	剥片	41.2	38.3	15.7	17.2	2		○		1		1	1						ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.120
第262図97	7G-01	46	剥片	40.5	46.7	14.2	16.9	H	○			3		1						S	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.102
	7G-01	47	剥片	11.3	15.1	3.1	0.5	H				2								F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.075
	7G-01	48	剥片	27.6	32.8	10.1	6.5	P		○		2		1						O	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.070
	7G-01	49	礫	24.3	24.8	19.8	12.3														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.970
第263図103	7G-01	50	楔形石器	28.8	40.5	12.2	13.7														安山岩A			Ⅲ層	39.187
	7G-01	51	剥片	16.3	17.7	5.4	1.3	H				2								F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.995
第257図53	7G-01	53	石核	40.5	53.1	13.8	33.7														ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.105
	7G-01	54	礫	20.2	17.7	17.0	9.5														流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.995
第261図90	7G-01	55	剥片	29.5	36.0	11.5	7.1	H	○			3		1		1				O	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.985
第258図60	7G-01	57	剥片	32.5	26.1	6.1	6.0	H		○		1			1	1				F	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層下	38.969
	7G-01	58	礫	115.5	50.7	23.8	178.5														流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層下	39.006
	7G-01	60	礫	19.0	17.2	17.0	6.1														チャート42			Ⅳ～Ⅴ層上	39.040
	7G-01	61	礫	87.4	64.3	35.0	263.2														流紋岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.063
第265図117	7G-01	62	敲石	99.8	65.2	26.7	246.3														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.935
	7G-01	63	剥片	12.6	27.9	5.6	1.6	2				3		1						F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.202
	7G-01	64	剥片	20.1	21.5	9.9	4.0	−	−			2	1	2	2					H	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.201
	7G-01	65	剥片	21.8	17.5	10.4	4.3	H				2								F	ホルンフェルス14			Ⅲ層	39.112
第258図66	7G-01	66	石核	18.2	50.1	20.8	31.3														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.965
第250図 5	7G-01	67	ナイフ形石器	18.8	18.7	5.8	2.2														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.048
	7G-01	68	礫	33.8	20.7	18.0	8.1														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.059
	7G-01	69	剥片	17.2	13.8	4.5	0.9	H				2			1						ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.918
第261図89	7G-01	70	剥片	27.4	35.1	5.1	4.9	2				2			1						ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.906
第261図94	7G-01	71	剥片	14.9	36.7	5.0	2.8	H				2	2	1	1						ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.907
	7G-01	72	剥片	21.3	16.9	3.1	0.8	P		○		3		1							安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層上	38.989
第263図105	7G-01	73	剥片	33.1	23.4	10.6	5.4	−	−			1		1	1					H	F	凝灰岩		Ⅳ～Ⅴ層上	38.989
第250図10	7G-01	74	剥片	26.3	20.1	7.5	3.6			○		2		1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.896
第254図42	7G-01	75	石核	28.0	44.0	13.5	28.5														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.936
第259図69	7G-01	76	剥片	27.5	17.3	4.9	1.8	P				3		1						R	O	ホルンフェルス14		Ⅳ～Ⅴ層下	38.868
	7G-01	77	礫	66.4	48.3	31.8	70.7														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.833
	7G-01	78	剥片	20.8	14.8	5.2	3.1	H	○			3		1	1					S	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.812
第256図52	7G-01	79	磨石	57.7	50.3	31.4	162.0														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.917
第252図31	7G-01	80	U・剥片	16.6	17.5	4.0	0.9	P				3							B	F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.933
第250図 7	7G-01	81	ナイフ形石器	28.7	18.4	10.1	4.6														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.851
	7G-01	82	剥片	9.8	18.6	3.6	0.7	−	−			2			1					M	F	ホルンフェルス14		Ⅳ～Ⅴ層下	38.866
	7G-01	83a	台形石器	32.1	19.1	8.1	3.6														安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層上	38.917
	7G-01	83b	剥片	15.6	30.6	7.5	1.6	−	−			3			1					R	F	ホルンフェルス14		Ⅳ～Ⅴ層上	38.917
	7G-01	83c	砕片	12.6	8.5	4.3	0.4														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.917
	7G-01	84	剥片	30.8	20.3	5.9	2.2	H		○					1						F	ホルンフェルス14		Ⅳ～Ⅴ層下	38.864
	7G-01	85	剥片	12.9	22.7	3.1	0.6	H		○											F	安山岩B		Ⅳ～Ⅴ層上	38.916
	7G-01	86	剥片	17.0	14.4	4.6	0.8	−	−			2		1	1					H	F	珪質頁岩		Ⅳ～Ⅴ層上	39.035
	7G-01	87	剥片	10.2	15.3	6.3	0.8					1		1						R	F	ホルンフェルス14		Ⅳ～Ⅴ層上	38.944
第252図28	7G-01	88	R・剥片	24.7	21.3	7.4	2.7	2		○		1			1				L M		F	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層下	38.887
	7G-01	89	剥片	17.1	27.5	10.3	4.6	H				2	1								F	ホルンフェルス14		Ⅳ～Ⅴ層下	38.838
	7G-01	90	礫	28.4	21.0	18.0	8.2														安山岩			Ⅵ層	38.775
	7G-01	91a	剥片	26.7	27.1	6.5	6.6	L				4	1	1	1					R	F	ホルンフェルス14		Ⅵ層	38.775
	7G-01	91b	砕片	14.1	14.0	3.3	0.5														ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.775
	7G-01	92	砕片	12.6	13.3	4.2	0.6														安山岩A			Ⅵ層	38.730
第259図77	7G-01	93	剥片	24.0	25.8	7.0	4.0	−	−	○		3			1					F	安山岩A			Ⅵ層	38.737
	7G-01	94	剥片	18.2	18.9	3.3	1.2	H				3								H	ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.790
	7G-01	95	剥片	13.5	16.5	4.5	1.0	3		○					1					F	ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.788
	7G-01	96	砕片	8.4	11.3	6.2	0.5														ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.724
第258図64	7G-01	97	剥片	27.0	33.7	14.6	10.6	H				1		3	2					H	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.813
	7G-01	98	剥片	29.0	29.6	12.6	9.3	H		○		3			2					S	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.957
	7G-01	99	礫	7.6	7.5	5.5	0.5														チャート			Ⅳ～Ⅴ層上	39.017
	7G-01	100	礫	50.3	28.5	18.6	26.3														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.040
	7G-01	101	礫	81.8	51.1	24.2	78.9														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.939
	7G-01	102	礫	73.3	36.0	30.7	81.5														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.937
	7G-01	103	礫	54.5	41.7	23.0	37.5														安山岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.949
	7G-01	104	礫	31.7	19.6	16.8	11.3														チャート			Ⅳ～Ⅴ層上	38.951
第262図99	7G-01	105	石核	60.5	62.7	29.0	75.1														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.011
	7G-01	106	礫	22.4	20.5	17.3	7.7														チャート			Ⅵ層	38.880
第251図16	7G-01	107	掻器	36.9	32.7	6.6	10.2														安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層上	38.991
	7G-01	108	砕片	11.8	14.6	2.3	0.6														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.029
第250図11	7G-01	109	台形石器	30.0	20.7	7.2	5.6														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.021
第253図35	7G-01	110	剥片	46.8	29.3	6.3	8.6	H	○			3		2	1					H	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.035
	7G-01	111	剥片	21.5	24.1	2.1	2.1	H				2	1		1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.020

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	7G-01	112	剥片	21.0	20.4	2.1	2.1	H				1		1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.051
	7G-01	113	剥片	16.1	24.4	5.9	1.5	H		○		1							R	F	安山岩B			Ⅳ～Ⅴ層上	39.075
	7G-01	114	砕片	14.8	13.2	6.1	0.9														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.907
第259図72	7G-01	115	剥片	17.7	21.1	6.0	2.1	H	○	○		3					2			O	凝灰岩			Ⅵ層	38.795
第252図22	7G-01	116	R・剥片	27.0	30.3	5.5	5.1														ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.754
第258図61	7G-01	117	剥片	39.4	25.7	12.4	8.6	P											L	F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.854
	7G-01	118	剥片	25.7	14.0	4.3	1.4	H				2	2	2						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.854
	7G-01	119	礫	53.4	44.5	27.6	67.6														石英斑岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.944
	7G-01	120	剥片	20.2	21.5	5.2	1.5	H				1			1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.846
	7G-01	121	礫	31.0	30.0	23.1	21.7														結晶片岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.947
	7G-01	122	礫	24.7	14.2	12.0	4.6														石英斑岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.921
	7G-01	124	礫	19.3	17.2	14.5	4.8														結晶片岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.968
	7G-01	125	砕片	14.6	13.9	3.1	0.4														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.981
	7G-01	126	礫	26.1	16.0	13.0	5.0														チャート			Ⅳ～Ⅴ層上	38.981
第253図38	7G-01	127	剥片	39.4	33.4	16.2	15.3	H		○		4			1					F	砂岩			Ⅳ～Ⅴ層上	38.934
第263図111a	7G-01	128	礫	35.2	23.3	21.0	22.2														チャート42	111b+111cとの接合		Ⅳ～Ⅴ層上	39.049
第263図111b	7G-01	129	礫	49.5	41.0	23.0	55.0														チャート42	111a+111bとの接合		Ⅳ～Ⅴ層上	39.001
	7G-01	130	剥片	20.9	15.4	3.9	0.8	H				1		2	1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.964
	7G-02	2	礫	49.6	50.7	14.3	55.1														砂岩			Ⅲ層	39.162
第259図73	7G-02	4	剥片	28.1	23.2	6.0	3.7	－	－	○		1			1				H	F	安山岩A			Ⅲ層	39.090
	7G-02	5	剥片	16.0	11.3	4.9	0.8	－	－			2		1					M	F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.968
	7G-02	7	剥片	29.6	17.3	6.0	3.1	2				1		1						F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.936
	7G-02	8	剥片	13.0	16.0	5.9	1.0	－	－	○				2					M	F	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層上	38.939
第265図118a	7G-02	10	礫	61.3	38.9	26.3	77.4														石英斑岩1			Ⅳ～Ⅴ層下	38.810
第266図120	7G-02	11	剥片	48.5	31.3	13.5	20.2	3	○			4	1		2					F	ホルンフェルス14	121との接合		Ⅵ層	38.791
	7G-10	2	砕片	10.6	13.3	5.2	0.7														黒曜石			Ⅱb層	39.718
	7G-10	3	剥片	17.0	20.7	5.1	1.5	H		○		1								F	安山岩A			Ⅲ層	39.187
	7G-10	4	礫	16.8	11.7	6.0	1.7														砂岩			Ⅳ～Ⅴ層下	38.887
第263図106	7G-10	5	剥片	25.2	35.5	13.2	9.5	H				2	1	1	3					F	ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.787
第250図 6	7G-10	6	ナイフ形石器	15.6	18.0	7.0	2.2														珪質頁岩			Ⅵ層	38.757
第262図95	7G-10	7	剥片	31.0	62.5	12.5	70.3	C		○										F	ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.790
第250図 4	7G-11	2	ナイフ形石器	41.8	19.1	9.2	5.6														ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.078
	7G-11	3	礫	76.0	58.1	31.0	155.3														結晶片岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.035
第262図98	7G-11	6	R・剥片	24.4	19.5	7.0	2.0	H		○		1		1	1			RM		F	凝灰岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.070
第265図118b	7G-11	9	礫	63.8	51.2	27.5	111.5														石英斑岩1			Ⅳ～Ⅴ層下	38.896
第262図100	7G-11	11	剥片	21.9	34.4	10.5	4.0	H				2	1		1					F	珪化木			Ⅳ～Ⅴ層下	38.898
	7G-11	12	剥片	17.7	20.5	6.9	2.3	H	○			2	1		1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.995
第260図84	7G-11	13	剥片	53.0	15.1	9.9	6.7	H		○			1							F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.990
	7G-11	14	剥片	30.8	19.9	7.5	3.7	L		○									R	F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.001
第259図70	7G-11	15	剥片	35.1	47.2	16.6	17.7	L	○		○	2								O	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.944
第260図83	7G-11	16	剥片	27.6	36.7	6.8	6.2	H		○		2	1							F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	38.943
	7G-11	17	剥片	34.3	37.5	7.2	9.2	H				2								F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層上	39.046
	7G-11	19	剥片	18.1	23.4	4.0	2.0	H		○					1				B	－	安山岩A			Ⅳ～Ⅴ層下	38.867
第252図27	7G-11	20	剥片	24.9	20.1	6.7	3.4	2		○		3			1					F	ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.790
	7G-11	21	剥片	21.9	25.1	7.5	2.8	－	－			2	2		1				M	S	ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.735
	7G-11	22	剥片	31.6	17.5	6.5	2.9	L							1						ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.740
	7G-11	23	砕片	5.9	8.3	2.0	0.1														ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.770
第259図71	7G-11	24	剥片	30.8	22.4	6.2	5.9	H		○		2			1					F	ホルンフェルス14			Ⅳ～Ⅴ層下	38.810
	7G-11	25	剥片	18.4	33.9	7.0	3.9	2				1								F	ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.711
第260図82	7G-11	26	剥片	40.3	28.8	11.3	7.8	H		○		1		2	1					F	ホルンフェルス14			Ⅵ層	38.710
	7G-12	2	剥片	22.3	46.1	11.0	8.9	－													珪質頁岩3	(12) 6ブロックとの接合		Ⅹ層	38.580
第251図14	7G-12	3	掻器	37.9	40.0	15.7	22.8														珪質頁岩			Ⅳ～Ⅴ層上	39.113

第35表　旧石器時代　第35ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	9E-43	2	剥片	24.0	23.9	8.5	3.2	H			○	1			1						珪質頁岩17			Ⅵ層	40.299
	9E-43	3	剥片	23.5	24.9	6.5	4.8	H			○				1						珪質頁岩17			Ⅵ層	40.430
	9E-43	4	剥片	17.1	14.8	3.6	0.2	－				1		1	1				LH、B	－	珪質頁岩17			Ⅵ層	40.381
第270図 2	9E-43	5	石核	19.7	21.8	11.0	4.3													F	珪質頁岩17			Ⅵ層	40.381
第270図3a	9E-43	6	石核	23.7	24.2	17.0	12.9														珪質頁岩17			Ⅶ層下	40.171
第270図 1	9E-43	7	石核	41.2	27.8	14.8	15.3														珪質頁岩17	3bとの接合		Ⅵ層	40.381
第270図 6	9E-43	8	石核	52.9	61.0	29.2	110.5														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.105
第271図 7	9E-43	9	剥片	26.3	29.0	10.2	5.1	H	○		○	1			2						珪質頁岩17			Ⅶ層	40.049
	9E-44	10	剥片	11.7	17.0	6.7	1.3	－	－	○	○		1							F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.228
	9E-44	11	剥片	13.5	15.5	3.0	0.7	2			○				1					F	珪質頁岩17			Ⅴ層	40.580
第271図 9	9E-44	12	剥片	26.1	35.8	7.7	5.8	2	○		○	2								H	珪質頁岩17			Ⅴ層	40.500
第270図 4	9E-44	13	R・剥片	39.2	17.2	13.4	6.8	2			○	1			2			F		B	珪質頁岩17			Ⅵ層	40.445
	9E-44	14	剥片	22.1	28.1	11.6	5.6	H		○	○	1								F	珪質頁岩17			Ⅵ層	40.486
	9E-44	28	剥片	23.0	9.4	4.3	1.4	－	－	○	○								H	F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.259
第270図3b	9E-44	29	石核	27.0	26.6	14.8	8.9														珪質頁岩17	3aとの接合		Ⅶ層	40.044
	9E-44	30	剥片	19.0	21.1	9.3	3.8	H		○		1	1							F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.076
	9E-53	2	剥片	15.2	9.5	5.0	0.6	C			○	1									珪質頁岩17			Ⅵ層	40.006
第271図 8	9E-53	3	石核	36.7	38.9	26.7	28.7														珪質頁岩17			Ⅵ層	40.441
	9E-54	3	砕片	10.9	11.6	2.1	0.5														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.111
第270図 5	9E-64	2	剥片	33.6	24.5	10.6	8.7	H			○	1								F	珪質頁岩17			Ⅸ層	39.959

第36表　旧石器時代　第36ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
第273図2	9E-44	1	R・剥片	22.6	17.5	9.6	3.5	2				1		1				R	B	−	珪質頁岩17		クラム	Ⅶ～Ⅸ層	
	9E-44	3	剥片	19.3	8.3	2.9	0.3	P						4						F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.310
	9E-44	4	砕片	12.1	7.2	2.4	0.2														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.330
第273図1	9E-44	5	U・剥片	24.8	42.8	7.8	8.1	S	○			4						B		F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.216
	9E-44	6	剥片	26.5	22.9	11.0	6.1	H						1	2					F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.207
	9E-44	7	剥片	12.3	21.0	4.2	1.2	C		○			1							H	珪質頁岩17			Ⅶ層下	40.186
第274図9	9E-44	8	剥片	36.6	21.4	15.9	12.9	P				1		1	5					F	珪質頁岩17			Ⅶ層下	40.188
	9E-44	9	砕片	10.2	14.2	3.4	0.5														珪質頁岩17			Ⅴ層	40.556
第274図11	9E-44	15	石核	16.7	51.9	32.4	24.8														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.051
第273図8	9E-44	16	剥片	33.3	14.7	8.2	3.8	H	○	○				2				−		B	安山岩A			Ⅶ層	40.127
第273図4	9E-44	17	剥片	35.2	27.6	14.1	12.7	C	○			3				3				O	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.058
第273図5	9E-44	18	剥片	28.2	28.5	13.2	14.3	P				1		1		4				F	珪質頁岩17			Ⅸ層	39.951
第274図10	9E-44	19	石核	41.6	29.0	14.1	16.9														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.122
第275図13	9E-44	20	石核	30.8	61.1	22.2	47.8														安山岩A 6	14+15との接合		Ⅶ層	40.012
第275図15	9E-44	21	剥片	32.8	42.8	12.3	15.5	−	−	○		2		1						F	安山岩A 6	13+14との接合		Ⅶ層	40.046
第273図3	9E-44	23	R・剥片	17.8	44.1	11.2	8.4	−	−	○		2						R B		F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.056
第273図6	9E-44	24	剥片	37.2	19.1	8.5	5.7	P	○		○	2		1					B	−	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.047
第275図14	9E-44	25	剥片	17.9	13.3	2.9	0.6	H	○	○		2			1					F	安山岩A 6	13+15との接合		Ⅶ層	40.008
第274図12	9E-44	26	敲石	102.8	39.4	34.4	190.0														砂岩			Ⅶ層	39.985
第273図7	9E-44	27	石核	27.7	47.1	26.8	26.4														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.055
	9E-54	2	剥片	12.8	21.5	2.5	0.7	H												H	安山岩A			Ⅶ相	40.150

第37表　旧石器時代　第37ブロック石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	9E-34	2	剥片	16.4	15.5	7.5	0.9	H			○	1							B	−	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.110
	9E-35	2	剥片	30.0	18.5	7.4	2.9	P			○		1								珪質頁岩17			Ⅶ層	40.220
第277図4	9E-35	3	剥片	35.5	27.9	8.1	6.4	H				2		1	1						安山岩A			Ⅶ層	40.095
第277図5	9E-44	2	石核	35.0	27.6	18.4	15.7														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.211
第277図1	9E-44	22	R・剥片	43.7	30.4	11.1	15.9	−	−	○								L M			安山岩A			Ⅶ層	40.056
	9E-45	2	砕片	13.8	13.5	3.7	1.3	C													珪質頁岩17			Ⅵ層下	40.325
第278図14	9E-45	3	剥片	25.9	23.9	6.3	3.9	C				2	1	1						F	珪質頁岩17			Ⅵ層下	40.405
第278図15	9E-45	4	剥片	27.2	25.3	8.4	3.7	C			○	2		1	2					F	珪質頁岩17			Ⅵ層下	40.373
	9E-45	5	剥片	19.7	25.9	5.7	3.0	C			○									H	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.269
	9E-45	7	剥片	25.1	30.7	11.0	5.1	H						2						F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.158
第277図6	9E-45	8	剥片	29.6	39.8	18.6	17.6	C		○	○	1		1						F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.191
	9E-45	9	剥片	15.2	21.1	5.3	1.1	C			○			1						F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.158
第278図12	9E-45	10	剥片	33.8	26.0	15.4	8.8	2			○				2					F	珪質頁岩17	13+9との接合		Ⅶ層	40.052
第277図8	9E-45	11	R・剥片	28.3	25.5	5.4	2.8	H		○		1									珪質頁岩17			Ⅶ層	40.129
第278図10	9E-45	12	剥片	36.3	53.2	17.0	21.1	S	○		○	1		1	1					H	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.085
第278図11	9E-45	13	剥片	23.7	22.2	5.2	2.5	C				3								F	安山岩A			Ⅶ層	40.108
第278図13	9E-45	14	石核	42.0	34.8	21.0	35.4														珪質頁岩17	12+9との接合		Ⅶ層	40.035
第277図7	9E-45	15	R・剥片	44.4	33.8	18.3	20.6	S			○	2						B		F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.064
	9E-45	16	剥片	24.9	23.3	5.6	2.7	C	○			2		1	1					F	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.092
	9E-45	17	剥片	23.3	16.3	6.5	1.9	C			○				1					H	珪質頁岩17			Ⅶ層	40.059
	9E-45	18	剥片	17.5	14.4	4.5	0.8	H				2			1						珪質頁岩17			Ⅶ層	40.060
	9E-45	19	剥片	24.9	17.8	11.5	3.2	−	−		○			1					H		珪質頁岩17			Ⅶ層	40.058
	9E-45	20	剥片	62.7	16.1	19.6	16.6														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.083
	9E-45	21	砕片	12.7	6.0	3.6	0.3														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.179
第277図9	9E-45	22	剥片	28.7	16.9	15.3	7.5	C			○	1			2					F	珪質頁岩17	13+12との接合		Ⅸ層	39.925
	9E-45	23	砕片	13.3	9.8	5.2	0.7														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.029
	9E-45	24	砕片	9.9	11.1	4.4	0.4														珪質頁岩17			Ⅶ層	40.099
第277図2	9E-55	2	楔形石器	27.1	21.6	6.8	4.2														凝灰岩			Ⅶ層	40.298
第277図3	9E-55	3	剥片	41.3	24.5	7.2	6.0	H					1	1	2					F	凝灰岩			Ⅶ層	40.275

第38表　旧石器時代　第38ブロック他石器観察表

挿図番号	グリッド	遺物番号	器種	最大長mm	最大幅mm	最大厚mm	重量g	打面形状	頭部	背面構成 C	S	H	T	R	L	D	V	調整部位	折面部位	末端	母岩番号	接合資料	備考	層位	標高m
	11D-01	2	礫	40.1	34.9	14.3	30.0														ホルンフェルス		クラム		45.18
第180図2	11D-01	3	敲石	61.1	33.3	16.1	46.0														砂岩		クラム		45.18
	11D-02	2	剥片	10.8	15.1	6.2	1.0		○					1						F	珪質頁岩		クラム		46.18
第180図1	5I-05	3	ナイフ形石器	23.7	10.4	6.0	0.8														珪質頁岩		クラム		
第180図3	6H-59	1	U・剥片	44.9	29.5	6.9	9.4	p l													珪質頁岩		クラム		

第39表　旧石器時代　第１ブロック石器組成表

第１ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石　核	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート							2		5	1				4	12	23.53%
							9.6		27.1	0.5				22.2	59.4	19.62%
ホルンフェルス									9	1					10	19.61%
									63.2	0.1					63.3	20.90%
安山岩		2						1	11	2					16	31.37%
		9.5						39.6	89.5	0.7					139.3	46.00%
砂岩									7	1					8	15.69%
									26	0.5					26.5	8.75%
流紋岩														2	2	3.92%
														10.4	10.4	3.43%
凝灰岩									1	1					2	3.92%
									2.6	0.6					3.2	1.06%
珪質頁岩										1					1	1.96%
										0.7					0.7	0.23%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	2	0	0	0	0	2	1	33	7	0	0	0	6	51	100.00%
合計（重量）	0	9.5	0	0	0	0	9.6	39.6	208.4	3.1	0	0	0	32.6	302.8	100.00%
組成比（点数）	0.00%	3.92%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.92%	1.96%	64.71%	13.73%	0.00%	0.00%	0.00%	11.76%	100.00%	
組成比（重量）	0.00%	3.14%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.17%	13.08%	68.82%	1.02%	0.00%	0.00%	0.00%	10.77%	100.00%	

第40表　旧石器時代　第２ブロック石器組成表

第２ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石　核	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート															0	0.00%
															0	0.00%
ホルンフェルス		1													1	20.00%
		5.3													5.3	16.67%
安山岩															0	0.00%
															0	0.00%
砂岩									1						1	20.00%
									3.1						3.1	9.75%
流紋岩															0	0.00%
															0	0.00%
凝灰岩															0	0.00%
															0	0.00%
珪質頁岩		1						1	1						3	60.00%
		3.4						18.3	1.7						23.4	73.58%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	5	100.00%
合計（重量）	0	8.7	0	0	0	0	0	18.3	4.8	0	0	0	0	0	31.8	100.00%
組成比（点数）	0.00%	40.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	20.00%	40.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	27.36%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	57.55%	15.09%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	

第41表　旧石器時代　第３ブロック石器組成表

第３ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		6						1	1						8	26.67%
		89.2						49.5	5.4						144.1	27.79%
ホルンフェルス									1						1	3.33%
									5.3						5.3	1.02%
安山岩							1	1	3	1					6	20.00%
							15.4	80.2	7.8	0.3					103.7	20.00%
砂岩		4					1	1	1						7	23.33%
		89.8					1.7	26.1	1.9						119.5	23.05%
流紋岩															0	0.00%
															0	0.00%
凝灰岩								1	3						4	13.33%
								66.5	55						121.5	23.43%
珪質頁岩														2	2	6.67%
														6.8	6.8	1.31%
メノウ								1	1						2	6.67%
								9.1	8.5						17.6	3.39%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	10	0	0	0	0	2	5	10	1	0	0	0	2	30	100.00%
合計（重量）	0	179	0	0	0	0	17.1	231.4	83.9	0.3	0	0	0	6.8	518.5	100.00%
組成比（点数）	0.00%	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	6.67%	16.67%	33.33%	3.33%	0.00%	0.00%	0.00%	6.67%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	34.52%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.30%	44.63%	16.18%	0.06%	0.00%	0.00%	0.00%	1.31%	100.00	

第42表　旧石器時代　第４ブロック石器組成表

第４ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		12		2			1	1	15	2				1	34	47.89%
		70		2.5			2.4	28.8	30.2	0.6				0.5	135	19.58%
ホルンフェルス			1						9						10	14.08%
			5.3						24.2						29.5	4.28%
安山岩								1	2	1					4	5.63%
								42.1	6.2	0.2					48.5	7.04%
砂岩		1						1			1				3	4.23%
		40.8						51.2			126				218	31.62%
流紋岩		2							1					2	5	7.04%
		20.1							0.9					38.7	59.7	8.66%
凝灰岩		2		1					2	1				1	7	9.86%
		31.8		3.5					2.7	0.3				30.6	68.9	9.99%
珪質頁岩		2							1	1					6	8.45%
		5.4							1.1	0.6					12.5	1.81%
メノウ														1	1	1.41%
														2.7	2.7	0.39%
黒曜石								1							1	1.41%
								23.6							23.6	3.42%
結晶片岩											1				1	1.41%
											95.2				95.2	13.81%
石英		1													1	1.41%
		1.2													1.2	0.17%
合計（点数）	0	20	1	3	0	0	1	4	30	5	2	0	0	5	71	100.00%
合計（重量）	0	169.3	5.3	6	0	0	2.4	145.7	65.3	1.7	221.2	0	0	72.5	689.4	100.00%
組成比（点数）	0.00%	28.17%	1.41%	4.23%	0.00%	0.00%	1.41%	5.63%	42.25%	7.04%	2.82%	0.00%	0.00%	7.04%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	24.56%	0.77%	0.87%	0.00%	0.00%	0.35%	21.13%	9.47%	0.25%	32.09%	0.00%	0.00%	10.52%	100.00	

第43表　旧石器時代　第５ブロック石器組成表

第５ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート									2						2	18.18%
									2.7						2.7	0.81%
ホルンフェルス															0	0.00%
															0	0.00%
安山岩		1							2						3	27.27%
		3.2							2						5.2	1.56%
砂岩															0	0.00%
															0	0.00%
流紋岩											1				1	9.09%
											200				200	60.15%
凝灰岩								1							1	9.09%
								103.6							103.6	31.16%
珪質頁岩							1		2	1					4	36.36%
							7.7		12.6	0.7					21	6.32%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	1	0	0			1	1	6	1	1	0	0	0	11	100.00%
合計（重量）	0	3.2	0	0			7.7	103.6	17.3	0.7	200	0	0	0	332.5	100.00%
組成比（点数）	0.00%	9.09%	0.00%	0.00%			9.09%	9.09%	54.55%	9.09%	9.09%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.96%	0.00%	0.00%			2.32%	31.16%	5.20%	0.21%	60.15%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	

第44表　旧石器時代　第６ブロック石器組成表

第６ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート														2	2	6.25%
														3.4	3.4	1.77%
ホルンフェルス									2						2	6.25%
									3						3	1.56%
安山岩									8						8	25.00%
									34.3						34.3	17.87%
砂岩															0	0.00%
															0	0.00%
流紋岩									1					1	2	6.25%
									4.6					19.3	23.9	12.45%
凝灰岩															0	0.00%
															0	0.00%
珪質頁岩							5	2	7	1					15	46.88%
							22.8	38.1	41.5	0.5					102.9	53.62%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石										2					2	6.25%
										0.7					0.7	0.36%
蛇紋岩	1														1	3.13%
	23.7														23.7	12.35%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	1	0	0	0			5	2	18	3	0	0	0	3	32	100.00%
合計（重量）	23.7	0	0	0			22.8	38.1	83.4	1.2	0	0	0	22.7	191.9	100.00%
組成比（点数）	3.13%	0.00%	0.00%	0.00%			15.63%	6.25%	56.25%	9.38%	0.00%	0.00%	0.00%	9.38%	100.00	
組成比（重量）	12.35%	0.00%	0.00%	0.00%			11.88%	19.85%	43.46%	0.63%	0.00%	0.00%	0.00%	11.83%	100.00	

第45表　旧石器時代　第７ブロック石器組成表

第７ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート							1		1					1	3	13.64%
							1.7		6.6					5.7	14	3.69%
ホルンフェルス									4	1					5	22.73%
									10.6	0.1					10.7	2.82%
安山岩	1						1		2						4	18.18%
	98.8						9.2		7.1						115.1	30.31%
砂岩														2	2	9.09%
														40.8	40.8	10.75%
流紋岩														3	3	13.64%
														54.6	54.6	14.38%
凝灰岩															0	0.00%
															0	0.00%
珪質頁岩									3					1	4	18.18%
									15					6.5	21.5	5.66%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
蛇紋岩	1														1	4.55%
	123														123	32.39%
石英															123	559.09%
															0	0.00%
合計（点数）	2	0	0	0			2	0	10	1	0	0	0	7	22	100.00%
合計（重量）	221.8	0	0	0			10.9	0	39.3	0.1	0	0	0	107.6	379.7	100.00%
組成比（点数）	9.09%	0.00%	0.00%	0.00%			9.09%	0.00%	45.45%	4.55%	0.00%	0.00%	0.00%	31.82%	100.00	
組成比（重量）	58.41%	0.00%	0.00%	0.00%			2.87%	0.00%	10.35%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	28.34%	100.00	

第46表　旧石器時代　第８ブロック石器組成表

第８ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート															0	0.00%
															0	0.00%
ホルンフェルス															0	0.00%
															0	0.00%
安山岩									7						7	31.82%
									50.1						50.1	14.61%
砂岩															0	0.00%
															0	0.00%
流紋岩														4	4	18.18%
														83.9	83.9	24.47%
凝灰岩											1				1	4.55%
											34.2				34.2	9.97%
珪質頁岩							1	2	6	1					10	45.45%
							14.6	97.2	62.6	0.3					174.7	50.95%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	0	0	0			1	2	13	1	1	0	0	4	22	100.00%
合計（重量）	0	0	0	0			14.6	97.2	112.7	0.3	34.2	0	0	83.9	342.9	100.00%
組成比（点数）	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%			4.55%	9.09%	59.09%	4.55%	4.55%	0.00%	0.00%	18.18%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%			4.26%	28.35%	32.87%	0.09%	9.97%	0.00%	0.00%	24.47%	100.00	

第47表　旧石器時代　第９ブロック石器組成表

第９ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート								1 78.3	6 62.1					2 28.1	9 168.5	11.25% 18.99%
ホルンフェルス															0 0	0.00% 0.00%
安山岩				1 4.6			1 4	2 101.9	11 53.3	8 5.2					23 169	28.75% 19.05%
砂岩									1 6.1	3 1.2				2 85.3	6 92.6	7.50% 10.44%
流紋岩								1 61.1	1 2.8					1 8.4	3 72.3	3.75% 8.15%
凝灰岩							1 13.5		3 12.7						4 26.2	5.00% 2.95%
珪質頁岩						1 14.1	1 6.4		22 110.1	5 2.4					29 133	36.25% 14.99%
メノウ		1 13.5						1 52.7	1 5.3						3 71.5	3.75% 8.06%
黒曜石															0 0	0.00% 0.00%
結晶片岩															0 0	0.00% 0.00%
石英								2 153.5	1 0.6						3 154.1	3.75% 17.37%
合計（点数） 合計（重量）	0 0	1 13.5	0 0	1 4.6	0 0	1 14.1	3 23.9	7 447.5	46 253	16 8.8	0 0	0 0	0 0	5 121.8	80 887.2	100.00% 100.00%
組成比（点数） 組成比（重量）	0.00% 0.00%	1.25% 1.52%	0.00% 0.00%	1.25% 0.52%	0.00% 0.00%	1.25% 1.59%	3.75% 2.69%	8.75% 50.44%	57.50% 28.52%	20.00% 0.99%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	6.25% 13.73%	100.00 100.00	

第48表　旧石器時代　第10ブロック石器組成表

第10ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート							1 12.5								1 12.5	5.88% 5.64%
ホルンフェルス															0 0	0.00% 0.00%
安山岩									1 2.7						1 2.7	5.88% 1.22%
砂岩		1 9.8							1 0.5					1 34.4	3 44.7	17.65% 20.17%
流紋岩														4 107.7	4 107.7	23.53% 48.60%
凝灰岩									2 3.8					1 1.5	3 5.3	17.65% 2.39%
珪質頁岩			1 5			1 8		1 35.2		1 0.3					3 43.5	17.65% 19.63%
メノウ										1 0.2					1 0.2	5.88% 0.09%
黒曜石															0 0	0.00% 0.00%
結晶片岩															0 0	0.00% 0.00%
石英															0 0	0.00% 0.00%
合計（点数） 合計（重量）	0 0	1 9.8	1 5	0 0	0 0	1 8	1 12.5	1 35.2	4 7	2 0.5	0 0	0 0	0 0	6 143.6	17 221.6	100.00% 100.00%
組成比（点数） 組成比（重量）	0.00% 0.00%	5.88% 4.42%	5.88% 2.26%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	5.88% 3.61%	5.88% 5.64%	5.88% 15.88%	23.53% 3.16%	11.76% 0.23%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	35.29% 64.80%	100.00 100.00	

第49表　旧石器時代　第11ブロック石器組成表

第11ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		1 13.4							1 0.8	1 0.3					3 14.5	8.57% 7.15%
ホルンフェルス															0 0	0.00% 0.00%
安山岩									3 15.8	2 1.2					5 17	14.29% 8.38%
砂岩														1 2.7	1 2.7	2.86% 1.33%
流紋岩														1 49.3	1 49.3	2.86% 24.31%
凝灰岩							1 4.2		1 12.3	1 0.8					3 17.3	8.57% 8.53%
珪質頁岩			1 2.5	1 4.3					14 74	1 0.5					16 78.8	45.71% 38.86%
メノウ									2 13.6					1 6.3	3 19.9	8.57% 9.81%
黒曜石							1 0.2								1 0.2	2.86% 0.10%
蛇紋岩									1 0.6						1 0.6	2.86% 0.30%
石英															0 0	0.00% 0.00%
合計（点数） 合計（重量）	0 0	1 13.4	1 2.5	1 4.3	0 0	0 0	2 4.4	0 0	22 117.1	5 2.8	0 0	0 0	0 0	3 58.3	35 202.8	100.00% 100.00%
組成比（点数） 組成比（重量）	0.00% 0.00%	2.86% 6.61%	2.86% 1.23%	2.86% 2.12%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	5.71% 2.17%	0.00% 0.00%	62.86% 57.74%	14.29% 1.38%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	8.57% 28.75%	100.00 100.00	

第50表　旧石器時代　第12ブロック石器組成表

第12ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート									1 2.6						1 2.6	6.25% 1.28%
ホルンフェルス															0 0	0.00% 0.00%
安山岩									5 26.8						5 26.8	31.25% 13.19%
砂岩															0 0	0.00% 0.00%
流紋岩															0 0	0.00% 0.00%
凝灰岩								1 97.5	2 47.5						3 145	18.75% 71.36%
珪質頁岩							1 12.3		5 14.8						6 27.1	37.50% 13.34%
メノウ															0 0	0.00% 0.00%
黒曜石															0 0	0.00% 0.00%
蛇紋岩									1 1.7						1 1.7	6.25% 0.84%
石英															0 0	0.00% 0.00%
合計（点数） 合計（重量）	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 12.3	1 97.5	14 93.4	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	16 203.2	100.00% 100.00%
組成比（点数） 組成比（重量）	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	6.25% 6.05%	6.25% 47.98%	87.50% 45.96%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	100.00 100.00	

第51表　旧石器時代　第13ブロック石器組成表

第13ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート							1		2						3	12.50%
							6.4		35.2						41.6	16.32%
ホルンフェルス															0	0.00%
															0	0.00%
安山岩									4						4	16.67%
									9.2						9.2	3.61%
砂岩									1					1	2	8.33%
									29.3					32.6	61.9	24.28%
流紋岩									1						1	4.17%
									17.4						17.4	6.83%
凝灰岩									1						1	4.17%
									50.1						50.1	19.65%
珪質頁岩				1				1	11						13	54.17%
				1.6				11.1	62						74.7	29.31%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
蛇紋岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	0	0	1	0	0	1	1	20	0	0	0	0	1	24	100.00%
合計（重量）	0	0	0	1.6	0	0	6.4	11.1	203.2	0	0	0	0	32.6	254.9	100.00%
組成比（点数）	0.00%	0.00%	0.00%	4.17%	0.00%	0.00%	4.17%	4.17%	83.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	4.17%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.00%	0.00%	0.63%	0.00%	0.00%	2.51%	4.35%	79.72%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	12.79%	100.00	

第52表　旧石器時代　第14ブロック石器組成表

第14ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		1					1	2	2						6	24.00%
		10.1					8.6	55.3	4.2						78.2	23.95%
ホルンフェルス									4	1					5	20.00%
									93.4	0.2					93.6	28.67%
安山岩									4						4	16.00%
									14.6						14.6	4.47%
砂岩		1													1	4.00%
		70.6													70.6	21.62%
流紋岩															0	0.00%
															0	0.00%
凝灰岩									1						1	4.00%
									41.5						41.5	12.71%
珪質頁岩							1		1						2	8.00%
							4.3		2.5						6.8	2.08%
メノウ									2						2	8.00%
									3.8						3.8	1.16%
黒曜石			1												1	4.00%
			1.2												1.2	0.37%
珪質凝灰岩			1						1						2	8.00%
			3.6						1.5						5.1	1.56%
石英		1													1	4.00%
		11.1													11.1	3.40%
合計（点数）	0	3	2	0	0	0	2	2	15	1	0	0	0	0	25	100.00%
合計（重量）	0	91.8	4.8	0	0	0	12.9	55.3	161.5	0.2	0	0	0	0	326.5	100.00%
組成比（点数）	0.00%	12.00%	8.00%	0.00%	0.00%	0.00%	8.00%	8.00%	60.00%	4.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	28.12%	1.47%	0.00%	0.00%	0.00%	3.95%	16.94%	49.46%	0.06%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	

第53表　旧石器時代　第15ブロック石器組成表

第15ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート							1	2	2	2				1	8	8.08%
							2.8	156.3	7.1	0.7				19.2	186.1	12.02%
ホルンフェルス									2						2	2.02%
									5						5	0.32%
安山岩		1					1	4	25	5					36	36.36%
		8.6					7	48	68.7	1.2					133.5	8.62%
砂岩									1		1	1			3	3.03%
									0.6		66.5	263.2			330.3	21.34%
流紋岩									2						2	2.02%
									11.4						11.4	0.74%
凝灰岩								1	3	1					5	5.05%
								37.8	4.6	0.7					43.1	2.78%
珪質頁岩							1	6	23	1					31	31.31%
							14.2	323	63.9	0.6					401.7	25.95%
メノウ								1	4					1	6	6.06%
								37.7	90.3					1.3	129.3	8.35%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
蛇紋岩	1														1	1.01%
	181														181	11.69%
石英								1	4						5	5.05%
								71.3	55.4						126.7	8.18%
合計（点数）	1	1	0	0	0	0	3	15	66	9	1	1	0	2	99	100.00%
合計（重量）	181	8.6	0	0	0	0	24	674.1	307	3.2	66.5	263.2	0	20.5	1548.1	100.00%
組成比（点数）	1.01%	1.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	3.03%	15.15%	66.67%	9.09%	1.01%	1.01%	0.00%	2.02%	100.00	
組成比（重量）	11.69%	0.56%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.55%	43.54%	19.83%	0.21%	4.30%	17.00%	0.00%	1.32%	100.00	

第54表　旧石器時代　第16ブロック石器組成表

第16ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	石　刃	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲打器	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		1					1	6	8						16	29.09%
		54.8					1.2	124.1	25						205.1	15.82%
ホルンフェルス								1		1				2	4	7.27%
								14.7		0.6				31.4	46.7	3.60%
安山岩	1				1		2	2	8	2					16	29.09%
	447				10.9		16.8	24	57.9	0.9					557.5	43.00%
砂岩									1		1				2	3.64%
									57.3		174				231.3	17.84%
流紋岩							1		1					1	3	5.45%
							5.9		1.6					118.9	126.4	9.75%
凝灰岩							1		1	1					3	5.45%
							1.2		1.2	0.2					2.6	0.20%
珪質頁岩				1				1	5	1					8	14.55%
				7				25.3	8.1	0.4					40.8	3.15%
メノウ					1						1				2	3.64%
					6.7						75.7				82.4	6.36%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
石灰岩									1						1	1.82%
									3.7						3.7	0.29%
石英															0	0.00%
															2	0.15%
合計（点数）	1	1	0	1	2	0	5	10	25	5	2	0	0	3	55	100.00%
合計（重量）	447	54.8	0	7	17.6	0	25.1	188.1	154.8	2.1	249.7	0	0	150.3	1296.5	100.00%
組成比（点数）	1.82%	1.82%	0.00%	1.82%	3.64%	0.00%	9.09%	18.18%	45.45%	9.09%	3.64%	0.00%	0.00%	5.45%	100.00	
組成比（重量）	34.48%	4.23%	0.00%	0.54%	1.36%	0.00%	1.94%	14.51%	11.94%	0.16%	19.26%	0.00%	0.00%	11.59%	100.00	

第55表　旧石器時代　第17ブロック石器組成表

第17ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		2					1	20	58	30	2			4	117	48.75%
		19.5					10.4	874.7	200.7	14.5	287.8			20.4	1428	49.17%
ホルンフェルス								1	4	1					6	2.50%
								44.4	10	0.7					55.1	1.90%
安山岩								6	17	7					30	12.50%
								152.3	52.2	2.5					207	7.13%
砂岩	1							3	2	3					9	3.75%
	90.8							194.6	4	0.9					290.3	10.00%
流紋岩							3	3	9	1					16	6.67%
							10.1	203.8	71.3	0.3					285.5	9.83%
凝灰岩								1	3	2					6	2.50%
								23.6	4.9	0.7					29.2	1.01%
珪質頁岩		2						5	18	2					29	12.08%
		16.9						53.8	52.4	0.4					140.4	4.83%
メノウ		1					1	5	11	6					24	10.00%
		3.6					8	267.9	30	1.3					310.8	10.70%
珪質凝灰岩									1						1	0.42%
									4						4	0.14%
蛇紋岩	2														2	0.83%
	158.2														158.2	5.45%
石英・石灰岩									1	1					2	0.83%
									12.1	0.7					12.8	0.44%
合計（点数）	3	5	0	0	0	0	5	44	124	53	2	0	0	4	240	100.00%
合計（重量）	249	40	0	0	0	0	28.5	1815.1	441.6	22	287.8	0	0	20.4	2904.4	100.00%
組成比（点数）	1.25%	2.08%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.08%	18.33%	51.67%	22.08%	0.83%	0.00%	0.00%	1.67%	100.00	
組成比（重量）	8.57%	1.38%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.98%	62.49%	15.20%	0.76%	9.91%	0.00%	0.00%	0.70%	100.00	

第56表　旧石器時代　第18ブロック石器組成表

第18ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート			1				1	4	10					2	18	23.68%
			4.1				3.4	225.9	69.3					16.3	319	38.69%
ホルンフェルス									4						4	5.26%
									36.9						36.9	4.48%
安山岩		2		1				3	24	4					34	44.74%
		11.4		3.4				157.1	90.1	1.8					263.8	32.00%
砂岩								2	14						16	21.05%
								133.5	63.8						197.3	23.93%
流紋岩															0	0.00%
															0	0.00%
凝灰岩														1	1	1.32%
														1	1	0.12%
珪質頁岩										1				1	2	2.63%
										0.5				1.6	2.1	0.25%
メノウ							1								1	1.32%
							4.4								4.4	0.53%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	2	1	1	0	0	2	9	52	5	0	0	0	4	76	100.00%
合計（重量）	0	11.4	4.1	3.4	0	0	7.8	516.5	260.1	2.3	0	0	0	18.9	824.5	100.00%
組成比（点数）	0.00%	2.63%	1.32%	1.32%	0.00%	0.00%	2.63%	11.84%	68.42%	6.58%	0.00%	0.00%	0.00%	5.26%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	1.38%	0.50%	0.41%	0.00%	0.00%	0.95%	62.64%	31.55%	0.28%	0.00%	0.00%	0.00%	2.29%	100.00	

第57表　旧石器時代　第19ブロック石器組成表

第19ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		1					2	10	19	6					38	23.46%
		26.1					12	396.9	136.8	4					575.8	30.14%
ホルンフェルス		1	1					2	25	2					31	19.14%
		7.7	9.9					241.9	114.4	0.7					374.6	19.61%
安山岩		2		1			1	7	18	4					33	20.37%
		9.2		1.6			1.2	119.5	37.4	1.1					170	8.90%
砂岩	1			1				2	14	1	1				20	12.35%
	55.2			9.1				169.9	93.9	0.5	110.7				439.3	22.99%
流紋岩			2												2	1.23%
			9.6												9.6	0.50%
凝灰岩								3	5	4					12	7.41%
								173.4	21.8	1.8					197	10.31%
珪質頁岩							3	4	9	1					17	10.49%
							8.9	64.4	22.1	0.6					96	5.02%
メノウ									3	1					4	2.47%
									2.6	0.2					2.8	0.15%
泥岩		1													1	0.62%
		6.1													6.1	0.32%
頁岩									1						1	0.62%
									1.5						1.5	0.08%
石英								1	2						3	1.85%
								36.3	1.6						37.9	1.98%
合計（点数）	1	5	3	2	0	0	6	29	96	19	1	0	0	0	162	100.00%
合計（重量）	55.2	49.1	19.5	10.7	0	0	22.1	1202.3	432.1	8.9	110.7	0	0	0	1910.6	100.00%
組成比（点数）	0.62%	3.09%	1.85%	1.23%	0.00%	0.00%	3.70%	17.90%	59.26%	11.73%	0.62%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	
組成比（重量）	2.89%	2.57%	1.02%	0.56%	0.00%	0.00%	1.16%	62.93%	22.62%	0.47%	5.79%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	

第58表　旧石器時代　第20ブロック石器組成表

第20ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		2						3	5	2				1	13	14.77%
		20.7						131.8	23	1.1				0.8	177.4	12.91%
ホルンフェルス							1	3	8						12	13.64%
							19.4	197	49.2						265.6	19.32%
安山岩		1		1				3	25	11	1				42	47.73%
		7.2		7.4				54	82	2.5	133				286.1	20.82%
砂岩								1	2						3	3.41%
								109.1	4.3						113.4	8.25%
流紋岩									2		1				3	3.41%
									2.9		168				170.9	12.43%
凝灰岩								1	3	1					5	5.68%
								26.3	4.8	0.3					31.4	2.28%
珪質頁岩								1	2	1					4	4.55%
								29.3	24.6	1					54.9	3.99%
メノウ							1			1					2	2.27%
							5.8			0.7					6.5	0.47%
蛇紋岩	2														2	2.27%
	71.2														71.2	5.18%
黒曜石									1						1	1.14%
									1						1	0.07%
石英斑岩											1				1	1.14%
											196				196	14.26%
合計（点数）	2	3	0	1	0	0	2	12	48	16	3	0	0	1	88	100.00%
合計（重量）	71.2	27.9	0	7.4	0	0	25.2	547.5	191.8	5.6	497	0	0	0.8	1374.4	100.00%
組成比（点数）	2.27%	3.41%	0.00%	1.14%	0.00%	0.00%	2.27%	13.64%	54.55%	18.18%	3.41%	0.00%	0.00%	1.14%	100.00	
組成比（重量）	5.18%	2.03%	0.00%	0.54%	0.00%	0.00%	1.83%	39.84%	13.96%	0.41%	36.16%	0.00%	0.00%	0.06%	100.00	

第59表　旧石器時代　第21ブロック石器組成表

第21ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート									2						2	3.33%
									2.9						2.9	0.28%
ホルンフェルス								1	2						3	5.00%
								79.4	3						82.4	7.88%
安山岩								7	11						18	30.00%
								228.6	44.4						273	26.12%
砂岩								1	2					2	5	8.33%
								84.4	14.6					104.4	203.4	19.46%
流紋岩									3						3	5.00%
									12.8						12.8	1.22%
凝灰岩															0	0.00%
															0	0.00%
珪質頁岩							1	1	8						10	16.67%
							5.2	12	74.8						92	8.80%
メノウ								2	9						11	18.33%
								91.2	55.8						147	14.06%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英								1	6	1					8	13.33%
								176	55.1	0.6					231.7	22.17%
合計（点数）	0	0	0	0	0	0	1	13	43	1	0	0	0	2	60	100.00%
合計（重量）	0	0	0	0	0	0	5.2	671.6	263.4	0.6	0	0	0	104.4	1045.2	100.00%
組成比（点数）	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.67%	21.67%	71.67%	1.67%	0.00%	0.00%	0.00%	3.33%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.50%	64.26%	25.20%	0.06%	0.00%	0.00%	0.00%	9.99%	100.00	

第60表　旧石器時代　第22ブロック石器組成表

第22ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		3						1	4	1					9	15.25%
		53.6						42.8	15.5	0.8					112.7	14.11%
ホルンフェルス								1	5						6	10.17%
								42.9	46.9						89.8	11.24%
安山岩		1					2	7	14	1					25	42.37%
		6.0					49.3	123.8	94.8	0.3					274.2	34.32%
砂岩								1	3					2	6	10.17%
								41.1	40.6					2.1	83.8	10.49%
流紋岩								1	7						8	13.56%
								55.1	26.3						81.4	10.19%
凝灰岩															0	0.00%
															0	0.00%
珪質頁岩			1					1	2						3	5.08%
			6.2					117.4	6.3						123.7	15.48%
メノウ							1								1	1.69%
							27.2								27.2	3.40%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	4	1	0	0	0	3	12	35	2	0	0	0	2	59	100.00%
合計（重量）	0	59.6	6.2	0	0	0	76.5	423.1	230.4	1.1	0	0	0	2.1	799	100.00%
組成比（点数）	0.00%	6.78%	1.69%	0.00%	0.00%	0.00%	5.08%	20.34%	59.32%	3.39%	0.00%	0.00%	0.00%	3.39%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	7.46%	0.78%	0.00%	0.00%	0.00%	9.57%	52.95%	28.84%	0.14%	0.00%	0.00%	0.00%	0.26%	100.00	

第61表　旧石器時代　第23ブロック石器組成表

第23ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		3					6	11	36	1					57	32.76%
		66.5					32.5	477.7	74.1	0.5					651.3	22.27%
ホルンフェルス							2	4	10	1					17	9.77%
							5.2	65.6	71.1	0.3					142.2	4.86%
安山岩							3	7	19	1					30	17.24%
							14.4	216.7	63.6	0.1					294.8	10.08%
砂岩								3	17	2	1		1	1	25	14.37%
								209.2	85.8	0.8	296		57.8	36.9	686.5	23.47%
流紋岩								1	2					1	4	2.30%
								24.8	12.4					5.3	42.5	1.45%
凝灰岩		1							4						5	2.87%
		5.6							37.5						43.1	1.47%
珪質頁岩			1				2	5	3	3					13	7.47%
			14.4				6.5	201.1	16.7	1.3					225.6	7.71%
メノウ				1				3	2	1				1	8	4.60%
				4.7				215	3.7	1.1				16.3	240.8	8.23%
結晶片岩									8						8	4.60%
									465.1						465.1	15.90%
蛇紋岩								1	1						2	1.15%
								44.4	22.6						67	2.29%
石英								1	3						4	2.30%
								47.3	4.5						51.8	1.77%
合計（点数）	0	4	1	1	0	0	13	36	105	9	1	0	1	3	174	100.00%
合計（重量）	0	72.1	14.4	4.7	0	0	58.6	1501.8	857.1	4.1	296	0	57.8	58.5	2925.1	100.00%
組成比（点数）	0.00%	2.30%	0.57%	0.57%	0.00%	0.00%	7.47%	20.69%	60.34%	5.17%	0.57%	0.00%	0.57%	1.72%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	2.46%	0.49%	0.16%	0.00%	0.00%	2.00%	51.34%	29.30%	0.14%	10.12%	0.00%	1.98%	2.00%	100.00	

第62表　旧石器時代　第24ブロック石器組成表

第24ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート							1	1	4	1				1	8	9.52%
							6.5	176	4.4	0.4				1.4	188.7	11.33%
ホルンフェルス								4	7	2					13	15.48%
								272.8	47.5	1.7					322	19.34%
安山岩		1					1	6	16	4					28	33.33%
		13.1					1.4	279.6	89.6	1.8					385.5	23.15%
砂岩									9	2				1	12	14.29%
									97.7	0.7				125	223.4	13.42%
流紋岩								3	12	3					18	21.43%
								505.6	21.3	1.2					528.1	31.72%
凝灰岩									1						2	2.38%
									13.2						13.2	0.79%
珪質頁岩										2					1	2.38%
										1.2					1.2	0.07%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
蛇紋岩									2						2	1.19%
									2.8						2.8	0.17%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	1	0	0	0	0	2	14	51	14	0	0	0	2	84	100.00%
合計（重量）	0	13.1	0	0	0	0	7.9	1234	276.5	7	0	0	0	126.4	1664.9	100.00%
組成比（点数）	0.00%	1.19%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.38%	16.67%	60.71%	16.67%	0.00%	0.00%	0.00%	2.38%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.79%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.47%	74.12%	16.61%	0.42%	0.00%	0.00%	0.00%	7.59%	100.00	

第63表　旧石器時代　第25ブロック石器組成表

第25ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート									6	1					7	25.93%
									33.1	0.6					33.7	34.85%
ホルンフェルス									3						3	11.11%
									22.1						22.1	22.85%
安山岩							1		3	1					5	18.52%
							6.2		6.5	0.7					13.4	13.86%
砂岩									2						2	7.41%
									7.7						7.7	7.96%
流紋岩									2						2	7.41%
									6.6						6.6	6.83%
凝灰岩									1	1					2	7.41%
									0.8	1					1.8	1.86%
珪質頁岩				1			2		1	1					5	18.52%
				2.6			4.1		0.4	0.7					7.8	8.07%
メノウ									1						1	3.70%
									3.6						3.6	3.72%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	0	0	1	0	0	3	0	19	4	0	0	0	0	27	100.00%
合計（重量）	0	0	0	2.6	0	0	10.3	0	80.8	3	0	0	0	0	96.7	100.00%
組成比（点数）	0.00%	0.00%	0.00%	3.70%	0.00%	0.00%	11.11%	0.00%	70.37%	14.81%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.00%	0.00%	2.69%	0.00%	0.00%	10.65%	0.00%	83.56%	3.10%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	

第64表　旧石器時代　第26ブロック石器組成表

第26ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート		1					1		5	1					8	23.53%
		8.7					2.1		28.1	0.1					39	5.58%
ホルンフェルス															0	0.00%
															0	0.00%
安山岩		1						2							3	8.82%
		5.2						84.4							89.6	12.83%
砂岩				1				2	1	1					5	14.71%
				5.7				48.1	0.4	0.5					54.7	7.83%
流紋岩								2	6	2				1	11	32.35%
								80	12.5	0.8				5.3	98.6	14.12%
凝灰岩								1							1	2.94%
								84.1							84.1	12.04%
珪質頁岩															0	0.00%
															0	0.00%
メノウ									1						1	2.94%
									3.9						3.9	0.56%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
蛇紋岩	2														2	5.88%
	62.8														62.8	8.99%
石英斑岩								2	1						65.8	193.53%
								251.8	13.9						265.7	38.04%
合計（点数）	2	2	0	1	0	0	1	9	14	4	0	0	0	1	34	100.00%
合計（重量）	62.8	13.9	0	5.7	0	0	2.1	548.4	58.8	1.4	0	0	0	5.3	698.4	100.00%
組成比（点数）	5.88%	5.88%	0.00%	2.94%	0.00%	0.00%	2.94%	26.47%	41.18%	11.76%	0.00%	0.00%	0.00%	2.94%	100.00	
組成比（重量）	8.99%	1.99%	0.00%	0.82%	0.00%	0.00%	0.30%	78.52%	8.42%	0.20%	0.00%	0.00%	0.00%	0.76%	100.00	

第65表　旧石器時代　第27ブロック石器組成表

第27ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート								2	5	2					9	10.59%
								76.6	16.5	0.7					93.8	9.64%
ホルンフェルス									6						6	7.06%
									24.8						24.8	2.55%
安山岩							1	1	20	6					28	32.94%
							17.7	43	100.3	1.7					162.7	16.72%
砂岩								6	13		1				20	23.53%
								342.4	59.1		49.8				451.3	46.39%
流紋岩										1					1	1.18%
										0.1					0.1	0.01%
凝灰岩								4	7						11	12.94%
								116.3	26.9						143.2	14.72%
珪質頁岩								2	1						3	3.53%
								38.8	0.7						39.5	4.06%
メノウ				1											1	1.18%
				1.7											1.7	0.17%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
蛇紋岩	1														1	1.18%
	47														47	4.83%
石英									4	1					5	61.18%
									8	0.8					8.8	0.90%
合計（点数）	1	0	0	1	0	0	1	15	56	10	1	0	0	0	85	100.00%
合計（重量）	47	0	0	1.7	0	0	17.7	617.1	236.3	3.3	49.8	0	0	0	972.9	100.00%
組成比（点数）	1.18%	0.00%	0.00%	1.18%	0.00%	0.00%	1.18%	17.65%	65.88%	11.76%	1.18%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	
組成比（重量）	4.83%	0.00%	0.00%	0.17%	0.00%	0.00%	1.82%	63.43%	24.29%	0.34%	5.12%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	

第66表　旧石器時代　第28ブロック石器組成表

第28ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート								2	6	3				4	15	15.96%
								73.9	11.4	1.6				13.4	100.3	8.81%
ホルンフェルス								1	3	1					5	5.32%
								57.9	98	0.4					156.3	13.72%
安山岩		1		1				3	6	2					13	13.83%
		5.9		3				42.7	44.4	0.9					96.9	8.51%
砂岩	1							1	2		1			1	6	6.38%
	166							70.7	3.4		174			3.8	417.9	36.69%
流紋岩									4						4	4.26%
									33.6						33.6	2.95%
凝灰岩								3	6	1					10	10.64%
								62.8	28.6	0.4					91.8	8.06%
珪質頁岩							1	4	8	4				1	18	19.15%
							0.9	90.1	32.1	1.4				11.3	135.8	11.92%
メノウ			2						8	1					11	11.70%
			15						27.7	0.7					43.4	3.81%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英								2	9	1					12	12.77%
								42.6	20	0.3					62.9	5.52%
合計（点数）	1	1	2	1	0	0	1	16	52	13	1	0	0	6	94	100.00%
合計（重量）	166	5.9	15	3	0	0	0.9	440.7	299.2	5.7	174	0	0	28.5	1138.9	100.00%
組成比（点数）	1.06%	1.06%	2.13%	1.06%	0.00%	0.00%	1.06%	17.02%	55.32%	13.83%	1.06%	0.00%	0.00%	6.38%	100.00	
組成比（重量）	14.58%	0.52%	1.32%	0.26%	0.00%	0.00%	0.08%	38.70%	26.27%	0.50%	15.28%	0.00%	0.00%	2.50%	100.00	

第67表　旧石器時代　第29ブロック石器組成表

第29ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート							1		2						3	15.79%
							1.9		11						12.9	6.87%
ホルンフェルス															0	0.00%
															0	0.00%
安山岩				1											1	5.26%
				7.2											7.2	3.83%
砂岩															0	0.00%
															0	0.00%
流紋岩														1	1	5.26%
														45.7	45.7	24.33%
凝灰岩															0	0.00%
															0	0.00%
珪質頁岩						1	1	2	6						10	52.63%
						11.1	4	62.9	26.8						104.8	55.80%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石								1	3						4	21.05%
								13.6	3.6						17.2	9.16%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	0	0	1	0	1	2	3	11	0	0	0	0	1	19	100.00%
合計（重量）	0	0	0	7.2	0	11.1	5.9	76.5	41.4	0	0	0	0	45.7	187.8	100.00%
組成比（点数）	0.00%	0.00%	0.00%	5.26%	0.00%	5.26%	10.53%	15.79%	57.89%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	5.26%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.00%	0.00%	3.83%	0.00%	5.91%	3.14%	40.73%	22.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	24.33%	100.00	

第68表　旧石器時代　第30ブロック石器組成表

第30ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート				1			1		1						3	9.38%
				3.3			11.3		0.1						14.7	5.27%
ホルンフェルス									1		2				3	9.38%
									12		135.7				147.7	52.94%
安山岩									2	1					3	9.38%
									6.8	0.2					7	2.51%
砂岩									1					2	3	9.38%
									18					43.6	61.6	22.08%
流紋岩															0	0.00%
															0	0.00%
凝灰岩															0	0.00%
															0	0.00%
珪質頁岩				1			2		8	1					12	37.50%
				6.9			9.8		12.7	0.3					29.7	10.65%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石							2		4						6	18.75%
							7.6		5.7						13.3	4.77%
珪質凝灰岩									2						2	6.25%
									5						5	1.79%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	0	0	2	0	0	5	0	19	2	2	0	0	2	32	100.00%
合計（重量）	0	0	0	10.2	0	0	28.7	0	60.3	0.5	135.7	0	0	43.6	279	100.00%
組成比（点数）	0.00%	0.00%	0.00%	6.25%	0.00%	0.00%	15.63%	0.00%	59.38%	6.25%	6.25%	0.00%	0.00%	6.25%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.00%	0.00%	3.66%	0.00%	0.00%	10.29%	0.00%	21.61%	0.18%	48.64%	0.00%	0.00%	15.63%	100.00	

第69表　旧石器時代　第31ブロック石器組成表

第31ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート								2							2	6.90%
								104.5							104.5	29.93%
ホルンフェルス															0	0.00%
															0	0.00%
安山岩								2	2						4	13.79%
								135.1	9.2						144.3	41.33%
砂岩									1						1	3.45%
									0.5						0.5	0.14%
流紋岩														1	1	3.45%
														21.3	21.3	6.10%
凝灰岩								1	4						5	17.24%
								16.2	40.5						56.7	16.24%
珪質頁岩															0	0.00%
															0	0.00%
メノウ														1	1	3.45%
														2.2	2.2	0.63%
黒曜石		3	2	1			3		3	3					15	51.72%
		3.1	5	2			6		2.8	0.7					19.6	5.61%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	3	2	1	0	0	3	5	10	3	0	0	0	2	29	100.00%
合計（重量）	0	3.1	5	2	0	0	6	255.8	53	0.7	0	0	0	23.5	349.1	100.00%
組成比（点数）	0.00%	10.34%	6.90%	3.45%	0.00%	0.00%	10.34%	17.24%	34.48%	10.34%	0.00%	0.00%	0.00%	6.90%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.89%	1.43%	0.57%	0.00%	0.00%	1.72%	73.27%	15.18%	0.20%	0.00%	0.00%	0.00%	6.73%	100.00	

第70表　旧石器時代　第32ブロック石器組成表

第32ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート															0	0.00%
															0	0.00%
ホルンフェルス										1					1	5.88%
										0.1					0.1	0.10%
安山岩															0	0.00%
															0	0.00%
砂岩															0	0.00%
															0	0.00%
流紋岩														1	1	5.88%
														24.9	24.9	25.51%
凝灰岩															0	0.00%
															0	0.00%
珪質頁岩		1													2	11.76%
		1.8													3.6	3.69%
メノウ				1					1	7	2				11	64.71%
				3.9					45.3	8.5	0.4				58.1	59.53%
黒曜石		1													1	5.88%
		0.5													0.5	0.51%
蛇紋岩	2														2	11.76%
	12.2														12.2	12.50%
石英															12.2	71.76%
															0	0.00%
合計（点数）	2	2	0	1	0	0	0	1	7	3	0	0	0	1	17	100.00%
合計（重量）	12.2	2.3	0	3.9	0	0	0	45.3	8.5	0.5	0	0	0	24.9	97.6	100.00%
組成比（点数）	11.76%	11.76%	0.00%	5.88%	0.00%	0.00%	0.00%	5.88%	41.18%	17.65%	0.00%	0.00%	0.00%	5.88%	100.00	
組成比（重量）	12.50%	2.36%	0.00%	4.00%	0.00%	0.00%	0.00%	46.41%	8.71%	0.51%	0.00%	0.00%	0.00%	25.51%	100.00	

第71表　旧石器時代　第33ブロック石器組成表

第33ブロック	磨製石斧等	細石刃	石　刃	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート									1 14.9						1 14.9	8.33% 11.63%
ホルンフェルス															0 0	0.00% 0.00%
安山岩															0 0	0.00% 0.00%
砂岩									8 100.2						8 100.2	66.67% 78.22%
流紋岩															0 0	0.00% 0.00%
凝灰岩															0 0	0.00% 0.00%
珪質頁岩			1 12.3												1 12.3	0.00% 0.00%
メノウ															0 0	0.00% 0.00%
黒曜石		1 0.1							1 0.6						2 0.7	16.67% 0.55%
結晶片岩															0 0	0.00% 0.00%
石英															0 0	0.00% 0.00%
合計（点数） 合計（重量）	0 0	1 0.1	1 12.3	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	10 115.7	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	12 128.1	100.00% 100.00%
組成比（点数） 組成比（重量）	0.00% 0.00%	8.33% 0.08%	8.33% 9.60%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	83.33% 90.32%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	100.00 100.00	

第72表　旧石器時代　第34ブロック石器組成表

第34ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート								1 12.2	3 17.7					12 129	16 158.9	5.76% 2.15%
ホルンフェルス			6 30.3	4 25.3	1 6.9	2 54.7	7 66.8	10 380.5	106 826.8	15 8.8					151 1400.1	54.32% 18.92%
安山岩		2 37.7		1 3.6	1 10.2		3 25.2	6 139.9	18 67.4	1 0.6		1 2885	1 455	26 973.3	60 4597.9	21.58% 62.12%
砂岩							1 12	2 64.7	4 35.1	2 0.5			1 162	6 295.5	16 569.8	5.76% 7.70%
流紋岩														11 163.9	11 163.9	3.96% 2.21%
凝灰岩						1 48.6	2 7.2		2 7.5						5 63.3	1.80% 0.86%
珪質頁岩			1 2.2		2 26.9				4 14.9						6 41.8	2.16% 0.56%
メノウ															0 0	0.00% 0.00%
黒曜石										1 0.7					1 0.7	0.36% 0.01%
珪化木						1 18.7			1 4						2 22.7	0.72% 0.31%
石灰岩									1						1 0	0.36% 0.00%
石英斑岩他														8 380	8 380	2.88% 5.13%
合計（点数） 合計（重量）	0 0	2 37.7	7 32.5	5 28.9	4 44	4 122	13 111.2	19 597.3	139 973.4	19 10.6	0 0	1 2885	10 617	55 1941.7	278 7401.3	100.00% 100.00%
組成比（点数） 組成比（重量）	0.00% 0.00%	0.72% 0.51%	2.52% 0.44%	1.80% 0.39%	1.44% 0.59%	1.44% 1.65%	4.68% 1.50%	6.83% 8.07%	50.00% 13.15%	6.83% 0.14%	0.00% 0.00%	0.36% 38.98%	3.60% 8.34%	19.78% 26.23%	100.00 100.00	

第73表　旧石器時代　第35ブロック石器組成表

第35ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート															0 0	0.00% 0.00%
ホルンフェルス															0 0	0.00% 0.00%
安山岩															0 0	0.00% 0.00%
砂岩															0 0	0.00% 0.00%
流紋岩															0 0	0.00% 0.00%
凝灰岩															0 0	0.00% 0.00%
珪質頁岩							1 6.8	6 51.9	12 41.2	1 0.5					20 100.4	100.00% 100.00%
メノウ															0 0	0.00% 0.00%
黒曜石															0 0	0.00% 0.00%
結晶片岩															0 0	0.00% 0.00%
石英															0 0	0.00% 0.00%
合計（点数） 合計（重量）	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 6.8	6 51.9	12 41.2	1 0.5	0 0	0 0	0 0	0 0	20 100.4	100.00% 100.00%
組成比（点数） 組成比（重量）	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	5.00% 6.77%	30.00% 51.69%	60.00% 41.04%	5.00% 0.50%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	100.00 100.00	

第74表　旧石器時代　第36ブロック石器組成表

第36ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート															0 0	0.00% 0.00%
ホルンフェルス															0 0	0.00% 0.00%
安山岩								1 47.8	4 20.9						5 68.7	23.81% 17.14%
砂岩											1 190				1 190	4.76% 47.42%
流紋岩															0 0	0.00% 0.00%
凝灰岩															0 0	0.00% 0.00%
珪質頁岩							3 20	3 68.1	7 53.2	2 0.7					15 142	71.43% 35.44%
メノウ															0 0	0.00% 0.00%
黒曜石															0 0	0.00% 0.00%
結晶片岩															0 0	0.00% 0.00%
石英															0 0	0.00% 0.00%
合計（点数） 合計（重量）	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 20	4 115.9	11 74.1	2 0.7	1 190	0 0	0 0	0 0	21 400.7	100.00% 100.00%
組成比（点数） 組成比（重量）	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	14.29% 4.99%	19.05% 28.92%	52.38% 18.49%	9.52% 0.17%	4.76% 47.42%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	0.00% 0.00%	100.00 100.00	

第75表　旧石器時代　第37ブロック石器組成表

第37ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート															0	0.00%
															0	0.00%
ホルンフェルス															0	0.00%
															0	0.00%
安山岩							1		2						3	10.34%
							15.9		8.9						24.8	13.55%
砂岩															0	0.00%
															0	0.00%
流紋岩															0	0.00%
															0	0.00%
凝灰岩		1							1						2	6.90%
		4.2							6						10.2	5.57%
珪質頁岩							2	2	16	4					24	82.76%
							23.4	51.1	70.8	2.7					148	80.87%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	1	0	0	0	0	3	2	19	4	0	0	0	0	29	100.00%
合計（重量）	0	4.2	0	0	0	0	39.3	51.1	85.7	2.7	0	0	0	0	183	100.00%
組成比（点数）	0.00%	3.45%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	10.34%	6.90%	65.52%	13.79%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	2.30%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	21.48%	27.92%	46.83%	1.48%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00	

第76表　旧石器時代　第38ブロック石器組成表

第38ブロック	磨製石斧等	楔形石器	ナイフ形石器	台形石器	掻　器	削　器	U・R・剥片	石核・原石	剥　片	砕　片	敲　石	台　石	磨石等	礫・礫片	合　計	組成比
チャート															0	0.00%
															0	0.00%
ホルンフェルス														1	1	33.33%
														30	30	38.96%
安山岩											1				1	33.33%
											46				46	59.74%
砂岩															0	0.00%
															0	0.00%
流紋岩															0	0.00%
															0	0.00%
凝灰岩															0	0.00%
															0	0.00%
珪質頁岩									1						1	33.33%
									1						1	1.30%
メノウ															0	0.00%
															0	0.00%
黒曜石															0	0.00%
															0	0.00%
結晶片岩															0	0.00%
															0	0.00%
石英															0	0.00%
															0	0.00%
合計（点数）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3	100.00%
合計（重量）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	46	0	0	30	77	100.00%
組成比（点数）	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	0.00%	33.33%	0.00%	0.00%	33.33%	100.00	
組成比（重量）	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.30%	0.00%	59.74%	0.00%	0.00%	38.96%	100.00	

第2節　縄文時代

（1）　遺構（第281図、図版47）

今回の調査では、縄文時代の土坑4基と形態・規模・検出面から陥穴と考えられる土坑を3基検出した。遺構に伴う遺物が出土しなかったため、時期を特定することはできなかった。

ＳＫ001

本遺構は、５Ｈ－27グリッドに位置する。規模は2.2×1.6mの北側がややふくらむ楕円形を呈し、長軸方向はほぼ南を向いている。掘り込みの深さは約0.4mで、底面は丸く掘り込んだ形である。北側に小ピットをもつ。ピットの深さは土坑の掘り込み面から約0.83mである。

ＳＫ002

本遺構は、８Ｈ－95グリッドに位置する。規模は2.2m×0.8mの長楕円形を呈し、、長軸方向は北西を向いている。掘り込みの深さは約1.40mで、南東部に一段テラスをもって北西部に深く落ち込む陥穴とみられる。

ＳＫ003

本遺構は、７Ｈ－67グリッドに位置する。規模は1.15×0.85mの楕円形を呈し、長軸方向は西を向いている。掘り込みの深さは約0.63mで、底面は丸く掘り込んだ形である。

ＳＫ004

本遺構は、７Ｈ－37グリッドに位置する。規模は1.5×1.1mの楕円形を呈した陥穴とみられる。長軸方向は南西を向いている。掘り込みの深さは約1.45mで、下半分が袋状に広がっている。

ＳＫ005

本遺構は、７Ｇ－01グリッドに位置する。規模は1.5×10mの楕円形を呈した陥穴とみられる。長軸方向は北西を向いている。掘り込みの深さは1.65mで、底面をぼほ円形にして急角度に掘り込まれている。

ＳＫ006

本遺構は、７Ｇ－98グリッドに位置する。規模は1.65×1.0mの南東側がふくらむ楕円形を呈し、長軸方向は北西を向いている。掘り込みの深さは0.6mで、底面の形状は0.4×1.2mの隅丸長方形を呈し、南東側の下半分が袋状にひろがっている。

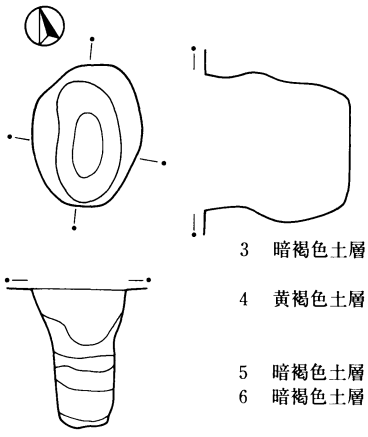
ＳＫ007

本遺構は、８Ｇ－97グリッドに位置する。規模は1.8×1.15mの長軸方向を南東に向け、北西側がふくらむやや不整形の楕円形を呈している。掘り込みの深さは約0.5mで南東側から北西方向に向かってなだらかに深く掘り込まれている。

（2）遺物

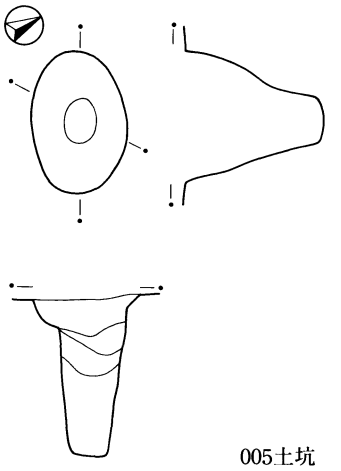
1．縄文土器

調査区内から出土した縄文土器の出土量は少なく、土器の型式時期も前期・中期・後期・晩期にわたっているが連続性はない。以下各時期を大きく4群に大別し、各型式に細分していく。



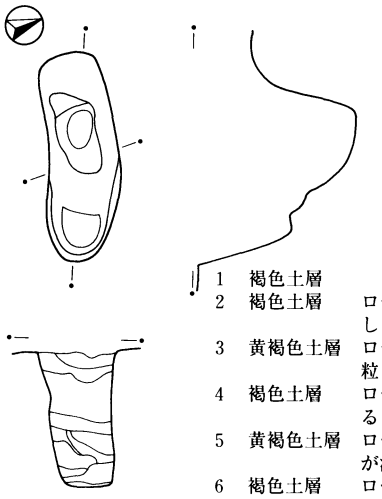
004土坑

1 暗褐色土層 ローム粒がわずかに混じる。しまりゆるし。
2 暗褐色土層 ローム粒・ロームブロック径10～50㎜を主とし、暗褐色土がわずかに混じる。しまりゆるし。
3 暗褐色土層 わずかにローム粒・ロームブロック径10～20㎜程度が混じる。しまりゆるし。
4 黄褐色土層 ロームブロック径10～50㎜とローム粒を主とする。暗褐色土層が混じる。しまりゆるし。
5 暗褐色土層 粘り強し。しまりややゆるし。
6 暗褐色土層 ロームブロック径10～20㎜が混じる。粘り強し。しまりあり。



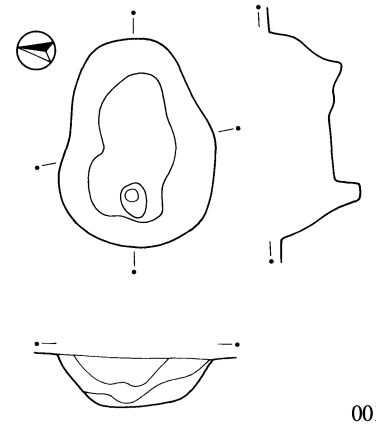
005土坑

1 黒褐色土層 暗褐色土が混じる。しまりあり。
2 黒褐色土層 暗褐色土が混じる。しまりあり。
3 暗褐色土層 壁面は、白色及び、黄色の粘土からなる。しまりあり。
4 黄褐色土層 粘り、しまりともに強し。



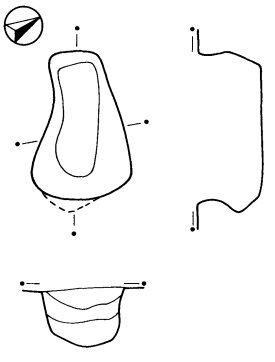
002土坑

1 褐色土層
2 褐色土層 ローム粒・ロームブロック径10～15㎜が混じる。しまりややあり。
3 黄褐色土層 ロームブロック径5～50㎜を主とし、ローム粒・褐色土が混じる。
4 褐色土層 ロームブロック径5～50㎜が混じる。しまりゆるし。
5 黄褐色土層 ロームブロック径5～20㎜を主とし、ローム粒が混じる。しまりゆるい。
6 褐色土層 ローム粒を若干混入する。しまりゆるし。
7 黄褐色土層 ロームブロック径5～50㎜にロームの粒が混じるを主とし、褐色土も混じる。しまりゆるし。
8 褐色土層 ローム粒・ロームブロック径5～20㎜がわずかに混じる。しまりゆるし。
9 明黄褐色土 ロームに褐色土がわずかに混じる。ロームブロック径30㎜程度もみられる。しまりゆるし。
10 黄褐色土層 ロームブロック径50～70㎜を主とし、褐色土を混入する。しまりゆるし。
11 褐色土層 わずかにロームブロックを混じる。
12 黄褐色土層 ロームブロック径5～100㎜程度が多く混じり、わずかに褐色土がみられる。しまりゆるし。



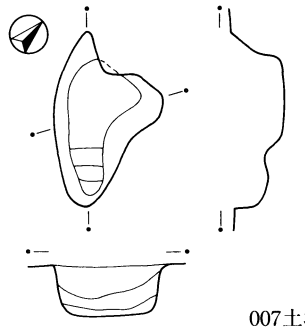
001土坑

1 褐色土層 ローム粒が僅かに混じる。しまりはややゆるい。
2 黄褐色土層 ロームを主とするが、褐色土を少し含む。しまりあり。
3 黄褐色土層 ロームブロック15～50㎜が多く混じる。しまりあり。



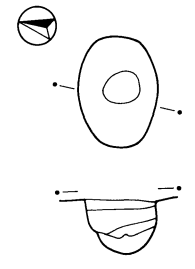
006土坑

1 褐色土層 ローム粒・ロームブロック径5～10㎜が混じる。しまりゆるし。
2 暗褐色土層 ロームブロック径5～10㎜がわずかに混じる。しまりゆるし。
3 暗褐色土層 褐色土とロームブロックが径10～50㎜が混じる。



007土坑

1 褐色土層 ロームブロック径10～70㎜が混じる。
2 褐色土層 暗褐色土とローム粒がわずかに混じる。しまりゆるし。
3 褐色土層 粘りやや有り。しまりややあり。



003土坑

1 褐色土層 ロームブロック径20～50㎜が混じる。しまりゆるし。
2 黄褐色土層 ロームブロック径5～50㎜を主とし、褐色土がわずかに混じる。しまりゆるし。
3 暗褐色土層 ロームがわずかに混じる。しまりゆるし。
4 黄褐色土層 ロームブロック径5～50㎜を主とする。粘り有り。しまりややゆるし。

第281図 陥穴・土坑

第Ⅰ群　前期の土器（第282図、写真図版48）

確認できた前期の土器はわずかに2点にすぎなかった。1・2はともに胎土繊維を混入している。1の口唇部は角頭状を呈する。外面にＬＲの単節縄文を施している。内面の調整は丁寧である。2は竹管による刺突文から放射状に沈線が施されている。沈線は半截竹管によるものである。2点は黒浜式に比定される。

第Ⅱ群　中期の土器（第282図、写真図版48）

わずか7点である。4点を図示した。3・4は、中期前半の阿玉台式である。胎土には雲母を混入しているが量的には少ない。3は隆帯の側縁に押引文を施している。器面の調整は粗く、輪積痕を残している。阿玉台Ⅰa式に比定される。4は胎土が粗い。窓枠状の隆帯にはキャタピラ文を施している。阿玉台Ⅰb式であろう。5・6は中期後半の加曾利Ｅ式である。ともに深鉢の胴部破片で、ＲＬの単節縄文を施している。5は沈線の間の縄文を摩消しているもので加曾利ＥⅡ～Ⅲ式に比定される。

第Ⅲ群　後期の土器（第282～284図、写真図版48～50）

今回の調査で最も出土量が多かったのが後期の土器であるが、時期は加曾利Ｂ式と安行1・2式が主である。このうち加曾利Ｂ式の粗製土器が最も点数が多く出土している。

1　堀之内式土器（7.8）

2点の出土で、同一個体とみられる。斜縄文を地紋に7では口縁上端に刺突文、8では半截竹管沈線で曲線文が施されている。

2　加曾利Ｂ式土器（9～55）

9・10は横位の沈線区画内に縄文を充填している。加曾利Ｂ1式でも古い様相の土器である。

11～17は浅鉢であろう。口縁が内側に肥厚し、内面のミガキが丁寧に行われている。

18～27は朝顔形に口縁が外反する深鉢である。ほとんどが無文の口縁である。胴部は上段がふくらんで下段でくびれ再び底部で外反する器形が主体であろう。沈線の区画内に縄文を充填するものもあるが、横位乃至は斜位の沈線が施され、加曾利Ｂ2式が主体である。18・22は縄文施文、24は細めの沈線が雑に施されるものである。

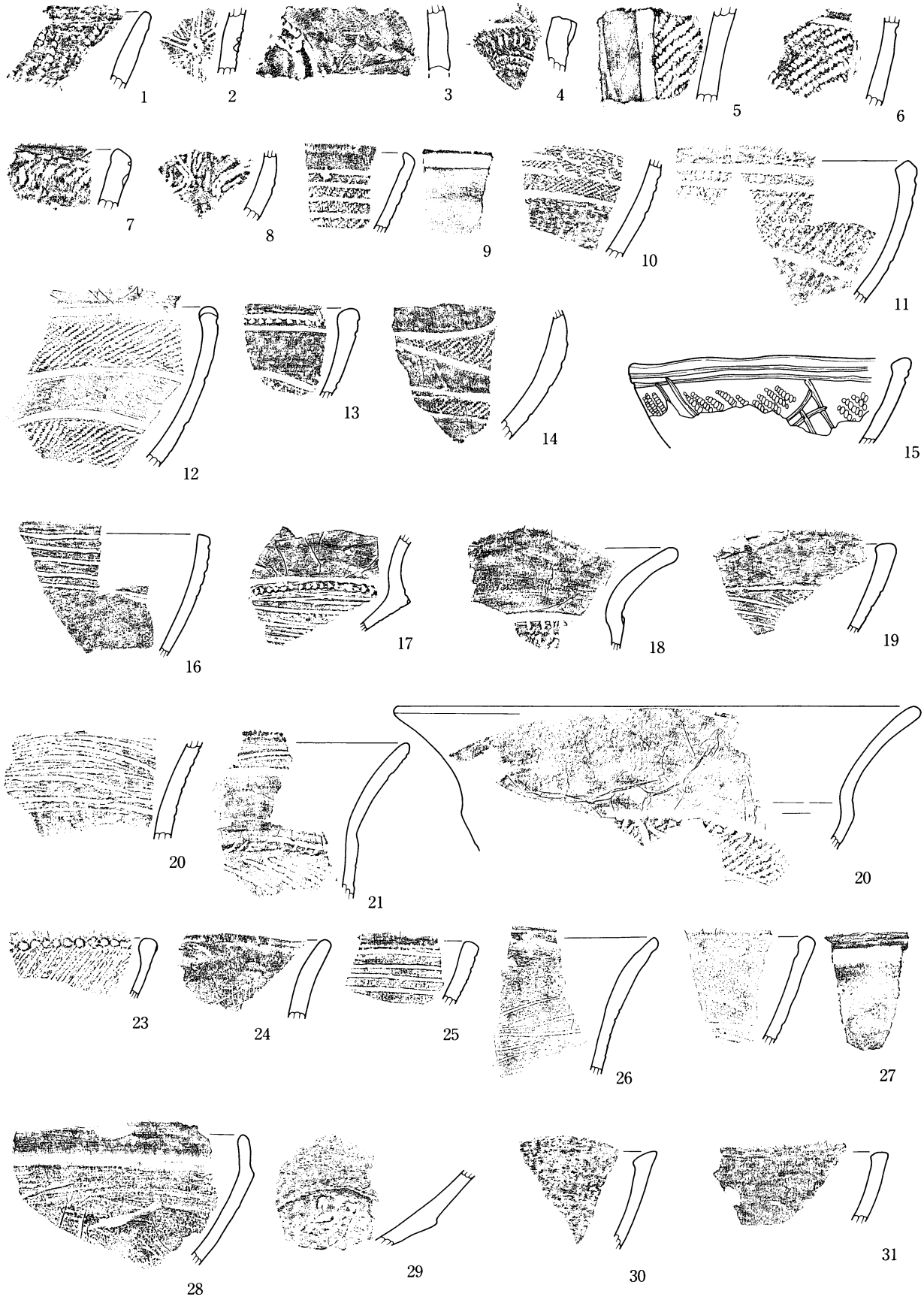
28～31は無文のものである。28の外面は口縁を除き粗い調整痕である。29は丸底の浅鉢であろう。

32～55は粗製土器である。口縁に紐線文を伴い、胴部には縄文を施している。半截竹管乃至は棒状工具による斜位や蛇行する沈線を施しているものが多い。1点のみだが43は格子状に沈線を施している。口縁内面には横位の沈線を伴うものとそうでないものがあり、内面に明瞭な沈線を伴うものは加曾利Ｂ1式に伴うものであろう。

3　曽谷式から安行1式にかけての土器（56～64）

56はくびれを伴い口縁が開く深鉢であろう。口縁に瘤を伴い、地文に縄文を施して横位の沈線を雑に施文している。曽谷式に比定される。

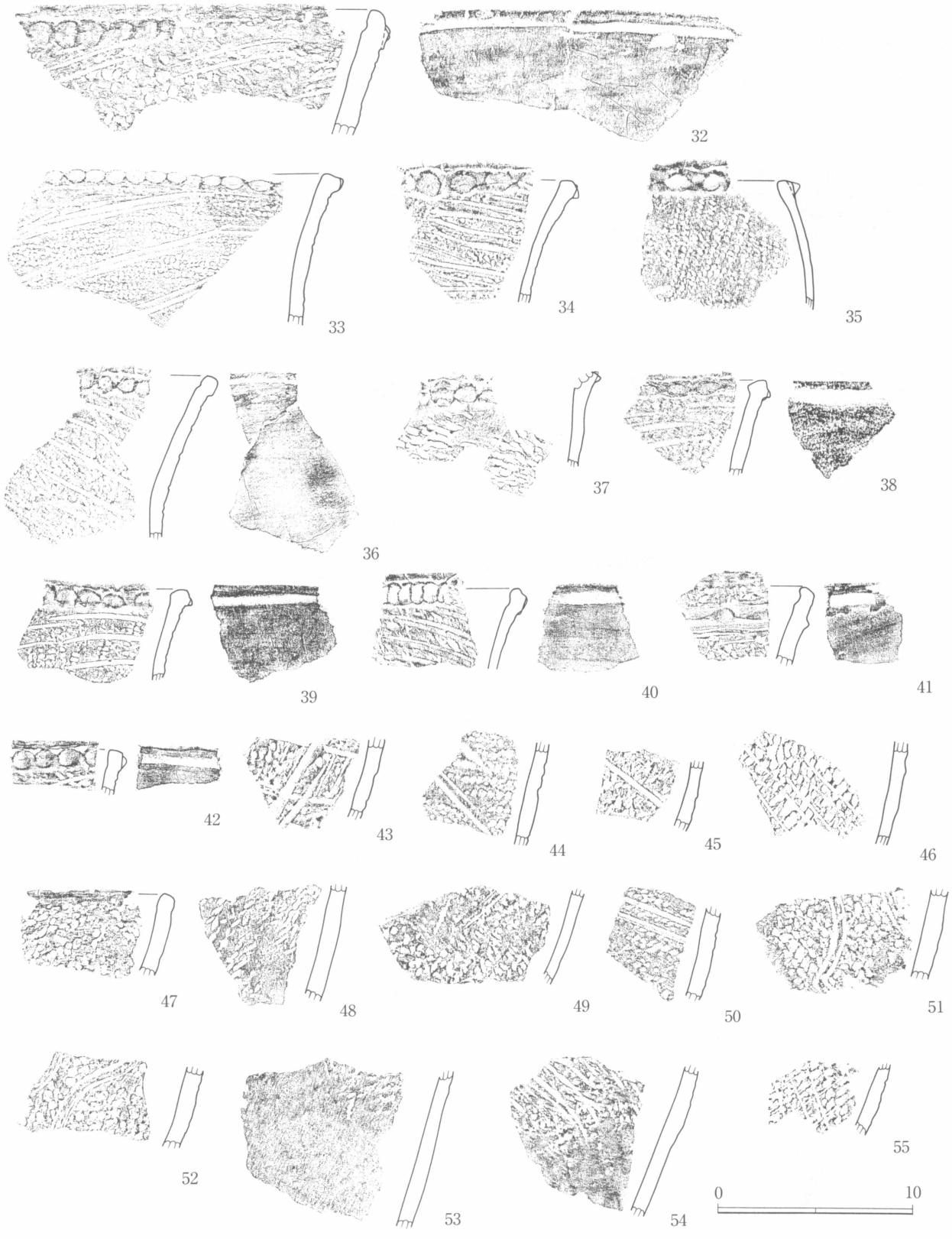
57は枠型の区画を太い沈線で施す。地紋に縄文を持つ。58・59は同一個体である。胴部が最大径となり、口縁が内傾する瓢形の深鉢であろう。帯縄文を数段施し、縦の連結した瘤で窓枠状の区画を作り出してい


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
20
21
23
24
25
26
27
28
29
30
31
0
10

第282図　縄文土器（1）

る。60は帯縄文の下端と隆帯の下端に細かいキザミを伴う。これらは安行１式に比定される。

61～64は粗製土器である。61～63は口唇部にキザミを伴い、内面側が肥厚している。斜位の沈線は雑で

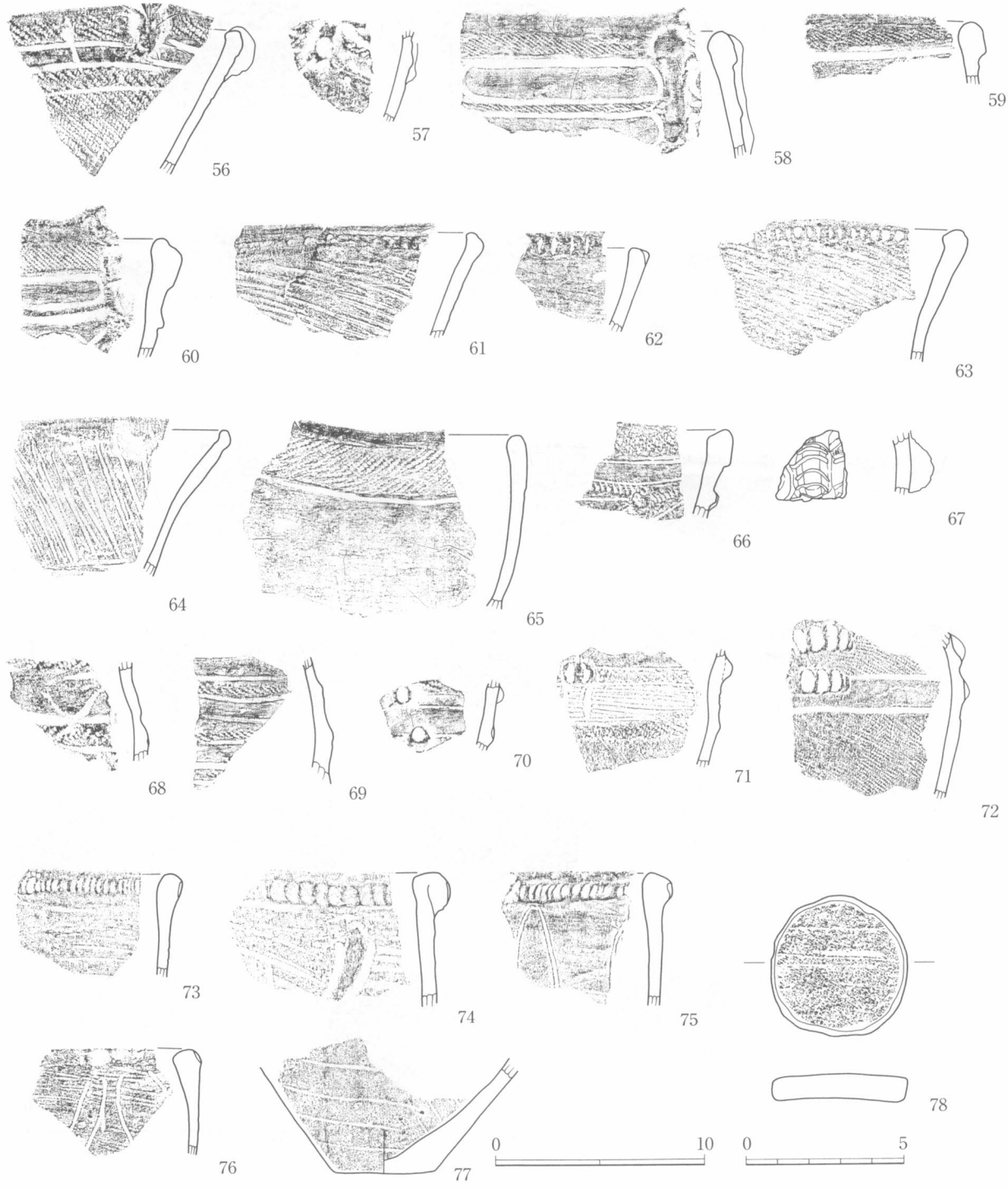


第283図　縄文土器（2）

ある。64の外面はやや間隔を開けた沈線を施文している。加曾利Ｂ２式から安行１式にかけてのものであろう。

4　安行２式土器（65～67）

65は瓢形を呈する深鉢である。内面が丁寧に調整されている。下端に刺突文を伴う貼付文が認められる。66は波状縁の深鉢である。口縁に帯縄文、それ以下は隆帯の区画を施し隆帯の交差部に貼付浮文を施し刺



第284図　縄文土器（3）

突を加えている。67は瘤状の貼付文浮文のものである。安行２式に比定される。

第Ⅲ群　晩期から弥生時代の土器（第284～287図、写真図版50～53）

１　安行３ａ式土器（68～77）

68は帯縄文が隆帯をなさない。さらに沈線文が加えられている。69は隆帯状の帯縄文である。70には貼

第285図　縄文土器（4）

付文がみられる。71は深鉢の胴部である。ＲＬの縄文を地文とし、沈線を雑に施している。72は横位の貼付浮文に縦の深いキザミを施している。横位の沈線で区画した無文帯を伴う。これらは安行２式から安行３a式にかけてのもので、時間幅があるが新しいところをとってここでふれておいた。

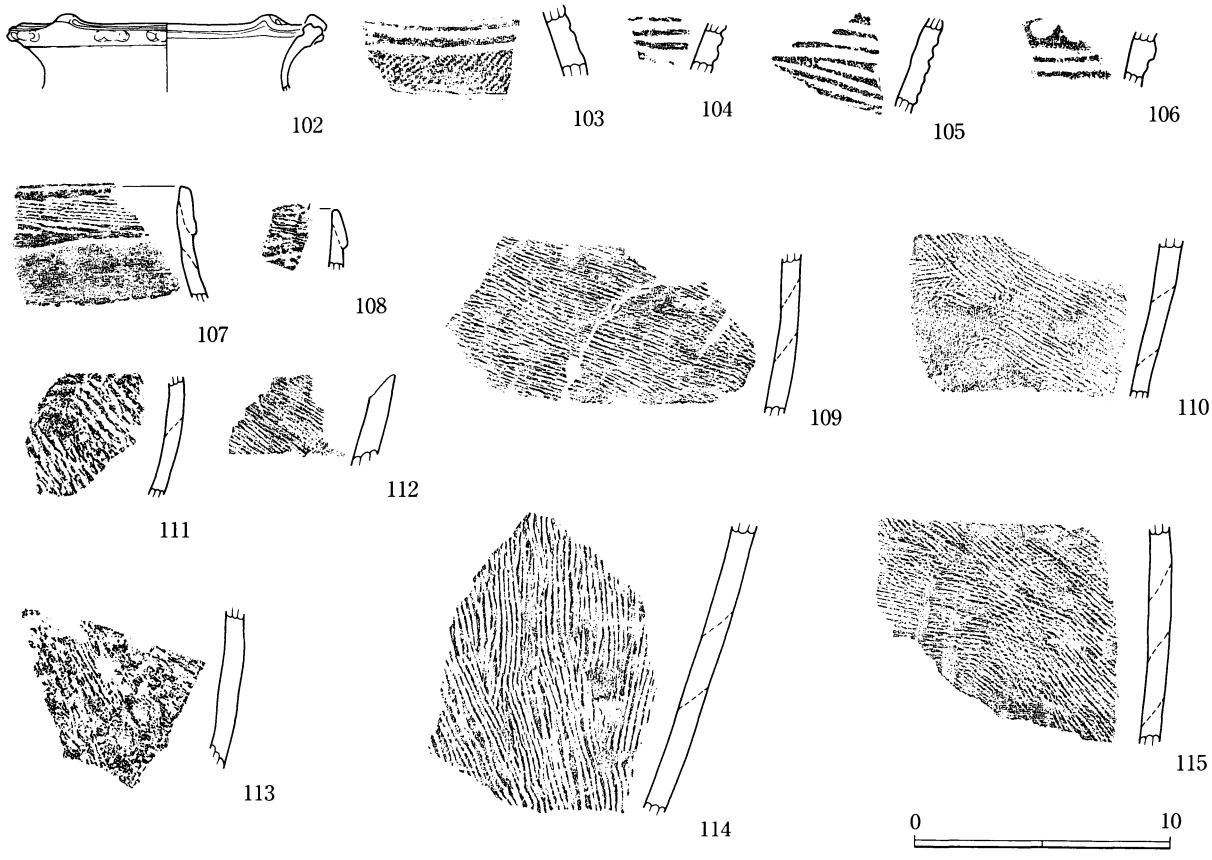
73～74は紐線文系の粗製土器で、削り調整の上に弱い条線を加える。74の頚部には、下垂する２条の弧状沈線が認められる。また、75は鋭く深い（）状沈線を描いている。76は紐線をもたないが、（）状及び斜行する沈線の特徴から本類に含めて考える。

なお、77は安行式粗製土器の底部であるが、時期等の判別が不能であるため便宜上ここで報告しておく。

２　安行３ｂ式及び姥山Ⅱ式土器（79～87）

79は深鉢形土器で、頚胴部界に１条の沈線がめぐらされ、胴部には連弧状の沈線２条が、頚部には斜行する沈線が描かれ、頚部文様は菱形区画を形成するとおもわれる。また左方の斜行沈線の先に円弧を呈する沈線もうかがえる。縄文は施文されない。安行３ｂ式に比定される。80・81は波状口縁をもつ深鉢形土器の口縁部である。波頂部に、粘土紐を帯状に巻きつけた突起を付し、内側で圧してとめている。波形にあわせて２条の沈線で区画された無文帯を挟んでＬＲ縄文が施される。また、波頂部下には中心に刺突を伴う円形の沈線が描かれる。姥山Ⅱ式に比定される。

粗製の深鉢形土器については、一括性が指摘できる出土状況ではないため、機械的に紐線をもたないものをまとめて報告する。口縁部破片に82～84があり、いずれも緩やかな弧状の条線を加える。また、85・



第286図　縄文土器（5）

86は胴最大径付近の破片で、頚部文様として枠状文が描かれ、以下右下がりのほぼ等間隔の条線が加わる。

87は深鉢形土器で、口縁部に幅広い縄文帯をもち、その下に2条の沈線をめぐらせて沈線間に列点を加えている。また口唇部には芋虫状の突起を付加し、口唇部及び裏面に沈線を加える。文様帯構成や器形が安行諸型式に一般的なものではないが、北陸の御経塚3式の影響を受けたものとして本期のなかで理解したい。

3　安行3c式土器（88）

88は台付鉢形土器の脚部である。脚端に平行する2条の沈線間に2列の列点を加え、さらにその上に同様の沈線区画を斜行させ、やはり2列の列点を加える。

4　前浦式土器（89～101）

すべて鉢形土器または深鉢形土器である。浅鉢形土器や粗製の深鉢形土器は認められなかった。

89は太い沈線により文様が区画される口縁片である。90は外面に縄文帯をもつ口縁の小片であるが、口唇に小突起を貼り付け、内そぎ状となる内面側の突起部分に入組三叉文からの変化である弧状の沈線を描いて口唇をめぐる沈線につなぐ。また内面口唇直下にも沈線をめぐらせる。91は口縁の縄文帯下に「の字」状文をもち、「の字」内部以外は縄文が丁寧に磨り消される。92も「の字」状文が認められる口縁片で、下位の縄文帯に接する部分である。93も「の字」状文の一部であろうか。94～97は縄文帯による長楕円区画の一部が認められるもので、98も同種の土器の可能性が高い。99・100は平行な縄文帯と磨消部分の破片である。101は沈線が独立した縄文帯を区画しない。

これらの土器群は、「の字」状文が無文部のなかに形成されることや長楕円区画の存在などから、前浦Ⅱ式に相当し、大洞C2式、安行3d式に並行するものであろう。

5　千網式及びその前後の土器（102～115）

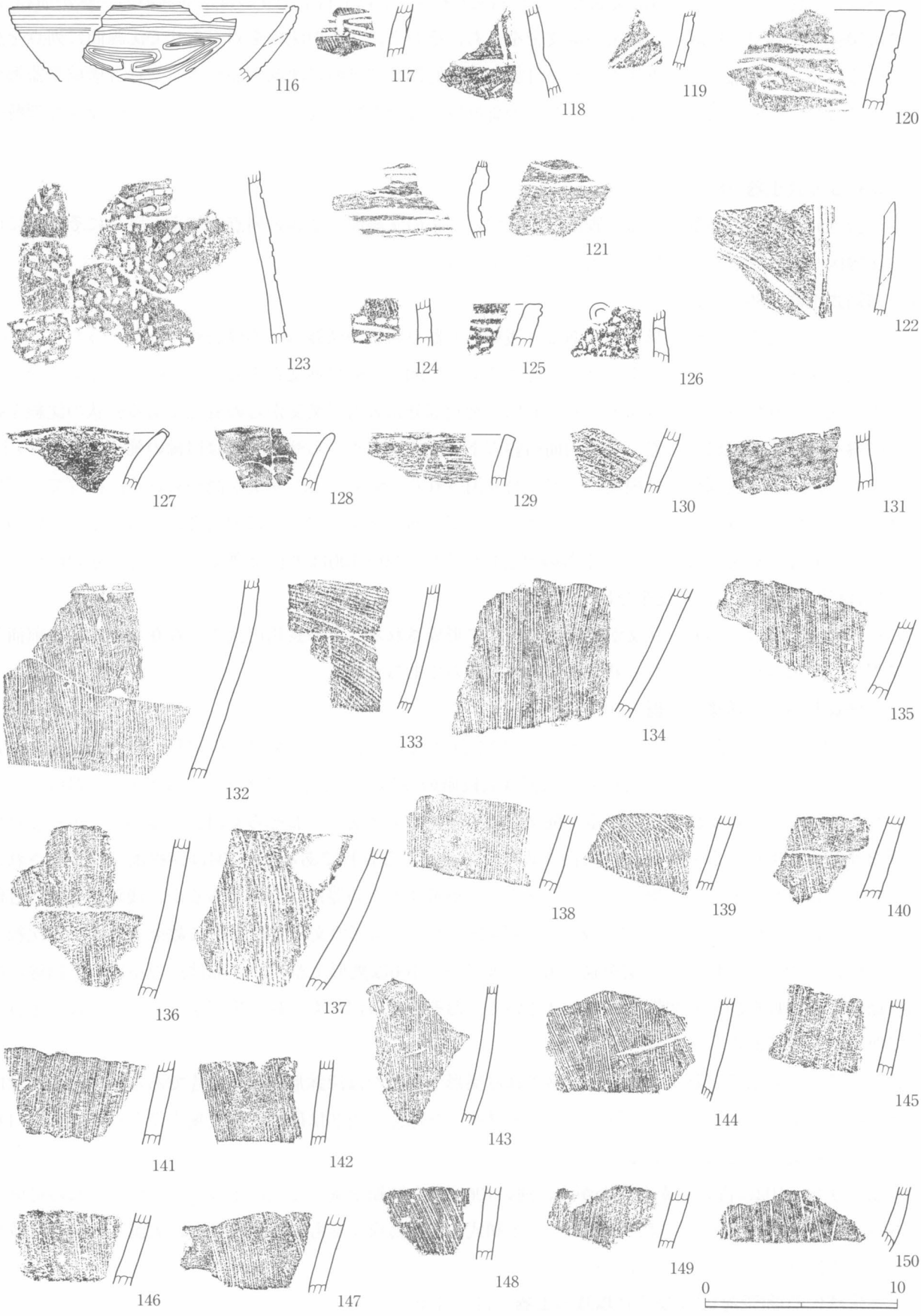
102は壺形土器口縁部片で波状口縁をなす。口端部と内面口端直下に沈線がめぐり、内面の沈線は波頂部の下で三叉文状となる。その特徴から大洞A式段階の壺形土器と考えられる。103は壺形土器肩部とおもわれる破片で、赤彩が施されている。縄文を施す区画系工字文で、おそらく斜行する浮線によって単位文様を連結するものとおもわれる。大洞A式前半に並行する資料であろう。104は浮線網状文が施されたもので、三分岐ハンガー状浮線文の一部であろう。小破片のため器形が不詳であるが、浅鉢形土器の可能性が高い。105は沈線文をもつ甕形土器または鉢形土器で、頚部の文様帯の上下に数条ずつの平行沈線をめぐらせ、その間に横位の綾杉文を描くものであろう。106は甕形土器の口縁部付近の小片で、口縁に指頭押捺による刻目を加える突帯をめぐらせている。おそらく肩部にも同様の突帯をもち、その間を平行沈線で埋めるものである。

107～115は口縁部及び胴部に撚糸文が施される甕形土器または深鉢形土器の破片である。107・108は口縁部破片で、折返し状複合口縁の外面に横位の撚糸文を加え、頚部は研磨された無文帯となる。109～115は撚糸文の施文された胴部である。

上記のうち、102に古い要素がうかがえ、逆に106がやや時期が降って荒海1式に位置づけられる可能性をもつ。それら以外の土器群は、全体として千網式土器を構成するものと理解され、大洞A式後半に並行する年代的位置を与えることができる。

6　弥生時代前期(荒海式)及びそれ以降の土器（116～150）

116は沈線文様を施す浅鉢形土器である。口端及びその直下に平行沈線をめぐらせ、その下に完結型変


116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
0
10

第287図　縄文土器（6）

形工字文がアレンジされた文様が描かれる。その単位文様に沿って下位にある沈線は、沈線間が幅広く抉られているが、どのような構成で単位文様を繋ぐのか不詳である。

117は細密条痕を地文として連繋型変形工字文を描く甕形土器である。この変形工字文は、2条を一単位とする沈線で菱形連繋文を描き、沈線の交点に縦位の短い沈線を加えるものである。118は壺形土器とおもわれる破片で、沈線で文様を描くが、小片のため構成は十分把握されない。119は斜沈線がみられる。120は小波状口縁をもつ甕形土器で、口縁直下の2条の平行沈線の下に斜行沈線で三角及び菱形区画を形成し、さらに内部に渦文を加える。いわゆる雑書文の系譜にある土器で、横芝町山武姥山貝塚に類似品がある（渡辺1996）。121はすぼんだ頚部をなす。外面に太い横位沈線文が口縁端と肩部に施文され、内面の上端にも横位沈線がみられる。122は縄文地文で、浅い沈線を描く土器である。文様構成を復元するのは難しいが、2条単位の沈線による三角連繋文の可能性がある。

123も菱形区画をもつことでは共通するが、この場合2列～3列の列点によっており、さらに列点による渦文が加えられている可能性がある。124も列点を用いるが、この個体では沈線との組合せで側点状になる。125は刺突充填文をもつ土器で、おそらく沈線によって三角形の区画が描かれ、その内部に充填されるものと思われる。126も刺突文で覆われる小片である。

127は小波状口縁をもつ甕形土器で、頚部が無文で研磨され、胴部には細密条痕が施されるものであろう。128・129は条痕文施文の口縁部、130～150が条痕が施される胴部破片である。茎束または木端を用いた細密条痕がほとんどを占めるが、130は不明瞭ながら貝殻条痕を用いている可能性がある。なお、茎束状にみえる条痕の原体は撚糸条痕の可能性をもつものも含まれようが、その判断はできない。

上記の土器群は、117に描かれる2条の沈線による菱形連繋文に代表されるように、荒海3式段階（鈴木正博1981）のものが主体を占めているとおもわれる。雑書文も1～2条の沈線で構成されるもので、山武姥山貝塚の一部（鈴木公雄1963・1981）や四街道市御山遺跡第Ⅲ地点（渡辺ほか1994）に代表される荒海2式段階よりも後出的である。125の刺突充填文の個体については、鈴木がいうように刺突充填文が荒海4式の文様であれば、当遺跡出土土器の一部が荒海4式に降ることになる。しかし、刺突充填文は東北地方では砂沢式の段階に存在し、関東地方でも荒海3式段階に存在する可能性は十分である。実際、御山遺跡では、荒海3式を主体とする第Ⅳ地点出土土器のなかに刺突充填文をもつ個体が複数存在している。いずれにしても本群は、量的には少ないが、弥生時代前期後半に位置づけられ、同じ松尾町の名城遺跡で主体をなす荒海4式土器（石塚1998）に先行する土器群として、当地域のなかできわめて重要な資料である。また、122は沈線の特徴などから、荒海式ではなく須和田式土器の可能性が高く、これも注目に値する。

土製品（78）

土器片を円形に成形した土製品で周囲が擦られている。まばらに浅い条線が施文されており、安行1式頃のものとみられる。径は4.5cm、厚さ0.8cm、重量21.0gである。

参考文献

石塚　浩　1998　『主要地方道成田松尾線Ⅷ－松尾町名城遺跡－』　千葉県文化財センター

鈴木公雄　1963　「千葉県山武郡横芝町姥山山武姥山貝塚の晩期縄文土器について」『史学』36-1　三田史学会

鈴木公雄　1981　「関東地方」『縄文土器大成4』　講談社

鈴木正博　1981　「「荒海」断想」『利根川』1　利根川同人
鈴木正博　1985　「弥生式への長い途」『古代』80　早稲田大学考古学会
鈴木正博　1991　「栃木「先史土器」研究の課題（2）」『古代』91　早稲田大学考古学会
鈴木正博　1996　「続「荒海」断想」『利根川』17　利根川同人
鈴木正博　1998　「続々「荒海」断想」『利根川』19　利根川同人
鷹野光行　1978　「前浦式土器の研究」『考古学雑誌』64-3　日本考古学会
渡辺修一　1992　「横芝町山武姥山貝塚出土の縄文晩期浮線文土器群」『研究連絡誌』35　千葉県文化財センター
渡辺修一ほか　1994　『四街道市御山遺跡（1）』　千葉県文化財センター
渡辺修一　1996　「横芝町山武姥山貝塚出土の縄文晩期浮線文土器群（補遺）」『研究連絡誌』47　千葉県文化財センター
渡辺修一・石橋宏克　1998　「成田市荒海川表遺跡とその周辺」『千葉県史研究』6　千葉県

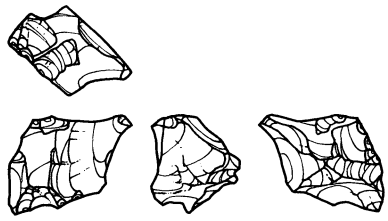
2．縄文時代以降石器（第288図、第77表、図版54）

本遺跡から出土した石器は21点である。器種組成は石核1点、楔形石器1点、敲石1点、原石1点、剥片3点、砕片1点、小礫10点、礫片1点、砥石2点である。

1は良質な玉髄の石核で最終的には両極技法により小形の剥離している。2はいわゆる黒色緻密質な安山岩の楔形石器で、旧石器時代の遺物の可能性がある。3・4はチャートの剥片である。5は砂岩の敲石で正面中央部にごく浅い敲打痕がみられる。6はチャートの原石である。7は赤色の粘板岩の砥石で大きく表裏両面に砥いだ痕跡がみられ、縦断面は平行四辺形を呈している。

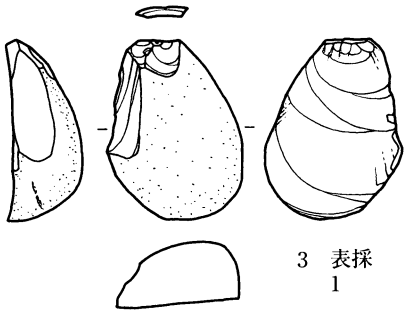
第77表　縄文時代石器属性表

挿図番号	石　材	器　種	最大長（mm）	最大幅（mm）	最大厚（mm）	重量（g）	遺物番号
1	玉髄	石核	18.5	23.4	16.3	6.4	1M98-2
2	安山岩	楔形石器	18.7	20.6	7.5	3.4	7H59-1
3	チャート	剥片	35.4	26.9	14.4	14.0	表採-1
4	チャート	剥片	21.5	20.9	3.8	1.6	1M79-11
5	砂岩	敲石	109.0	73.9	28.7	343.0	1M79-5
6	チャート	原石	57.3	49.3	28.1	121.9	一括

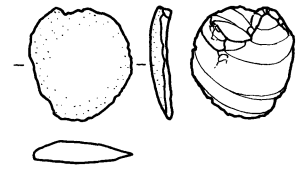


1　1M98
2

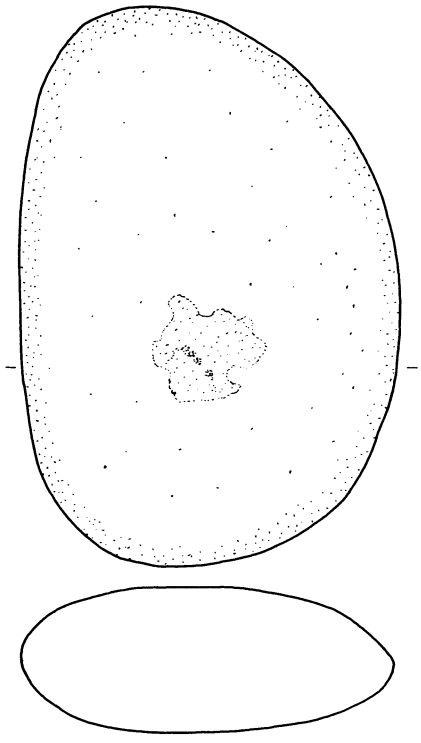
2　7H59
1



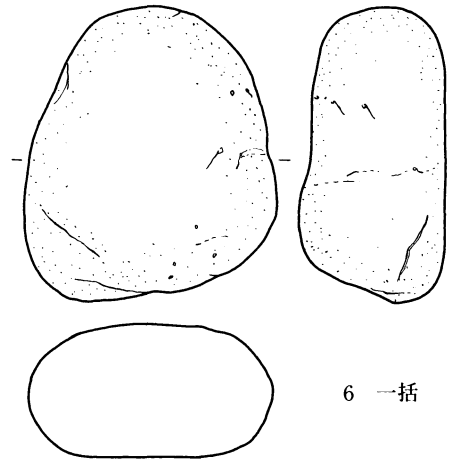
3　表採
1



4　1M79
11



5　1M79
5



6　一括

0　(2/3)　5cm

第288図　縄文時代石器

第3章　千神塚群

第1節　古墳時代以降

（1）　遺構（第288～293図、図版55・56）

今回の調査では、千神塚群のうち15基の塚が調査の対象となった。千神塚群は、標高41～42mの台地の奥部の平坦地に位置し、全部で30基の塚が確認されている。しかし今回の調査に際し、塚9・10・11の3基が消滅しており、また塚30は不明であり、それらしきものを確認できたが調査に至らなかった。塚の配置は、松尾町谷津の集落から横芝町遠山の集落を結ぶ道路に面し、南側に1基、北側に29基連続して並んでいる。その北側の塚群は、東から14基は一直線上にきれいに並ぶが、15基目からは並び方がやや不規則になる。この道路の拡張や杉の植林などによって、削平などの影響を受けている。塚の規模は最大で直径7.8m、最小で直径3m、平均して5.3mの非常に小型の円形塚である。両端の塚間の距離は163mを測る。調査着手前の状況では山林中に低い地膨れが存在するという状況であった。

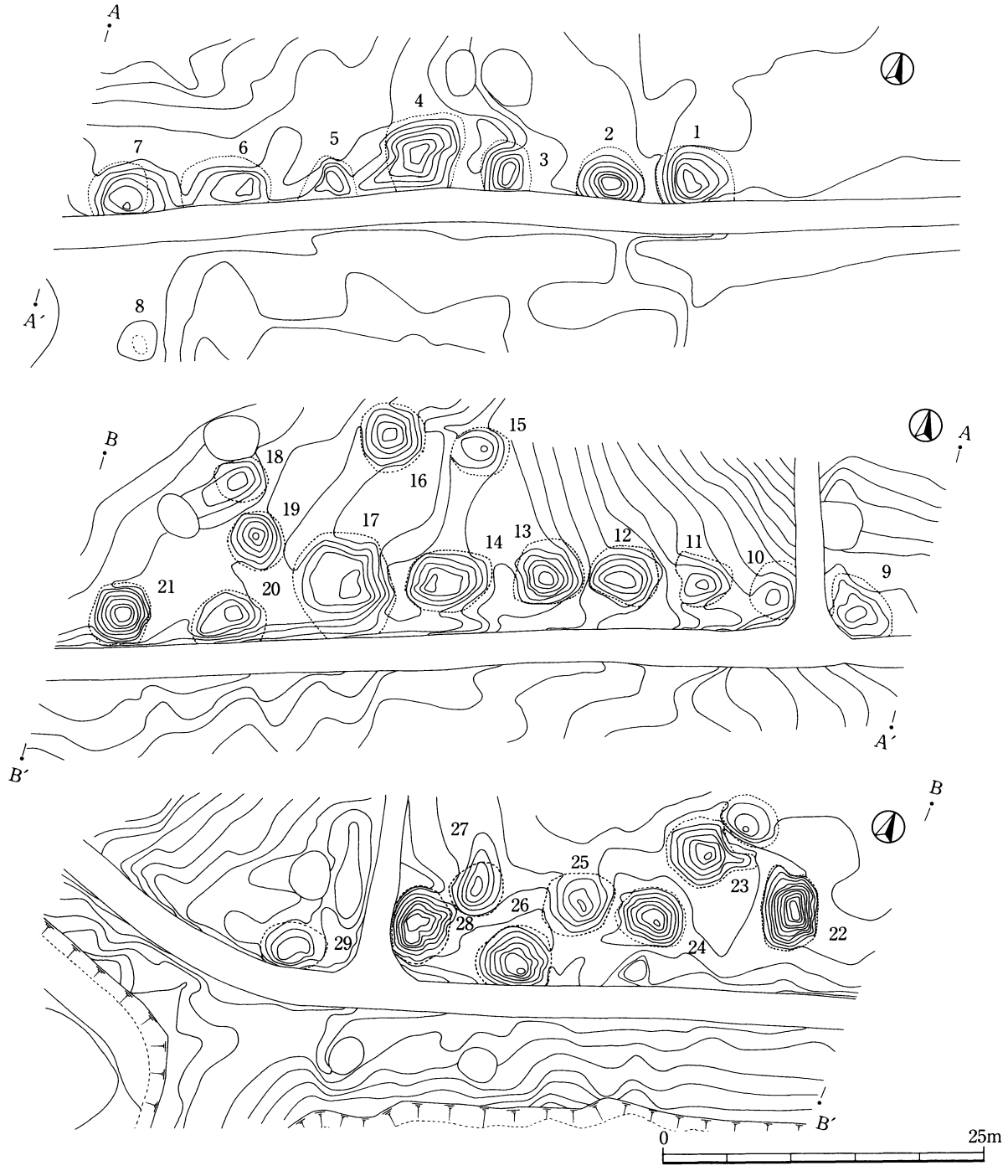
千神塚群の名称と性格については、詳細には分かっていない。「千神（せんかみ）」とは、「川上（せんかみ）」をさしており、谷奥に位置することをさしている。塚の築造については、江戸時代初期の慶安の「検地掟」により、この周辺では村境の野論が起こり、山室・遠山・谷津などで境界論を生じた。そのおり慶安2年（1949）の裁許を受け村境として塚が設けられたとしており、その塚と考えられている。それらの塚は、その後の境界争いによりいくつかが切り崩されたりしている。天保8年（1837）に、再び同様の争論が展開したが、各村の取扱人が入り決着した。その時にも、「境塚」として「…大小之塚往古御定置かれ候、境塚之儀は…」と慶安期に築造された塚が残されており、その塚の中央を境としている。千神塚が、これらの争論に登場している「境塚」と確認はできないが、塚の性格をとらえるに「境塚」と考えてよいかと思われる。

調査対象の塚を外観、断面観察から表にすると以下のようになる。

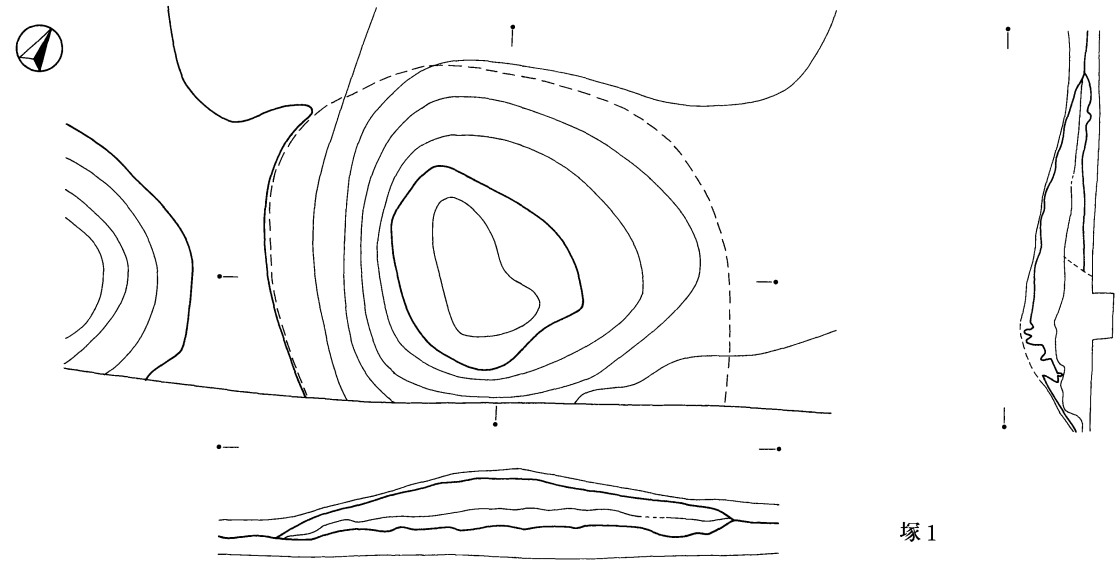
第78表　塚一覧表

塚番号	グリッド	盛　　土	断面観察部分	備　　考
塚1	7Ⅰ－96	直　径　5.7m～6.5m 高　さ　約0.7m 形　状　円形	遺存範囲　6m 高　　さ　0.6m	・南東面が道路によって削平されている。
塚2	7Ｊ－05	直　径　5.1m～5.4m 高　さ　約0.5m 形　状　円形	遺存範囲　5.2m 高　　さ　0.7m	・南東面が道路によって削平されている。
塚3	7Ｊ－13	直　径　3.9m～4.6m 高　さ　約0.6m 形　状　0.7m	遺存範囲　3.9m 高　　さ　0.7m	・南東面が道路によって削平されている。
塚4	7Ｊ－22	直　径　5.7m～7.5m 高　さ　約0.8m 形　状　円形	遺存範囲　5.8m 高　　さ　0.7m	・南東面が道路によって削平されている。 ・盛土が南方向にやや流されている。

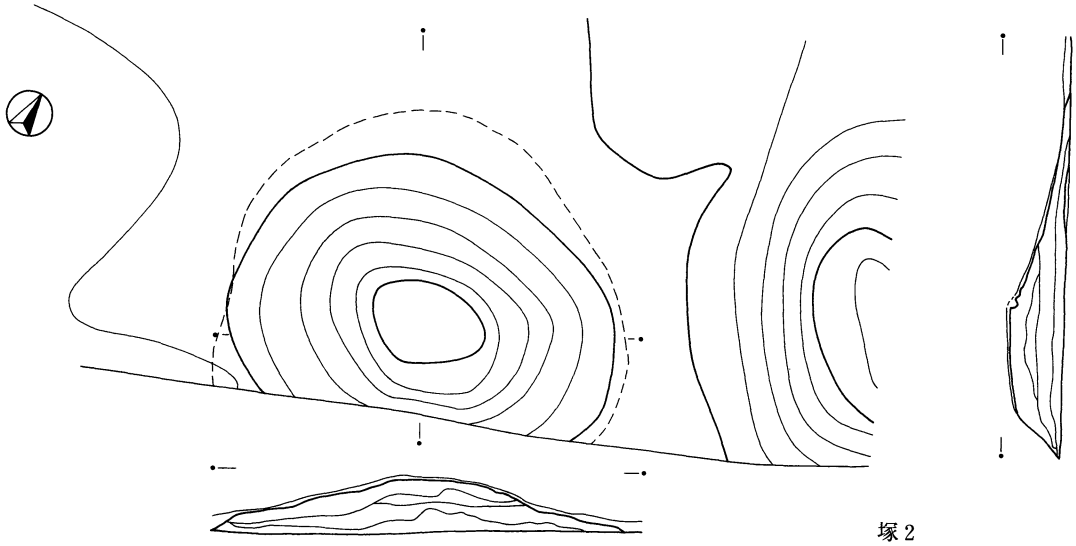
塚5	7 J －30	直　径　3.4m～4.1m 高　さ　約0.4m 形　状　円形	遺存範囲　3.4m 高　　さ　0.4m	・南東面が道路によって削平されている。 ・盛土が南方向にやや流されている。
塚6	6 J －49	直　径　5.9m～7.1m 高　さ　約0.5m 形　状　円形	遺存範囲　6.7m 高　　さ　0.5m	・南東面が道路によって削平されている。 ・盛土が南西方向にやや流されている。
塚7	6 J －57	直　径　4.6m～5.2m 高　さ　約0.4m 形　状　円形	遺存範囲　4.6m 高　　さ　0.3m	・南東面が道路によって削平されている。 ・盛土が東方向にやや流れている。
塚12	6 J －81	直　径　4.6m～5.5m 高　さ　約0.3m 形　状　円形	遺存範囲　4.2m 高　　さ　0.2m	・盛土全体がかなり平坦になっている。
塚13	5 J －99	直　径　5 m～5.8m 高　さ　約0.5m 形　状　円形	遺存範囲　5.2m 高　　さ　0.4m	
塚14	5 K －08	直　径　4.7～5.4m 高　さ　約0.4m 形　状　円形	遺存範囲　5.1m 高　　さ　0.3m	・盛土が北東方向にやや流れている。
塚17	5 K －16	直　径　6.6～7.4m 高　さ　約0.6m 形　状　円形	遺存範囲　6.2m 高　　さ　0.4m	・盛土上部の一部が削平されている。
塚20	5 K －35	直　径　4.9～5.7m 高　さ　約0.4m 形　状　円形	遺存範囲　4.6m 高　　さ　0.4m	・盛土が南方向へ大きく流されている。
塚21	5 K －43	直　径　4.4～5.1m 高　さ　約0.8m 形　状　円形	遺存範囲　4.7m 高　　さ　0.7m	・頂上部に切り株があるものの、きれいな低円錐形を残している。
塚26	4 K －96	直　径　5.6～6.1m 高　さ　約0.7m 形　状　円形	遺存範囲　6 m 高　　さ　0.6m	・南東面が道路によって削平されている。
塚28	4 K －94	直　径　4.5～5.9m 高　さ　約0.6m 形　状　円形	遺存範囲　3.8m 高　　さ　0.5m	・南西面が道路によって削平されている。 ・盛土が北東方向へやや流れている。


A
A´
B
B´
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
0
25m
0
100m

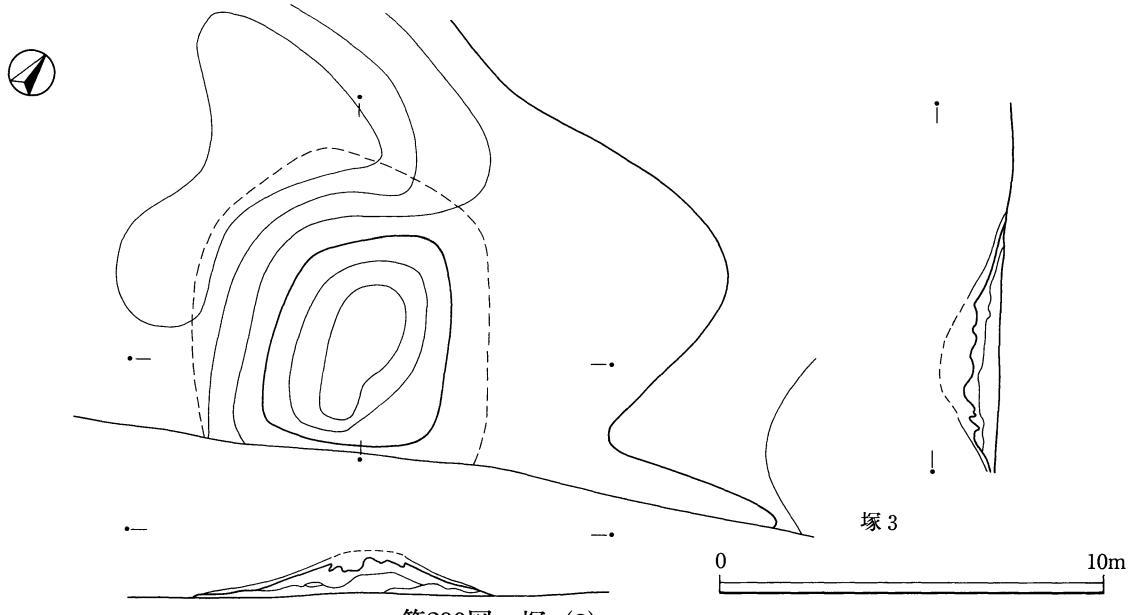
第289図　塚（1）



塚1

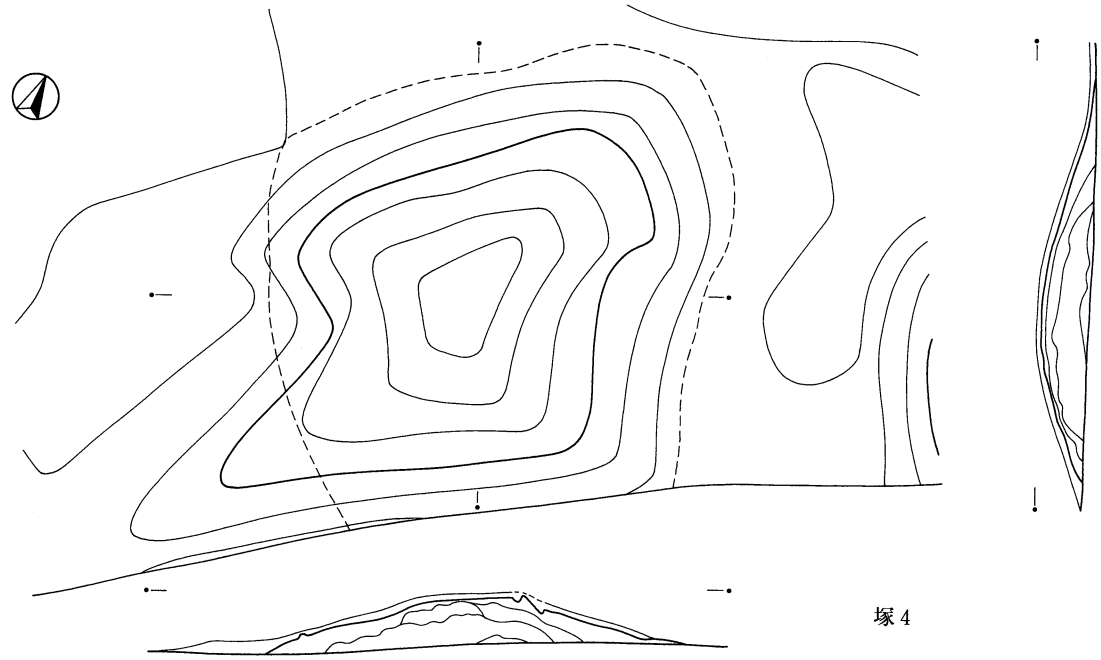


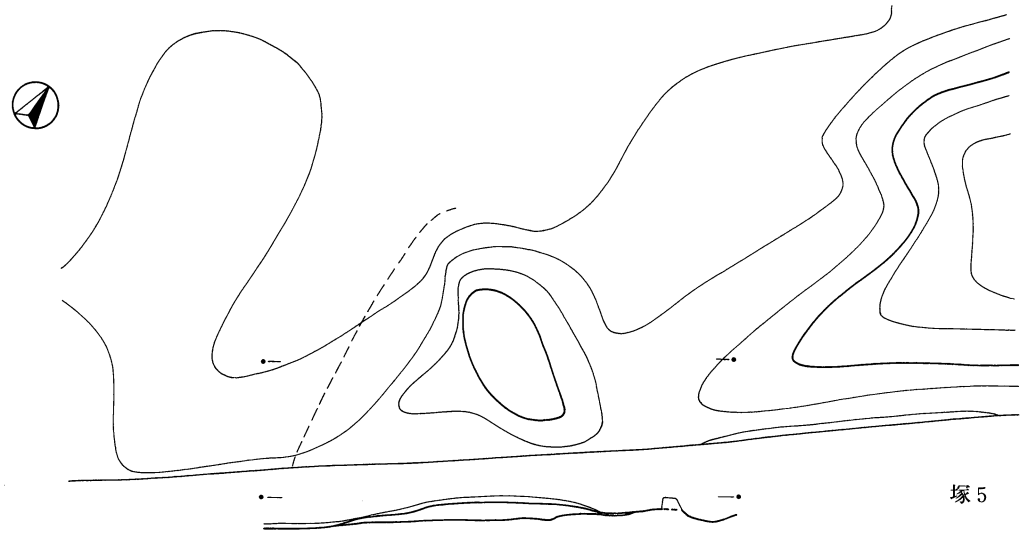
塚2

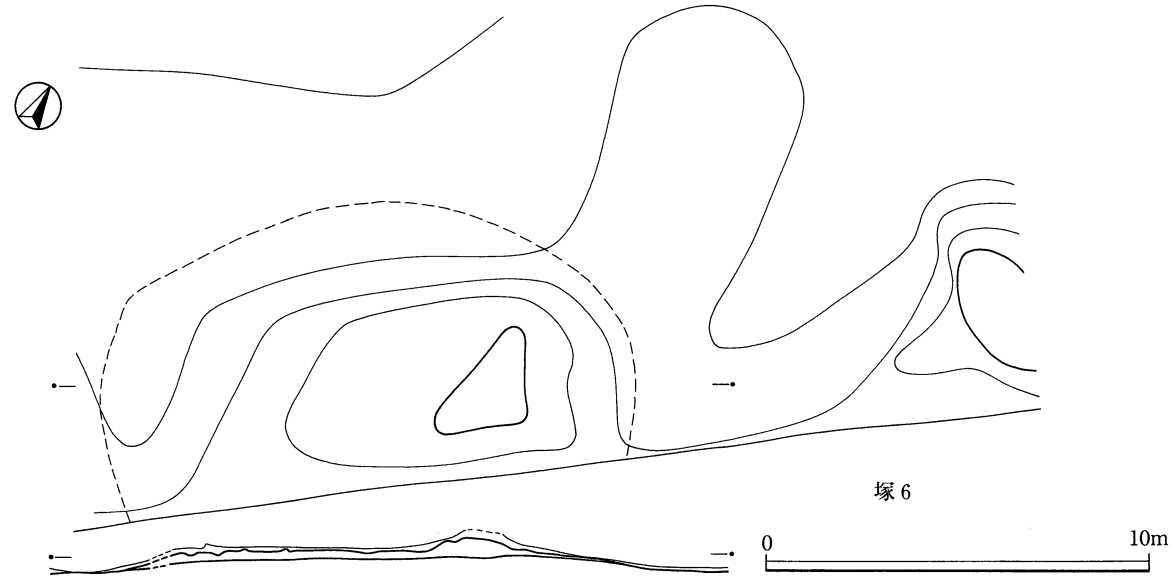


塚3

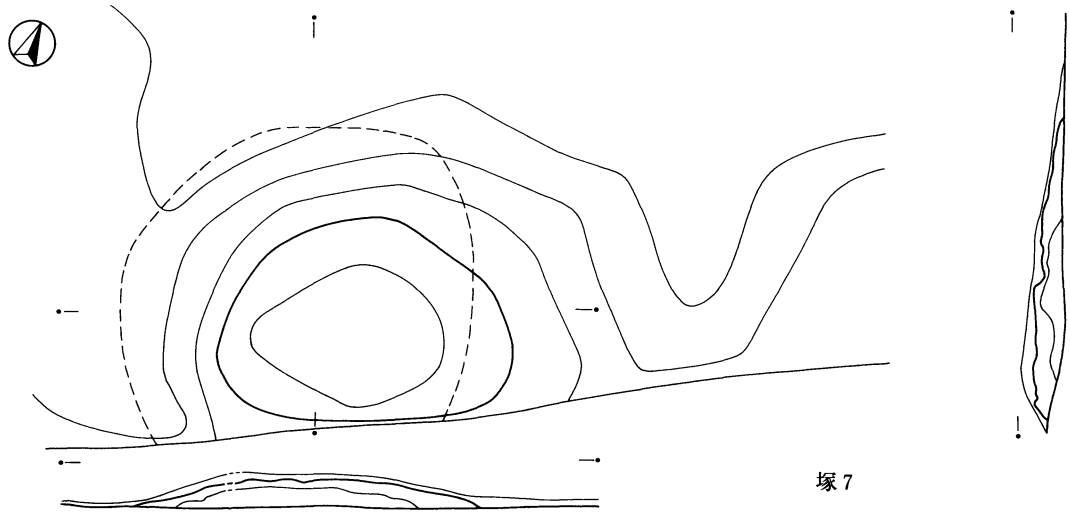
第290図　塚（2）

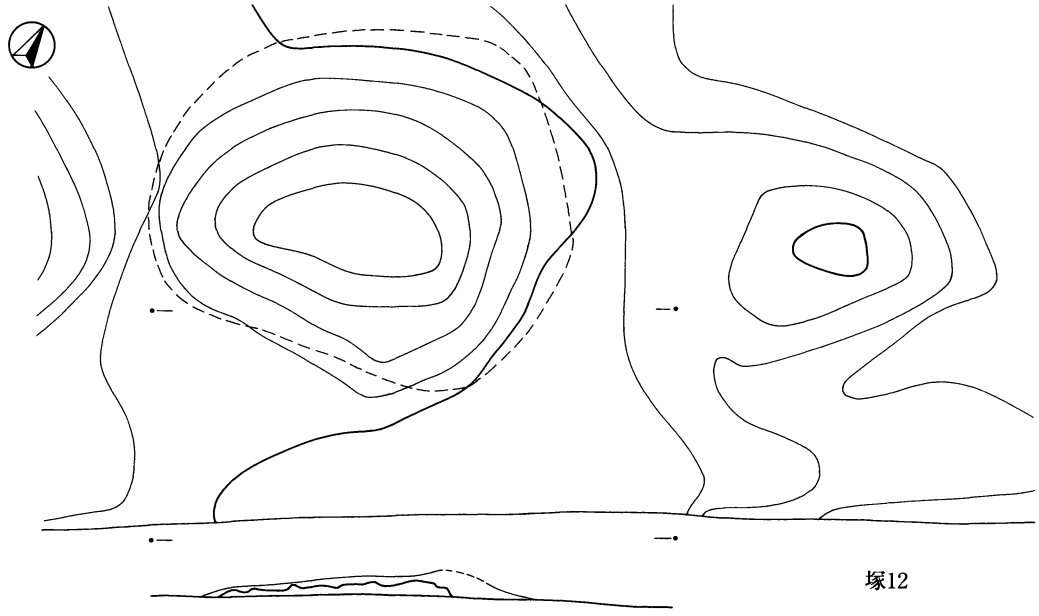


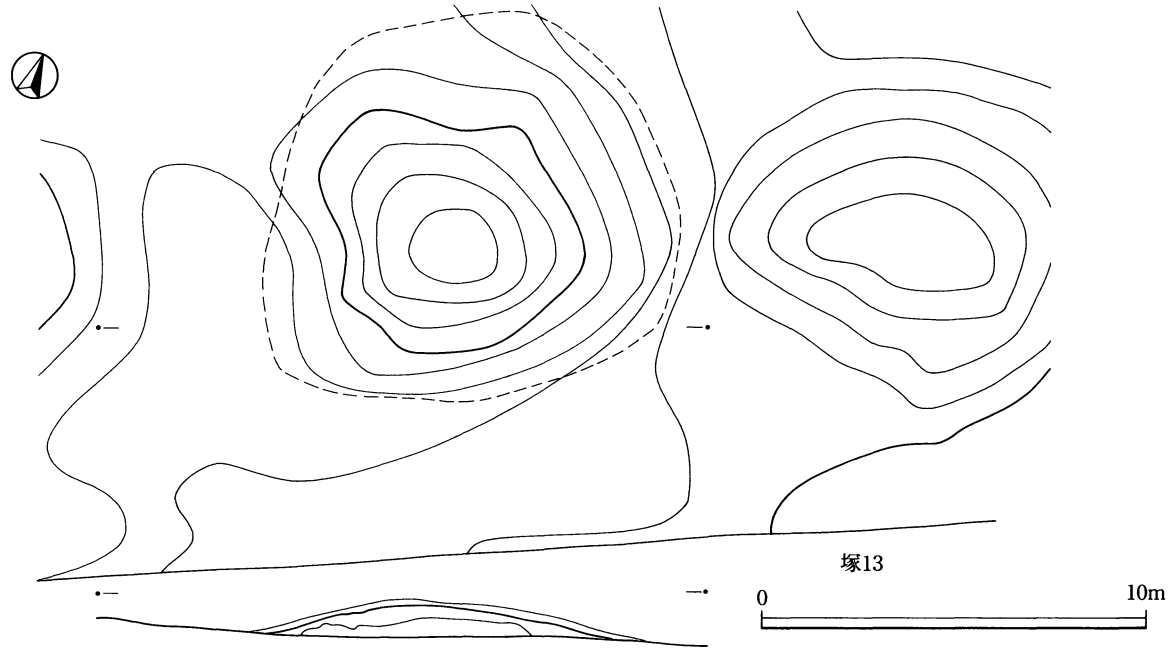




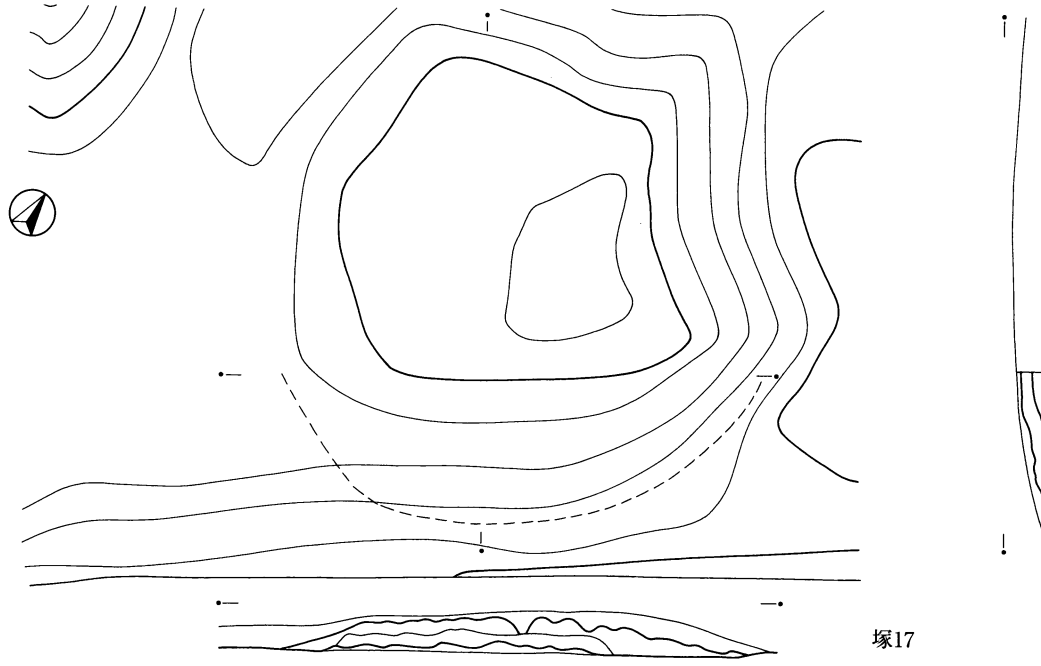
第291図　塚（3）

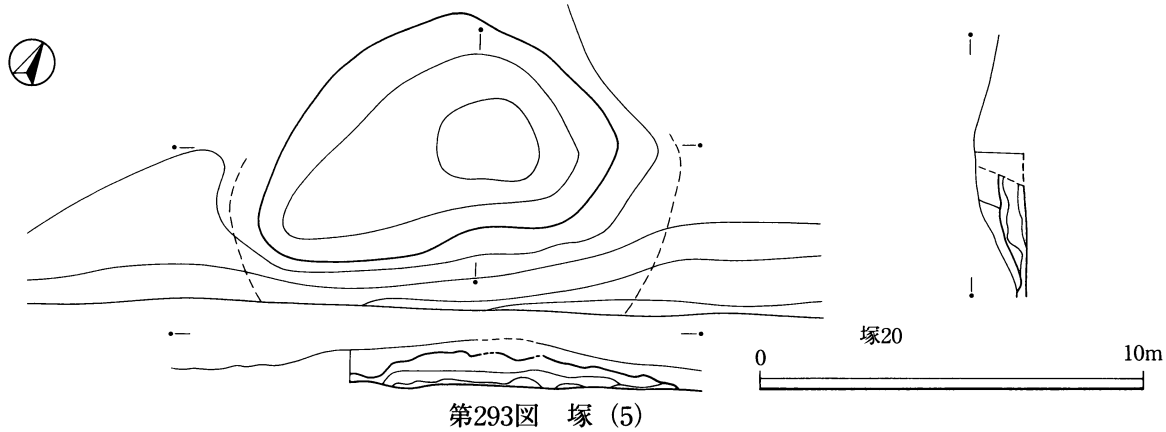




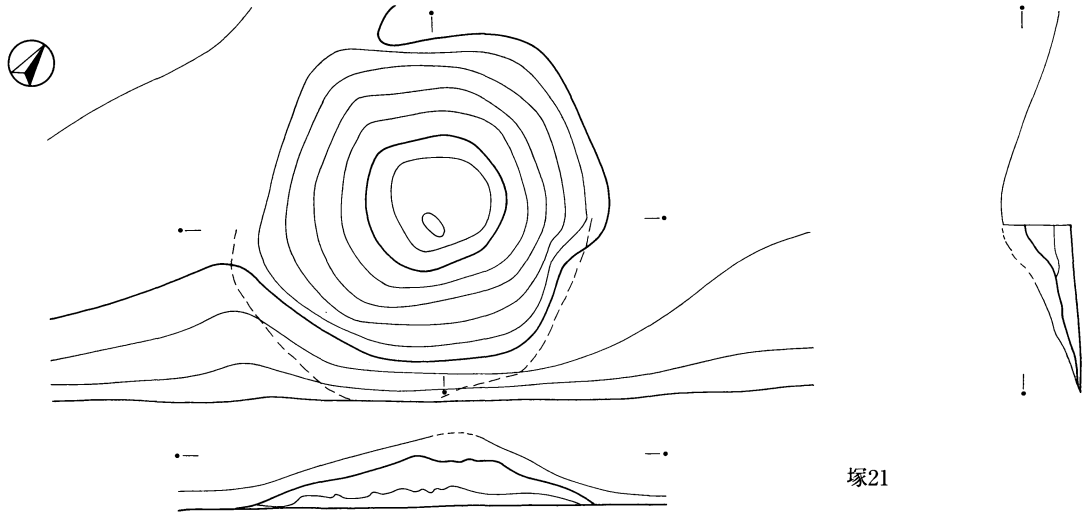


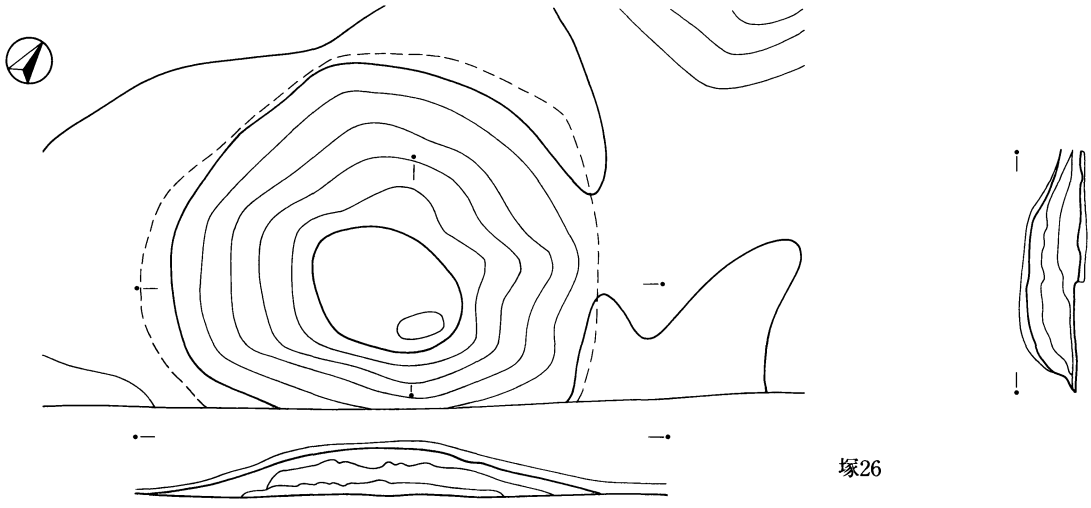
第292図　塚（4）

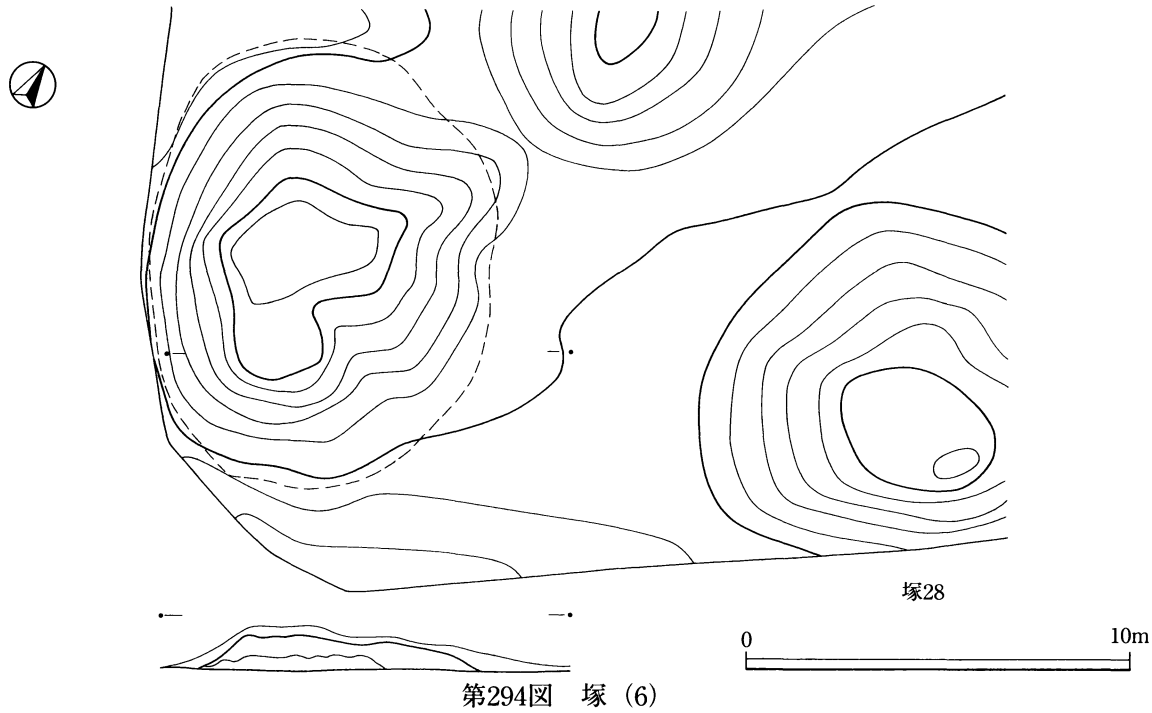




第293図　塚（5）







第294図　塚（6）

また塚の土層堆積状態については、どの塚もにかよったものと思われる。主に「腐葉土を主とする層」「褐色土を主とする層」「褐色土と明褐色土を混じり合った層」「暗褐色土を主としローム粒などを混入する層」「黒褐色を主としローム粒を混入する層」が、上部から順にいくつかの組み合わせで堆積している。全体的に堆積状態のしまりは弱く、多くの塚が削平などによってもとの形状を残しているものとは思えない。

参考文献

松尾町史編纂委員会編　1984「松尾町の歴史」松尾町

横芝町史編纂委員会編　1975「横芝町史」　横芝町

鳴田浩司　1996「東上総の塚について」『研究連絡誌』第45号　財団法人　千葉県文化財センター

（2）遺物

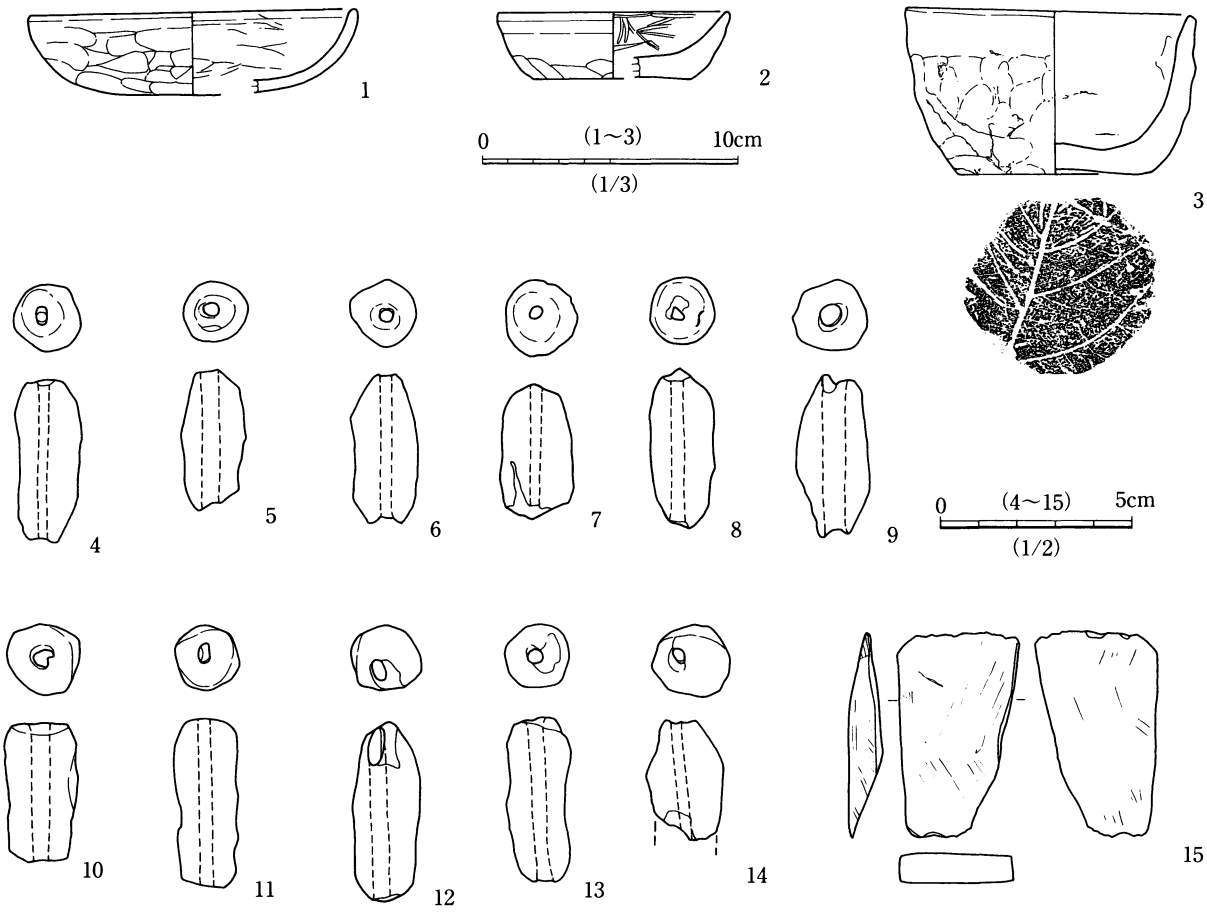
1　塚出土遺物（第294図、図版57）

塚から出土した2点の古銭を図示した。ともに寛永通寶で、出土地点は1が塚1、2が塚13である。1は古寛永、2は新寛永である。1の外縁外径は24.5mm、外縁内径は20.0mm、内郭外径は7.0mm、内郭内径は5.4mm、外縁厚は1.3mm、文字面厚は0.6mm、重さは3.0gである。2の外縁外径は25.3mm、外縁内径は21.6mm、内郭外径は8.0mm、内郭内径は6.9mm、外縁厚は1.9mm、文字面厚は0.6mm、重さは3.9gである。

第295図　塚出土銭貨

2　遺構外出土遺物（第295図、図版57）

1は土師器坏である。口径値は推定12.8cm、現在の高さは3.2cmである。整形・調整技法は体底部外面に手持ちヘラケズリが、内面にヘラミガキ・ナデが施されている。色調は橙褐色、胎土は砂粒・石英を含み、焼成は良好である。口縁部内外面に油煙が付着し、灯明具として使用されたことがわかる。そのために、底部内面はやや荒れている。残存度は約1/4である。3Ⅰ－59グリッドから出土した。扁平な丸底の坏で、奈良・平安時代の土器と思われる。2はロクロ土師器坏である。口径値は推定9.2cm、高さは2.6cm、底径は推定6.2cmである。整形・調整技法は体部・底部外面に手持ちヘラケズリが、内面にナデ・ヘラミガキが施されている。切り離し技法はヘラケズリのために不明である。色調は外面がにぶい黄褐色で、内面は黒色である。胎土はスコリア・石英を含み、焼成は良好である。残存度は1/2弱である。出土地点は不明である。小型の土器で、平安時代以降のものと思われる。3は土師器手づくね土器である。口径は11.2cm、底径は7.5cm前後、高さは6.1cm～6.5cmである。体部外面は指頭によるナデが施され、凹



第296図　遺構外出土遺物

凸が著しい。内面はヘラナデ・ナデが施され、ヘラ当たりが顕著に残る部分がある。内外面の一部に輪積み痕がみられる。底部外面は木葉痕が明瞭に残り、葉柄の痕跡が口縁部近くまで続いている。色調は暗赤褐色で、胎土は淡黄色の粒子を多く含む。焼成は良好である。口縁部端部が約1/2欠損するが、全体としては3/4強残っている。１Ｍ－78グリッド出土である。図示できなかったが、３と似た大きさの手づくね土器が、同じグリッドから出土している。

４～14は土錘である。３は長さが4.4cm（計測値は最大長、以下同じ）、径が1.8cm、孔径は3.0～4.0mm、重さが12.6gである。４は長さが3.6cm、径が1.7cm、孔径は3.6～4.2mm、重さが8.3gである。５は長さが、3.9cm、径が1.8cm、孔径は3.1～3.5mm、重さが11.7gである。６は現存長が3.3cm、径が1.7cm、孔径は2.9～3.8mm、重さが11.2gである。７は長さが4.2cm、径が1.7cm、孔径2.8～3.8mm、重さが11.6gである。８は長さが4.2cm、径が2.0cm、孔径は5.0～6.0mm、重さが12.0gである。９は長さが3.6cm、径が2.0cm、孔径は4.0～4.3mm、重さが13.2gである。10は長さが4.4cm、径が1.7cm、孔径は1.5～3.4mm、重さが12.5gである。11は長さが4.7cm、孔径は3.4～4.7mm、重さが12.8gである。12は長さが4.4cm、径が1.7cm、孔径3.3～3.6mm、重さが12.4gである。13は現存長3.1cm、径が1.9cm、孔径2.5～3.8mm、重さが8.7gである。６・13は一方の端部側をかなり欠損し、11も一部を欠く。他は完形である。表面はナデ調整である。孔をみると、適当な素材を心棒として粘土を巻き付けたものと思われる。色調は淡褐色・褐色で、一部に暗淡褐色・黒褐色となるものが数点ある。出土地点は１Ｍ－79グリッドが４点（７～10）と集中している。ま

た、他の3点も、11は1M－88グリッド、12は1N－07グリッド、13は1M－98グリッドと接近した地点から出土していることから、これらの土錘は一括して廃棄された可能性が考えられる。

14は赤色の粘板岩の砥石で大きく表裏両面に砥いだ痕跡がみられ、縦断面は平行四辺形を呈している。古墳時代以降の遺物と思われる。

第4章　まとめ

旧石器時代

本遺跡においては、38か所以上の規模の異なる石器集中地点を検出することができた。ブロックを個々に検討していくことで2つの環状ブロックの存在及びその他のブロックとの関わりを検討してみたい。

まず接合関係から概観すると次のことが言えよう。東西の2つの環状ブロック群同士の接合関係は以外と稀薄であることがわかる。唯一第6ブロックが東側の第15、23、26ブロックとの接合関係が見られる。それとは好対照なのが東側のブロック群で、北側においては石材の移動が頻繁に行われていた模様である。

一個の石材が剥片剥離の途中の状態で他のブロックへ移動するという行為が頻繁に行われていたということは、どういう行為を表現しているのであろうか。

大形の石斧が第27ブロックで製作された後、第16ブロックで使用されていたと考えられる状況で検出されたということもブロックの棲み分けを考える上で貴重な資料と思われる。

大形の打製石斧系の石斧と小形の磨製石斧系の石斧がでているブロックも全体にまんべんなく出土しているのではなく、東側のブロック群の北側に集まる傾向がうかがわれる。(第9図)

第3、第4ブロックは石器の内容から考えると楔形石器の比率が高いのが特徴である。また特定の石材チャート、珪質頁岩の比率が高い。石材と石器技術が結びついている可能性は高い。

ブロックの時期を整理段階で内容等から再検討してこの時点である程度、整理しておきたい。東側で見られる第14ブロック～29ブロック環状ブロック群については接合関係等や石材の共有性等から判断して立川ロームⅨ層～Ⅹ層相当に近い時期に形成されたものと思われる。西側の環状ブロック第6、7ブロックについてはこれらのブロックと接合関係等からほぼ同時期に形成されたと思われる。西側のその他の環状ブロック群及び第30ブロックについては、同じような石材等も見られることからほぼ同時期であるかもしれない。しかしながら黒曜石なども見られる点や楔形石器が多く見られることから若干新しい時期に位置づけする事も可能かもしれない。第33ブロックの砂岩系の石材についてはこの時期に当たると思われる。

また、第31、32、35～37ブロック及び第38ブロックについては、Ⅵ層下部～Ⅶ層に相当する時期にあたると思われる。ガラス質の強い珪質頁岩など比較的石材がまとまりをみせる。小さな剥片は多いが、定型的な石器は少ない。第33ブロックの石刃についてはこの時期に属する可能性が強い。

第34ブロックはブロックの中では一番新しく全体ではⅢ層下部～Ⅳ層にかけての時期のものと思われる。ホルンフェルスの石材が主体で、ナイフ形石器や削器、掻器等の石器もそろっており独立性が高い。ただ単独に近い形での第6ブロックとの接合関係も珪質頁岩の剥片同士で認められる。それ以外の遺物についてはレベル等では分離不可能と思われるが、内容的に見てもブロックを形成する程ではないと思われる。

環状ブロックの個々のブロックの内容は少数の規模のものは剥片主体で石材も点数の割に種類も多いものが多い。そういった空間はものを捨てる空間ではなく活動主体の空間、しかも継続的な利用すら考えられる。また、逆に規模が大きいブロックは内容的に見ると同じ石材が多用されていることが多く。しかも石核が廃棄されている数も多い。廃棄か次のブロックへの移動までの遺棄の状態でおかれている状態であったかは、意見の分かれるところであるが、現象的にはそうしたことが見られる。

同じ石材を移動によって共有するブロックが幾つか見られるが、1個の集団が持ち歩いたものと解釈すると当然長きにわたってブロックを使用しながらしかも、ブロックをわたり歩くということが考えられる。その結果ブロック群が形成されていくという構図が生まれる。

特定の器種の石器に限って見ると3～4ブロックに見られる楔形石器、これらはチャート等の扁平な楕円礫を両極打法で打撃して剥片を作出していく手法をとっている。17、19、23ブロックの石核あるいは原石の多さが目に付く。これらの石核等は径5㎝前後のチャート、メノウ、安山岩、珪質頁岩の扁平楕円礫を素材として、縁辺に沿って打点を移動させながら剥片剥離を行う、いわゆる盤状石核による剥片剥離が主体をしめる。

このように環状ブロック群が形成される過程で個々の石材が消費されていく様子の一端を表している資料が接合資料として見られる。接合資料がブロック間で移動している様は一様ではなく、複数の集団が多様な活動の関わりのなかで形成されていったのではないかと思われる。

写　真　図　版

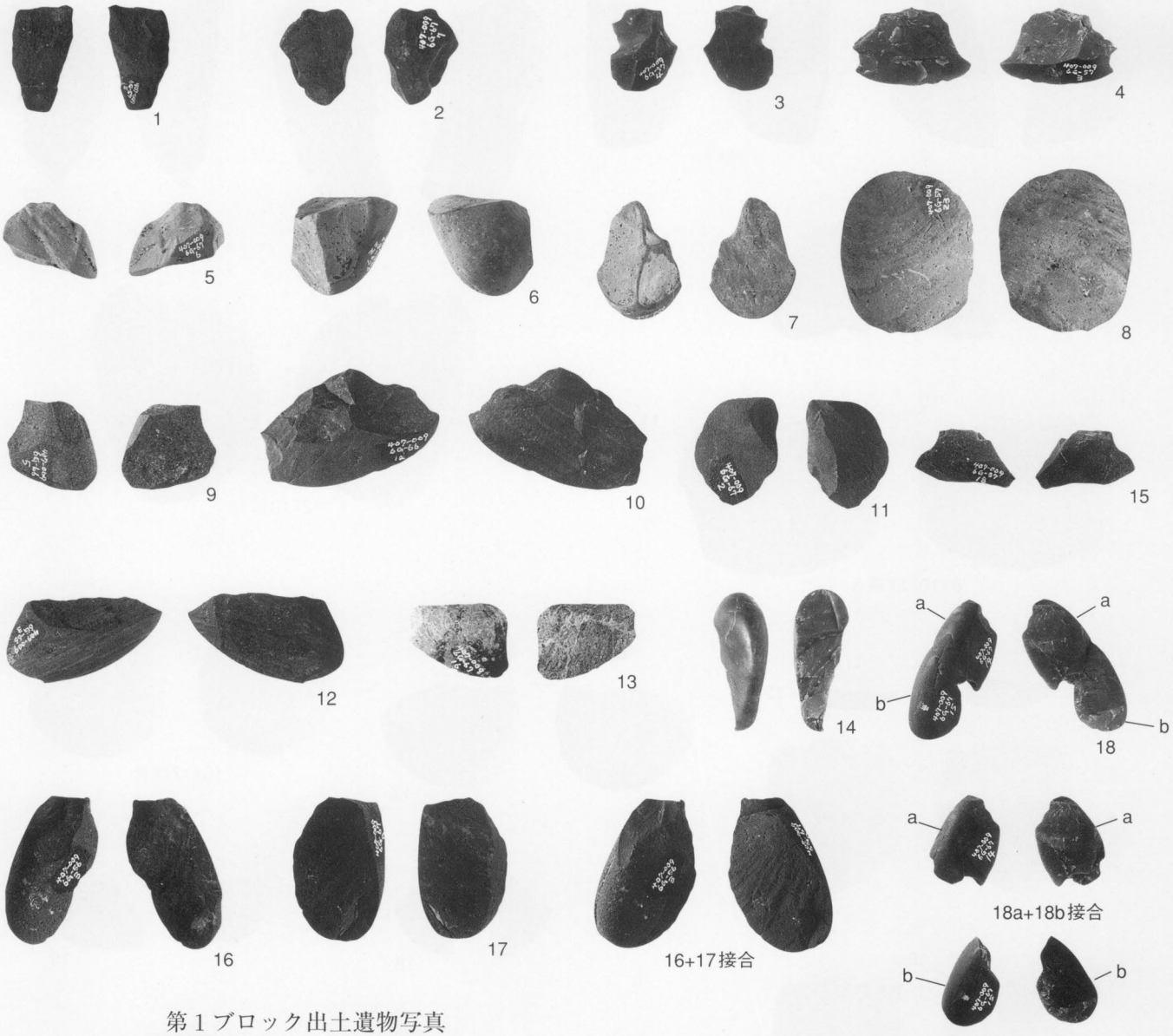
周辺航空写真（1/10,000）

環状ブロック出土状況（垂直）

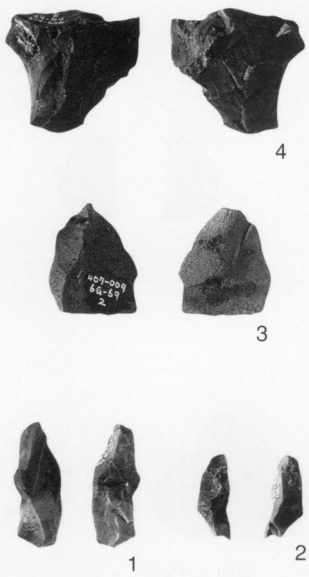
9E45・56プレ遺物出土状況（東から）

7G-00付近プレ遺物出土状況（東から）

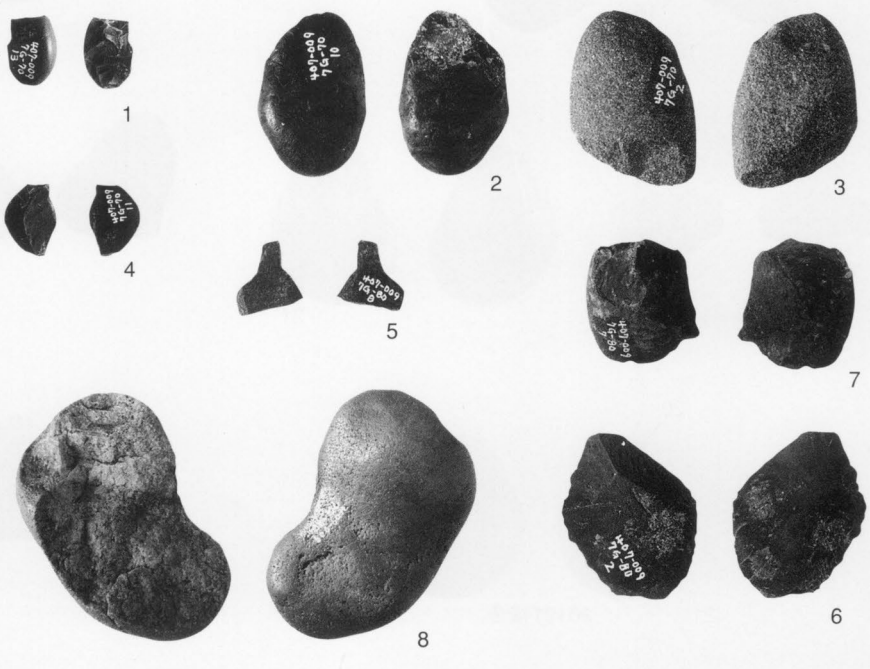
環状ブロック全景（南東から）



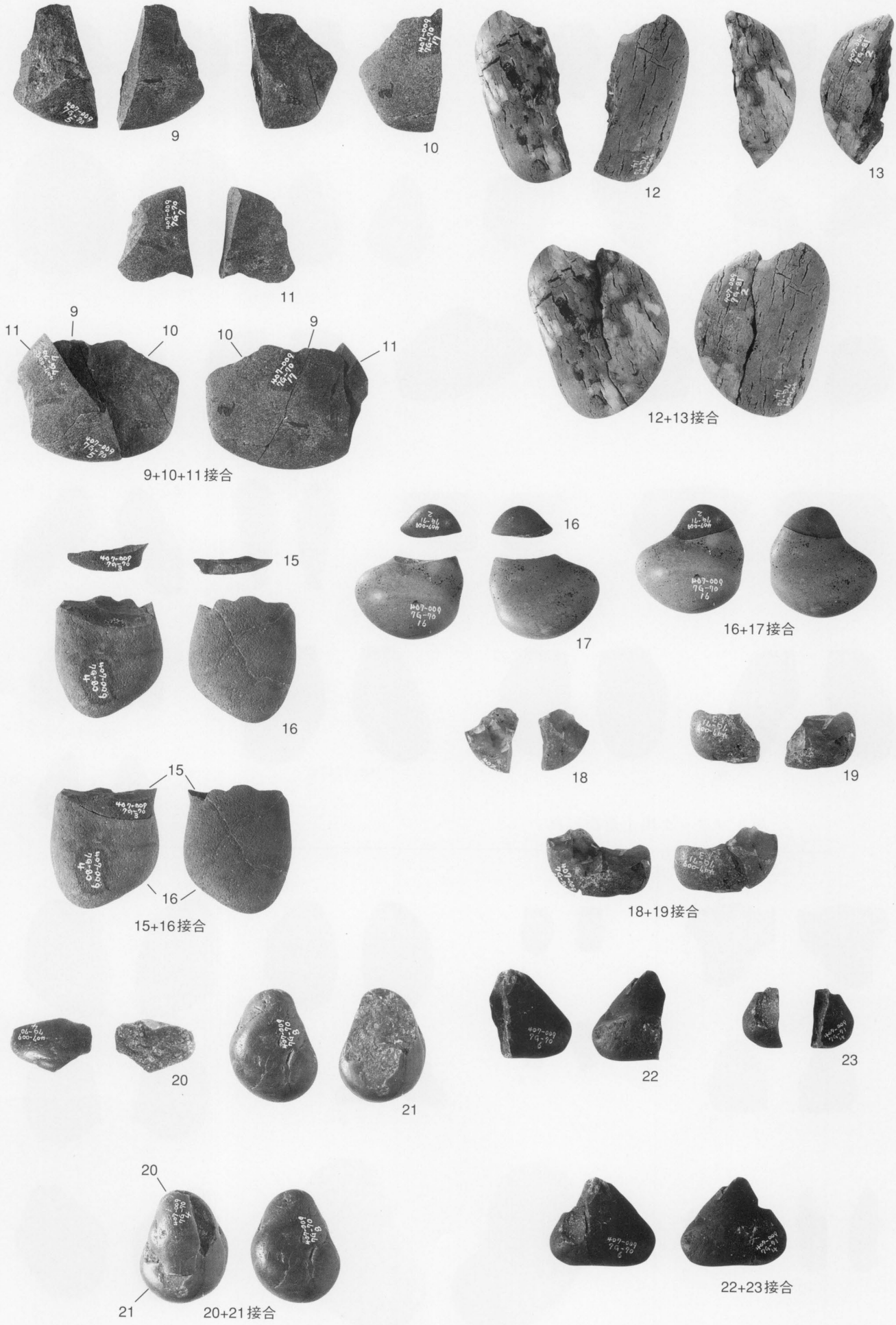
第 1 ブロック出土遺物写真



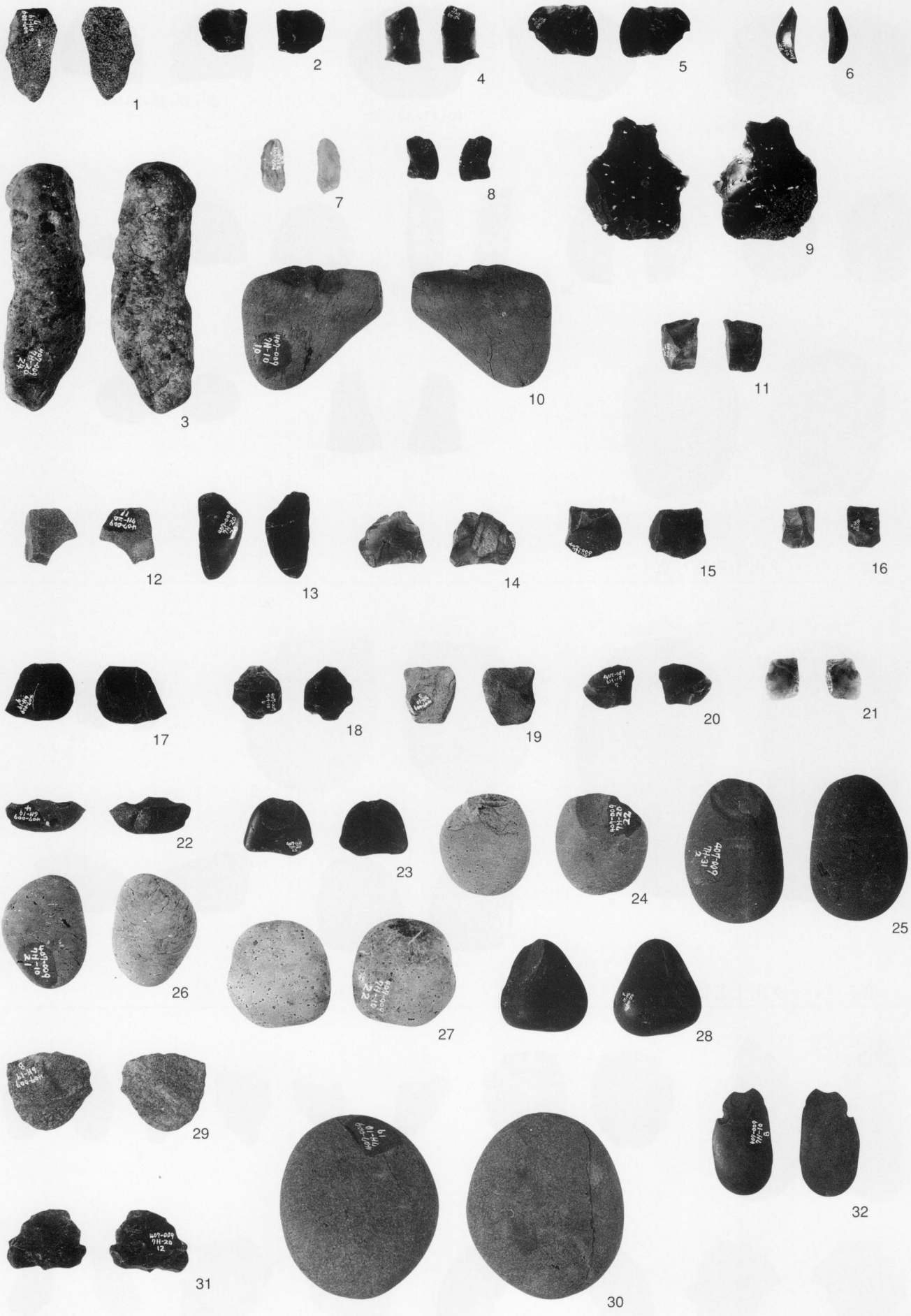
第 2 ブロック出土遺物写真



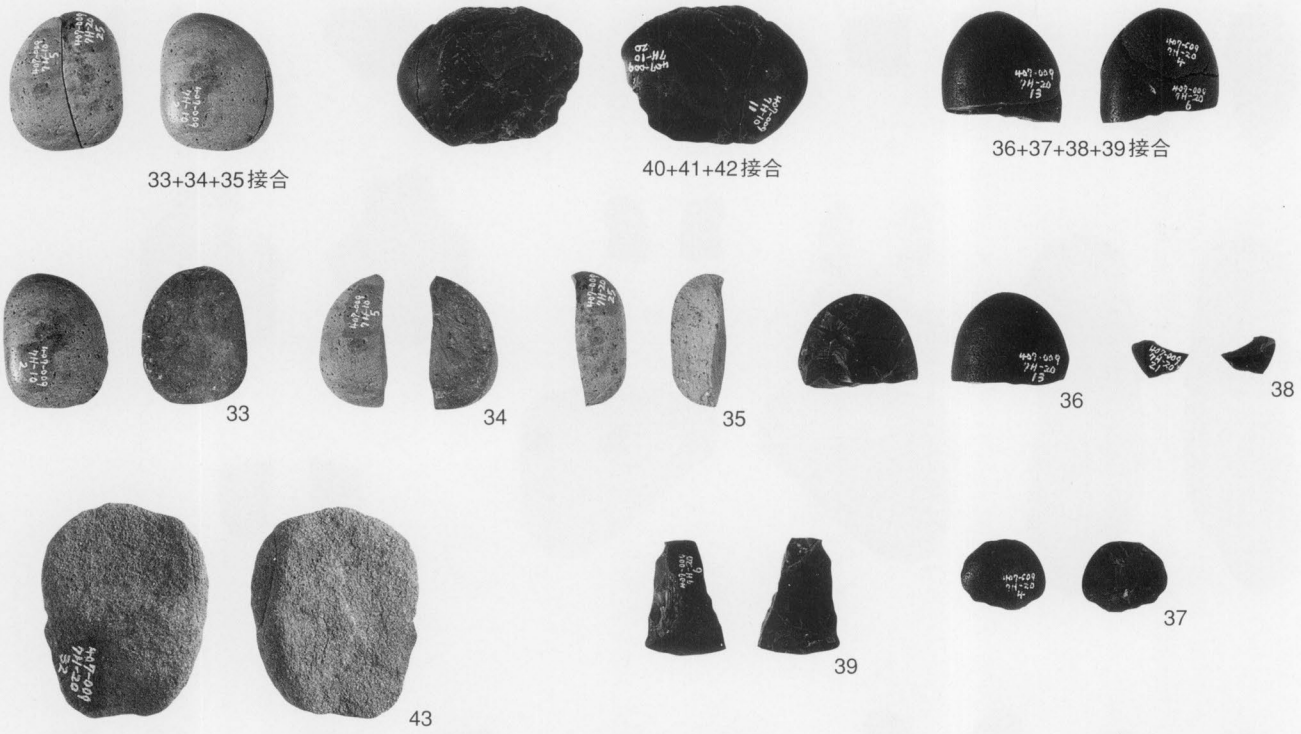
第 3 ブロック出土遺物写真（1）



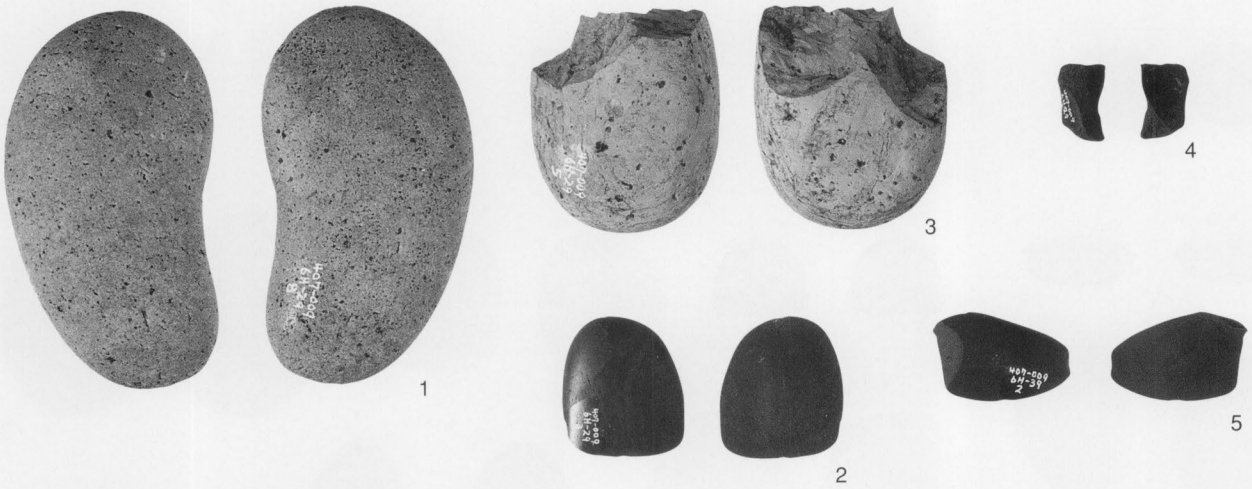
第 3 ブロック出土遺物写真（2）



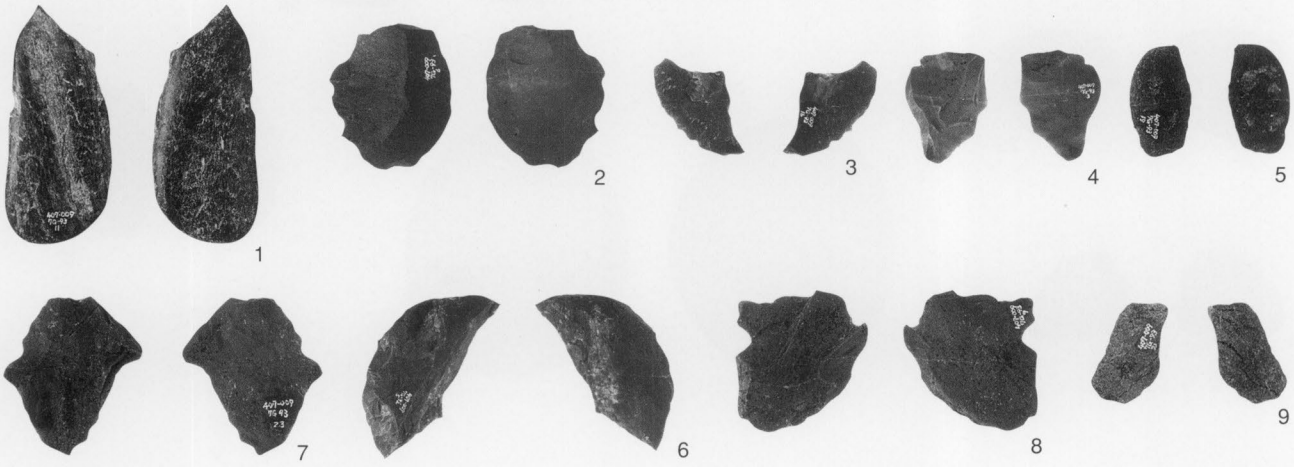
第 4 ブロック出土遺物写真（1）



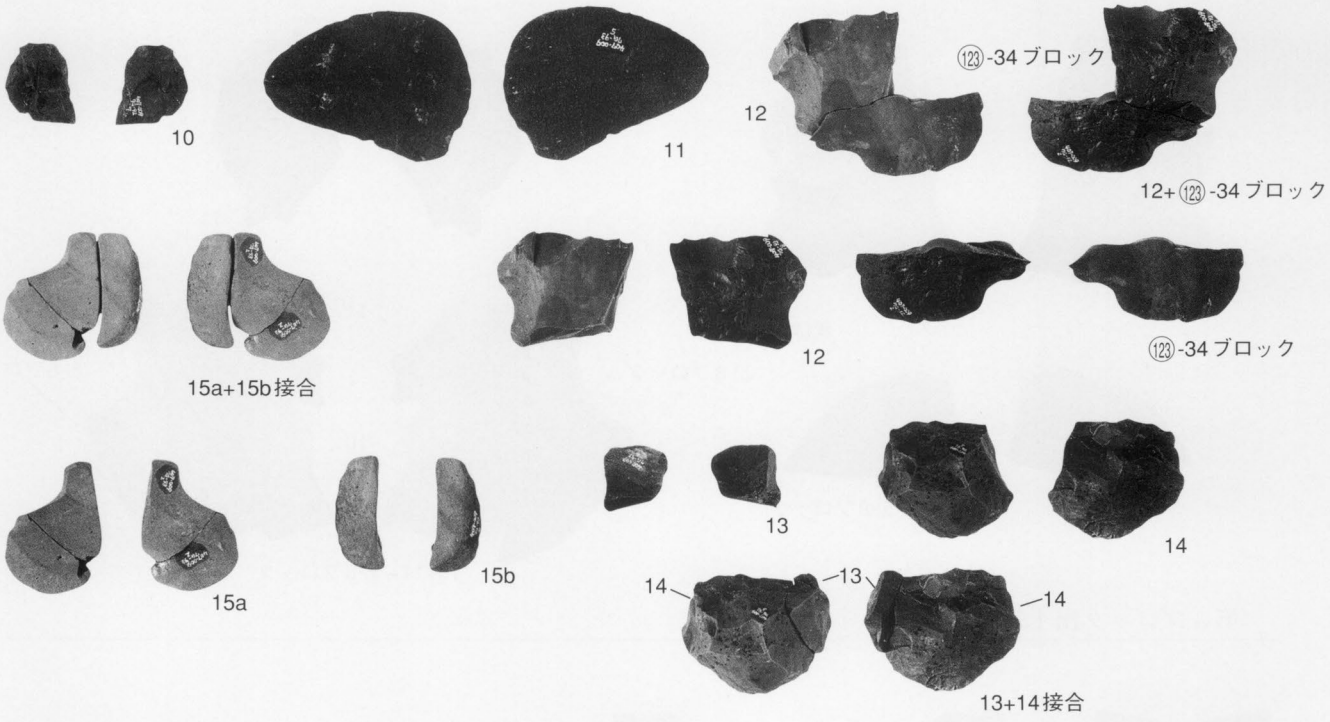
第 4 ブロック出土遺物写真（2）



第 5 ブロック出土遺物写真

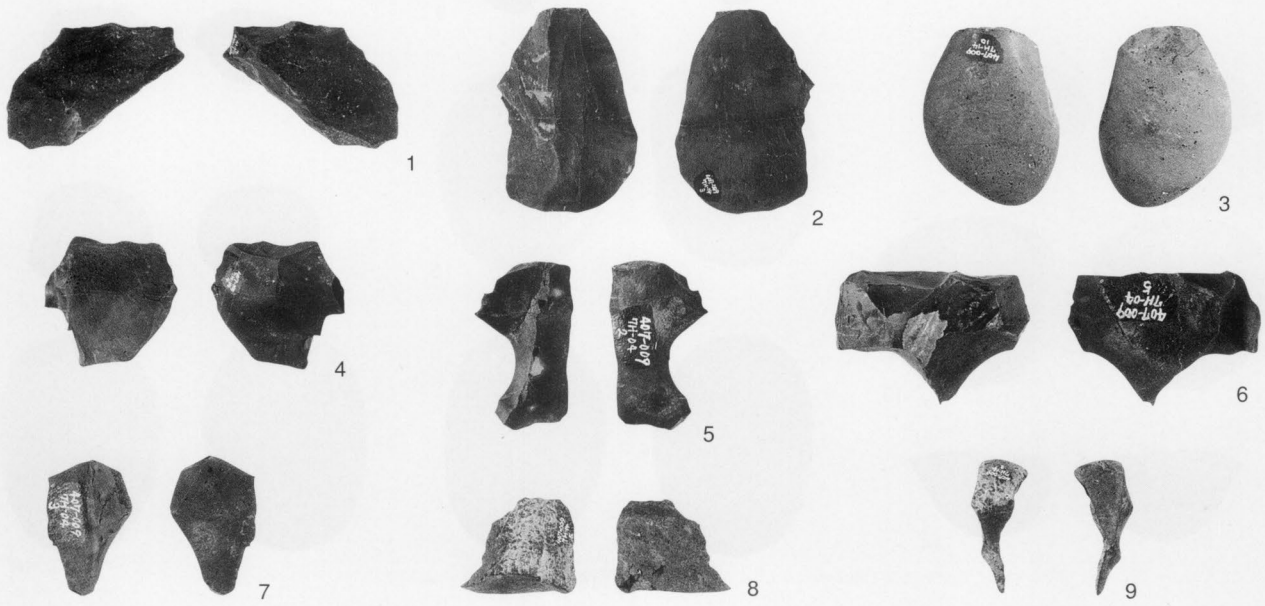


第 6 ブロック出土遺物写真（1）

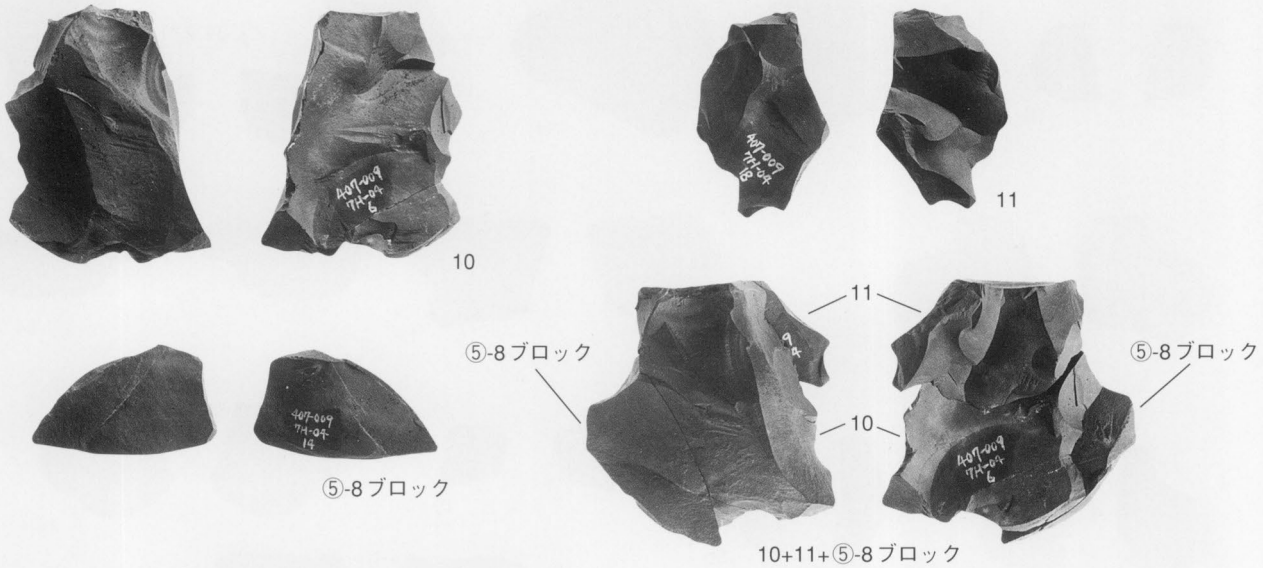


第 6 ブロック出土遺物写真（2）

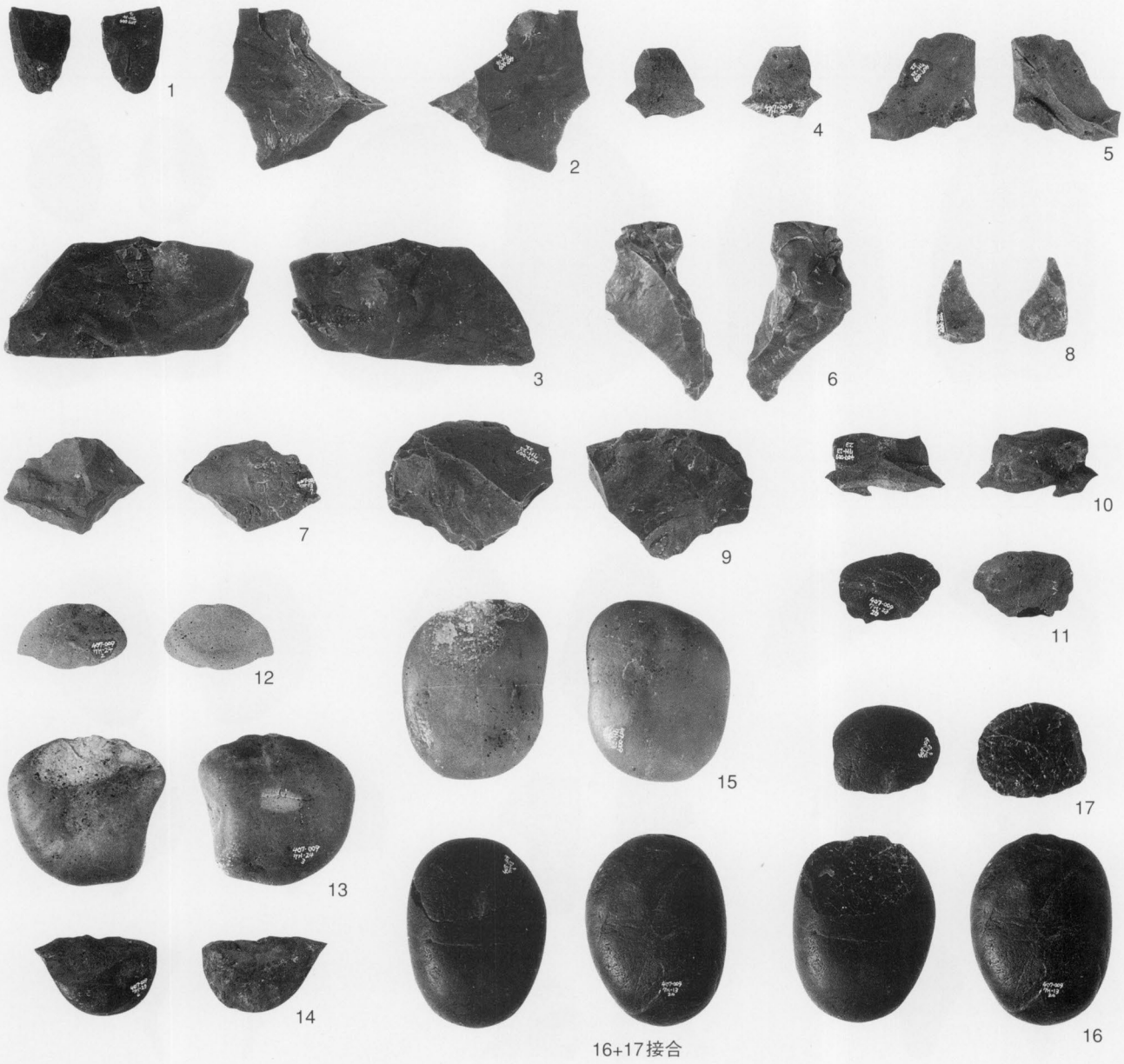
第 7 ブロック出土遺物写真



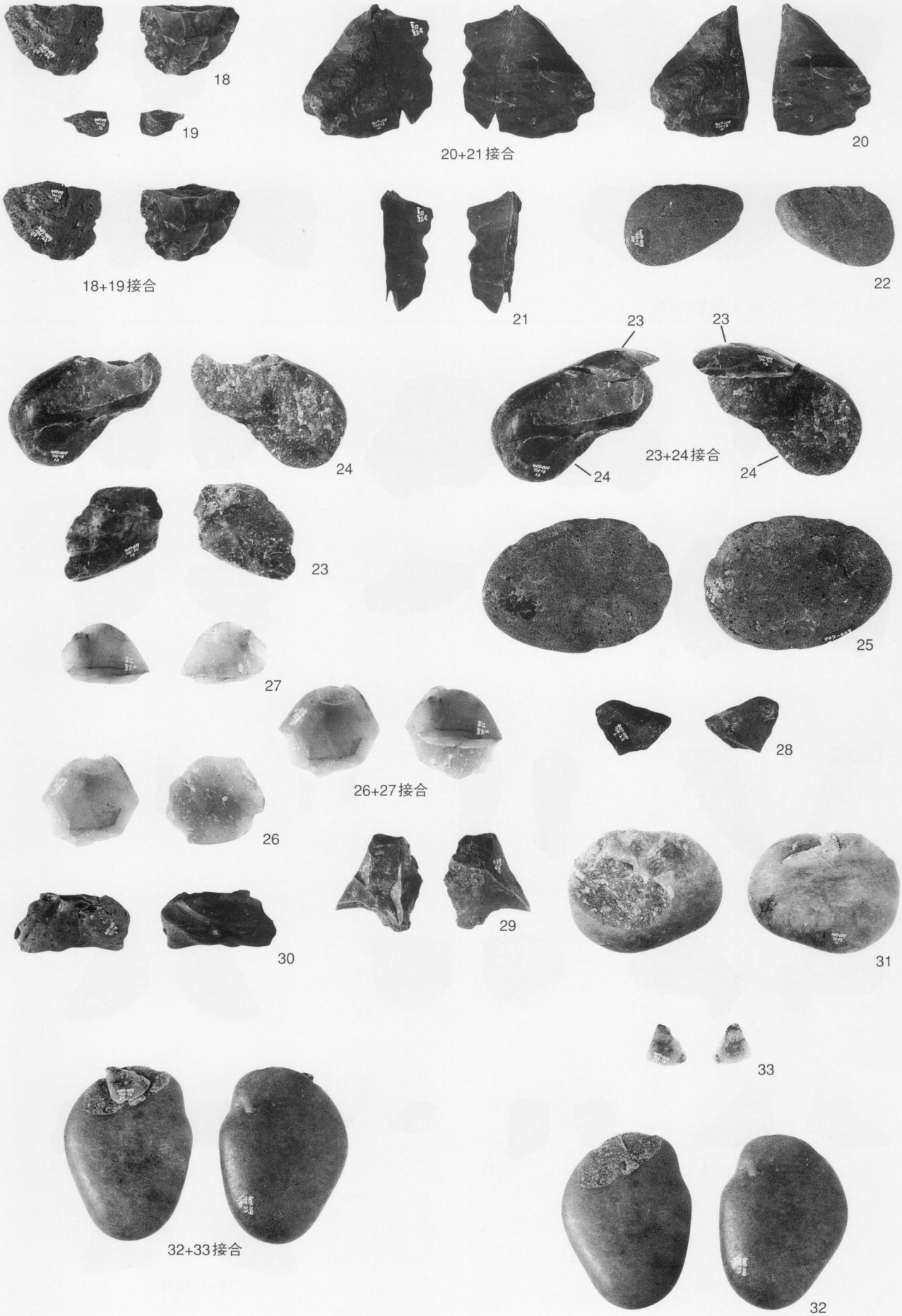
第 8 ブロック出土遺物写真（1）



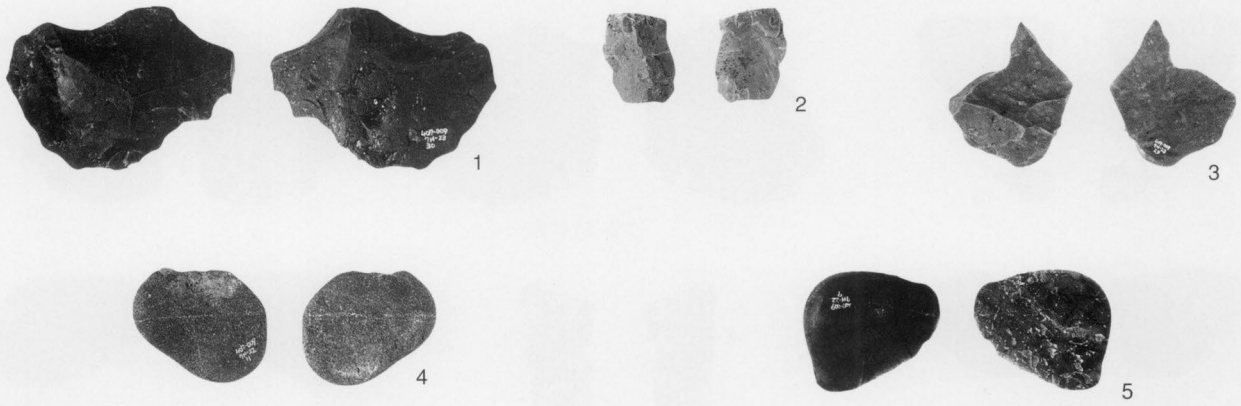
第 8 ブロック出土遺物写真（2）



第 9 ブロック出土遺物写真（1）

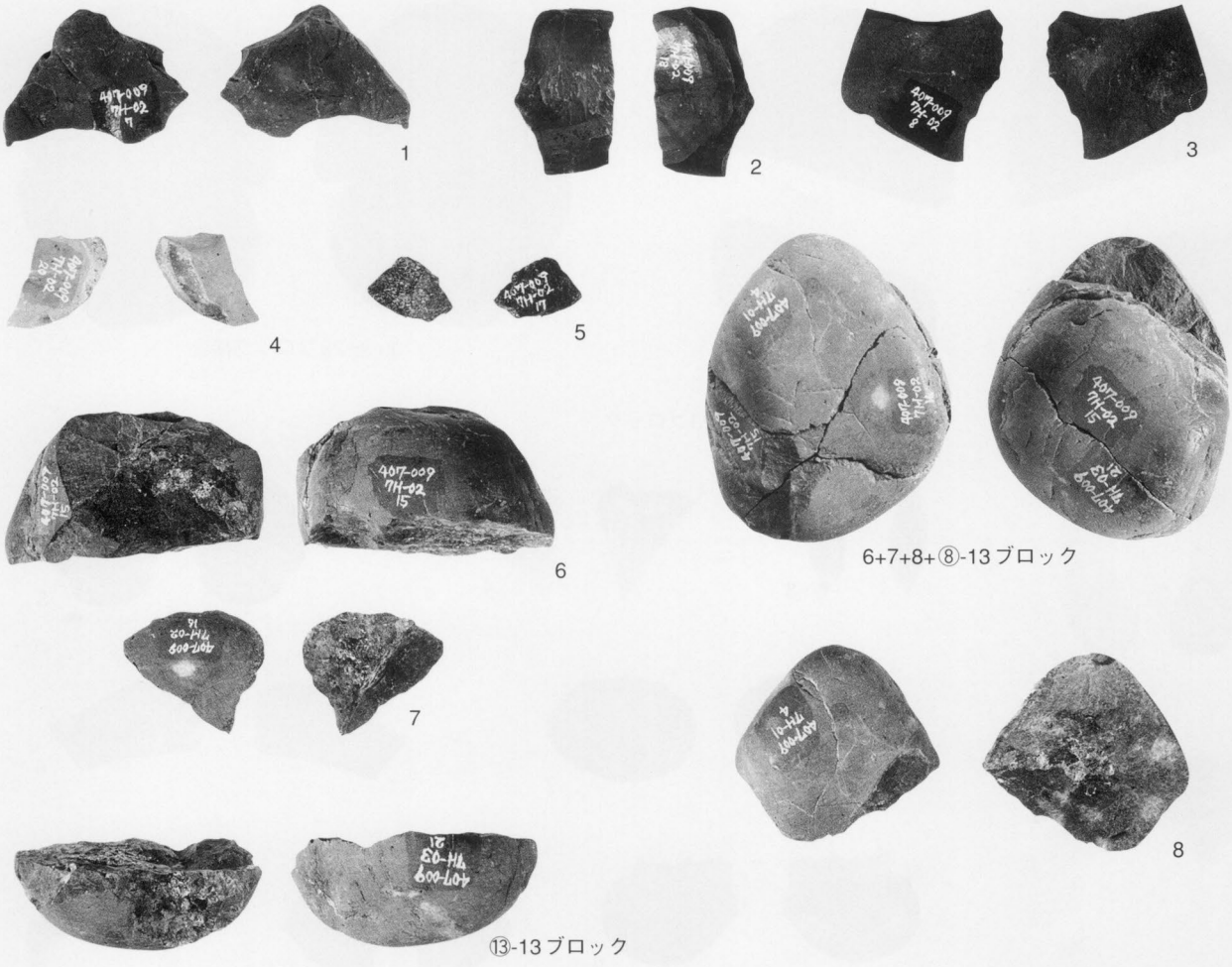


第 9 ブロック出土遺物写真（2）

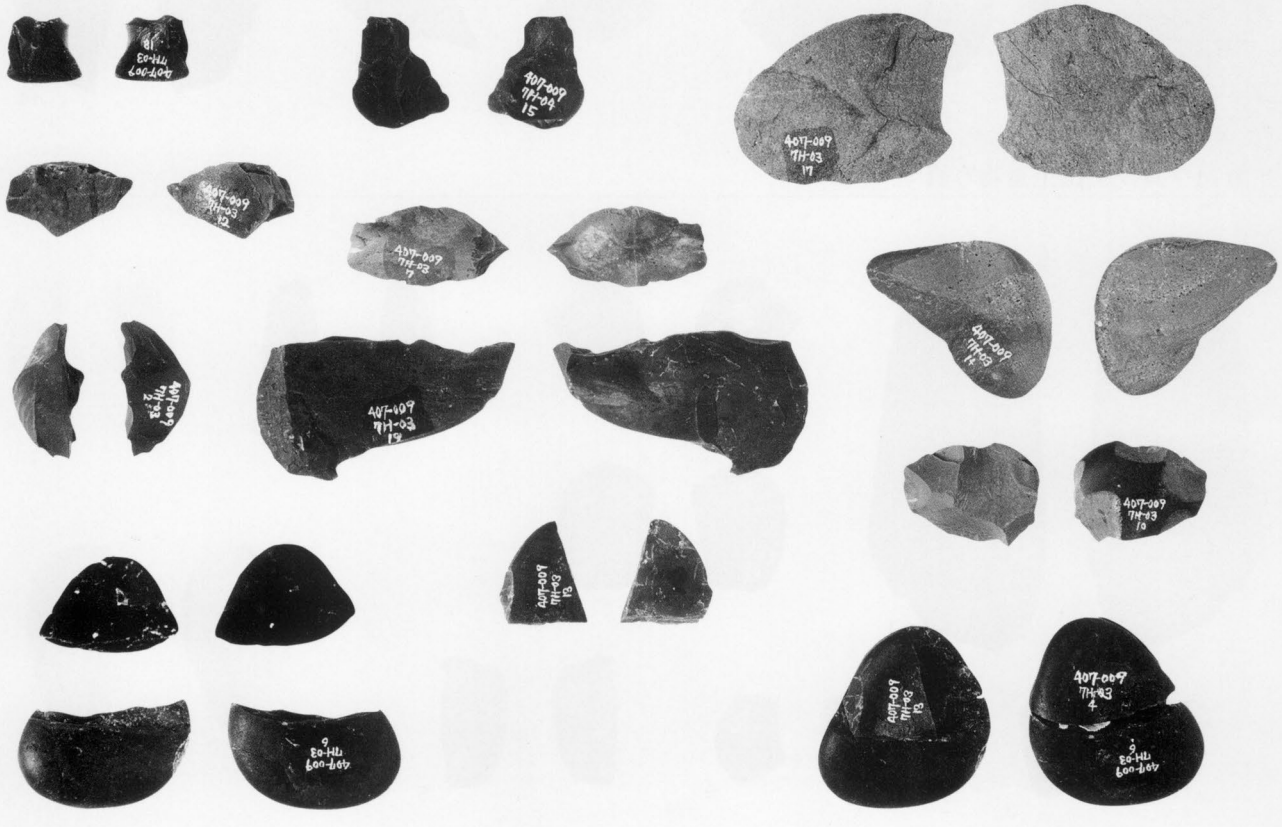


第10ブロック出土遺物写真

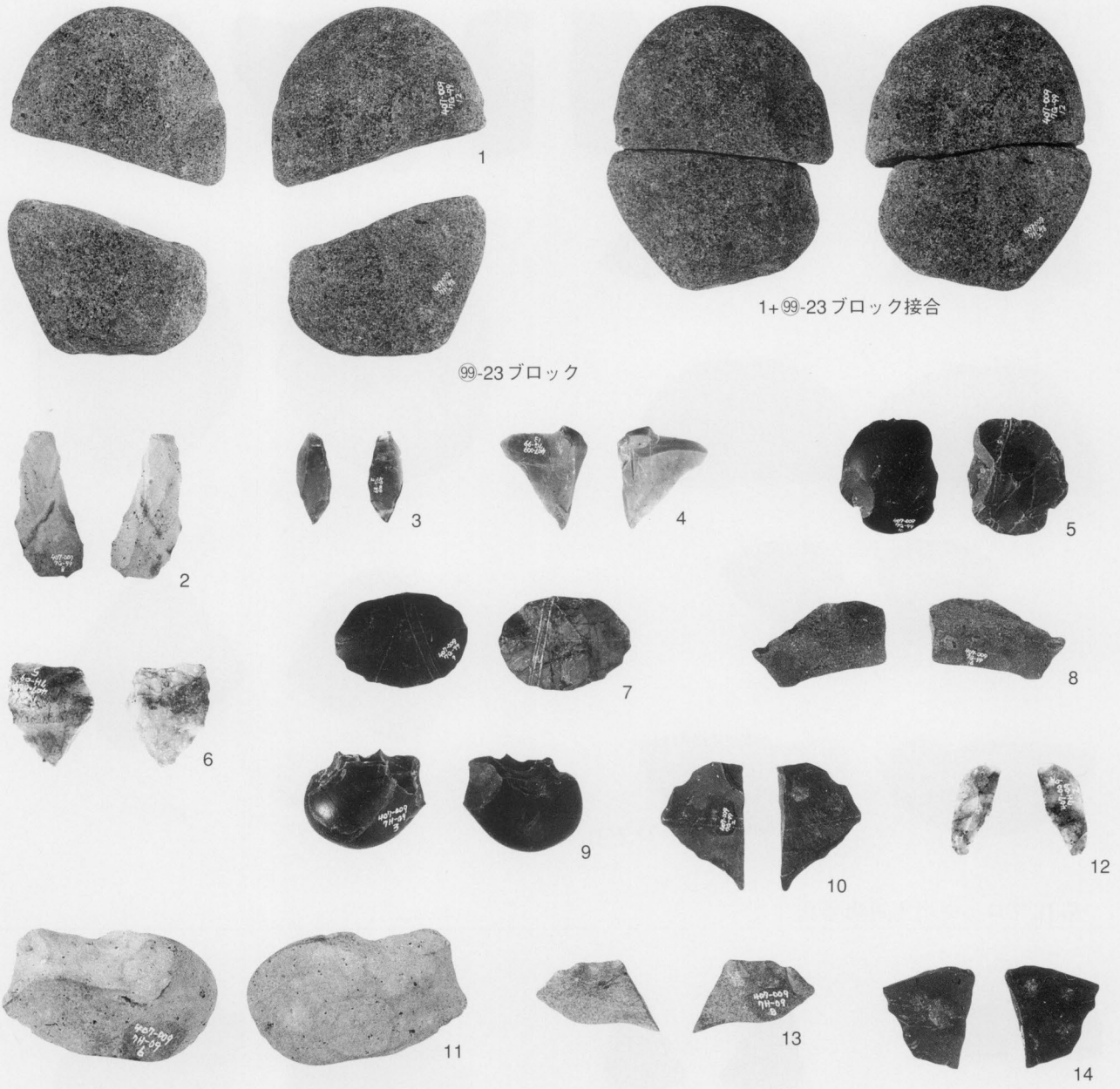
第11ブロック出土遺物写真



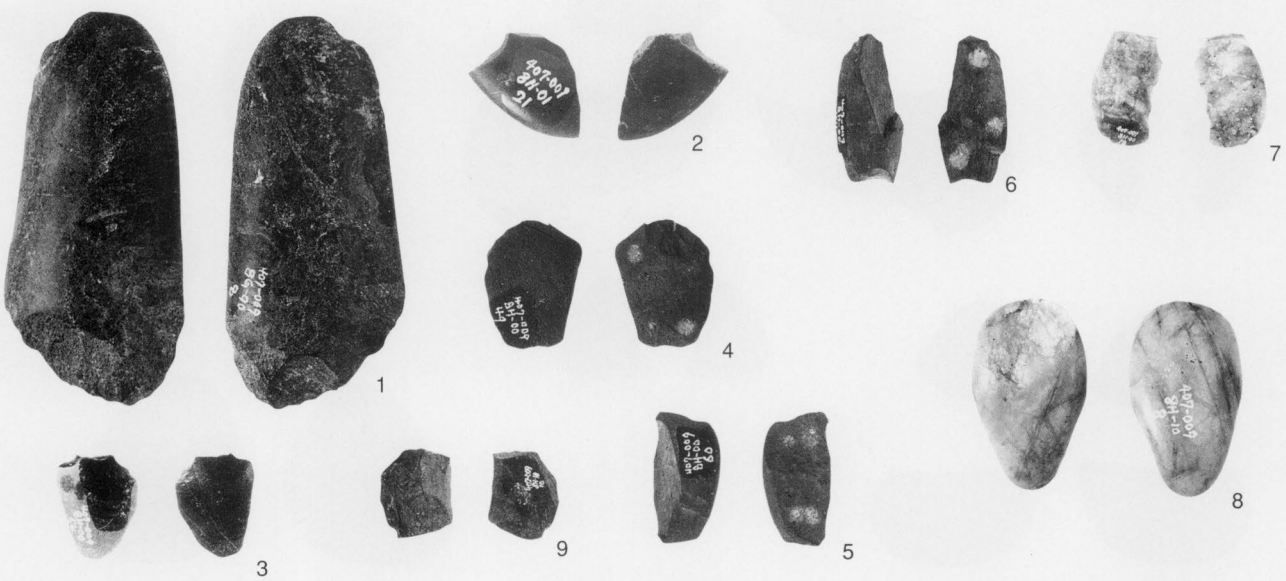
第12ブロック出土遺物写真



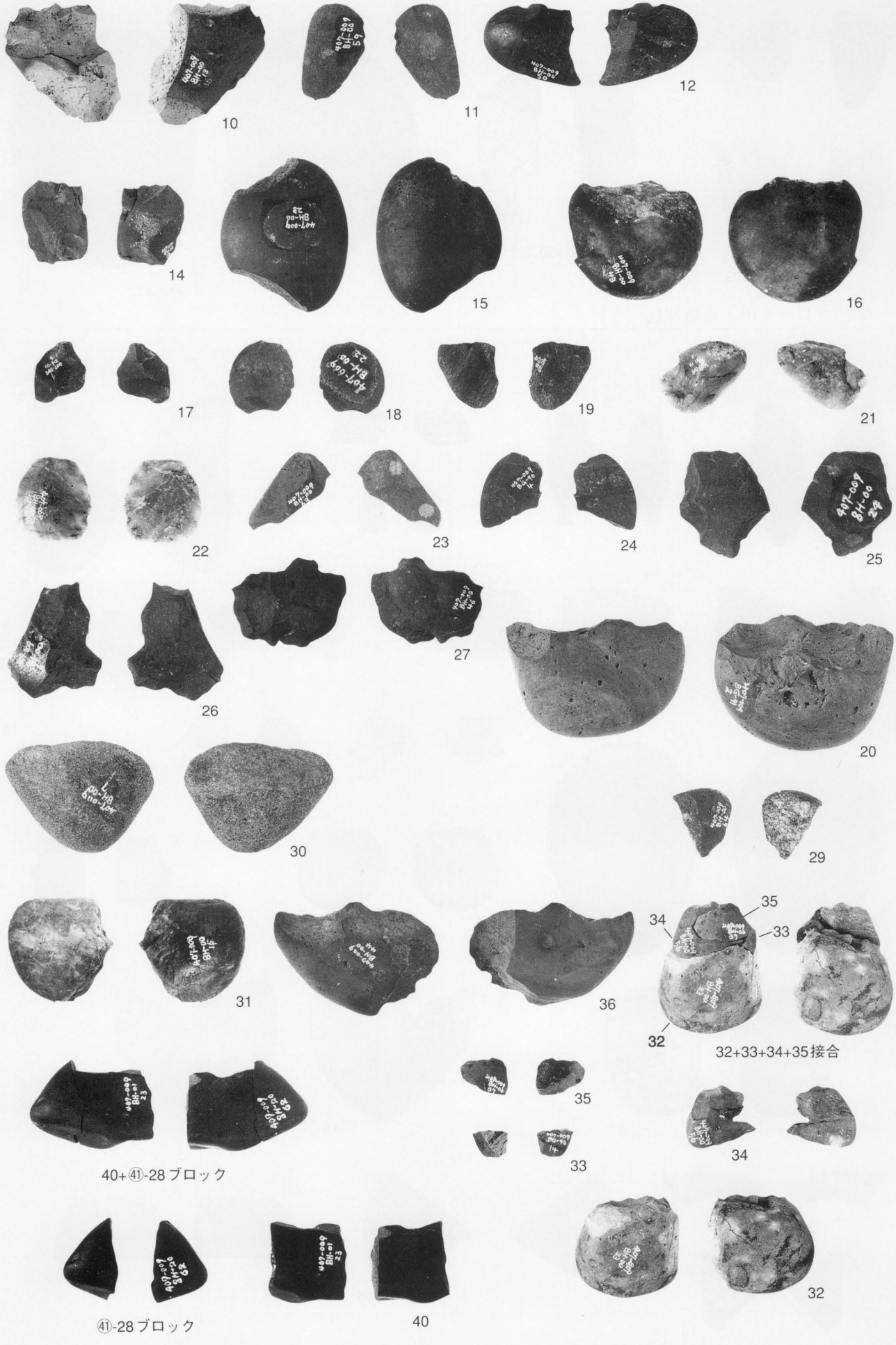
第13ブロック出土遺物写真



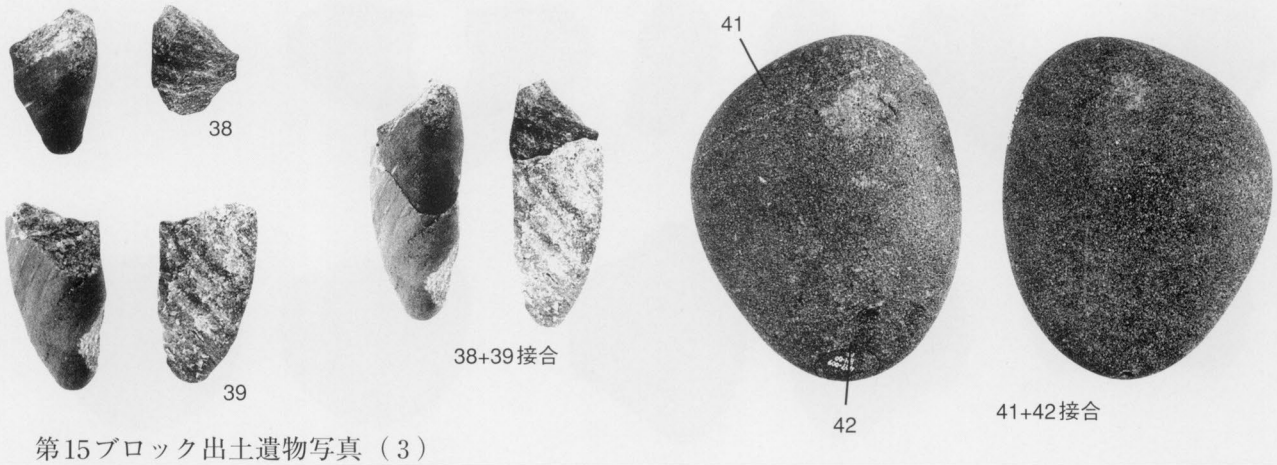
第14ブロック出土遺物写真



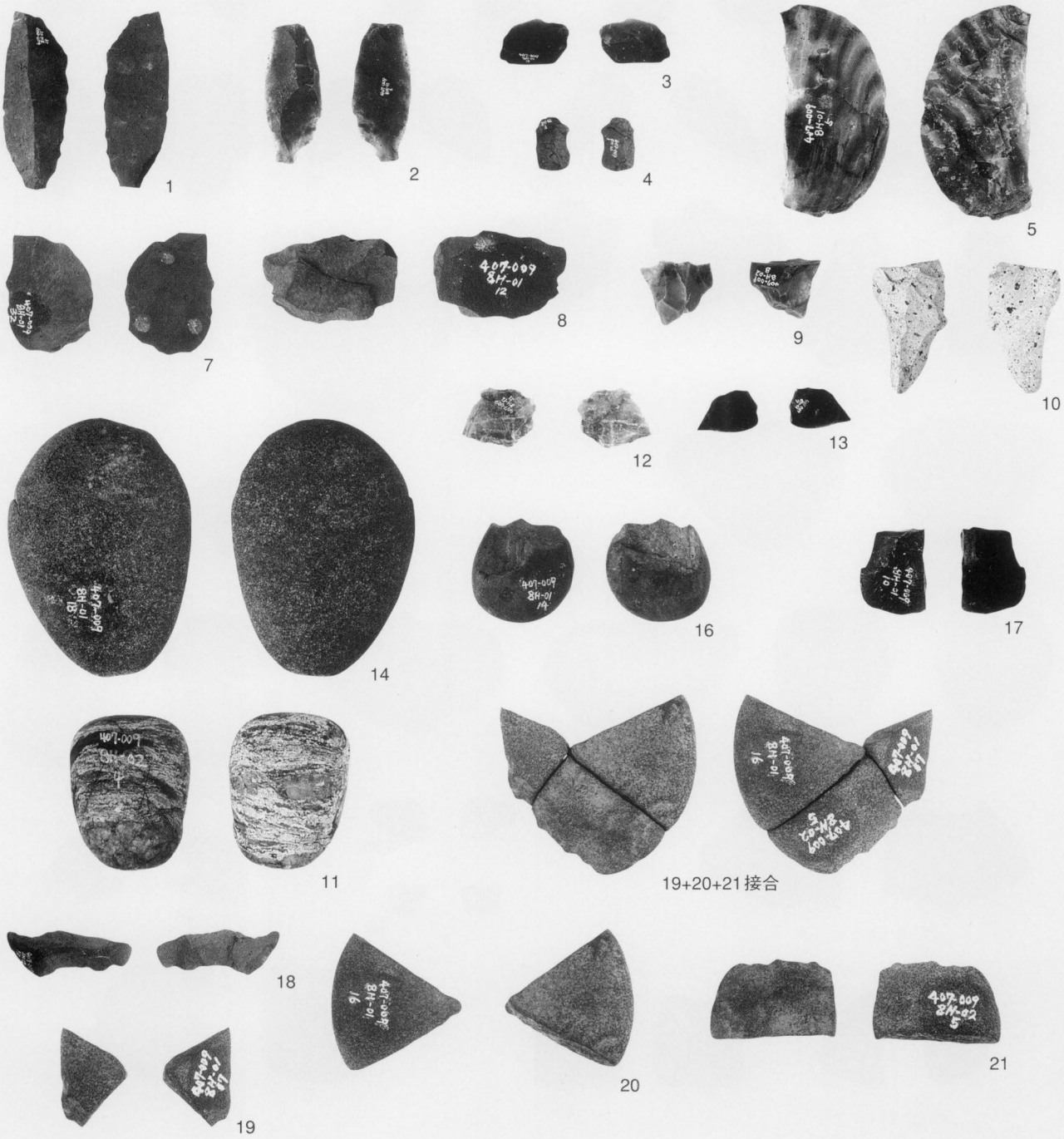
第15ブロック出土遺物写真（1）



第15ブロック出土遺物写真（2）

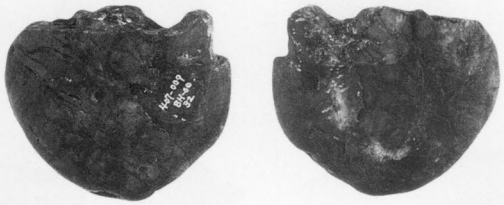


第15ブロック出土遺物写真（3）

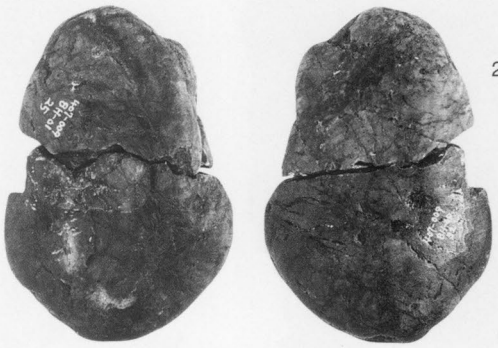


第16ブロック出土遺物写真（1）

22



㊲-15ブロック



22+㊲-15ブロック接合

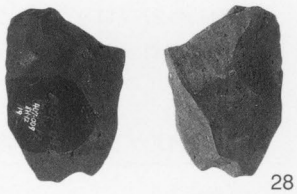
㊲-15ブロック

23+24+26+27接合

23

24

26



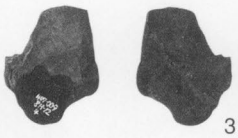
28

25

27

29

30



31

23+33接合

㊶-27ブロック

34

㊵-27ブロック

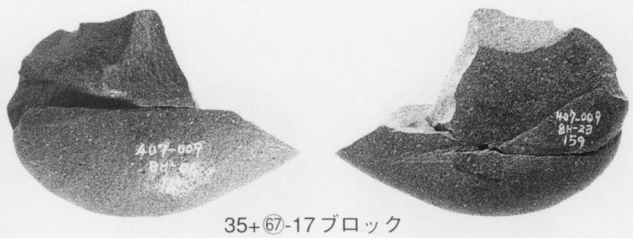
㊹-28ブロック

㊸-27ブロック

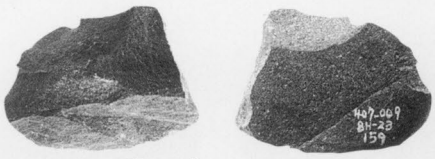
㊷-27ブロック

第16ブロック出土遺物写真（2）

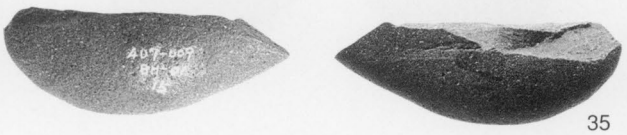
34+㊵-27ブロック+㊶-27ブロック+㊷-27ブロック
+㊸-27ブロック+㊹-27ブロック　接合



35+㊼-17ブロック

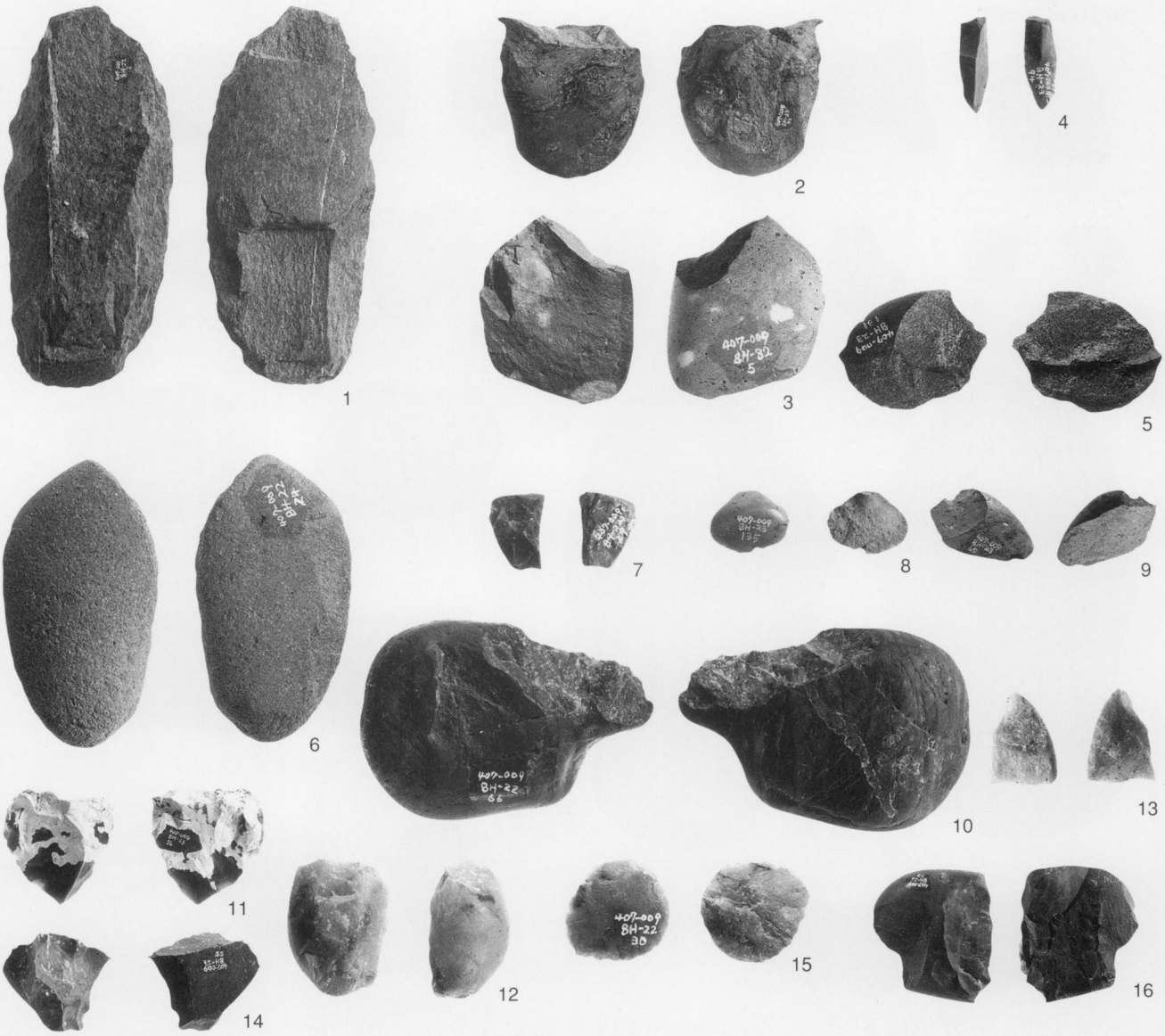


㊼-17ブロック

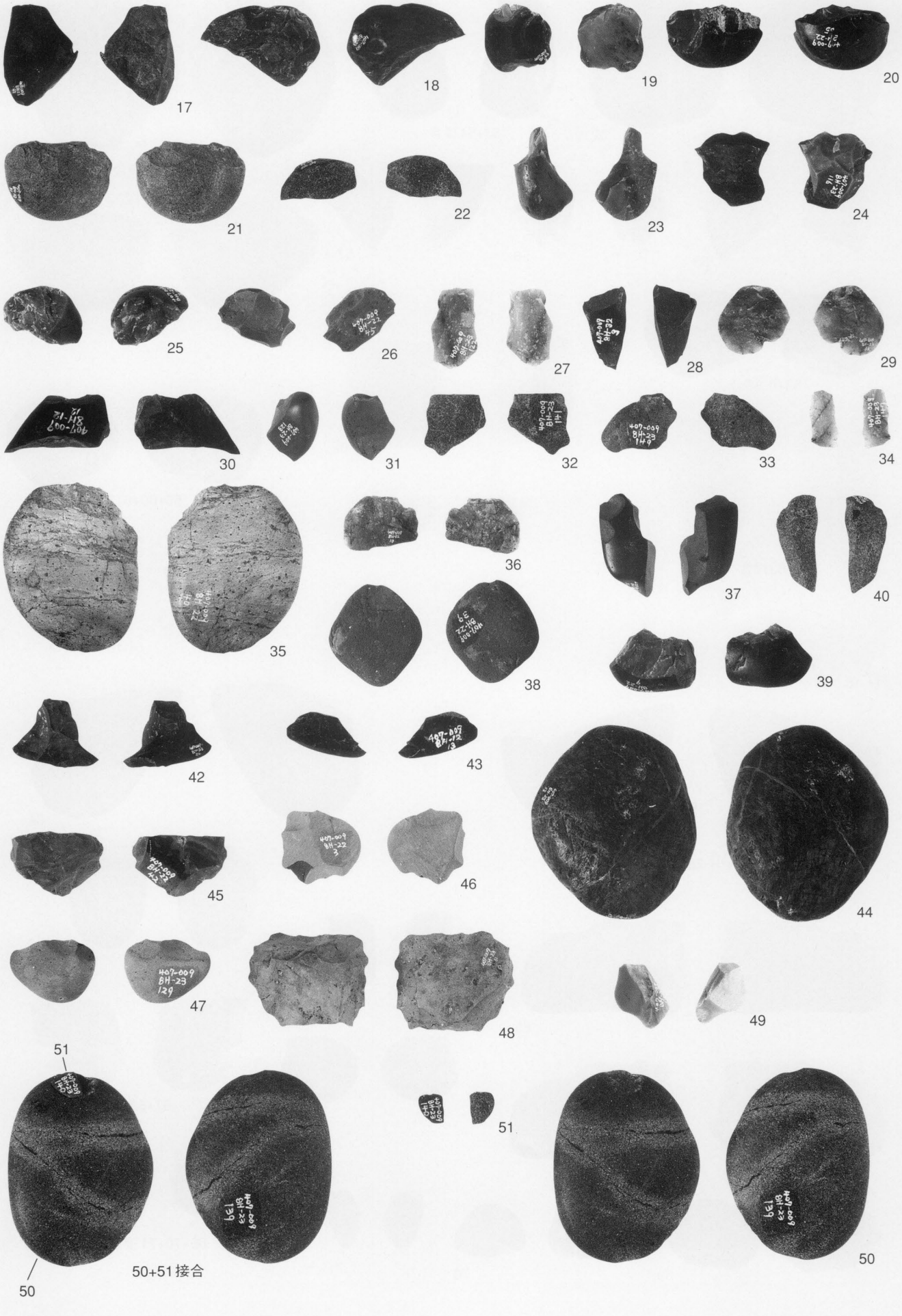


35

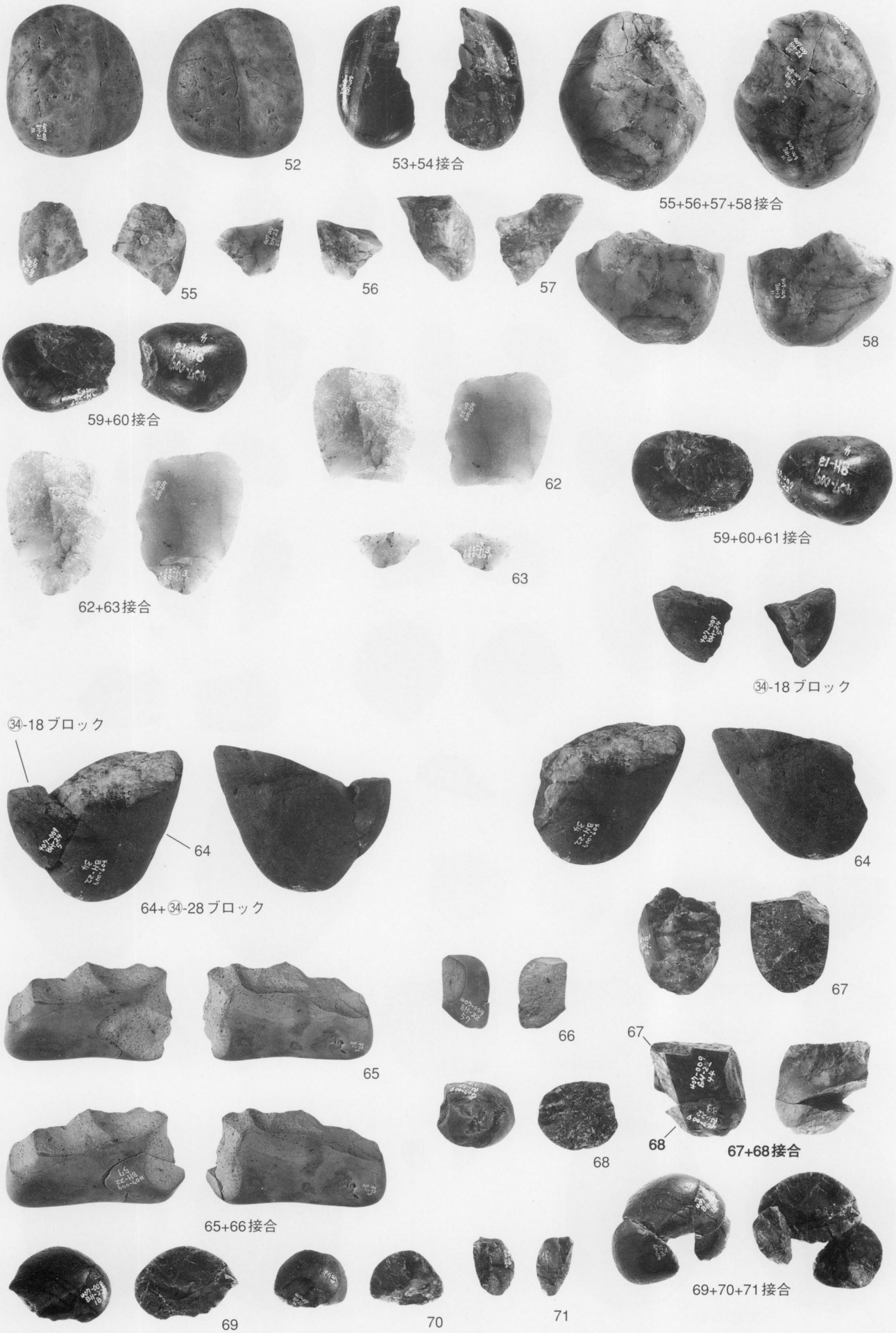
第16ブロック出土遺物写真（3）



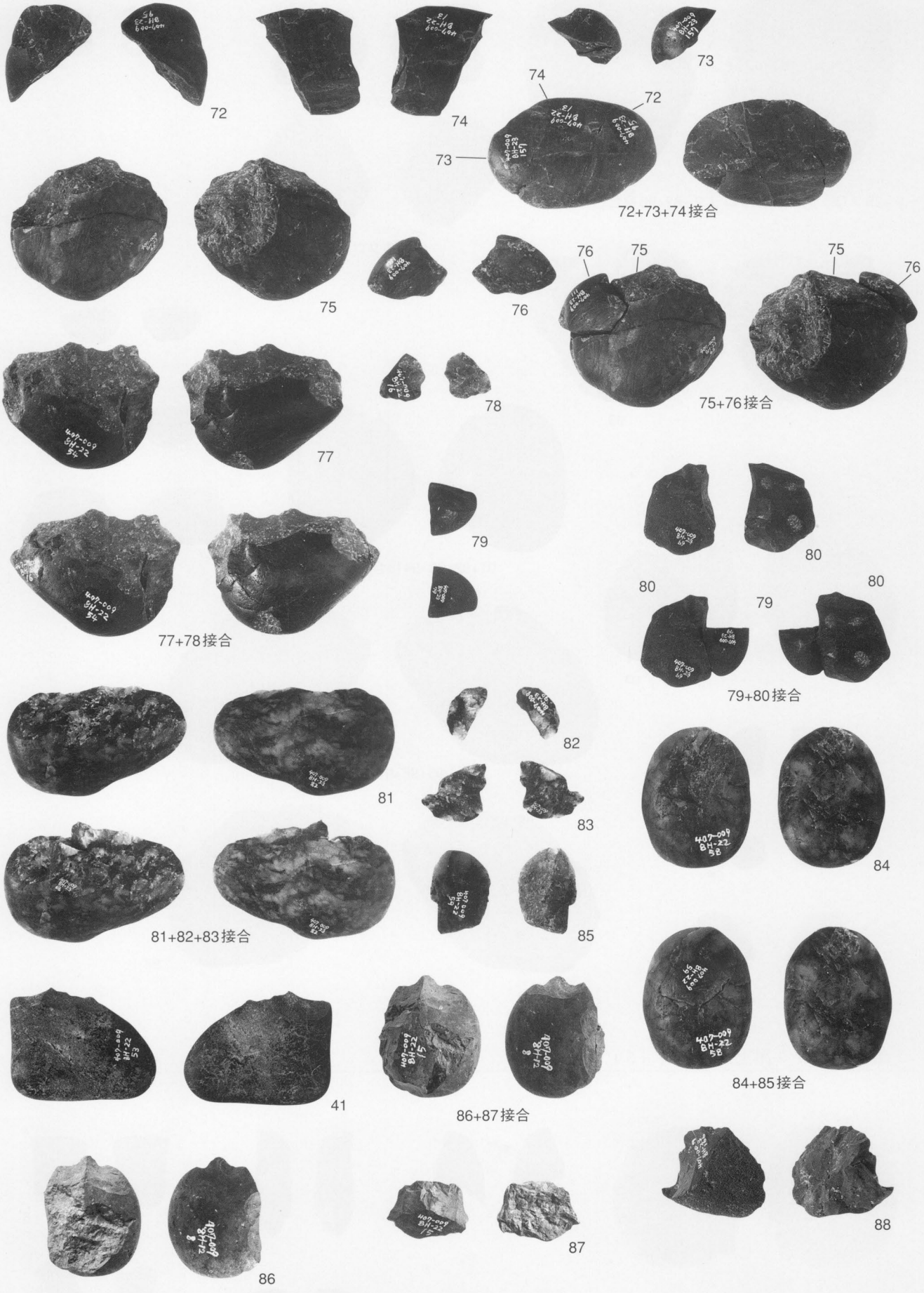
第17ブロック出土遺物写真（1）



第17ブロック出土遺物写真（2）

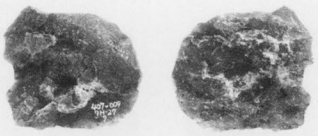


第17ブロック出土遺物写真（3）

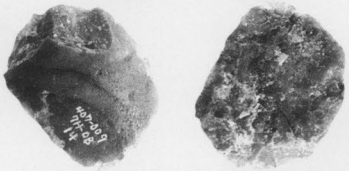


第17ブロック出土遺物写真（4）

⑨+25ブロック+㉑-26ブロック+89+90複合



⑨-25ブロック



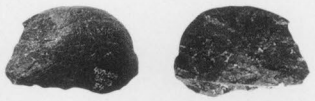
㉑-26ブロック

89

90

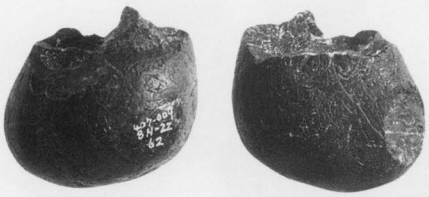
91

92



93

91+92+93+94接合



94

95

95+96+97+98接合

96

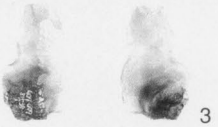
97

98

第17ブロック出土遺物写真（5）

1

2



3

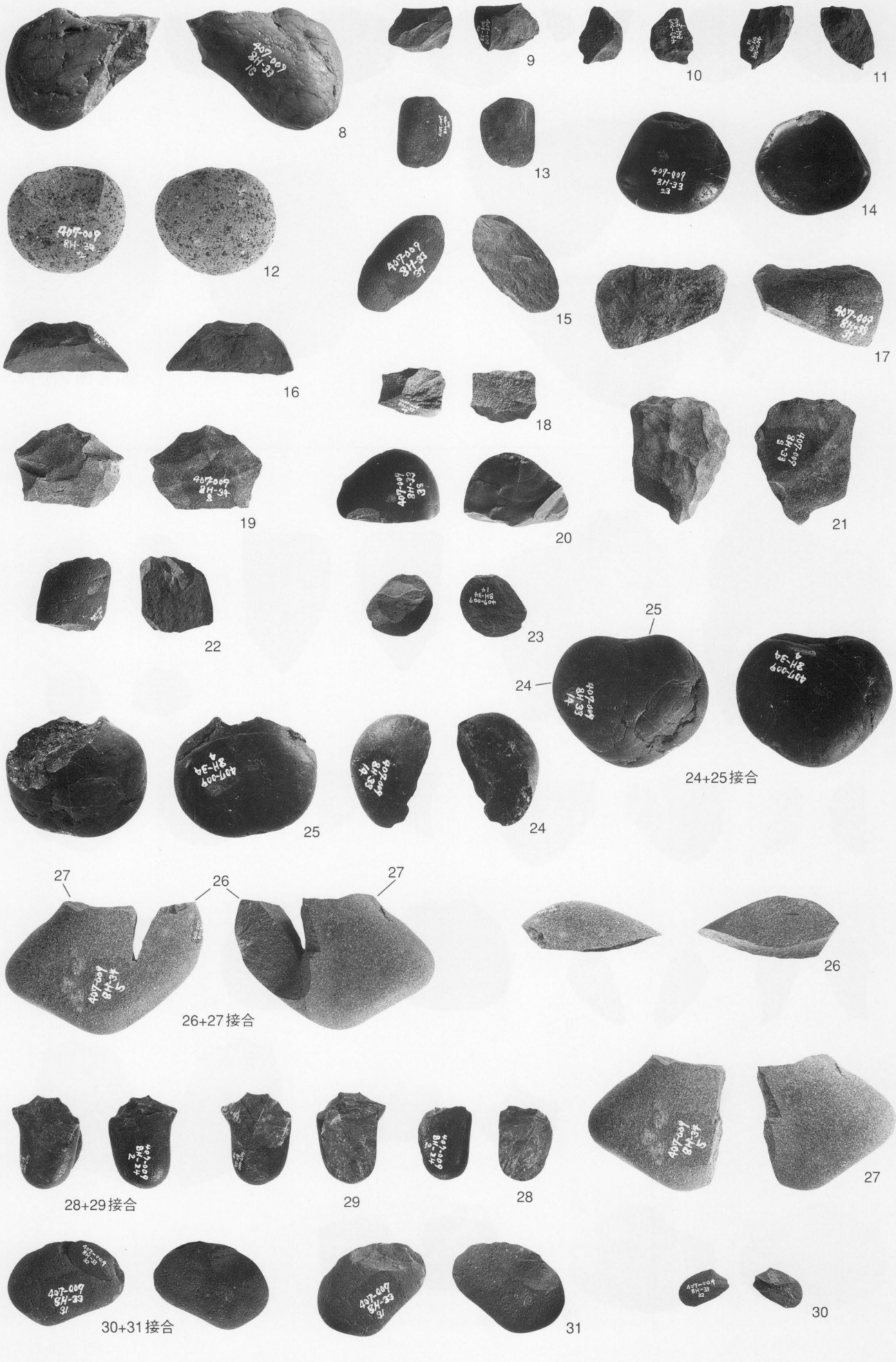
4

5

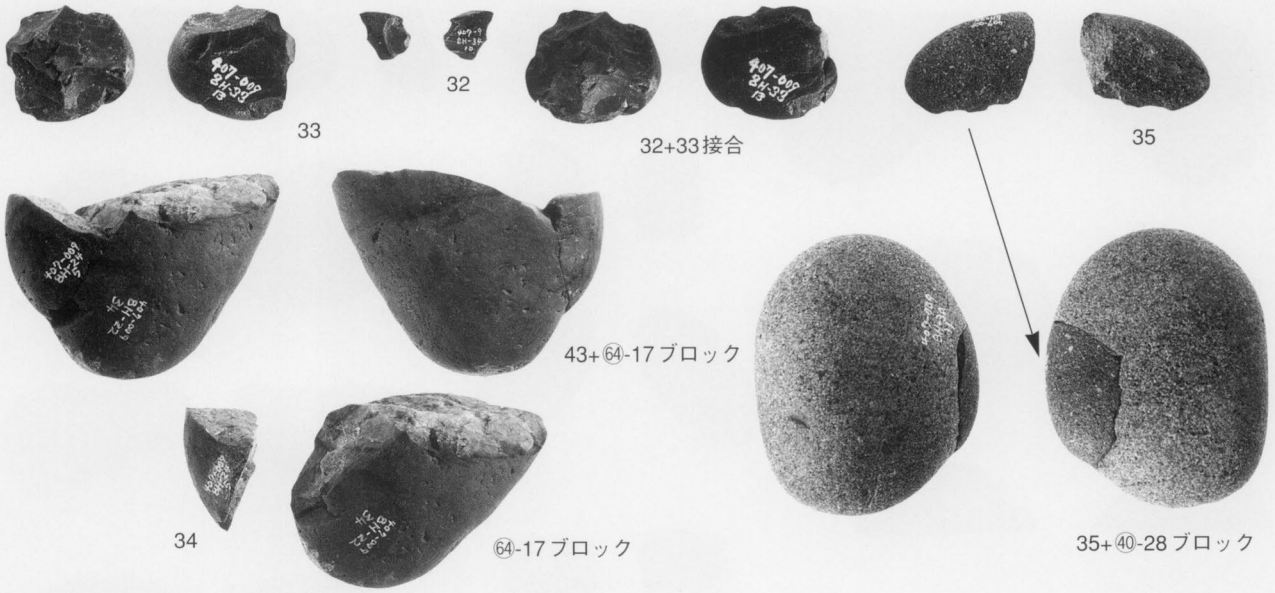
6

7

第18ブロック出土遺物写真（1）

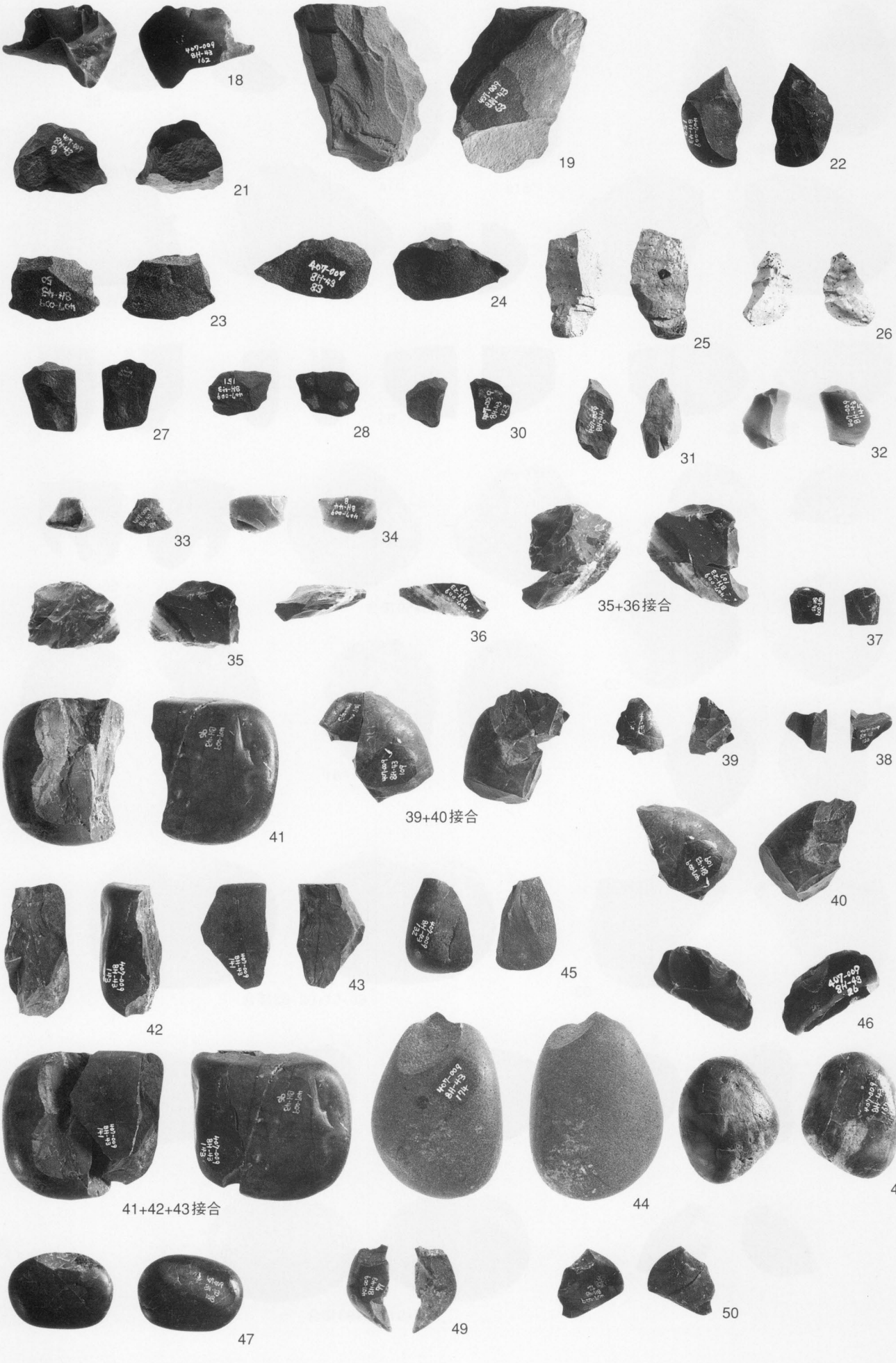


第18ブロック出土遺物写真（2）

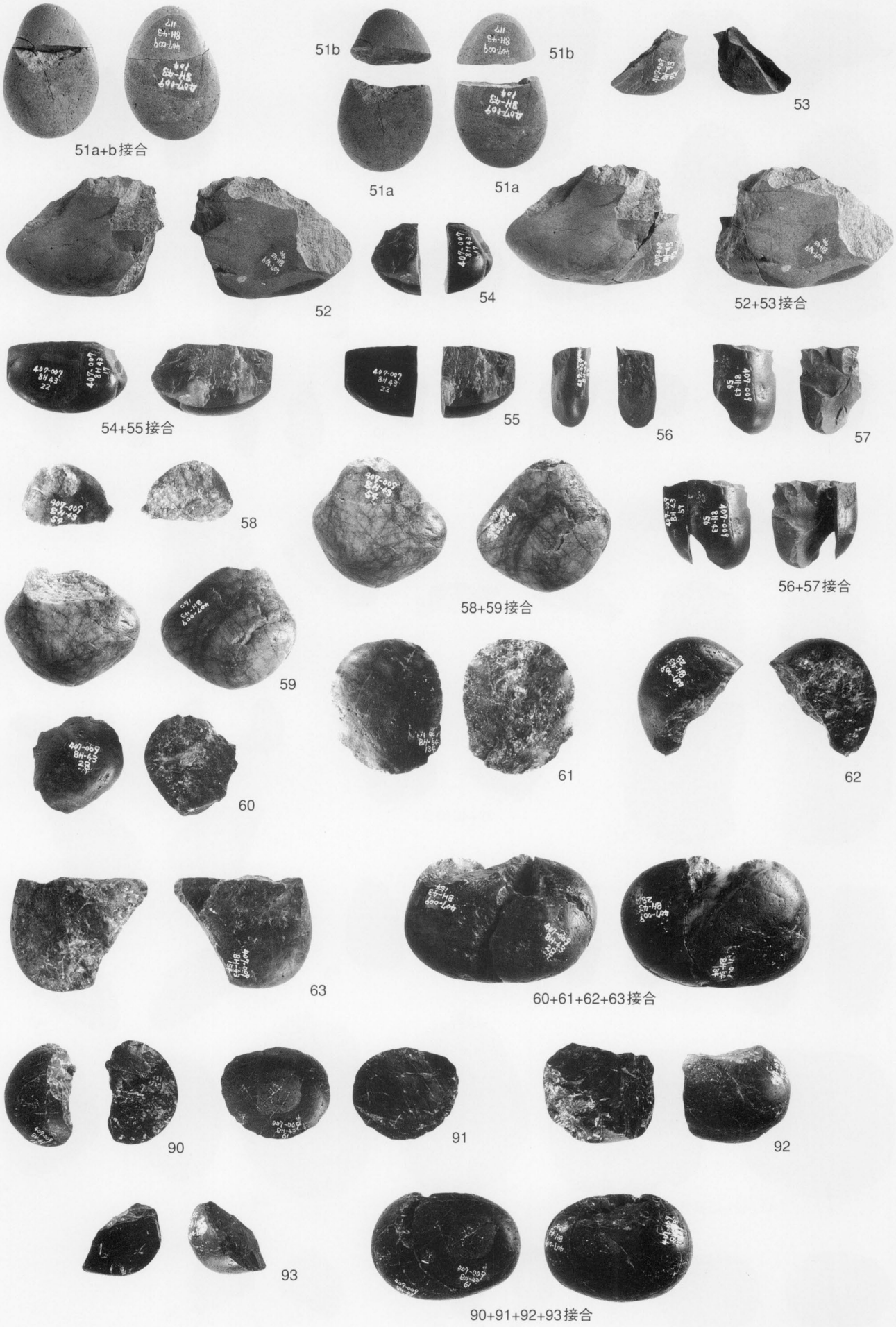


第18ブロック出土遺物写真（3）

第19ブロック出土遺物写真（1）



第19ブロック出土遺物写真（2）



第19ブロック出土遺物写真（3）

64

66

65

64+65+66接合

67

68+69接合

78

76 75 71 77 70

73 74 79 72

80+81+82+83+84+85+86+87+88+89+90接合

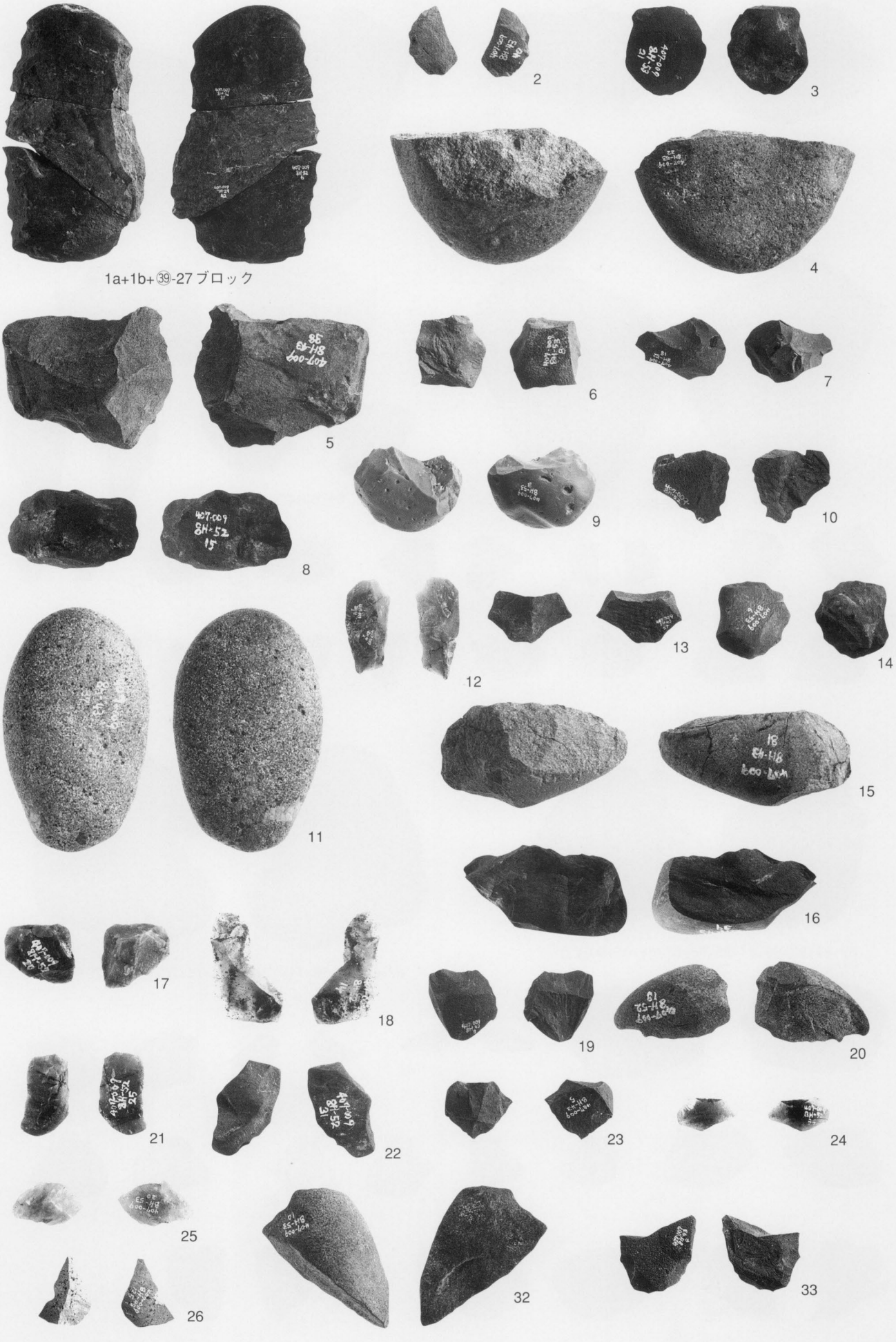
67+68+69+70+71+72+73+74+75+76+77+78+79接合

80 81 82 83

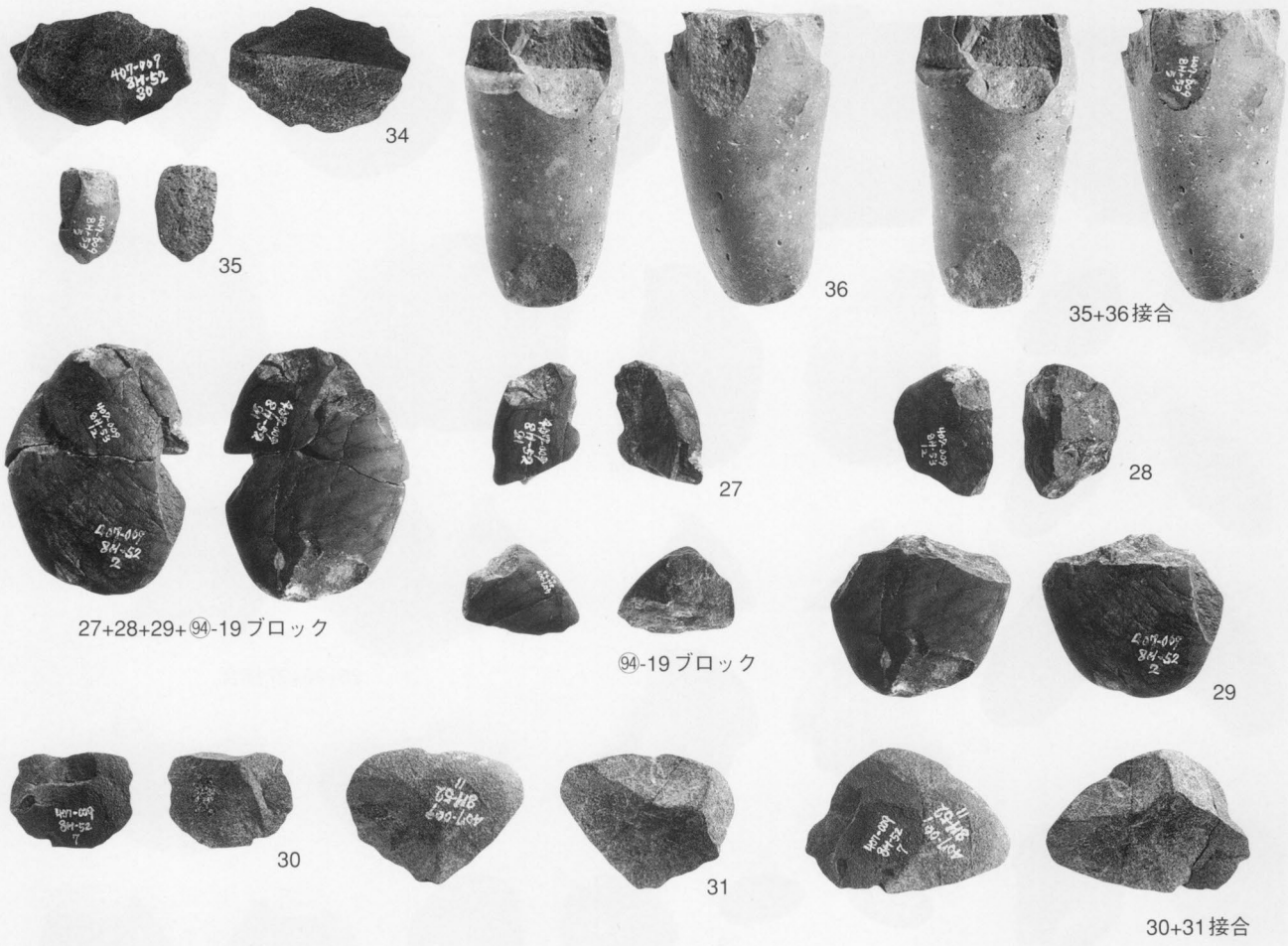
84 85 86 87

88 89 90

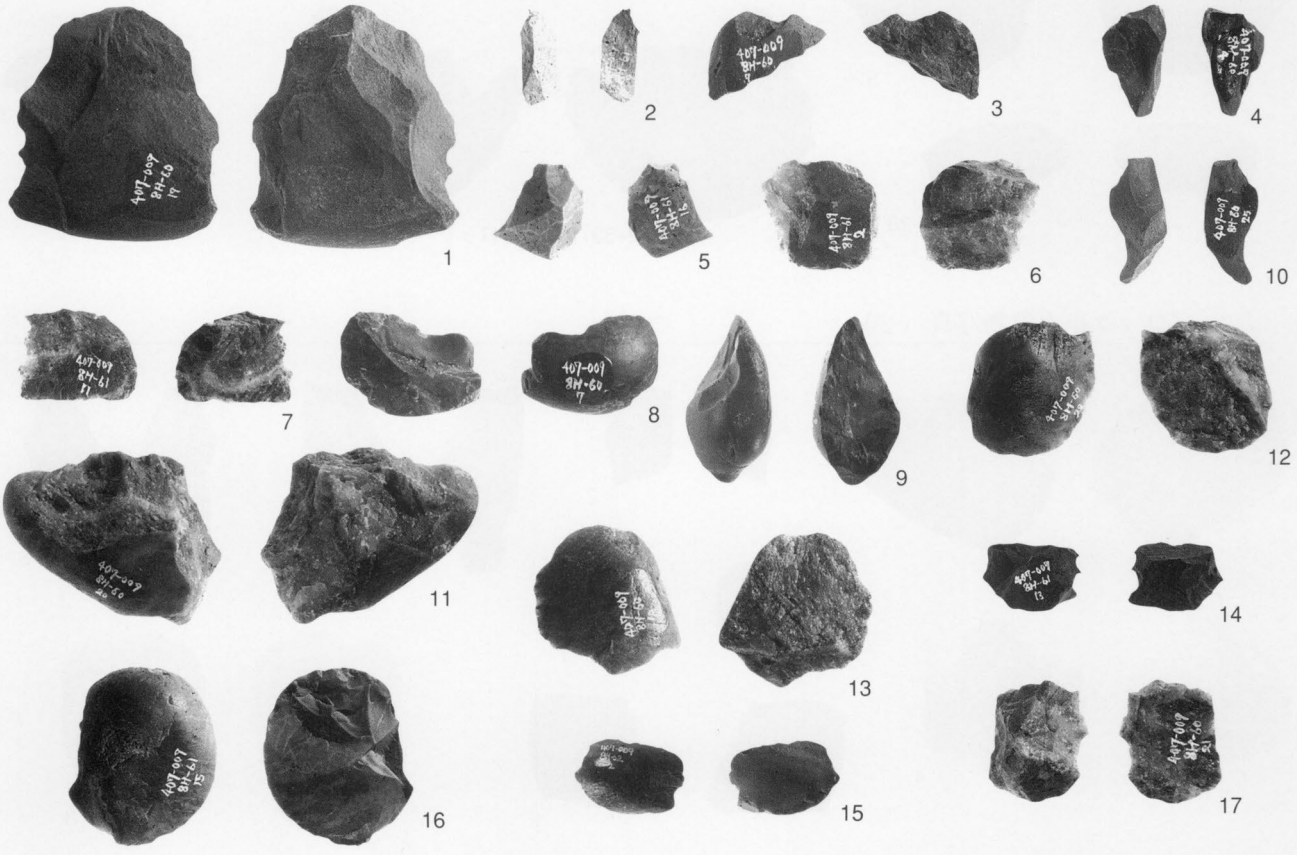
第19ブロック出土遺物写真（4）



第20ブロック出土遺物写真（1）

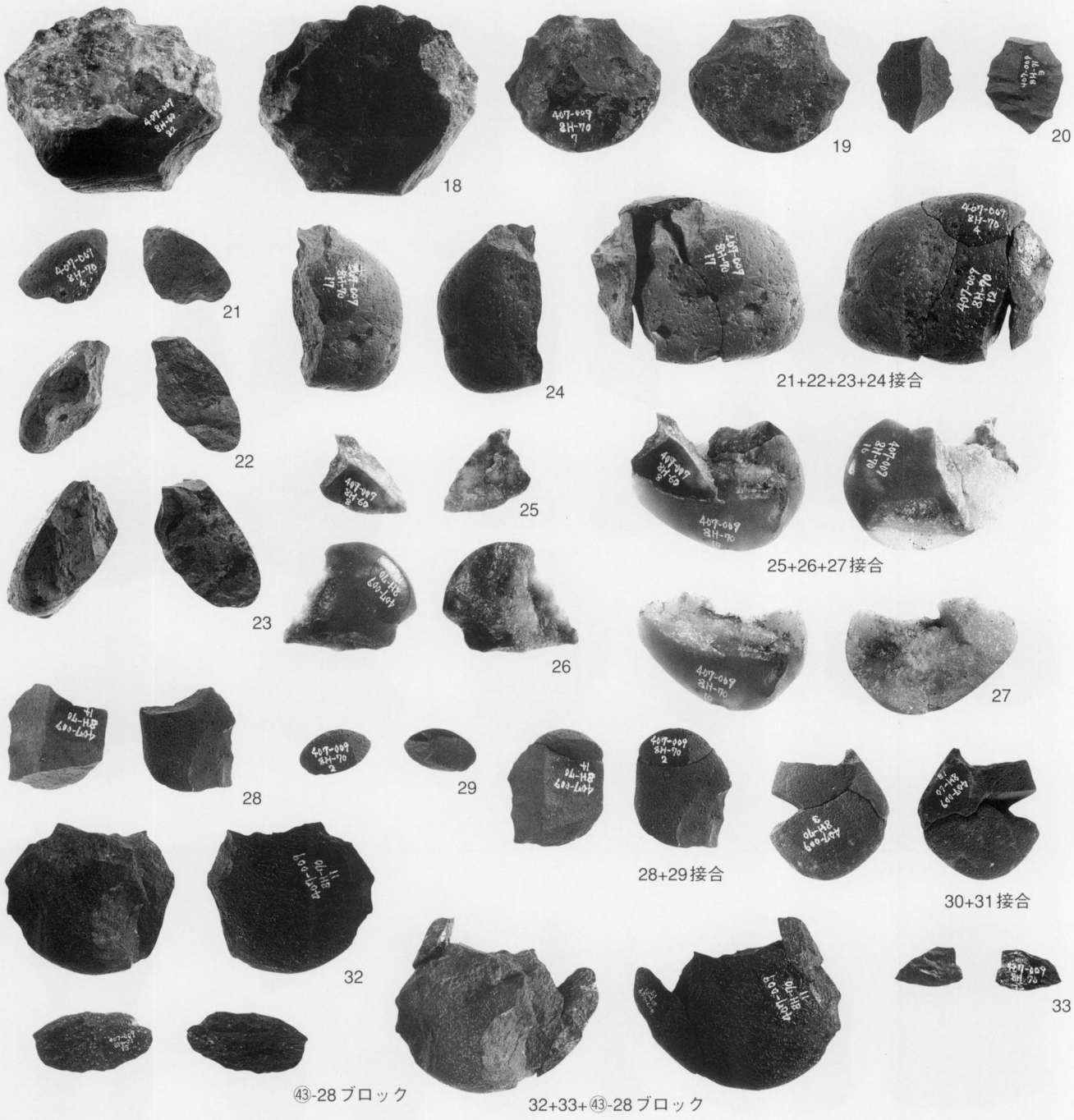


第20ブロック出土遺物写真（2）

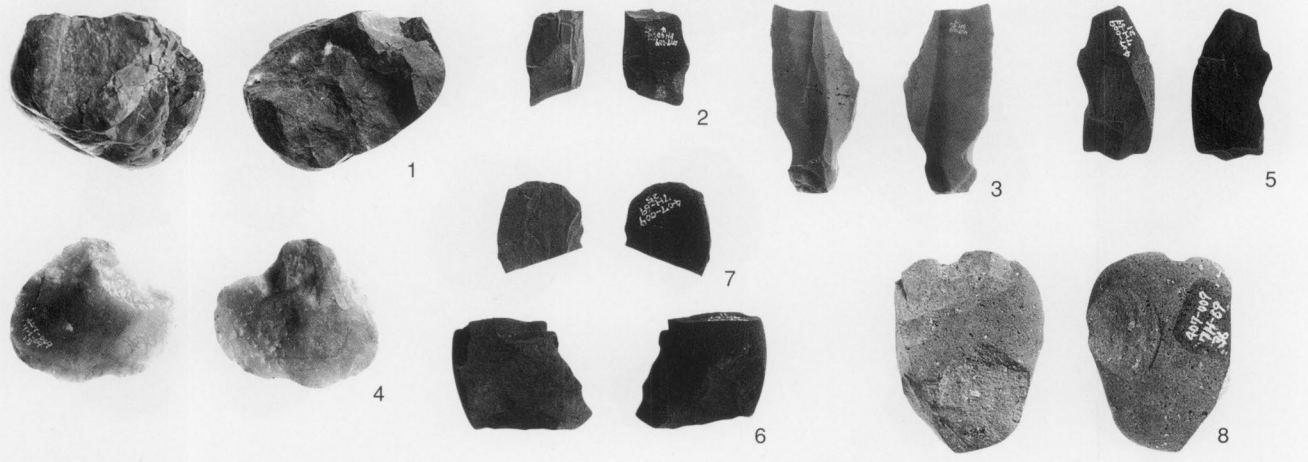


第21ブロック出土遺物写真（1）

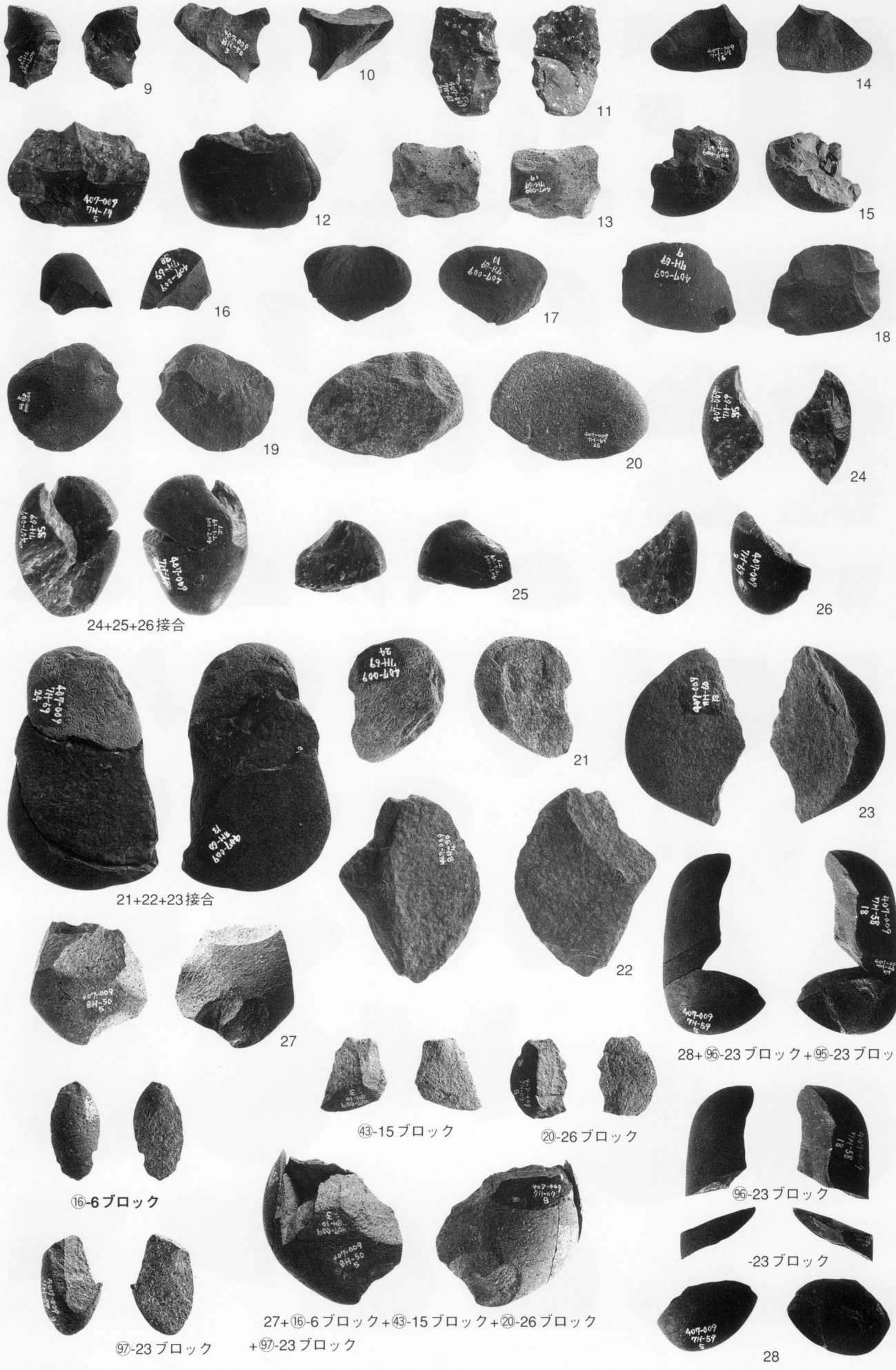
図版28



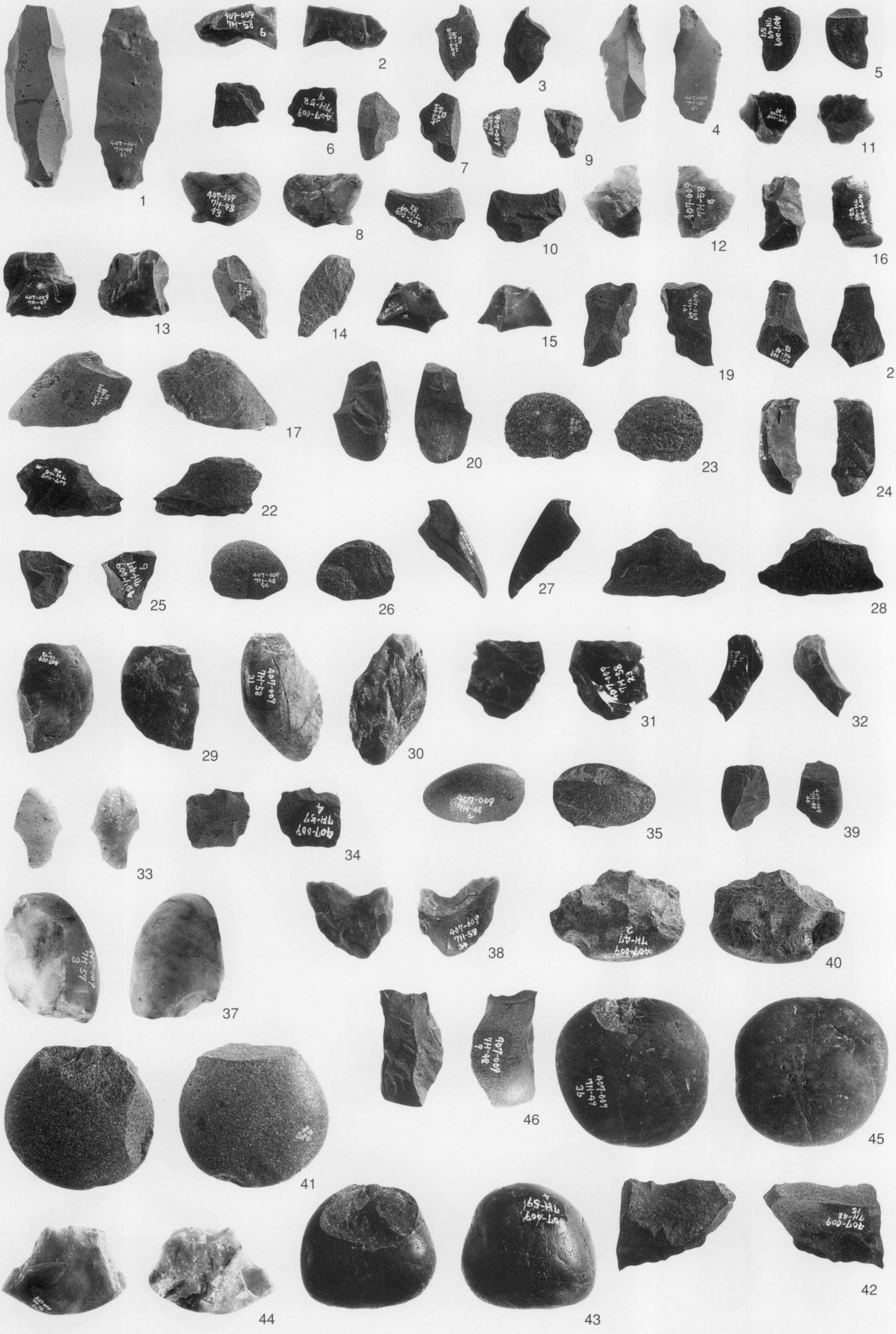
第21ブロック出土遺物写真（2）



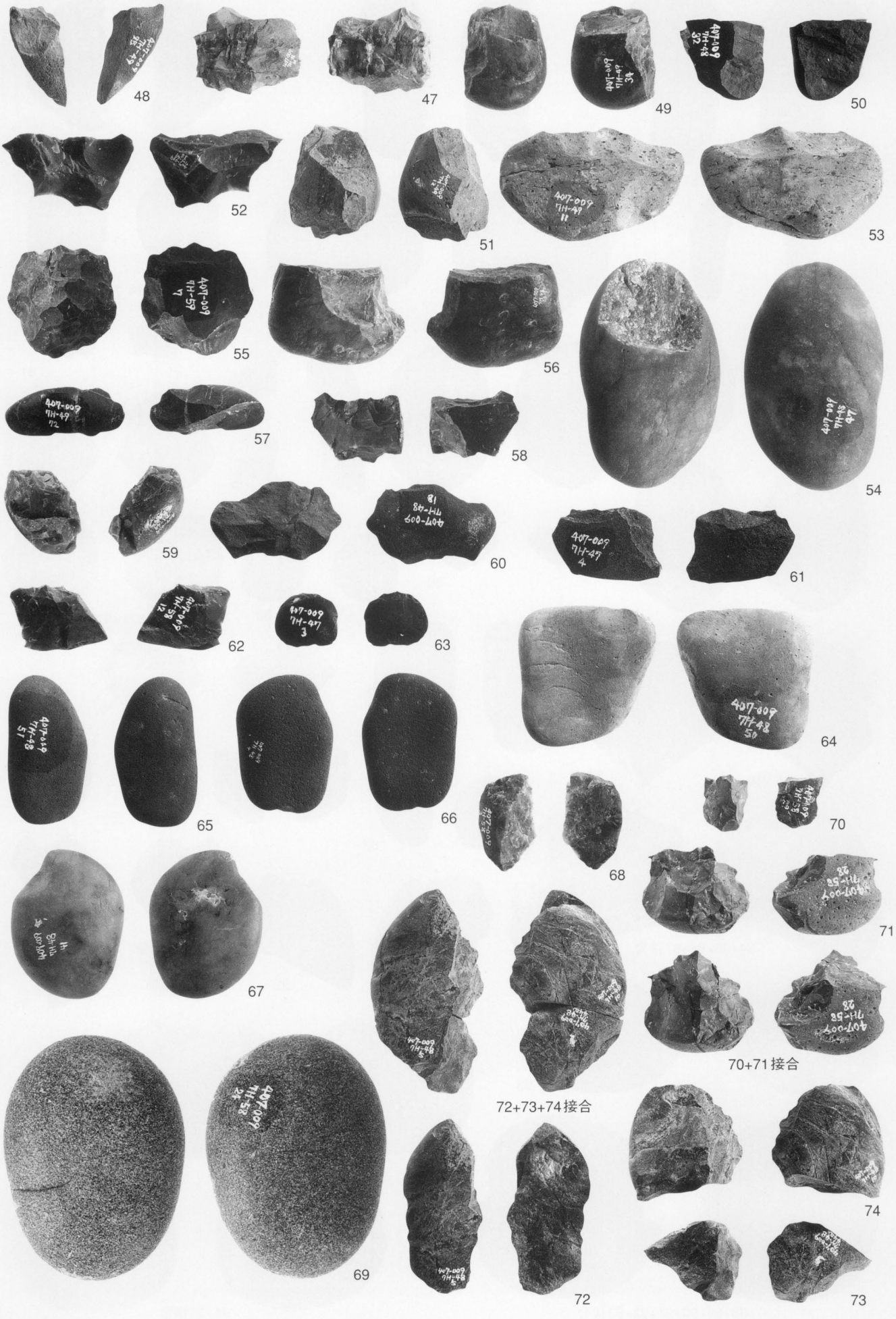
第22ブロック出土遺物写真（1）



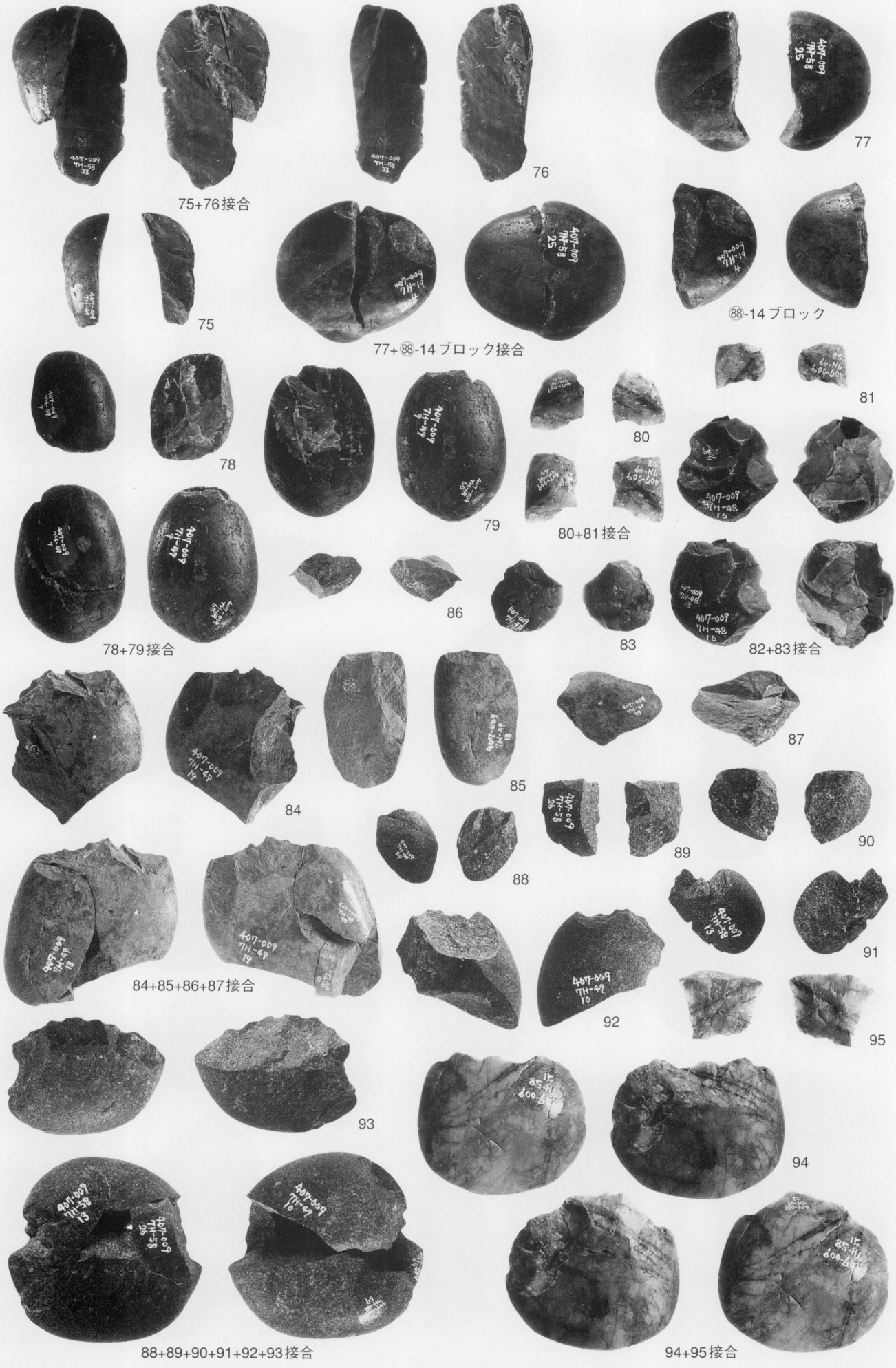
第22ブロック出土遺物写真（2）



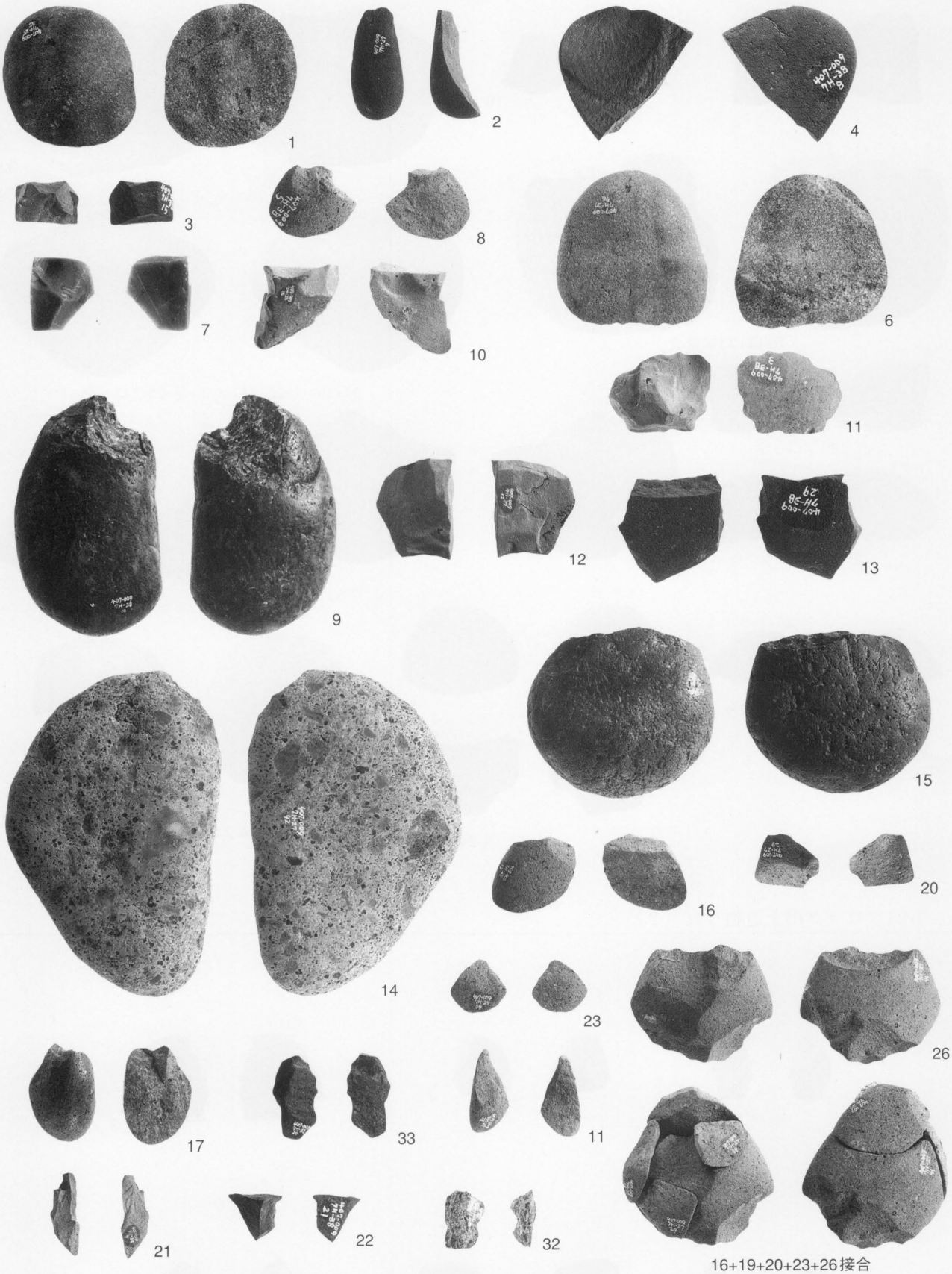
第23ブロック出土遺物写真（1）



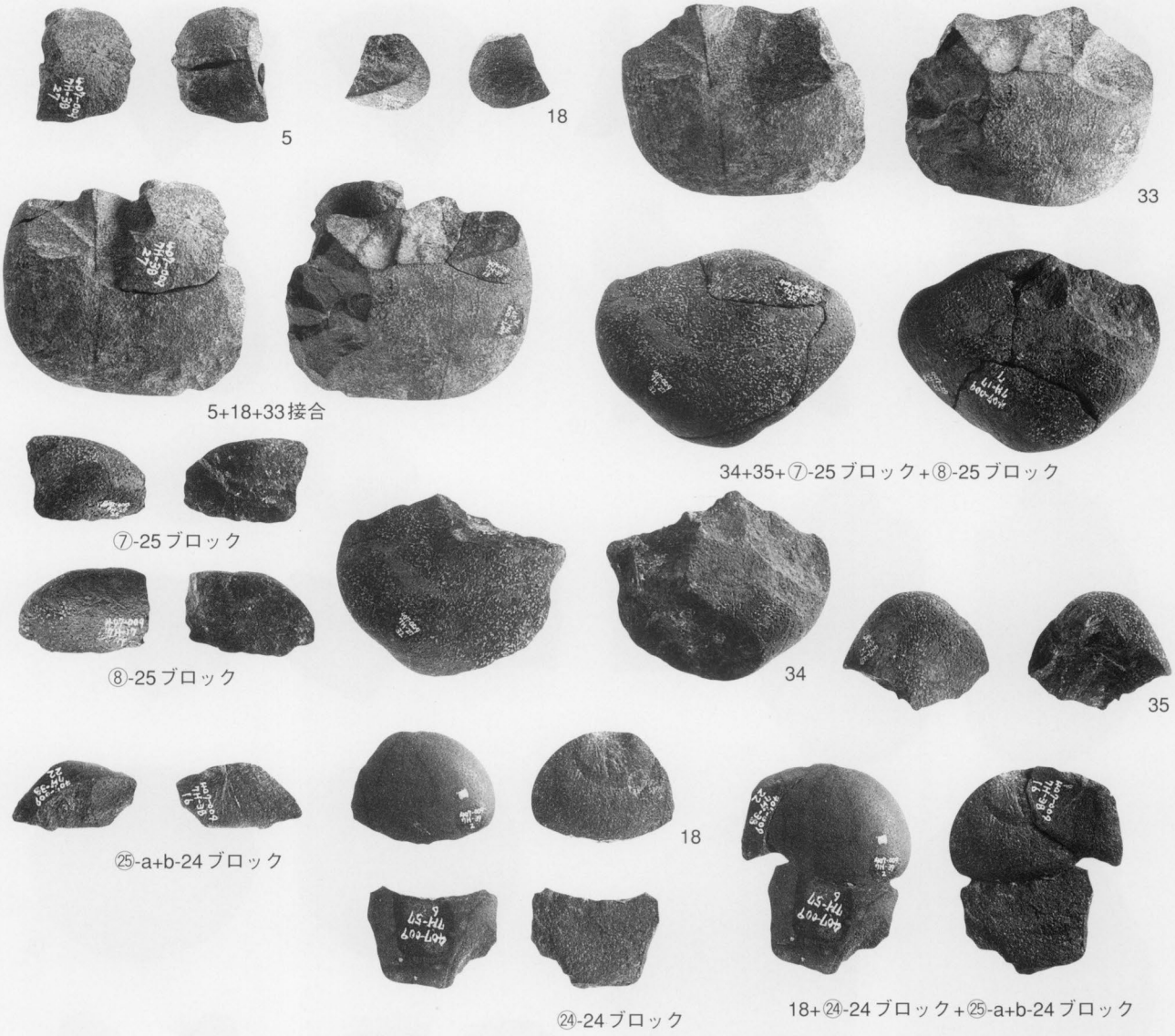
第23ブロック出土遺物写真（２）



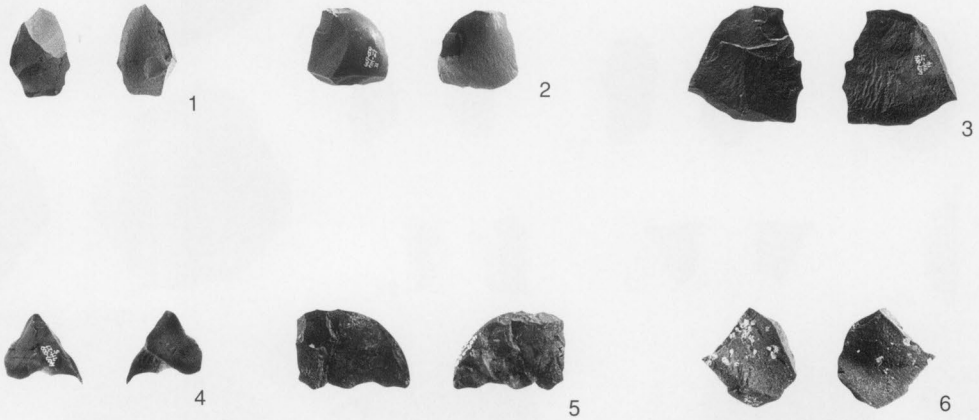
第23ブロック出土遺物写真（3）



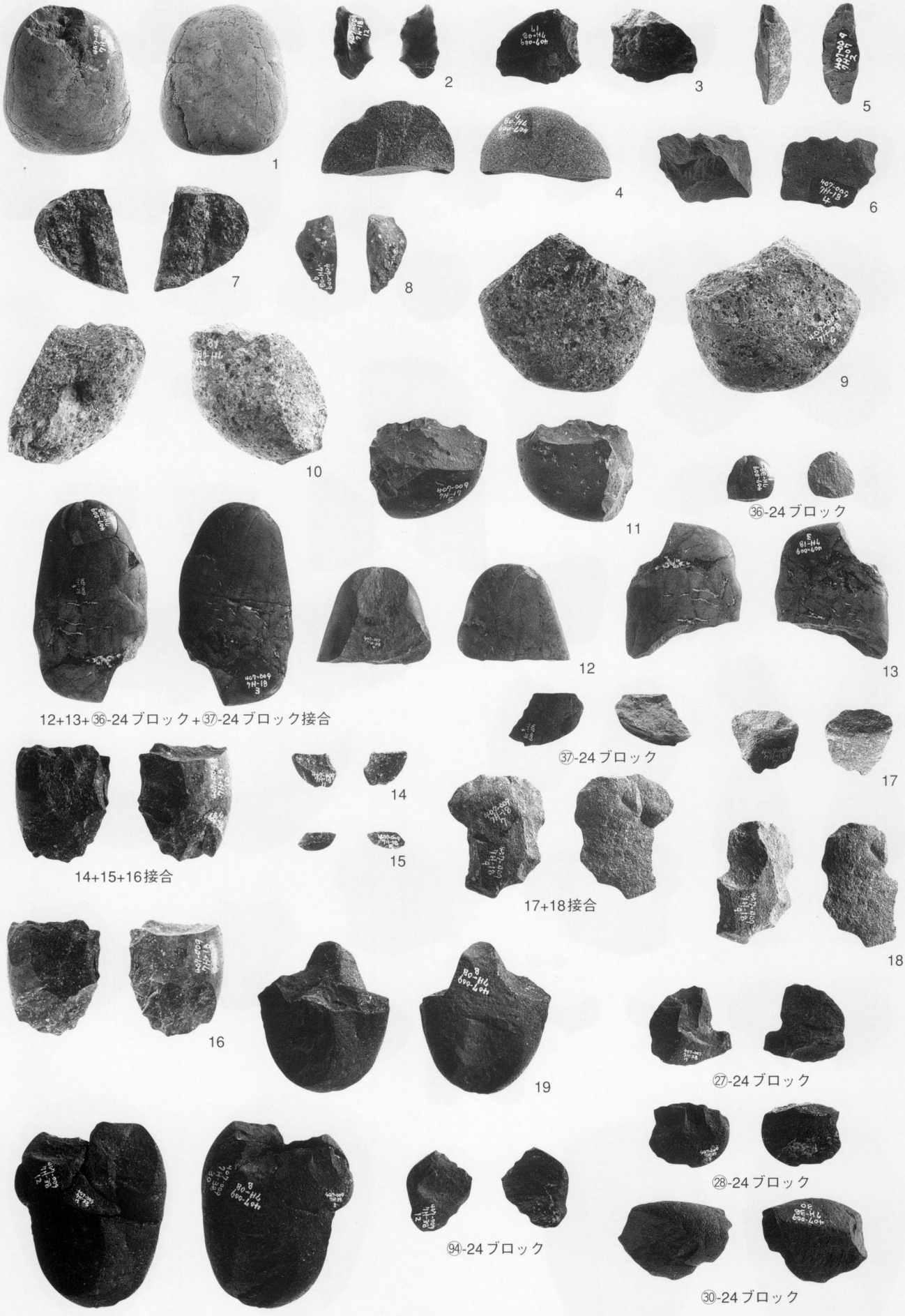
第24ブロック出土遺物写真（1）



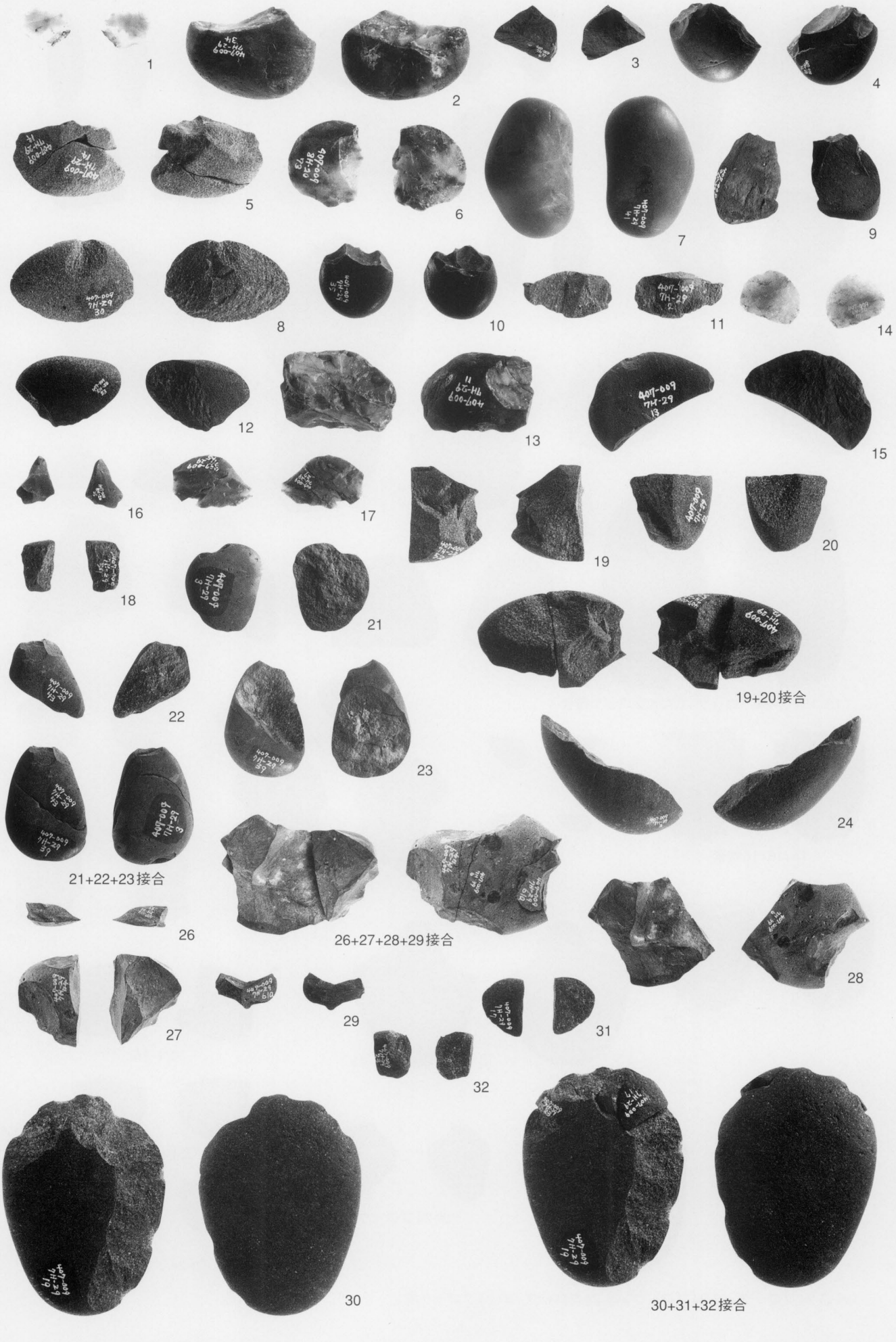
第24ブロック出土遺物写真（2）



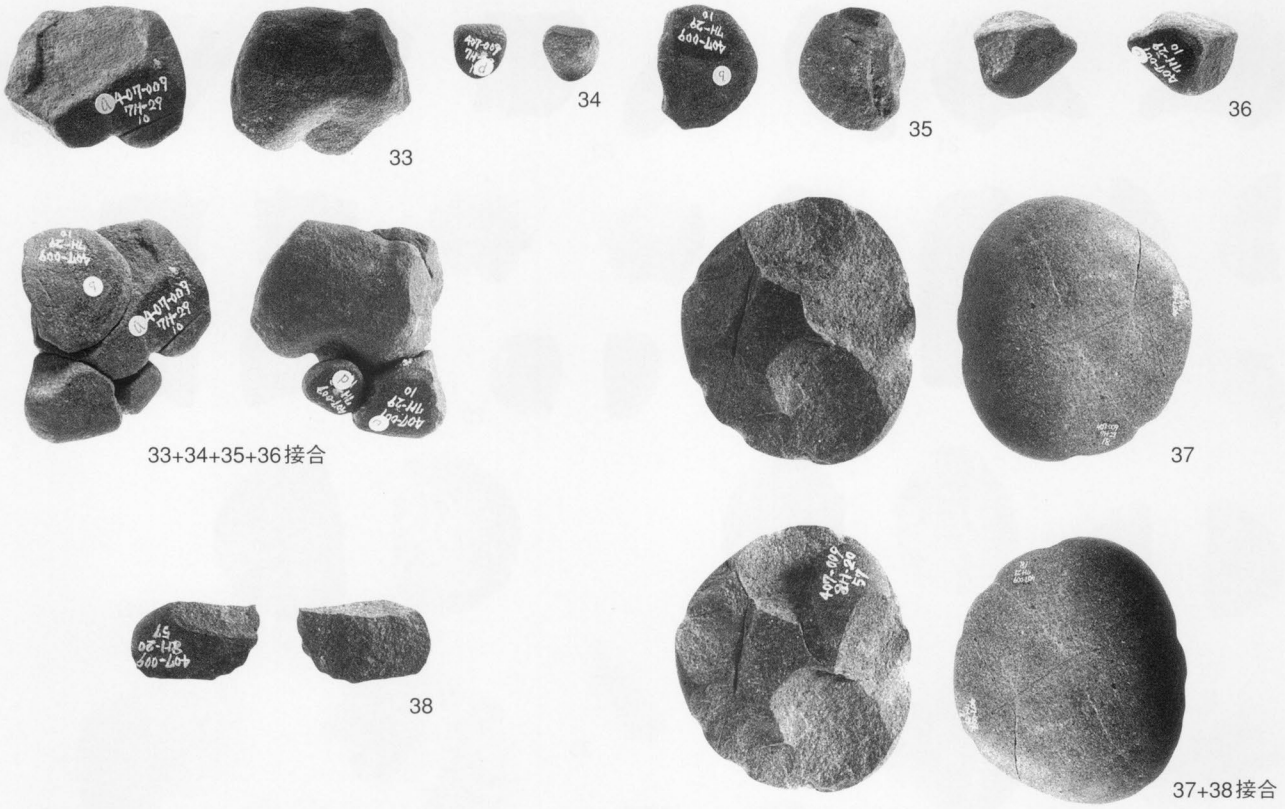
第25ブロック出土遺物写真



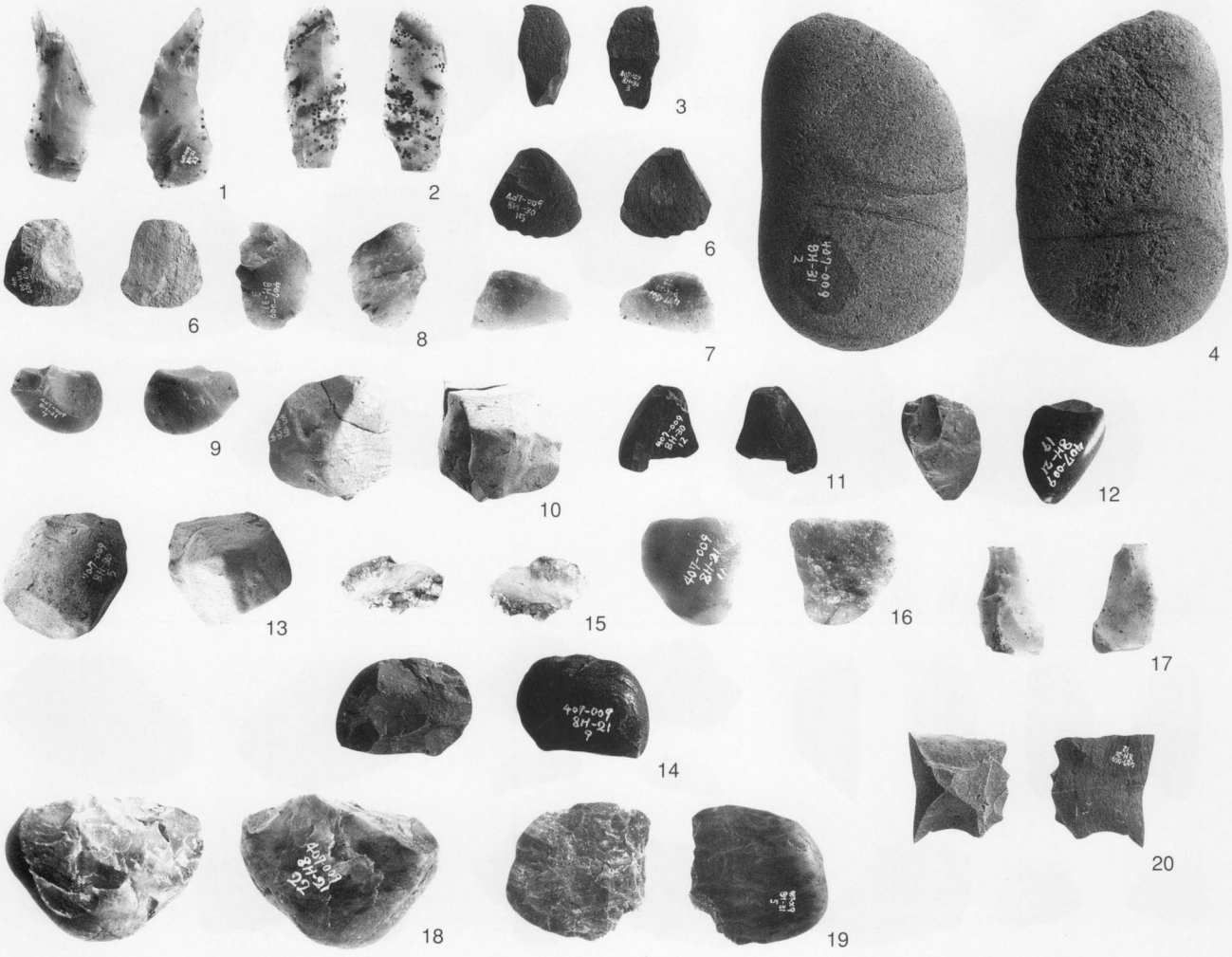
第26ブロック出土遺物写真



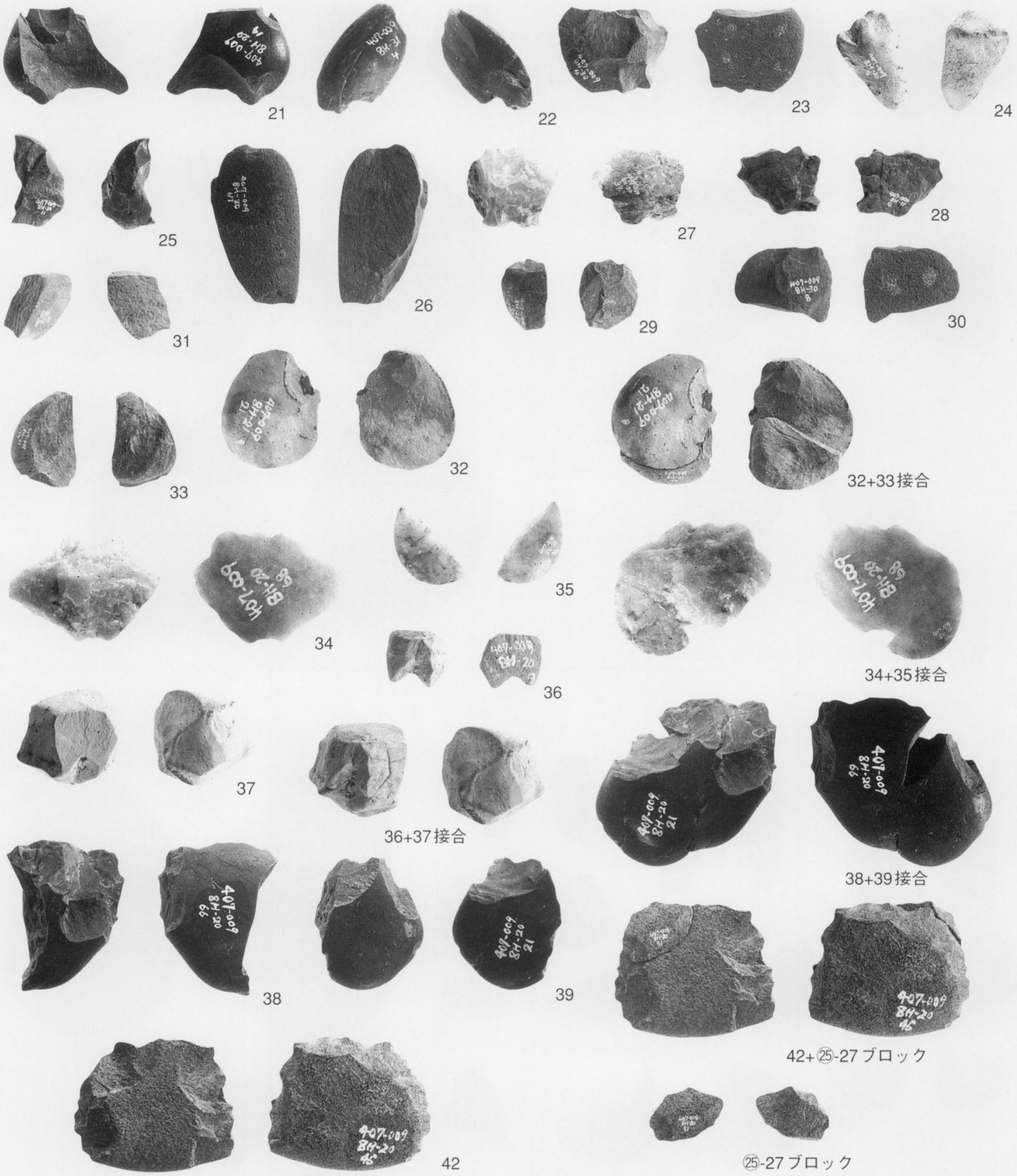
第27ブロック出土遺物写真（1）



第27ブロック出土遺物写真（2）



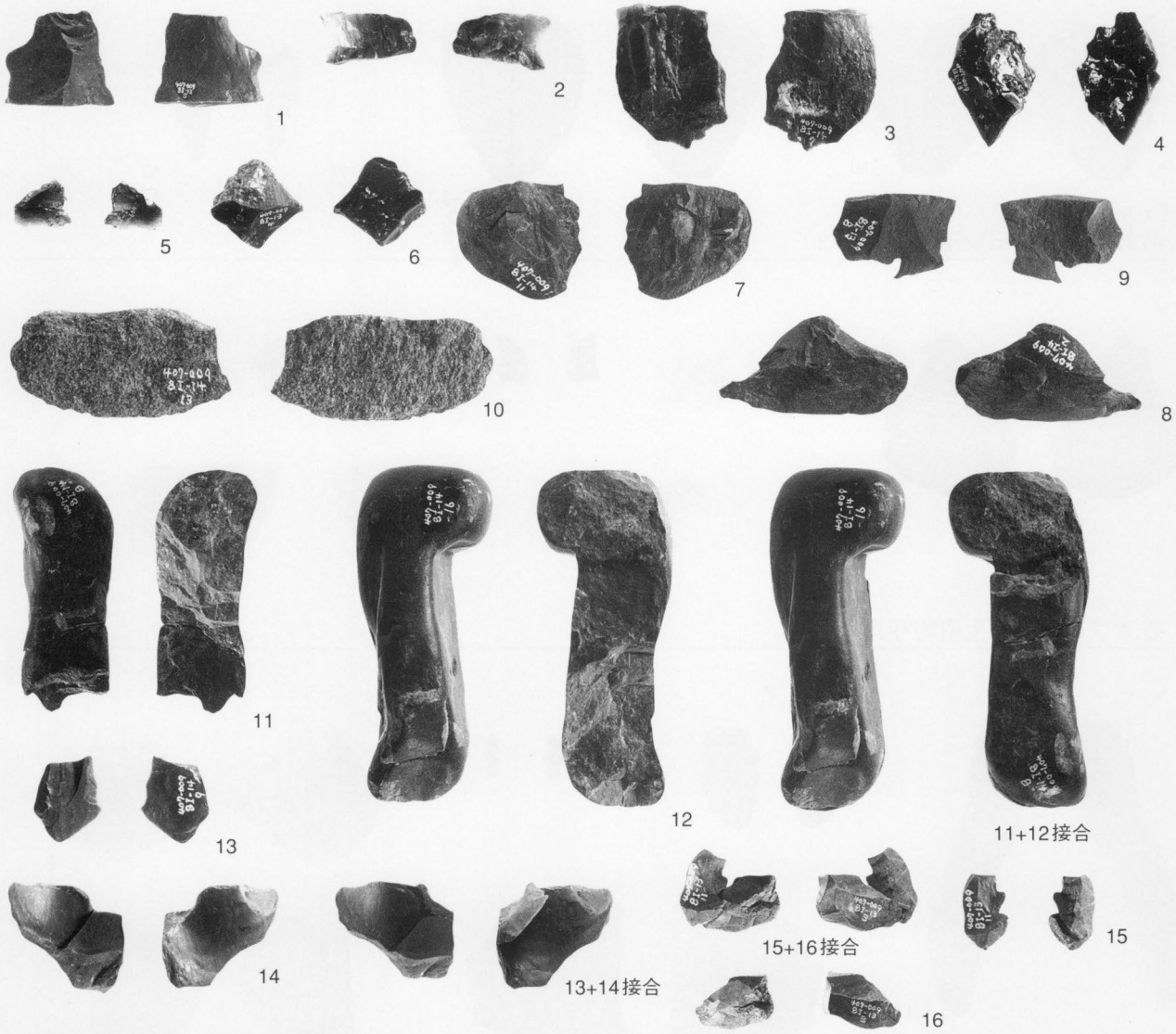
第28ブロック出土遺物写真（1）



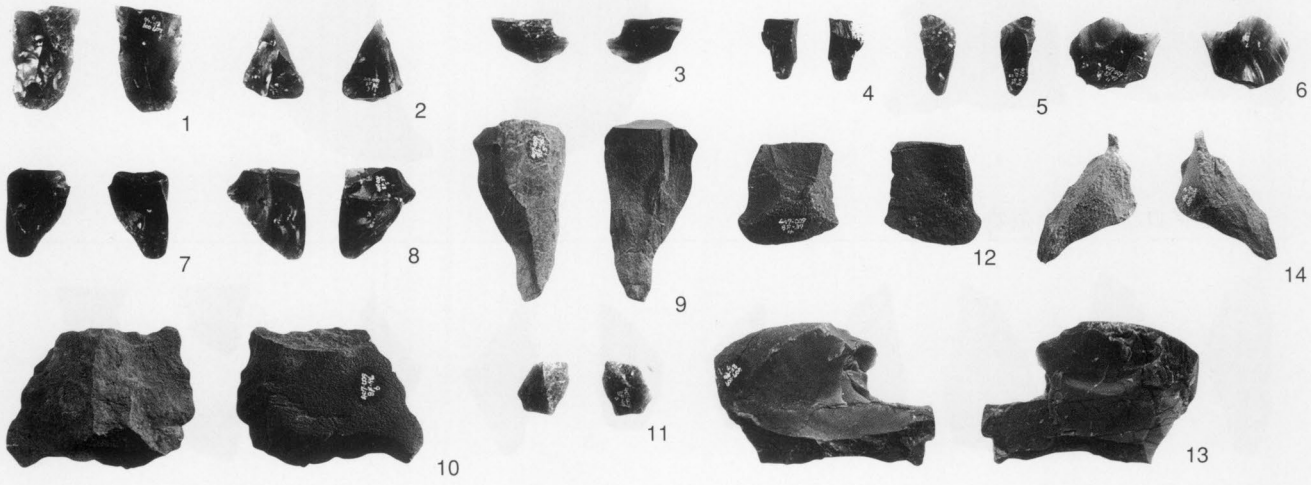
第28ブロック出土遺物写真（2）

第29ブロック出土遺物写真（1）

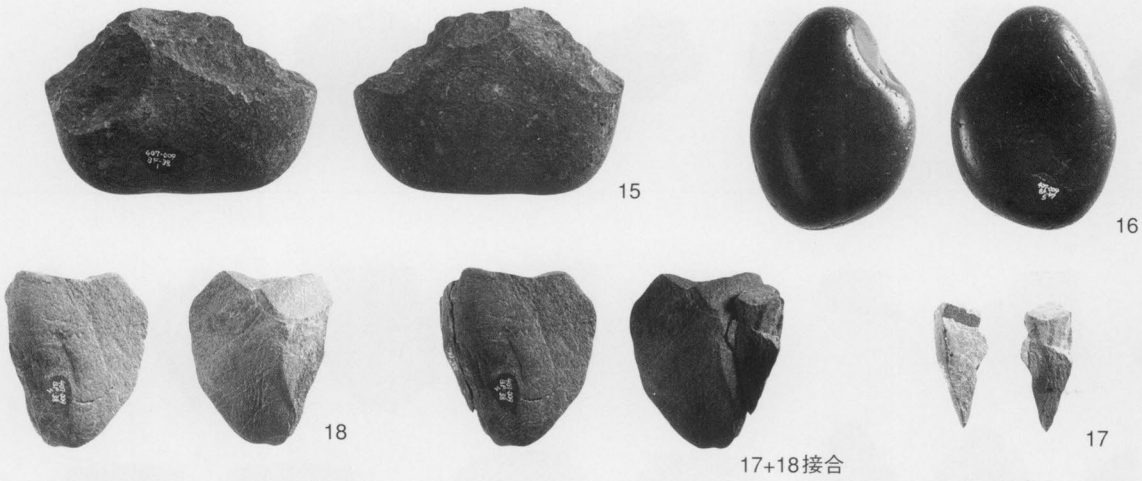
第29ブロック出土遺物写真（2）



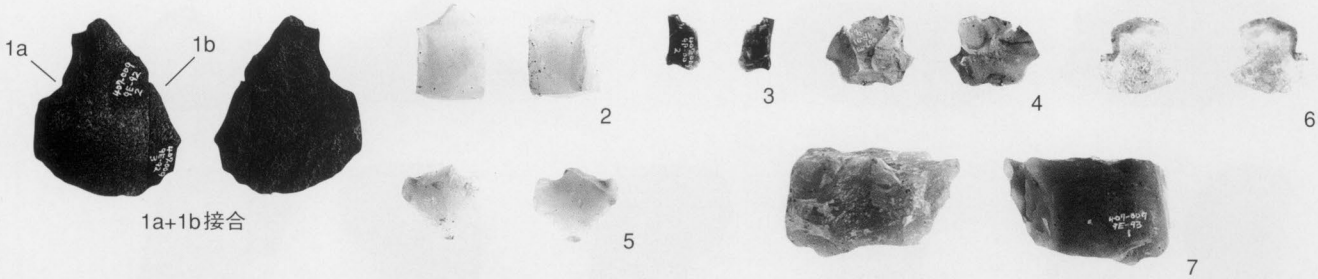
第30ブロック出土遺物写真



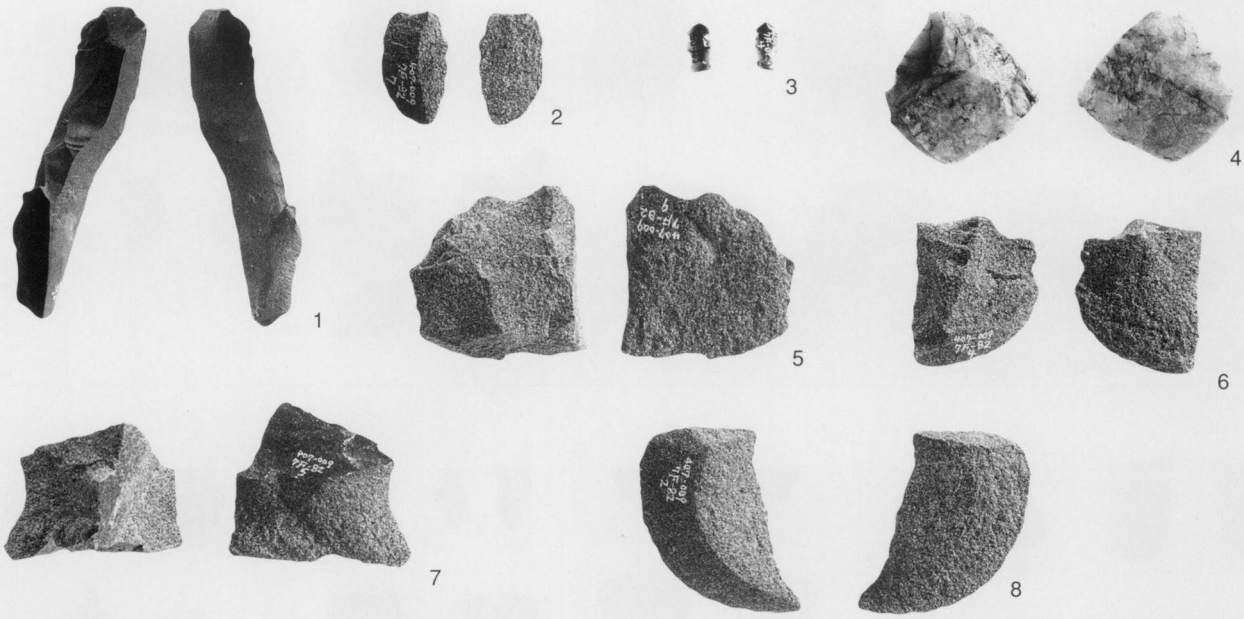
第31ブロック出土遺物写真（1）



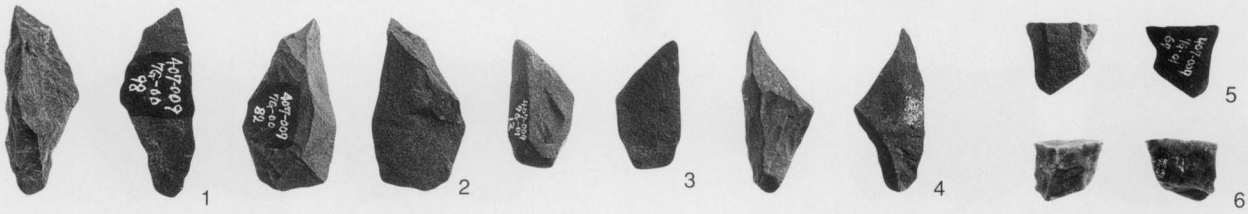
第31ブロック出土遺物写真（2）



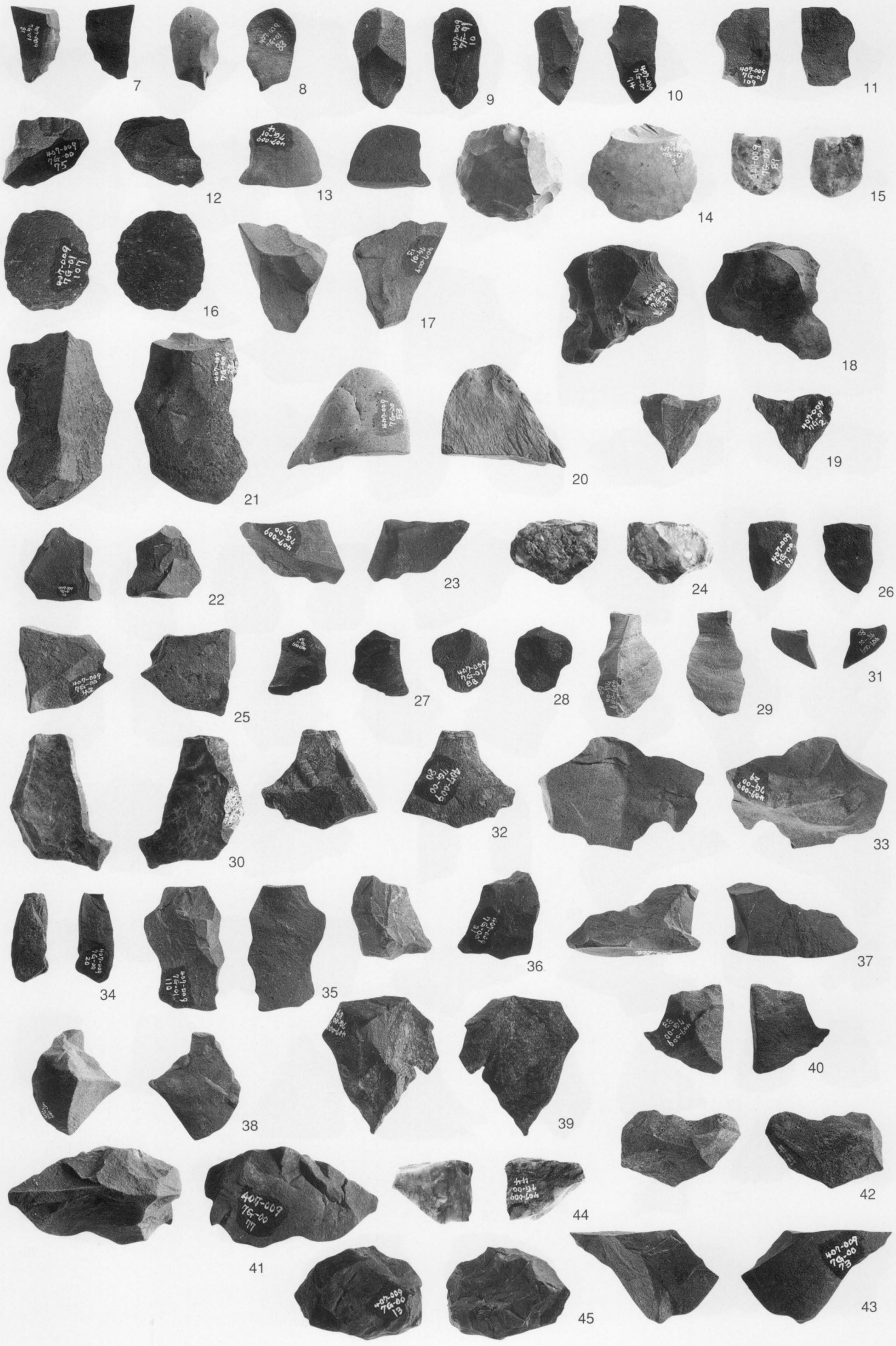
第32ブロック出土遺物写真



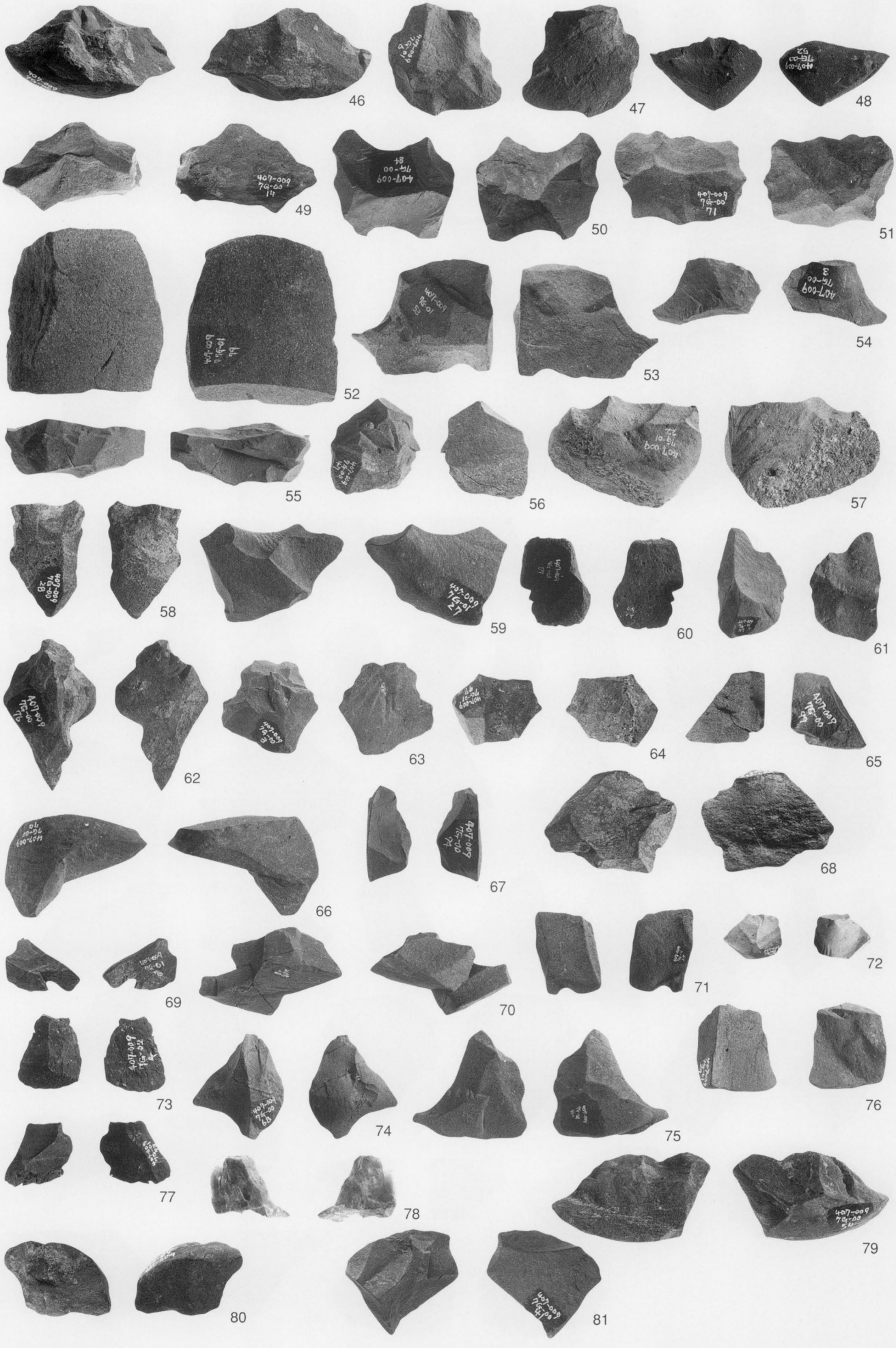
第33ブロック出土遺物写真



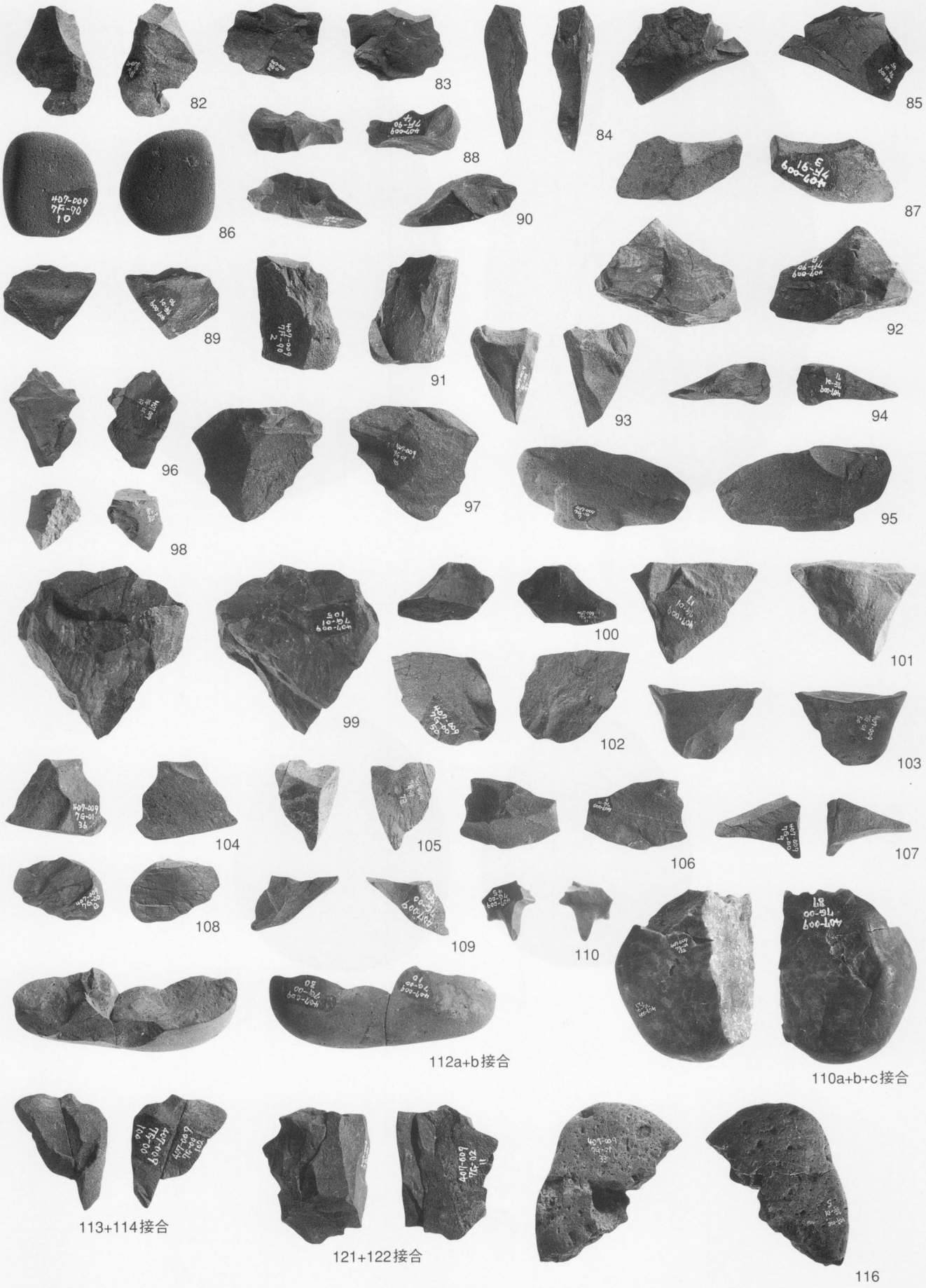
第34ブロック出土遺物写真（1）



第34ブロック出土遺物写真（2）



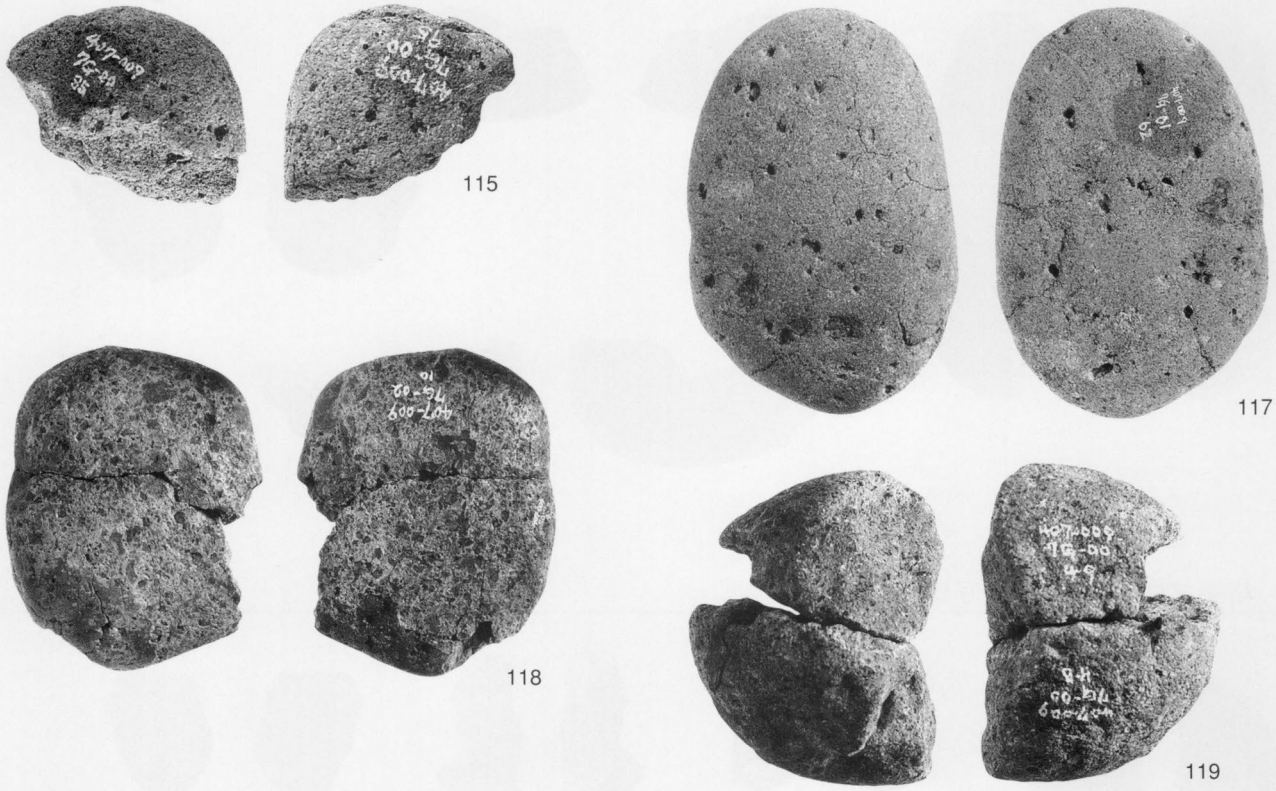
第34ブロック出土遺物写真（3）



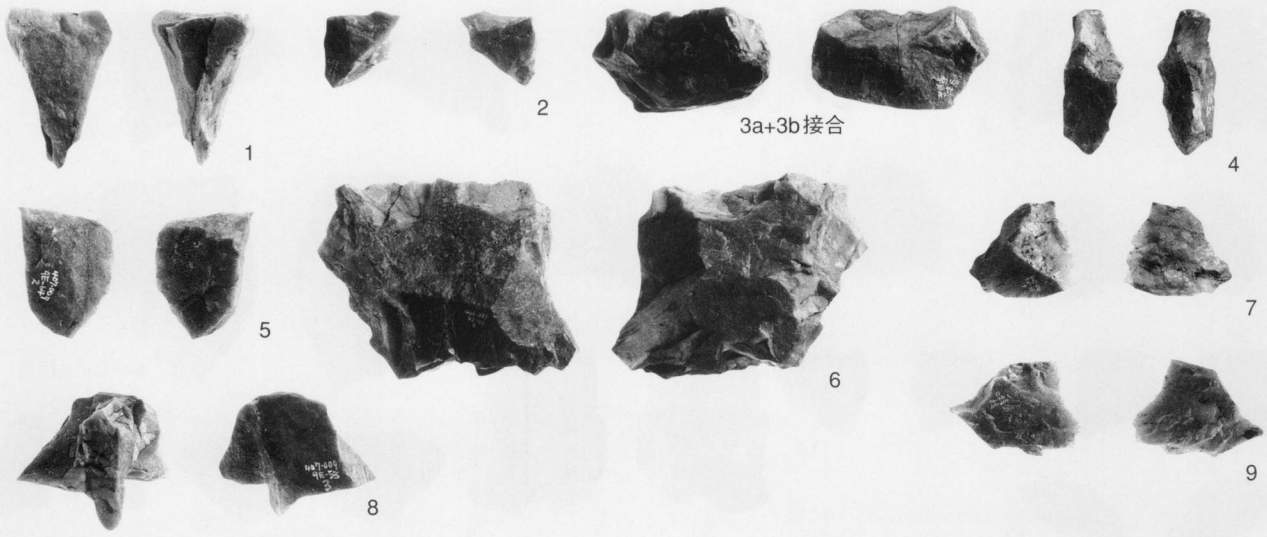
第34ブロック出土遺物写真（4）

120

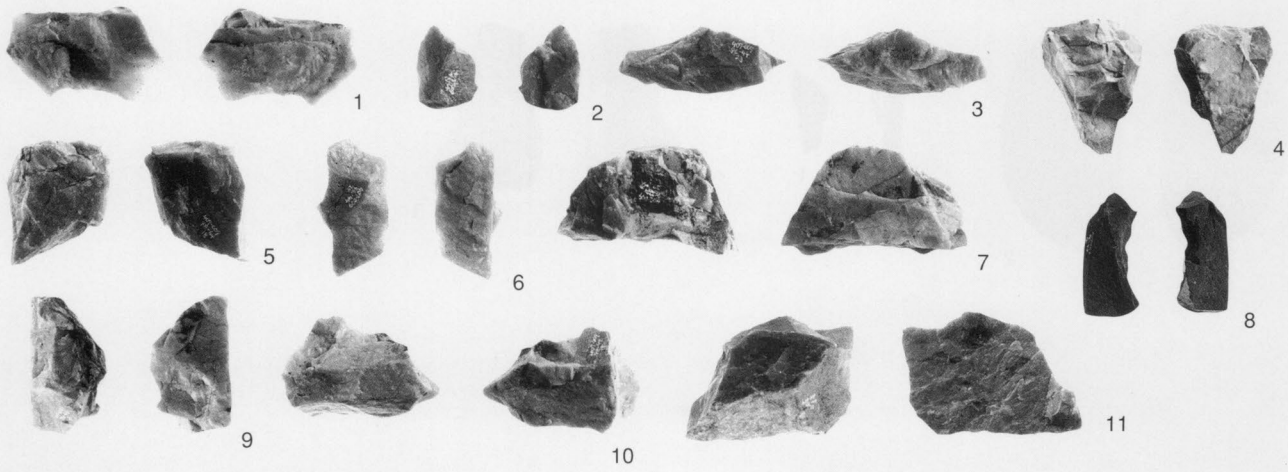
121



第34ブロック出土遺物写真（6）

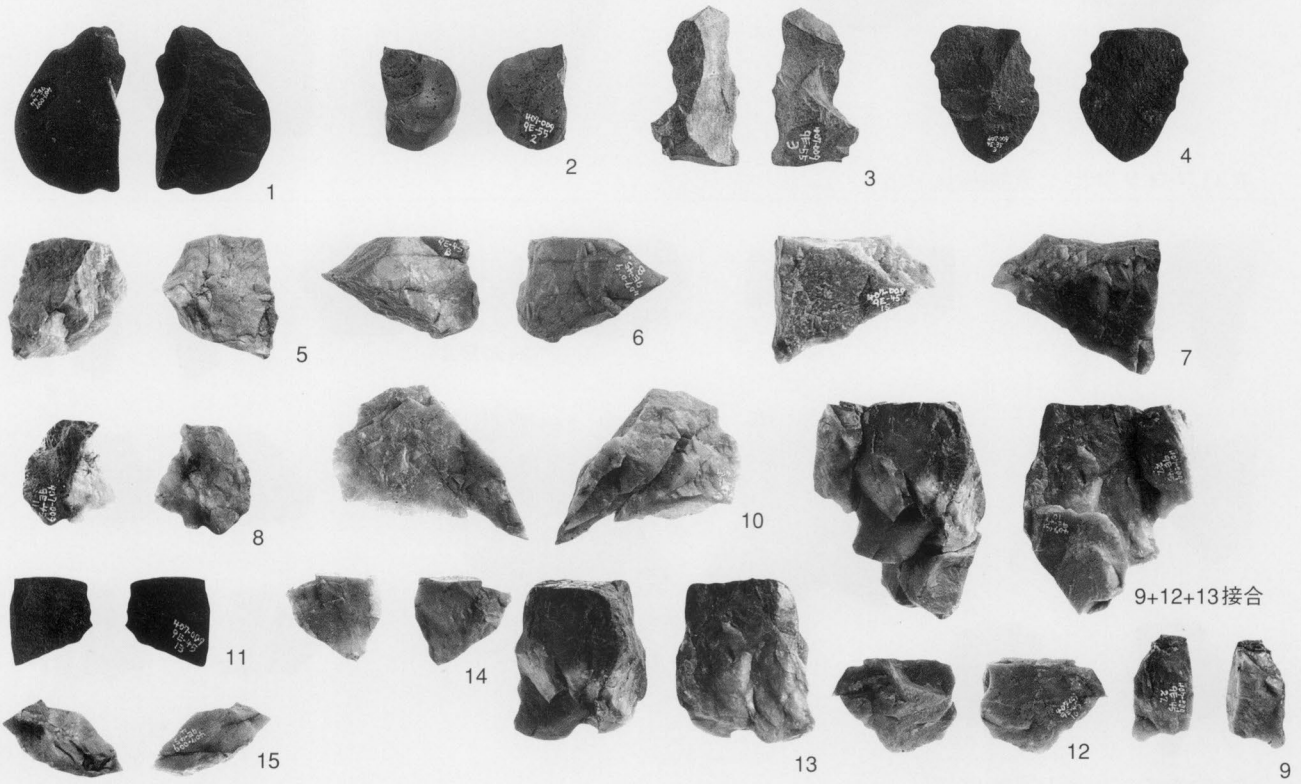


第35ブロック出土遺物写真

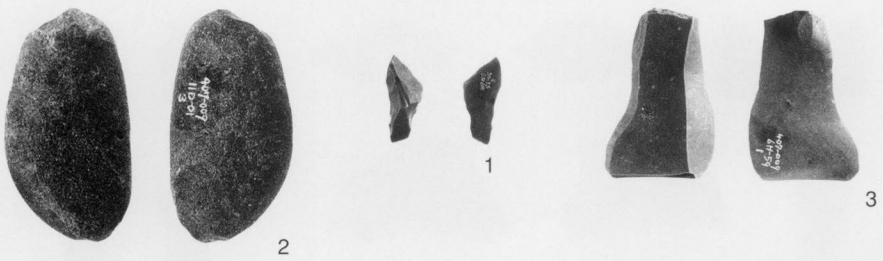


第36ブロック出土遺物写真（1）

第36ブロック出土遺物写真（2）



第37ブロック出土遺物写真



第38ブロック及び単独出土遺物写真

001土坑

002土坑

003土坑

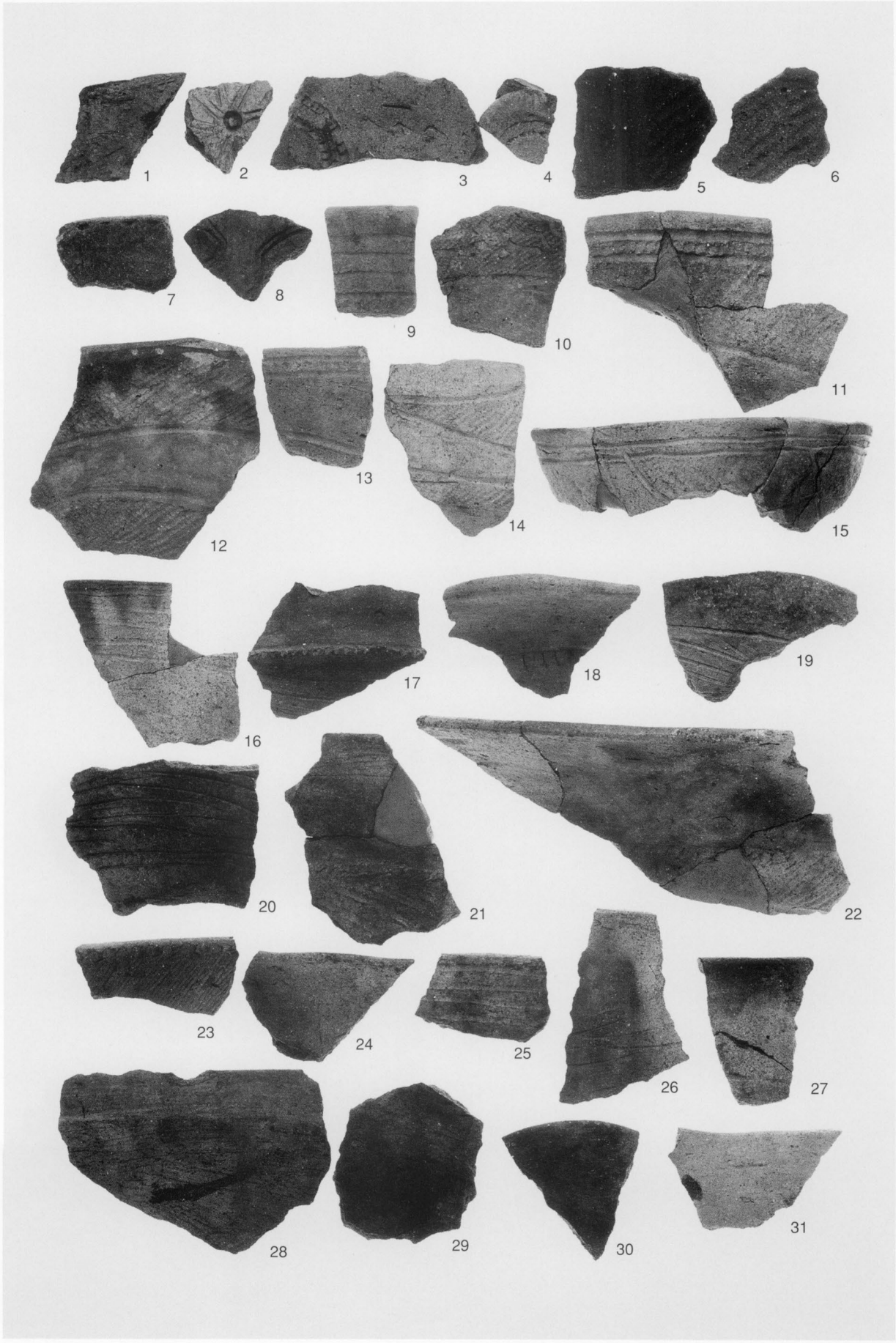
004土坑

005土坑

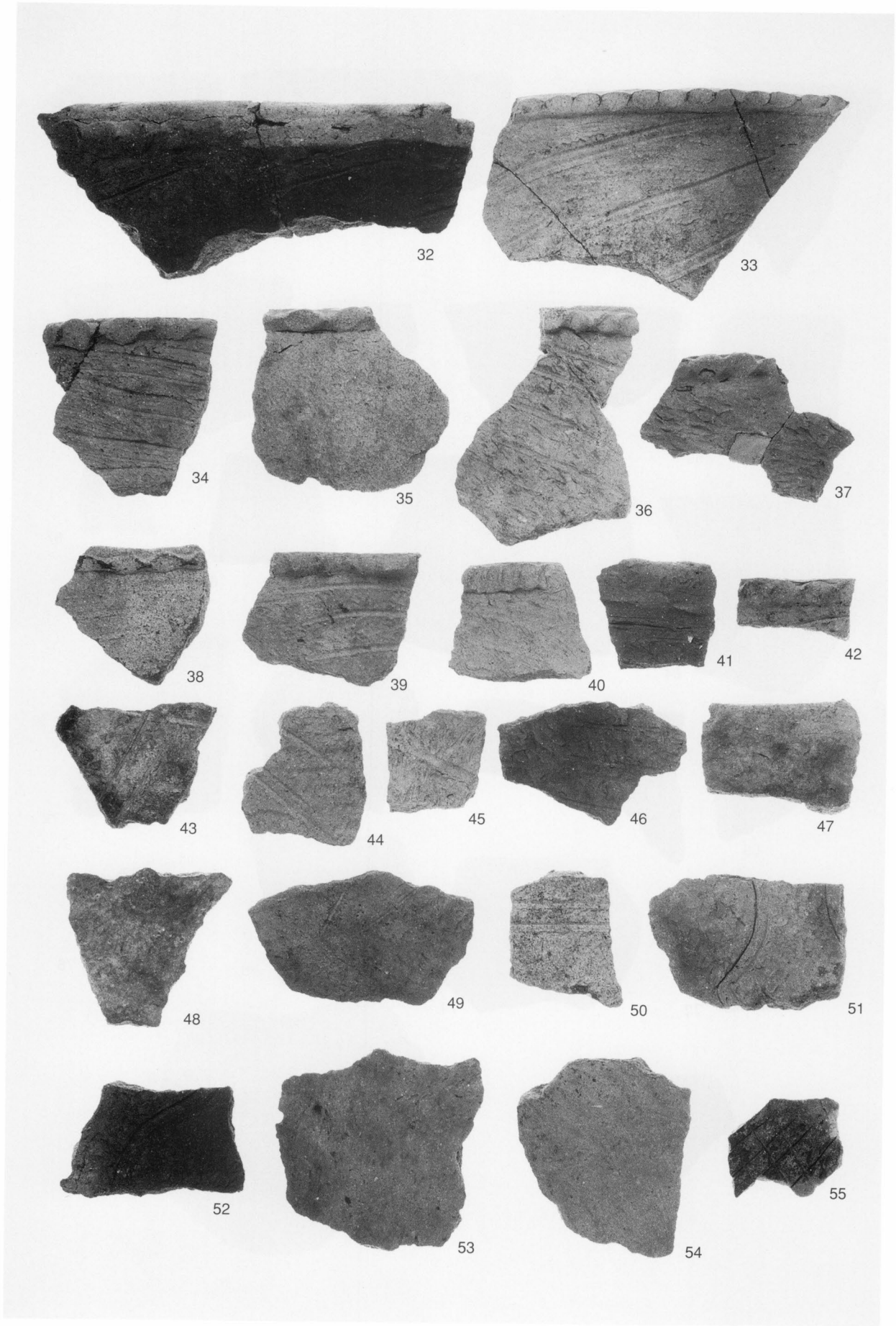
006土坑

007土坑

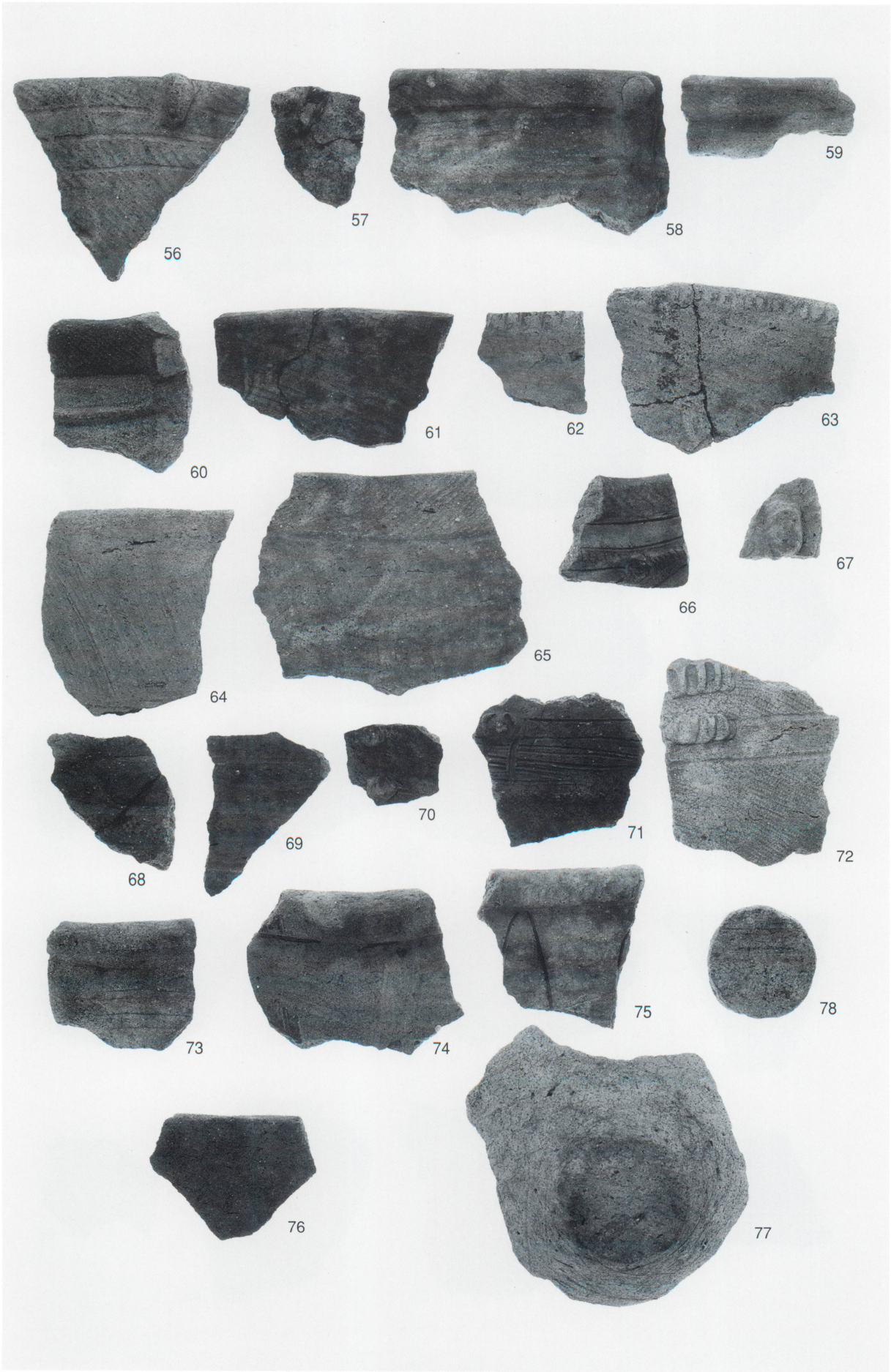
縄文時代晩期包含層出土状況


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31

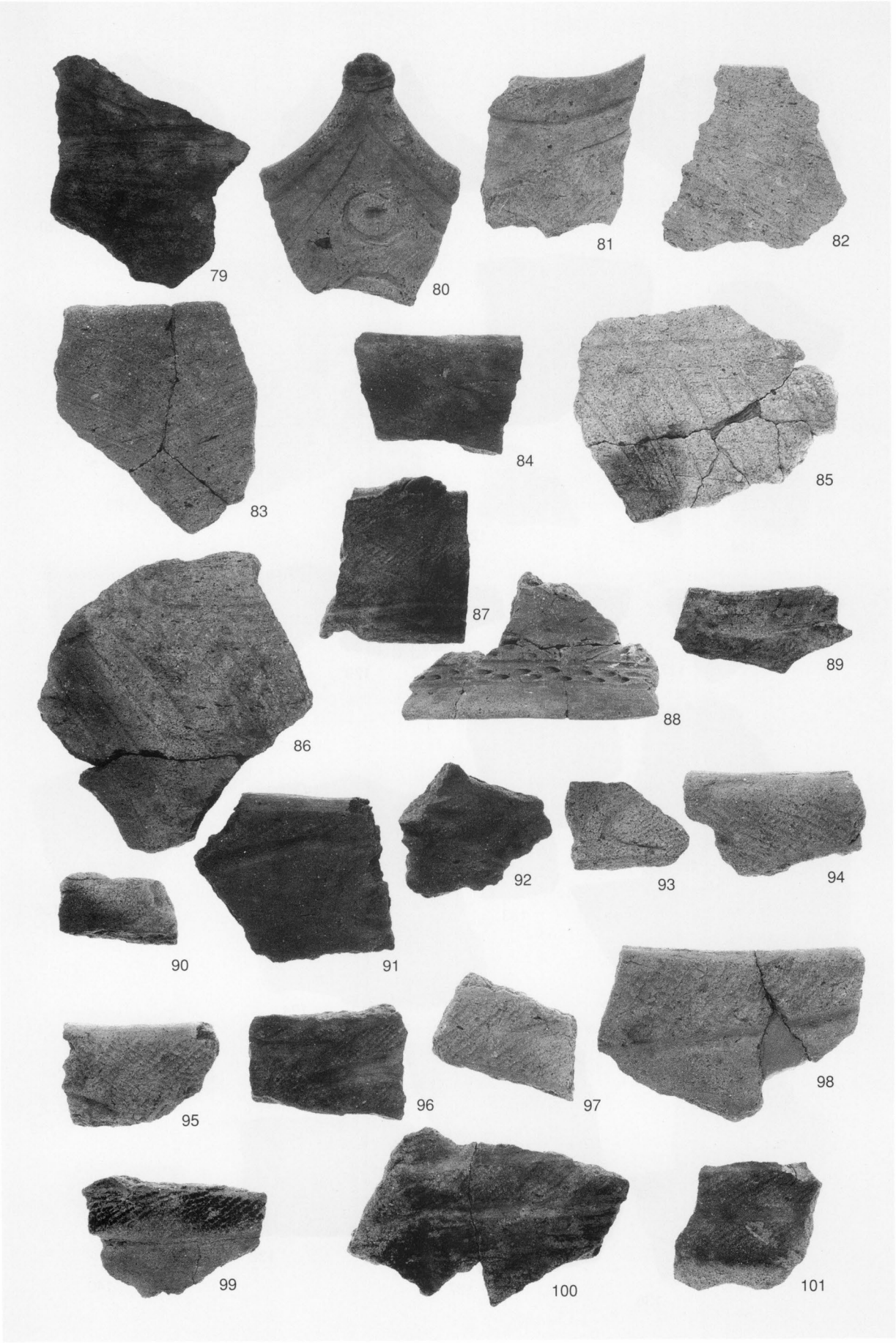
縄文土器（1）



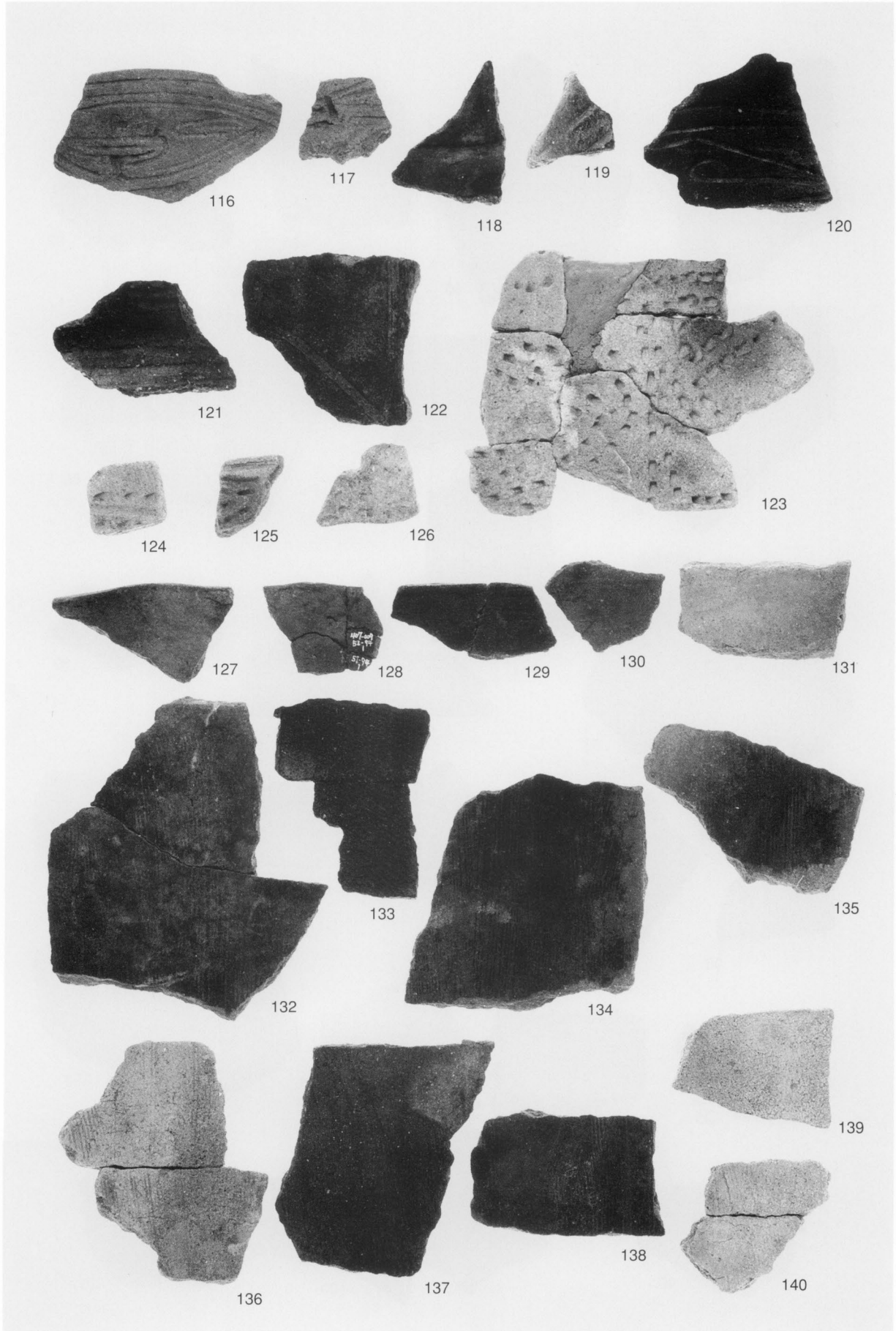
縄文土器（2）



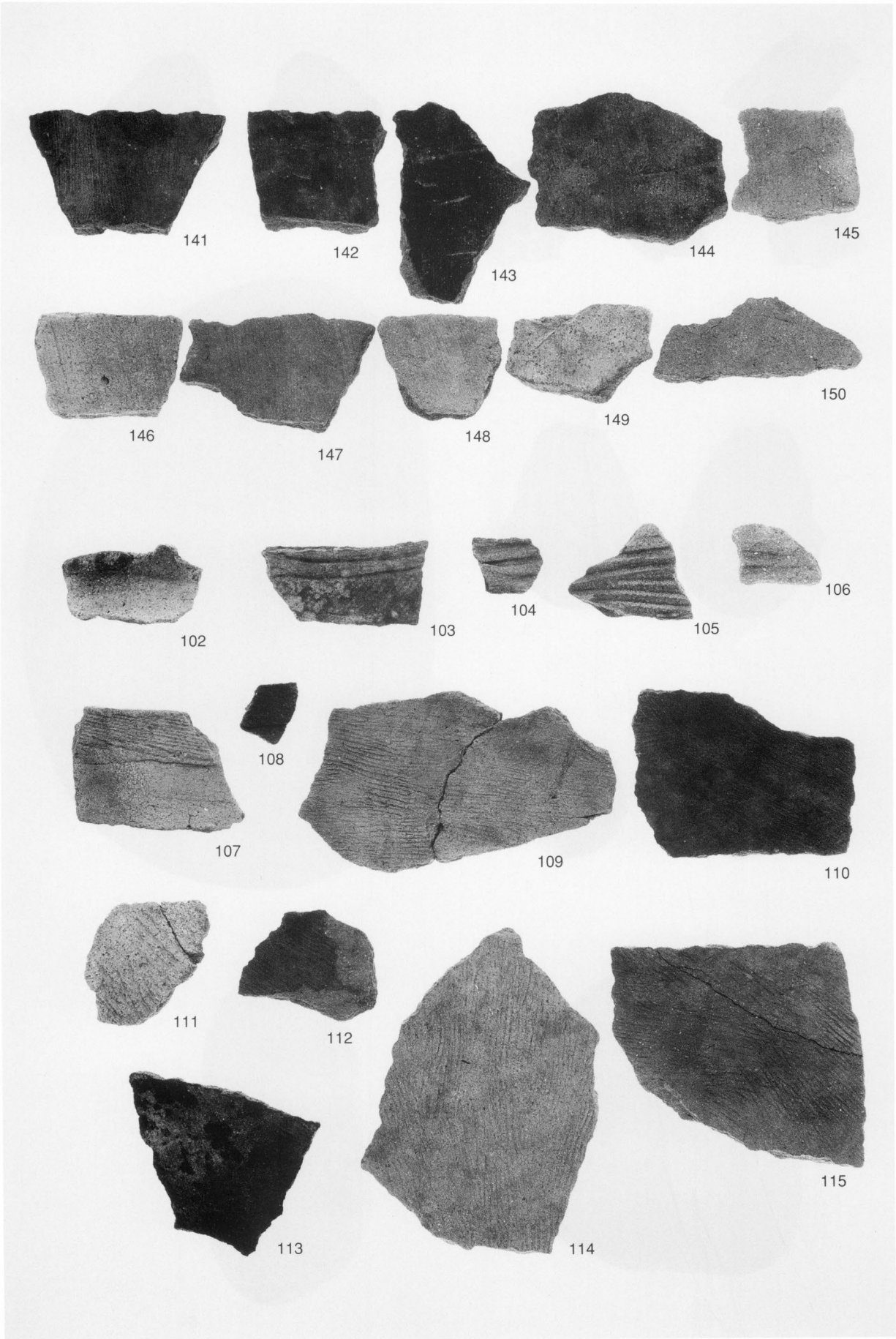
縄文土器（3）



縄文土器（4）


116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140

縄文土器（5）

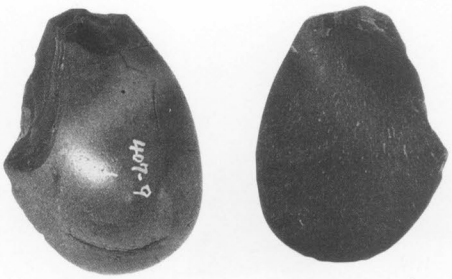

141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115

縄文土器（6）

図版54

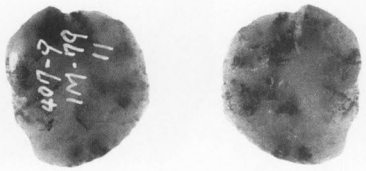
1

2



3

5



4

6

縄文石器

千神塚群全景（東より）

千神塚群全景（西より）

塚１

塚３

塚４

塚17

塚21

塚26

塚１土層断面

塚２土層断面

塚４土層断面

塚13土層断面

塚出土銭貨

遺構外出土遺物

報告書抄録

ふりがな	まつおまち・よこしばよつづかいせき・まつおまちせんがみつかぐん
書名	千葉東金道路(二期)埋蔵文化財調査報告書
副書名	松尾町・横芝町四ツ塚遺跡・松尾町千神塚群
巻次	7
シリーズ名	財団法人千葉県文化財センター調査報告
シリーズ番号	第402集
編著者名	西口　徹・鈴木弘幸・宮　重行
編集機関	財団法人千葉県文化財センター
所在地	〒284-0003　千葉県四街道市鹿渡809－2　TEL043-422-8811
発行年月日	西暦2001年3月30日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
よつづかいせき 四ツ塚遺跡 せんがみつかぐん 千神塚群	さんぶぐんまつおまち 山武郡松尾町 やつあざよつづか 谷津字四ツ塚 141－1ほか	12407	009	35度 39分 35秒	140度 26分 25秒	19950405 ～ 19960229	33,570	千葉東金道路（二期）建設に伴う埋蔵文化財調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
四ツ塚遺跡		旧石器時代	石器集中地点　38か所	局部磨製石斧、ナイフ形石器、台形石器、楔形石器、石核、剥片等多数	Ⅶ層下部～Ⅸ層を主体とした2つの大きな環状ブロック
		縄文時代	陥穴　3基 土坑　4基	縄文土器後期、加曽利B式、安行Ⅰ･Ⅱ式、曽谷式、安行Ⅰ式、安行Ⅱ式、晩期（安行Ⅲａ式、千網式、荒海式）	
		古墳～平安		土師器、土錘	
千神塚群		中・近世	塚　15基	陶磁器、カワラケ 砥石	

千葉県文化財センター調査報告第402集

四ツ塚遺跡・千神塚群

— 千葉東金道路(二期)埋蔵文化財調査報告書　7 —

平成13年3月30日発行

編　　集　　財団法人　千葉県文化財センター

発　　行　　日　本　道　路　公　団
東京建設局　千葉工事事務所
千葉市美浜区若葉二丁目9番3号

財団法人　千葉県文化財センター
四街道市鹿渡809-2

印　　刷　　株式会社　み　つ　わ
千葉市美浜区新港213-5